

# 仙台市障害者等保健福祉基礎調査報告書

平成 29 年 3 月

仙台市



# 目次

<b>第1章 調査の概要</b> .....	<b>3</b>
1 調査目的.....	3
2 調査対象及び回収状況.....	3
3 調査方法及び期間.....	3
4 調査内容.....	3
5 報告書の見方.....	4
<b>第2章 身体障害者本人（65歳未満）</b> .....	<b>7</b>
1 属性について.....	7
2 住まいと暮らしについて.....	15
3 所得の状況について.....	17
4 日常生活について.....	19
5 就労の状況について.....	23
6 社会参加について.....	29
7 健康や医療について.....	32
8 福祉サービスについて.....	36
9 相談の状況について.....	44
10 権利擁護について.....	48
11 緊急時の対応について.....	52
<b>第3章 身体障害者本人（65歳以上）</b> .....	<b>61</b>
1 属性について.....	61
2 住まいと暮らしについて.....	69
3 所得の状況について.....	71
4 日常生活について.....	73
5 就労の状況について.....	77
6 社会参加について.....	83
7 健康や医療について.....	86
8 福祉サービスについて.....	90
9 相談の状況について.....	98
10 権利擁護について.....	102
11 緊急時の対応について.....	106
<b>第4章 知的障害者本人</b> .....	<b>115</b>
<b>第5章 知的障害者の家族</b> .....	<b>141</b>
1 属性について.....	141
2 住まいと暮らしについて.....	148
3 所得の状況について.....	150
4 日常生活について.....	153
5 就労の状況について.....	157
6 社会参加について.....	162

7	健康や医療について.....	165
8	福祉サービスについて.....	169
9	相談の状況について.....	177
10	権利擁護について.....	182
11	緊急時の対応について.....	186
<b>第6章 障害児の家族 .....</b>		<b>195</b>
1	属性について.....	195
2	住まいと暮らしについて.....	203
3	日常生活について.....	205
4	社会参加について.....	210
5	健康や医療について.....	213
6	福祉サービスについて.....	218
7	相談の状況について.....	225
8	権利擁護について.....	233
9	緊急時の対応について.....	237
<b>第7章 精神障害者（通院）本人.....</b>		<b>247</b>
1	属性について.....	247
2	住まいと暮らしについて.....	253
3	所得の状況について.....	255
4	日常生活について.....	258
5	就労の状況について.....	260
6	社会参加について.....	266
7	健康や医療について.....	269
8	福祉サービスについて.....	275
9	相談の状況について.....	283
10	権利擁護について.....	287
11	緊急時の対応について.....	291
<b>第8章 精神障害者（入院）本人.....</b>		<b>301</b>
1	属性について.....	301
2	入院と退院の状況について.....	305
3	所得の状況について.....	310
4	相談の状況について.....	313
5	権利擁護について.....	317
<b>第9章 精神障害者の家族 .....</b>		<b>323</b>
1	属性について.....	323
2	住まいと暮らしについて.....	327
3	所得の状況について.....	329
4	日常生活について.....	332
5	就労の状況について.....	333
6	社会参加について.....	338
7	健康や医療について.....	341
8	福祉サービスについて.....	347
9	相談の状況について.....	355

10	権利擁護について.....	361
11	緊急時の対応について.....	365
<b>第10章 難病患者本人 .....</b>		<b>375</b>
1	属性について.....	375
2	住まいと暮らしについて.....	380
3	所得の状況について.....	382
4	日常生活について.....	385
5	就労の状況について.....	389
6	社会参加について.....	395
7	健康や医療について.....	398
8	福祉サービスについて.....	403
9	相談の状況について.....	411
10	権利擁護について.....	415
11	緊急時の対応について.....	419
<b>第11章 発達障害（児）者本人.....</b>		<b>429</b>
1	属性について.....	429
2	住まいと暮らしについて.....	436
3	所得の状況について.....	438
4	日常生活について.....	441
5	就労の状況について.....	443
6	社会参加について.....	449
7	健康や医療について.....	452
8	福祉サービスについて.....	456
9	相談の状況について.....	464
10	権利擁護について.....	468
11	緊急時の対応について.....	472
<b>第12章 発達障害（児）者の家族.....</b>		<b>481</b>
1	属性について.....	481
2	住まいと暮らしについて.....	488
3	所得の状況について.....	490
4	日常生活について.....	493
5	就労の状況について.....	494
6	社会参加について.....	499
7	健康や医療について.....	502
8	福祉サービスについて.....	506
9	相談の状況について.....	514
10	権利擁護について.....	520
11	緊急時の対応について.....	524
<b>第13章 一般市民 .....</b>		<b>533</b>
1	属性について.....	533
2	障害のある方に関することの理解について.....	537



# 第1章

## 調査の概要



## 第1章 調査の概要

### 1 調査目的

この調査は、次期「仙台市障害者保健福祉計画」及び第5期「仙台市障害福祉計画」の策定にあたり、市内に在住する障害児（者）等の実態や保健福祉サービスの利用動向及び利用意向等を調査し、また、市民の障害児（者）に対する理解の状況等を把握し、計画策定の基礎資料とするために実施した。

### 2 調査対象及び回収状況

調査対象者	配布数	有効回収数	有効回収率
①身体障害者本人（65歳未満）	681	322	47.3%
②身体障害者本人（65歳以上）	679	412	60.7%
③知的障害者本人	686	383	55.8%
④知的障害者の家族	502	283	56.4%
⑤障害児の家族	511	274	53.6%
⑥精神障害者（通院）本人	696	318	45.7%
⑦精神障害者（入院）本人	252	195	77.4%
⑧精神障害者の家族	418	192	45.9%
⑨難病患者本人	699	362	51.8%
⑩発達障害（児）者本人	300	138	46.0%
⑪発達障害（児）者の家族	298	140	47.0%
⑫一般市民	697	303	43.5%
合計	6,419	3,322	51.8%

### 3 調査方法及び期間

- (1) 調査方法：①・②・③・⑥・⑨・⑫は郵送、その他の対象は関係団体経由で配布  
 (2) 調査期間：平成28年11月28日～12月26日  
 平成28年12月14日～平成29年1月16日（視覚障害のある方）

### 4 調査内容

●基本的な属性	●就労状況	●相談機能
●住まいと暮らし	●社会参加	●権利擁護
●所得状況	●健康・医療	●緊急時の対応
●日常生活	●福祉サービス	●障害理解

## 5 報告書の見方

- ・各設問中の（SA）は単数回答を表し、回答者が選択肢から1つだけ回答する質問であることを示している。また、（MA）は複数回答を表し、回答者が2つ以上の回答をすることができる質問であることを示している。
- ・回答の比率（％）は、その設問の回答者数を基数として算出している。そのため、複数回答の場合、選択肢ごとの割合を合計すると100％を超えることがある。
- ・回答の比率（％）は、小数点以下第2位を四捨五入により端数処理している。そのため、属性ごとの回答比率の合計が、合計欄の数値と一致しないことがある。
- ・調査項目が長い場合、一部を省略して掲載している場合がある。

## 第2章

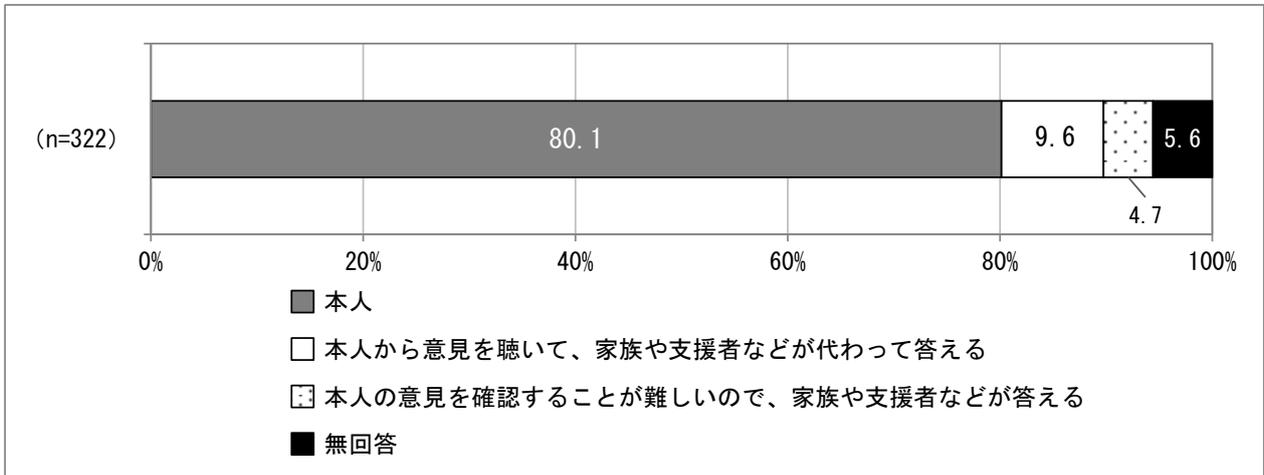
### 身体障害者本人（65歳未満）



## 第2章 身体障害者本人（65歳未満）

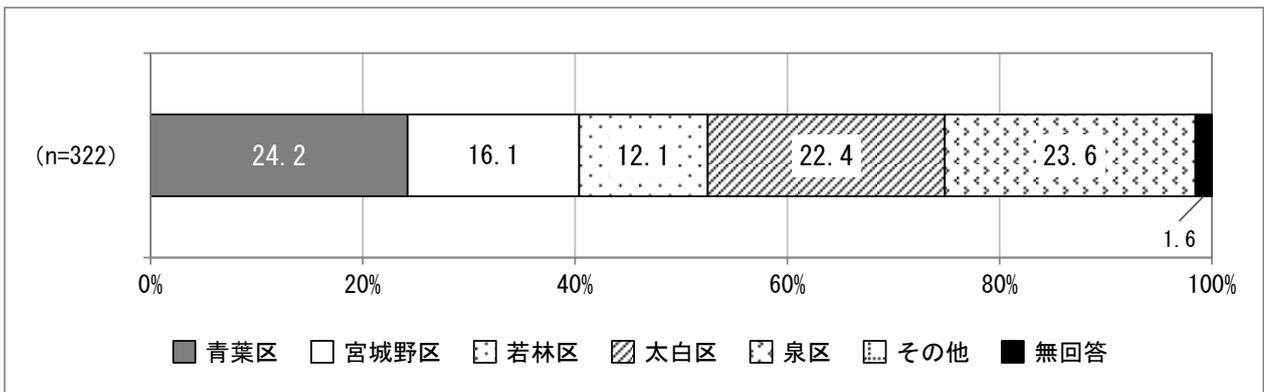
### 1 属性について

問1 このアンケートの記入者はどなたですか。（SA）



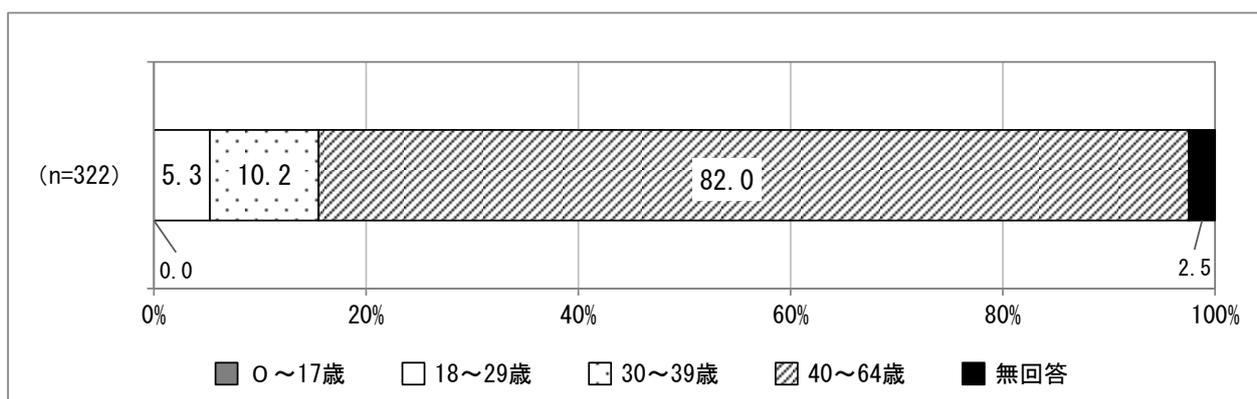
アンケートの記入者は、「本人」（80.1%）が最も高く、次いで「本人から意見を聴いて、家族や支援者などが代わって答える」（9.6%）、「本人の意見を確認することが難しいので、家族や支援者などが答える」（4.7%）となっている。

問2 あなたのお住まいの区はどこですか。（SA）



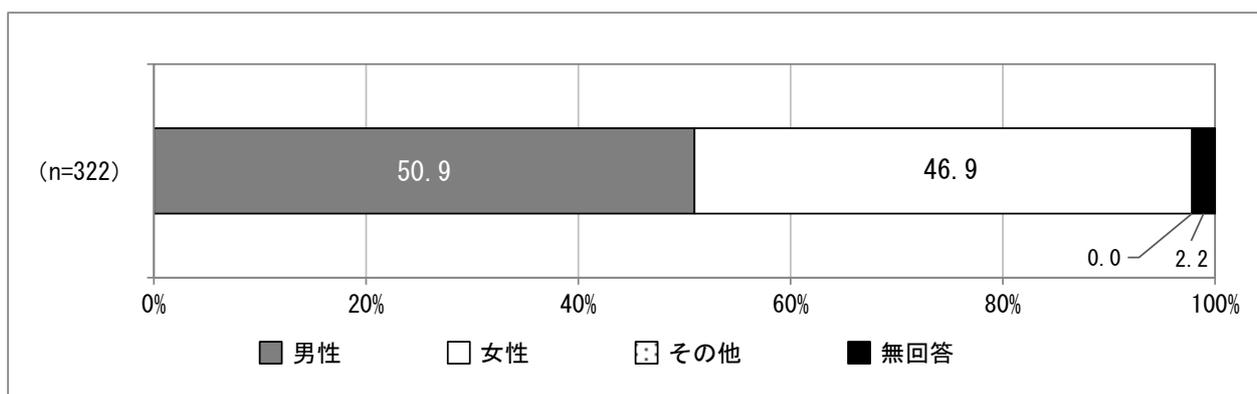
居住区は、「青葉区」（24.2%）が最も高く、次いで「泉区」（23.6%）、「太白区」（22.4%）となっている。

### 問3 あなたの年齢（2016年11月1日時点）は何歳ですか。（数値）



年齢は、「40～64歳」（82.0%）が最も高く、次いで「30～39歳」（10.2%）、「18～29歳」（5.3%）となっている。

### 問4 あなたの性別を教えてください。（SA）

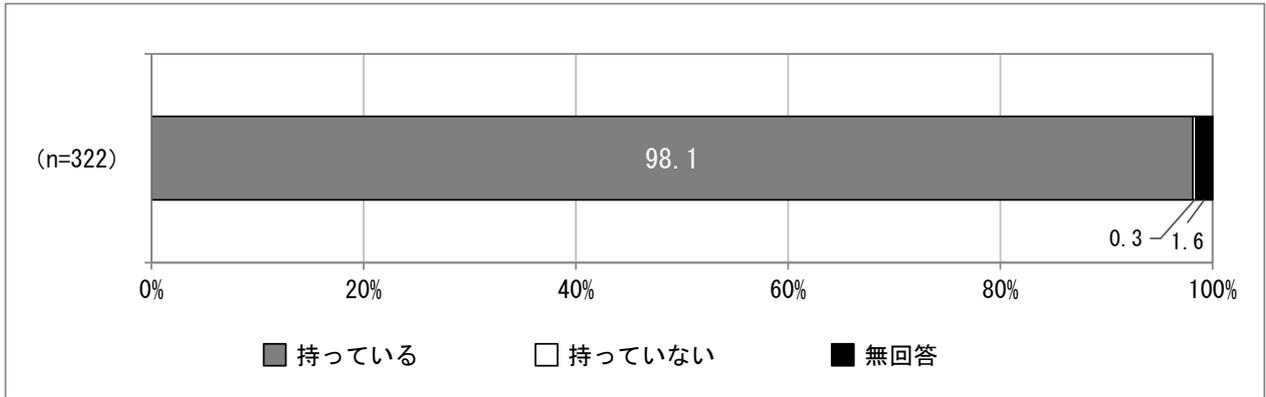


性別は、「男性」（50.9%）、「女性」（46.9%）となっている。

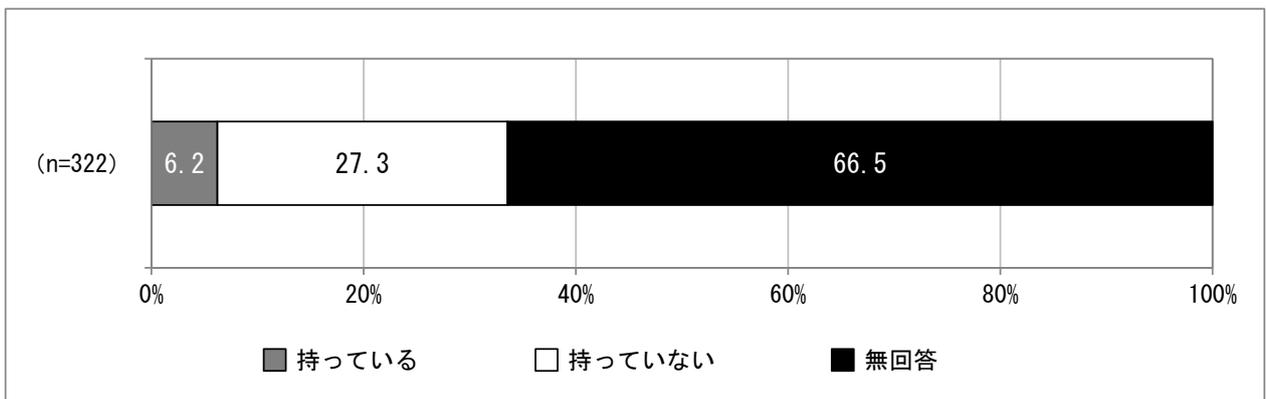
問5 障害者手帳についておたずねします。

(ア) 障害者手帳をお持ちかどうか教えてください。(SA)

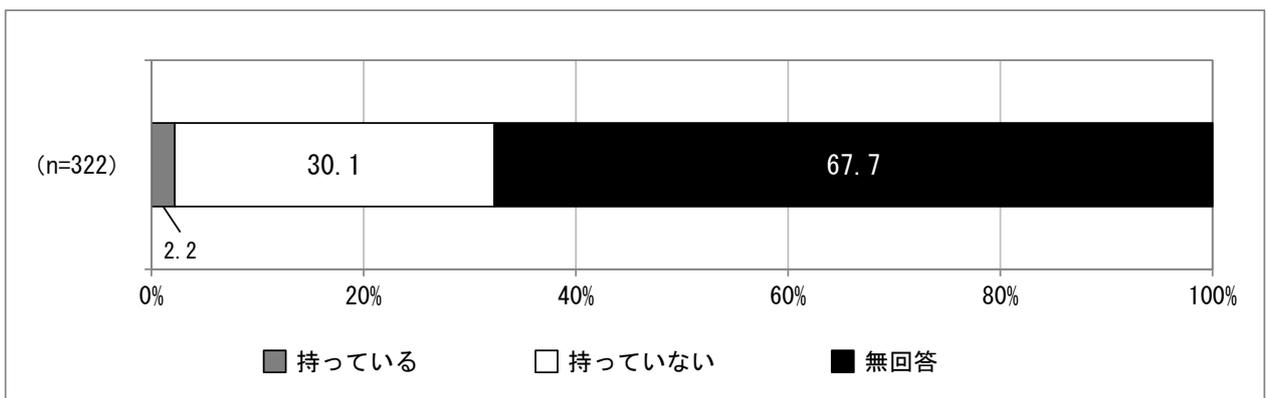
(身体障害者手帳)



(療育手帳)



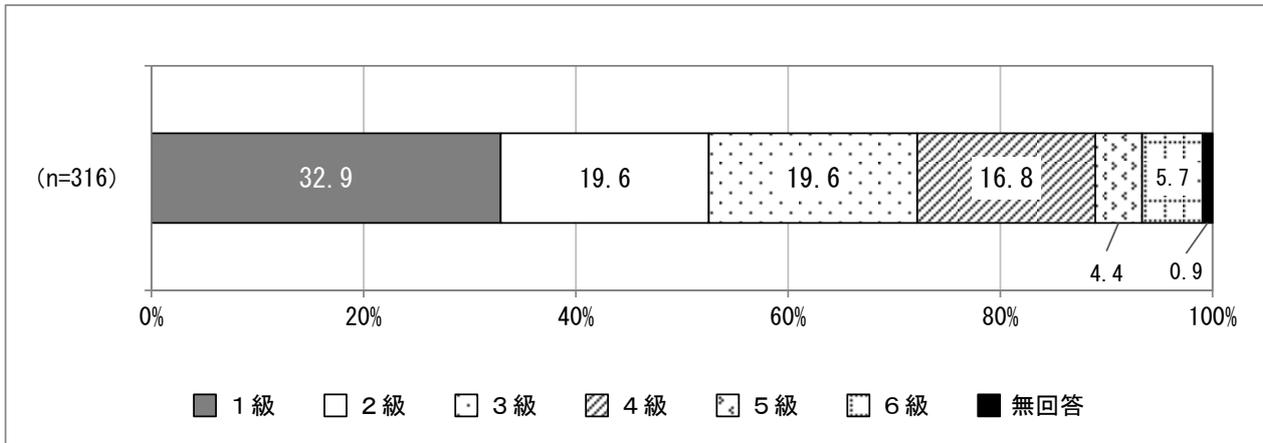
(精神障害者保健福祉手帳)



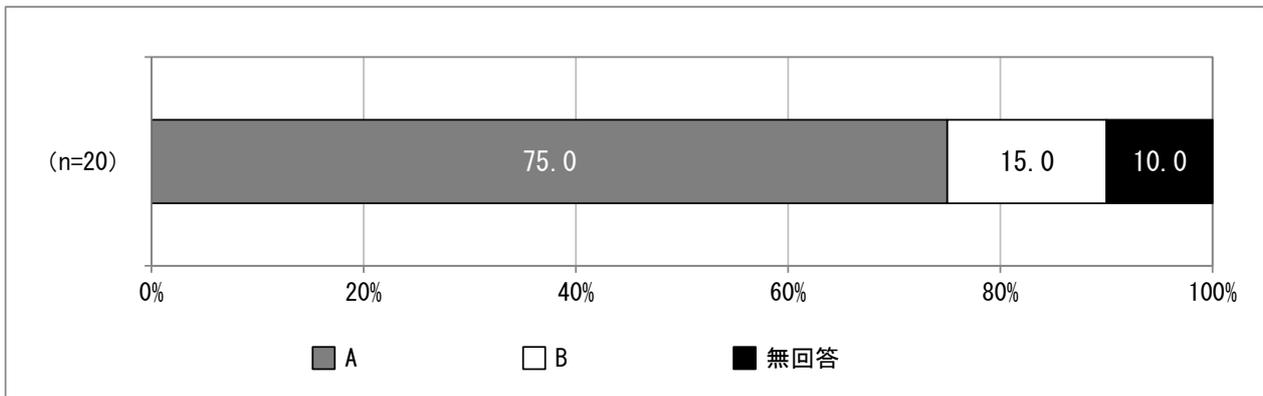
「持っている」割合は、身体障害者手帳が98.1%、療育手帳が6.2%、精神障害者保健福祉手帳が2.2%となっている。

(イ) お持ちの障害者手帳の等級を教えてください。(SA)

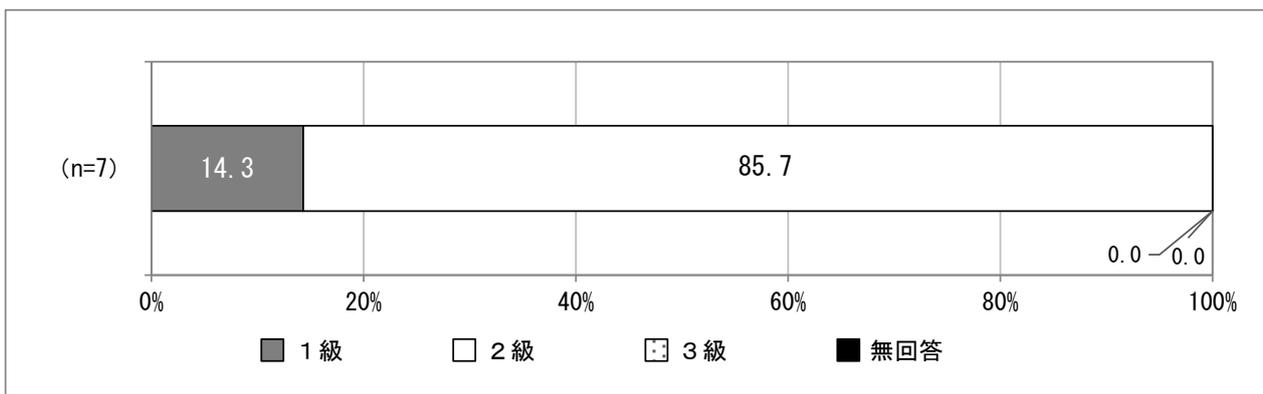
(身体障害者手帳)



(療育手帳)



(精神障害者保健福祉手帳)



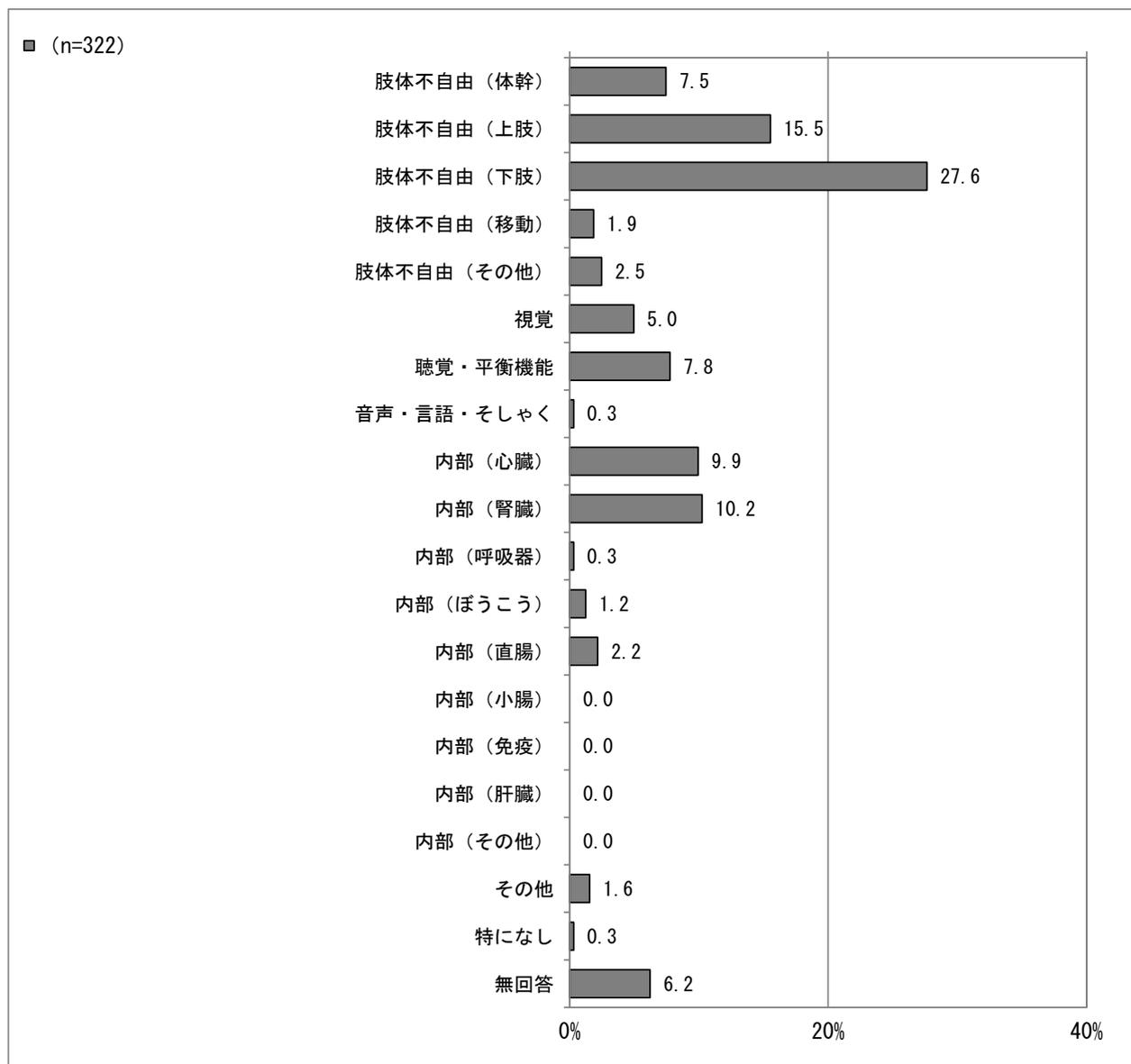
身体障害者手帳の等級は、「1級」(32.9%)が最も高く、次いで「2級」(19.6%)と「3級」(19.6%)、「4級」(16.8%)となっている。

療育手帳の等級は、「A」(75.0%)、「B」(15.0%)となっている。

精神障害者保健福祉手帳の等級は、「2級」(85.7%)が最も高く、次いで「1級」(14.3%)となっている。

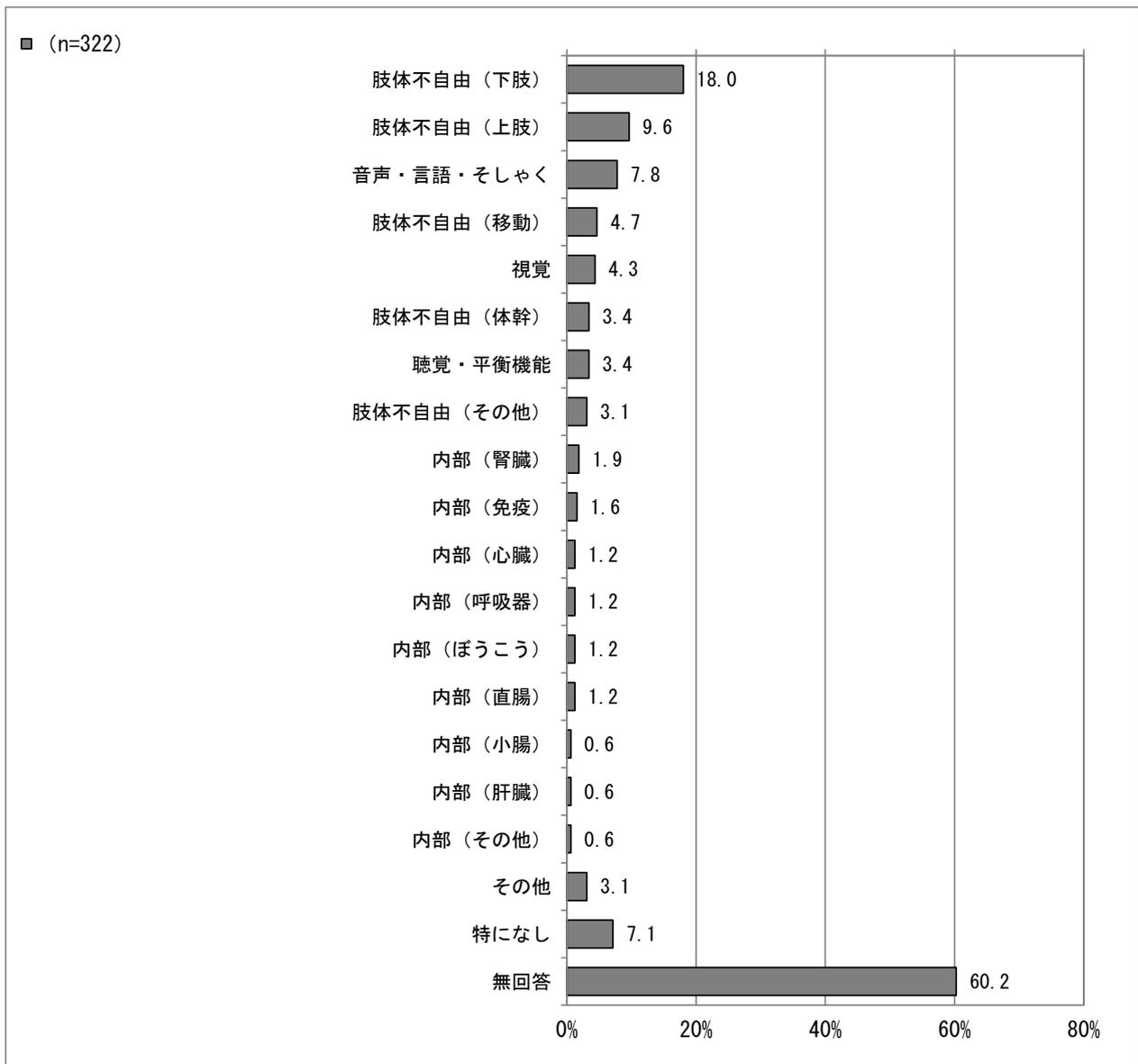
## 問6 身体障害者手帳をお持ちの方におたずねします。

(ア) あなたの主な障害の部位は次のうちどれですか。(SA)



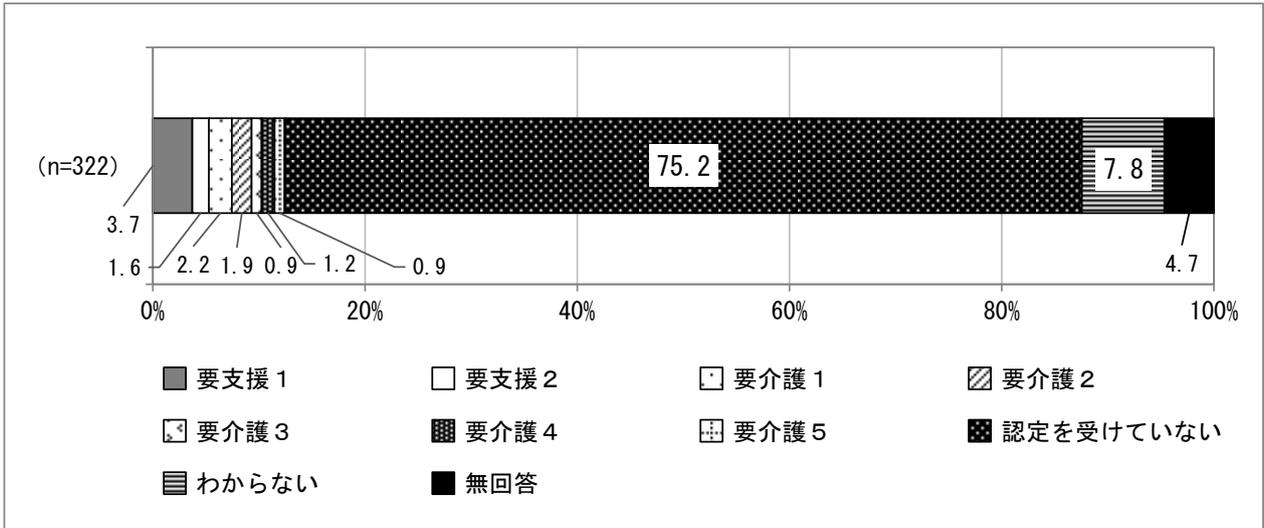
主な障害の部位は、「肢体不自由 (下肢)」(27.6%) が最も高く、次いで「肢体不自由 (上肢)」(15.5%)、「内部 (腎臓)」(10.2%) となっている。

(イ) 主な障害以外に障害のある部位があれば教えてください。(MA)



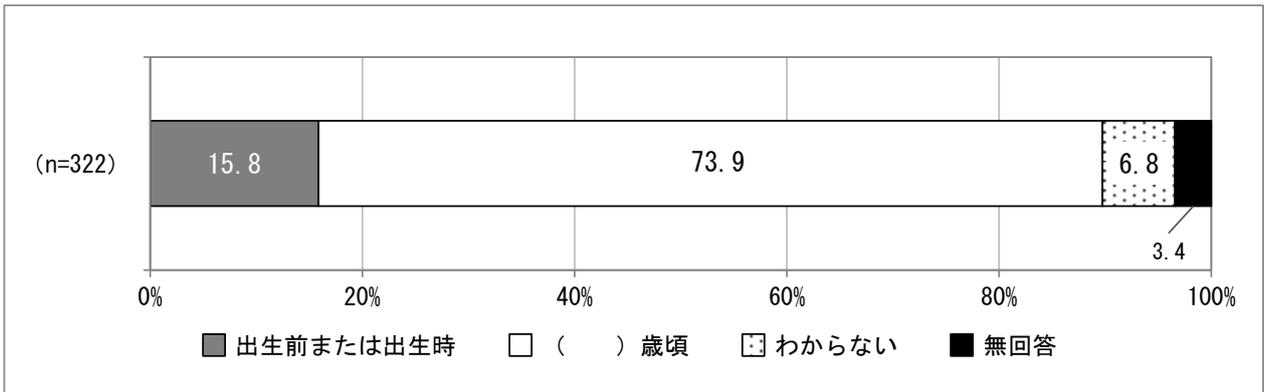
主な障害以外にある障害の部位は、「肢体不自由 (下肢)」(18.0%) が最も高く、次いで「肢体不自由 (上肢)」(9.6%)、「音声・言語・そしゃく」(7.8%) となっている。

問7 あなたは介護保険の認定を受けていますか。(SA)



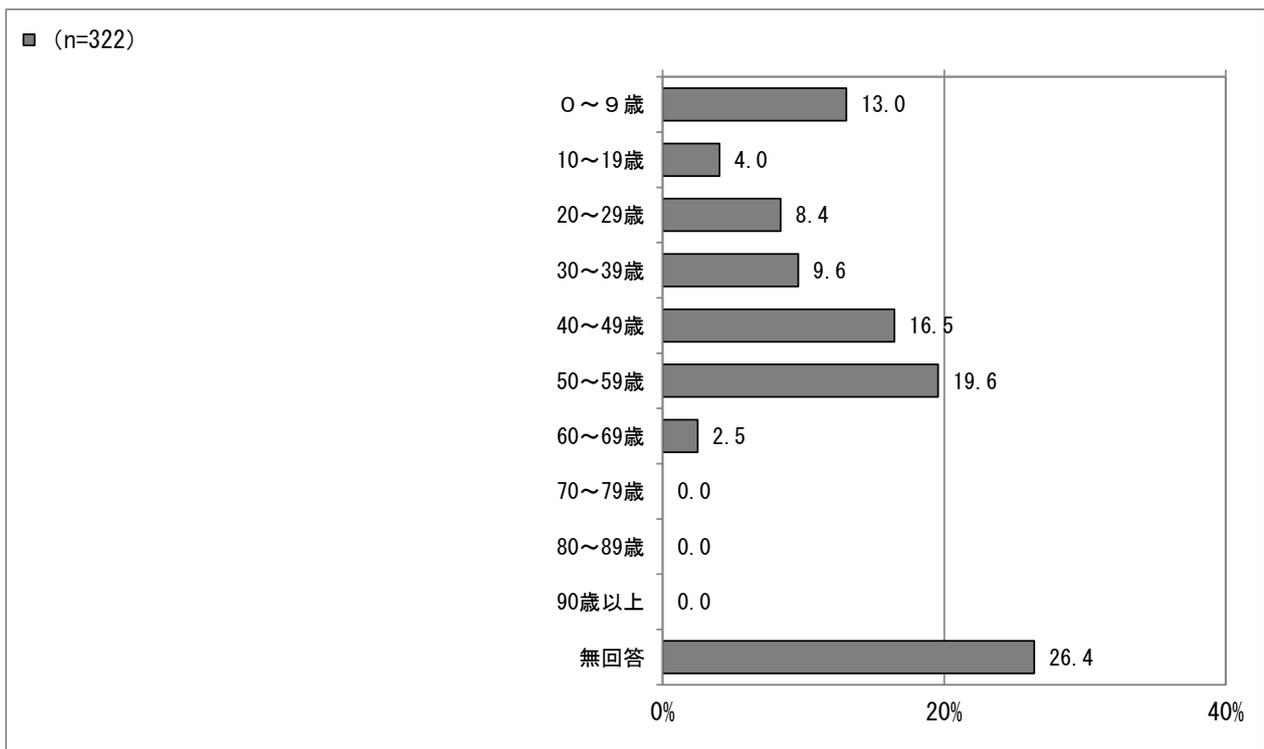
介護保険の認定は、「認定を受けていない」(75.2%)が最も高く、次いで「わからない」(7.8%)、「要支援1」(3.7%)となっている。

問8 あなたが初めて障害をおった時期はいつころでしたか。(SA) (数値)



初めて障害をおった時期は、「( )歳頃」(73.9%)が最も高く、次いで「出生前または出生時」(15.8%)となっている。

(初めて障害をおった年齢)

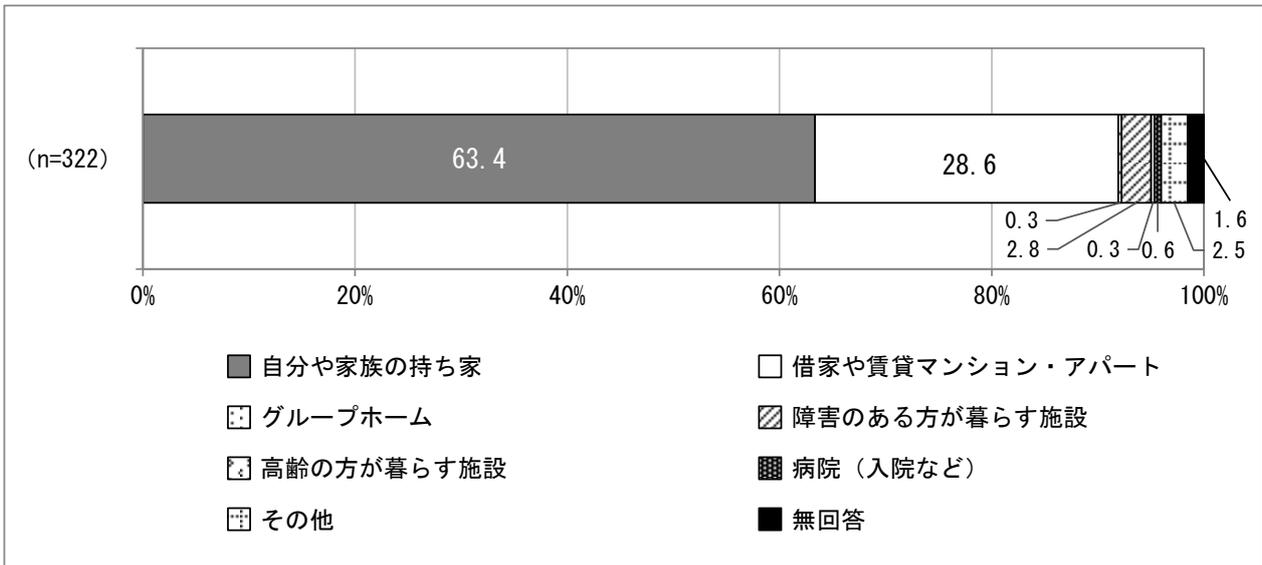


「50～59歳」(19.6%)が最も高く、次いで「40～49歳」(16.5%)、「0～9歳」(13.0%)となっている。

## 2 住まいと暮らしについて

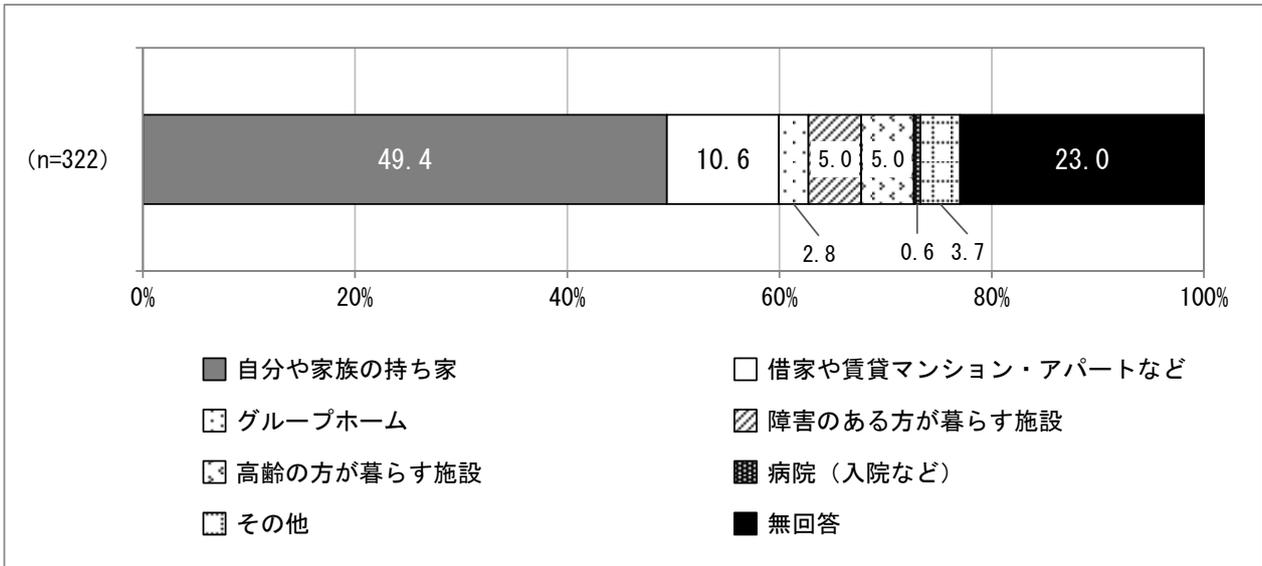
問9 お住まいについておたずねします。

(ア) 現在、あなたはどこにお住まいですか。(SA)



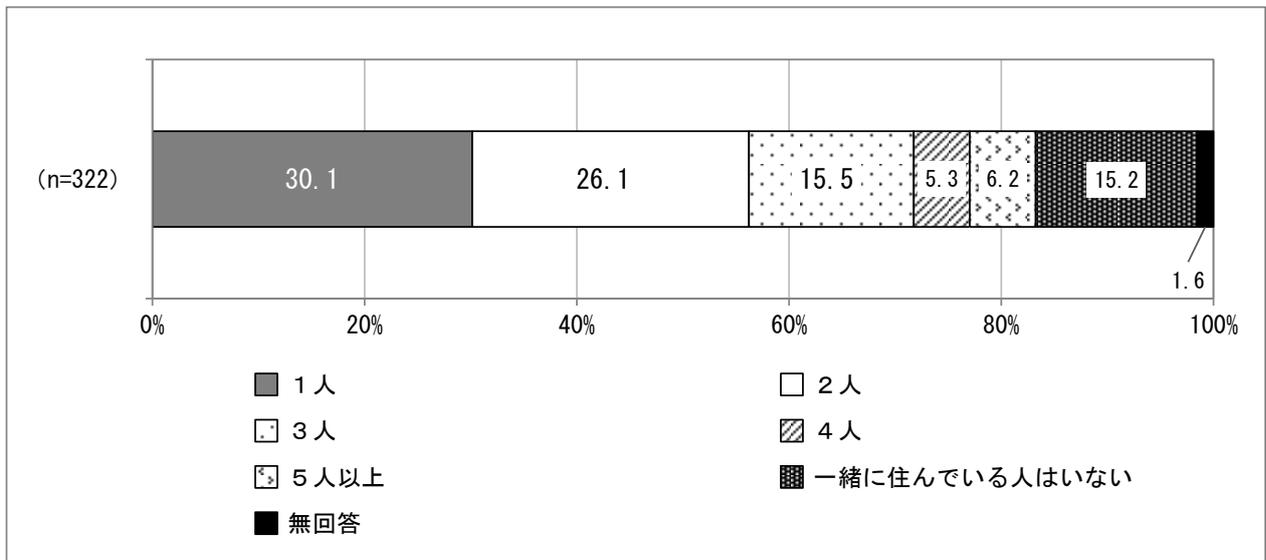
現在の住まいは、「自分や家族の持ち家」(63.4%)が最も高く、次いで「借家や賃貸マンション・アパート」(28.6%)となっている。

(イ) 将来は、どこで暮らしたいと思っていますか。(SA)



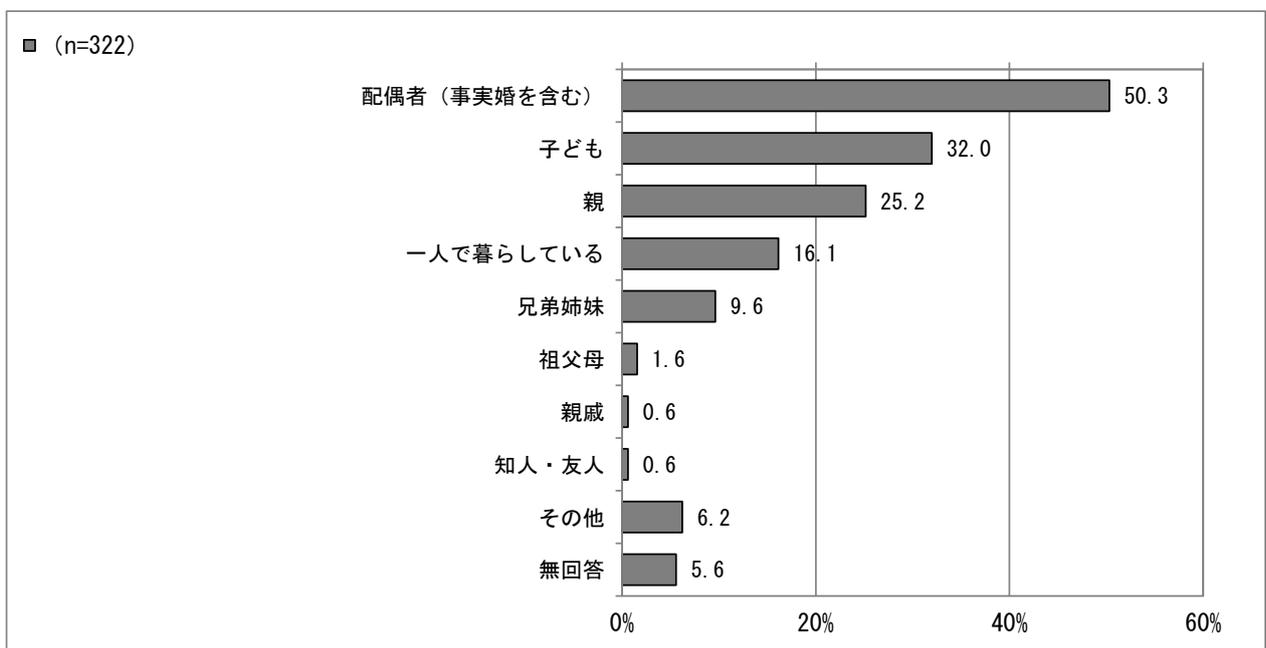
将来の居住希望は、「自分や家族の持ち家」(49.4%)が最も高く、次いで「借家や賃貸マンション・アパートなど」(10.6%)となっている。

問 10 あなたと一緒に住んでいる人は何人いますか。(本人以外の人数) (SA)



一緒に住んでいる人数は「1人」(30.1%)が最も高く、次いで「2人」(26.1%)、「3人」(15.5%)となっている。

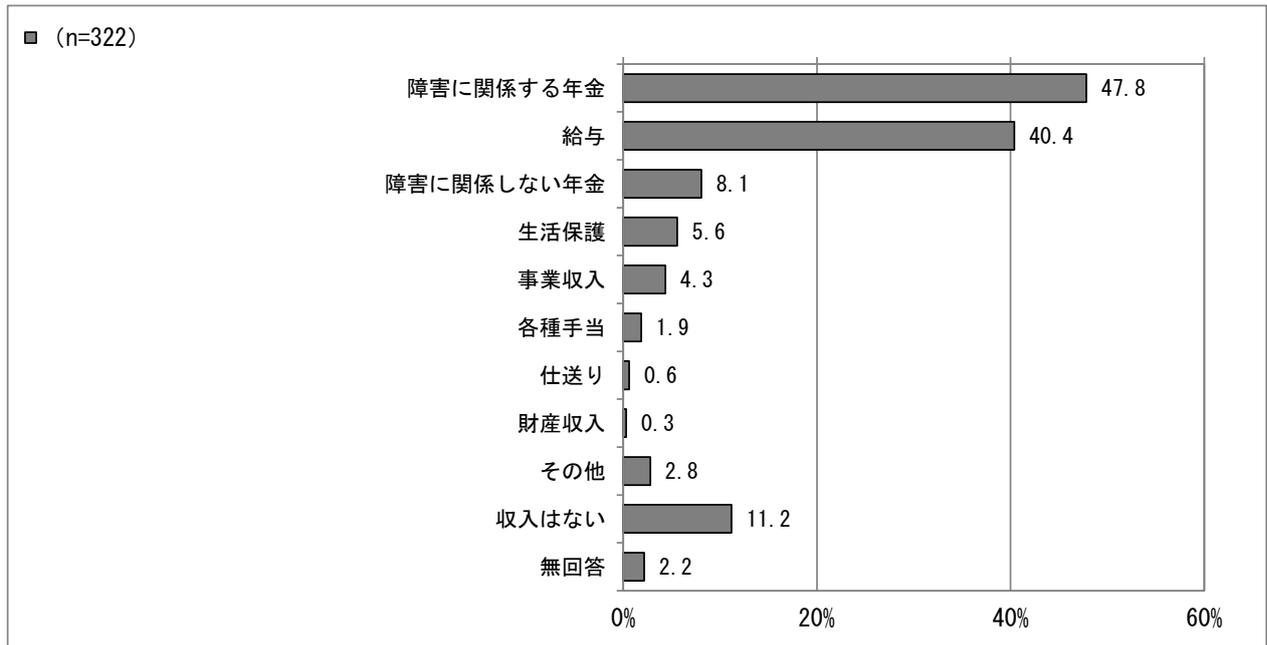
問 11 あなたと一緒に住んでいる人は誰ですか。(MA)



同居者は、「配偶者(事実婚を含む)」(50.3%)が最も高く、次いで「子ども」(32.0%)、「親」(25.2%)となっている。

### 3 所得の状況について

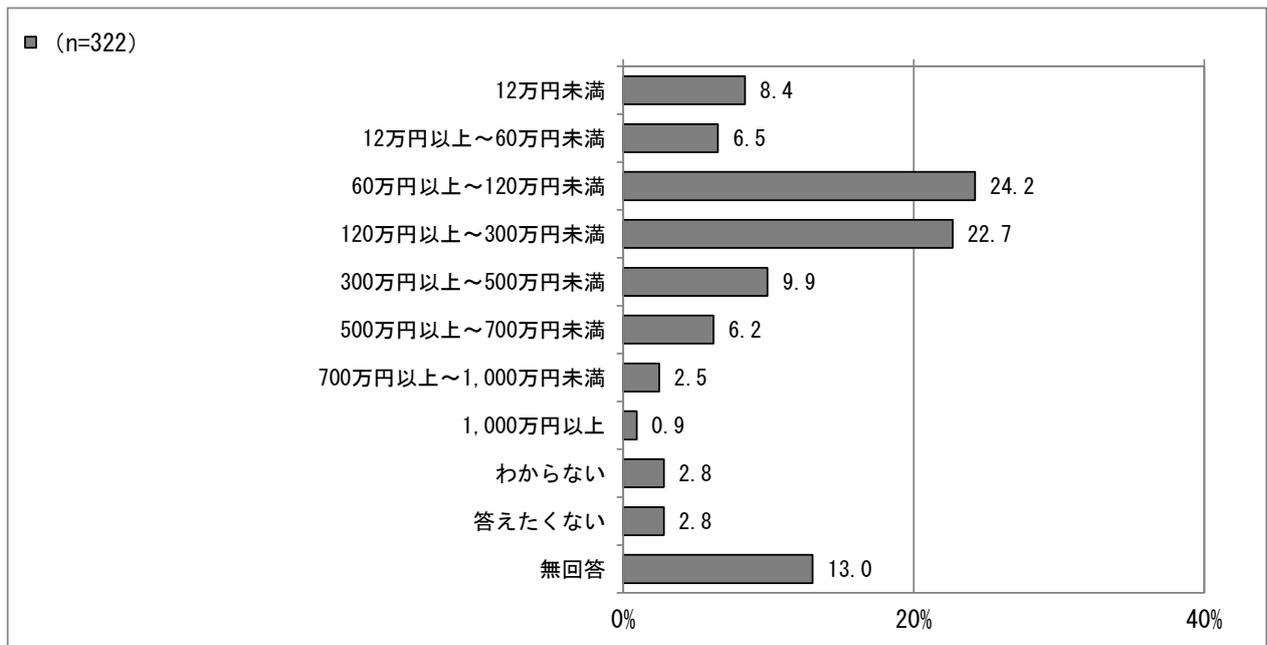
問12 あなたが得ている収入は次のうちどれですか。（MA）



得ている収入は、「障害に関する年金」(47.8%)が最も高く、次いで「給与」(40.4%)、「障害に関係しない年金」(8.1%)となっている。

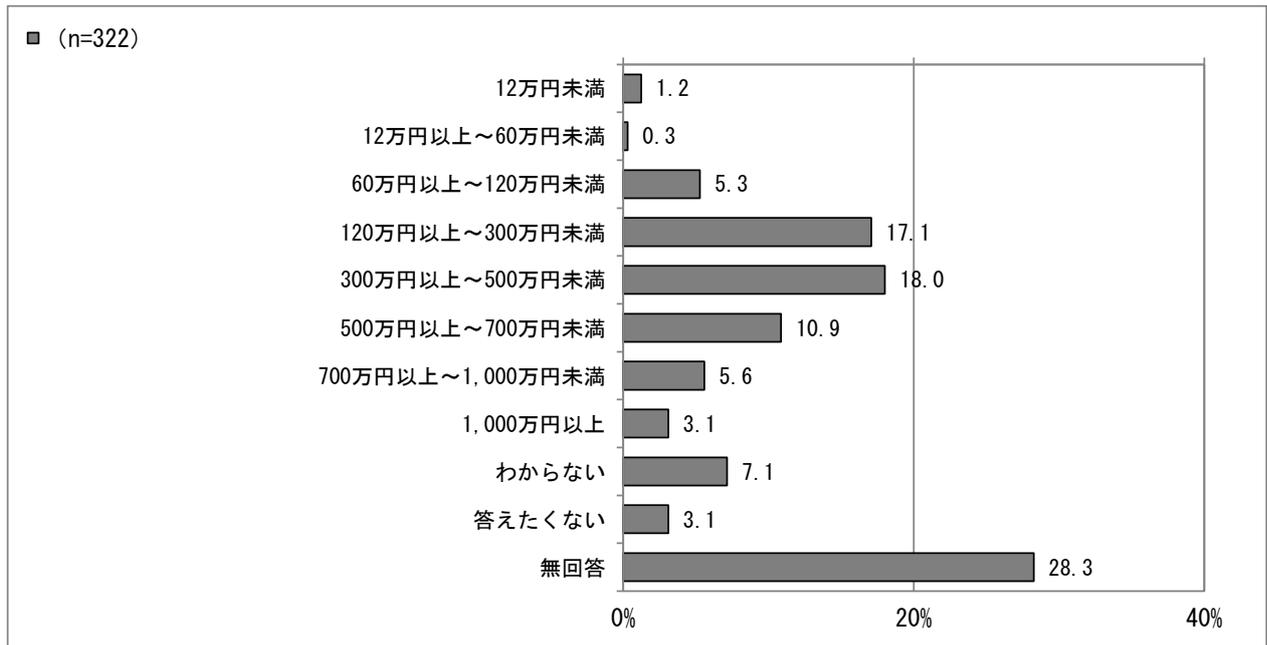
問13 所得についておたずねします。

(ア) あなたの年収（税込）はだいたいどのくらいですか。（SA）



年収は、「60万円以上～120万円未満」(24.2%)が最も高く、次いで「120万円以上～300万円未満」(22.7%)、「300万円以上～500万円未満」(9.9%)となっている。

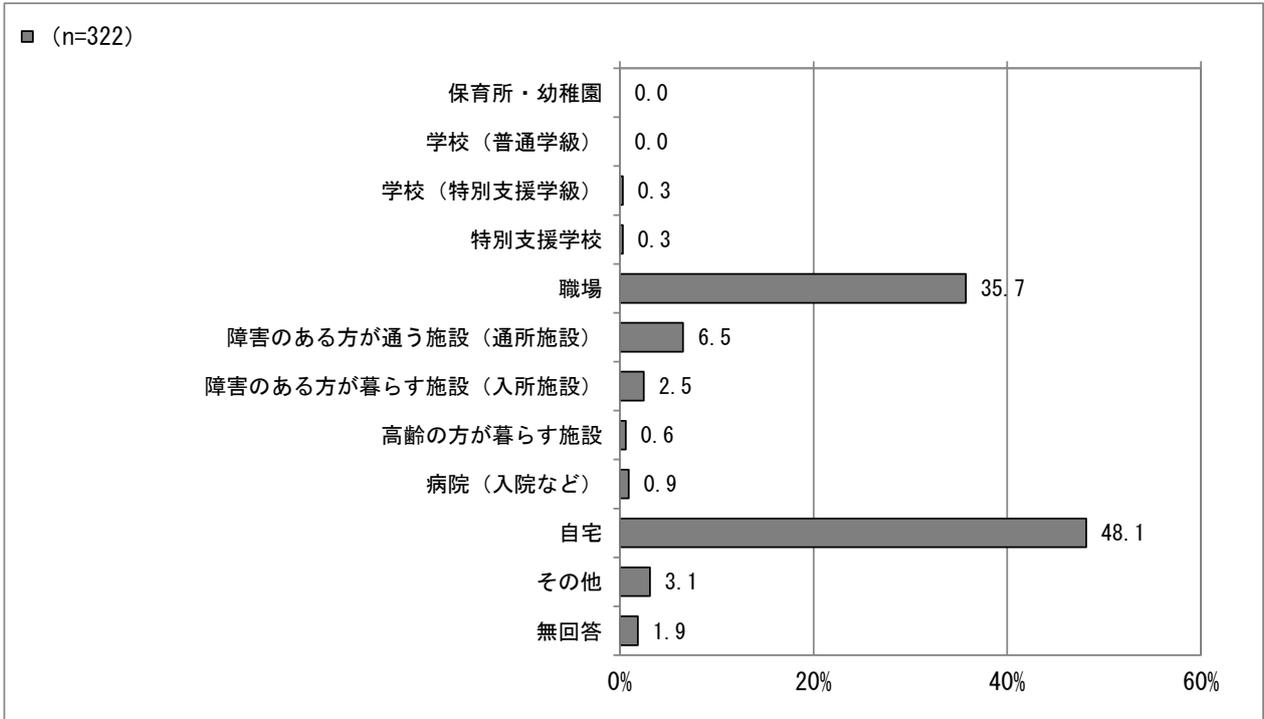
(イ) 一緒に暮らしている家族全体の年収(税込)はだいたいどのくらいですか。(本人の年収含む)(SA)



家族全体の年収は、「300万円以上～500万円未満」(18.0%)が最も高く、次いで「120万円以上～300万円未満」(17.1%)、「500万円以上～700万円未満」(10.9%)となっている。

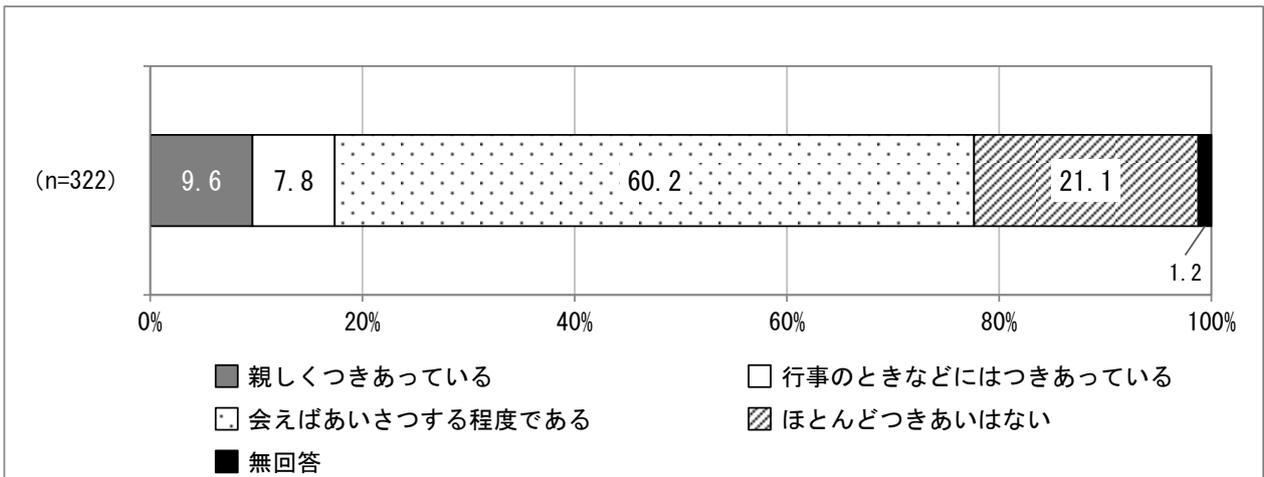
4 日常生活について

問 14 平日の日中の過ごし方についておたずねします。あなたが主に過ごしている場所はどこですか。(SA)



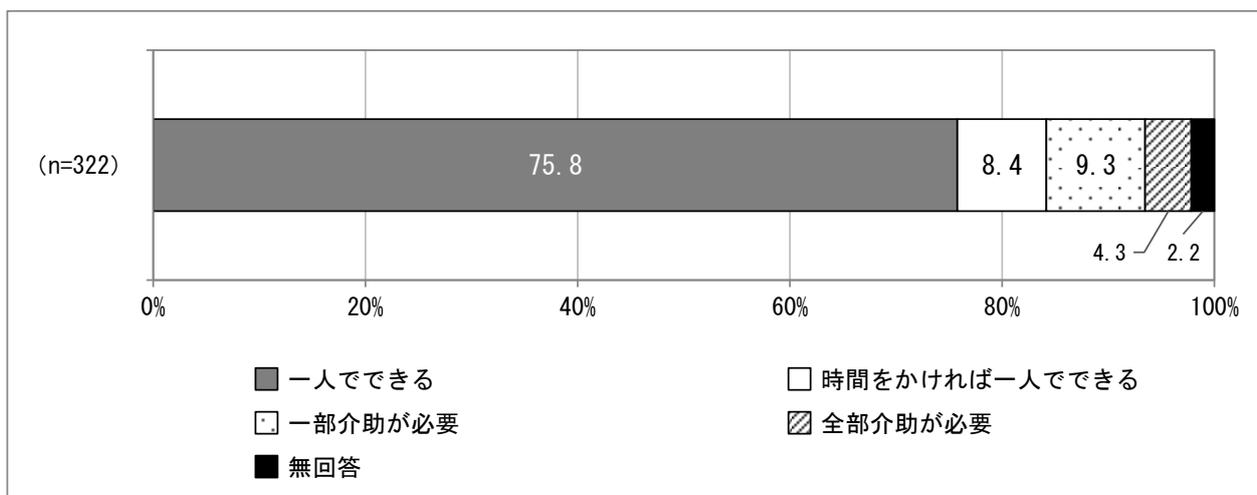
平日日中に主に過ごす場所は、「自宅」(48.1%)が最も高く、次いで「職場」(35.7%)、「障害のある方が通う施設 (通所施設)」(6.5%)となっている。

問 15 あなたは隣近所の人とどのようにつきあっていますか。(SA)



隣近所の人とのつきあいかたは、「会えばあいさつする程度である」(60.2%)、「ほとんどつきあいはない」(21.1%)となっている。

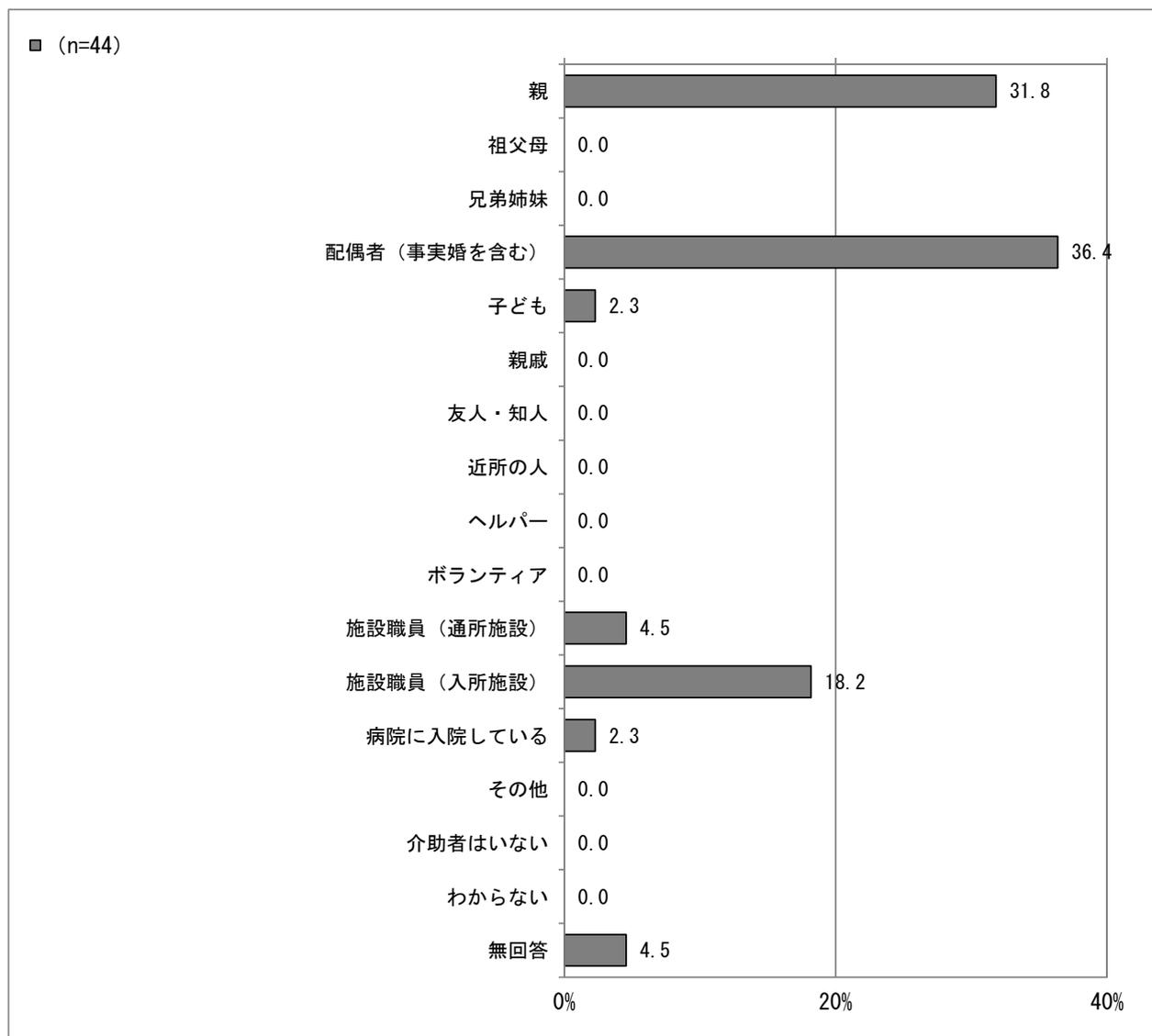
問 16 あなたは、食事や排泄など日常生活における動作を、自分ひとりでできますか。(現在所持している補装具などを使用した状態で回答) (SA)



自分ひとりでできる動作は、「一人でできる」(75.8%)、次いで「一部介助が必要」(9.3%)、「時間をかければ一人でできる」(8.4%)となっている。

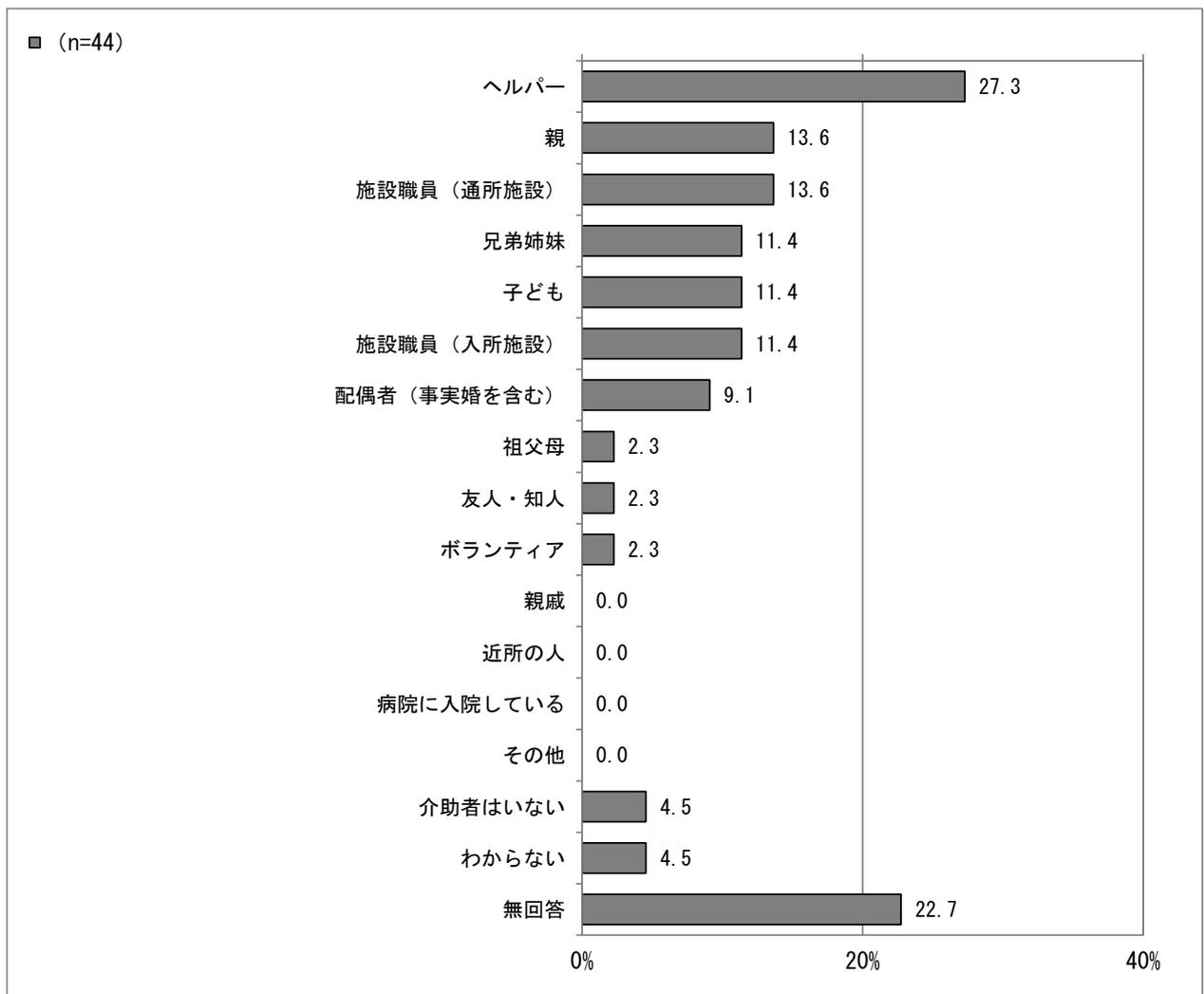
問17 問16で「一部介助が必要」または「全部介助が必要」を選んだ方におたずねします。

(ア) あなたの主な介助者は誰ですか。(SA)



主な介助者は、「配偶者（事実婚を含む）」（36.4%）が最も高く、次いで「親」（31.8%）、「施設職員（入所施設）」（18.2%）となっている。

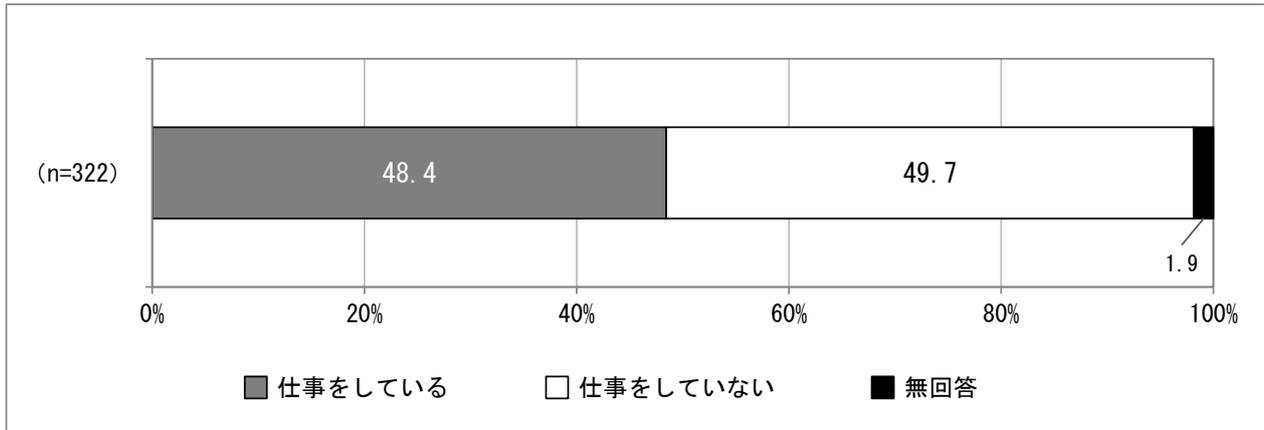
(イ) もし現在の介助者に頼むことができなくなったら、誰に頼みますか。(MA)



介助を頼む相手は、「ヘルパー」(27.3%)が最も高く、次いで「親」(13.6%)と「施設職員(通所施設)」(13.6%)、「兄弟姉妹」「子ども」「施設職員(入所施設)」(すべて11.4%)となっている。

## 5 就労の状況について

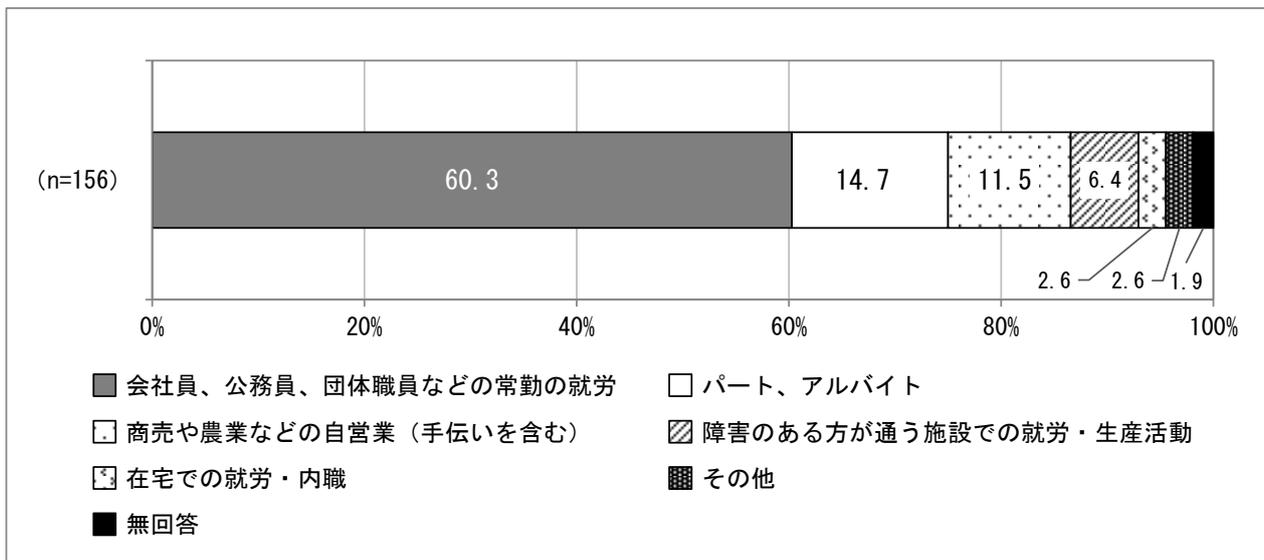
問18 現在、あなたは仕事をしていますか。(SA)



現在仕事は、「仕事をしている」(48.4%)、「仕事をしていない」(49.7%)となっている。

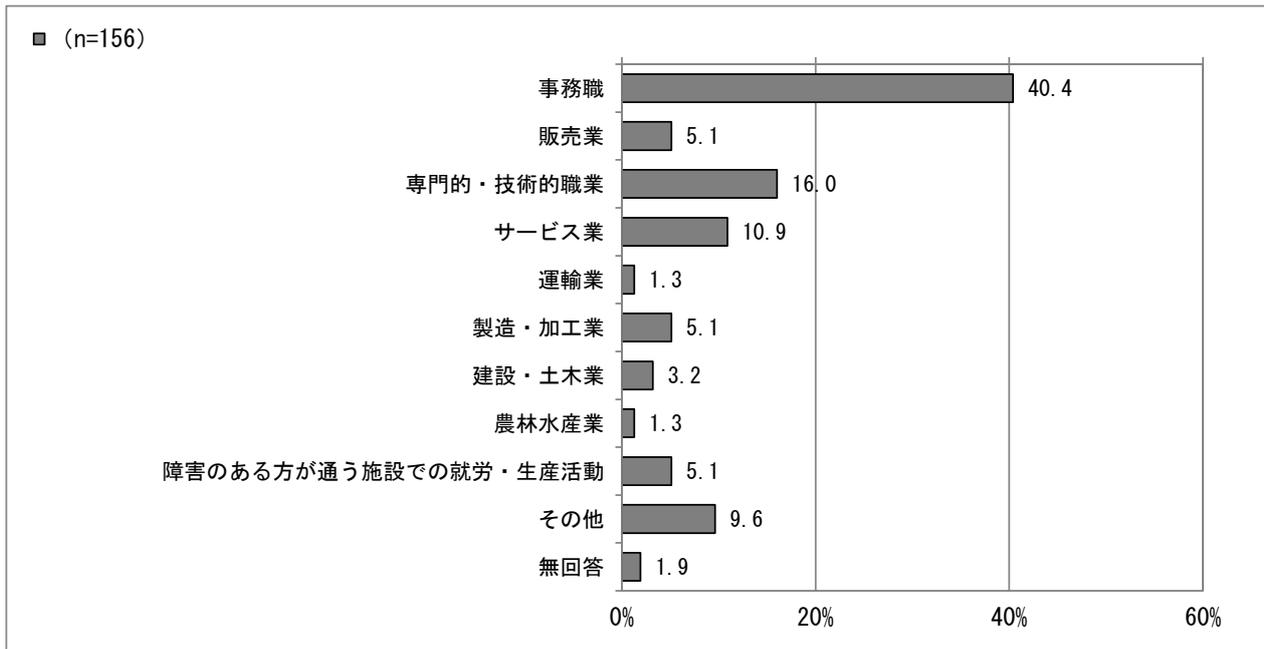
問19 問18で「仕事をしている」を選んだ方におたずねします。

(1) あなたは主にどのような仕事に就いていますか。(SA)



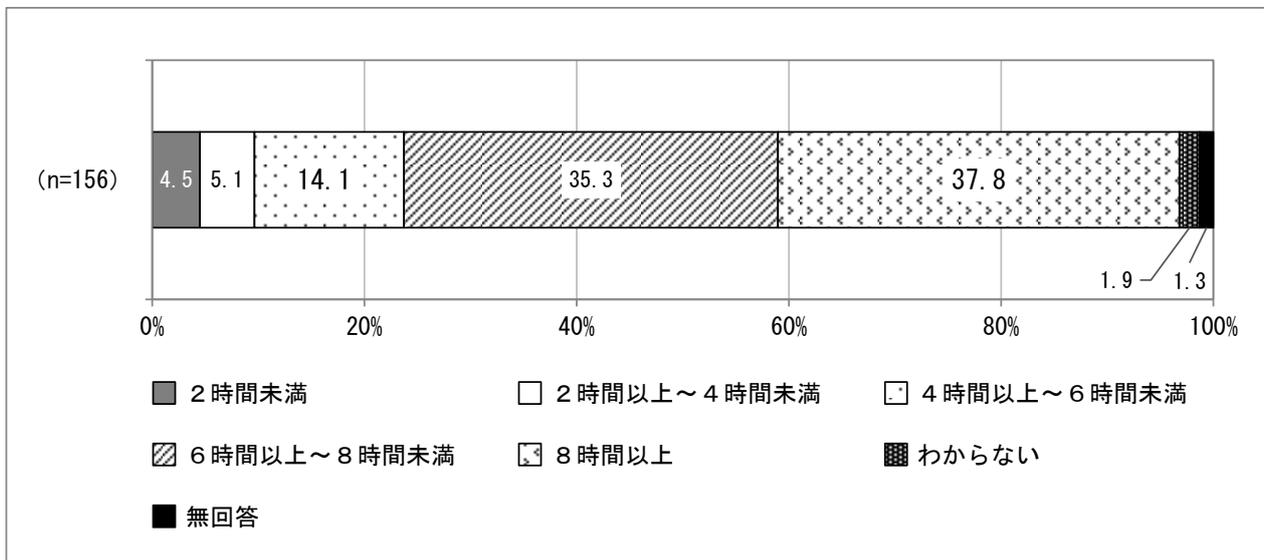
現在の仕事は、「会社員、公務員、団体職員などの常勤の就労」(60.3%)が最も高く、次いで「パート、アルバイト」(14.7%)、「商売や農業などの自営業(手伝いを含む)」(11.5%)となっている。

(2) あなたは主にどのような内容の仕事をしていますか。(SA)



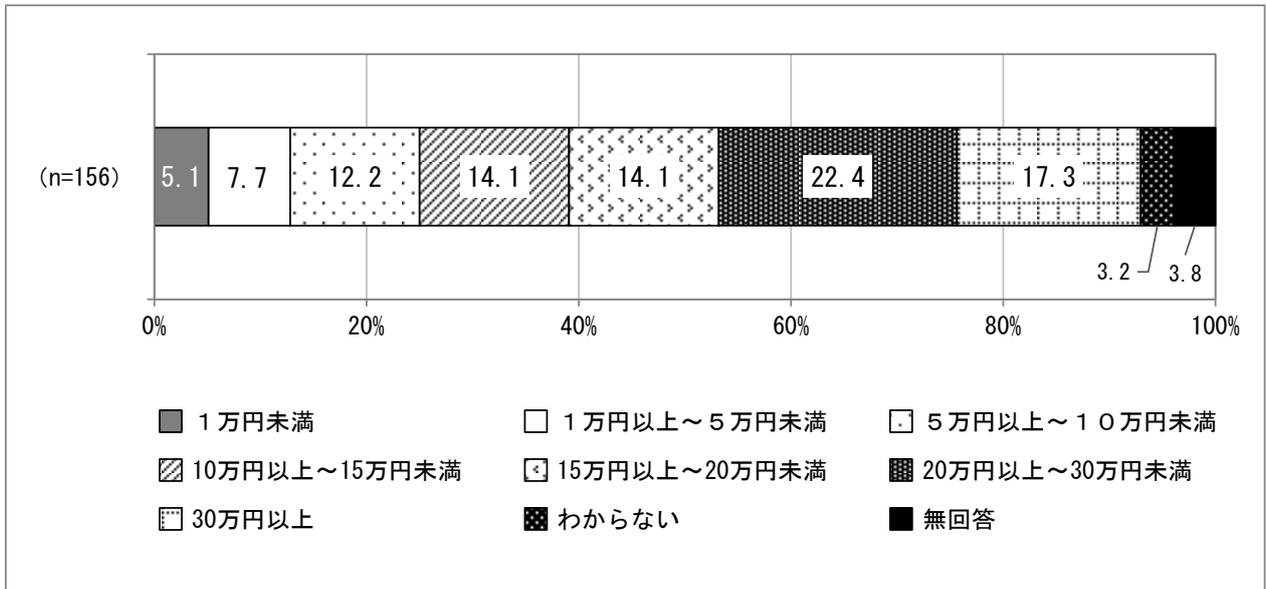
仕事の内容は、「事務職」(40.4%)が最も高く、次いで「専門的・技術的職業」(16.0%)、「サービス業」(10.9%)となっている。

(3) あなたの1日あたりの仕事の時間はどのくらいですか。(SA)



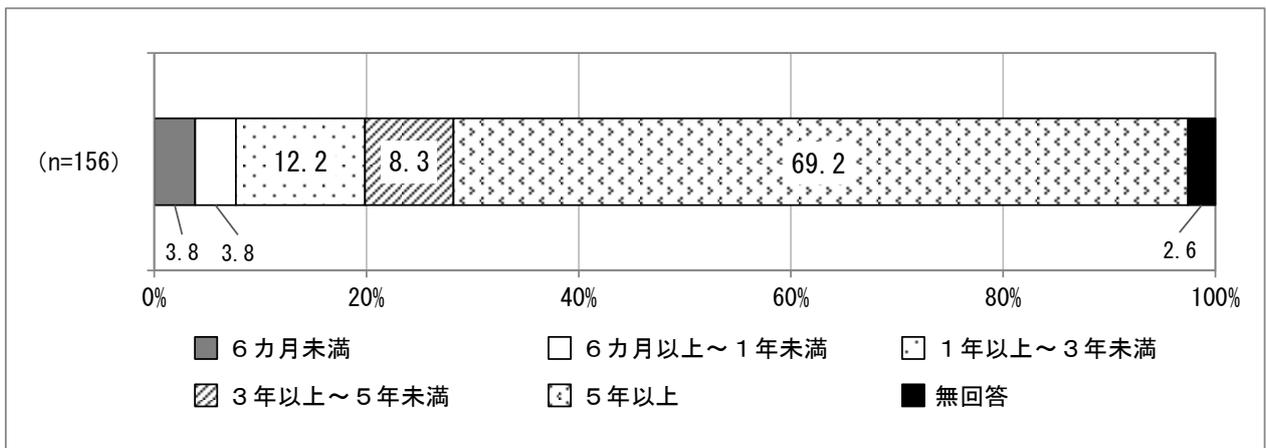
1日あたりの仕事の時間は、「8時間以上」(37.8%)が最も高く、次いで「6時間以上～8時間未満」(35.3%)、「4時間以上～6時間未満」(14.1%)となっている。

（4）あなたの仕事による収入は月額どのくらいですか。（SA）



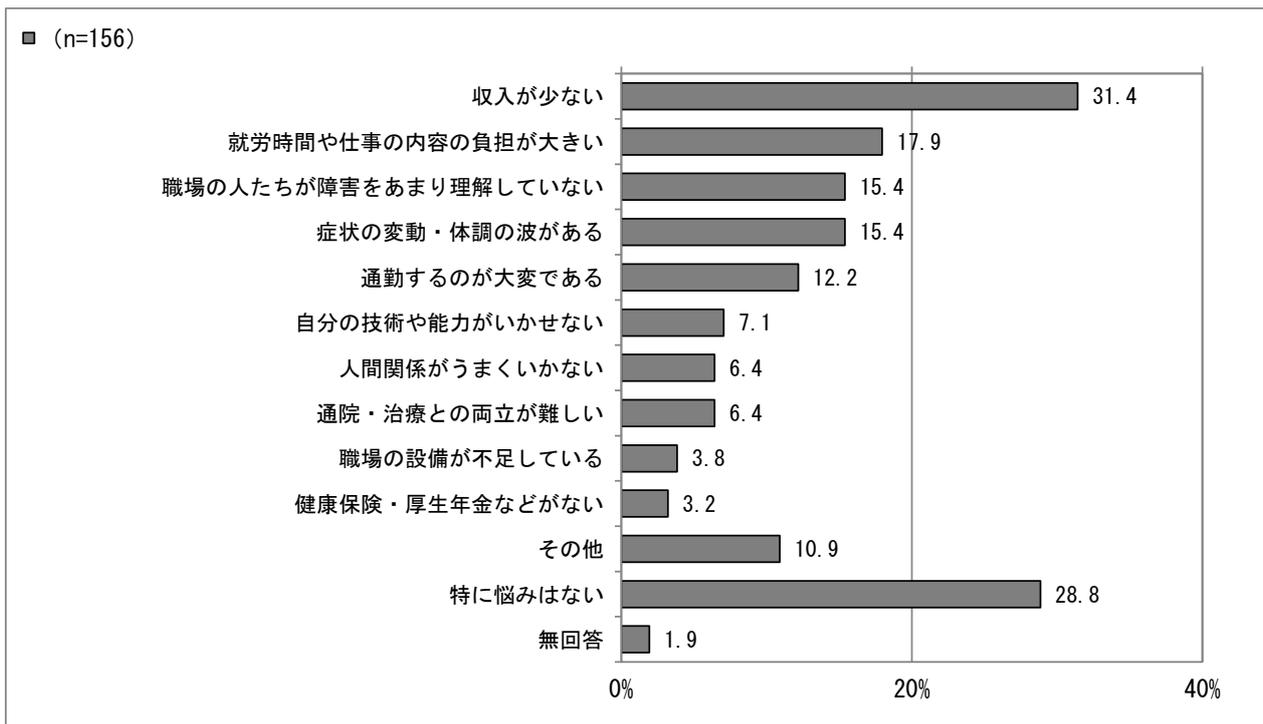
月額収入は、「20万円以上～30万円未満」（22.4%）が最も高く、次いで「30万円以上」（17.3%）、「10万円以上～15万円未満」と「15万円以上～20万円未満」がそれぞれ14.1%となっている。

（5）あなたは現在の仕事をどのくらいの期間続けていますか。（SA）



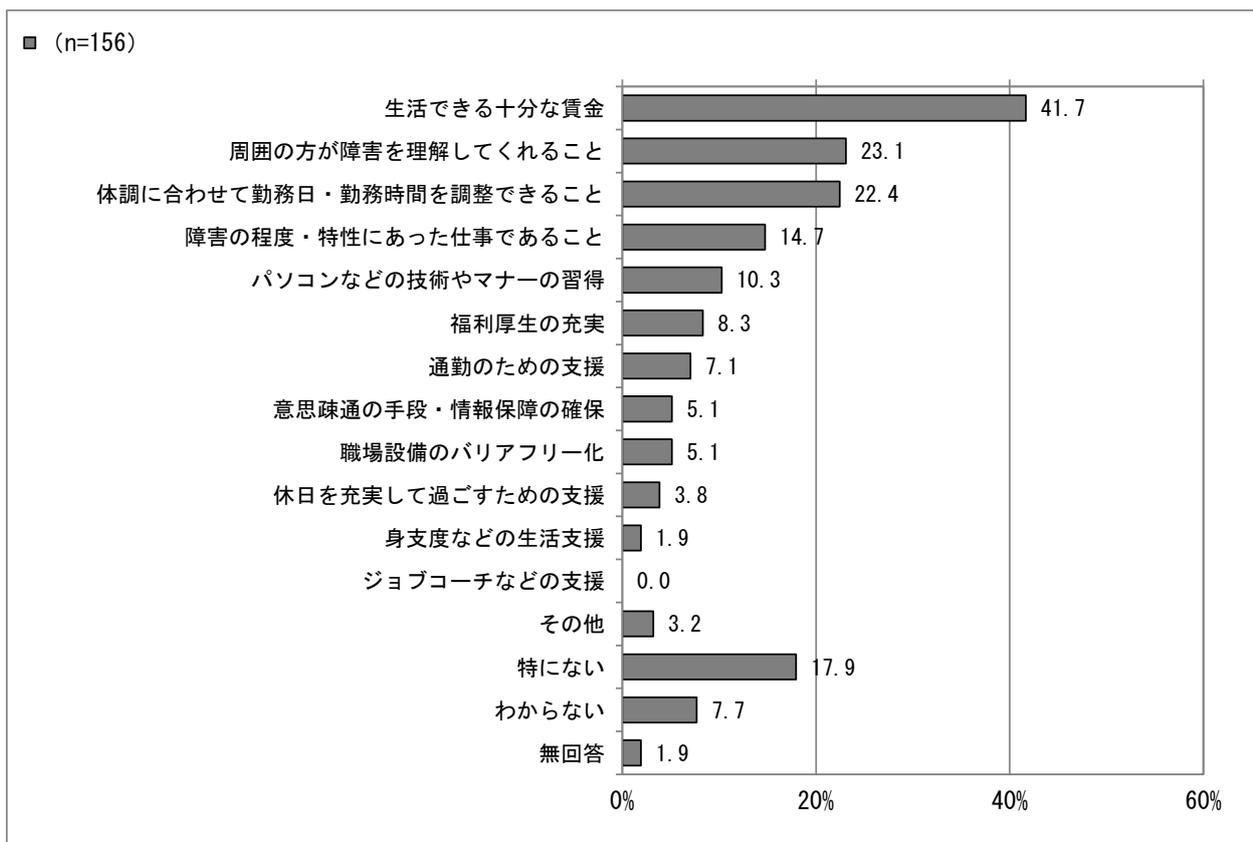
現在の仕事の期間は、「5年以上」（69.2%）が最も高く、次いで「1年以上～3年未満」（12.2%）、「3年以上～5年未満」（8.3%）となっている。

(6) あなたは仕事をしている上で、何か悩みや不満などがありますか。(MA)



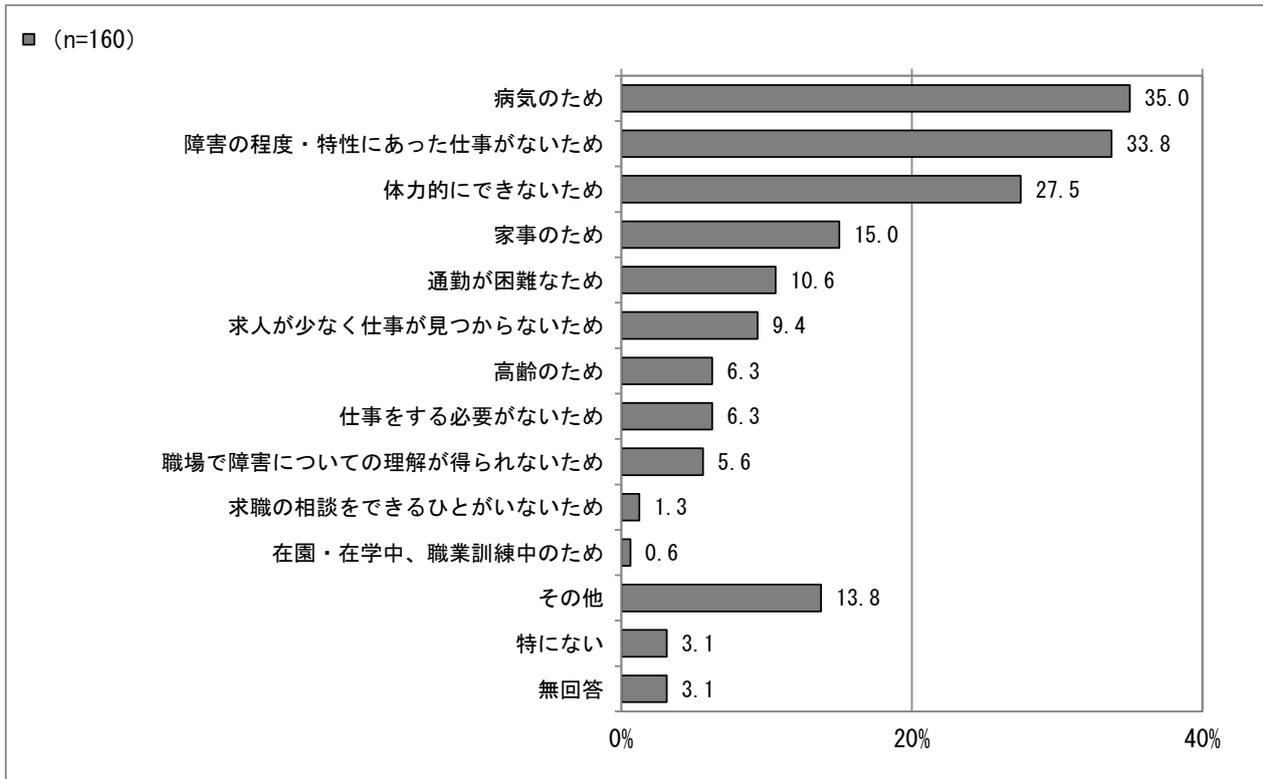
仕事をしている上での悩みや不満は、「収入が少ない」(31.4%)が最も高く、次いで「特に悩みはない」(28.8%)、「就労時間や仕事の内容の負担が大きい」(17.9%)となっている。

## (7) あなたが仕事を続けるためには何が必要ですか。(MA)



仕事を続けるために必要なものは、「生活できる十分な賃金」(41.7%)が最も高く、次いで「周囲の方が障害を理解してくれること」(23.1%)、「体調に合わせて勤務日・勤務時間を調整できること」(22.4%)となっている。

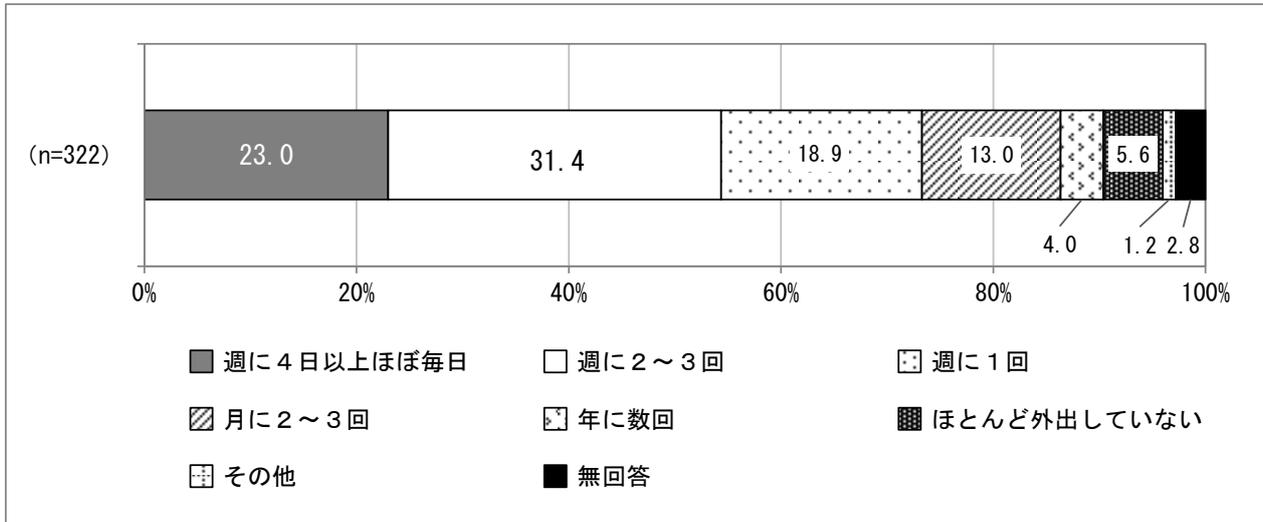
問 20 問 18 で「仕事をしていない」を選んだ方におたずねします。現在、あなたが仕事をしていない理由は何ですか。(MA)



現在仕事をしていない理由は、「病気のため」(35.0%) が最も高く、次いで「障害の程度・特性にあった仕事がないため」(33.8%)、「体力的にできないため」(27.5%) となっている。

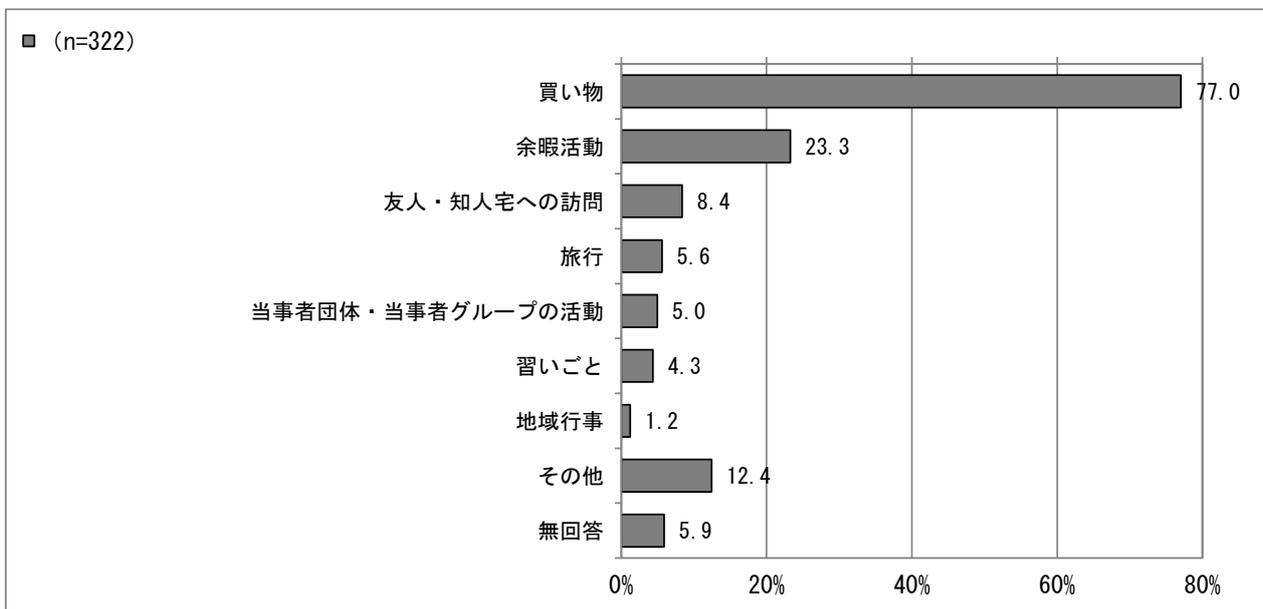
## 6 社会参加について

問21 あなたはどのくらいの頻度で外出していますか。(SA)



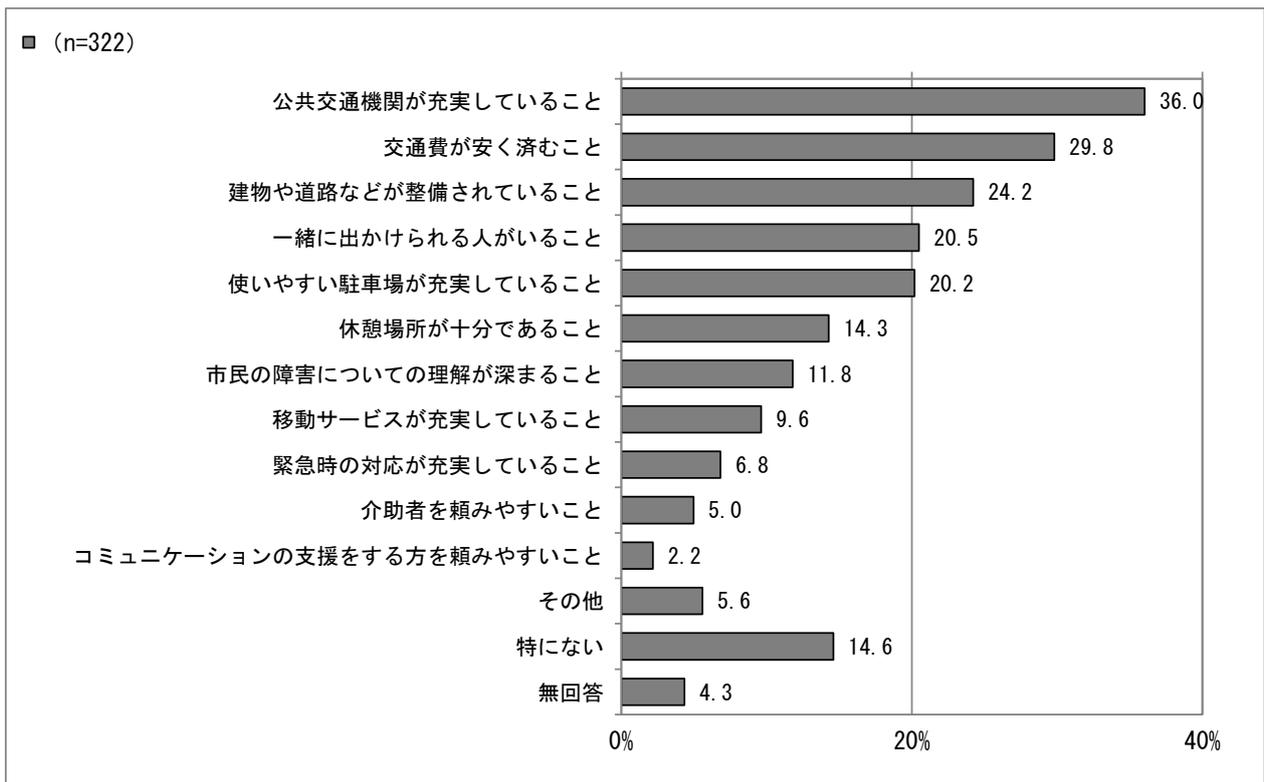
外出頻度は、「週に2~3回」(31.4%)が最も高く、次いで「週に4日以上ほぼ毎日」(23.0%)、「週に1回」(18.9%)となっている。

問22 あなたの主な外出の目的は何ですか。(MA)



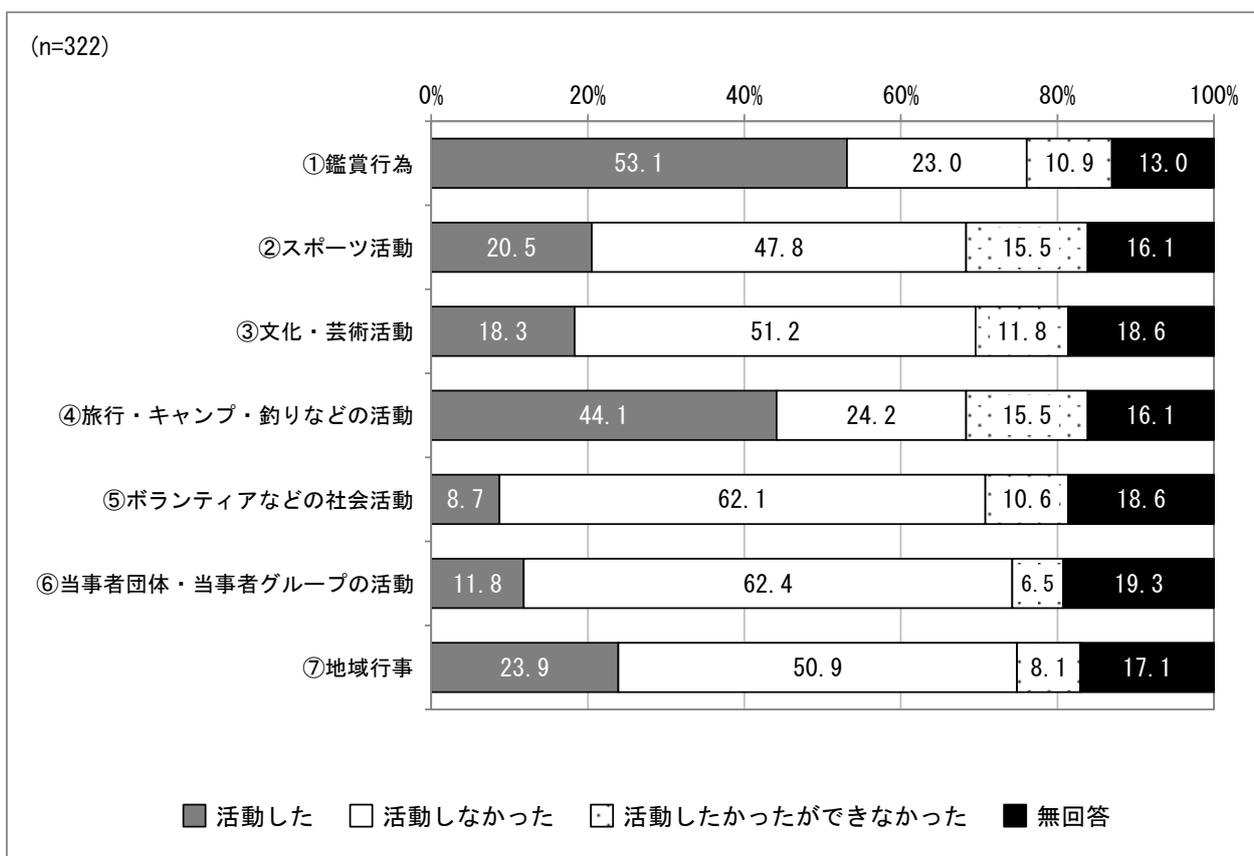
主な外出の目的は、「買い物」(77.0%)が最も高く、次いで「余暇活動」(23.3%)、「その他」(12.4%)となっている。

問 23 あなたがより外出しやすくなるためには何が必要ですか。(MA)



より外出しやすくなるために必要なものは、「公共交通機関が充実していること」(36.0%)が最も高く、次いで「交通費が安く済むこと」(29.8%)、「建物や道路などが整備されていること」(24.2%)となっている。

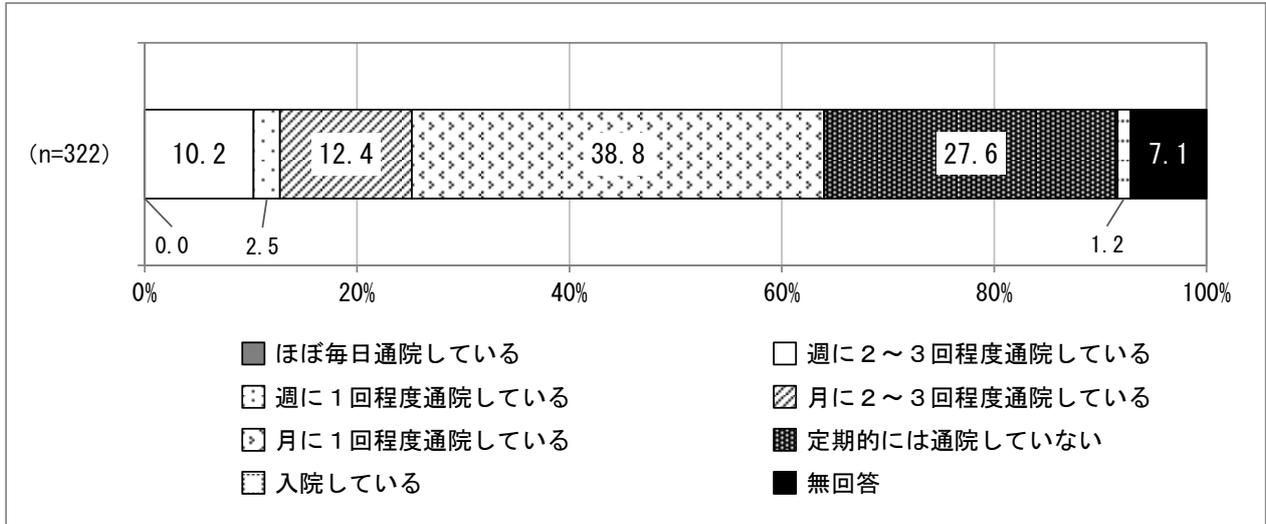
問 24 あなたは過去一年間に、どのような余暇活動、スポーツ、趣味、学習や社会活動などをしましたか。(SA)



過去一年間に行った活動などは、「①鑑賞行為」(53.1%)が最も高く、次いで「④旅行・キャンプ・釣りなどの活動」(44.1%)、「⑦地域行事」(23.9%)となっている。

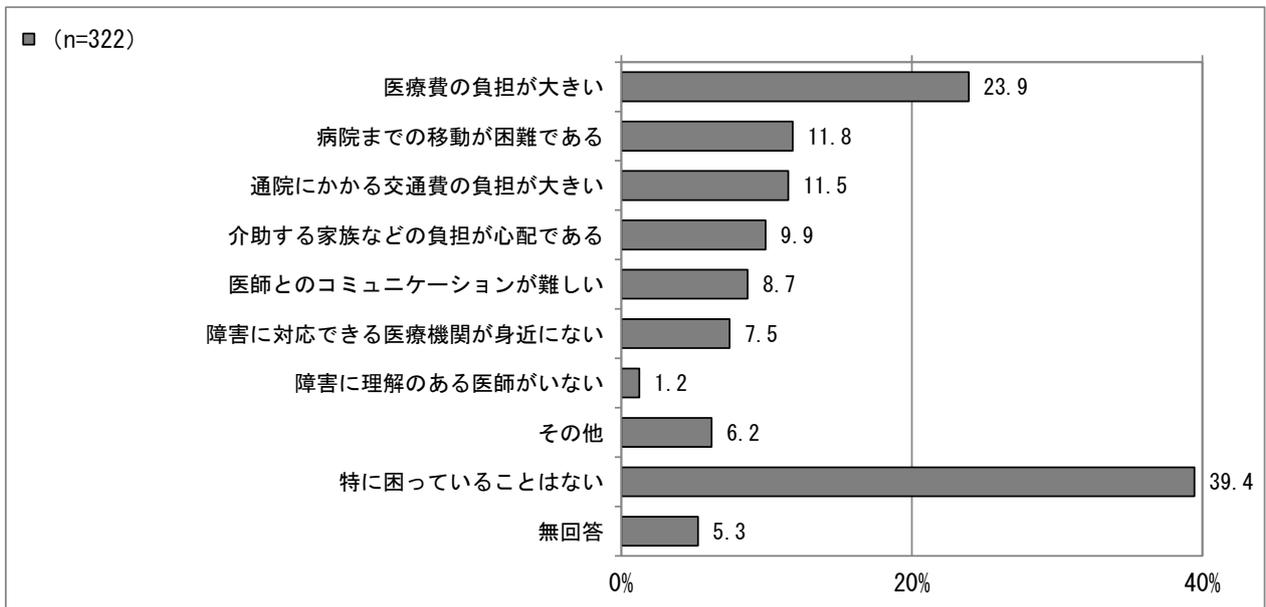
## 7 健康や医療について

問 25 あなたは普段、定期的に通院していますか。(SA)



定期的な通院は、「月に1回程度通院している」(38.8%)が最も高く、次いで「定期的には通院していない」(27.6%)、「月に2~3回程度通院している」(12.4%)となっている。

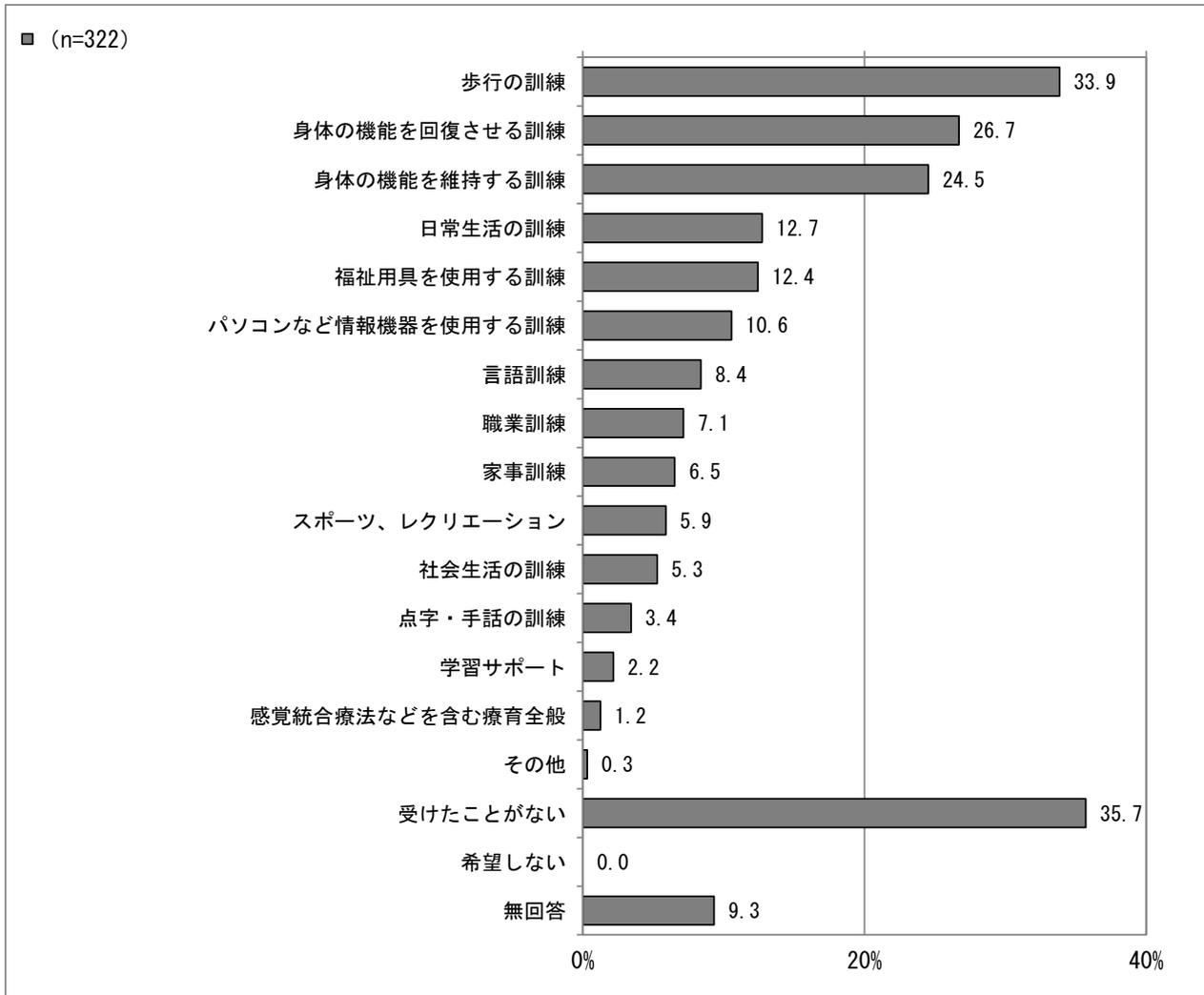
問 26 あなたが医療機関を利用する際に困っていることは何ですか。(MA)



医療機関利用時に困っていることは、「特に困っていることはない」(39.4%)が最も高く、次いで「医療費の負担が大きい」(23.9%)、「病院までの移動が困難である」(11.8%)となっている。

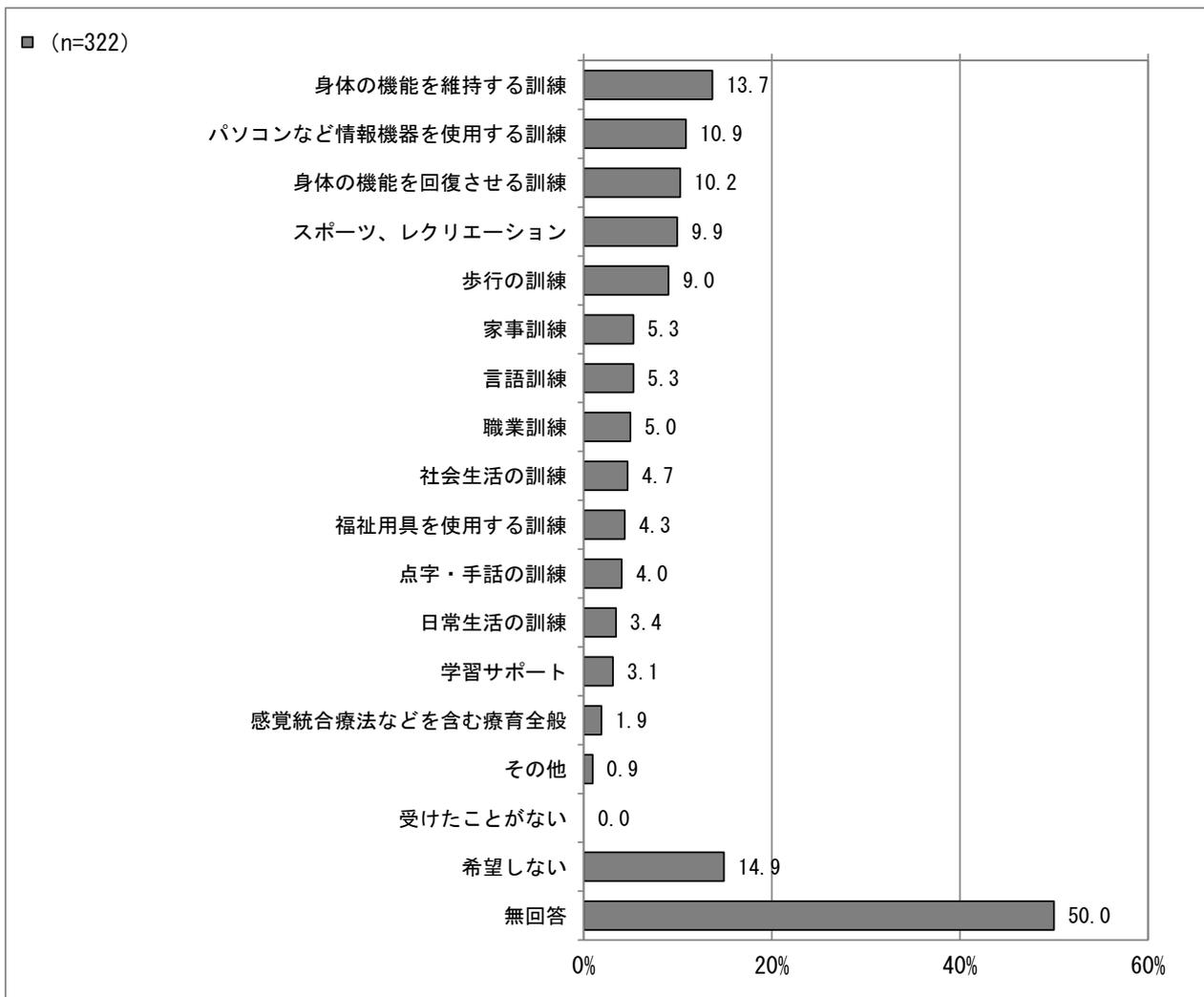
問27 訓練などについておたずねします。

(ア) あなたは、どのような訓練・リハビリテーション・療育を受けたことがありますか。  
(MA)



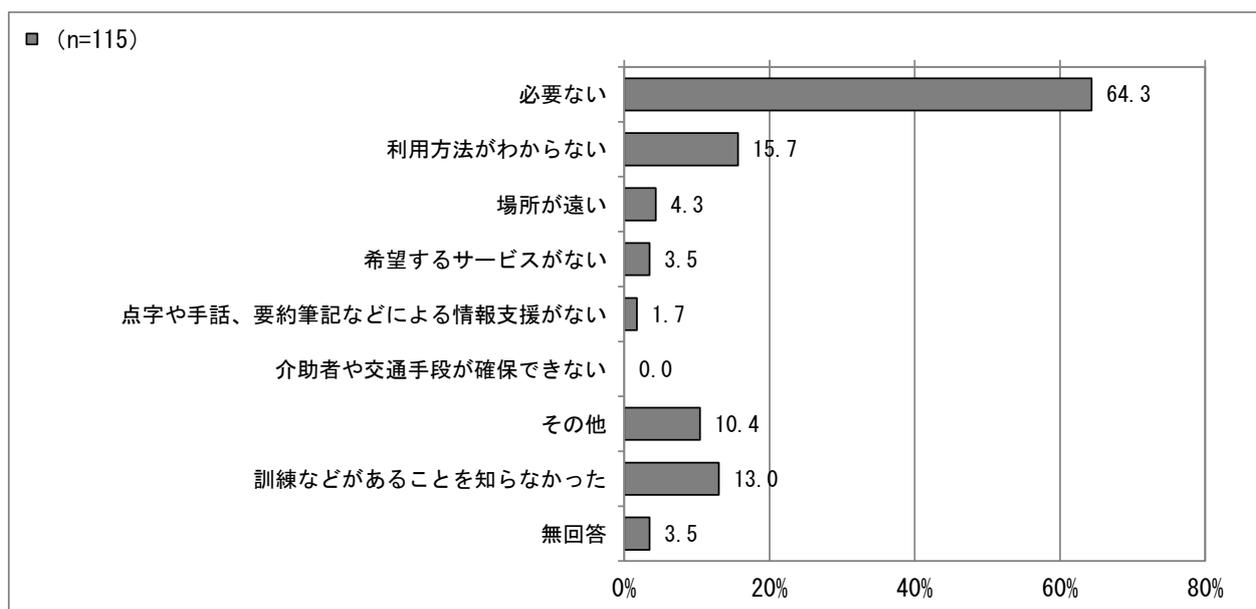
受けたことのある訓練などは、「受けたことがない」(35.7%)が最も高く、次いで「歩行の訓練」(33.9%)、「身体の機能を回復させる訓練」(26.7%)となっている。

(イ) 今後どのような訓練・リハビリテーション・療育を受けたいと思いますか。(MA)



今後受けたい訓練などは、「希望しない」(14.9%)が最も高く、次いで「身体の機能を維持する訓練」(13.7%)、「パソコンなど情報機器を使用する訓練」(10.9%)となっている。

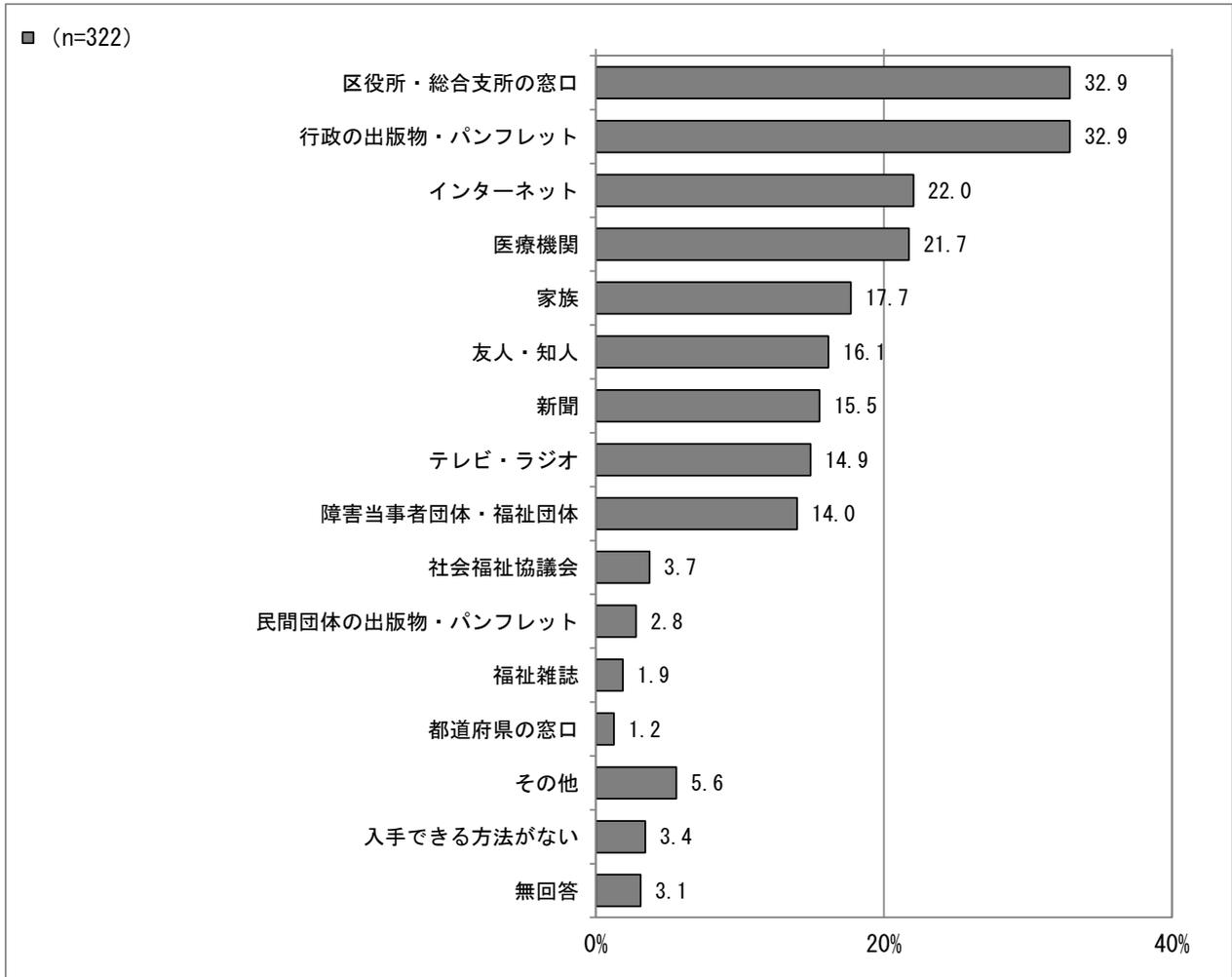
問28 問27で「受けたことがない」を選んだ方におたずねします。受けたことがない理由は何ですか。(MA)



受けたことがない理由は、「必要ない」(64.3%)が最も高く、次いで「利用方法がわからない」(15.7%)、「訓練などがあることを知らなかった」(13.0%)となっている。

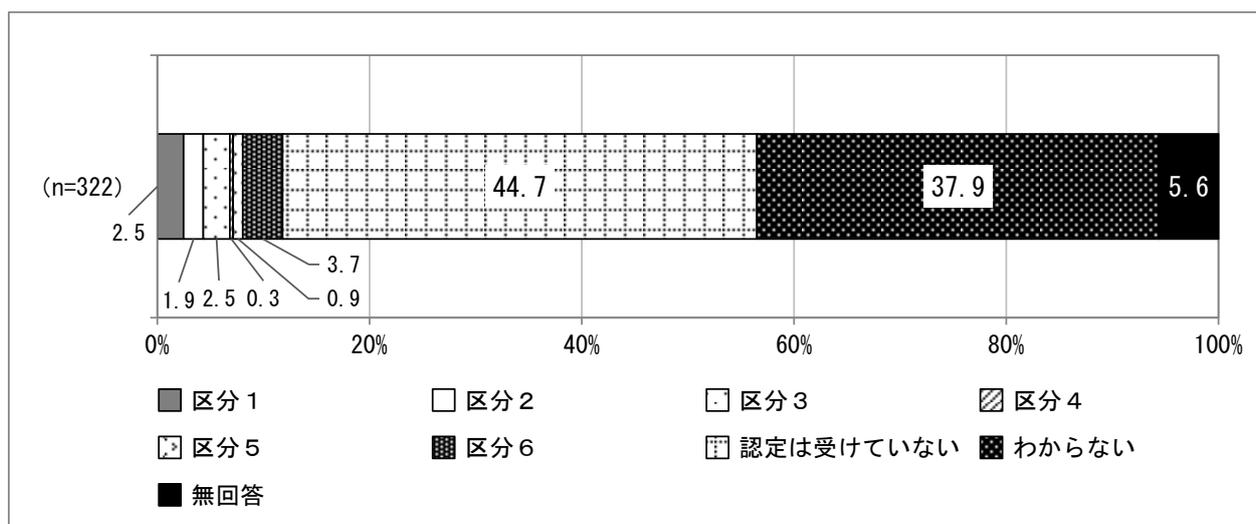
## 8 福祉サービスについて

問 29 あなたはどのようなところから福祉サービスの情報を得ていますか。(MA)



情報の入手先は、「区役所・総合支所の窓口」と「行政の出版物・パンフレット」がともに32.9%と最も高く、次いで「インターネット」(22.0%)、「医療機関」(21.7%)となっている。

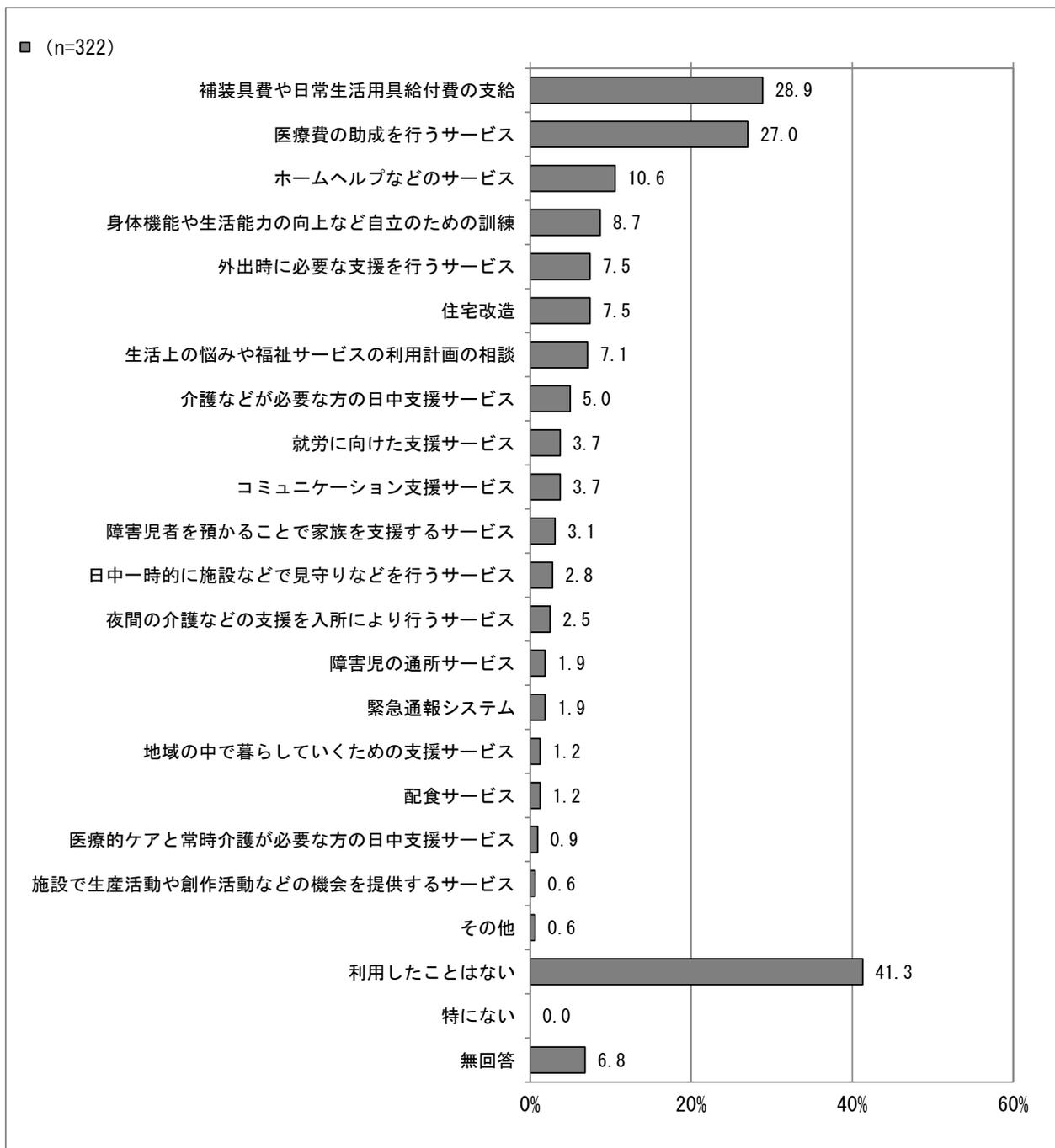
問 30 あなたは「障害のある方の福祉サービス」を利用するための、障害支援区分認定を受けていますか。(SA)



区分認定は、「認定は受けていない」(44.7%)が最も高く、次いで「わからない」(37.9%)、「区分6」(3.7%)となっている。

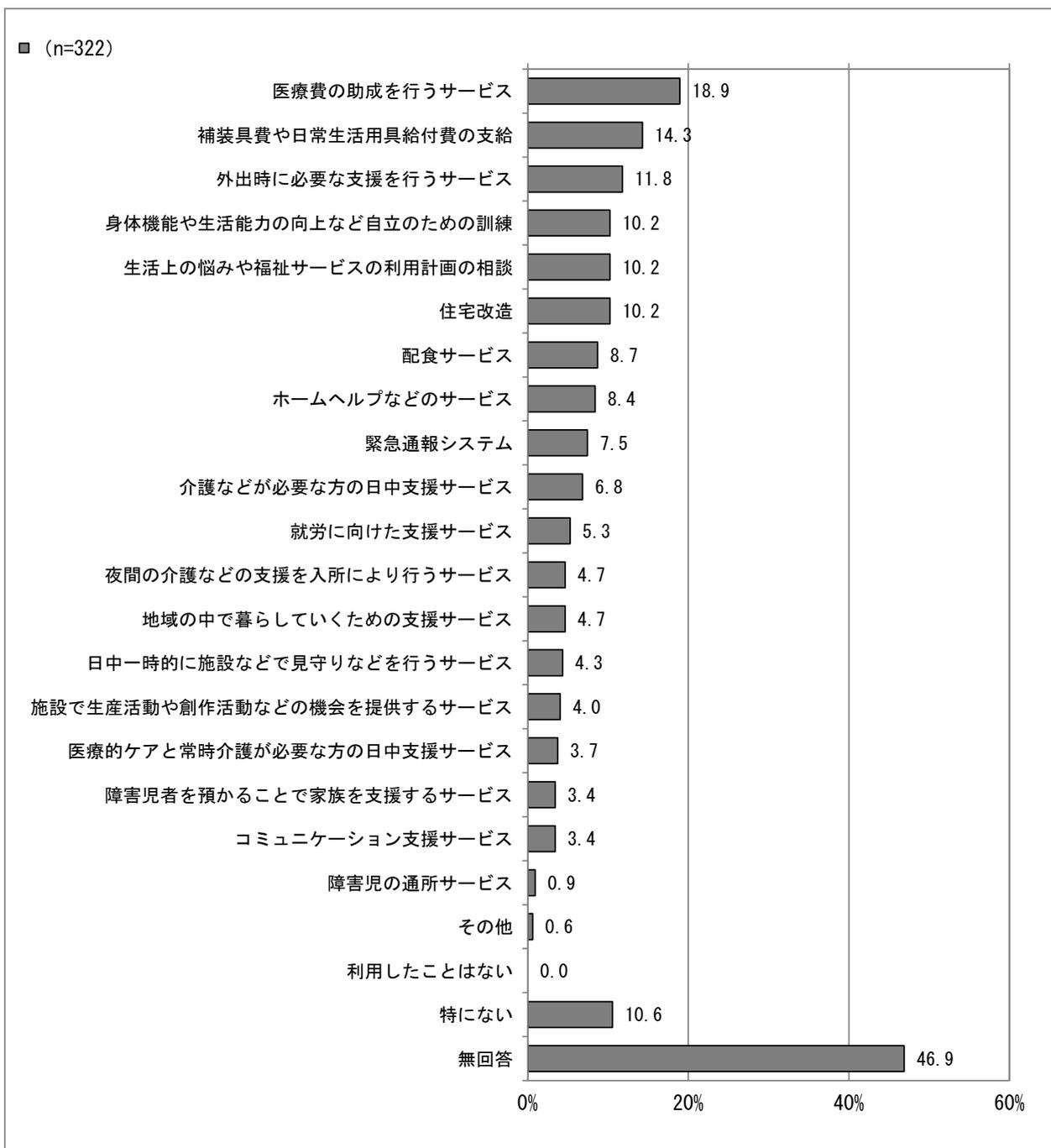
問 31 「障害のある方の福祉サービス」についておたずねします。

(ア) あなたはこれまでにどのようなサービスを利用したことがありますか。(MA)



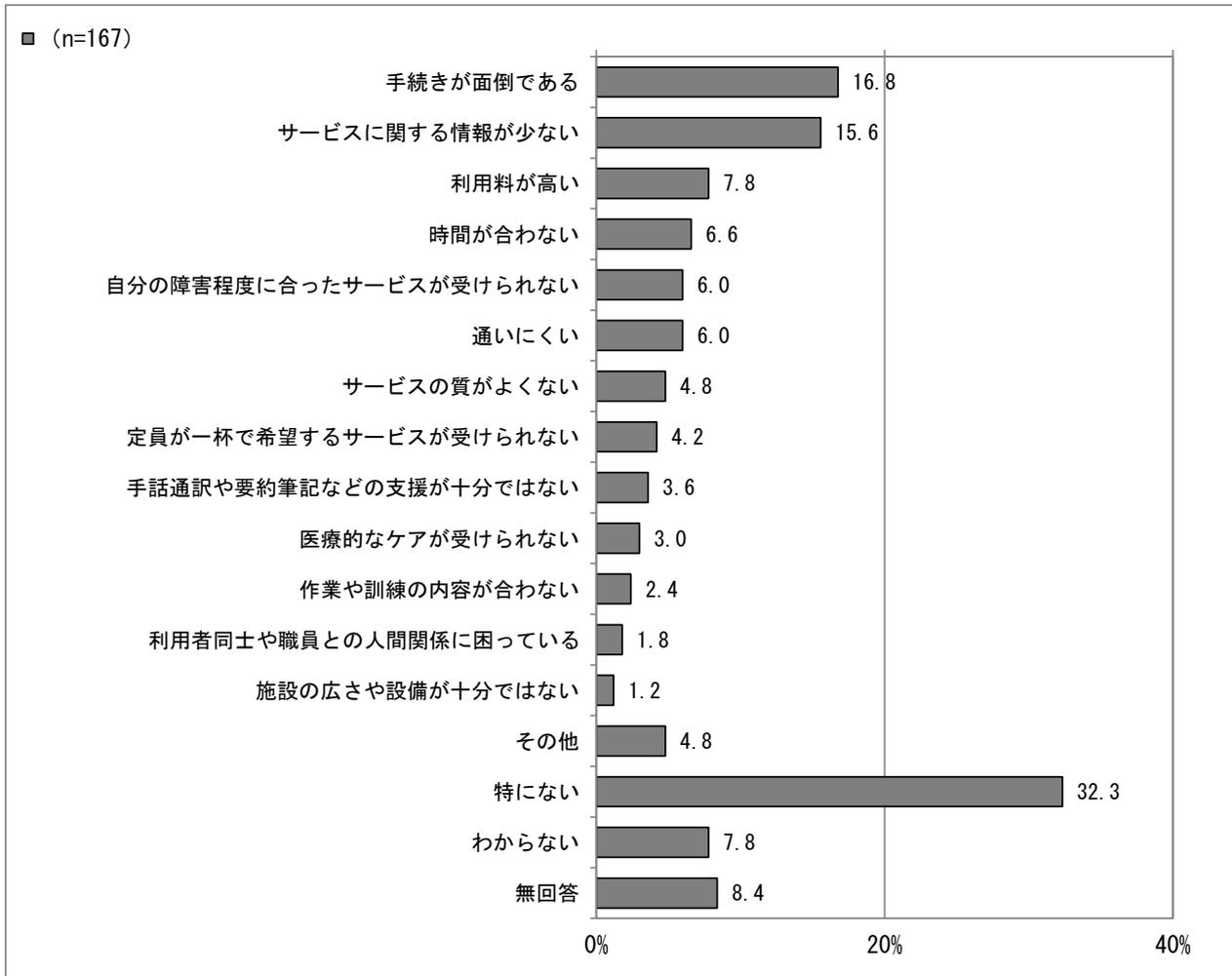
これまで利用したことのあるサービスは、「利用したことはない」(41.3%)が最も高く、次いで「補装具費や日常生活用具給付費の支給」(28.9%)、「医療費の助成を行うサービス」(27.0%)となっている。

## (イ) 今後、あなたが利用したいと思うサービスは何ですか。(MA)



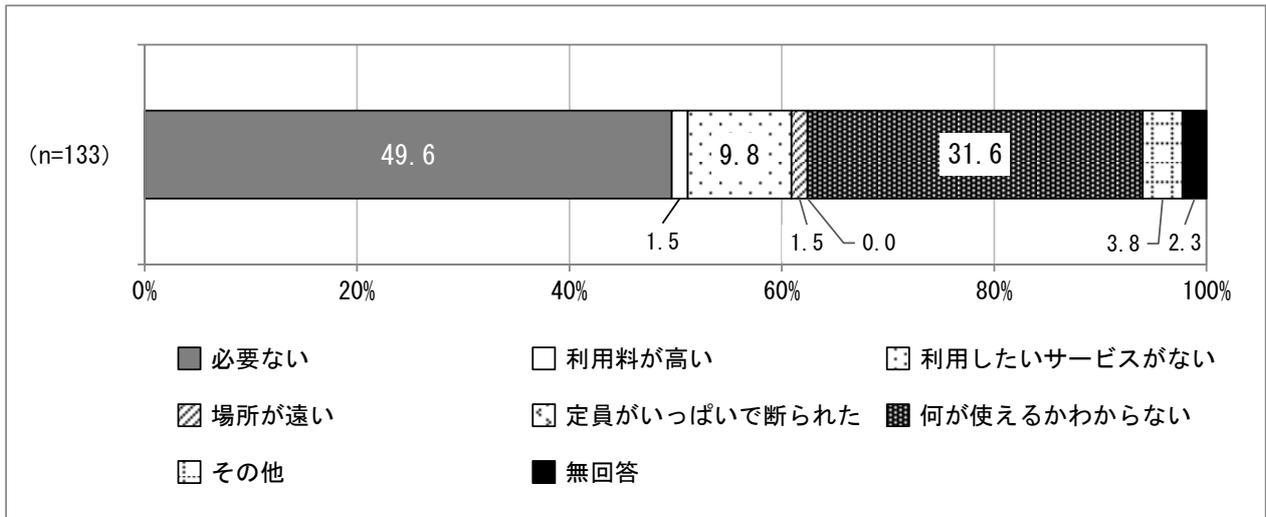
今後利用したいサービスは、「医療費の助成を行うサービス」(18.9%)が最も高く、次いで「補装具費や日常生活用具給付費の支給」(14.3%)、「外出時に必要な支援を行うサービス」(11.8%)となっている。

問 32 問 31 で「特にない」以外のどれかひとつでも選んだ方におたずねします。あなたが「障害のある方の福祉サービス」を利用するにあたって困っていることは何ですか。(MA)



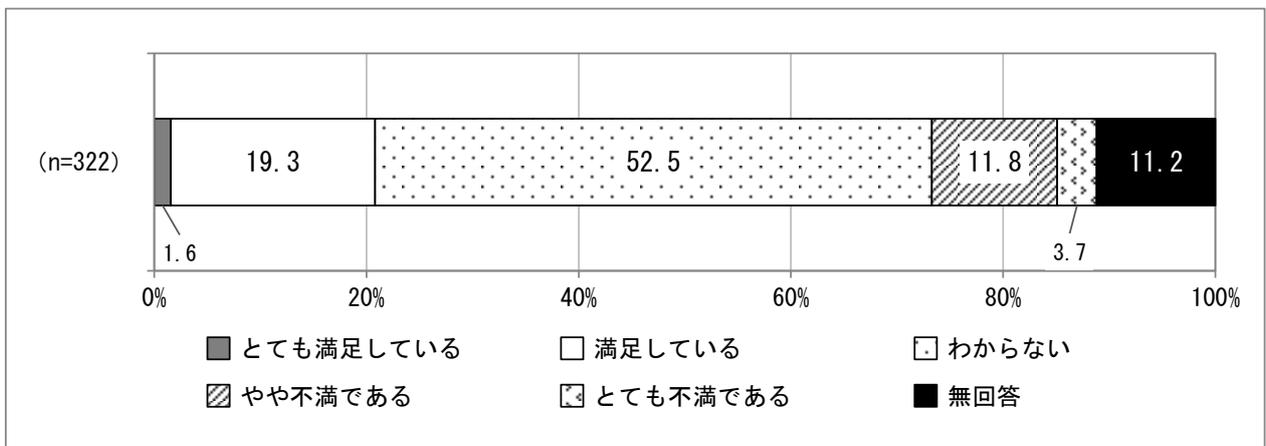
障害のある方の福祉サービスの利用にあたり困っていることは、「特にない」(32.3%)が最も高く、次いで「手続きが面倒である」(16.8%)、「サービスに関する情報が少ない」(15.6%)となっている。

問 33 問 31 で「利用したことがない」を選んだ方におたずねします。利用したことがない理由は何ですか。(SA)



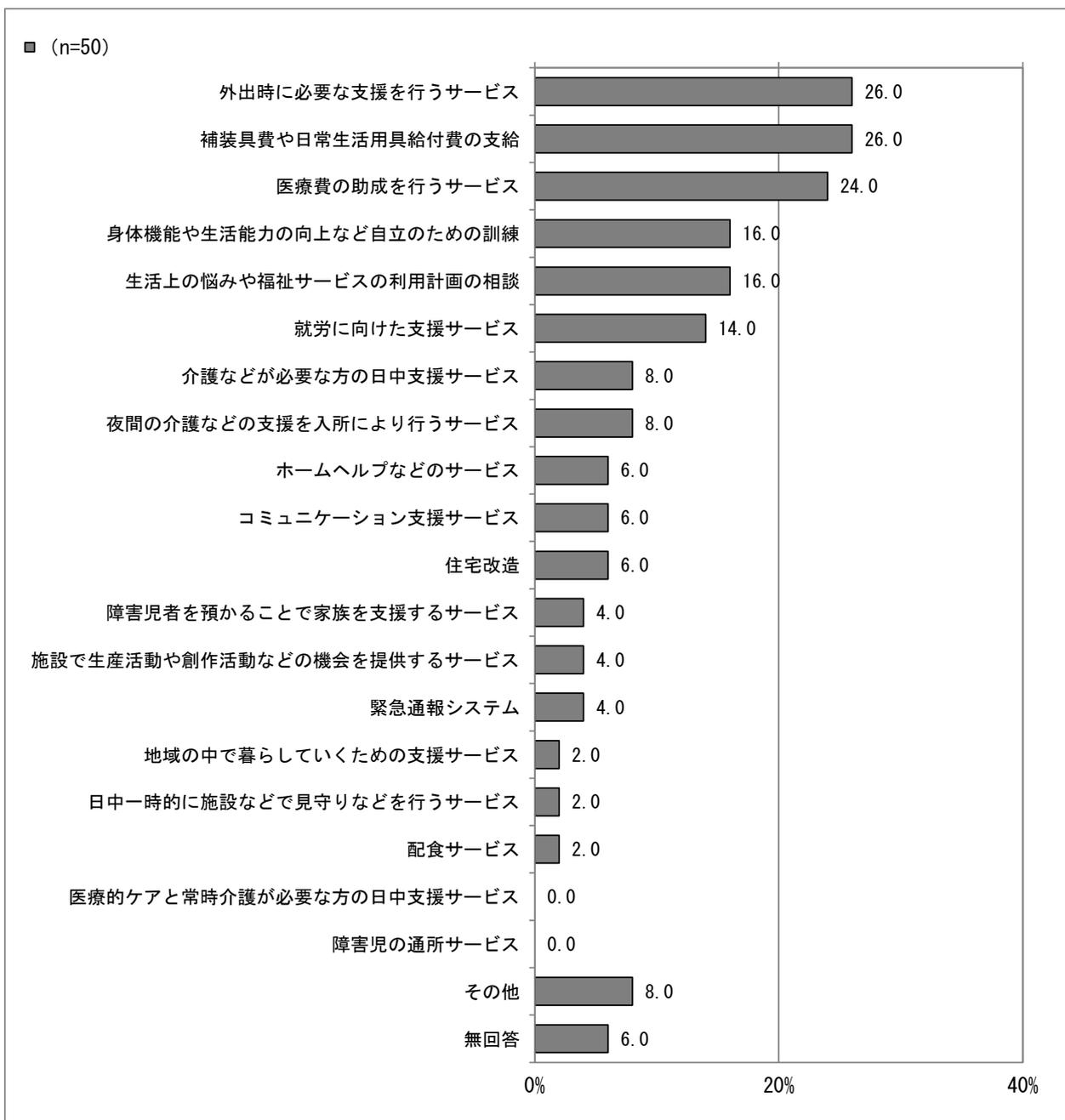
利用したことがない理由は、「必要ない」(49.6%)が最も高く、次いで「何が使えるかわからない」(31.6%)、「利用したいサービスがない」(9.8%)となっている。

問 34 現在、あなたは仙台市にある「障害のある方の福祉サービス」に満足していますか。(SA)



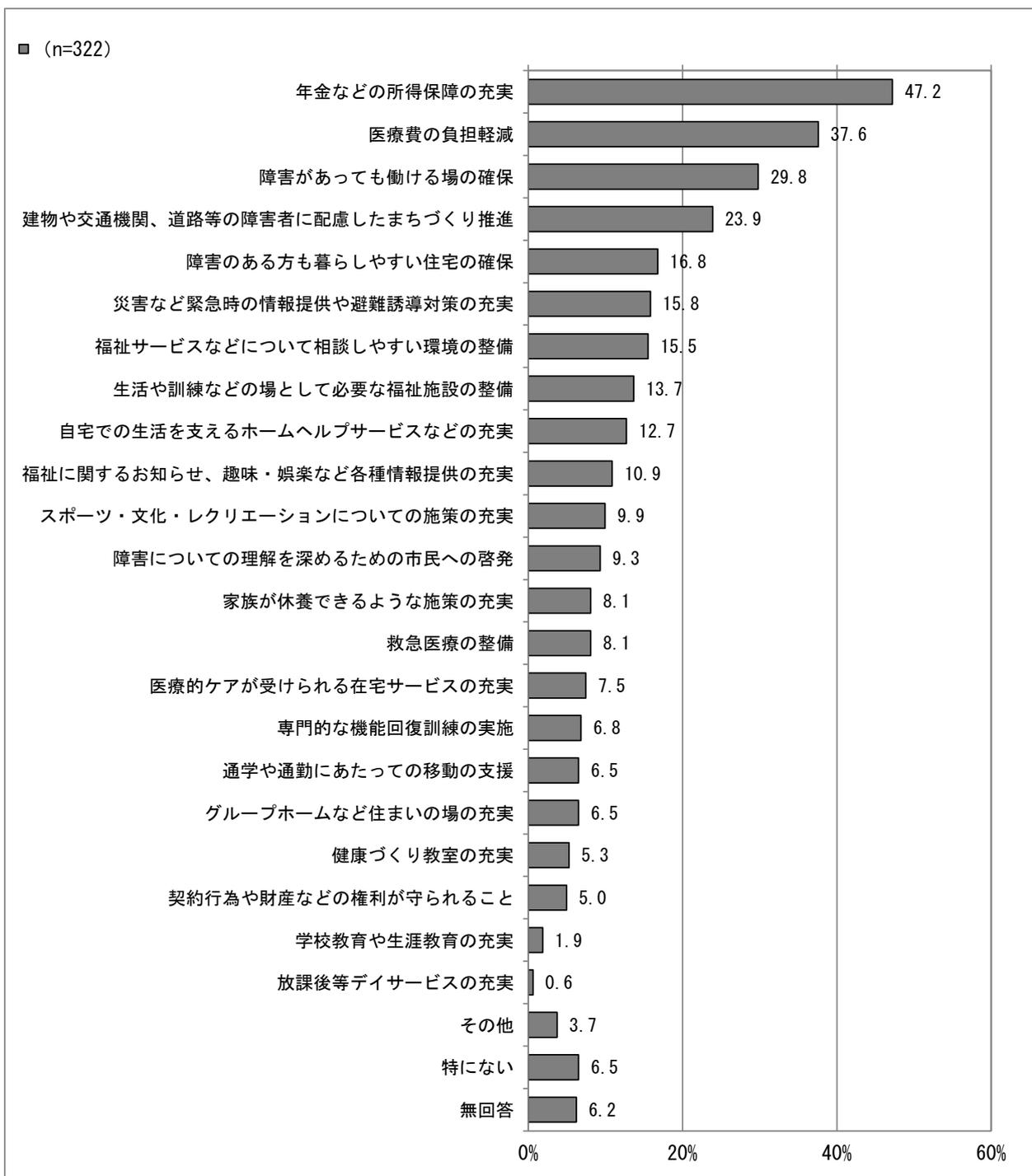
市の「障害のある方の福祉サービス」について、「わからない」(52.5%)が最も高く、次いで「満足している」(19.3%)、「やや不満である」(11.8%)となっている。

問 35 問 34 で「やや不満である」「とても不満である」を選んだ方におたずねします。特にどのような福祉サービスに不満を感じていますか。(MA)



不満のある福祉サービスは、「外出時に必要な支援を行うサービス」と「補装具費や日常生活用具給付費の支給」がともに26.0%と最も高く、次いで「医療費の助成を行うサービス」(24.0%)、「身体機能や生活能力の向上など自立のための訓練」と「生活上の悩みや福祉サービスの利用計画の相談」がともに16.0%となっている。

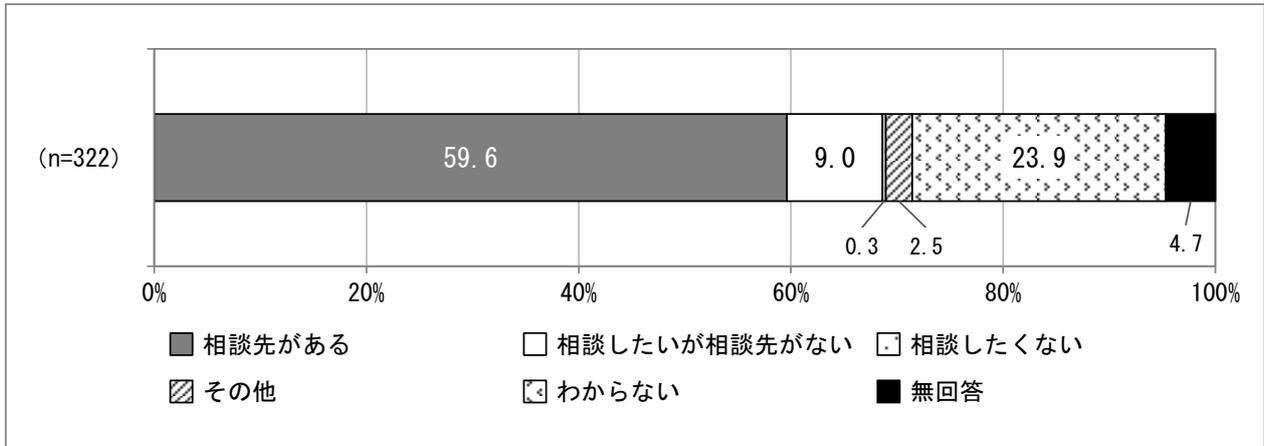
## 問36 あなたが今後充実してほしい施策は何ですか。（MA）



今後充実してほしい施策は、「年金などの所得保障の充実」（47.2%）が最も高く、次いで「医療費の負担軽減」（37.6%）、「障害があっても働ける場の確保」（29.8%）となっている。

## 9 相談の状況について

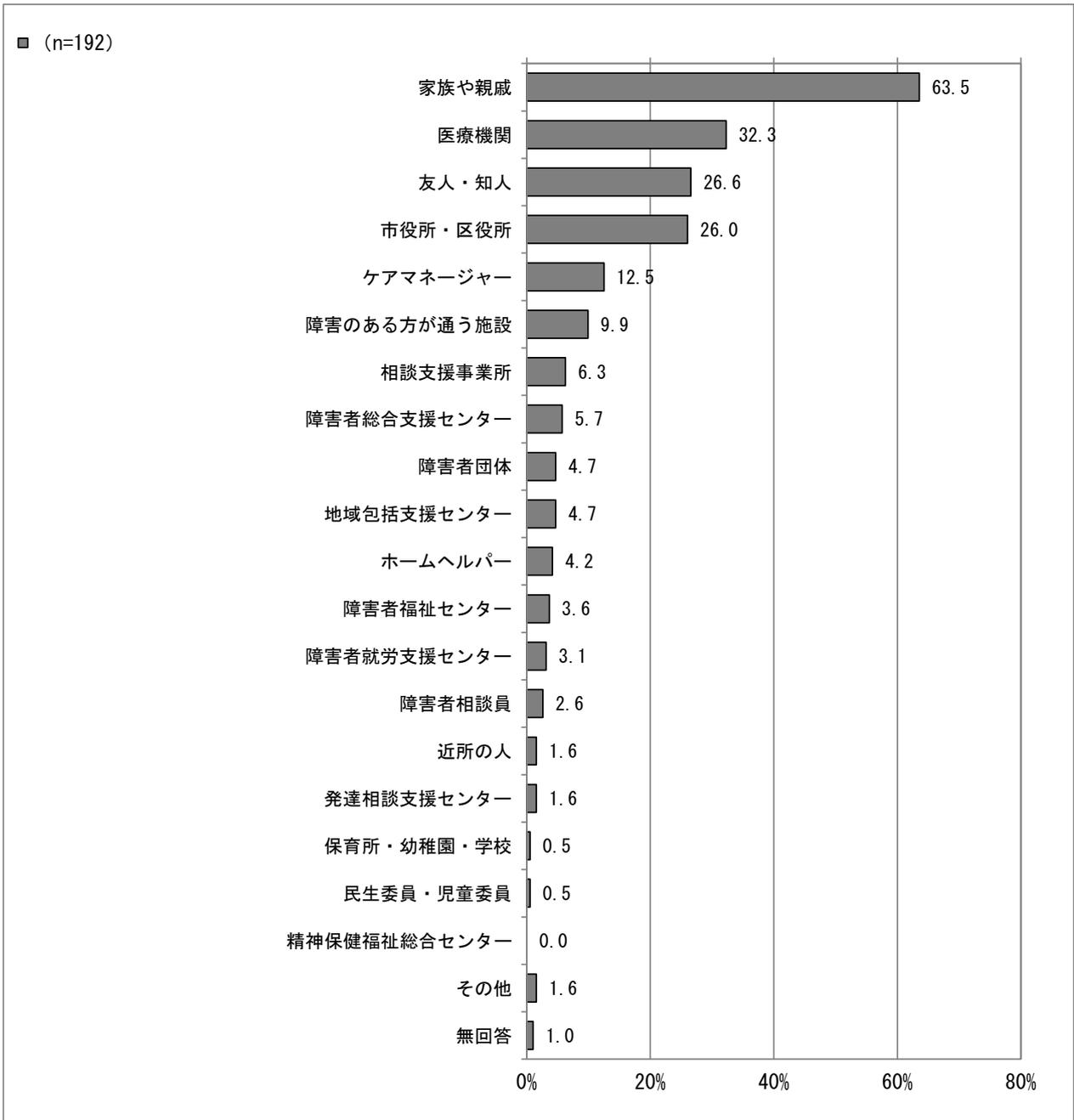
問 37 困ったときの相談について次のうちあてはまるのはどれですか。(SA)



困ったときの相談は、「相談先がある」(59.6%)が最も高く、次いで「わからない」(23.9%)、「相談したいが相談先がない」(9.0%)となっている。

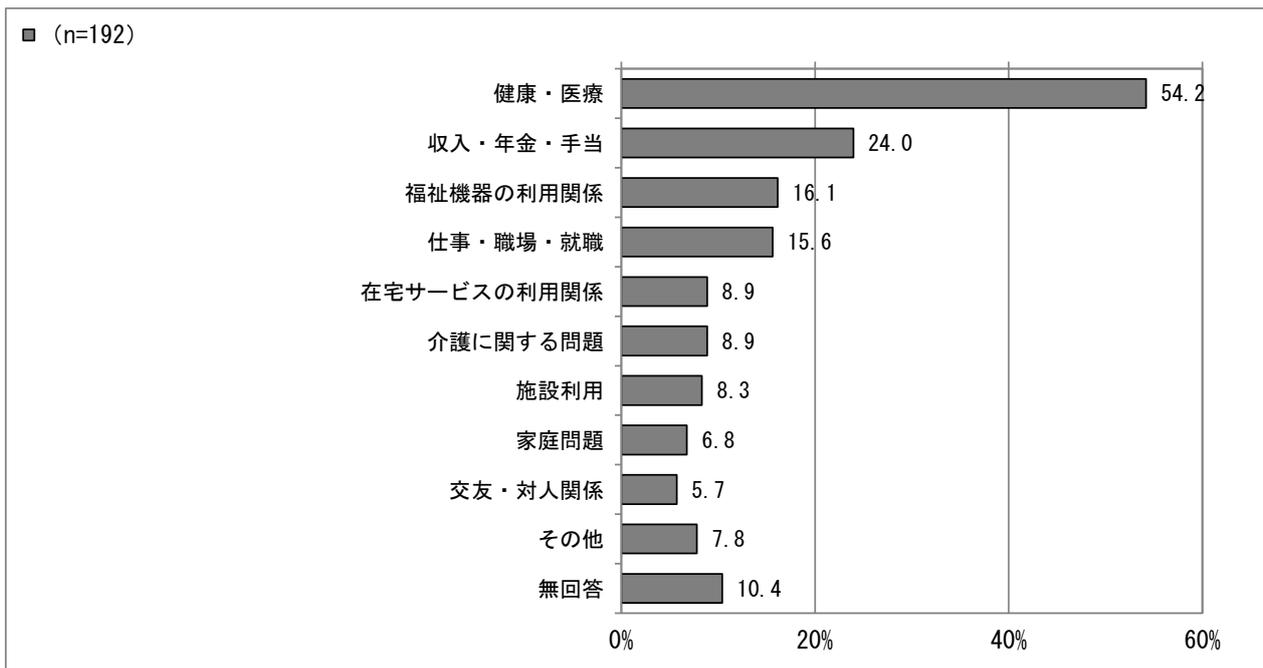
問38 問37で「相談先がある」を選んだ方におたずねします。

(1) 相談相手は誰ですか。(MA)



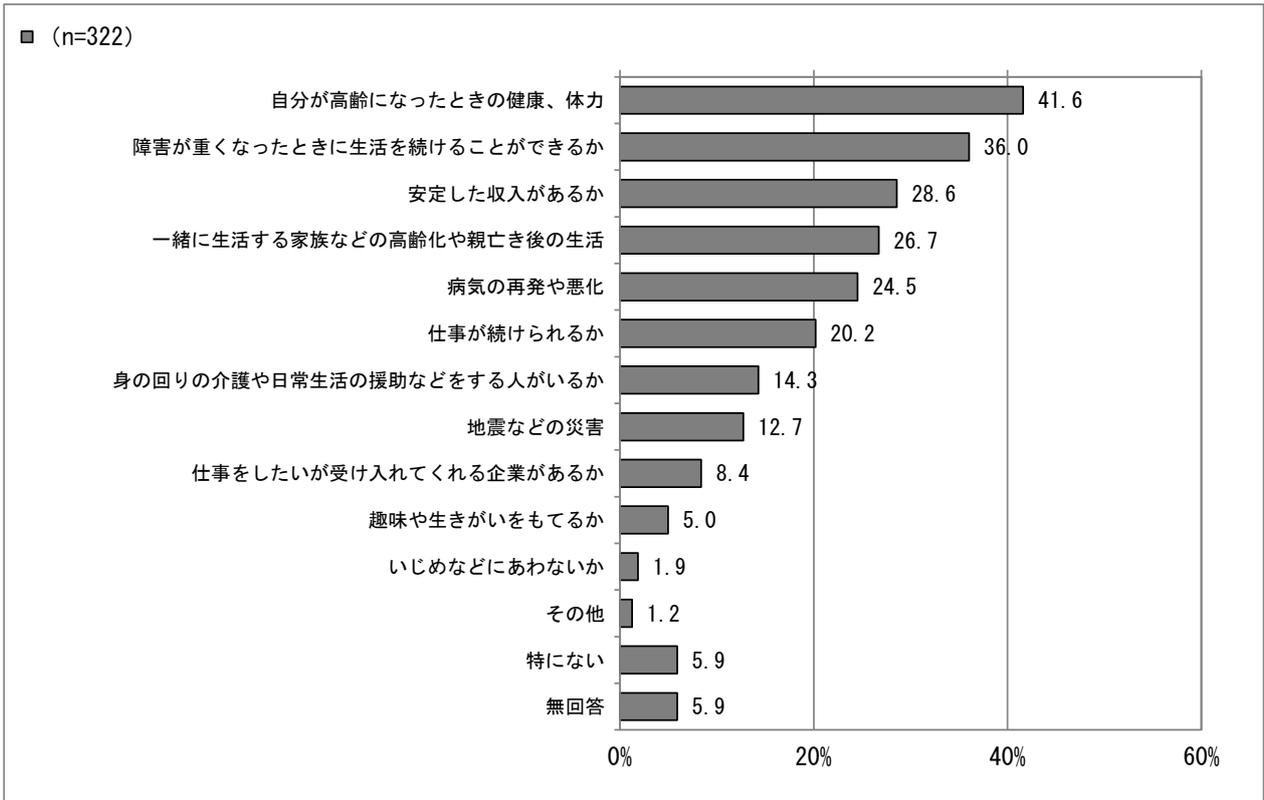
相談相手は、「家族や親戚」(63.5%)が最も高く、次いで「医療機関」(32.3%)、「友人・知人」(26.6%)となっている。

(2) 相談していること(したいこと)は何ですか。(MA)



相談している(したいこと)は、「健康・医療」(54.2%)が最も高く、次いで「収入・年金・手当」(24.0%)、「福祉機器の利用関係」(16.1%)となっている。

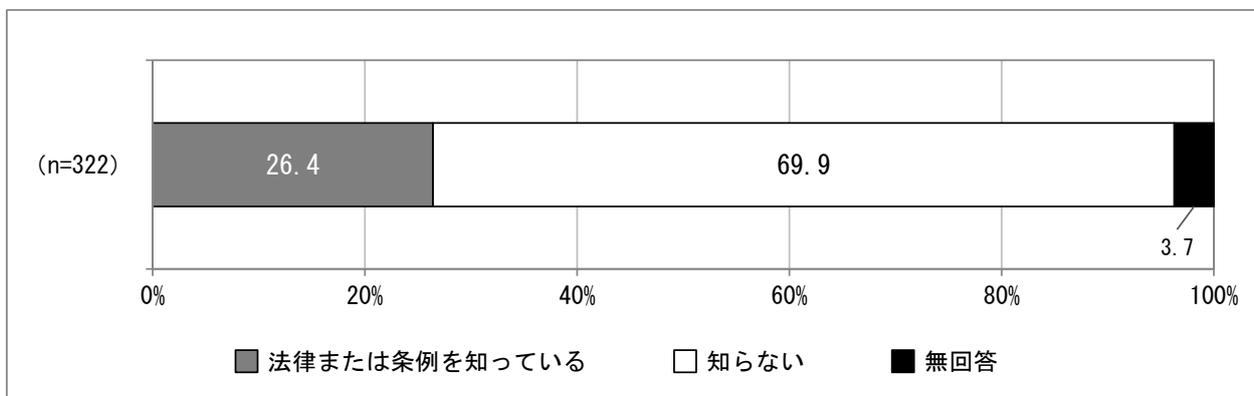
問 39 今後のことで、あなたが不安に感じていることは何ですか。（MA）



今後のことで不安に感じていることは、「自分が高齢になったときの健康、体力」(41.6%)が最も高く、次いで「障害が重くなったときに生活が続けられるか」(36.0%)、「安定した収入があるか」(28.6%)となっている。

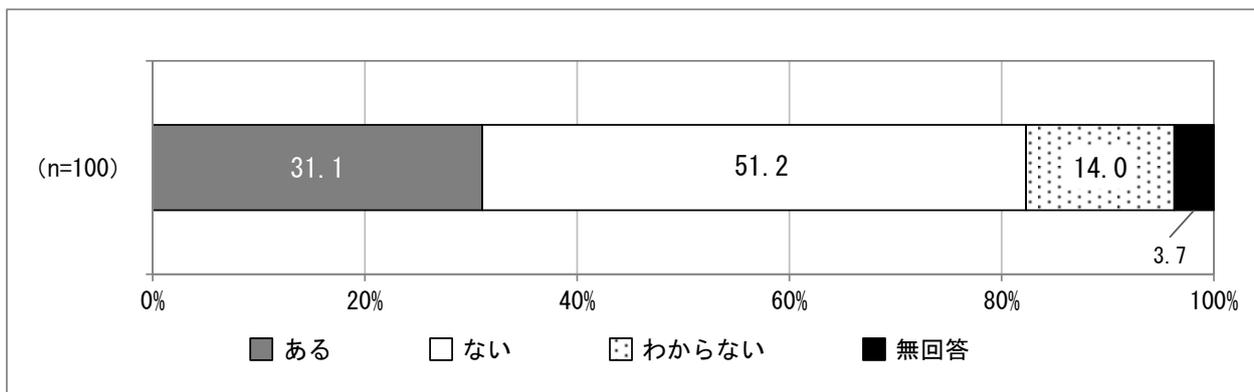
## 10 権利擁護について

問 40 あなたは、2016年4月より施行された「障害者差別解消法」を知っていますか。また、「仙台市障害を理由とする差別をなくし障害のある人もない人も共に暮らしやすいまちをつくる条例」を知っていますか。(SA)



障害者差別解消法および条例を知っているかについて、「法律または条例を知っている」(26.4%)、「知らない」(69.9%)となっている。

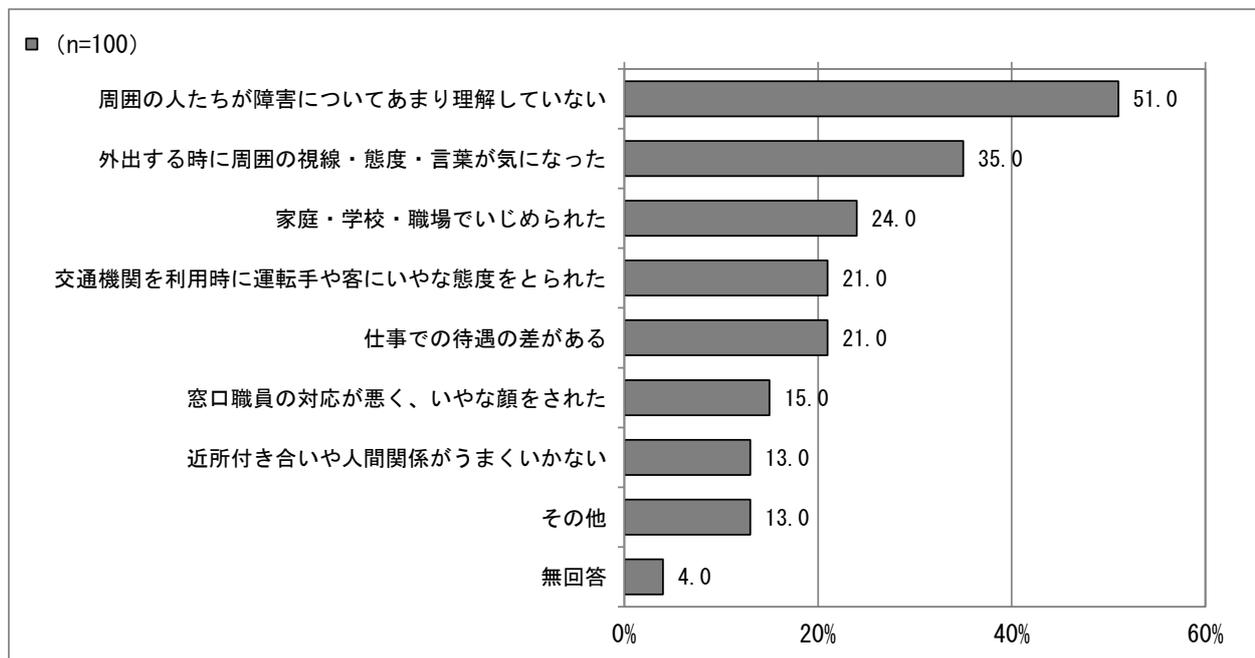
問 41 障害を理由に差別を受けたり、いやな思いなどをしたことがありますか。(SA)



障害を理由に差別やいやな思いをしたことがあるかは、「ある」(31.1%)、「ない」(51.2%)、「わからない」(14.0%)となっている。

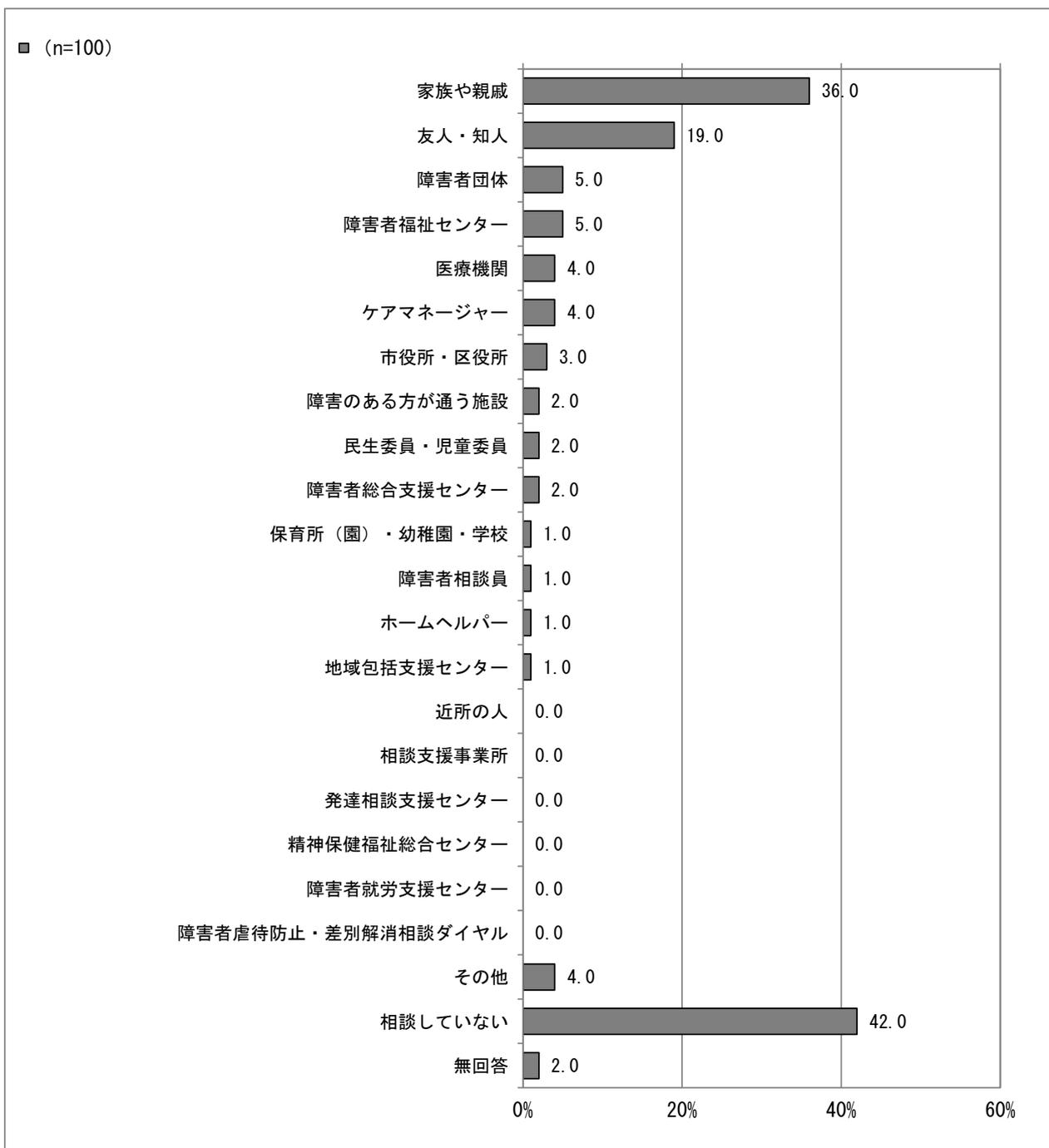
問42 問41で「ある」を選んだ方におたずねします。

(1) あなたはどのような内容の差別を受けたり、いやな思いをしましたか。(MA)



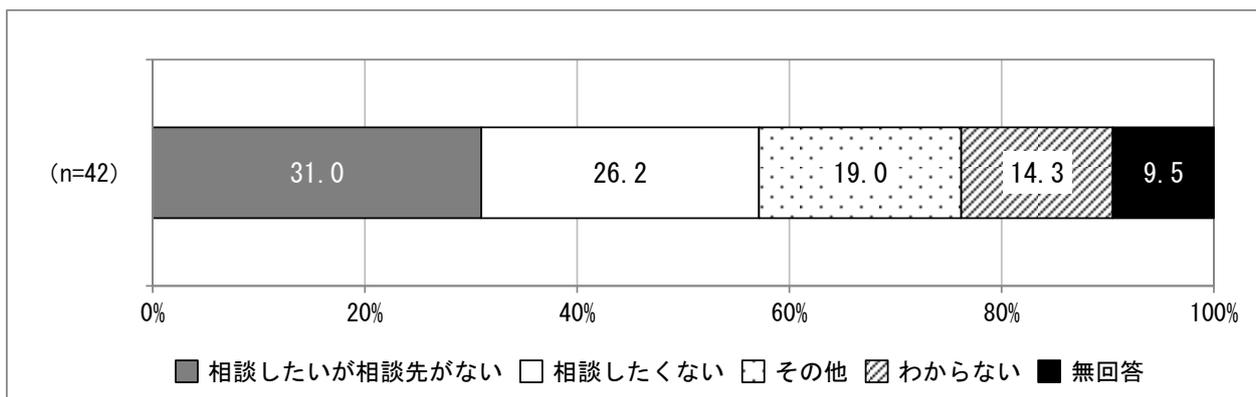
受けた差別やいやな思いの内容は、「周囲の人たちが障害についてあまり理解していない」(51.0%)が最も高く、次いで「外出する時に周囲の視線・態度・言葉が気になった」(35.0%)、「家庭・学校・職場でいじめられた」(24.0%)となっている。

(2) 差別をされたり、いやな思いをしたときに誰かに相談しましたか。(MA)



差別をされたりしたときの相談は、「相談していない」(42.0%)が最も高く、次いで「家族や親戚」(36.0%)、「友人・知人」(19.0%)となっている。

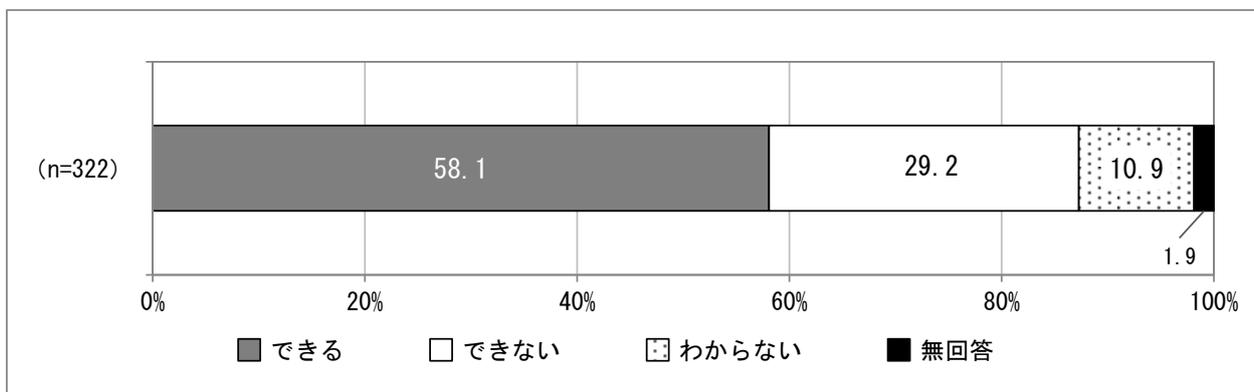
(3) (2)で「相談していない」を選んだ方におたずねします。相談しなかった理由は何ですか。(MA)



相談しなかった理由は、「相談したいが相談先がない」(31.0%)が最も高く、次いで「相談したくない」(26.2%)、「その他」(19.0%)となっている。

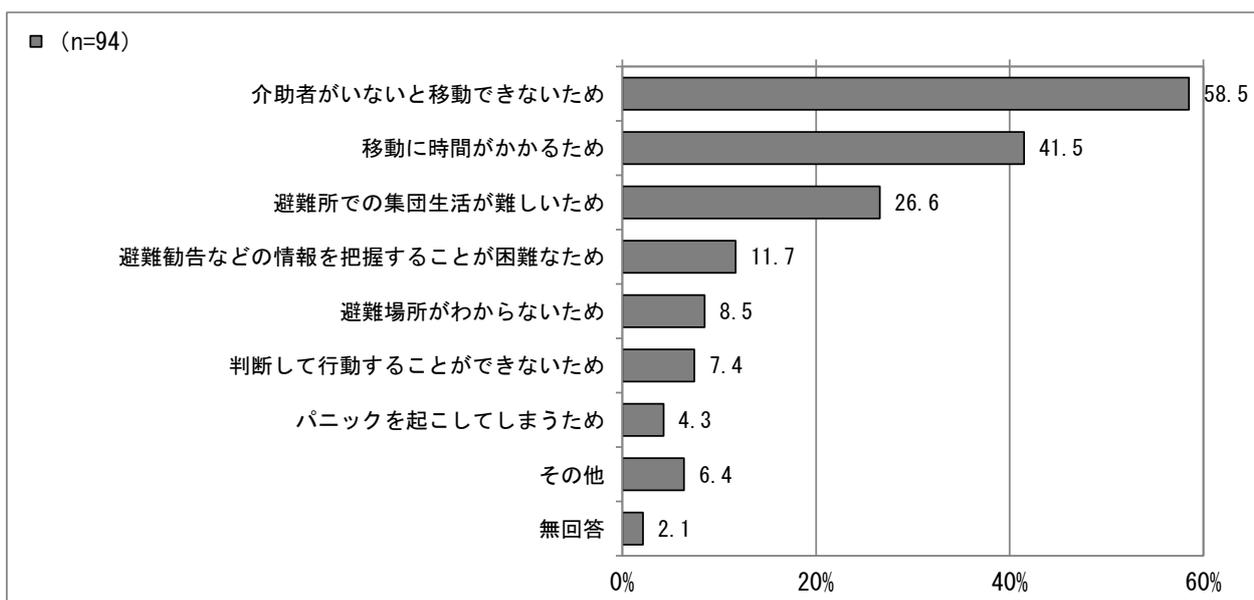
## 11 緊急時の対応について

問 43 あなたは地震などの災害発生時、ひとりで避難することができますか。2011年3月11日の東日本大震災を経験された方は、ご経験を踏まえてご回答ください。(SA)



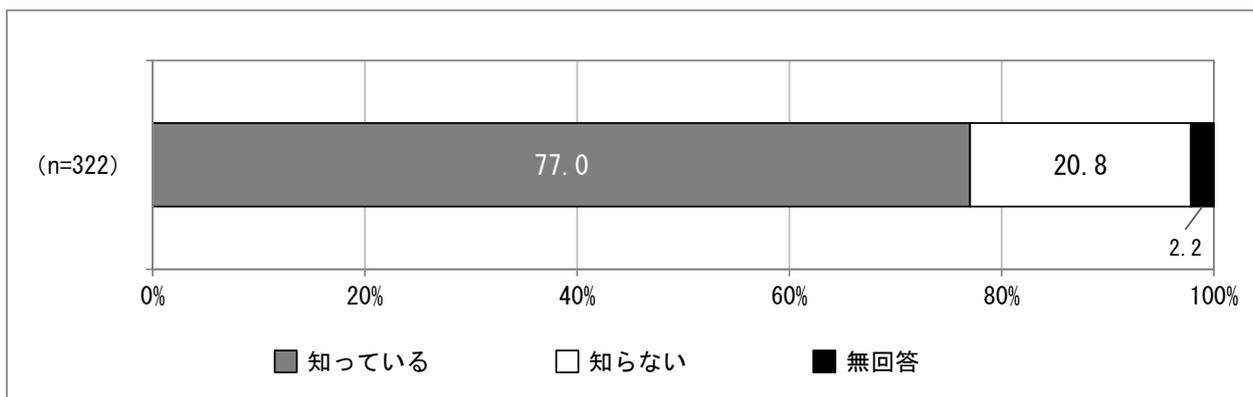
災害発生時にひとりで避難することができるかは、「できる」(58.1%)、「できない」(29.2%)、「わからない」(10.9%)となっている。

問 44 問 43 で「できない」を選んだ方におたずねします。災害のとき一人で避難することができない理由は何ですか。(MA)



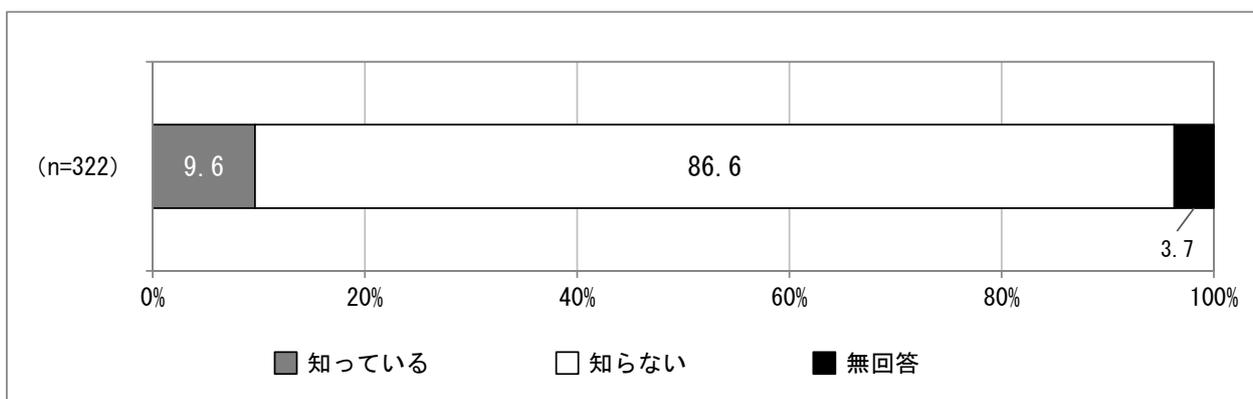
一人で避難できない理由は、「介助者がいないと移動できないため」(58.5%)が最も高く、次いで「移動に時間がかかるため」(41.5%)、「避難所での集団生活が難しいため」(26.6%)となっている。

## 問 45 あなたは、お住まいの地区の避難所の場所を知っていますか。(SA)



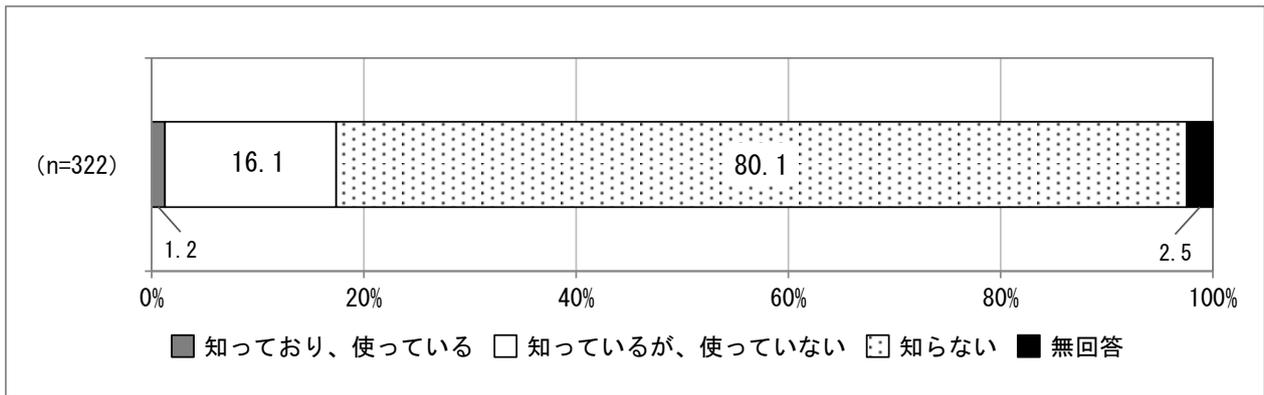
居住区の避難所の場所は、「知っている」(77.0%)、「知らない」(20.8%)となっている。

## 問 46 あなたは、福祉避難所を知っていますか。(SA)



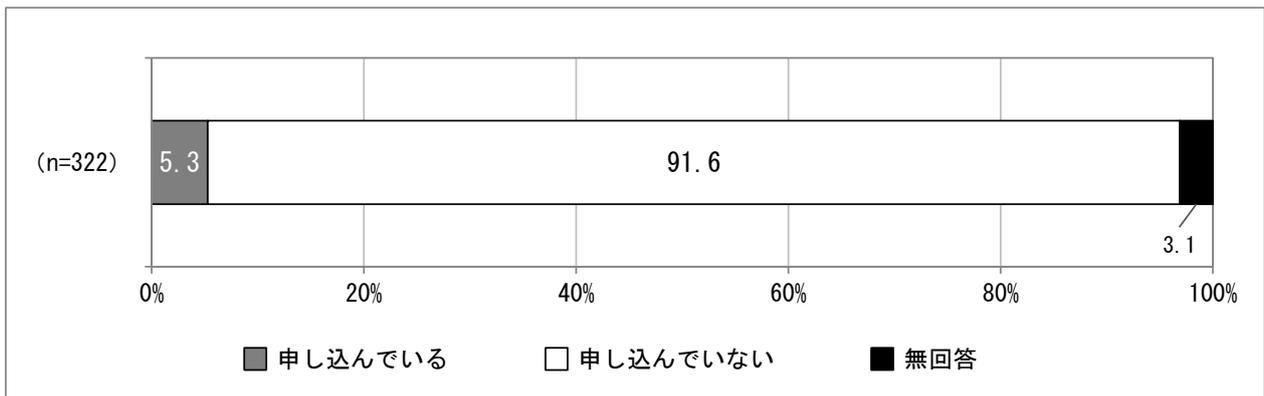
福祉避難所は、「知っている」(9.6%)、「知らない」(86.6%)となっている。

問 47 あなたは、ヘルプカードを知っていますか。(SA)



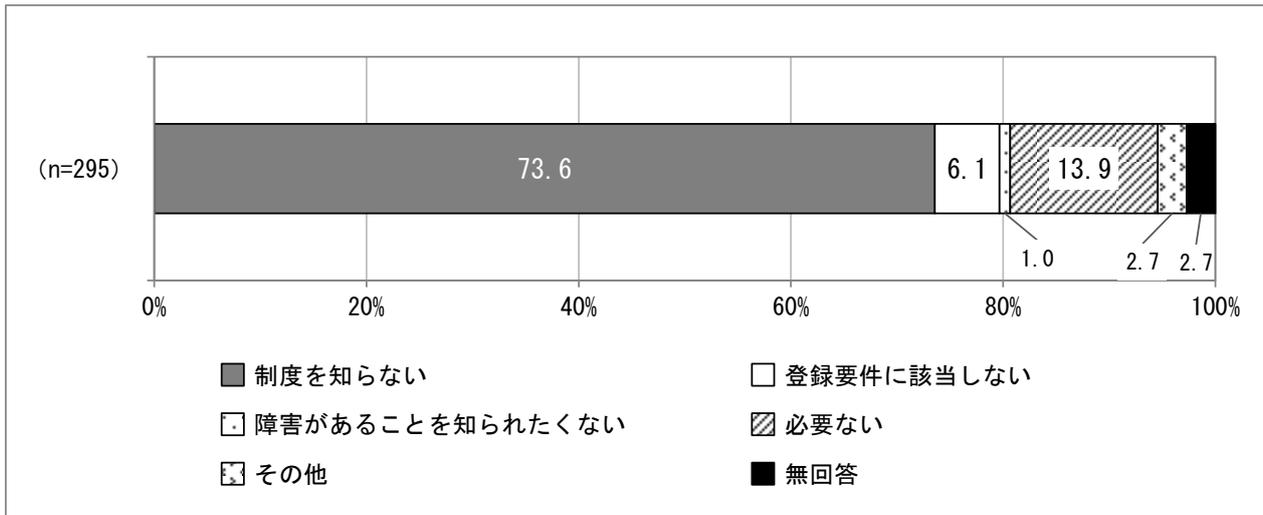
ヘルプカードは、「知っているが、使っていない」(16.1%)、「知らない」(80.1%)となっている。

問 48 あなたは、仙台市が実施している災害時における要援護者情報登録制度を申し込んでいますか。(SA)



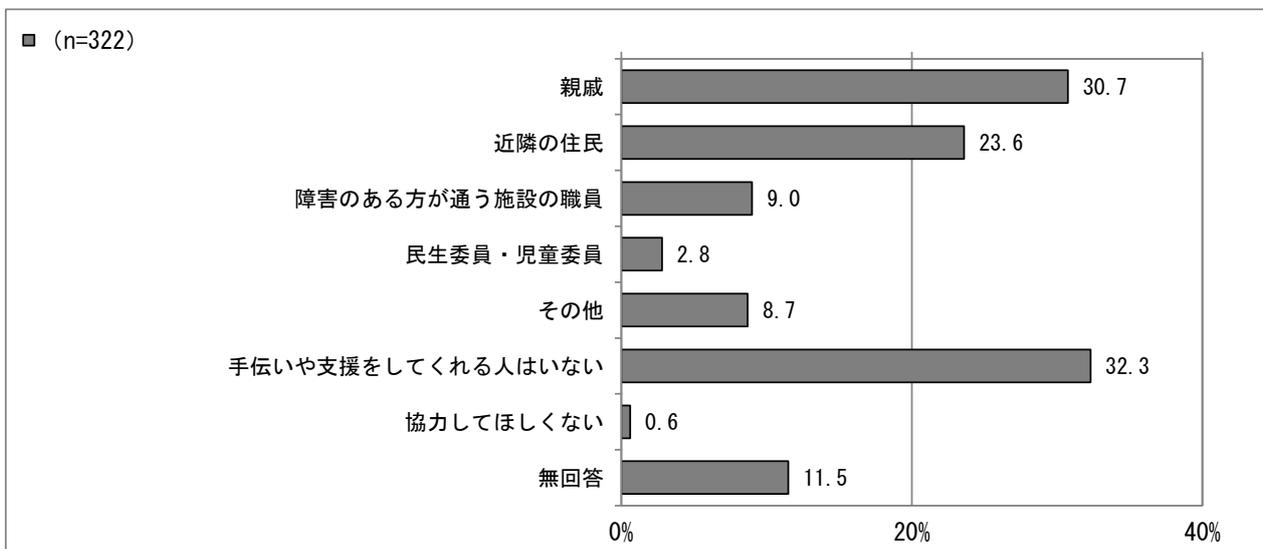
要援護者情報登録制度について、「申し込んでいない」(91.6%)、「申し込んでいる」(5.3%)となっている。

問 49 問 48 で「申し込んでいない」を選んだ方におたずねします。あなたが申し込んでいない理由は何ですか。（SA）



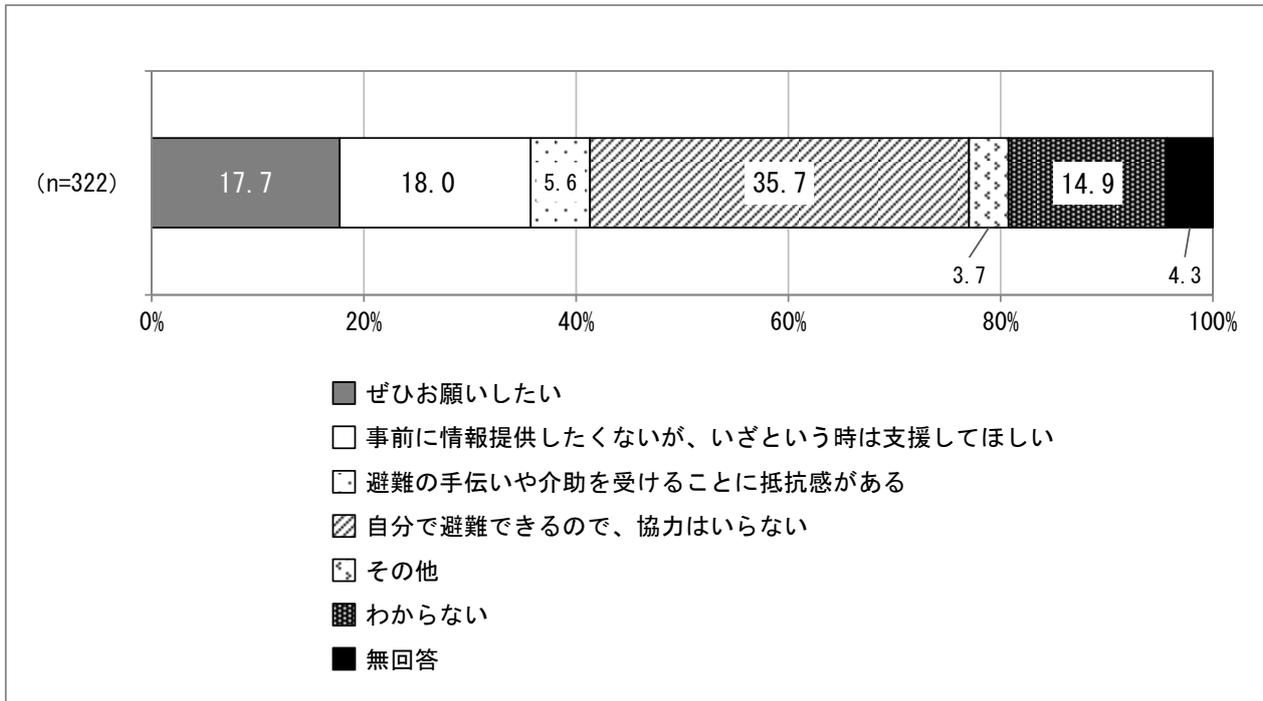
申し込んでいない理由は、「制度を知らない」（73.6%）が最も高く、次いで「必要ない」（13.9%）、「登録要件に該当しない」（6.1%）となっている。

問 50 地震などの災害時に、家族以外の方で手伝いや支援をしてくれる人について、次のうちあてはまるのはどれですか。（MA）



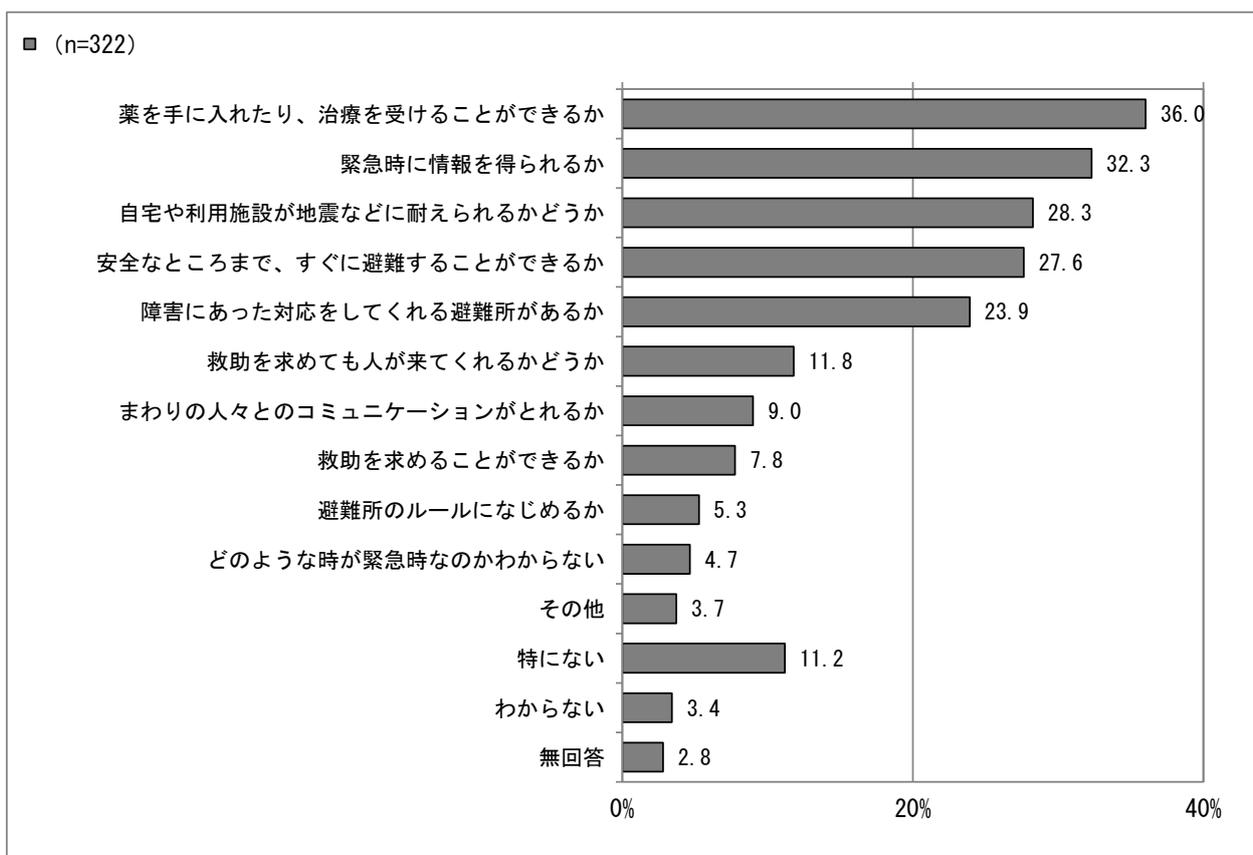
災害時に家族以外で手伝いや支援をしてくれる人は、「手伝いや支援をしてくれる人はいない」（32.3%）が最も高く、次いで「親戚」（30.7%）、「近隣の住民」（23.6%）となっている。

問 51 地震などの災害が発生したときのために、あらかじめ近所の人やボランティアなどにあなたの避難の手伝いや介助をお願いしておくことについて、どのように思いますか。(SA)



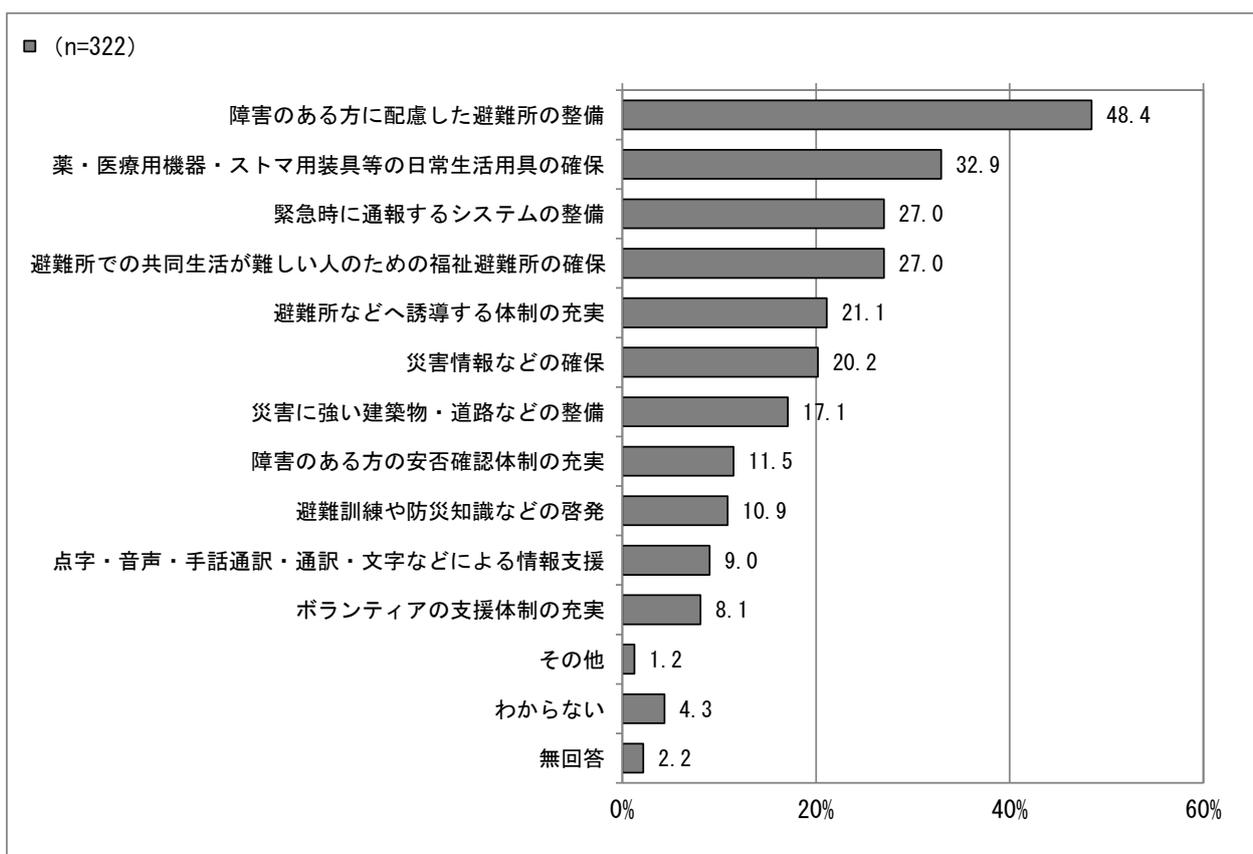
災害発生するときのために近所の人やボランティアなどに手伝いや介助をお願いしておくことは、「自分で避難できるので、協力はしない」(35.7%)が最も高く、次いで「事前に情報提供したくないが、いざという時は支援してほしい」(18.0%)、「ぜひお願いしたい」(17.7%)となっている。

問 52 地震などのいざという時のことで、あなたが普段不安に感じていることは何ですか。  
(MA)



地震などのいざという時のことで普段不安に感じていることは、「薬を手に入れたり、治療を受けることができるか」(36.0%)が最も高く、次いで「緊急時に情報を得られるか」(32.3%)、「自宅や利用施設が地震などに耐えられるかどうか」(28.3%)となっている。

問 53 地震、台風などの災害に対して大切だと思う対策はどのようなことだと思いますか。  
(MA)



地震や台風などの災害に対して大切だと思う対策は、「障害のある方に配慮した避難所の整備」(48.4%)が最も高く、次いで「薬・医療用機器・ストマ用装具等の日常生活用具の確保」(32.9%)、「緊急時に通報するシステムの整備」と「避難所での共同生活が難しい人のための福祉避難所の確保」がともに27.0%となっている。

## 第3章

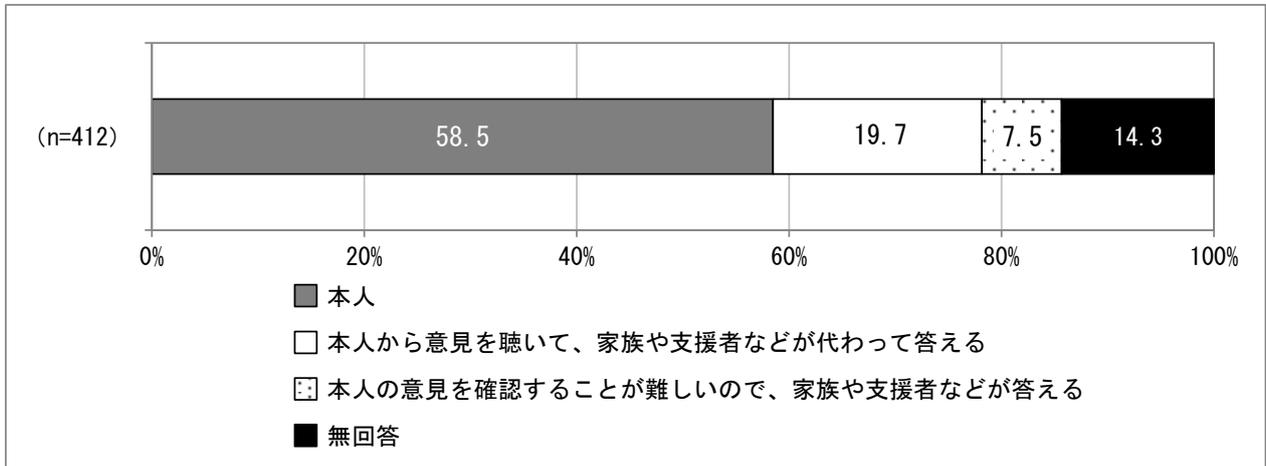
### 身体障害者本人（65歳以上）



## 第3章 身体障害者本人（65歳以上）

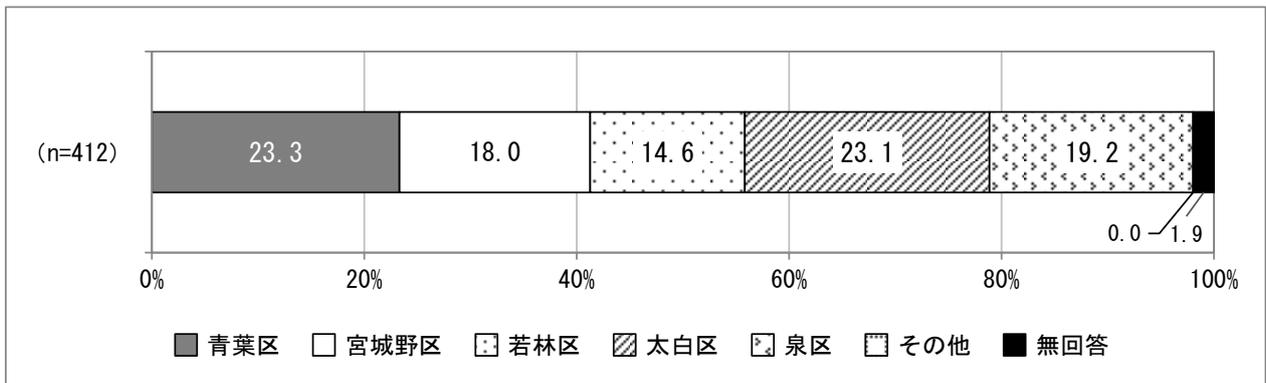
### 1 属性について

問1 このアンケートの記入者はどなたですか。（SA）



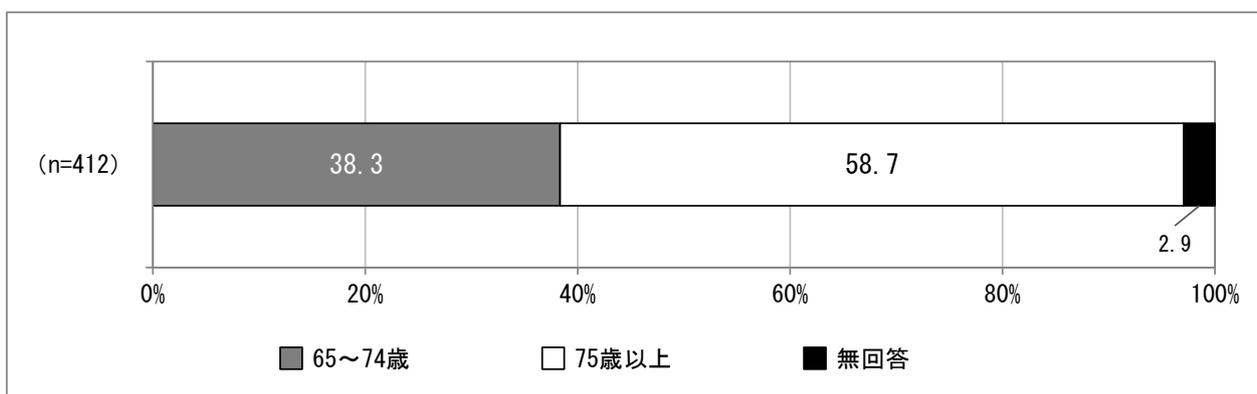
アンケートの記入者は、「本人」（58.5%）が最も高く、次いで「本人から意見を聴いて、家族や支援者などが代わって答える」（19.7%）、「本人の意見を確認することが難しいので、家族や支援者などが答える」（7.5%）となっている。

問2 あなたのお住まいの区はどこですか。（SA）



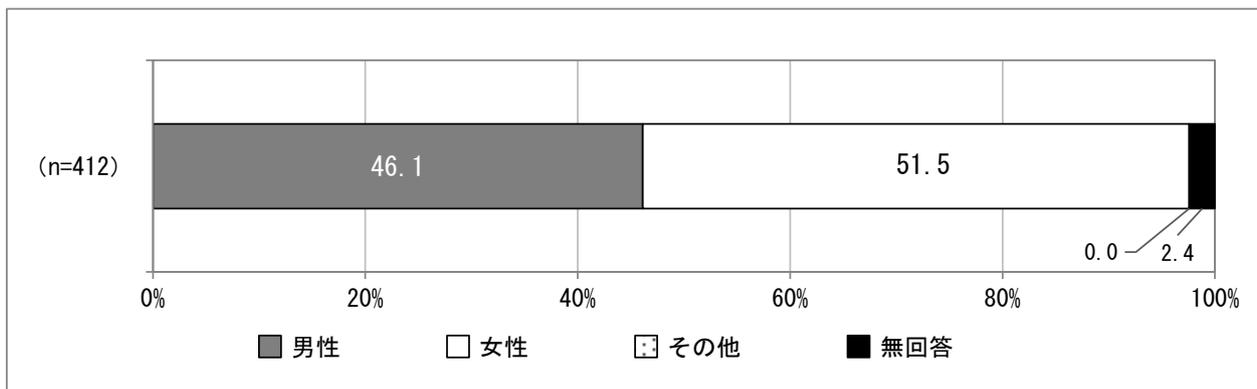
居住区は、「青葉区」（23.3%）が最も高く、次いで「太白区」（23.1%）、「泉区」（19.2%）となっている。

問3 あなたの年齢（2016年11月1日時点）は何歳ですか。（数値）



年齢は、「65~74歳」（38.3%）、「75歳以上」（58.7%）となっている。

問4 あなたの性別を教えてください。（SA）

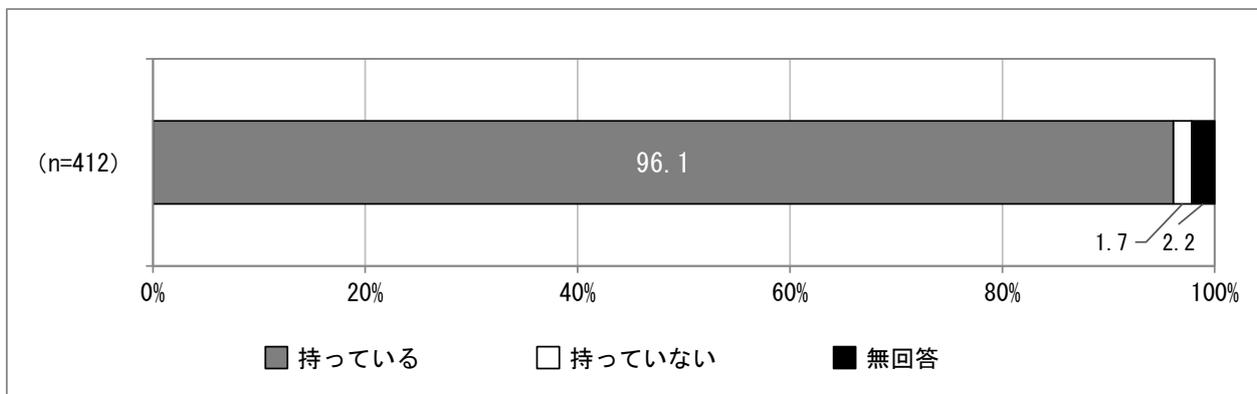


性別は、「男性」（46.1%）、「女性」（51.5%）となっている。

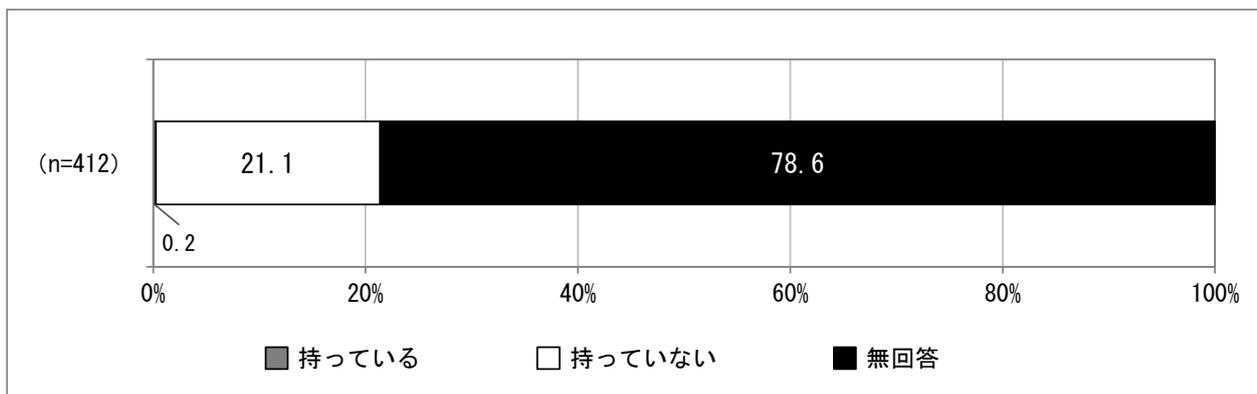
問5 障害者手帳についておたずねします。

(ア) 障害者手帳をお持ちかどうか教えてください。(SA)

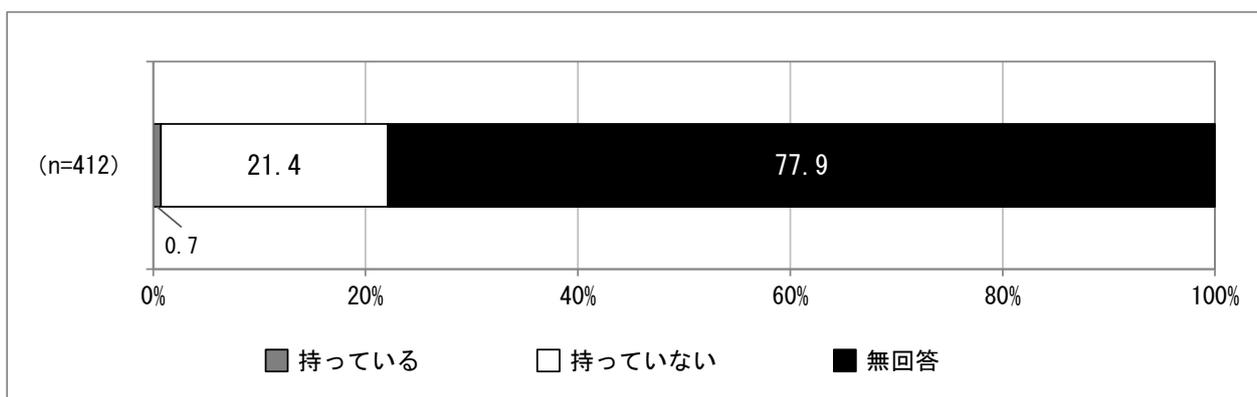
(身体障害者手帳)



(療育手帳)



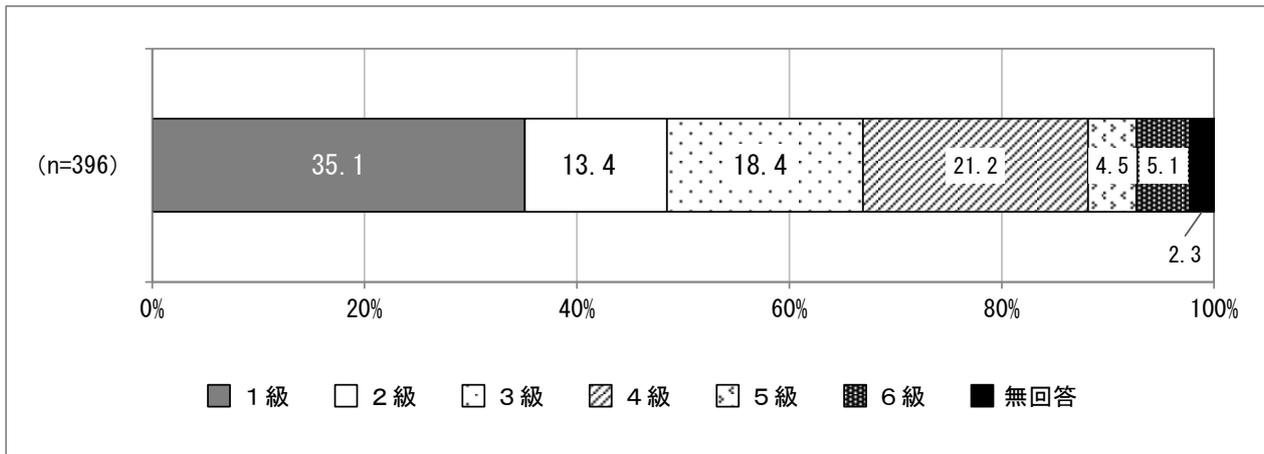
(精神障害者保健福祉手帳)



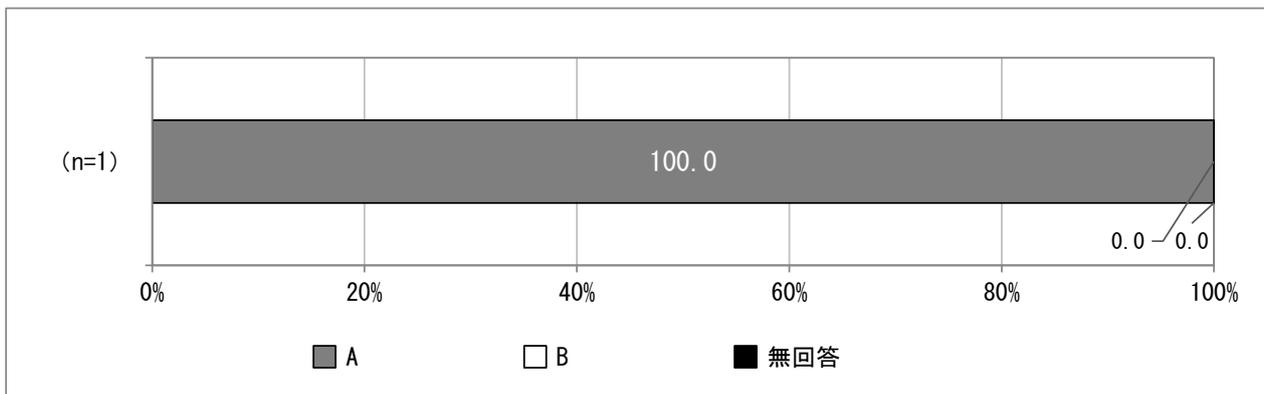
「持っている」割合は、身体障害者手帳が96.1%、療育手帳が0.2%、精神障害者保健福祉手帳が0.7%となっている。

(イ) お持ちの障害者手帳の等級を教えてください。(SA)

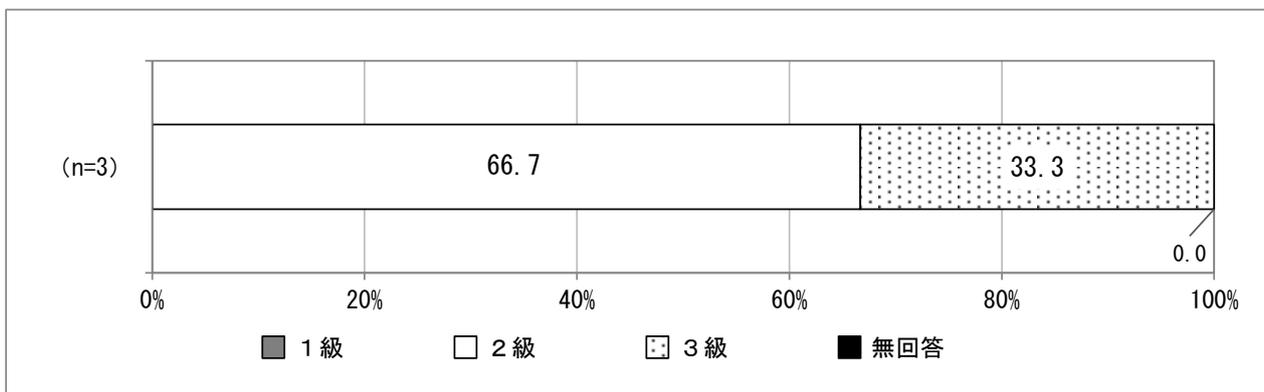
(身体障害者手帳)



(療育手帳)



(精神障害者保健福祉手帳)



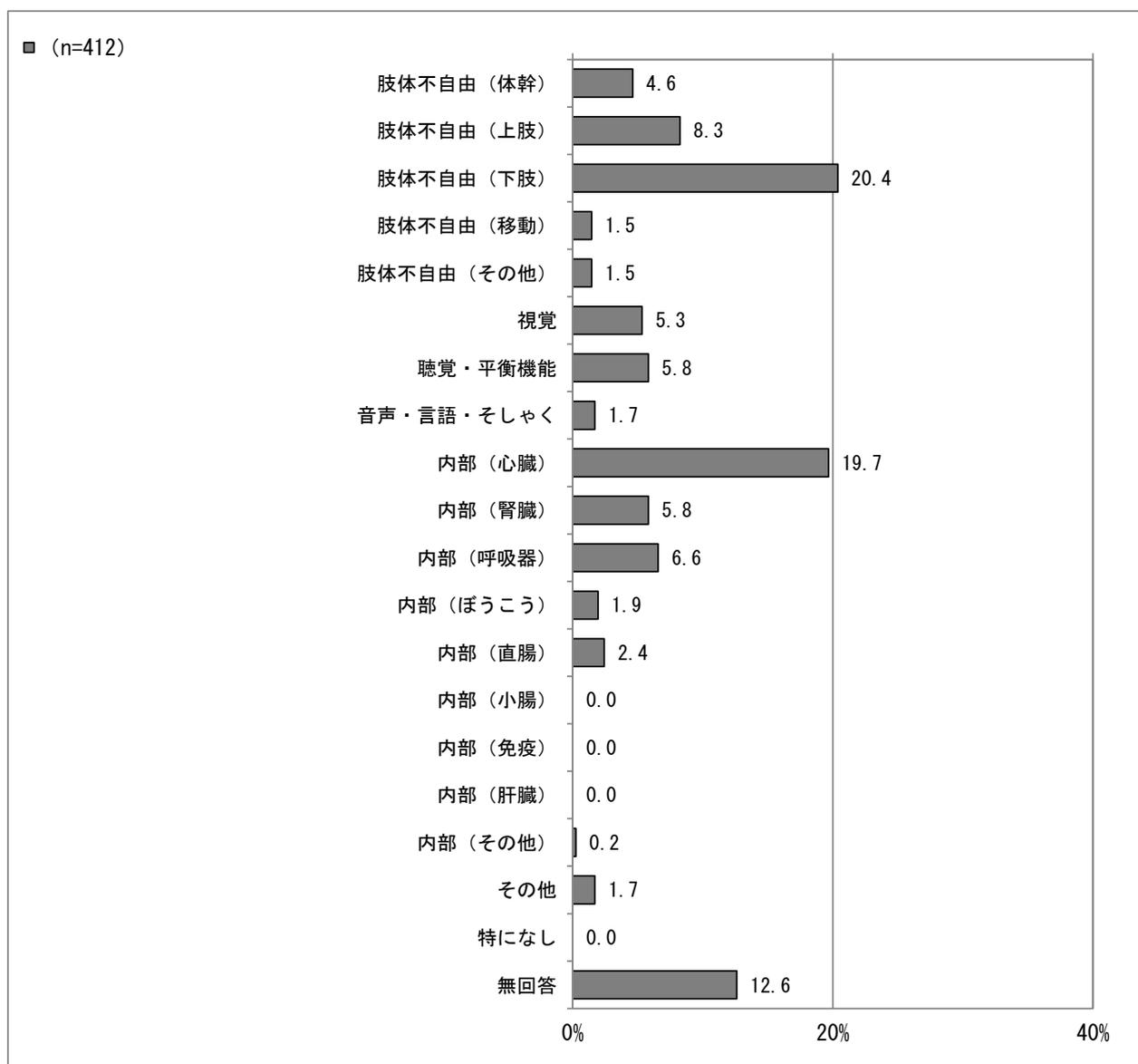
身体障害者手帳の等級は、「1級」(35.1%)が最も高く、次いで「4級」(21.2%)、「3級」(18.4%)となっている。

療育手帳の等級は、「A」(100.0%)となっている。

精神障害者保健福祉手帳の等級は、「2級」(66.7%)、「3級」(33.3%)となっている。

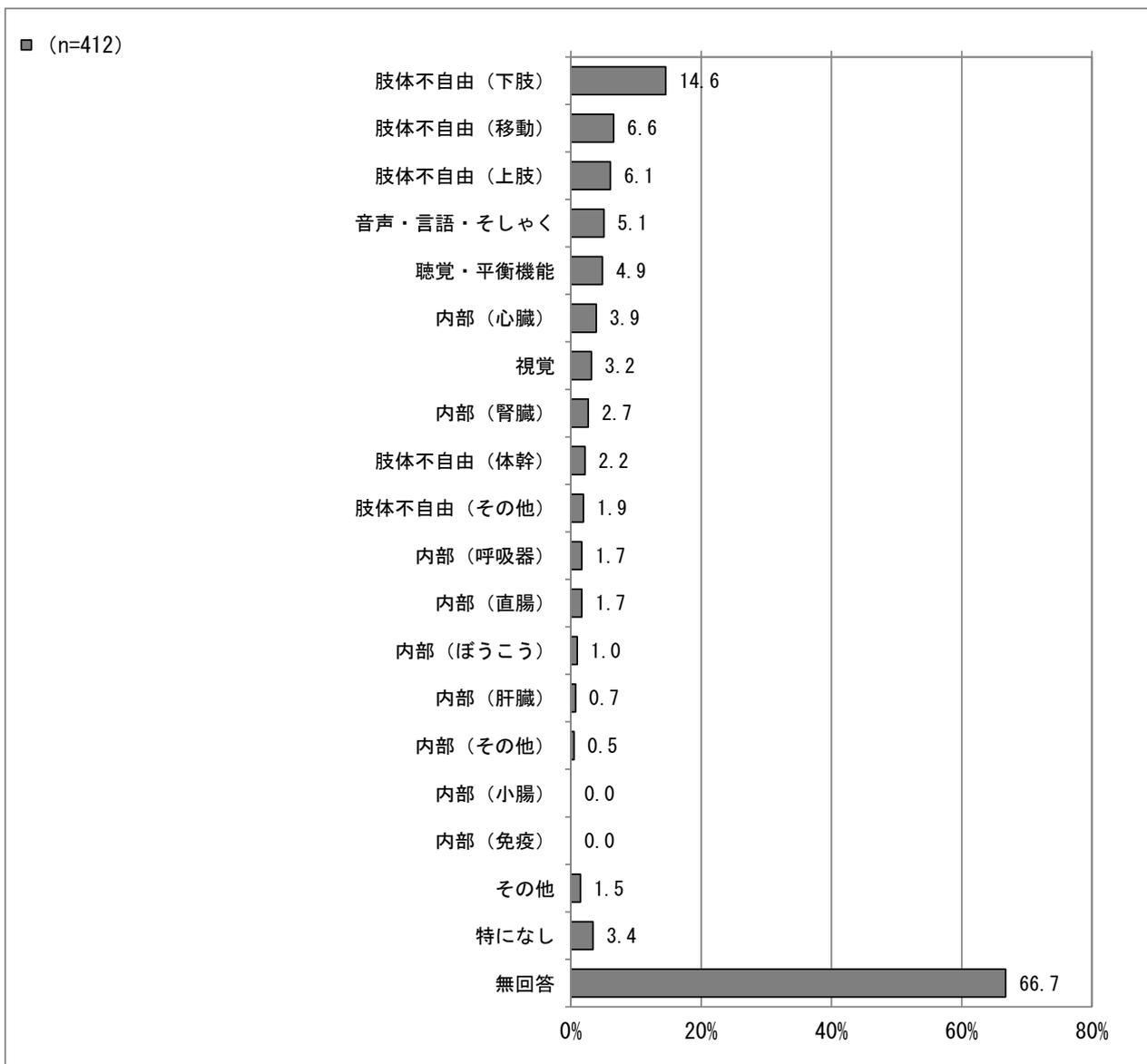
## 問6 身体障害者手帳をお持ちの方におたずねします。

(ア) あなたの主な障害の部位は次のうちどれですか。(SA)



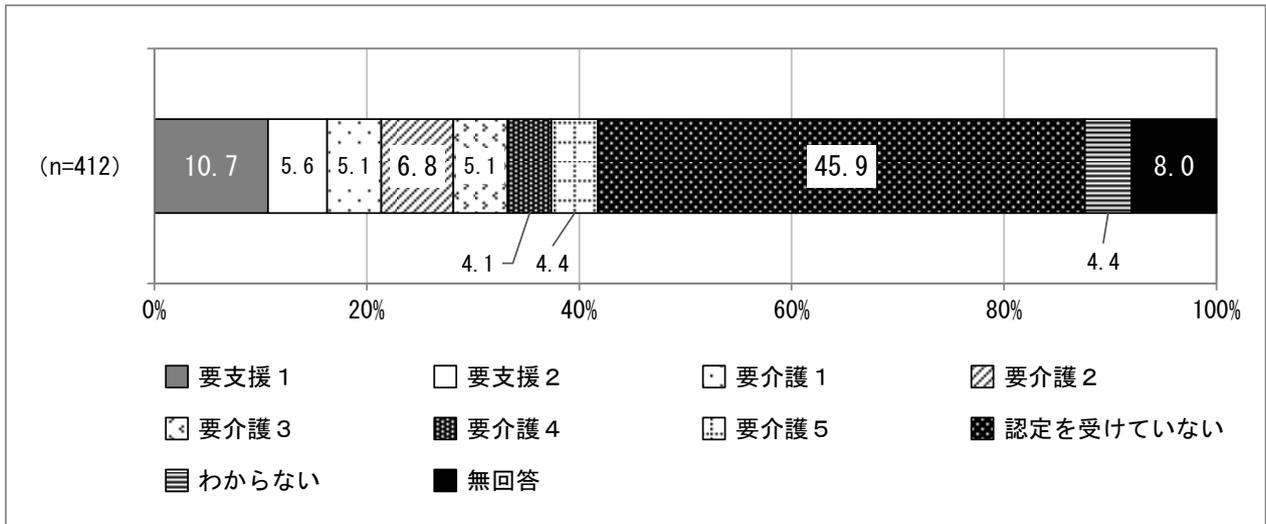
主な障害の部位は、「肢体不自由（下肢）」（20.4%）が最も高く、次いで「内部（心臓）」（19.7%）、「肢体不自由（上肢）」（8.3%）となっている。

(イ) 主な障害以外に障害のある部位があれば教えてください。(MA)



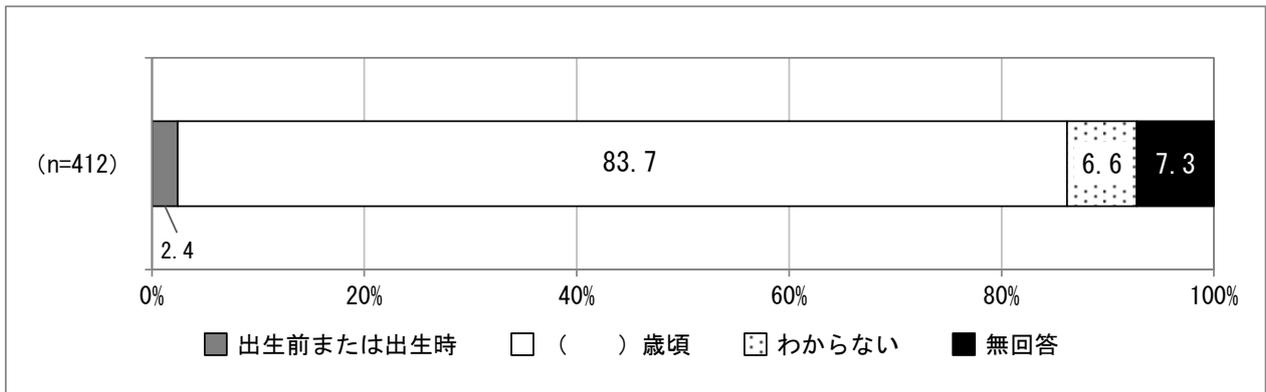
主な障害以外にある障害の部位は、「肢体不自由 (下肢)」(14.6%) が最も高く、次いで「肢体不自由 (移動)」(6.6%)、「肢体不自由 (上肢)」(6.1%) となっている。

問7 あなたは介護保険の認定を受けていますか。(SA)



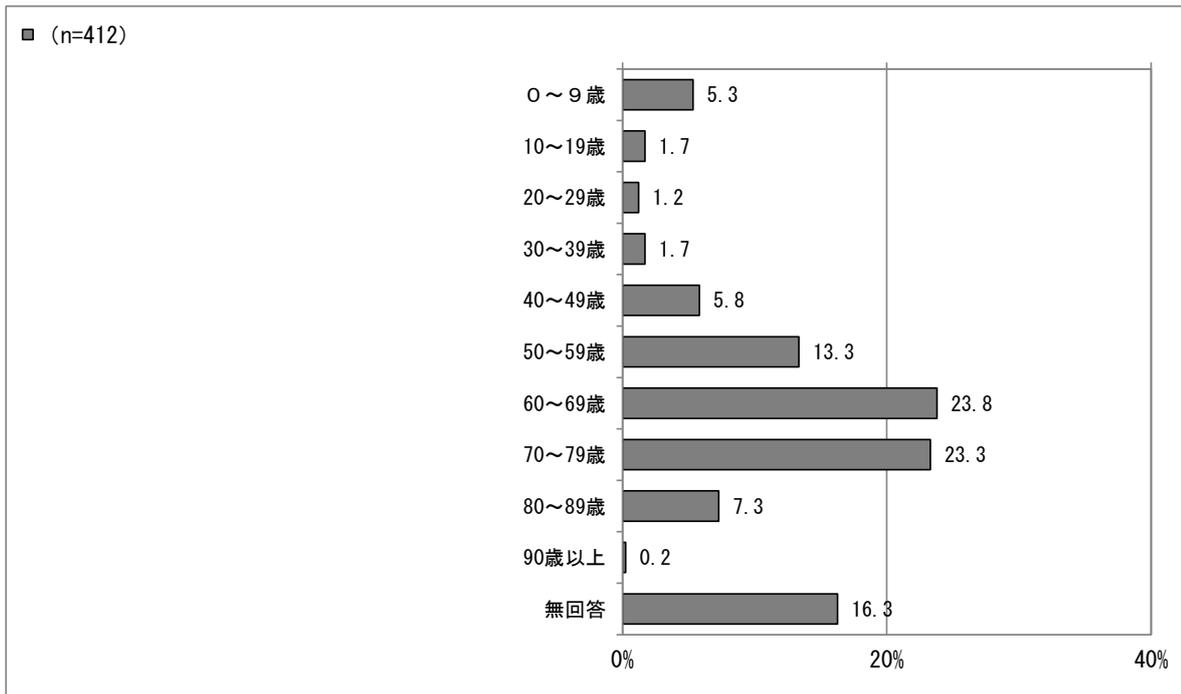
介護保険の認定は、「認定を受けていない」(45.9%)が最も高く、次いで「要支援1」(10.7%)、「要介護2」(6.8%)となっている。

問8 あなたが初めて障害をおった時期はいつころでしたか。(SA) (数値)



初めて障害をおった時期は、「( )歳頃」(83.7%)が最も高く、次いで「わからない」(6.6%)となっている。

(初めて障害をおった年齢)

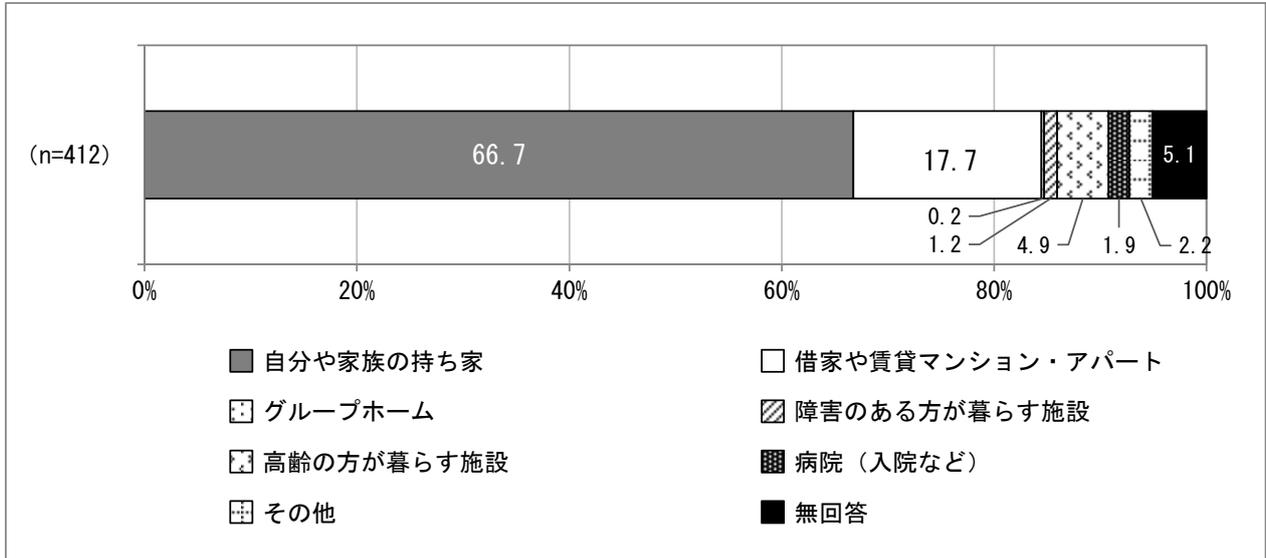


「60～69歳」(23.8%)が最も高く、次いで「70～79歳」(23.3%)、「50～59歳」(13.3%)となっている。

## 2 住まいと暮らしについて

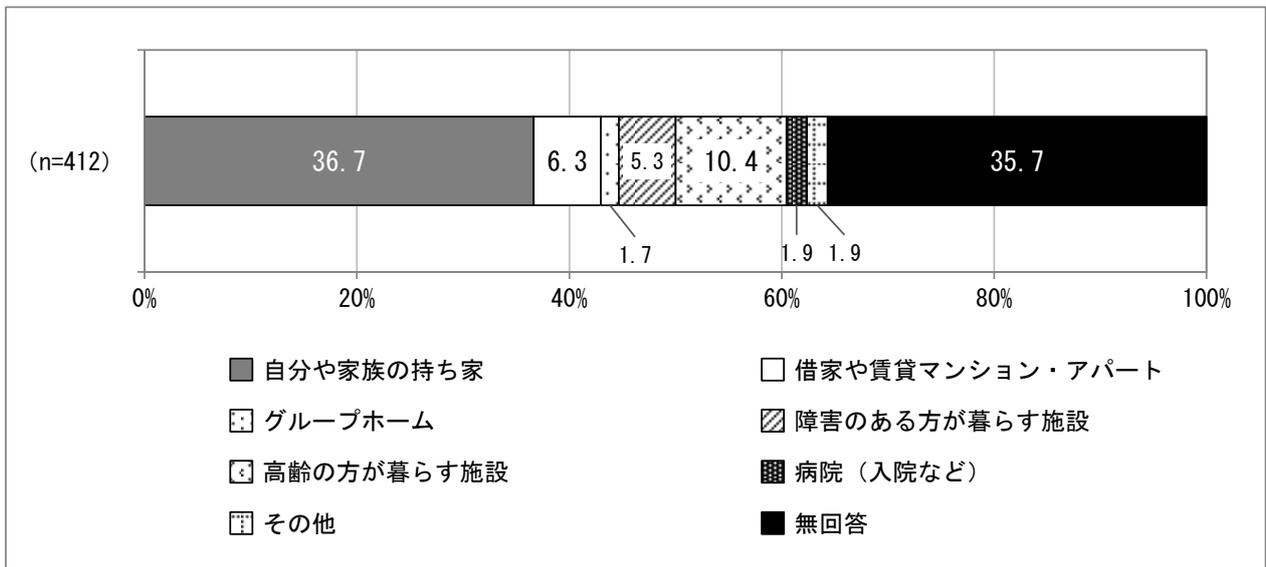
問9 お住まいについておたずねします。

(ア) 現在、あなたはどこにお住まいですか。(SA)



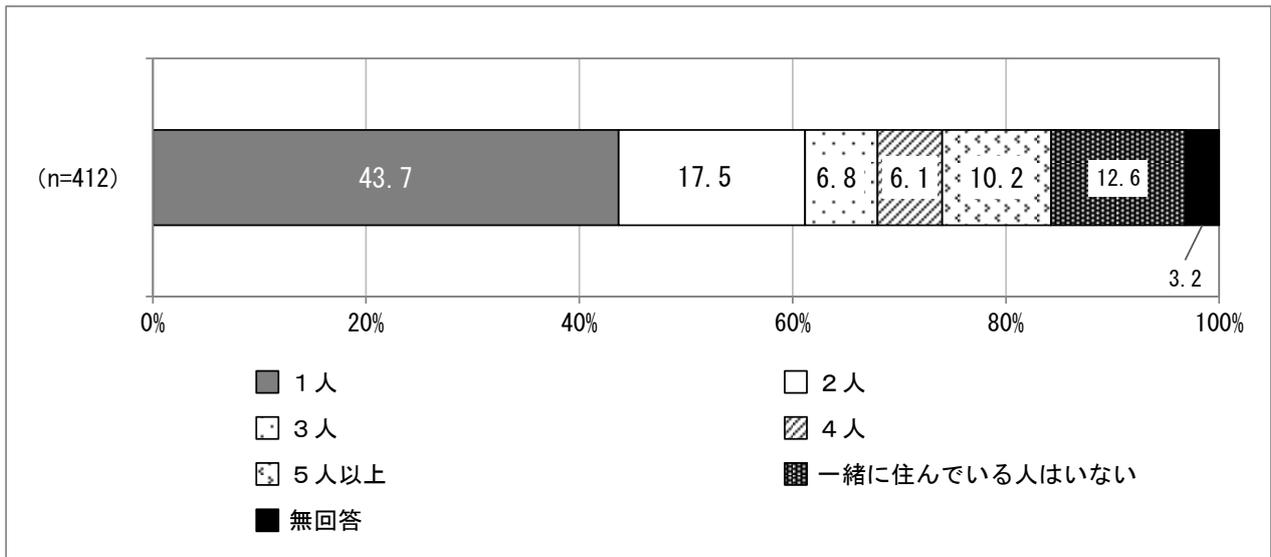
現在の住まいは、「自分や家族の持ち家」(66.7%)が最も高く、次いで「借家や賃貸マンション・アパート」(17.7%)となっている。

(イ) 将来は、どこで暮らしたいと思っていますか。(SA)



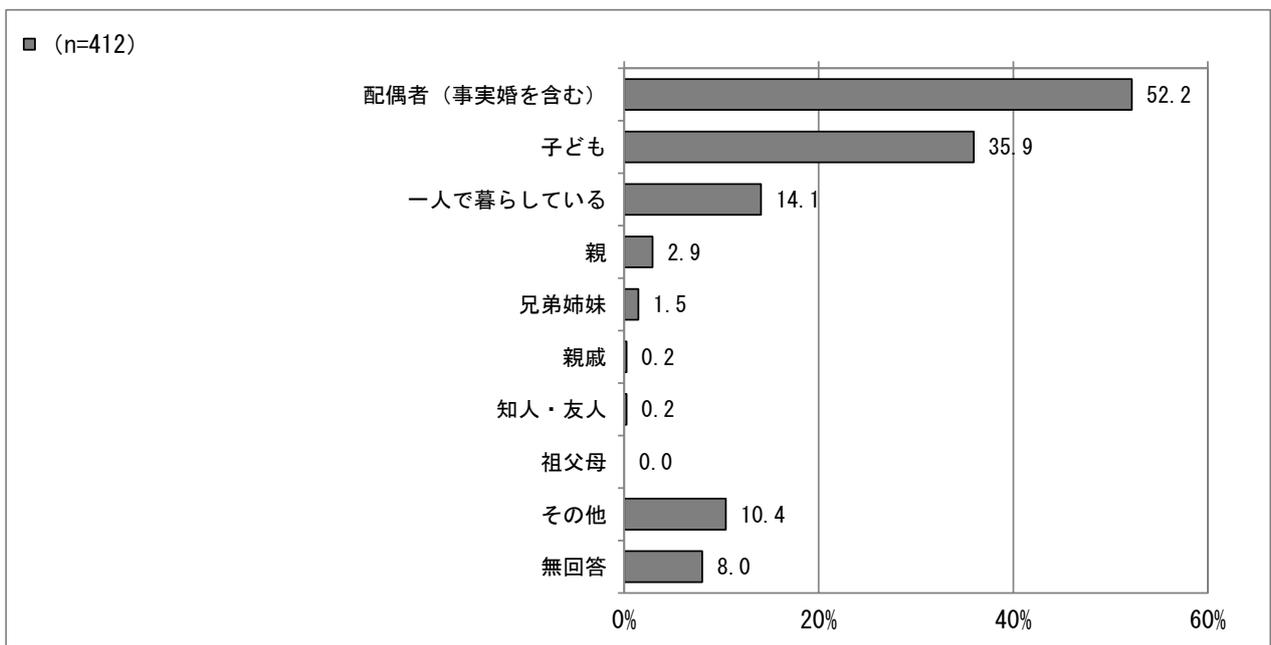
将来の居住希望は、「自分や家族の持ち家」(36.7%)が最も高く、次いで「高齢の方が暮らす施設」(10.4%)となっている。

問10 あなたと一緒に住んでいる人は何人いますか。(本人以外の人数) (SA)



一緒に住んでいる人数は「1人」(43.7%)が最も高く、次いで「2人」(17.5%)、「一緒に住んでいる人はいない」(12.6%)となっている。

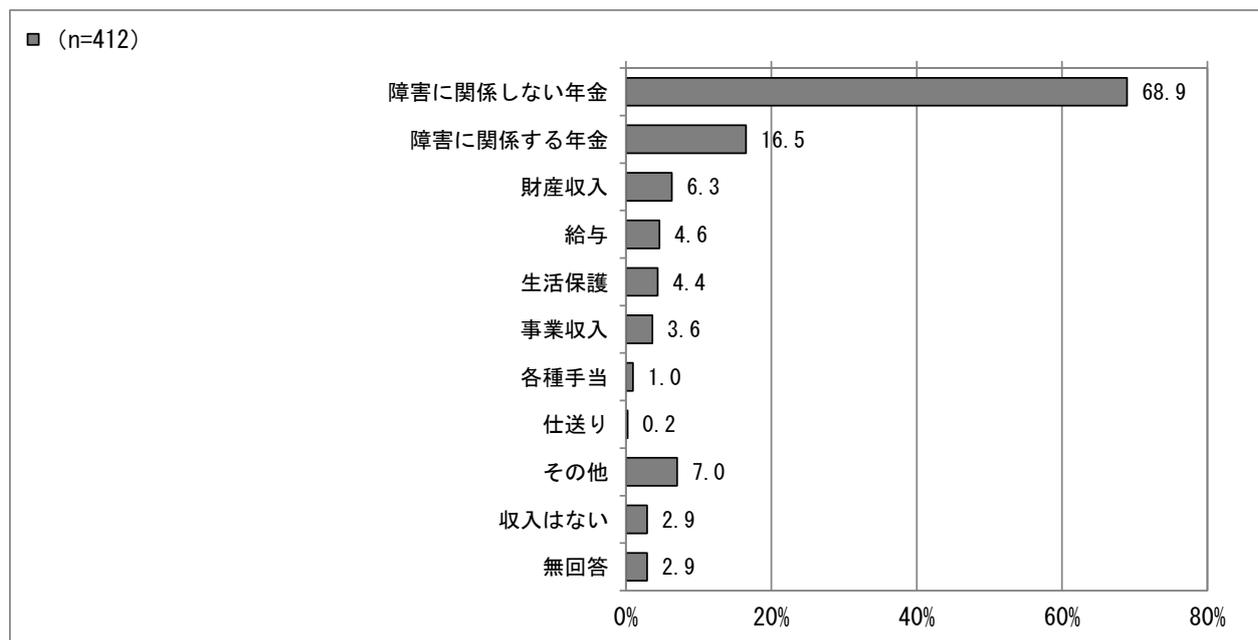
問11 あなたと一緒に住んでいる人は誰ですか。(MA)



同居者は、「配偶者(事実婚を含む)」(52.2%)が最も高く、次いで「子ども」(35.9%)、「一人で暮らしている」(14.1%)となっている。

## 3 所得の状況について

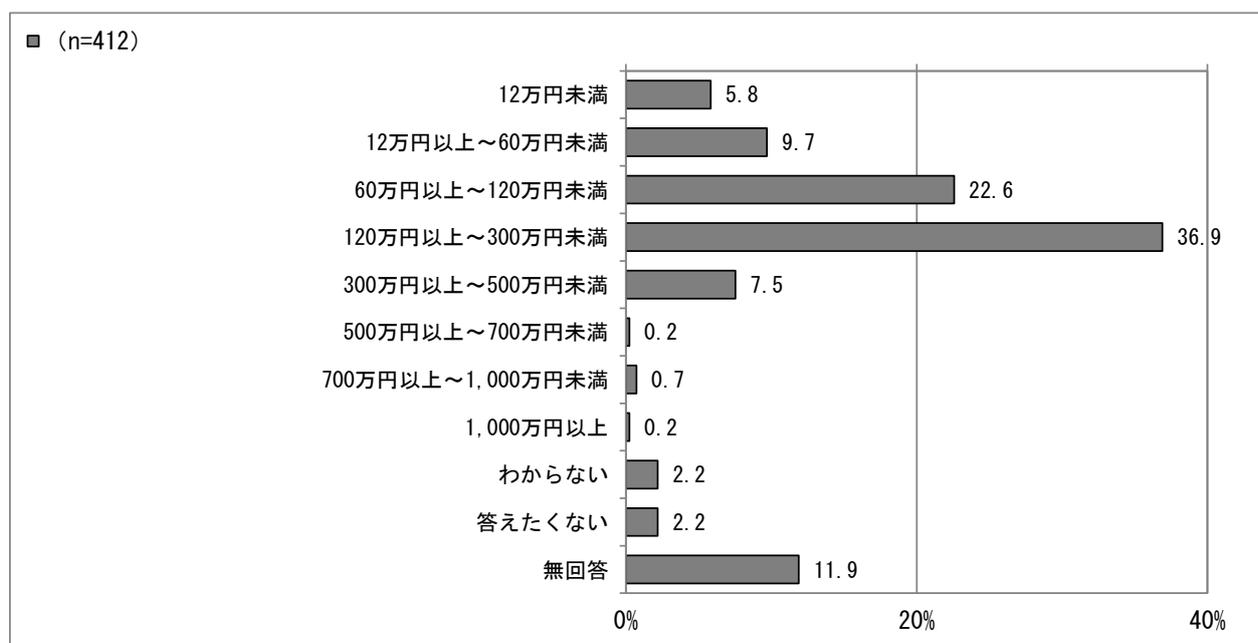
問12 あなたが得ている収入は次のうちどれですか。(MA)



得ている収入は、「障害に関係しない年金」(68.9%)が最も高く、次いで「障害に関係する年金」(16.5%)、「その他」(7.0%)となっている。

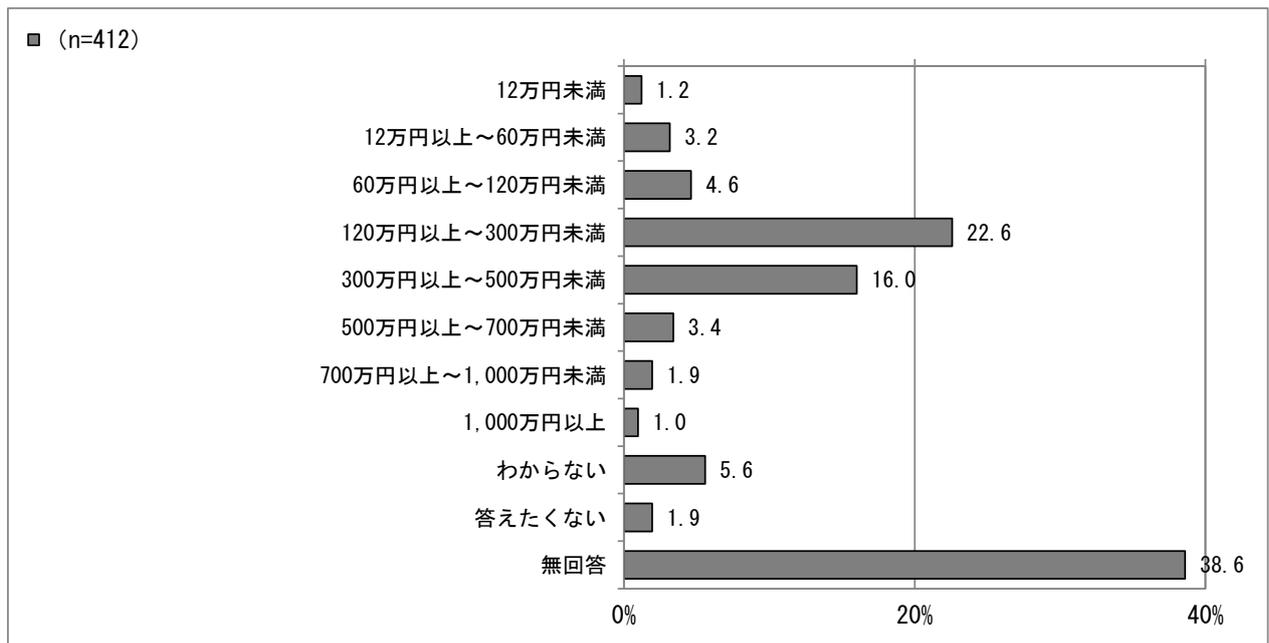
問13 所得についておたずねします。

(ア) あなたの年収(税込)はだいたいどのくらいですか。(SA)



年収は、「120万円以上～300万円未満」(36.9%)が最も高く、次いで「60万円以上～120万円未満」(22.6%)、「12万円以上～60万円未満」(9.7%)となっている。

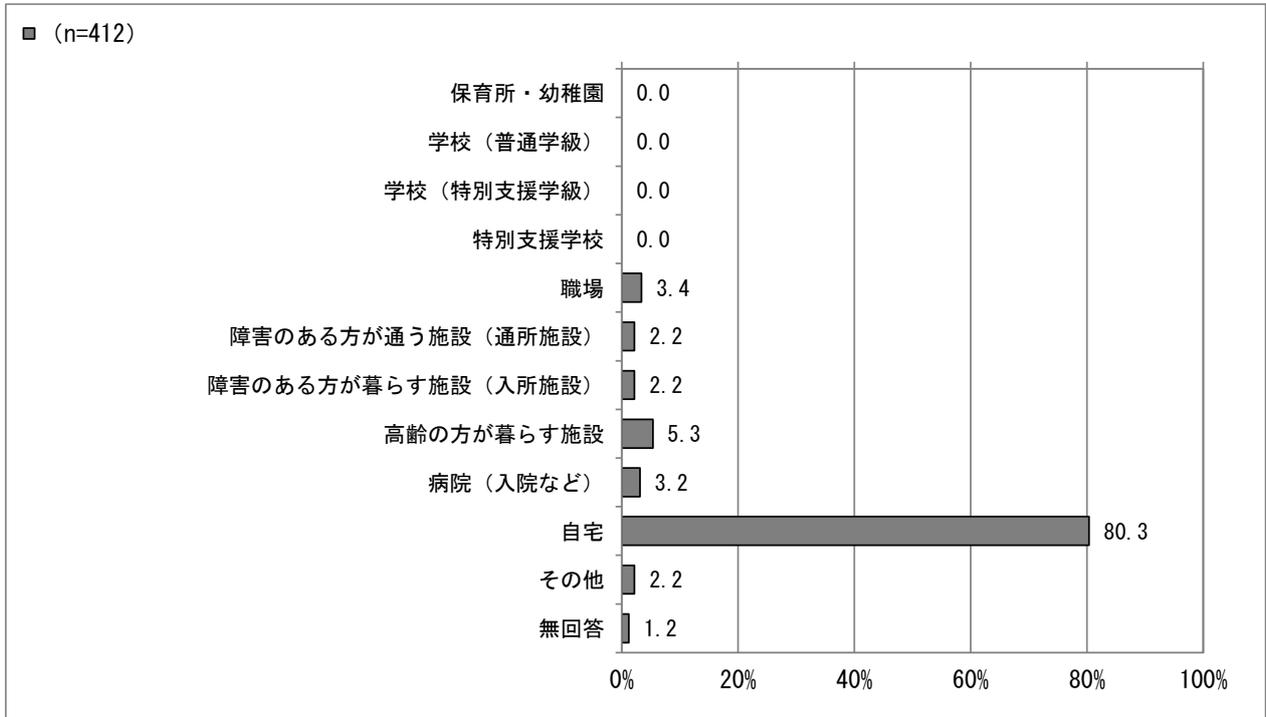
(イ) 一緒に暮らしている家族全体の年収(税込)はだいたいどのくらいですか。(本人の年収含む)(SA)



家族全体の年収は、「120万円以上～300万円未満」(22.6%)が最も高く、次いで「300万円以上～500万円未満」(16.0%)、「わからない」(5.6%)となっている。

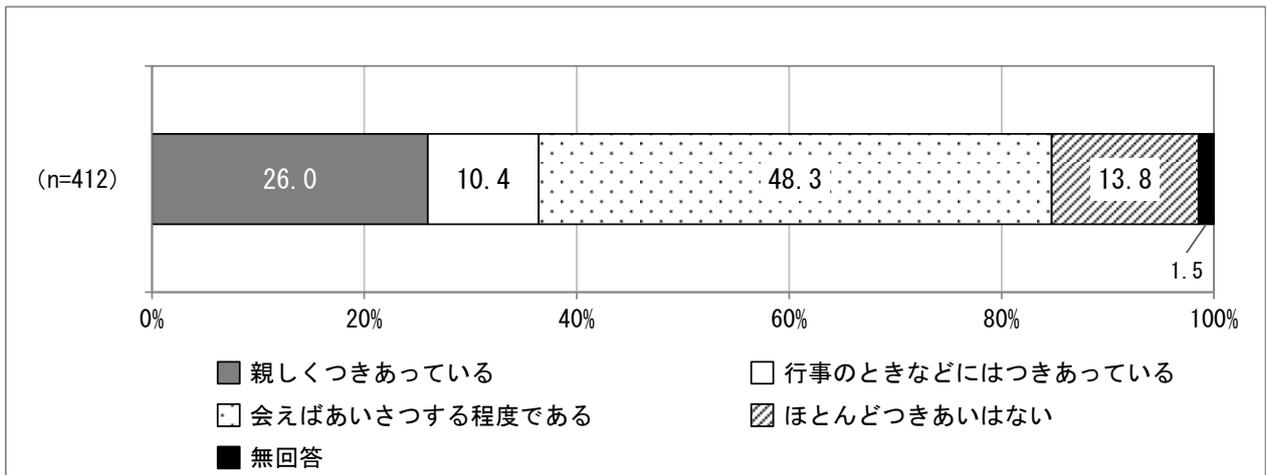
4 日常生活について

問 14 平日の日中の過ごし方についておたずねします。あなたが主に過ごしている場所はどこですか。(SA)



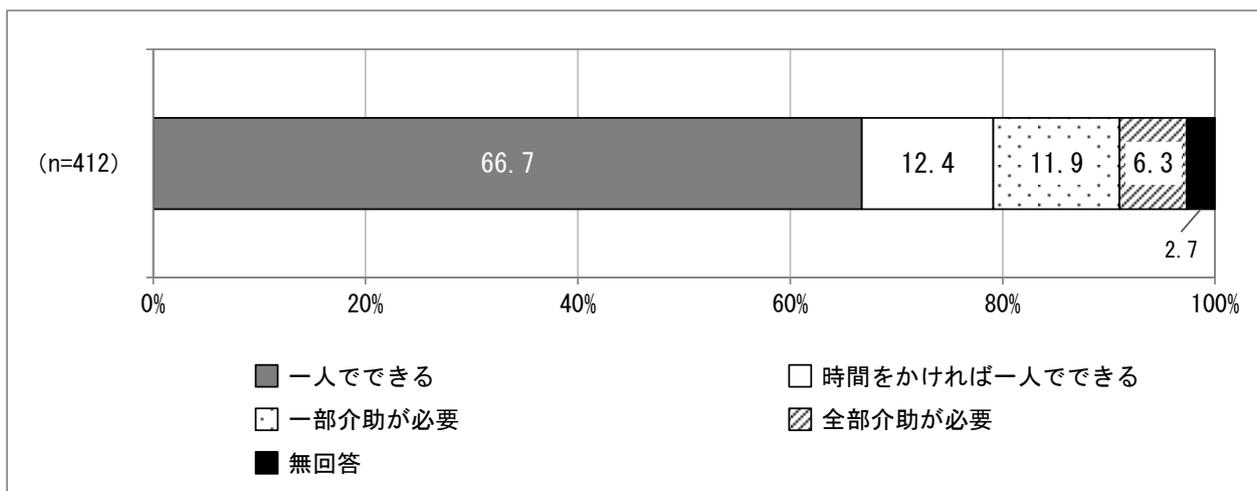
平日日中に主に過ごす場所は、「自宅」（80.3%）が最も高く、次いで「高齢の方が暮らす施設」（5.3%）、「職場」（3.4%）となっている。

問 15 あなたは隣近所の人とどのようにつきあっていますか。(SA)



隣近所の人とのつきあいかたは、「会えばあいさつする程度である」（48.3%）が最も高く、次いで「親しくつきあっている」（26.0%）、「ほとんどつきあいはない」（13.8%）となっている。

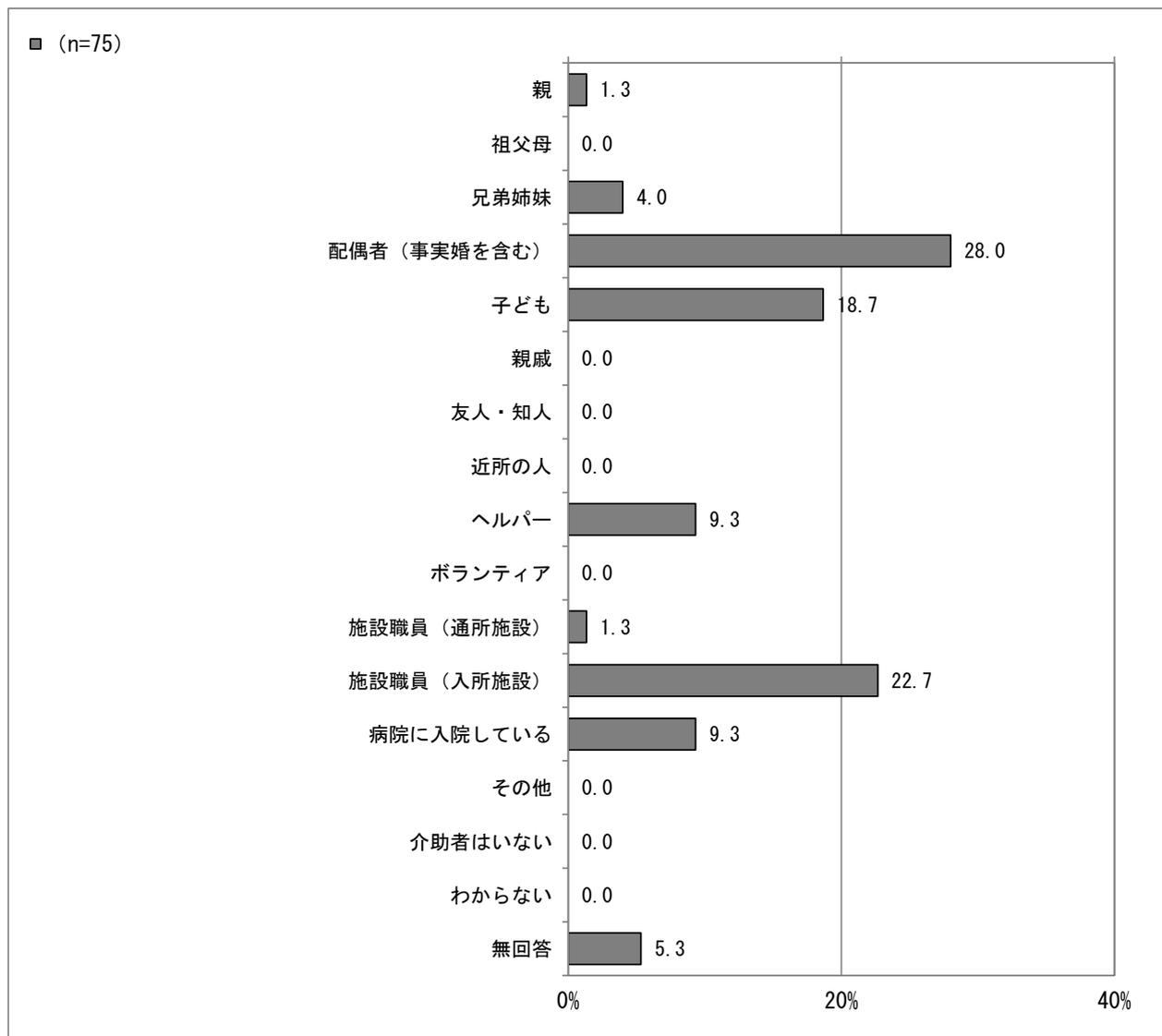
問 16 あなたは、食事や排泄など日常生活における動作を、自分ひとりでできますか。(現在所持している補装具などを使用した状態で回答) (SA)



自分ひとりでできる動作は、「一人でできる」(66.7%)、次いで「時間をかければ一人でできる」(12.4%)、「一部介助が必要」(11.9%)となっている。

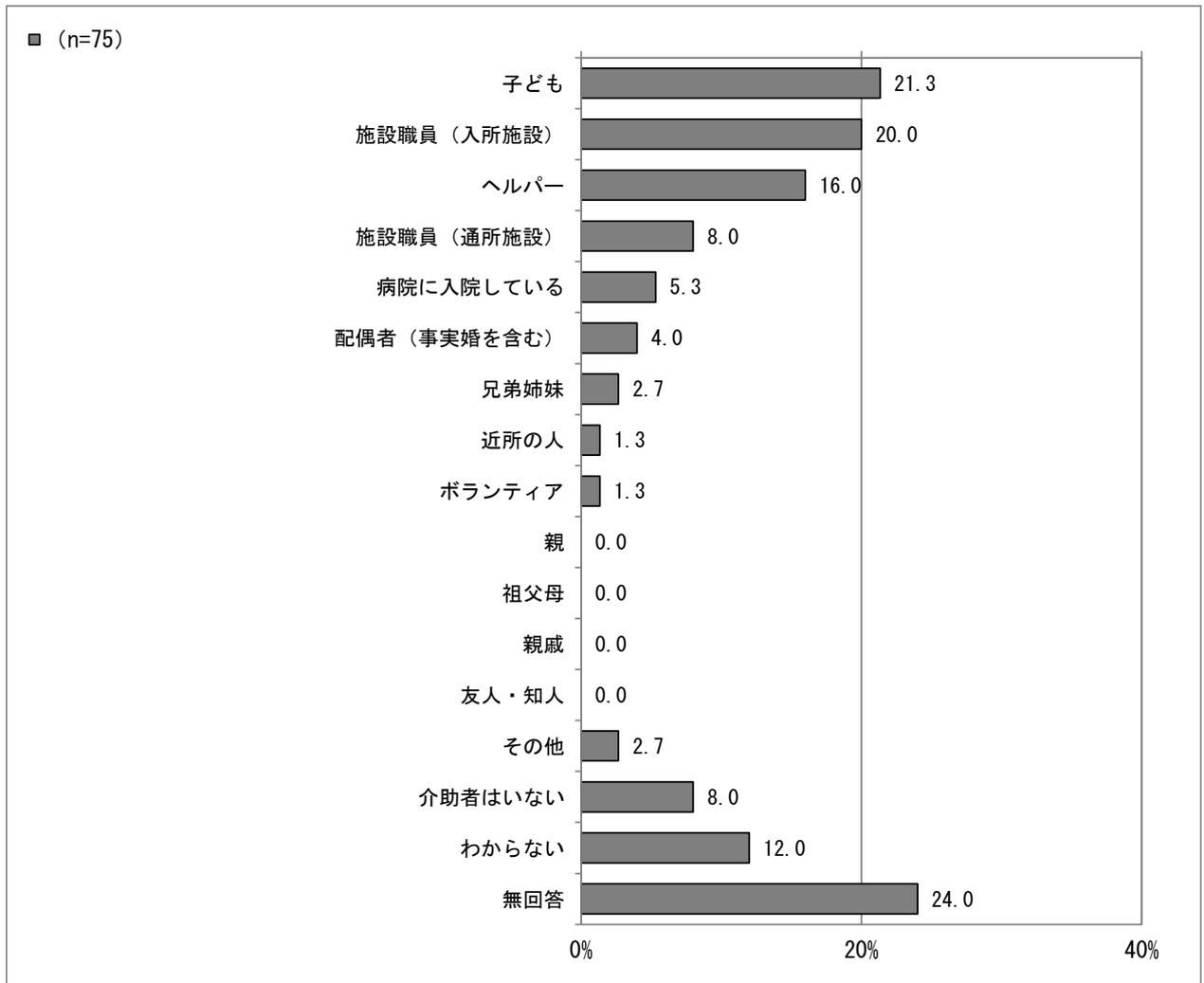
問17 問16で「一部介助が必要」または「全部介助が必要」を選んだ方におたずねします。

(ア) あなたの主な介助者は誰ですか。(SA)



主な介助者は、「配偶者（事実婚を含む）」（28.0%）が最も高く、次いで「施設職員（入所施設）」（22.7%）、「子ども」（18.7%）となっている。

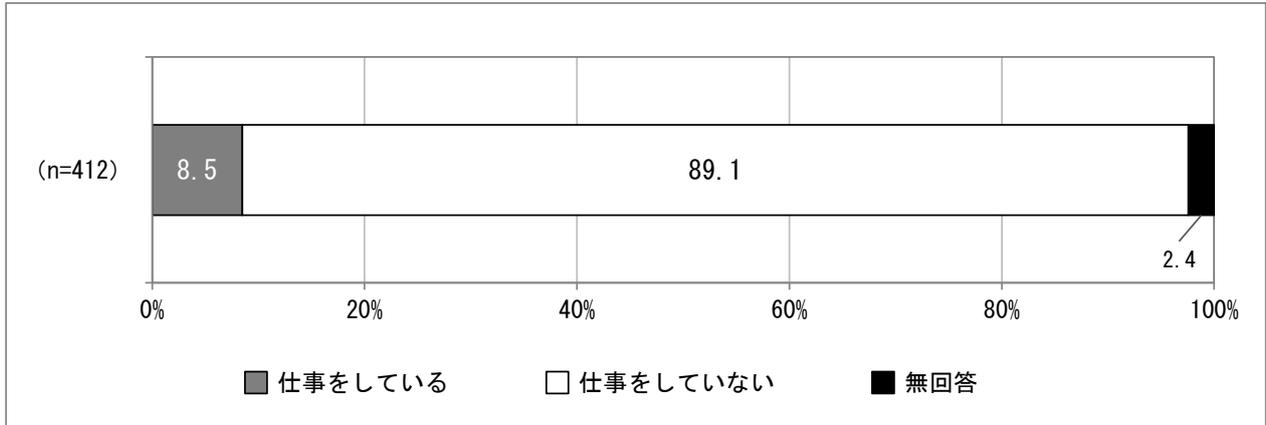
(イ) もし現在の介助者に頼むことができなくなったら、誰に頼みますか。(MA)



介助を頼む相手は、「子ども」(21.3%)が最も高く、次いで「施設職員(入所施設)」(20.0%)、「ヘルパー」(16.0%)となっている。

## 5 就労の状況について

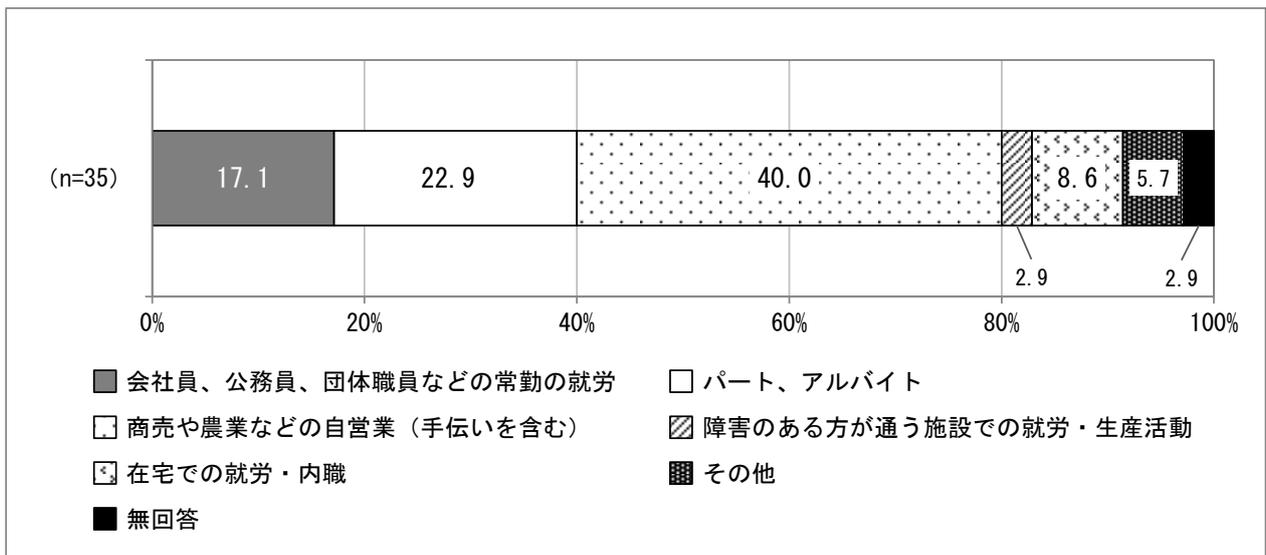
問18 現在、あなたは仕事をしていますか。(SA)



現在仕事は、「仕事をしている」(8.5%)、「仕事をしていない」(89.1%)となっている。

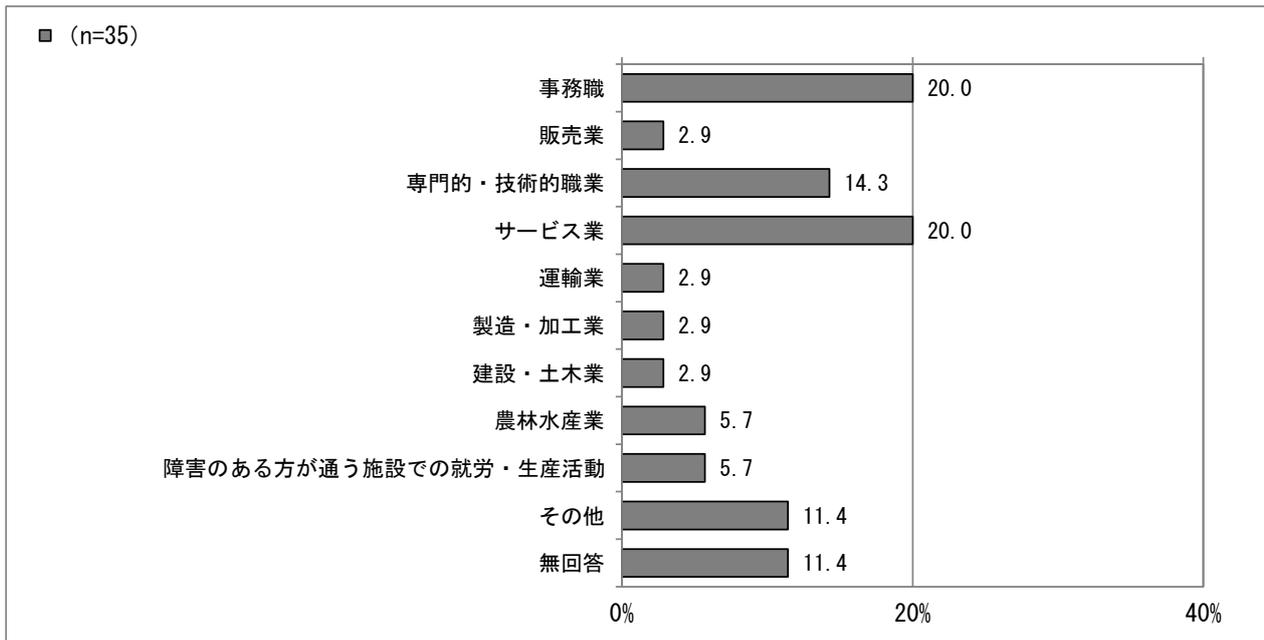
問19 問18で「仕事をしている」を選んだ方におたずねします。

(1) あなたは主にどのような仕事に就いていますか。(SA)



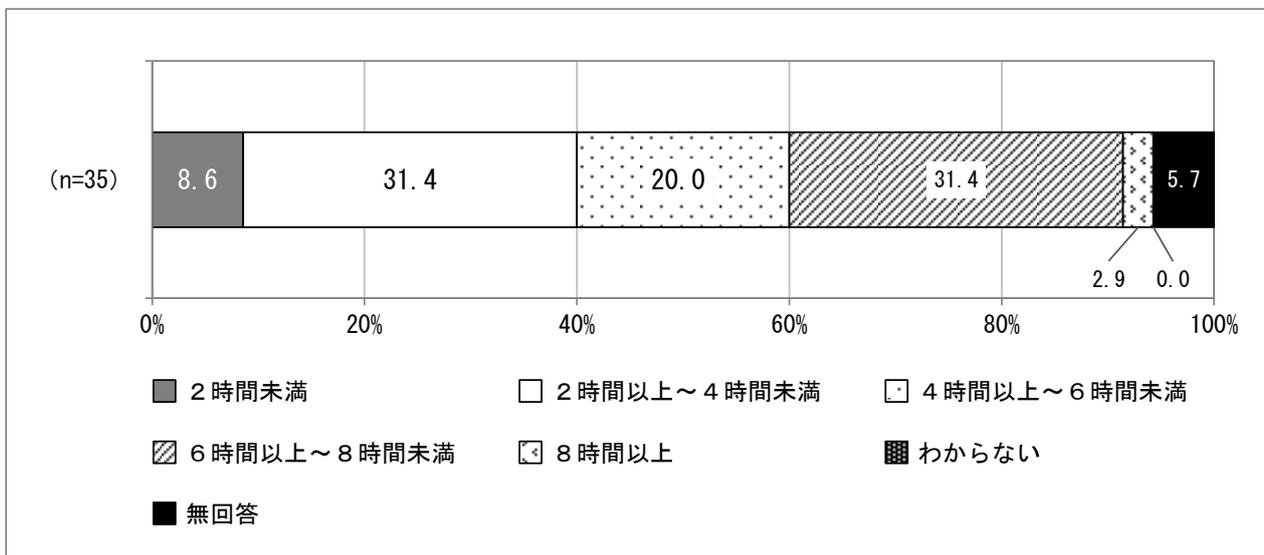
現在の仕事は、「商売や農業などの自営業（手伝いを含む）」(40.0%)が最も高く、次いで「パート、アルバイト」(22.9%)、「会社員、公務員、団体職員などの常勤の就労」(17.1%)となっている。

(2) あなたは主にどのような内容の仕事をしていますか。(SA)



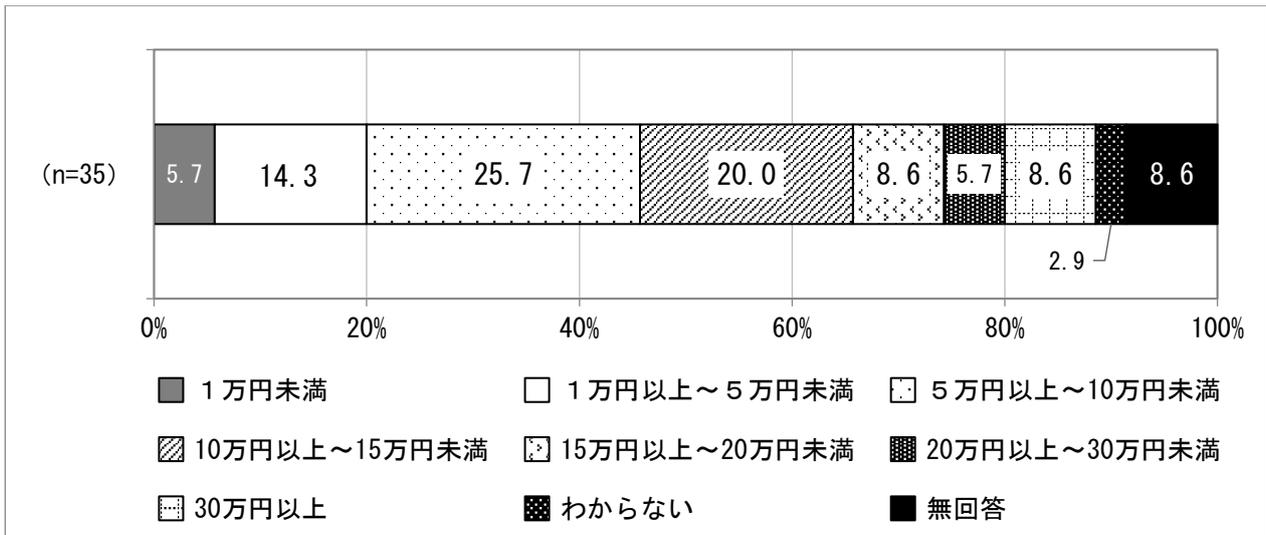
仕事の内容は、「事務職」と「サービス業」がともに 20.0%と最も高く、次いで「専門的・技術的職業」(14.3%)、「その他」(11.4%)となっている。

(3) あなたの1日あたりの仕事の時間はどのくらいですか。(SA)



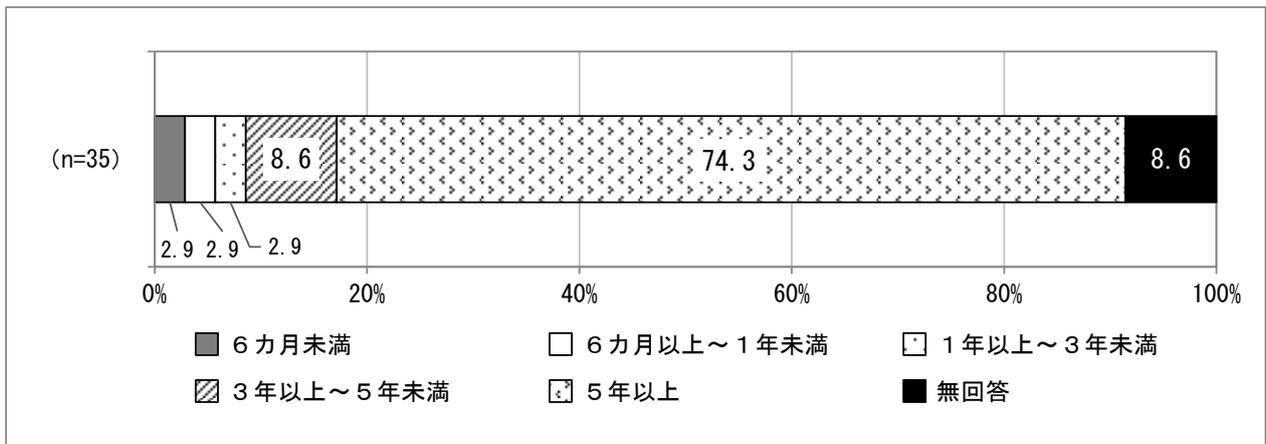
1日あたりの仕事の時間は、「2時間以上～4時間未満」と「6時間以上～8時間未満」がともに 31.4%と最も高く、次いで「4時間以上～6時間未満」(20.0%)となっている。

（4）あなたの仕事による収入は月額どのくらいですか。（SA）



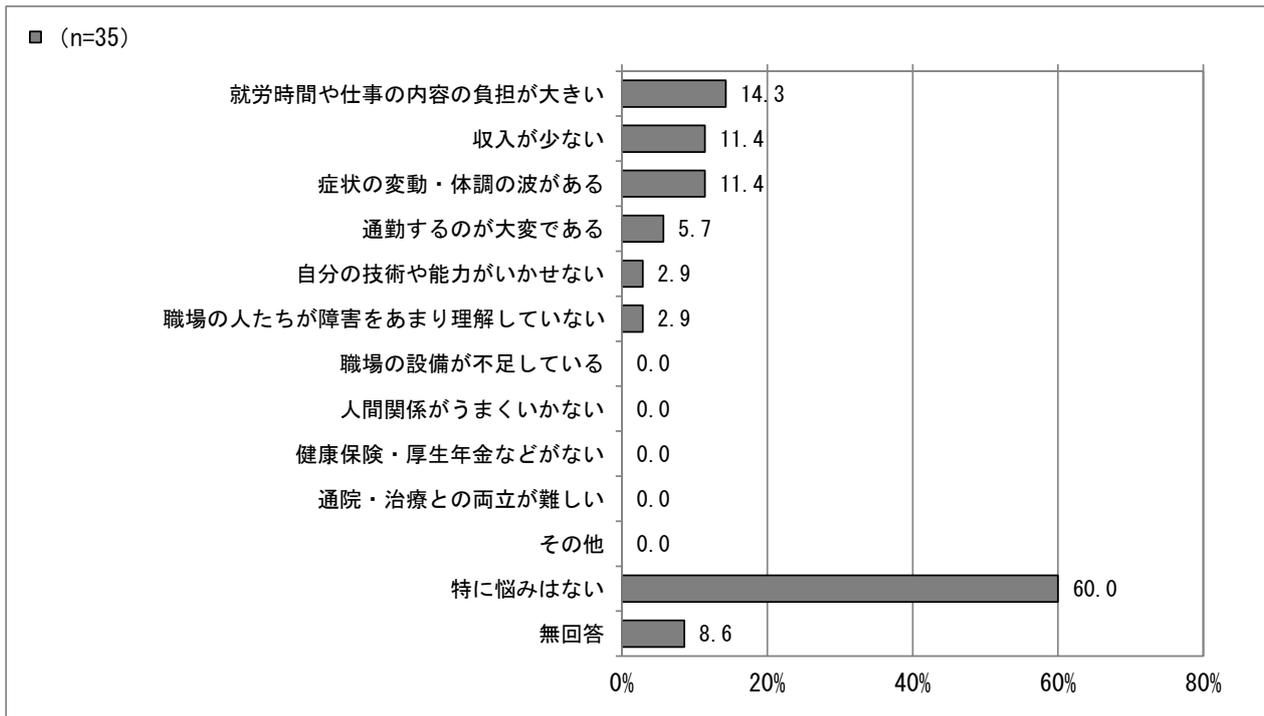
月額収入は、「5万円以上～10万円未満」（25.7%）が最も高く、次いで「10万円以上～15万円未満」（20.0%）、「1万円以上～5万円未満」（14.3%）となっている。

（5）あなたは現在の仕事をどのくらいの期間続けていますか。（SA）



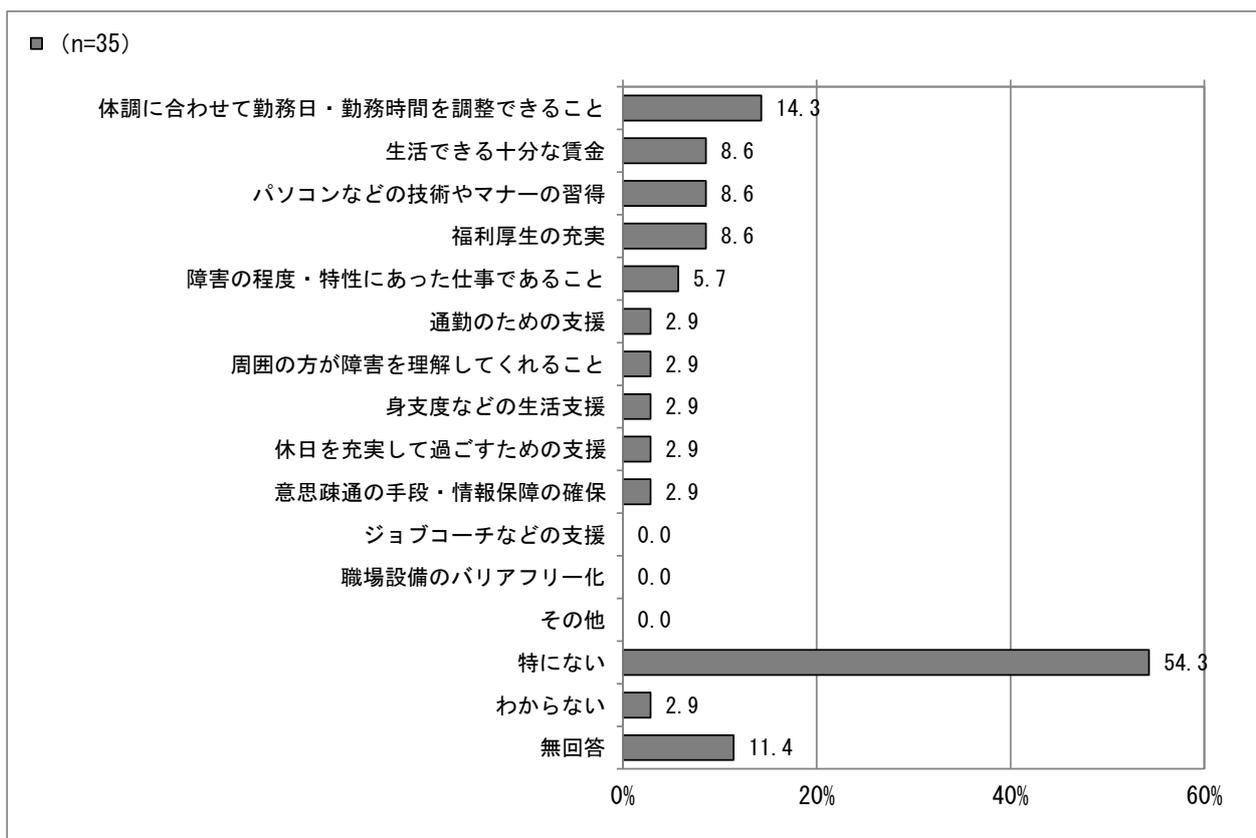
現在の仕事の期間は、「5年以上」（74.3%）が最も高く、次いで「3年以上～5年未満」（8.6%）となっている。

(6) あなたは仕事をしている上で、何か悩みや不満などがありますか。(MA)



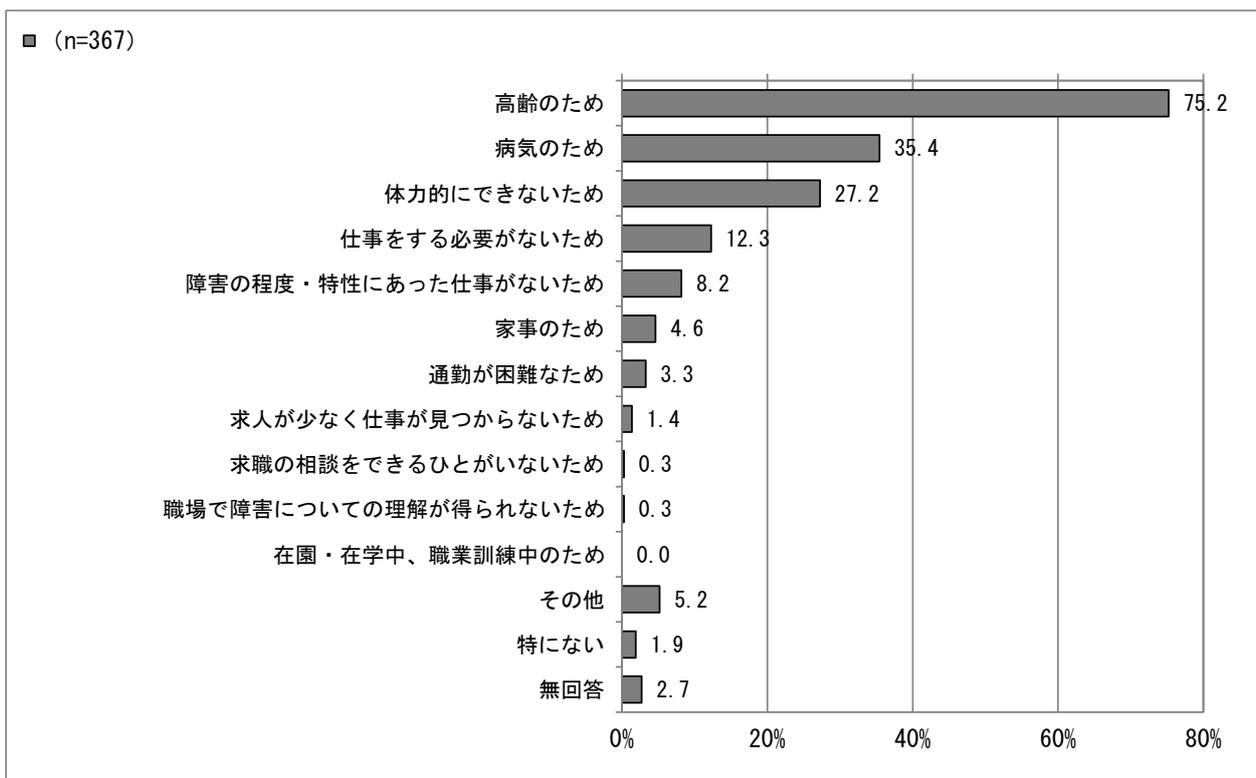
仕事をしている上での悩みや不満は、「特に悩みはない」(60.0%)が最も高く、次いで「就労時間や仕事の内容の負担が大きい」(14.3%)となっている。

## (7) あなたが仕事を続けるためには何が必要ですか。(MA)



仕事を続けるために必要なものは、「特にない」(54.3%)が最も高く、次いで「体調に合わせて勤務日・勤務時間を調整できること」(14.3%)となっている。

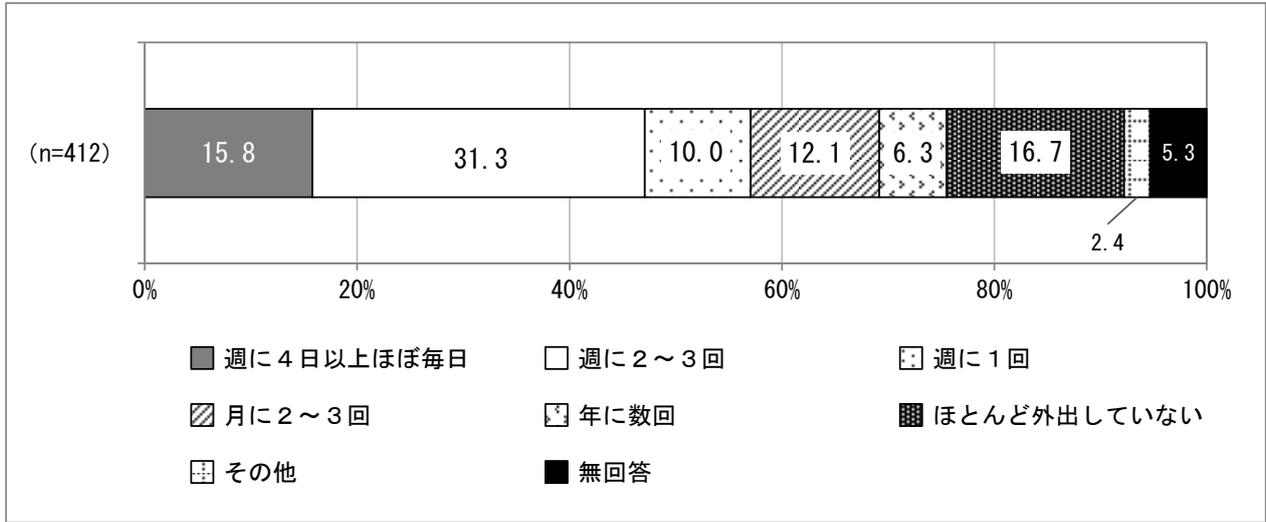
問 20 問 18 で「仕事をしていない」を選んだ方におたずねします。現在、あなたが仕事を  
していない理由は何ですか。(MA)



現在仕事をしていない理由は、「高齢のため」(75.2%) が最も高く、次いで「病気のため」(35.4%)、「体力的にできないため」(27.2%) となっている。

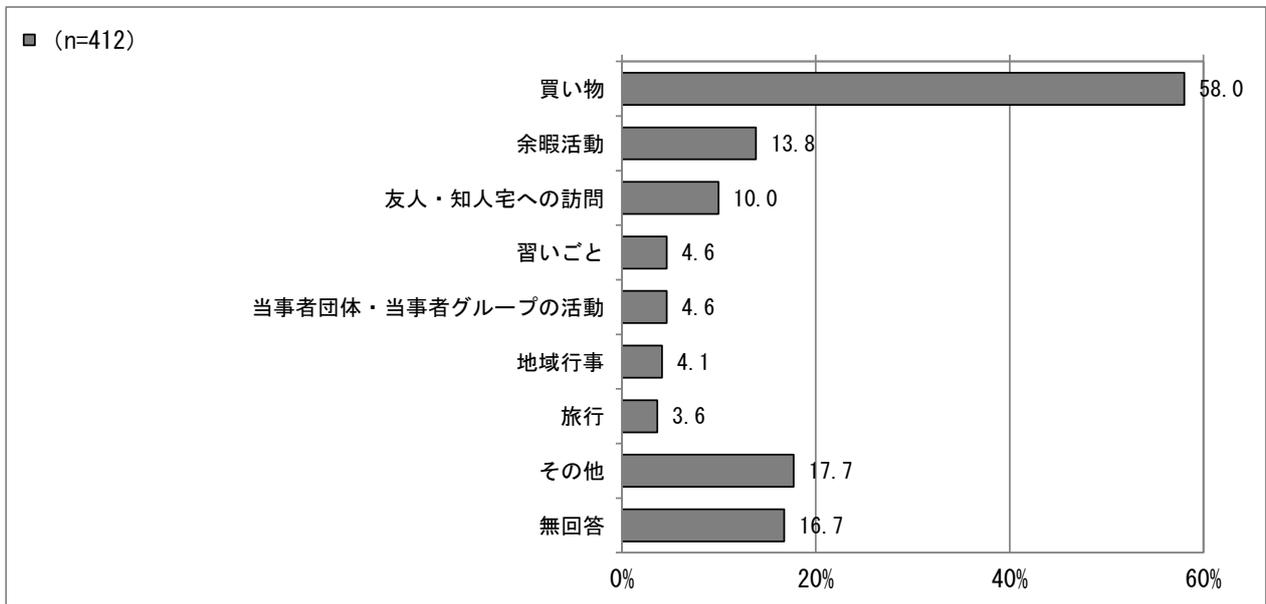
6 社会参加について

問 21 あなたはどのくらいの頻度で外出していますか。(SA)



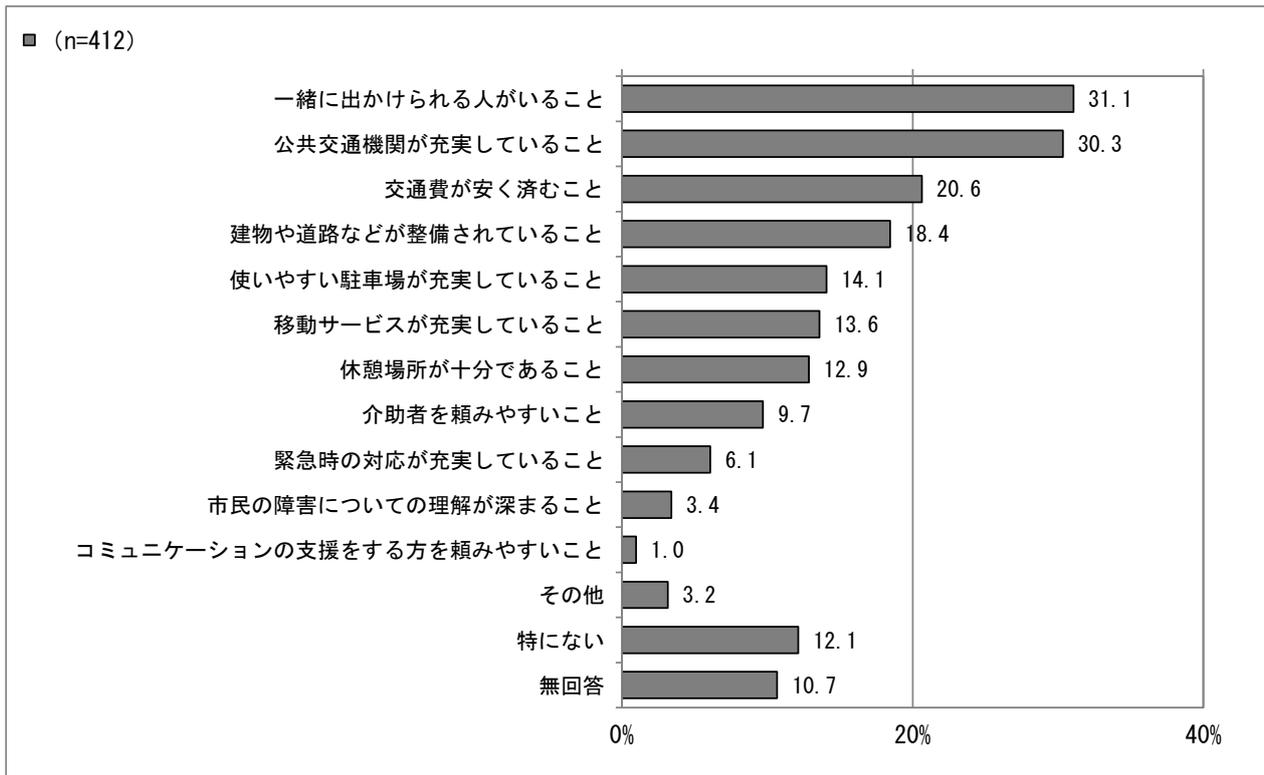
外出頻度は、「週に2~3回」(31.3%)が最も高く、次いで「ほとんど外出していない」(16.7%)、「週に4日以上ほぼ毎日」(15.8%)となっている。

問 22 あなたの主な外出の目的は何ですか。(MA)



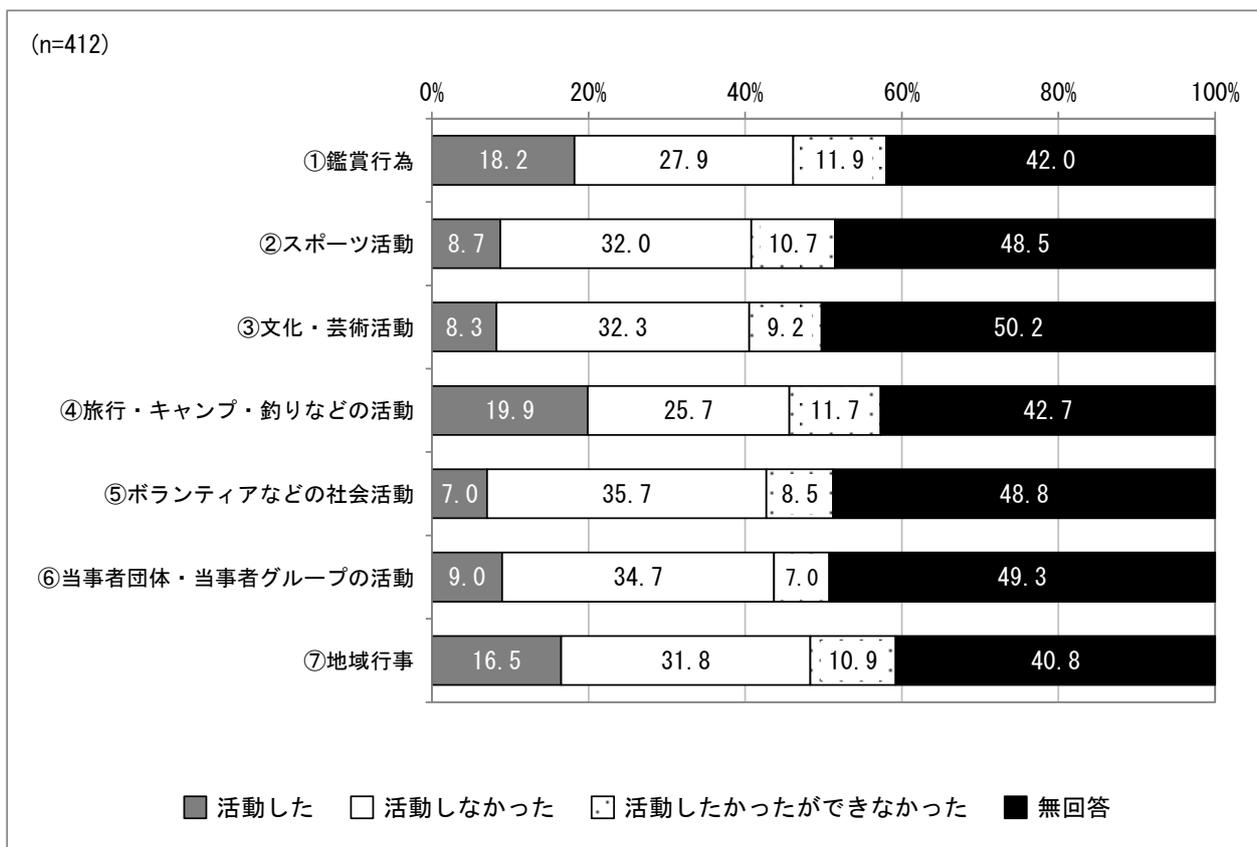
主な外出の目的は、「買い物」(58.0%)が最も高く、次いで「その他」(17.7%)、「余暇活動」(13.8%)となっている。

問 23 あなたがより外出しやすくなるためには何が必要ですか。(MA)



より外出しやすくなるために必要なものは、「一緒に出かけられる人がいること」(31.1%)が最も高く、次いで「公共交通機関が充実していること」(30.3%)、「交通費が安く済むこと」(20.6%)となっている。

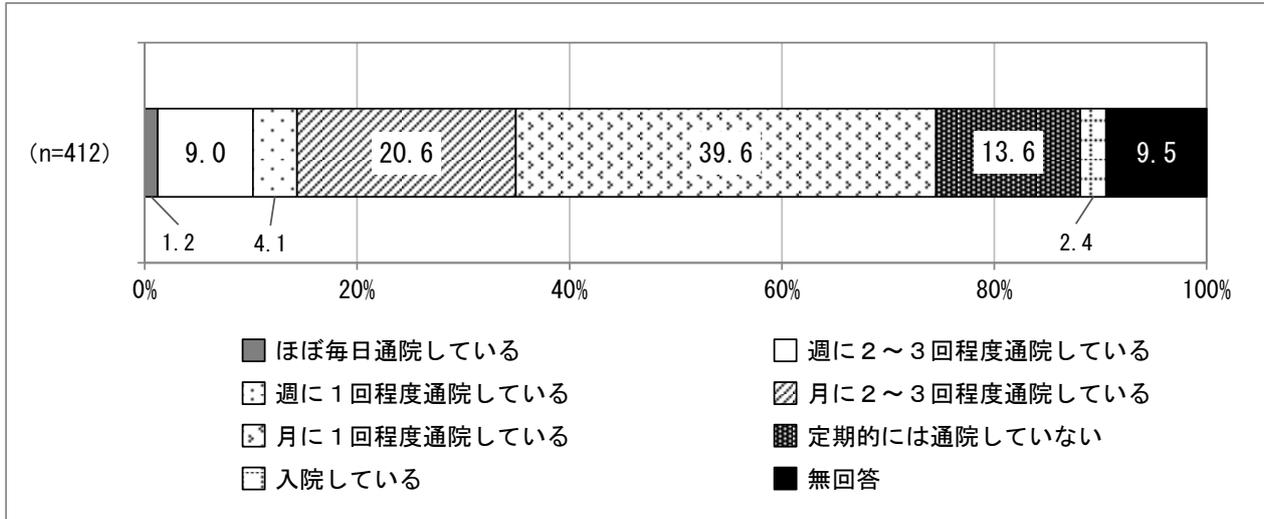
問 24 あなたは過去一年間に、どのような余暇活動、スポーツ、趣味、学習や社会活動などをしましたか。(SA)



過去一年間に行った活動などは、「④旅行・キャンプ・釣りなどの活動」(19.9%)が最も高く、次いで「①鑑賞行為」(18.2%)、「⑦地域行事」(16.5%)となっている。

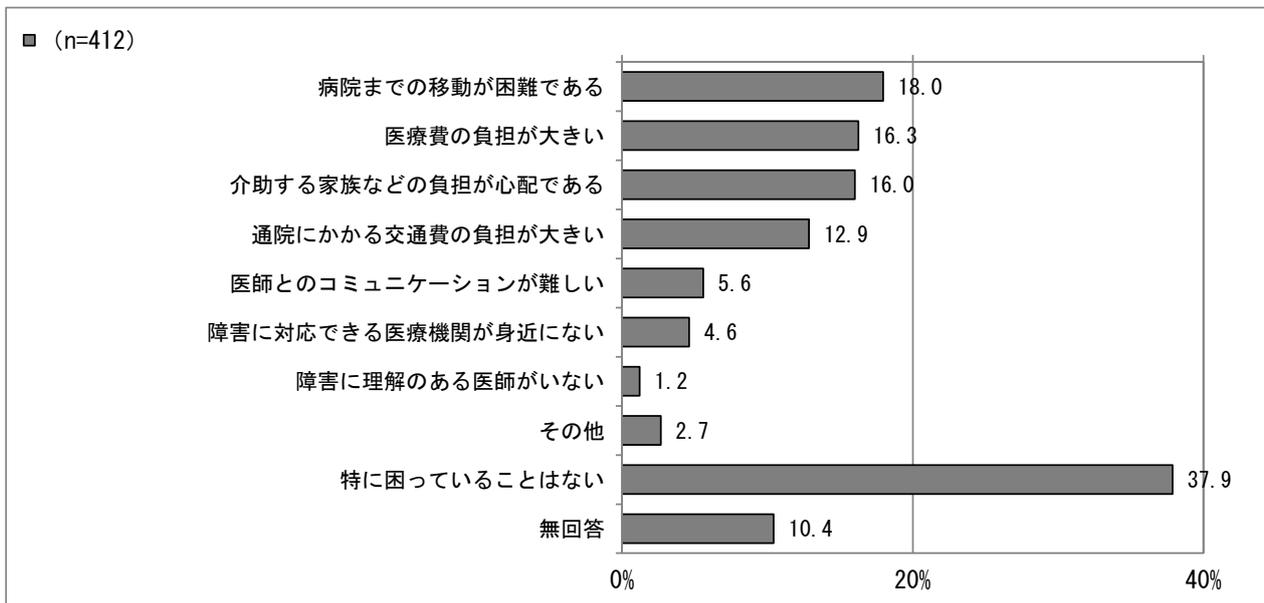
## 7 健康や医療について

問 25 あなたは普段、定期的に通院していますか。(SA)



定期的な通院は、「月に1回程度通院している」(39.6%)が最も高く、次いで「月に2~3回程度通院している」(20.6%)、「定期的には通院していない」(13.6%)となっている。

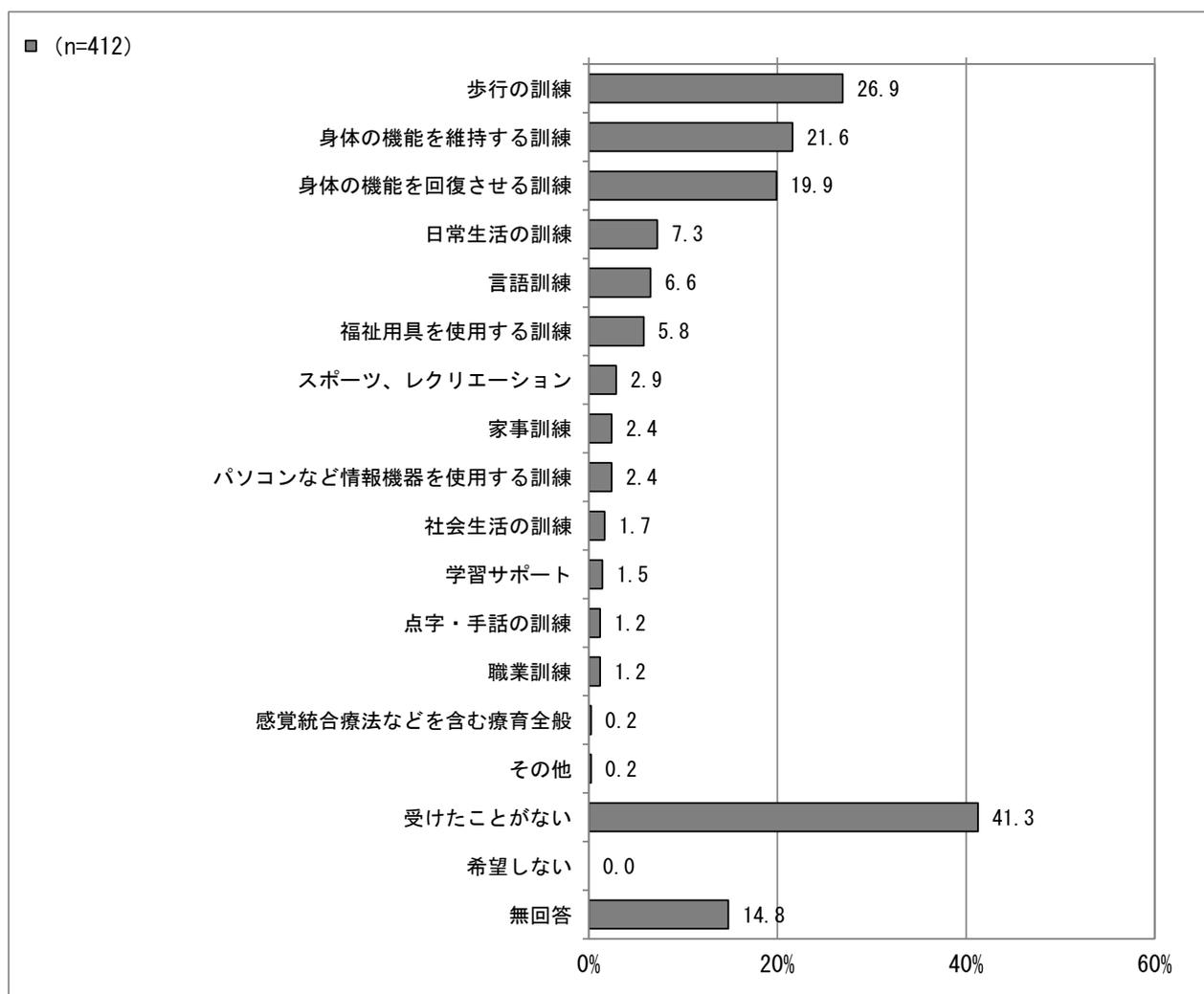
問 26 あなたが医療機関を利用する際に困っていることは何ですか。(MA)



医療機関利用時に困っていることは、「特に困っていることはない」(37.9%)が最も高く、次いで「病院までの移動が困難である」(18.0%)、「医療費の負担が大きい」(16.3%)となっている。

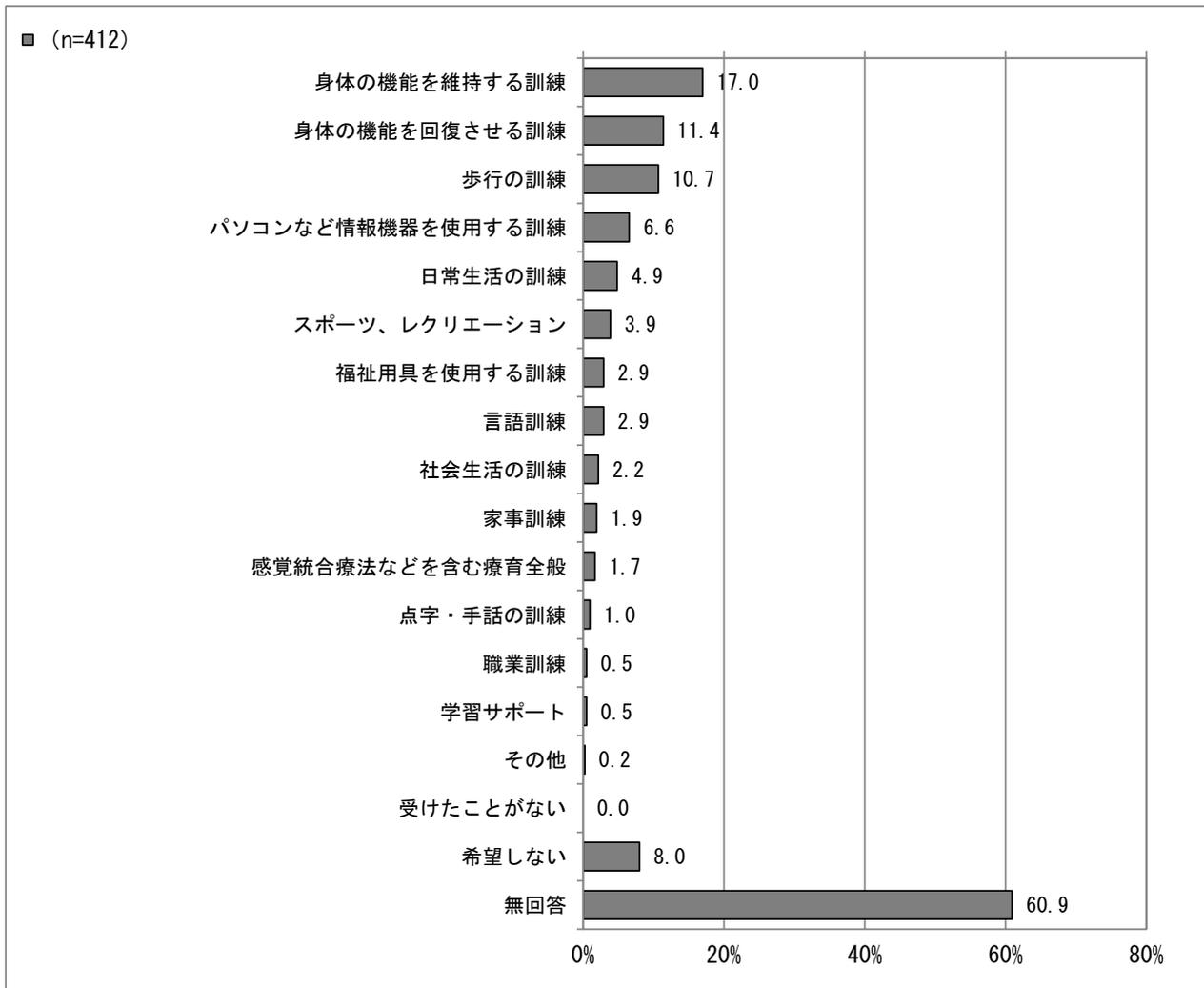
問27 訓練などについておたずねします。

(ア) あなたは、どのような訓練・リハビリテーション・療育を受けたことがありますか。  
(MA)



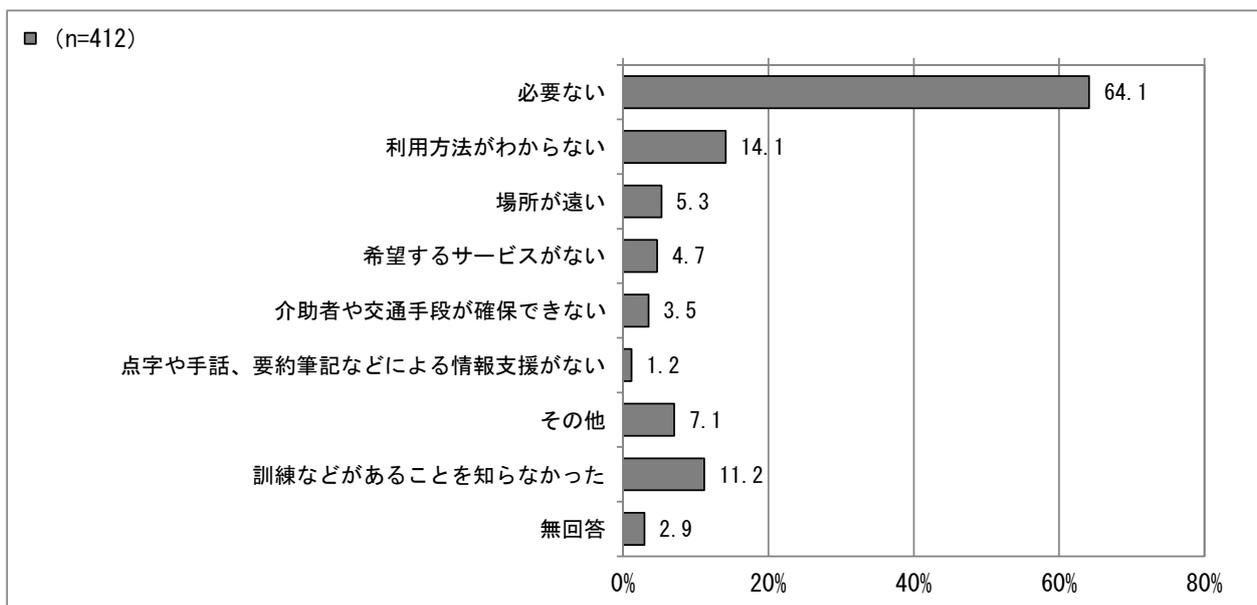
受けたことのある訓練などは、「受けたことがない」(41.3%)が最も高く、次いで「歩行の訓練」(26.9%)、「身体の機能を維持する訓練」(21.6%)となっている。

(イ) 今後どのような訓練・リハビリテーション・療育を受けたいと思いますか。(MA)



今後受けたい訓練などは、「身体の機能を維持する訓練」(17.0%)が最も高く、次いで「身体の機能を回復させる訓練」(11.4%)、「歩行の訓練」(10.7%)となっている。

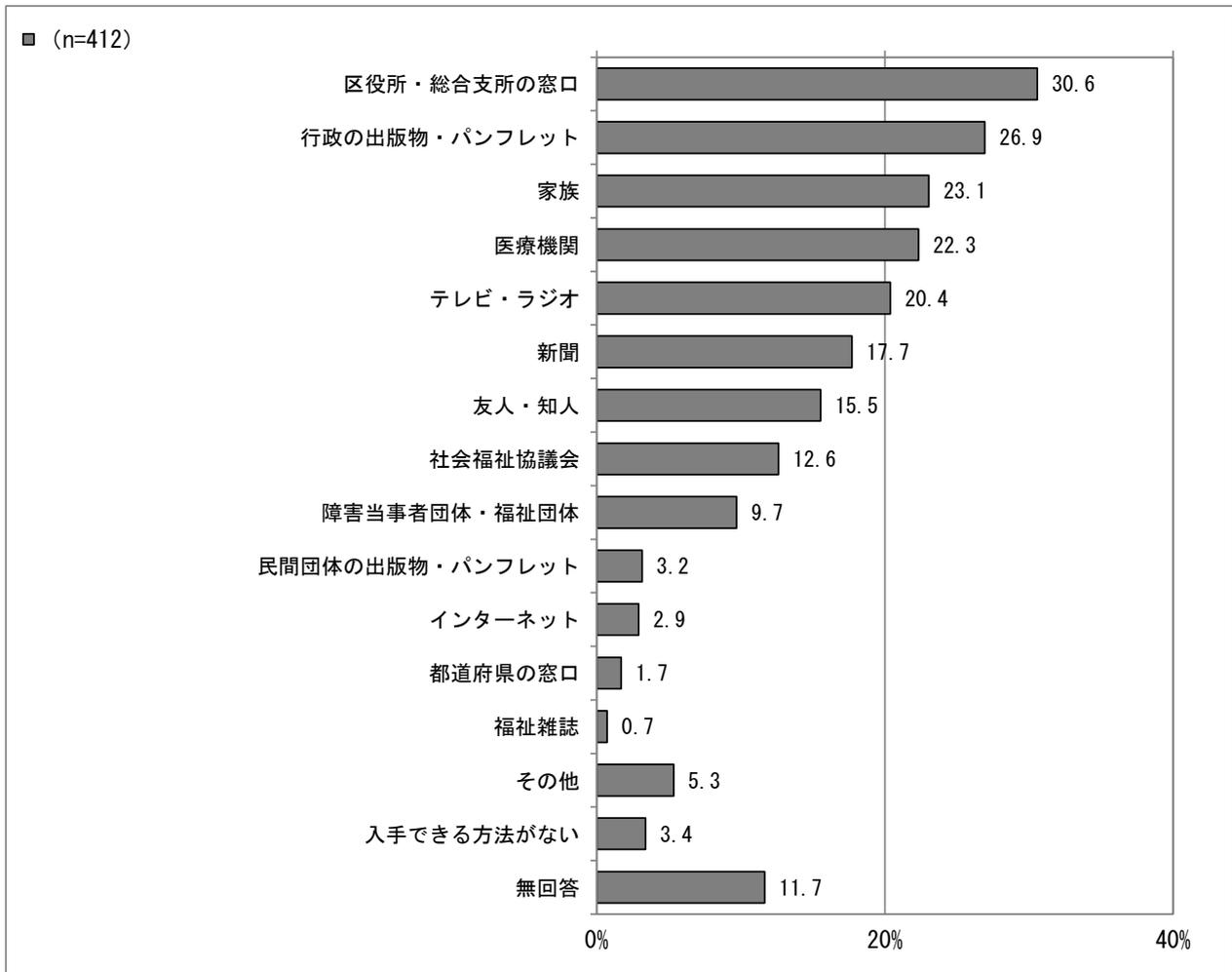
問28 問27で「受けたことがない」を選んだ方におたずねします。受けたことがない理由は何ですか。(MA)



受けたことがない理由は、「必要ない」(64.1%)が最も高く、次いで「利用方法がわからない」(14.1%)、「訓練などがあることを知らなかった」(11.2%)となっている。

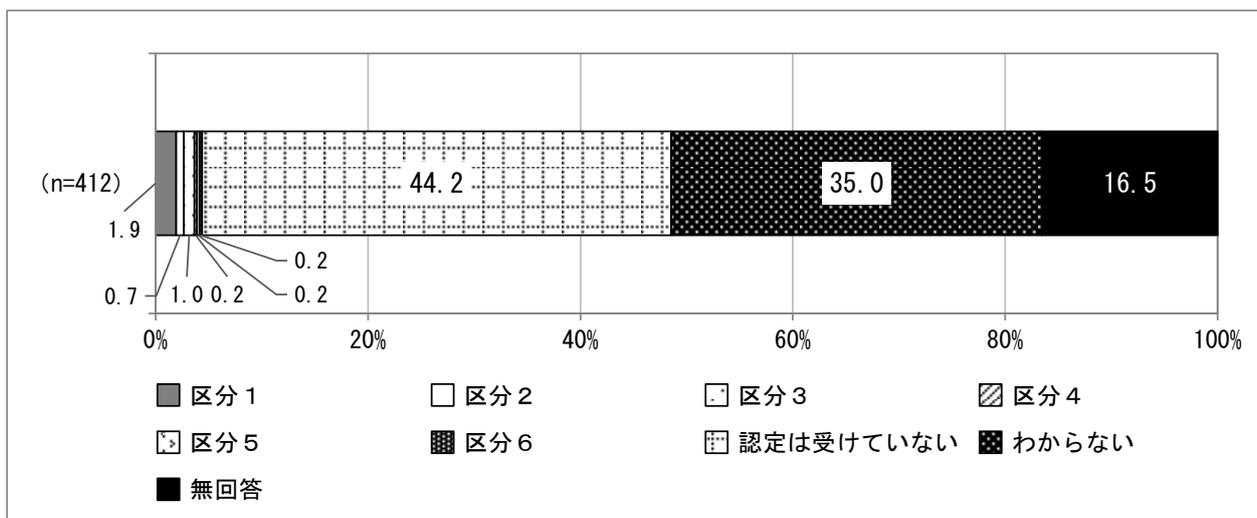
## 8 福祉サービスについて

問 29 あなたはどのようなところから福祉サービスの情報を得ていますか。(MA)



情報の入手先は、「区役所・総合支所の窓口」(30.6%)が最も高く、次いで「行政の出版物・パンフレット」(26.9%)、「家族」(23.1%)となっている。

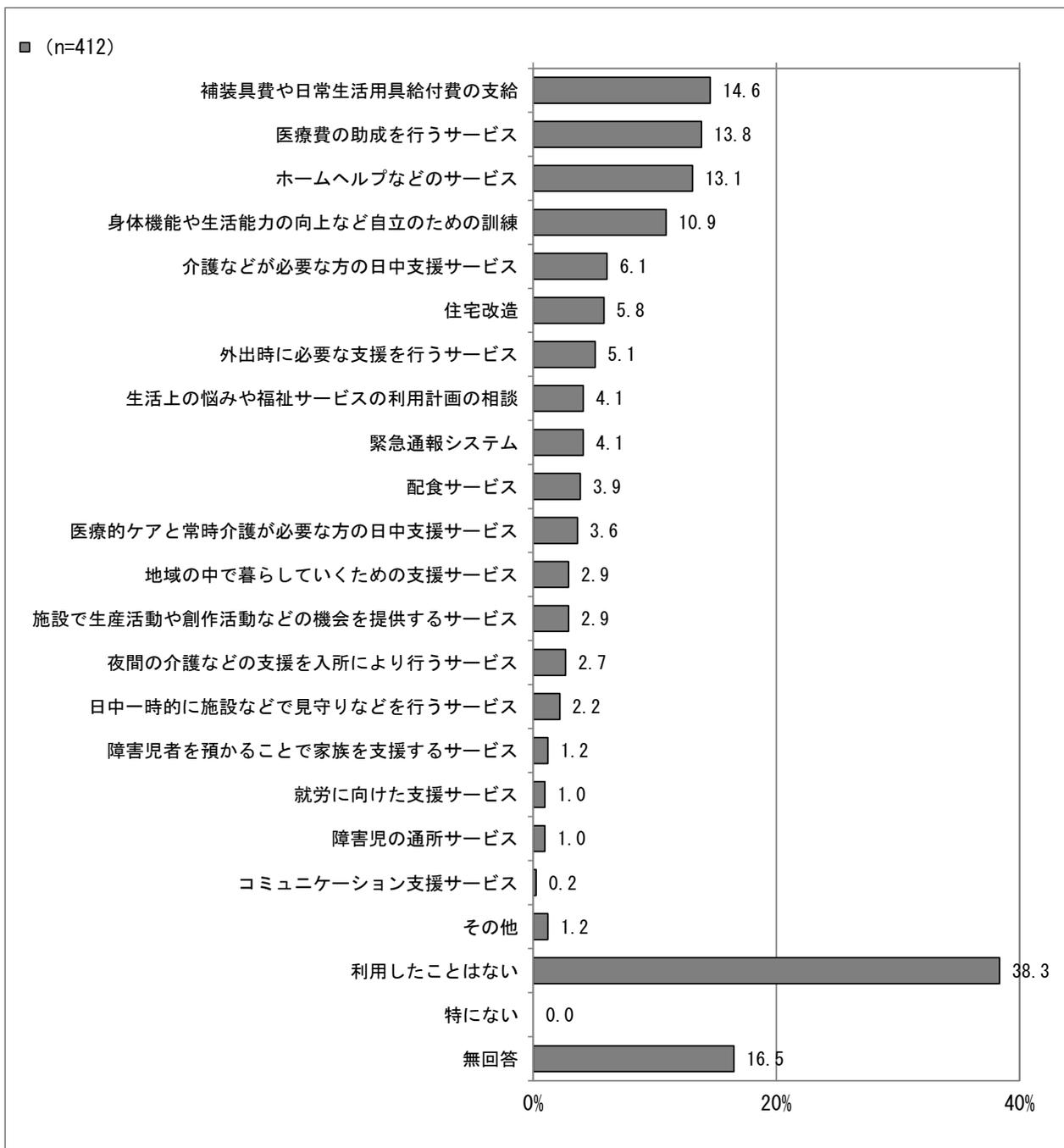
問30 あなたは「障害のある方の福祉サービス」を利用するための、障害支援区分認定を受けていますか。(SA)



区分認定は、「認定は受けていない」(44.2%)が最も高く、次いで「わからない」(35.0%)となっている。

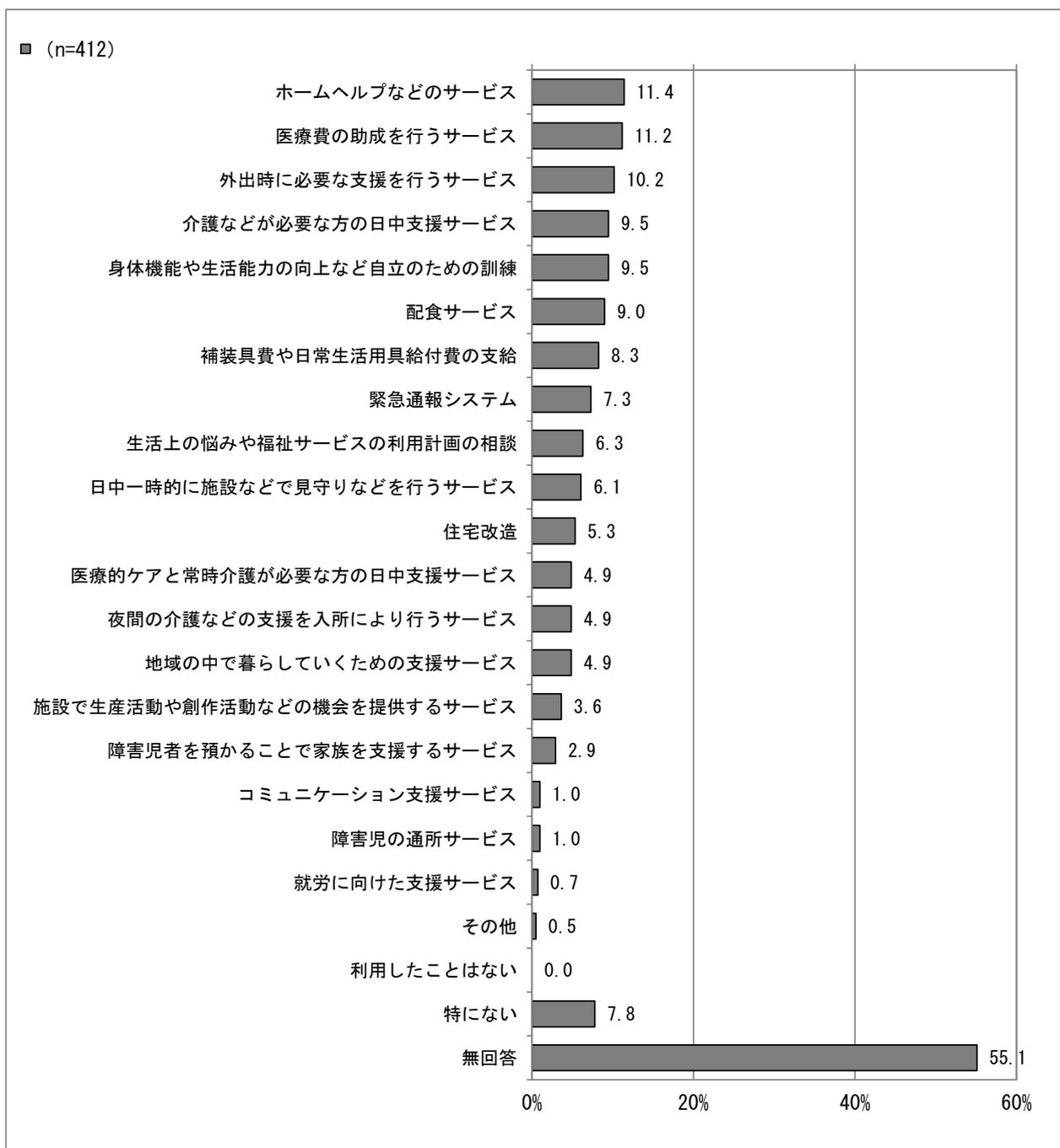
問 31 「障害のある方の福祉サービス」についておたずねします。

(ア) あなたはこれまでにどのようなサービスを利用したことがありますか。(MA)



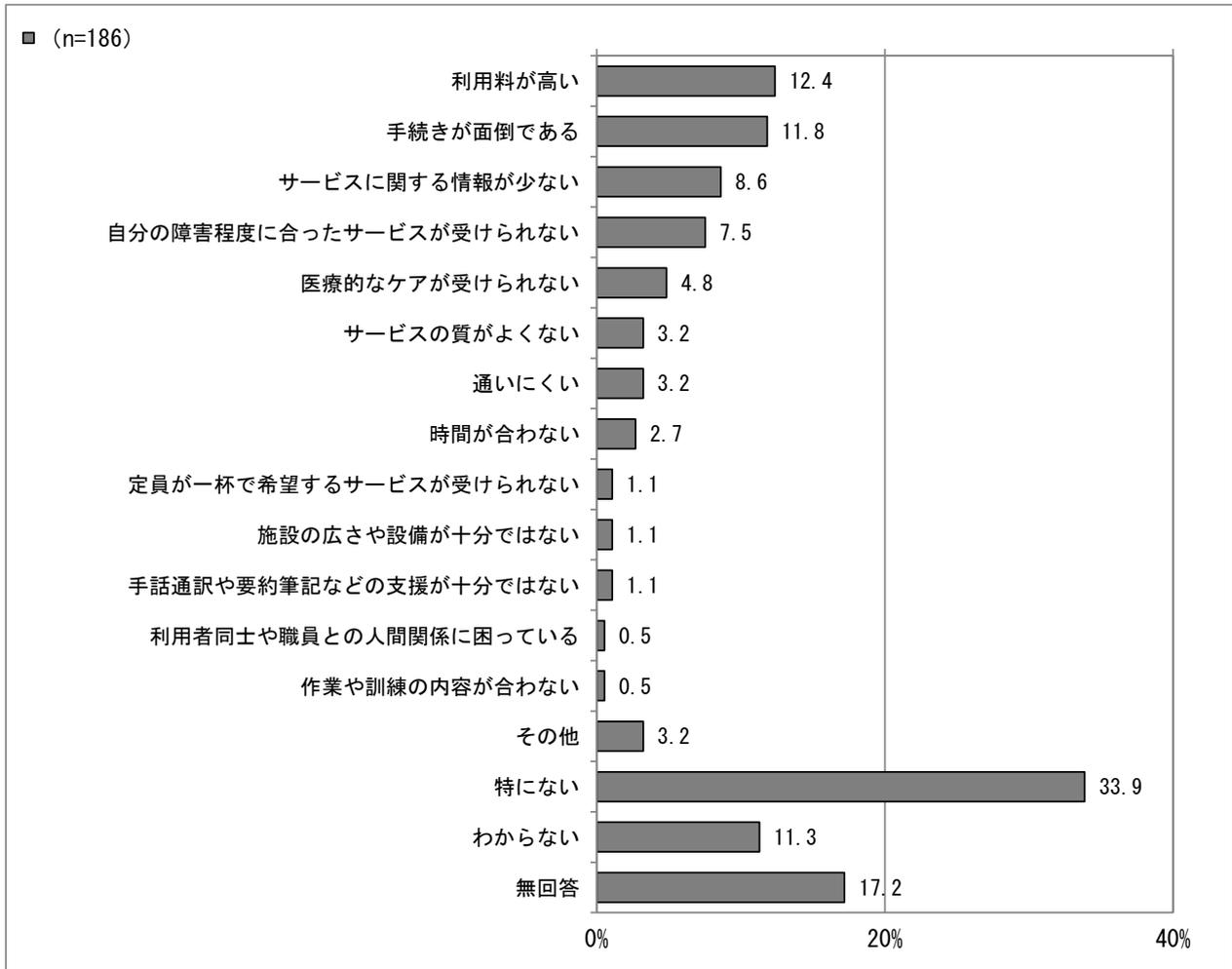
これまで利用したことのあるサービスは、「利用したことはない」(38.3%)が最も高く、次いで「補装具費や日常生活用具給付費の支給」(14.6%)、「医療費の助成を行うサービス」(13.8%)となっている。

## (イ) 今後、あなたが利用したいと思うサービスは何ですか。(MA)



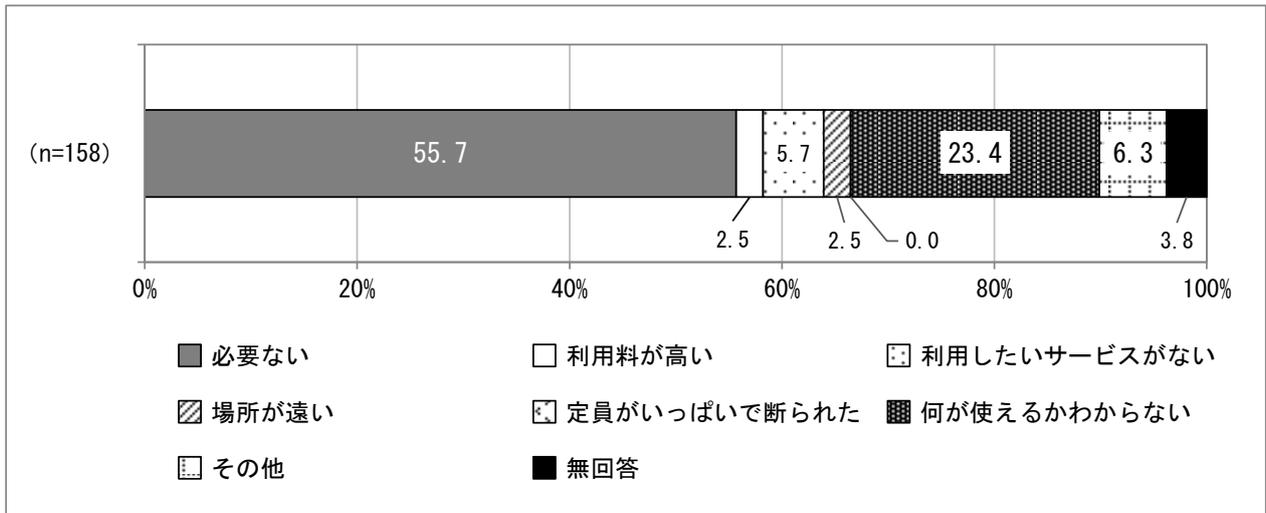
今後利用したいサービスは、「ホームヘルプなどのサービス」(11.4%)が最も高く、次いで「医療費の助成を行うサービス」(11.2%)、「外出時に必要な支援を行うサービス」(10.2%)となっている。

問 32 問 31 で「特にない」以外のどれかひとつでも選んだ方におたずねします。あなたが「障害のある方の福祉サービス」を利用するにあたって困っていることは何ですか。(MA)



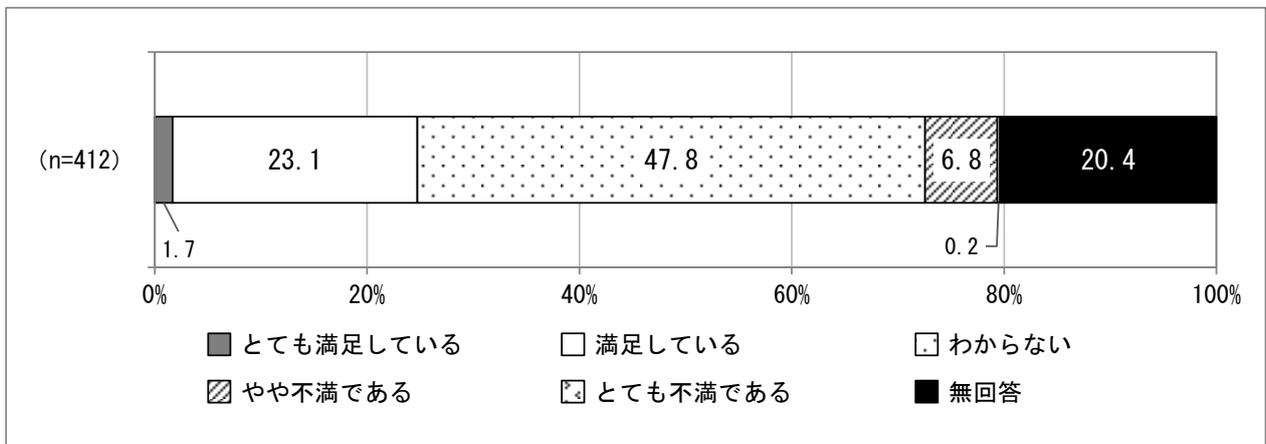
障害のある方の福祉サービスの利用にあたり困っていることは、「特にない」(33.9%)が最も高く、次いで「利用料が高い」(12.4%)、「手続きが面倒である」(11.8%)となっている。

問 33 問 31 で「利用したことがない」を選んだ方におたずねします。利用したことがない理由は何ですか。(SA)



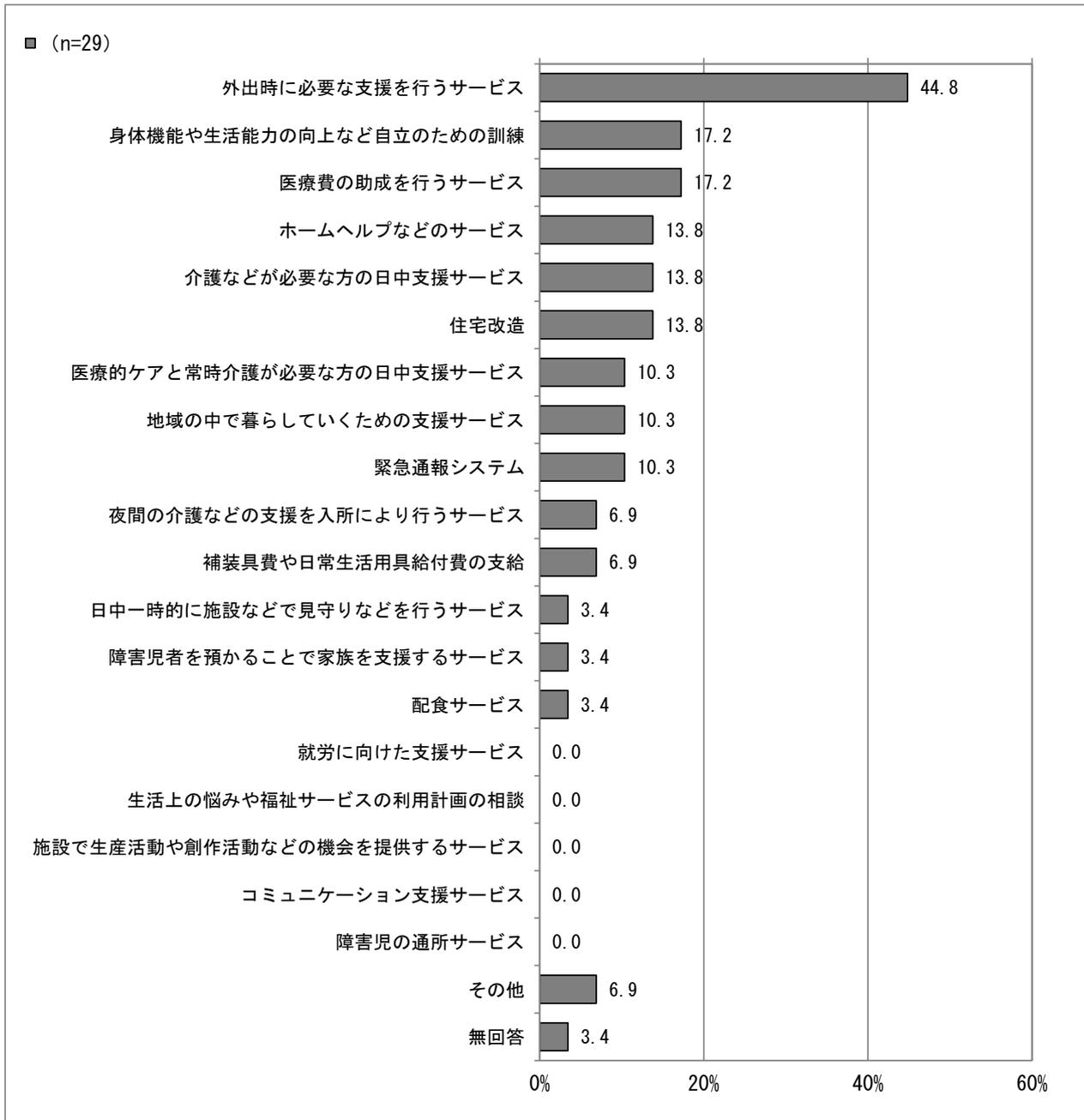
利用したことがない理由は、「必要ない」(55.7%)が最も高く、次いで「何が使えるかわからない」(23.4%)、「その他」(6.3%)となっている。

問 34 現在、あなたは仙台市にある「障害のある方の福祉サービス」に満足していますか。(SA)



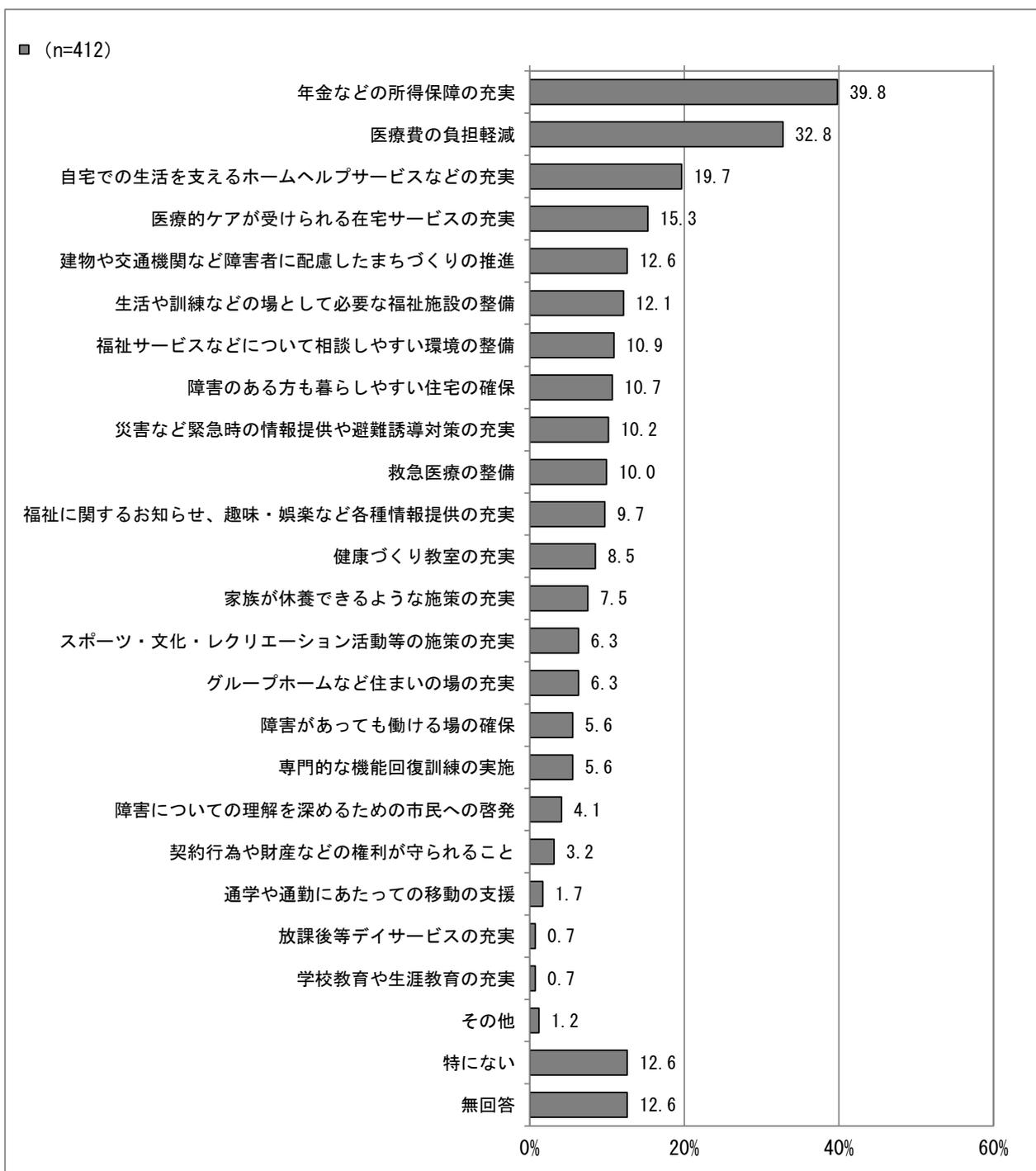
市の「障害のある方の福祉サービス」について、「わからない」(47.8%)が最も高く、次いで「満足している」(23.1%)、「やや不満である」(6.8%)となっている。

問 35 問 34 で「やや不満である」「とても不満である」を選んだ方におたずねします。特にどのような福祉サービスに不満を感じていますか。(MA)



不満のある福祉サービスは、「外出時に必要な支援を行うサービス」(44.8%)が最も高く、次いで「身体機能や生活能力の向上など自立のための訓練」と「医療費の助成を行うサービス」がともに17.2%となっている。

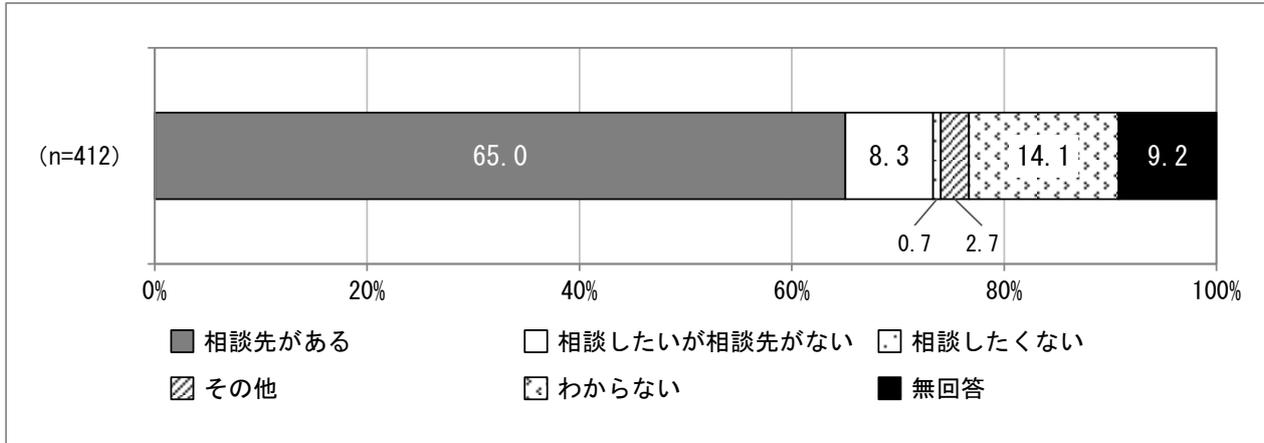
## 問36 あなたが今後充実してほしい施策は何ですか。（MA）



今後充実してほしい施策は、「年金などの所得保障の充実」（39.8%）が最も高く、次いで「医療費の負担軽減」（32.8%）、「自宅での生活を支えるホームヘルプサービスなどの充実」（19.7%）となっている。

## 9 相談の状況について

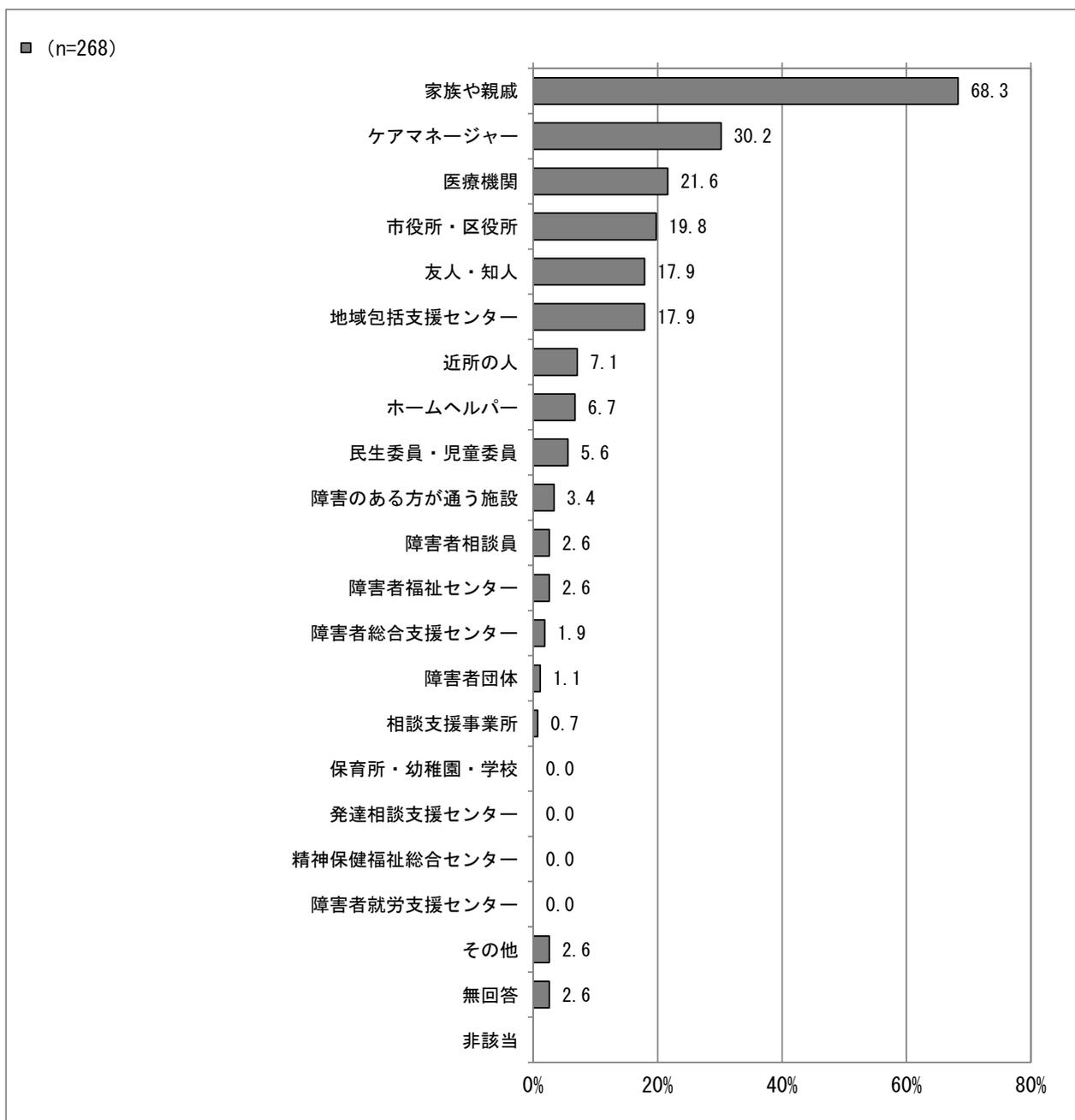
問 37 困ったときの相談について次のうちあてはまるのはどれですか。(SA)



困ったときの相談は、「相談先がある」(65.0%)が最も高く、次いで「わからない」(14.1%)、「相談したいが相談先がない」(8.3%)となっている。

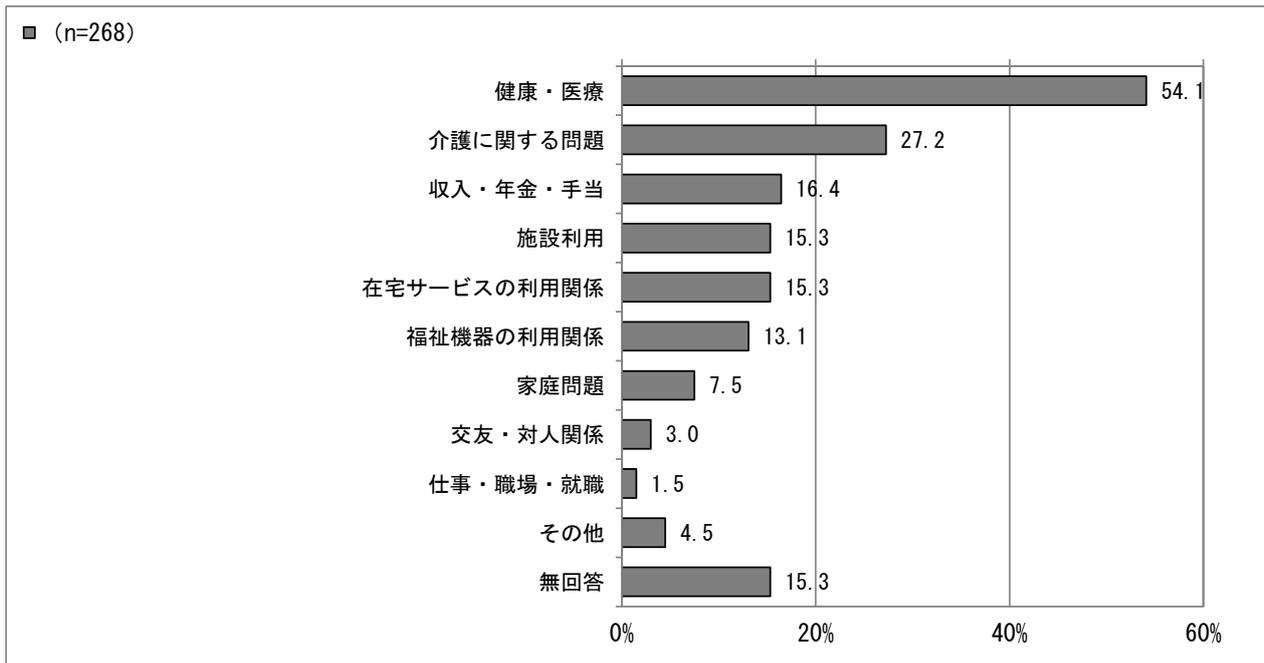
問38 問37で「相談先がある」を選んだ方におたずねします。

(1) 相談相手は誰ですか。(MA)



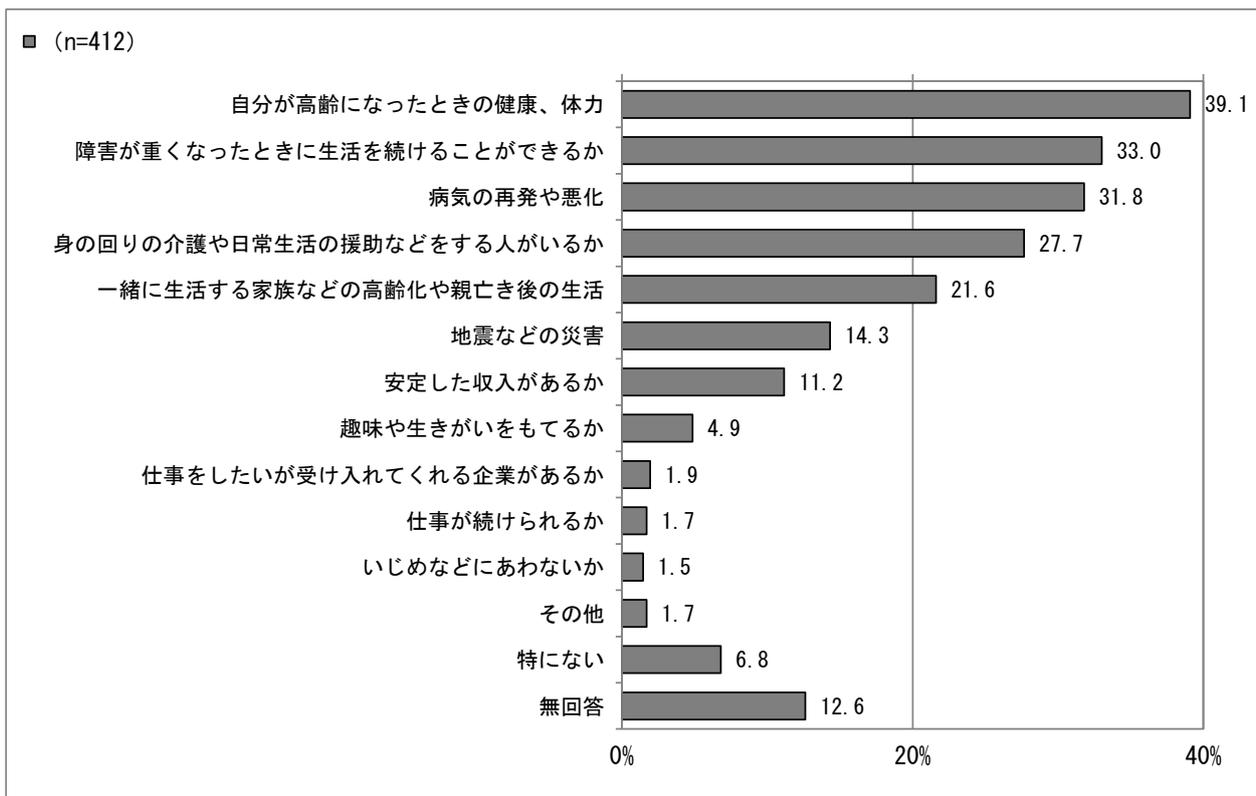
相談相手は、「家族や親戚」(68.3%)が最も高く、次いで「ケアマネージャー」(30.2%)、「医療機関」(21.6%)となっている。

(2) 相談していること(したいこと)は何ですか。(MA)



相談している(したいこと)は、「健康・医療」(54.1%)が最も高く、次いで「介護に関する問題」(27.2%)、「収入・年金・手当」(16.4%)となっている。

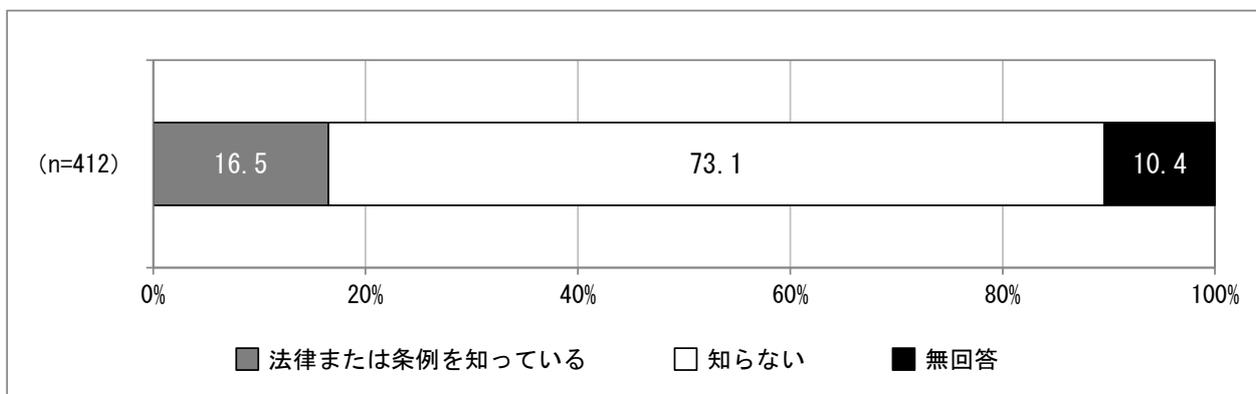
## 問 39 今後のことで、あなたが不安に感じていることは何ですか。（MA）



今後のことで不安に感じていることは、「自分が高齢になったときの健康、体力」(39.1%)が最も高く、次いで「障害が重くなったときに生活が続けることができるか」(33.0%)、「病気の再発や悪化」(31.8%)となっている。

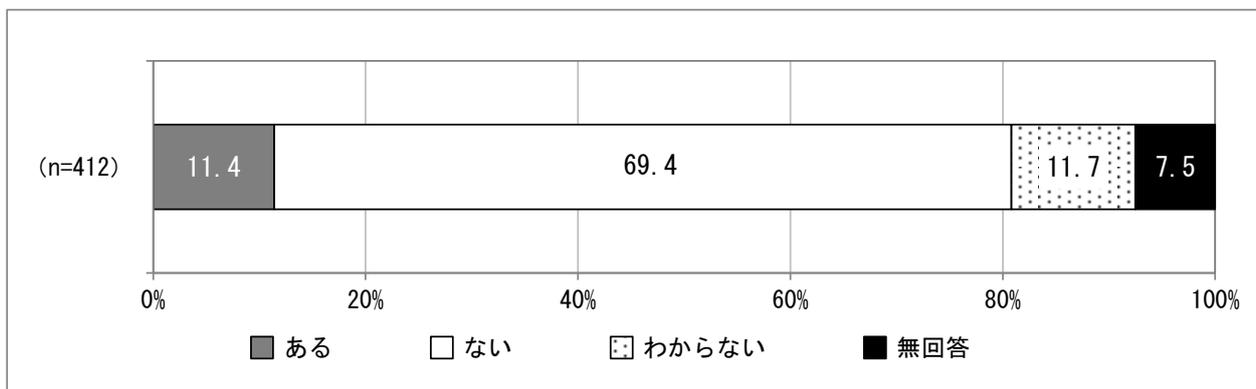
## 10 権利擁護について

問 40 あなたは、2016 年 4 月より施行された「障害者差別解消法」を知っていますか。また、「仙台市障害を理由とする差別をなくし障害のある人もない人も共に暮らしやすいまちをつくる条例」を知っていますか。(SA)



障害者差別解消法および条例を知っているかについて、「法律または条例を知っている」(16.5%)、「知らない」(73.1%)となっている。

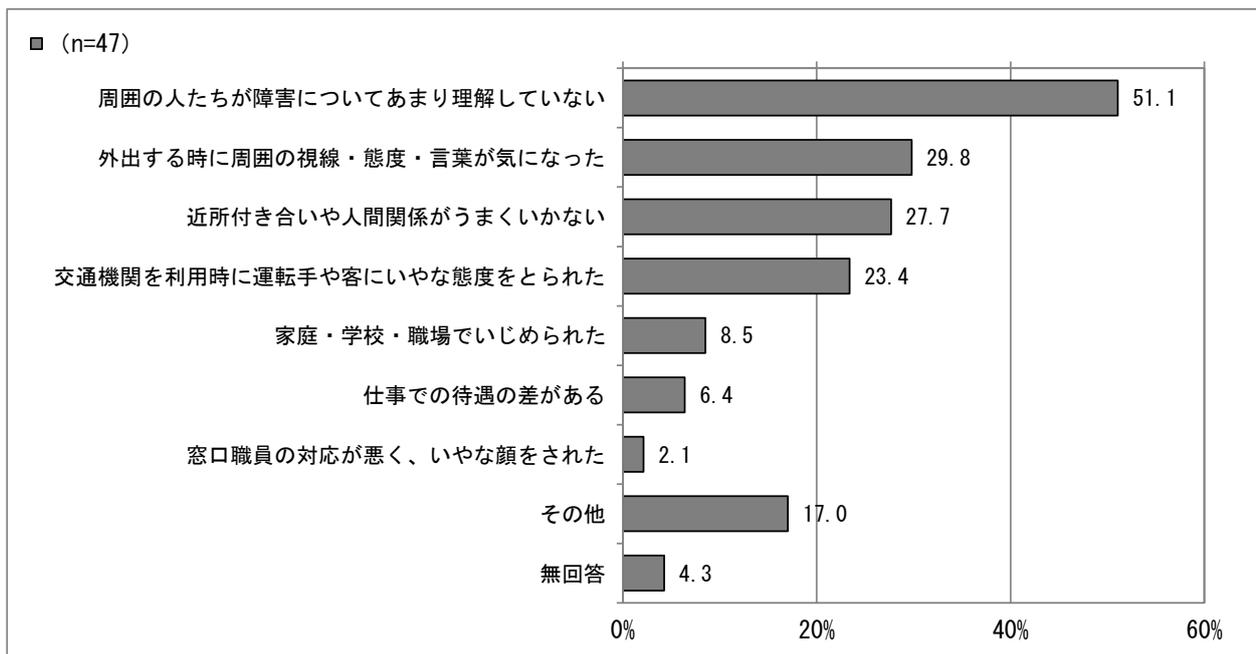
問 41 障害を理由に差別を受けたり、いやな思いなどをしたことがありますか。(SA)



障害を理由に差別やいやな思いをしたことがあるかは、「ある」(11.4%)、「ない」(69.4%)、「わからない」(11.7%)となっている。

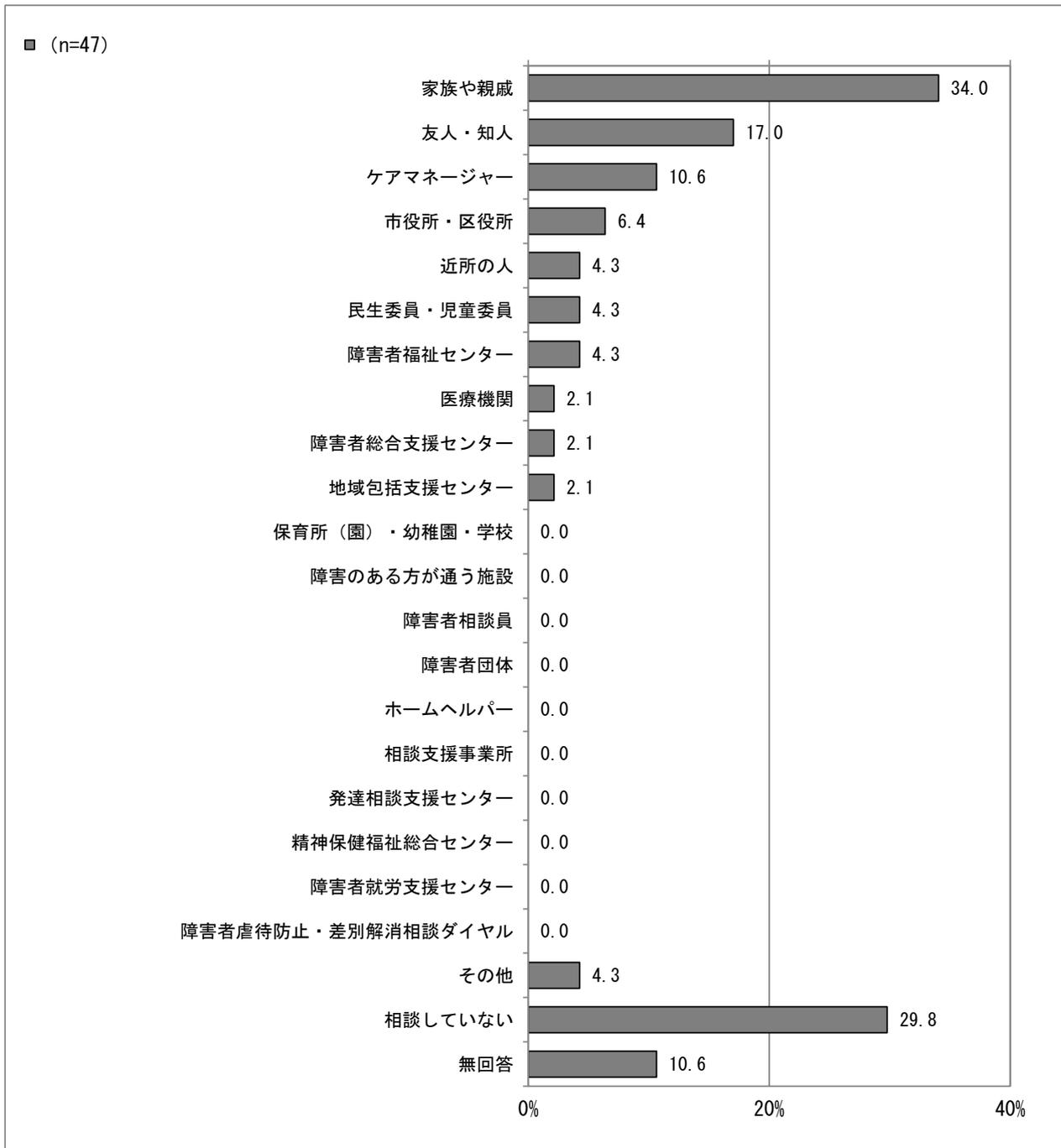
問42 問41で「ある」を選んだ方におたずねします。

(1) あなたはどのような内容の差別を受けたり、いやな思いをしましたか。(MA)



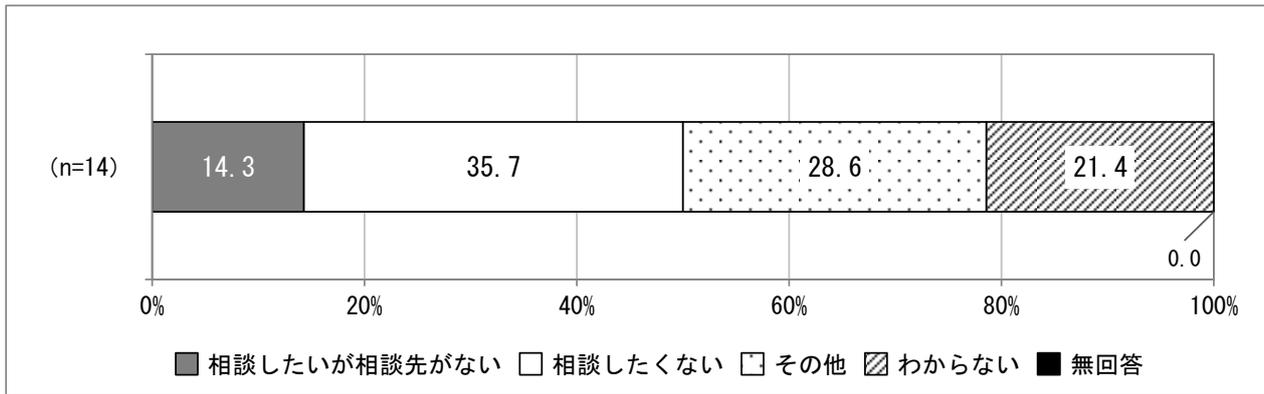
受けた差別やいやな思いの内容は、「周囲の人たちが障害についてあまり理解していない」(51.1%)が最も高く、次いで「外出する時に周囲の視線・態度・言葉が気になった」(29.8%)、「近所付き合いや人間関係がうまくいかない」(27.7%)となっている。

(2) 差別をされたり、いやな思いをしたときに誰かに相談しましたか。(MA)



差別をされたりしたときの相談は、「家族や親戚」(34.0%)が最も高く、次いで「相談していない」(29.8%)、「友人・知人」(17.0%)となっている。

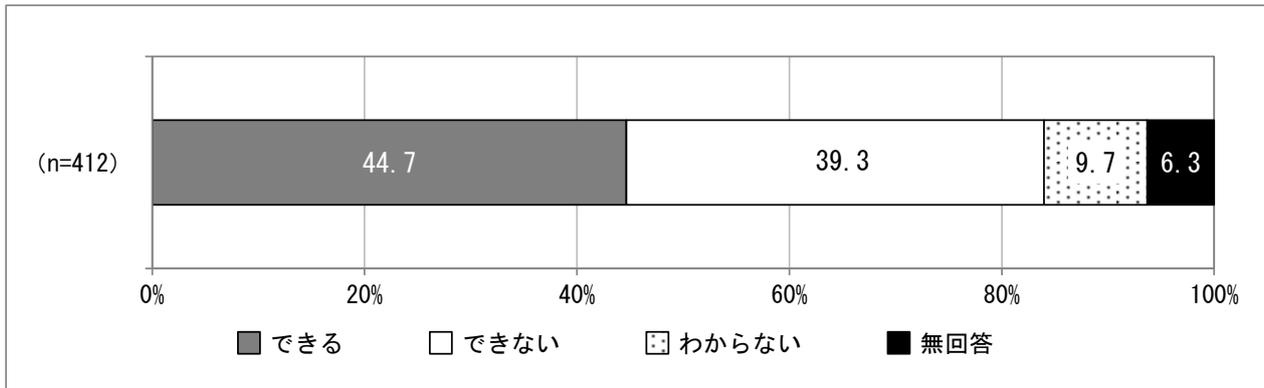
(3) (2) で「相談していない」を選んだ方におたずねします。相談しなかった理由は何ですか。(MA)



相談しなかった理由は、「相談したくない」(35.7%)が最も高く、次いで「その他」(28.6%)、「わからない」(21.4%)となっている。

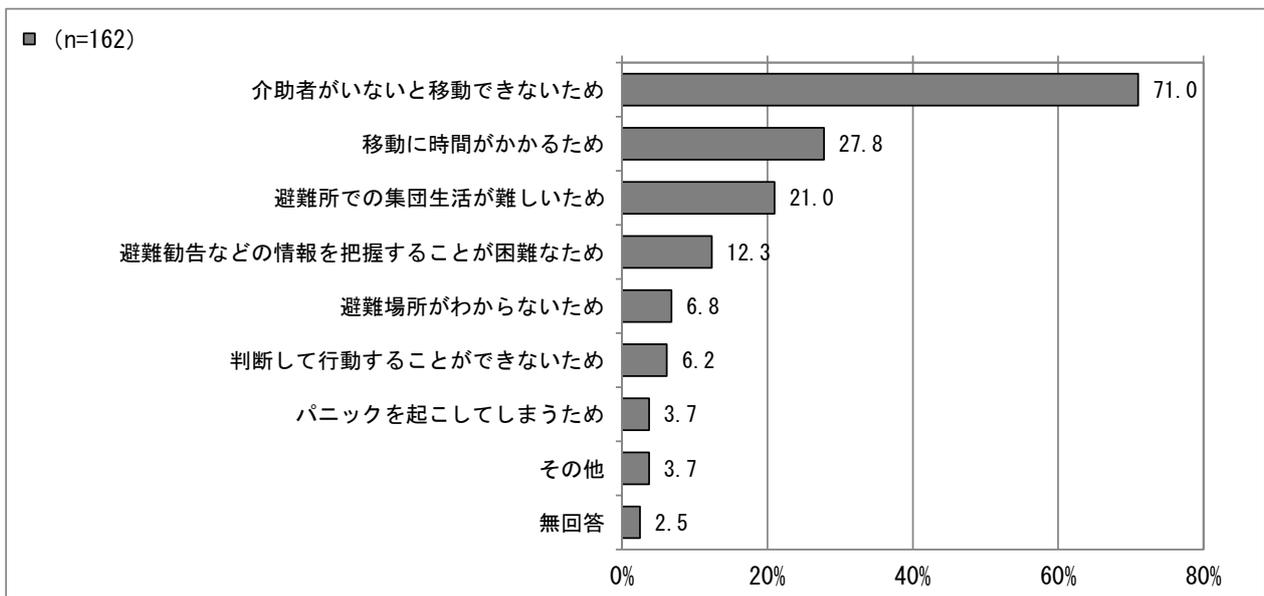
## 11 緊急時の対応について

問 43 あなたは地震などの災害発生時、ひとりで避難することができますか。2011年3月11日の東日本大震災を経験された方は、ご経験を踏まえてご回答ください。(SA)



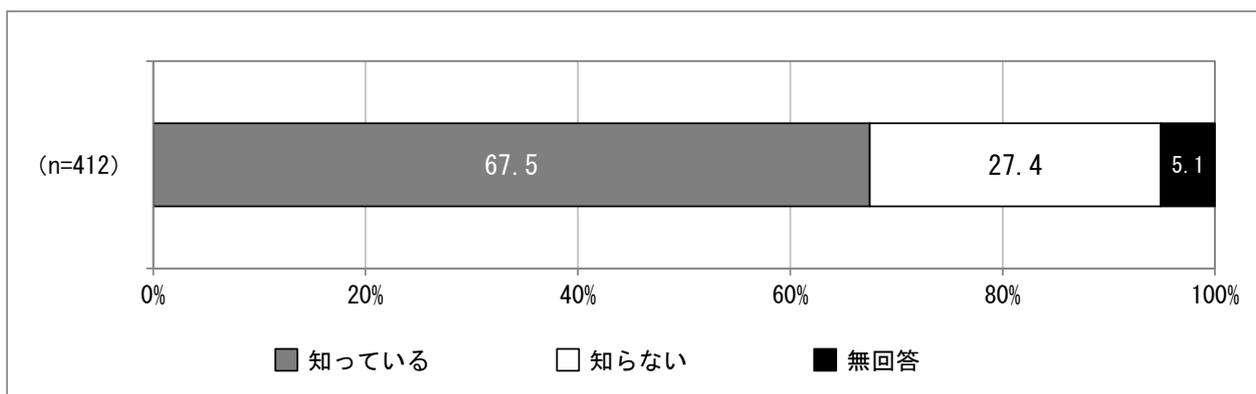
災害発生時にひとりで避難することができるかは、「できる」(44.7%)、「できない」(39.3%)、「わからない」(9.7%)となっている。

問 44 問 43 で「できない」を選んだ方におたずねします。災害のとき一人で避難することができない理由は何ですか。(MA)



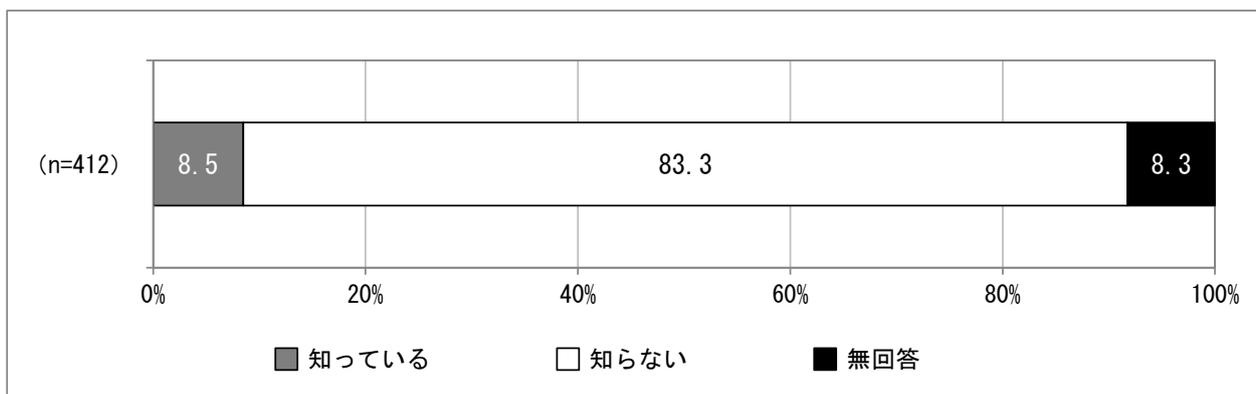
一人で避難できない理由は、「介助者がいないと移動できないため」(71.0%)が最も高く、次いで「移動に時間がかかるため」(27.8%)、「避難所での集団生活が難しいため」(21.0%)となっている。

問 45 あなたは、お住まいの地区の避難所の場所を知っていますか。(SA)



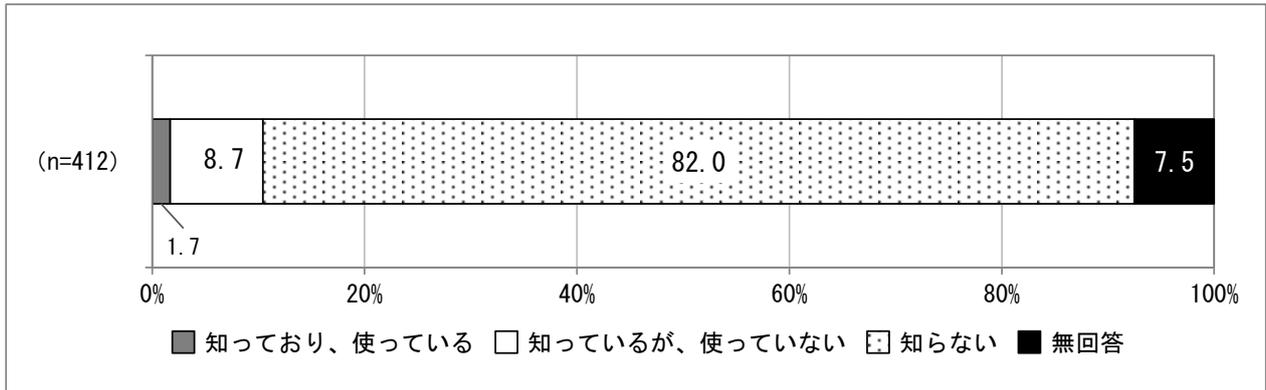
居住区の避難所の場所は、「知っている」(67.5%)、「知らない」(27.4%)となっている。

問 46 あなたは、福祉避難所を知っていますか。(SA)



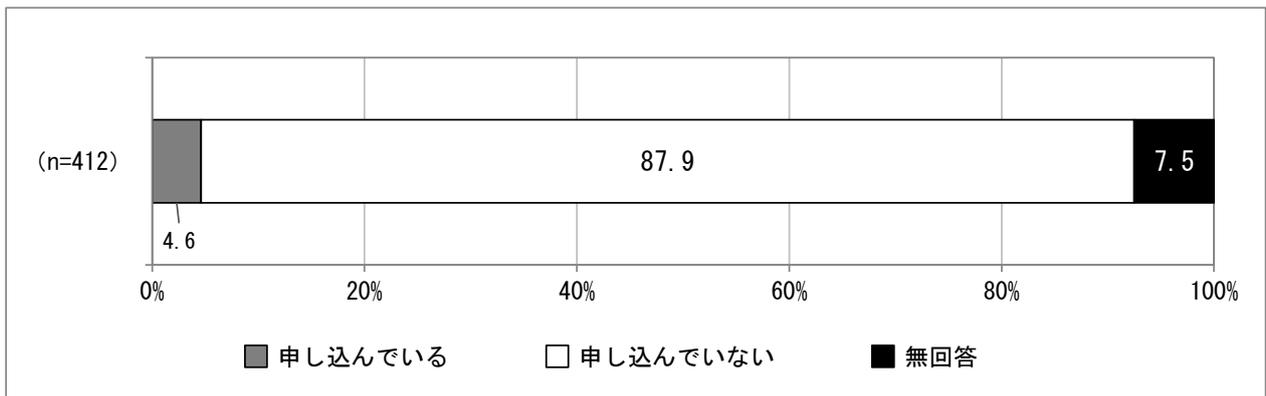
福祉避難所は、「知っている」(8.5%)、「知らない」(83.3%)となっている。

問 47 あなたは、ヘルプカードを知っていますか。(SA)



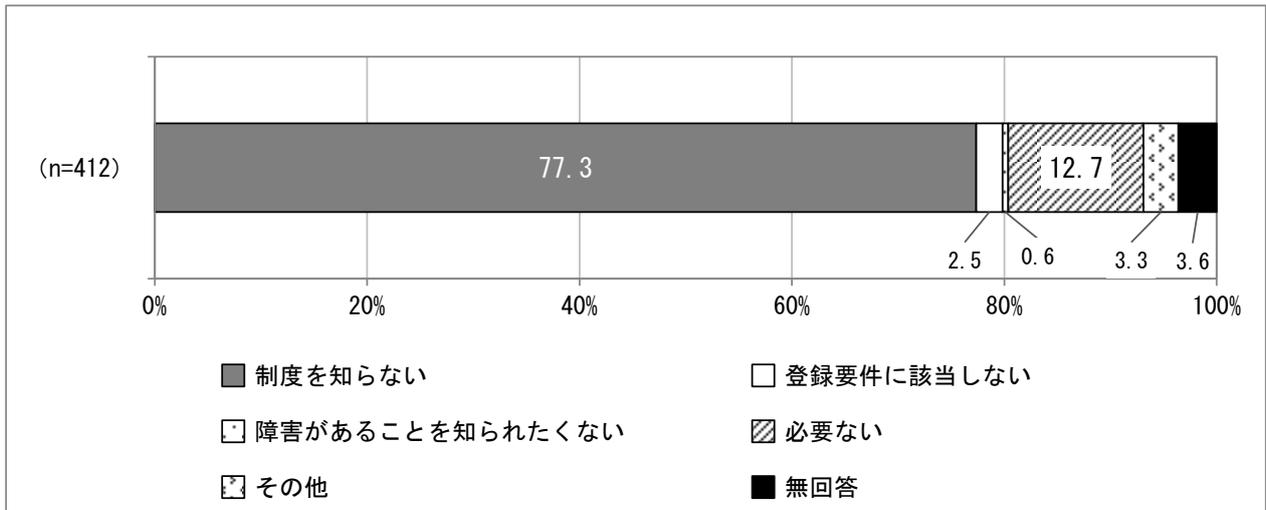
ヘルプカードは、「しており、使っている」(1.7%)、「知っているが、使っていない」(8.7%)、「知らない」(82.0%)となっている。

問 48 あなたは、仙台市が実施している災害時における要援護者情報登録制度を申し込んでいますか。(SA)



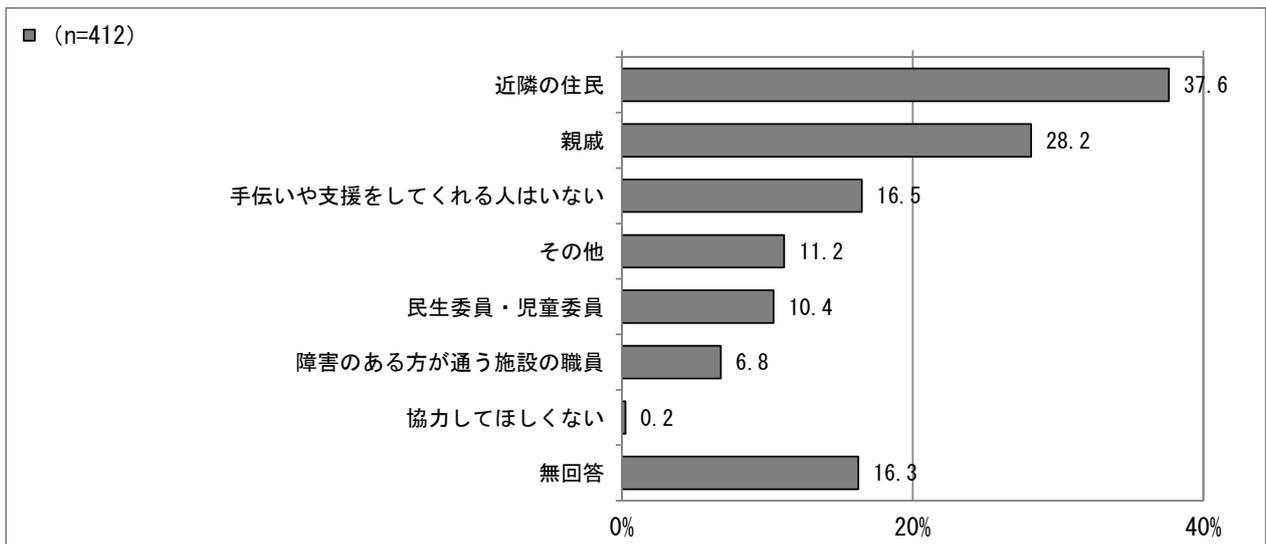
要援護者情報登録制度について、「申し込んでいる」(4.6%)、「申し込んでいない」(87.9%)となっている。

問 49 問 48 で「申し込んでいない」を選んだ方におたずねします。あなたが申し込んでいない理由は何ですか。（SA）



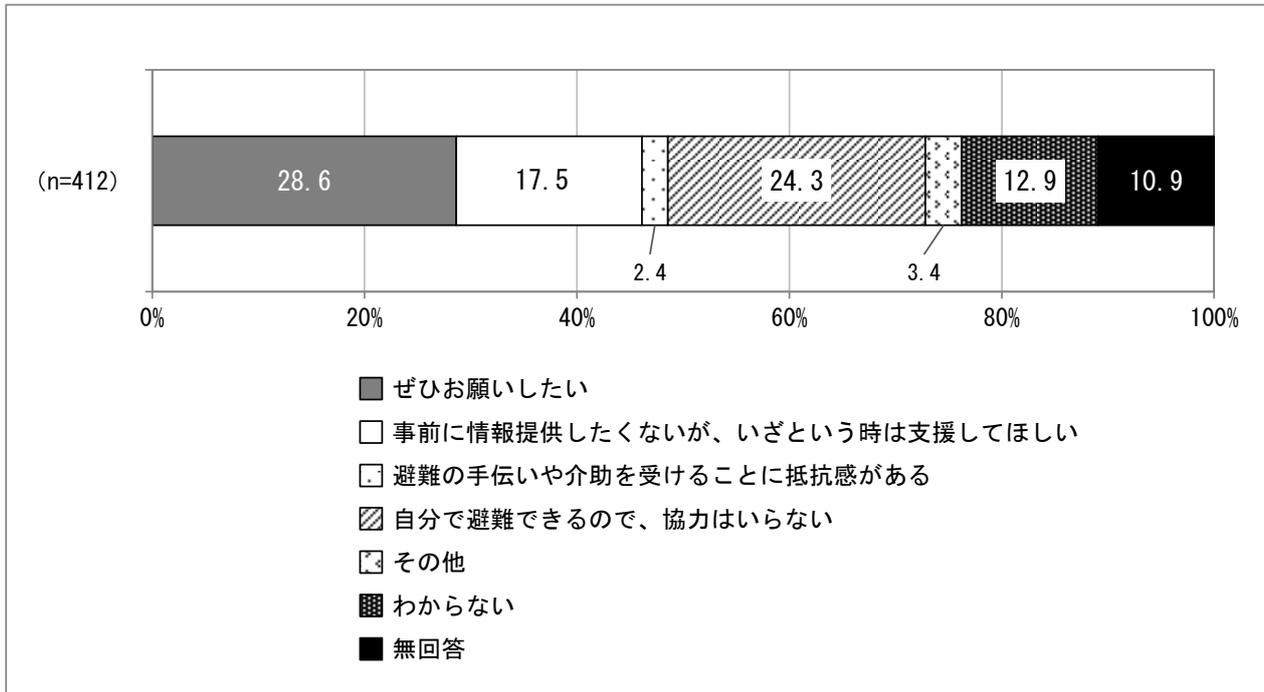
申し込んでいない理由は、「制度を知らない」（77.3%）が最も高く、次いで「必要ない」（12.7%）、「その他」（3.3%）となっている。

問 50 地震などの災害時に、家族以外の方で手伝いや支援をしてくれる人について、次のうちあてはまるのはどれですか。（MA）



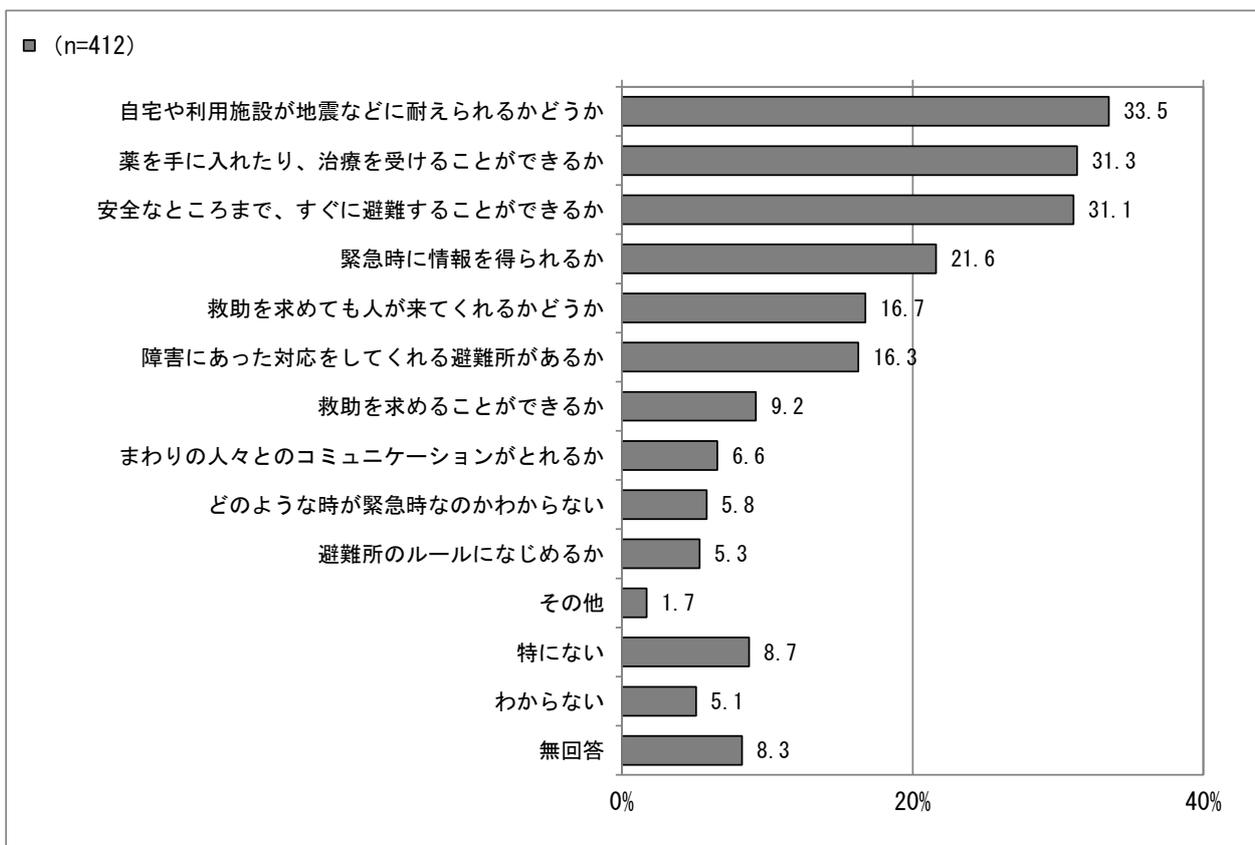
災害時に家族以外で手伝いや支援をしてくれる人は、「近隣の住民」（37.6%）が最も高く、次いで「親戚」（28.2%）、「手伝いや支援をしてくれる人はいない」（16.5%）となっている。

問 51 地震などの災害が発生したときのために、あらかじめ近所の人やボランティアなどにあなたの避難の手伝いや介助をお願いしておくことについて、どのように思いますか。(SA)



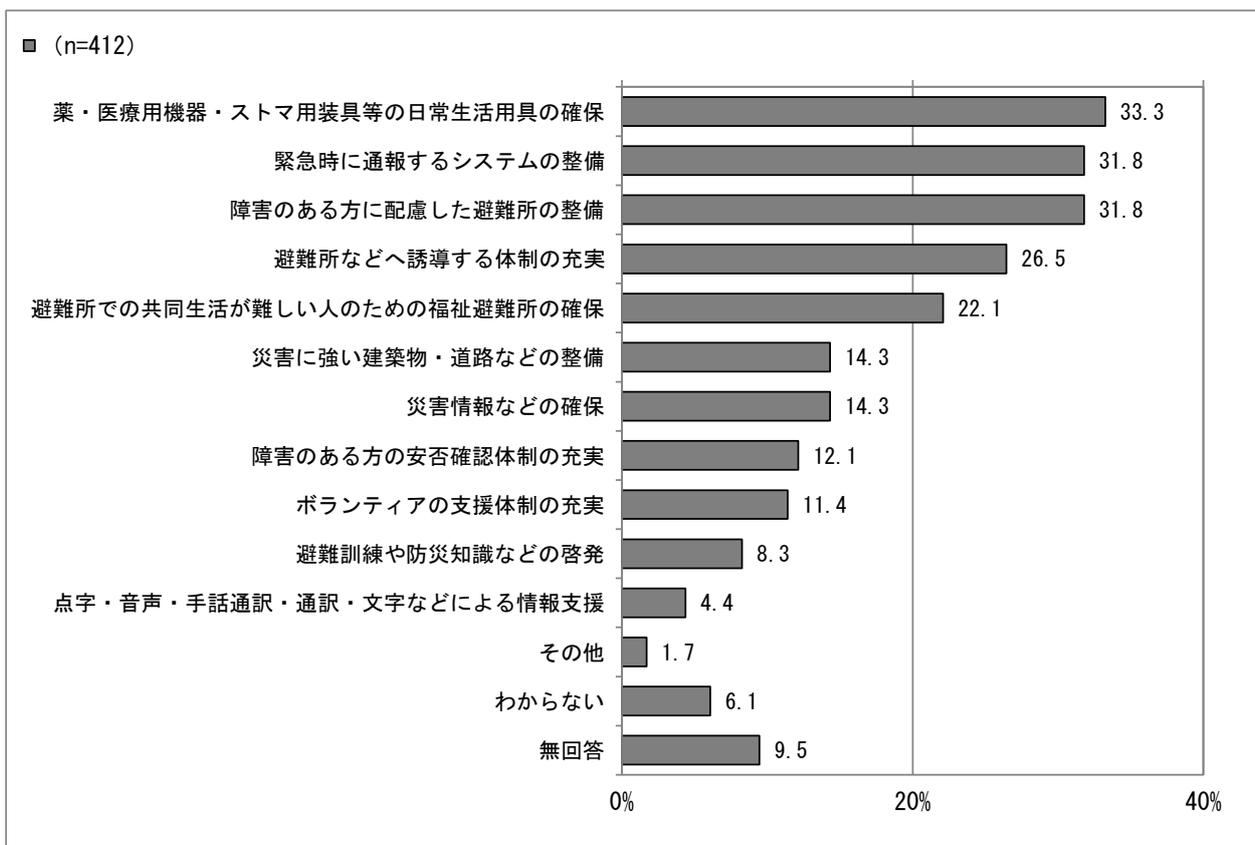
災害発生の際のために近所の人やボランティアなどに手伝いや介助をお願いしておくことは、「ぜひお願いしたい」(28.6%)が最も高く、次いで「自分で避難できるので、協力はらない」(24.3%)、「事前に情報提供したくないが、いざという時は支援してほしい」(17.5%)となっている。

問 52 地震などのいざという時のことで、あなたが普段不安に感じていることは何ですか。  
(MA)



地震などのいざという時のことで普段不安に感じていることは、「自宅や利用施設が地震などに耐えられるかどうか」(33.5%)が最も高く、次いで「薬を手に入れたり、治療を受けることができるか」(31.3%)、「安全なところまで、すぐに避難することができるか」(31.1%)となっている。

問 53 地震、台風などの災害に対して大切だと思う対策はどのようなことだと思いますか。  
(MA)



地震や台風などの災害に対して大切だと思う対策は、「菓・医療用機器・ストマ用装具等の日常生活用具の確保」(33.3%) が最も高く、次いで「緊急時に通報するシステムの整備」と「障害のある方に配慮した避難所の整備」がともに 31.8% となっている。

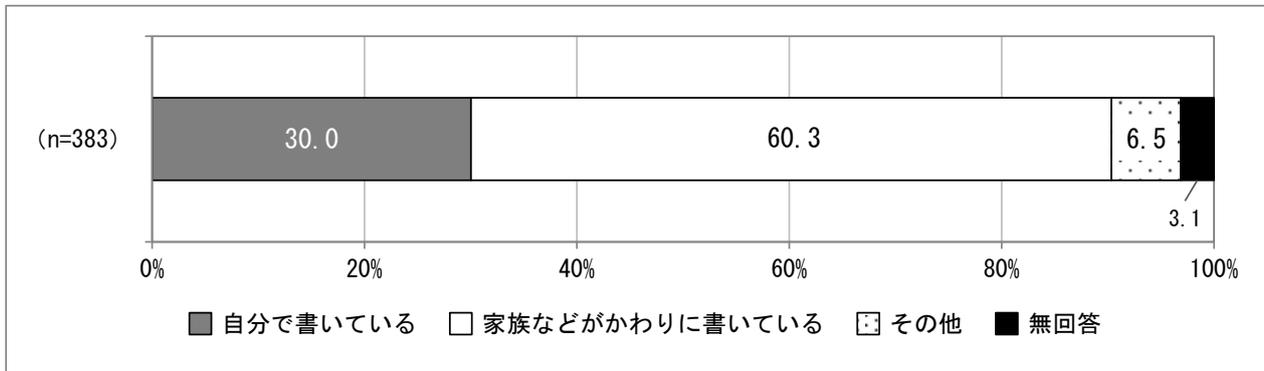
## 第 4 章

### 知的障害者本人



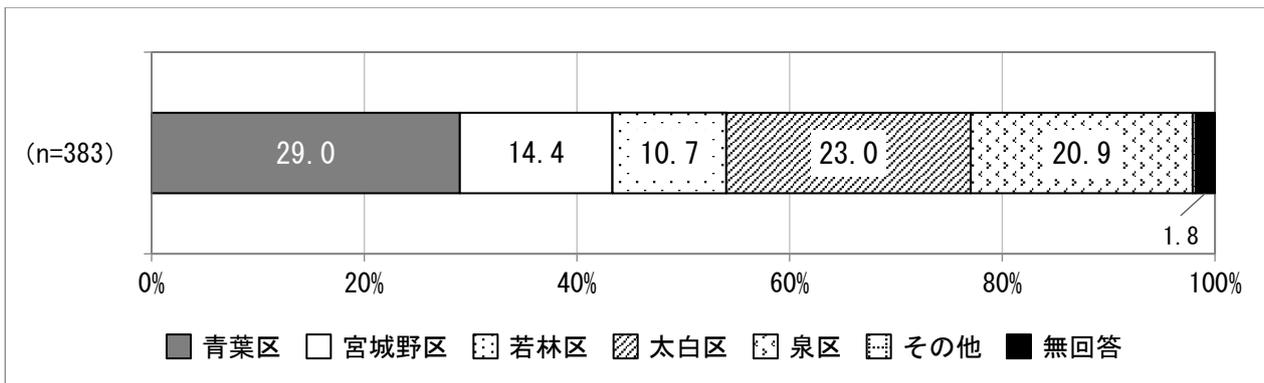
## 第4章 知的障害者本人

問1 このアンケートはだれが書いていますか。(SA)



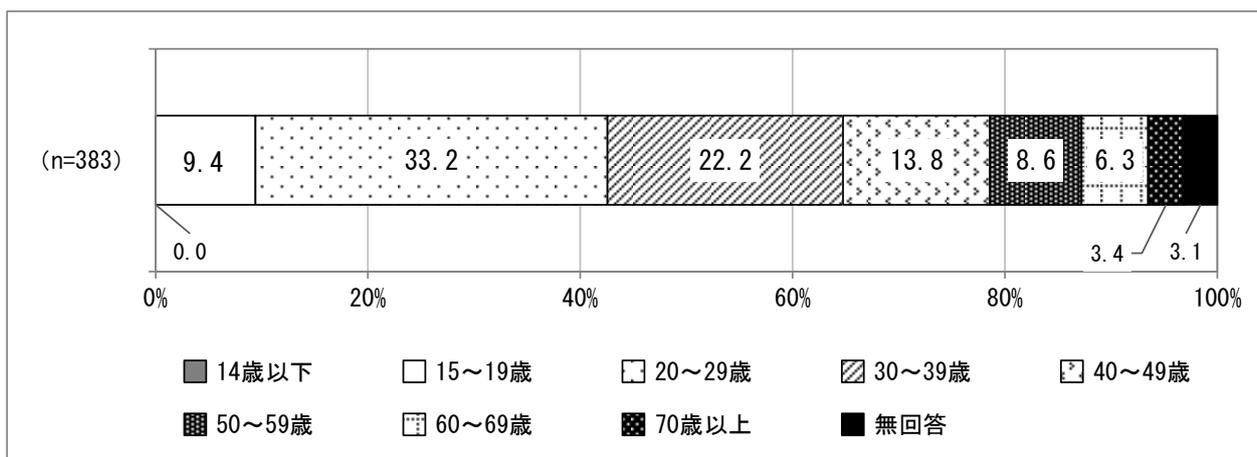
アンケートの記入者は、「家族などがかわりに書いている」(60.3%)が最も高く、次いで「自分で書いている」(30.0%)、「その他」(6.5%)となっている。

問2 あなたはどこの区に住んでいますか。(SA)



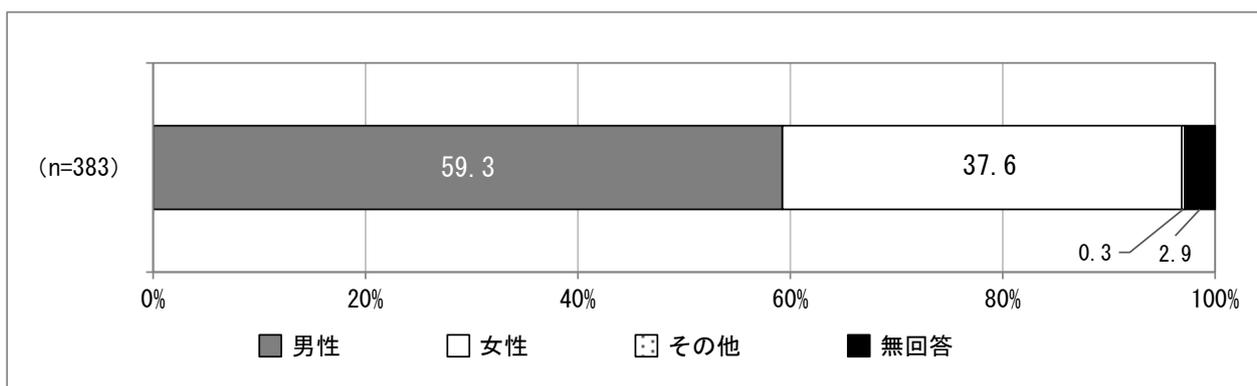
居住区は、「青葉区」(29.0%)が最も高く、次いで「太白区」(23.0%)、「泉区」(20.9%)となっている。

### 問3 あなたは何歳ですか。(数値)



年齢は、「20~29歳」(33.2%)が最も高く、次いで「30~39歳」(22.2%)、「40~49歳」(13.8%)となっている。

### 問4 あなたの性別を教えてください。(SA)

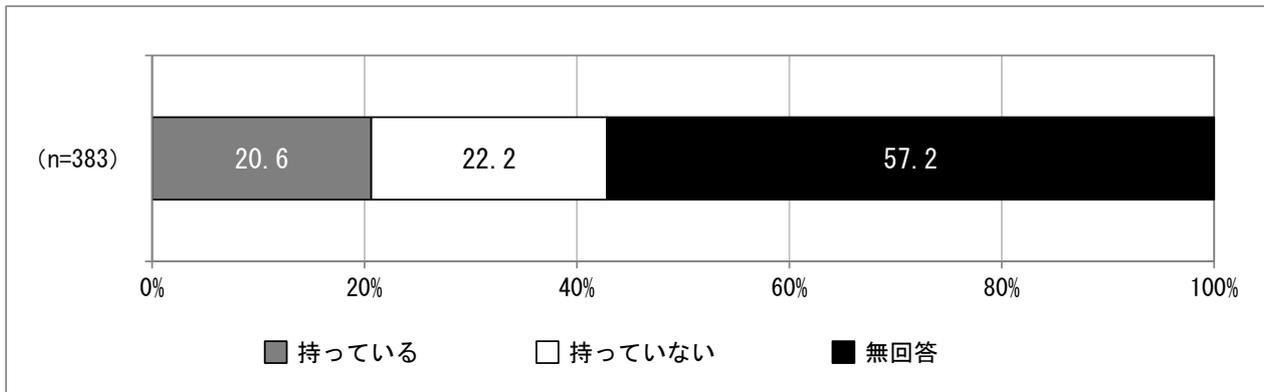


性別は、「男性」(59.3%)、「女性」(37.6%)となっている。

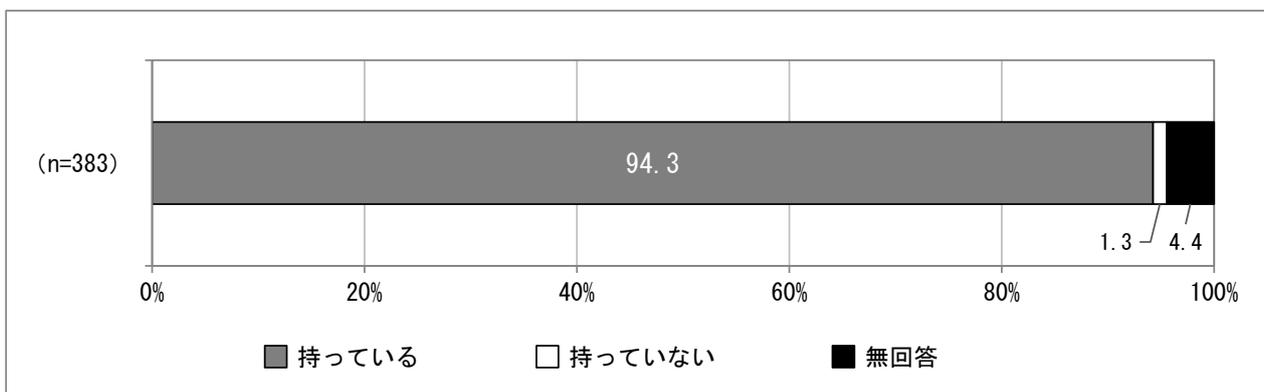
問5 いまあなたが持っている障害者手帳についておたずねします。

(ア) 障害者手帳を持っているかどうか教えてください。(SA)

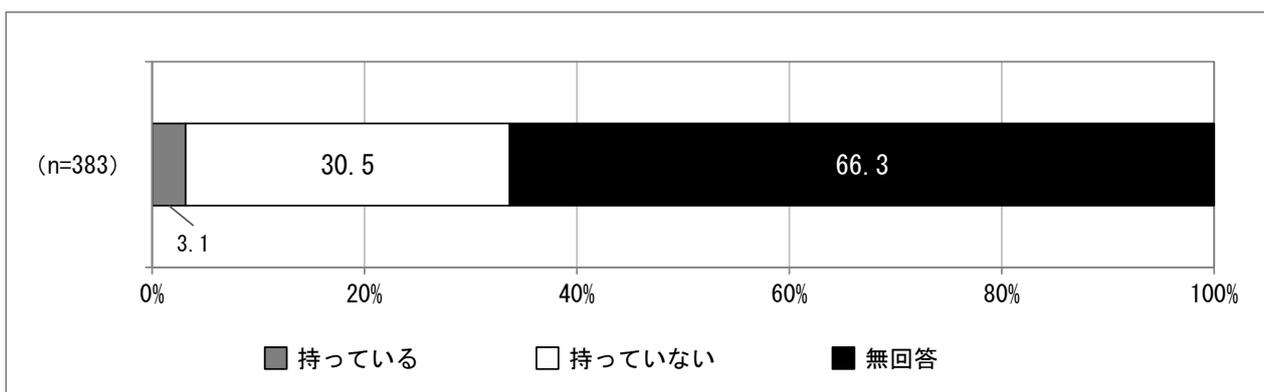
(身体障害者手帳)



(療育手帳)



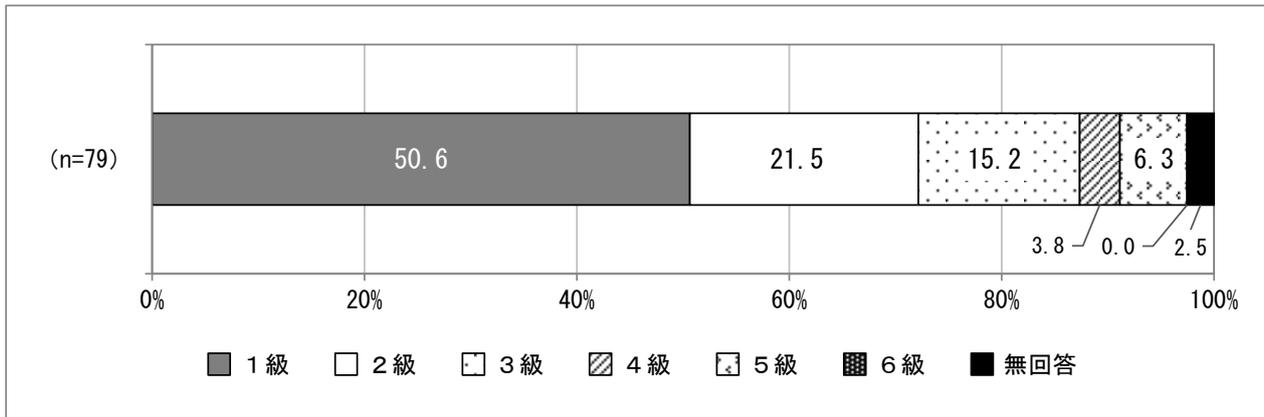
(精神障害者保健福祉手帳)



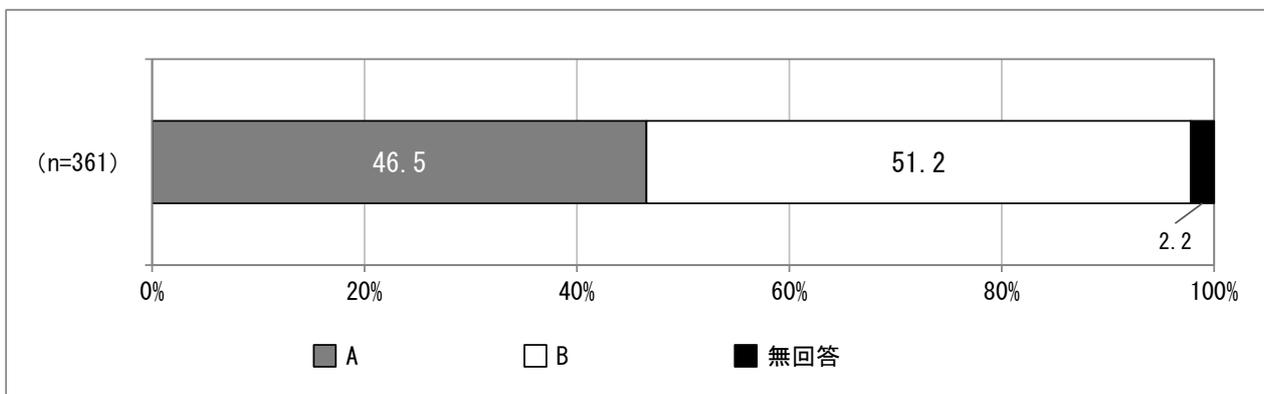
「持っている」割合は、身体障害者手帳が 20.6%、療育手帳が 94.3%、精神障害者保健福祉手帳が 3.1%となっている。

(イ) 手帳の等級を教えてください。(SA)

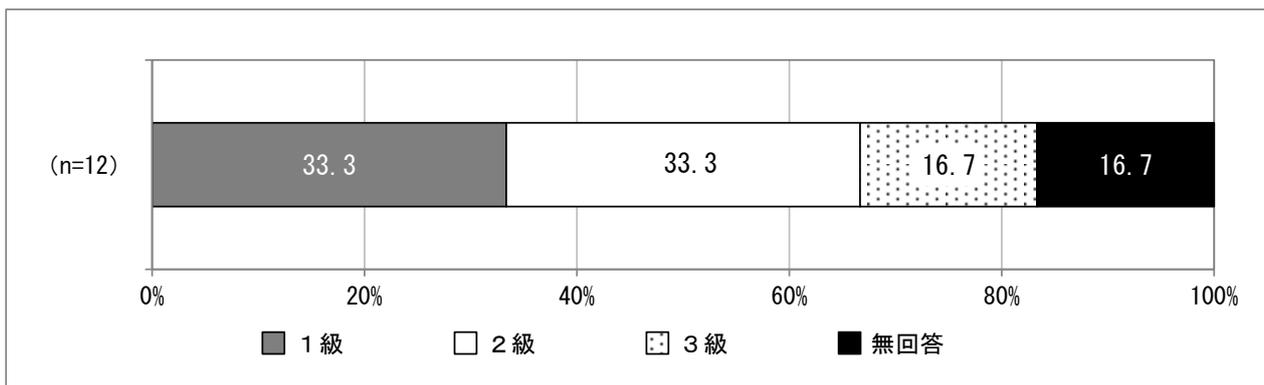
(身体障害者手帳)



(療育手帳)



(精神障害者保健福祉手帳)

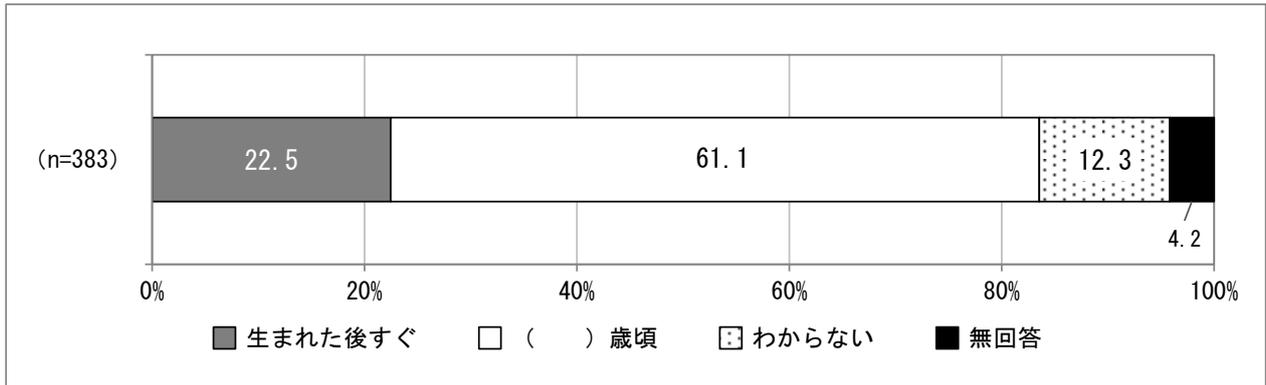


身体障害者手帳の等級は、「1級」(50.6%)が最も高く、次いで「2級」(21.5%)と「3級」(15.2%)となっている。

療育手帳の等級は、「A」(46.5%)、「B」(51.2%)となっている。

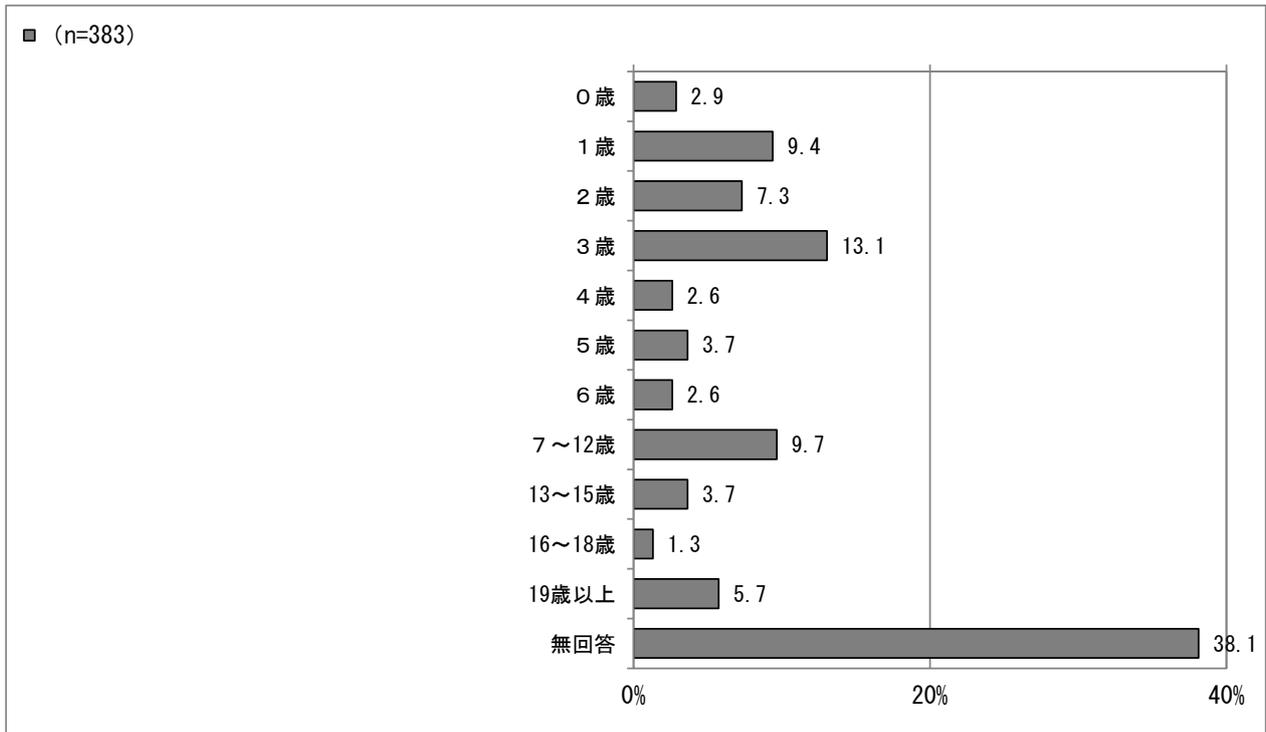
精神障害者保健福祉手帳の等級は、「1級」と「2級」がともに33.3%と最も高く、次いで「3級」(16.7%)となっている。

問6 あなたに障害があると言われたのはいつごろですか。(SA・数値)



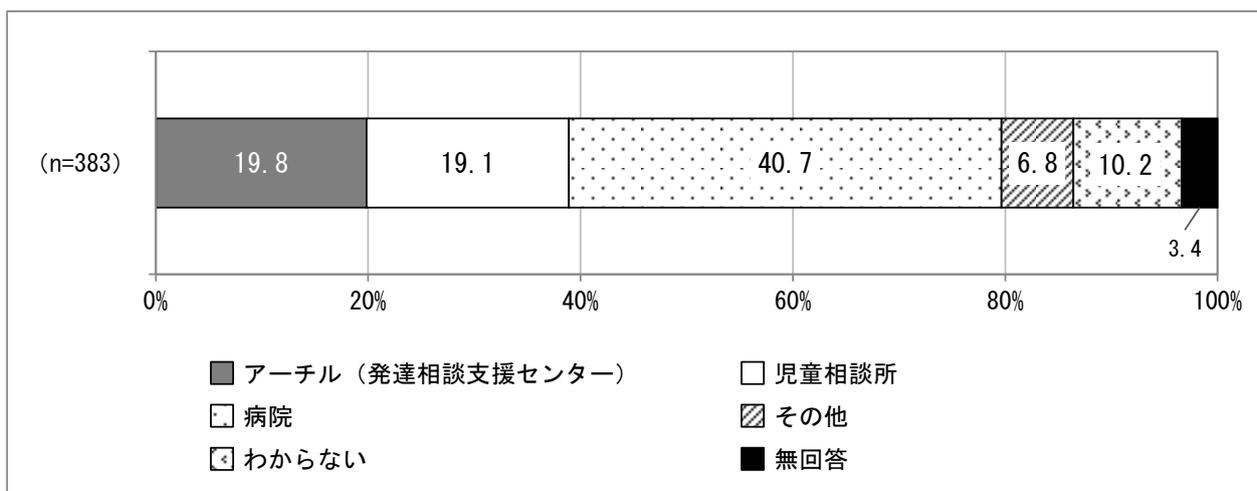
障害があると言われた時期は、「( )歳頃」(61.1%)が最も高く、次いで「生まれた後すぐ」(22.5%)、「わからない」(12.3%)となっている。

(障害があると言われた年齢)



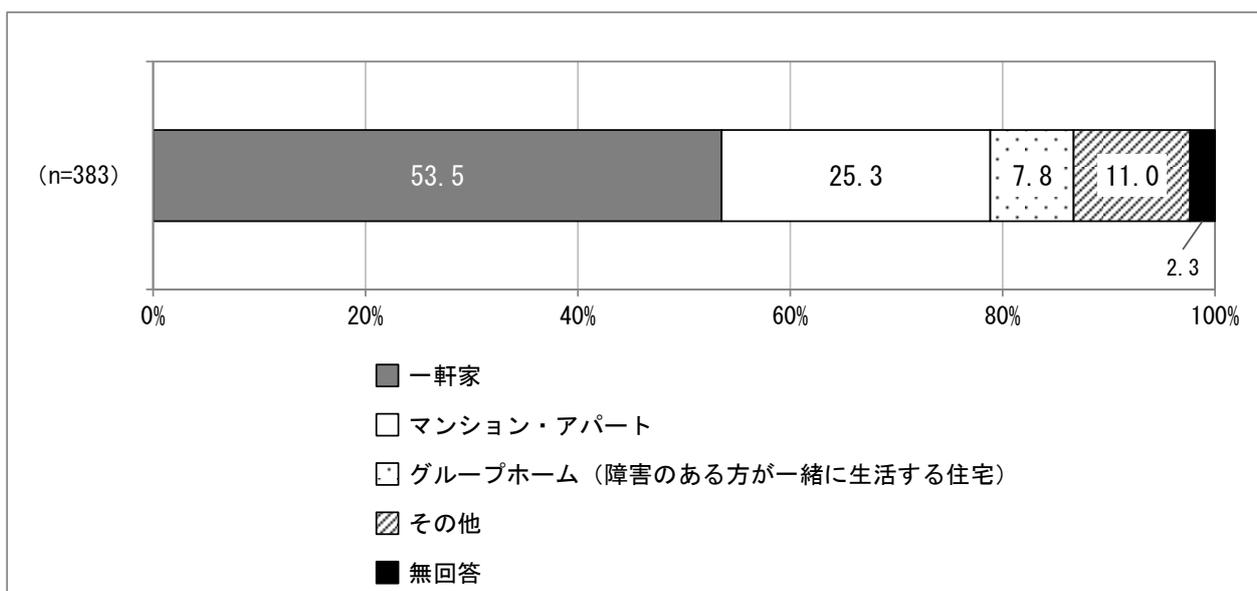
障害があると言われた年齢は、「3歳」(13.1%)が最も高く、次いで「7～12歳」(9.7%)、「1歳」(9.4%)となっている。

問7 あなたに障害があると言われたのはどこですか。(SA)



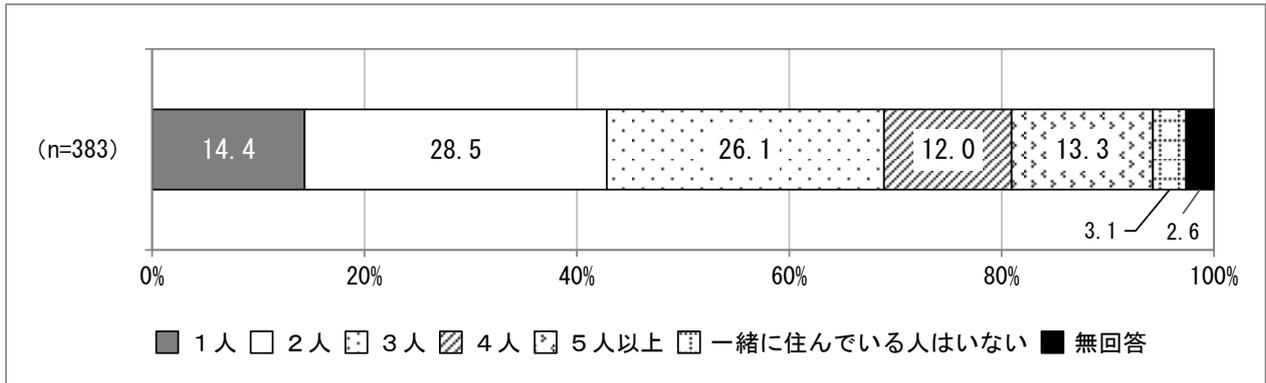
障害があると言われた場所は、「病院」(40.7%)が最も高く、次いで「アーチル(発達相談支援センター)」(19.8%)、「児童相談所」(19.1%)となっている。

問8 いま、あなたはどんなところに住んでいますか。(SA)



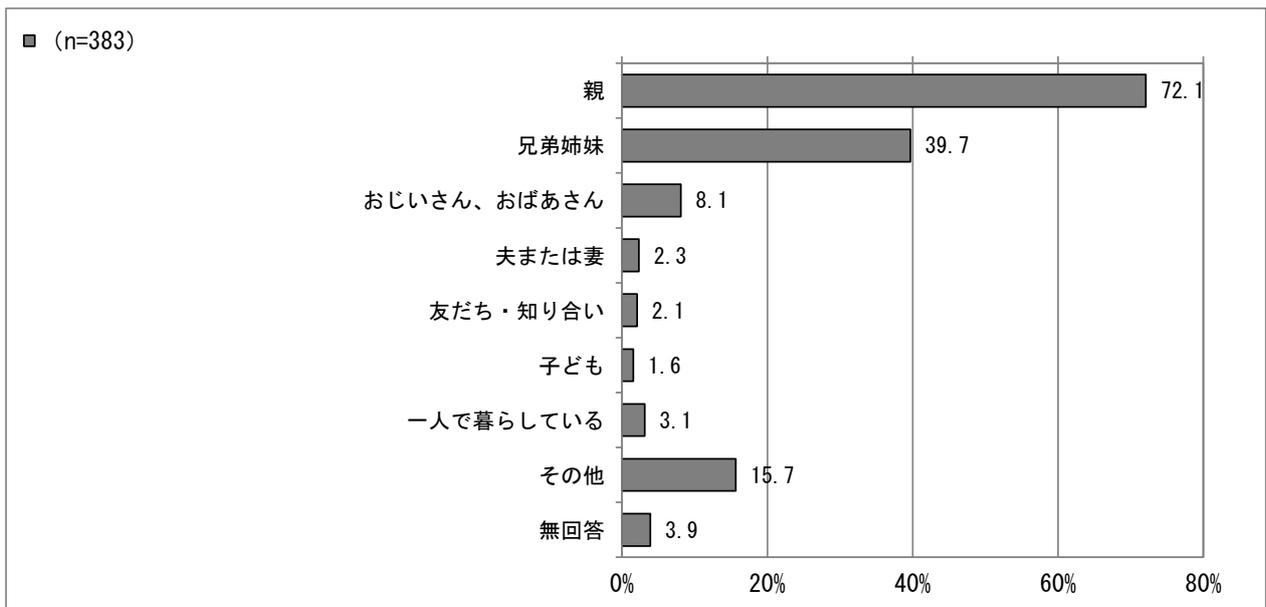
現在の住まいは、「一軒家」(53.5%)が最も高く、次いで「マンション・アパート」(25.3%)、「その他」(11.0%)となっている。

問9 あなたと一緒に住んでいる人は、あなたのほかに何人いますか。(SA)



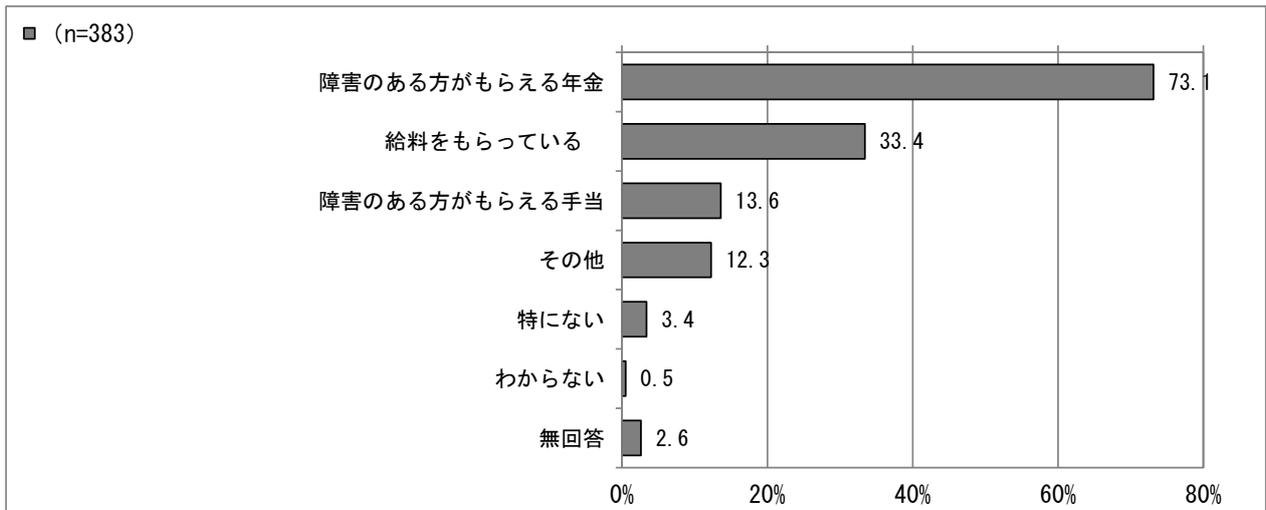
同居している人数は、「2人」(28.5%)が最も高く、次いで「3人」(26.1%)、「1人」(14.4%)となっている。

問10 あなたと一緒に住んでいる人は誰ですか。(MA)



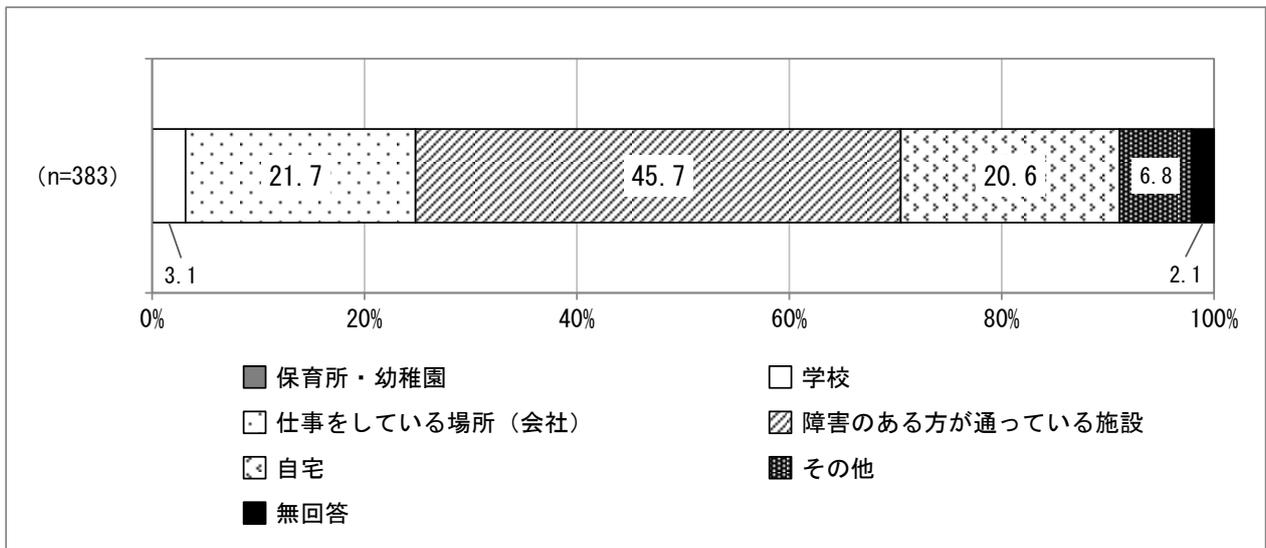
同居している人は、「親」(72.1%)が最も高く、次いで「兄弟姉妹」(39.7%)、「その他」(15.7%)となっている。

問 11 あなたが得ている収入は次のうちどれですか。(MA)



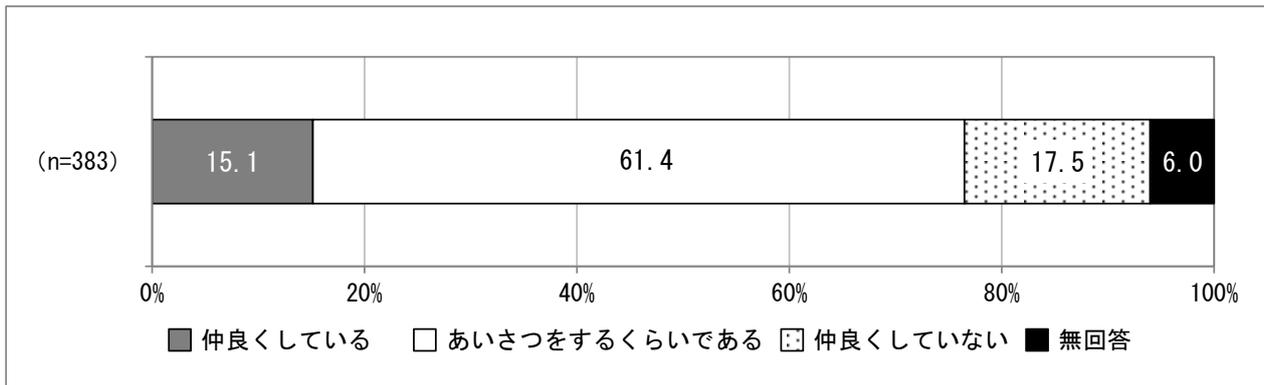
収入は、「障害のある方がもらえる年金」(73.1%)が最も高く、次いで「給料をもらっている」(33.4%)、「障害のある方がもらえる手当」(13.6%)となっている。

問 12 平日に、あなたが主にいる場所はどこですか。(SA)



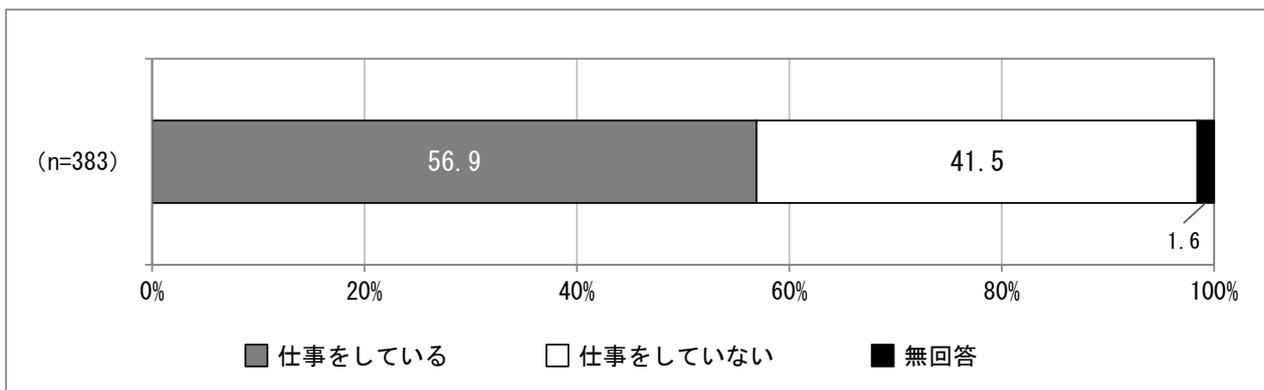
平日に主にいる場所は、「障害のある方が通っている施設」(45.7%)が最も高く、次いで「仕事をしている場所(会社)」(21.7%)、「自宅」(20.6%)となっている。

## 問13 あなたは、家の近くに住む人と仲良くしていますか。(SA)



近所の人とは、「あいさつをするくらいである」(61.4%)が最も高く、次いで「仲良くしていない」(17.5%)、「仲良くしている」(15.1%)となっている。

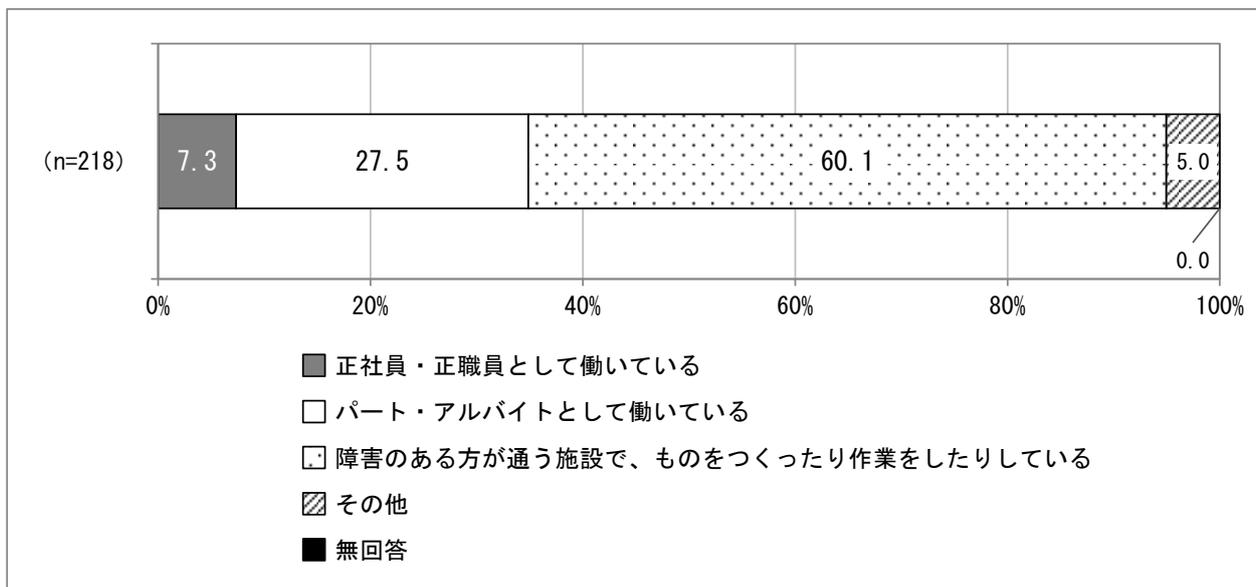
## 問14 いま、あなたは仕事をしていますか。(SA)



現在の仕事は、「仕事をしている」(56.9%)、「仕事をしていない」(41.5%)となっている。

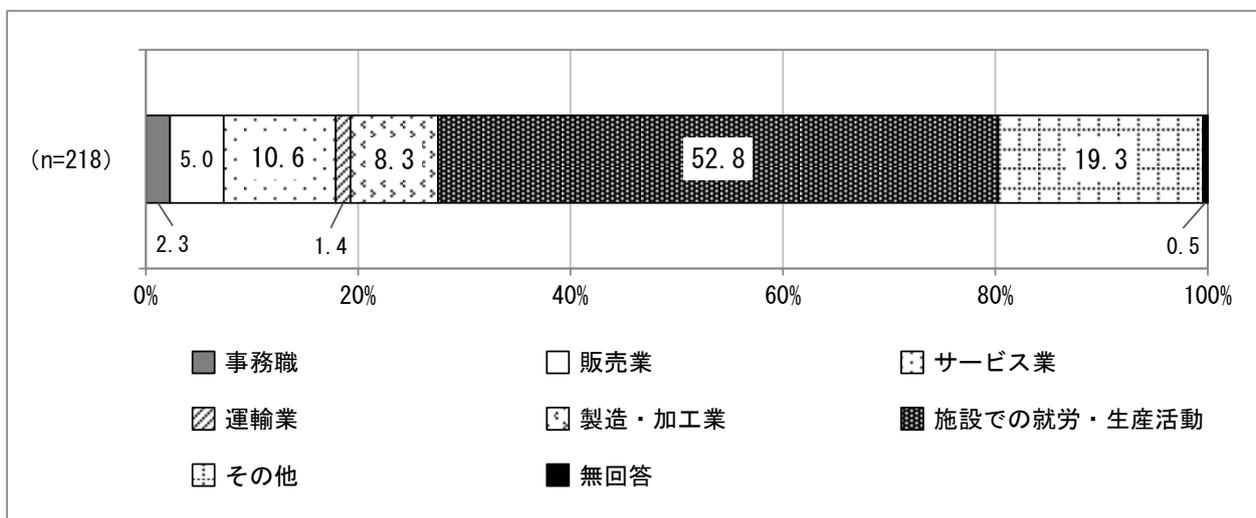
問 15 問 14 で「仕事をしている」に○を付けた方におたずねします。

(1) どのような仕事のしかたをしていますか。(SA)



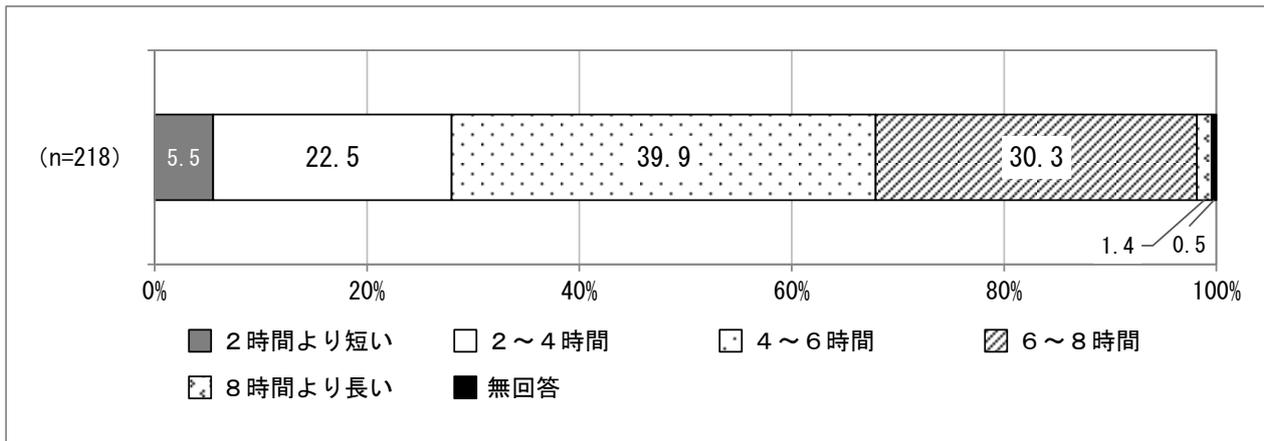
現在の仕事のしかたは、「障害のある方が通う施設で、ものをつくったり作業をしたりしている」(60.1%) が最も高く、次いで「パート・アルバイトとして働いている」(27.5%)、「正社員・正職員として働いている」(7.3%) となっている。

(2) どのような種類の仕事をしていますか。(SA)



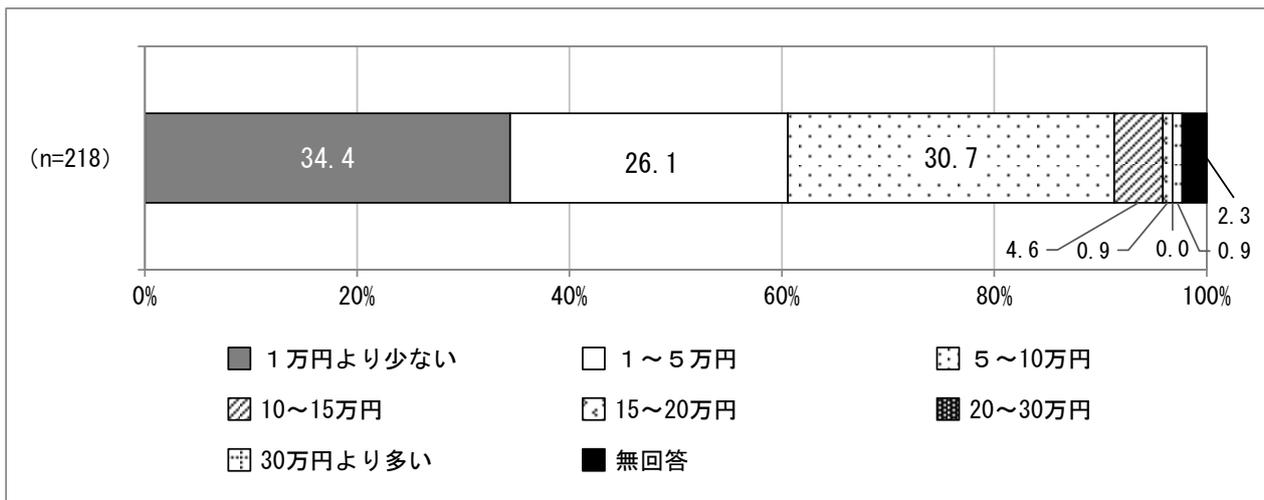
仕事の種類は、「施設での就労・生産活動」(52.8%) が最も高く、次いで「その他」(19.3%)、「サービス業」(10.6%) となっている。

(3) あなたの1日あたりの仕事の時間はどのくらいですか。(SA)



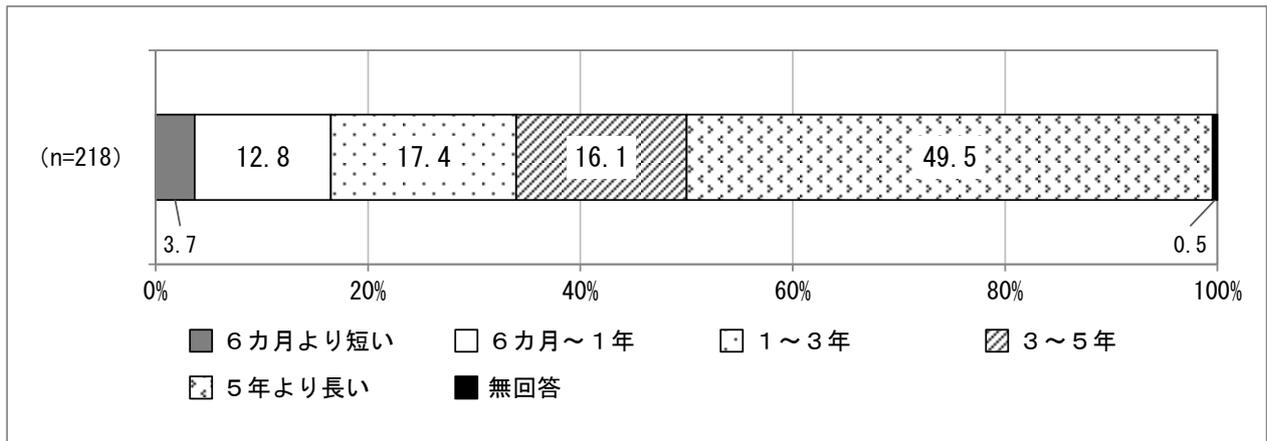
1日あたりの仕事の時間は、「4~6時間」(39.9%)が最も高く、次いで「6~8時間」(30.3%)、「2~4時間」(22.5%)となっている。

(4) あなたは、一カ月の仕事で、どのくらいのお金をもらっていますか。(SA)



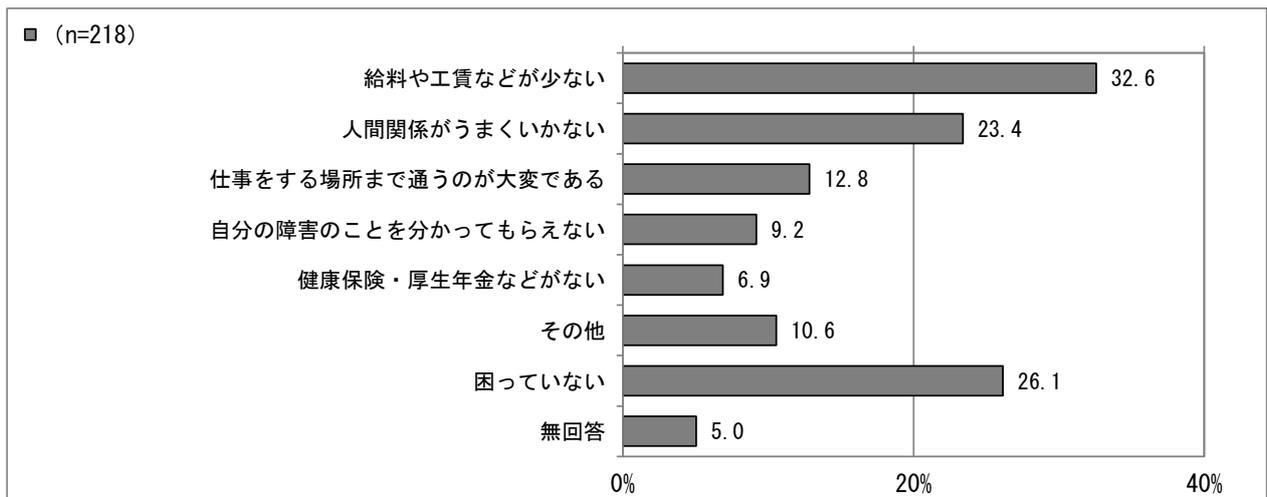
月給は、「1万円より少ない」(34.4%)が最も高く、次いで「5~10万円」(30.7%)、「1~5万円」(26.1%)となっている。

(5) あなたはいまの仕事をどのくらいの期間続けていますか。(SA)



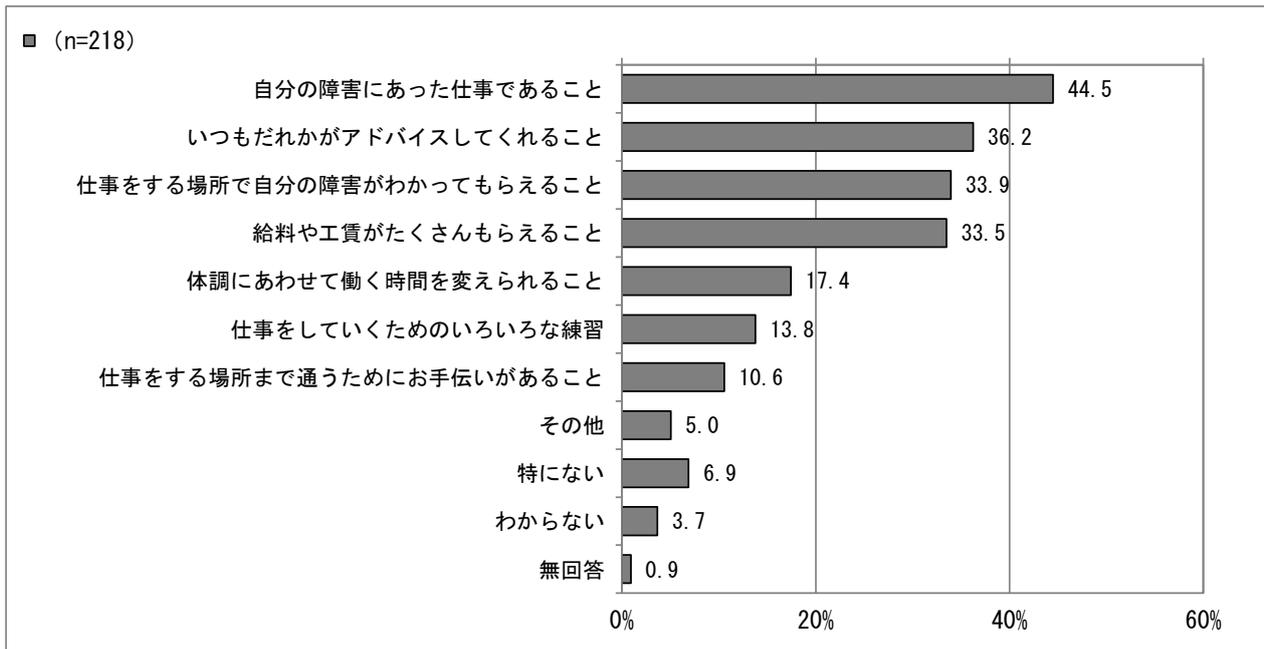
仕事を続けている期間は、「5年より長い」(49.5%)が最も高く、次いで「1～3年」(17.4%)、「3～5年」(16.1%)となっている。

(6) 仕事をして困ったことは何ですか。(MA)



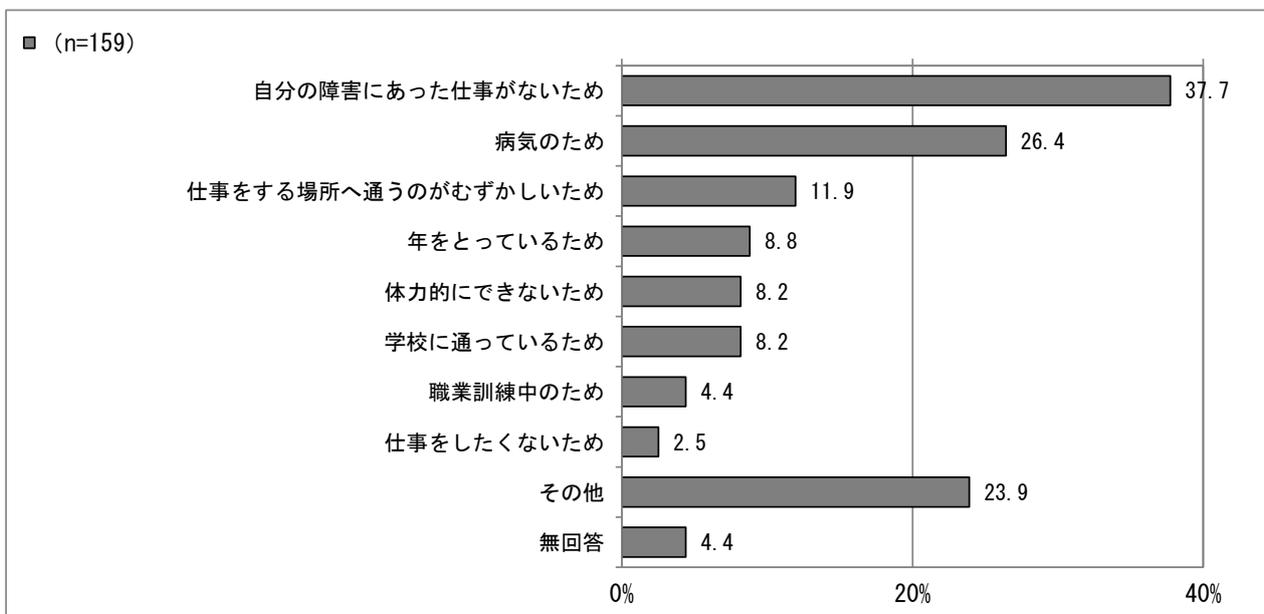
仕事をして困ったことは、「給料や工賃などが少ない」(32.6%)が最も高く、次いで「困っていない」(26.1%)、「人間関係がうまくいかない」(23.4%)となっている。

## (7) 仕事を続けるためには何が必要ですか。(MA)



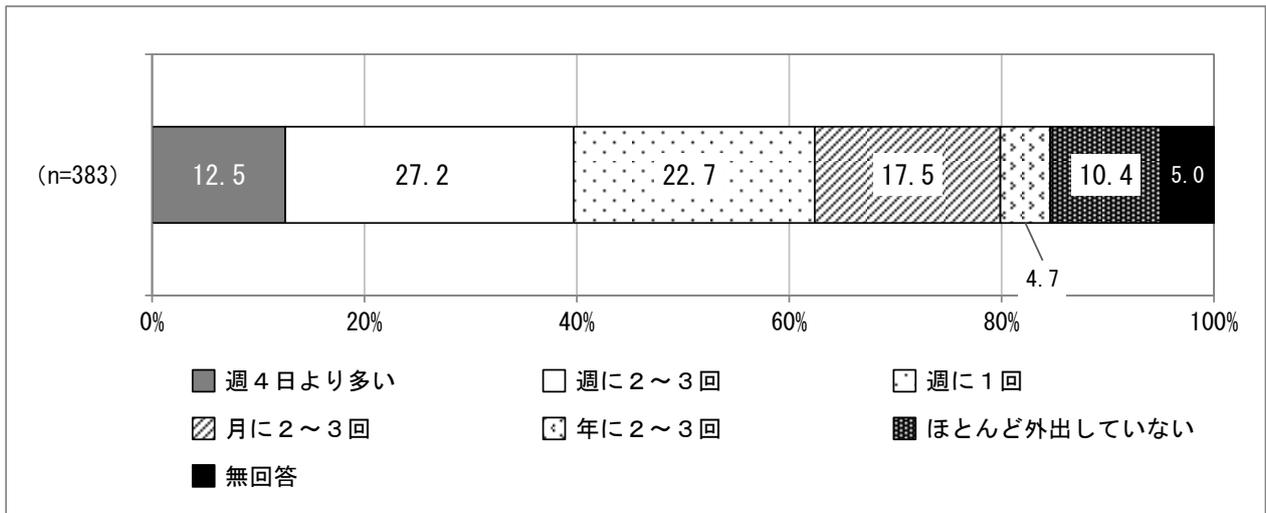
仕事を続けるために必要なことは、「自分の障害にあった仕事であること」(44.5%)が最も高く、次いで「いつもだれかがアドバイスしてくれること」(36.2%)、「仕事をする場所で自分の障害がわかってもらえること」(33.9%)となっている。

問16 問14で「仕事をしていない」に○を付けた方におたずねします。あなたが仕事をしていない理由は何ですか。(MA)



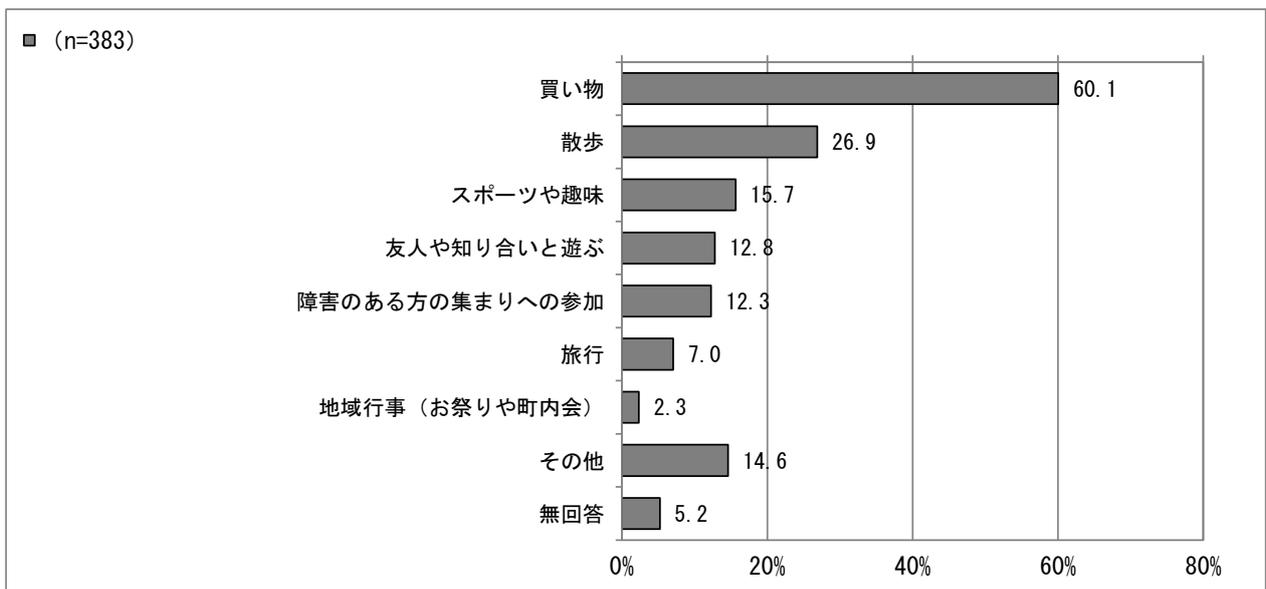
仕事をしていない理由は、「自分の障害にあった仕事がないため」(37.7%)が最も高く、次いで「病気のため」(26.4%)、「その他」(23.9%)となっている。

問 17 仕事・学校・病院・施設に行くこと以外で、どのくらい外出していますか。(SA)



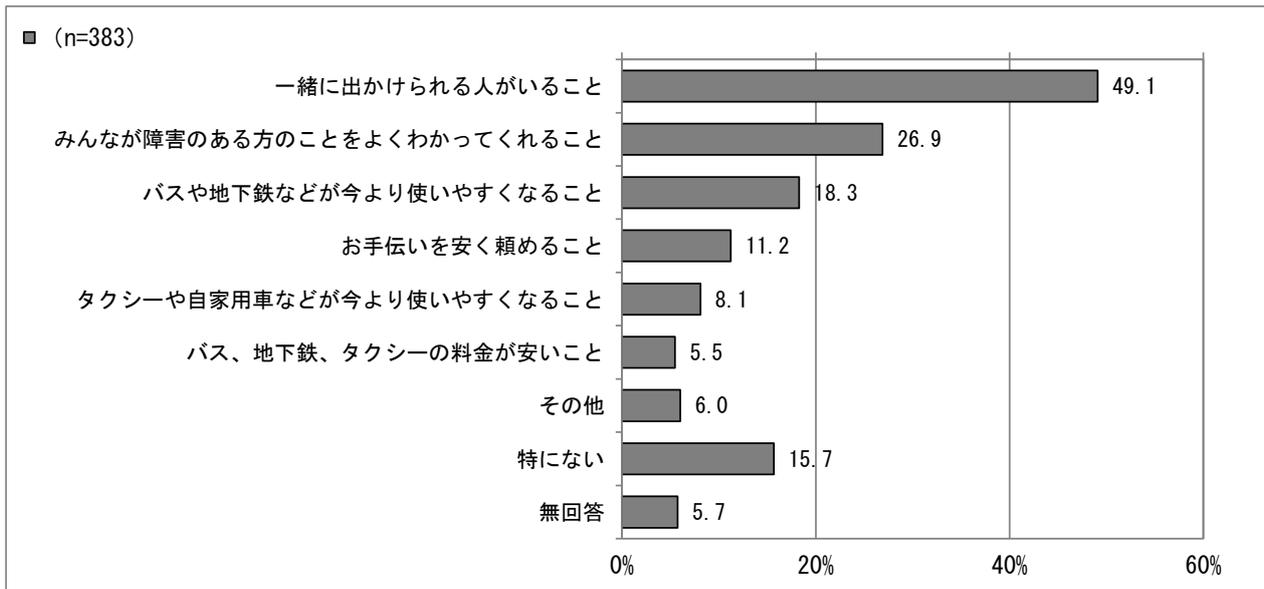
仕事・学校・病院・施設以外での外出の頻度は、「週に2~3回」(27.2%)が最も高く、次いで「週に1回」(22.7%)、「月に2~3回」(17.5%)となっている。

問 18 あなたが外出をするときは、主に何をしますか。(MA)



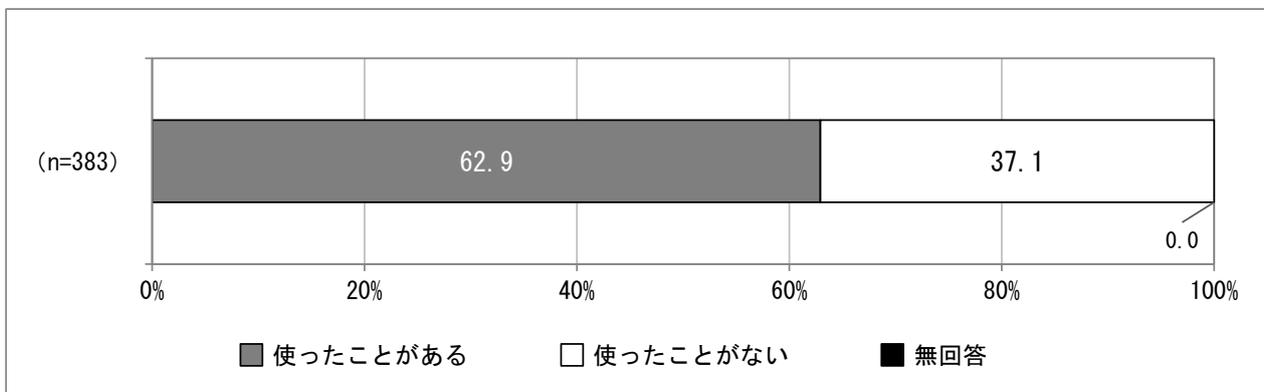
外出するときの主な目的は、「買い物」(60.1%)が最も高く、次いで「散歩」(26.9%)、「スポーツや趣味」(15.7%)となっている。

## 問19 あなたはどのようなことがあれば外出しやすくなりますか。(MA)



外出しやすくなるには、「一緒に出かけられる人がいること」(49.1%)が最も高く、次いで「みんなが障害のある方をよくわかってくれること」(26.9%)、「バスや地下鉄などが今より使いやすくなること」(18.3%)となっている。

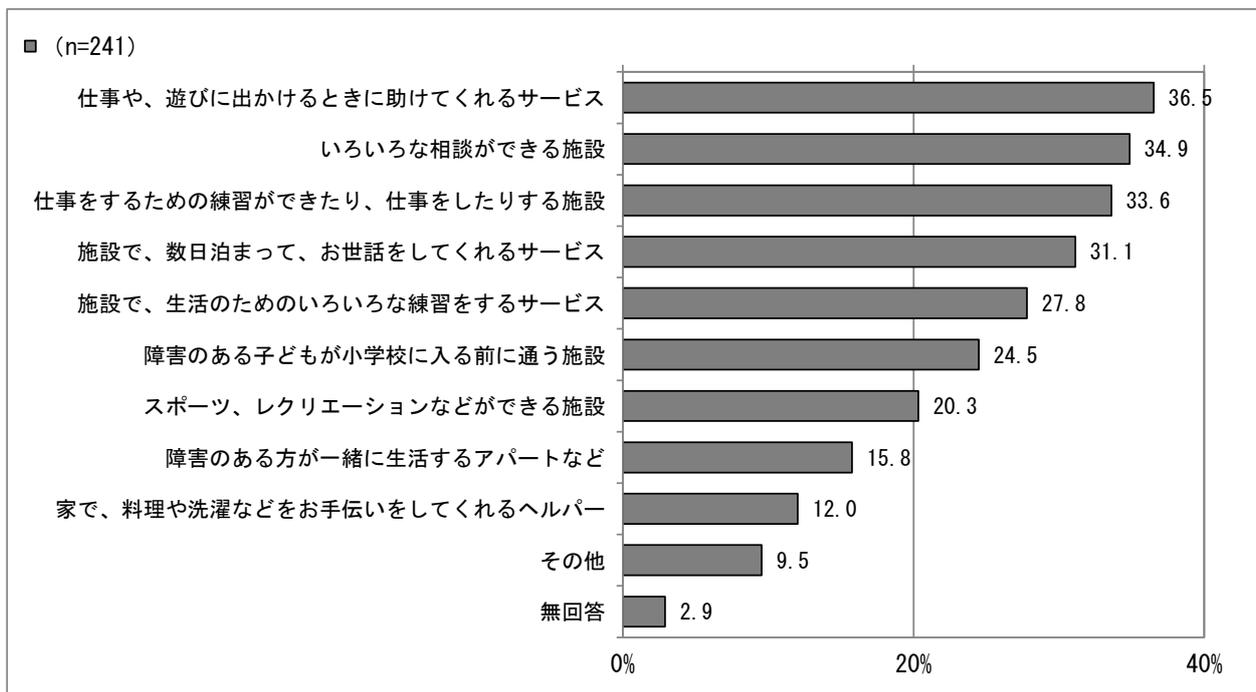
## 問20 あなたは「障害のある方の福祉サービス」を使ったことがありますか。(SA)



「障害のある方の福祉サービス」の利用は、「使ったことがある」(62.9%)、「使ったことがない」(37.1%)となっている。

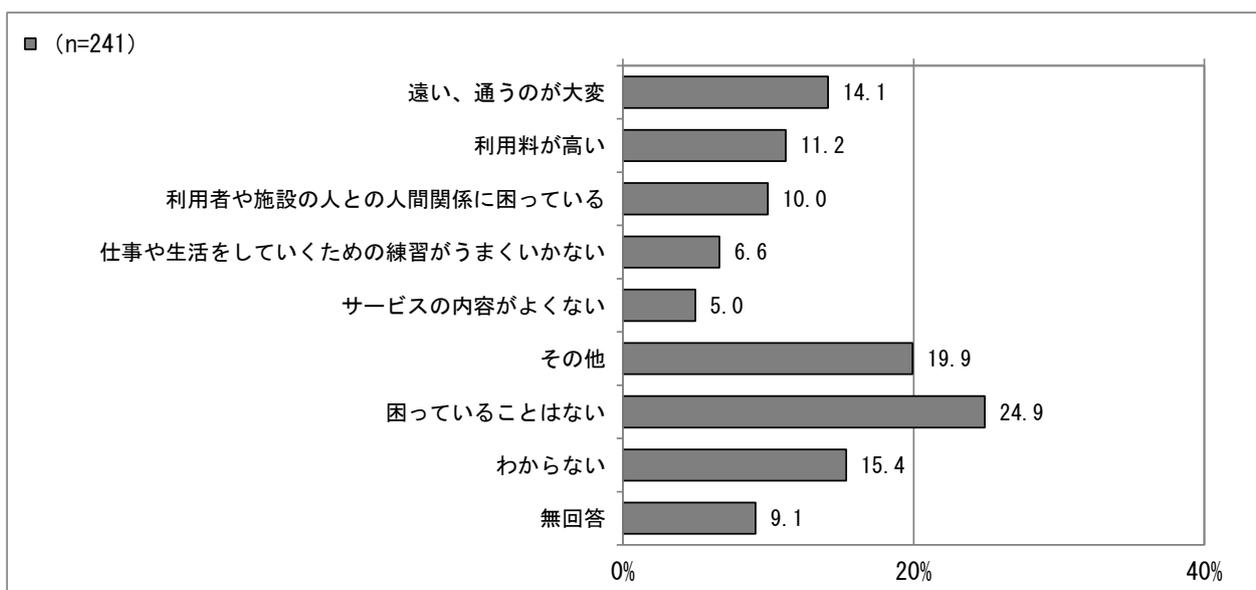
問 21 問 20 で「使ったことがある」に○を付けた方におたずねします。

(1) 利用したことがある福祉サービスは何ですか。(MA)



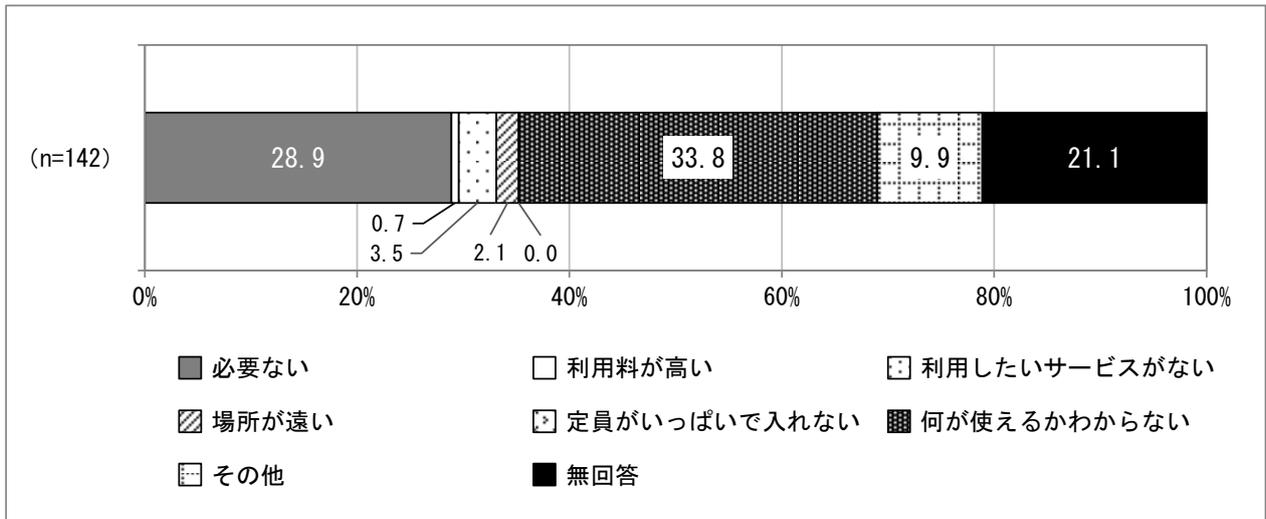
利用したことがある福祉サービスは、「仕事や、遊びに出かけるときに助けてくれるサービス」(36.5%)が最も高く、次いで「いろいろな相談ができる施設」(34.9%)、「仕事をするための練習ができたり、仕事をしたりする施設」(33.6%)となっている。

(2) 福祉サービスを使うときに困っていることは何ですか。(MA)



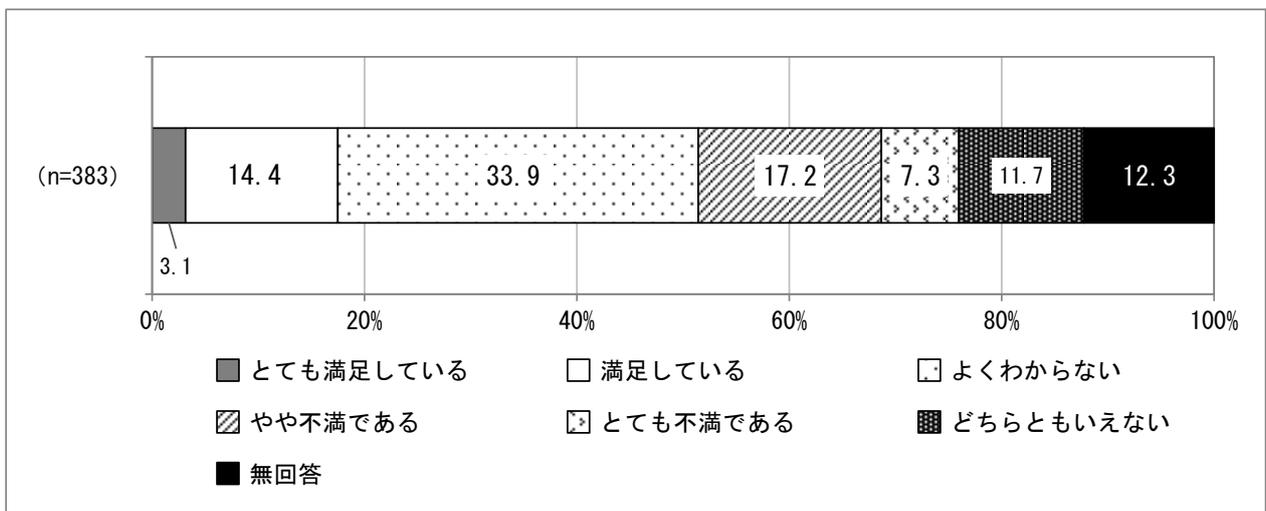
福祉サービス利用で困っていることは、「困っていることはない」(24.9%)が最も高く、次いで「その他」(19.9%)、「わからない」(15.4%)となっている。

問 22 問 20 で「使ったことがない」に○を付けた方におたずねします。利用したことがない理由は何ですか。(SA)



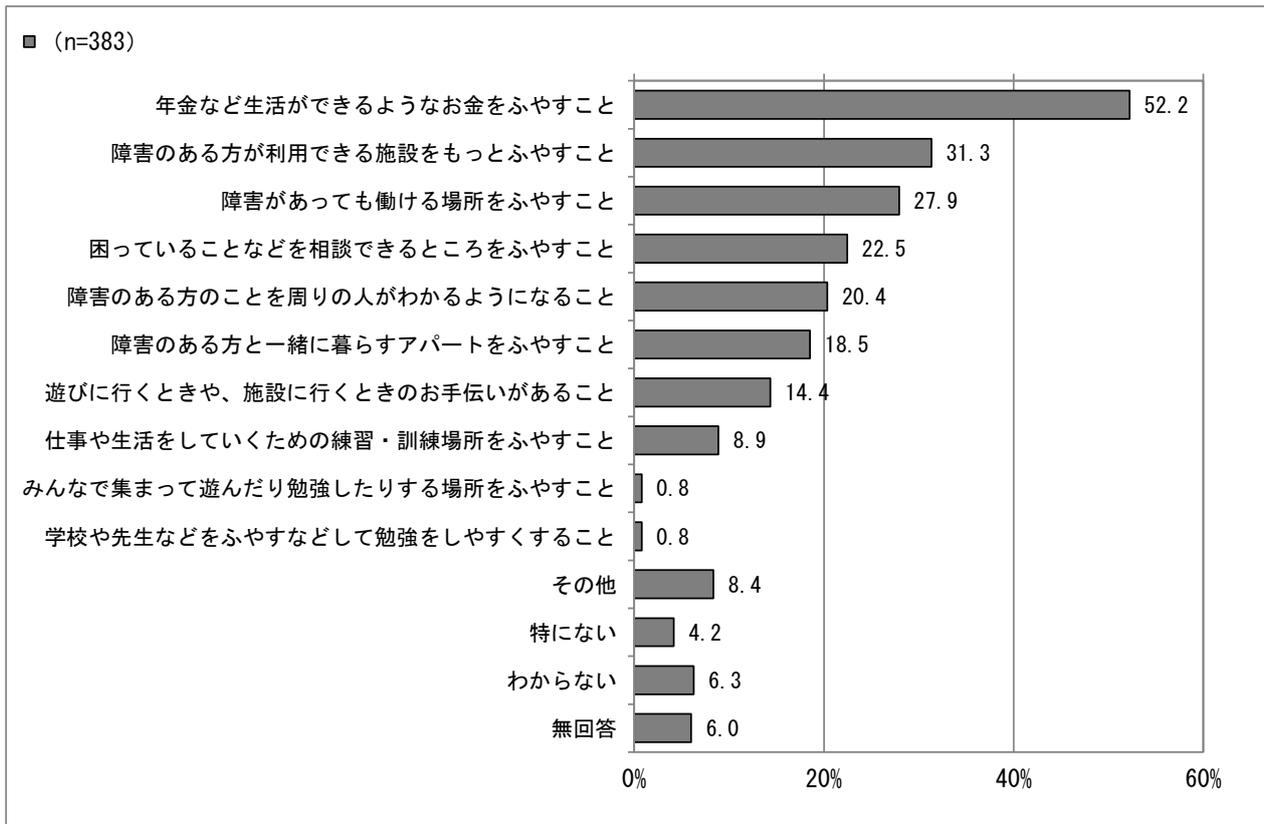
利用したことがない理由は、「何が使えるかわからない」(33.8%)が最も高く、次いで「必要ない」(28.9%)、「その他」(9.9%)となっている。

問 23 あなたは仙台市にある「障害のある方の福祉サービス」に満足していますか。(SA)



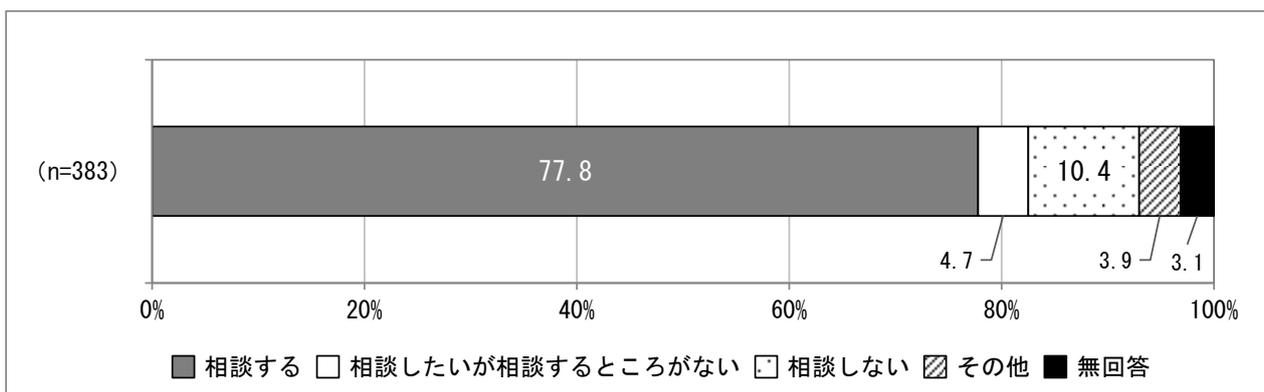
市にある「障害のある方の福祉サービス」への満足は、「よくわからない」(33.9%)が最も高く、次いで「やや不満である」(17.2%)、「満足している」(14.4%)となっている。

問 24 あなたが今後、国や仙台市などにしてもらいたいことは何ですか。(MA)



国や市などにしてもらいたいことは、「年金など生活ができるようなお金をふやすこと」(52.2%)が最も高く、次いで「障害のある方が利用できる施設をもっとふやすこと」(31.3%)、「障害があっても働ける場所をふやすこと」(27.9%)となっている。

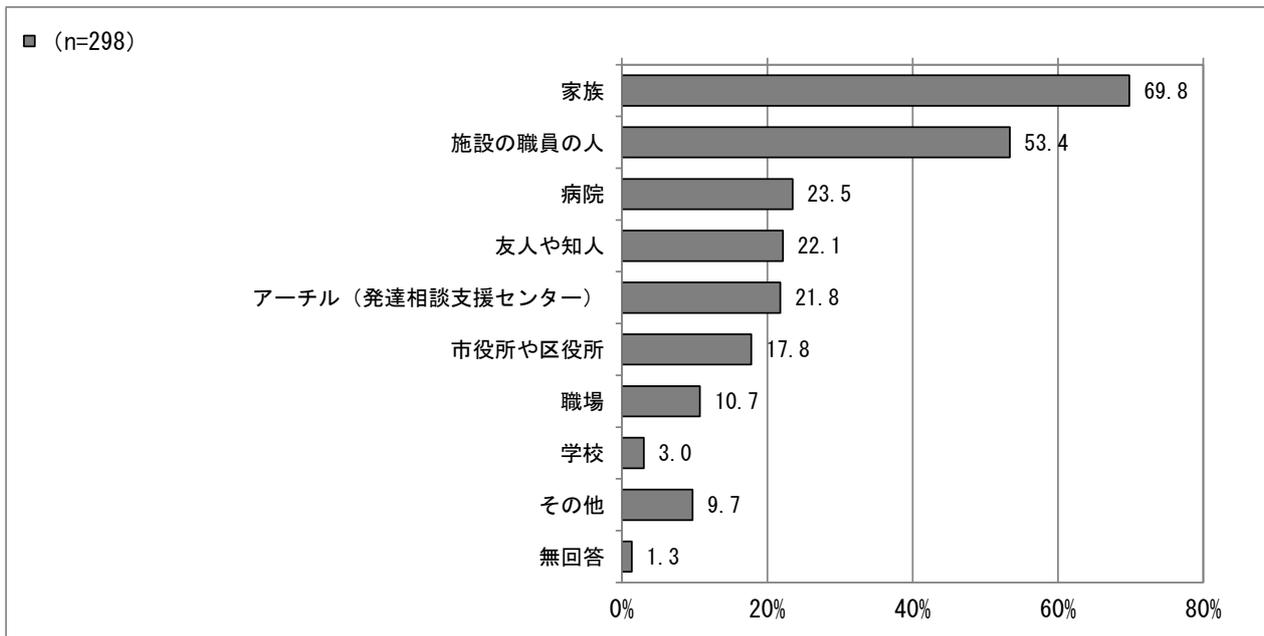
問 25 困ったとき、だれかに相談しますか。(SA)



困ったときの相談は、「相談する」(77.8%)が最も高く、次いで「相談しない」(10.4%)、「相談したいが相談するところがない」(4.7%)となっている。

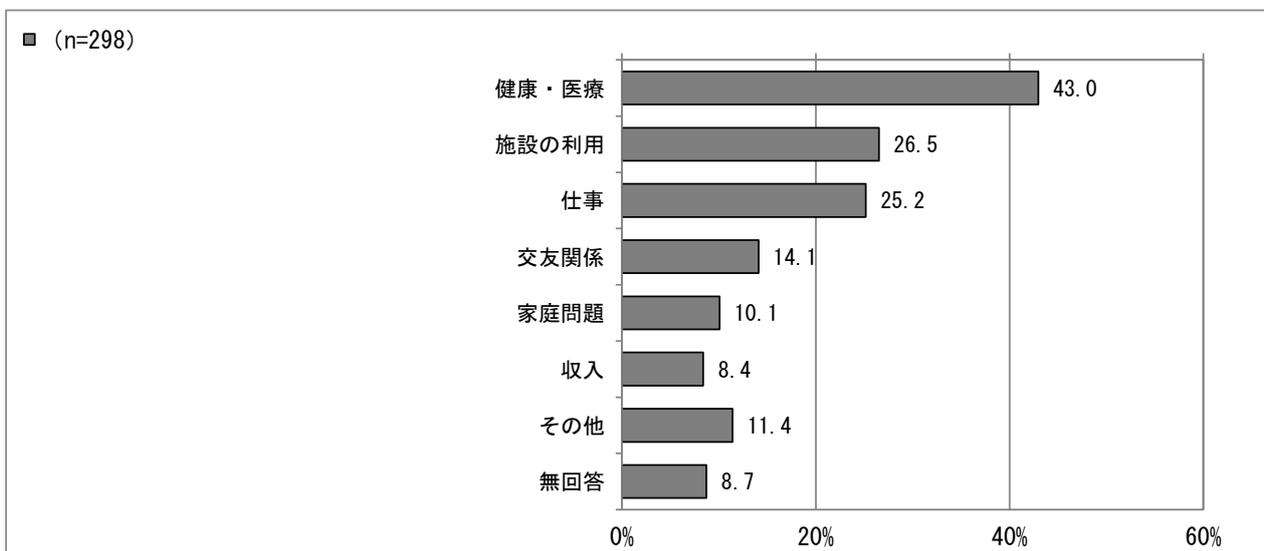
問26 問25で「相談する」に○を付けた方におたずねします。

(1) 主に相談するところはどちらですか。(MA)



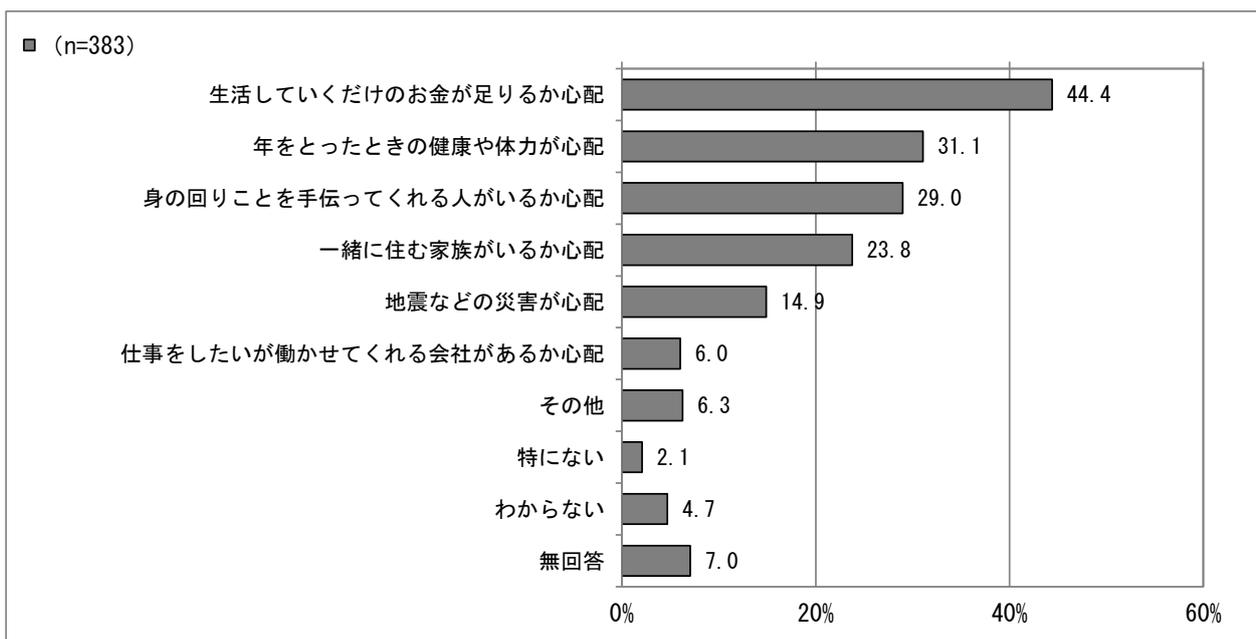
主に相談するところは、「家族」(69.8%)が最も高く、次いで「施設の職員の人」(53.4%)、「病院」(23.5%)となっている。

(2) 主に相談していること(したいこと)は何ですか。(MA)



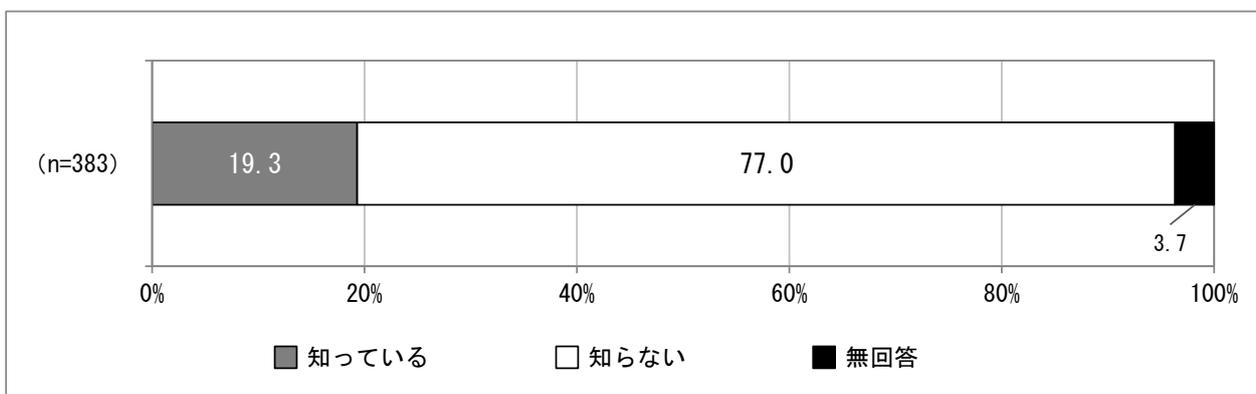
主に相談していること(したいこと)は、「健康・医療」(43.0%)が最も高く、次いで「施設の利用」(26.5%)、「仕事」(25.2%)となっている。

問 27 これからのことで心配なことは何ですか。(MA)



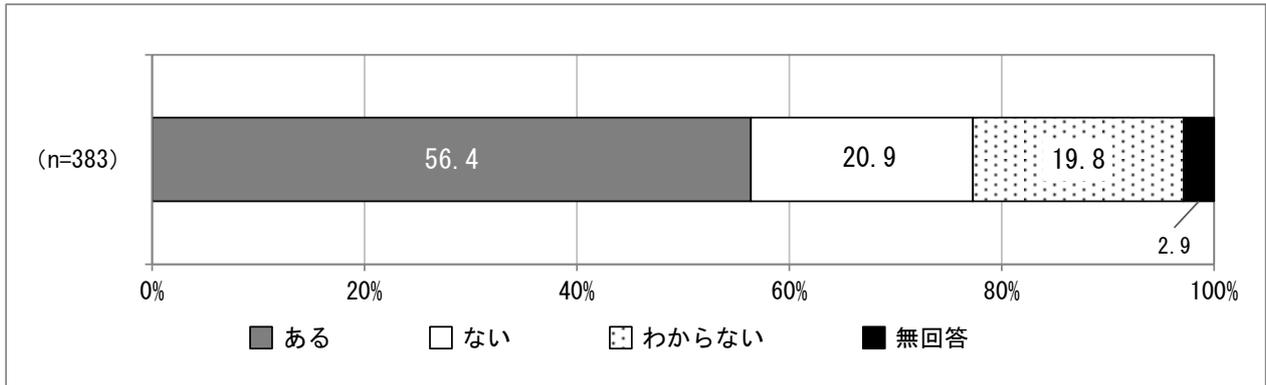
これからのことで心配なことは、「生活していくだけのお金が足りるか心配」(44.4%)が最も高く、次いで「年をとったときの健康や体力が心配」(31.1%)、「身の回りことを手伝ってくれる人がいるか心配」(29.0%)となっている。

問 28 あなたは、今年できた障害のある方の差別をなくす法律を知っていますか。(SA)



今年できた障害のある方の差別をなくす法律を、「知っている」(19.3%)、「知らない」(77.0%)となっている。

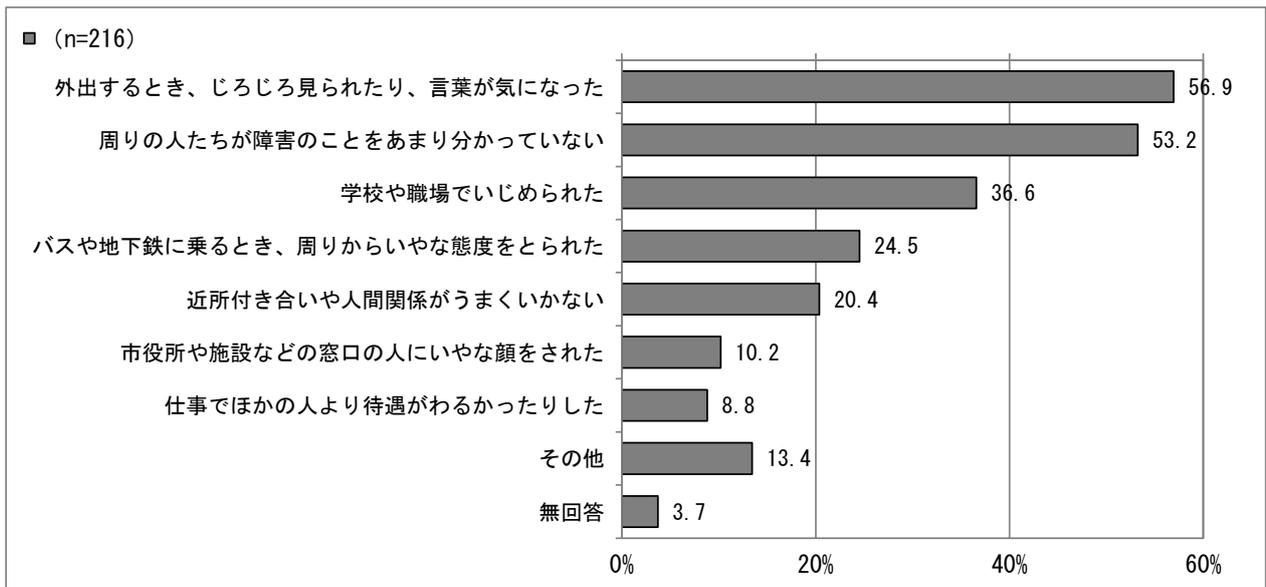
問 29 障害のことで差別をされたり、いやな思いをしたことがありますか。(SA)



障害のことで差別をされたり、いやな思いをしたことは、「ある」(56.4%)、「ない」(20.9%)、「わからない」(19.8%)となっている。

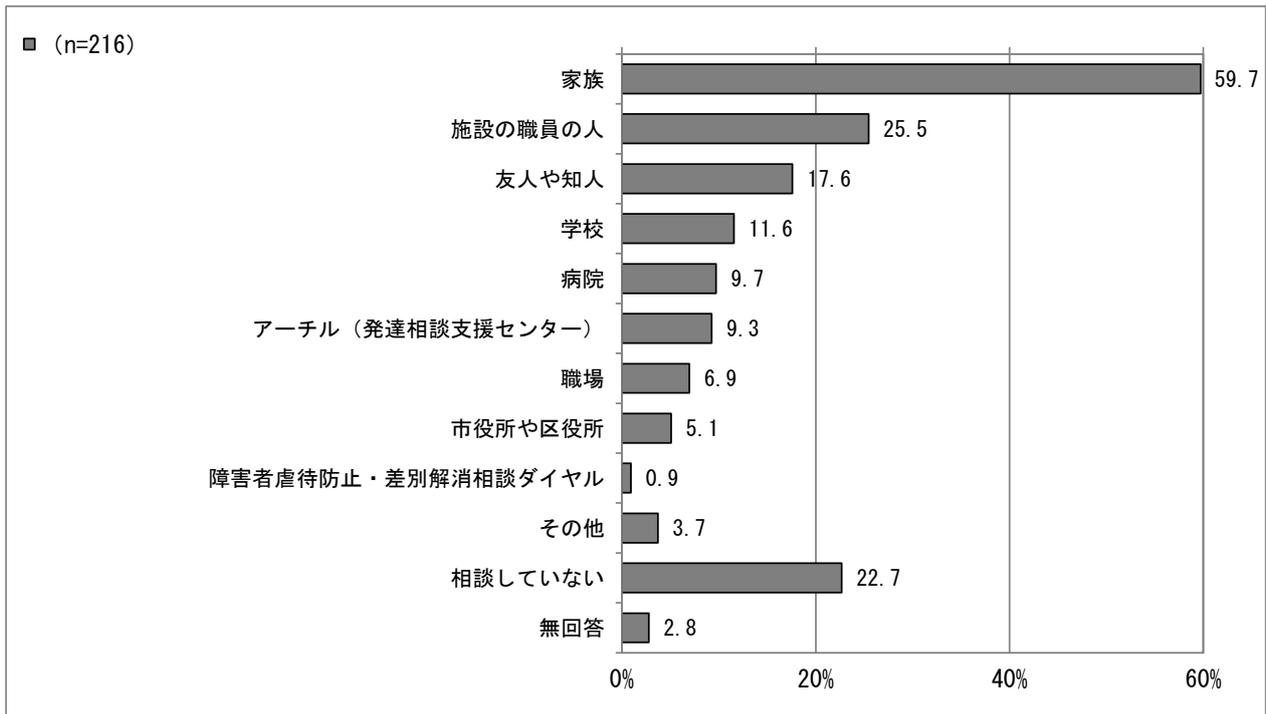
問 30 問 29 で「ある」に○を付けた方におたずねします。

(1) あなたは、どのような差別を受けたり、いやな思いをしましたか。(MA)



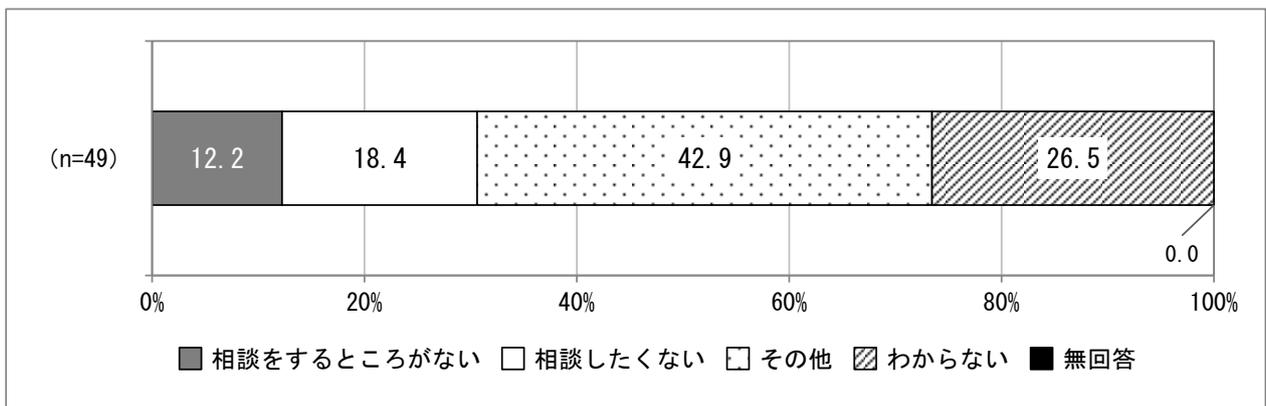
差別やいやな思いの内容は、「外出するとき、じろじろ見られたり、言葉が気になった」(56.9%)が最も高く、次いで「周りの人たちが障害のことをあまり分かっていない」(53.2%)、「学校や職場でいじめられた」(36.6%)となっている。

(2) 差別を受けたり、いやな思いを受けたときに誰かに相談しましたか。(MA)



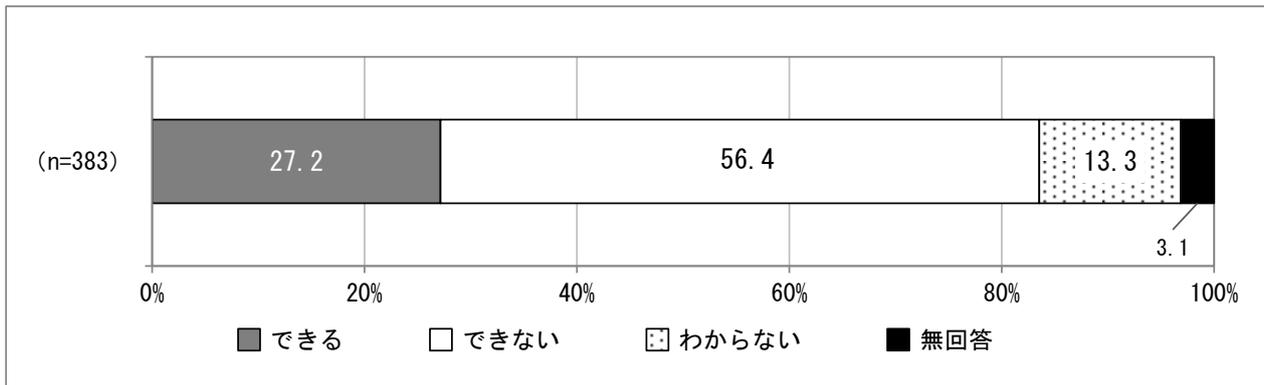
差別やいやな思いを受けたときの相談は、「家族」(59.7%)が最も高く、次いで「施設の職員の人」(25.5%)、「相談していない」(22.7%)となっている。

(3) (2)で「相談していない」に○を付けた方におたずねします。相談をしなかった理由は何ですか。(SA)



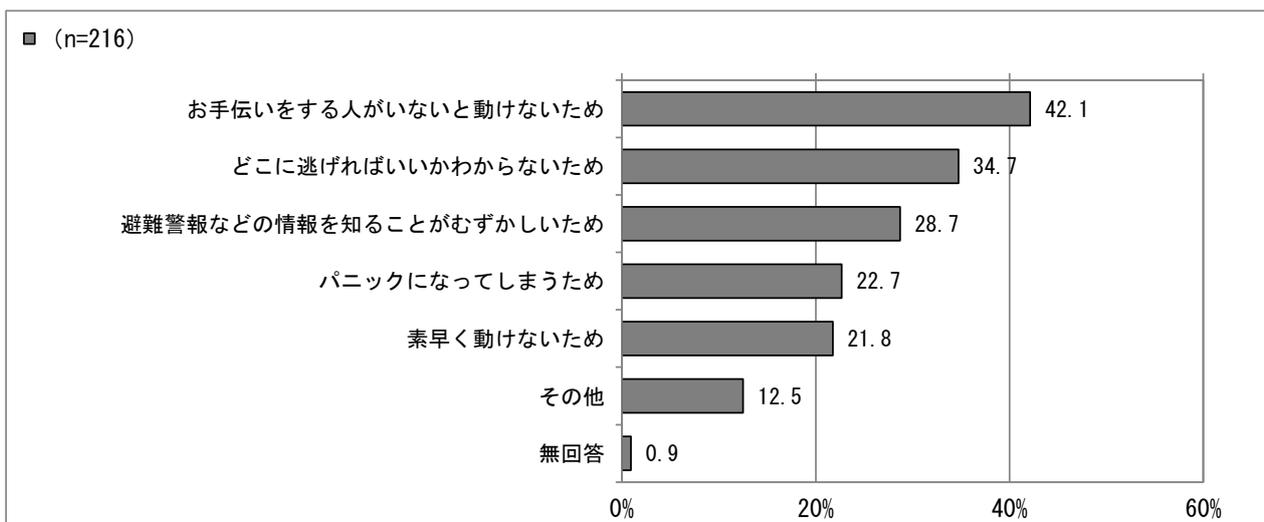
相談をしなかった理由は、「その他」(42.9%)が最も高く、次いで「わからない」(26.5%)、「相談したくない」(18.4%)となっている。

## 問31 あなたは地震などの災害のとき、一人で避難することができますか。(SA)



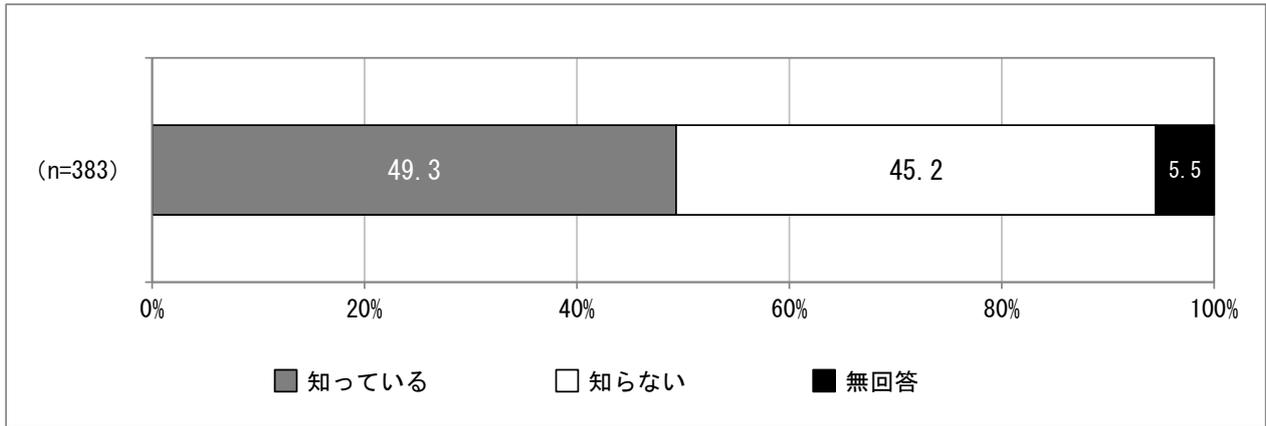
災害時に一人で避難することができるかは、「できる」(27.2%)、「できない」(56.4%)、「わからない」(13.3%)となっている。

## 問32 問31で「できない」に○を付けた方におたずねします。災害のとき一人で避難することができない理由は何ですか。(MA)



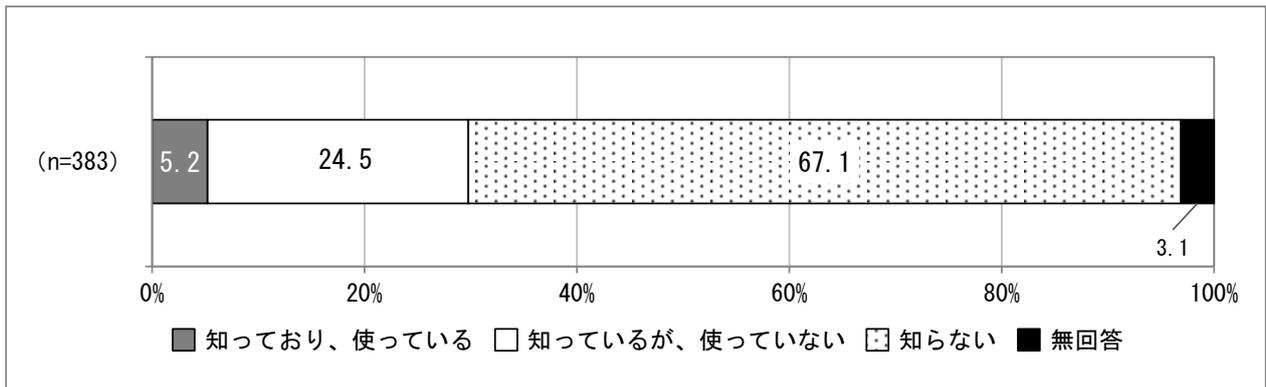
一人で避難することができない理由は、「お手伝いをする人がいないと動けないため」(42.1%)、「どこに逃げればいいのかわからないため」(34.7%)、「避難警報などの情報を知ることがむずかしいため」(28.7%)となっている。

問 33 あなたは、家の近くの避難所の場所を知っていますか。(SA)



家の近くの避難所の場所を、「知っている」(49.3%)、「知らない」(45.2%)となっている。

問 34 あなたは、ヘルプカードを知っていますか。(SA)



ヘルプカードを、「知っており、使っている」(5.2%)、「知っているが、使っていない」(24.5%)、「知らない」(67.1%)となっている。

## 第5章

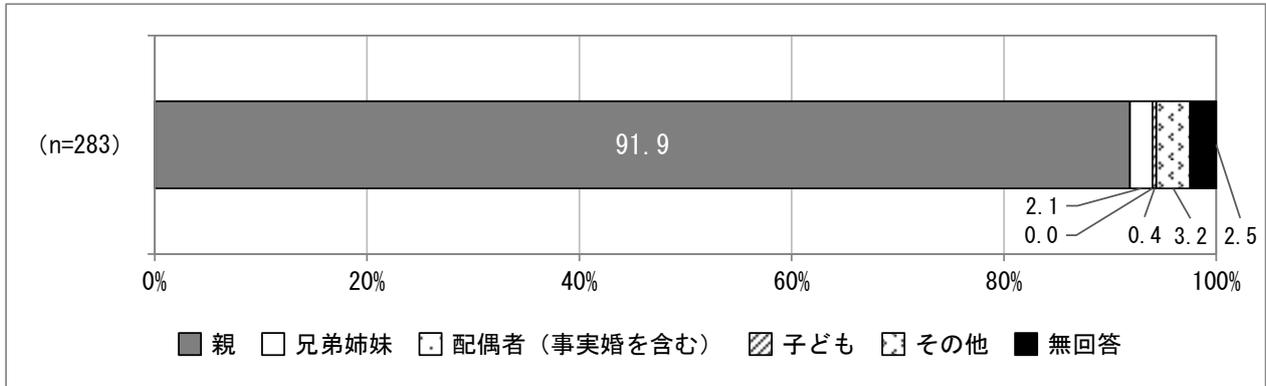
# 知的障害者の家族



## 第5章 知的障害者の家族

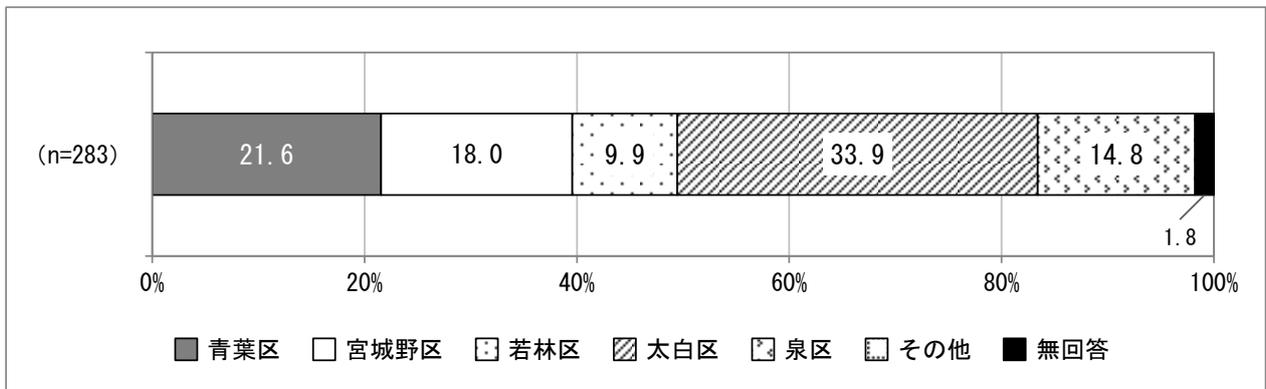
### 1 属性について

問1 このアンケートの記入者はどなたですか。(SA)



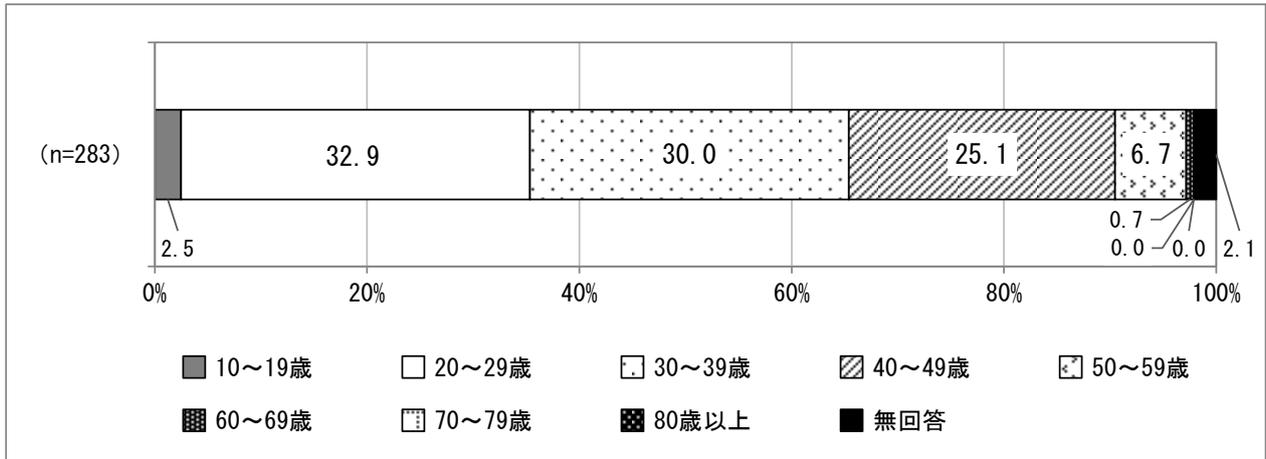
アンケートの記入者は、「親」(91.9%)が最も高く、次いで「その他」(3.2%)、「兄弟姉妹」(2.1%)となっている。

問2 ご本人のお住まいの区はどこですか。(SA)



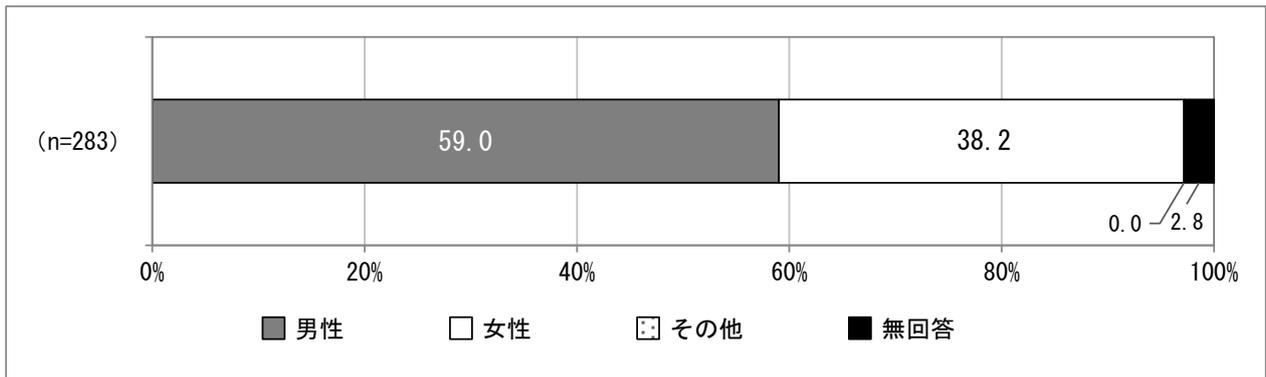
居住区は、「太白区」(33.9%)が最も高く、次いで「青葉区」(21.6%)、「宮城野区」(18.0%)となっている。

問3 ご本人の年齢（2016年11月1日時点）は何歳ですか。（数値）



年齢は、「20～29歳」（32.9%）が最も高く、次いで「30～39歳」（30.0%）、「40～49歳」（25.1%）となっている。

問4 ご本人の性別を教えてください。（SA）

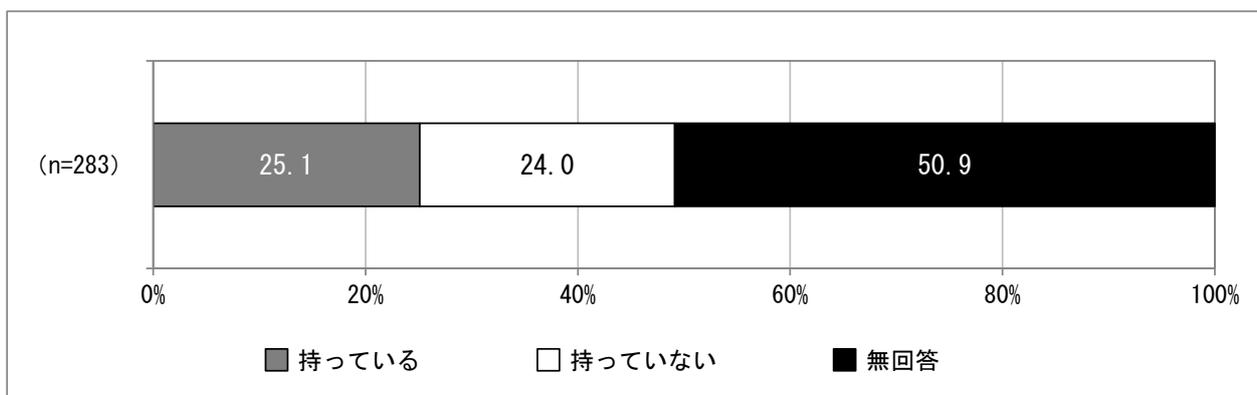


性別は、「男性」（59.0%）、「女性」（38.2%）となっている。

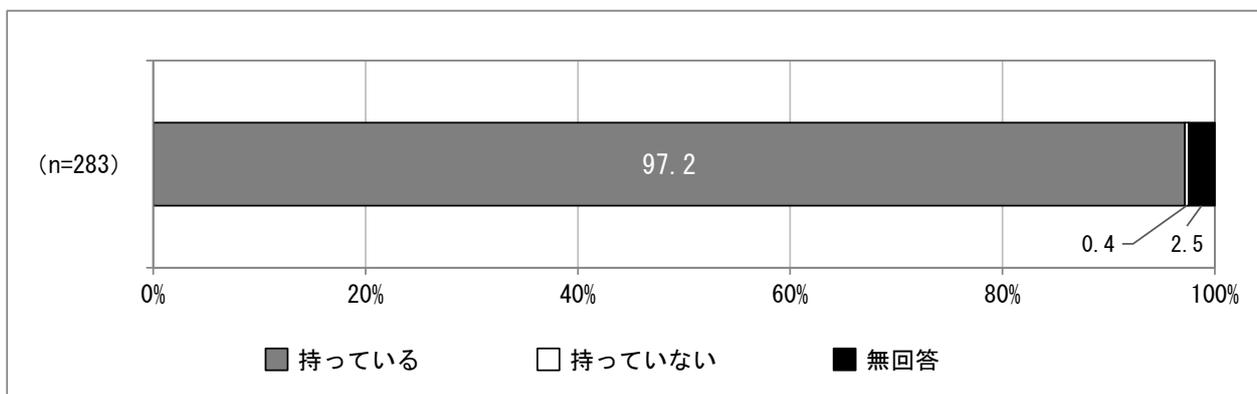
問5 障害者手帳についておたずねします。

(ア) ご本人が、障害者手帳をお持ちかどうか教えてください。(SA)

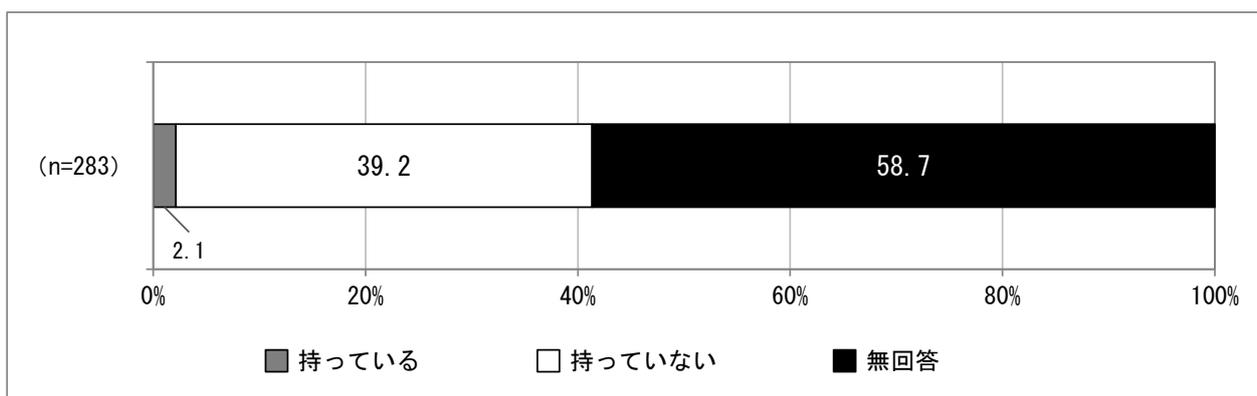
(身体障害者手帳)



(療育手帳)



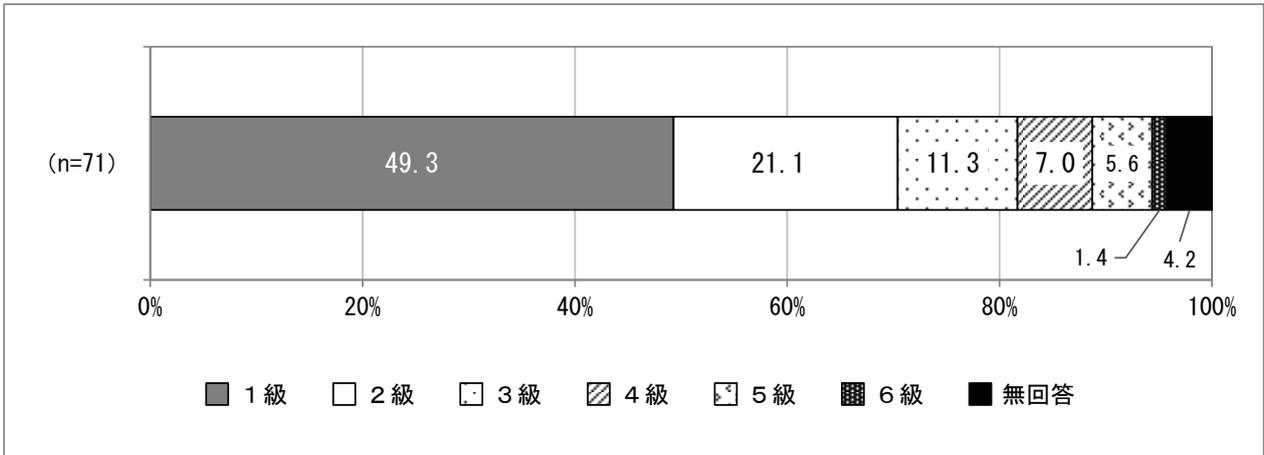
(精神障害者保健福祉手帳)



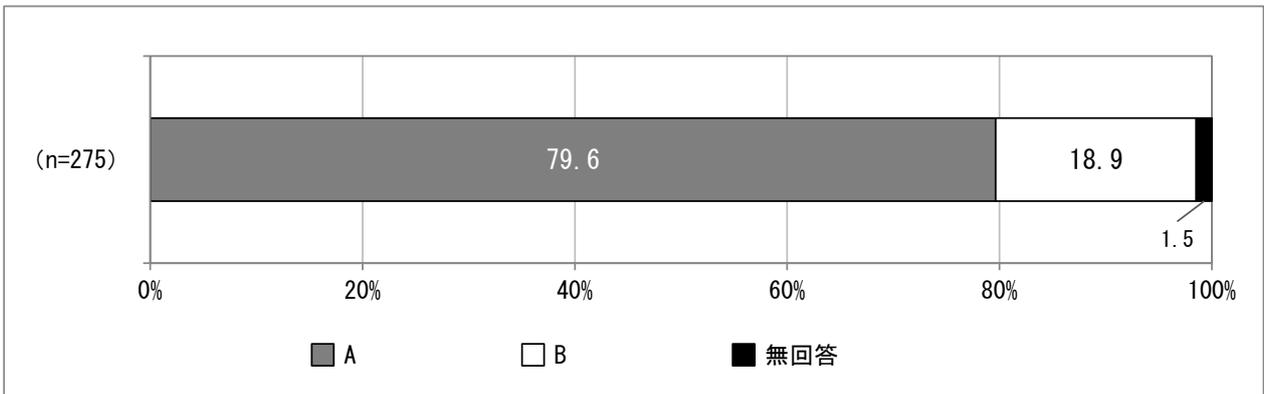
「持っている」割合は、身体障害者手帳が 25.1%、療育手帳が 97.2%、精神障害者保健福祉手帳が 2.1%となっている。

(イ) お持ちの障害者手帳の等級を教えてください。(SA)

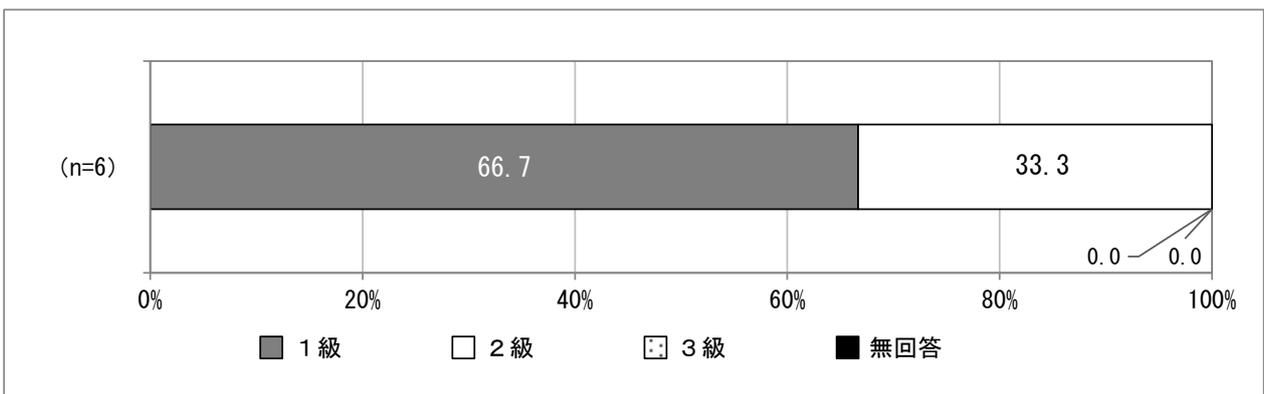
(身体障害者手帳)



(療育手帳)



(精神障害者保健福祉手帳)



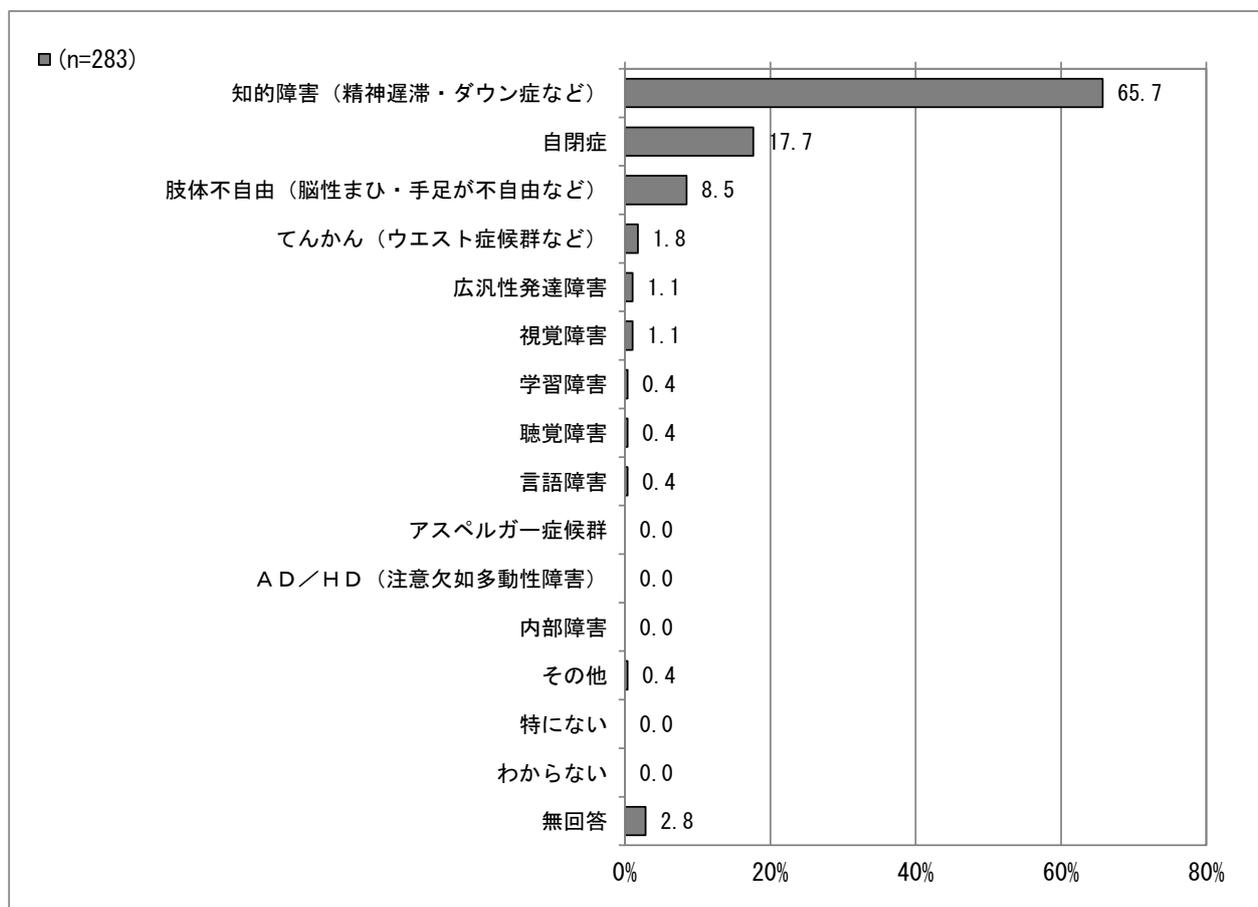
身体障害者手帳の等級は、「1級」(49.3%)が最も高く、次いで「2級」(21.1%)、「3級」(11.3%)となっている。

療育手帳の等級は、「A」(79.6%)、「B」(18.9%)となっている。

精神障害者保健福祉手帳の等級は、「1級」(66.7%)、次いで「2級」(33.3%)となっている。

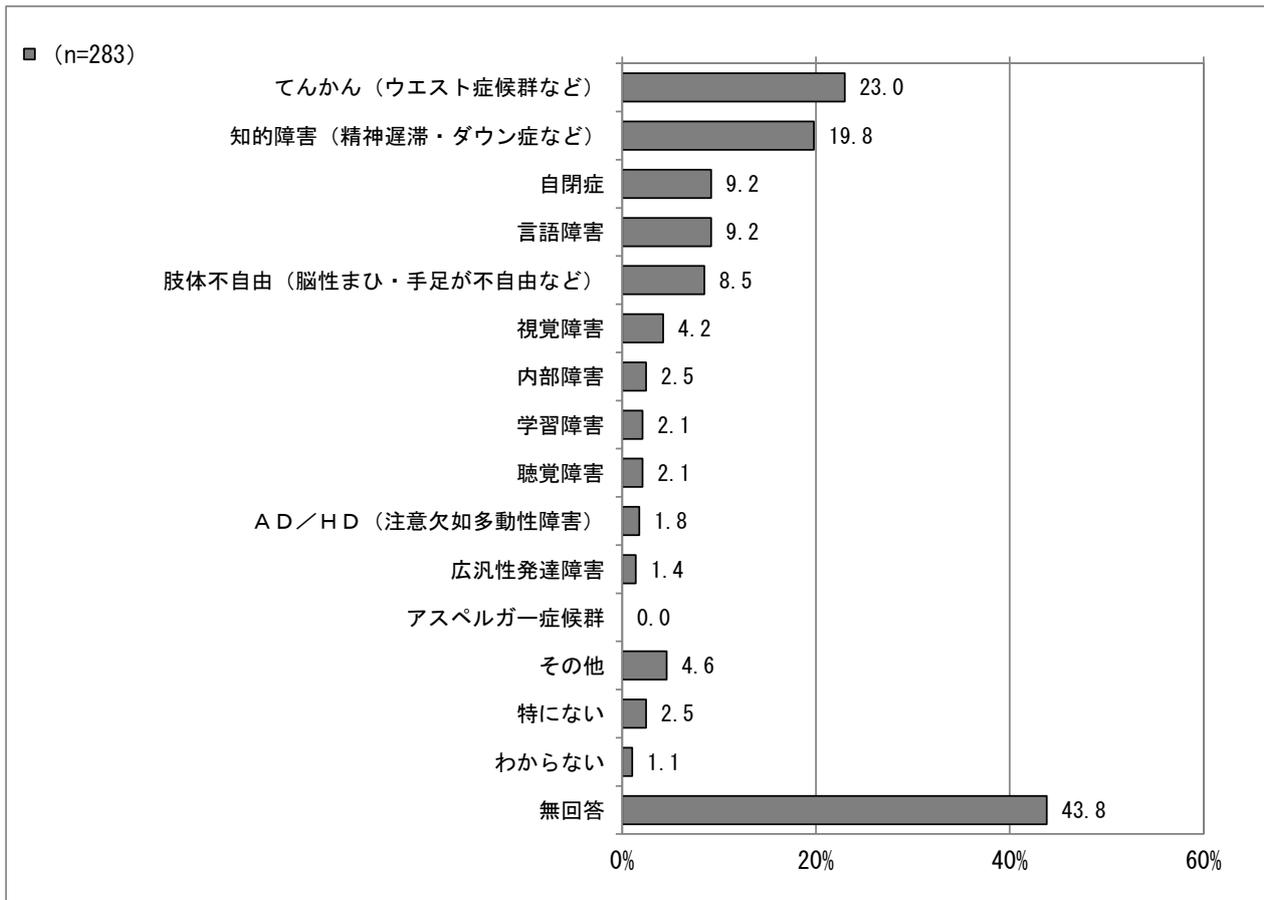
## 問6 障害の種類についておたずねします。

(ア) ご本人の主な障害は次のうちどれですか。(SA)



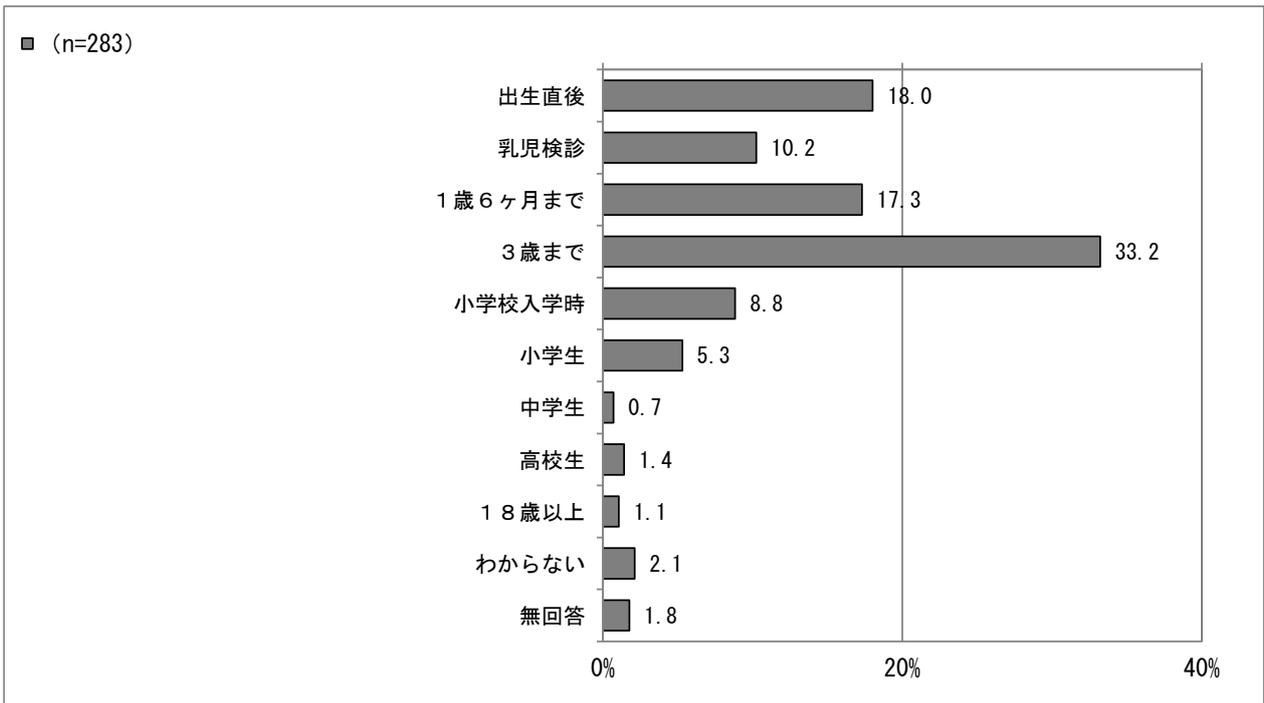
主な障害は、「知的障害 (精神遅滞・ダウン症など)」(65.7%) が最も高く、次いで「自閉症」(17.7%)、「肢体不自由 (脳性まひ・手足が不自由など)」(8.5%) となっている。

(イ) 主な障害以外に障害があれば教えてください。(MA)



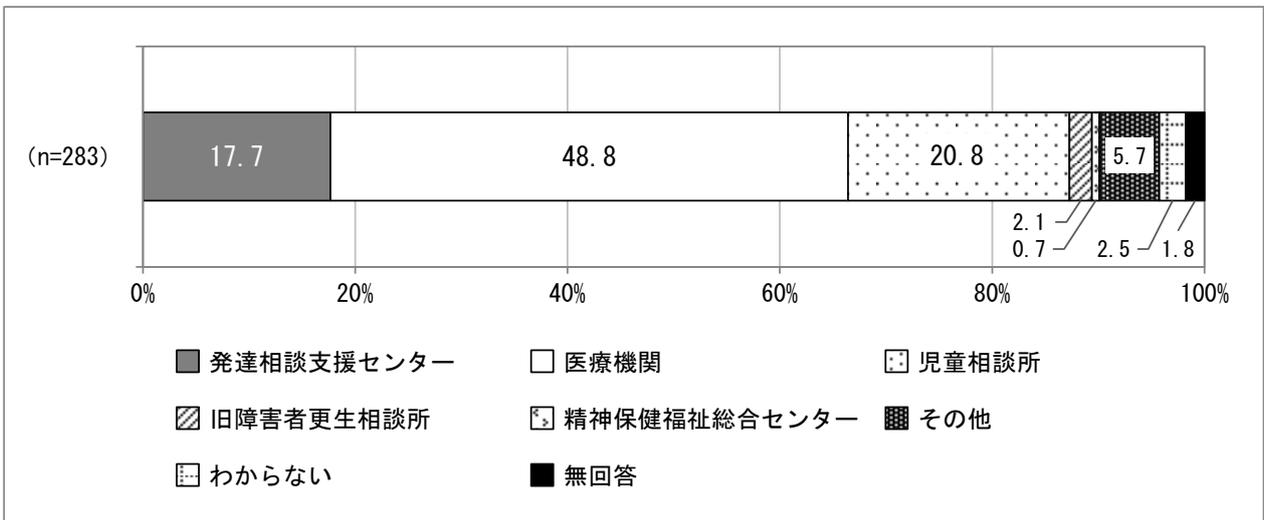
主な障害以外の障害は、「てんかん (ウエスト症候群など)」(23.0%) が最も高く、次いで「知的障害 (精神遅滞・ダウン症など)」(19.8%)、「自閉症」と「言語障害」がそれぞれ9.2%となっている。

問7 ご本人が障害の診断・判定を受けたのはいつごろですか。(SA)



障害の診断・判定を受けたのは、「3歳まで」(33.2%)が最も高く、次いで「出生直後」(18.0%)、「1歳6ヶ月まで」(17.3%)となっている。

問8 ご本人が障害の診断・判定を受けたところはどこですか。(SA)

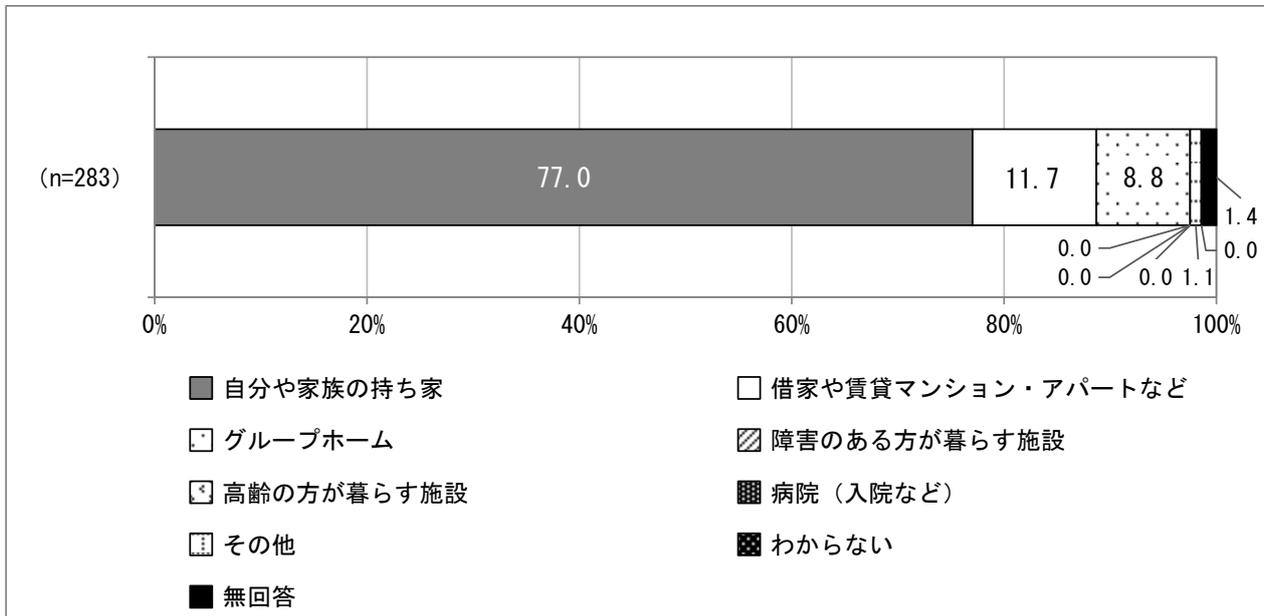


障害の診断・判定を受けたところは、「医療機関」(48.8%)が最も高く、次いで「児童相談所」(20.8%)、「発達相談支援センター」(17.7%)となっている。

## 2 住まいと暮らしについて

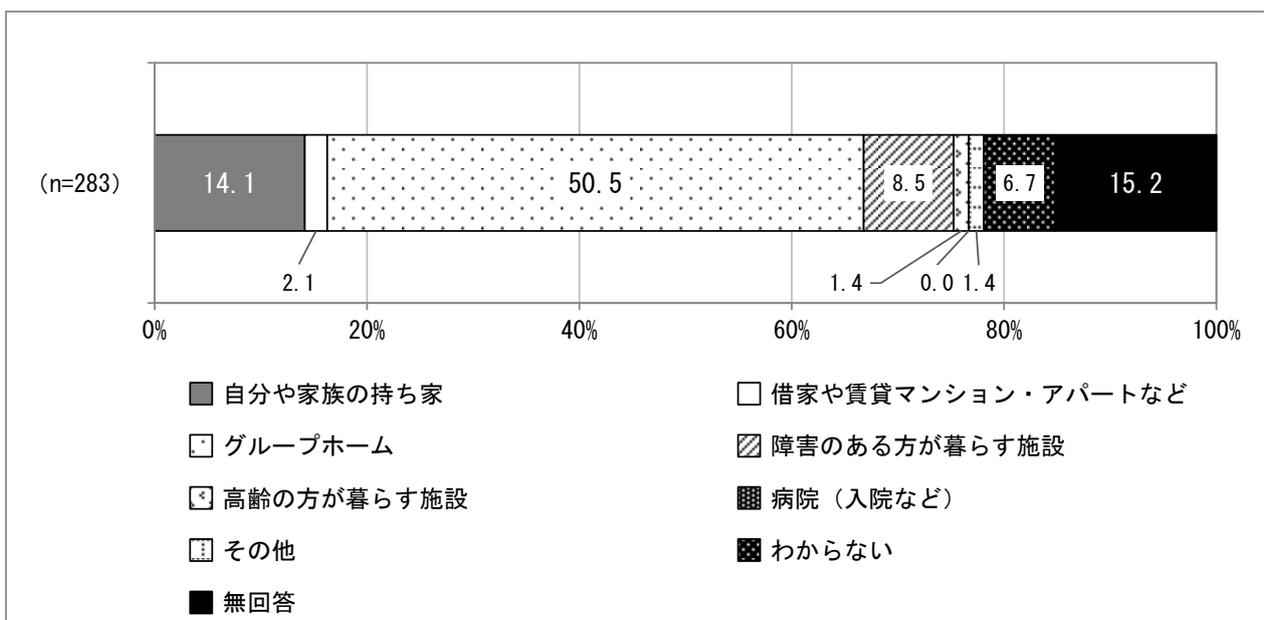
問9 お住まいについておたずねします。

(ア) 現在、ご本人はどこにお住まいですか。(SA)



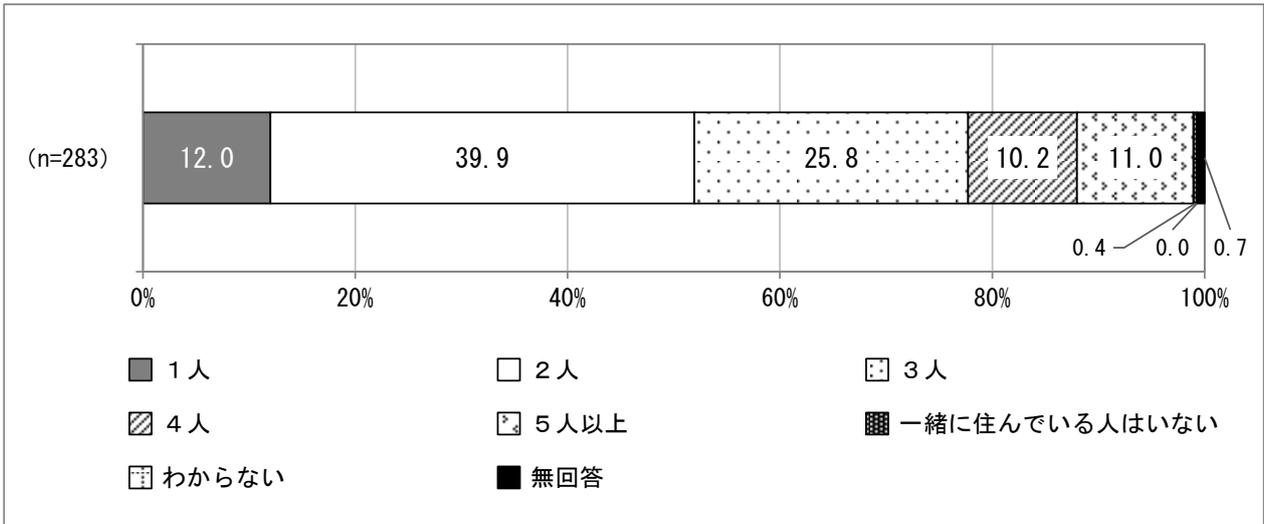
現在の住まいは、「自分や家族の持ち家」(77.0%)が最も高く、次いで「借家や賃貸マンション・アパートなど」(11.7%)、「グループホーム」(8.8%)となっている。

(イ) 将来は、どこで暮らしてほしいと思っていますか。(SA)



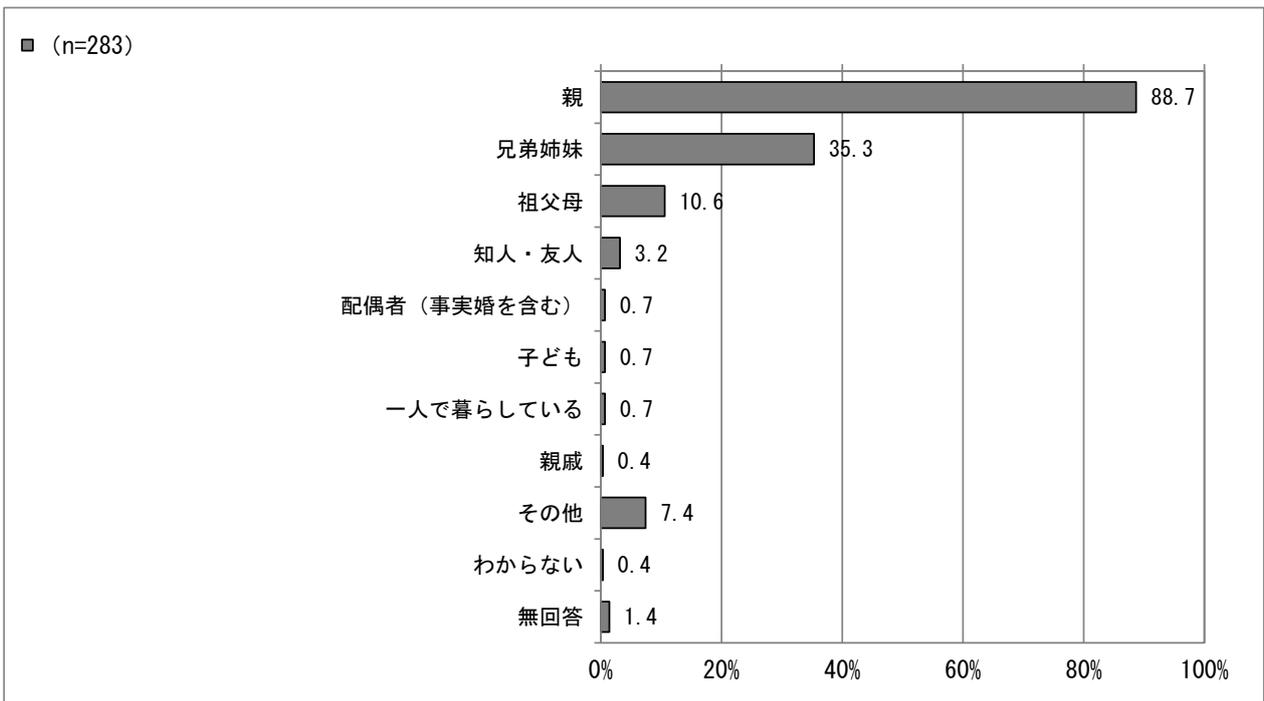
将来の希望する住まいは、「グループホーム」(50.5%)が最も高く、次いで「自分や家族の持ち家」(14.1%)、「障害のある方が暮らす施設」(8.5%)となっている。

問10 ご本人と一緒に住んでいる人は何人いますか。(本人除く)(SA)



同居人数は、「2人」(39.9%)が最も高く、次いで「3人」(25.8%)、「1人」(12.0%)となっている。

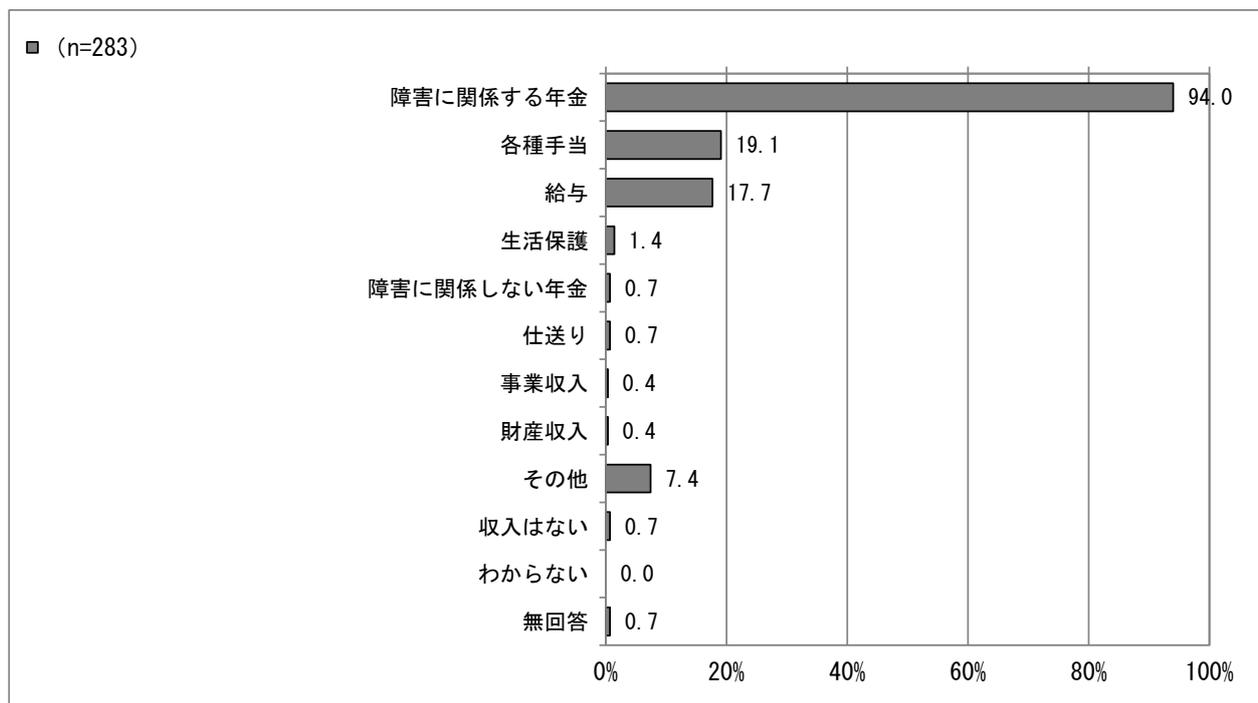
問11 ご本人と一緒に住んでいる人は誰ですか。(MA)



同居者は、「親」(88.7%)が最も高く、次いで「兄弟姉妹」(35.3%)、「祖父母」(10.6%)となっている。

### 3 所得の状況について

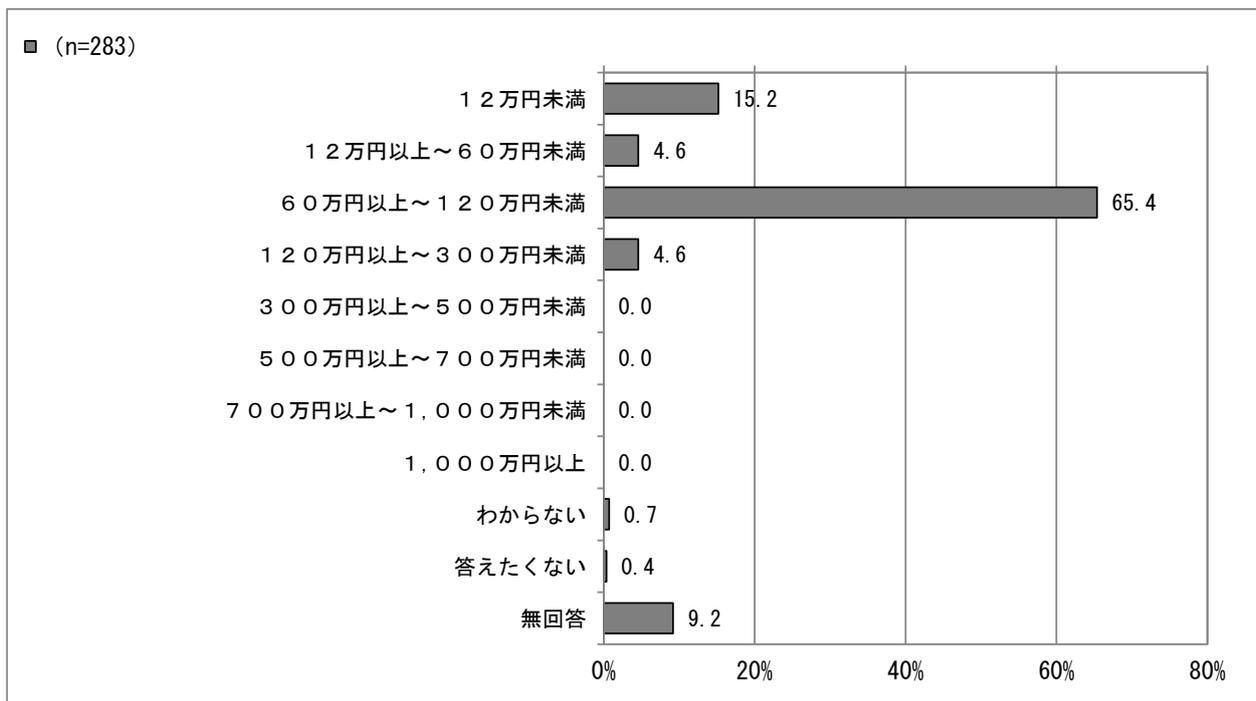
問 12 ご本人が得ている収入は次のうちどれですか。(MA)



本人の収入は、「障害に関する年金」(94.0%)が最も高く、次いで「各種手当」(19.1%)、「給与」(17.7%)となっている。

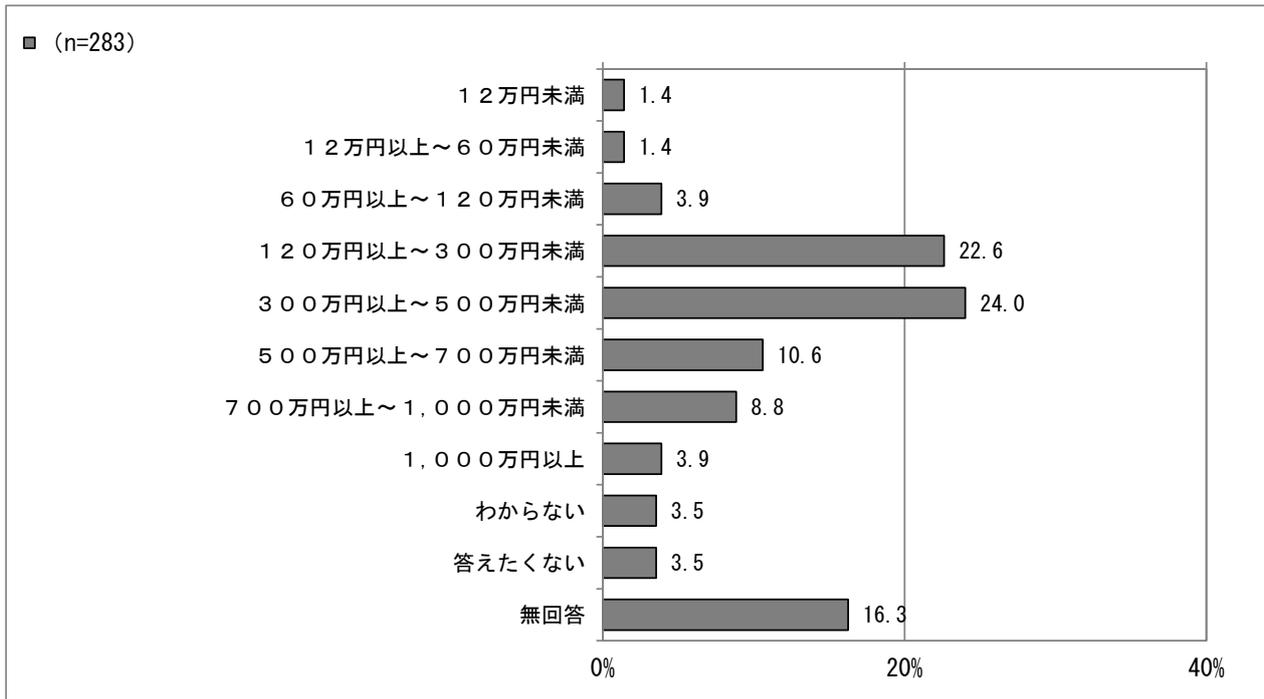
問13 所得についておたずねします。

(ア) ご本人の年収(税込)はだいたいどのくらいですか。(SA)



本人の年収は、「60万円以上～120万円未満」(65.4%)が最も高く、次いで「12万円未満」(15.2%)、「12万円以上～60万円未満」と「120万円以上～300万円未満」がともに4.6%となっている。

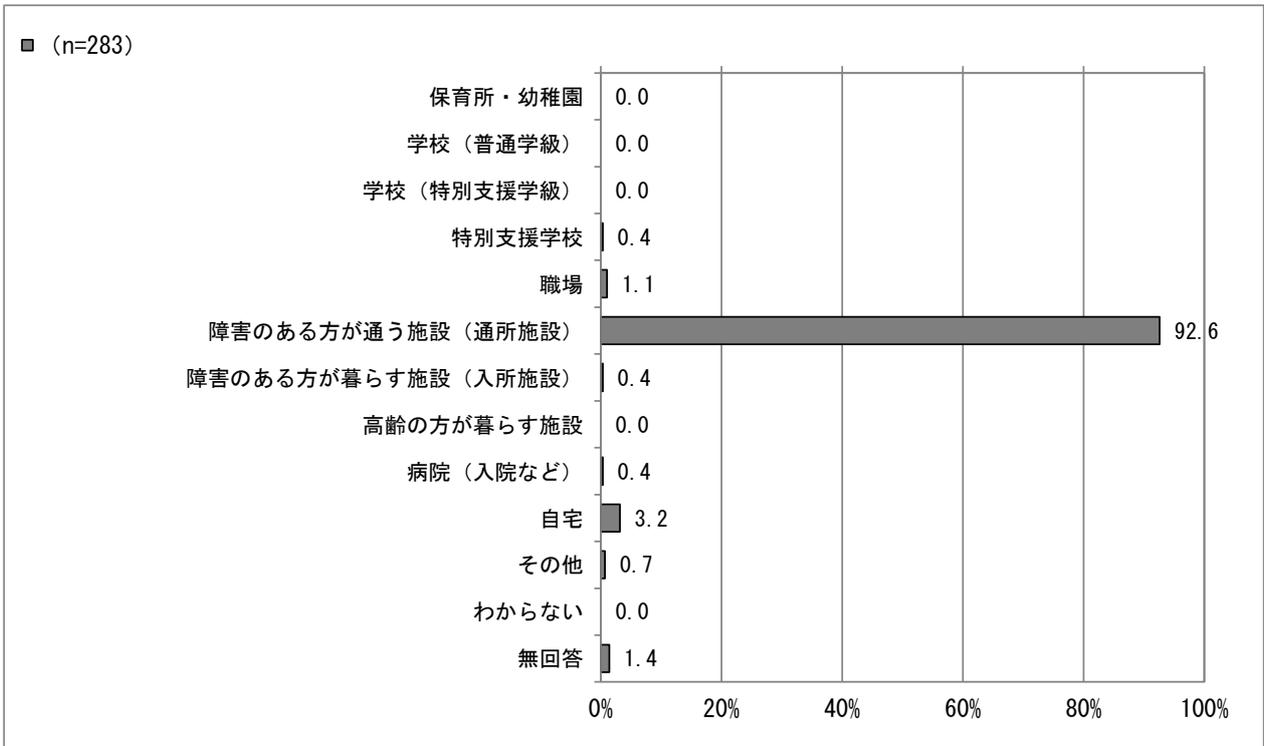
(イ) 一緒に暮らしている家族全体の年収(税込)はだいたいどのくらいですか。(本人の年収含む)(SA)



家族全体の年収は、「300万円以上～500万円未満」(24.0%)が最も高く、次いで「120万円以上～300万円未満」(22.6%)、「500万円以上～700万円未満」(10.6%)となっている。

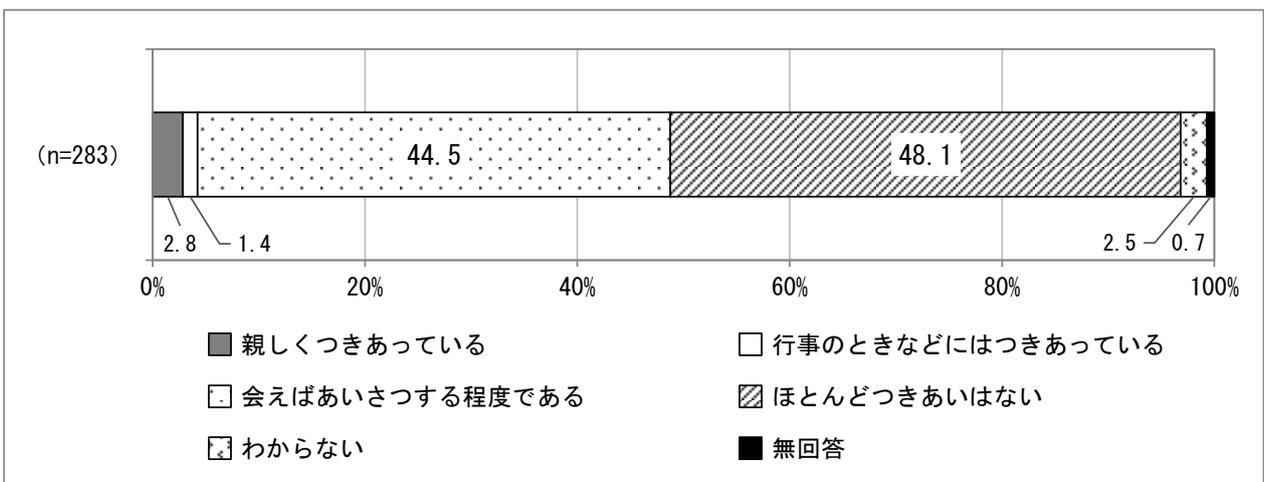
4 日常生活について

問 14 平日の日中の過ごし方についておたずねします。ご本人が主に過ごしている場所はどこですか。(SA)



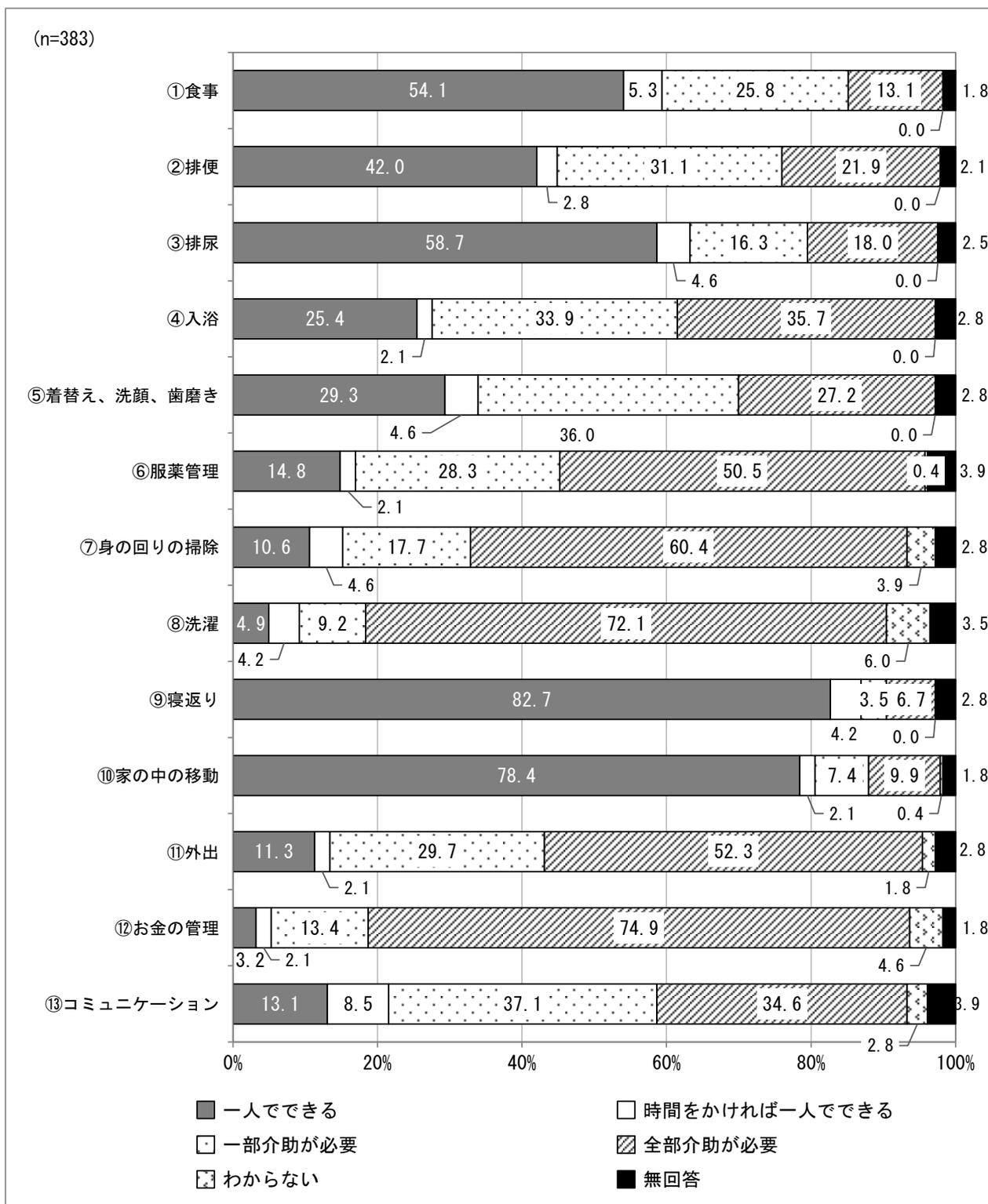
平日日中に主に過ごしている場所は、「障害のある方が通う施設 (通所施設)」(92.6%)が最も高く、90%以上を占めている。

問 15 ご本人は隣近所の人とどのようにつきあっていますか。(SA)



隣近所とのつきあいは、「ほとんどつきあいはない」(48.1%)が最も高く、次いで「会えばあいさつする程度である」(44.5%)となっている。

問 16 ご本人は、食事や排泄など日常生活における①～⑬の動作を、自分ひとりでできますか。(現在所持している補装具などを使用した状態で回答) (SA)

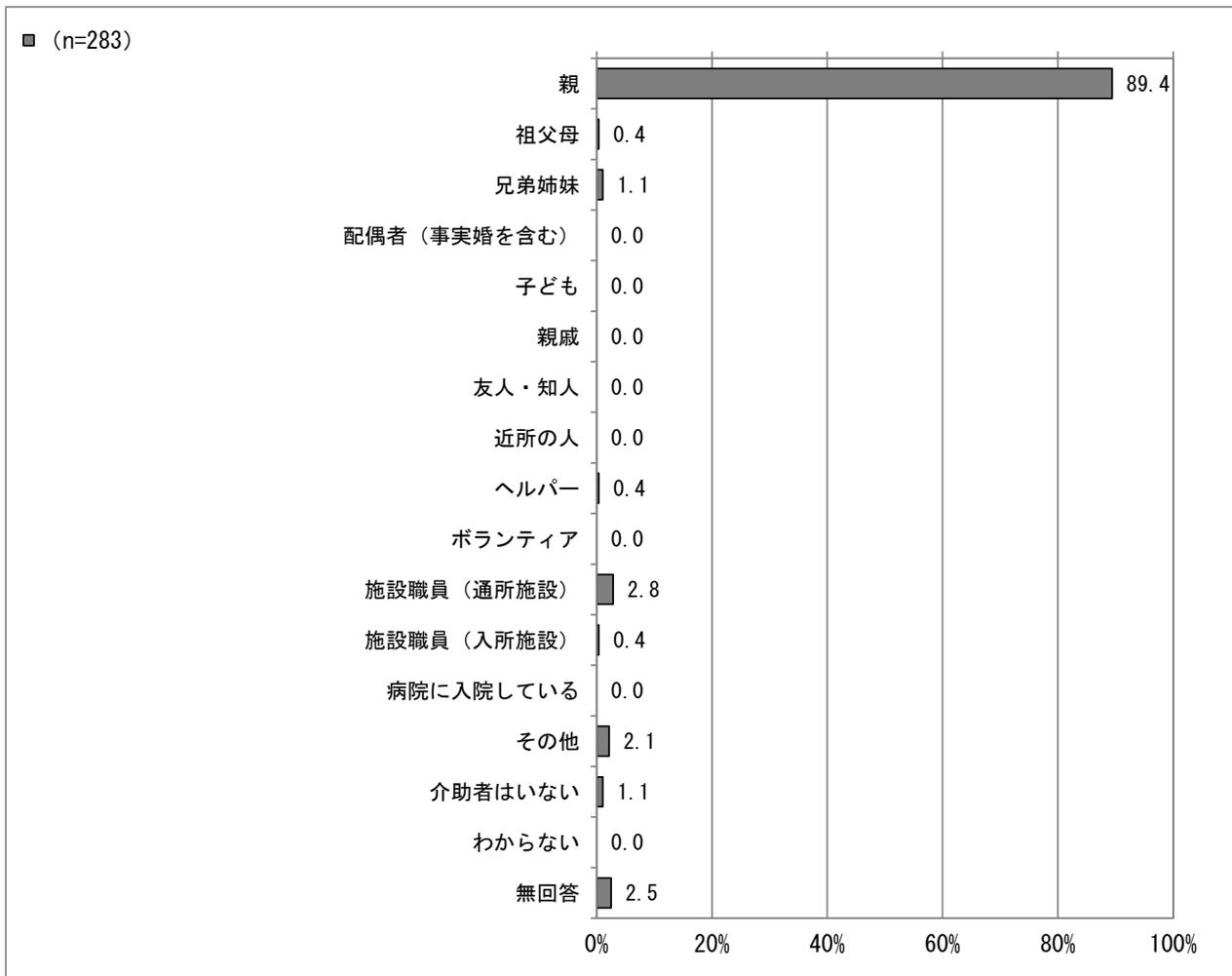


「一人できる」のは、「⑨寝返り」(82.7%)・「⑩家の中の移動」(78.4%)・「③排尿」(58.7%)・「①食事」(54.1%)で50%以上となっている。

また、「全部介助が必要」なのは、「⑫お金の管理」(74.9%)・「⑧洗濯」(72.1%)・「⑦身の回りの掃除」(60.4%)・「⑪外出」(52.3%)・「⑥服薬管理」(50.5%)で50%以上となっている。

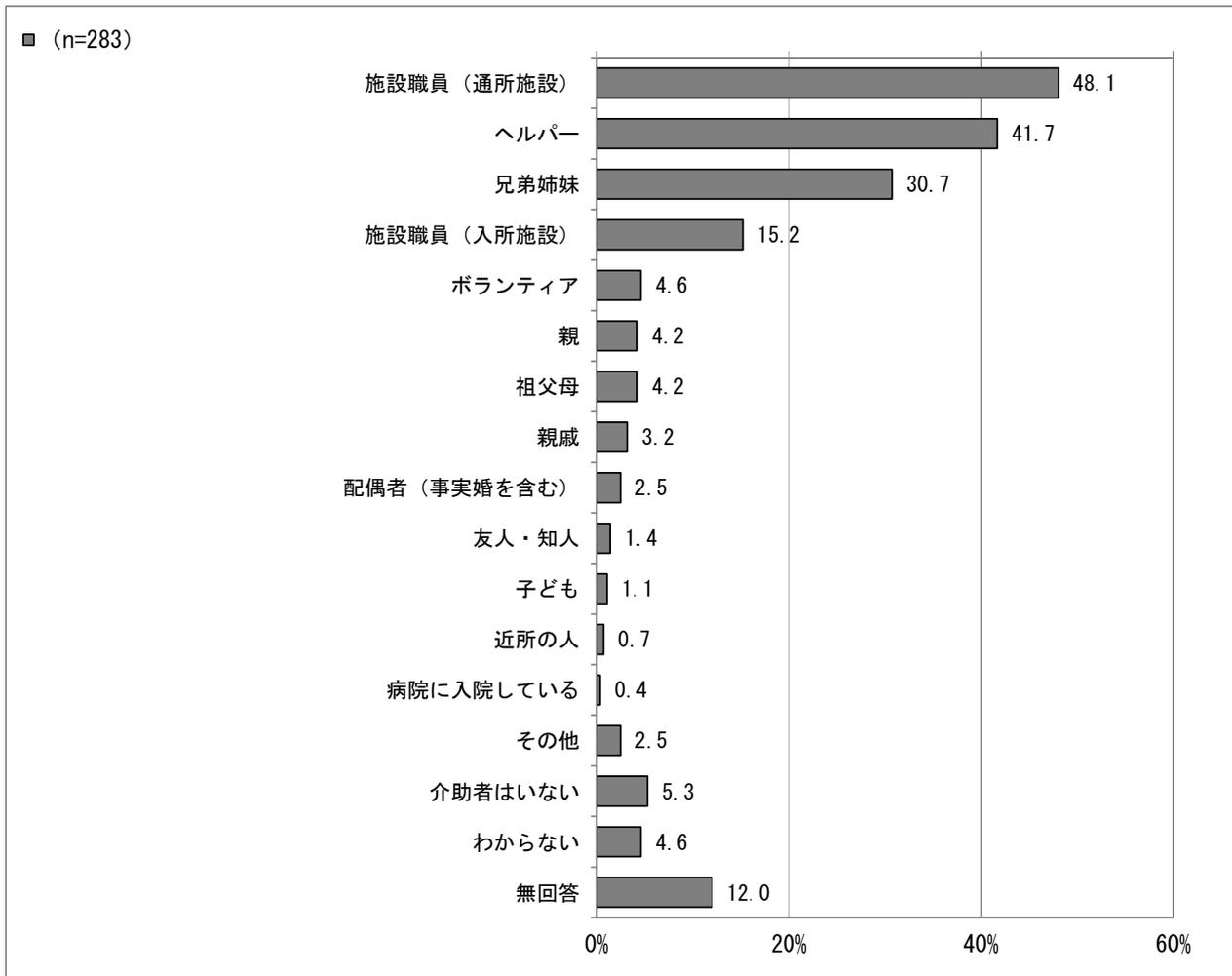
問17 介助者についておたずねします。

(ア) ご本人の主な介助者は誰ですか。(SA)



主な介助者は、「親」(89.4%)が約90%を占めている。

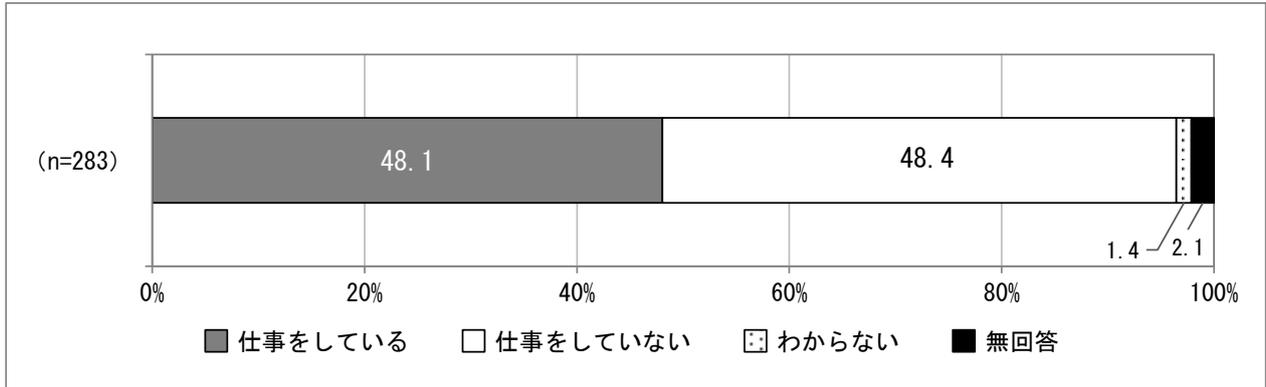
(イ) もし現在の介助者に頼むことができなくなったら、誰に頼みますか。(MA)



現在の介助者に頼むことができなくなった場合に頼む相手は、「施設職員（通所施設）」(48.1%) が最も高く、次いで「ヘルパー」(41.7%)、「兄弟姉妹」(30.7%) となっている。

## 5 就労の状況について

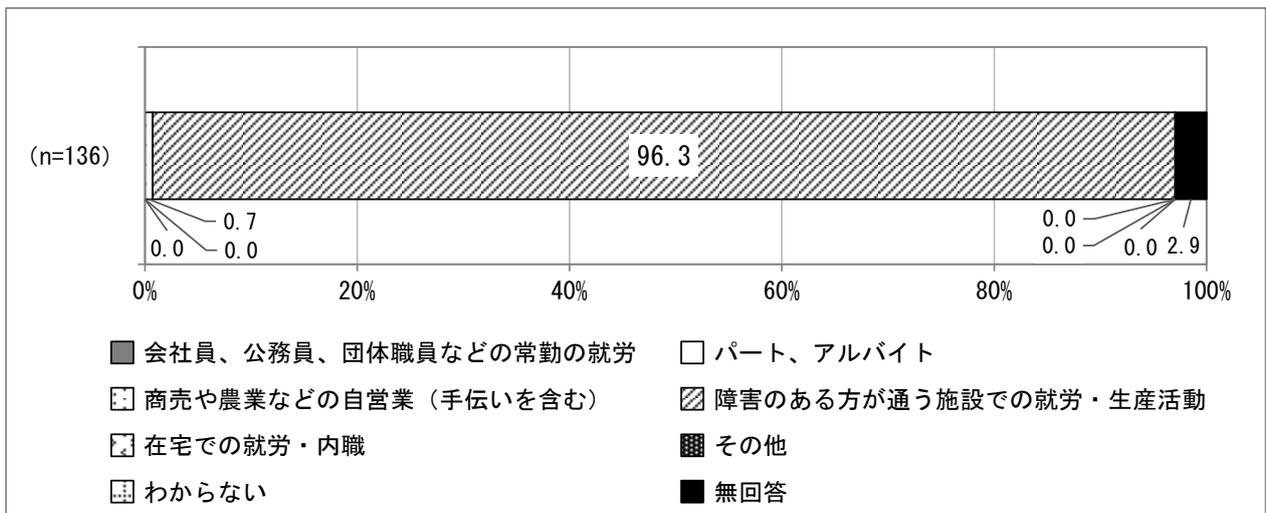
問 18 現在、ご本人は仕事をしていますか。(SA)



現在、本人の仕事は、「仕事をしている」(48.1%)、「仕事をしていない」(48.4%)となっている。

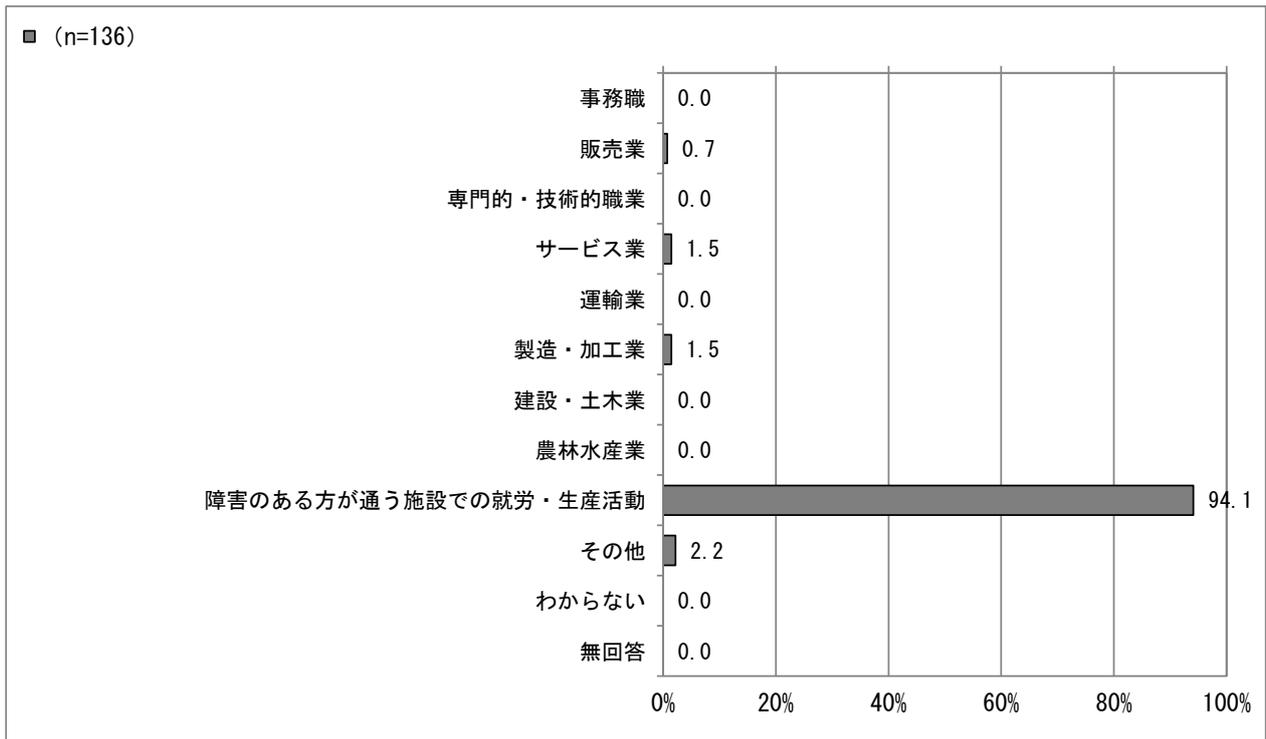
問 19 問 18 で「仕事をしている」を選んだ方におたずねします。

(1) ご本人は主にどのような仕事に就いていますか。(SA)



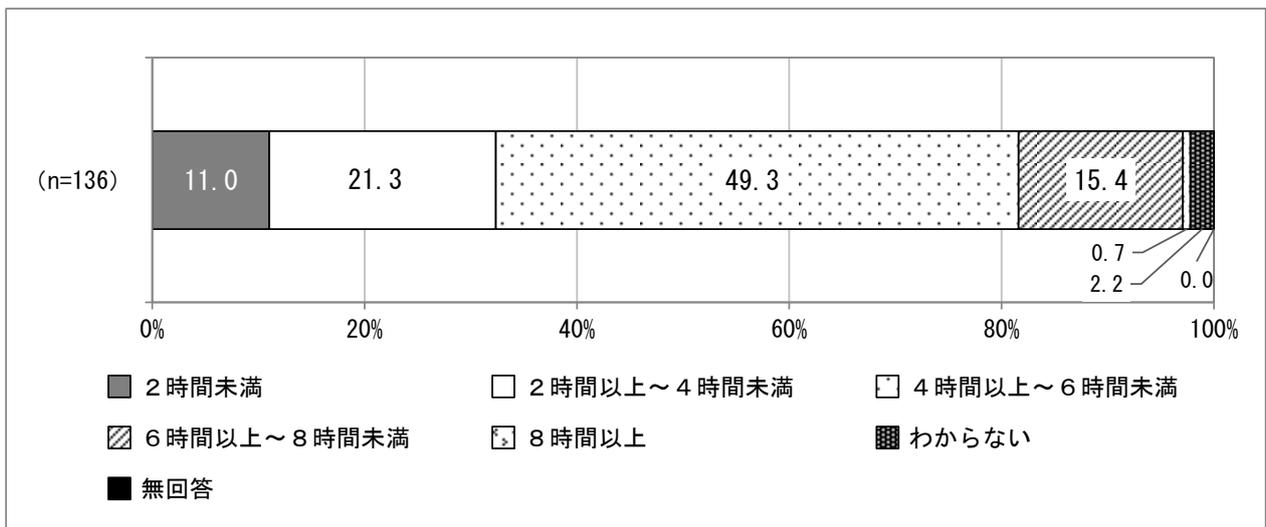
本人の仕事は、「障害のある方が通う施設での就労・生産活動」(96.3%)が95%以上を占めている。

(2) ご本人は主にどのような内容の仕事をしていますか。(SA)



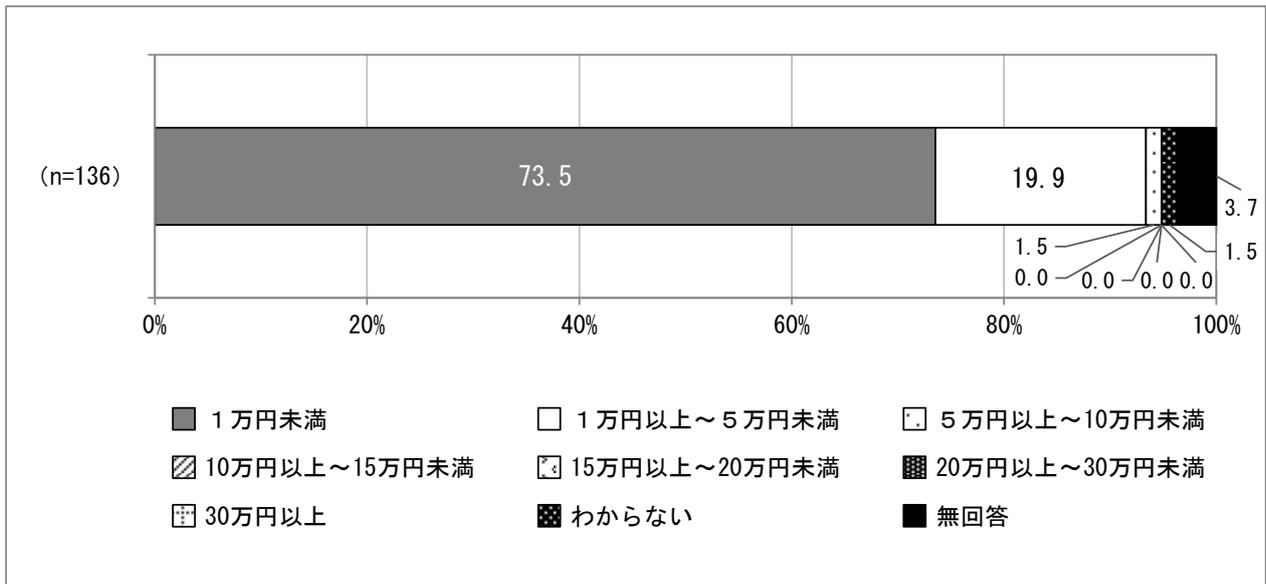
本人の仕事の内容は、「障害のある方が通う施設での就労・生産活動」(94.1%)が90%以上を占めている。

(3) ご本人の1日あたりの仕事の時間はどのくらいですか。(SA)



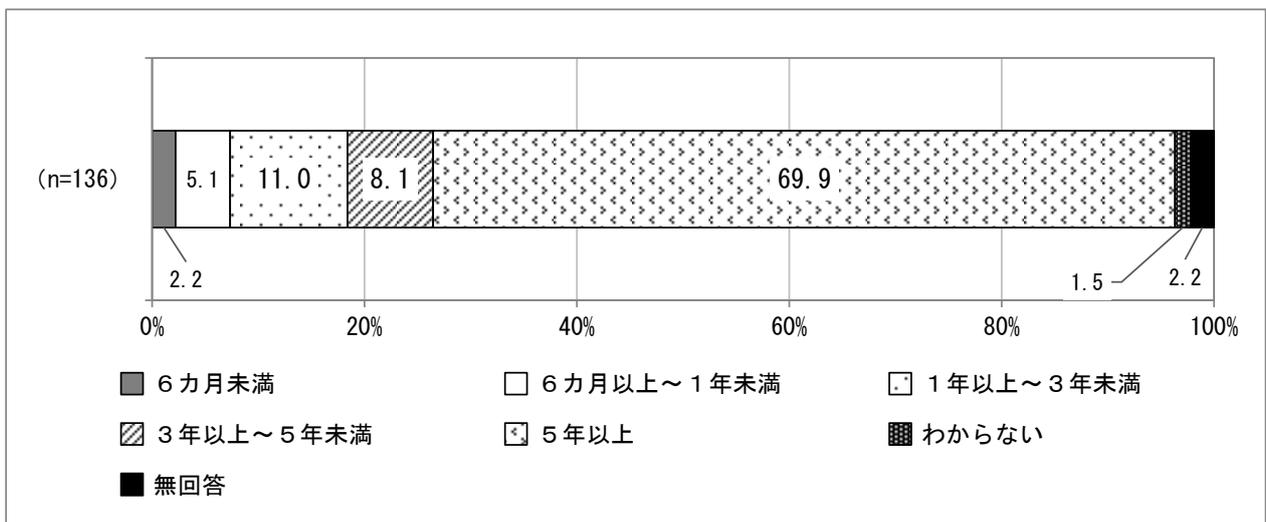
本人の1日あたりの仕事の時間は、「4時間以上～6時間未満」(49.3%)が最も高く、次いで「2時間以上～4時間未満」(21.3%)、「6時間以上～8時間未満」(15.4%)となっている。

(4) ご本人の仕事による収入は月額どのくらいですか。(SA)



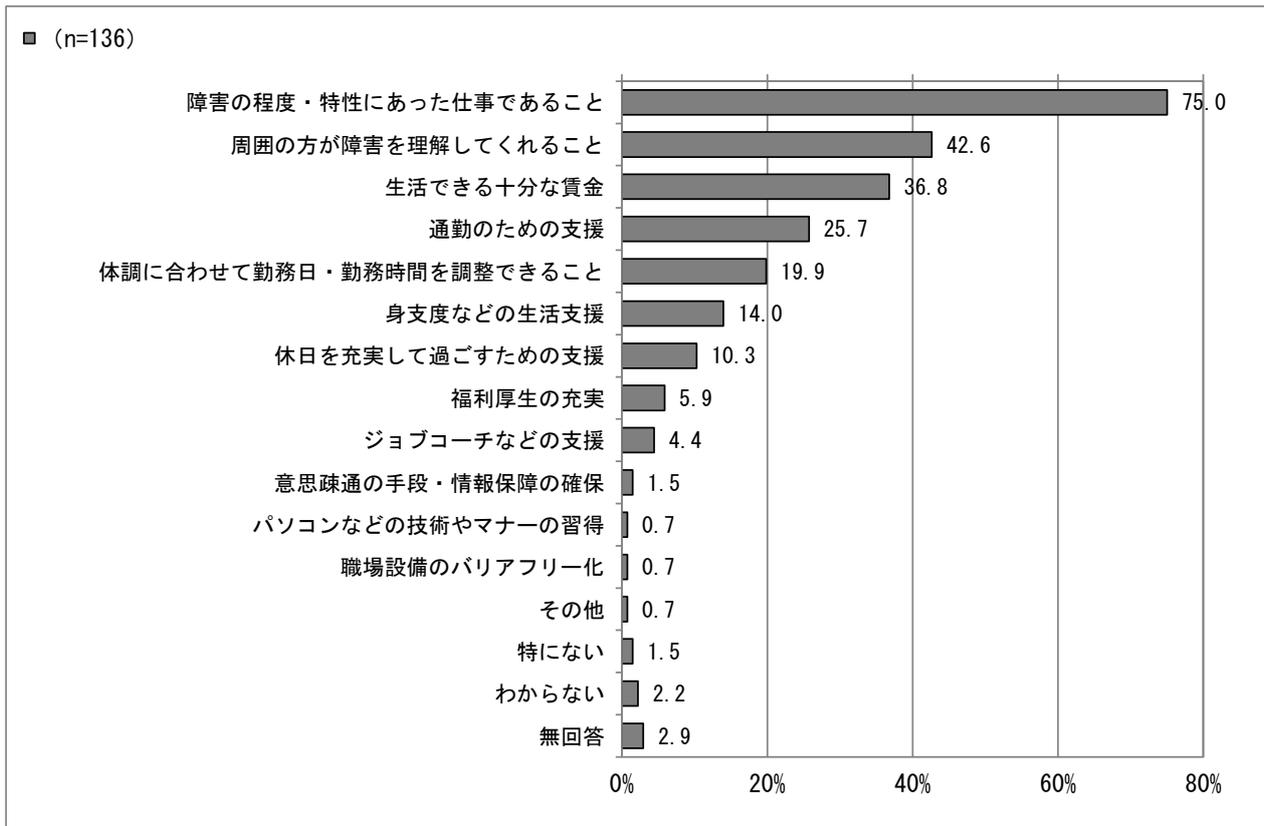
本人の仕事による月収は、「1万円未満」(73.5%)が最も高く、次いで「1万円以上～5万円未満」(19.9%)となっている。

(5) ご本人は現在の仕事をどのくらいの期間続けていますか。(SA)



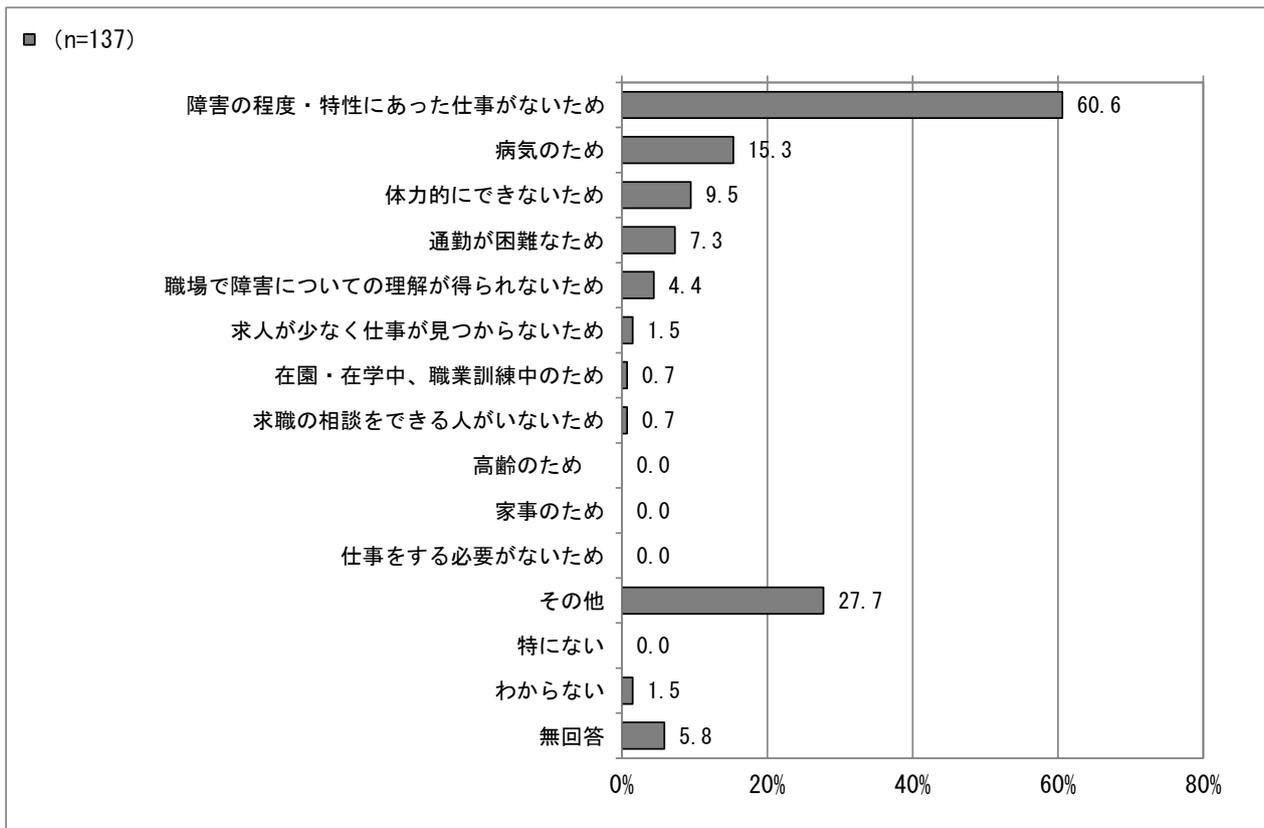
仕事を続けている期間は、「5年以上」(69.9%)が最も高く、次いで「1年以上～3年未満」(11.0%)、「3年以上～5年未満」(8.1%)となっている。

(6) ご本人が仕事を続けるためには何が必要ですか。(MA)



仕事を続けるために必要なのは、「障害の程度・特性にあった仕事であること」(75.0%)が最も高く、次いで「周囲の方が障害を理解してくれること」(42.6%)、「生活できる十分な賃金」(36.8%)となっている。

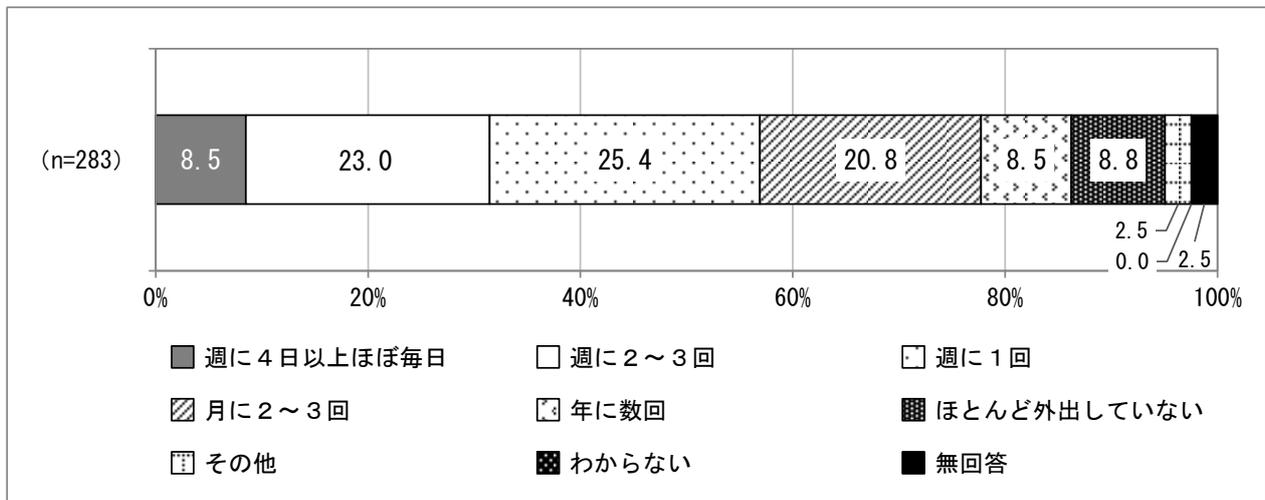
問20 問18で「仕事をしていない」を選んだ方におたずねします。現在、ご本人が仕事をしていない理由は何ですか（MA）



現在仕事をしていない理由は、「障害の程度・特性にあった仕事がないため」(60.6%)が最も高く、次いで「その他」(27.7%)、「病気のため」(15.3%)となっている。

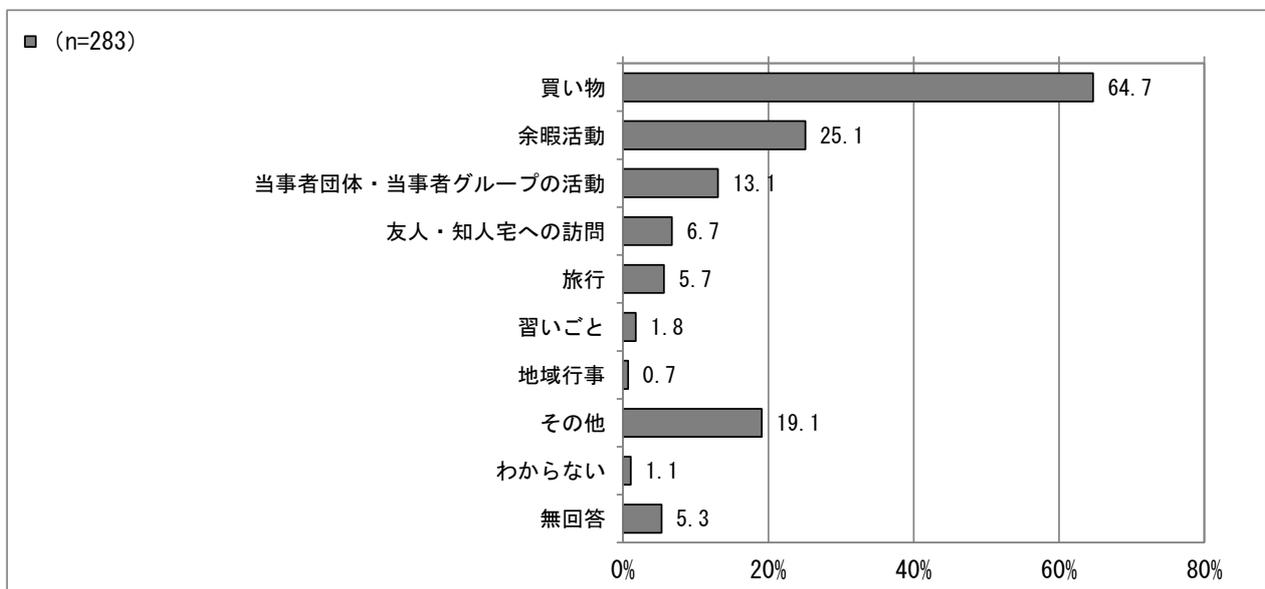
## 6 社会参加について

問 21 ご本人はどのくらいの頻度で外出していますか。(通勤、通学、通園、通院、通所での外出は除く) (SA)



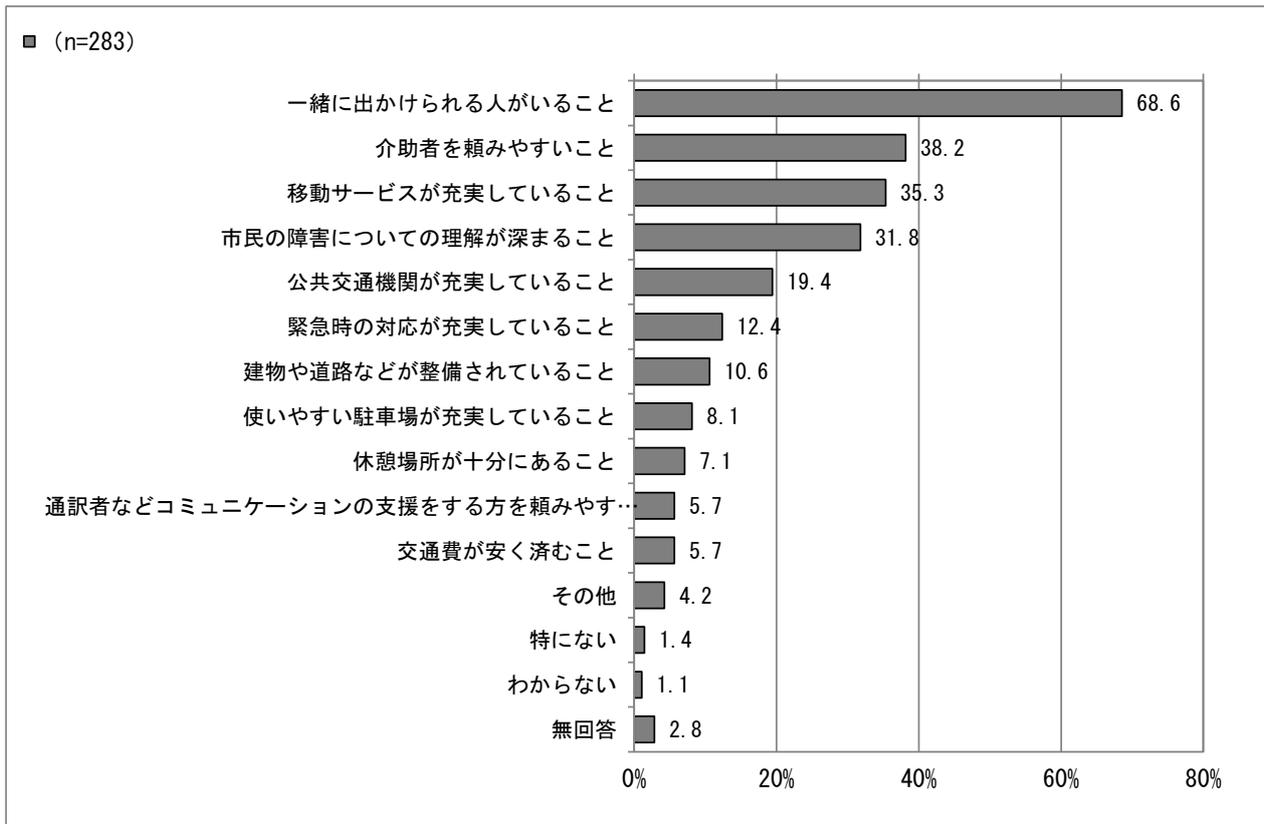
外出の頻度は、「週に1回」(25.4%)が最も高く、次いで「週に2~3回」(23.0%)、「月に2~3回」(20.8%)となっている。

問 22 ご本人の主な外出の目的は何ですか。(通勤、通学、通園、通院、通所での外出は除く) (MA)



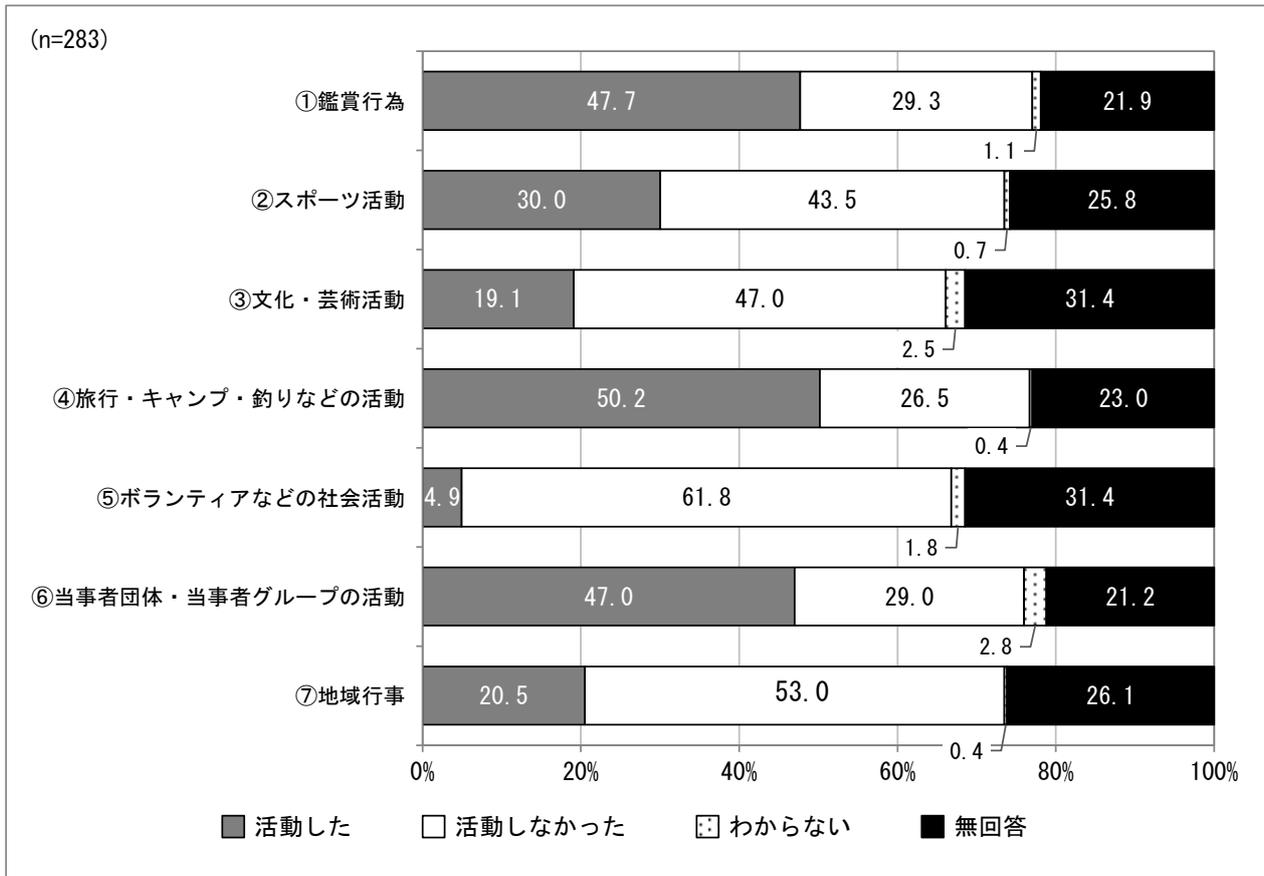
外出の主な目的は、「買い物」(64.7%)が最も高く、次いで「余暇活動」(25.1%)、「その他」(19.1%)となっている。

## 問 23 ご本人がより外出しやすくなるためには何が必要ですか。(MA)



本人がより外出しやすくなるためには、「一緒に出かけられる人がいること」(68.6%)が最も高く、次いで「介助者を頼みやすいこと」(38.2%)、「移動サービスが充実していること」(35.3%)となっている。

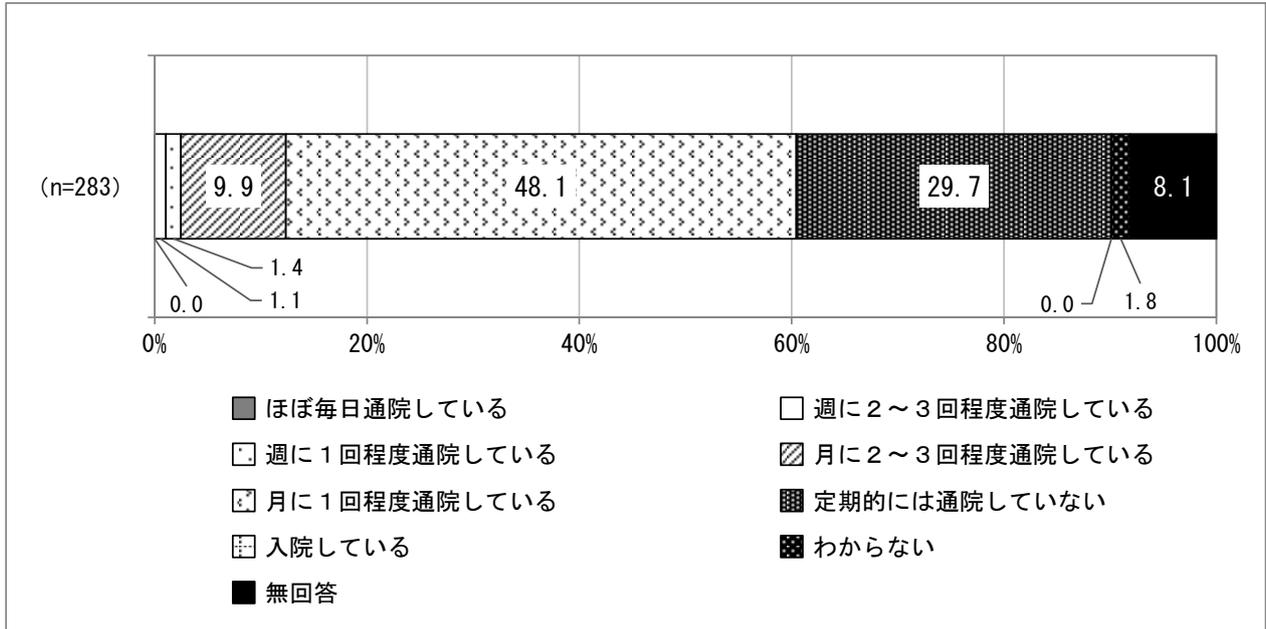
問 24 ご本人は過去一年間に、どのような余暇活動、スポーツ、趣味、学習や社会活動などをしましたか。(SA)



過去一年間に「活動した」割合は、「④旅行・キャンプ・釣りなどの活動」(50.2%)が最も高く、次いで「①鑑賞行為」(47.7%)、「⑥当事者団体・当事者グループの活動」(47.0%)となっている。

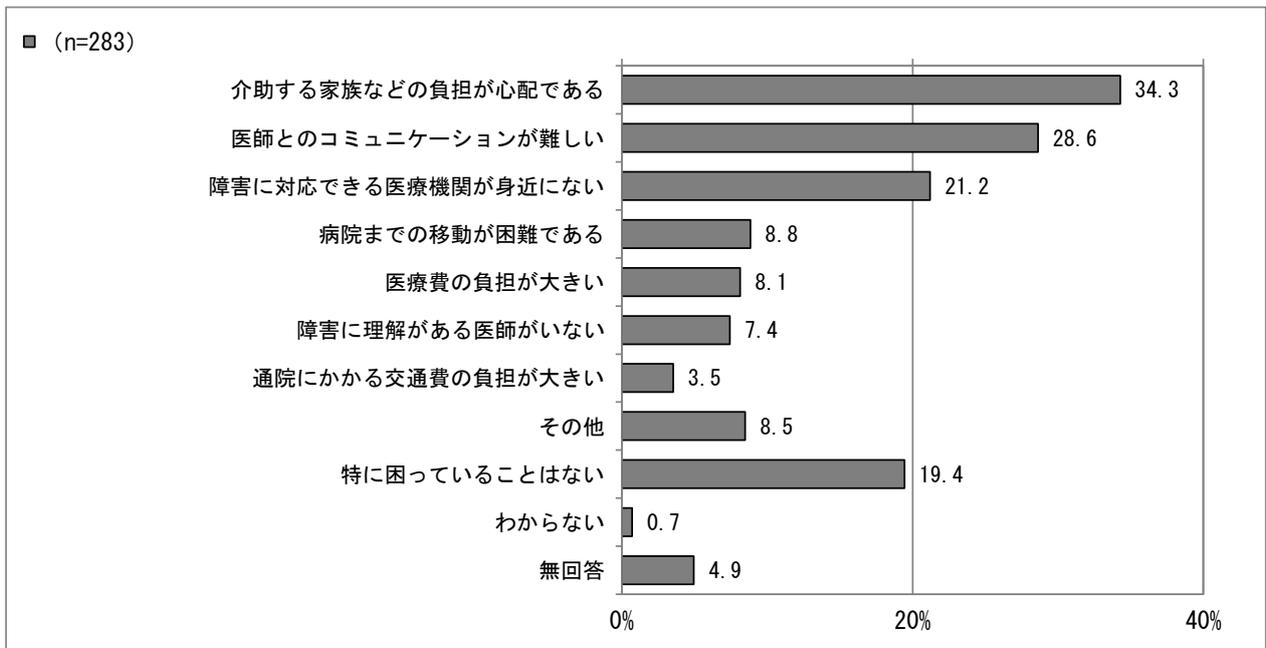
7 健康や医療について

問 25 ご本人は普段、定期的に通院していますか。(SA)



定期的な通院は、「月に1回程度通院している」(48.1%)が最も高く、次いで「定期的には通院していない」(29.7%)、「月に2~3回程度通院している」(9.9%)となっている。

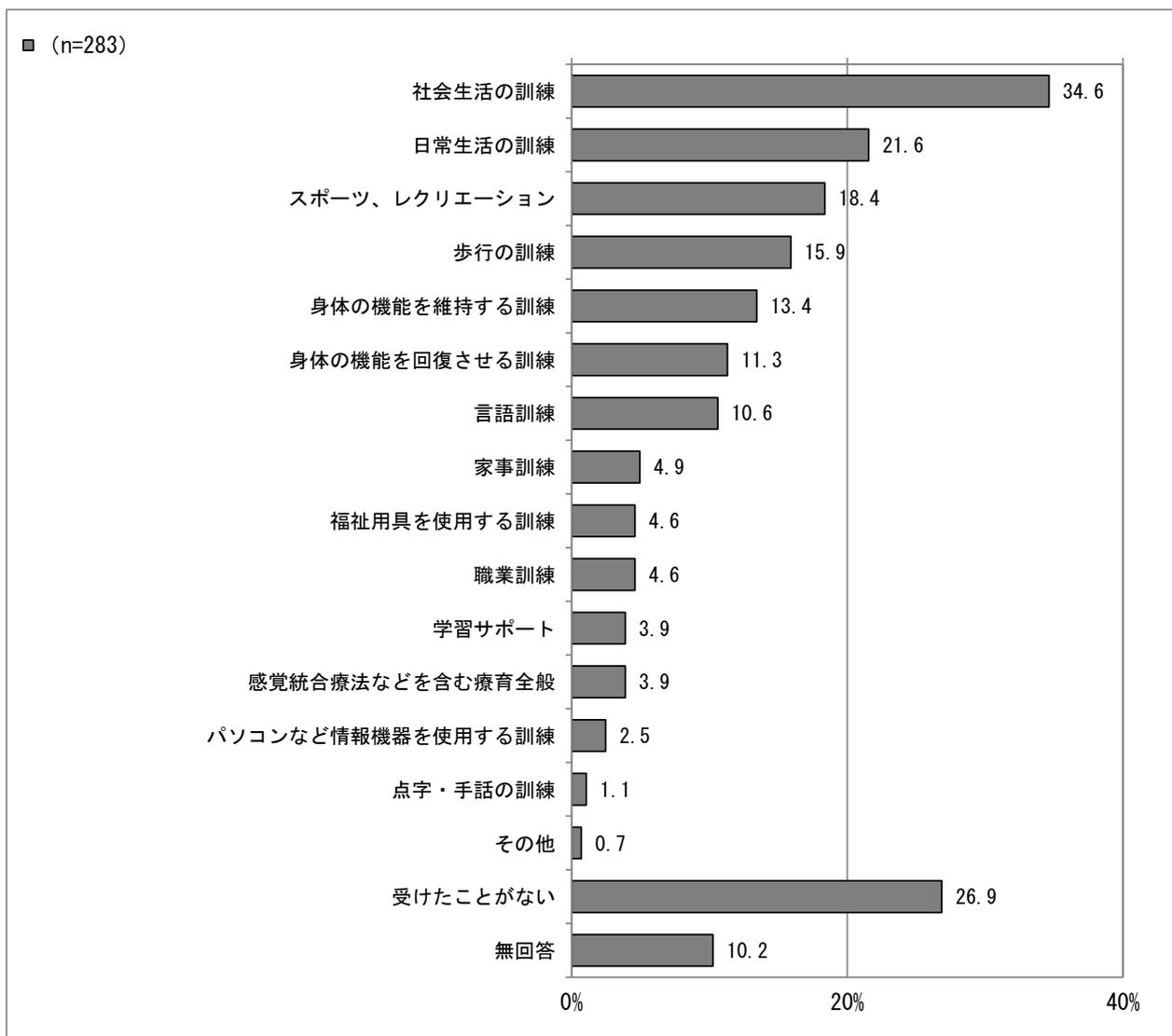
問 26 ご本人が医療機関を利用する際に困っていることは何ですか。(MA)



医療機関を利用する際に困っていることは、「介助する家族などの負担が心配である」(34.3%)が最も高く、次いで「医師とのコミュニケーションが難しい」(28.6%)、「障害に対応できる医療機関が身近にない」(21.2%)となっている。

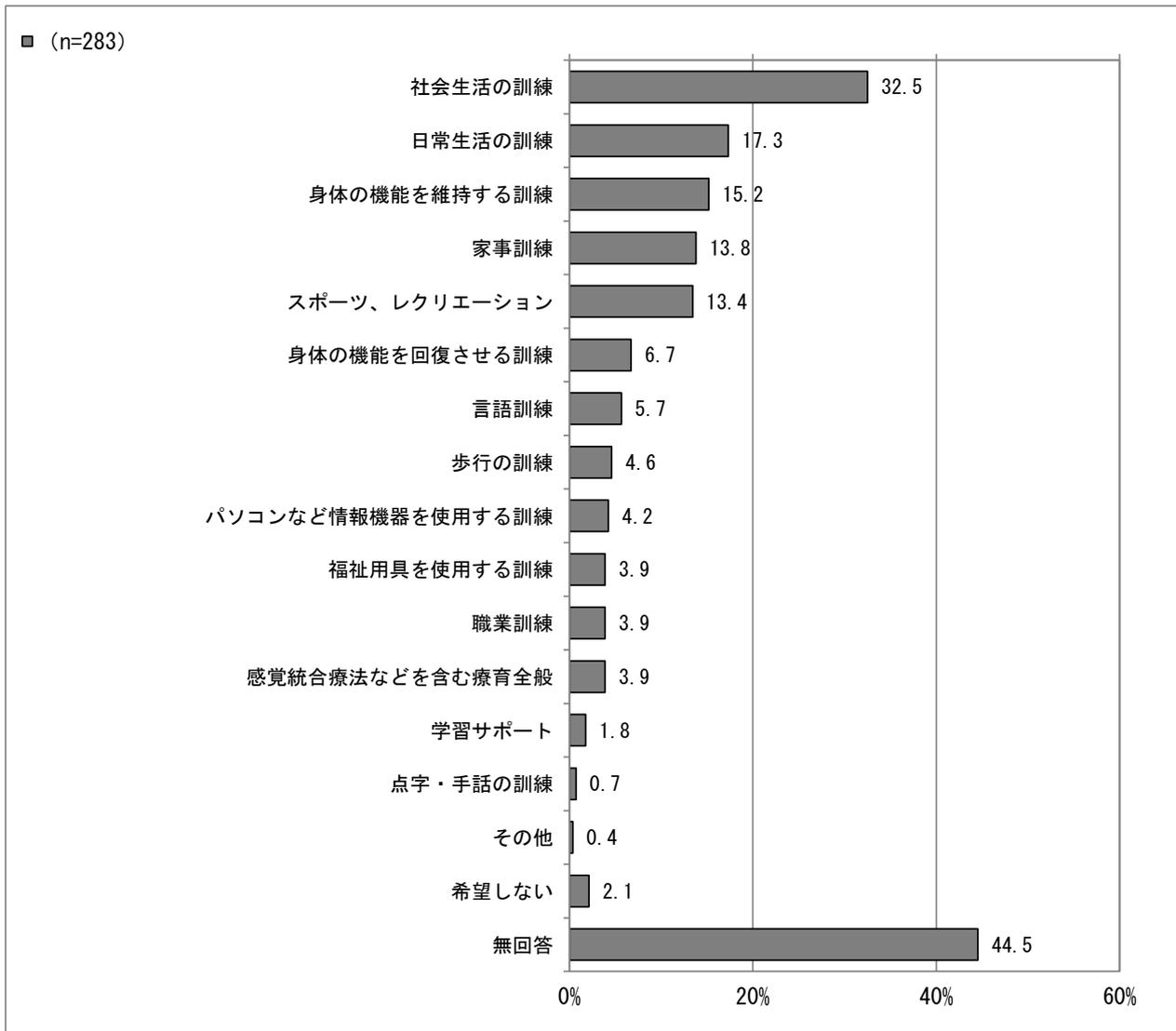
問 27 訓練などについておたずねします。

(ア) ご本人は、どのような訓練・リハビリテーション・療育を受けたことがありますか。  
(MA)



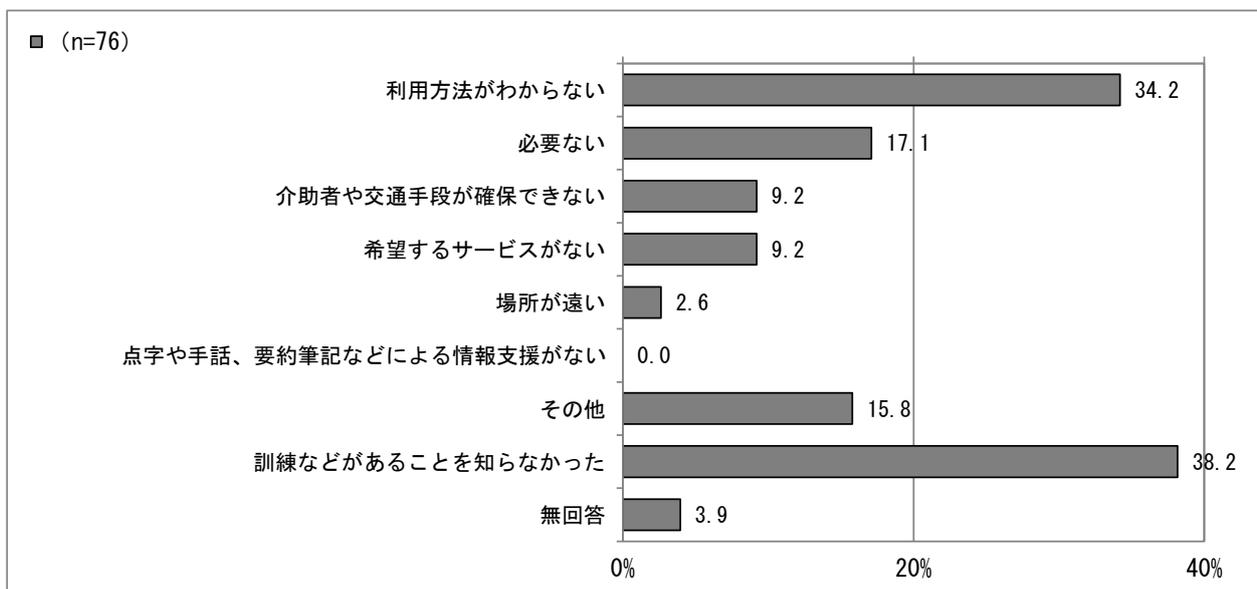
受けたことのある訓練・リハビリテーション・療育は、「社会生活の訓練」(34.6%)が最も高く、次いで「受けたことがない」(26.9%)、「日常生活の訓練」(21.6%)となっている。

## (イ) 今後どのような訓練・リハビリテーション・療育を受けてほしいと思いますか。(MA)



今後受けてほしいと思う訓練・リハビリテーション・療育は、「社会生活の訓練」(32.5%)が最も高く、次いで「日常生活の訓練」(17.3%)、「身体の機能を維持する訓練」(15.2%)となっている。

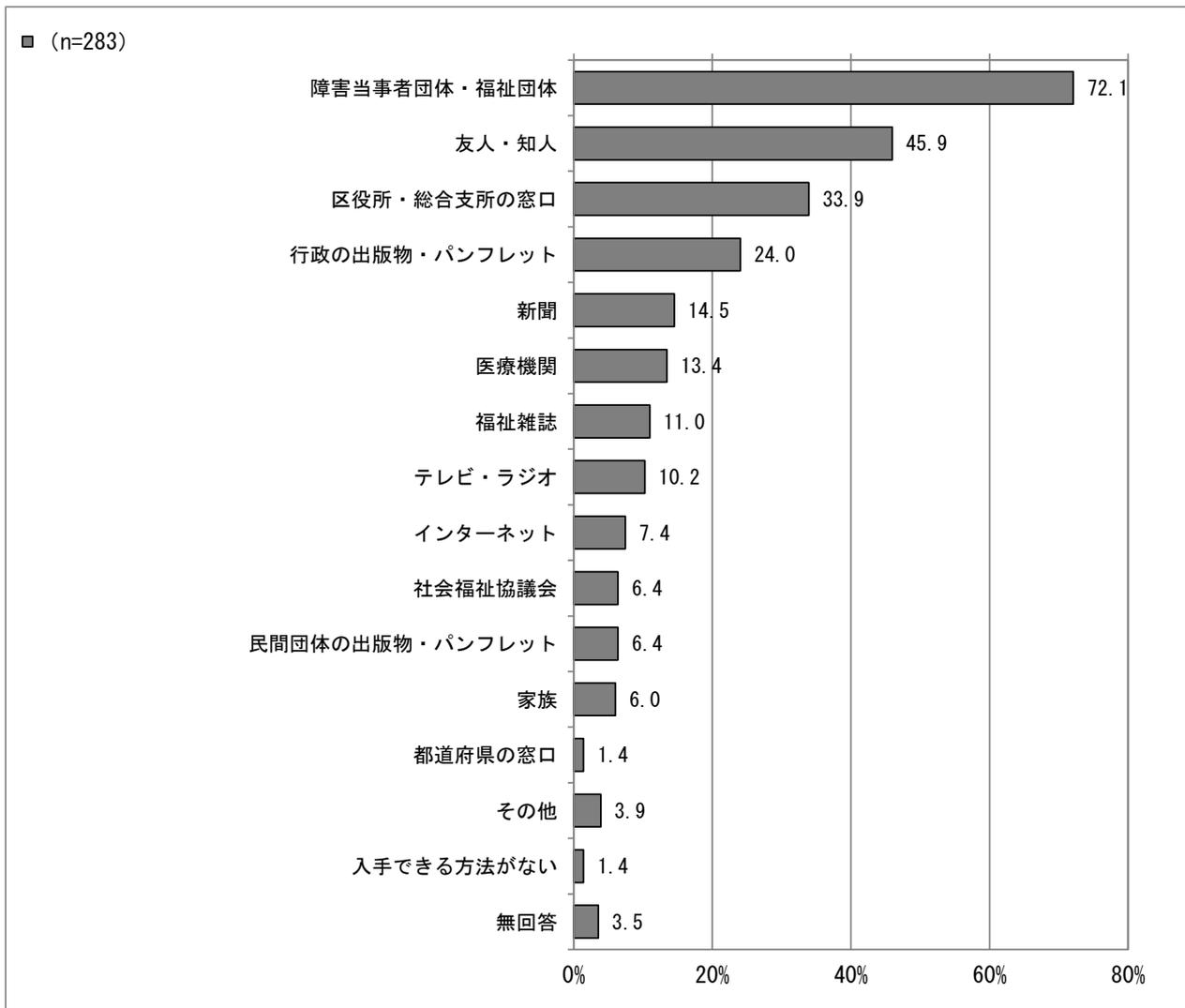
問 28 問 27 で「受けたことがない」を選んだ方におたずねします。受けたことがない理由は何ですか。(MA)



受けたことがない理由は、「訓練などがあることを知らなかった」(38.2%)が最も高く、次いで「利用方法がわからない」(34.2%)、「必要ない」(17.1%)となっている。

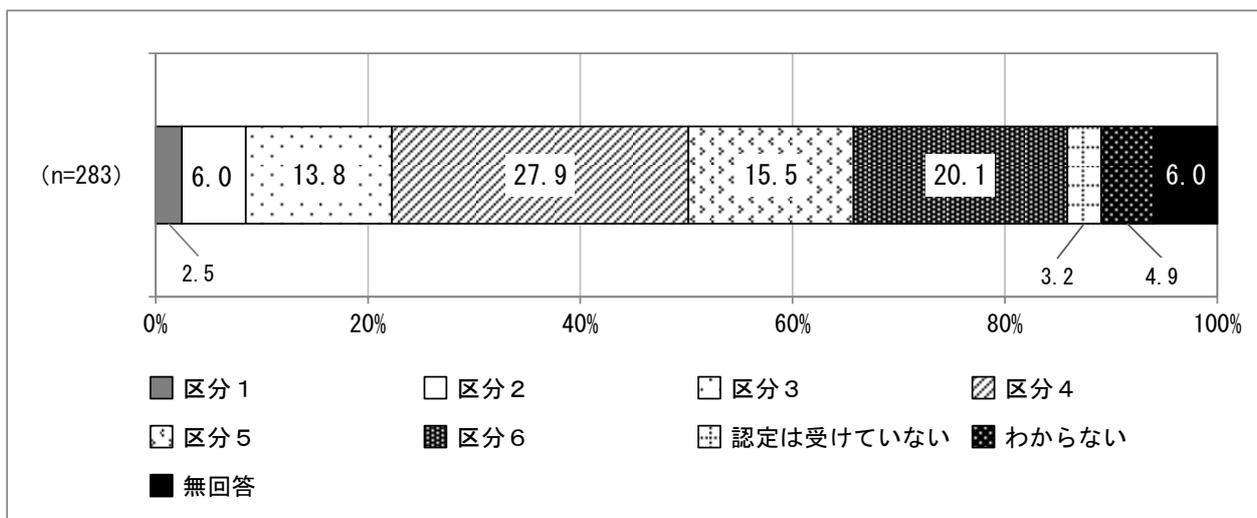
## 8 福祉サービスについて

問 29 あなた（このアンケートを記入している方）はどのようなところから福祉サービスの情報を得ていますか。（MA）



福祉サービス情報の入手先は、「障害当事者団体・福祉団体」（72.1%）が最も高く、次いで「友人・知人」（45.9%）、「区役所・総合支所の窓口」（33.9%）となっている。

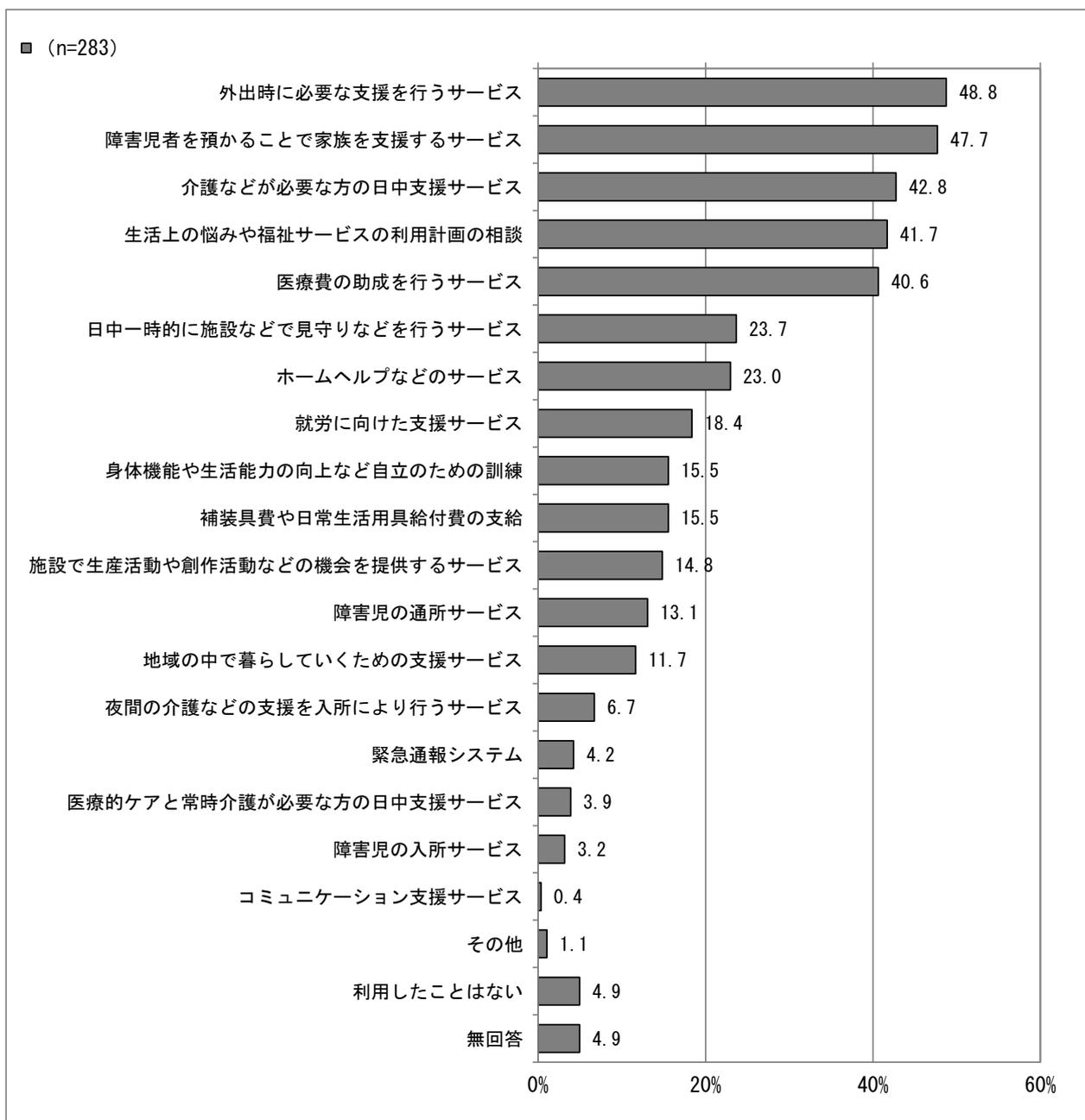
問 30 ご本人は「障害のある方の福祉サービス」を利用するための、障害支援区分認定を受けていますか。(SA)



障害支援区分認定は、「区分4」(27.9%)が最も高く、次いで「区分6」(20.1%)、「区分5」(15.5%)となっている。

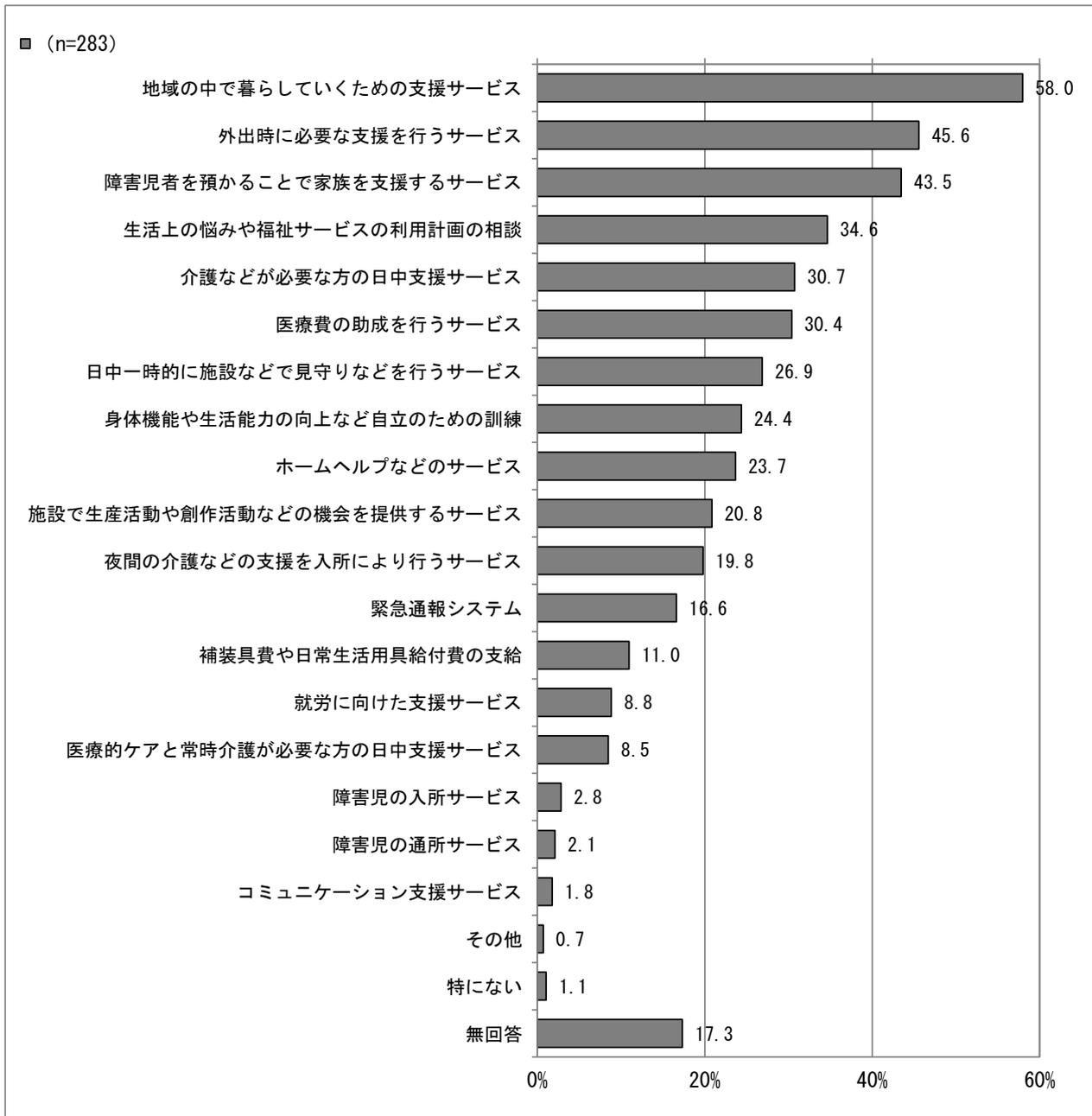
問31 「障害のある方の福祉サービス」についておたずねします。

(ア) ご本人はこれまでにどのようなサービスを利用したことがありますか。(MA)



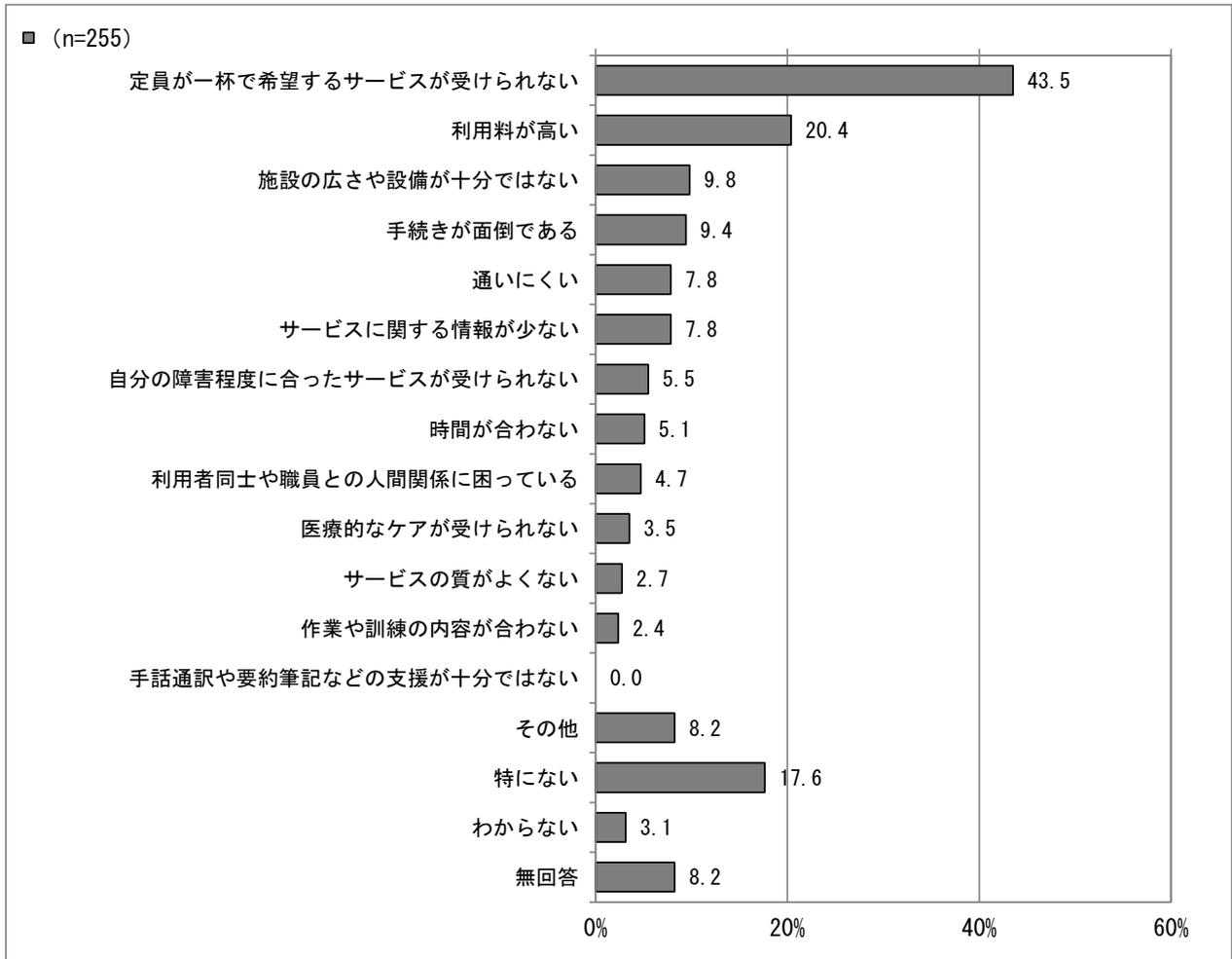
これまでに利用したことがあるサービスは、「外出時に必要な支援を行うサービス」(48.8%)が最も高く、次いで「障害児者を預かることで家族を支援するサービス」(47.7%)、「介護などが必要な方の日中支援サービス」(42.8%)となっている。

(イ) 今後、ご本人に利用してほしいと思うサービスは何ですか。(MA)



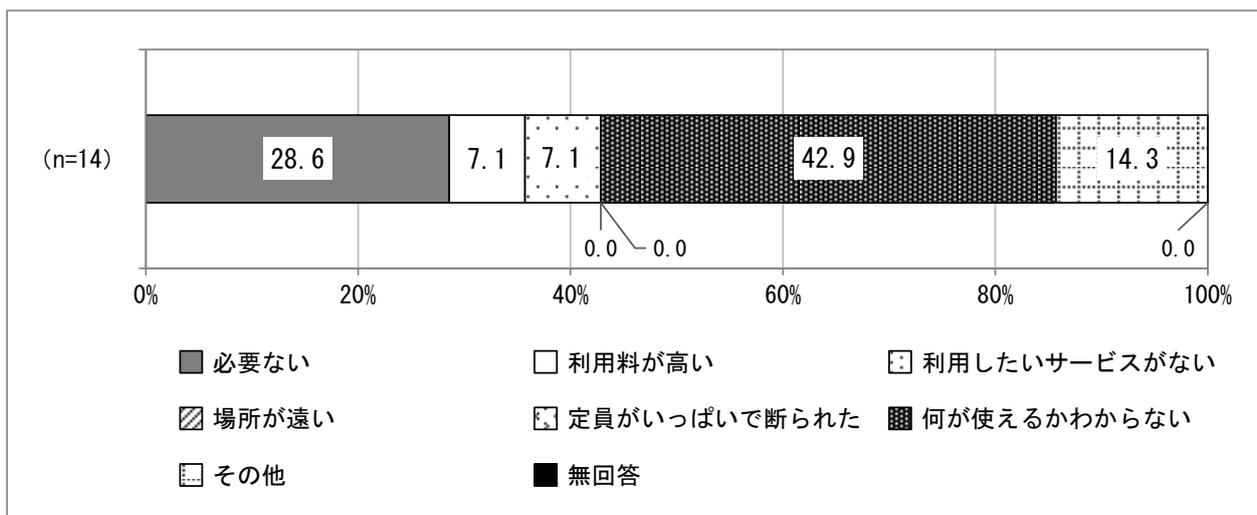
今後利用してほしいと思うサービスは、「地域の中で暮らしていくための支援サービス」(58.0%)が最も高く、次いで「外出時に必要な支援を行うサービス」(45.6%)、「障害児者を預かることで家族を支援するサービス」(43.5%)となっている。

問32 問31で「利用したことはない」と「特にない」以外のどれかひとつでも選んだ方におたずねします。ご本人が「障害のある方の福祉サービス」を利用するにあたって困っていることは何ですか。(MA)



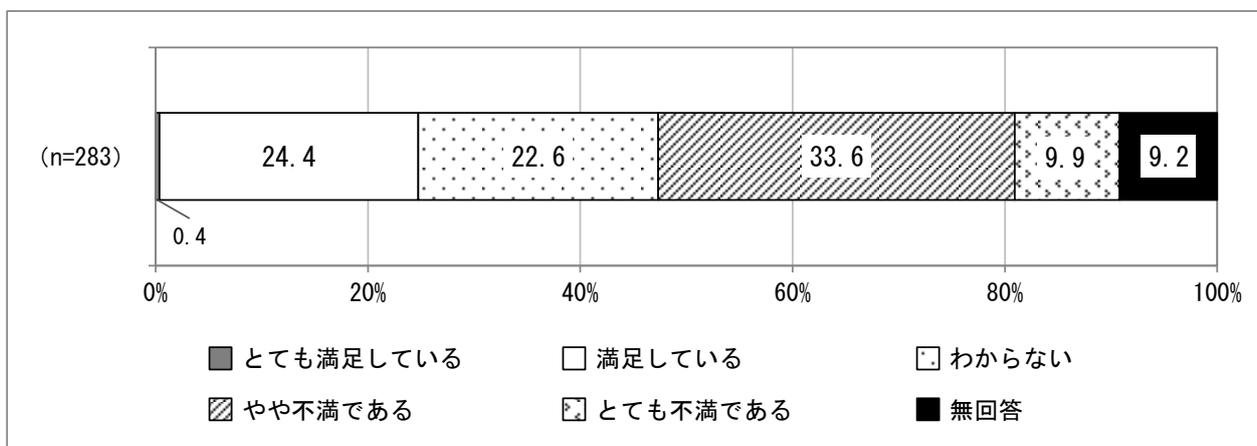
「障害のある方の福祉サービス」を利用するにあたって困っていることは、「定員が一杯で希望するサービスが受けられない」(43.5%)が最も高く、次いで「利用料が高い」(20.4%)、「特にない」(17.6%)となっている。

問 33 問 31 で「利用したことはない」を選んだ方におたずねします。利用したことがない理由は何ですか。(SA)



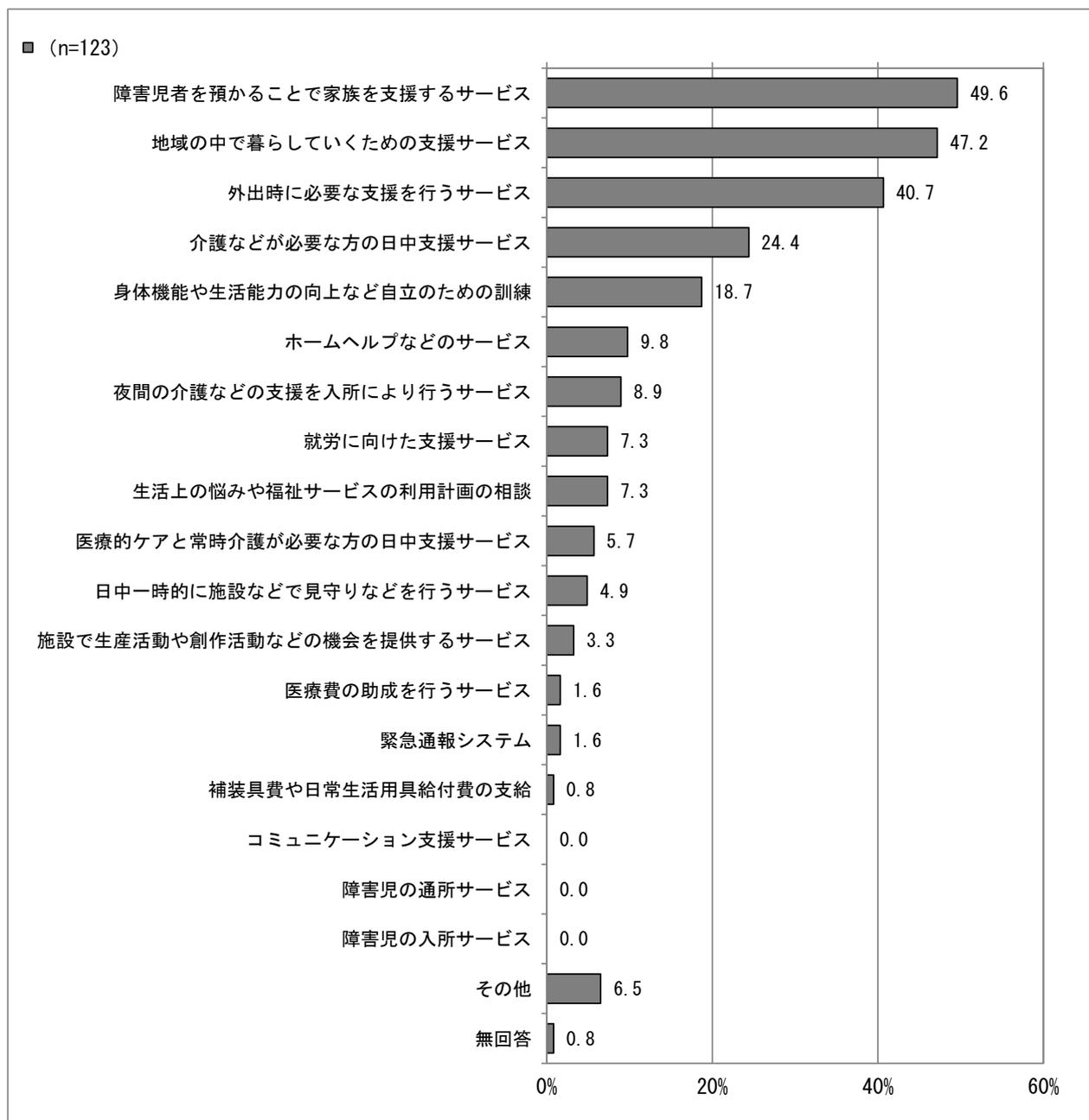
利用したことがない理由は、「何が使えるかわからない」(42.9%)が最も高く、次いで「必要ない」(28.6%)、「その他」(14.3%)となっている。

問 34 現在、あなた(このアンケートを記入している方)は仙台市にある「障害のある方の福祉サービス」に満足していますか。(SA)



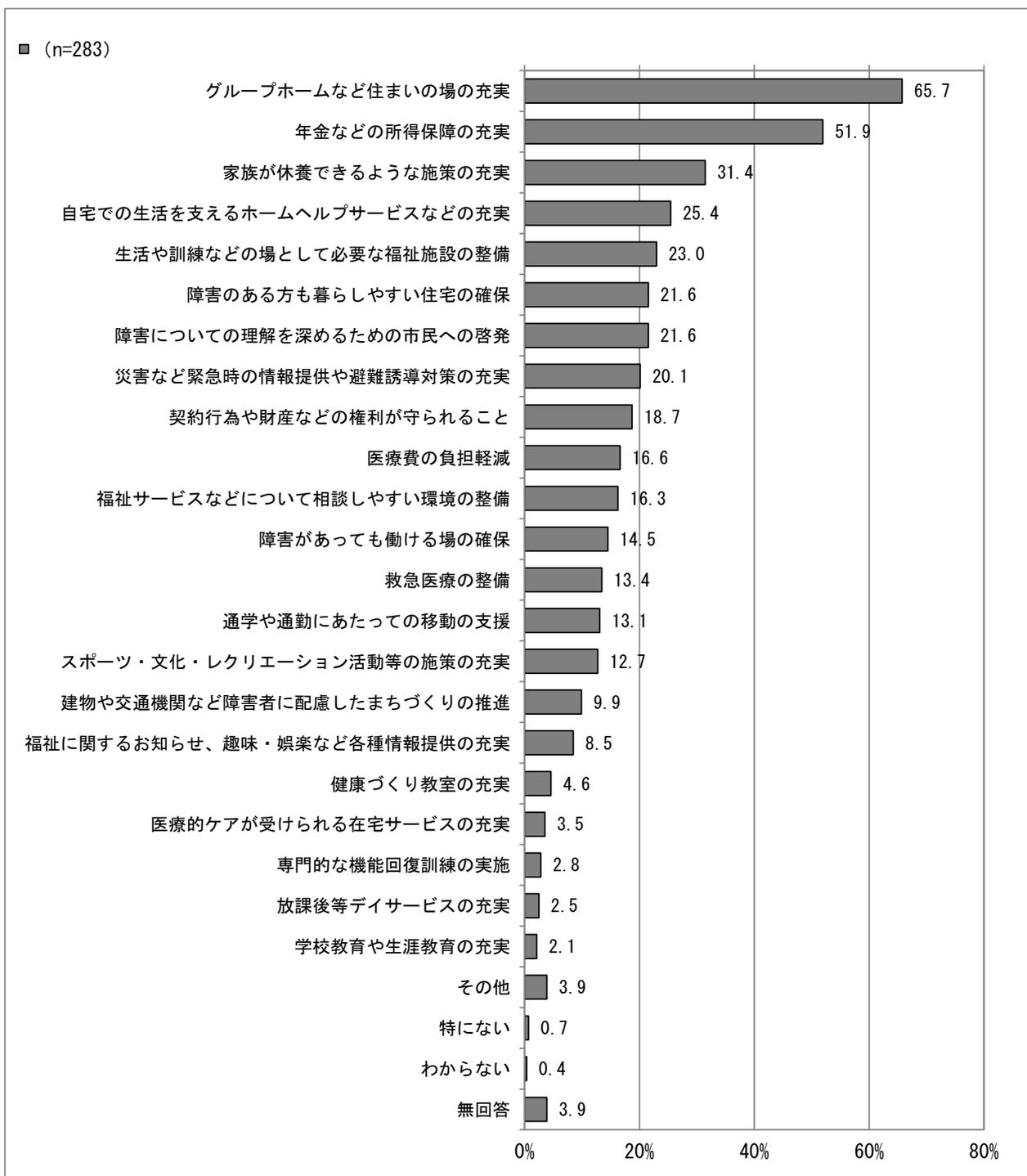
「障害のある方の福祉サービス」への満足は、「やや不満である」(33.6%)が最も高く、次いで「満足している」(24.4%)、「わからない」(22.6%)となっている。

問35 問34で「やや不満である」「とても不満である」を選んだ方におたずねします。特にどのような福祉サービスに不満を感じていますか。(MA)



不満を感じている福祉サービスは、「障害児者を預かることで家族を支援するサービス」(49.6%)が最も高く、次いで「地域の中で暮らしていくための支援サービス」(47.2%)、「外出時に必要な支援を行うサービス」(40.7%)となっている。

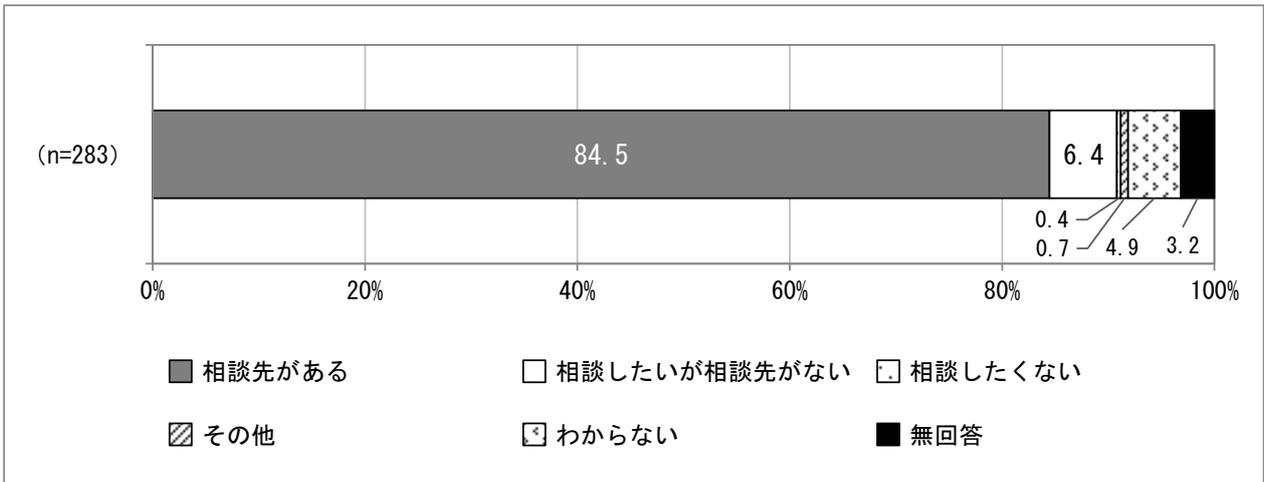
問 36 あなた（このアンケートを記入している方）が今後充実してほしい施策は何ですか。  
 (MA)



今後充実してほしい施策は、「グループホームなど住まいの場の充実」(65.7%)が最も高く、次いで「年金などの所得保障の充実」(51.9%)、「家族が休養できるような施策の充実」(31.4%)となっている。

9 相談の状況について

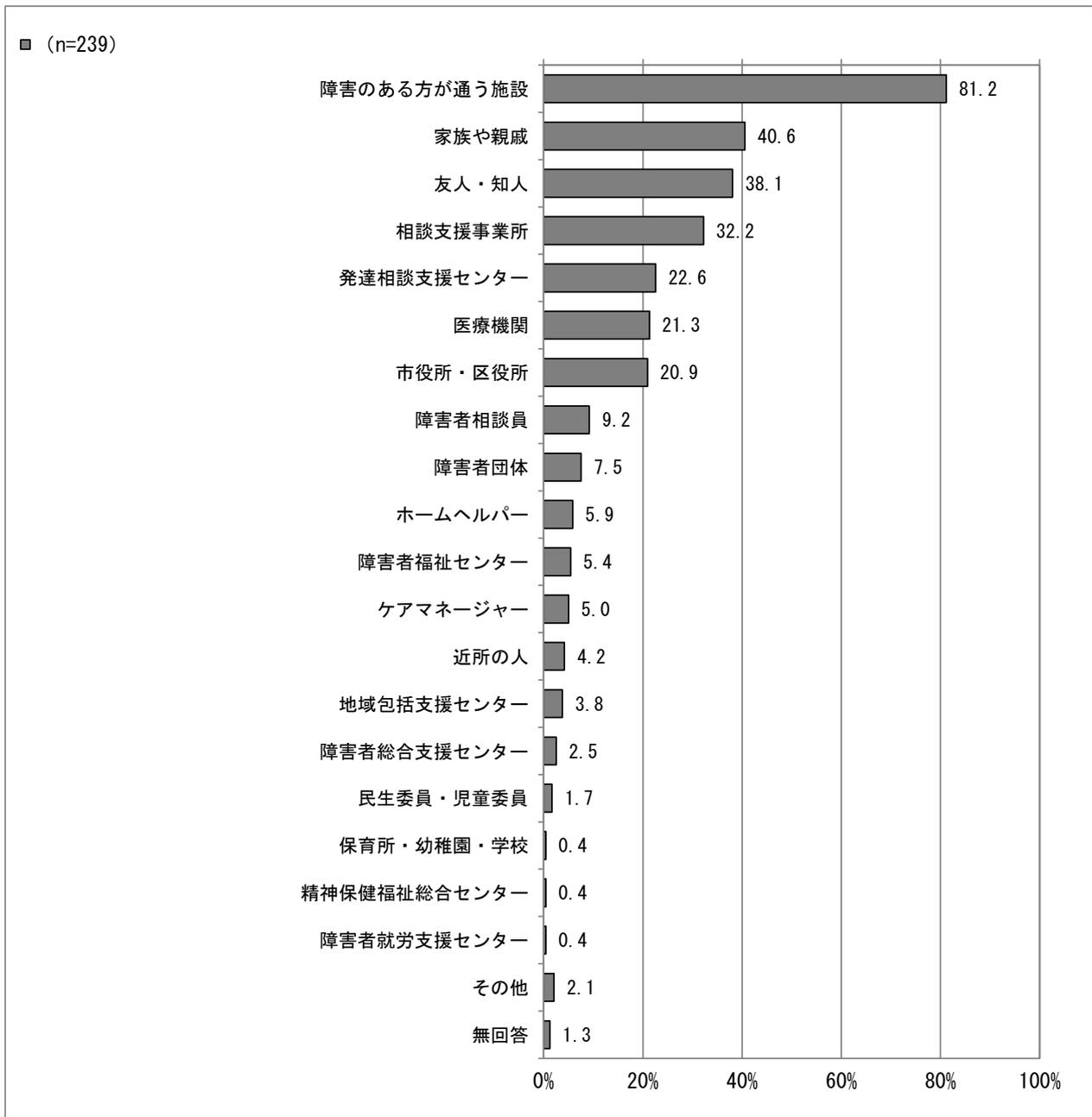
問 37 あなた（このアンケートを記入している方）が困ったときの相談について次のうちあてはまるのはどれですか。（SA）



困ったときの相談について、「相談先がある」(84.5%)が最も高く、次いで「相談したいが相談先がない」(6.4%)、「わからない」(4.9%)となっている。

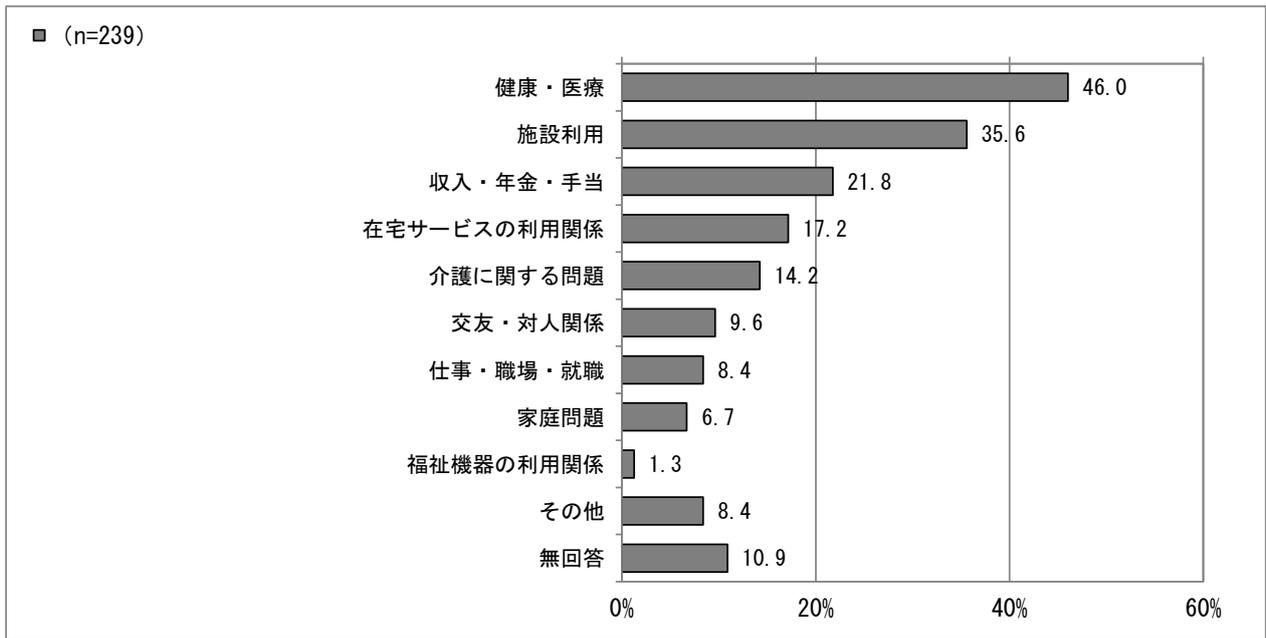
問 38 問 37 で「相談先がある」を選んだ方におたずねします。

(1) 相談相手は誰ですか。(MA)



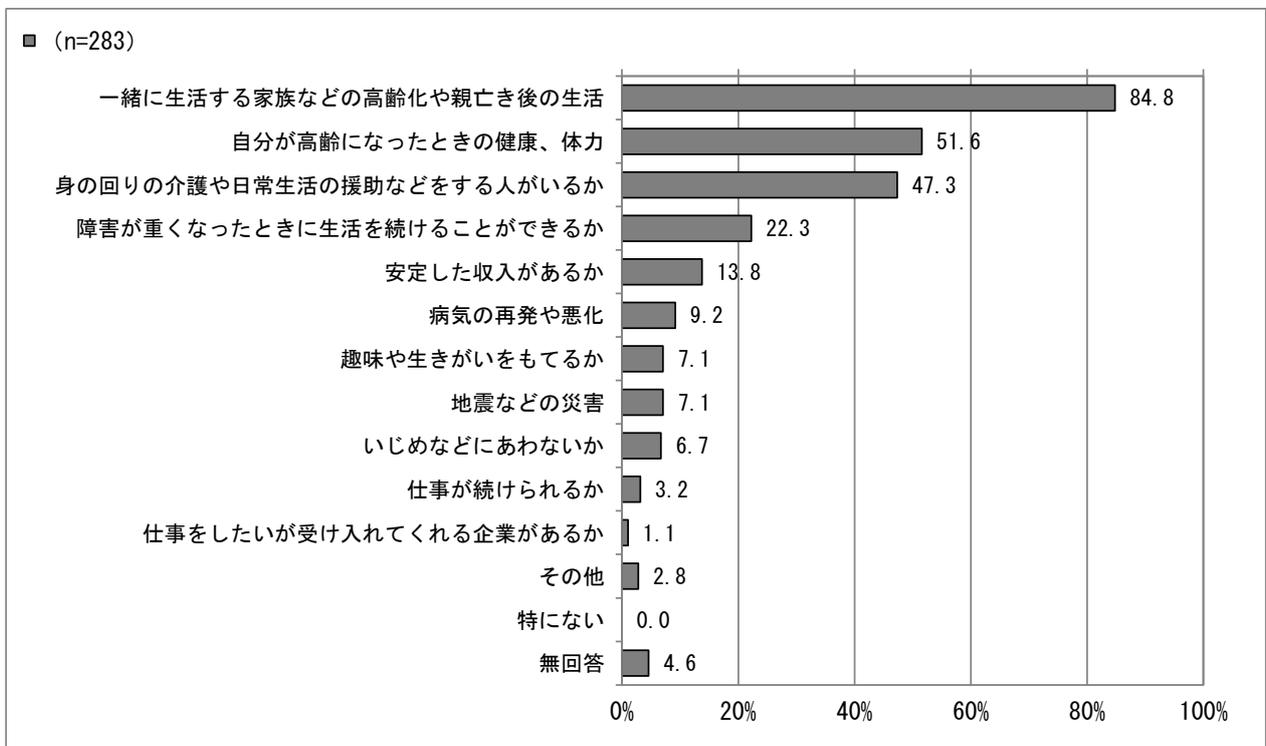
相談相手は、「障害のある方が通う施設」(81.2%) が最も高く、次いで「家族や親戚」(40.6%)、「友人・知人」(38.1%) となっている。

(2) ご本人に関することで、相談していること(したいこと)は何ですか。(MA)



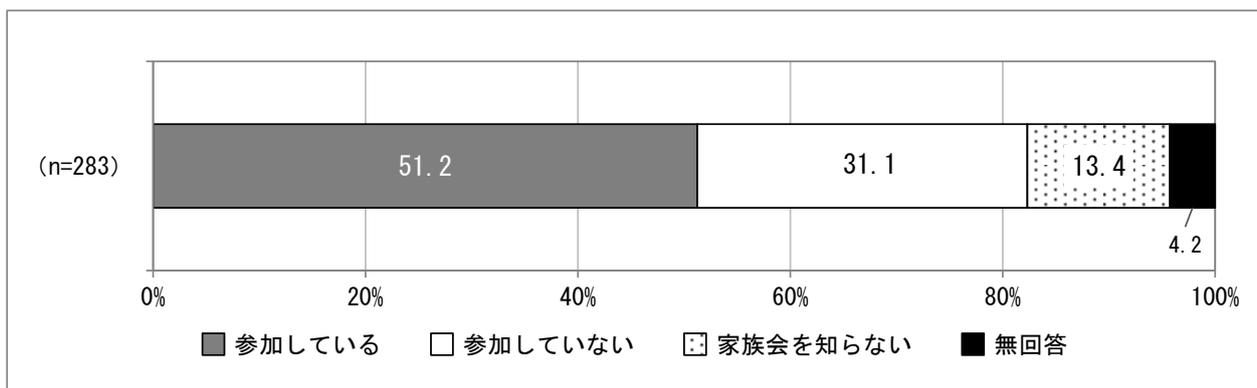
本人に関することで、相談していること(したいこと)は、「健康・医療」(46.0%)が最も高く、次いで「施設利用」(35.6%)、「収入・年金・手当」(21.8%)となっている。

問 39 あなた(このアンケートを記入している方)が、ご本人の将来のことで不安に感じていることは何ですか。(MA)



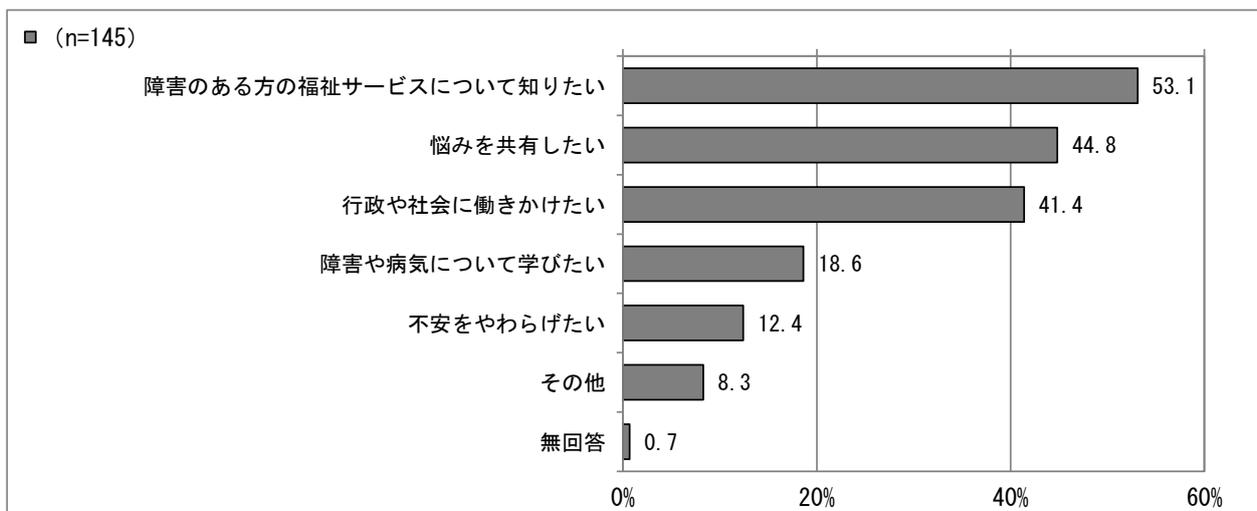
本人の将来のことで不安に感じていることは、「一緒に生活する家族などの高齢化や親亡き後の生活」(84.8%)が最も高く、次いで「自分が高齢になったときの健康、体力」(51.6%)、「身の回りの介護や日常生活の援助などをする人がいるか」(47.3%)となっている。

問 40 あなた（このアンケートを記入している方）は、障害のある家族を持つ方の集まり（家族会）に参加していますか。（SA）



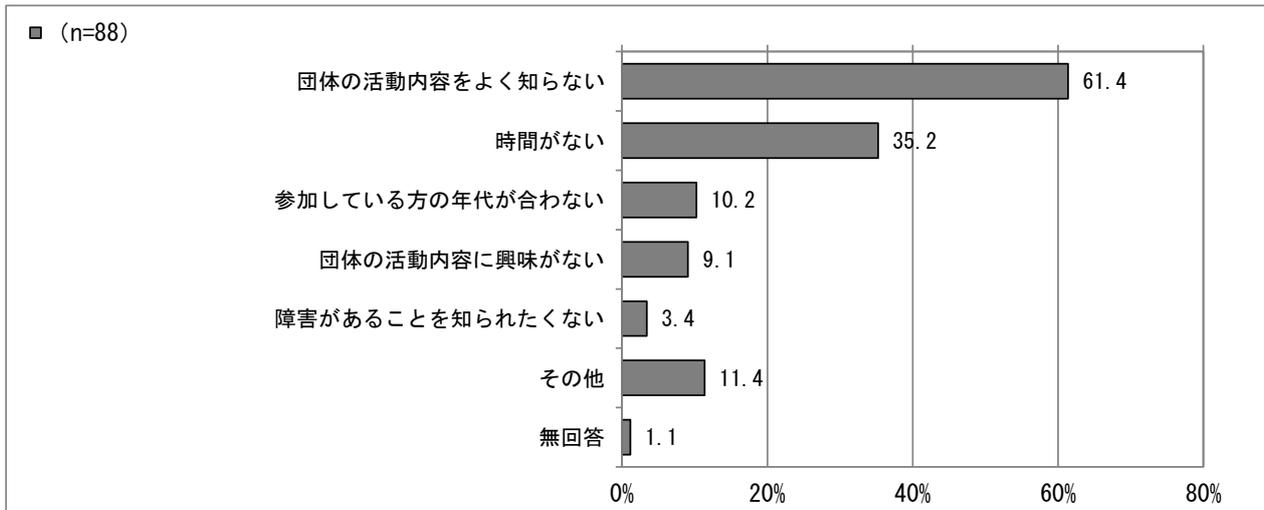
障害のある家族を持つ方の集まり（家族会）への参加は、「参加している」（51.2%）、「参加していない」（31.1%）、「家族会を知らない」（13.4%）となっている。

問 41 問 40 で「参加している」を選んだ方におたずねします。家族会に参加している理由は何ですか。（MA）



家族会に参加している理由は、「障害のある方の福祉サービスについて知りたい」（53.1%）が最も高く、次いで「悩みを共有したい」（44.8%）、「行政や社会に働きかけたい」（41.4%）となっている。

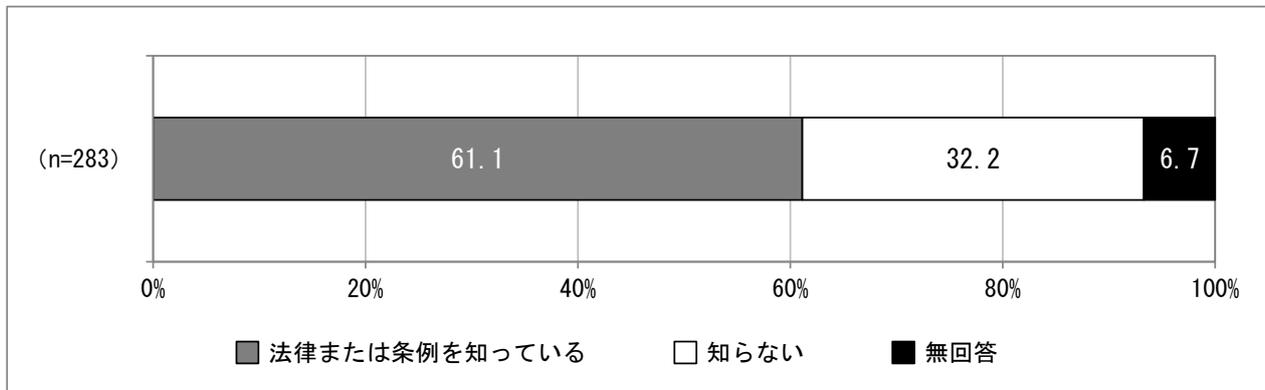
問42 問40で「参加していない」を選んだ方におたずねします。家族会に参加していない理由は何ですか。(MA)



家族会に参加していない理由は、「団体の活動内容をよく知らない」(61.4%)が最も高く、次いで「時間がない」(35.2%)、「その他」(11.4%)となっている。

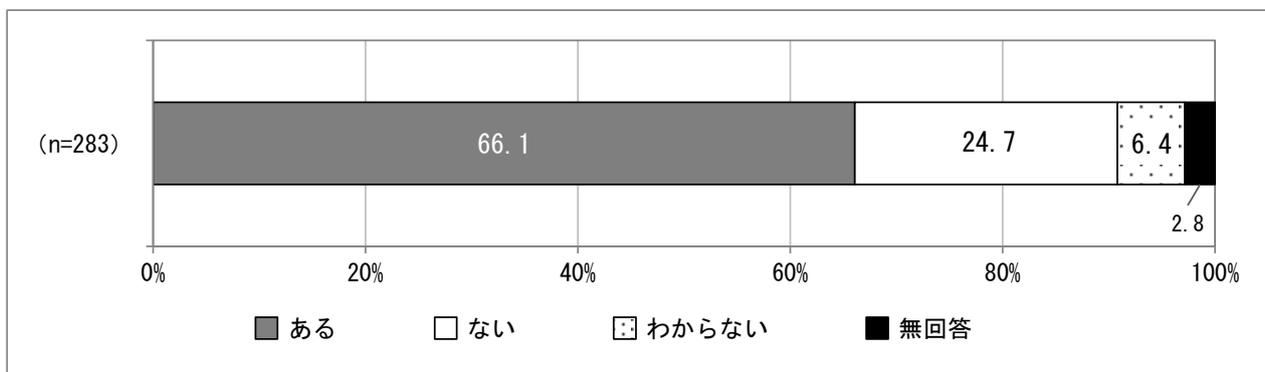
## 10 権利擁護について

問 43 あなた（このアンケートを記入している方）は、2016年4月より施行された「障害者差別解消法」を知っていますか。また、「仙台市障害を理由とする差別をなくし障害のある人もない人も共に暮らしやすいまちをつくる条例」を知っていますか。（SA）



障害者差別解消法や市の条例は、「法律または条例を知っている」（61.1%）、「知らない」（32.2%）となっている。

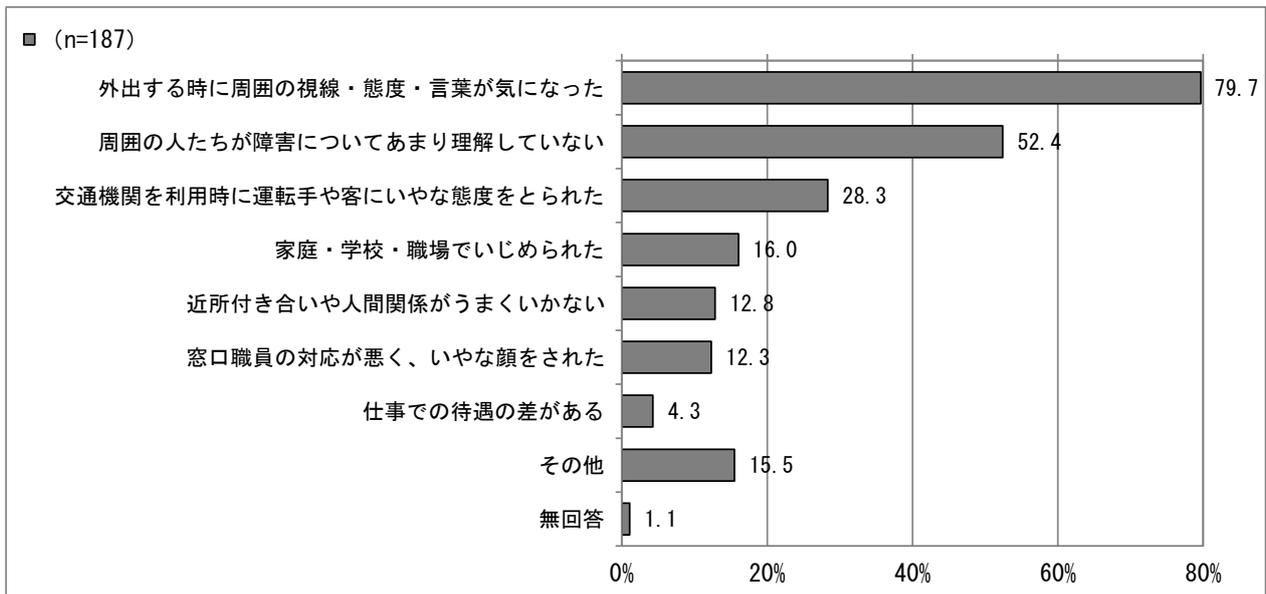
問 44 あなた（このアンケートを記入している方）は、ご本人の障害を理由に差別を受けたり、いやな思いなどをしたことがありますか。（SA）



障害を理由に差別を受けたり、いやな思いなどをしたことがあるかは、「ある」（66.1%）、「ない」（24.7%）、「わからない」（6.4%）となっている。

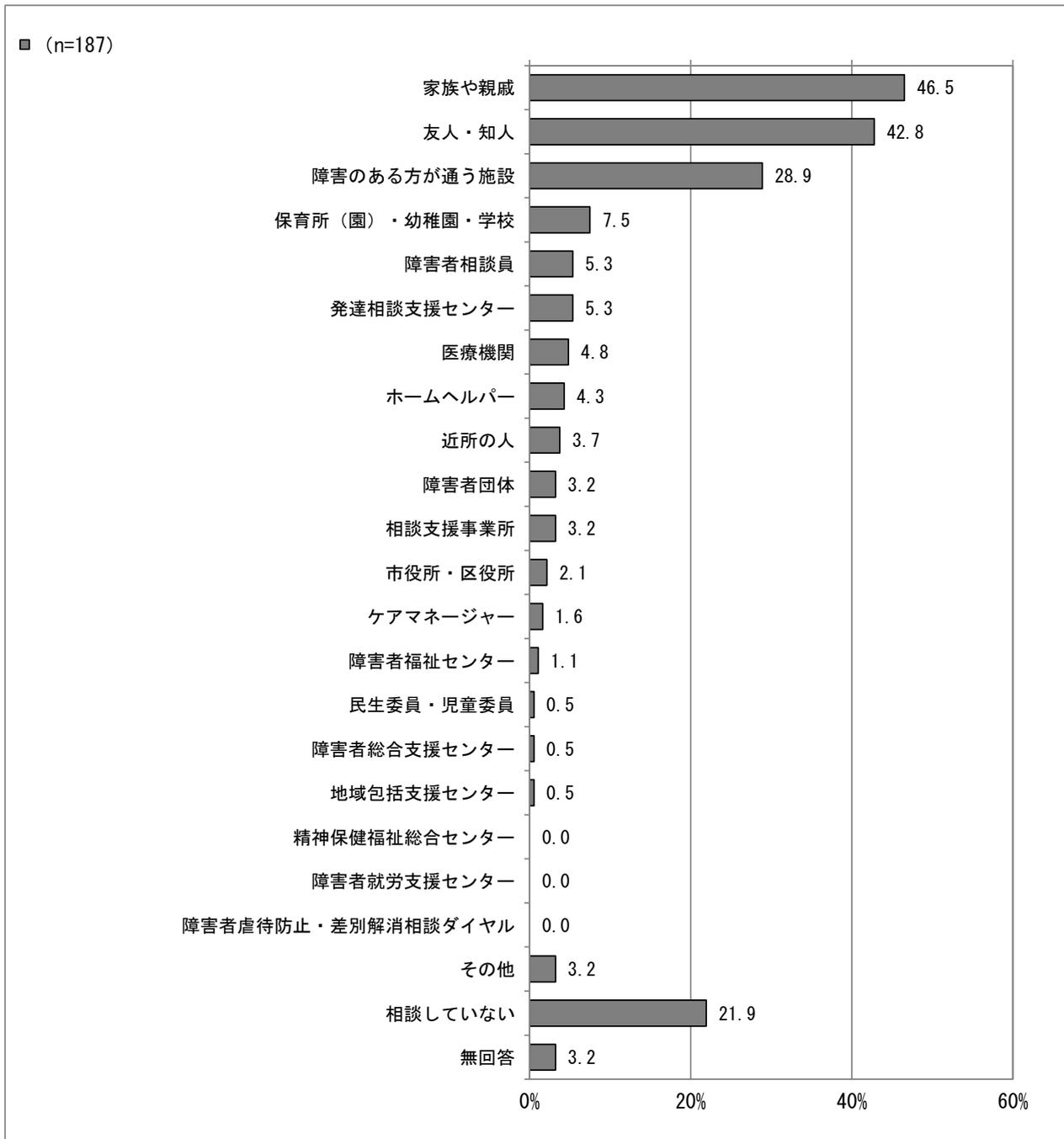
問45 問44で「ある」を選んだ方におたずねします。

(1) どのような内容の差別を受けたり、いやな思いをしましたか。(MA)



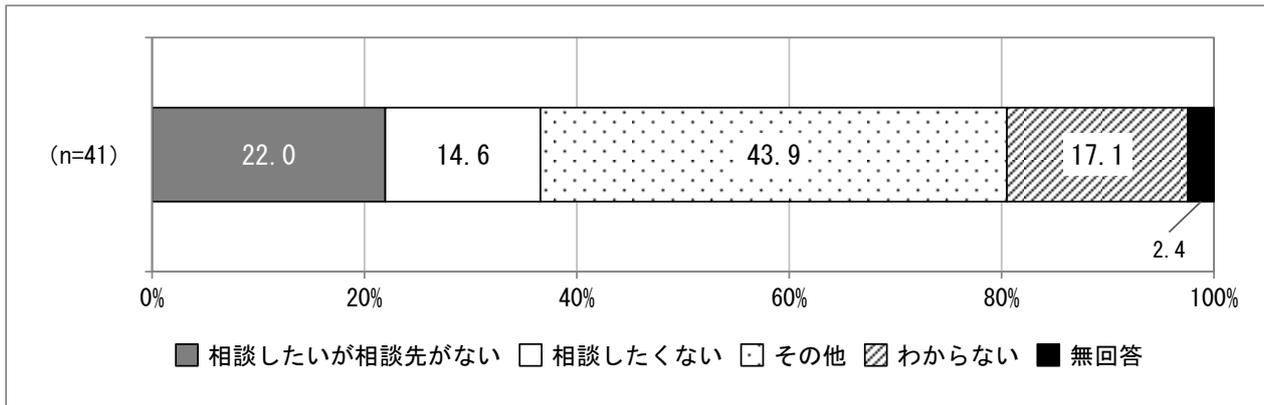
差別やいやな思いの内容は、「外出する時に周囲の視線・態度・言葉が気になった」(79.7%)が最も高く、次いで「周囲の人たちが障害についてあまり理解していない」(52.4%)、「交通機関を利用時に運転手や客にいやな態度をとられた」(28.3%)となっている。

(2) 差別をされたり、いやな思いをしたときに誰かに相談しましたか。(MA)



差別をされたり、いやな思いをしたときの相談先は、「家族や親戚」(46.5%)が最も高く、次いで「友人・知人」(42.8%)、「障害のある方が通う施設」(28.9%)となっている。

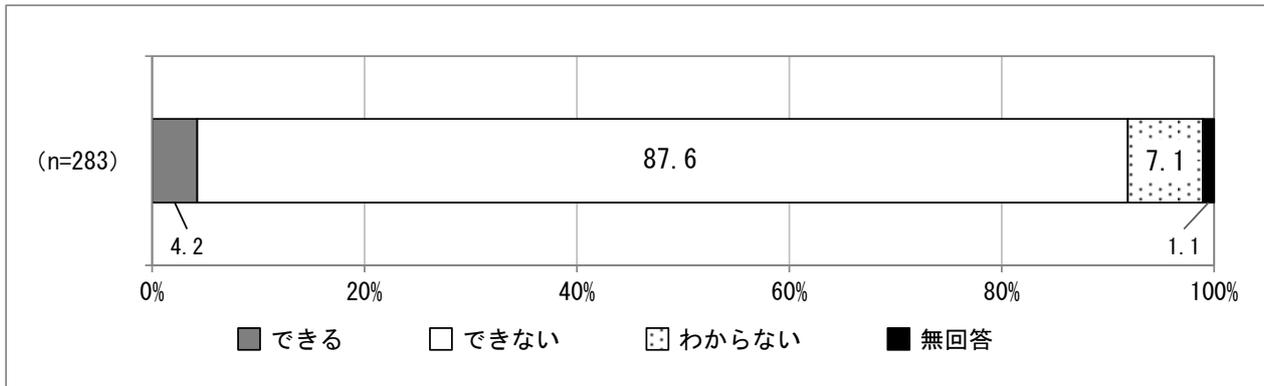
(3) (2)で「相談していない」を選んだ方におたずねします。相談しなかった理由は何ですか。(SA)



相談をしなかった理由は、「その他」(43.9%)が最も高く、次いで「相談したいが相談先がない」(22.0%)、「わからない」(17.1%)となっている。

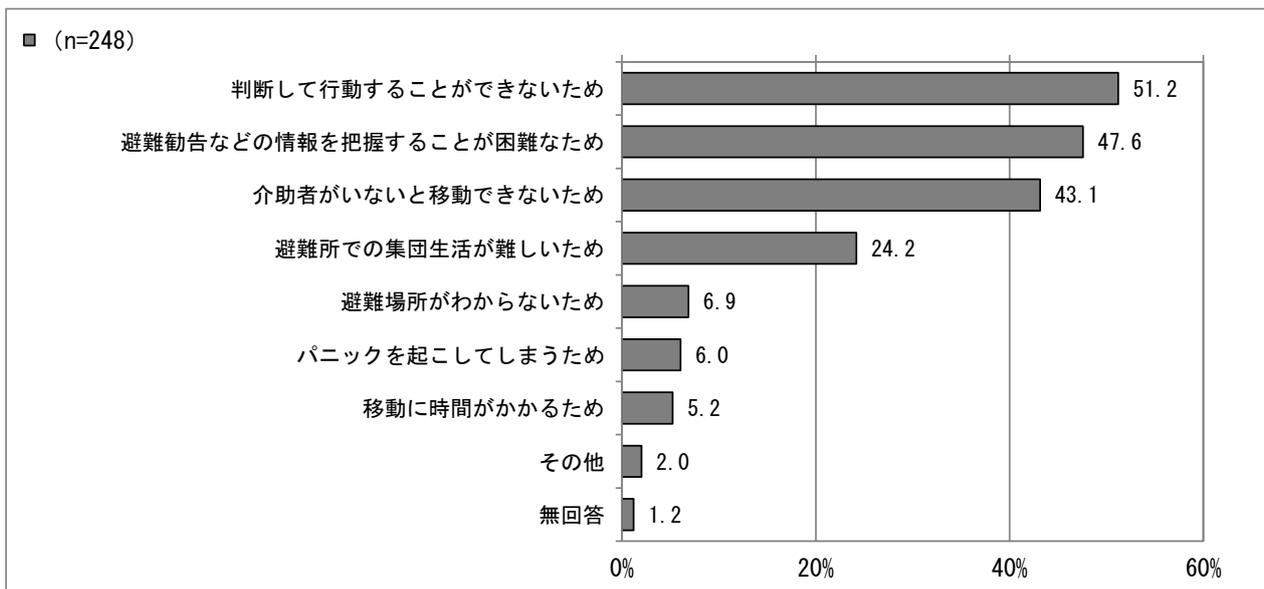
## 11 緊急時の対応について

問 46 ご本人は地震などの災害発生時、ひとりで避難することができますか。2011年3月11日の東日本大震災を経験された方は、ご経験を踏まえてご回答ください。(SA)



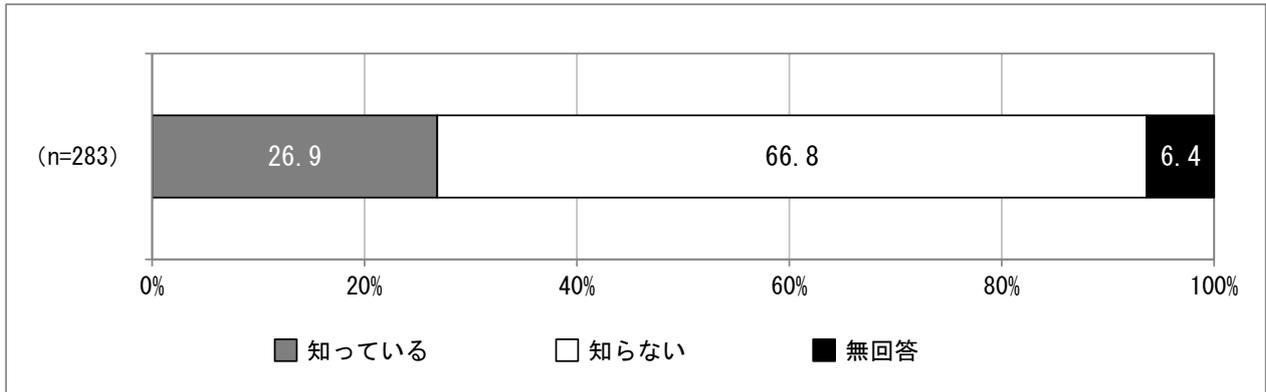
ひとりで避難は、「できる」(4.2%)、「できない」(87.6%)、「わからない」(7.1%)となっている。

問 47 問 46 で「できない」を選んだ方におたずねします。災害のとき一人で避難することができない理由は何ですか。(MA)



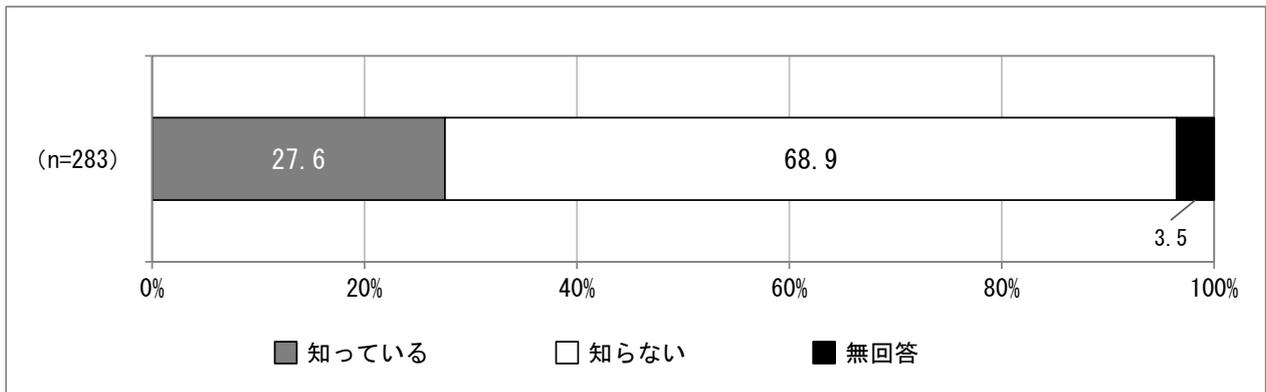
一人で避難できない理由は、「判断して行動することができないため」(51.2%)が最も高く、次いで「避難勧告などの情報を把握することが困難なため」(47.6%)、「介助者がいないと移動できないため」(43.1%)となっている。

問 48 ご本人は、お住まいの地区の避難所の場所を知っていますか。(SA)



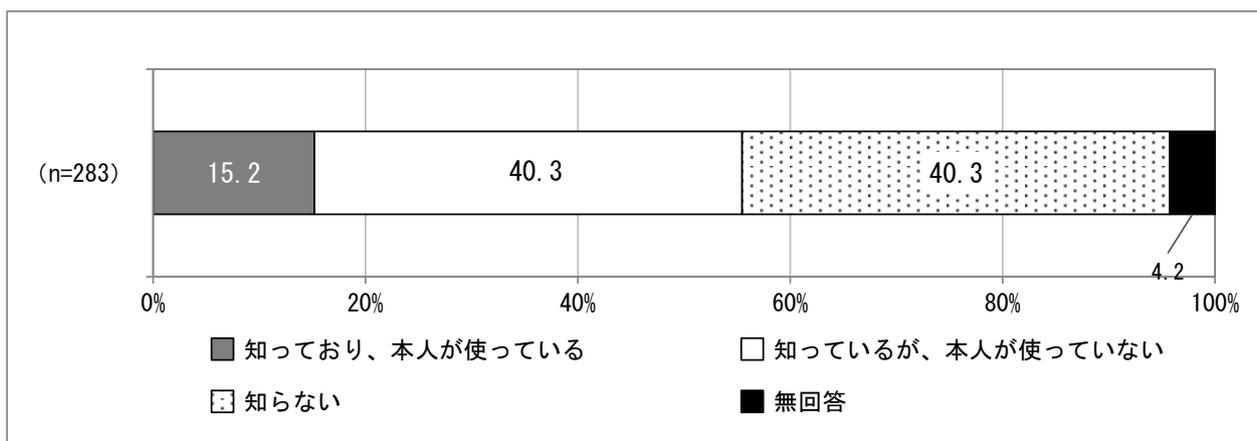
本人が住まいの地区の避難所を知っているかは、「知っている」(26.9%)、「知らない」(66.8%)となっている。

問 49 あなた(このアンケートを記入している方)は、福祉避難所を知っていますか。(SA)



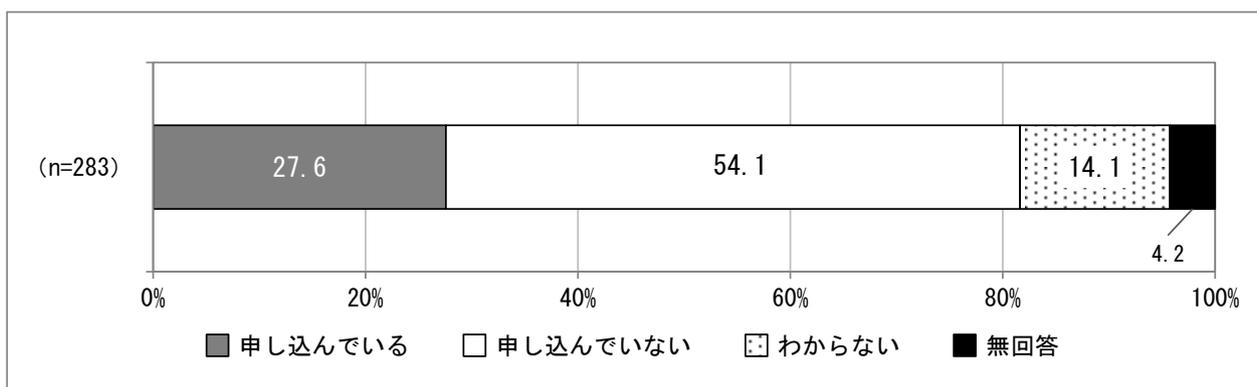
記入者が福祉避難所を知っているかは、「知っている」(27.6%)、「知らない」(68.9%)となっている。

問 50 あなた(このアンケートを記入している方)は、ヘルプカードを知っていますか。(SA)



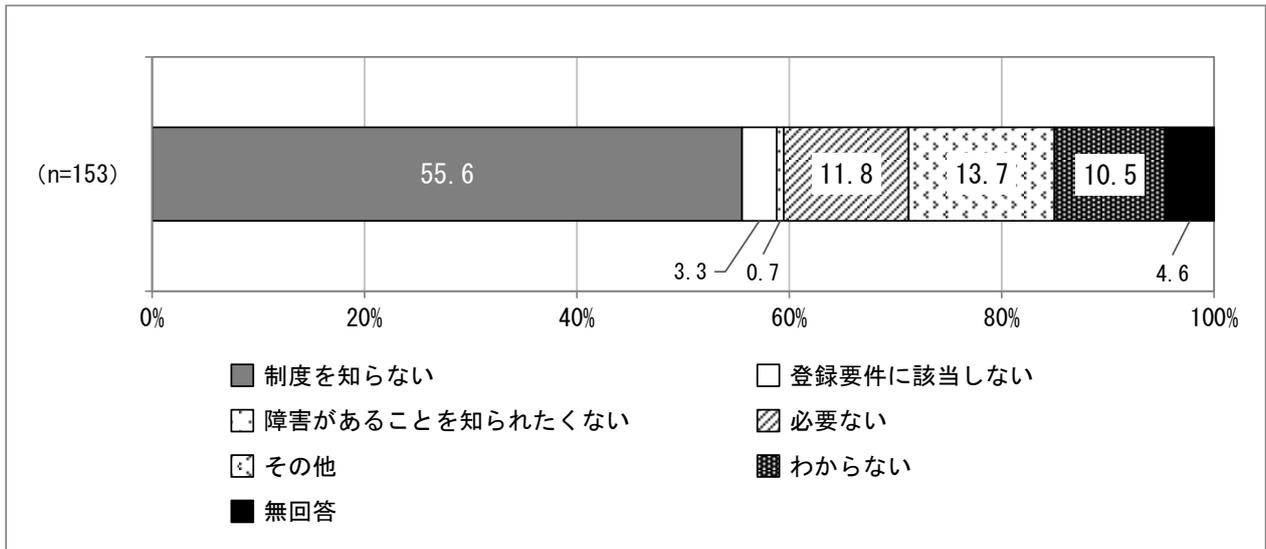
記入者がヘルプカードを知っているかは、「知っており、本人が使っている」(15.2%)、「知っているが、本人が使っていない」と「知らない」がともに40.3%となっている。

問 51 ご本人は、仙台市が実施している災害時における要援護者情報登録制度を申し込んでいますか。(SA)



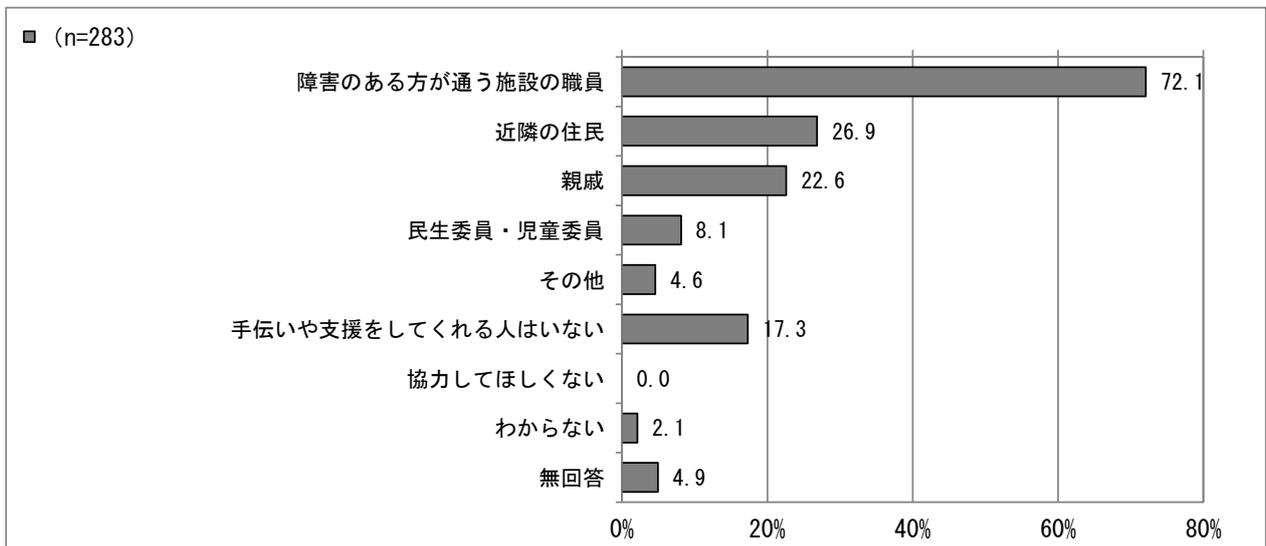
市が実施している要援護者情報登録制度を申し込んでいるかは、「申し込んでいる」(27.6%)、「申し込んでいない」(54.1%)、「わからない」(14.1%)となっている。

問 52 問 51 で「申し込んでいない」を選んだ方におたずねします。ご本人が申し込んでいない理由は何ですか。(SA)



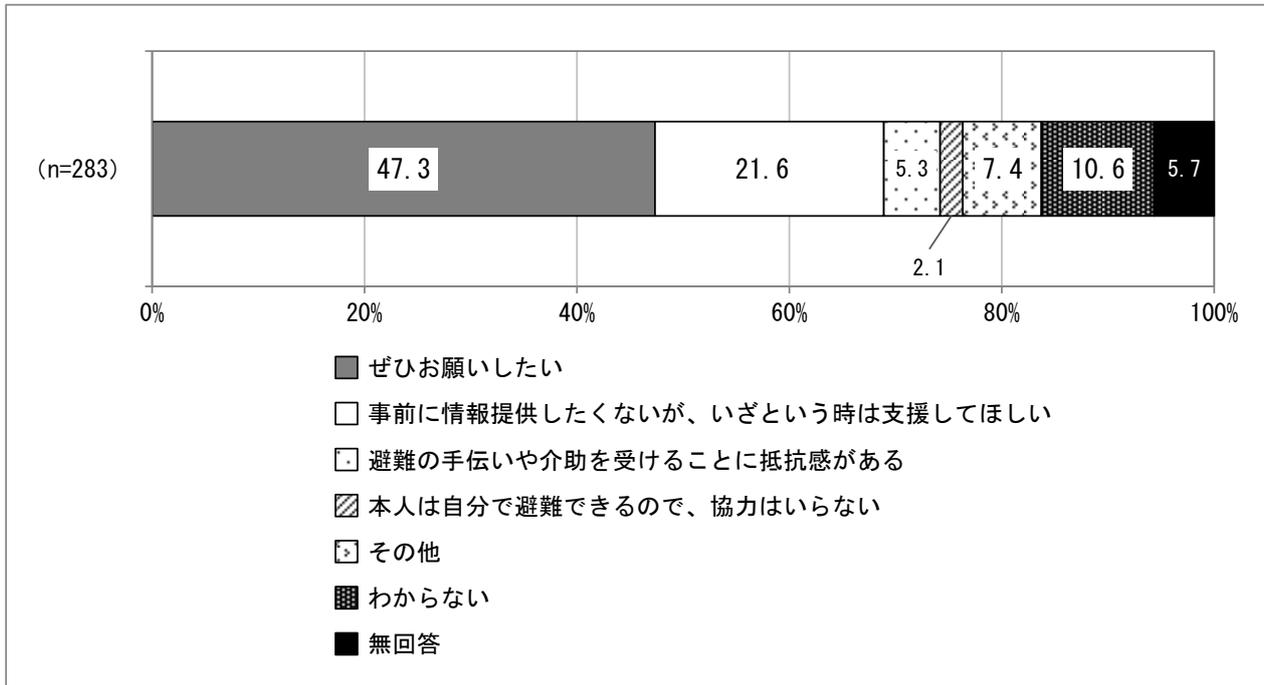
市が実施している要援護者情報登録制度に申し込んでいない理由は、「制度を知らない」(55.6%) が最も高く、次いで「その他」(13.7%)、「必要ない」(11.8%) となっている。

問 53 地震などの災害時に、家族以外の方で手伝いや支援をしてくれる人について、次のうちあてはまるのはどれですか。(SA)



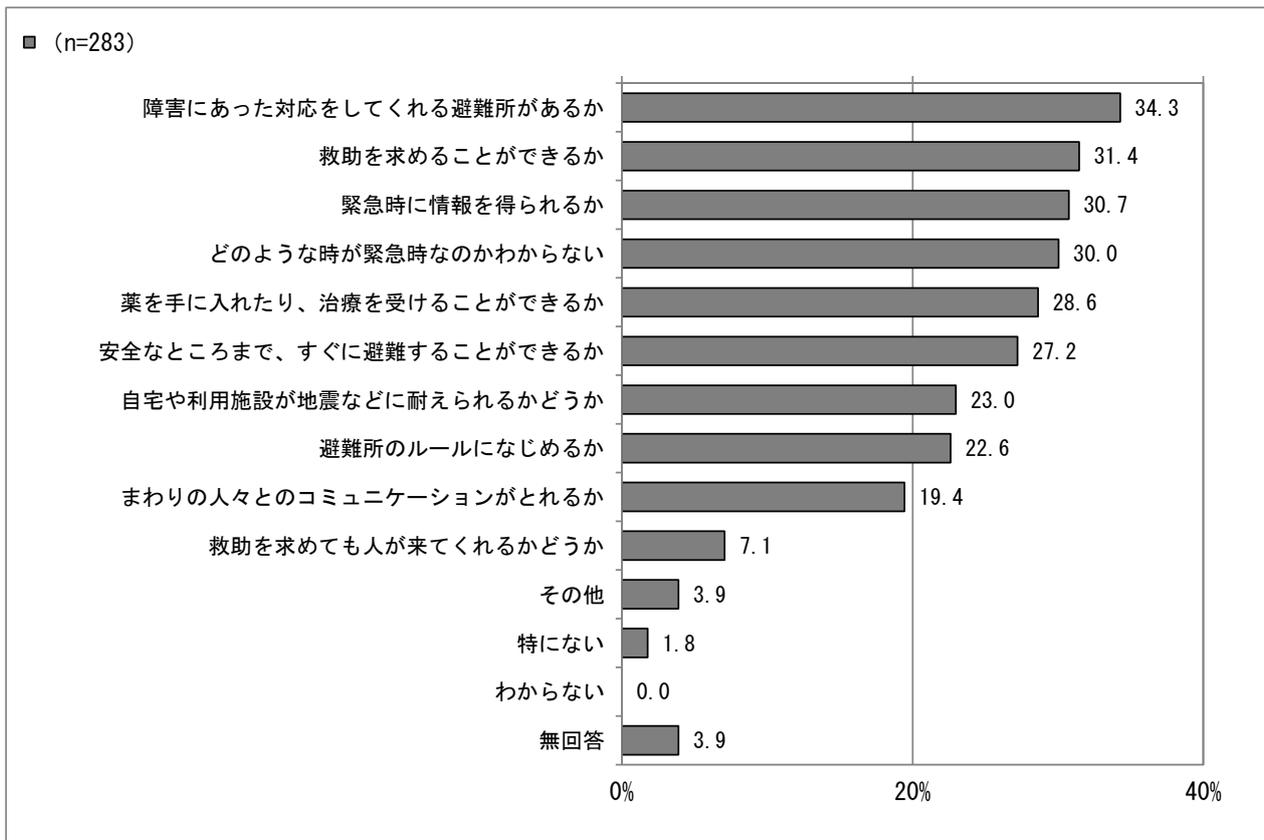
災害時に家族以外の方で手伝いや支援をしてくれる人は、「障害のある方が通う施設の職員」(72.1%) が最も高く、次いで「近隣の住民」(26.9%)、「親戚」(22.6%) となっている。

問 54 地震などの災害が発生したときのために、あらかじめ近所の人やボランティアなどにご本人の避難の手伝いや介助をお願いしておくことについて、あなた（このアンケートを記入している方）はどのように思いますか。（SA）



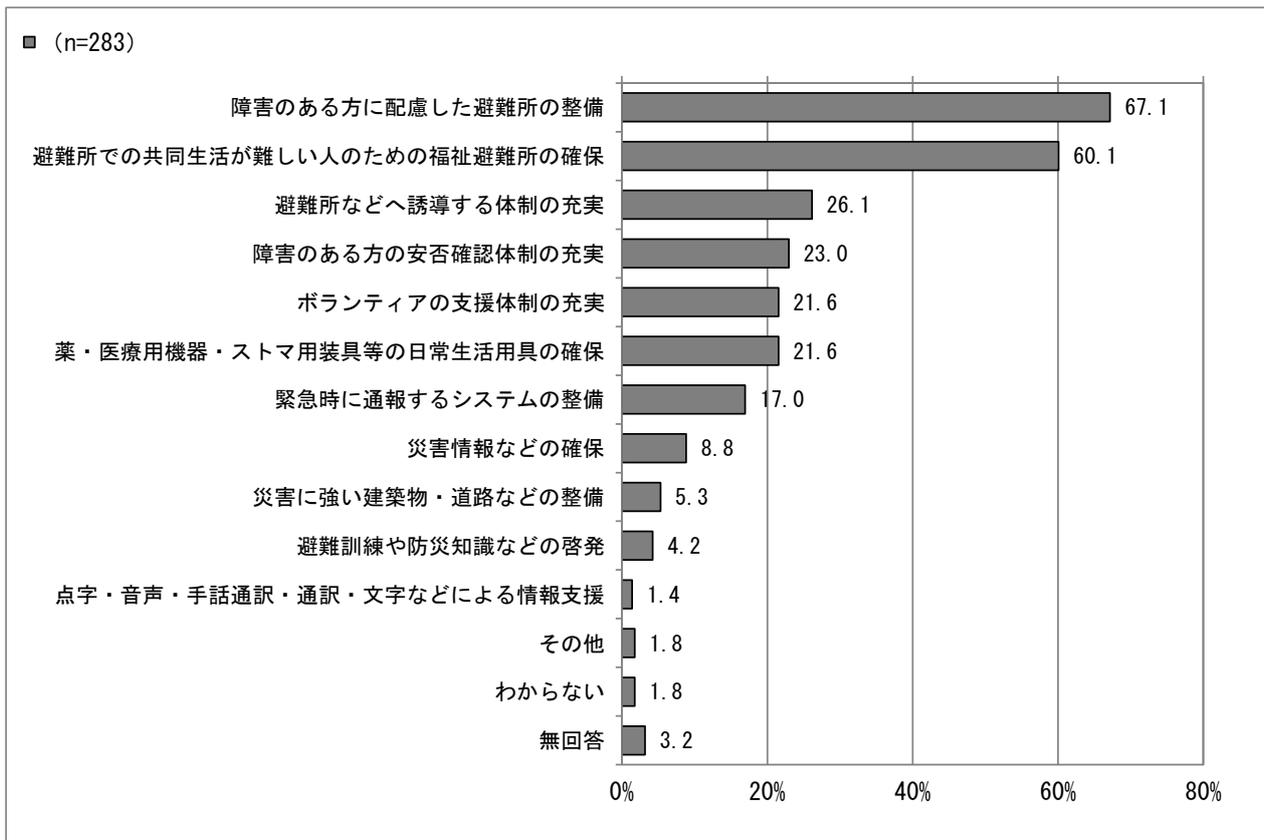
災害が発生したときのために、あらかじめ近所の人やボランティアなどに本人の避難の手伝いや介助をお願いしておくことは、「ぜひお願いしたい」(47.3%)が最も高く、次いで「事前に情報提供したくないが、いざという時は支援してほしい」(21.6%)、「わからない」(10.6%)となっている。

問 55 地震などのいざという時のことで、あなた（このアンケートを記入している方）が普段不安に感じていることは何ですか。（MA）



いざという時のことで、記入者が普段不安に感じていることは、「障害にあった対応をしてくれる避難所があるか」（34.3%）が最も高く、次いで「救助を求めることができるか」（31.4%）、「緊急時に情報を得られるか」（30.7%）となっている。

問 56 地震、台風などの災害に対して、あなた（このアンケートを記入している方）が大切だと思う対策はどのようなことだと思いますか。（MA）



災害に対して、記入者が大切だと思う対策は、「障害のある方に配慮した避難所の整備」(67.1%)が最も高く、次いで「避難所での共同生活が難しい人のための福祉避難所の確保」(60.1%)、「避難所などへ誘導する体制の充実」(26.1%)となっている。

## 第6章

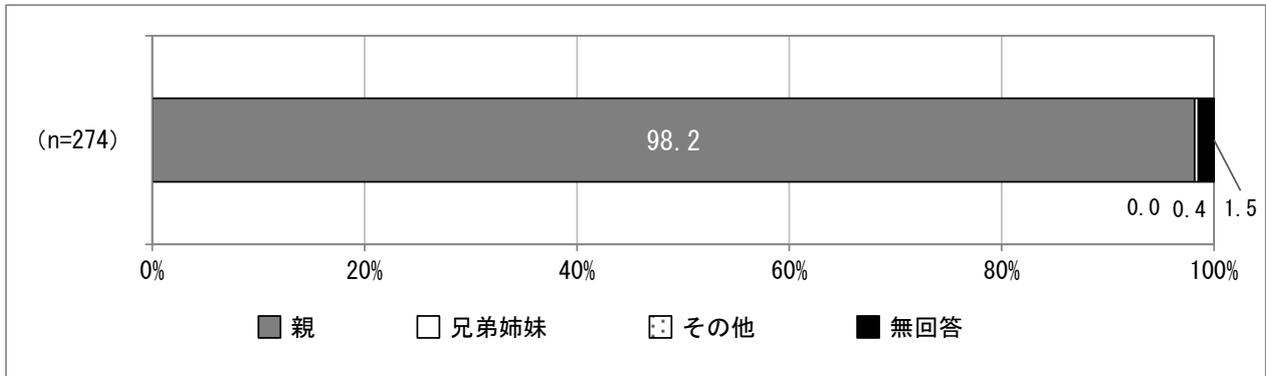
# 障害児の家族



## 第6章 障害児の家族

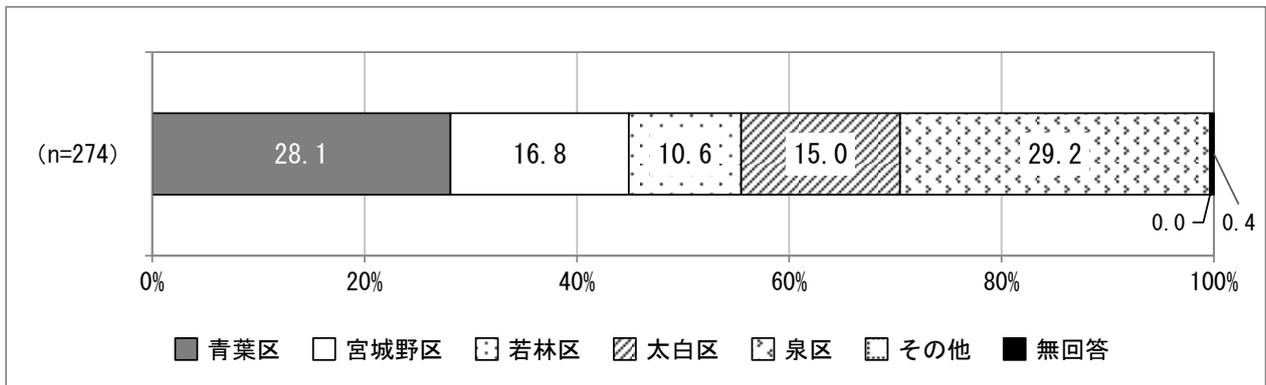
### 1 属性について

問1 このアンケートの記入者はどなたですか。(SA)



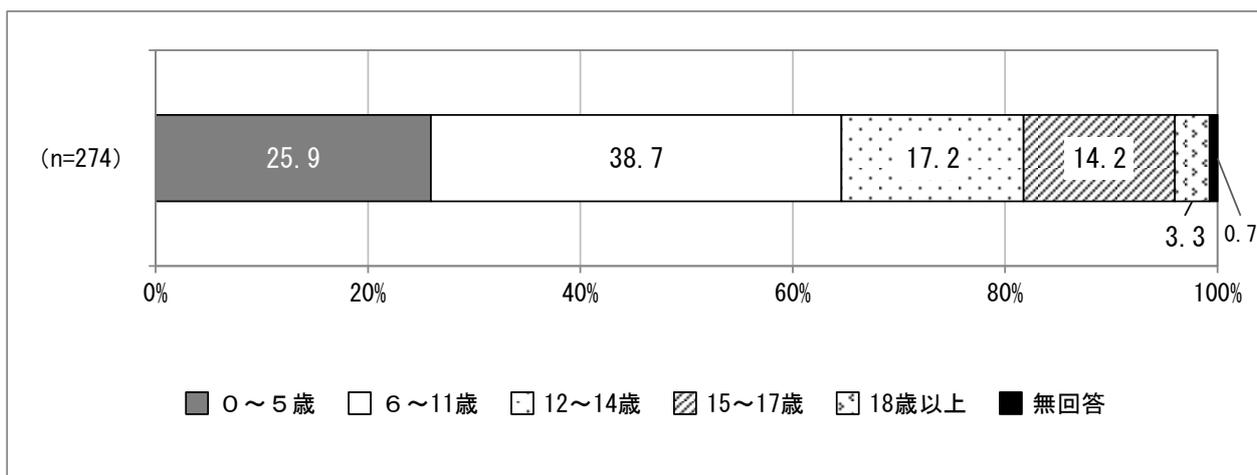
アンケートの記入者は、「親」(98.2%)と、ほぼ親が書いている。

問2 ご本人のお住まいの区はどこですか。(SA)



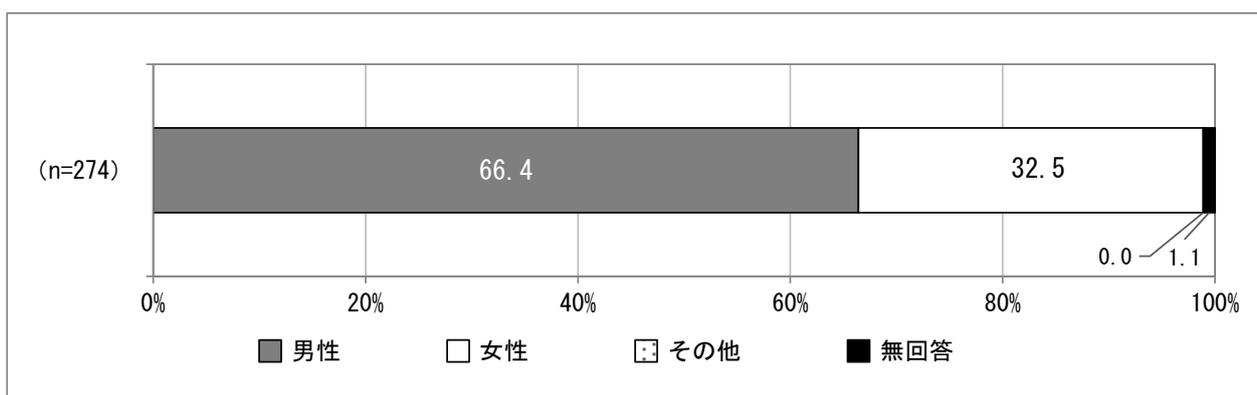
居住区は、「泉区」(29.2%)が最も高く、次いで「青葉区」(28.1%)、「宮城野区」(16.8%)となっている。

### 問3 ご本人の年齢（2016年11月1日時点）は何歳ですか。（数値）



年齢は、「6～11歳」（38.7%）が最も高く、次いで「0～5歳」（25.9%）、「12～14歳」（17.2%）となっている。

### 問4 ご本人の性別を教えてください。（SA）

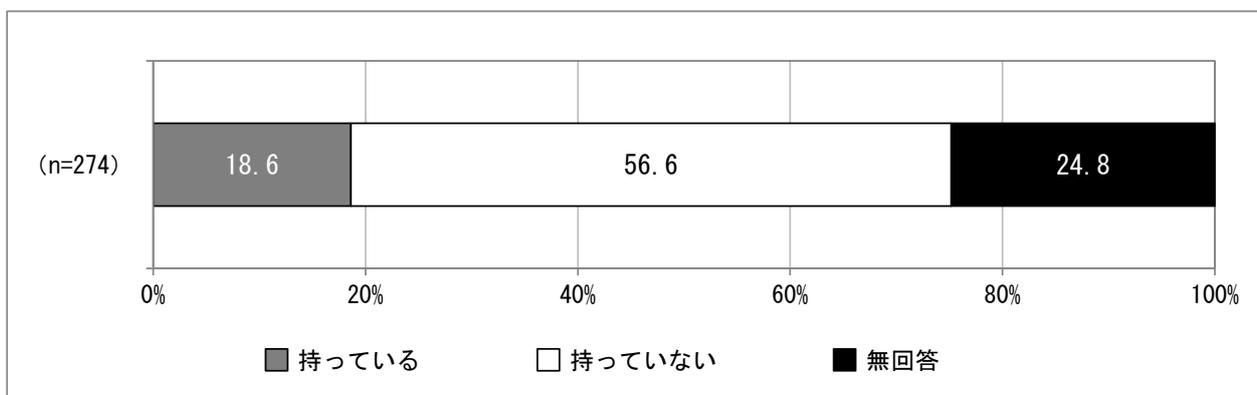


性別は、「男性」（66.4%）、「女性」（32.5%）となっている。

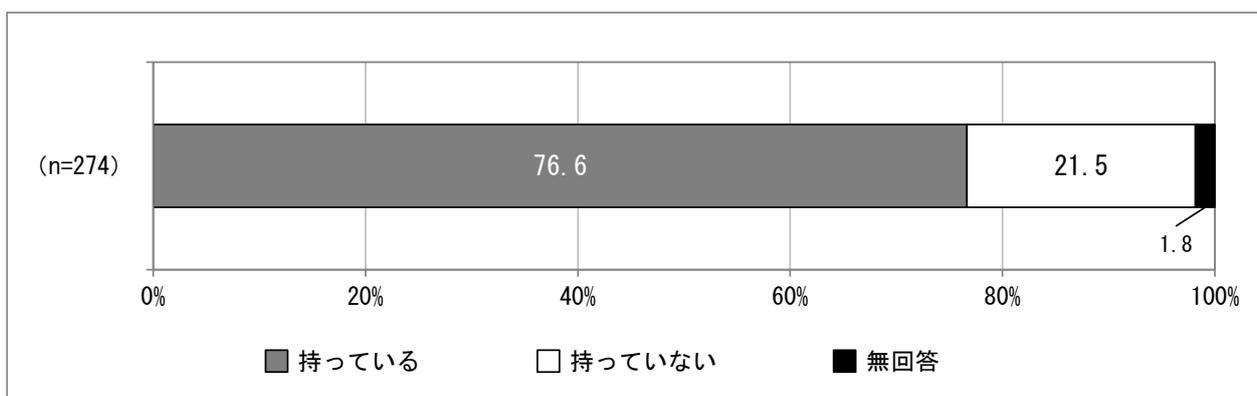
## 問5 障害者手帳についておたずねします。

(ア) ご本人が障害者手帳をお持ちかどうか教えてください。(SA)

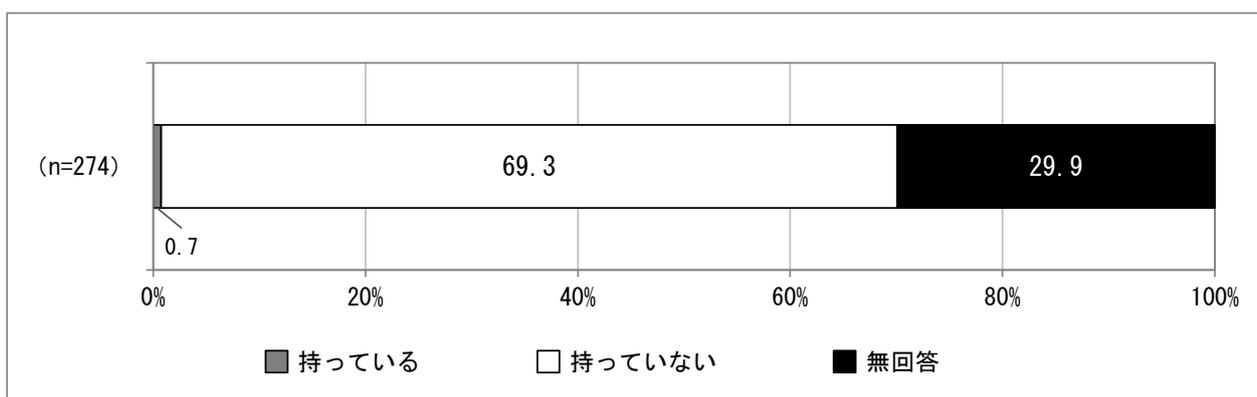
(身体障害者手帳)



(療育手帳)



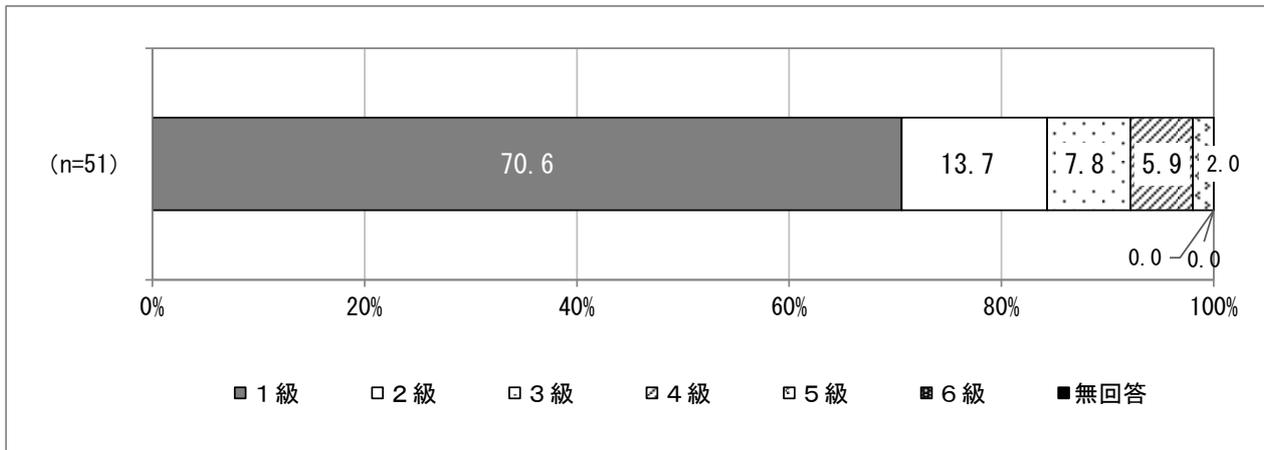
(精神障害者保健福祉手帳)



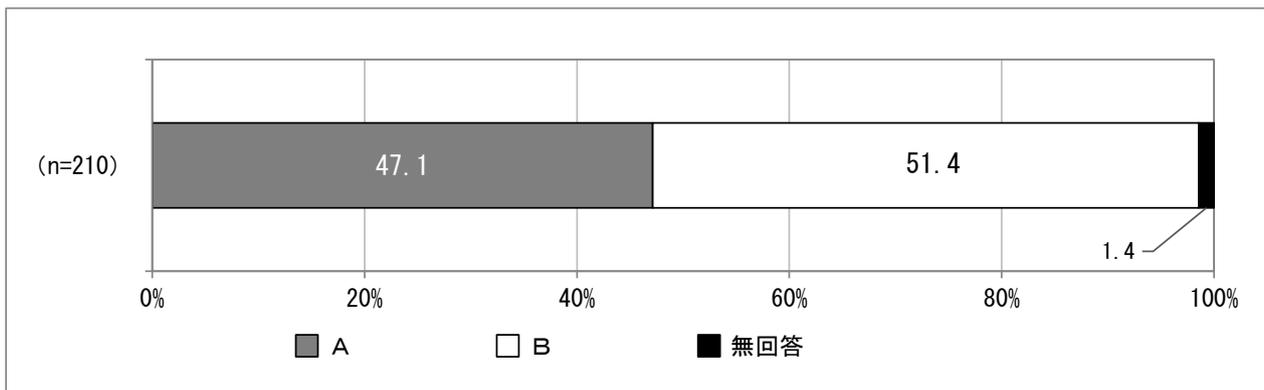
「持っている」割合は、身体障害者手帳が 18.6%、療育手帳が 76.6%、精神障害者保健福祉手帳が 0.7%となっている。

(イ) お持ちの障害者手帳の等級を教えてください。(SA)

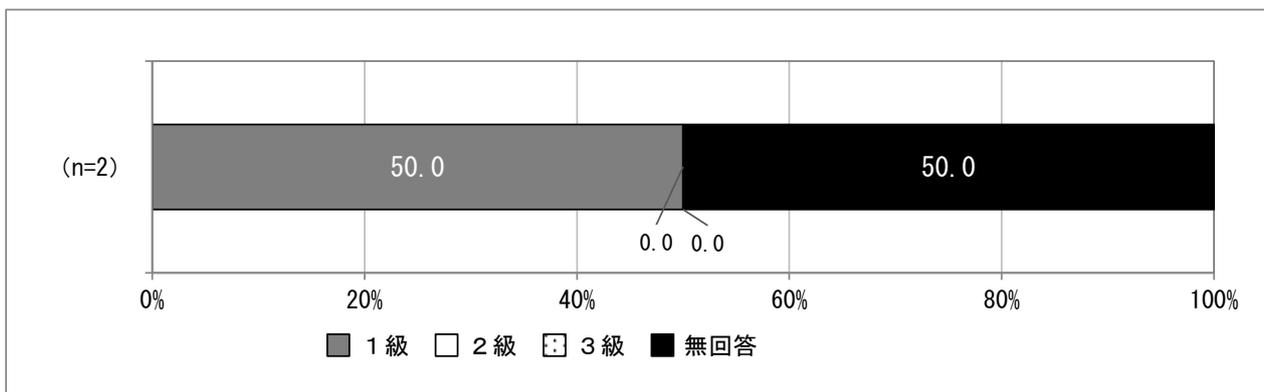
(身体障害者手帳)



(療育手帳)



(精神障害者保健福祉手帳)



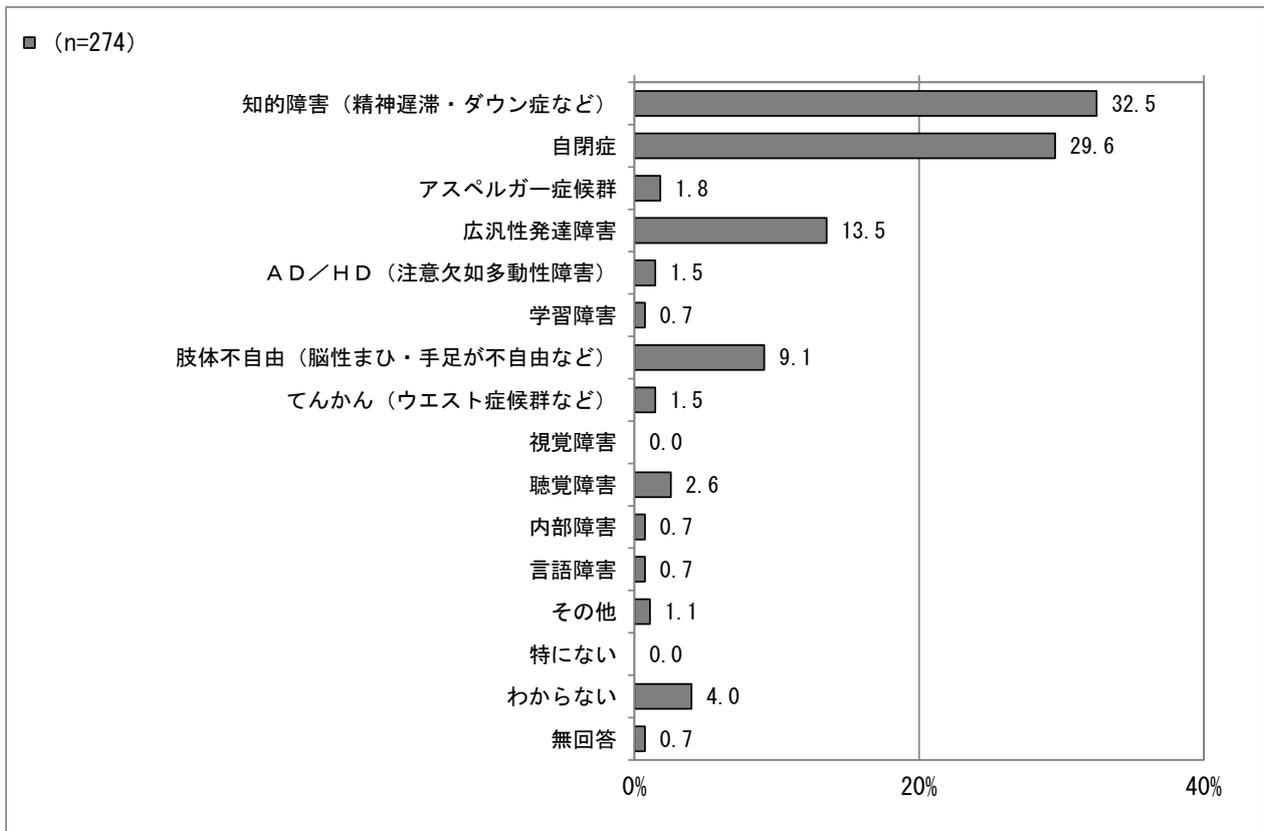
身体障害者手帳の等級は、「1級」(70.6%)が最も高く、次いで「2級」(13.7%)、「3級」(7.8%)となっている。

療育手帳の等級は、「A」(47.1%)、「B」(51.4%)となっている。

精神障害者保健福祉手帳の等級は、「1級」(50.0%)となっている。

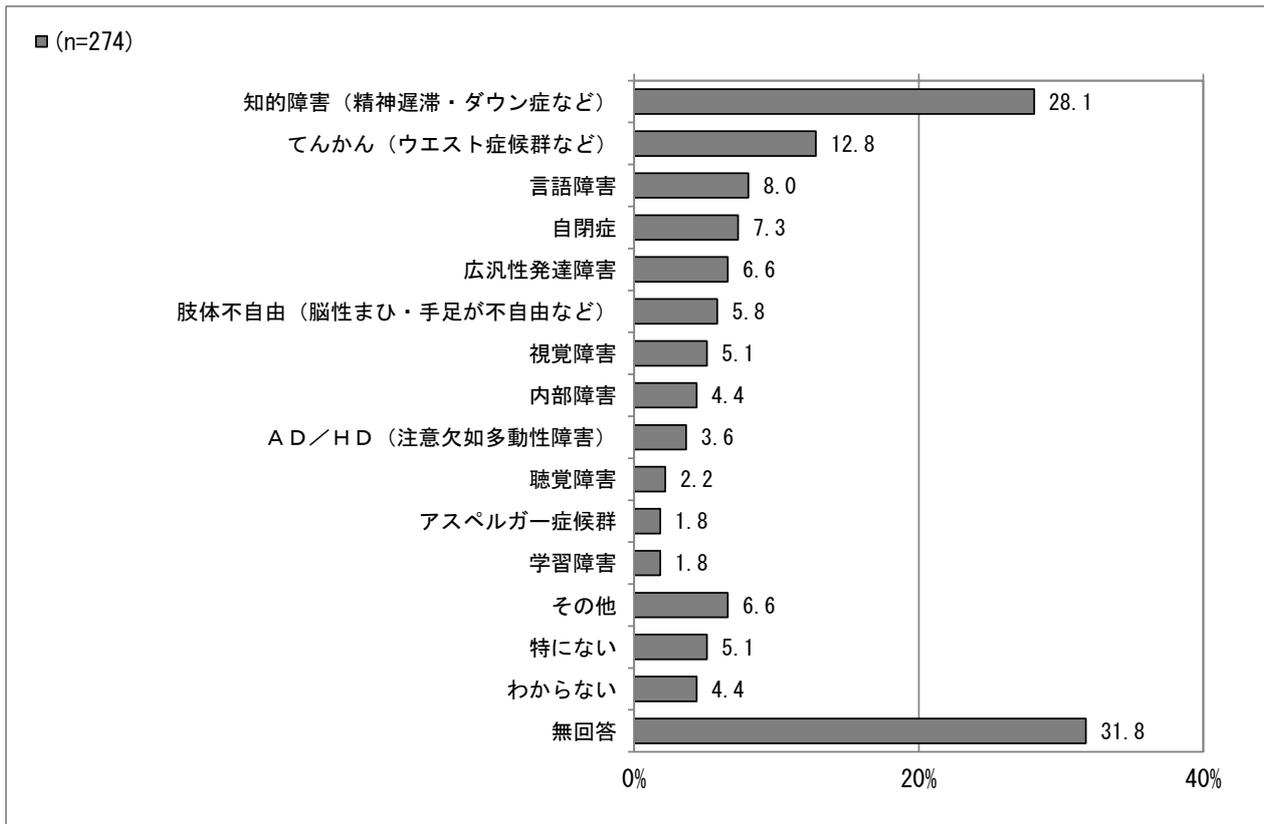
問6 身体障害者手帳をお持ちの方におたずねします。

(ア) ご本人の主な障害の部位は次のうちどれですか。(SA)



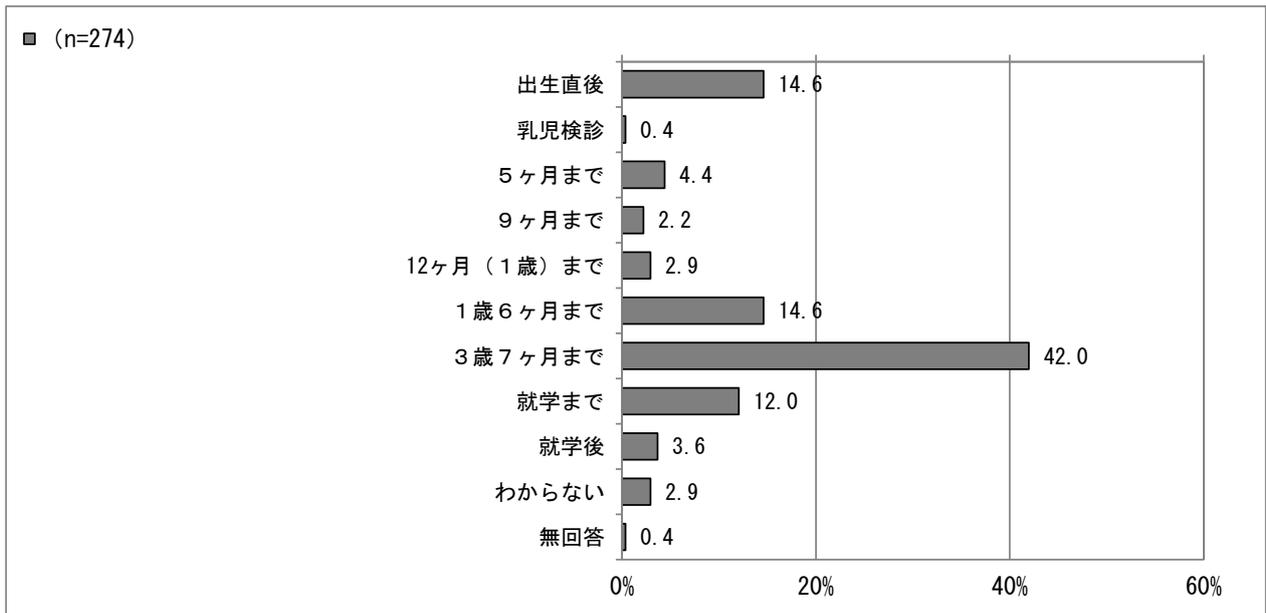
主な障害の部位は、「知的障害 (精神遅滞・ダウン症など)」(32.5%) が最も高く、次いで「自閉症」(29.6%)、「広汎性発達障害」(13.5%) となっている。

(イ) 主な障害以外に障害のある部位があれば教えてください。(MA)



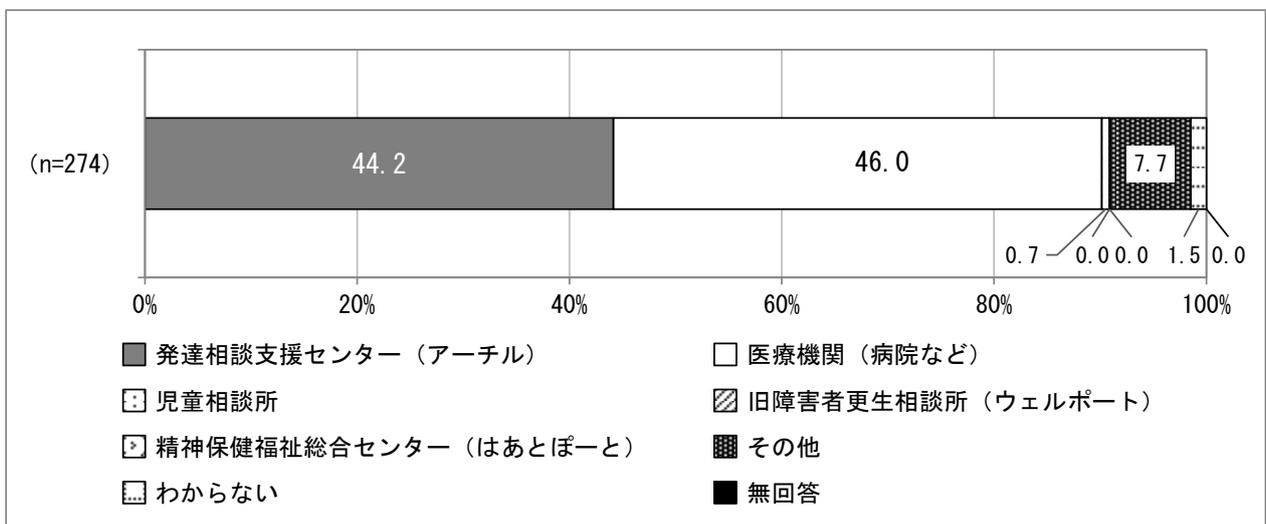
主な障害以外にある障害の部位は、「知的障害 (精神遅滞・ダウン症など)」(28.1%) が最も高く、次いで「てんかん (ウエスト症候群など)」(12.8%)、「言語障害」(8.0%) となっている。

問7 ご本人が障害の診断・判定を受けたのはいつごろですか。(SA)



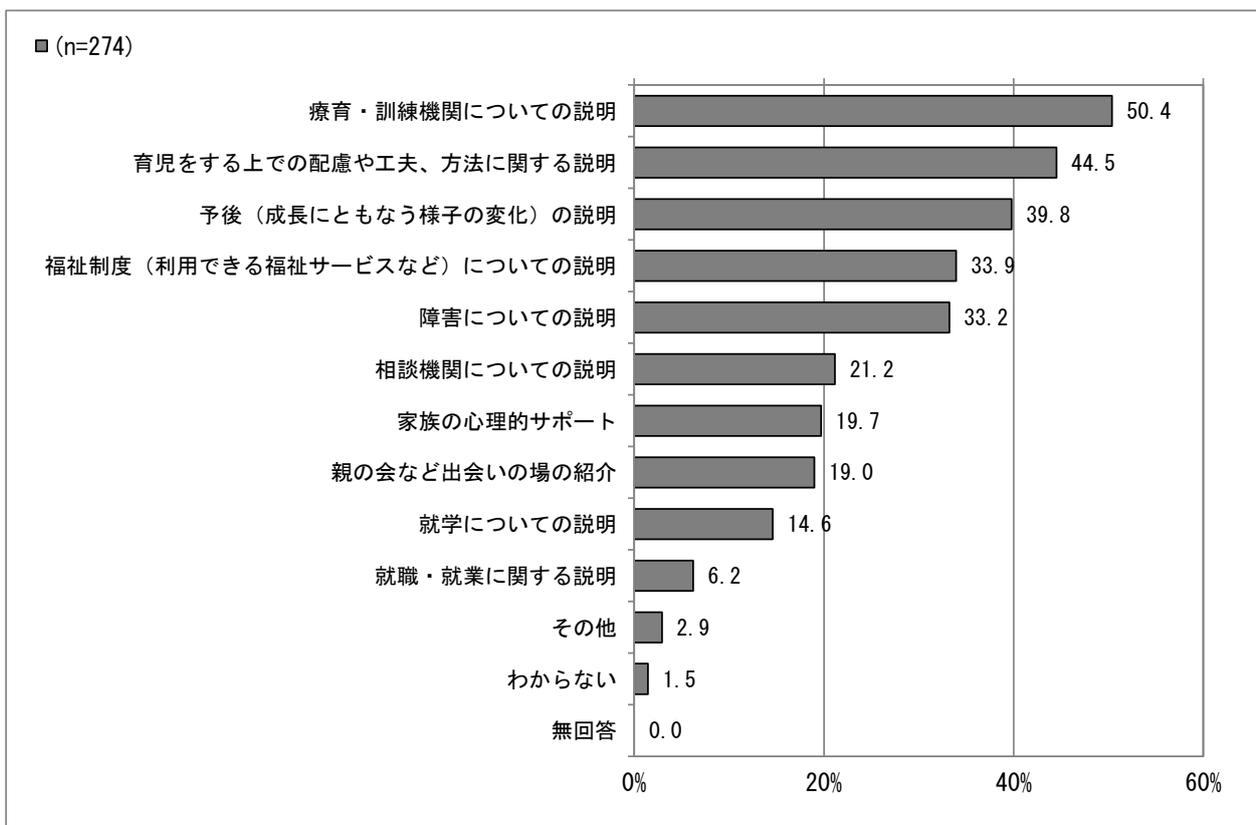
障害の診断・判定を受けたのは、「3歳7ヶ月まで」(42.0%)が最も高く、次いで「出生直後」と「1歳6ヶ月まで」がともに14.6%となっている。

問8 ご本人が障害の診断・判定を受けたところはどこですか。(SA)



障害の診断・判定を受けたところは、「医療機関(病院など)」(46.0%)が最も高く、次いで「発達相談支援センター(アーチル)」(44.2%)、「その他」(7.7%)となっている。

問9 障害の診断を受けたとき、あなた（このアンケートを記入している方）はどのような支援があると良いと思われましたか。（MA）

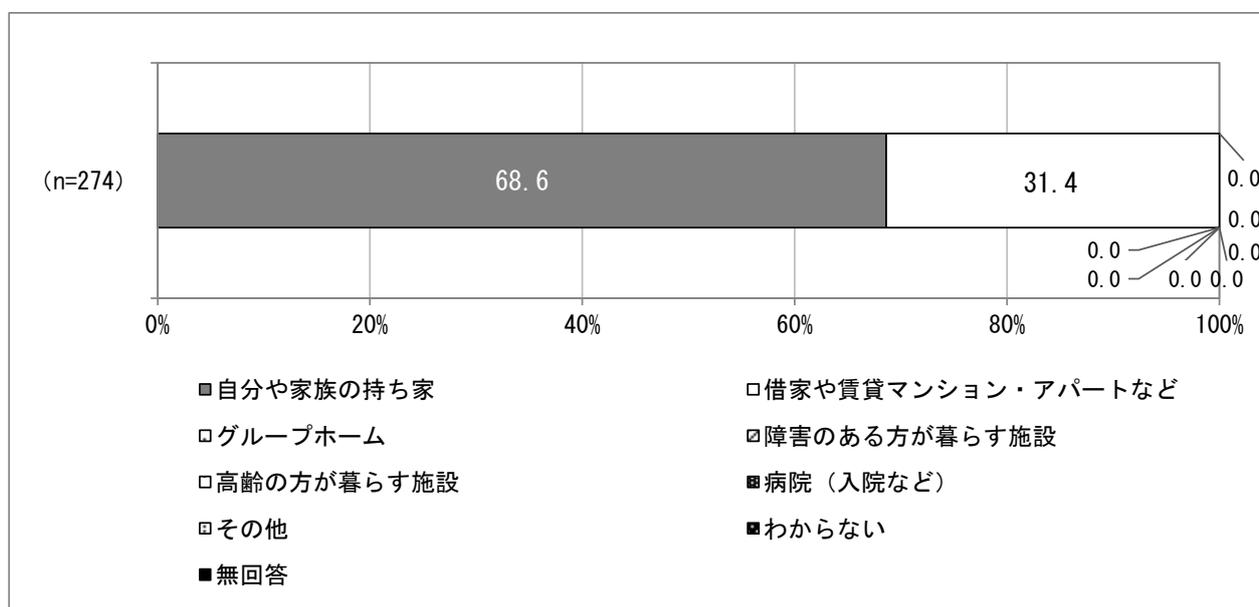


障害の診断を受けたときにあると良いと思った支援は、「療育・訓練機関についての説明」(50.4%)が最も高く、次いで「育児をする上での配慮や工夫、方法に関する説明」(44.5%)、「予後（成長にともなう様子の変化）の説明」(39.8%)となっている。

## 2 住まいと暮らしについて

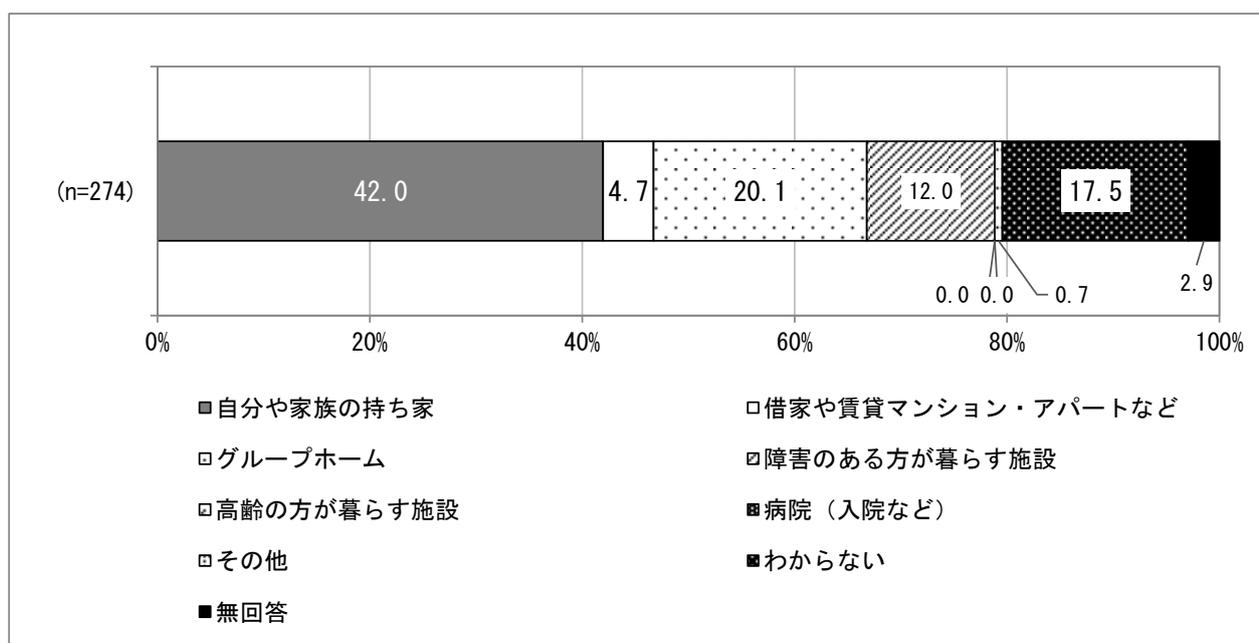
問10 お住まいについておたずねします。

(ア) 現在、ご本人はどこにお住まいですか。(SA)



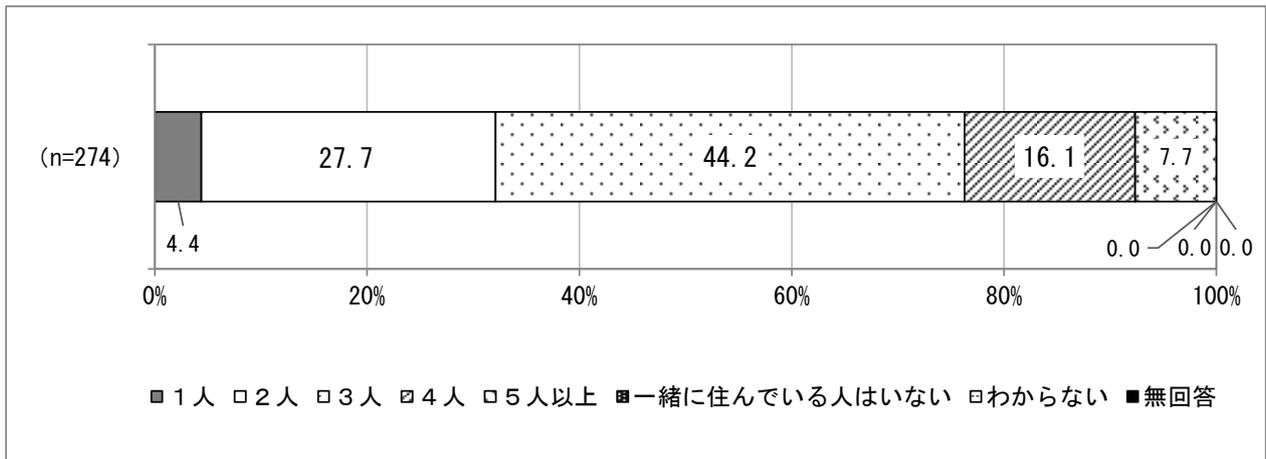
現在の住まいは、「自分や家族の持ち家」(68.6%)が最も高く、次いで「借家や賃貸マンション・アパートなど」(31.4%)となっている。

(イ) 将来は、どこで暮らしてほしいと思っていますか。(SA)



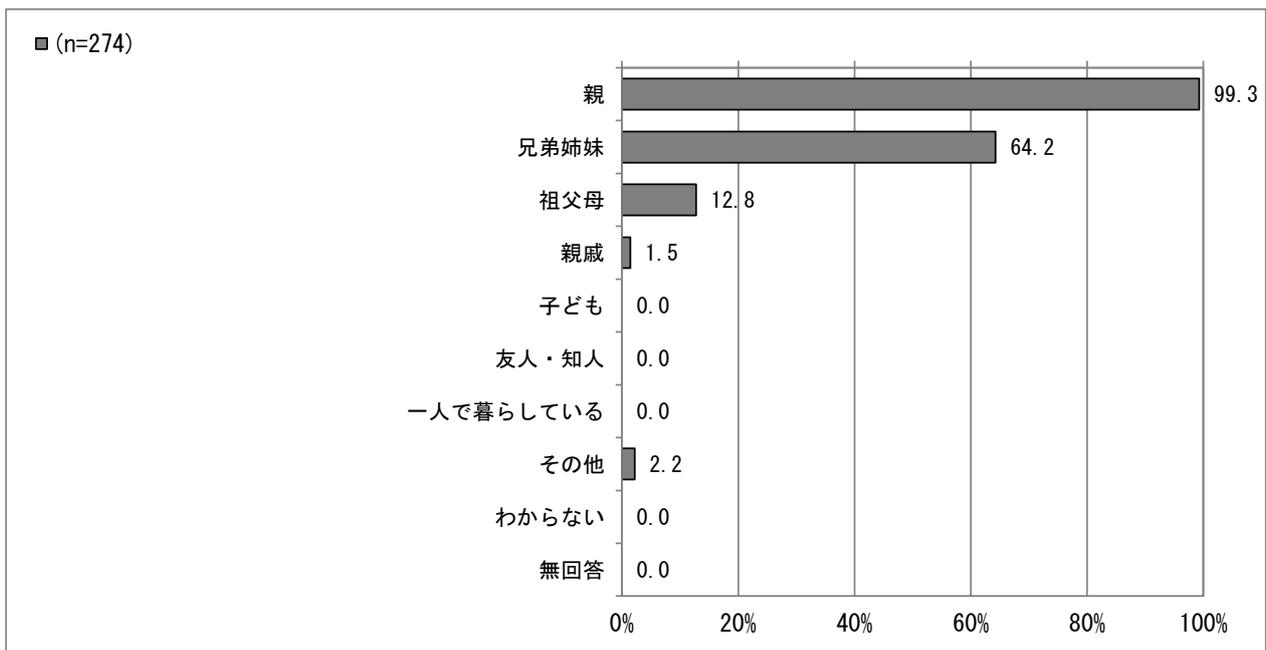
将来の希望する住まいは、「自分や家族の持ち家」(42.0%)が最も高く、次いで「グループホーム」(20.1%)、「わからない」(17.5%)となっている。

問 11 ご本人と一緒に住んでいる人は何人いますか。(本人除く) (SA)



同居人数は、「3人」(44.2%)が最も高く、次いで「2人」(27.7%)、「4人」(16.1%)となっている。

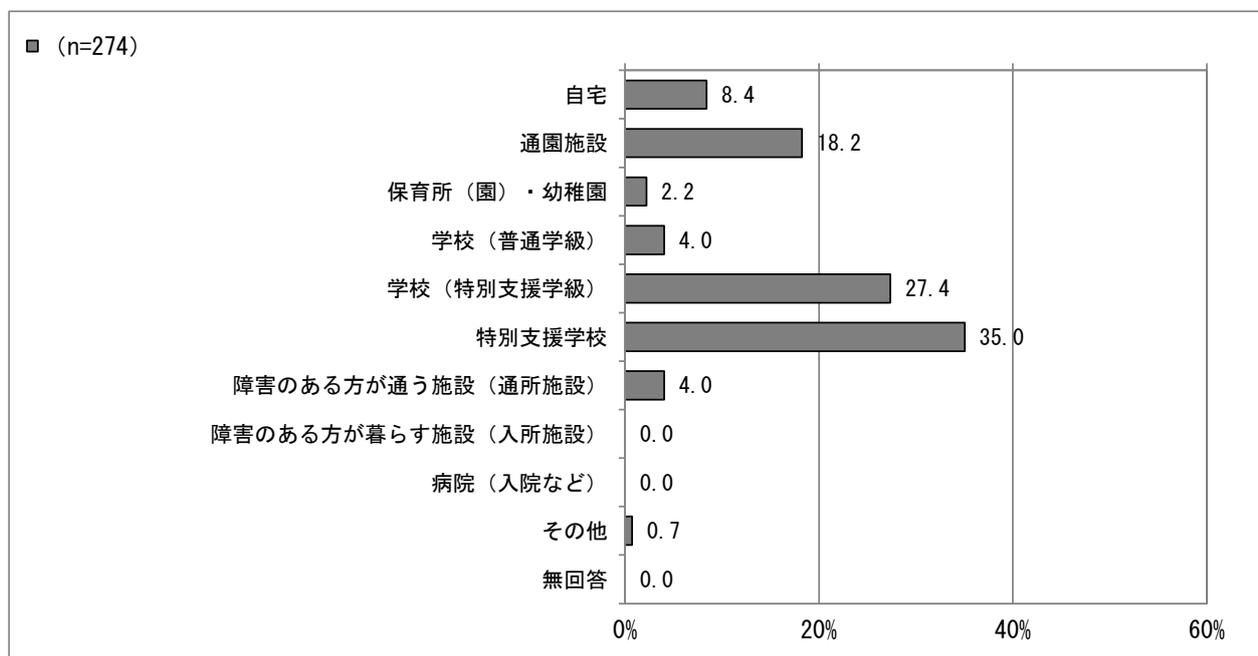
問 12 ご本人と一緒に住んでいる人は誰ですか。(MA)



同居者は、「親」(99.3%)が最も高く、次いで「兄弟姉妹」(64.2%)、「祖父母」(12.8%)となっている。

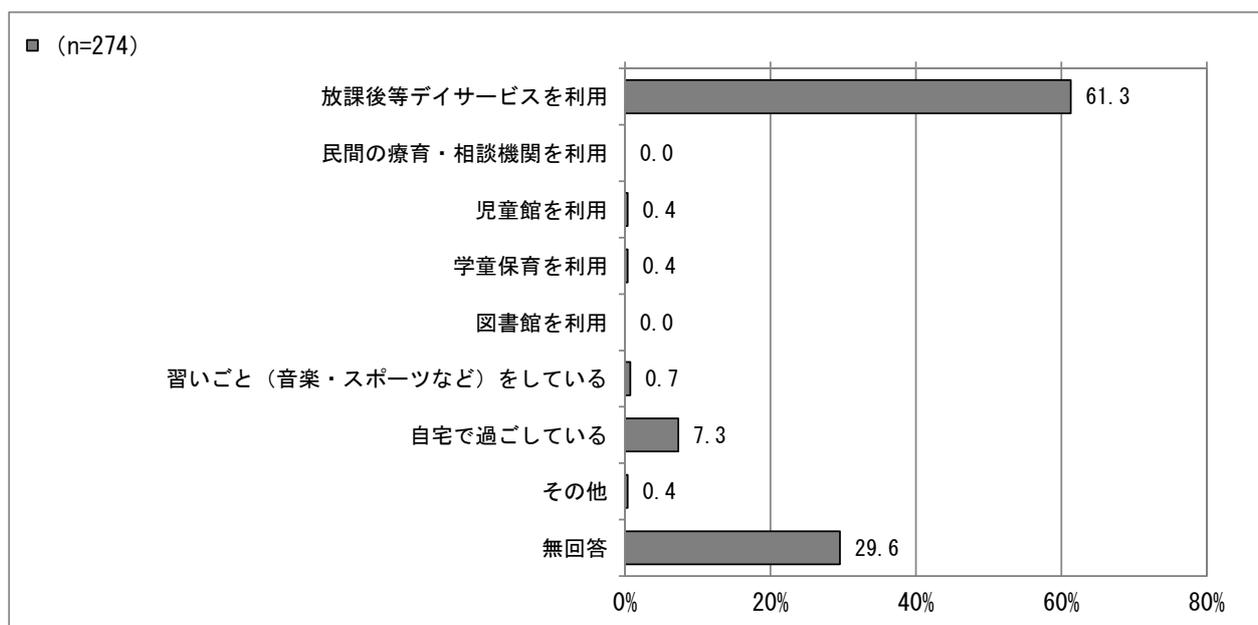
## 3 日常生活について

問 13 平日の日中の過ごし方についておたずねします。ご本人が主に過ごしている場所はどこですか。(SA)



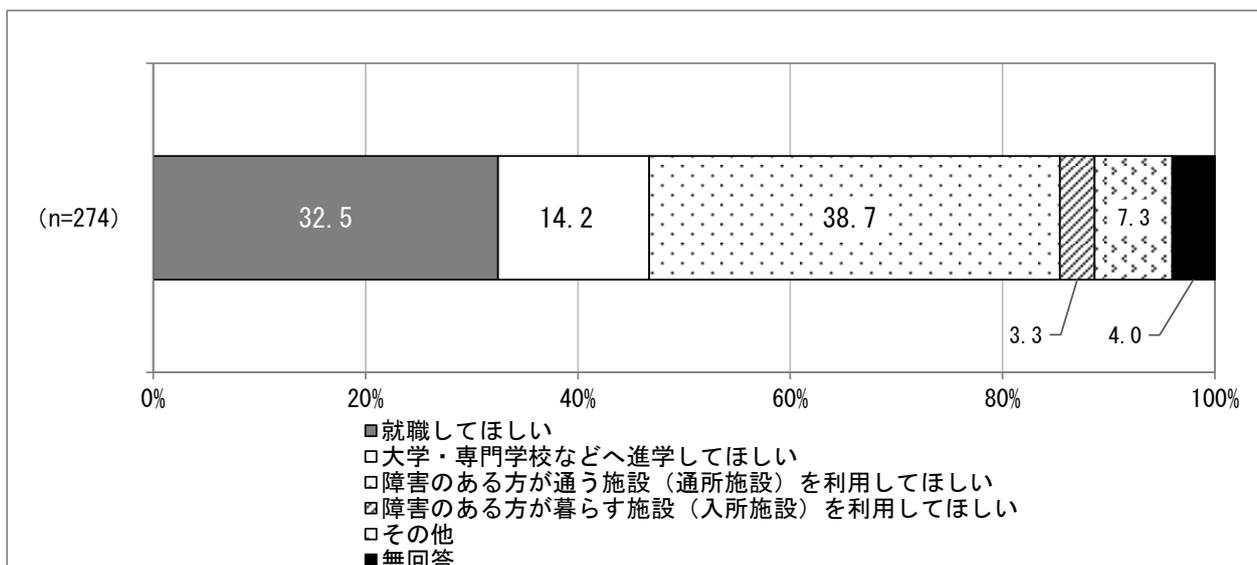
平日日中に主に過ごしている場所は、「特別支援学校」(35.0%)が最も高く、次いで「学校(特別支援学級)」(27.4%)、「通園施設」(18.2%)となっている。

問 14 学齢期(主に6~18歳)のご本人がいらっしゃる方におたずねします。平日の日中の放課後、ご本人はどのように過ごしていますか。(SA)



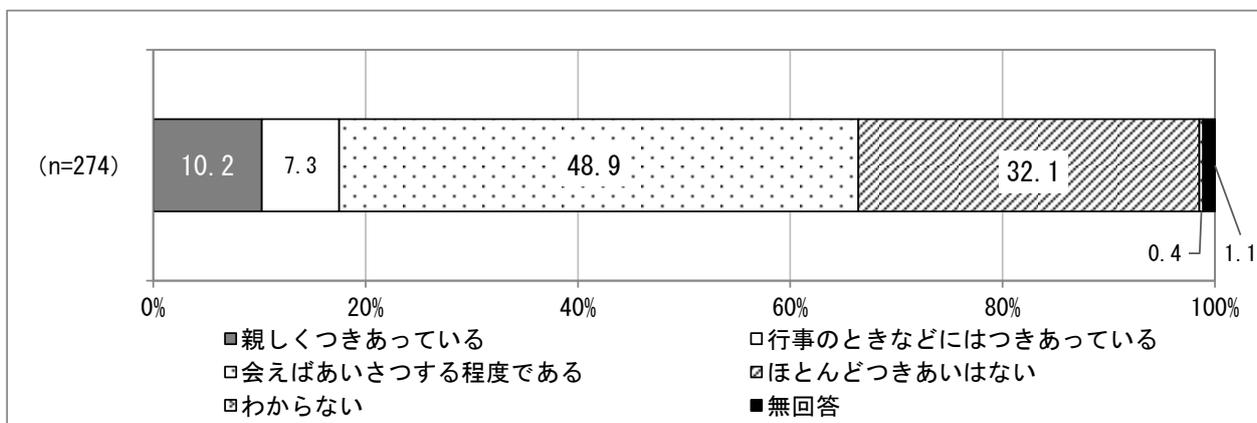
平日の日中の放課後の過ごし方は、「放課後等デイサービスを利用」(61.3%)が最も高く、次いで「自宅で過ごしている」(7.3%)となっている。

問 15 ご本人が学校(高校・高等部)を卒業した後の進路についてどのようにお考えですか。(SA)



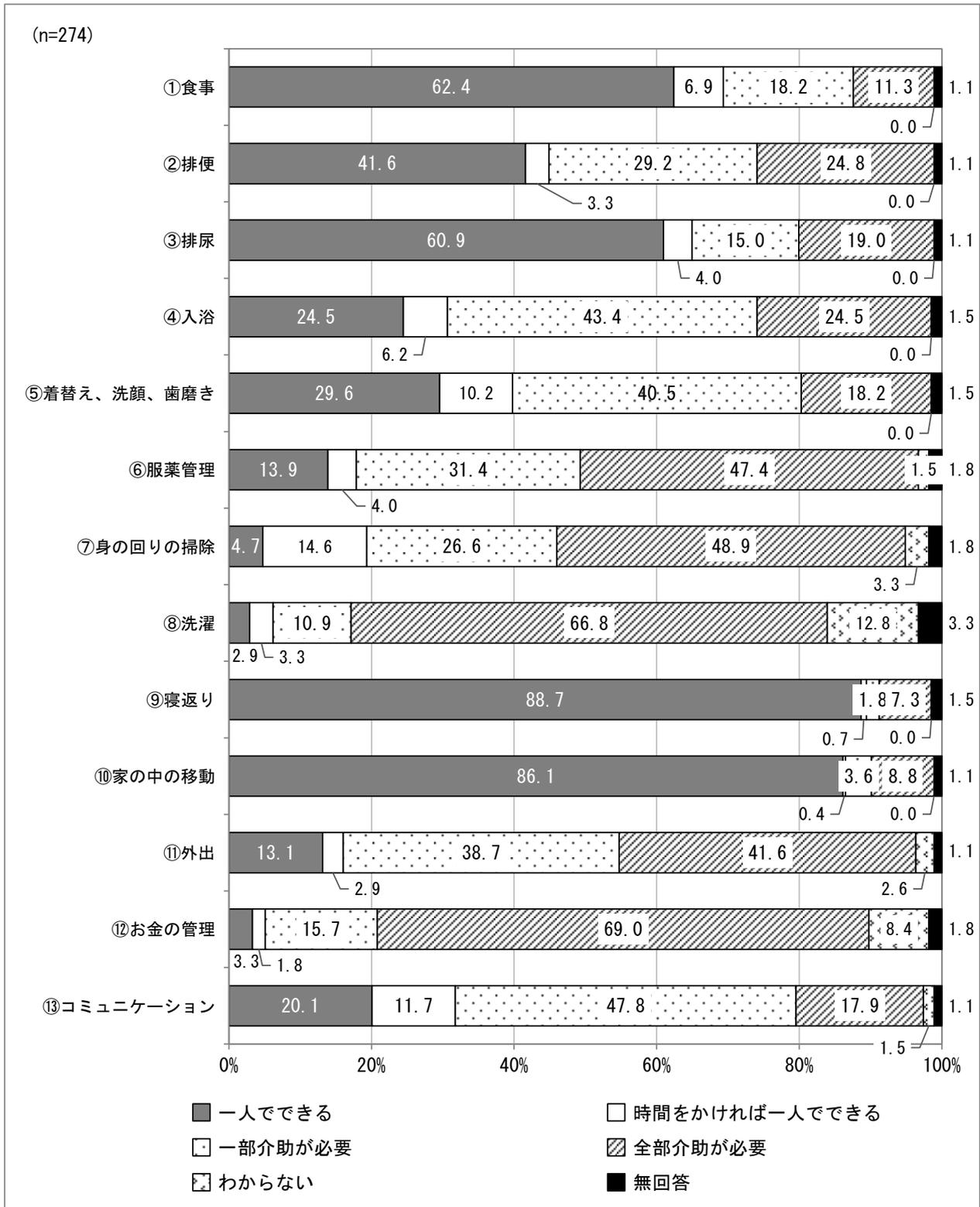
卒業後の進路についての考えは、「障害のある方が通う施設(通所施設)を利用してほしい」(38.7%)が最も高く、次いで「就職してほしい」(32.5%)、「大学・専門学校などへ進学してほしい」(14.2%)となっている。

問 16 ご本人は隣近所の人とどのようにつきあっていますか。(SA)



隣近所とのつきあいは、「会えばあいさつする程度である」(48.9%)が最も高く、次いで「ほとんどつきあいはない」(32.1%)、「親しくつきあっている」(10.2%)となっている。

問17 ご本人は、食事や排泄など日常生活における①～⑬の動作を、自分ひとりでできますか。(現在所持している補装具などを使用した状態で回答) (SA)

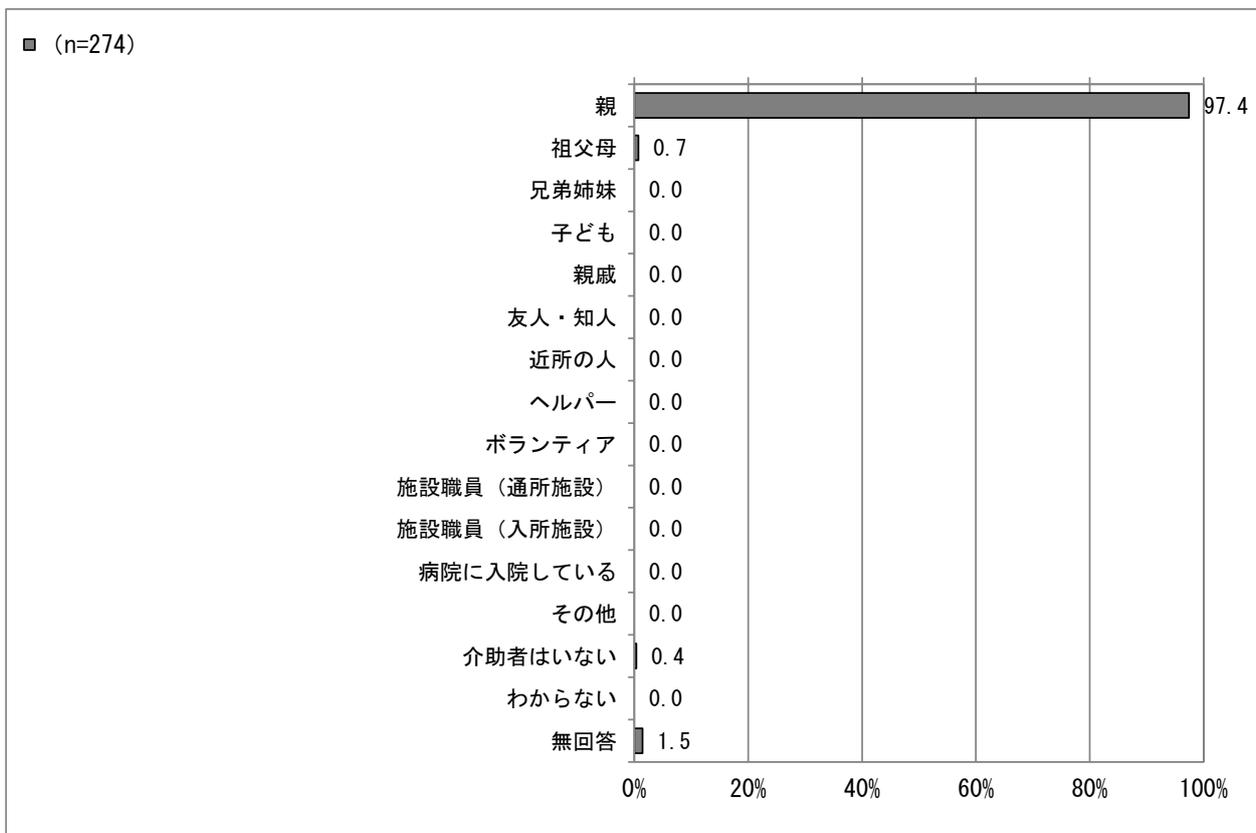


「一人で行える」のは、「⑨寝返り」(88.7%)・「⑩家の中の移動」(86.1%)・「①食事」(62.4%)・「③排尿」(60.9%)で60%以上となっている。

また、「全部介助が必要」なのは、「⑫お金の管理」(69.0%)・「⑧洗濯」(66.8%)で60%以上となっている。

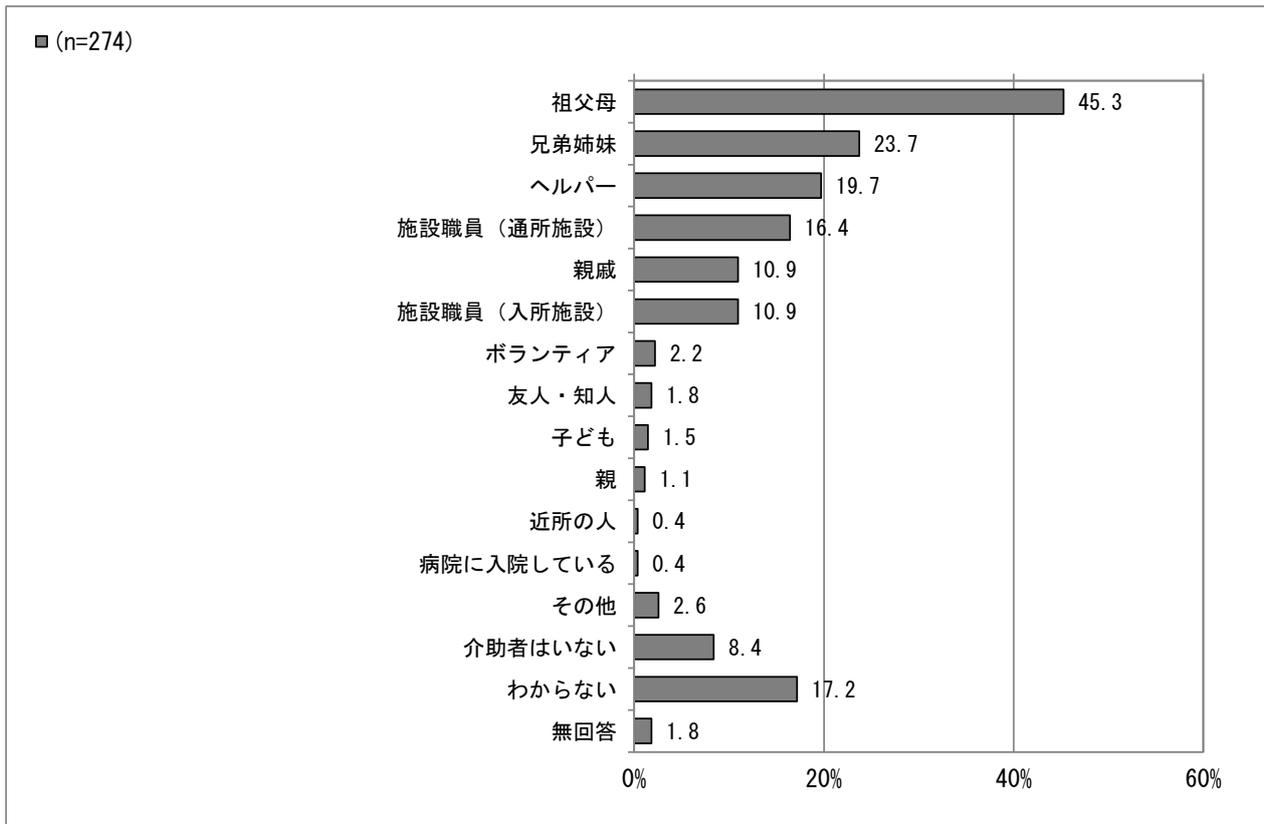
問 18 介助者についておたずねします。

(ア) ご本人の主な介助者は誰ですか。(SA)



主な介助者は、「親」(97.4%)が95%以上を占めている。

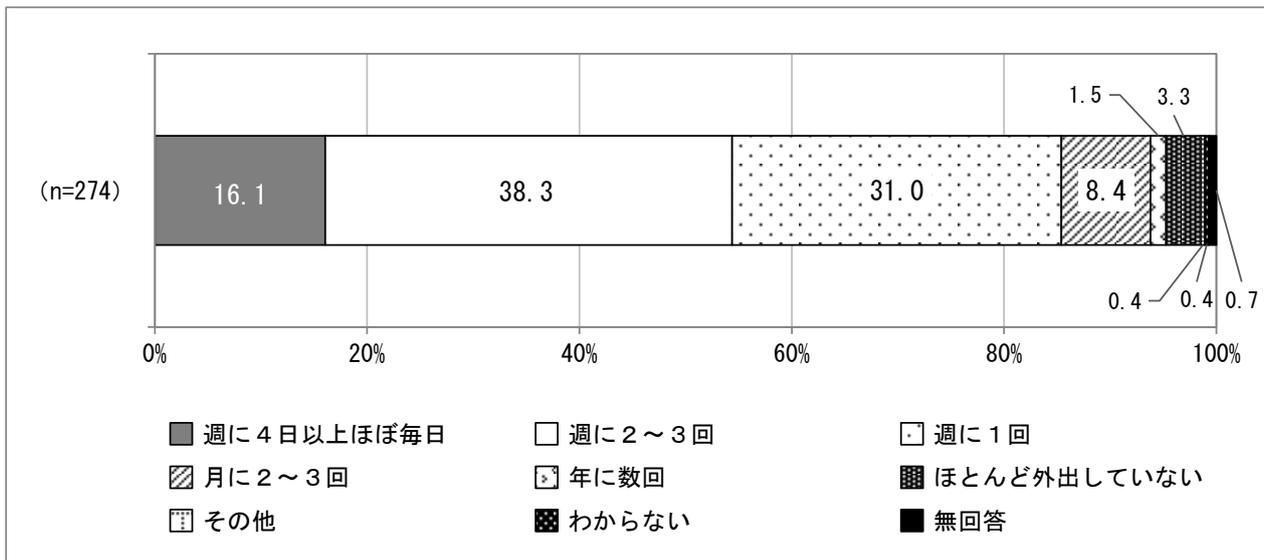
## (イ) もし現在の介助者に頼むことができなくなったら、誰に頼みますか。(MA)



現在の介助者に頼むことができなくなった場合に頼む相手は、「祖父母」(45.3%)が最も高く、次いで「兄弟姉妹」(23.7%)、「ヘルパー」(19.7%)となっている。

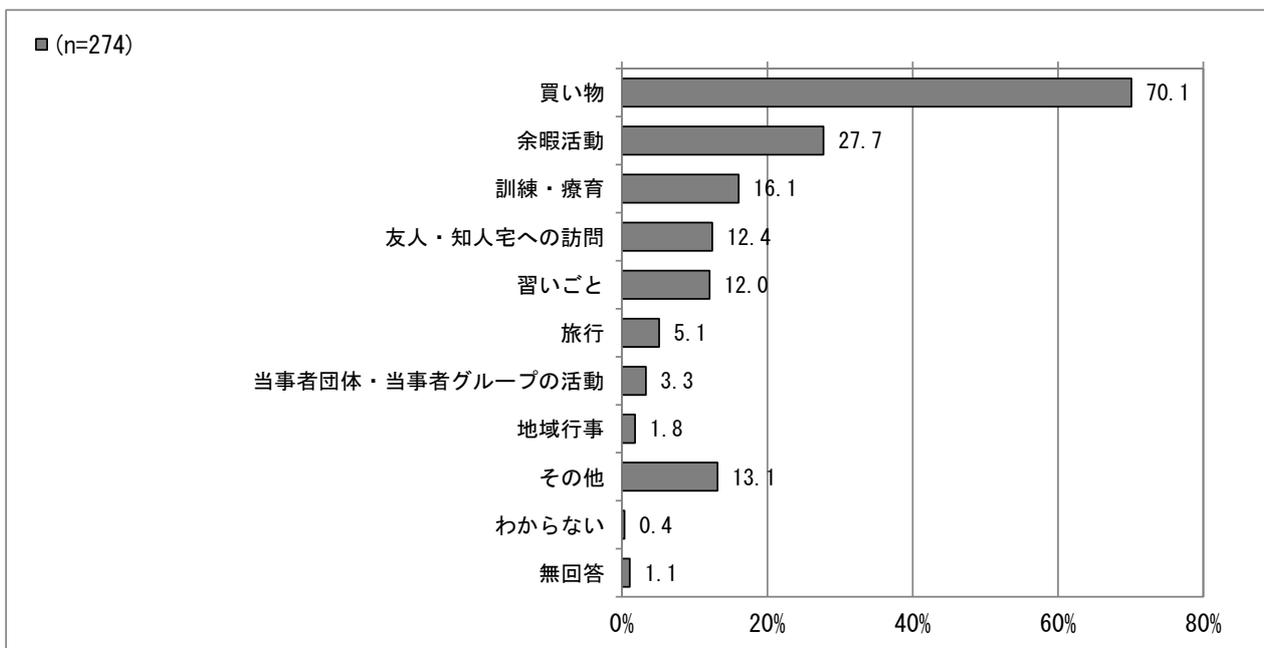
#### 4 社会参加について

問 19 ご本人はどのくらいの頻度で外出していますか。(通勤、通学、通園、通院、通所での外出は除く) (SA)



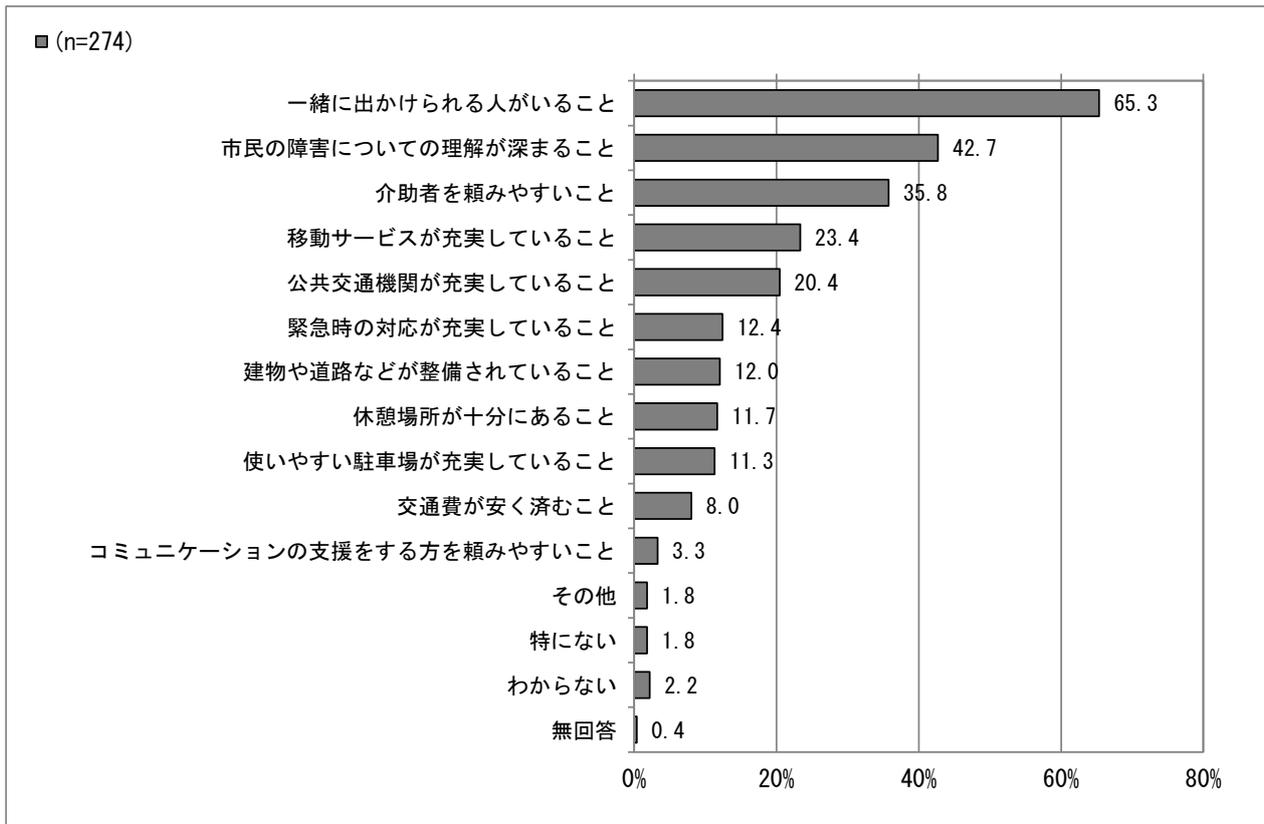
外出の頻度は、「週に2~3回」(38.3%)が最も高く、次いで「週に1回」(31.0%)、「週に4日以上ほぼ毎日」(16.1%)となっている。

問 20 ご本人の主な外出の目的は何ですか。(通勤、通学、通園、通院、通所での外出は除く) (MA)



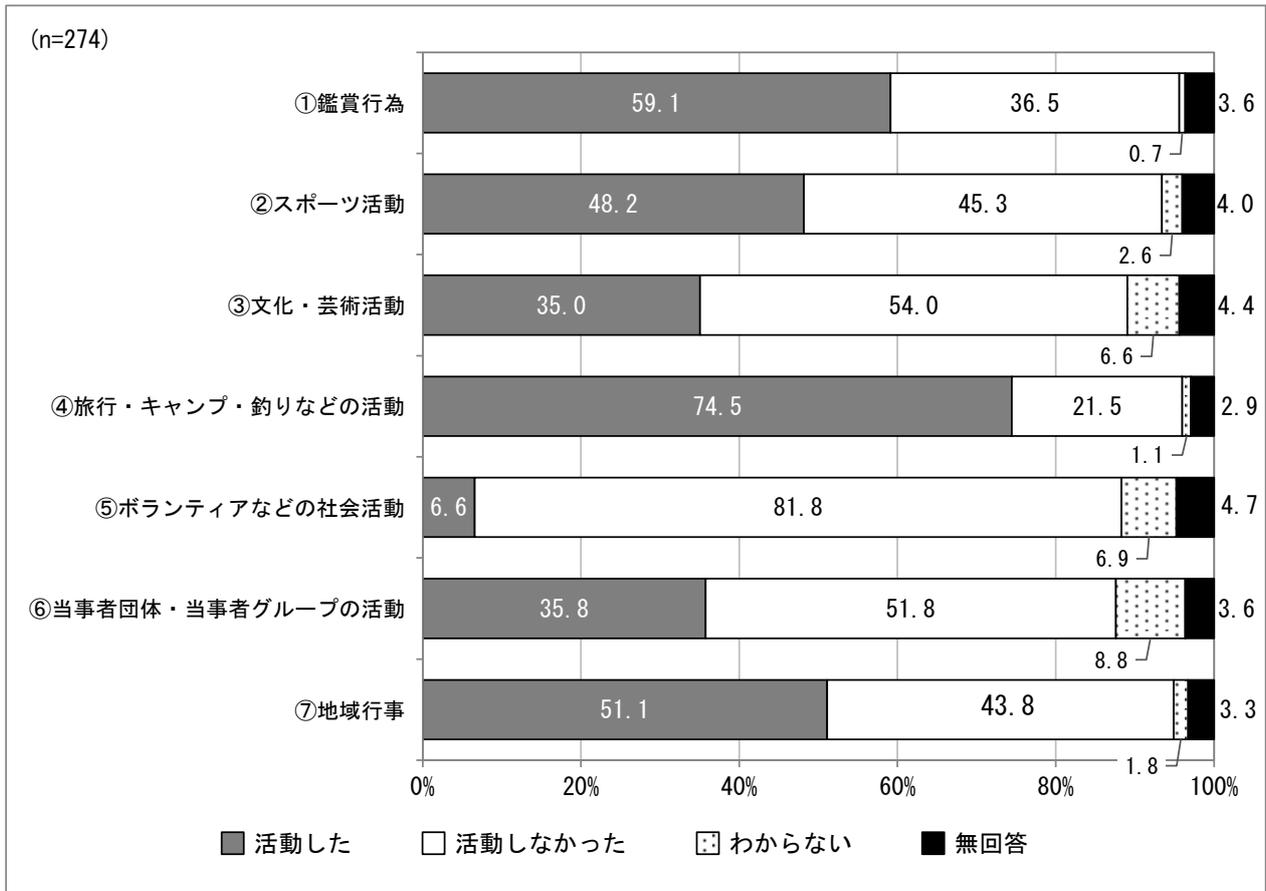
外出の主な目的は、「買い物」(70.1%)が最も高く、次いで「余暇活動」(27.7%)、「訓練・療育」(16.1%)となっている。

## 問21 ご本人がより外出しやすくなるためには何が必要ですか。(MA)



本人がより外出しやすくなるためには、「一緒に出かけられる人がいること」(65.3%)が最も高く、次いで「市民の障害についての理解が深まること」(42.7%)、「介助者を頼みやすいこと」(35.8%)となっている。

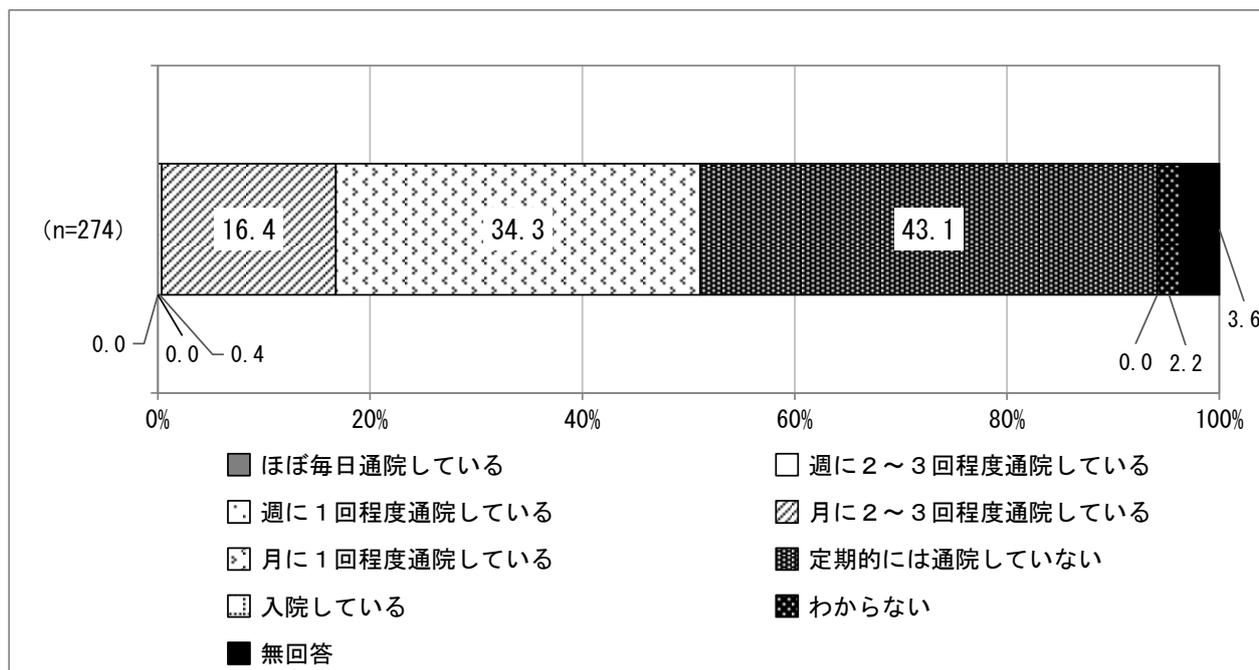
問 22 ご本人は過去一年間に、どのような余暇活動、スポーツ、趣味、学習や社会活動などをしましたか。(SA)



過去一年間に「活動した」割合は、「④旅行・キャンプ・釣りなどの活動」(74.5%)が最も高く、次いで「①鑑賞行為」(59.1%)、「⑦地域行事」(51.1%)となっている。

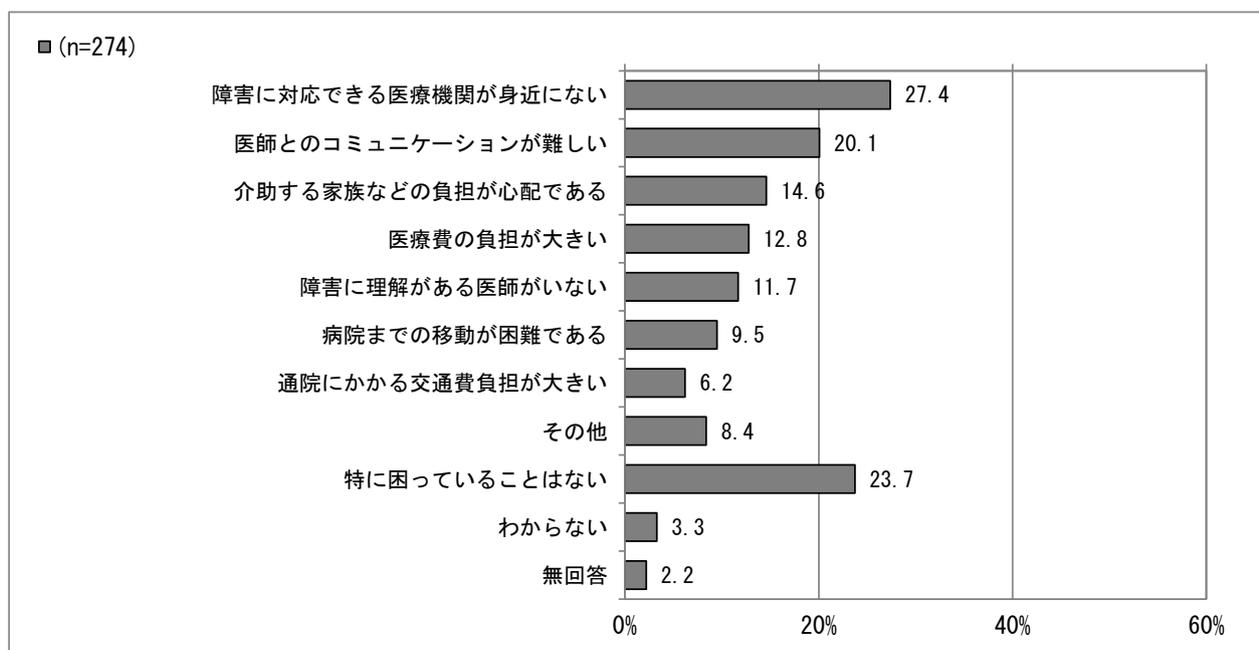
## 5 健康や医療について

問 23 ご本人は普段、定期的に通院していますか。(SA)



定期的な通院は、「定期的には通院していない」(43.1%)が最も高く、次いで、「月に1回程度通院している」(34.3%)「月に2~3回程度通院している」(16.4%)となっている。

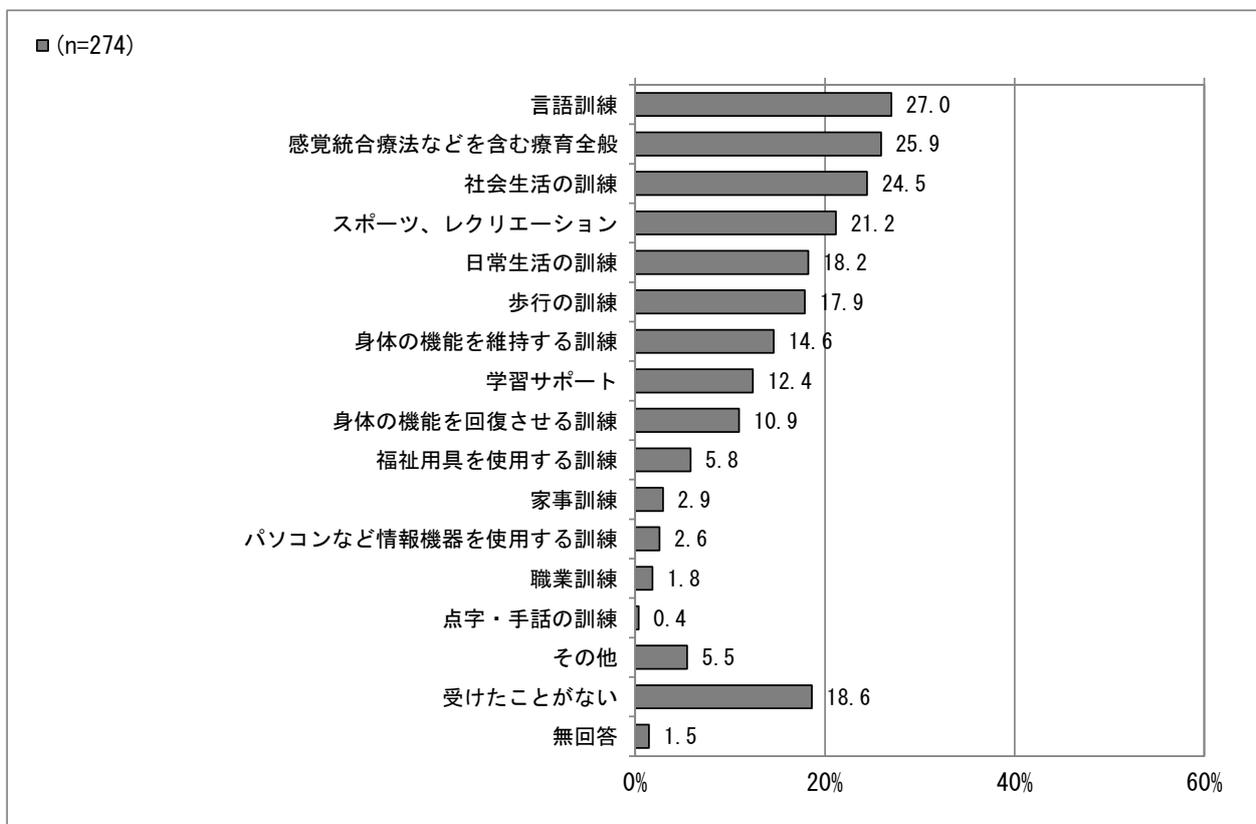
問 24 ご本人が医療機関を利用する際に困っていることは何ですか。(MA)



医療機関を利用する際に困っていることは、「障害に対応できる医療機関が身近にない」(27.4%)が最も高く、次いで「特に困っていることはない」(23.7%)、「医師とのコミュニケーションが難しい」(20.1%)となっている。

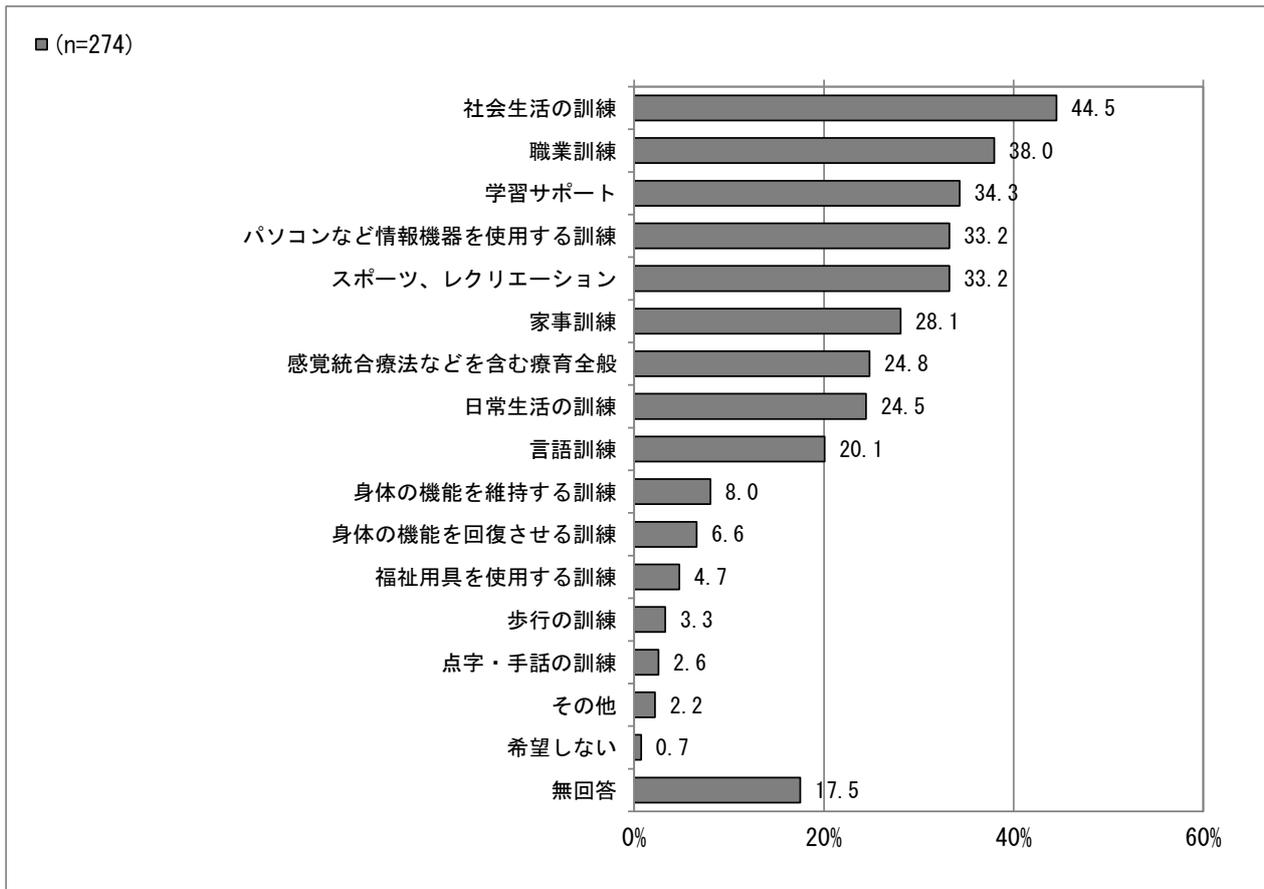
問 25 訓練などについておたずねします。

(ア) ご本人は、どのような訓練・リハビリテーション・療育を受けたことがありますか。  
(MA)



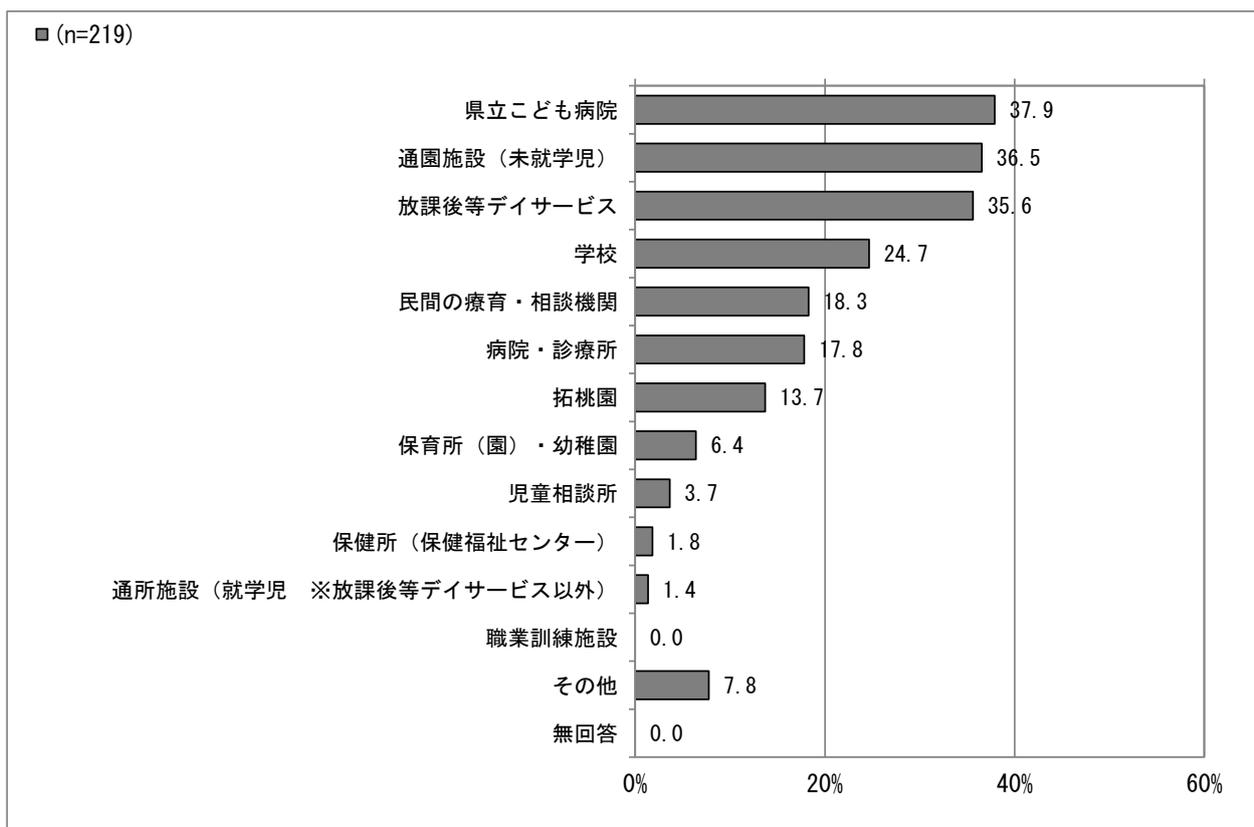
受けたことのある訓練・リハビリテーション・療育は、「言語訓練」(27.0%)が最も高く、次いで「感覚統合療法などを含む療育全般」(25.9%)、「社会生活の訓練」(24.5%)となっている。

(イ) 今後どのような訓練・リハビリテーション・療育を受けてほしいと思いますか。(MA)



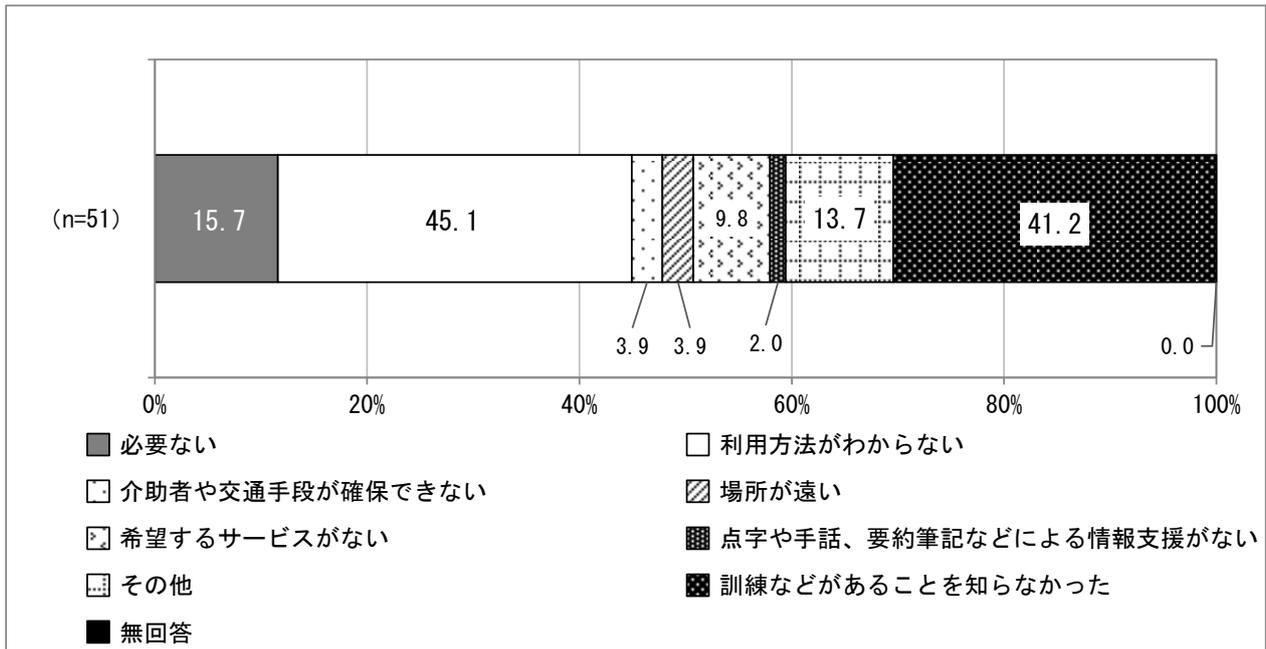
今後受けてほしいと思う訓練・リハビリテーション・療育は、「社会生活の訓練」(44.5%)が最も高く、次いで「職業訓練」(38.0%)、「学習サポート」(34.3%)となっている。

問 26 ご本人はどこでその訓練を受けましたか。(MA)



訓練を受けた場所は、「県立こども病院」(37.9%)が最も高く、次いで「通園施設 (未就学児)」(36.5%)、「放課後等デイサービス」(35.6%)となっている。

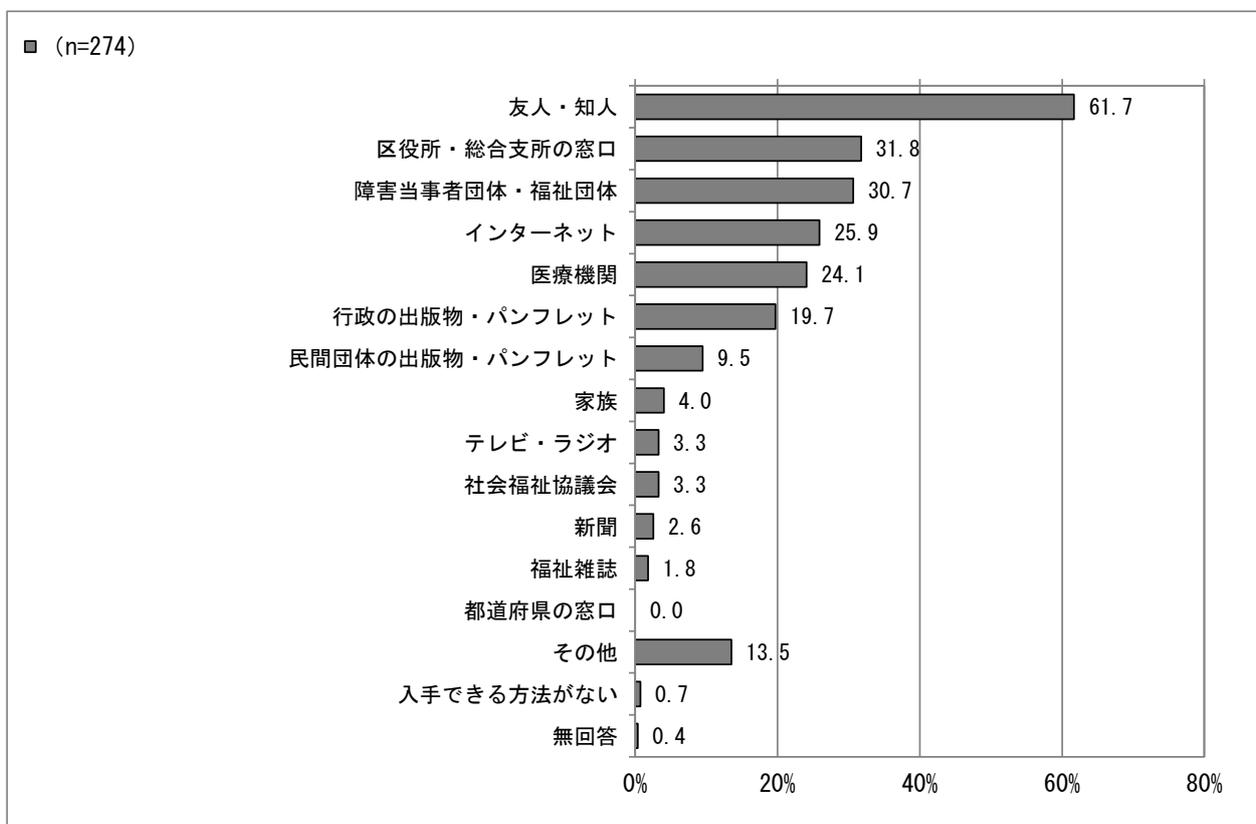
問27 問25で「受けたことがない」を選んだ方におたずねします。受けたことがない理由は何ですか。(MA)



受けたことがない理由は、「利用方法がわからない」(45.1%)が最も高く、次いで「訓練などがあることを知らなかった」(41.2%)「必要ない」(15.7%)となっている。

## 6 福祉サービスについて

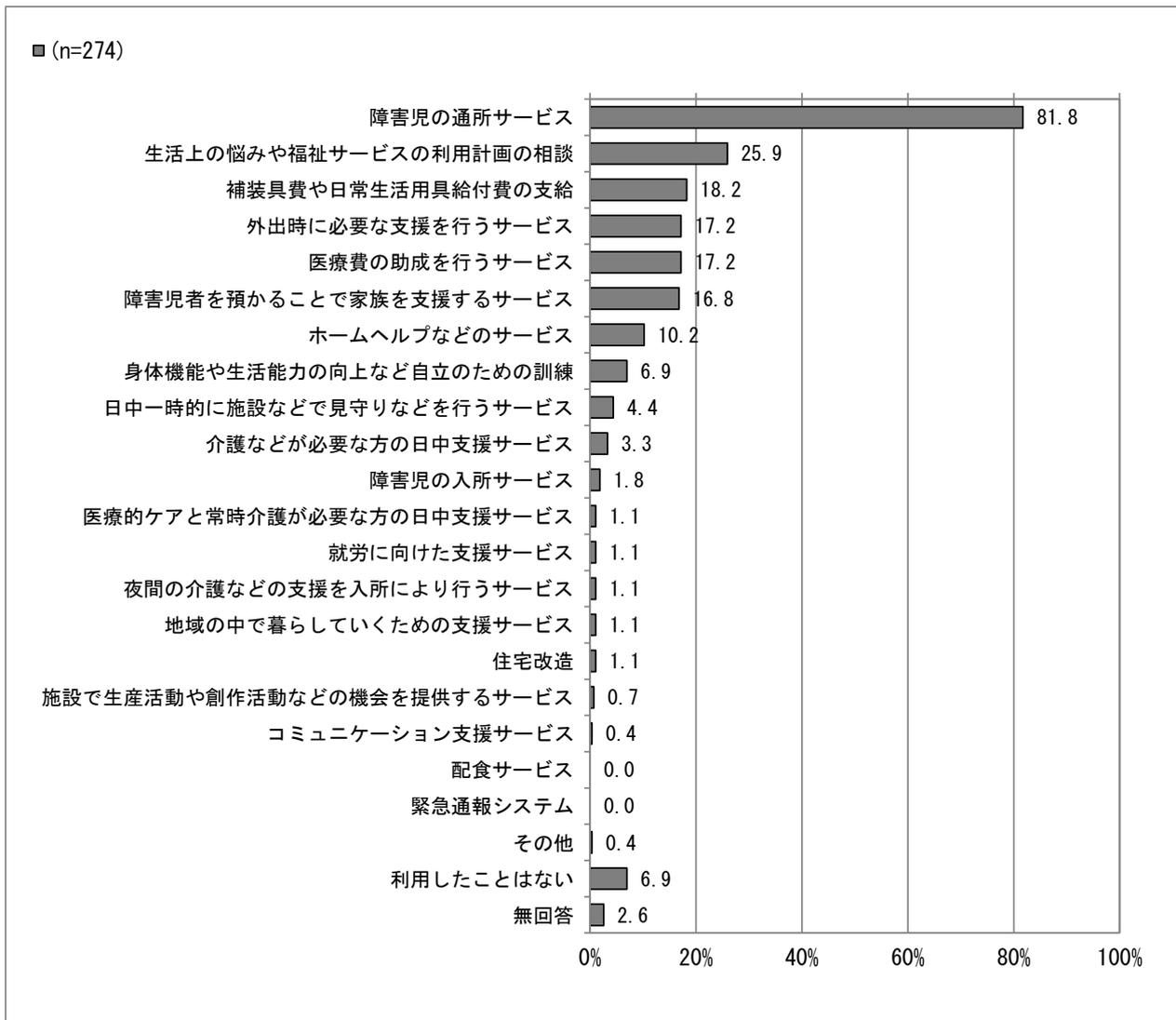
問 28 あなた（このアンケートを記入している方）はどのようなところから福祉サービスの情報を得ていますか。（MA）



福祉サービス情報の入手先は、「友人・知人」（61.7%）が最も高く、次いで「区役所・総合支所の窓口」（31.8%）、「障害当事者団体・福祉団体」（30.7%）となっている。

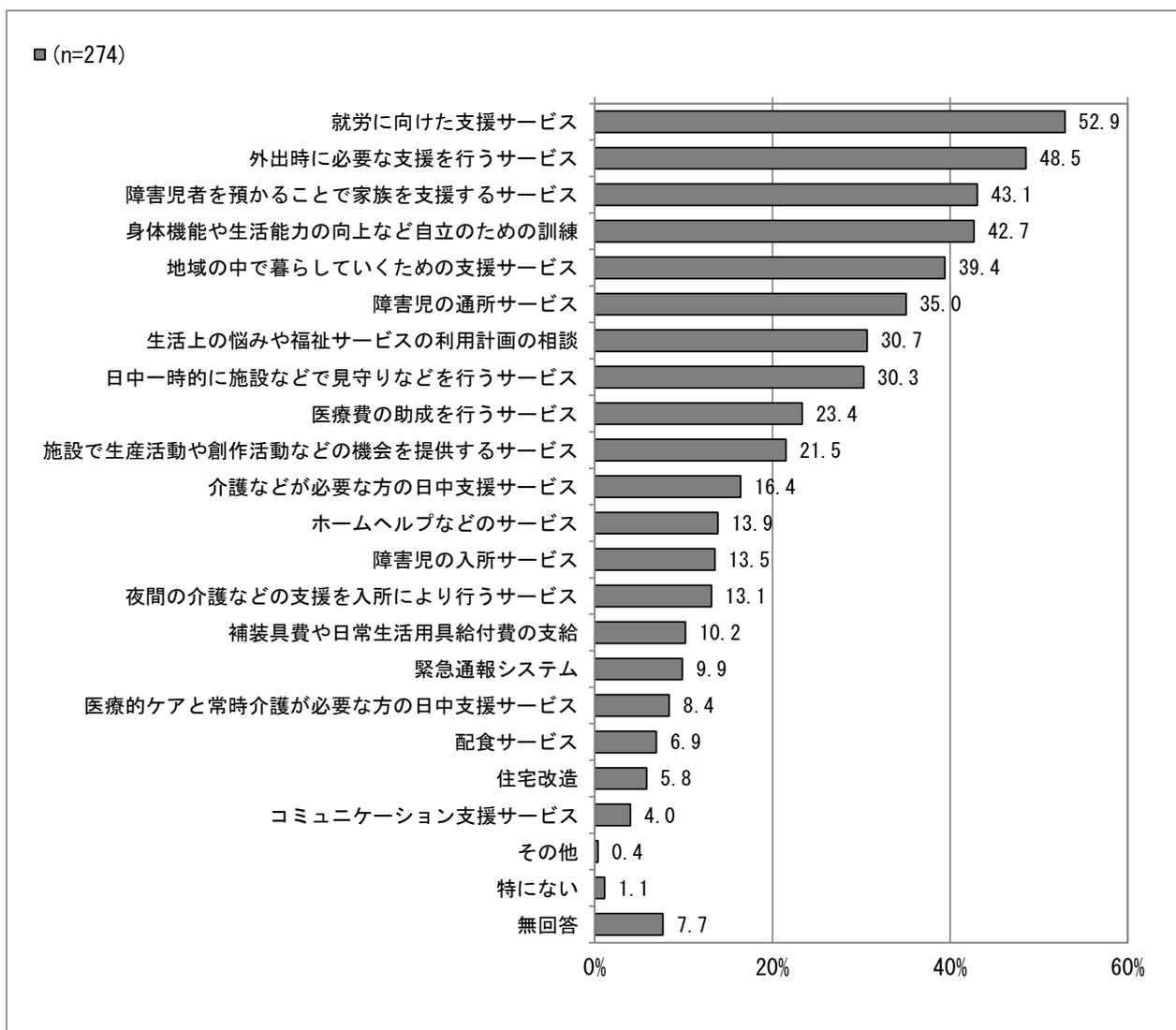
問 29 「障害のある方の福祉サービス」についておたずねします。

(ア) ご本人はこれまでにどのようなサービスを利用したことがありますか。(MA)



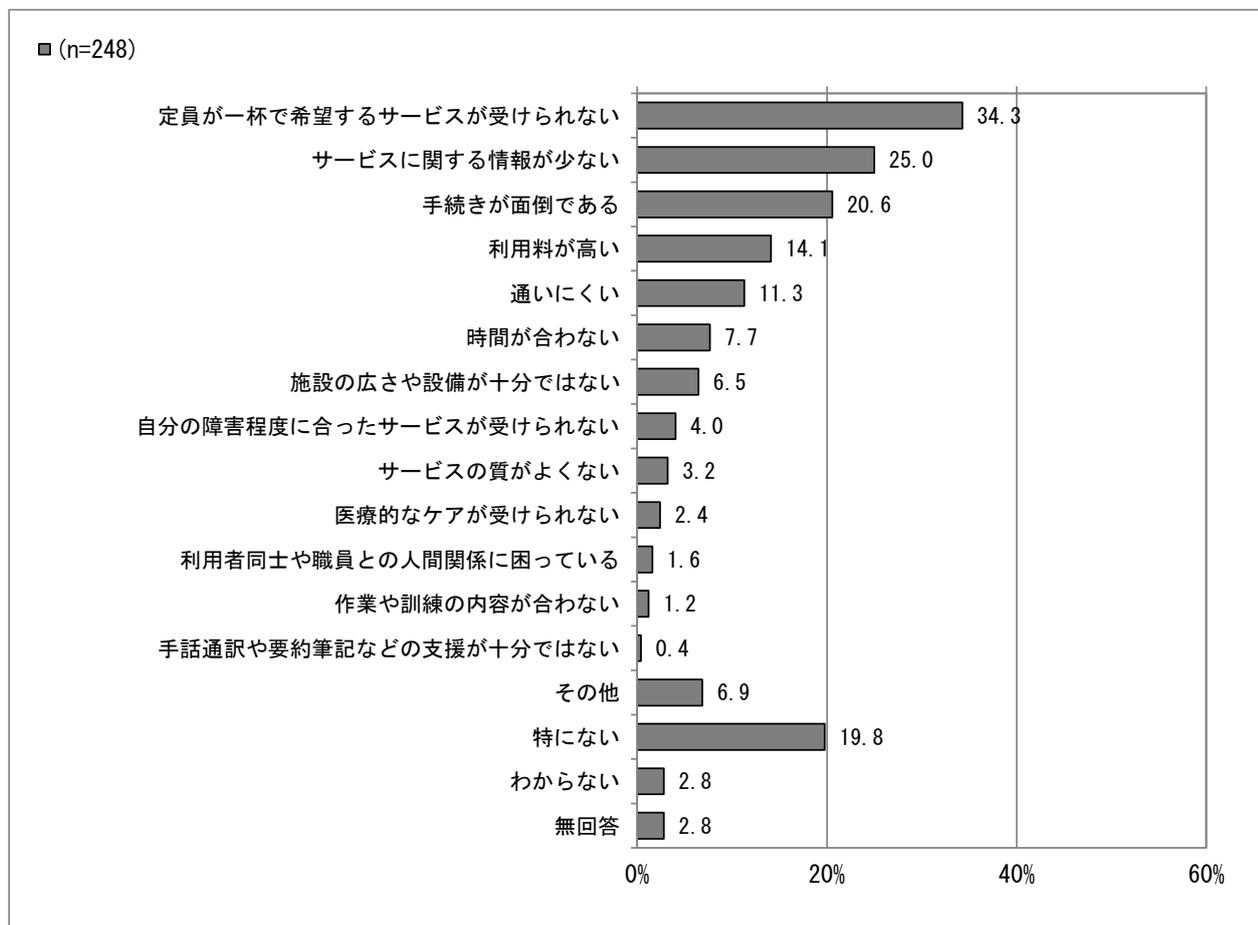
これまでに利用したことのあるサービスは、「障害児の通所サービス」(81.8%)が最も高く、次いで「生活上の悩みや福祉サービスの利用計画の相談」(25.9%)、「補装具費や日常生活用具給付費の支給」(18.2%)となっている。

(イ) 今後、ご本人に利用してほしいと思うサービスは何ですか。(MA)



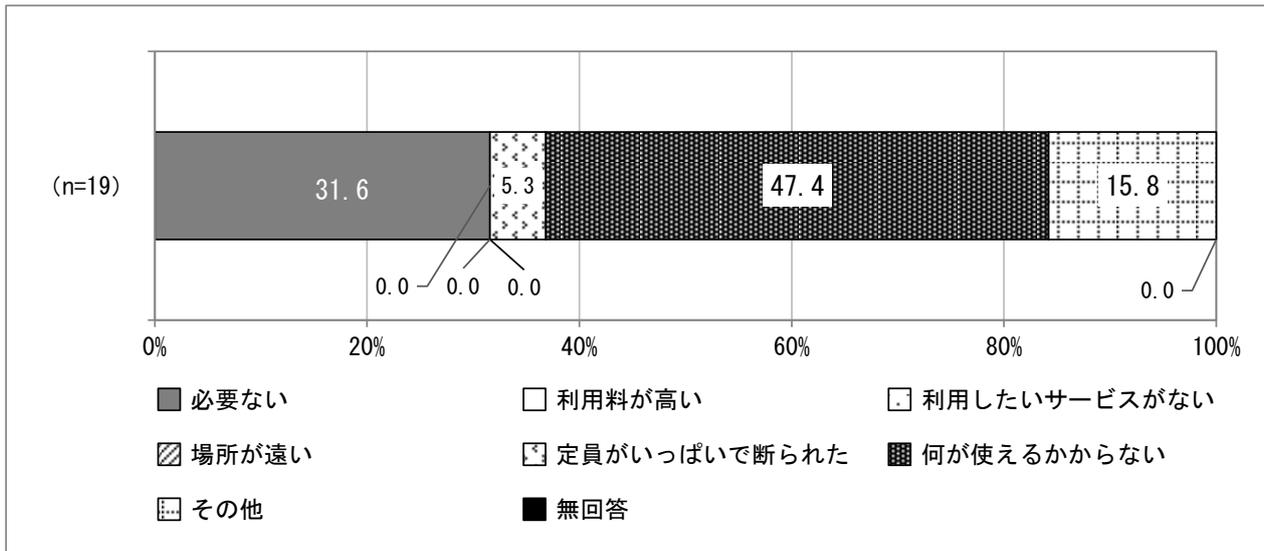
今後利用してほしいと思うサービスは、「就労に向けた支援サービス」(52.9%)が最も高く、次いで「外出時に必要な支援を行うサービス」(48.5%)、「障害児者を預かることで家族を支援するサービス」(43.1%)となっている。

問30 問29で「利用したことはない」と「特にない」以外のどれかひとつでも選んだ方におたずねします。ご本人が「障害のある方の福祉サービス」を利用するにあたって困っていることは何ですか。(MA)



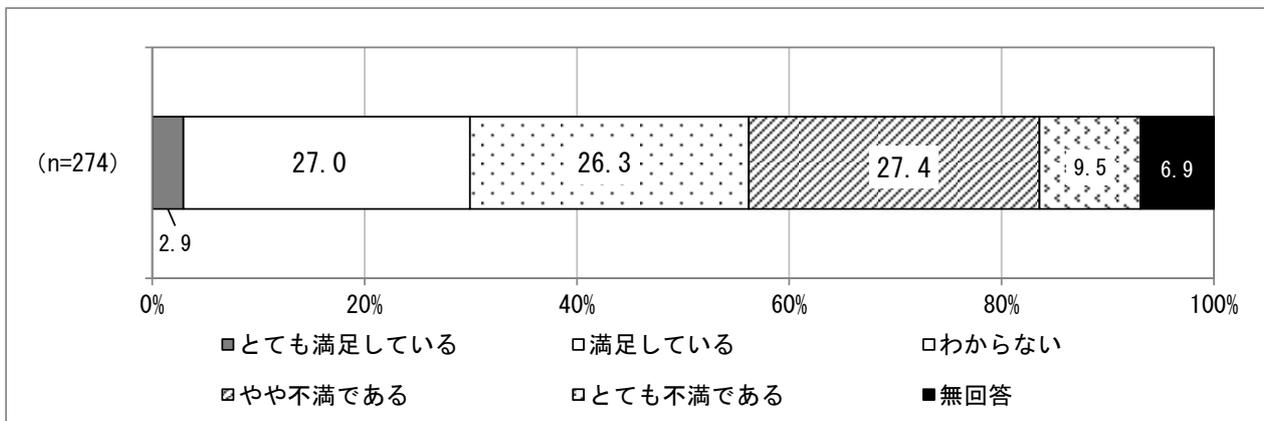
「障害のある方の福祉サービス」を利用するにあたって困っていることは、「定員が一杯で希望するサービスが受けられない」(34.3%)が最も高く、次いで「サービスに関する情報が少ない」(25.0%)、「手続きが面倒である」(20.6%)となっている。

問 31 問 29 で「利用したことはない」を選んだ方におたずねします。利用したことがない理由は何ですか。(SA)



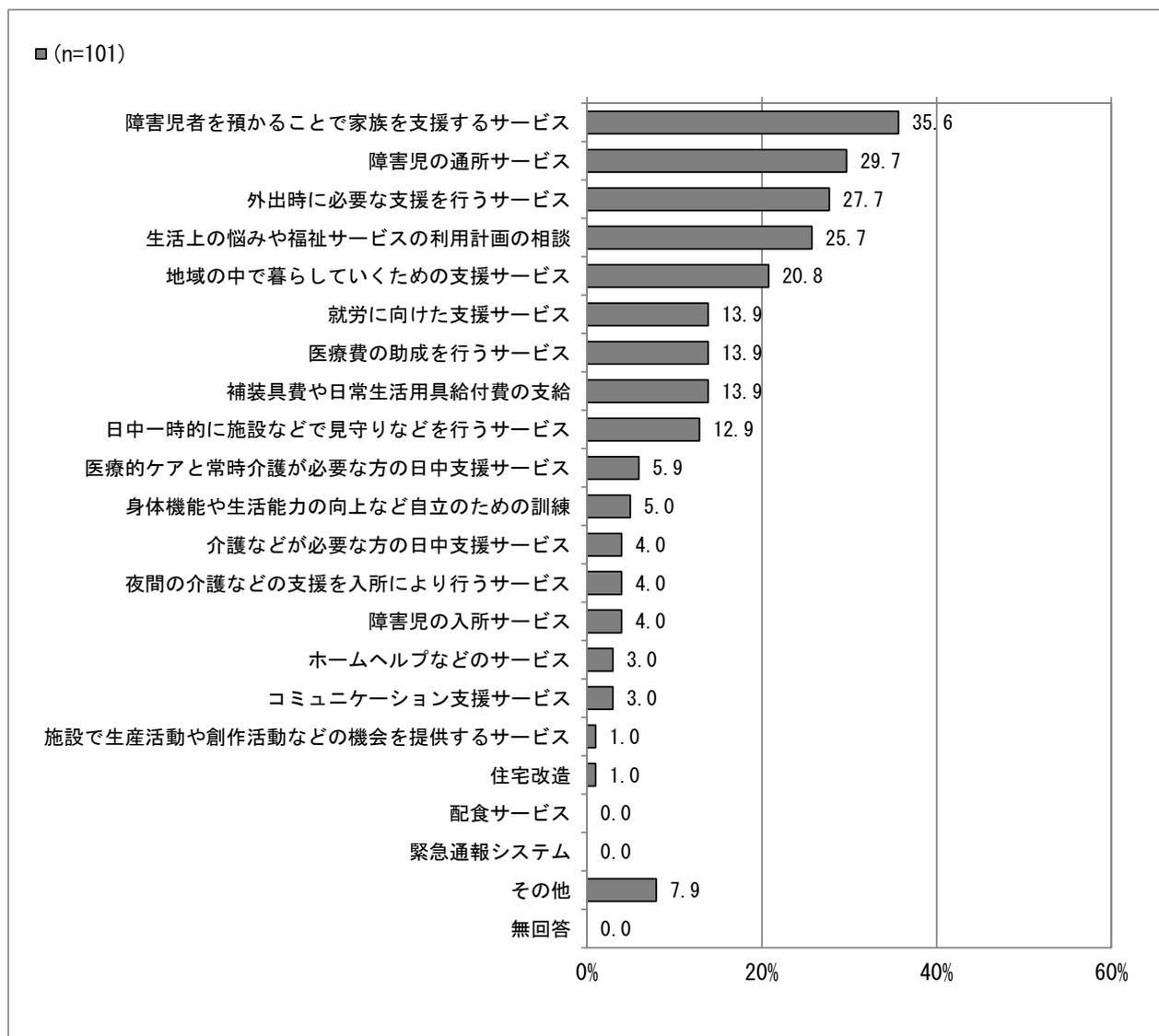
利用したことがない理由は、「何が使えるかわからない」(47.4%)が最も高く、次いで「必要ない」(31.6%)、「その他」(15.8%)となっている。

問 32 現在、あなた(このアンケートを記入している方)は仙台市にある「障害のある方の福祉サービス」に満足していますか。(SA)



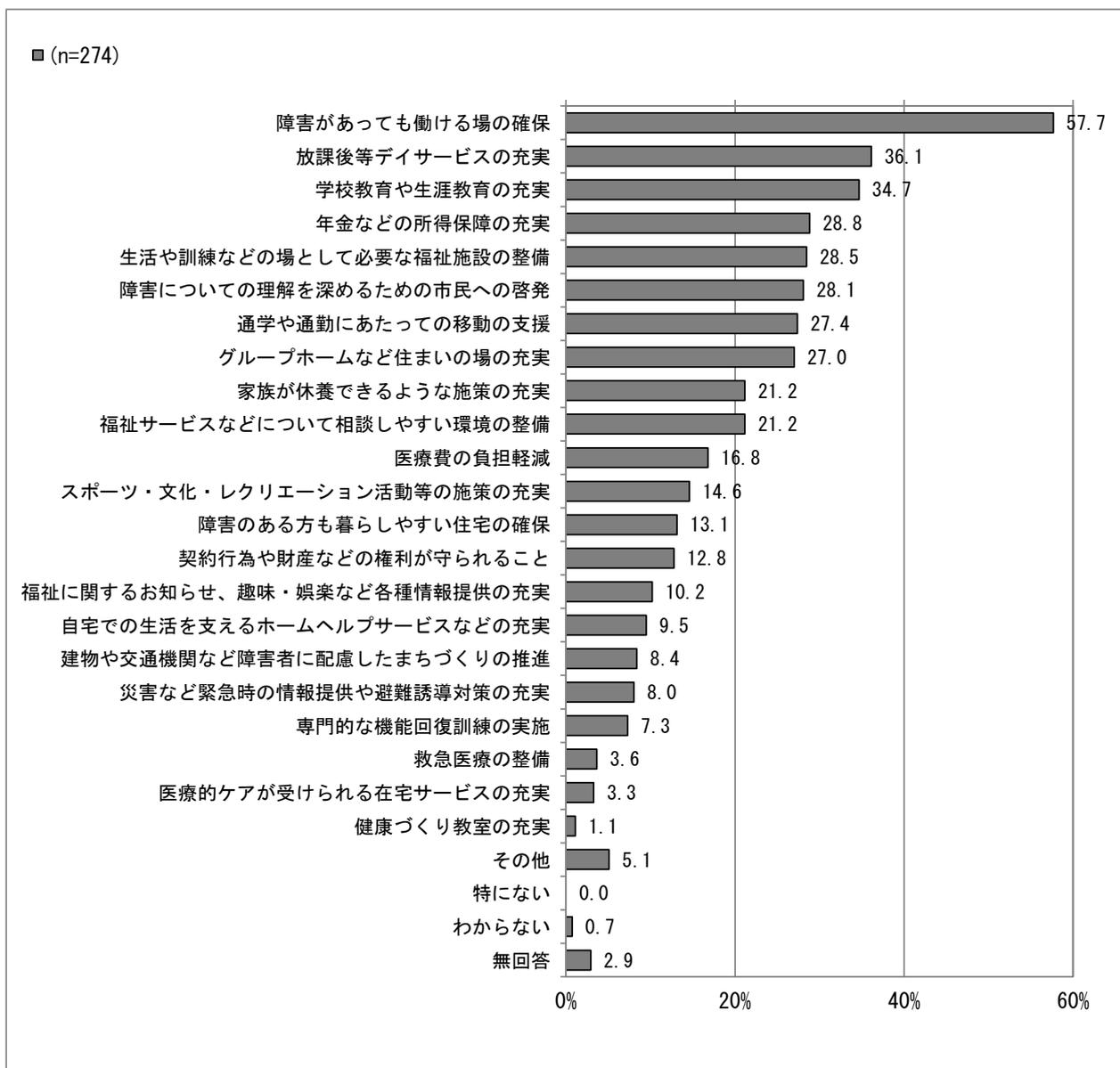
「障害のある方の福祉サービス」への満足は、「やや不満である」(27.4%)が最も高く、次いで「満足している」(27.0%)、「わからない」(26.3%)となっている。

問33 問32で「やや不満である」「とても不満である」を選んだ方におたずねします。特にどのような福祉サービスに不満を感じていますか。(MA)



不満を感じている福祉サービスは、「障害児者を預かることで家族を支援するサービス」(35.6%)が最も高く、次いで「障害児の通所サービス」(29.7%)、「外出時に必要な支援を行うサービス」(27.7%)となっている。

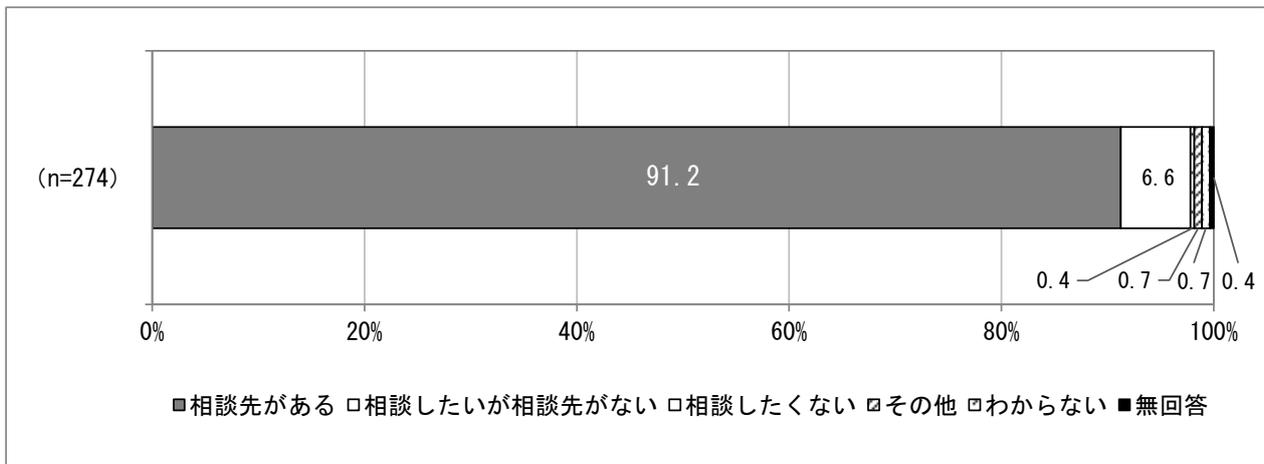
問 34 あなた（このアンケートを記入している方）が今後充実してほしい施策は何ですか。  
(MA)



今後充実してほしい施策は、「障害があっても働ける場の確保」(57.7%)が最も高く、次いで「放課後等デイサービスの充実」(36.1%)、「学校教育や生涯教育の充実」(34.7%)となっている。

## 7 相談の状況について

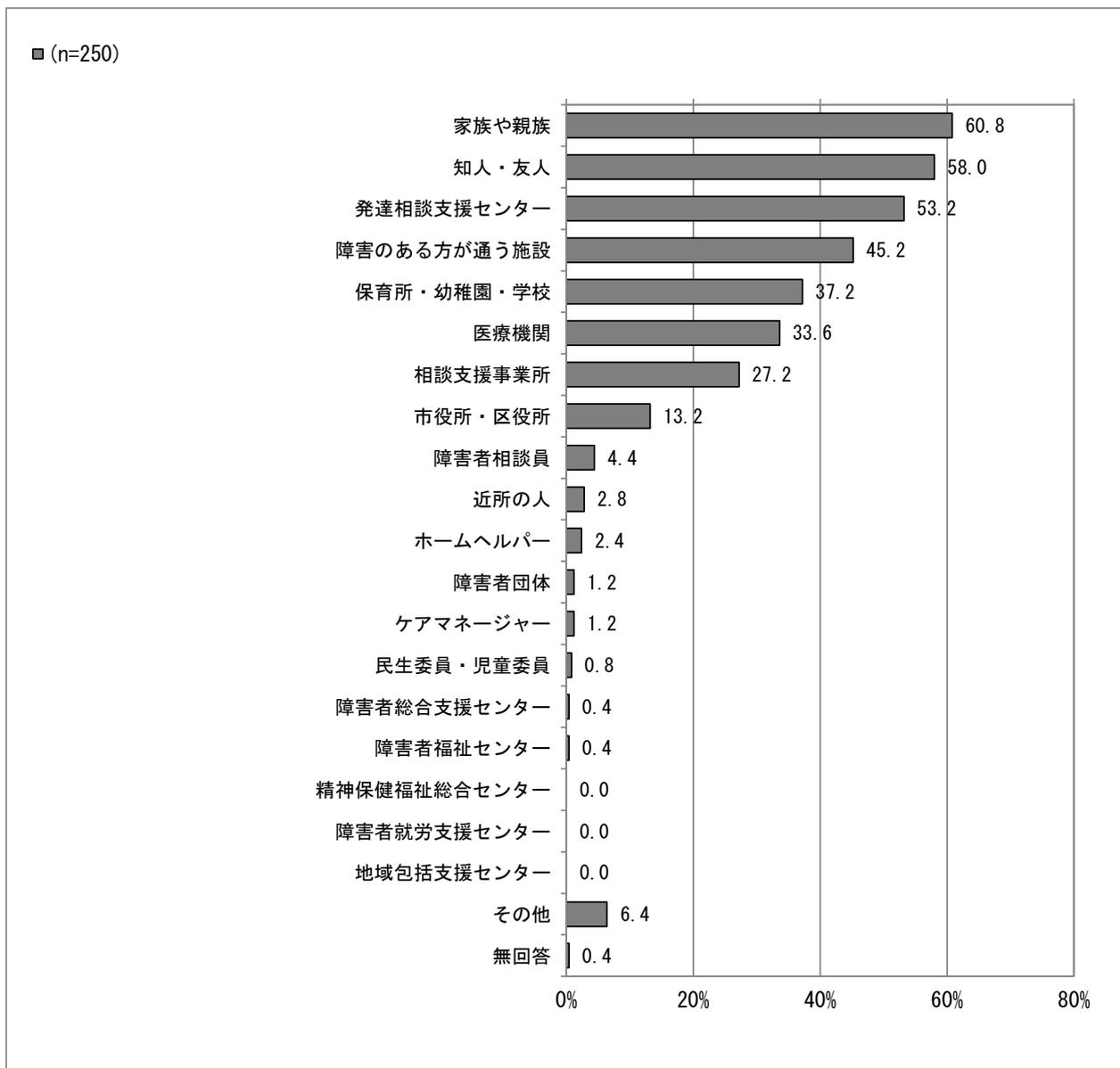
問 35 あなた（このアンケートを記入している方）が困ったときの相談について次のうちあてはまるのはどれですか。（SA）



困ったときの相談について、「相談先がある」（91.2%）が最も高く、次いで「相談したいが相談先がない」（6.6%）、「その他」と「わからない」がともに0.7%となっている。

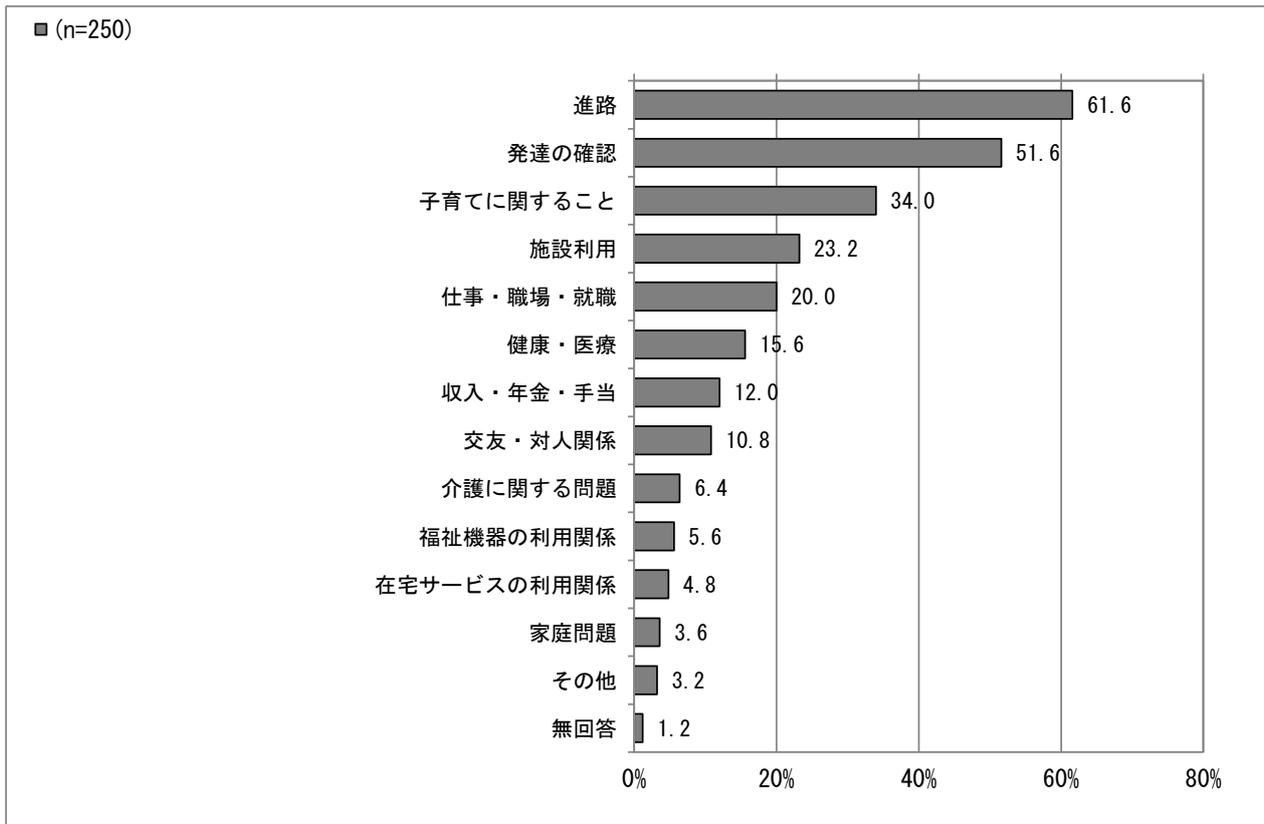
問 36 問 35 で「相談先がある」を選んだ方におたずねします。

(1) 相談相手は誰ですか。(MA)



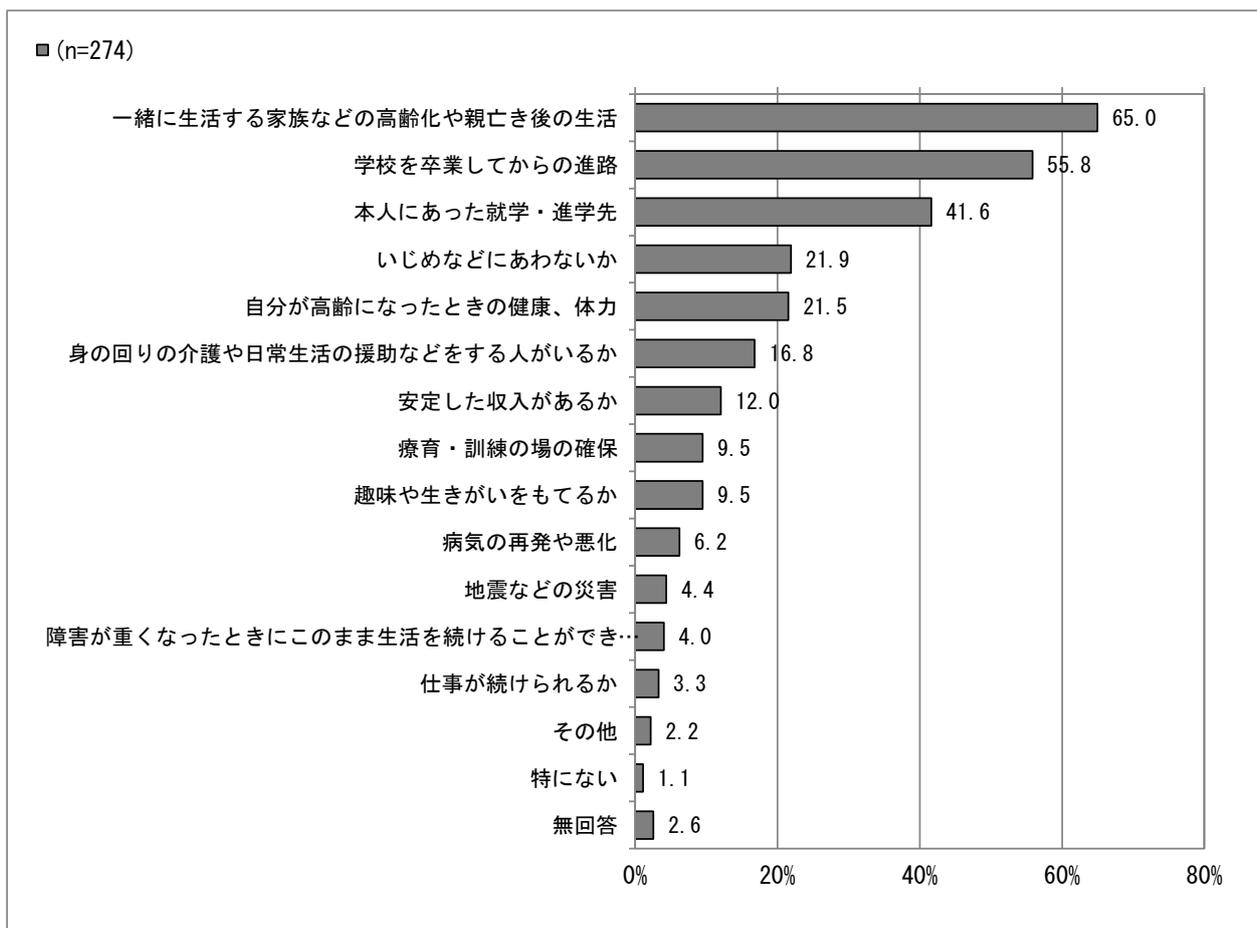
相談相手は、「家族や親戚」(60.8%)が最も高く、次いで「知人・友人」(58.0%)、「発達相談支援センター」(53.2%)となっている。

## (2) ご本人に関することで、相談していること(したいこと)は何ですか。(MA)



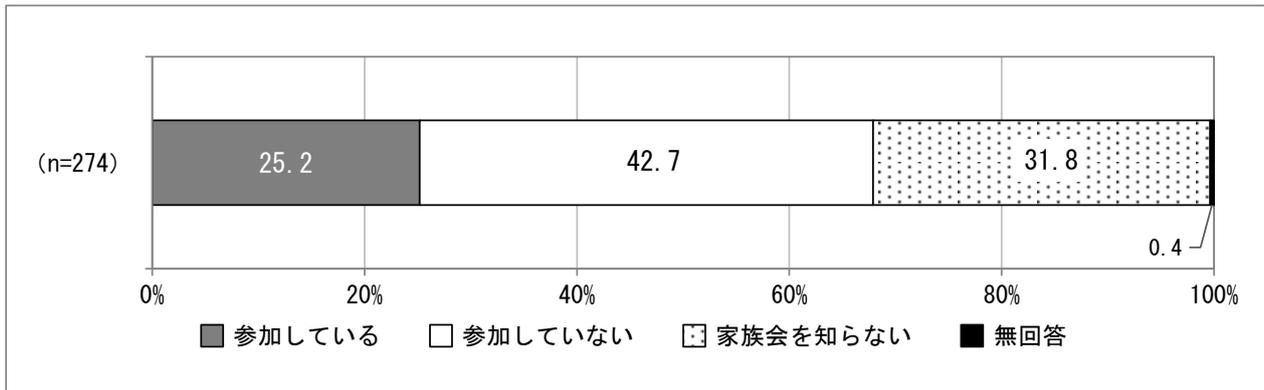
本人に関することで、相談していること(したいこと)は、「進路」(61.6%)が最も高く、次いで「発達の確認」(51.6%)、「子育てに関すること」(34.0%)となっている。

問 37 あなた（このアンケートを記入している方）が、ご本人の将来のことで不安に感じていることは何ですか。（MA）



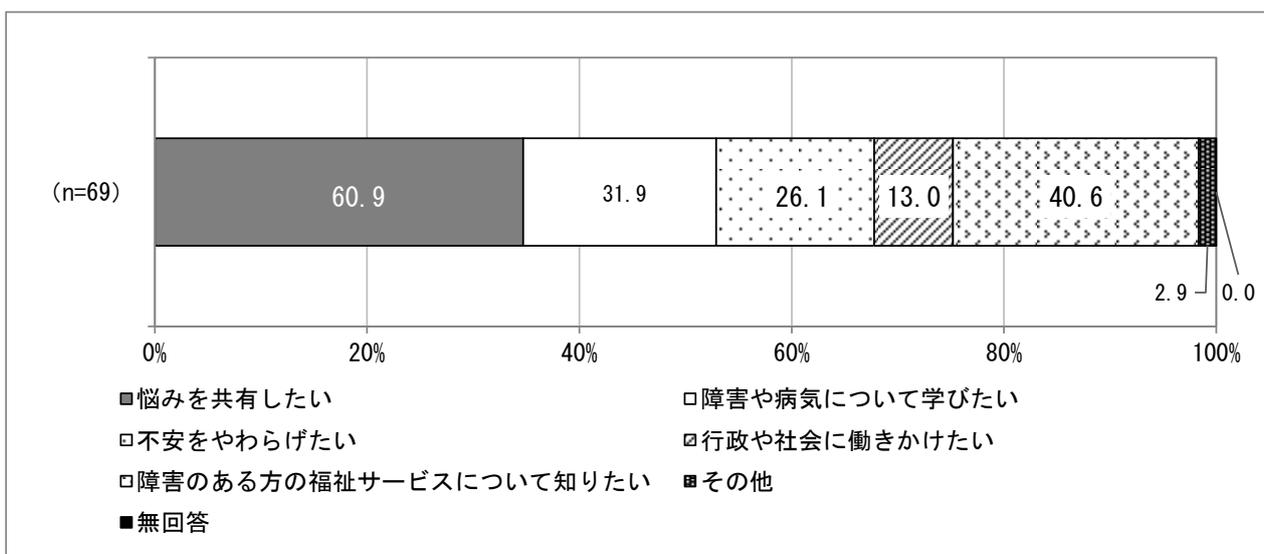
本人の将来のことで不安に感じていることは、「一緒に生活する家族などの高齢化や親亡き後の生活」(65.0%)が最も高く、次いで「学校を卒業してからの進路」(55.8%)、「本人にあった就学・進学先」(41.6)となっている。

問 38 あなた（このアンケートを記入している方）は、障害のある家族を持つ方の集まり（家族会）に参加していますか。（SA）



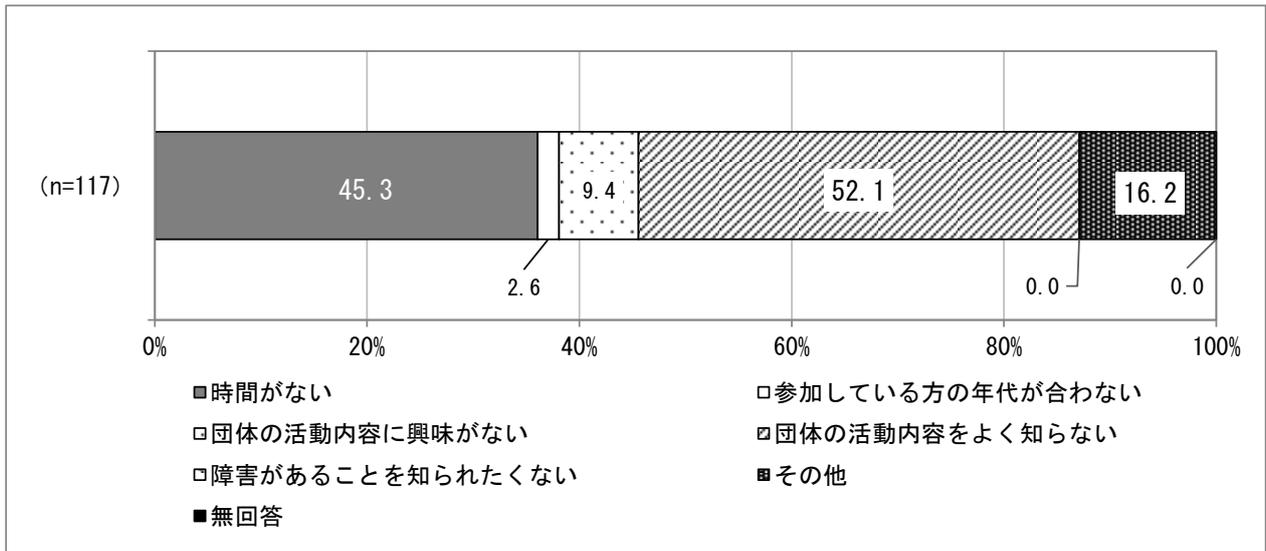
障害のある家族を持つ方の集まり（家族会）への参加は、「参加している」（25.2%）、「参加していない」（42.7）、「家族会を知らない」（31.8%）となっている。

問 39 問 38 で「参加している」を選んだ方におたずねします。家族会に参加している理由は何ですか。（MA）



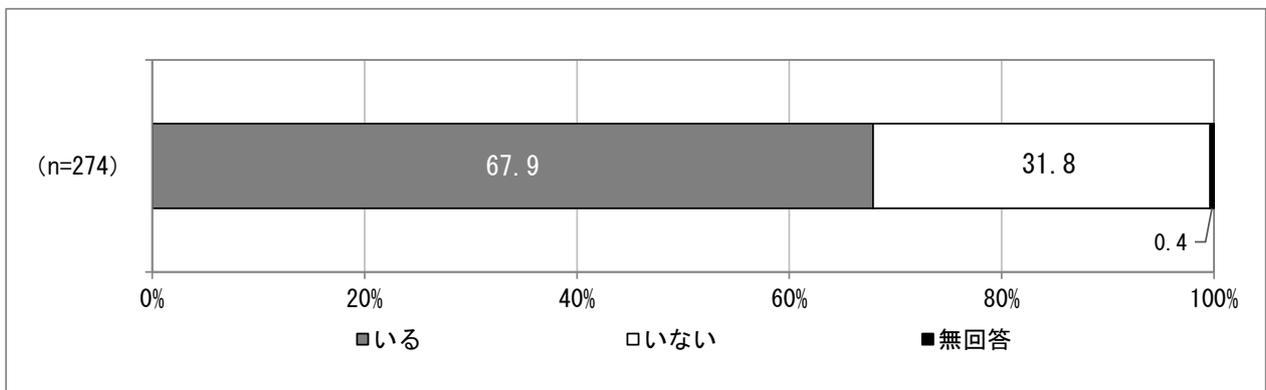
家族会に参加している理由は、「悩みを共有したい」（60.9%）が最も高く、次いで「障害のある方の福祉サービスについて知りたい」（40.6%）、「障害や病気について学びたい」（31.9%）となっている。

問 40 問 38 で「参加していない」を選んだ方におたずねします。家族会に参加していない理由は何ですか。(MA)



家族会に参加していない理由は、「団体の活動内容をよく知らない」(52.1%)が最も高く、次いで「時間がない」(45.3%)、「その他」(16.2%)となっている。

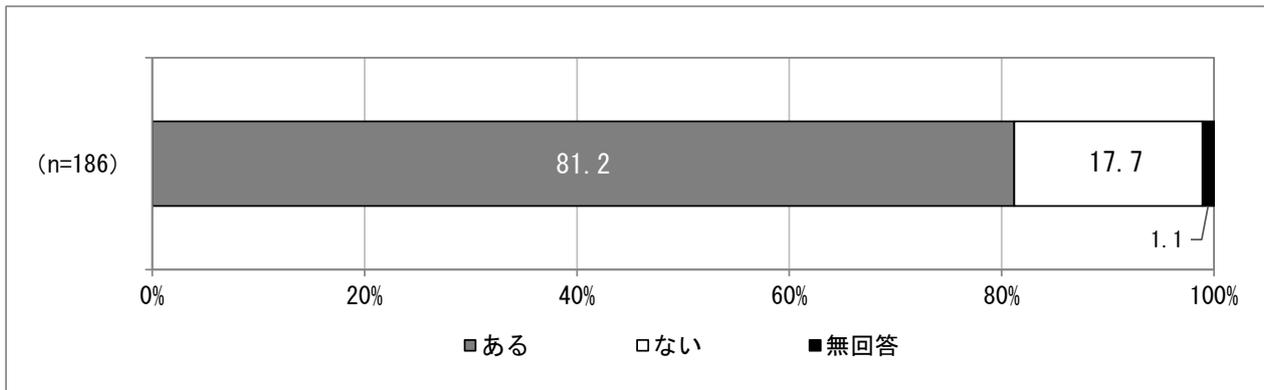
問 41 ご本人に、兄弟姉妹はいますか。(SA)



本人に兄弟姉妹は、「いる」(67.9%)、「いない」(31.8%)となっている。

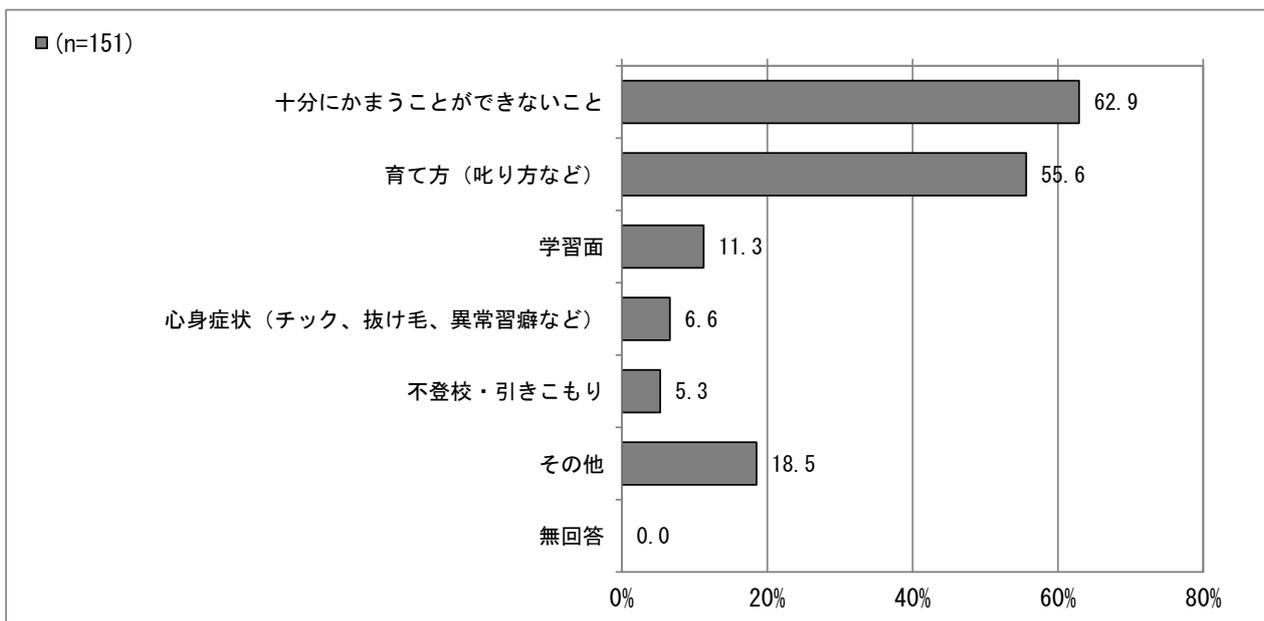
問42 問41で「いる」を選んだ方におたずねします。

(1) 兄弟姉妹のことで、あなた（このアンケートを記入している方）は不安に思ったことや困ったことはありますか。(SA)



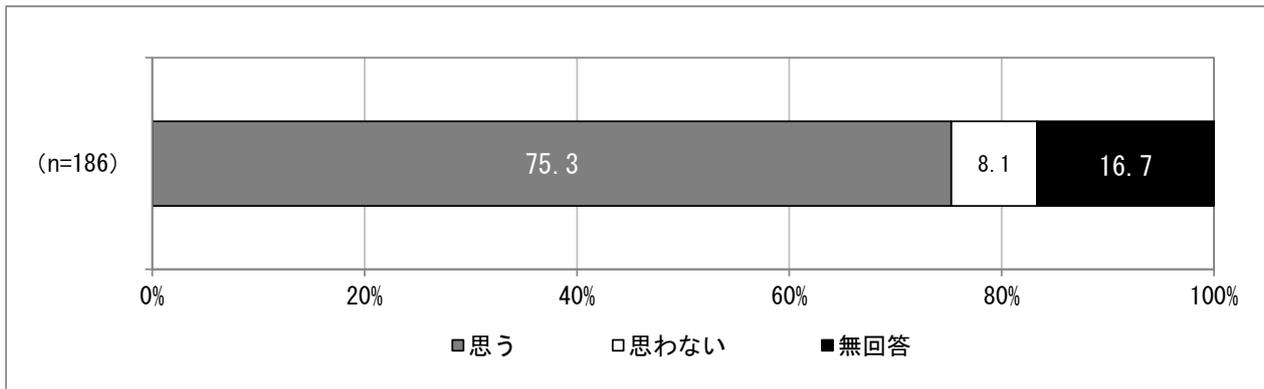
兄弟姉妹のことで不安に思ったことや困ったことは、「ある」(81.2%)、「いない」(17.7%)となっている。

(2) (1)で「ある」を選んだ方におたずねします。具体的にどのようなことで困りましたか。(MA)



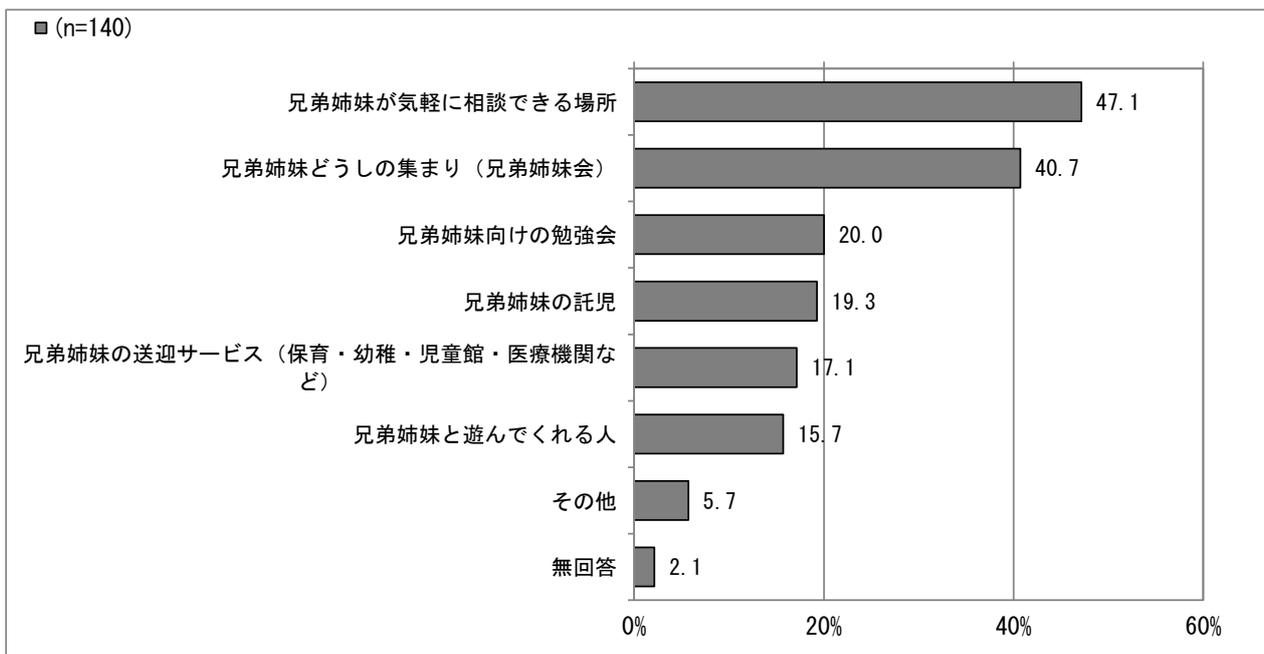
兄弟姉妹のことで困ったことは、「十分にかまうことができないこと」(62.9%)が最も高く、次いで「育て方（叱り方など）」(55.6%)、「その他」(18.5%)となっている。

(3) 兄弟姉妹への支援は必要だと思いますか。(SA)



兄弟姉妹への支援は必要だと思うかは、「思う」(75.3%)、「思わない」(8.1%)となっている。

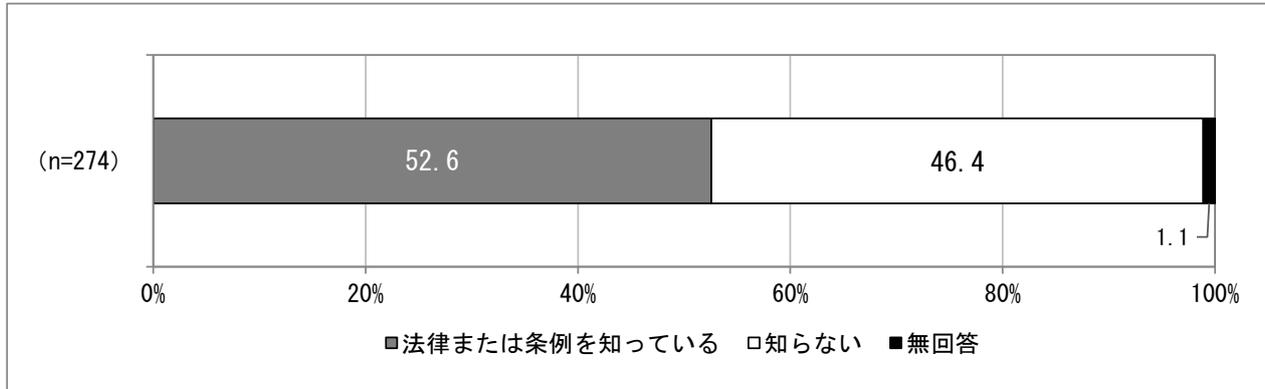
(4) (3)で「思う」を選んだ方におたずねします。兄弟姉妹に対して、具体的にどのような支援があると望ましいと考えますか。(MA)



兄弟姉妹への支援で望ましいものは、「兄弟姉妹が気軽に相談できる場所」(47.1%)が最も高く、次いで「兄弟姉妹どうしの集まり (兄弟姉妹会)」(40.7%)、「兄弟姉妹向けの勉強会」(20.0%)となっている。

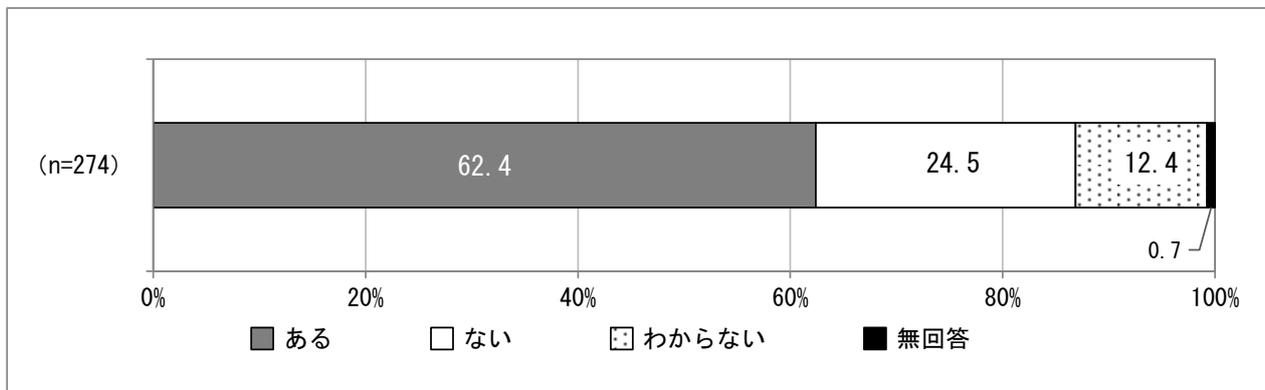
## 8 権利擁護について

問 43 あなた（このアンケートを記入している方）は、2016年4月より施行された「障害者差別解消法」を知っていますか。また、「仙台市障害を理由とする差別をなくし障害のある人もない人も共に暮らしやすいまちをつくる条例」を知っていますか。（SA）



障害者差別解消法や市の条例は、「法律または条例を知っている」（52.6%）、「知らない」（46.4%）となっている。

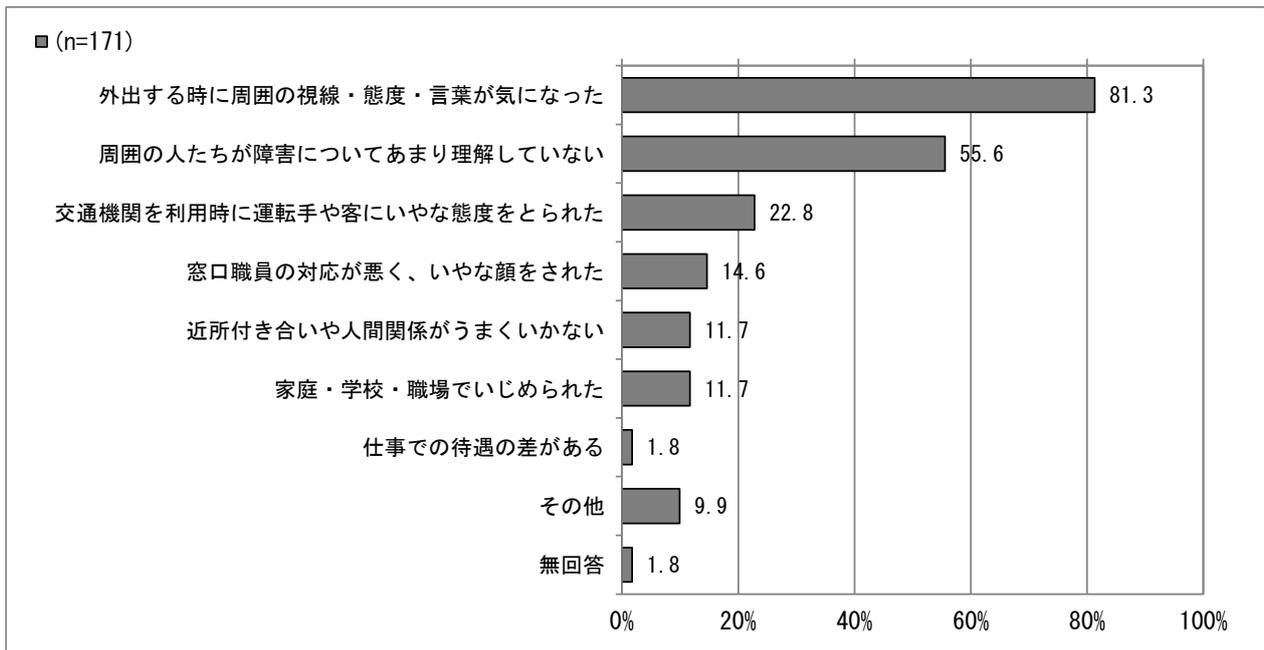
問 44 あなた（このアンケートを記入している方）は、ご本人の障害を理由に差別を受けたり、いやな思いなどをしたことがありますか。（SA）



障害を理由に差別を受けたり、いやな思いなどをしたことがあるかは、「ある」（62.4%）、「ない」（24.5%）、「わからない」（12.4%）となっている。

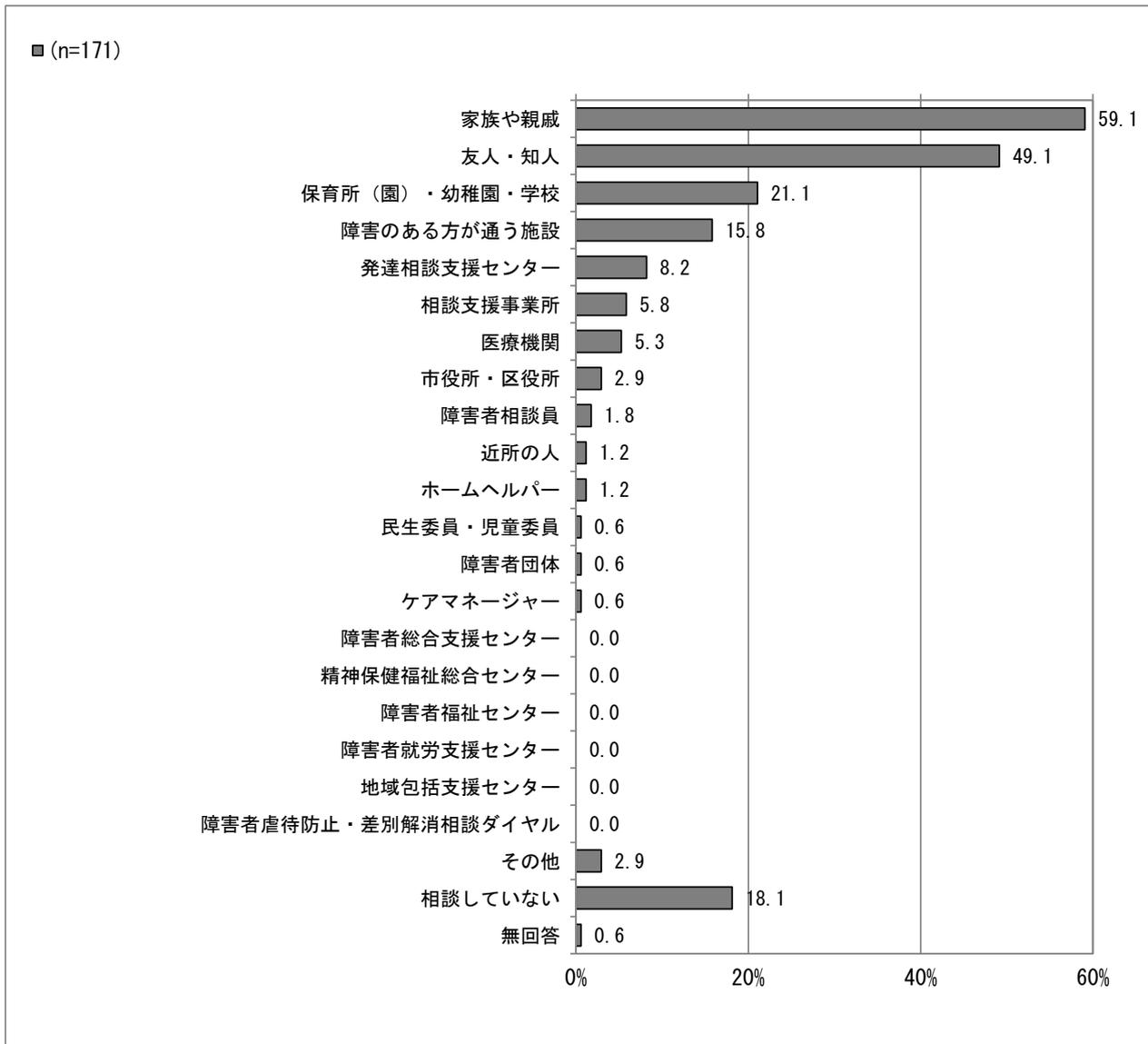
問 45 問 44 で「ある」を選んだ方におたずねします。

(1) どのような内容の差別を受けたり、いやな思いをしましたか。(MA)



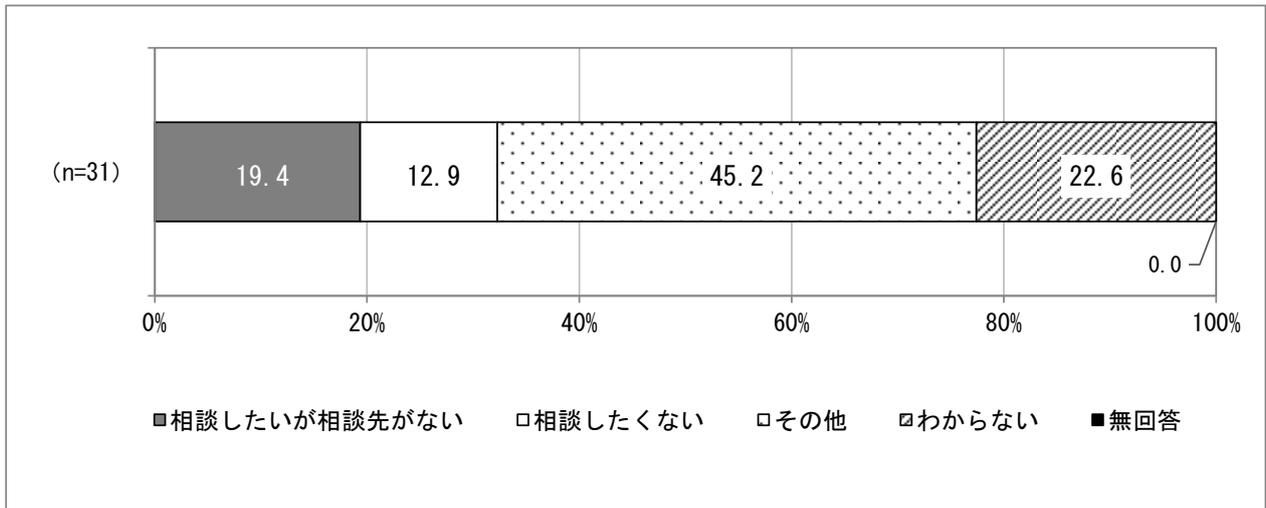
差別やいやな思いの内容は、「外出する時に周囲の視線・態度・言葉が気になった」(81.3%)が最も高く、次いで「周囲の人たちが障害についてあまり理解していない」(55.6%)、「交通機関を利用時に運転手や客にいやな態度をとられた」(22.8%)となっている。

## (2) 差別をされたり、いやな思いをしたときに誰かに相談しましたか。(MA)



差別をされたり、いやな思いをしたときの相談先は、「家族や親戚」(59.1%)が最も高く、次いで「友人・知人」(49.1%)、「保育所(園)・幼稚園・学校」(21.1%)となっている。

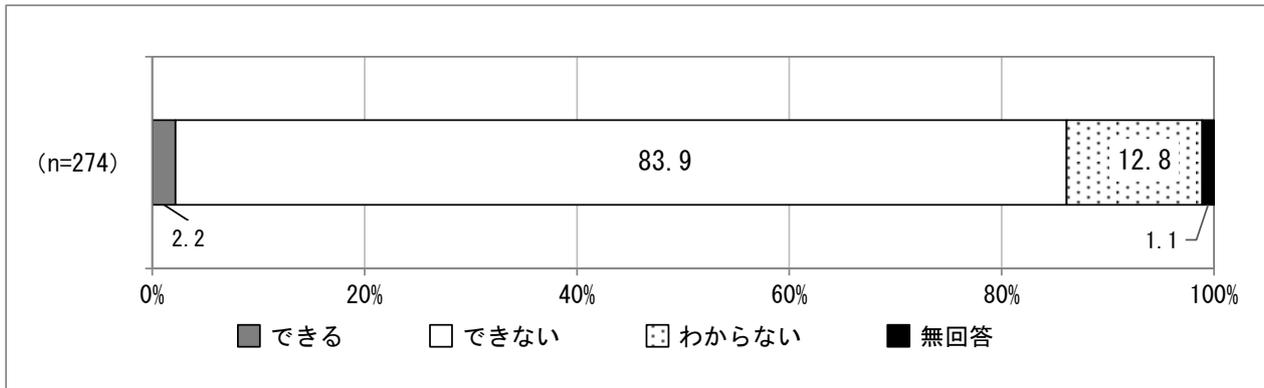
(3) (2)で「相談していない」を選んだ方におたずねします。相談しなかった理由は何ですか。(SA)



相談をしなかった理由は、「その他」(45.2%)が最も高く、次いで「わからない」(22.6%)、「相談したいが相談先がない」(19.4%)となっている。

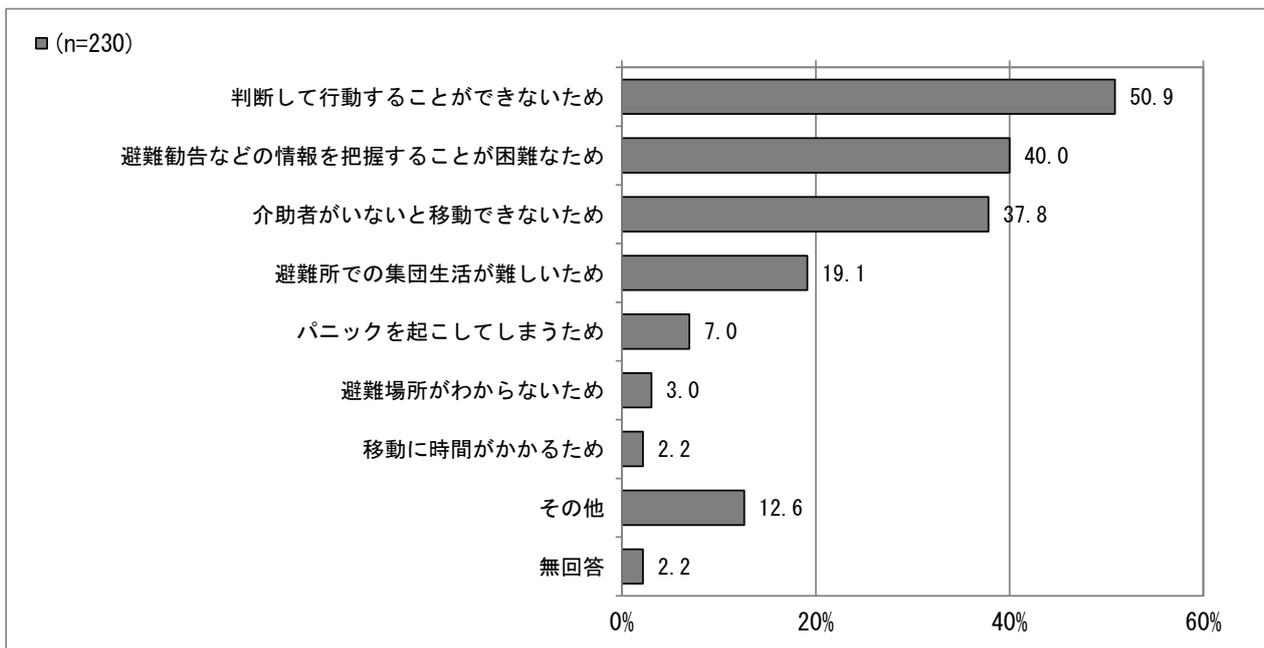
## 9 緊急時の対応について

問 46 ご本人は地震などの災害発生時、ひとりで避難することができますか。2011年3月11日の東日本大震災を経験された方は、ご経験を踏まえてご回答ください。(SA)



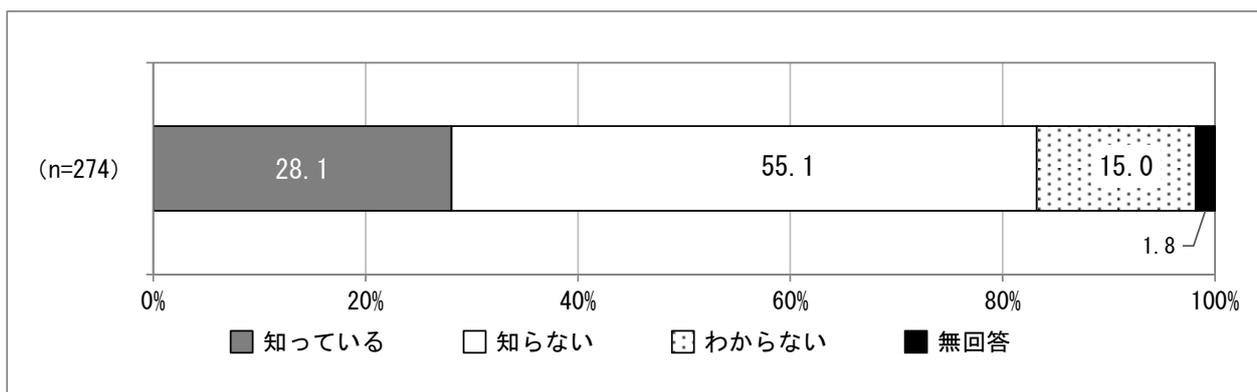
ひとりで避難は、「できる」(2.2%)、「できない」(83.9%)、「わからない」(12.8%)となっている。

問 47 問 46 で「できない」を選んだ方におたずねします。災害のとき一人で避難することができない理由は何ですか。(MA)



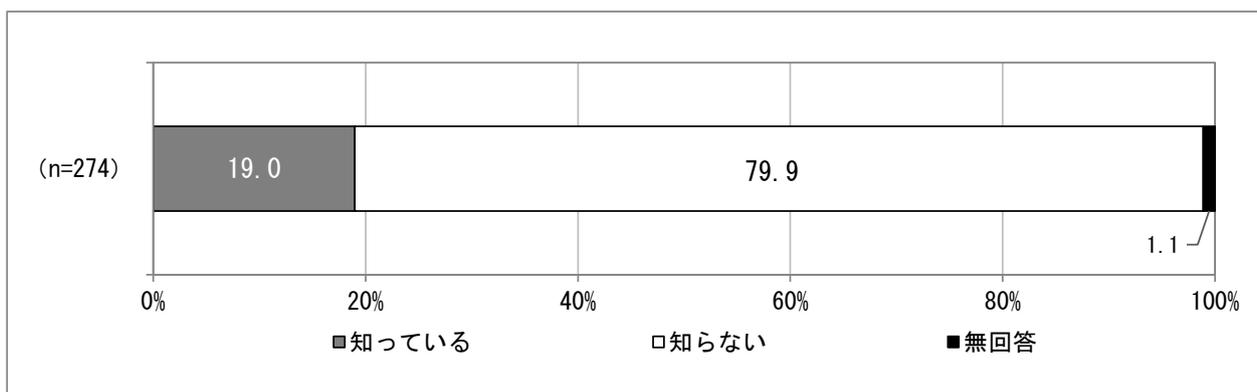
一人で避難できない理由は、「判断して行動することができないため」(50.9%)が最も高く、次いで「避難勧告などの情報を把握することが困難なため」(40.0%)、「介助者がいないと移動できないため」(37.8%)となっている。

問 48 ご本人は、お住まいの地区の避難所の場所を知っていますか。(SA)



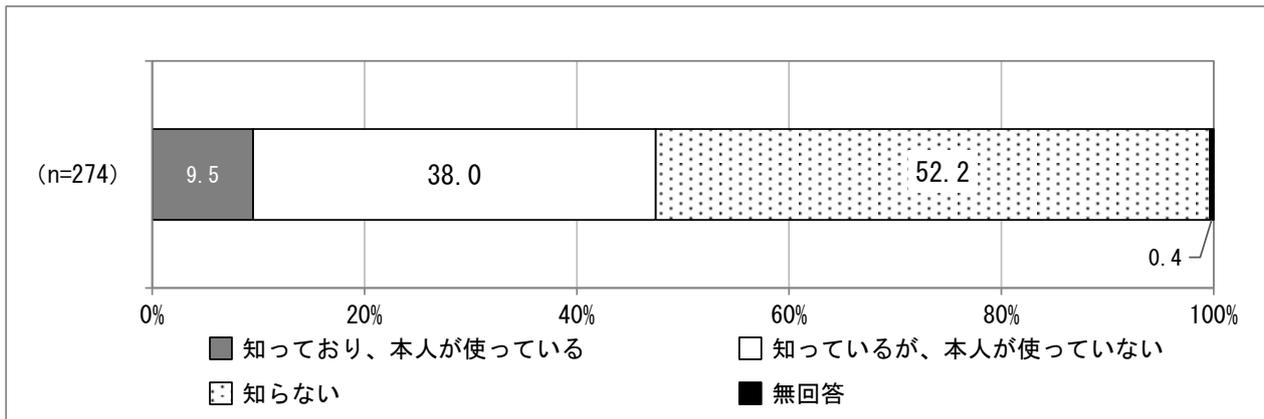
本人が住まいの地区の避難所を知っているかは、「知っている」(28.1%)、「知らない」(55.1%)となっている。

問 49 あなた(このアンケートを記入している方)は、福祉避難所を知っていますか。(SA)



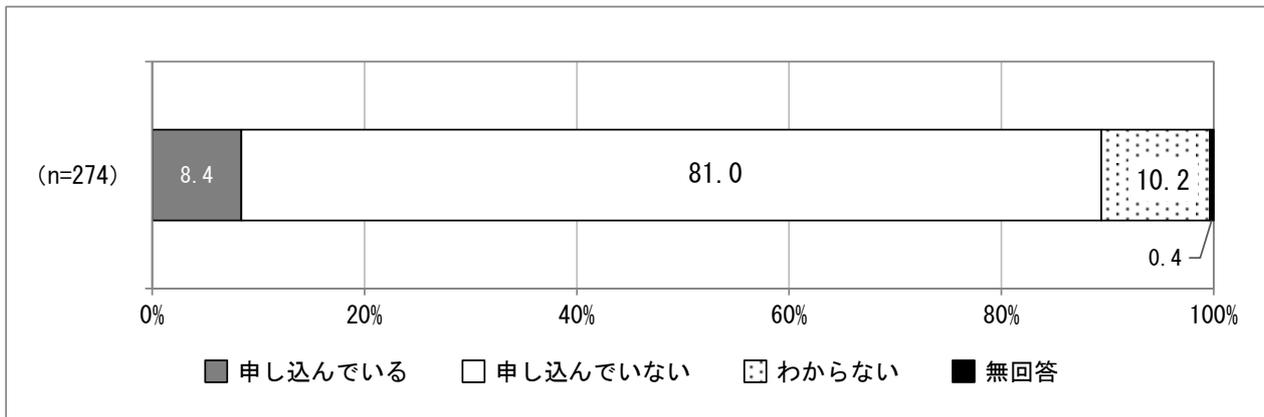
記入者が福祉避難所を知っているかは、「知っている」(19.0%)、「知らない」(79.9%)となっている。

問 50 あなた(このアンケートを記入している方)は、ヘルプカードを知っていますか。(SA)



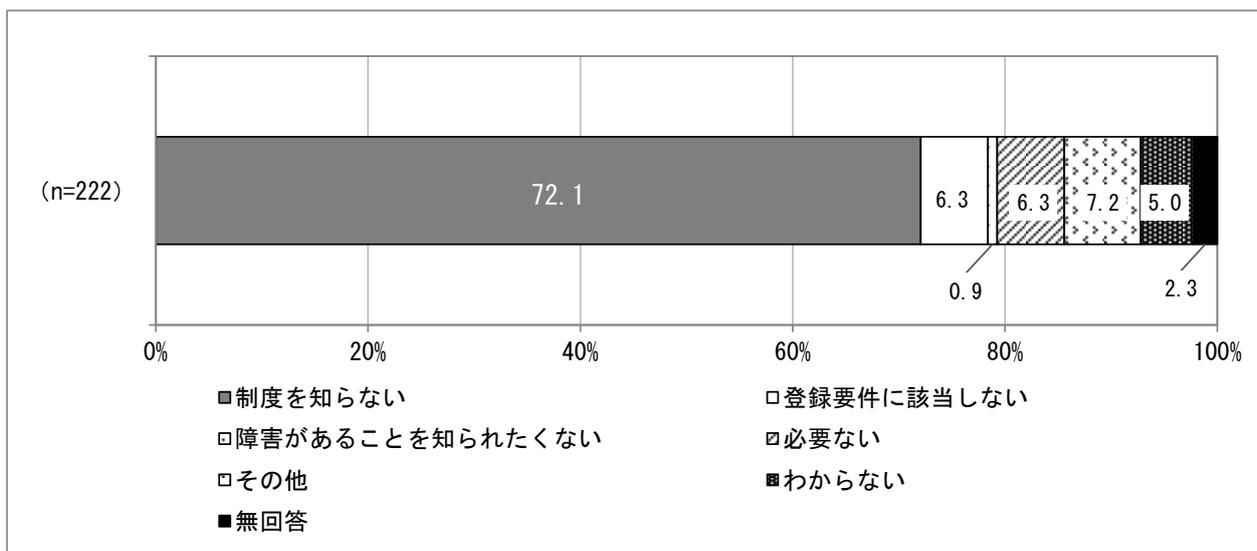
記入者がヘルプカードを知っているかは、「知っている、本人が使っている」(9.5%)、「知っているが、本人が使っていない」(38.0%)、「知らない」(52.2%)となっている。

問 51 ご本人は、仙台市が実施している災害時における要援護者情報登録制度を申し込んでいますか。(SA)



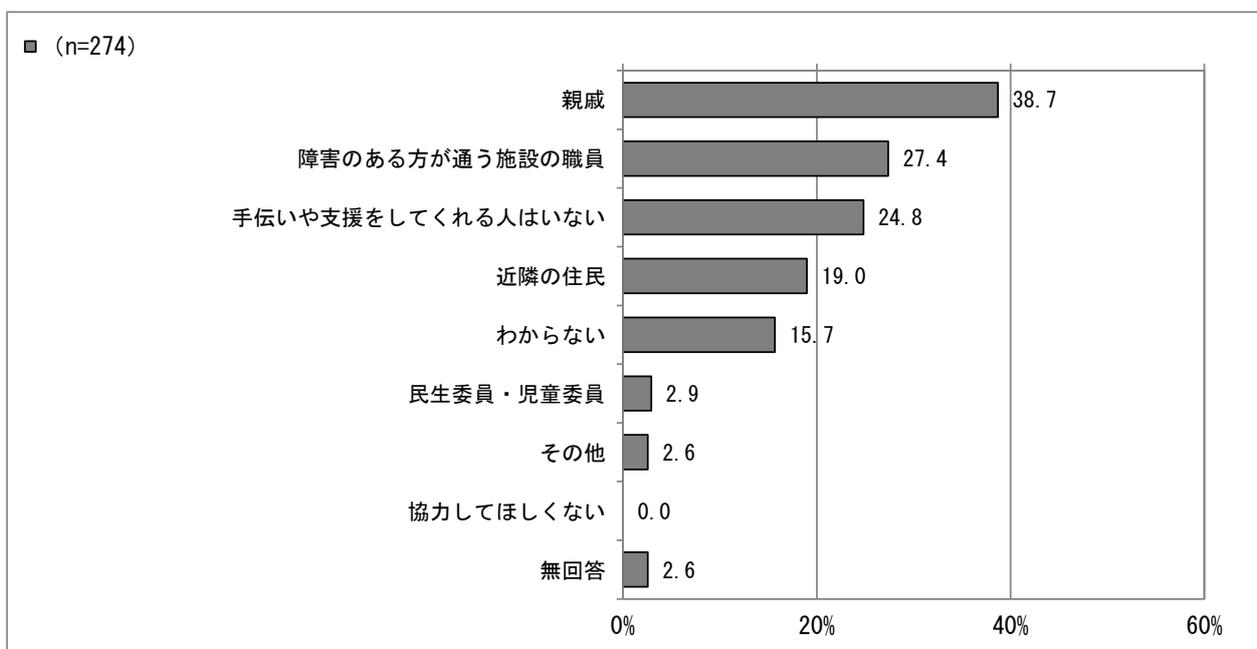
市が実施している要援護者情報登録制度を申し込んでいるかは、「申し込んでいる」(8.4%)、「申し込んでいない」(81.0%)、「わからない」(10.2%)となっている。

問 52 問 51 で「申し込んでいない」を選んだ方におたずねします。ご本人が申し込んでいない理由は何ですか。(SA)



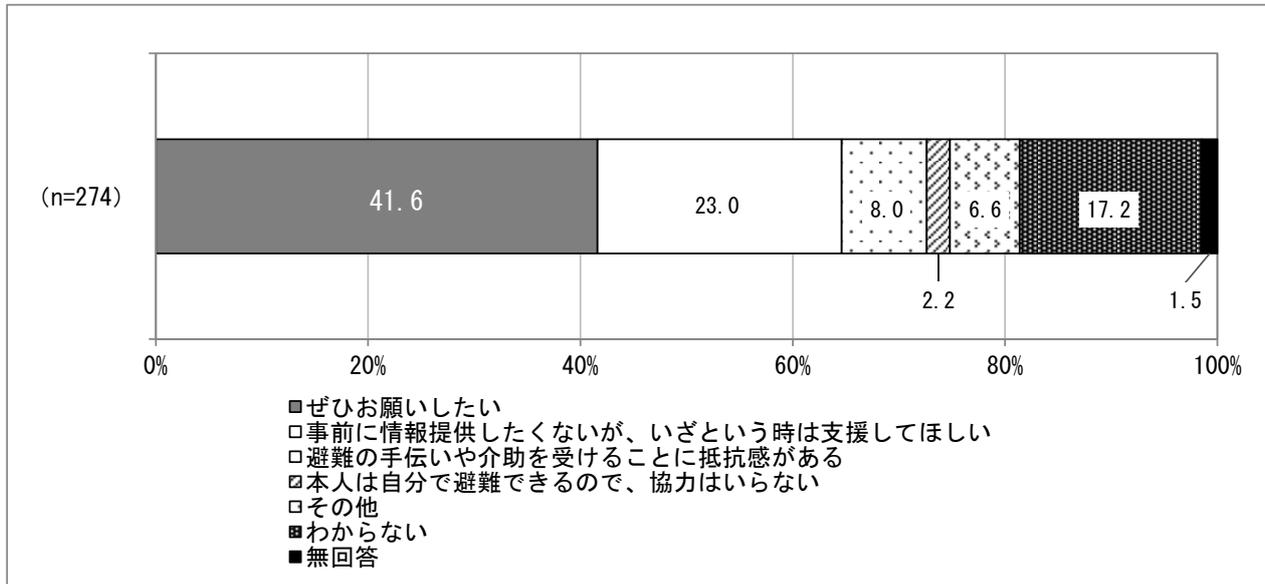
市が実施している要援護者情報登録制度に申し込んでいない理由は、「制度を知らない」(72.1%) が最も高く、次いで「その他」(7.2%)、「登録要件に該当しない」と「必要ない」がともに 6.3%となっている。

問 53 地震などの災害時に、家族以外の方で手伝いや支援をしてくれる人について、次のうちあてはまるのはどれですか。(SA)



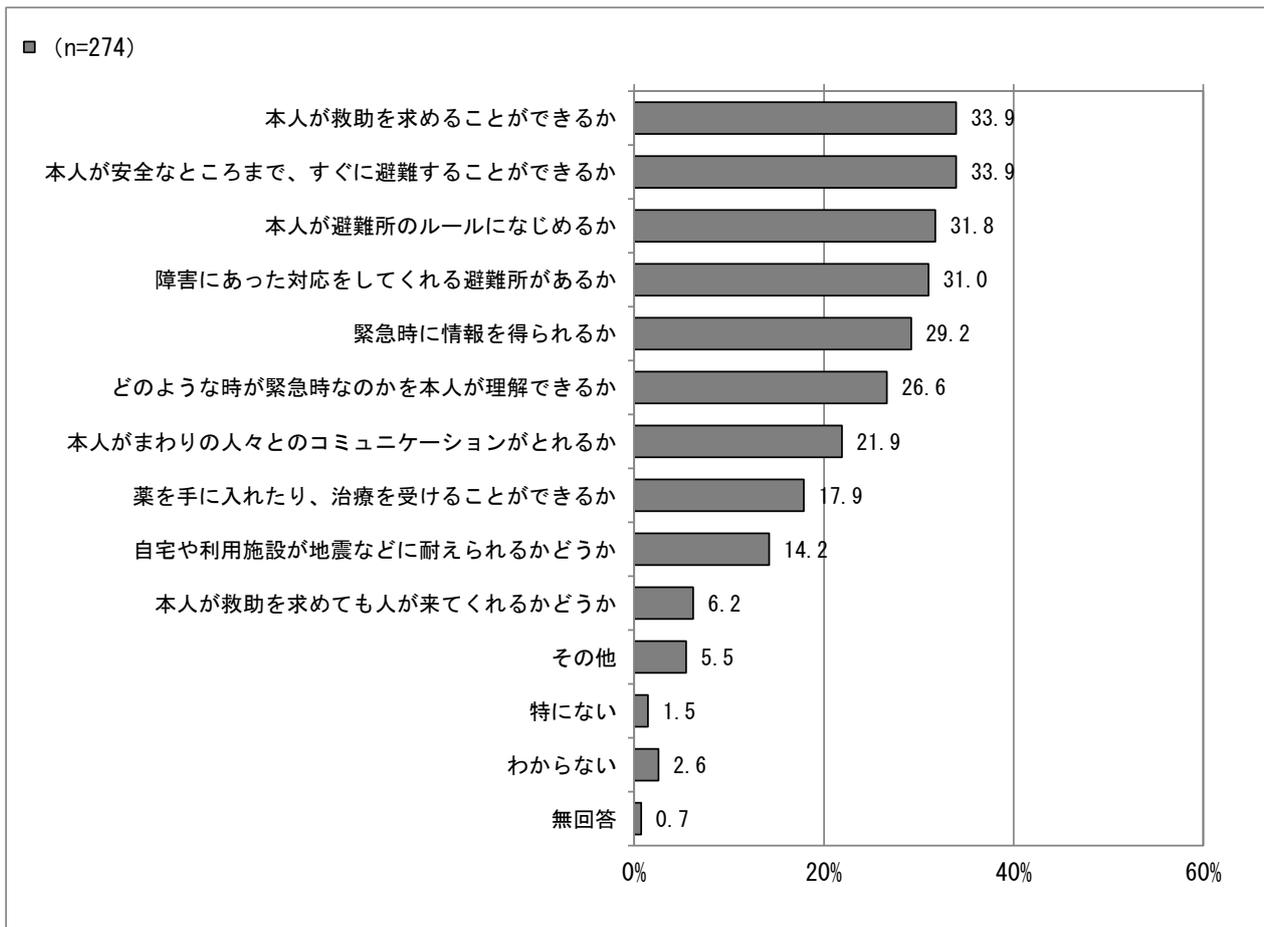
災害時に家族以外の方で手伝いや支援をしてくれる人は、「親戚」(38.7%) が最も高く、次いで「障害のある方が通う施設の職員」(27.4%)、「手伝いや支援をしてくれる人はいない」(24.8%) となっている。

問 54 地震などの災害が発生したときのために、あらかじめ近所の人やボランティアなどにご本人の避難の手伝いや介助をお願いしておくことについて、あなた（このアンケートを記入している方）はどのように思いますか。（SA）



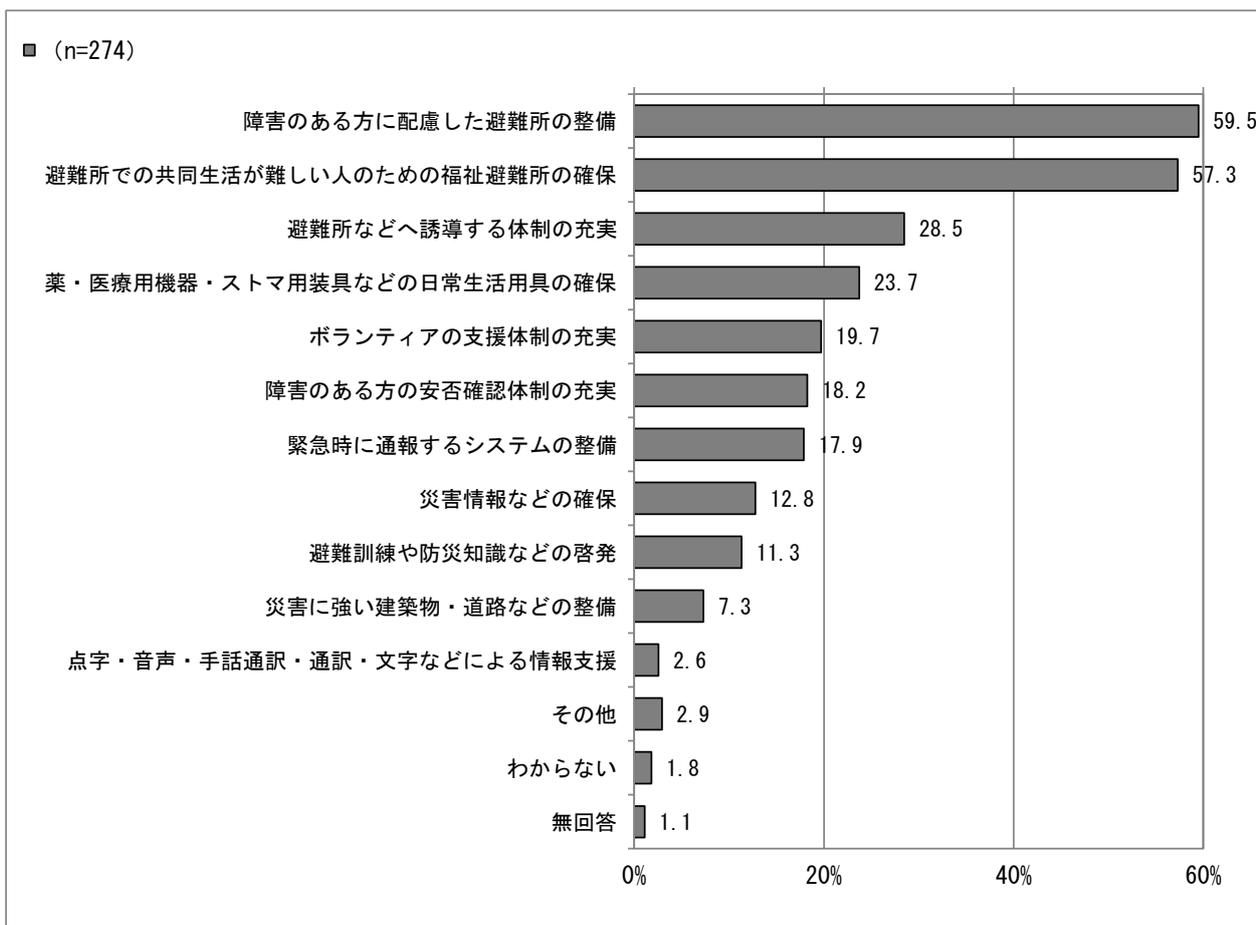
災害が発生したときのために、あらかじめ近所の人やボランティアなどに本人の避難の手伝いや介助をお願いしておくことは、「ぜひお願いしたい」（41.6%）が最も高く、次いで「事前に情報提供したくないが、いざという時は支援してほしい」（23.0%）、「わからない」（17.2%）となっている。

問 55 地震などのいざという時のことで、あなた（このアンケートを記入している方）が普段不安に感じていることは何ですか。（MA）



いざという時のことで、記入者が普段不安に感じていることは、「本人が救助を求めることができるか」と「本人が安全なところまで、すぐに避難することができるか」がともに33.9%と最も高く、次いで「本人が避難所のルールになじめるか」(31.8%)、「障害にあった対応をしてくれる避難所があるか」(31.0%)となっている。

問 56 地震、台風などの災害に対して、あなた（このアンケートを記入している方）が大切だと思う対策はどのようなことだと思いますか。（MA）



災害に対して、記入者が大切だと思う対策は、「障害のある方に配慮した避難所の整備」(59.5%)が最も高く、次いで「避難所での共同生活が難しい人のための福祉避難所の確保」(57.3%)、「避難所などへ誘導する体制の充実」(28.5%)となっている。



## 第7章

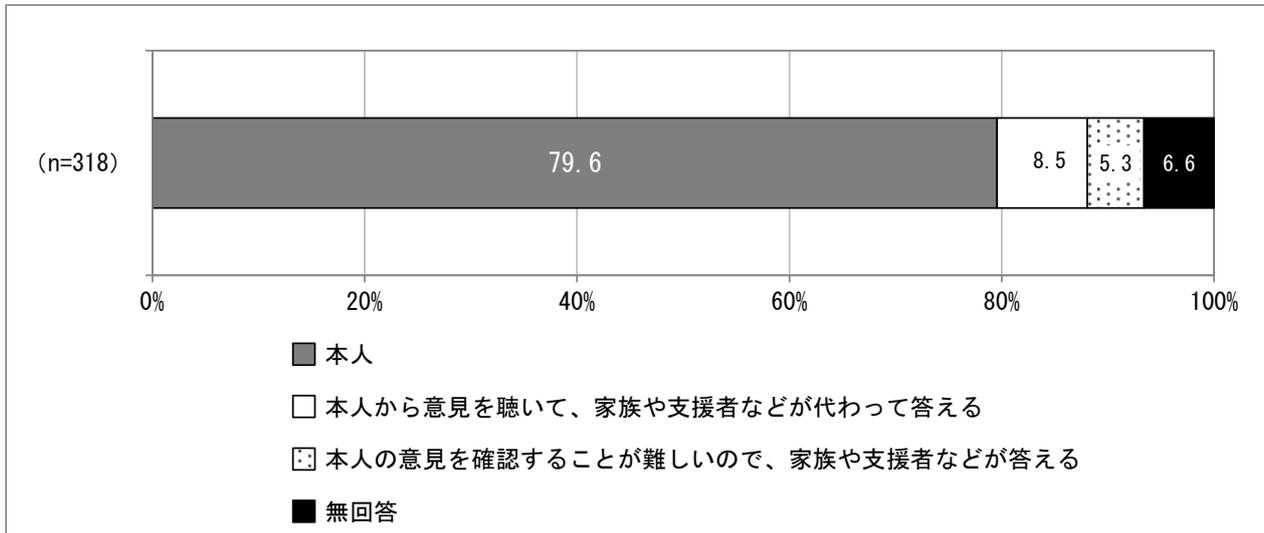
### 精神障害者（通院）本人



## 第7章 精神障害者（通院）本人

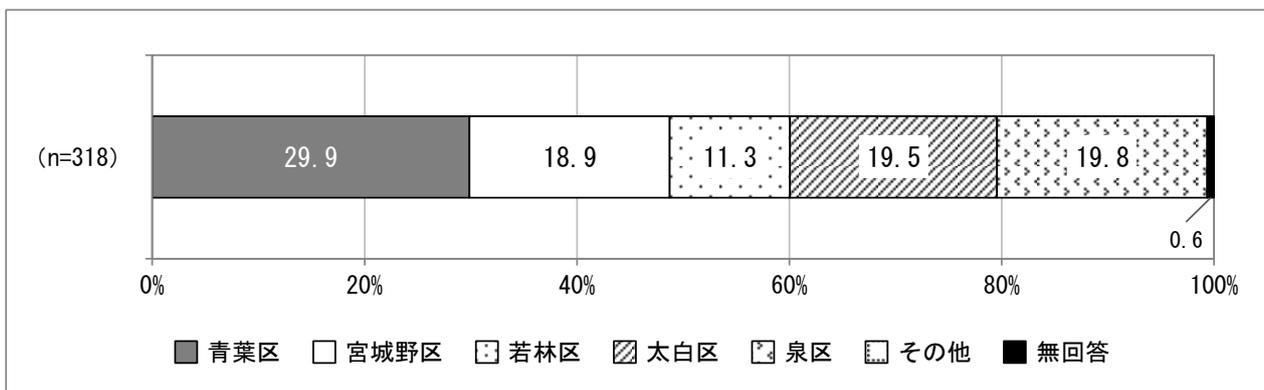
### 1 属性について

問1 このアンケートの記入者はどなたですか。(SA)



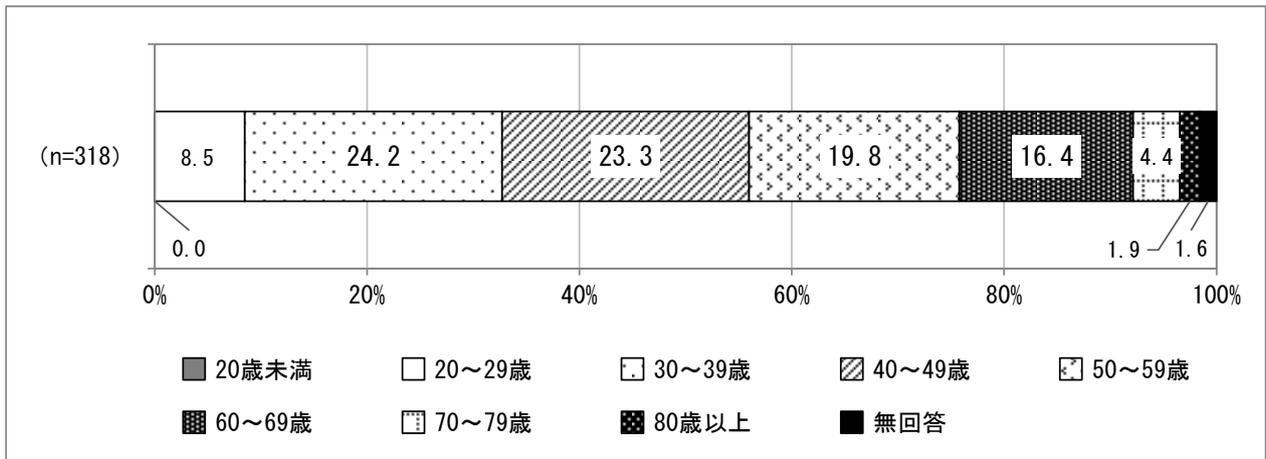
アンケートの記入者は、「本人」(79.6%)、「本人から意見を聴いて、家族や支援者などが代わって答える」(8.5%)、「本人の意見を確認することが難しいので、家族や支援者などが答える」(5.3%)となっている。

問2 あなたのお住まいの区はどこですか。(SA)



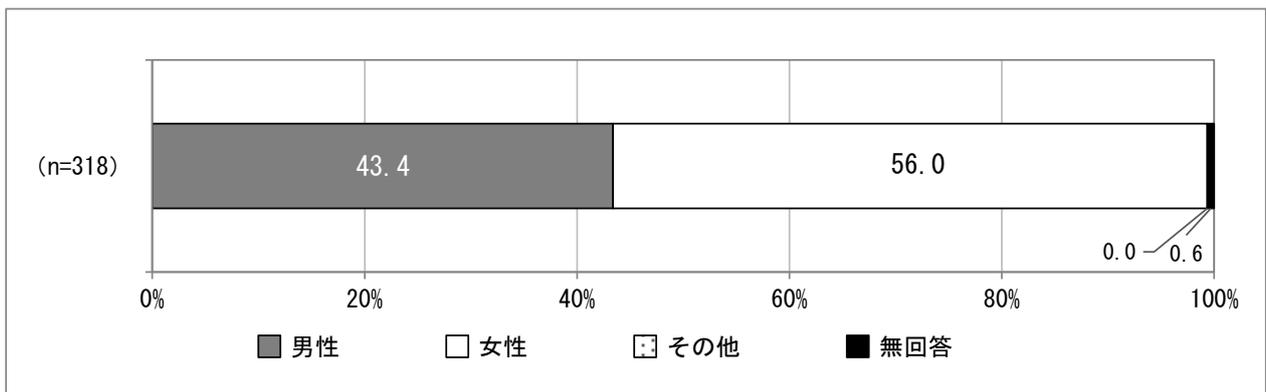
居住区は、「青葉区」(29.9%)が最も高く、次いで「泉区」(19.8%)、「太白区」(19.5%)となっている。

問3 あなたの年齢（2016年11月1日時点）は何歳ですか。（数値）



年齢は、「30~39歳」（24.2%）が最も高く、次いで「40~49歳」（23.3%）、「50~59歳」（19.8%）となっている。

問4 あなたの性別を教えてください。（SA）

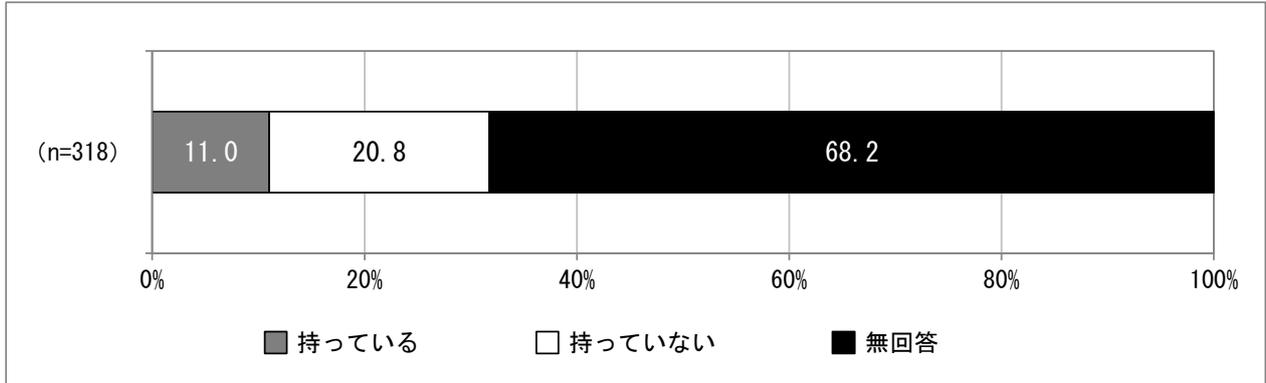


性別は、「男性」（43.4%）、「女性」（56.0%）となっている。

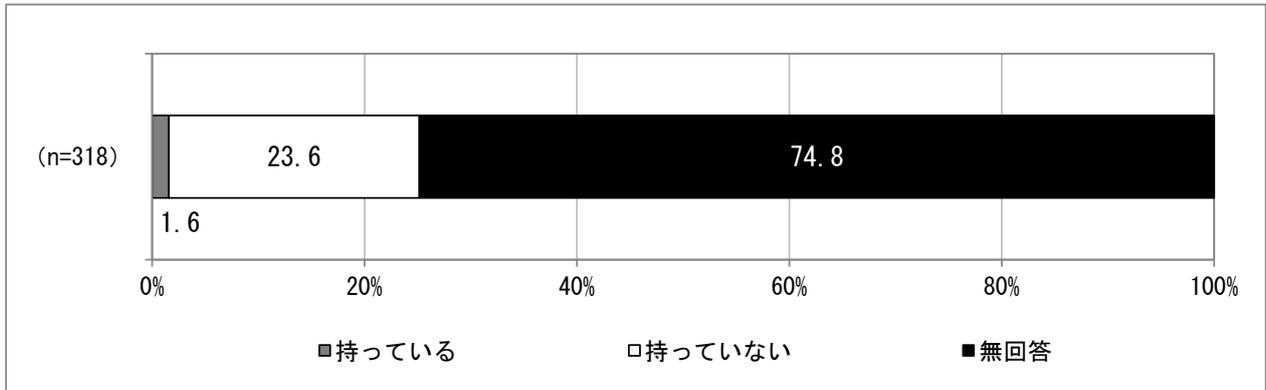
問5 障害者手帳についておたずねします。

(ア) 障害者手帳をお持ちかどうか教えてください。(SA)

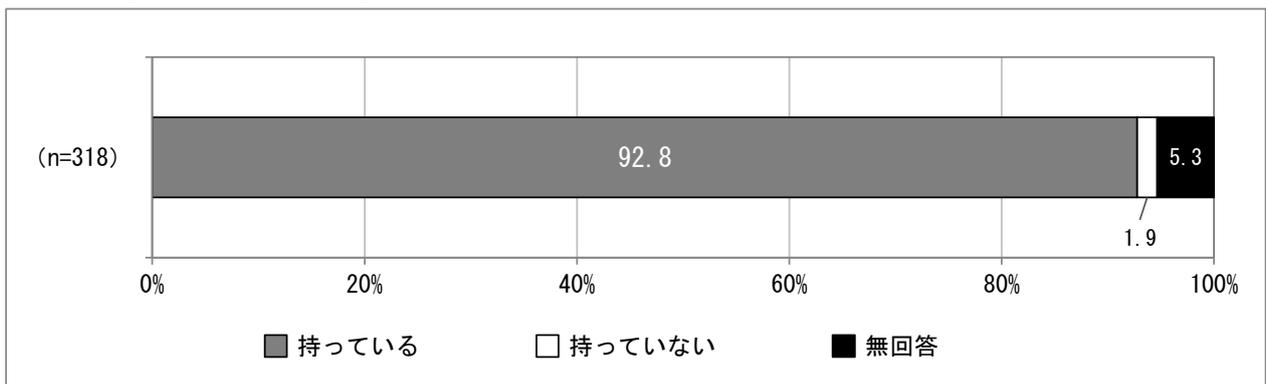
(身体障害者手帳)



(療育手帳)



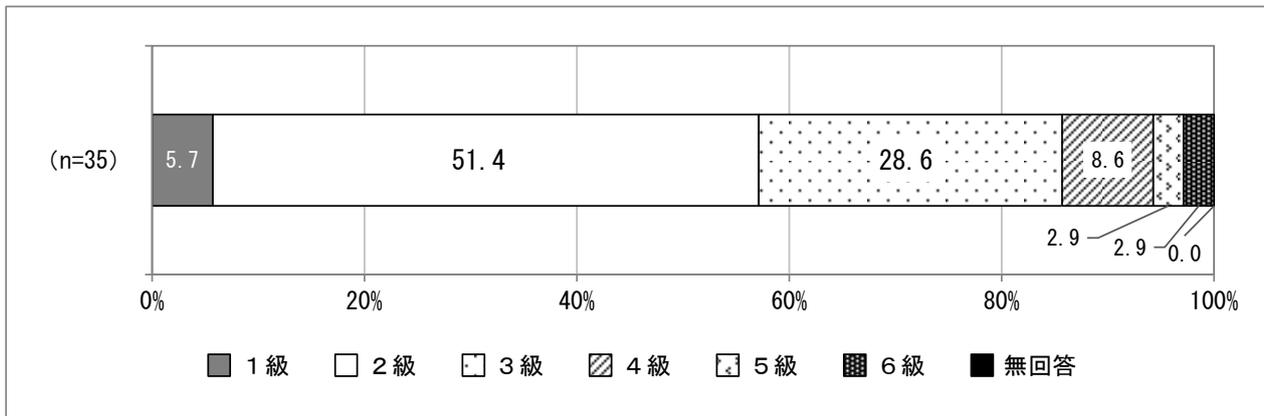
(精神障害者保健福祉手帳)



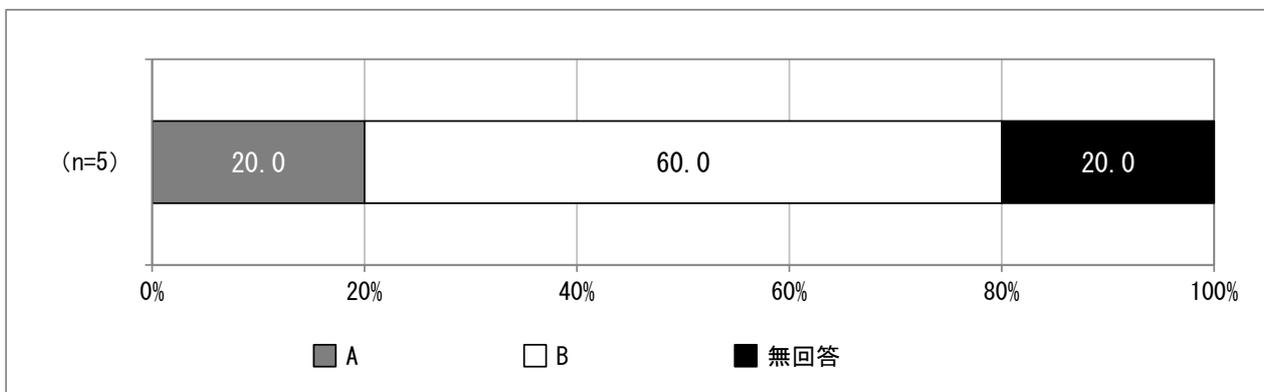
「持っている」割合は、身体障害者手帳が11.0%、療育手帳が1.6%、精神障害者保健福祉手帳が92.8%となっている。

(イ) お持ちの障害者手帳の等級を教えてください。(SA)

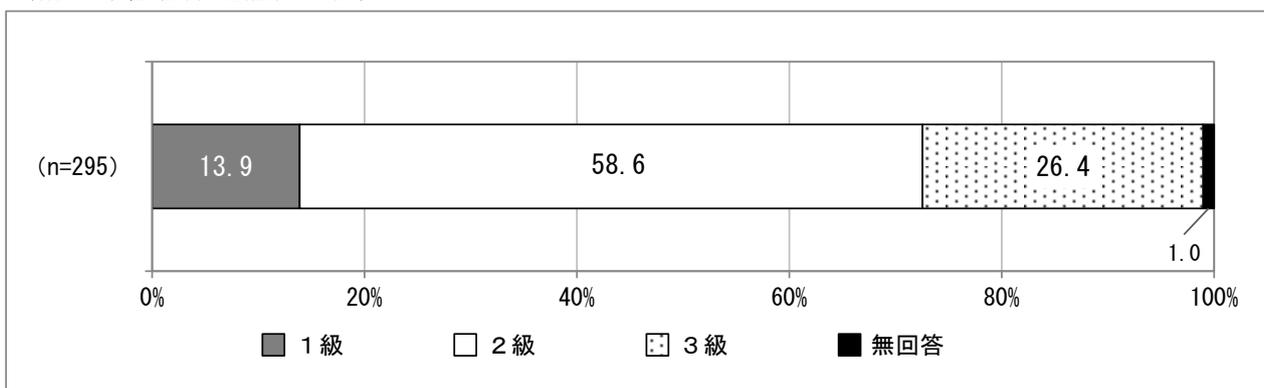
(身体障害者手帳)



(療育手帳)



(精神障害者保健福祉手帳)

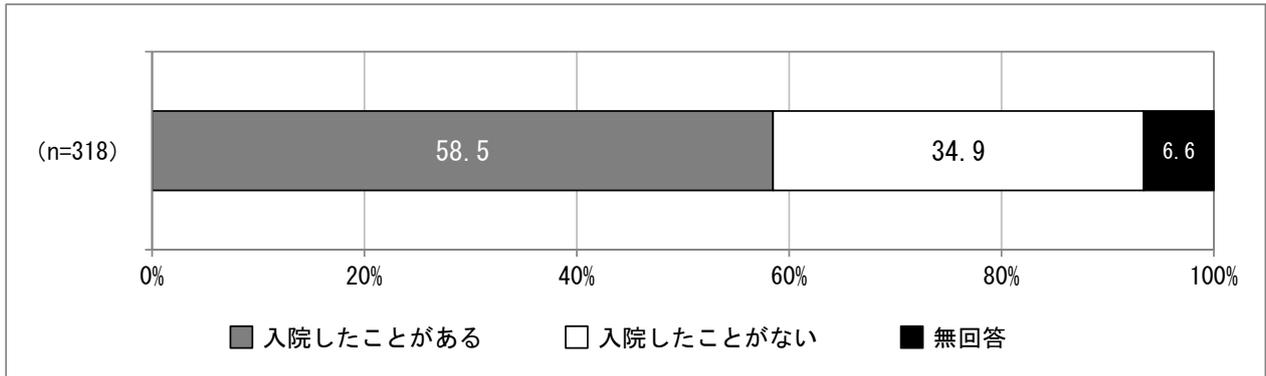


身体障害者手帳の等級は、「2級」(51.4%)が最も高く、次いで「3級」(28.6%)、「4級」(8.6%)となっている。

療育手帳の等級は、「A」(20.0%)、「B」(60.0%)となっている。

精神障害者保健福祉手帳の等級は、「2級」(58.6%)が最も高く、次いで「3級」(26.4%)、「1級」(13.9%)となっている。

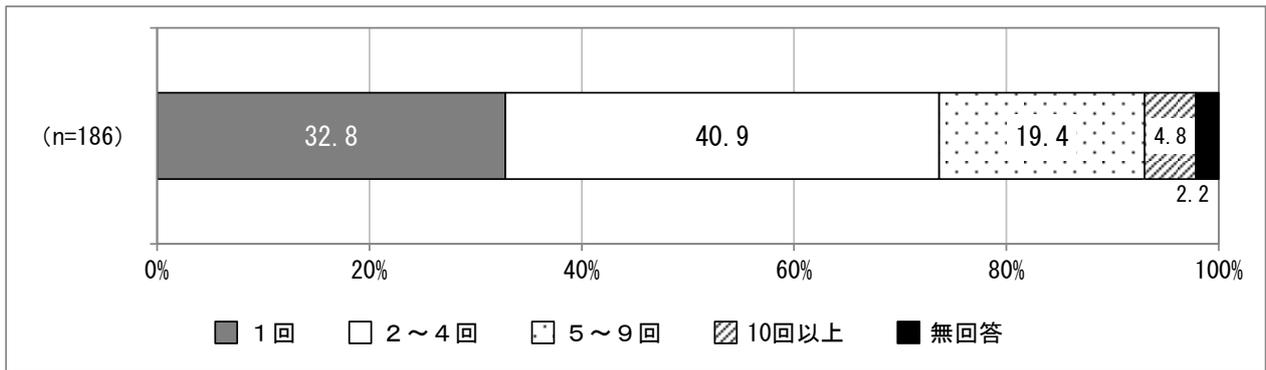
問6 あなたはこれまで精神科病院に入院したことがありますか。(SA)



これまでの精神科病院入院は、「入院したことがある」(58.5%)、「入院したことがない」(34.9%)となっている。

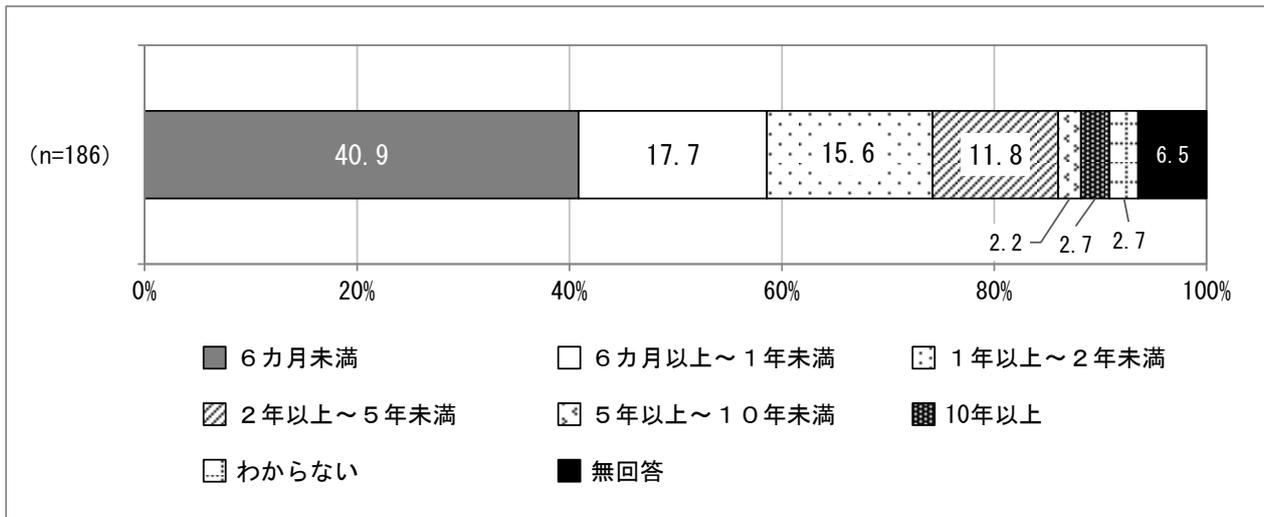
問7 問6で「入院をしたことがある」を選んだ方におたずねします。

(ア) あなたは何回入院をしたことがありますか。(SA)



これまでの入院回数は、「2~4回」(40.9%)が最も高く、次いで「1回」(32.8%)、「5~9回」(19.4%)となっている。

(イ) 入院の期間は通算するとどのくらいの期間になりますか。(SA)

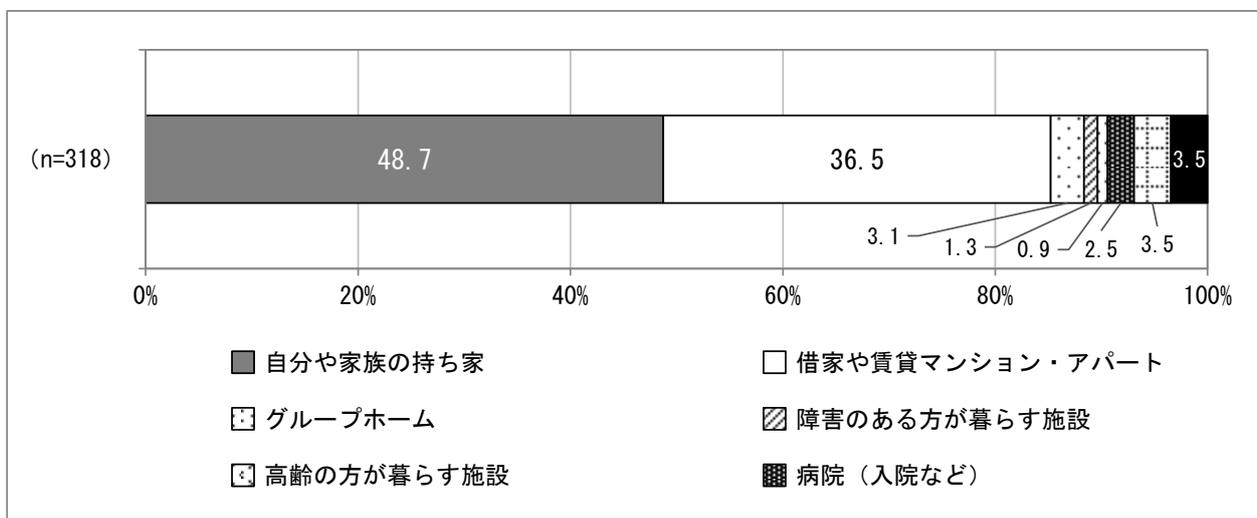


入院期間を通算すると、「6カ月未満」(40.9%)が最も高く、次いで「6カ月以上～1年未満」(17.7%)、「1年以上～2年未満」(15.6%)となっている。

## 2 住まいと暮らしについて

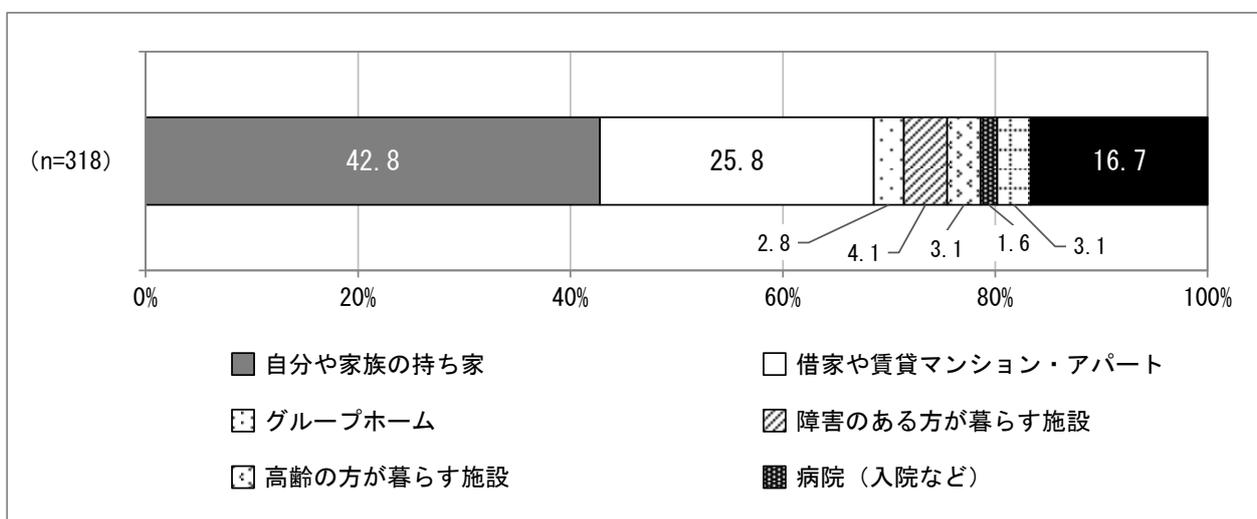
問8 お住まいについておたずねします。

(ア) 現在、あなたはどこにお住まいですか。(SA)



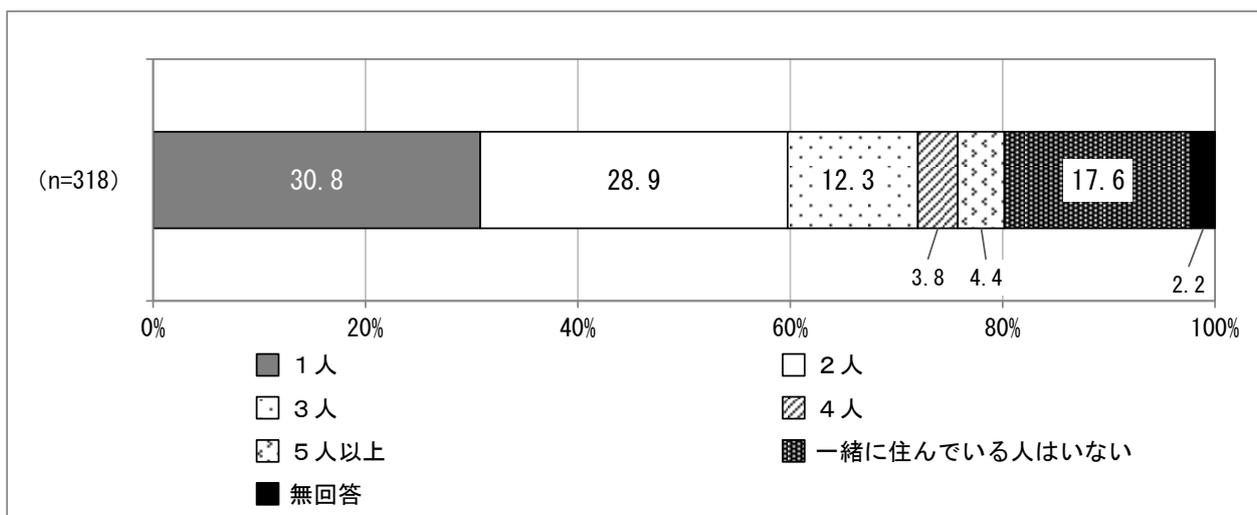
現在の住まいは、「自分や家族の持ち家」(48.7%)が最も高く、次いで「借家や賃貸マンション・アパート」(36.5%)となっている。

(イ) 将来は、どこで暮らしたいと思っていますか。(SA)



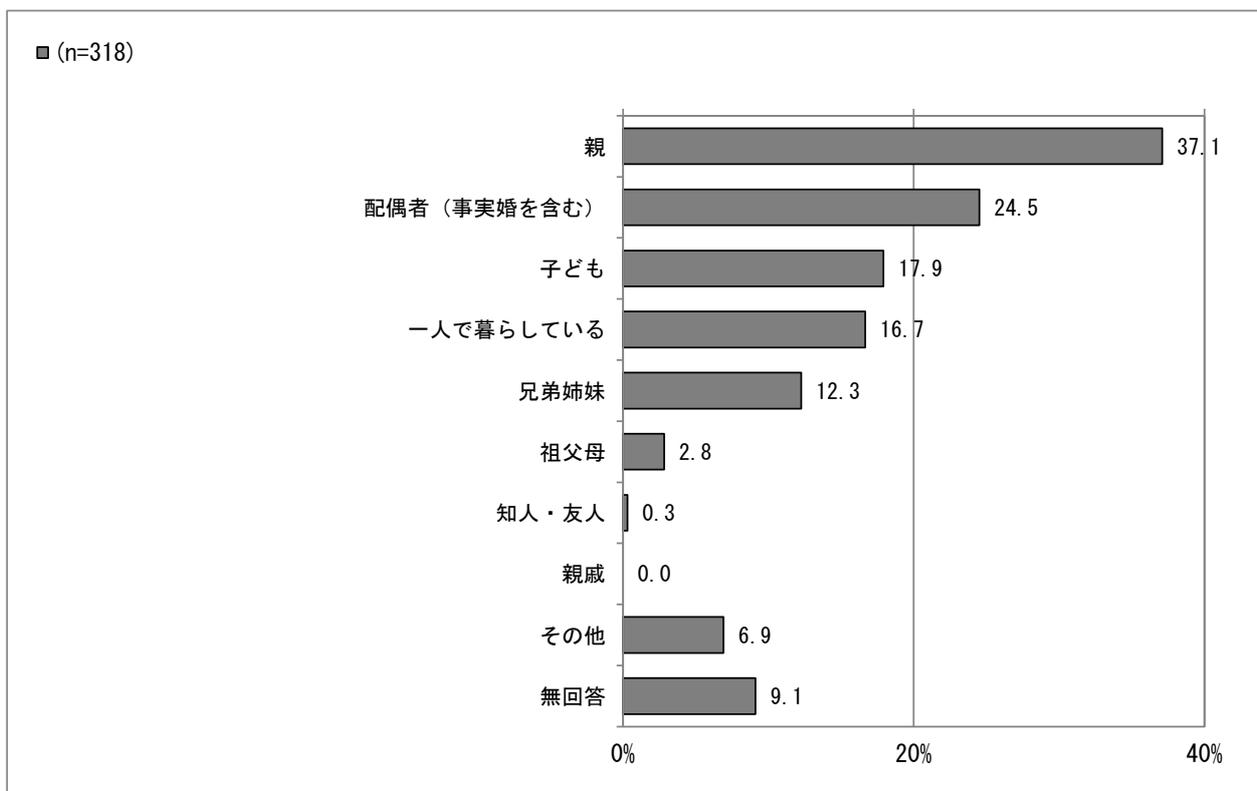
将来の居住希望は、「自分や家族の持ち家」(42.8%)が最も高く、次いで「借家や賃貸マンション・アパート」(25.8%)となっている。

問9 あなたと一緒に住んでいる人は何人いますか。(本人以外の人数) (SA)



一緒に住んでいる人数は「1人」(30.8%)が最も高く、次いで「2人」(28.9%)、「一緒に住んでいる人はいない」(17.6%)となっている。

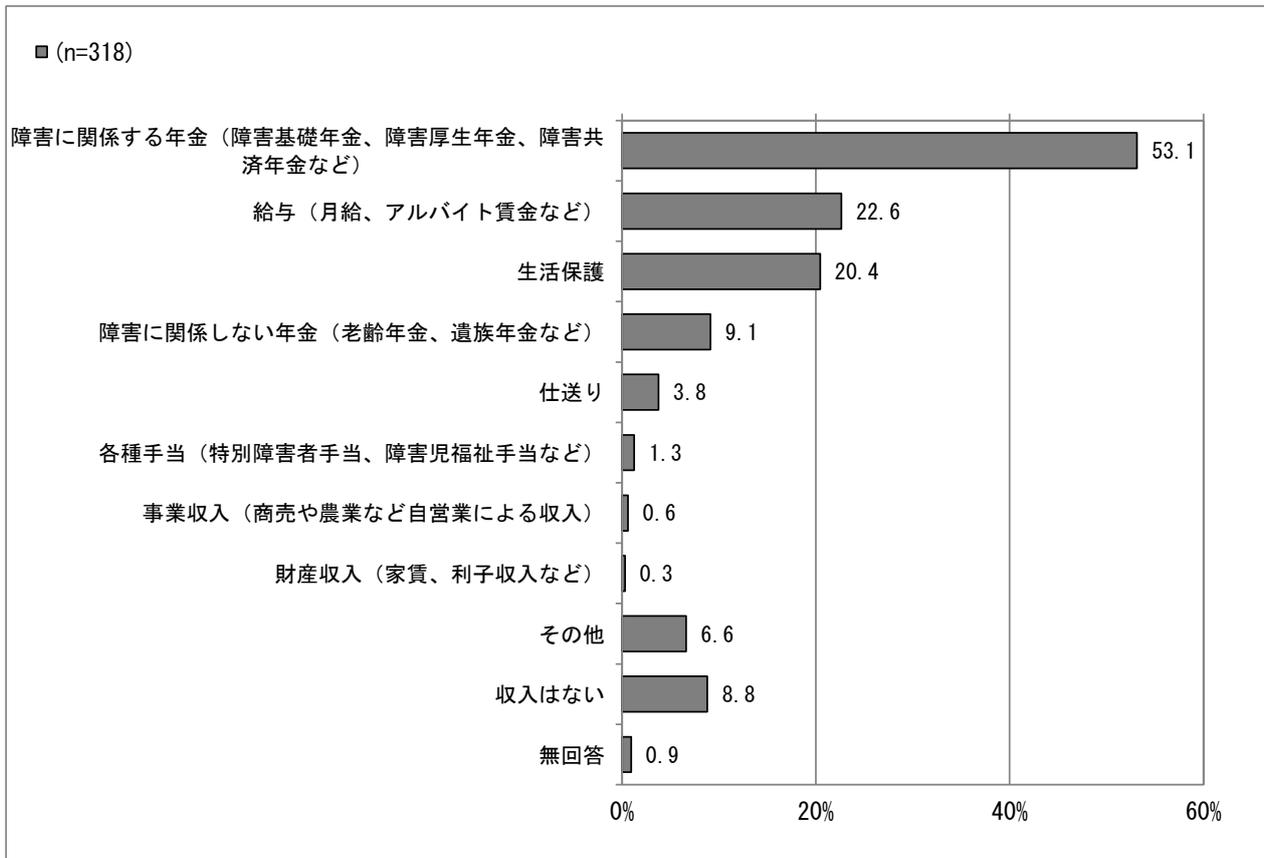
問10 あなたと一緒に住んでいる人は誰ですか。(MA)



同居者は、「親」(37.1%)が最も高く、次いで「配偶者 (事実婚を含む)」(24.5%)、「子ども」(17.9%)となっている。

### 3 所得の状況について

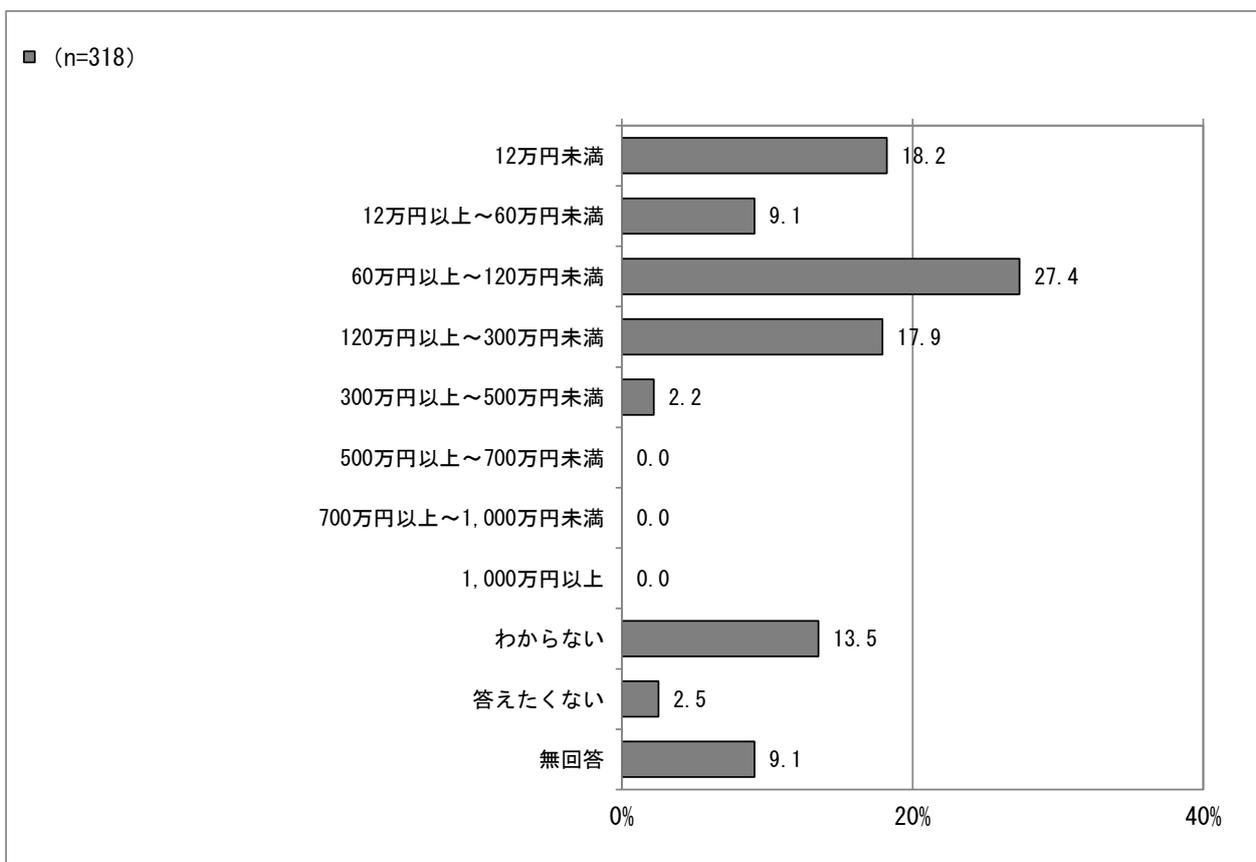
問 11 あなたが得ている収入は次のうちどれですか。(MA)



得ている収入は、「障害に関する年金（障害基礎年金、障害厚生年金、障害共済年金など）」（53.1%）が最も高く、次いで「給与（月給、アルバイト賃金など）」（22.6%）、「生活保護」（20.4%）となっている。

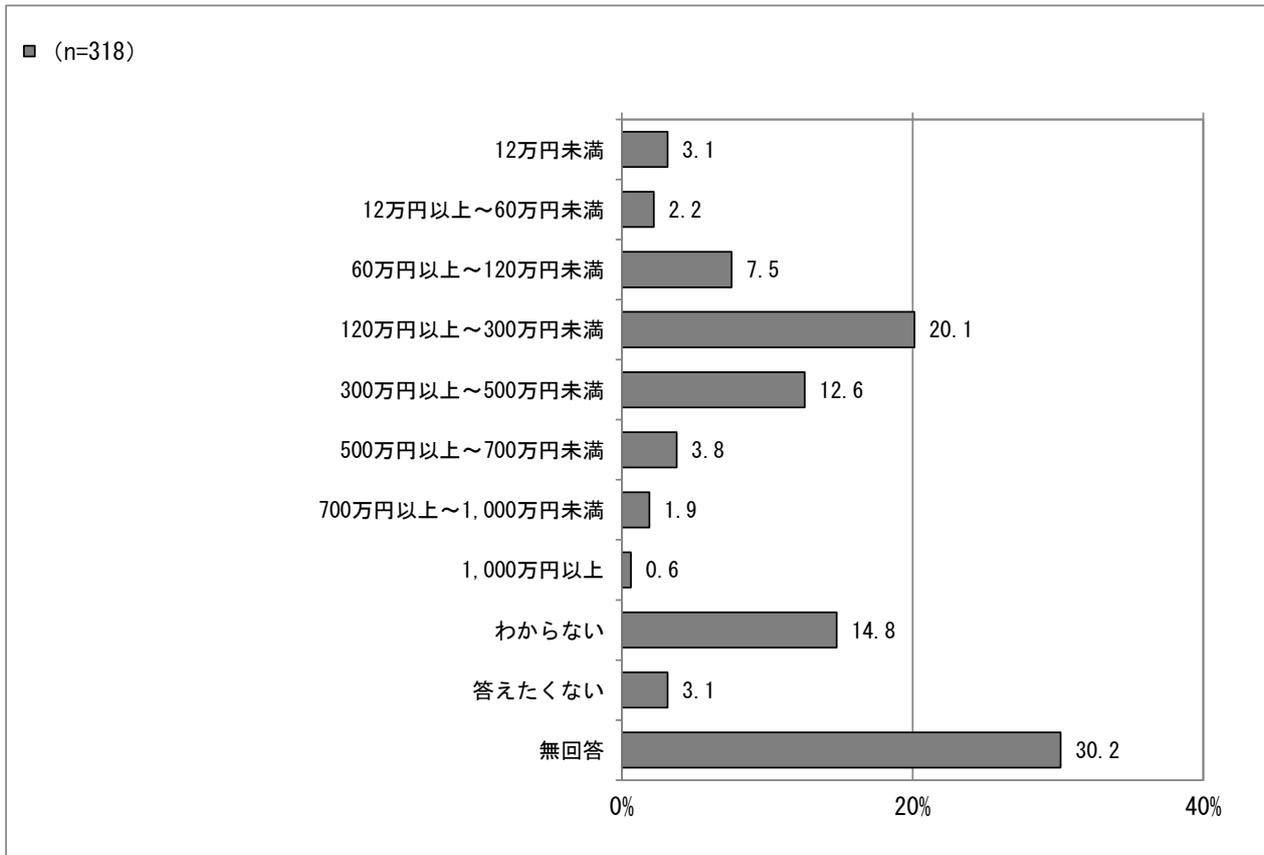
問 12 所得についておたずねします。

(ア) あなたの年収（税込）はだいたいどのくらいですか。(SA)



年収は、「60万円以上～120万円未満」(27.4%)が最も高く、次いで「12万円未満」(18.2%)、「120万円以上～300万円未満」(17.9%)となっている。

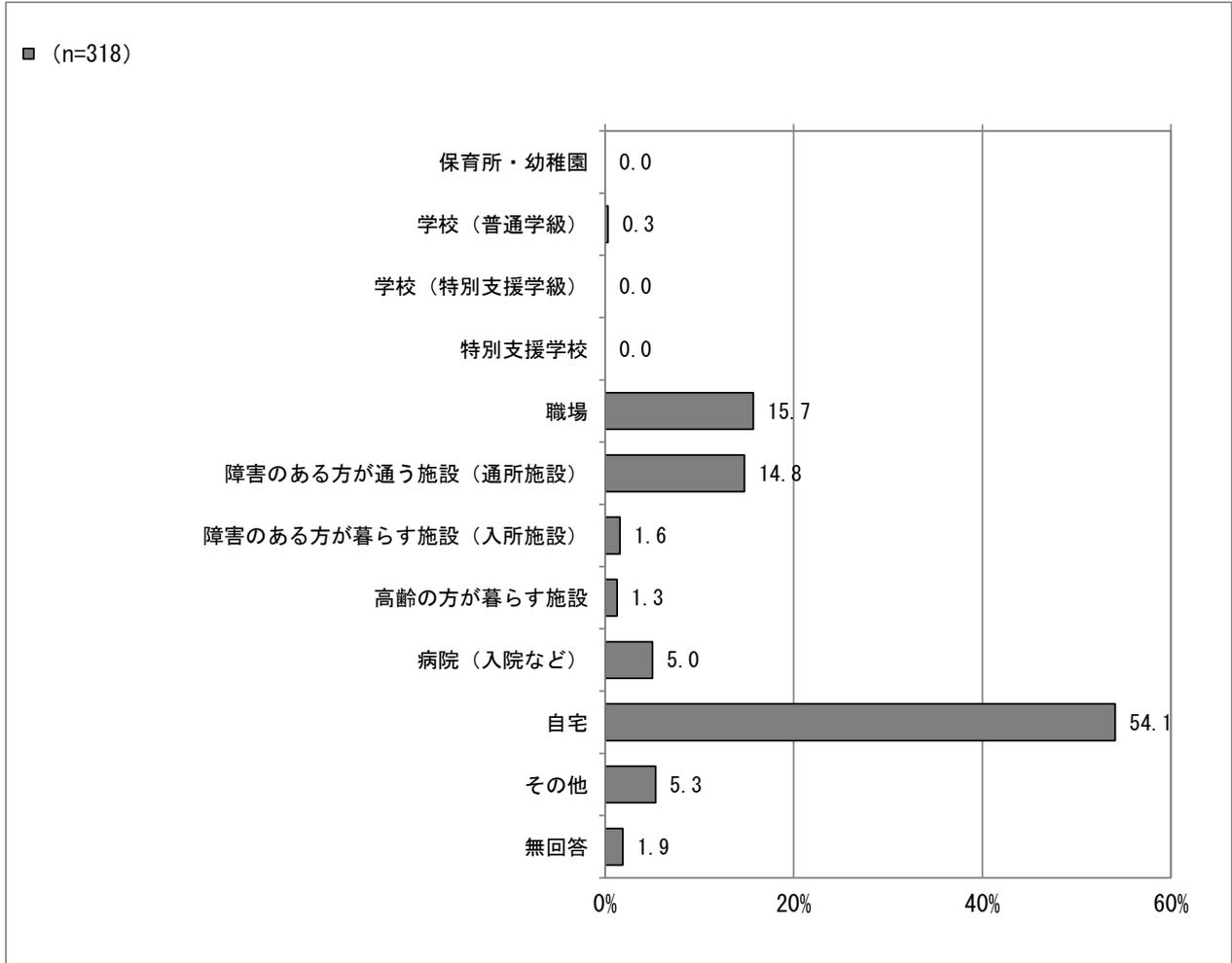
(イ) 一緒に暮らしている家族全体の年収（税込）はだいたいどのくらいですか。（本人の年収含む）（SA）



家族全体の年収は、「120万円以上～300万円未満」（20.1%）が最も高く、次いで「わからない」（14.8%）、「300万円以上～500万円未満」（12.6%）となっている。

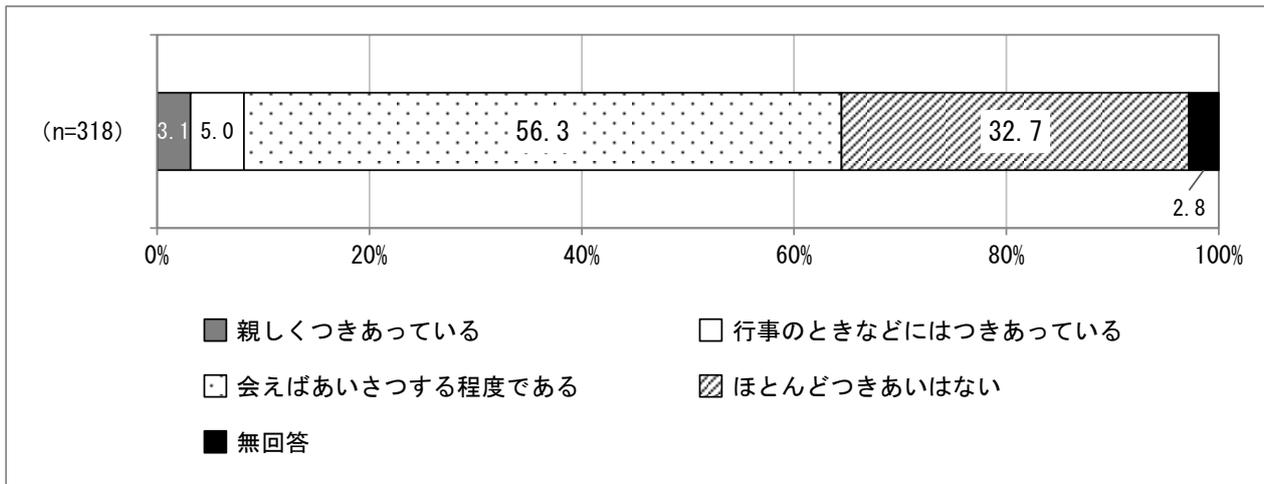
#### 4 日常生活について

問 13 平日の日中の過ごし方についておたずねします。あなたが主に過ごしている場所はどこですか。(SA)



平日日中に主に過ごす場所は、「自宅」(54.1%)が最も高く、次いで「職場」(15.7%)、「障害のある方が通う施設(通所施設)」(14.8%)となっている。

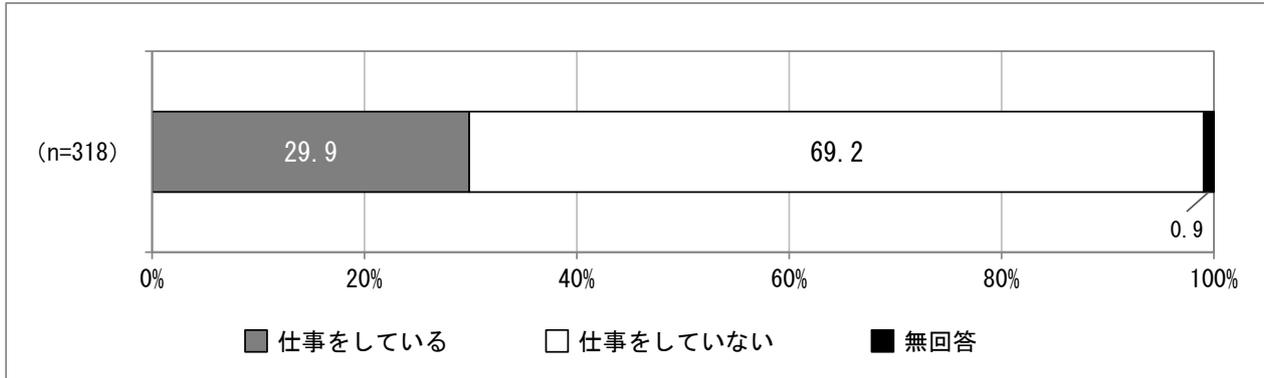
## 問14 あなたは隣近所の人とどのようにつきあっていますか。(SA)



隣近所の人とのつきあいかたは、「会えばあいさつする程度である」(56.3%)が最も高く、次いで「ほとんどつきあいはない」(32.7%)、「行事のときなどにはつきあっている」(5.0%)となっている。

## 5 就労の状況について

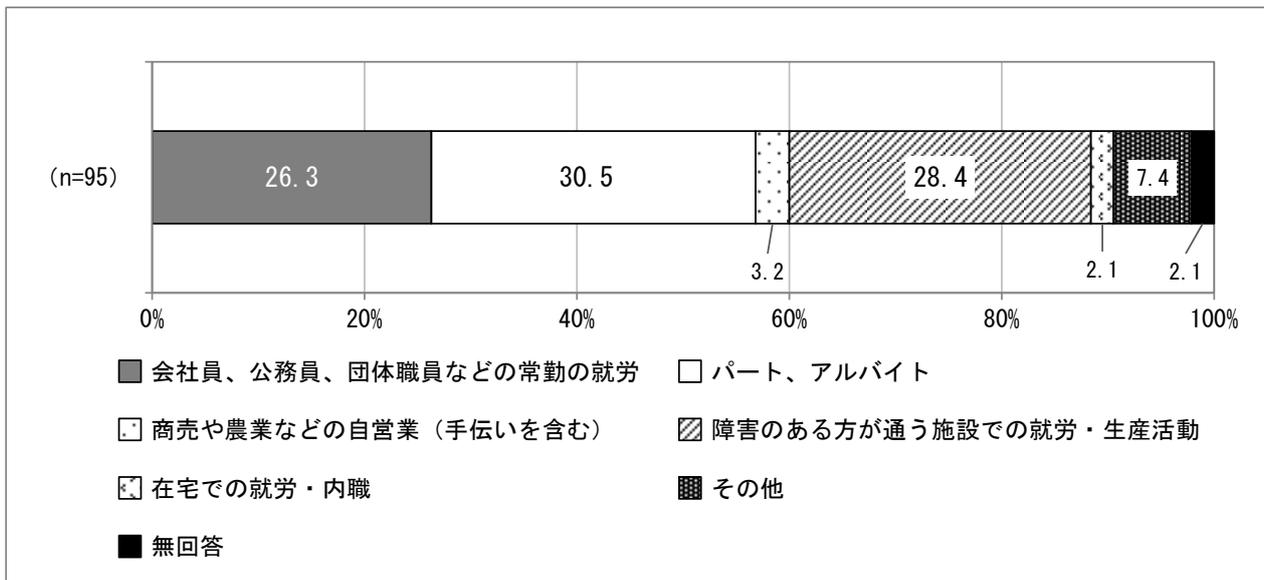
問 15 現在、あなたは仕事をしていますか。(SA)



現在仕事は、「仕事をしている」(29.9%)、「仕事をしていない」(69.2%)となっている。

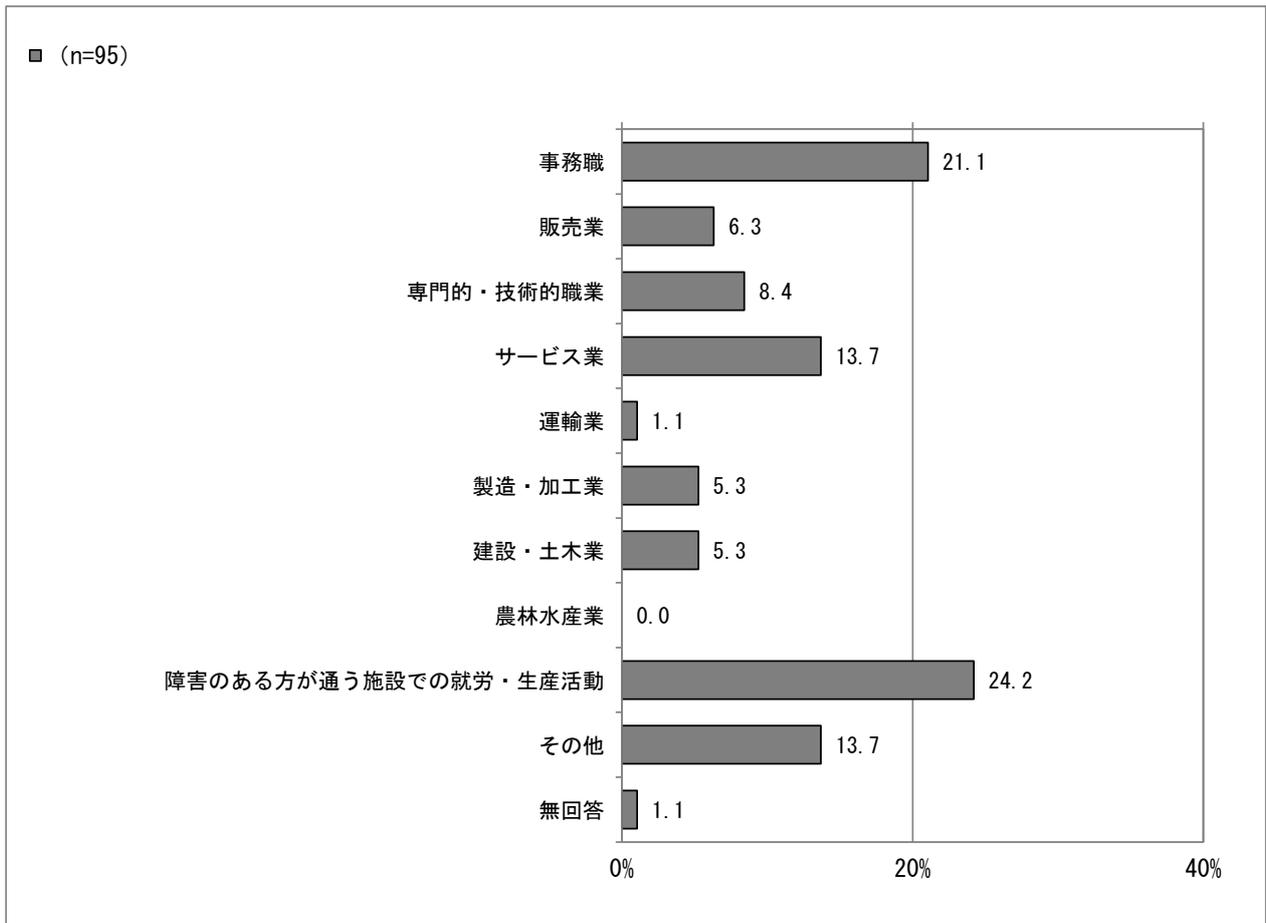
問 16 問 15で「仕事をしている」を選んだ方におたずねします。

(1) あなたは主にどのような仕事に就いていますか。(SA)



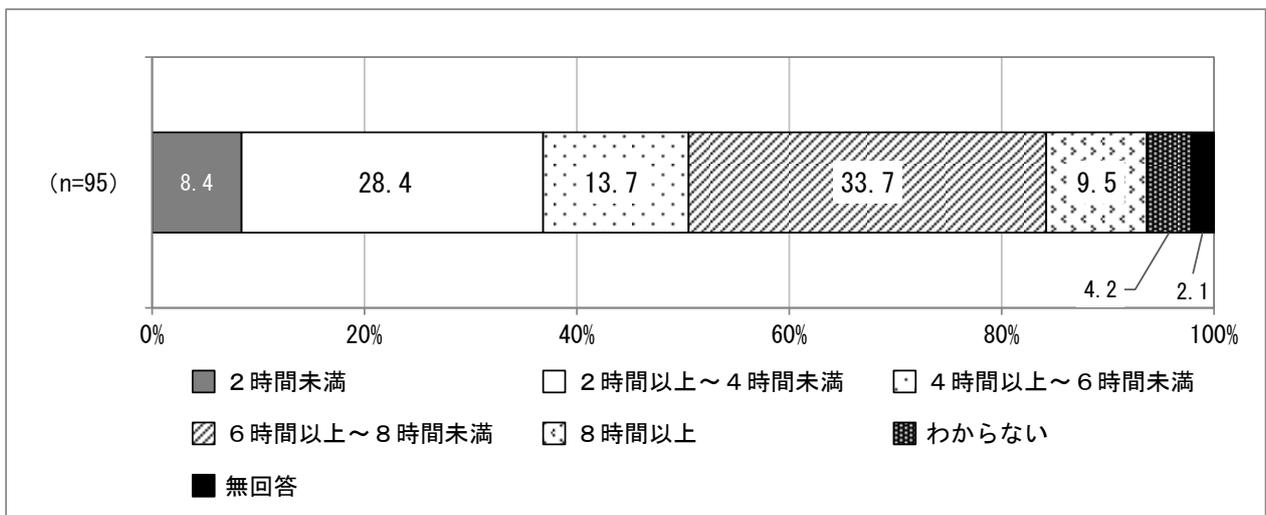
現在の仕事は、「パート、アルバイト」(30.5%)が最も高く、次いで「障害のある方が通う施設での就労・生産活動」(28.4%)、「会社員、公務員、団体職員などの常勤の就労」(26.3%)となっている。

(2) あなたは主にどのような内容の仕事をしていますか。(SA)



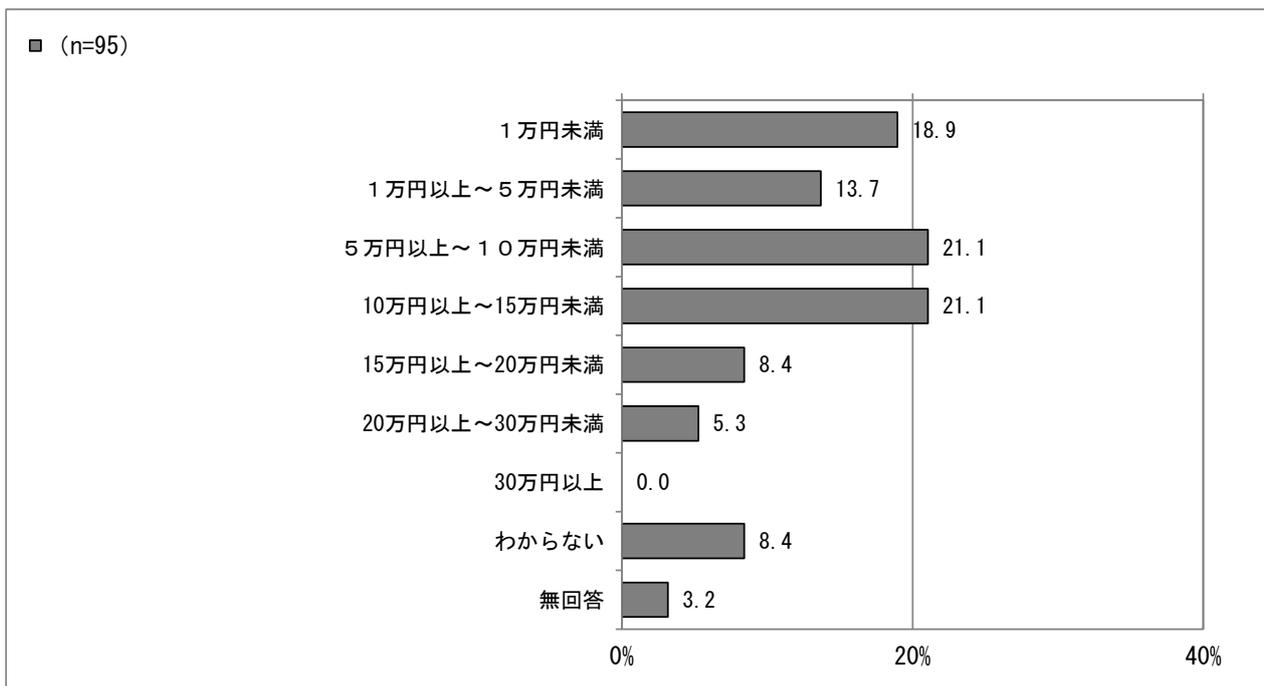
仕事の内容は、「障害のある方が通う施設での就労・生産活動」(24.2%)が最も高く、次いで「事務職」(21.1%)、「サービス業」と「その他」がともに13.7%となっている。

(3) あなたの1日あたりの仕事の時間はどのくらいですか。(SA)



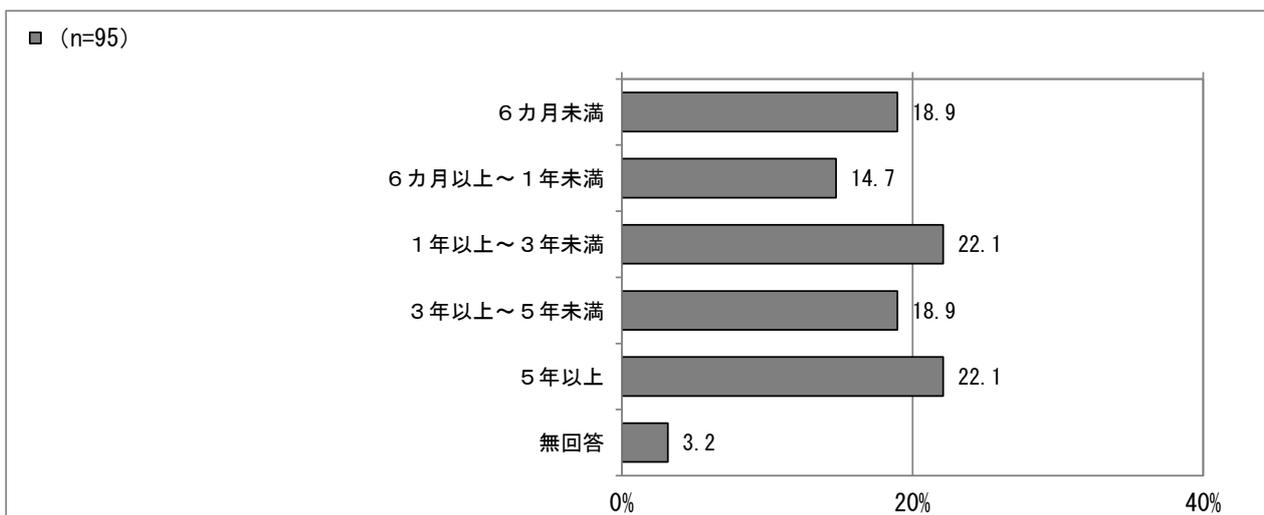
1日あたりの仕事の時間は、「6時間以上～8時間未満」(33.7%)が最も高く、次いで「2時間以上～4時間未満」(28.4%)、「4時間以上～6時間未満」(13.7%)となっている。

(4) あなたの仕事による収入は月額どのくらいですか。(SA)



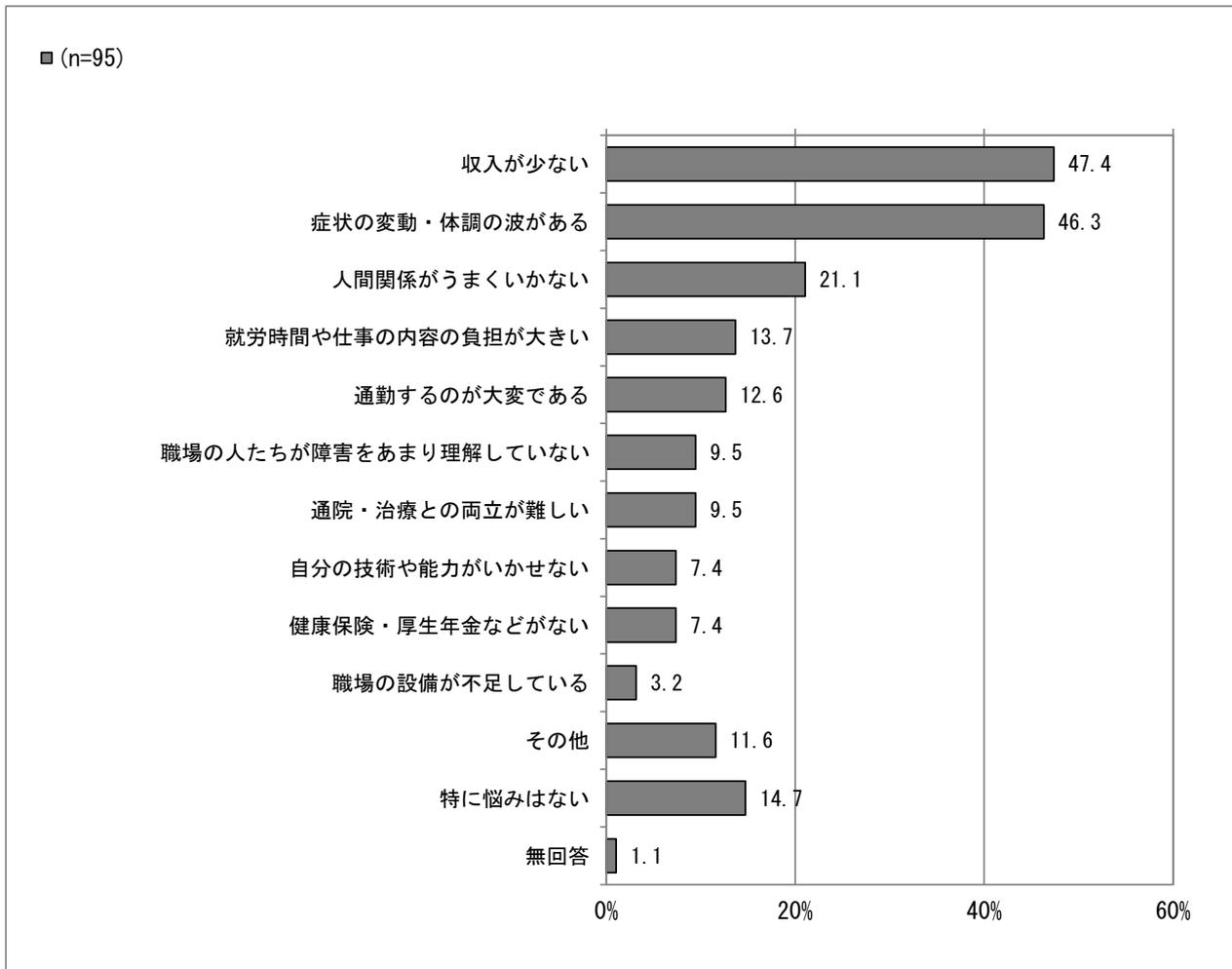
月額収入は、「5万円以上～10万円未満」と「10万円以上～15万円未満」がともに21.1%と最も高く、次いで「1万円未満」(18.9%)、「1万円以上～5万円未満」(13.7%)となっている。

(5) あなたは現在の仕事をどのくらいの期間続けていますか。(SA)



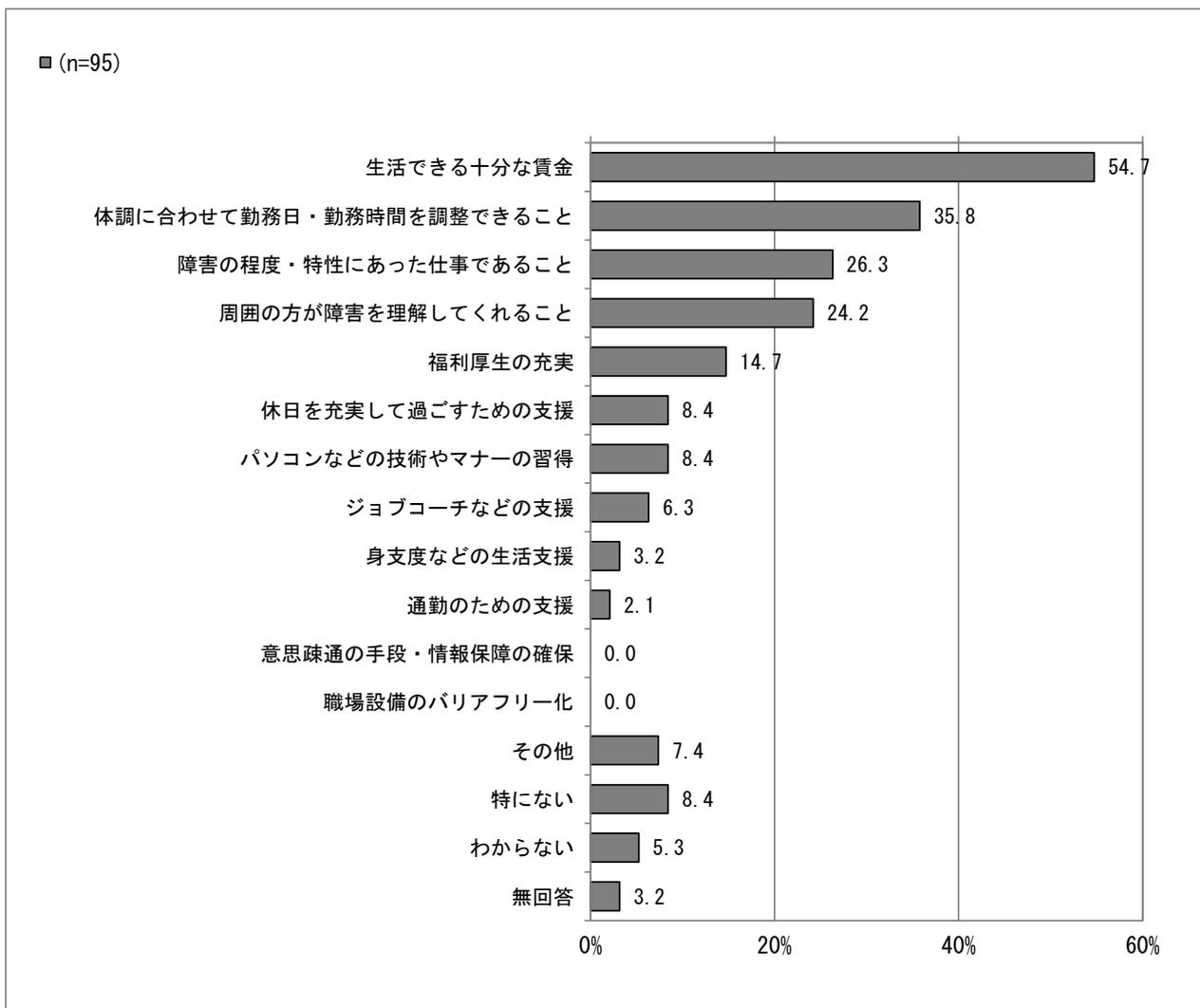
現在の仕事の期間は、「1年以上～3年未満」と「5年以上」が22.1%とともに最も高く、次いで「6カ月未満」と「3年以上～5年未満」がともに18.9%となっている。

## (6) あなたは仕事をしている上で、何か悩みや不満などがありますか。(MA)



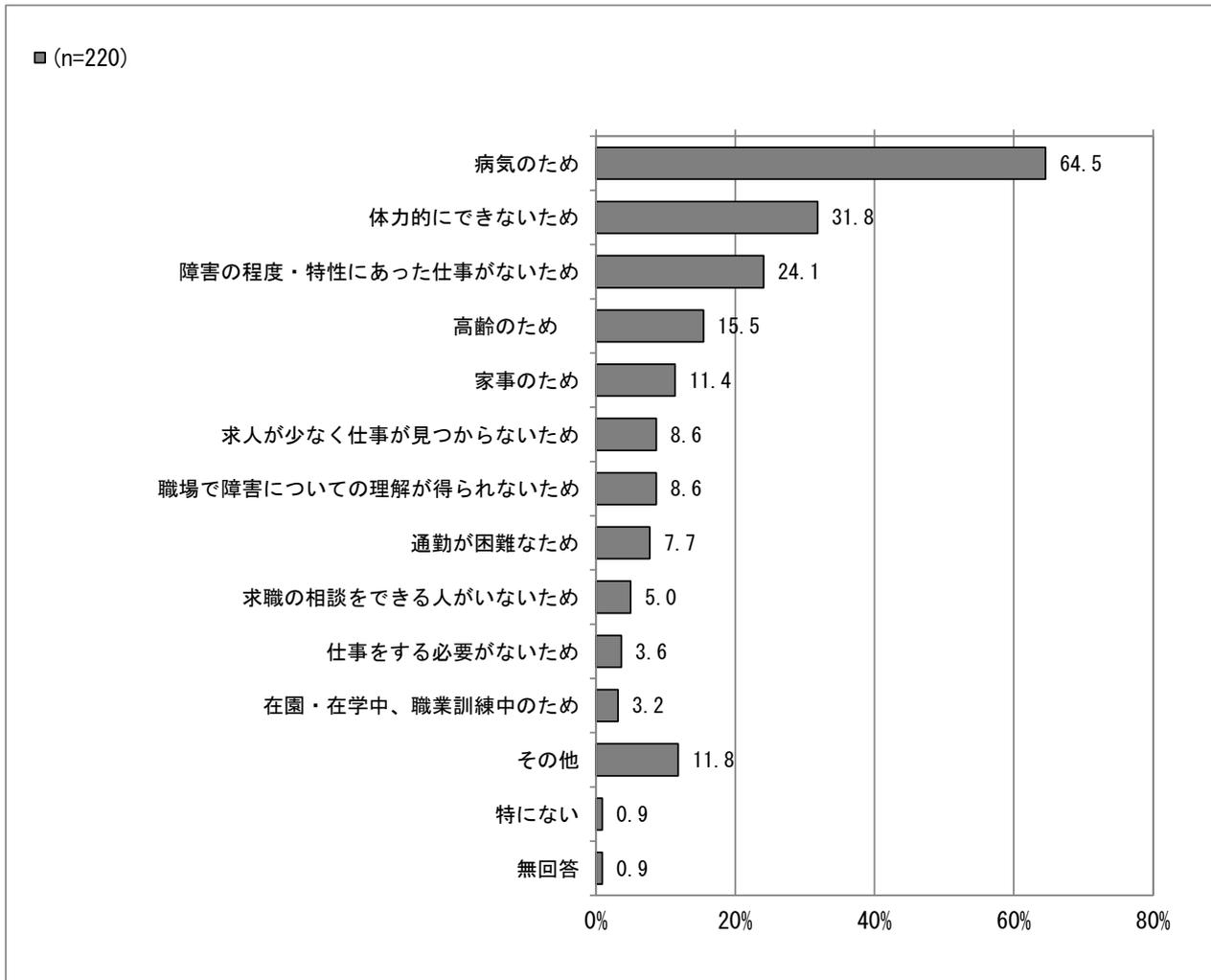
仕事をしている上での悩みや不満は、「収入が少ない」(47.4%)が最も高く、次いで「症状の変動・体調の波がある」(46.3%)、「人間関係がうまくいかない」(21.1%)となっている。

(7) あなたが仕事を続けるためには何が必要ですか。(MA)



仕事を続けるために必要なものは、「生活できる十分な賃金」(54.7%)が最も高く、次いで「体調に合わせて勤務日・勤務時間を調整できること」(35.8%)、「障害の程度・特性にあった仕事であること」(26.3%)となっている。

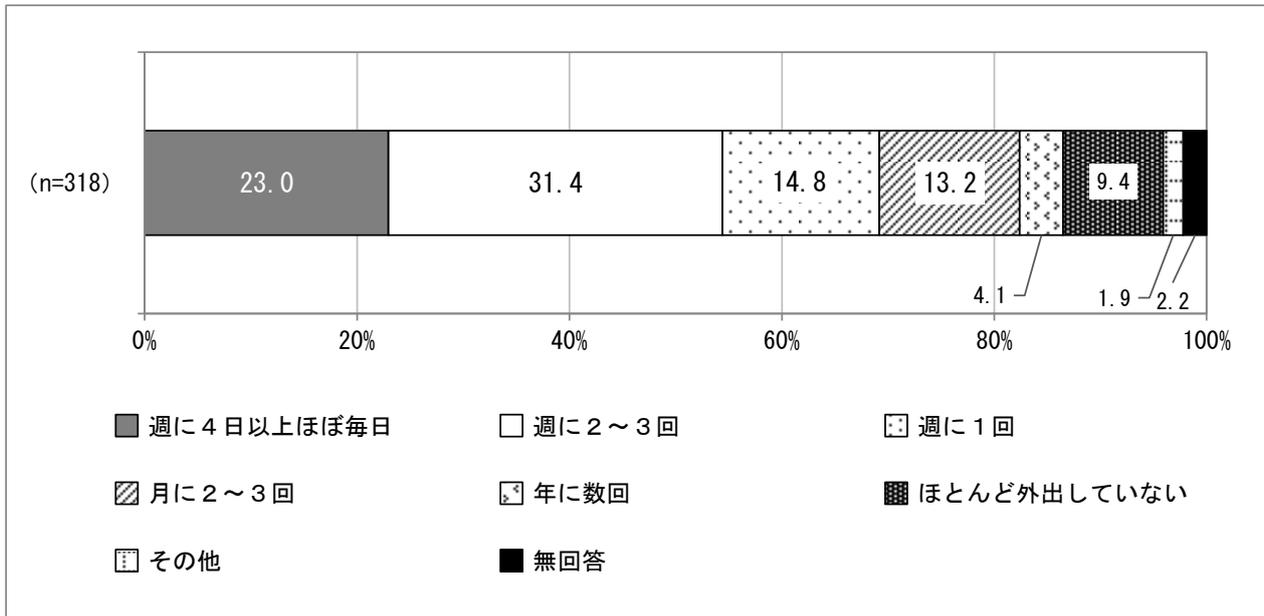
問17 問15で「仕事をしていない」を選んだ方におたずねします。現在、あなたが仕事をしていない理由は何ですか。(MA)



現在仕事をしていない理由は、「病気のため」(64.5%)が最も高く、次いで「体力的にできないため」(31.8%)、「障害の程度・特性にあった仕事がないため」(24.1%)となっている。

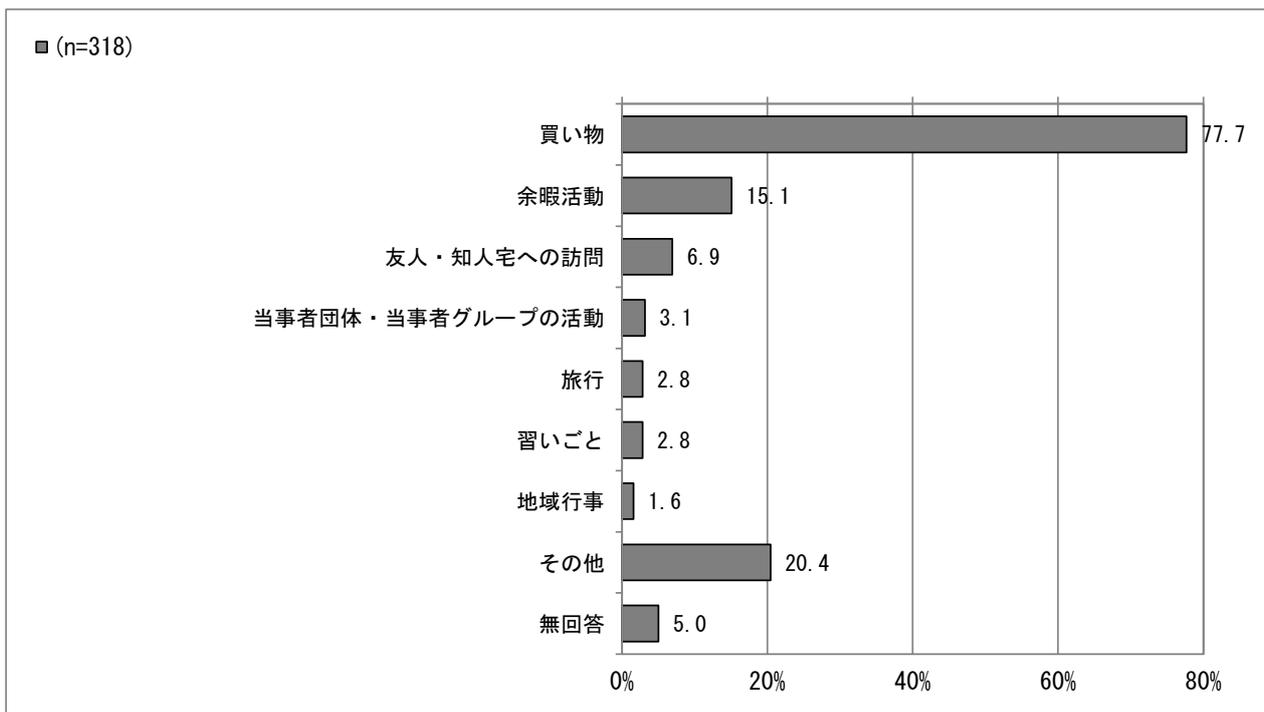
## 6 社会参加について

問 18 あなたはどのくらいの頻度で外出していますか。(通勤、通学、通園、通院、通所での外出は除く) (SA)



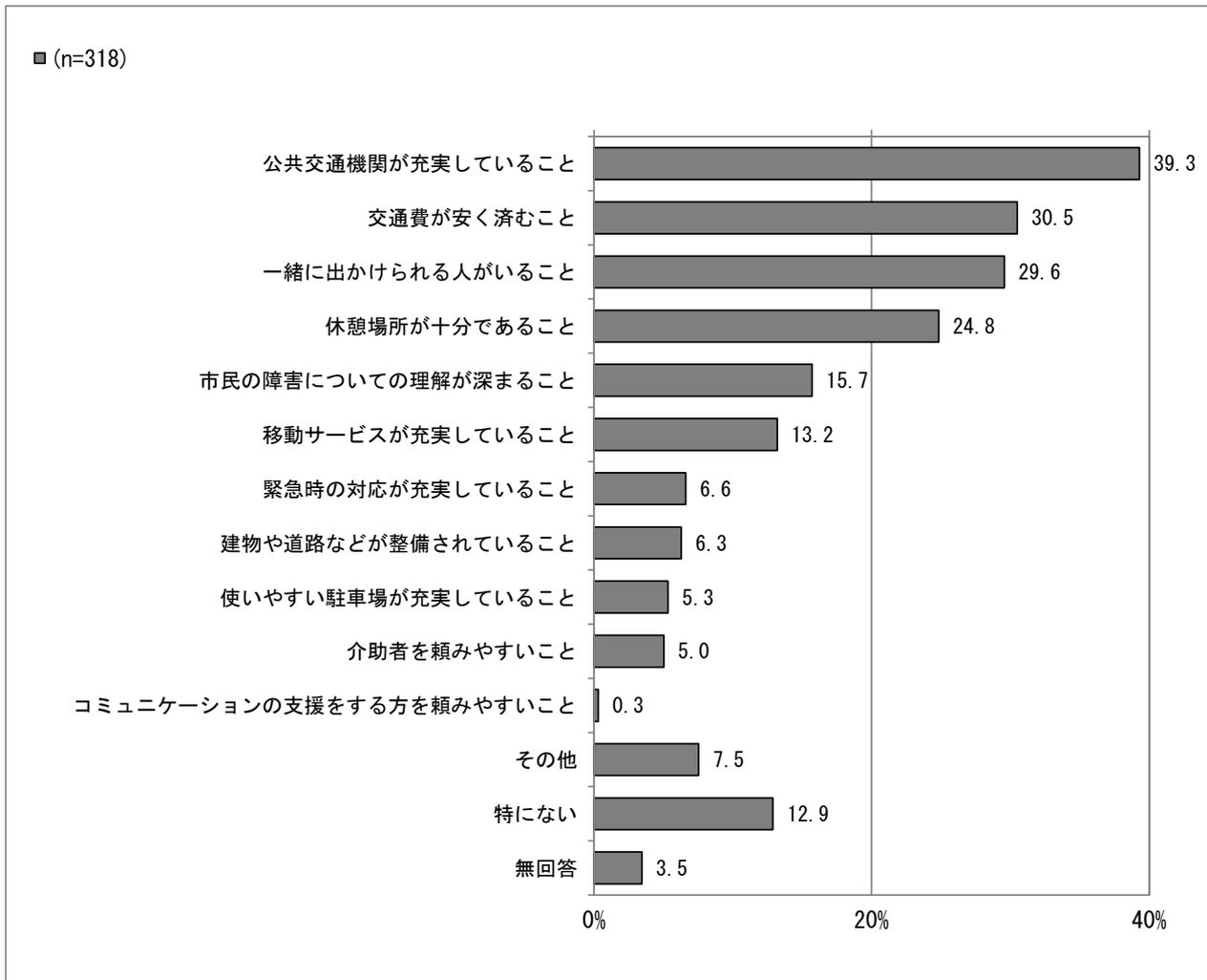
外出頻度は、「週に2~3回」(31.4%)が最も高く、次いで「週に4日以上ほぼ毎日」(23.0%)、「週に1回」(14.8%)となっている。

問 19 あなたの主な外出の目的は何ですか。(通勤、通学、通園、通院、通所での外出は除く) (MA)



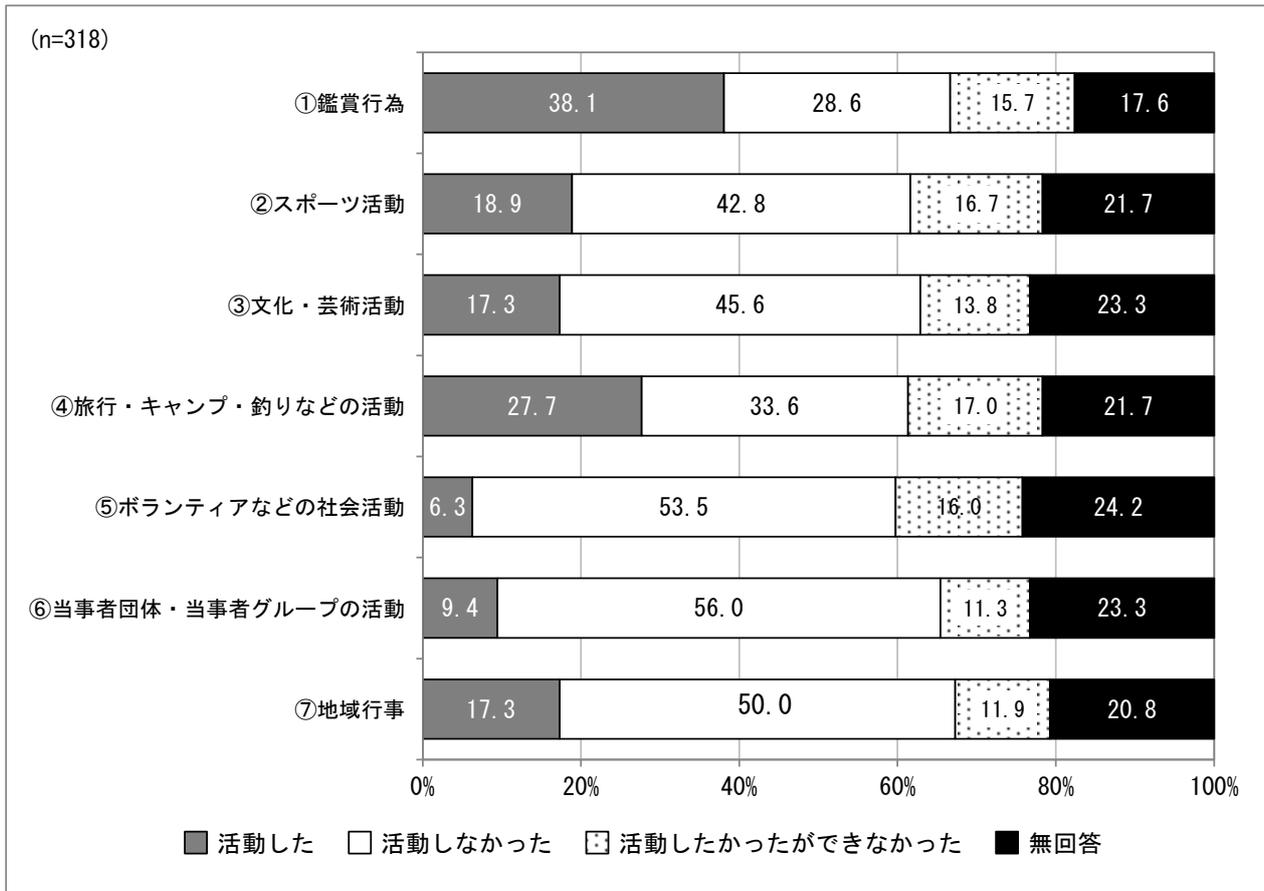
主な外出の目的は、「買い物」(77.7%)が最も高く、次いで「その他」(20.4%)、「余暇活動」(15.1%)となっている。

## 問20 あなたがより外出しやすくなるためには何が必要ですか。(MA)



より外出しやすくなるために必要なものは、「公共交通機関が充実していること」(39.3%)が最も高く、次いで「交通費が安く済むこと」(30.5%)、「一緒に出かけられる人がいること」(29.6%)となっている。

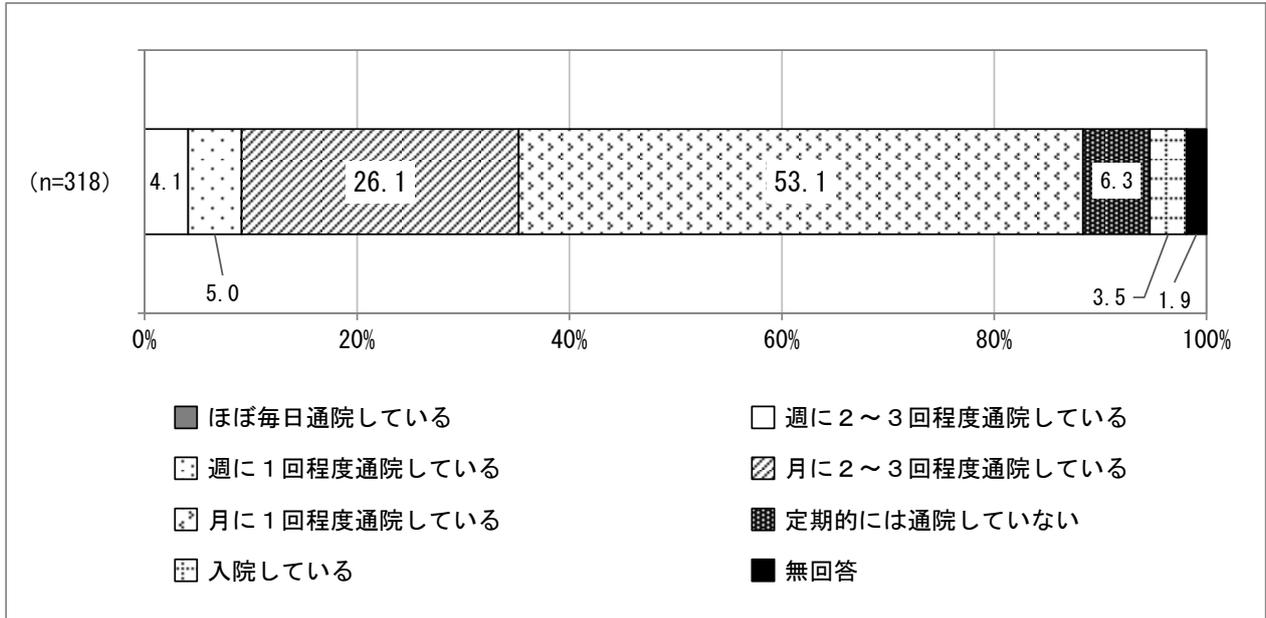
問 21 あなたは過去一年間に、どのような余暇活動、スポーツ、趣味、学習や社会活動などをしましたか。(SA)



過去一年間に行った活動などは、「①鑑賞行為」(38.1%)が最も高く、次いで「④旅行・キャンプ・釣りなどの活動」(27.7%)、「③文化・芸術活動」と「⑦地域行事」がともに17.8%となっている。

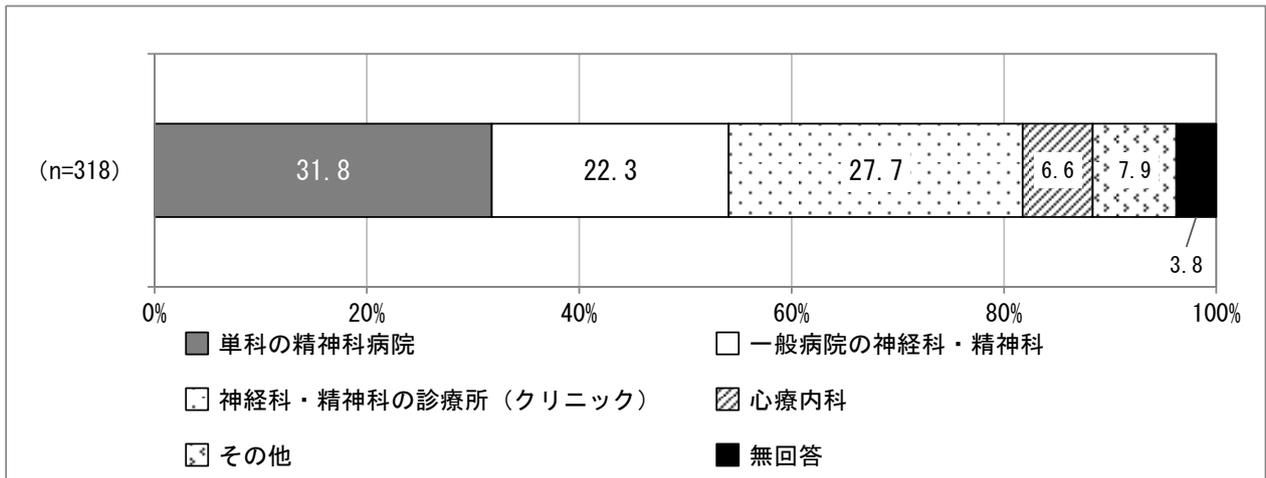
7 健康や医療について

問 22 あなたは普段、定期的に通院していますか。(SA)



定期的な通院は、「月に1回程度通院している」(53.1%)が最も高く、次いで「月に2~3回程度通院している」(26.1%)、「定期的には通院していない」(6.3%)となっている。

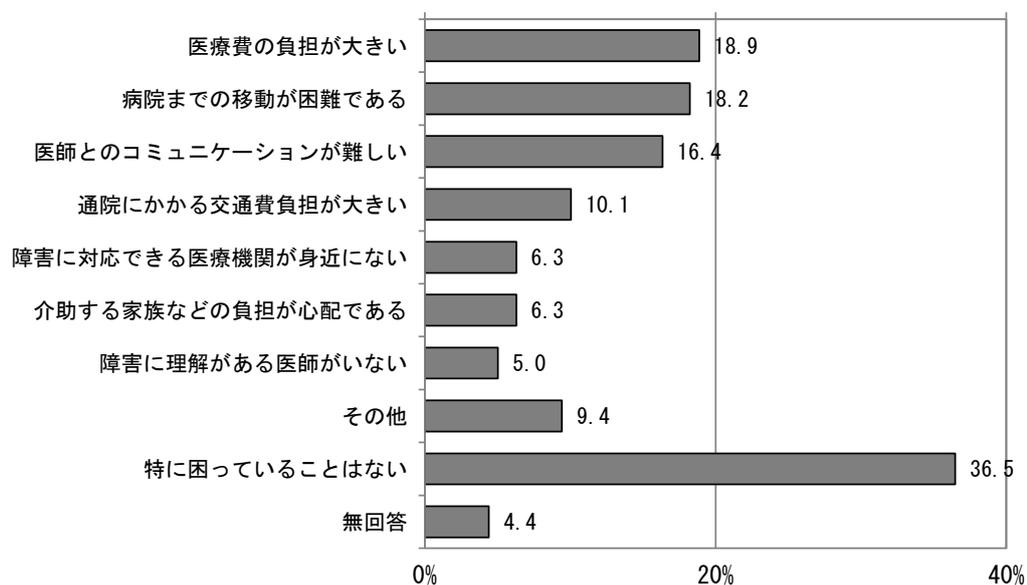
問 23 現在通院している方におたずねします。あなたがかかっている医療機関は次のうちどれですか。(SA)



通院している医療機関は、「単科の精神科病院」(31.8%)が最も高く、次いで「神経科・精神科の診療所(クリニック)」(27.7%)、「一般病院の神経科・精神科」(22.3%)となっている。

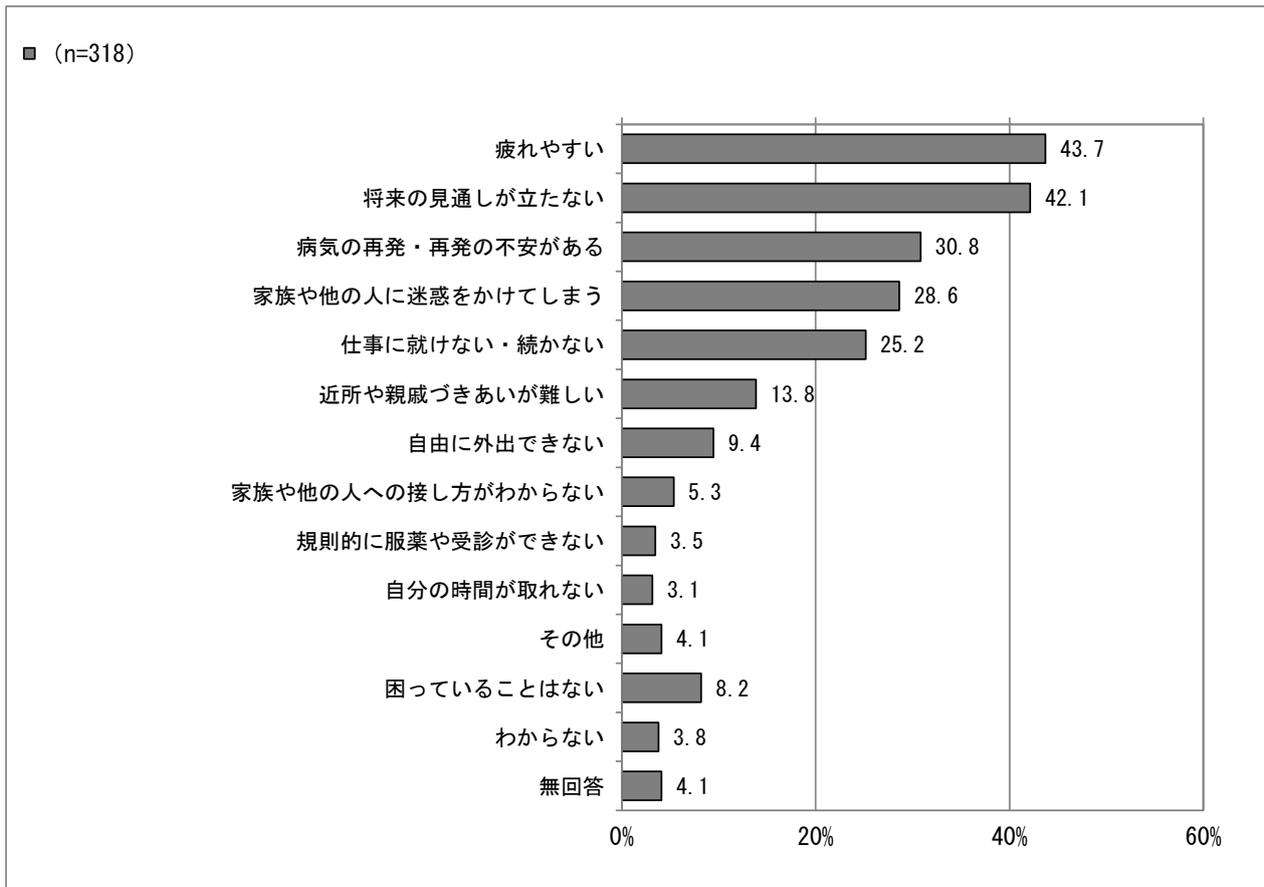
問 24 あなたが医療機関を利用する際に困っていることは何ですか。(MA)

■ (n=318)



医療機関利用時に困っていることは、「特に困っていることはない」(36.5%)が最も高く、次いで「医療費の負担が大きい」(18.9%)、「病院までの移動が困難である」(18.2%)となっている。

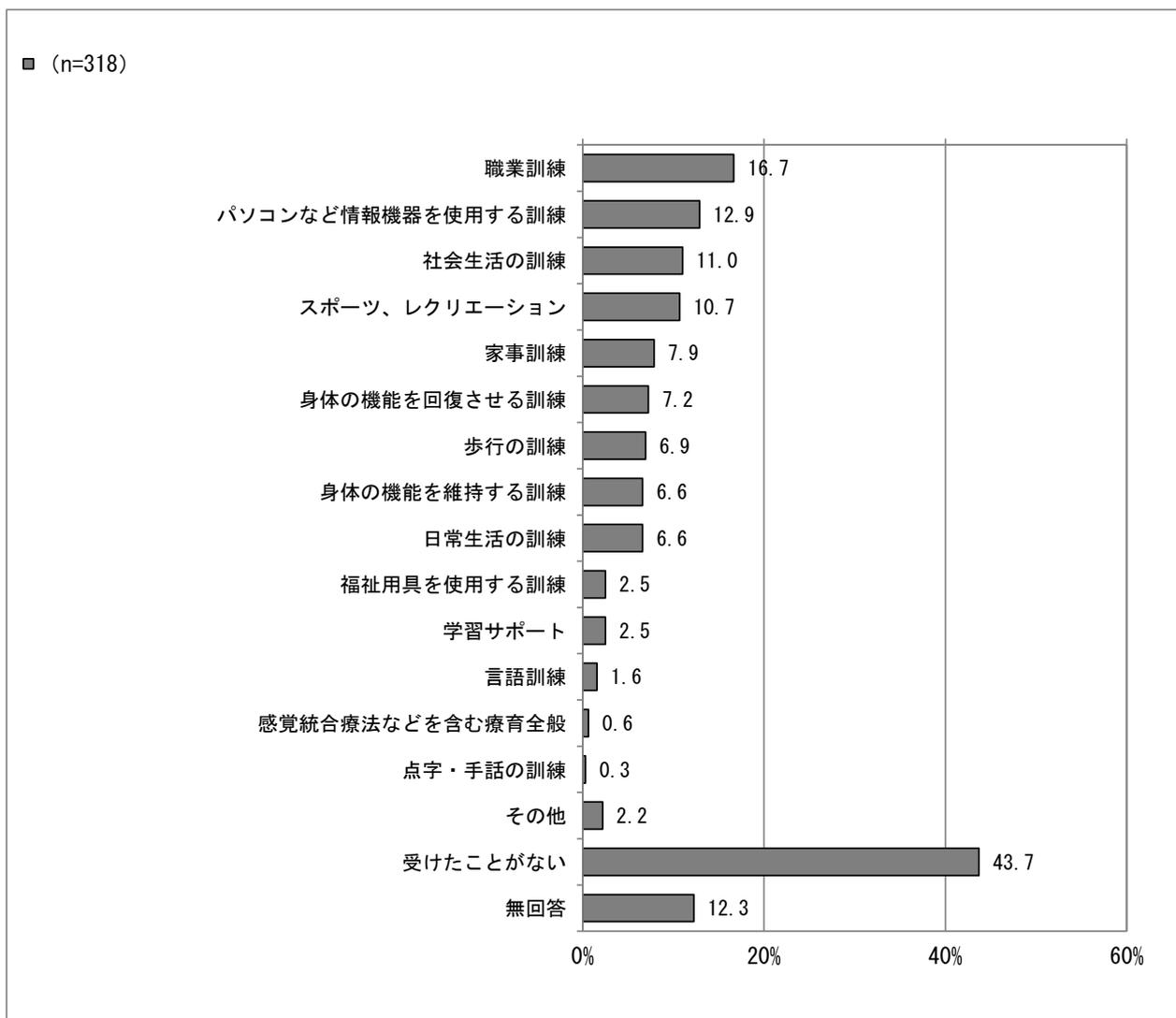
## 問 25 あなたは、診療以外で精神疾患のことで困っていることがありますか。(MA)



診療以外で精神疾患のことで困っていることは、「疲れやすい」(43.7%)が最も高く、次いで「将来の見通しが立たない」(42.1%)、「病気の再発・再発の不安がある」(30.8%)となっている。

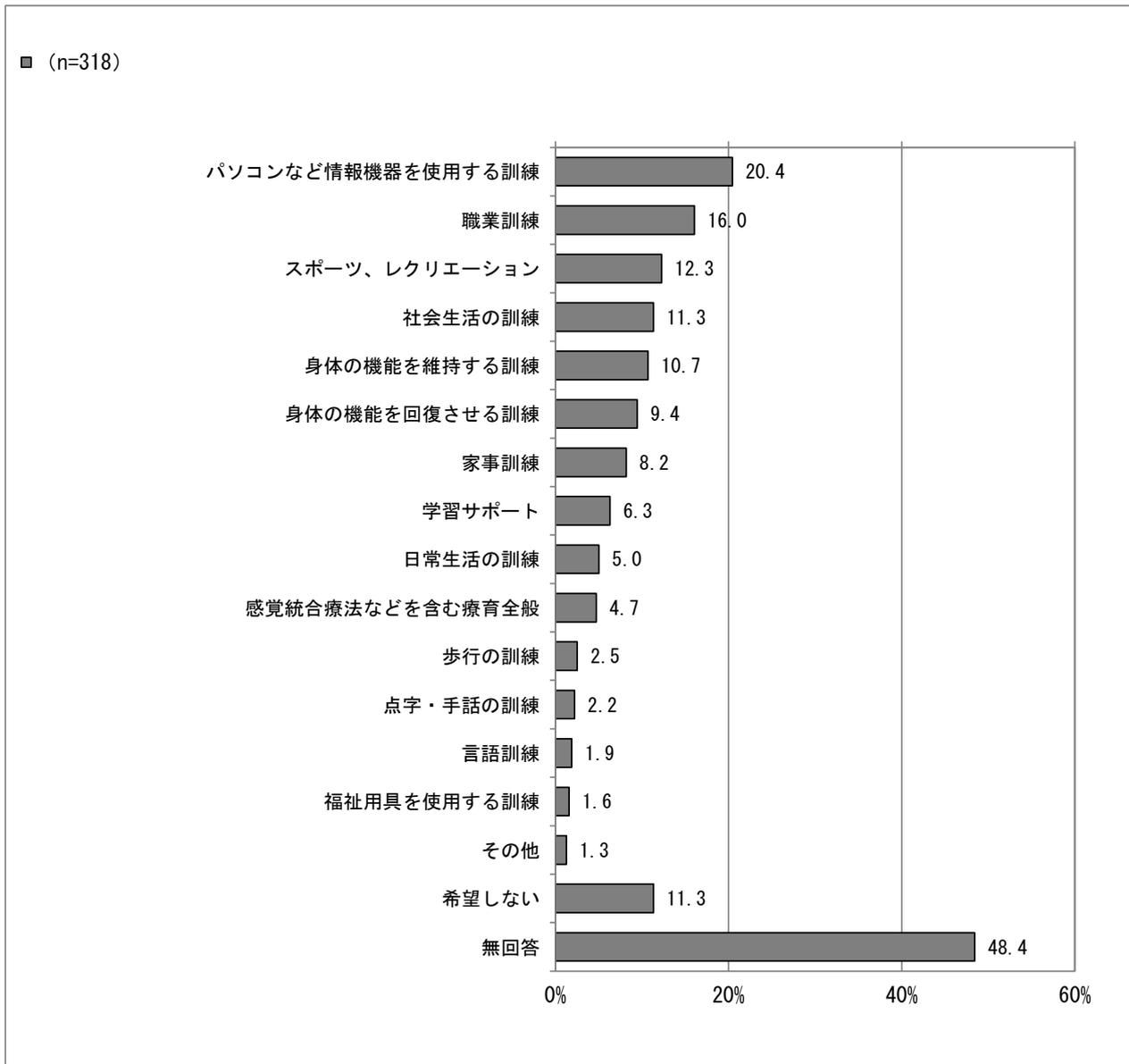
問 26 訓練などについておたずねします。

(ア) あなたは、どのような訓練・リハビリテーション・療育を受けたことがありますか。  
(MA)



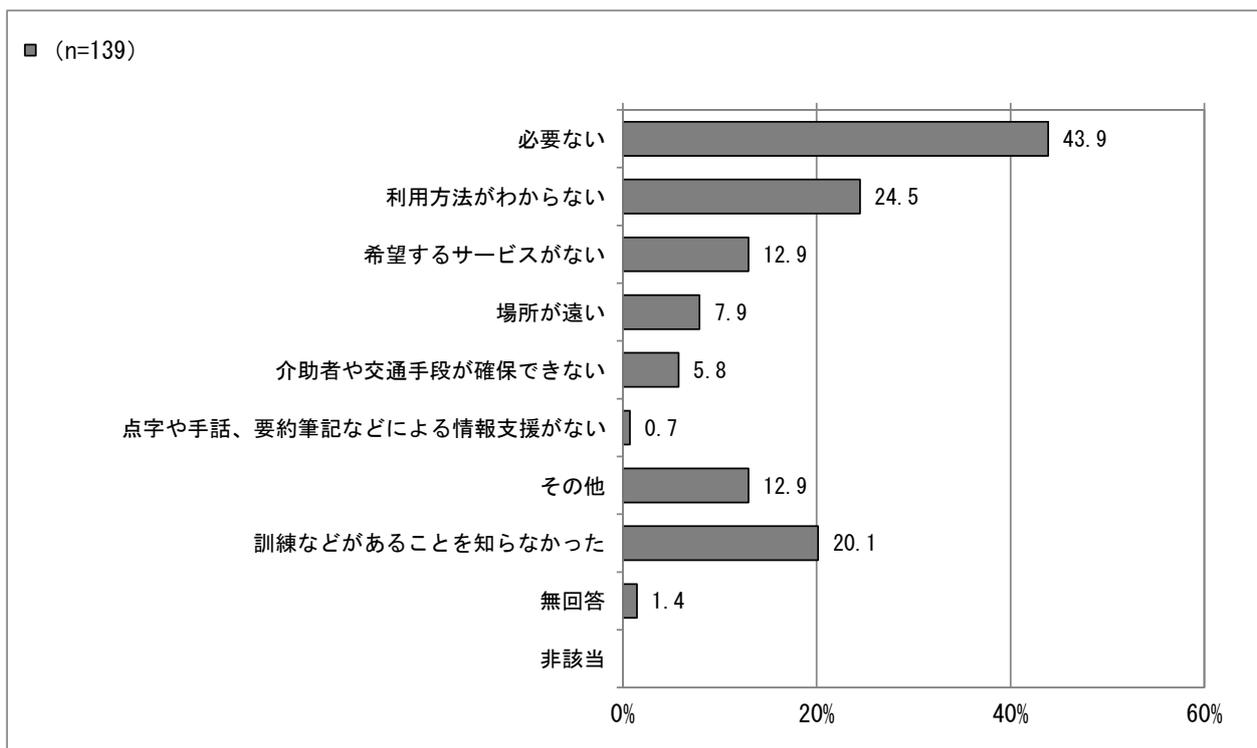
受けたことのある訓練などは、「受けたことがない」(43.7%)が最も高く、次いで「職業訓練」(16.7%)、「パソコンなど情報機器を使用する訓練」(12.9%)となっている。

## (イ) 今後どのような訓練・リハビリテーション・療育を受けたいと思いますか。(MA)



今後受けたい訓練などは、「パソコンなど情報機器を使用する訓練」(20.4%)が最も高く、次いで「職業訓練」(16.0%)、「スポーツ、レクリエーション」(12.3%)となっている。

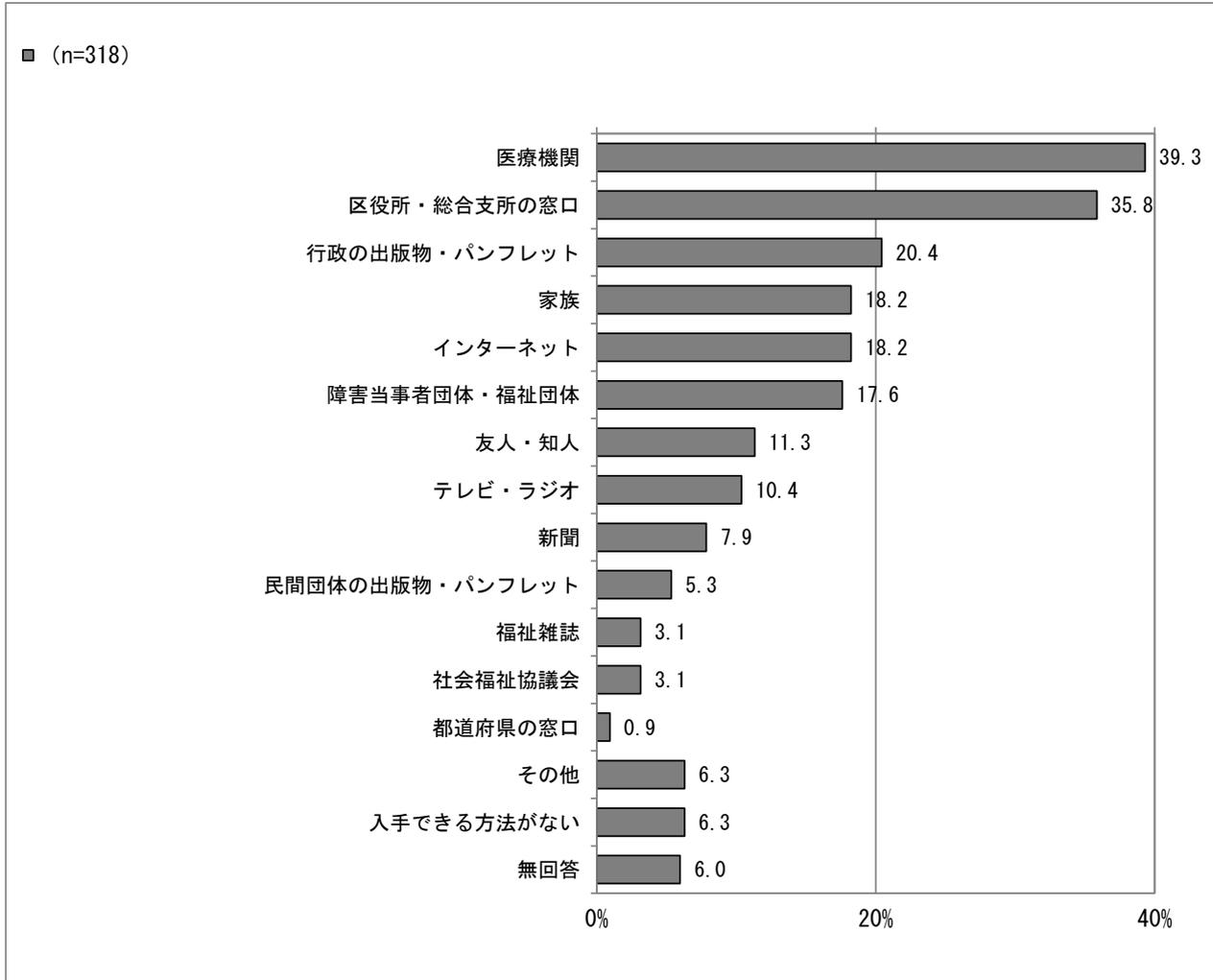
問 27 問 26 で「受けたことがない」を選んだ方におたずねします。受けたことがない理由は何ですか。(MA)



受けたことがない理由は、「必要ない」(43.9%)が最も高く、次いで「利用方法がわからない」(24.5%)、「訓練などがあることを知らなかった」(20.1%)となっている。

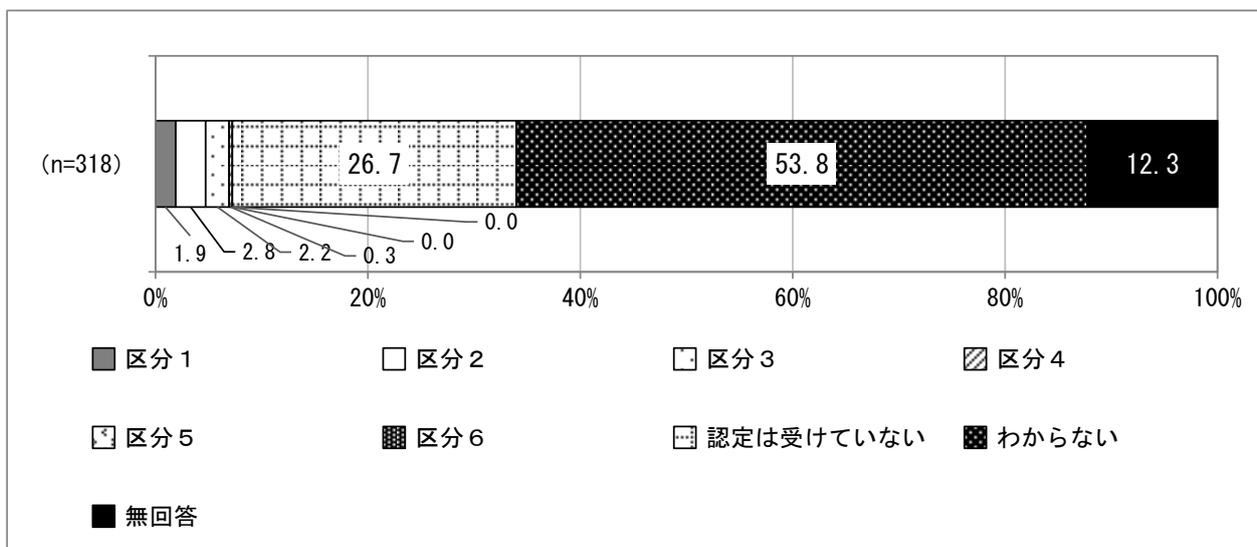
## 8 福祉サービスについて

問28 あなたはどのようなところから福祉サービスの情報を得ていますか。(MA)



情報の入手先は、「医療機関」(39.3%)が最も高く、次いで「区役所・総合支所の窓口」(35.8%)、「行政の出版物・パンフレット」(20.4%)となっている。

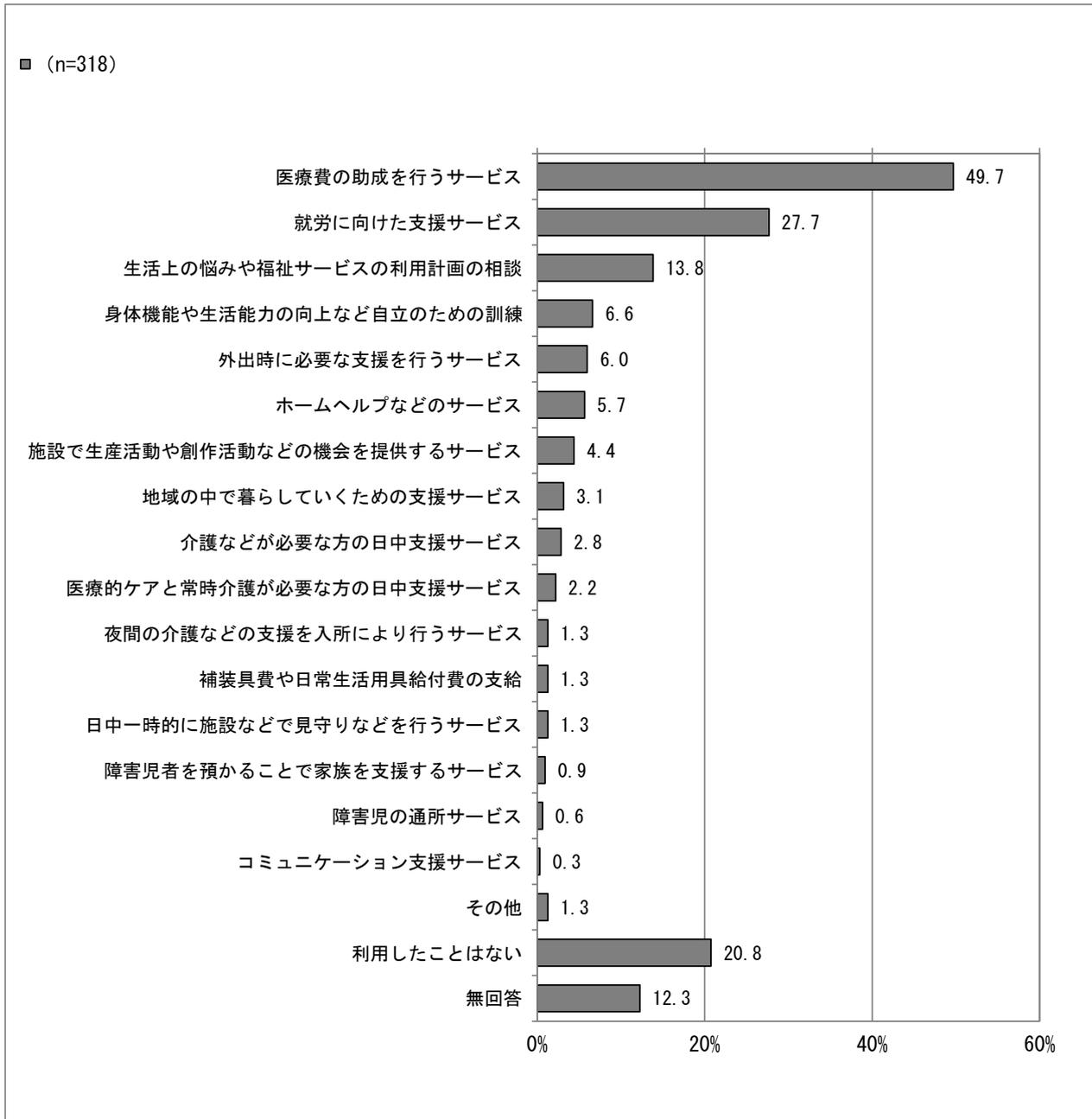
問 29 あなたは「障害のある方の福祉サービス」を利用するための、障害支援区分認定を受けていますか。(SA)



区分認定は、「わからない」(53.8%)が最も高く、次いで「認定は受けていない」(26.7%)となっている。

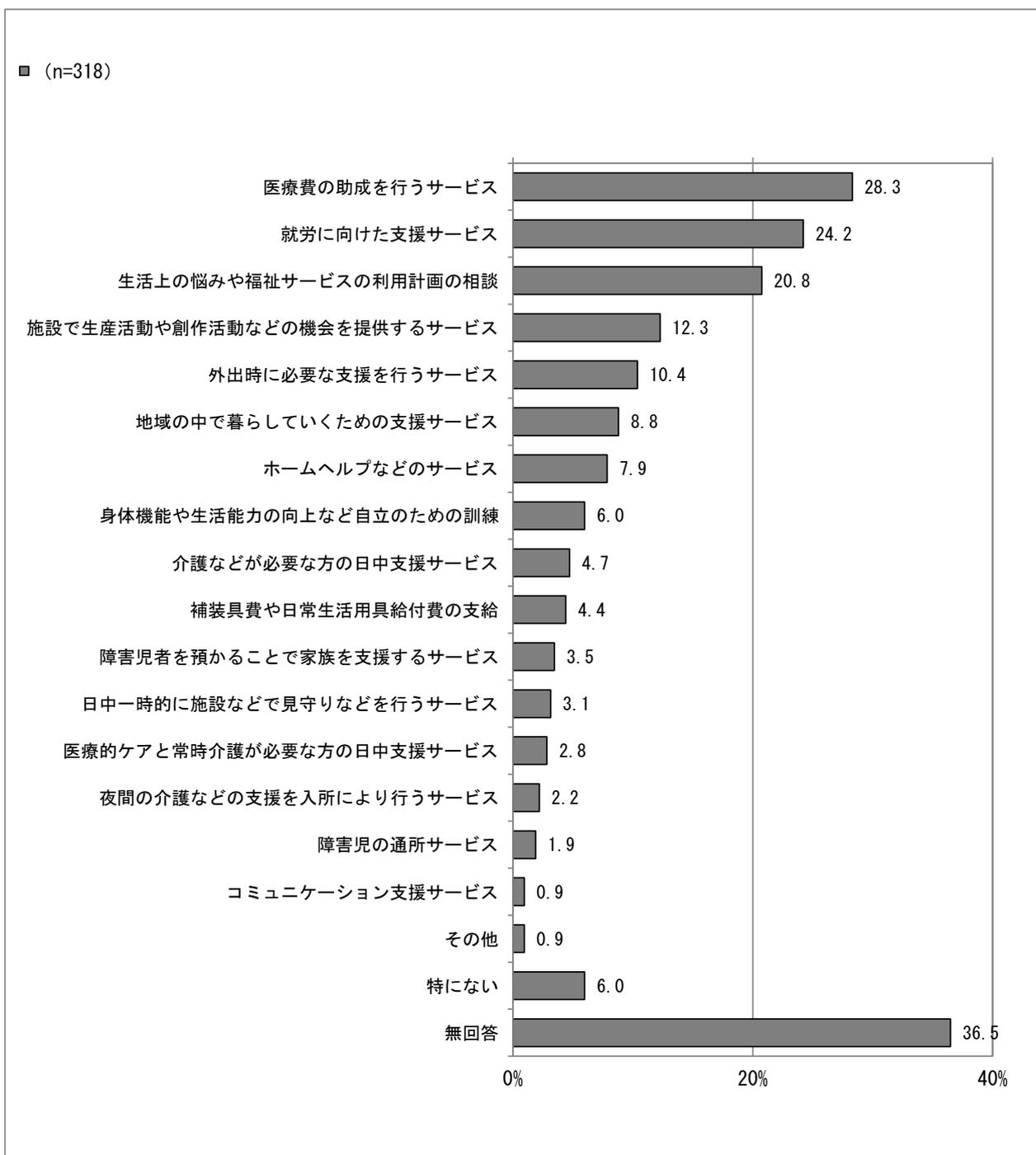
問30 「障害のある方の福祉サービス」についておたずねします。

(ア) あなたはこれまでにどのようなサービスを利用したことがありますか。(MA)



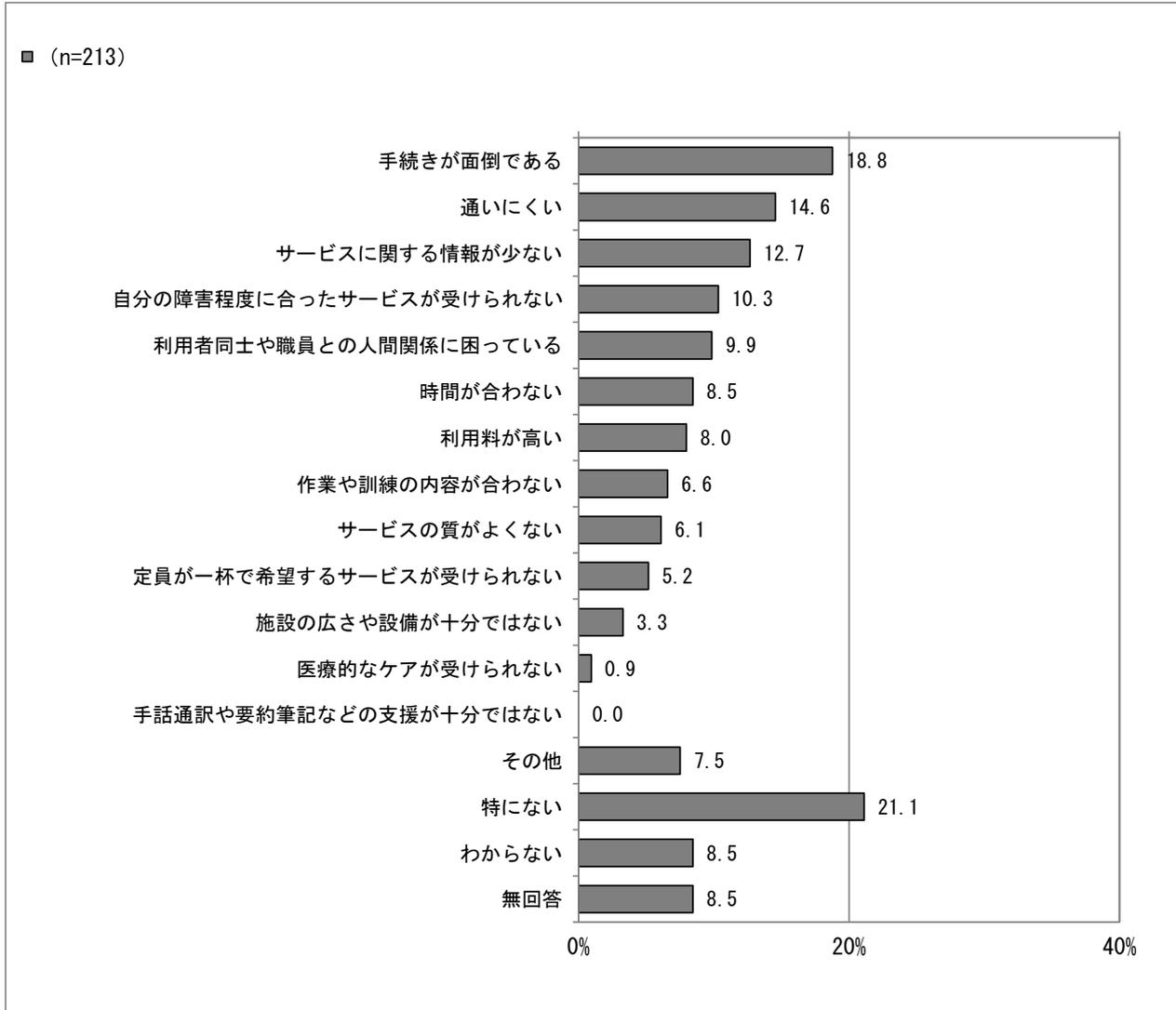
これまで利用したことのあるサービスは、「医療費の助成を行うサービス」(49.7%)が最も高く、次いで「就労に向けた支援サービス」(27.7%)、「利用したことはない」(20.8%)となっている。

(イ) 今後、あなたが利用したいと思うサービスは何ですか。(MA)



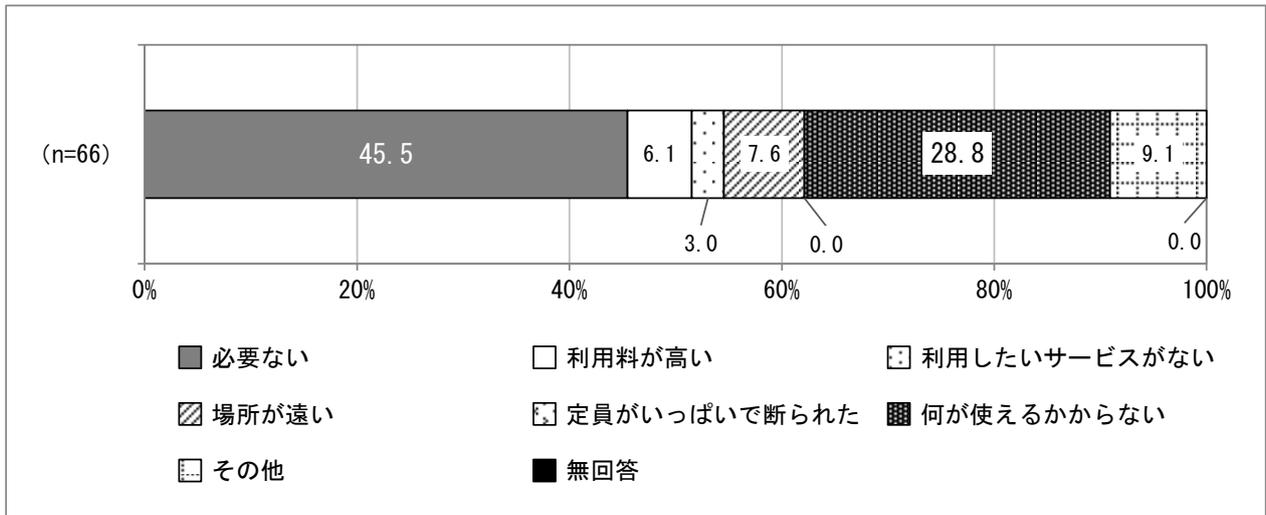
今後利用したいサービスは、「医療費の助成を行うサービス」(28.3%)が最も高く、次いで「就労に向けた支援サービス」(24.2%)、「生活上の悩みや福祉サービスの利用計画の相談」(20.8%)となっている。

問 31 問 30 で「特にない」以外のどれかひとつでも選んだ方におたずねします。あなたが「障害のある方の福祉サービス」を利用するにあたって困っていることは何ですか。（MA）



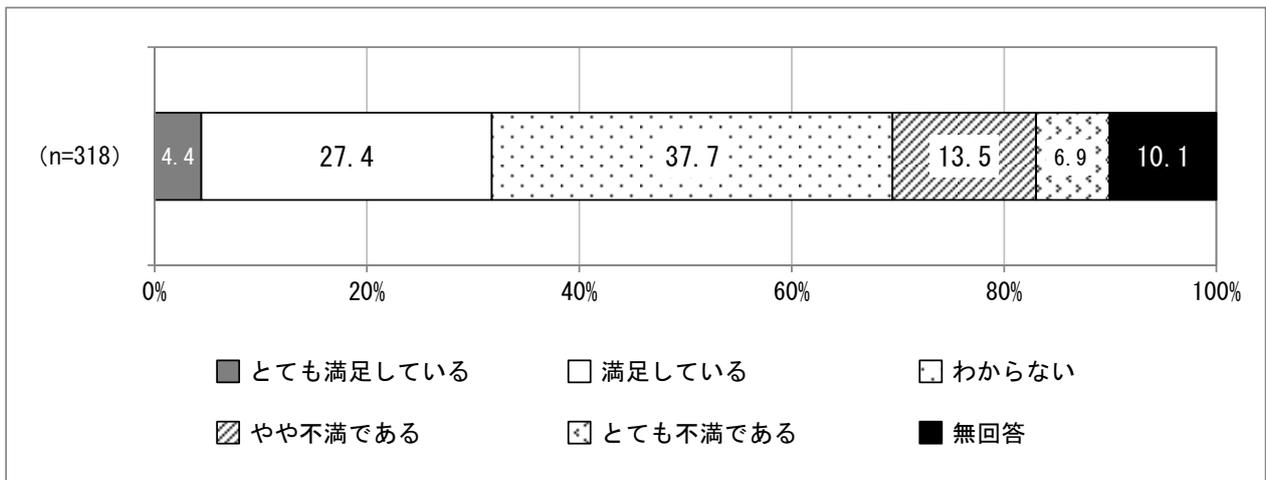
障害のある方の福祉サービスの利用にあたり困っていることは、「特にない」(21.1%)が最も高く、次いで「手続きが面倒である」(18.8%)、「通にくい」(14.6%)となっている。

問 32 問 30 で「利用したことがない」を選んだ方におたずねします。利用したことがない理由は何ですか。(SA)



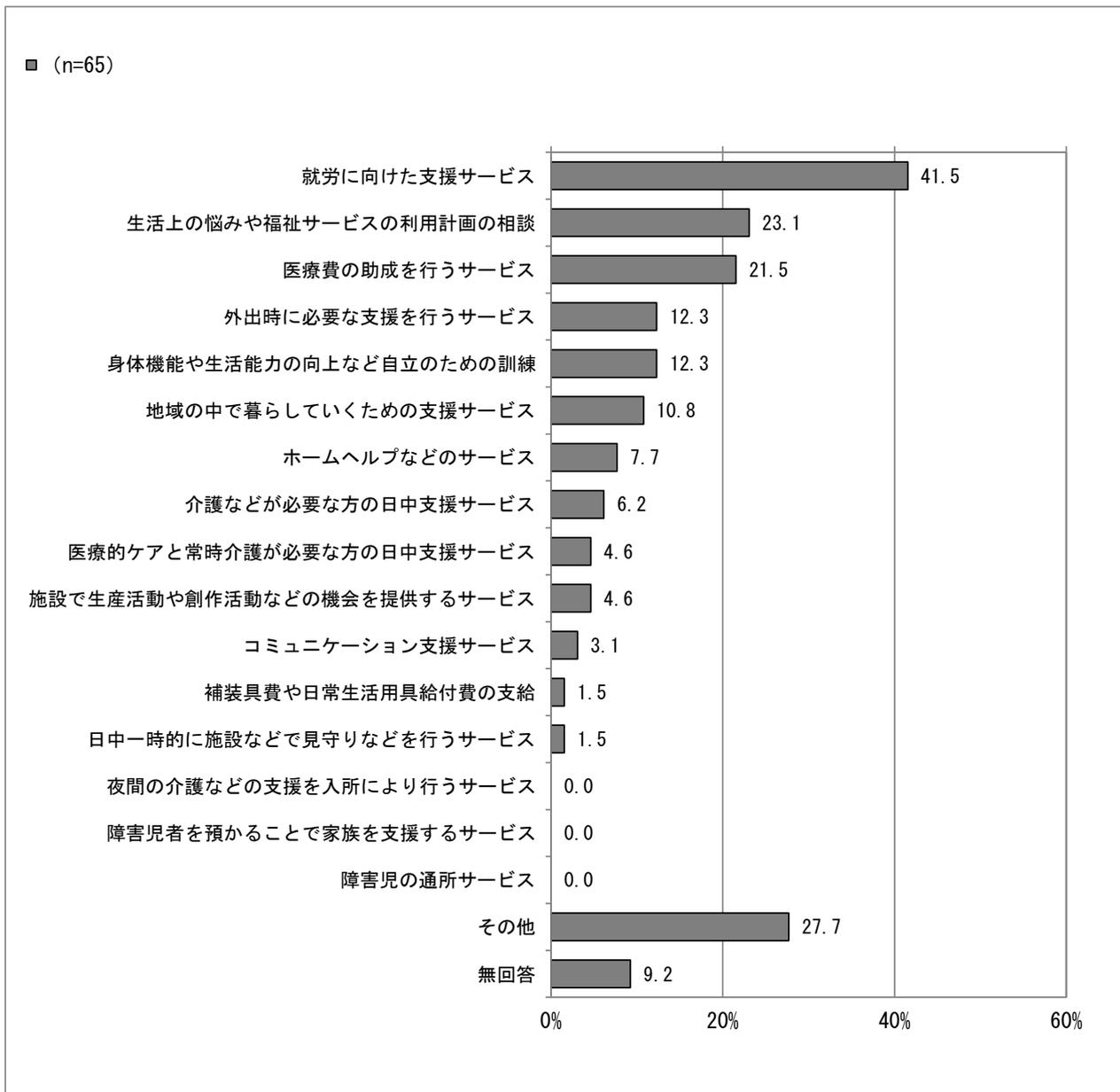
利用したことがない理由は、「必要ない」(45.5%)が最も高く、次いで「何が使えるかわからない」(28.8%)、「その他」(9.1%)となっている。

問 33 現在、あなたは仙台市にある「障害のある方の福祉サービス」に満足していますか。(SA)



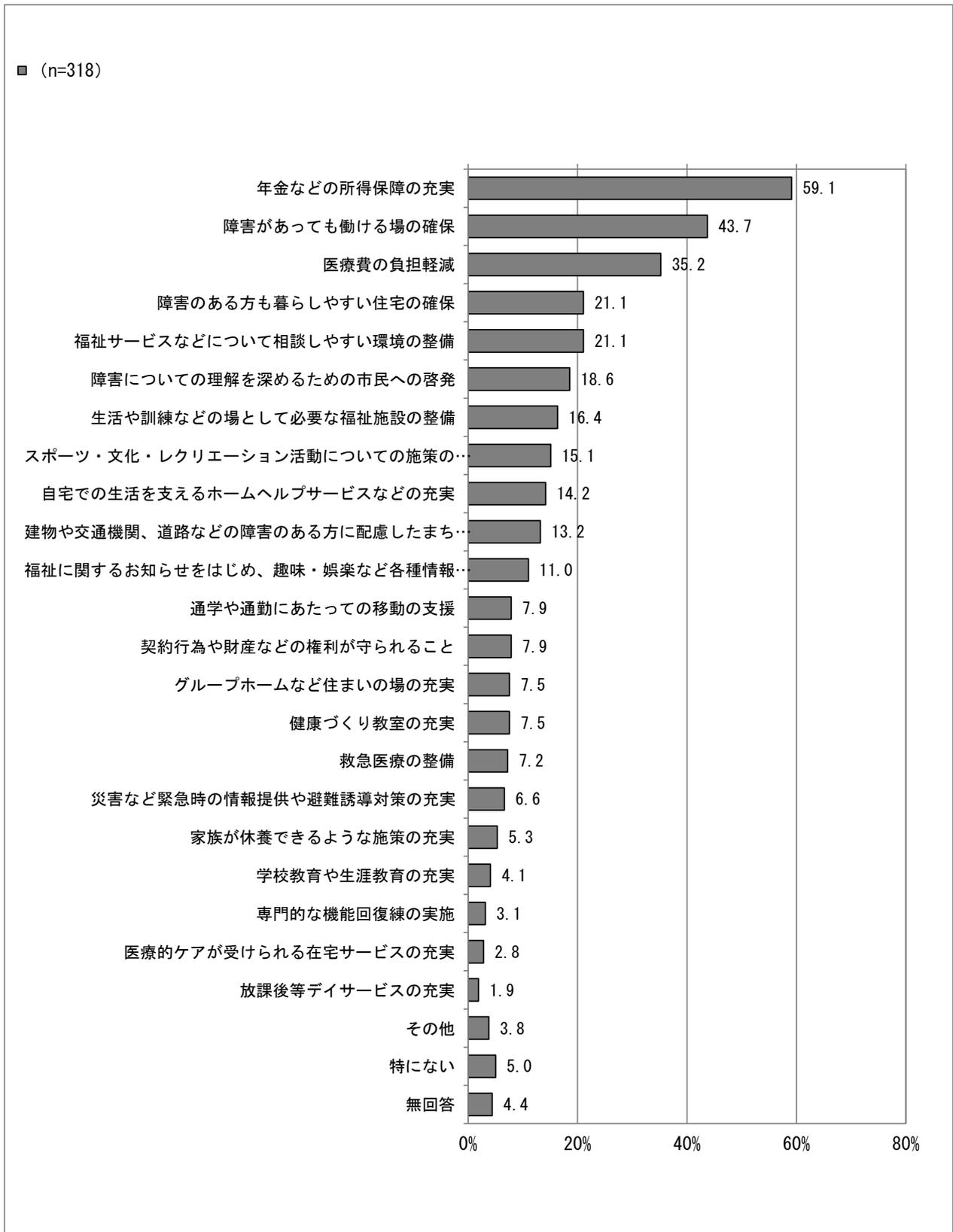
市の「障害のある方の福祉サービス」について、「わからない」(37.7%)が最も高く、次いで「満足している」(27.4%)、「やや不満である」(13.5%)となっている。

問34 問33で「やや不満である」「とても不満である」を選んだ方におたずねします。特にどのような福祉サービスに不満を感じていますか。(MA)



不満のある福祉サービスは、「就労に向けた支援サービス」(41.5%)が最も高く、次いで「生活上の悩みや福祉サービスの利用計画の相談」(23.1%)、「医療費の助成を行うサービス」(21.5%)となっている。

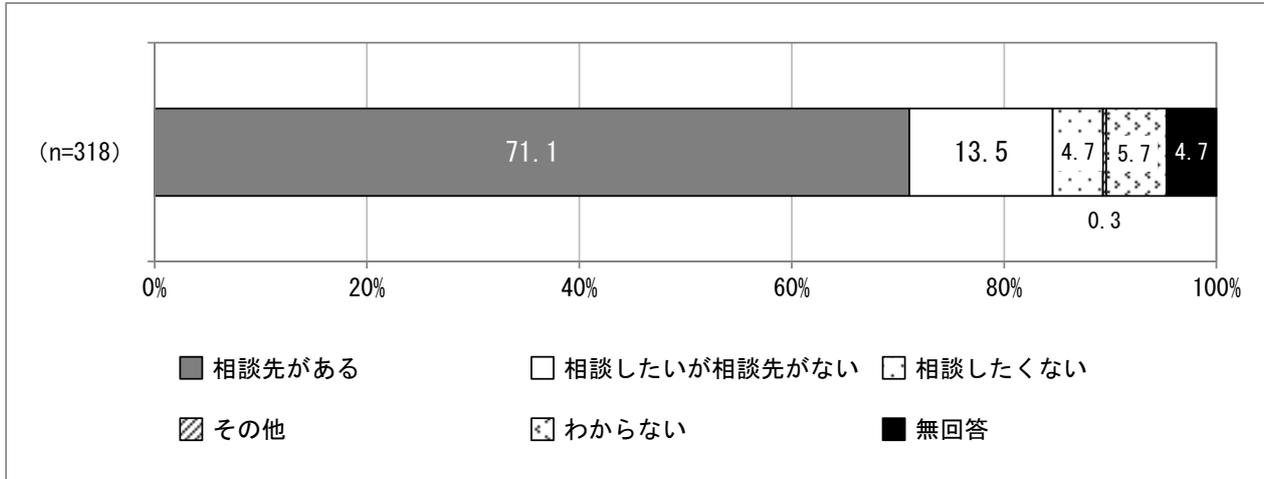
問 35 あなたが今後充実してほしい施策は何ですか。(MA)



今後充実してほしい施策は、「年金などの所得保障の充実」(59.1%)が最も高く、次いで「障害があっても働ける場の確保」(43.7%)、「医療費の負担軽減」(35.2%)となっている。

## 9 相談の状況について

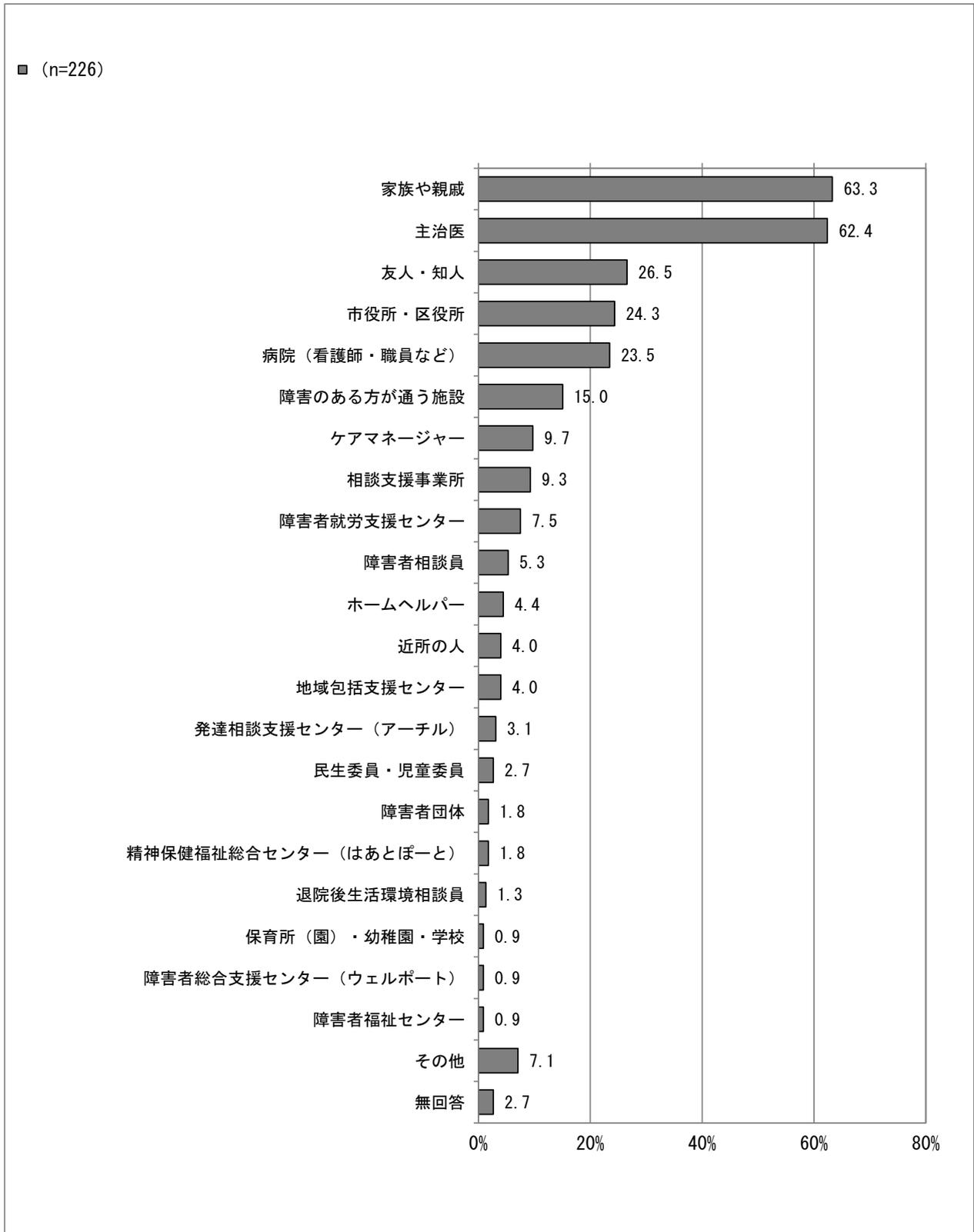
問 36 困ったときの相談について次のうちあてはまるのはどれですか。(SA)



困ったときの相談は、「相談先がある」(71.1%)が最も高く、次いで「相談したいが相談先がない」(13.5%)、「わからない」(5.7%)となっている。

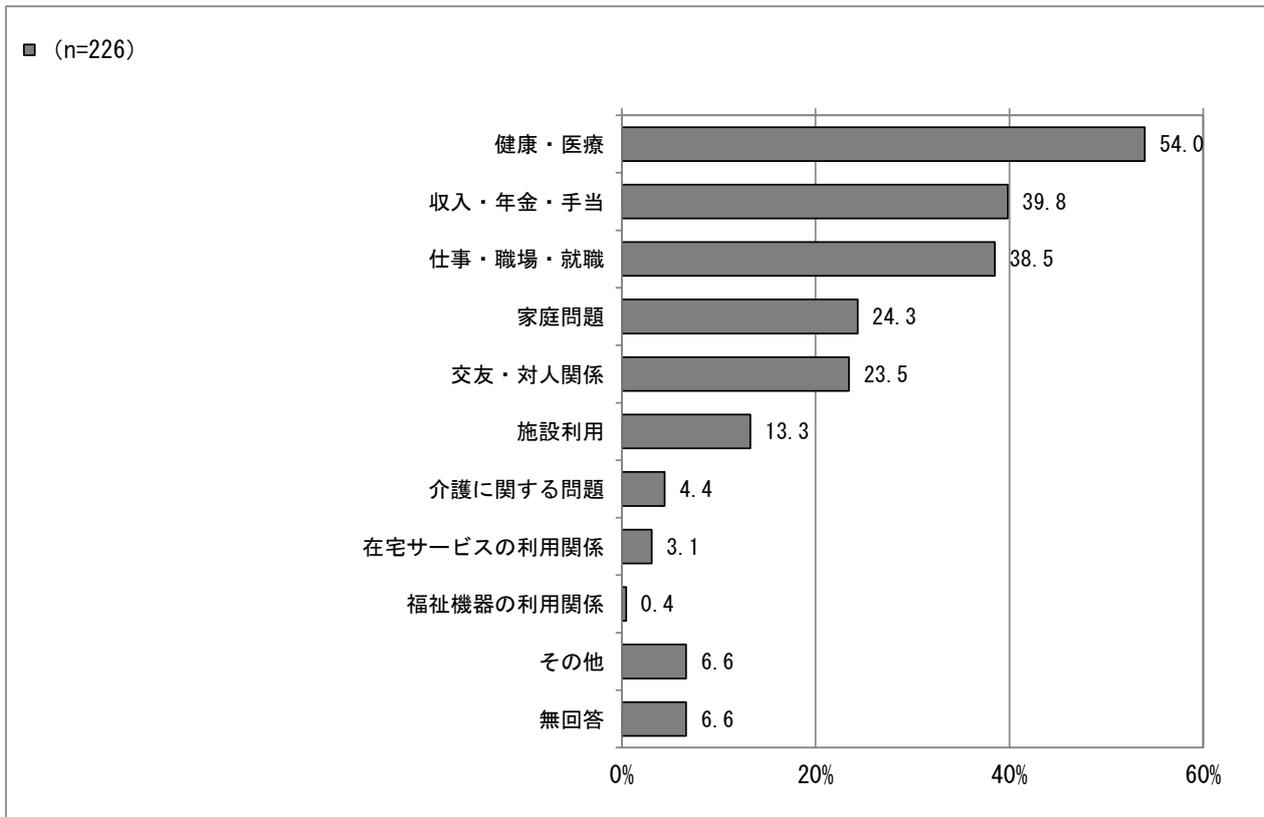
問 37 問 36 で「相談先がある」を選んだ方におたずねします。

(1) 相談相手は誰ですか。(MA)



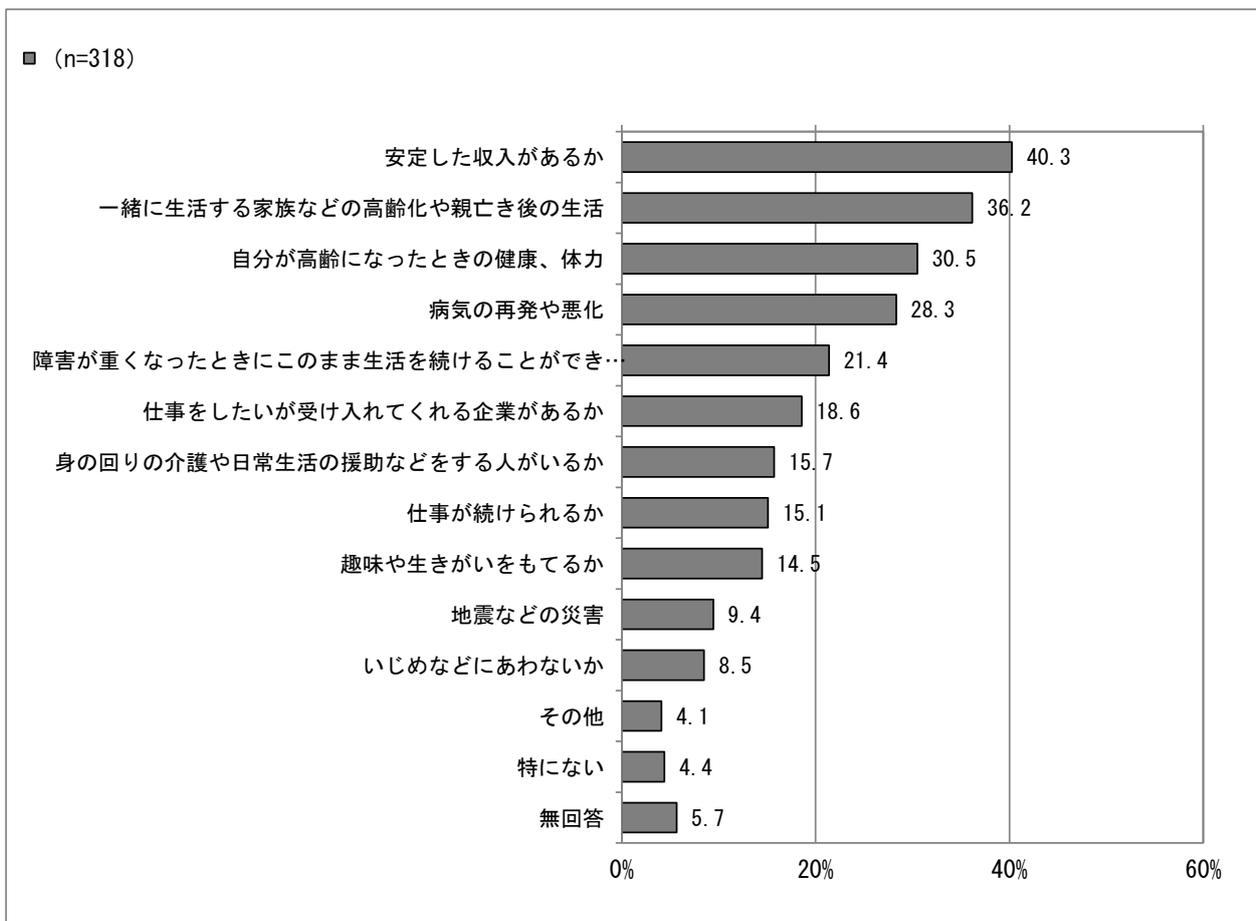
相談相手は、「家族や親戚」（63.3%）が最も高く、次いで「主治医」（62.4%）、「友人・知人」（26.5%）となっている。

## (2) 相談していること（したいこと）は何ですか。(MA)



相談している（したいこと）は、「健康・医療」（54.0%）が最も高く、次いで「収入・年金・手当」（39.8%）、「仕事・職場・就職」（38.5%）となっている。

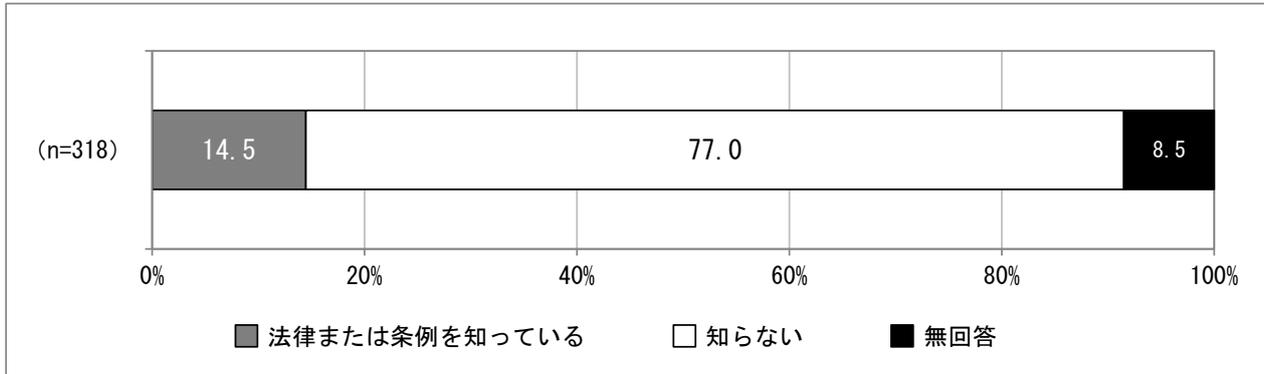
問 38 今後のことで、あなたが不安に感じていることは何ですか。(MA)



今後のことで不安に感じていることは、「安定した収入があるか」(40.3%)が最も高く、次いで「一緒に生活する家族などの高齢化や親亡き後の生活」(36.2%)、「自分が高齢になったときの健康、体力」(30.5%)となっている。

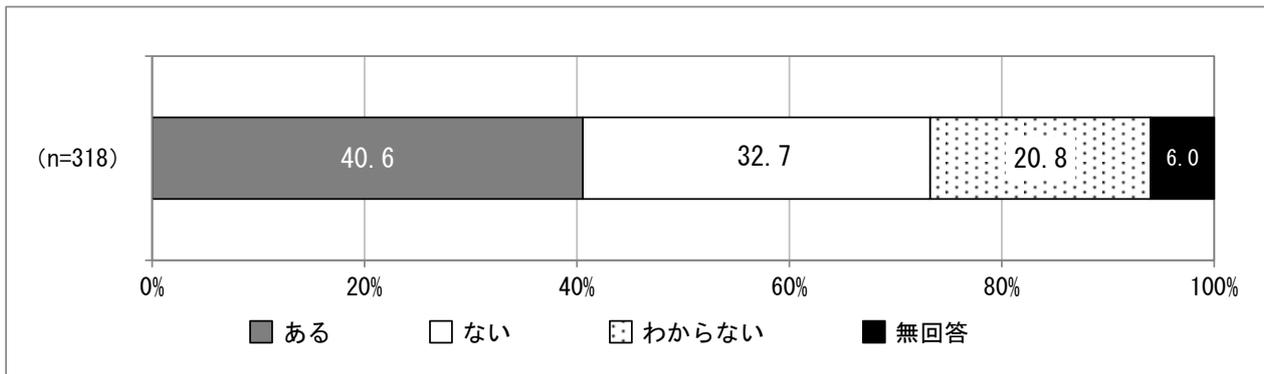
## 10 権利擁護について

問 39 あなたは、2016年4月より施行された「障害者差別解消法」を知っていますか。また、「仙台市障害を理由とする差別をなくし障害のある人もない人も共に暮らしやすいまちをつくる条例」を知っていますか。(SA)



障害者差別解消法および条例を知っているかについて、「法律または条例を知っている」(14.5%)、「知らない」(77.0%)となっている。

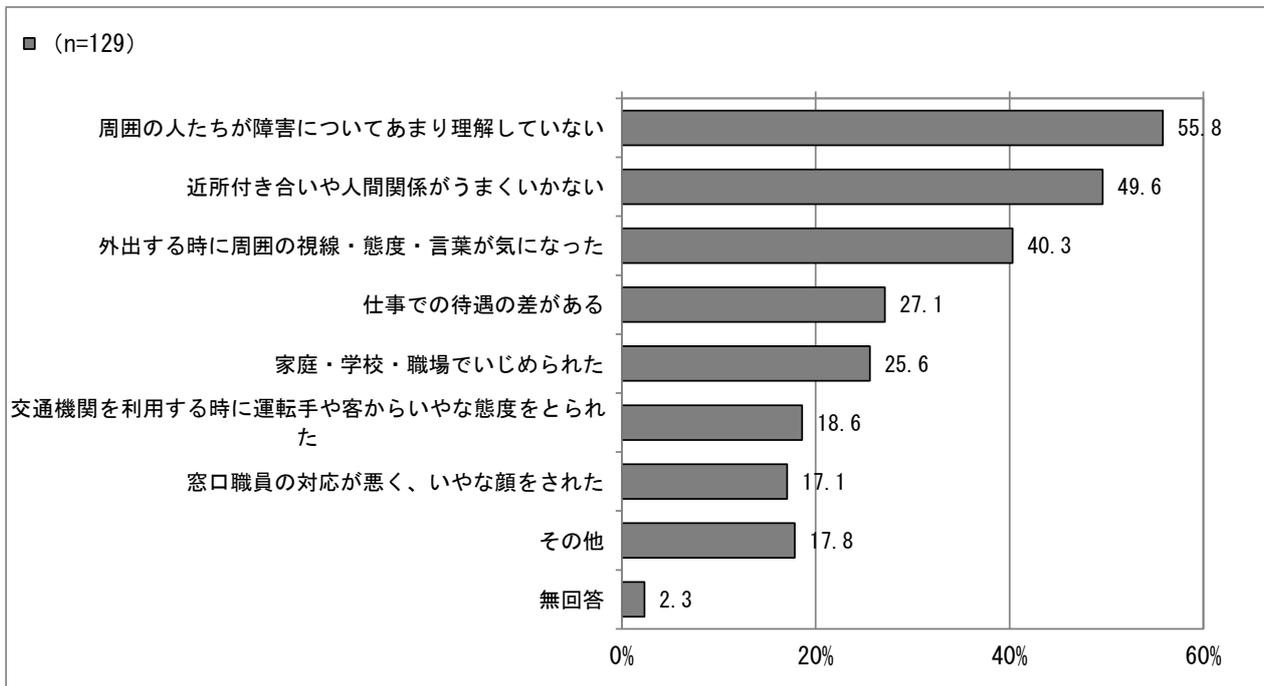
問 40 障害を理由に差別を受けたり、いやな思いなどをしたことがありますか。(SA)



障害を理由に差別やいやな思いをしたことがあるかは、「ある」(40.6%)、「ない」(32.7%)、「わからない」(20.8%)となっている。

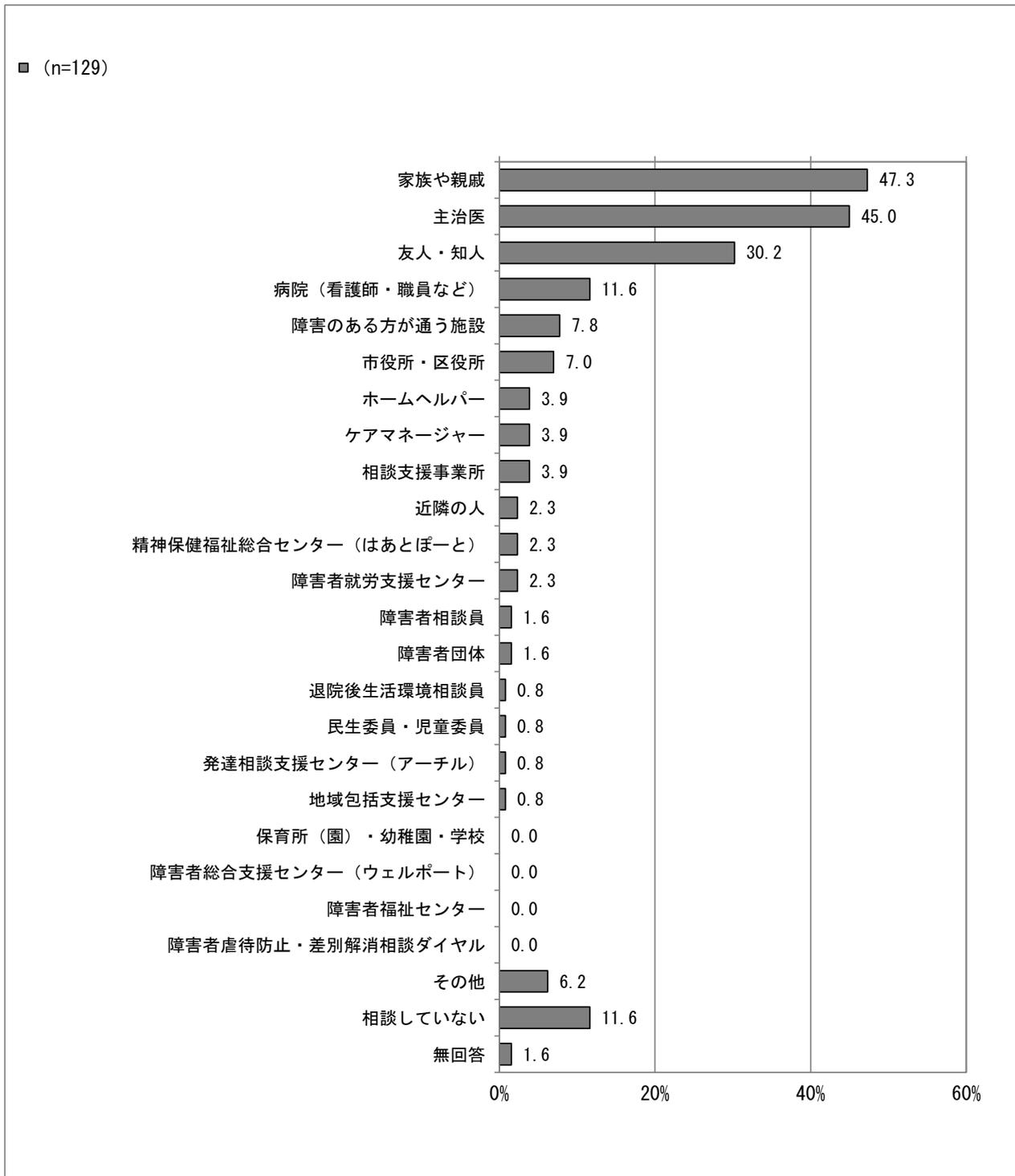
問 41 問 40 で「ある」を選んだ方におたずねします。

(1) あなたはどのような内容の差別を受けたり、いやな思いをしましたか。(MA)



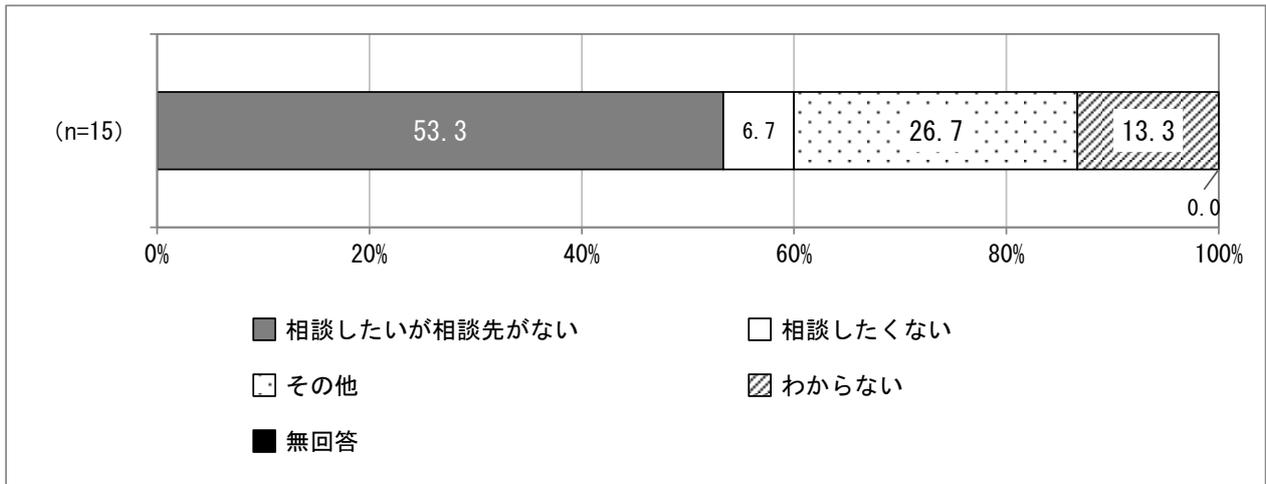
受けた差別やいやな思いの内容は、「周囲の人たちが障害についてあまり理解していない」(55.8%) が最も高く、次いで「近所付き合いや人間関係がうまくいかない」(49.6%)、「外出する時に周囲の視線・態度・言葉が気になった」(40.3%) となっている。

## (2) 差別をされたり、いやな思いをしたときに誰かに相談しましたか。(MA)



差別をされたりしたときの相談は、「家族や親戚」（47.3%）が最も高く、次いで「主治医」（45.0%）、「友人・知人」（30.2%）となっている。

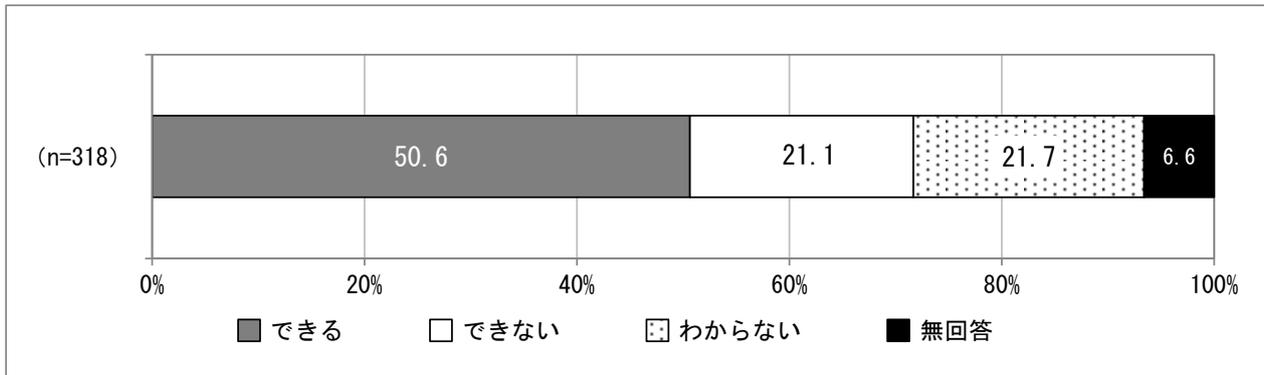
(3) (2) で「相談していない」を選んだ方におたずねします。相談しなかった理由は何ですか。(MA)



相談しなかった理由は、「相談したいが相談先がない」(53.3%)が最も高く、次いで「その他」(26.7%)、「わからない」(13.3%)となっている。

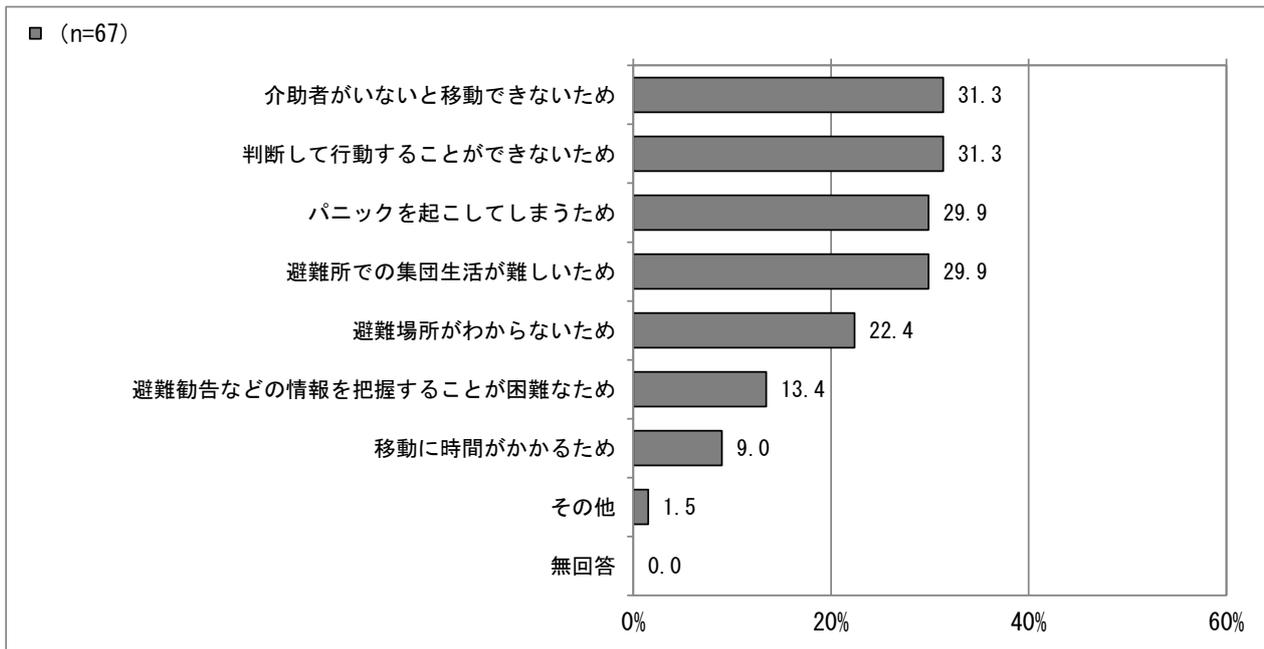
## 11 緊急時の対応について

問 42 あなたは地震などの災害発生時、ひとりで避難することができますか。2011年3月11日の東日本大震災を経験された方は、ご経験を踏まえてご回答ください。(SA)



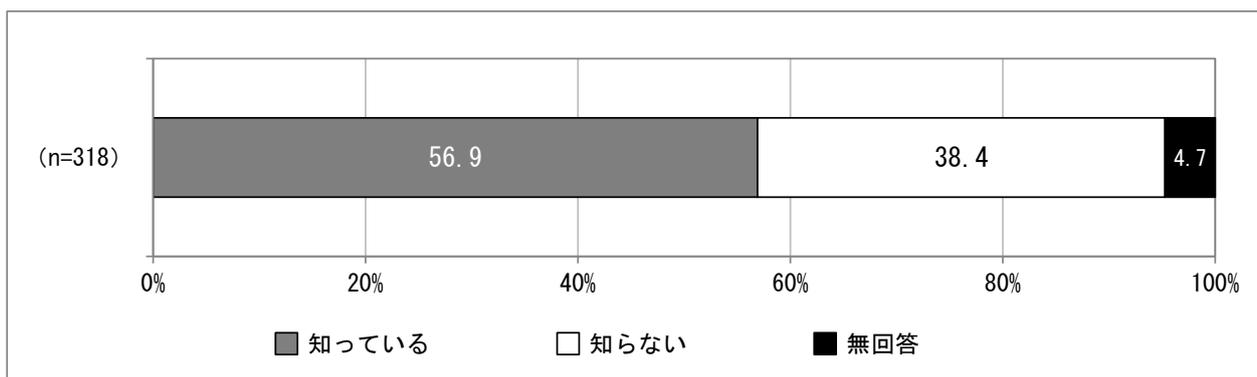
災害発生時にひとりで避難することができるかは、「できる」(50.6%)、「できない」(21.1%)、「わからない」(21.7%)となっている。

問 43 問 42 で「できない」を選んだ方におたずねします。災害のとき一人で避難することができない理由は何ですか。(MA)



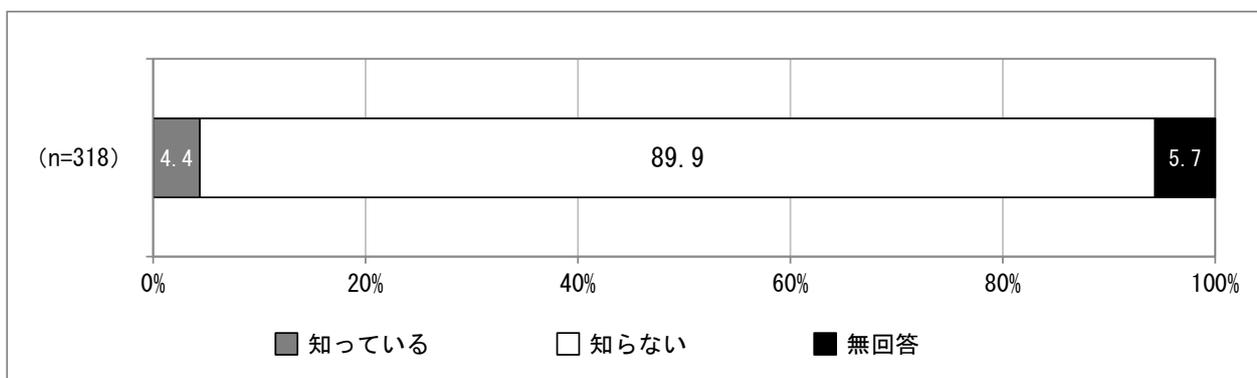
一人で避難できない理由は、「介助者がいないと移動できないため」と「判断して行動することができないため」がともに31.3%と最も高く、次いで「パニックを起こしてしまうため」と「避難所での集団生活が難しいため」がともに29.9%、「避難場所がわからないため」(22.4%)となっている。

問 44 あなたは、お住まいの地区の避難所の場所を知っていますか。(SA)



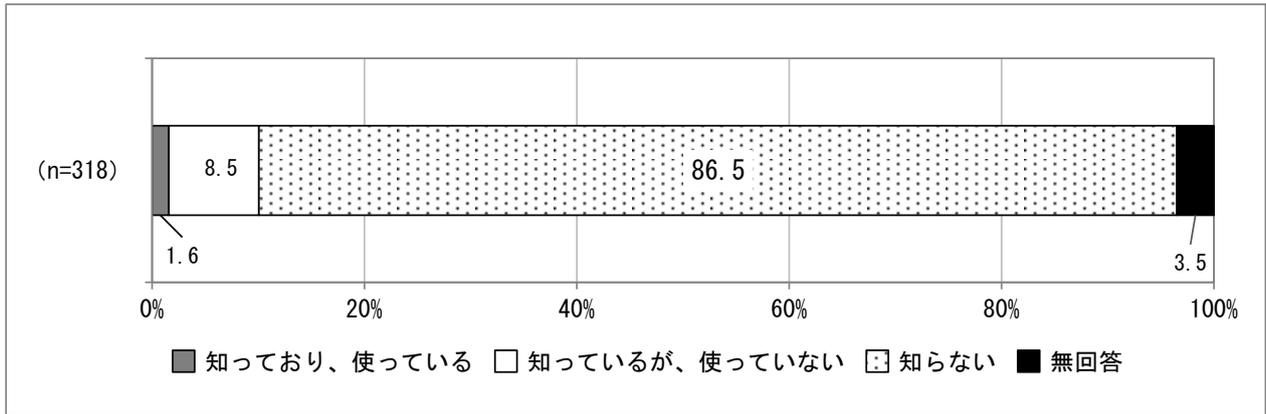
居住区の避難所の場所は、「知っている」(56.9%)、「知らない」(38.4%)となっている。

問 45 あなたは、福祉避難所を知っていますか。(SA)



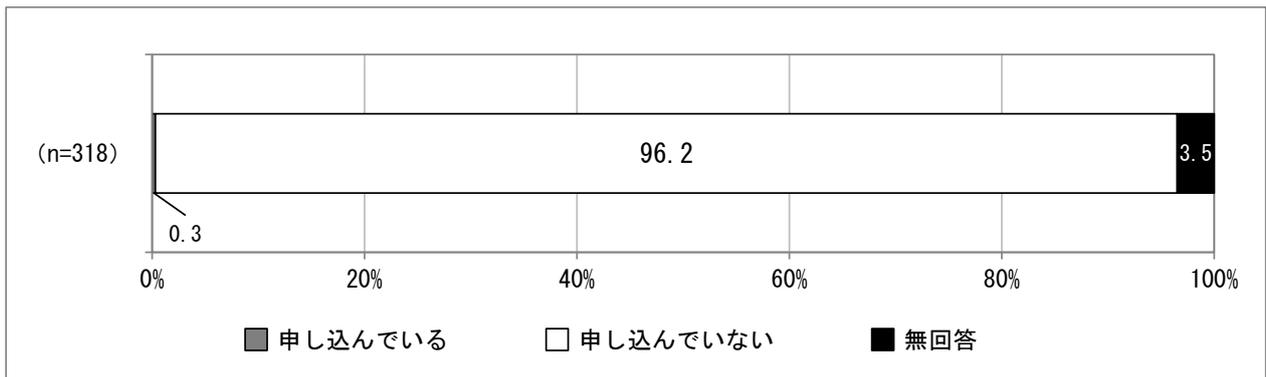
福祉避難所は、「知っている」(4.4%)、「知らない」(89.9%)となっている。

問 46 あなたは、ヘルプカードを知っていますか。(SA)



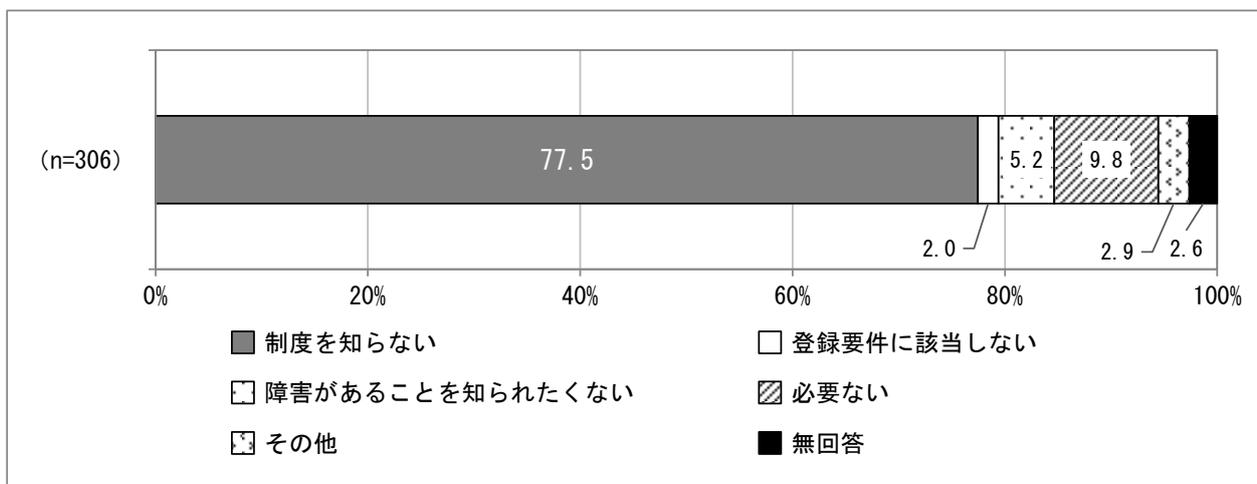
ヘルプカードは、「知っており、使っている」(1.6%)、「知っているが、使っていない」(8.5%)、「知らない」(86.5%)となっている。

問 47 あなたは、仙台市が実施している災害時における要援護者情報登録制度を申し込んでいますか。(SA)



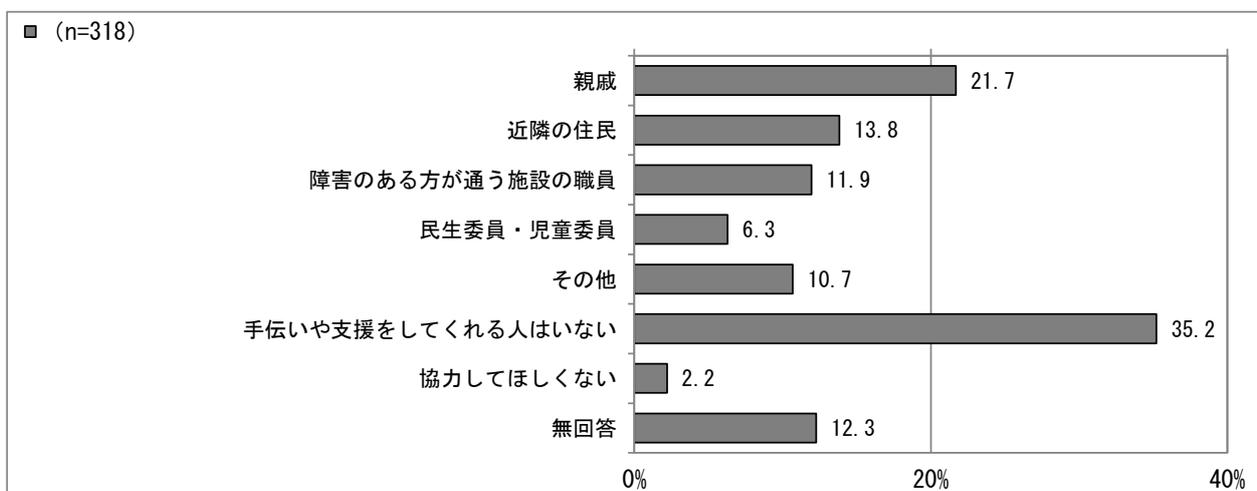
要援護者情報登録制度について、「申し込んでいる」(0.3%)、「申し込んでいない」(96.2%)となっている。

問 48 問 47 で「申し込んでいない」を選んだ方におたずねします。あなたが申し込んでいない理由は何ですか。(SA)



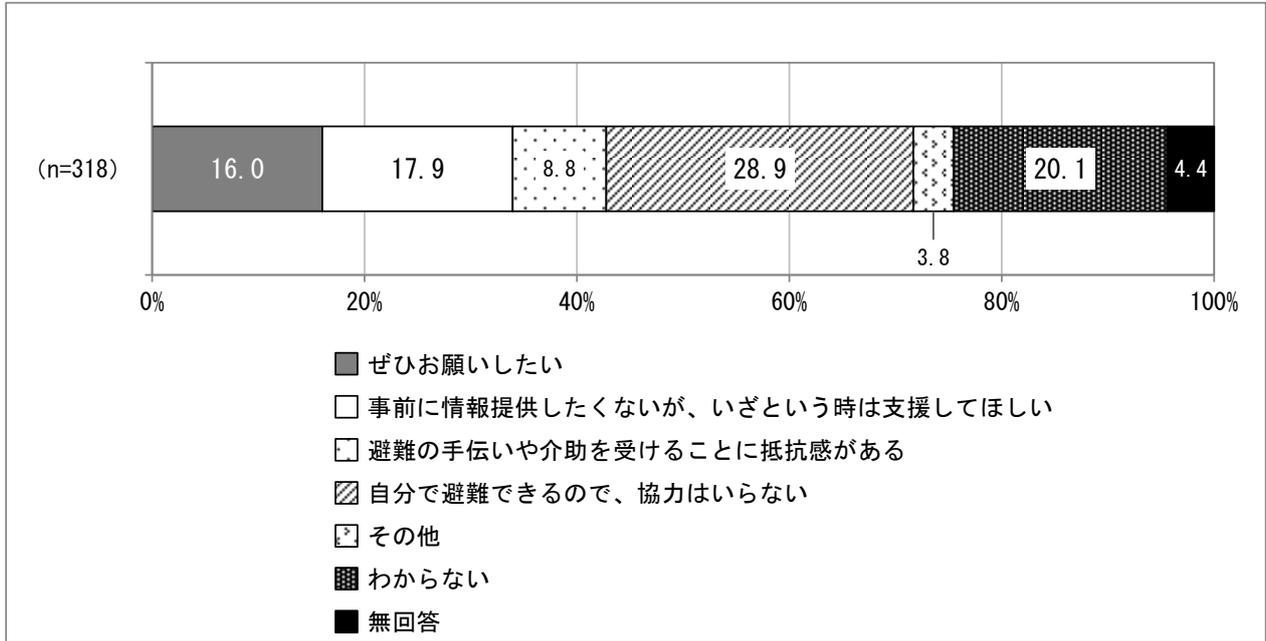
申し込んでいない理由は、「制度を知らない」(77.5%)が最も高く、次いで「必要ない」(9.8%)、「障害があることを知られたくない」(5.2%)となっている。

問 49 地震などの災害時に、家族以外の方で手伝いや支援をしてくれる人について、次のうちあてはまるのはどれですか。(MA)



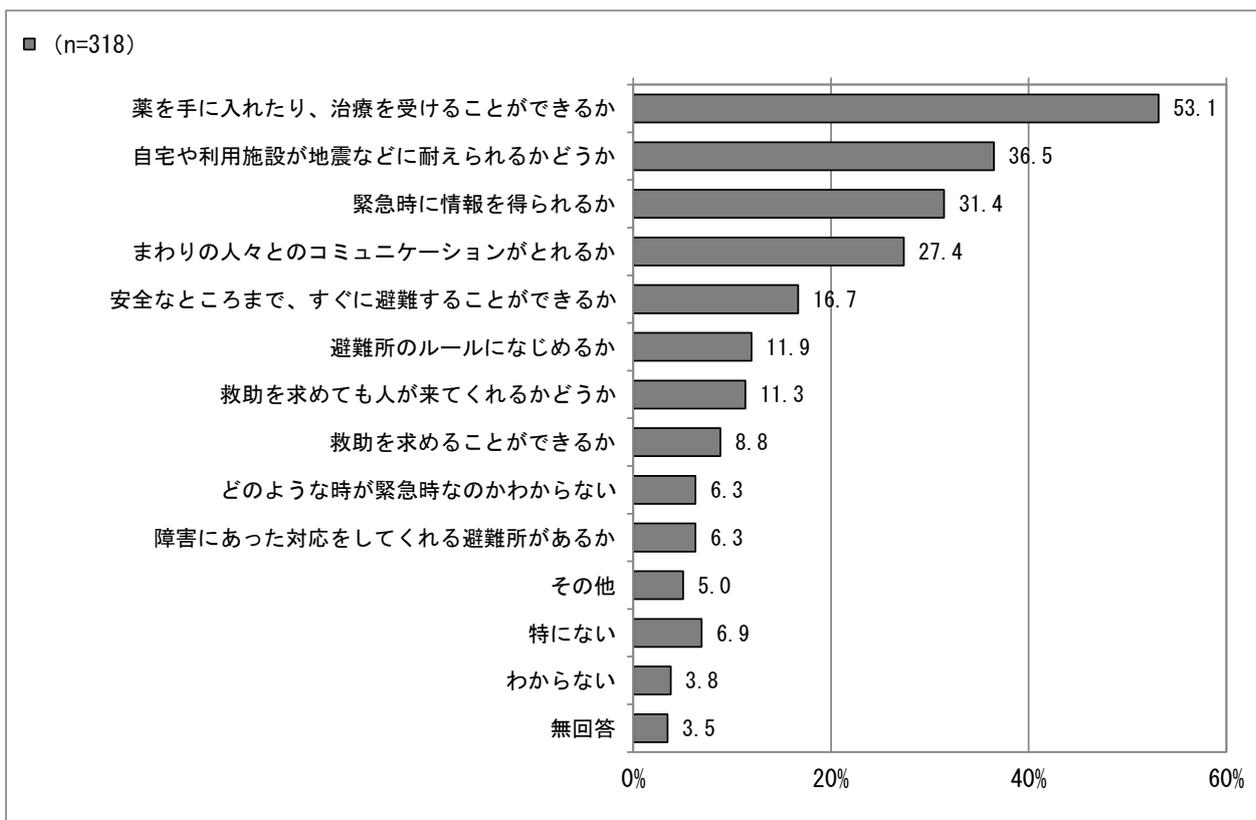
災害時に家族以外で手伝いや支援をしてくれる人は、「手伝いや支援をしてくれる人はいない」(35.2%)が最も高く、次いで「親戚」(21.7%)、「近隣の住民」(13.8%)となっている。

問 50 地震などの災害が発生したときのために、あらかじめ近所の人やボランティアなどにあなたの避難の手伝いや介助をお願いしておくことについて、どのように思いますか。(SA)



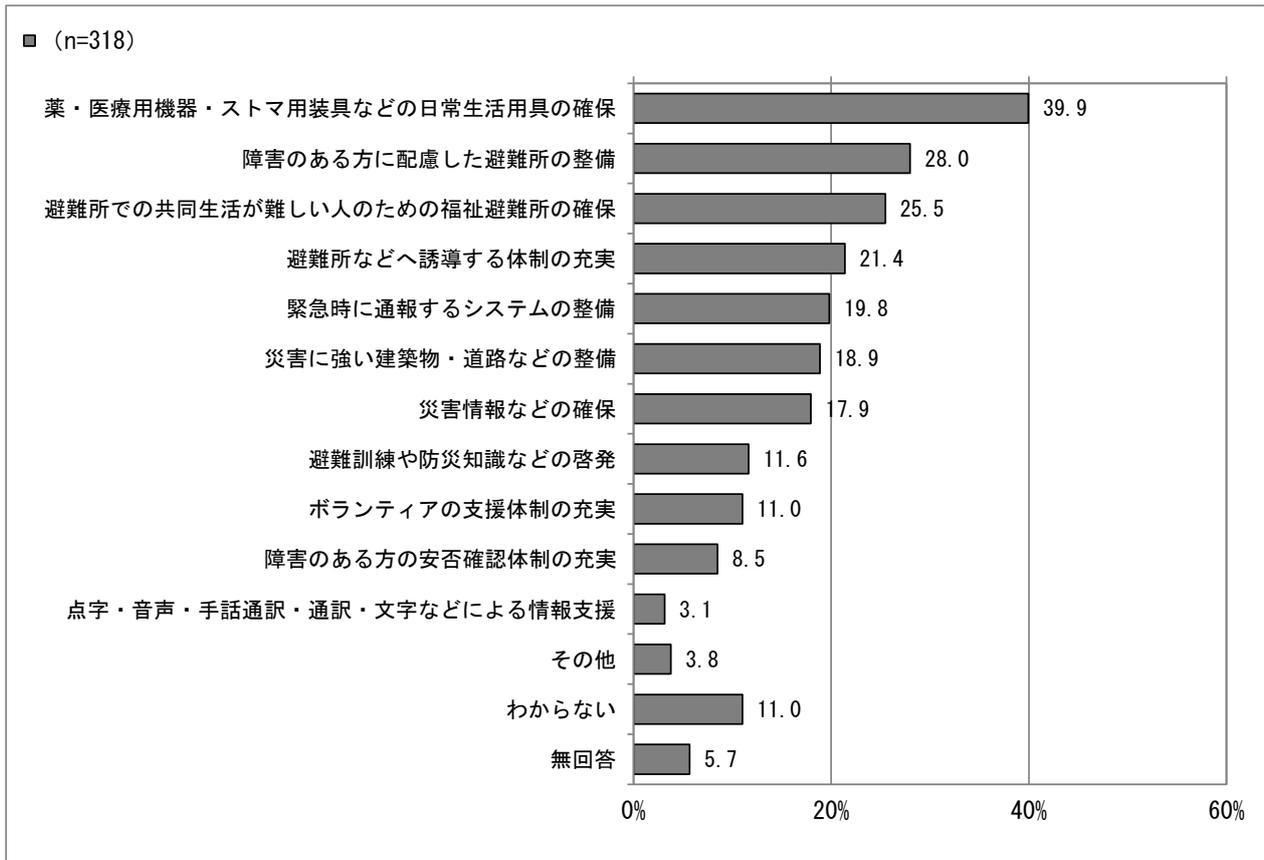
災害発生するときのために近所の人やボランティアなどに手伝いや介助をお願いしておくことは、「自分で避難できるので、協力はらない」(28.9%)が最も高く、次いで「わからない」(20.1%)、「事前に情報提供したくないが、いざという時は支援してほしい」(17.9%)となっている。

問 51 地震などのいざという時のことで、あなたが普段不安に感じていることは何ですか。  
(MA)



地震などのいざという時のことで普段不安に感じていることは、「薬を手に入れたり、治療を受けることができるか」(53.1%)が最も高く、次いで「自宅や利用施設が地震などに耐えられるかどうか」(36.5%)、「緊急時に情報を得られるか」(31.4%)となっている。

問 52 地震、台風などの災害に対して大切だと思う対策はどのようなことだと思いますか。  
(MA)



地震や台風などの災害に対して大切だと思う対策は、「薬・医療用機器・ストマ用装具などの日常生活用具の確保」(39.9%)が最も高く、次いで「障害のある方に配慮した避難所の整備」(28.0%)、「避難所での共同生活が難しい人のための福祉避難所の確保」(25.5%)となっている。



## 第8章

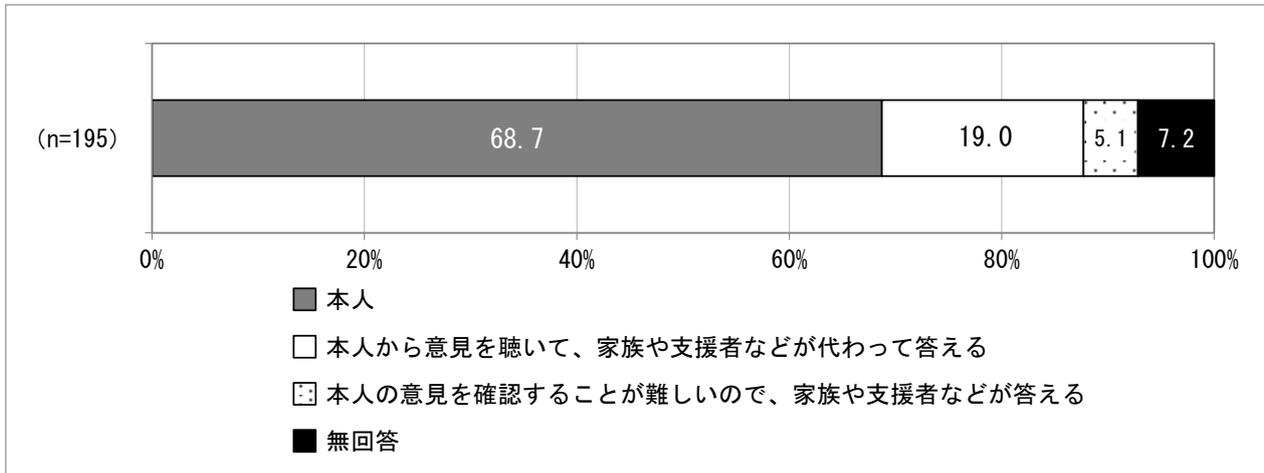
### 精神障害者（入院）本人



## 第8章 精神障害者（入院）本人

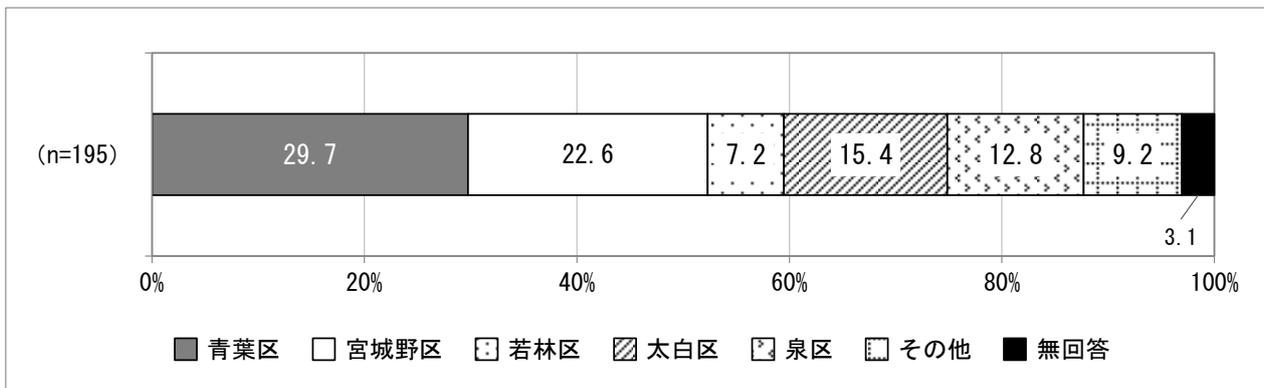
### 1 属性について

問1 このアンケートの記入者はどなたですか。(SA)



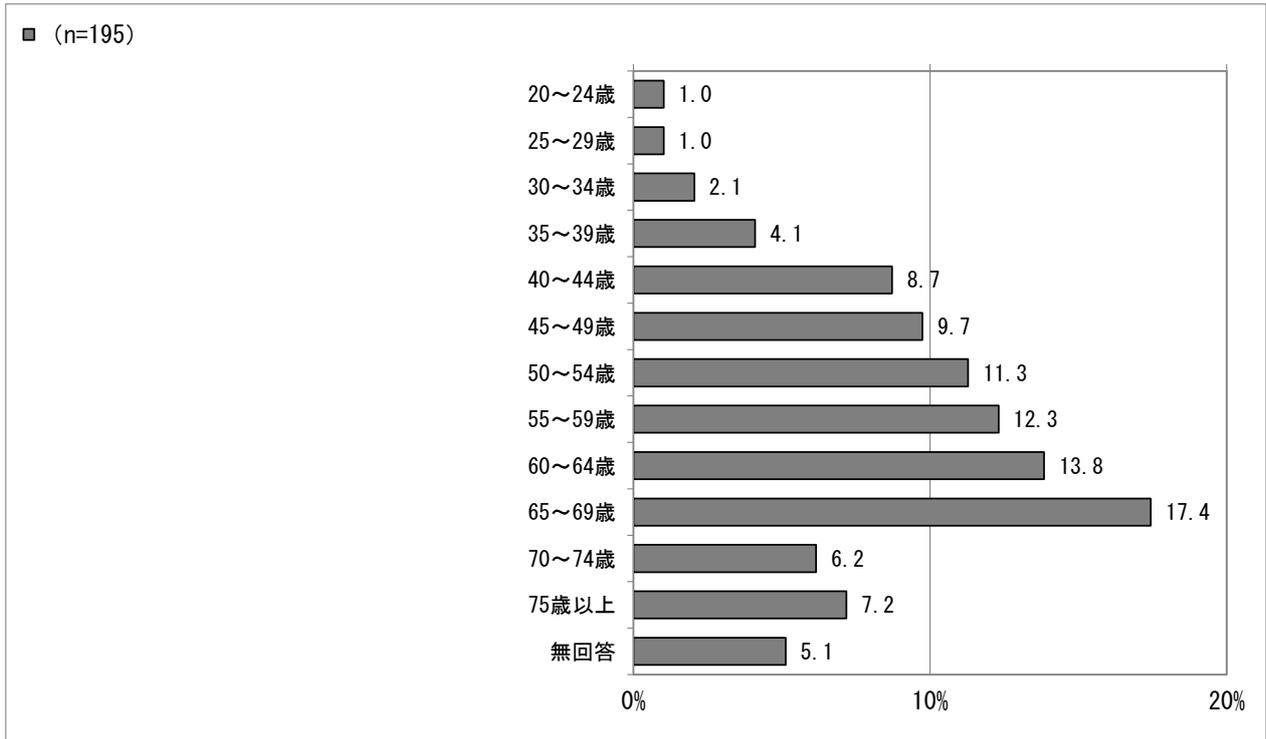
アンケートの記入者は、「本人」(68.7%)、「本人から意見を聴いて、家族や支援者などが代わって答える」(19.0%)、「本人の意見を確認することが難しいので、家族や支援者などが答える」(5.1%)となっている。

問2 あなたのお住まいの区はどこですか。(SA)



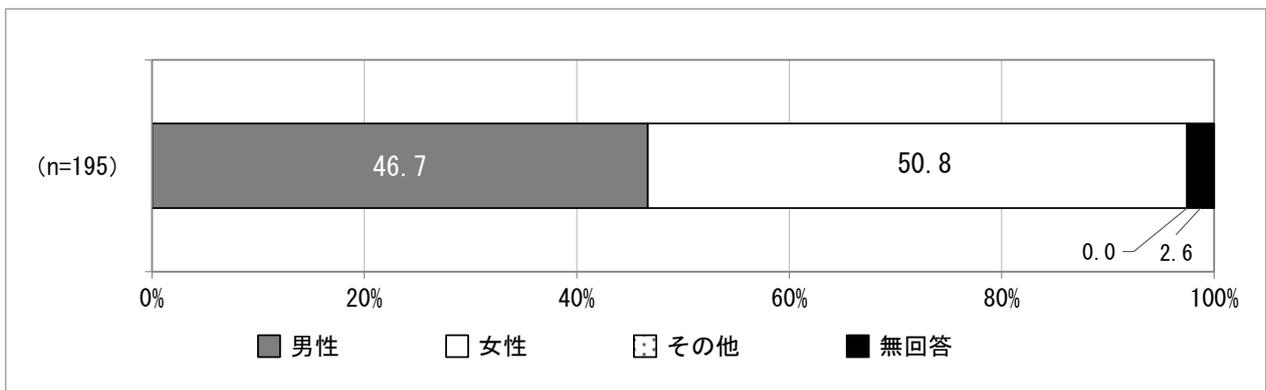
居住区は、「青葉区」(29.7%)が最も高く、次いで「宮城野区」(22.6%)、「太白区」(15.4%)となっている。

問3 あなたの年齢（2016年11月1日時点）は何歳ですか。（数値）



年齢は、「65～69歳」（17.4%）が最も高く、次いで「60～64歳」（13.8%）、「55～59歳」（12.3%）となっている。

問4 あなたの性別を教えてください。（SA）

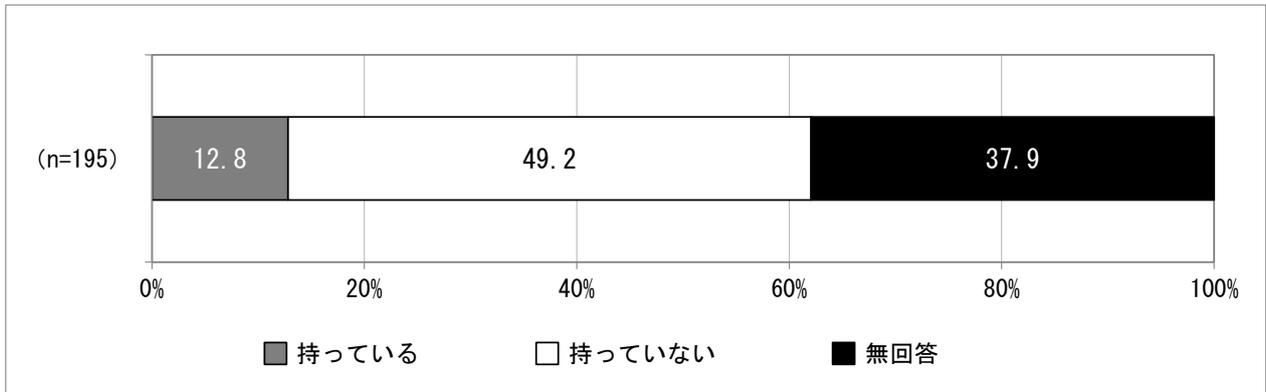


性別は、「男性」（46.7%）、「女性」（50.8%）となっている。

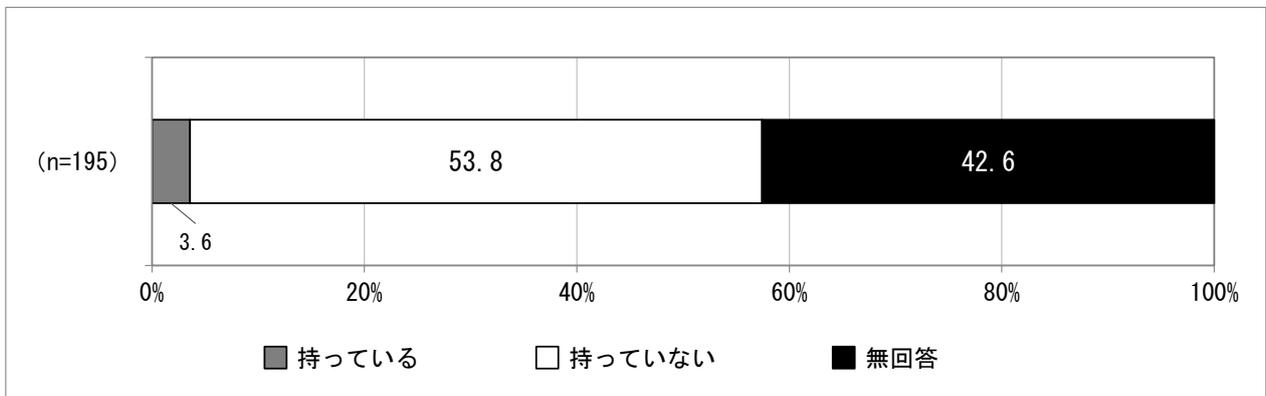
問5 障害者手帳についておたずねします。

(ア) 障害者手帳をお持ちかどうか教えてください。(SA)

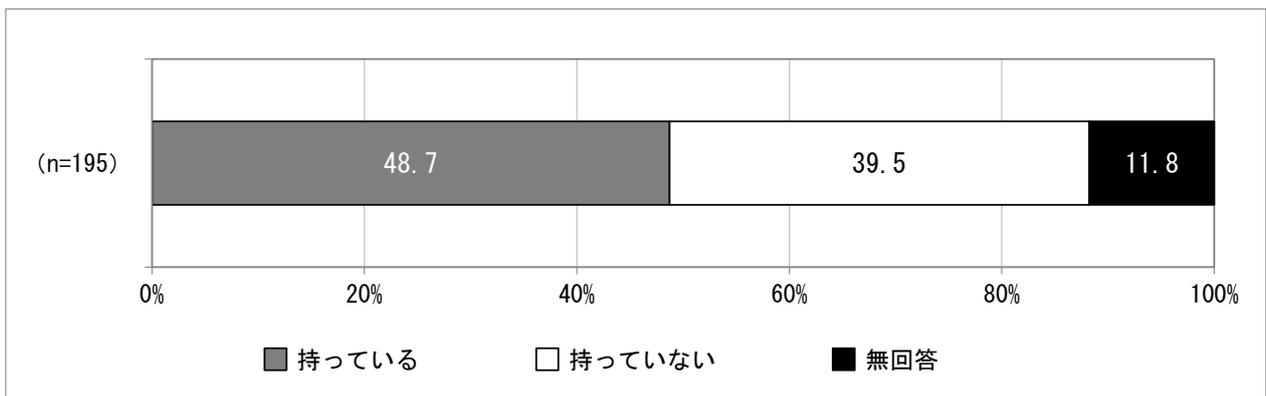
(身体障害者手帳)



(療育手帳)



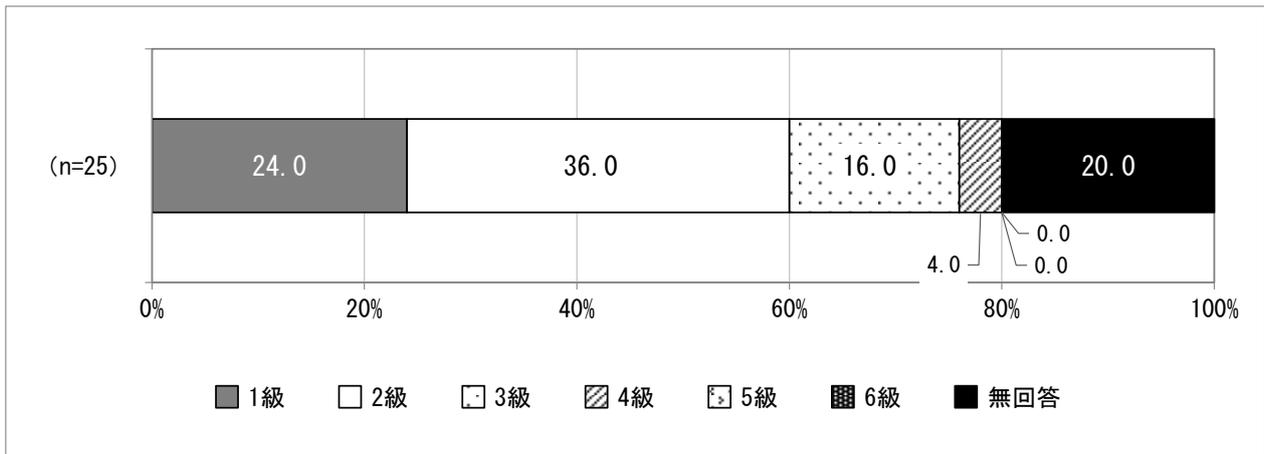
(精神障害者保健福祉手帳)



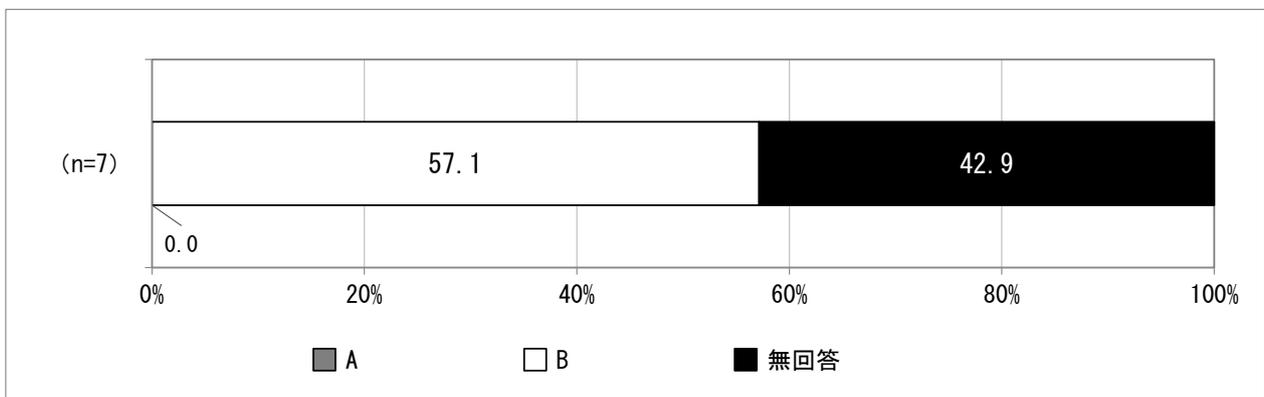
「持っている」割合は、身体障害者手帳が12.8%、療育手帳が3.6%、精神障害者保健福祉手帳が48.7%となっている。

(イ) お持ちの障害者手帳の等級を教えてください。(SA)

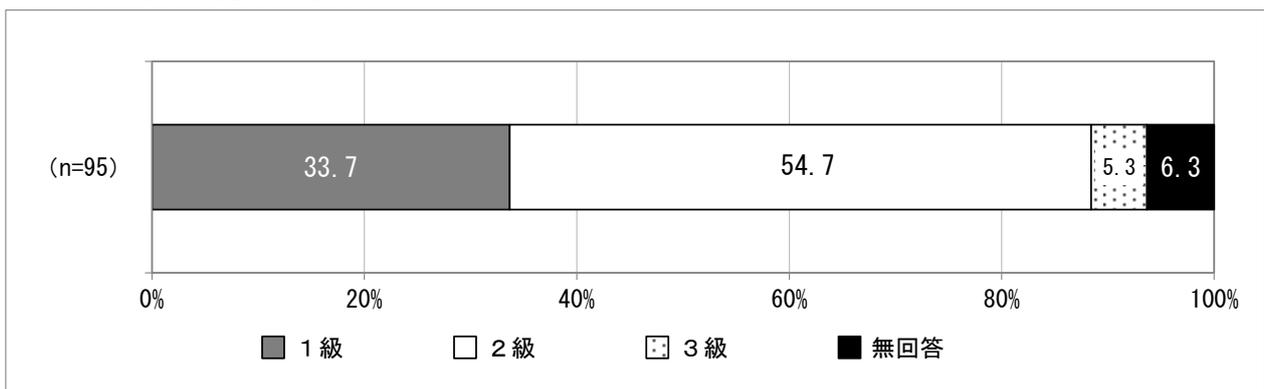
(身体障害者手帳)



(療育手帳)



(精神障害者保健福祉手帳)



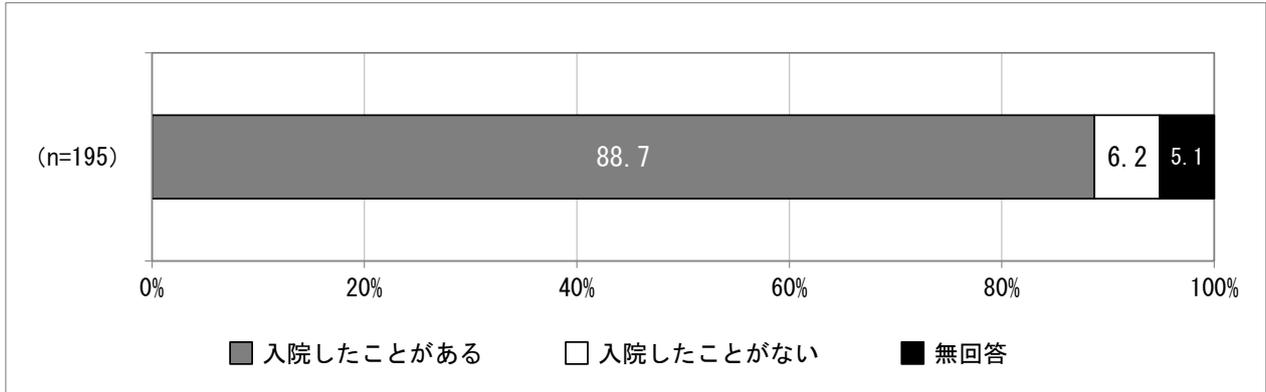
身体障害者手帳の等級は、「2級」(36.0%)が最も高く、次いで「1級」(24.0%)、「3級」(16.0%)となっている。

療育手帳の等級は、「A」(57.1%)、「B」(42.9%)となっている。

精神障害者保健福祉手帳の等級は、「2級」(54.7%)が最も高く、次いで「1級」(33.7%)、「3級」(5.3%)となっている。

## 2 入院と退院の状況について

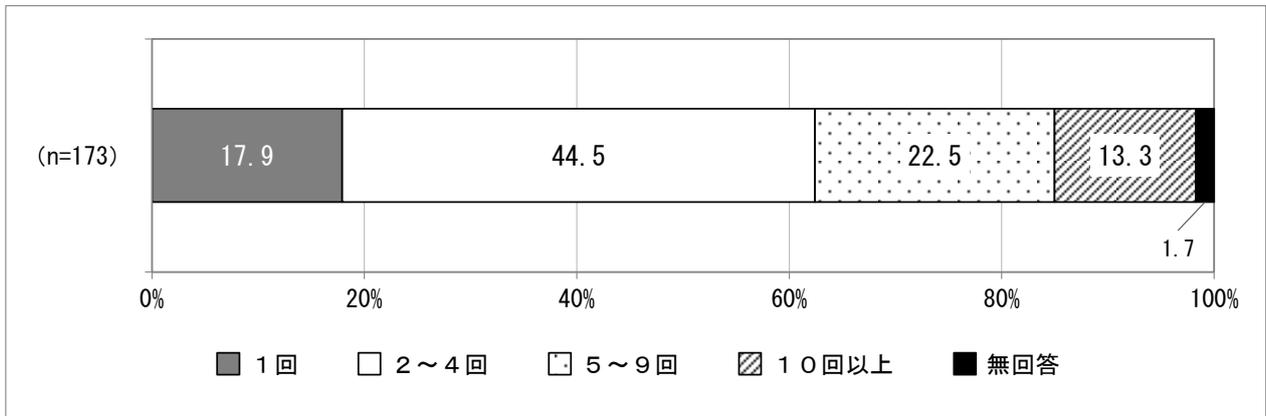
問6 あなたはこれまで精神科病院に入院したことがありますか。(SA)



これまでの精神科病院入院は、「入院したことがある」(88.7%)、「入院したことがない」(6.2%)となっている。

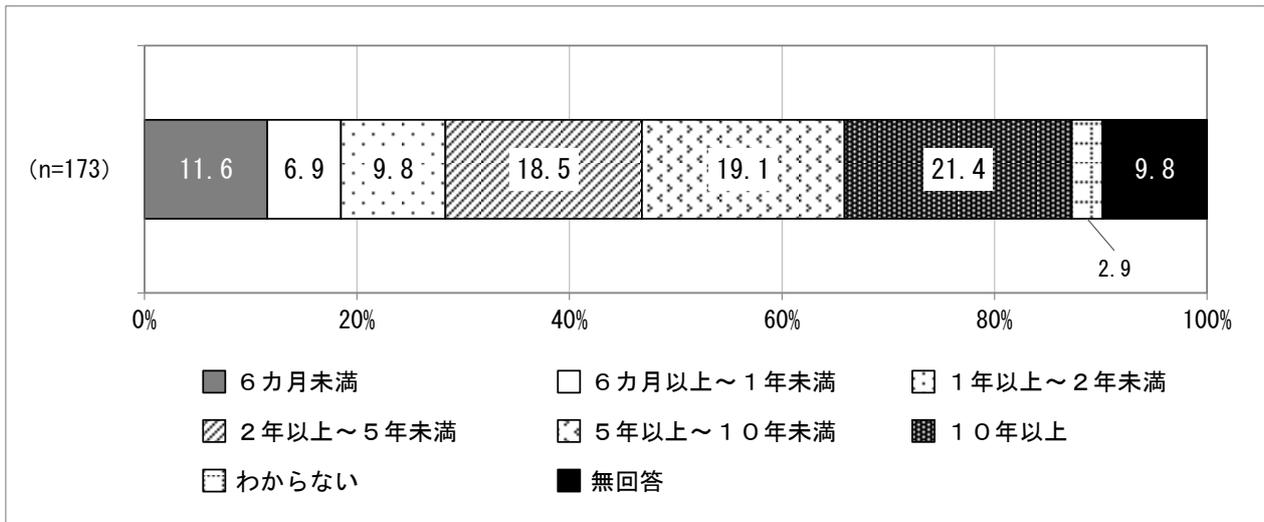
問7 問6で「入院をしたことがある」を選んだ方におたずねします。

(ア) あなたは何回入院をしたことがありますか。(SA)



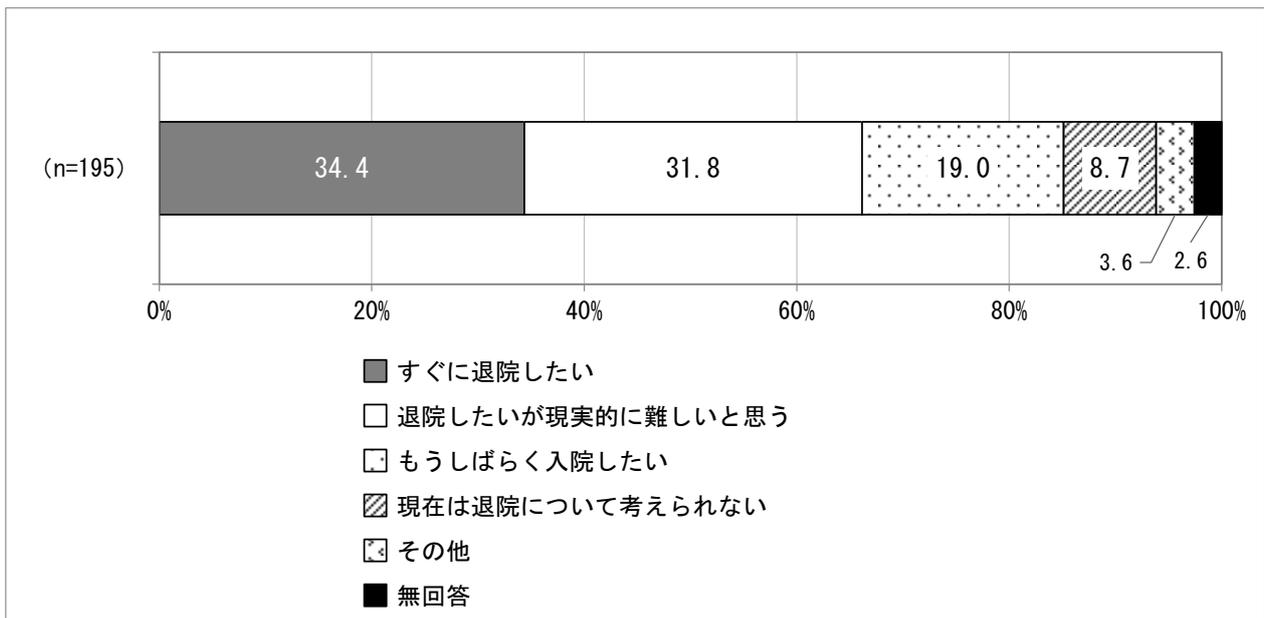
これまでの入院回数は、「2～4回」(44.5%)が最も高く、次いで「5～9回」(22.5%)、「1回」(17.9%)となっている。

(イ) 入院の期間は通算するとどのくらいの期間になりますか。(SA)



入院期間を通算すると、「10年以上」(21.4%)が最も高く、次いで「5年以上～10年未満」(19.1%)、「2年以上～5年未満」(18.5%)となっている。

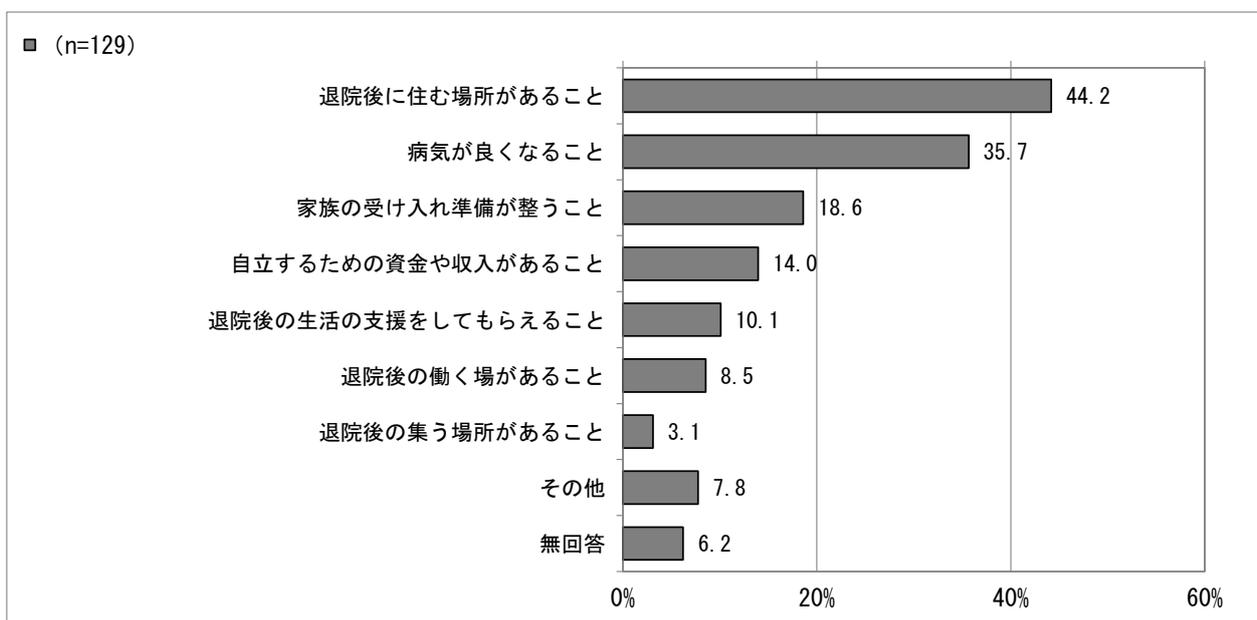
問8 退院について、あなたはどのように考えていますか。(SA)



退院についての考えは、「すぐに退院したい」(34.4%)が最も高く、次いで「退院したいが現実的に難しいと思う」(31.8%)、「もうしばらく入院したい」(19.0%)となっている。

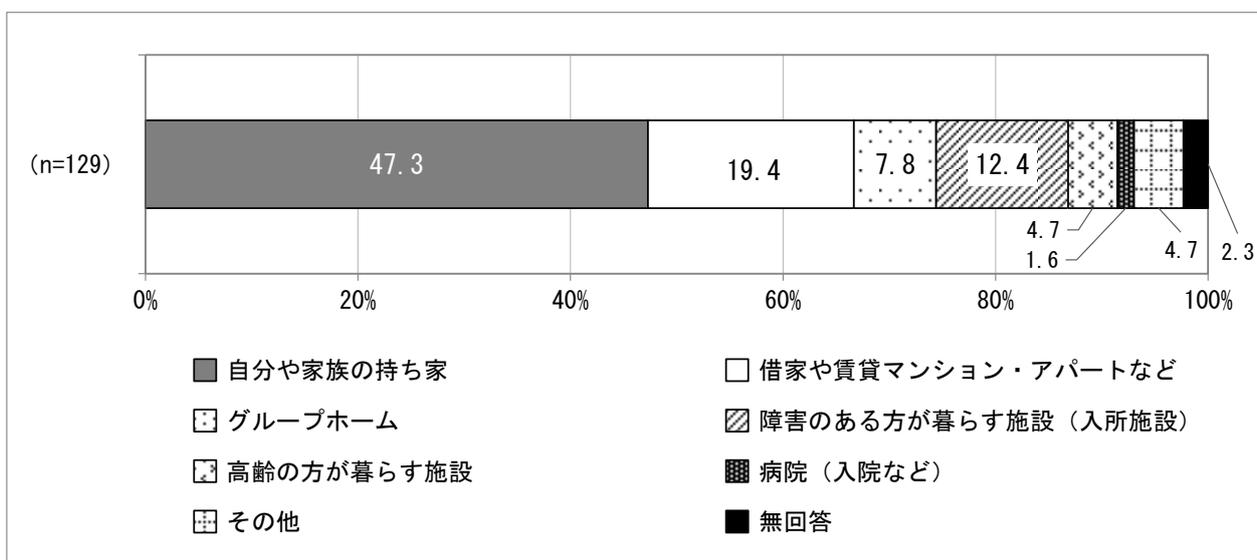
問9 問8で「すぐに退院したい」か「退院したいが現実的に難しいと思う」を選んだ方におたずねします。

(1) あなたは、どのような条件が整えば退院できると思いますか。(MA)



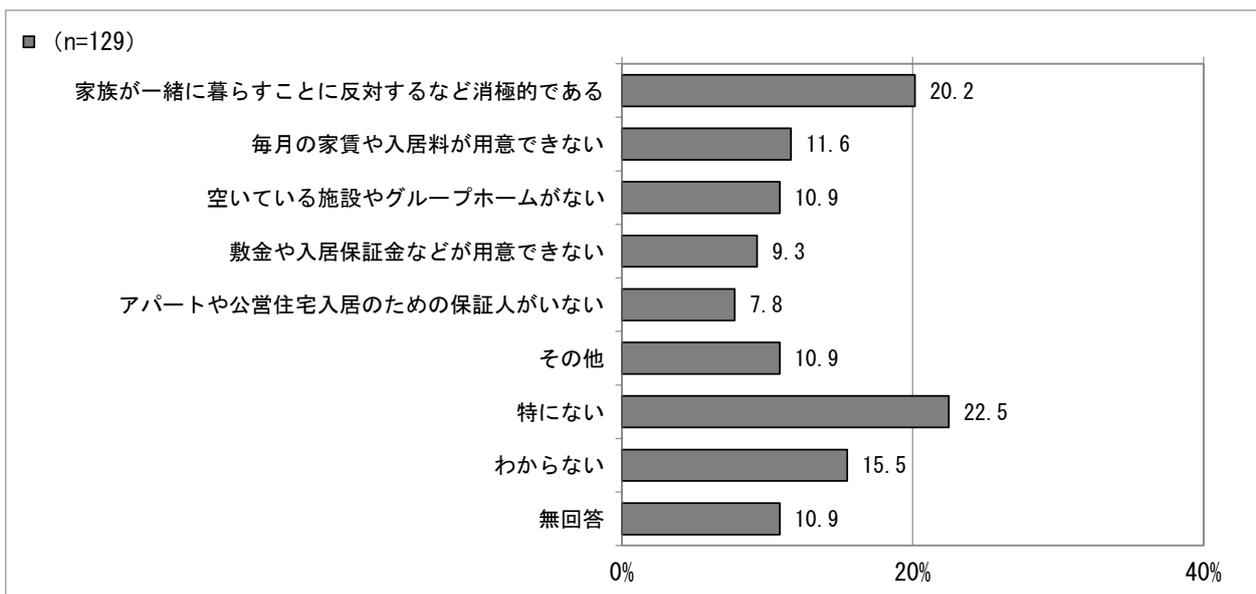
退院できる条件は、「退院後に住む場所があること」(44.2%)が最も高く、次いで「病気が良くなること」(35.7%)、「家族の受け入れ準備が整うこと」(18.6%)となっている。

(2) 退院後、あなたはどちらで生活をしたいと思いますか。(SA)



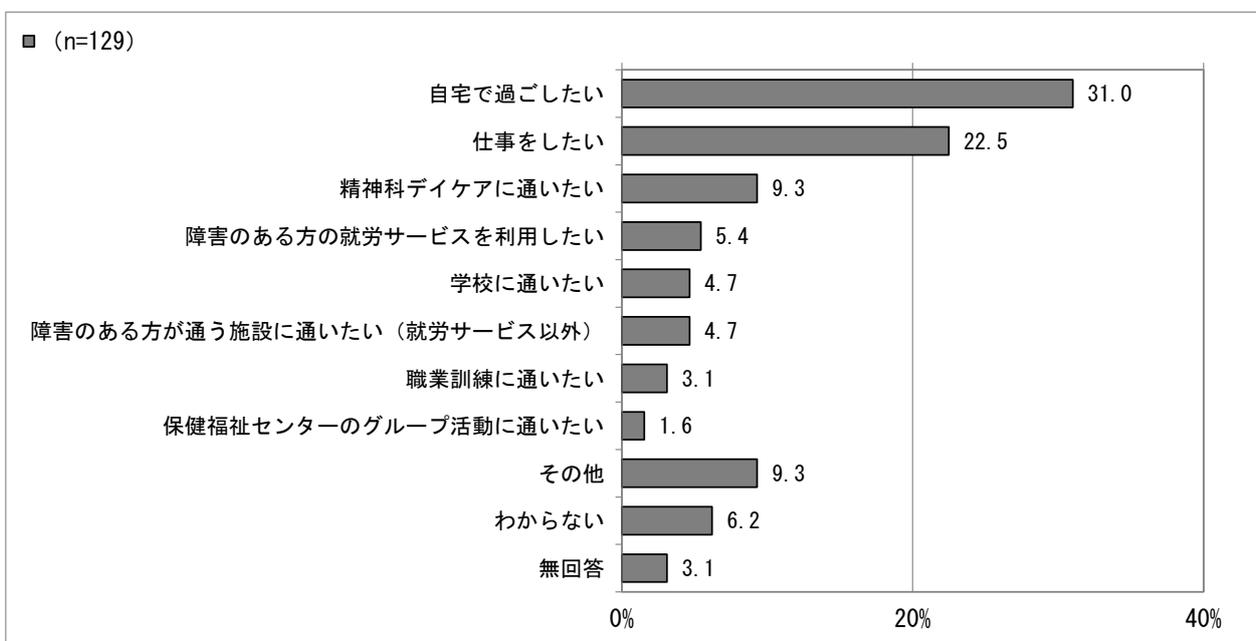
退院後どこで生活をしたいかは、「自分や家族の持ち家」(47.3%)が最も高く、次いで「借家や賃貸マンション・アパート」(19.4%)、「障害のある方が暮らす施設(入所施設)」(12.4%)となっている。

(3) あなたが退院後の生活の場を確保することで、困るようなことがあれば教えてください。(MA)



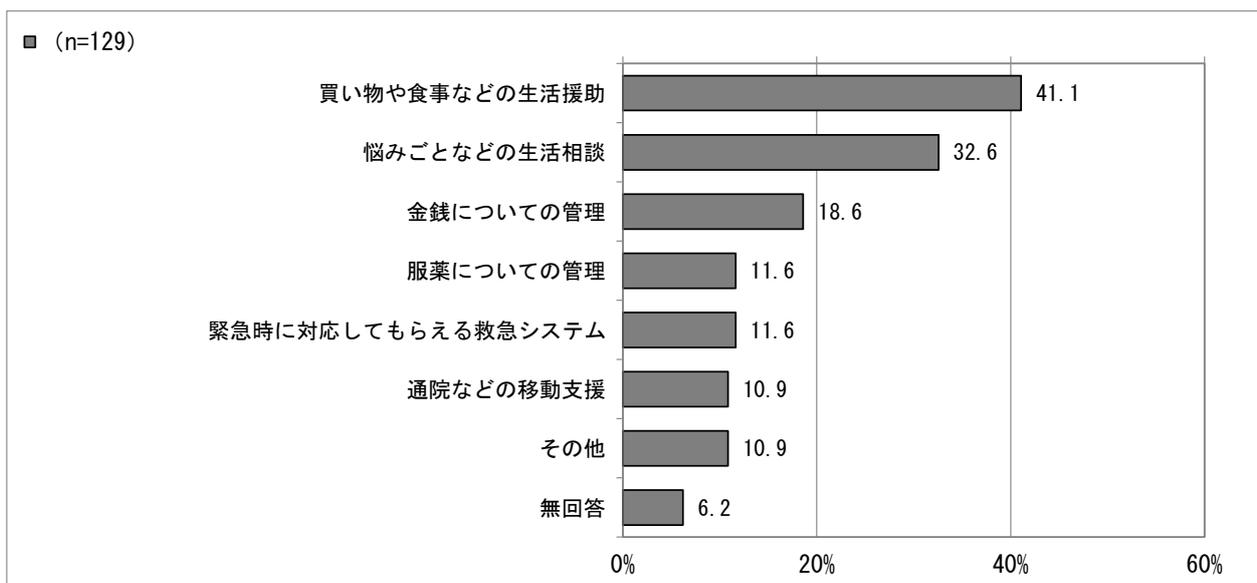
退院後の生活の場を確保することで困るようなことは、「特になし」(22.5%)が最も高く、次いで「家族と一緒に暮らすことに反対するなど消極的である」(20.2%)、「わからない」(15.5%)となっている。

(4) 退院後、平日の日中に、あなたはどのように過ごしたいですか。(SA)



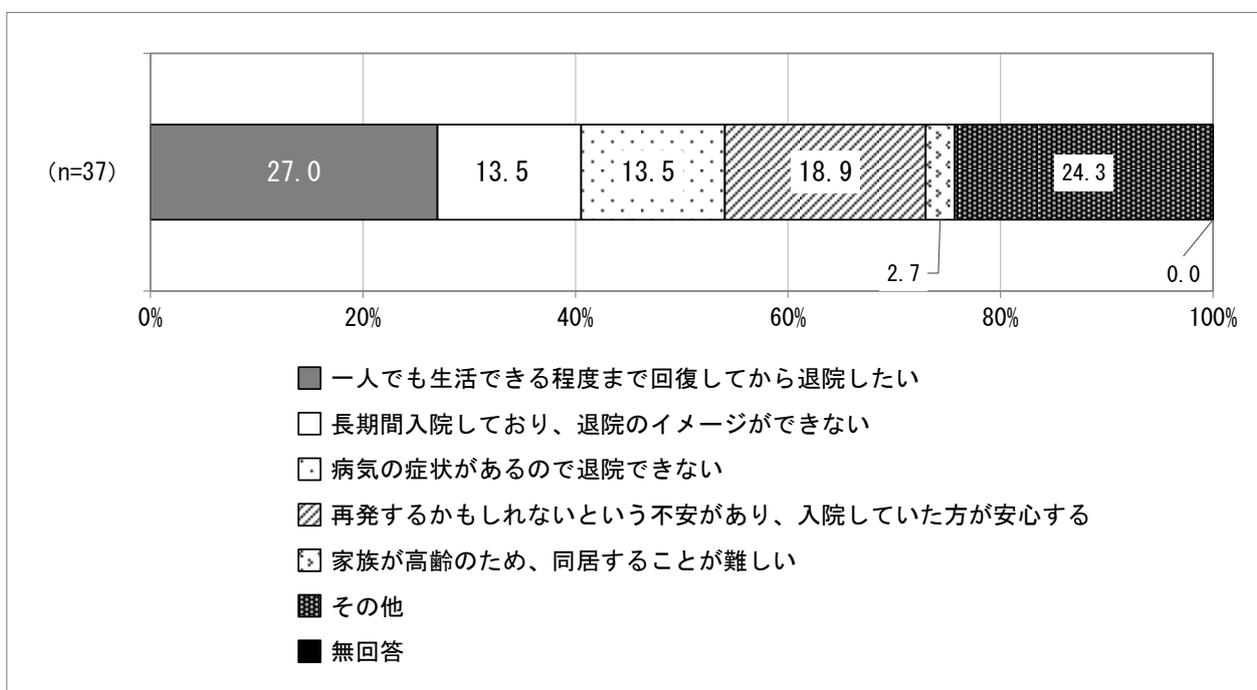
退院後、どのように平日日中を過ごしたいかは、「自宅で過ごしたい」(31.0%)が最も高く、次いで「仕事をしたい」(22.5%)、「精神科デイケアに通いたい」と「その他」がともに9.3%となっている。

(5) あなたが退院後に望む支援は何ですか。(MA)



退院後に望む支援は、「買い物や食事などの生活援助」(41.1%)が最も高く、次いで「悩みごとなどの生活相談」(32.6%)、「金銭についての管理」(18.6%)となっている。

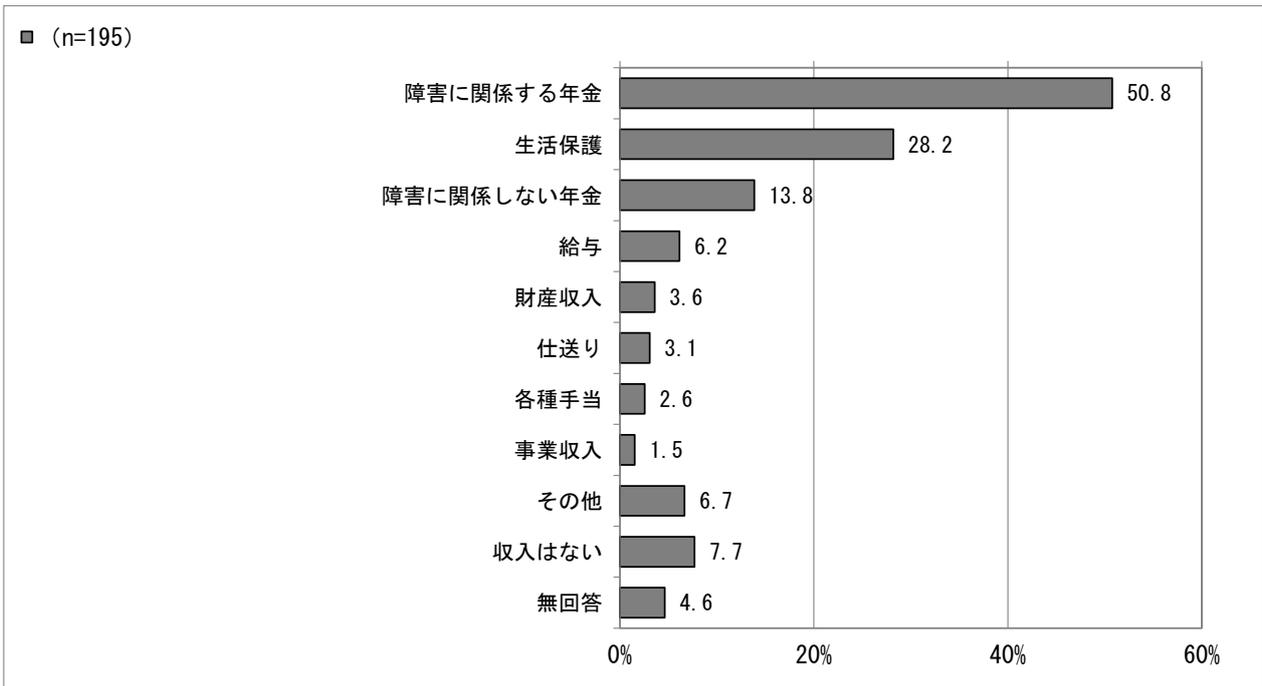
問10 問8で「もうしばらく入院したい」を選んだ方におたずねします。あなたが退院したくない理由は何ですか。(SMA)



退院したくない理由は、「一人でも生活できる程度まで回復してから退院したい」(27.0%)が最も高く、次いで「その他」(24.3%)、「再発するかもしれないという不安があり、入院していた方が安心する」(18.9%)となっている。

### 3 所得の状況について

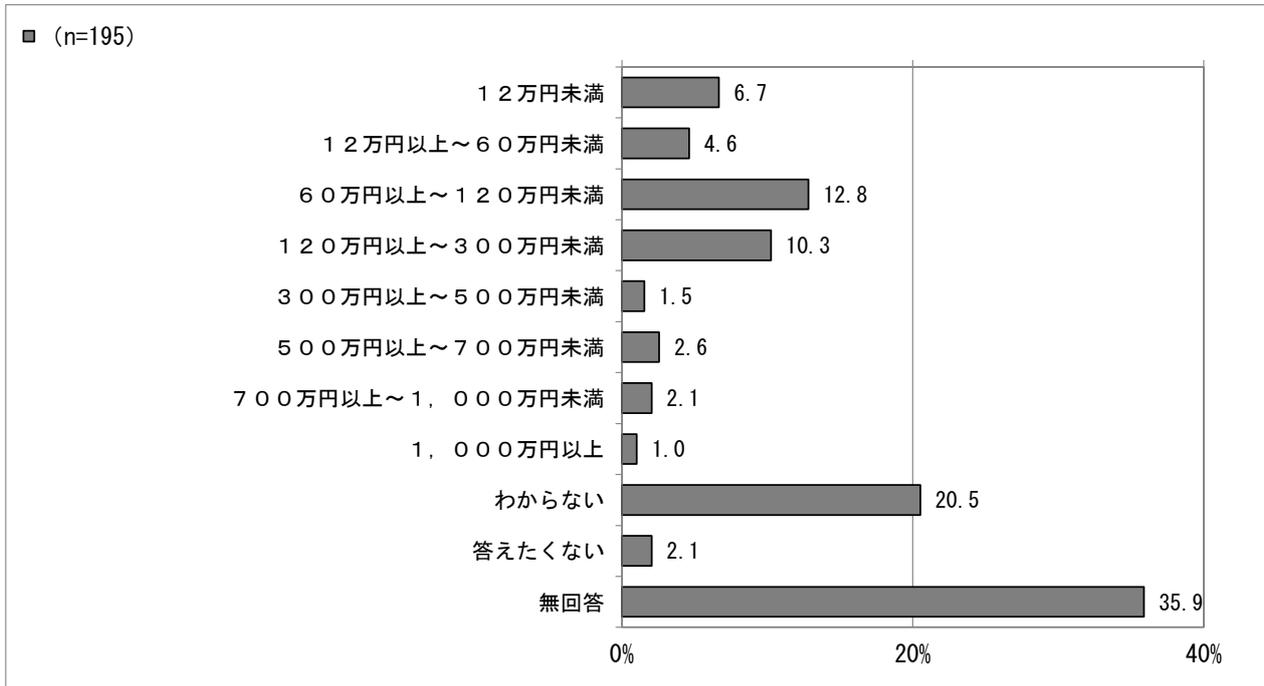
問 11 あなたが得ている収入は次のうちどれですか。(MA)



得ている収入は、「障害に関する年金」(50.8%)が最も高く、次いで「生活保護」(28.2%)、「障害に関係しない年金」(13.8%)となっている。

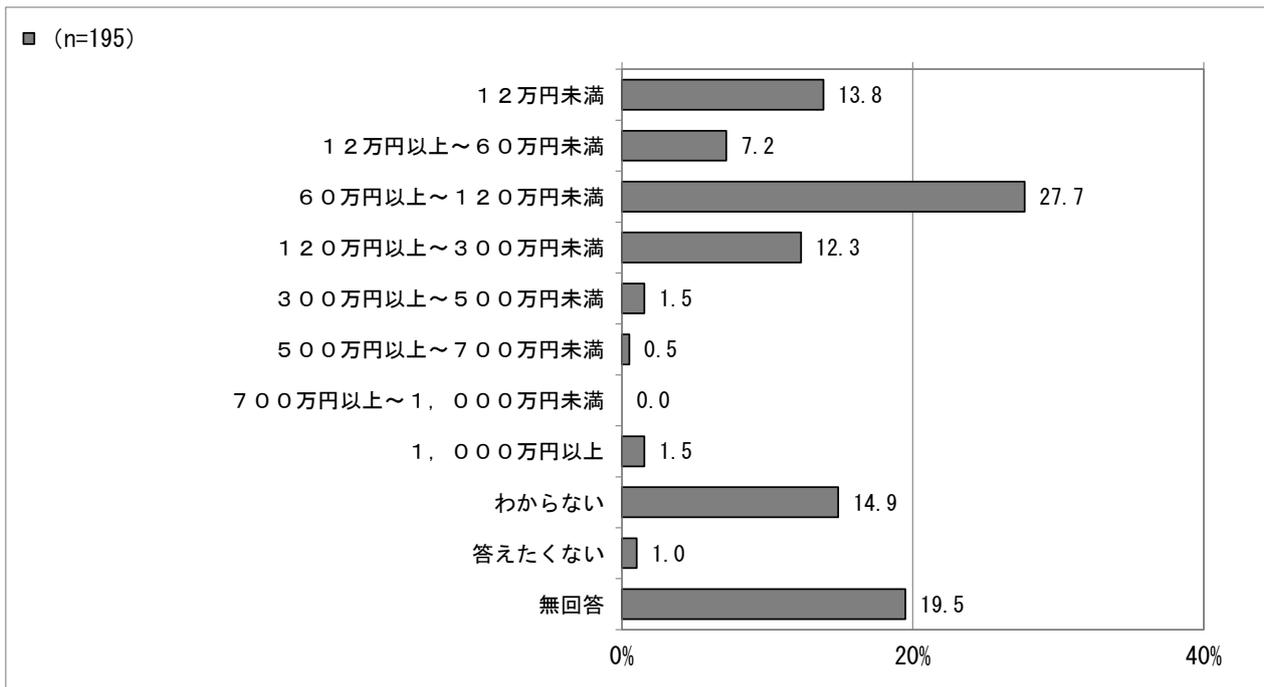
問12 所得についておたずねします。

(ア) あなたの年収（税込）はだいたいどのくらいですか。(SA)



年収は、「わからない」(20.5%)が最も高く、次いで「60万円以上～120万円未満」(12.8%)、「120万円以上～300万円未満」(10.3%)となっている。

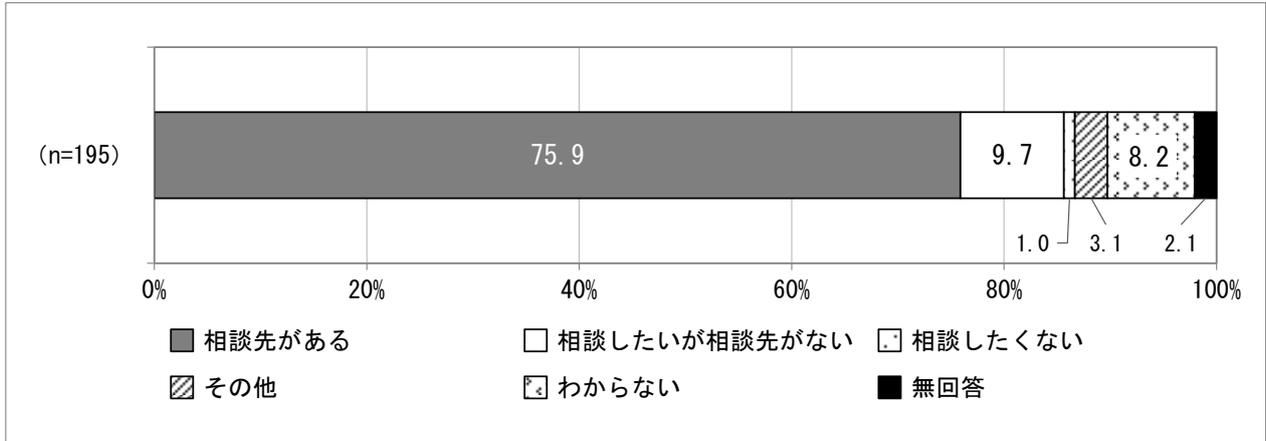
(イ) 一緒に暮らしている家族全体の年収(税込)はだいたいどのくらいですか。(本人の年収含む)(SA)



家族全体の年収は、「60万円以上～120万円未満」(27.7%)が最も高く、次いで「わからない」(14.9%)、「12万円未満」(13.8%)となっている。

4 相談の状況について

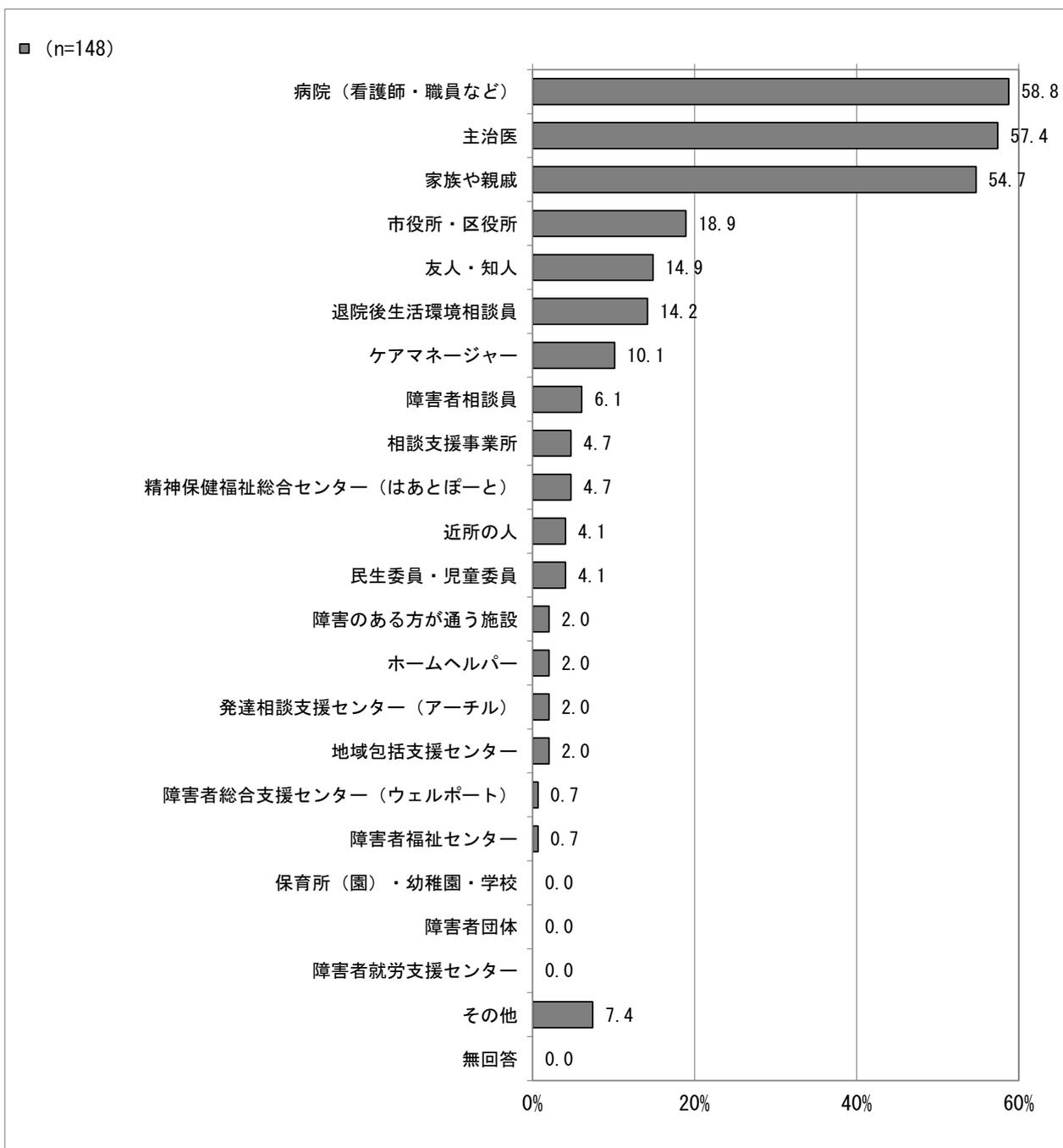
問 13 困ったときの相談について次のうちあてはまるのはどれですか。(SA)



困ったときの相談は、「相談先がある」(75.9%)が最も高く、次いで「相談したいが相談先がない」(9.7%)、「わからない」(8.2%)となっている。

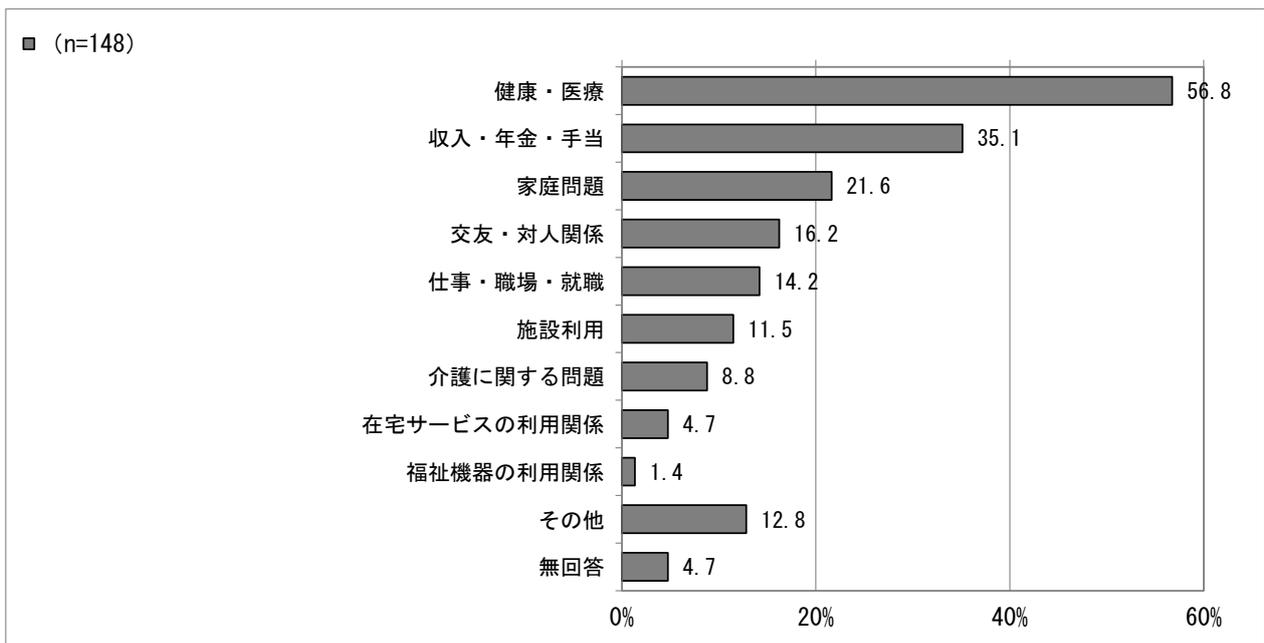
問 14 問 13 で「相談先がある」を選んだ方におたずねします。

(1) 相談相手は誰ですか。(MA)



相談相手は、「病院 (看護師・職員など)」(58.8%) が最も高く、次いで「主治医」(57.4%)、「家族や親戚」(54.7%) となっている。

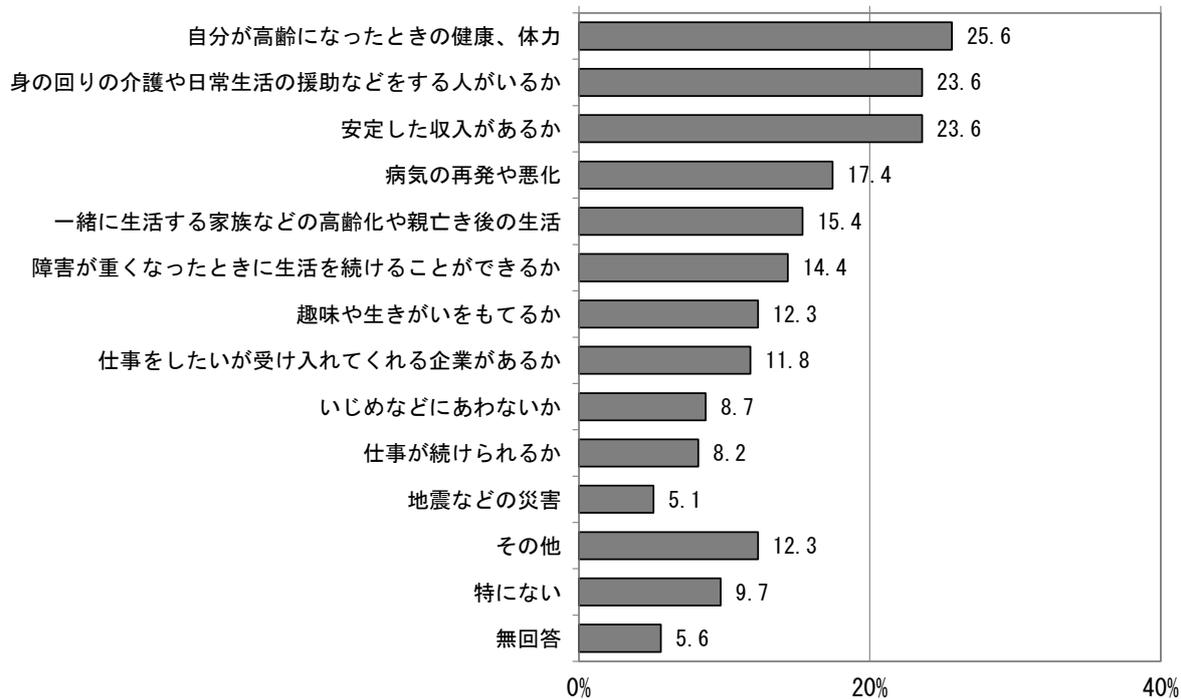
## (2) 相談していること（したいこと）は何ですか。(MA)



相談している（したいこと）は、「健康・医療」（56.8%）が最も高く、次いで「収入・年金・手当」（35.1%）、「家庭問題」（21.6%）となっている。

### 問 15 今後のことで、あなたが不安に感じていることは何ですか。(MA)

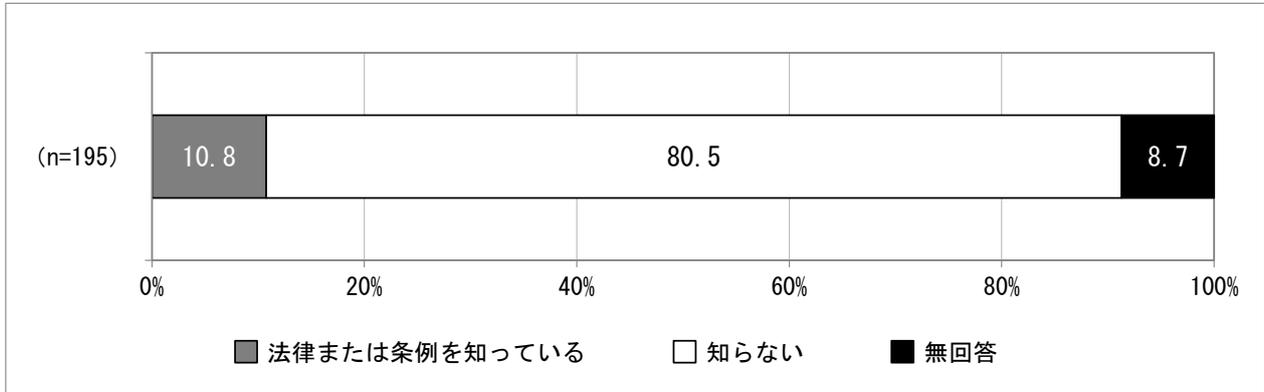
■ (n=195)



今後のことで不安に感じていることは、「自分が高齢になったときの健康、体力」(25.6%)が最も高く、次いで「身の回りの介護や日常生活の援助などをする人がいるか」と「安定した収入があるか」がともに23.6%、「病気の再発や悪化」(17.4%)となっている。

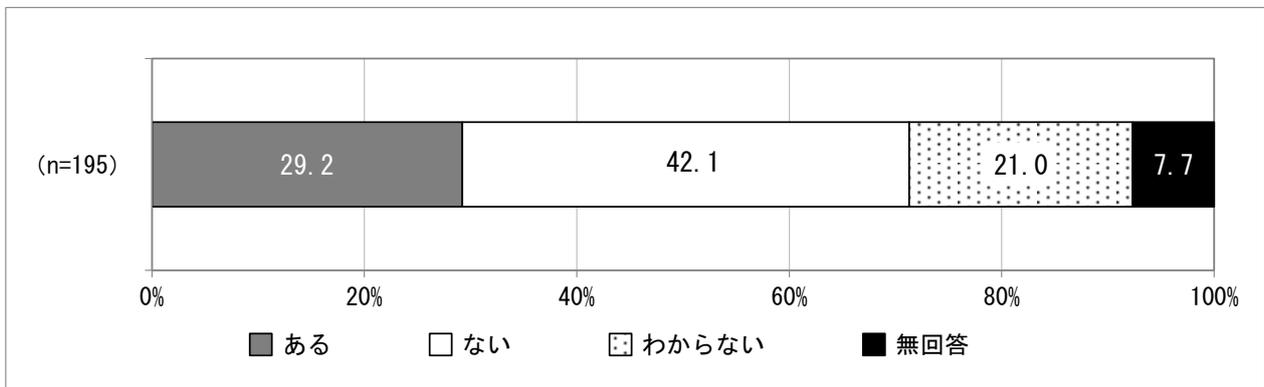
## 5 権利擁護について

問 16 あなたは、2016年4月より施行された「障害者差別解消法」を知っていますか。また、「仙台市障害を理由とする差別をなくし障害のある人もない人も共に暮らしやすいまちをつくる条例」を知っていますか。(SA)



障害者差別解消法および条例を知っているかについて、「法律または条例を知っている」(10.8%)、「知らない」(80.5%)となっている。

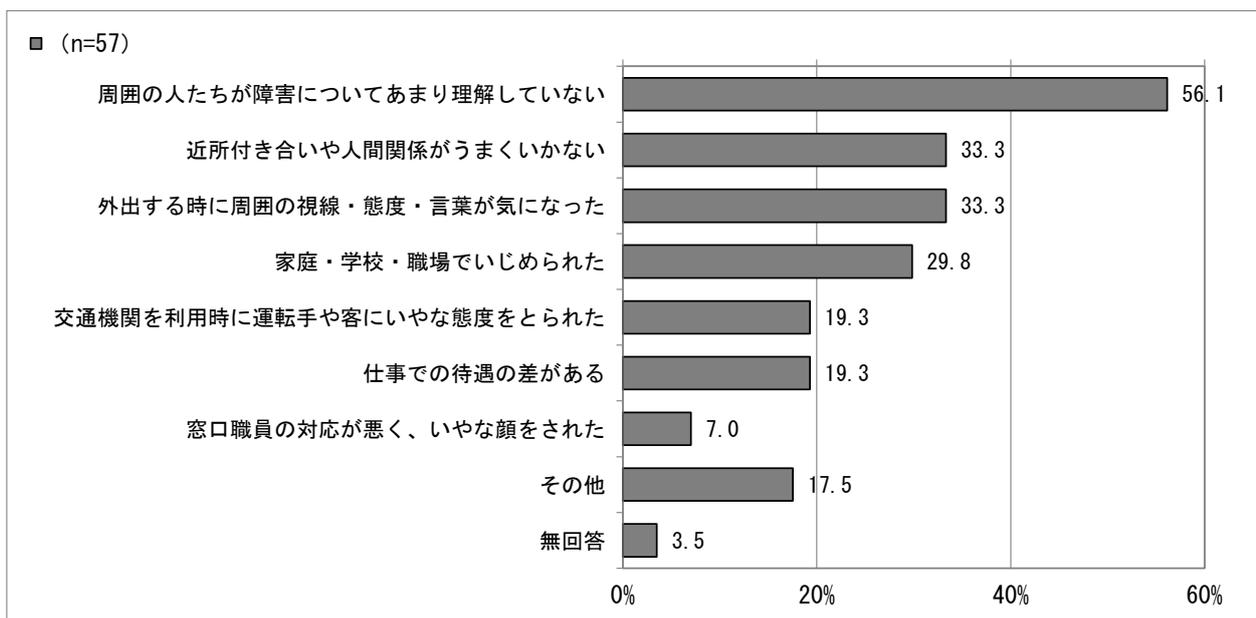
問 17 障害を理由に差別を受けたり、いやな思いなどをしたことがありますか。(SA)



障害を理由に差別やいやな思いをしたことがあるかは、「ある」(29.2%)、「ない」(42.1%)、「わからない」(21.0%)となっている。

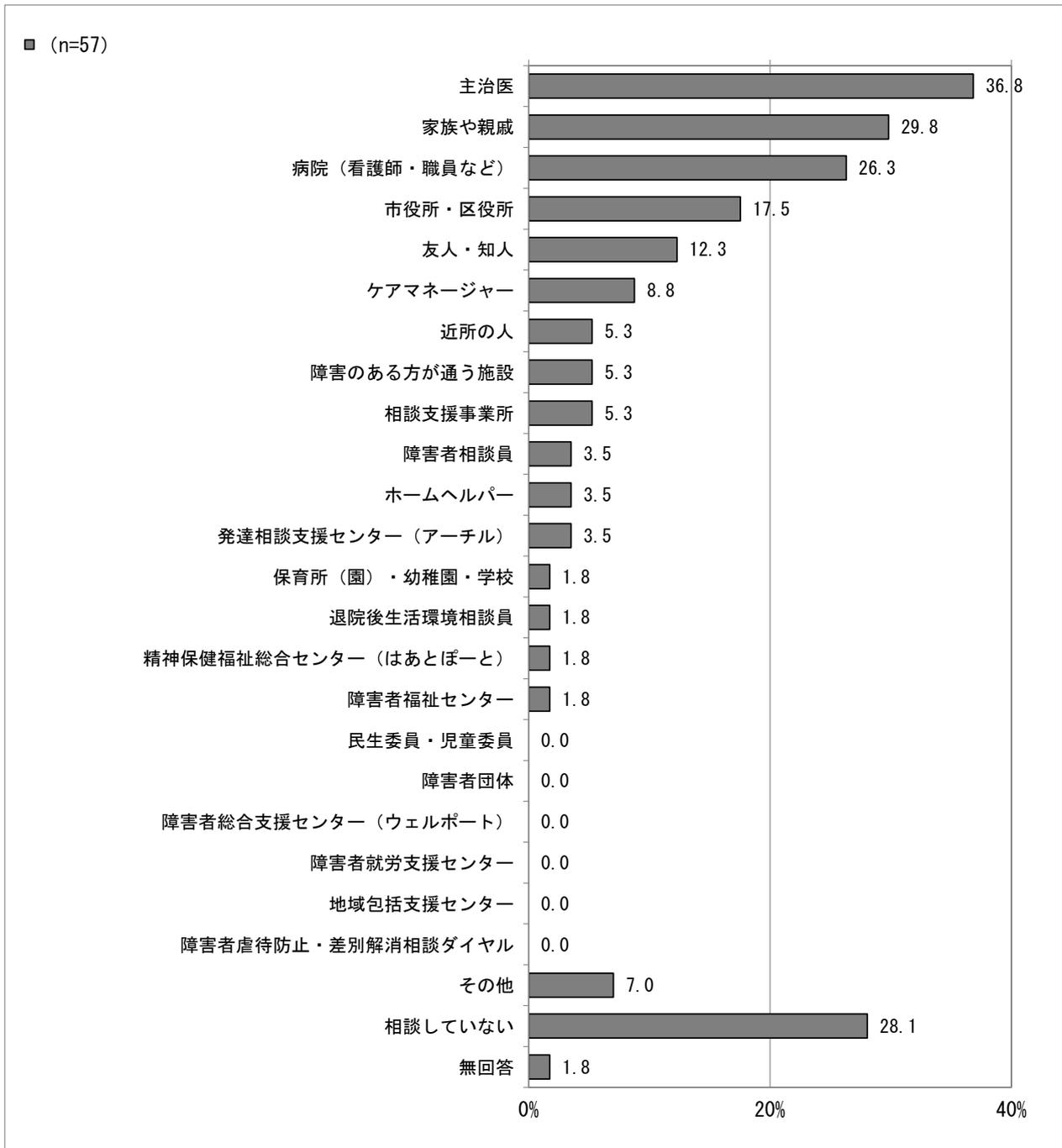
問 18 問 17 で「ある」を選んだ方におたずねします。

(1) あなたはどのような内容の差別を受けたり、いやな思いをしましたか。(MA)



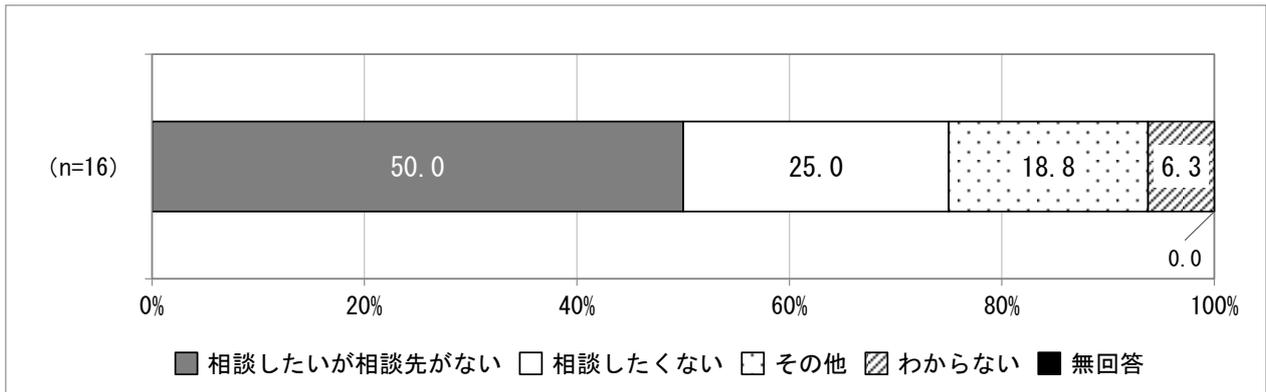
受けた差別やいやな思いの内容は、「周囲の人たちが障害についてあまり理解していない」(56.1%)が最も高く、次いで「近所付き合いや人間関係がうまくいかない」と「外出する時に周囲の視線・態度・言葉が気になった」がともに33.3%、「家庭・学校・職場でいじめられた」(29.8%)となっている。

## (2) 差別をされたり、いやな思いをしたときに誰かに相談しましたか。(MA)



差別をされたりしたときの相談は、「主治医」(36.8%)が最も高く、次いで「家族や親戚」(29.8%)、「病院（看護師・職員など）」(26.3%)となっている。

(3) (2)で「相談していない」を選んだ方におたずねします。相談しなかった理由は何ですか。(MA)



相談しなかった理由は、「相談したいが相談先がない」(50.0%)が最も高く、次いで「相談したくない」(25.0%)、「その他」(18.8%)となっている。

## 第9章

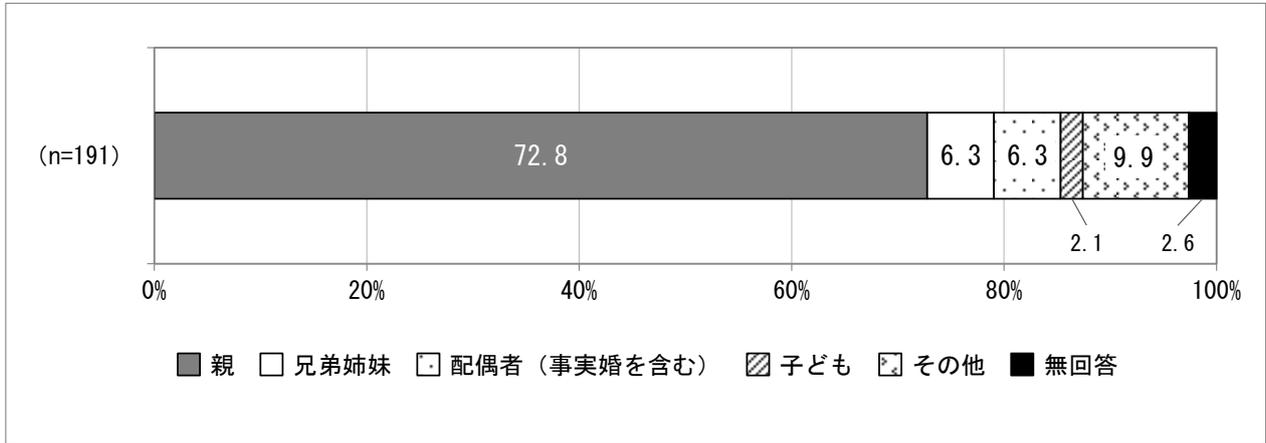
# 精神障害者の家族



## 第9章 精神障害者の家族

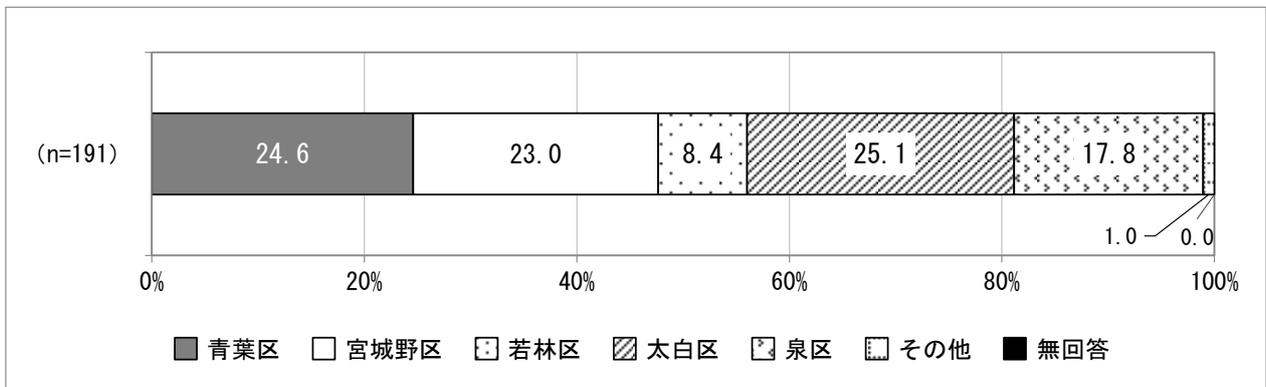
### 1 属性について

問1 このアンケートの記入者はどなたですか。(SA)



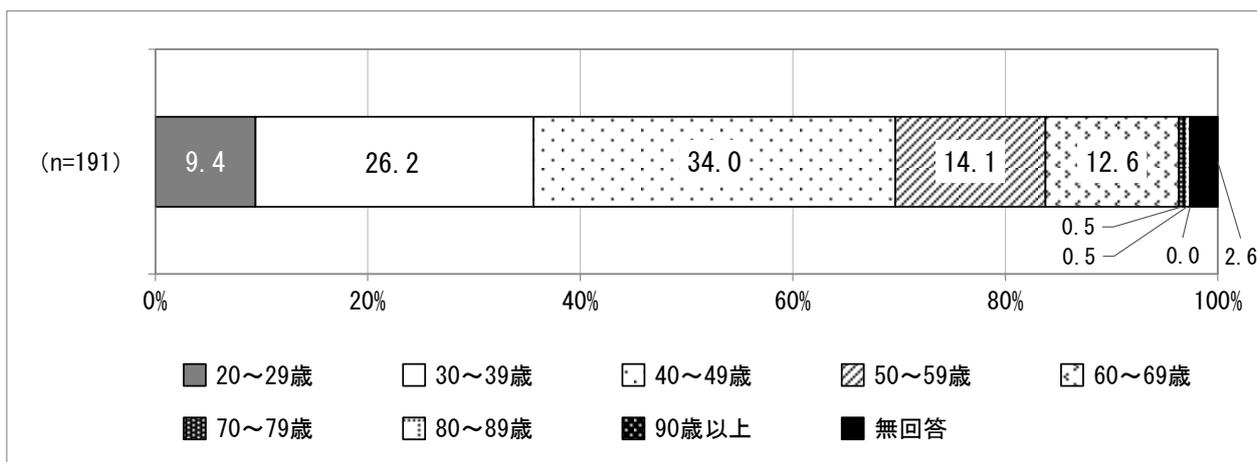
アンケートの記入者は、「親」(72.8%)が最も高く、次いで「その他」(9.9%)、「兄弟姉妹」と「配偶者(事実婚を含む)」がともに6.3%となっている。

問2 ご本人のお住まいの区はどこですか。(SA)



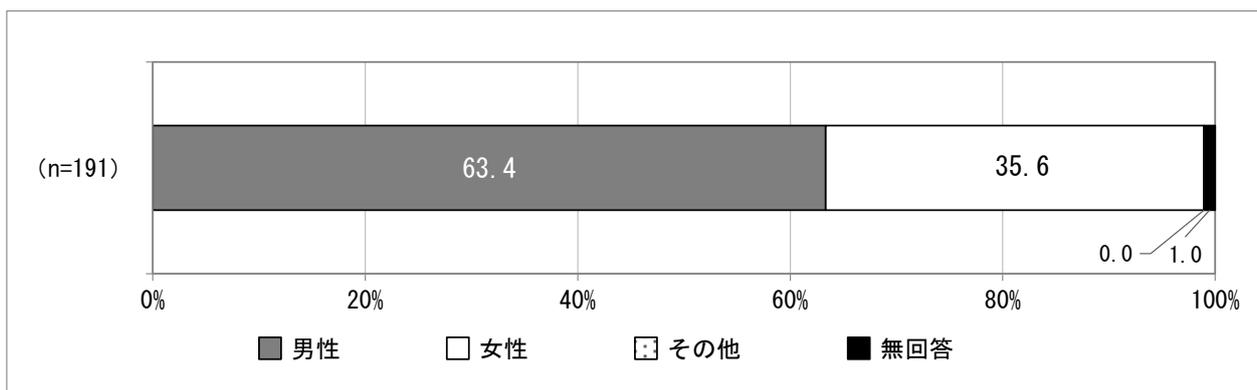
居住区は、「太白区」(25.1%)が最も高く、次いで「青葉区」(24.6%)、「宮城野区」(23.0%)となっている。

問3 ご本人の年齢（2016年11月1日時点）は何歳ですか。（数値）



年齢は、「40～49歳」（34.0%）が最も高く、次いで「30～39歳」（26.2%）、「50～59歳」（14.1%）となっている。

問4 ご本人の性別を教えてください。（SA）

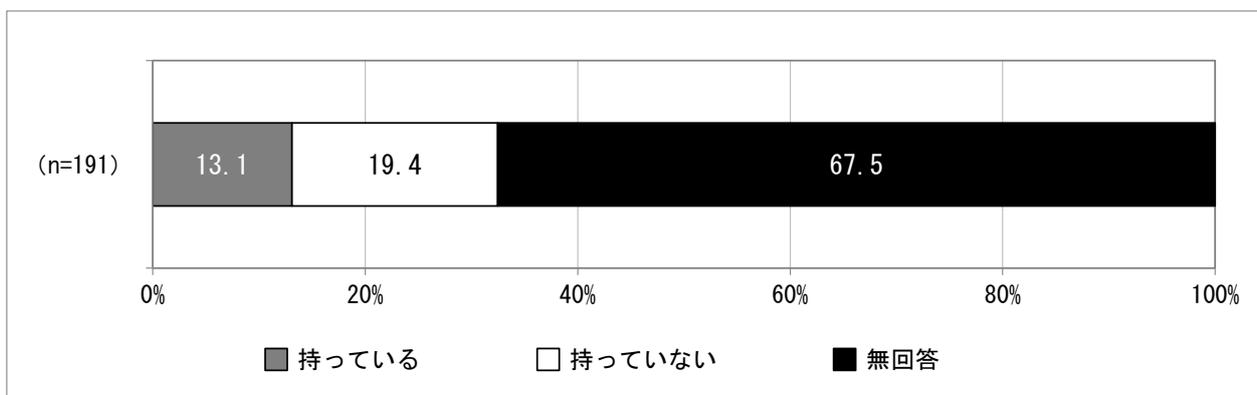


性別は、「男性」（63.4%）、「女性」（35.6%）となっている。

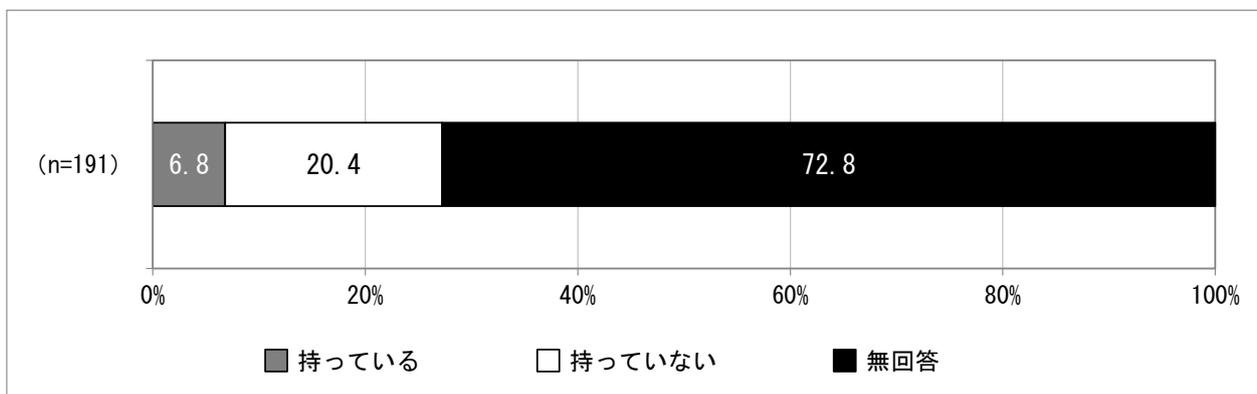
## 問5 障害者手帳についておたずねします。

(ア) ご本人が、障害者手帳をお持ちかどうか教えてください。(SA)

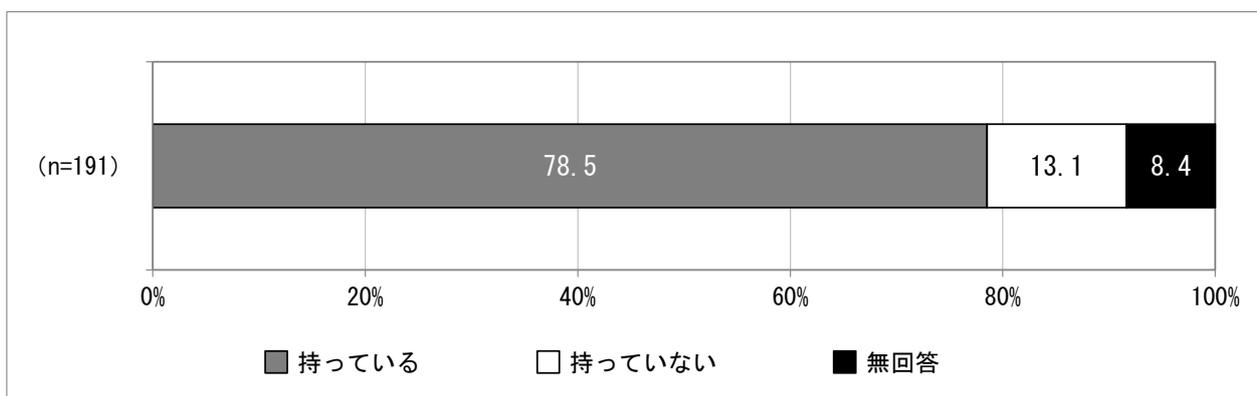
(身体障害者手帳)



(療育手帳)



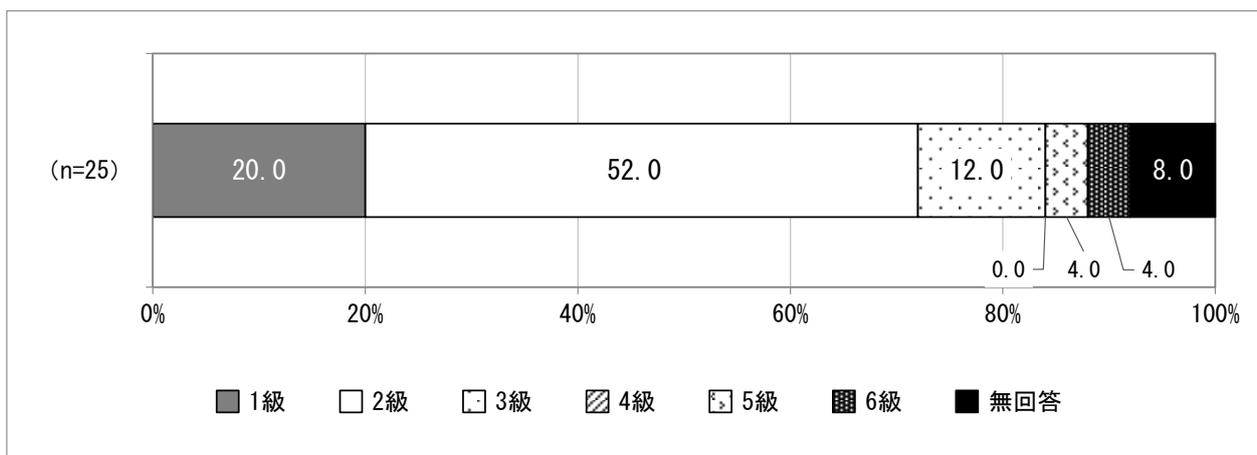
(精神障害者保健福祉手帳)



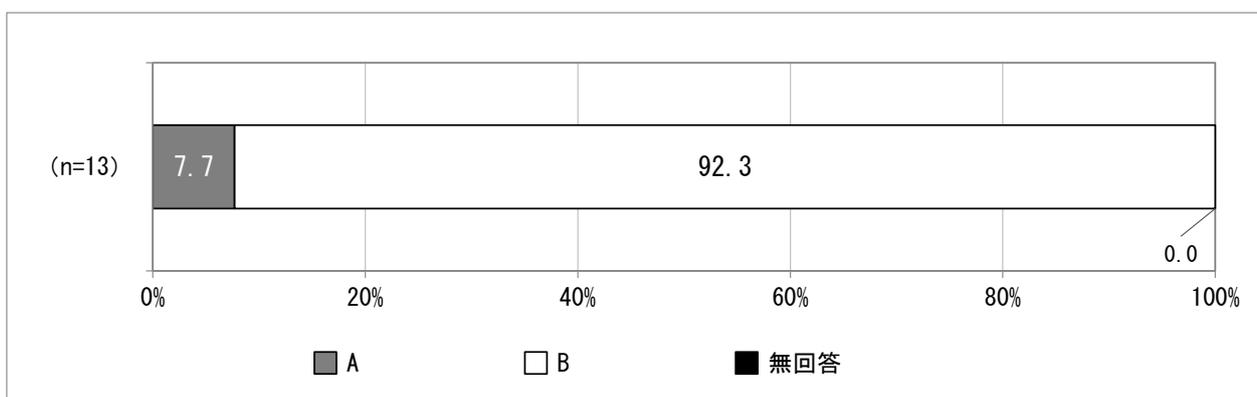
「持っている」割合は、身体障害者手帳が13.1%、療育手帳が6.8%、精神障害者保健福祉手帳が78.5%となっている。

(イ) お持ちの障害者手帳の等級を教えてください。(SA)

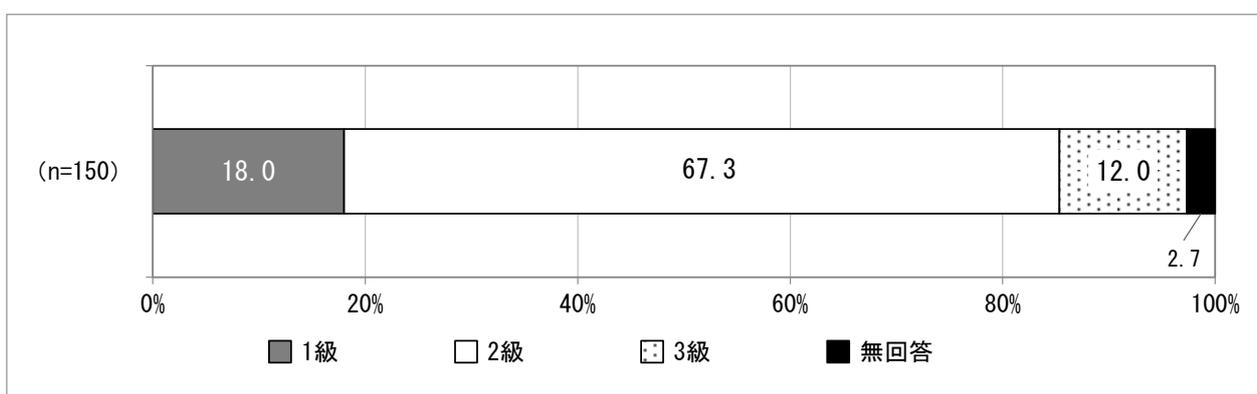
(身体障害者手帳)



(療育手帳)



(精神障害者保健福祉手帳)



身体障害者手帳の等級は、「2級」(52.0%)が最も高く、次いで「1級」(20.0%)、「3級」(12.0%)となっている。

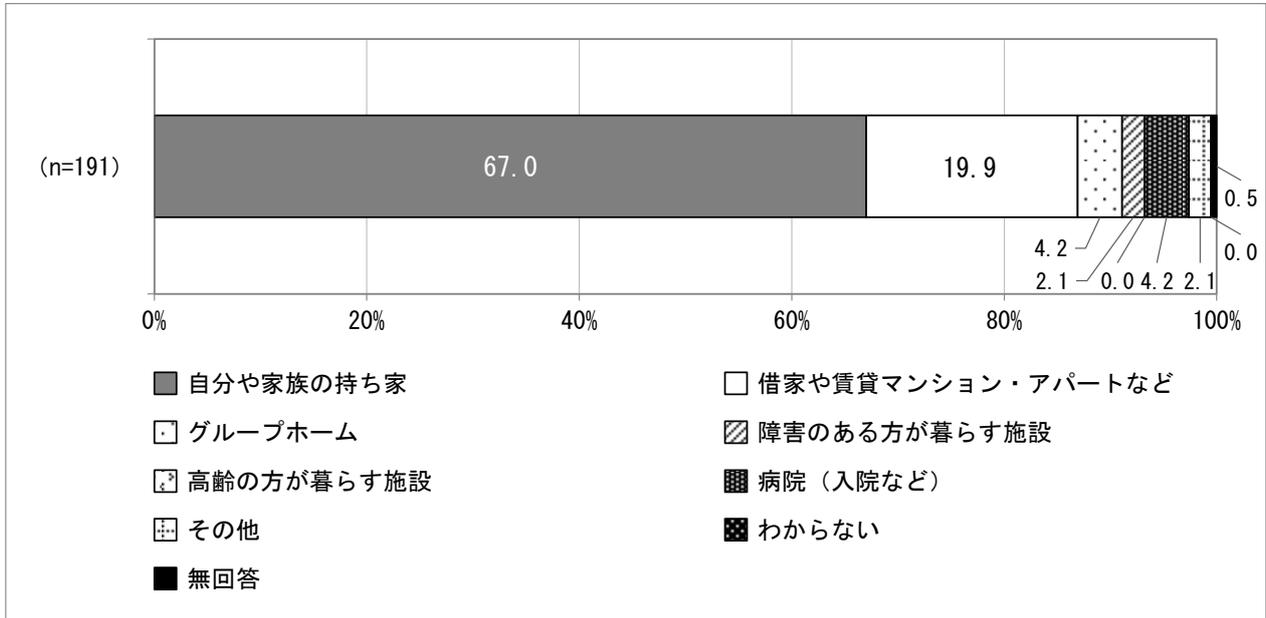
療育手帳の等級は、「A」(7.7%)、「B」(92.3%)となっている。

精神障害者保健福祉手帳の等級は、「2級」(67.3%)が最も高く、次いで「1級」(18.0%)、「3級」(12.0%)となっている。

## 2 住まいと暮らしについて

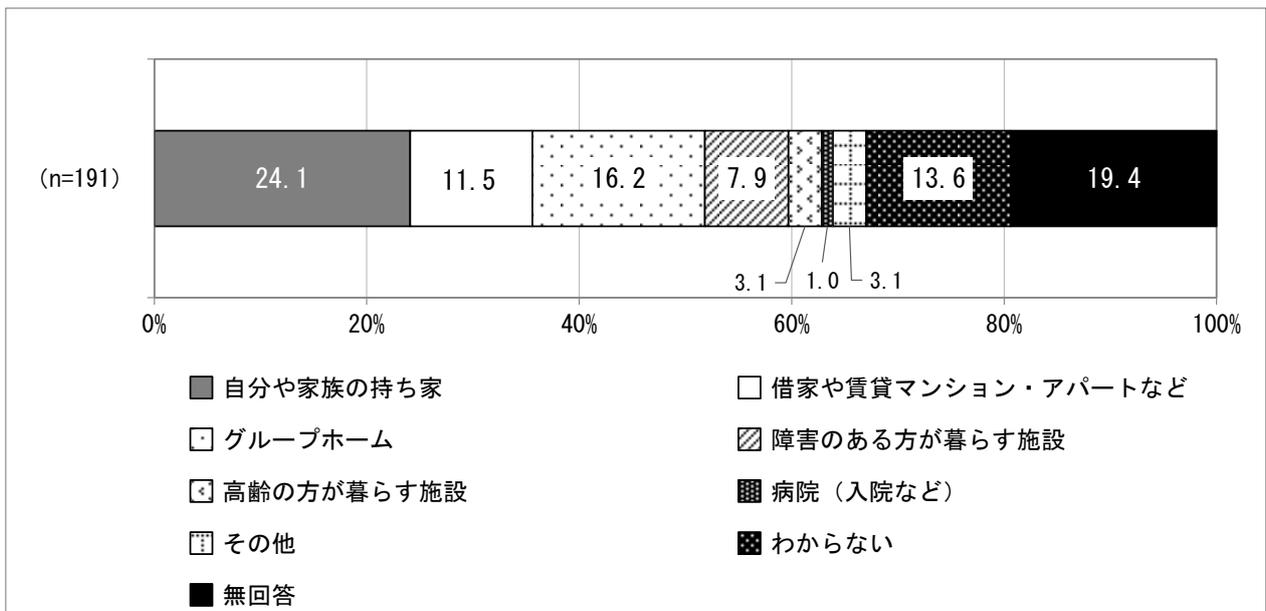
問6 お住まいについておたずねします。

(ア) 現在、ご本人はどこにお住まいですか。(SA)



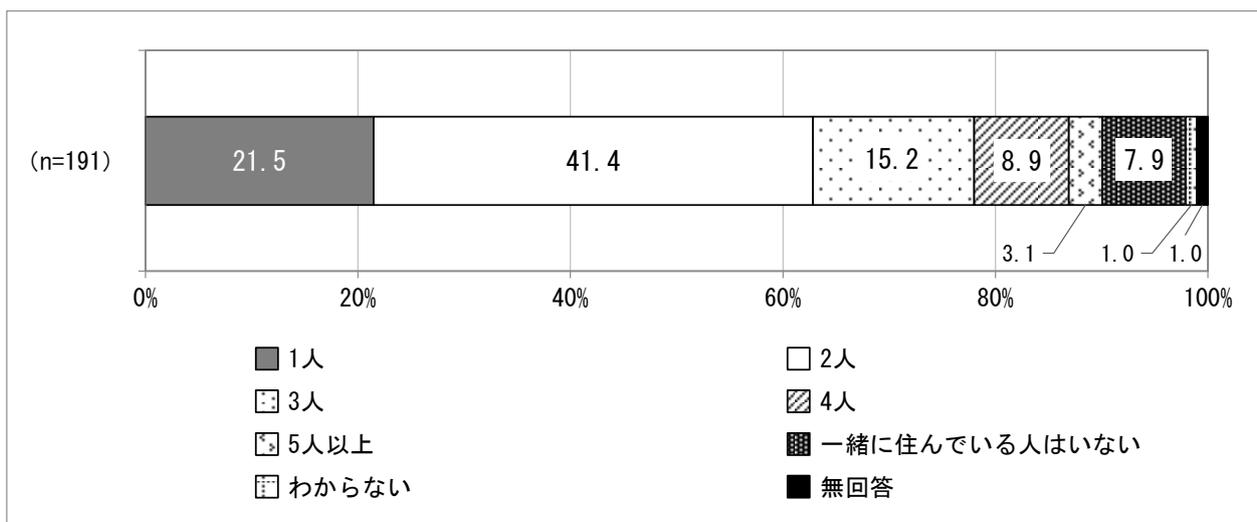
現在の住まいは、「自分や家族の持ち家」(67.0%)が最も高く、次いで「借家や賃貸マンション・アパートなど」(19.9%)、「グループホーム」と「病院(入院など)」がともに4.2%となっている。

(イ) 将来は、どこで暮らしてほしいと思っていますか。(SA)



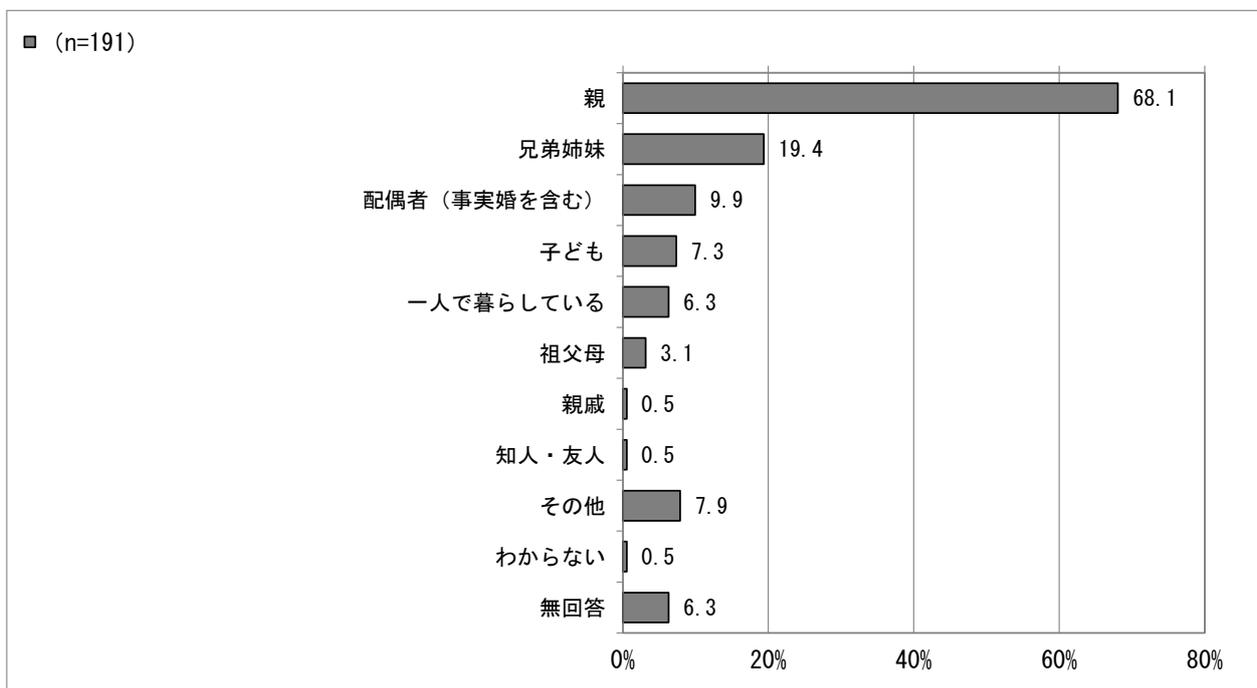
将来の希望する住まいは、「自分や家族の持ち家」(24.1%)が最も高く、次いで「グループホーム」(16.2%)、「わからない」(13.6%)となっている。

問7 ご本人と一緒に住んでいる人は何人いますか。(本人除く) (SA)



同居人数は、「2人」(41.4%)が最も高く、次いで「1人」(21.5%)、「3人」(15.2%)となっている。

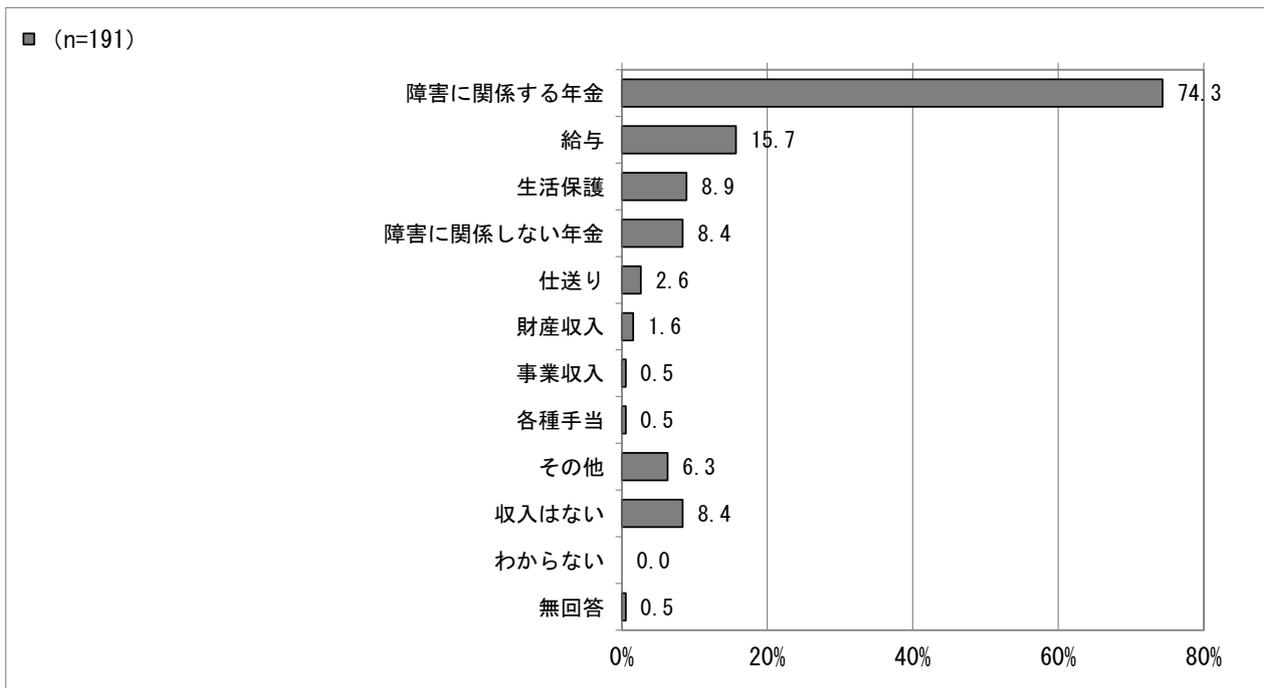
問8 ご本人と一緒に住んでいる人は誰ですか。(MA)



同居者は、「親」(68.1%)が最も高く、次いで「兄弟姉妹」(19.4%)、「配偶者(事実婚を含む)」(9.9%)となっている。

## 3 所得の状況について

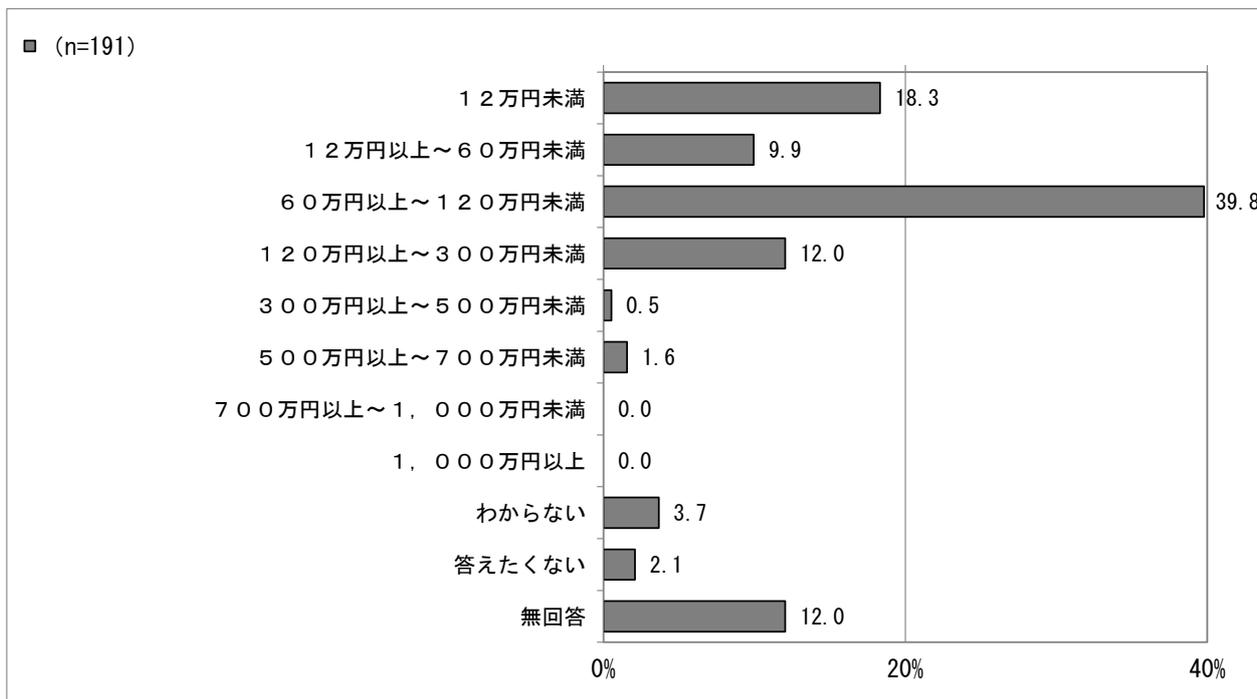
問9 ご本人が得ている収入は次のうちどれですか。(MA)



本人の収入は、「障害に関する年金」(74.3%)が最も高く、次いで「給与」(15.7%)、「生活保護」(8.9%)となっている。

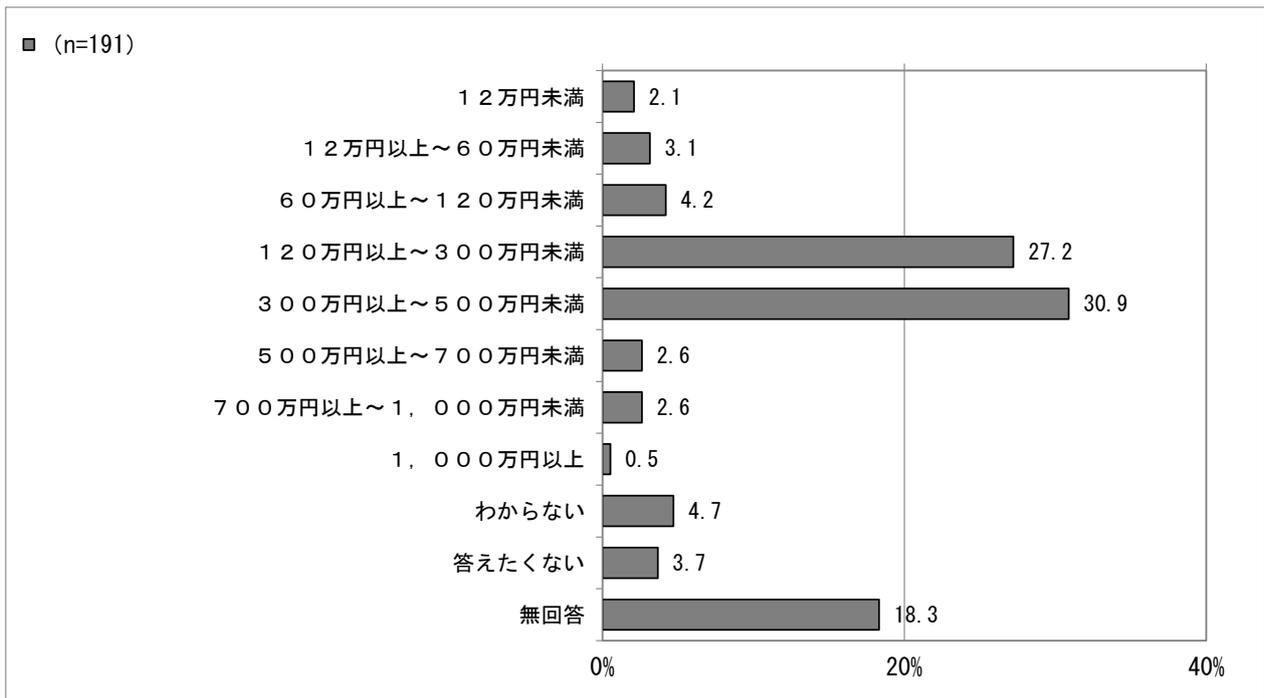
問 10 所得についておたずねします。

(ア) ご本人の年収（税込）はだいたいどのくらいですか。（SA）



本人の年収は、「60万円以上～120万円未満」(39.8%)が最も高く、次いで「12万円未満」(18.3%)、「120万円以上～300万円未満」(12.0%)となっている。

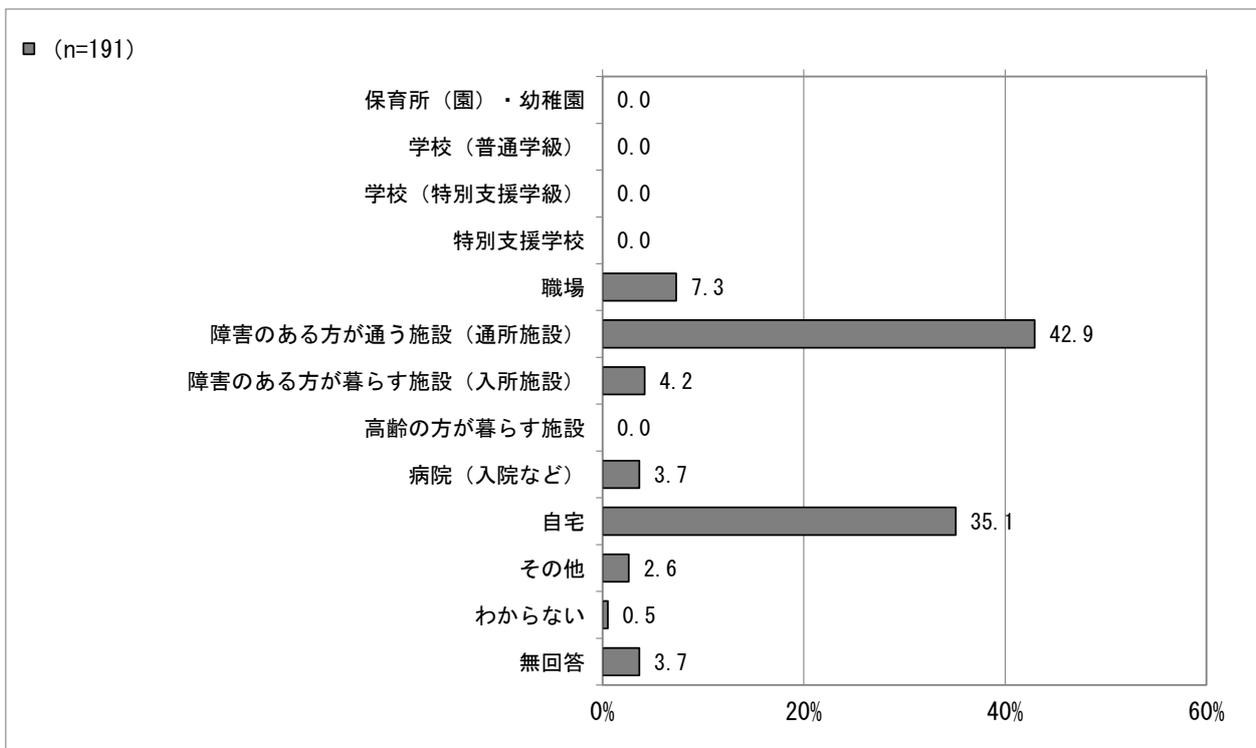
(イ) 一緒に暮らしている家族全体の年収(税込)はだいたいどのくらいですか。(本人の年収含む)(SA)



家族全体の年収は、「300万円以上～500万円未満」(30.9%)が最も高く、次いで「120万円以上～300万円未満」(27.2%)、「わからない」(4.7%)となっている。

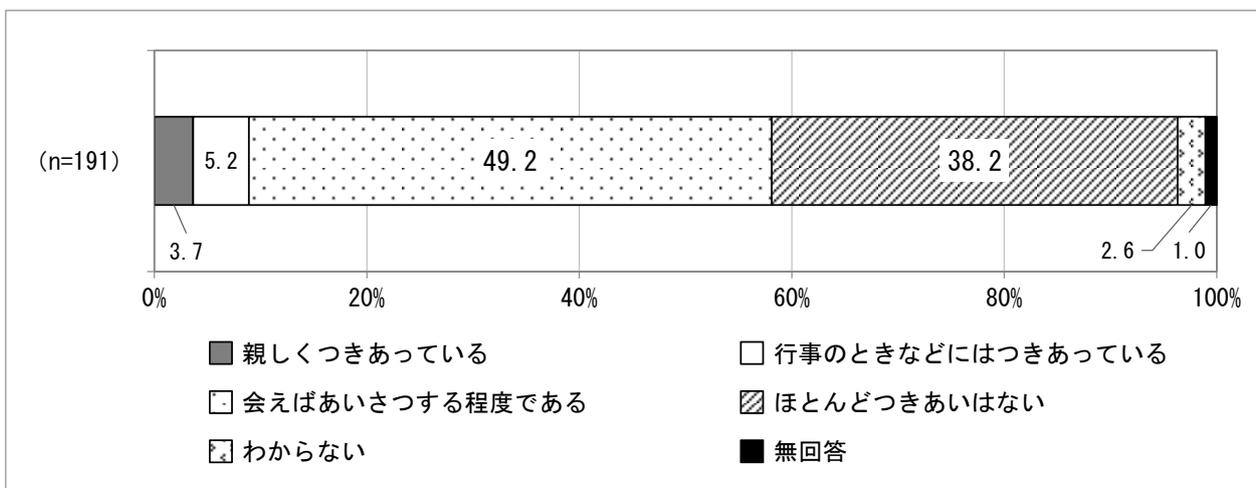
#### 4 日常生活について

問 11 平日の日中の過ごし方についておたずねします。ご本人が主に過ごしている場所はどこですか。(SA)



平日日中に主に過ごしている場所は、「障害のある方が通う施設 (通所施設)」(42.9%) が最も高く、次いで「自宅」(35.1%)、「職場」(7.3%) となっている。

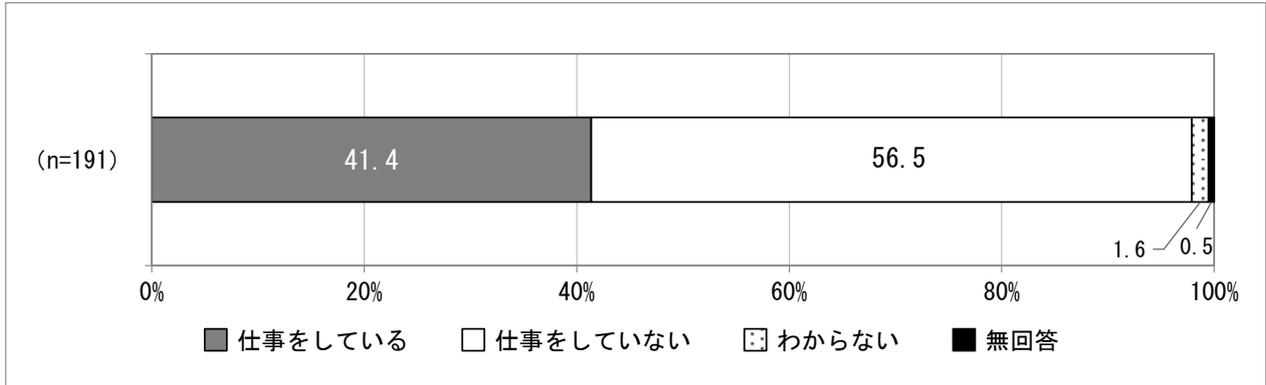
問 12 ご本人は隣近所の人とどのようにつきあっていますか。(SA)



隣近所とのつきあいは、「会えばあいさつする程度である」(49.2%) が最も高く、次いで「ほとんどつきあいはない」(38.2%)、「行事のときなどにはつきあっている」(5.2%) となっている。

## 5 就労の状況について

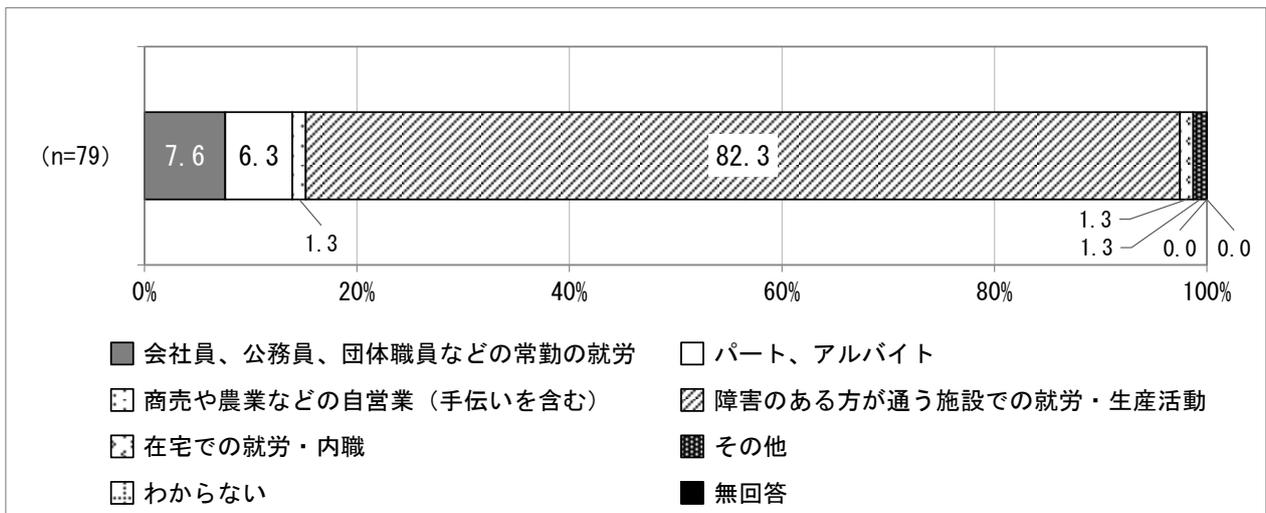
問13 現在、ご本人は仕事をしていますか。(SA)



現在、本人の仕事は、「仕事をしている」(41.4%)、「仕事をしていない」(56.5%)となっている。

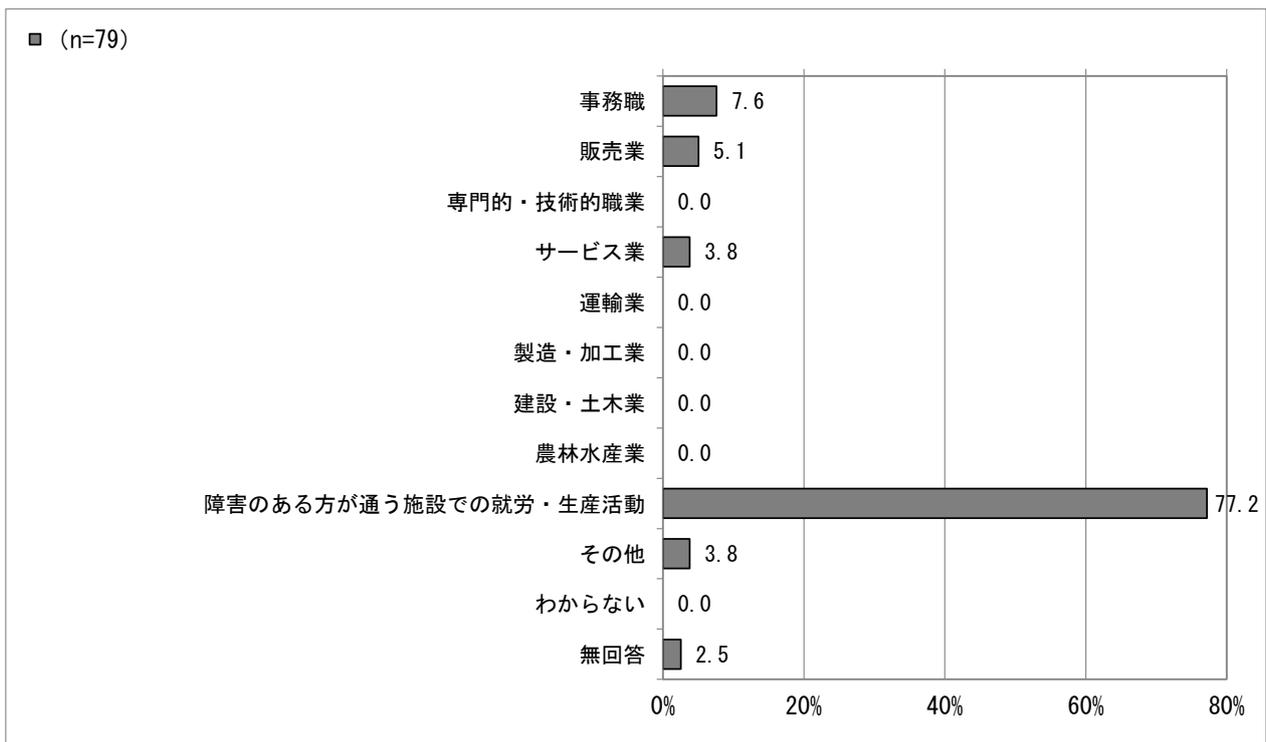
問14 問13で「仕事をしている」を選んだ方におたずねします。

(1) ご本人は主にどのような仕事に就いていますか。(SA)



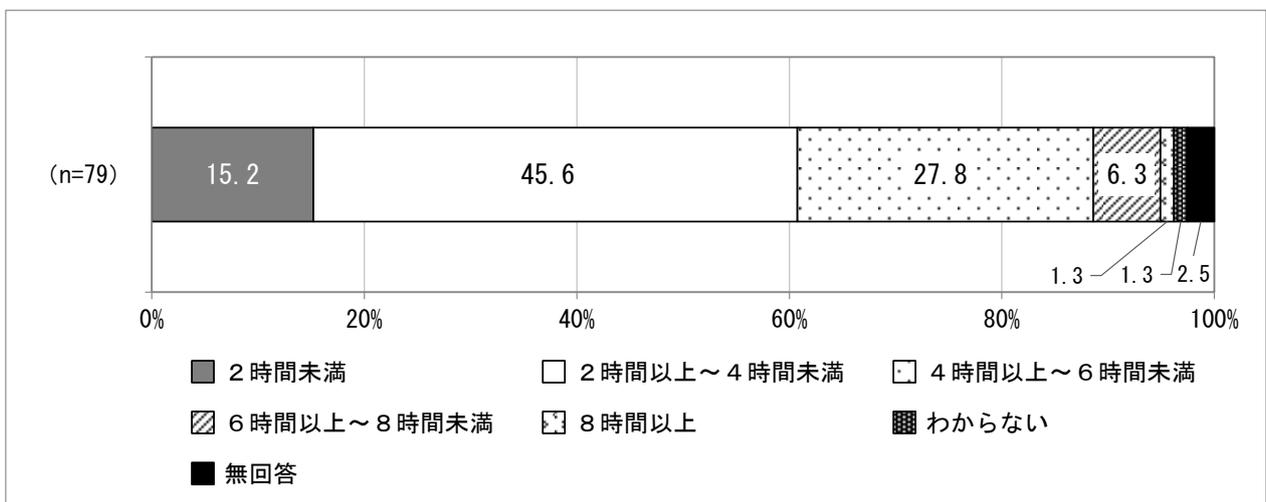
本人の仕事は、「障害のある方が通う施設での就労・生産活動」(82.3%)が最も高く、次いで「会社員、公務員、団体職員などの常勤の就労」(7.6%)、「パート、アルバイト」(6.3%)となっている。

(2) ご本人は主にどのような内容の仕事をしていますか。(SA)



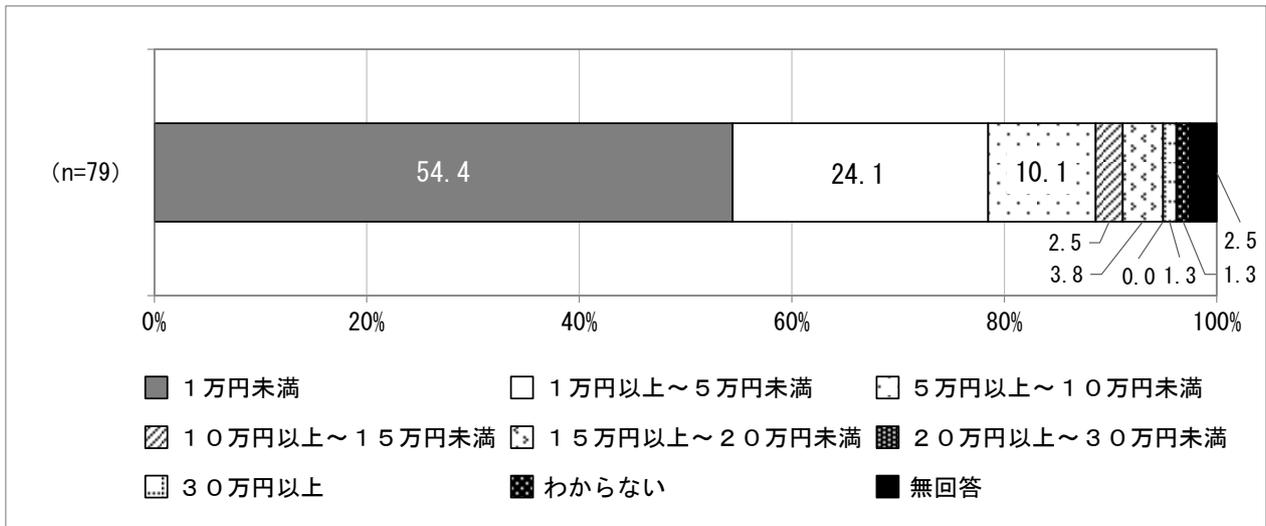
本人の仕事の内容は、「障害のある方が通う施設での就労・生産活動」(77.2%)が最も高く、次いで「事務職」(7.6%)、「販売業」(5.1%)となっている。

(3) ご本人の1日あたりの仕事の時間はどのくらいですか。(SA)



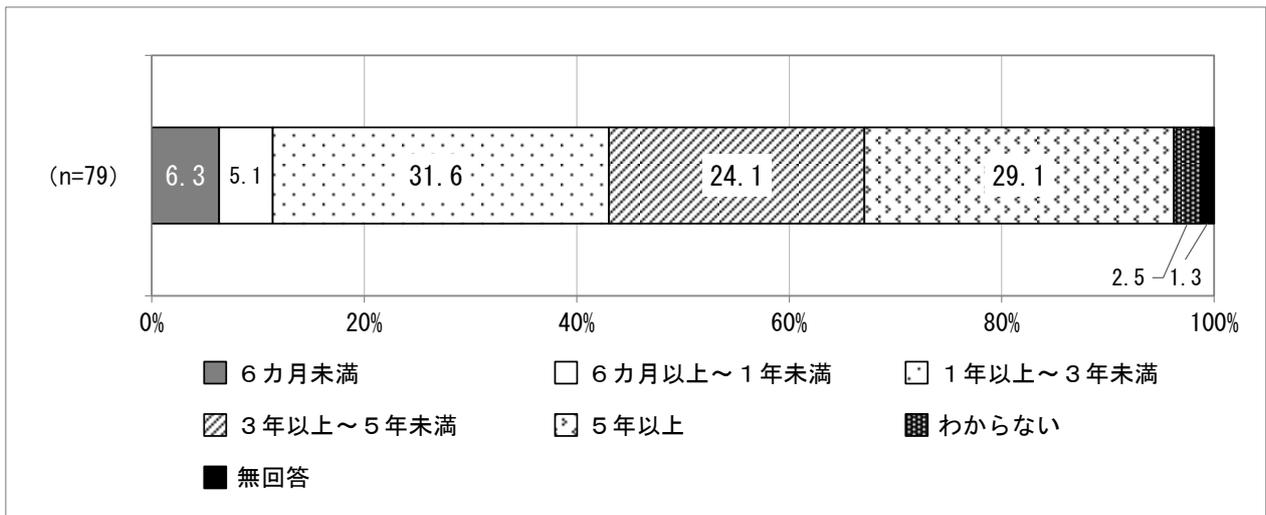
本人の1日あたりの仕事の時間は、「2時間以上～4時間未満」(45.6%)が最も高く、次いで「4時間以上～6時間未満」(27.8%)、「2時間未満」(15.2%)となっている。

(4) ご本人の仕事による収入は月額どのくらいですか。(SA)



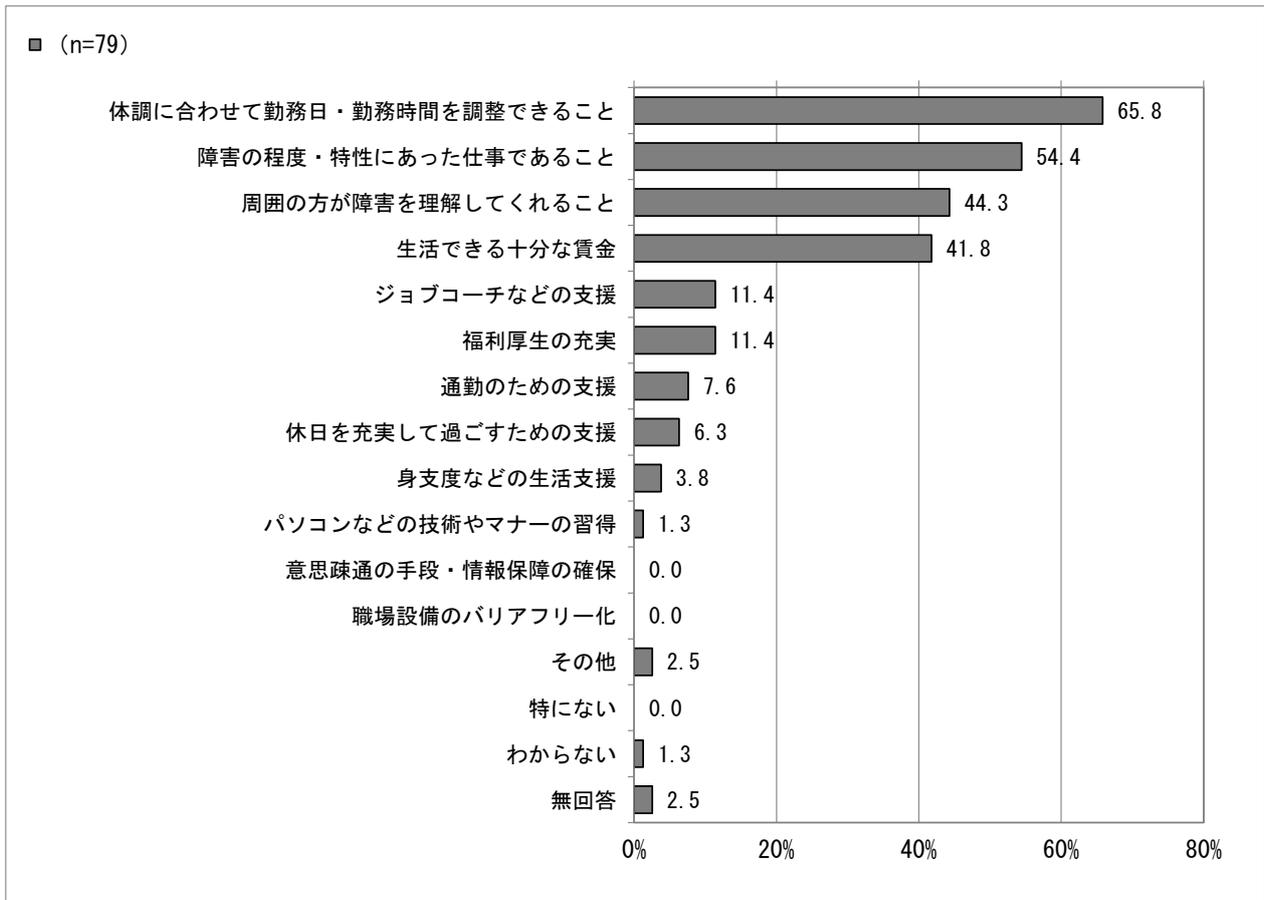
本人の仕事による月収は、「1万円未満」(54.4%)が最も高く、次いで「1万円以上～5万円未満」(24.1%)、「5万円以上～10万円未満」(10.1%)となっている。

(5) ご本人は現在の仕事をどのくらいの期間続けていますか。(SA)



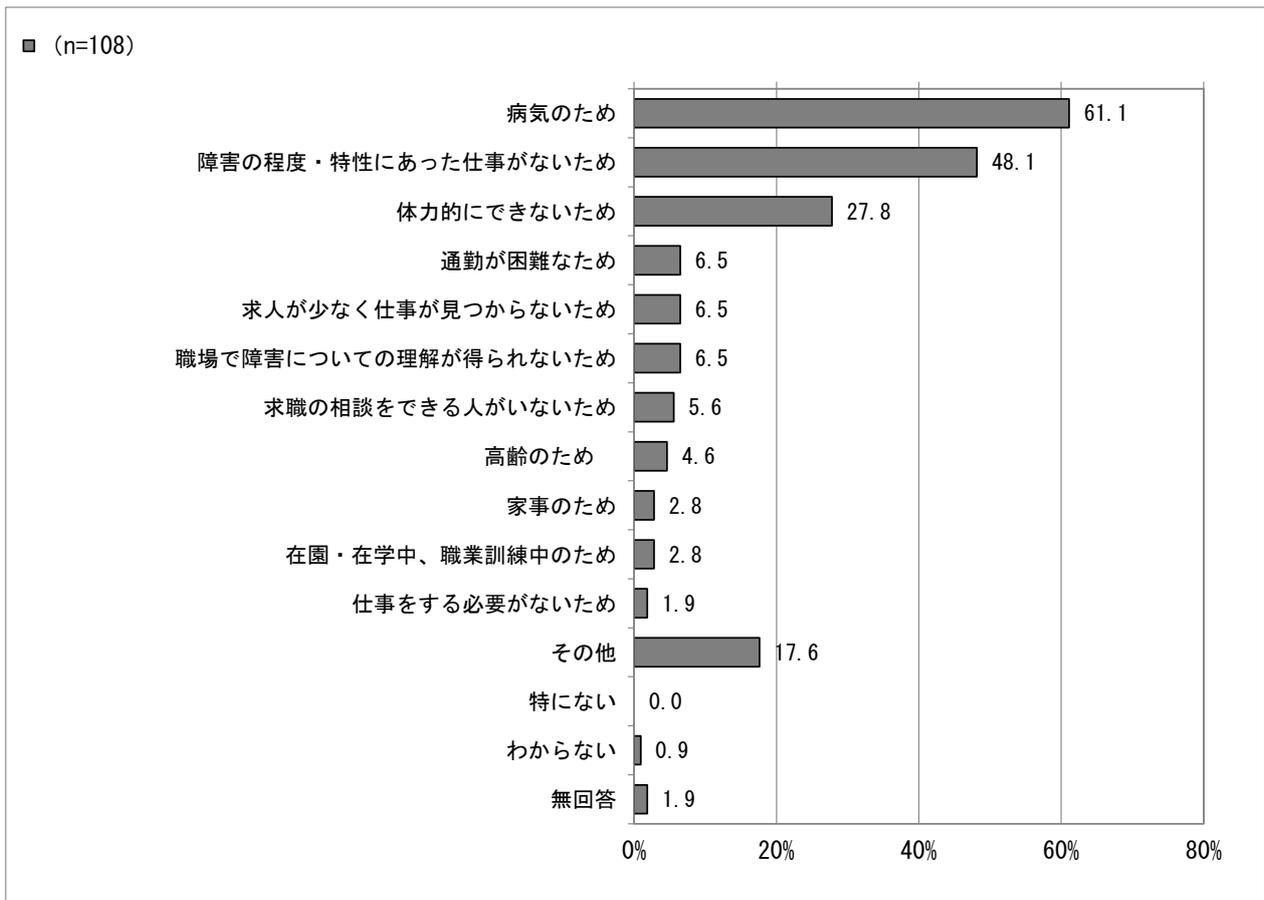
仕事を続けている期間は、「1年以上～3年未満」(31.6%)が最も高く、次いで「5年以上」(29.1%)、「3年以上～5年未満」(24.1%)となっている。

(6) ご本人が仕事を続けるためには何が必要ですか。(MA)



仕事を続けるために必要なのは、「体調に合わせて勤務日・勤務時間を調整できること」(65.8%)が最も高く、次いで「障害の程度・特性にあった仕事であること」(54.4%)、「周囲の方が障害を理解してくれること」(44.3%)となっている。

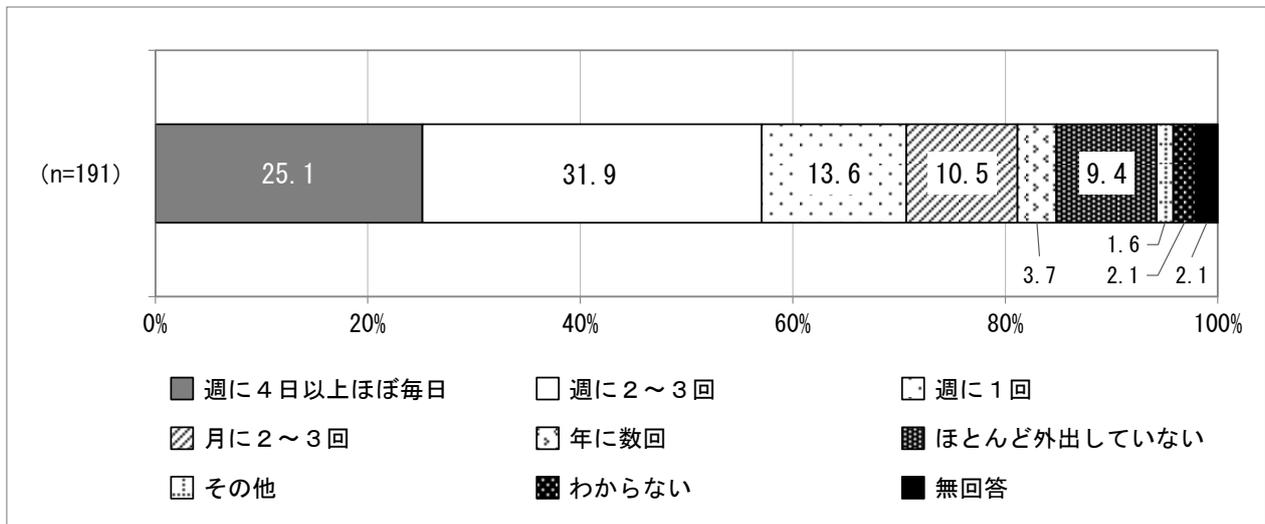
問15 問13で「仕事をしていない」を選んだ方におたずねします。現在、ご本人が仕事を  
していない理由は何ですか (MA)



現在仕事をしていない理由は、「病気のため」(61.1%)が最も高く、次いで「障害の程度・特性にあった仕事がないため」(48.1%)、「体力的にできないため」(27.8%)となっている。

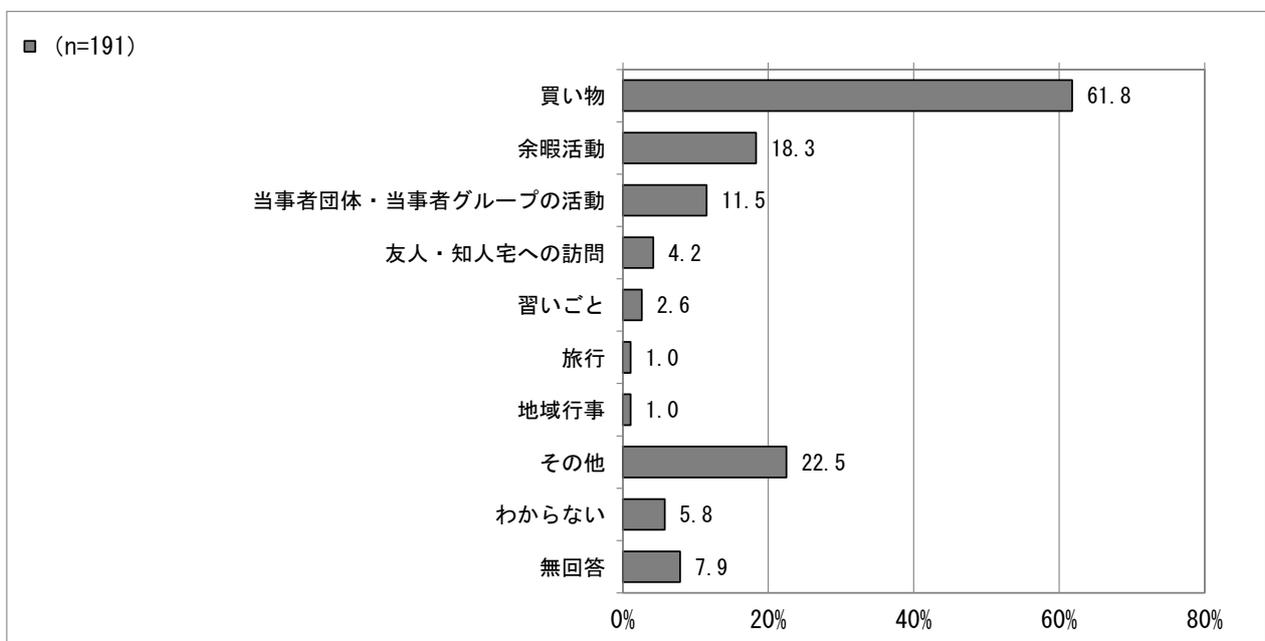
## 6 社会参加について

問 16 ご本人はどのくらいの頻度で外出していますか。(通勤、通学、通園、通院、通所での外出は除く) (SA)



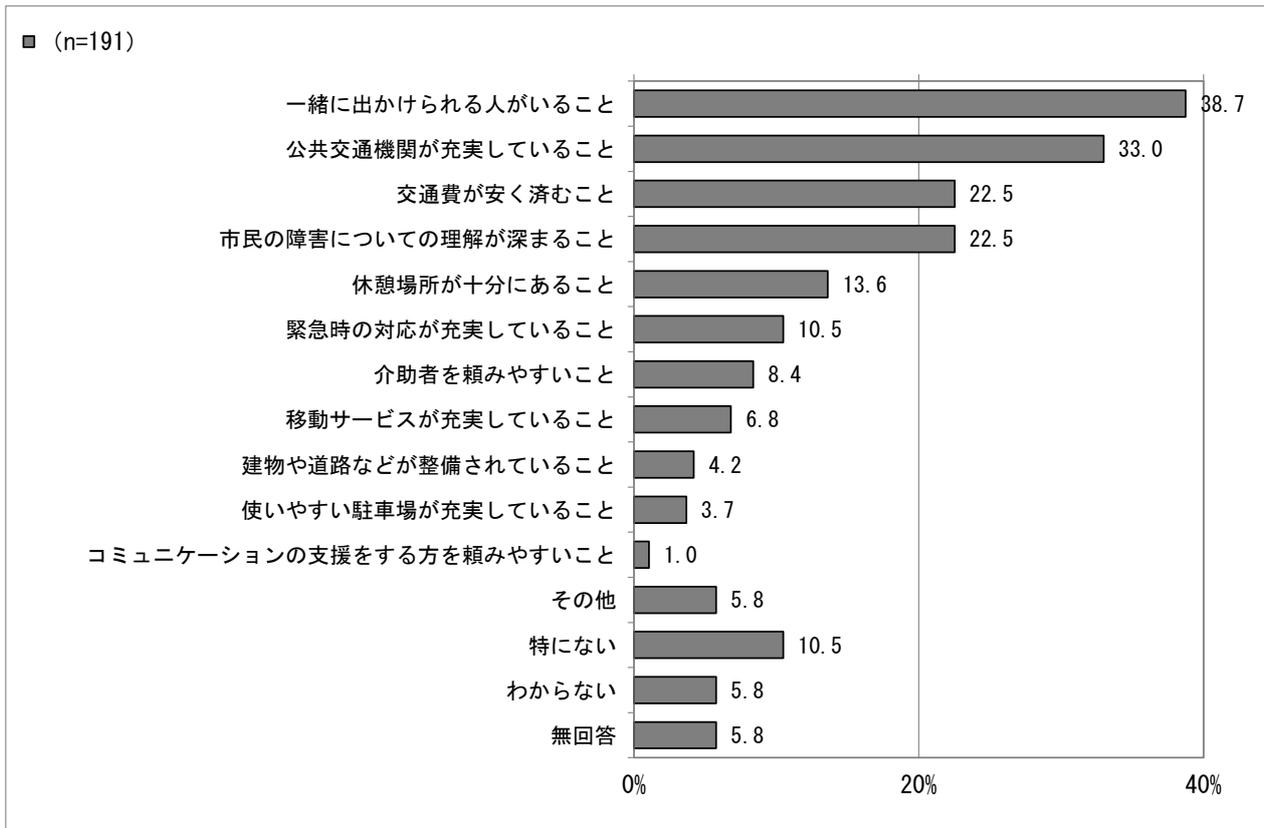
外出の頻度は、「週に2~3回」(31.9%)が最も高く、次いで「週に4日以上ほぼ毎日」(25.1%)、「週に1回」(13.6%)となっている。

問 17 ご本人の主な外出の目的は何ですか。(通勤、通学、通園、通院、通所での外出は除く) (MA)



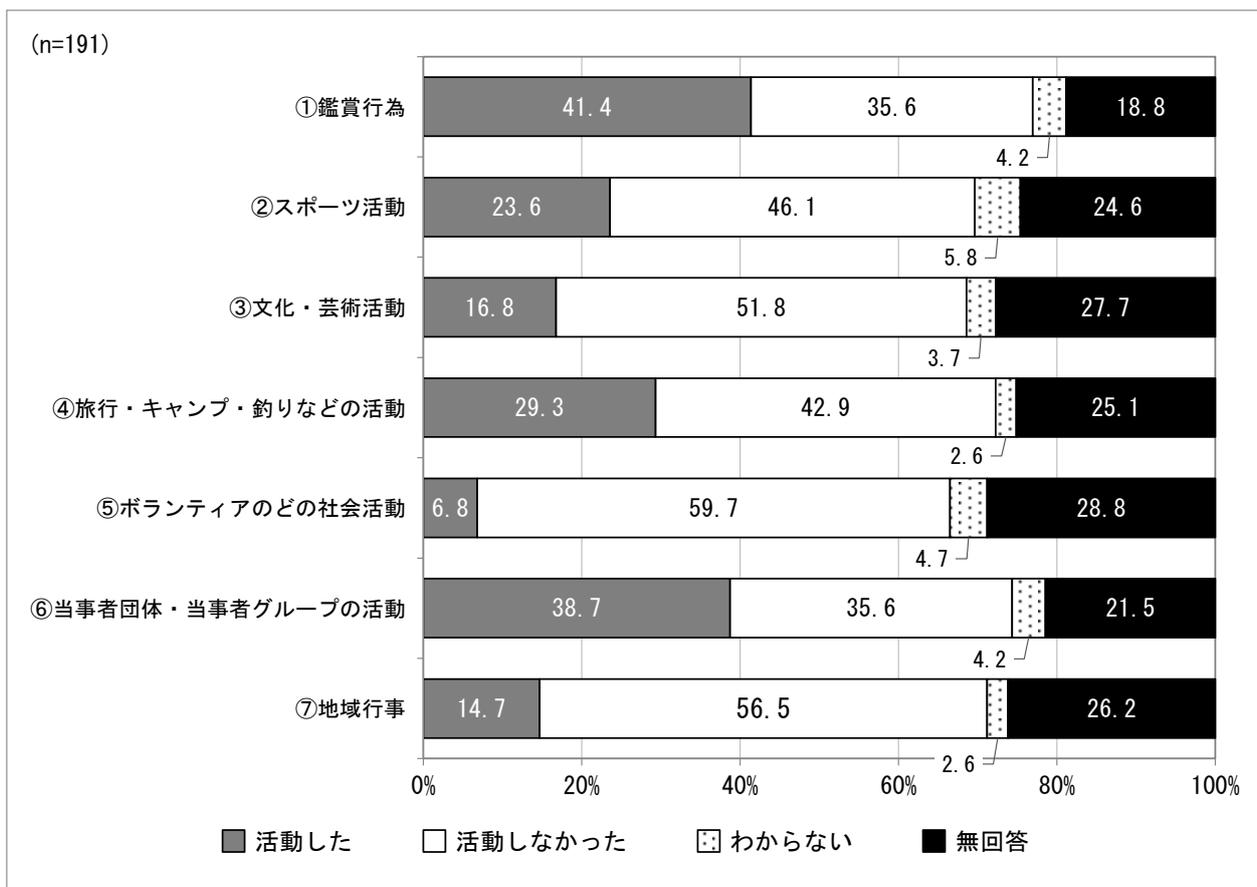
外出の主な目的は、「買い物」(61.8%)が最も高く、次いで「その他」(22.5%)、「余暇活動」(18.3%)となっている。

## 問18 ご本人がより外出しやすくなるためには何が必要ですか。(MA)



本人がより外出しやすくなるためには、「一緒に出かけられる人がいること」(38.7%)が最も高く、次いで「公共交通機関が充実していること」(33.0%)、「交通費が安く済むこと」と「市民の障害についての理解が深まること」がともに22.5%となっている。

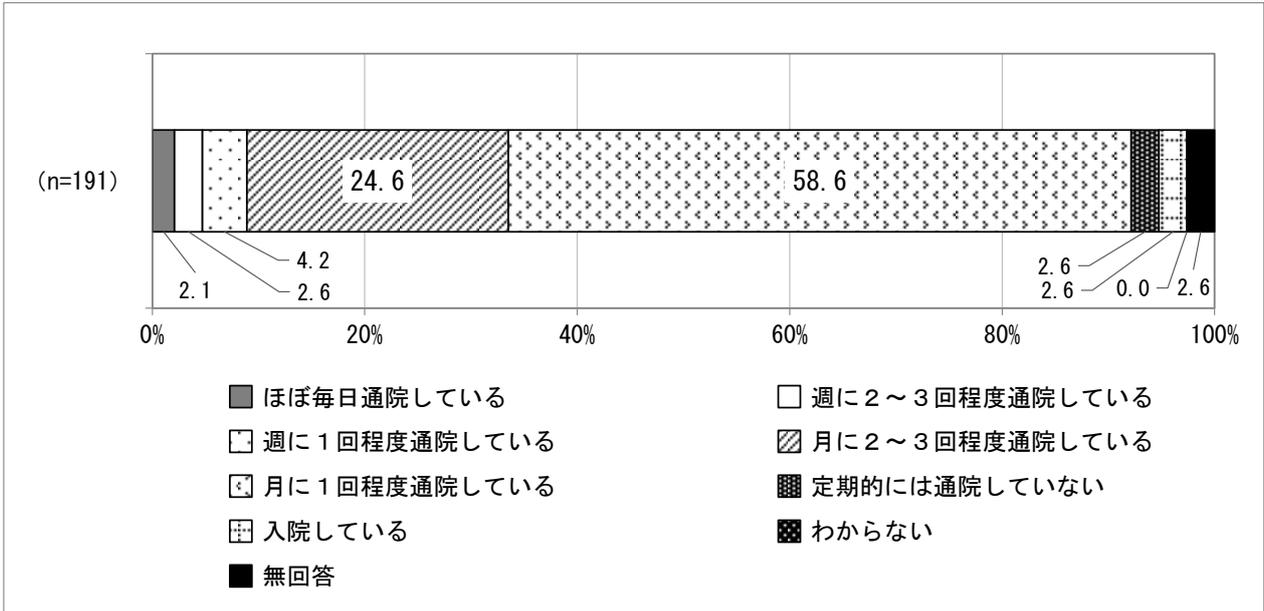
問 19 ご本人は過去一年間に、どのような余暇活動、スポーツ、趣味、学習や社会活動などをしましたか。(SA)



過去一年間に「活動した」割合は、「①鑑賞行為」(41.4%)が最も高く、次いで「⑥当事者団体・当事者グループの活動」(38.7%)、「④旅行・キャンプ・釣りなどの活動」(29.3%)となっている。

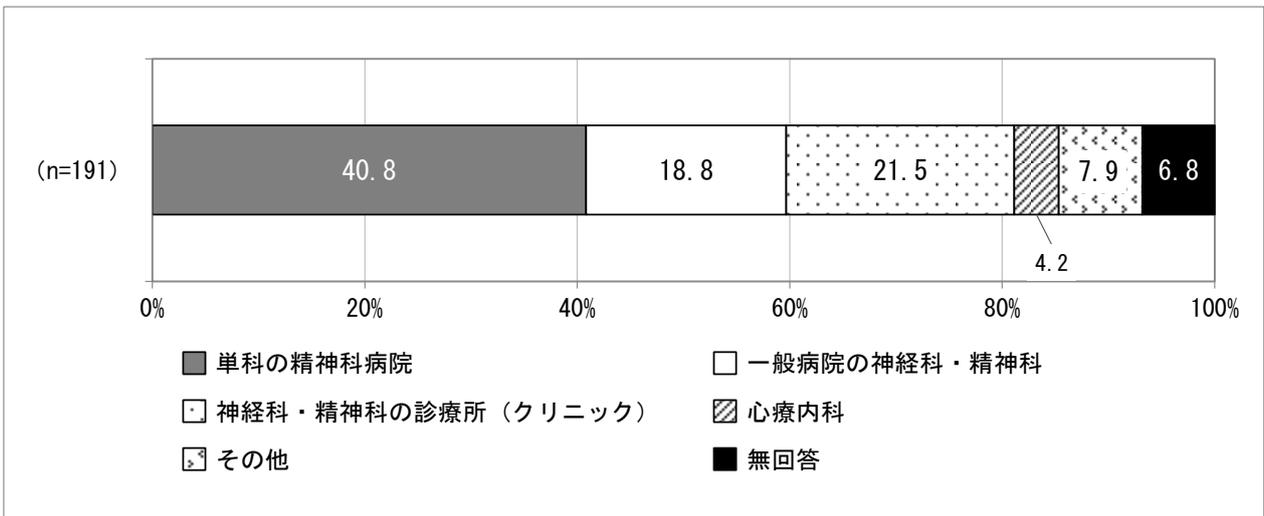
7 健康や医療について

問 20 ご本人は普段、定期的に通院していますか。(SA)



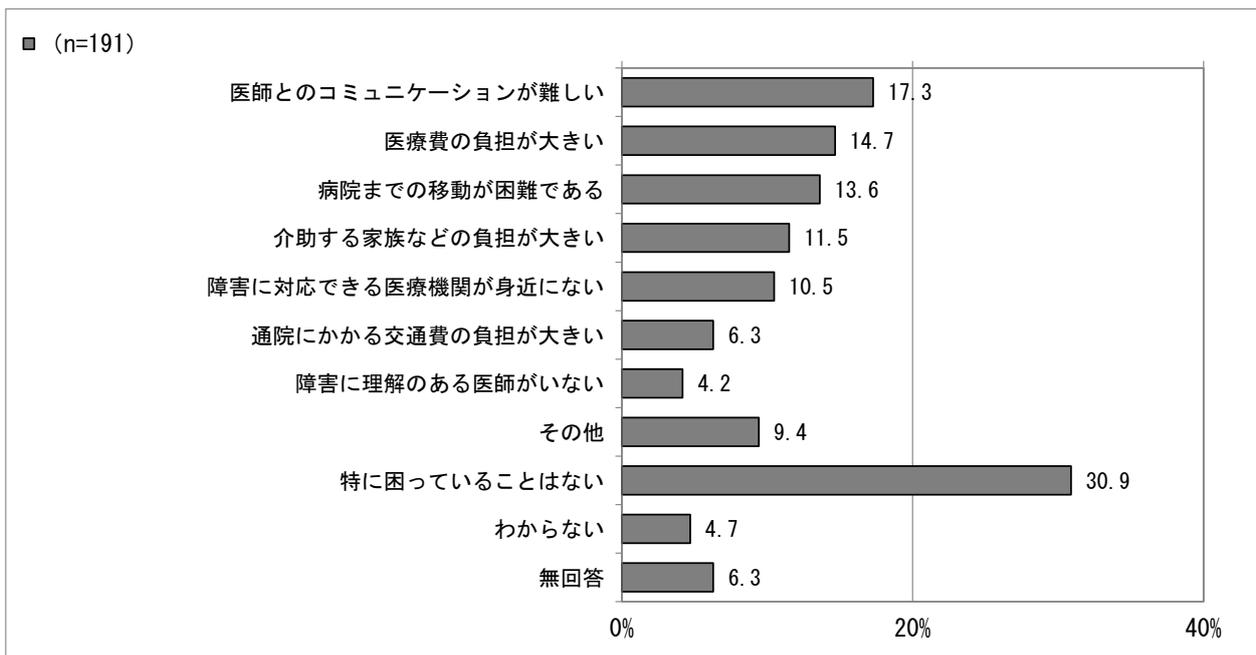
定期的な通院は、「月に1回程度通院している」(58.6%)が最も高く、次いで「月に2~3回程度通院している」(24.6%)、「週に1回程度通院している」(4.2%)となっている。

問 21 現在通院している方におたずねします。ご本人がかかっている医療機関は次のうちどれですか。(SA)



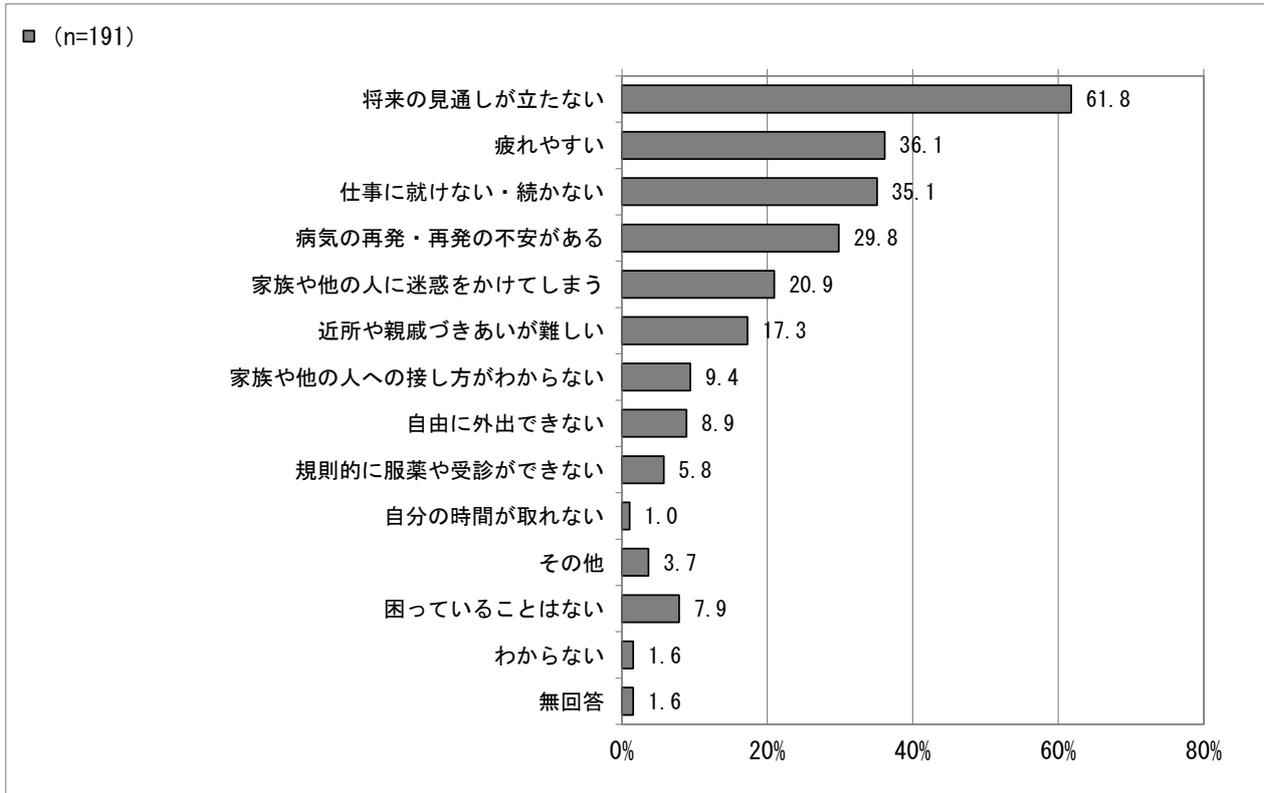
現在通院している医療機関は、「単科の精神科病院」(40.8%)が最も高く、次いで「神経科・精神科の診療所(クリニック)」(21.5%)、「一般病院の神経科・精神科」(18.8%)となっている。

問 22 ご本人が医療機関を利用する際に困っていることは何ですか。(MA)



医療機関を利用する際に困っていることは、「特に困っていることはない」(30.9%)が最も高く、次いで「医師とのコミュニケーションが難しい」(17.3%)、「医療費の負担が大きい」(14.7%)となっている。

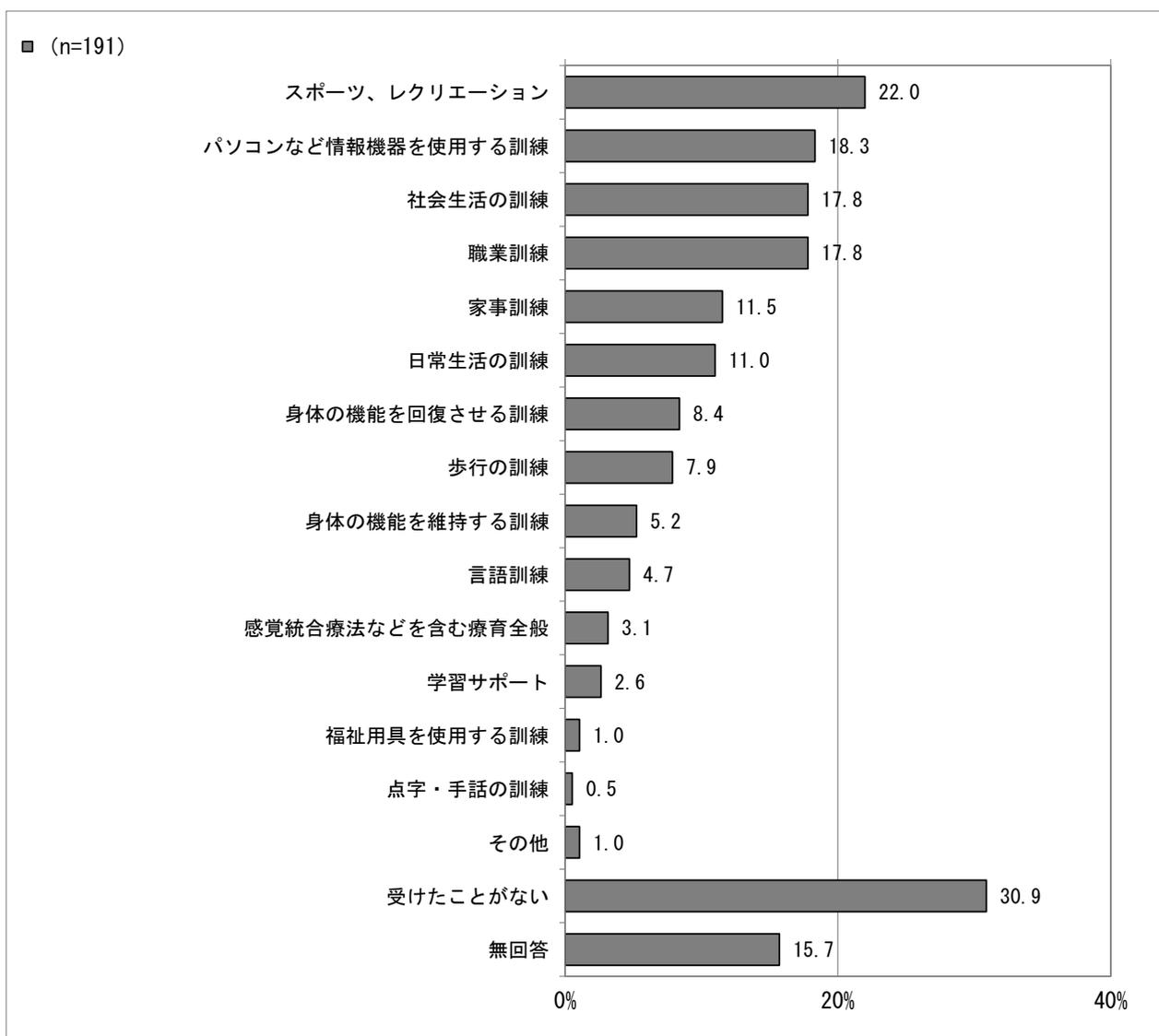
## 問 23 ご本人は、診療以外で精神疾患のことで困っていることがありますか。(MA)



本人が診療以外で精神疾患のことで困っていることは、「将来の見通しが立たない」(61.8%)が最も高く、次いで「疲れやすい」(36.1%)、「仕事に就けない・続かない」(35.1%)となっている。

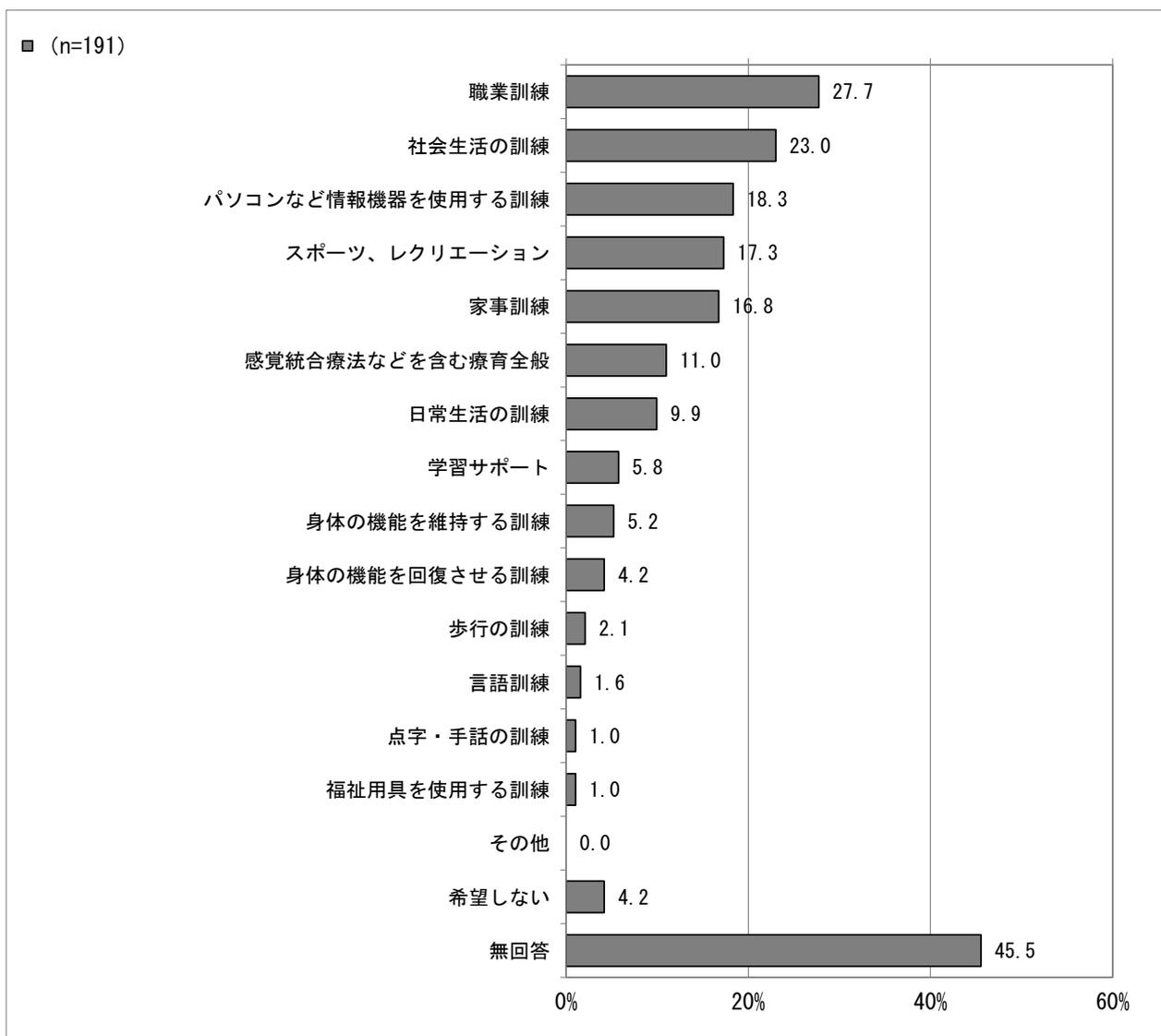
問 24 訓練などについておたずねします。

(ア) ご本人は、どのような訓練・リハビリテーション・療育を受けたことがありますか。  
(MA)



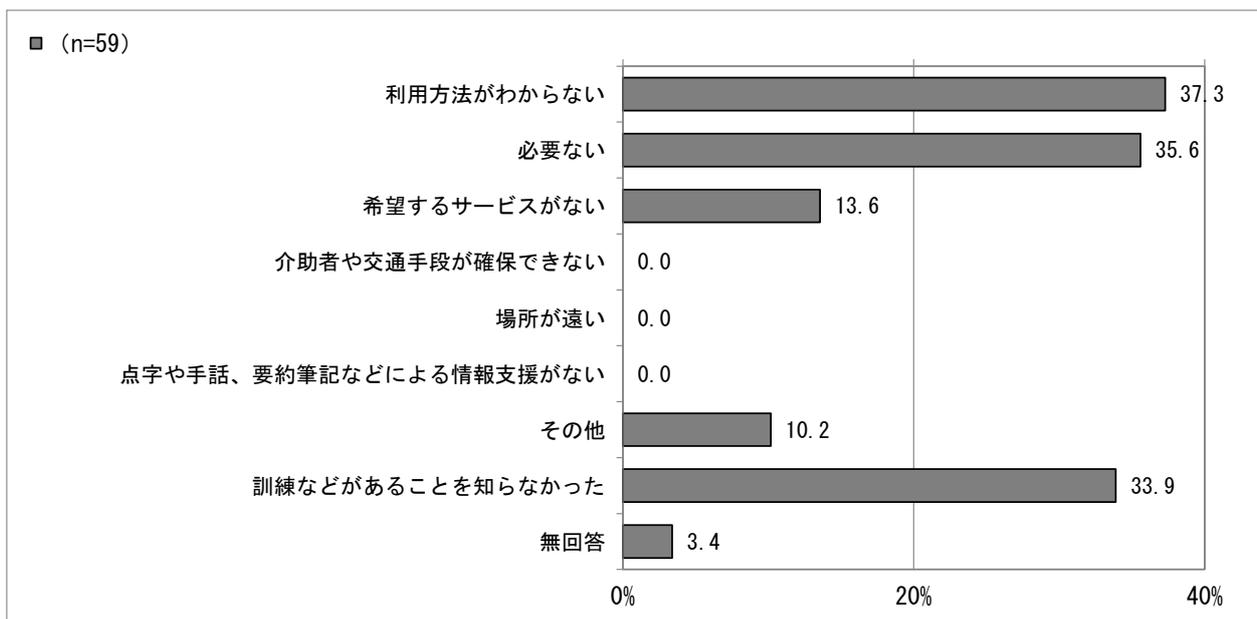
受けたことのある訓練・リハビリテーション・療育は、「受けたことがない」(30.9%)が最も高く、次いで「スポーツ、レクリエーション」(22.0%)、「パソコンなど情報機器を使用する訓練」(18.3%)となっている。

## (イ) 今後どのような訓練・リハビリテーション・療育を受けてほしいと思いますか。(MA)



今後受けてほしいと思う訓練・リハビリテーション・療育は、「職業訓練」(27.7%)が最も高く、次いで「社会生活の訓練」(23.0%)、「パソコンなど情報機器を使用する訓練」(18.3%)となっている。

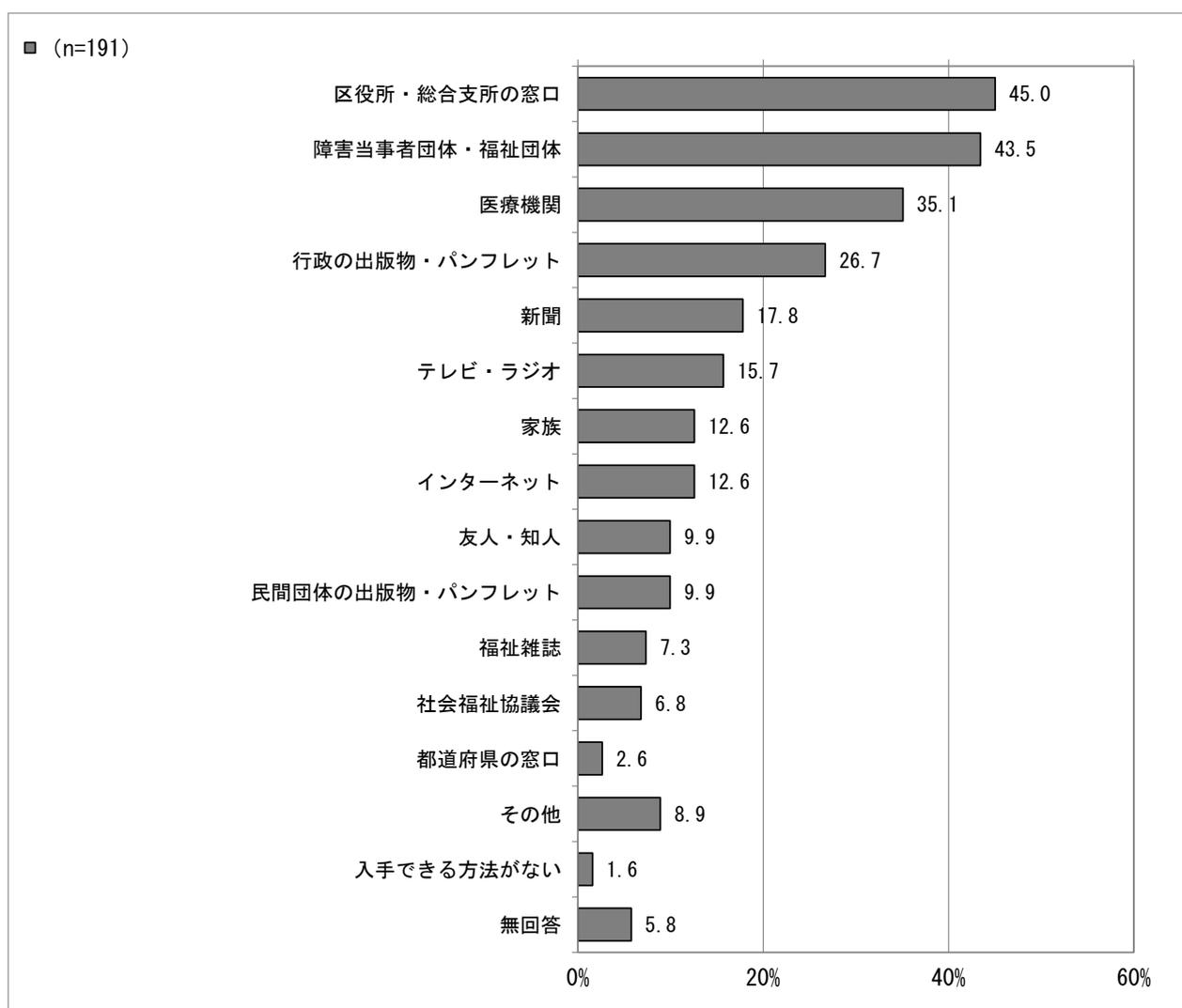
問 25 問 24 で「受けたことがない」を選んだ方におたずねします。受けたことがない理由は何ですか。(MA)



受けたことがない理由は、「利用方法がわからない」(37.3%)が最も高く、次いで「必要ない」(35.6%)、「訓練などがあることを知らなかった」(33.9%)となっている。

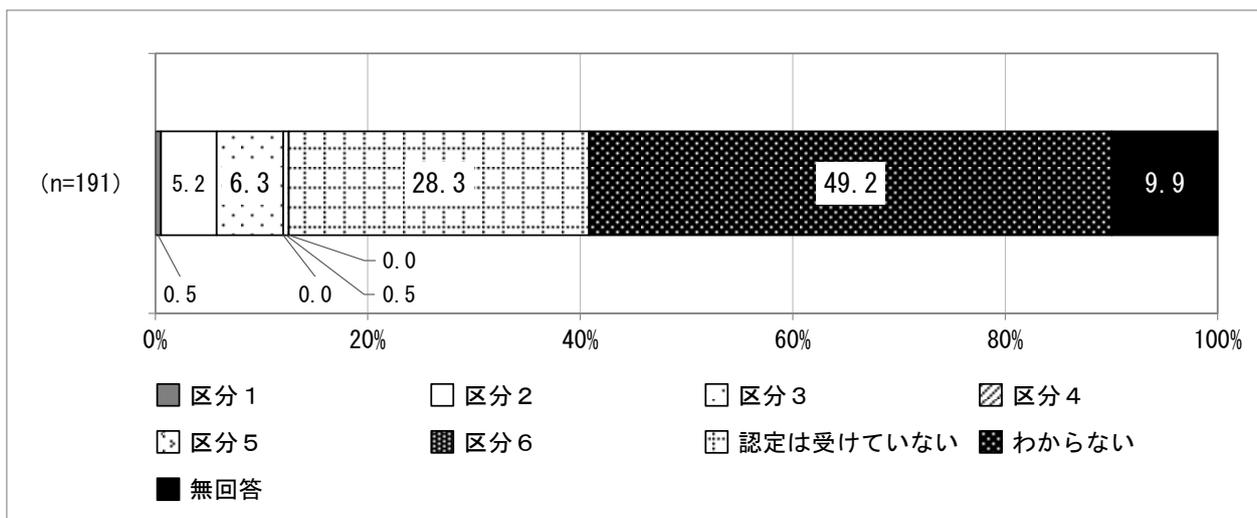
## 8 福祉サービスについて

問 26 あなた（このアンケートを記入している方）はどのようなところから福祉サービスの情報を得ていますか。（MA）



福祉サービス情報の入手先は、「区役所・総合支所の窓口」（45.0%）が最も高く、次いで「障害当事者団体・福祉団体」（43.5%）、「医療機関」（35.1%）となっている。

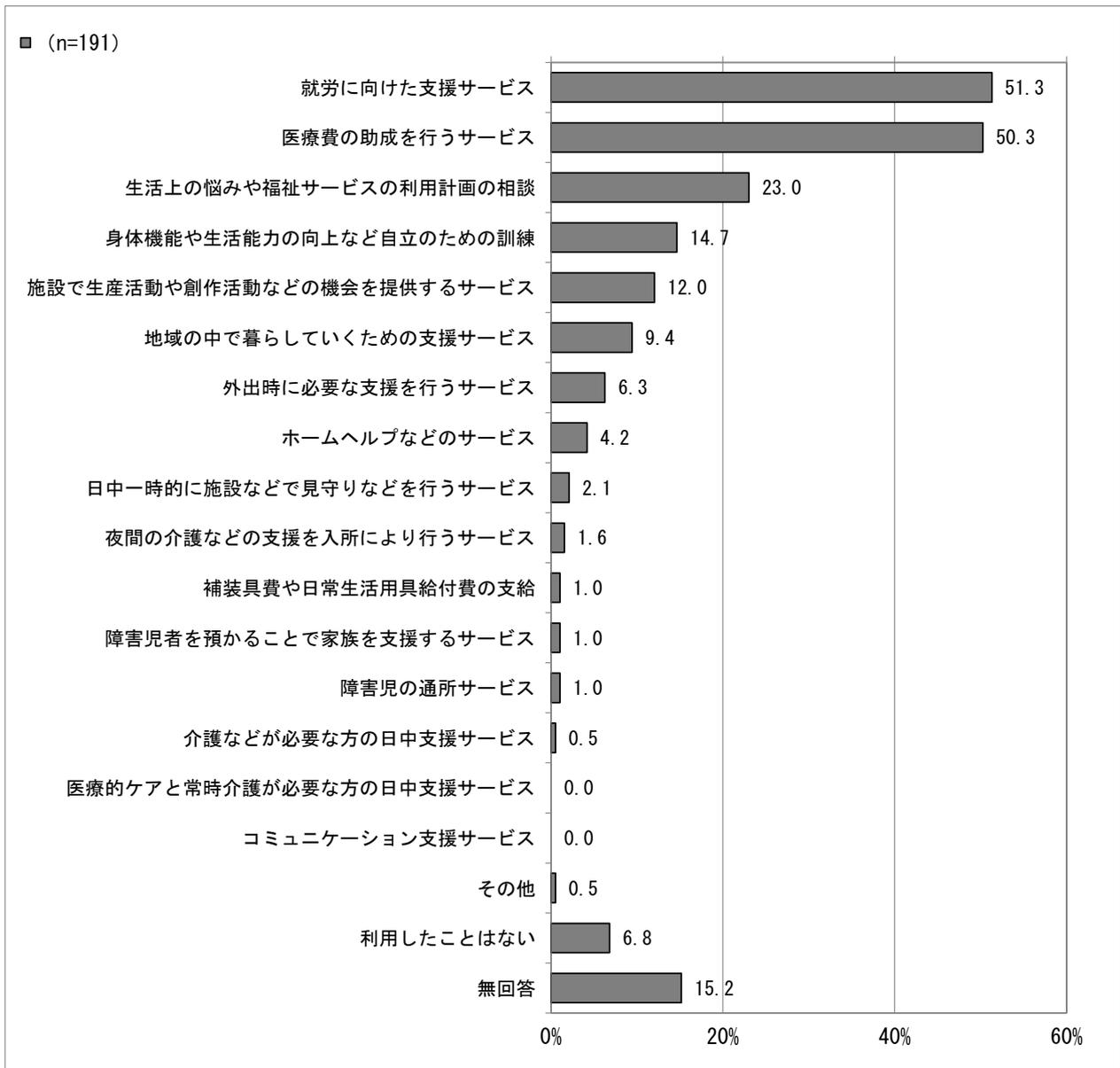
問 27 ご本人は「障害のある方の福祉サービス」を利用するための、障害支援区分認定を受けていますか。(SA)



障害支援区分認定は、「わからない」(49.2%)が最も高く、次いで「認定は受けていない」(28.3%)、「区分3」(6.3%)となっている。

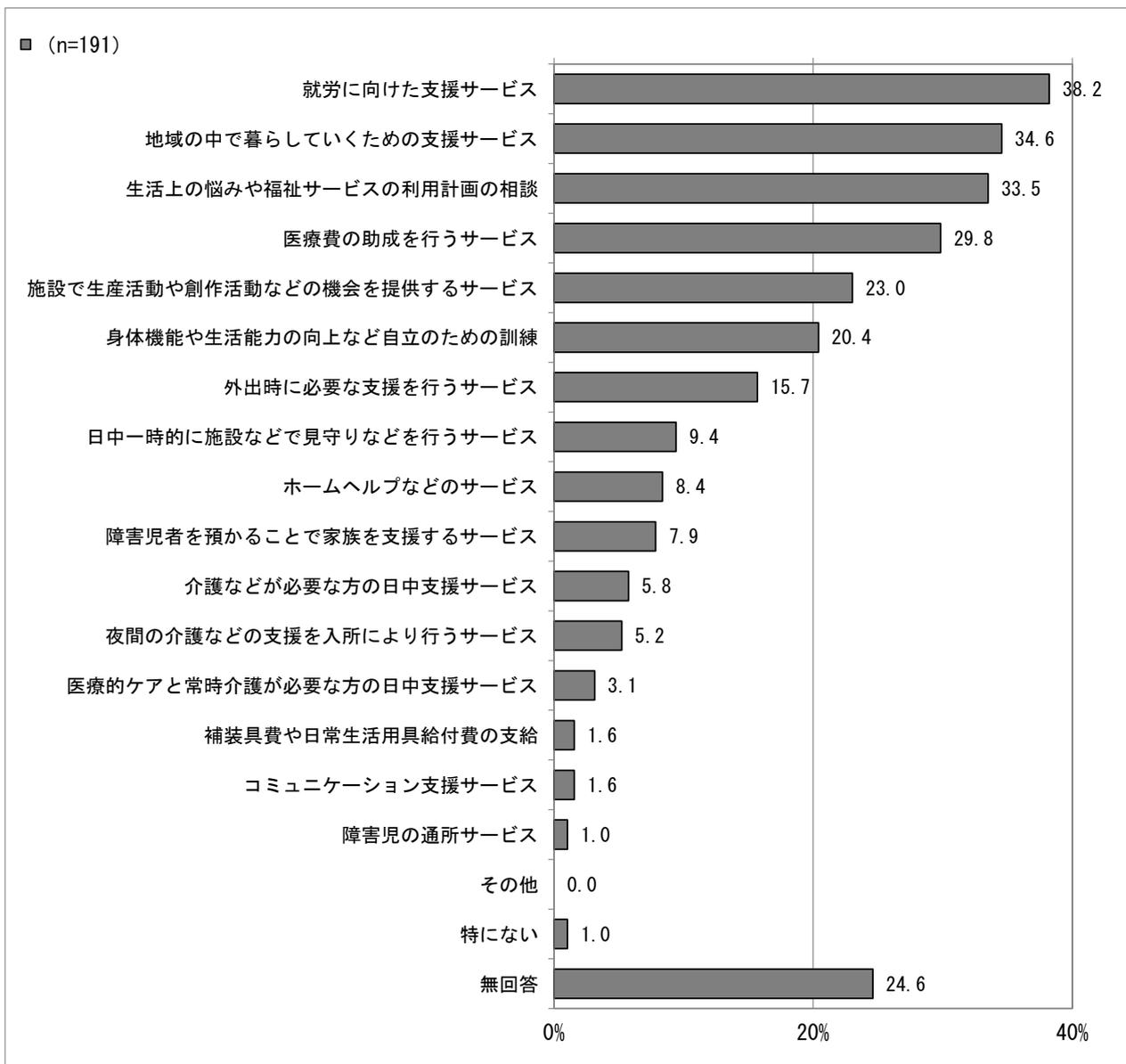
問28 「障害のある方の福祉サービス」についておたずねします。

(ア) ご本人はこれまでにどのようなサービスを利用したことがありますか。(MA)



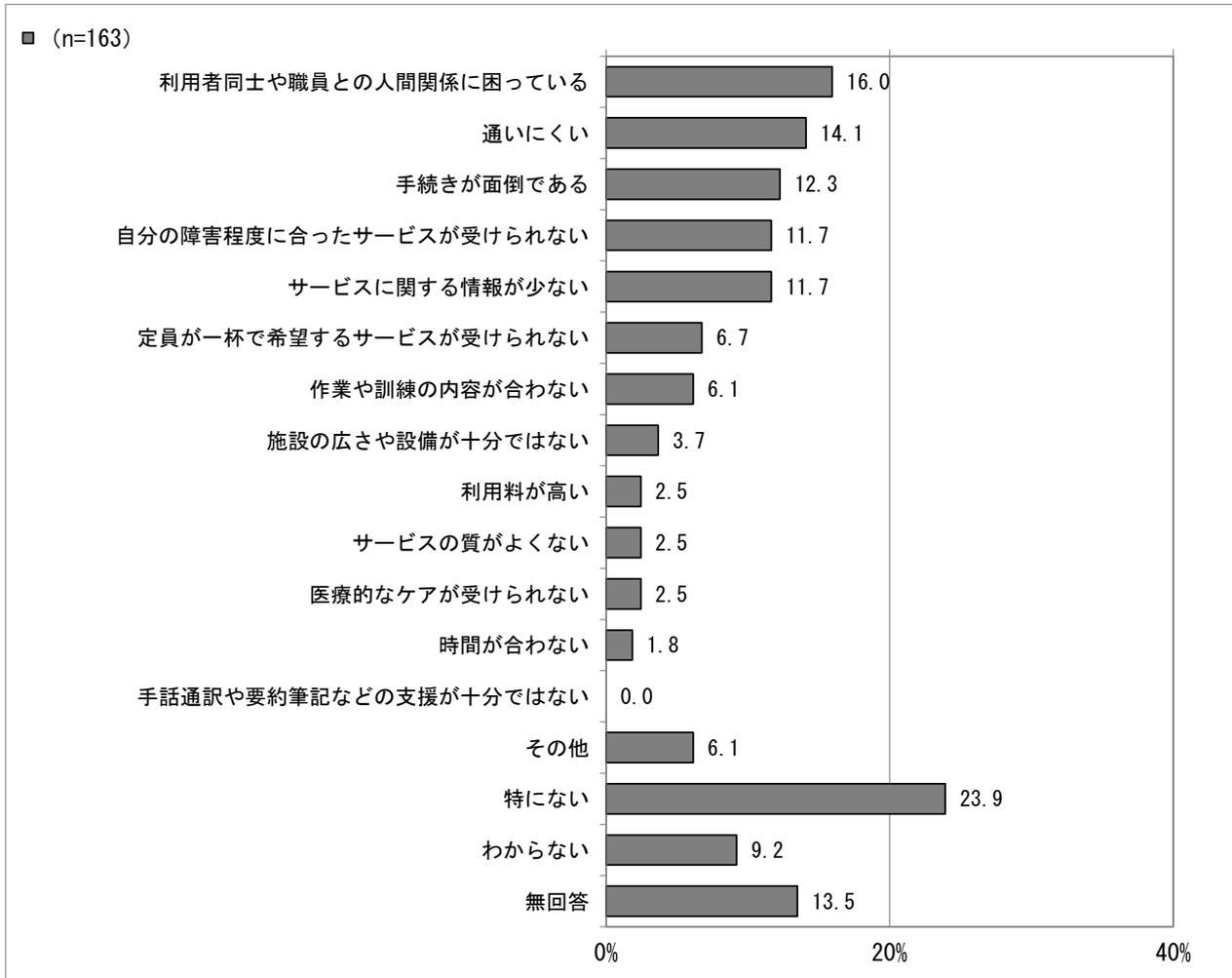
これまでに利用したことのあるサービスは、「就労に向けた支援サービス」(51.3%)が最も高く、次いで「医療費の助成を行うサービス」(50.3%)、「生活上の悩みや福祉サービスの利用計画の相談」(23.0%)となっている。

(イ) 今後、ご本人に利用してほしいと思うサービスは何ですか。(MA)



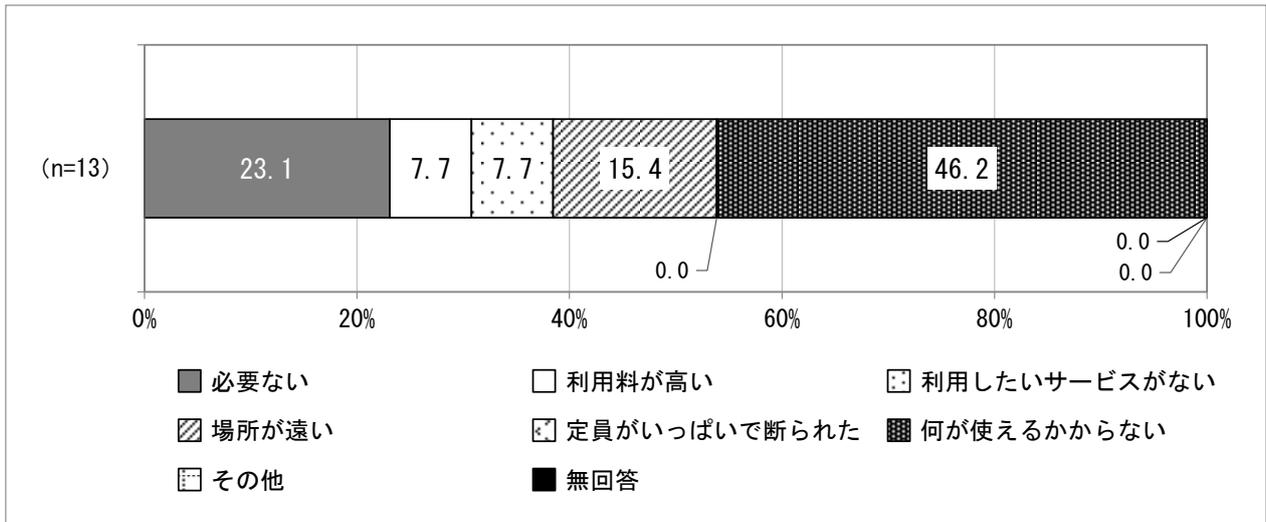
今後利用してほしいと思うサービスは、「就労に向けた支援サービス」(38.2%)が最も高く、次いで「地域の中で暮らしていくための支援サービス」(34.6%)、「生活上の悩みや福祉サービスの利用計画の相談」(33.5%)となっている。

問29 問28で「利用したことはない」と「特にない」以外のどれかひとつでも選んだ方におたずねします。ご本人が「障害のある方の福祉サービス」を利用するにあたって困っていることは何ですか。(MA)



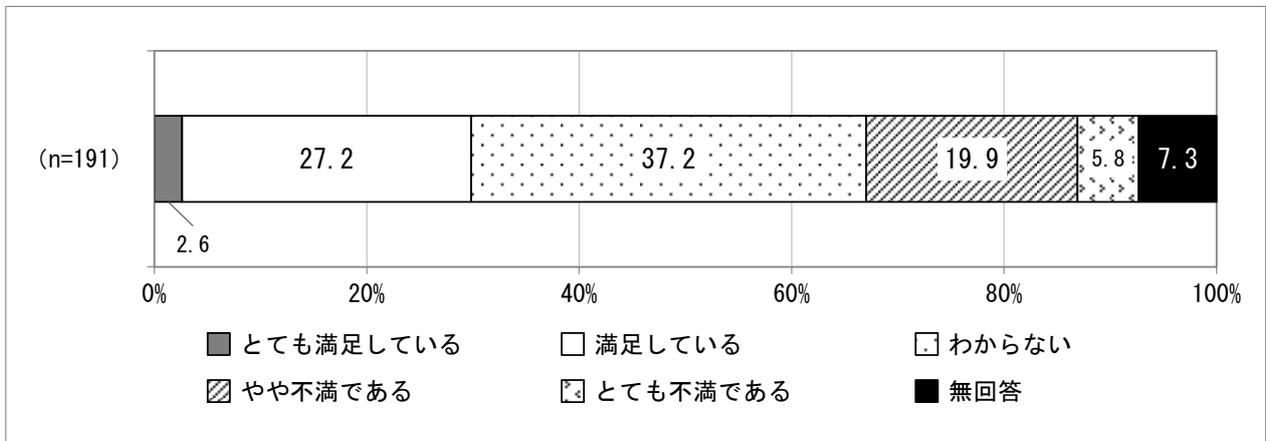
「障害のある方の福祉サービス」を利用するにあたって困っていることは、「特にない」(23.9%)が最も高く、次いで「利用者同士や職員との人間関係に困っている」(16.0%)、「通いにくい」(14.1%)となっている。

問 30 問 28 で「利用したことはない」を選んだ方におたずねします。利用したことがない理由は何ですか。(SA)



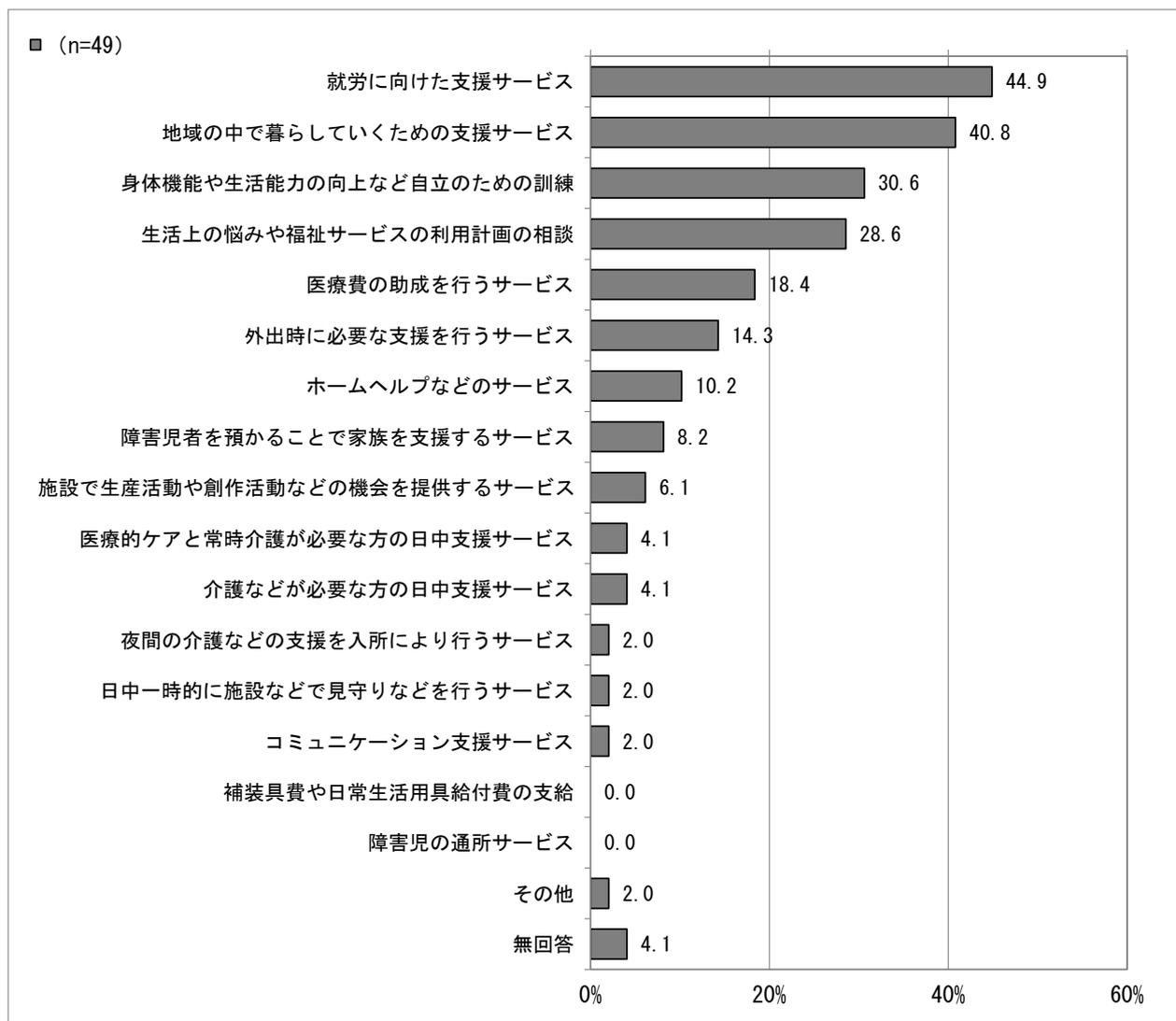
利用したことがない理由は、「何が使えるかわからない」(46.2%)が最も高く、次いで「必要ない」(23.1%)、「場所が遠い」(15.4%)となっている。

問 31 現在、あなた(このアンケートを記入している方)は仙台市にある「障害のある方の福祉サービス」に満足していますか。(SA)



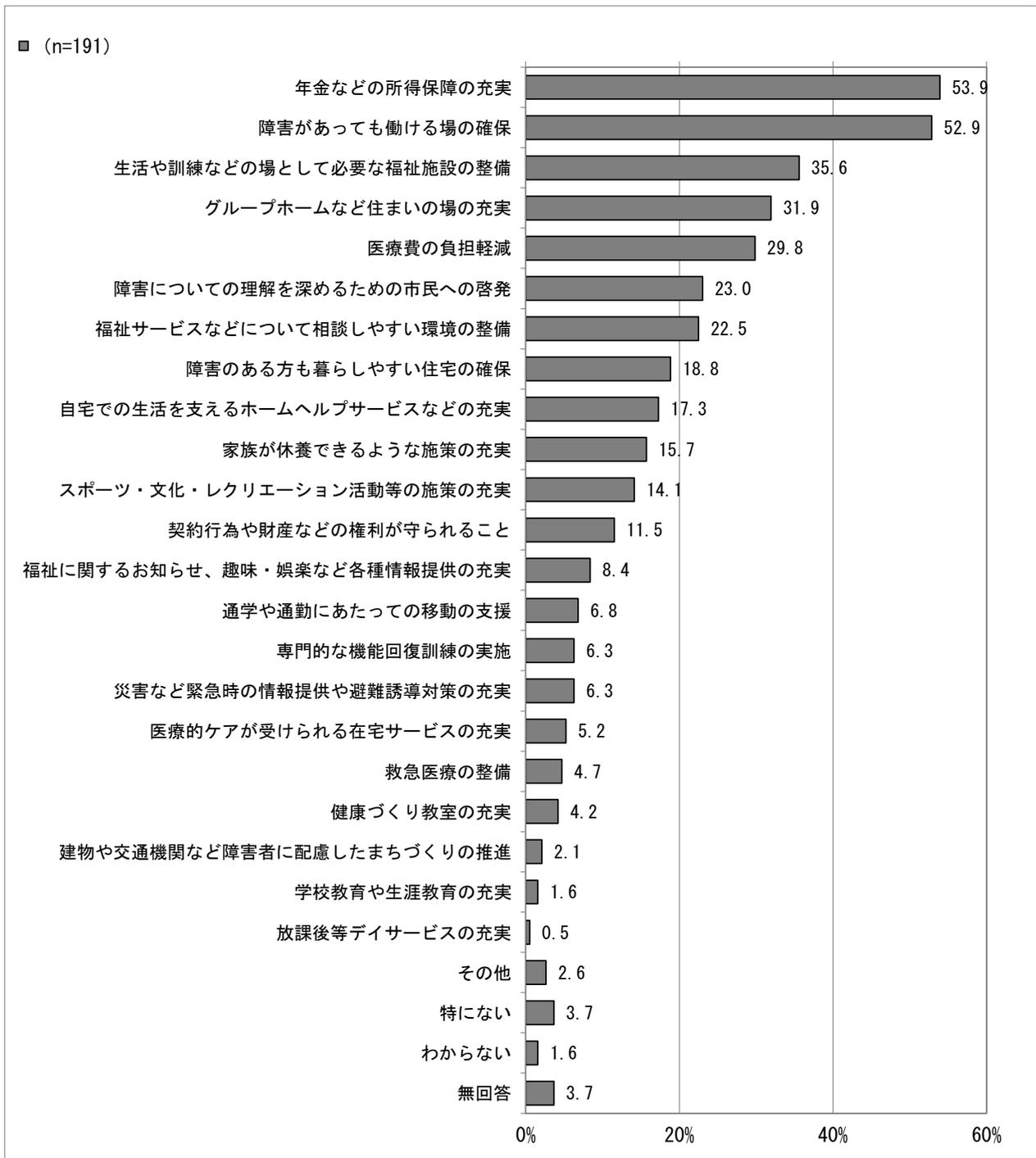
「障害のある方の福祉サービス」への満足は、「わからない」(37.2%)が最も高く、次いで「満足している」(27.2%)、「やや不満である」(19.9%)となっている。

問32 問31で「やや不満である」「とても不満である」を選んだ方におたずねします。特にどのような福祉サービスに不満を感じていますか。(MA)



不満を感じている福祉サービスは、「就労に向けた支援サービス」(44.9%)が最も高く、次いで「地域の中で暮らしていくための支援サービス」(40.8%)、「身体機能や生活能力の向上など自立のための訓練」(30.6%)となっている。

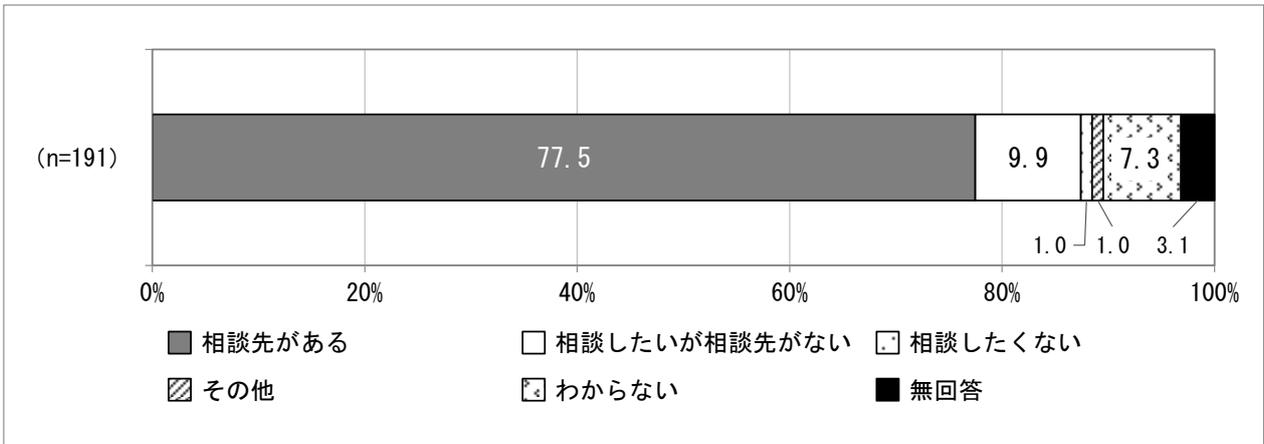
問 33 あなた（このアンケートを記入している方）が今後充実してほしい施策は何ですか。  
(MA)



今後充実してほしい施策は、「年金などの所得保障の充実」(53.9%)が最も高く、次いで「障害があっても働ける場の確保」(52.9%)、「生活や訓練などの場として必要な福祉施設の整備」(35.6%)となっている。

9 相談の状況について

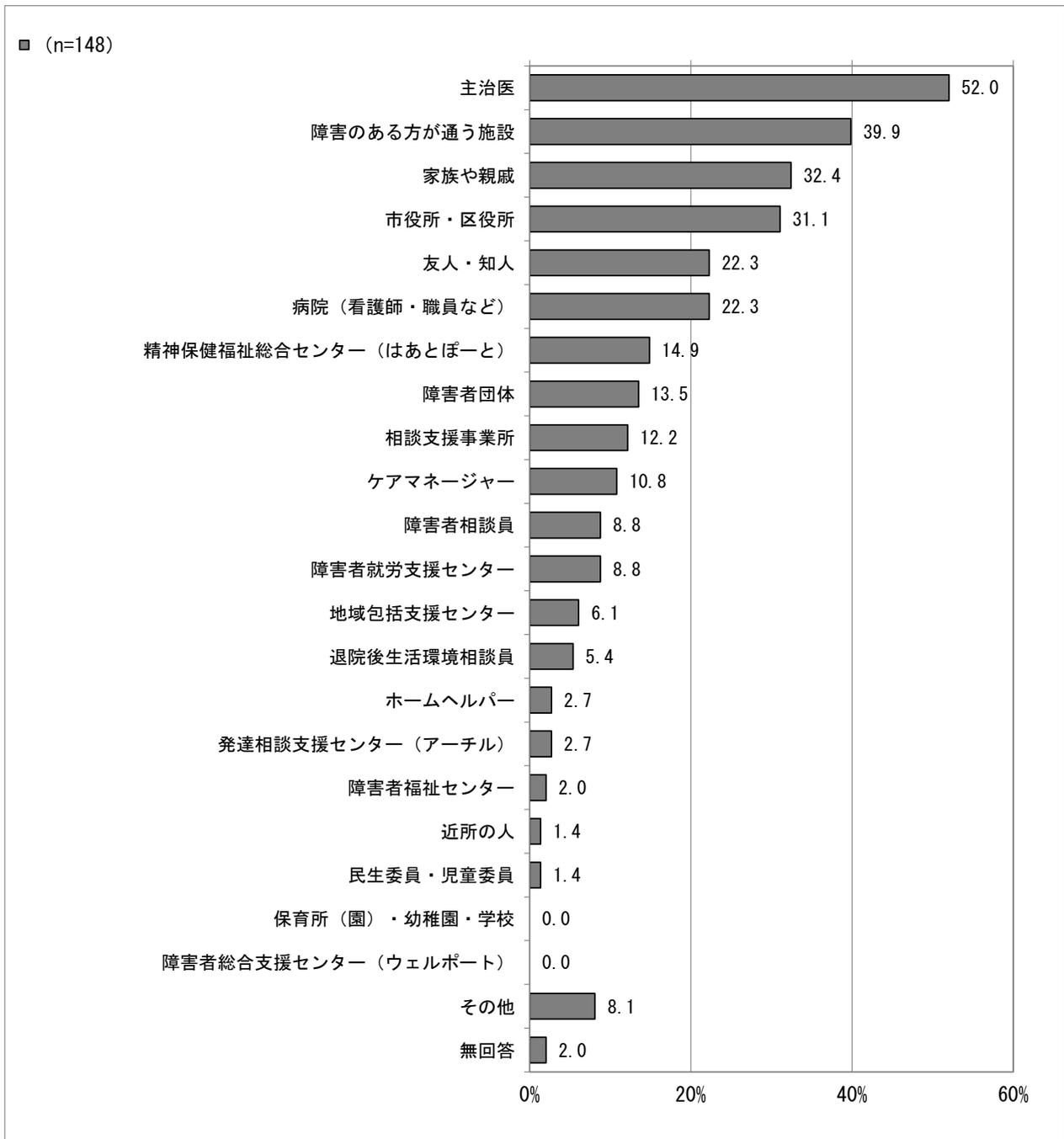
問 34 あなた（このアンケートを記入している方）が困ったときの相談について次のうちあてはまるのはどれですか。（SA）



困ったときの相談について、「相談先がある」（77.5%）が最も高く、次いで「相談したいが相談先がない」（9.9%）、「わからない」（7.3%）となっている。

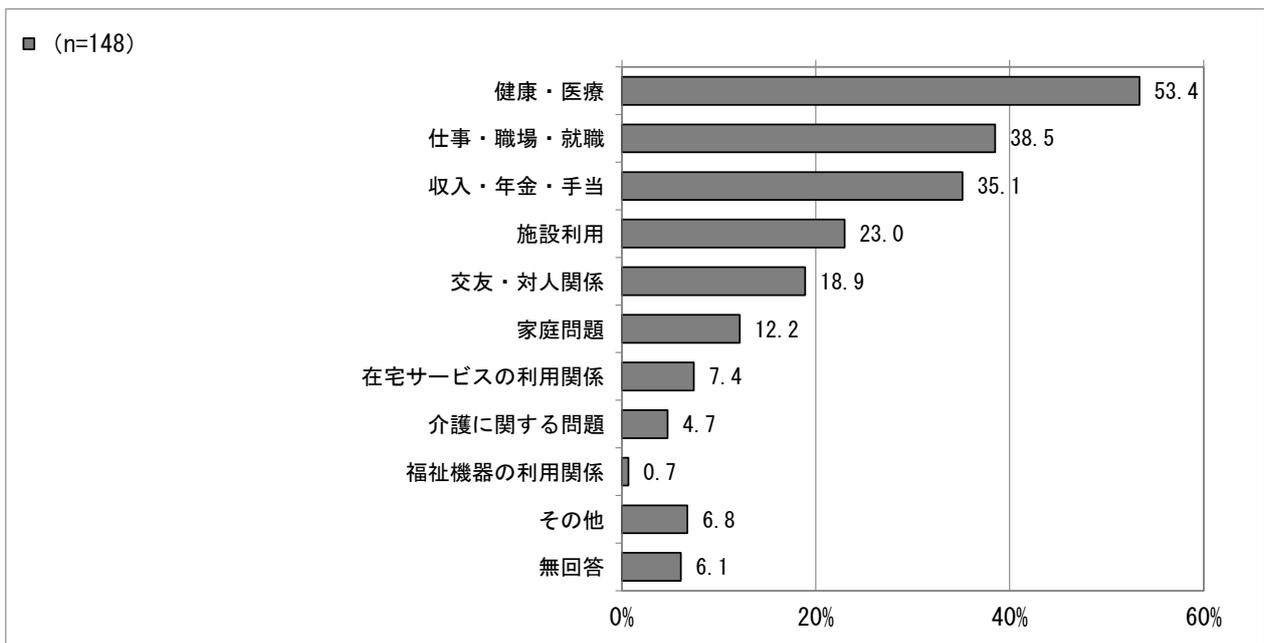
問 35 問 34 で「相談先がある」を選んだ方におたずねします。

(1) 相談相手は誰ですか。(MA)



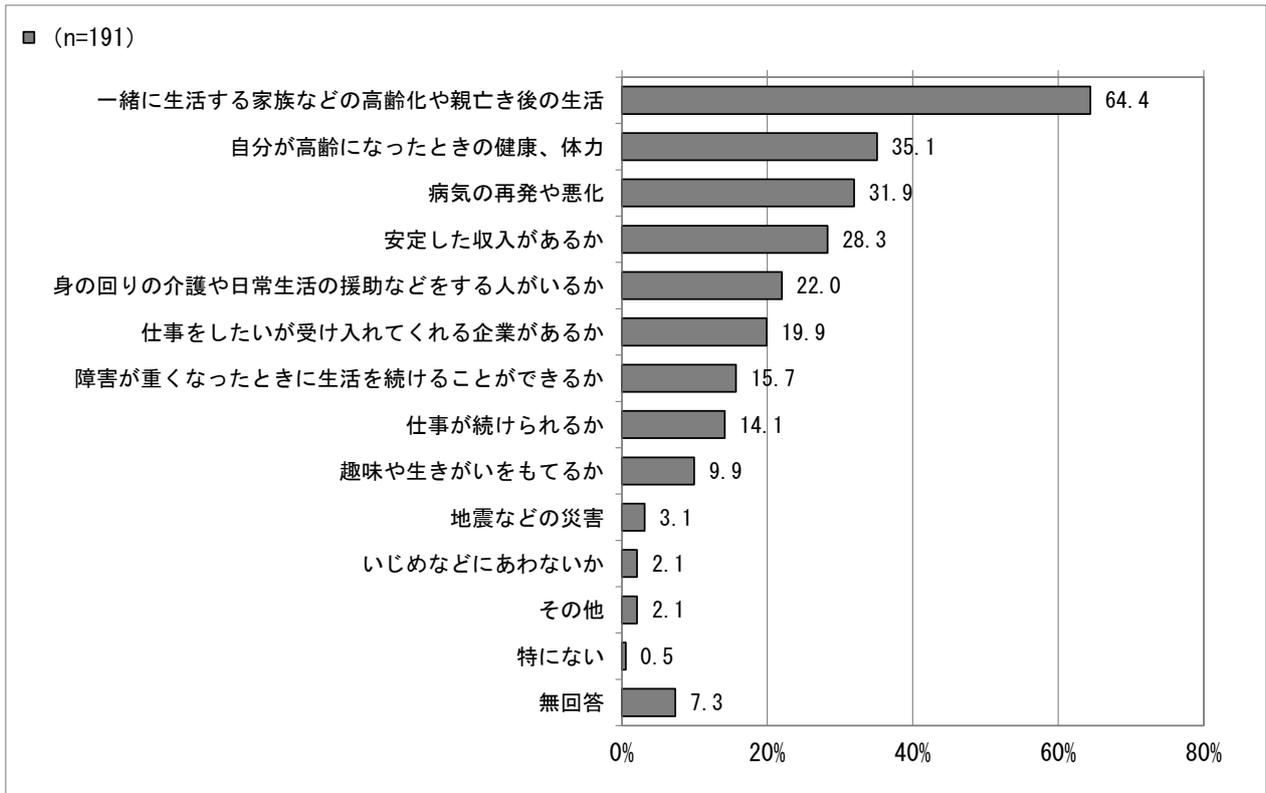
相談相手は、「主治医」(52.0%)が最も高く、次いで「障害のある方が通う施設」(39.9%)、「家族や親戚」(32.4%)となっている。

## (2) ご本人に関することで、相談していること(したいこと)は何ですか。(MA)



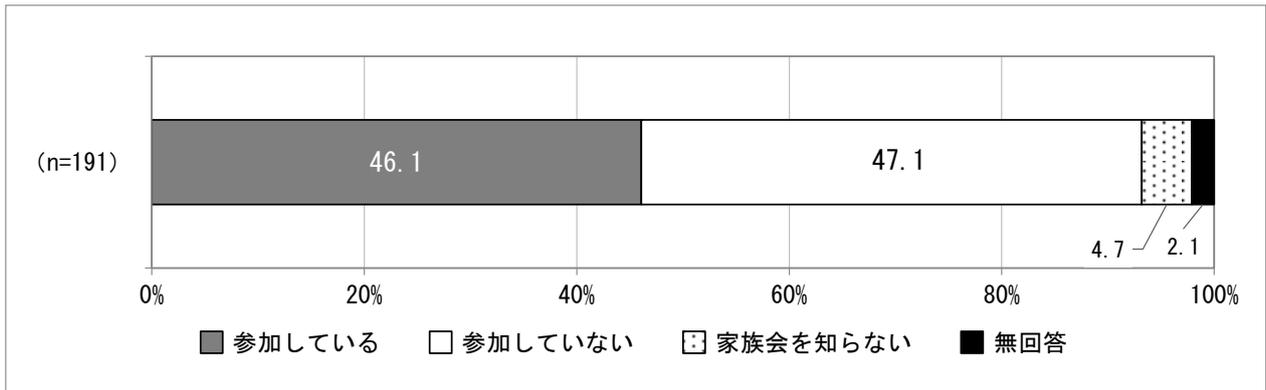
本人に関することで、相談していること(したいこと)は、「健康・医療」(53.4%)が最も高く、次いで「仕事・職場・就職」(38.5%)、「収入・年金・手当」(35.1%)となっている。

問 36 あなた（このアンケートを記入している方）が、ご本人の将来のことで不安に感じていることは何ですか。（MA）



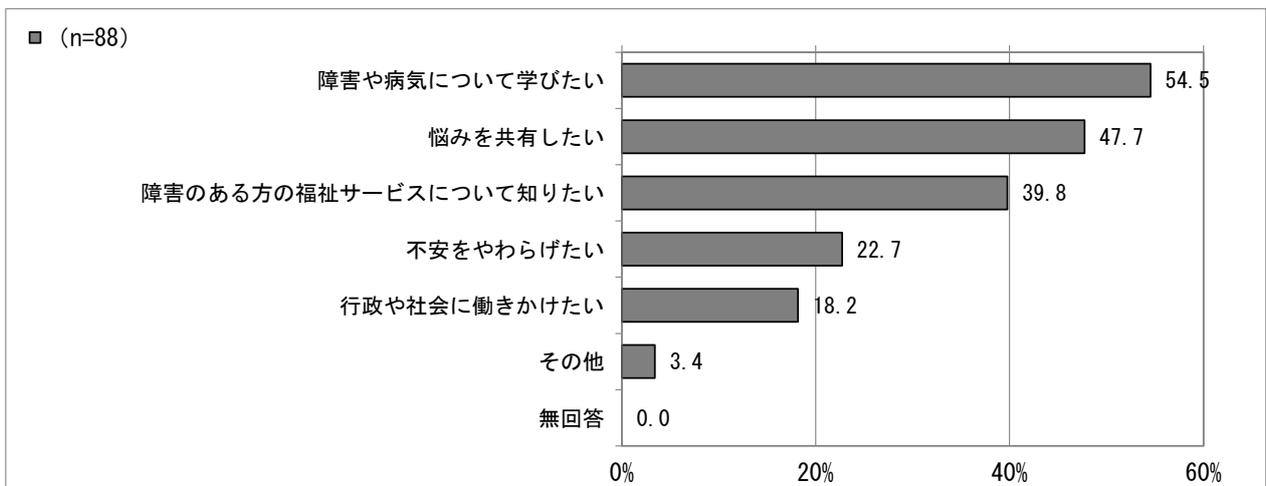
本人の将来のことで不安に感じていることは、「一緒に生活する家族などの高齢化や親亡き後の生活」(64.4%)が最も高く、次いで「自分が高齢になったときの健康、体力」(35.1%)、「病気の再発や悪化」(31.9%)となっている。

問 37 あなた（このアンケートを記入している方）は、障害のある家族を持つ方の集まり（家族会）に参加していますか。（SA）



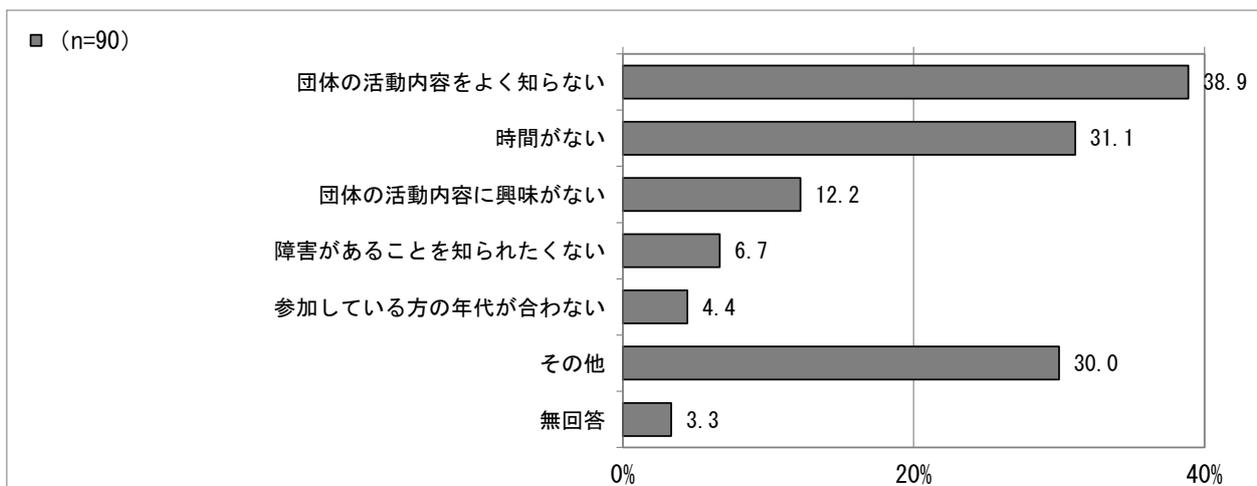
障害のある家族を持つ方の集まり（家族会）への参加は、「参加している」（46.1%）、「参加していない」（47.1%）、「家族会を知らない」（4.7%）となっている。

問 38 問 37 で「参加している」を選んだ方におたずねします。家族会に参加している理由は何ですか。（MA）



家族会に参加している理由は、「障害や病気について学びたい」（54.5%）が最も高く、次いで「悩みを共有したい」（47.7%）、「障害のある方の福祉サービスについて知りたい」（39.8%）となっている。

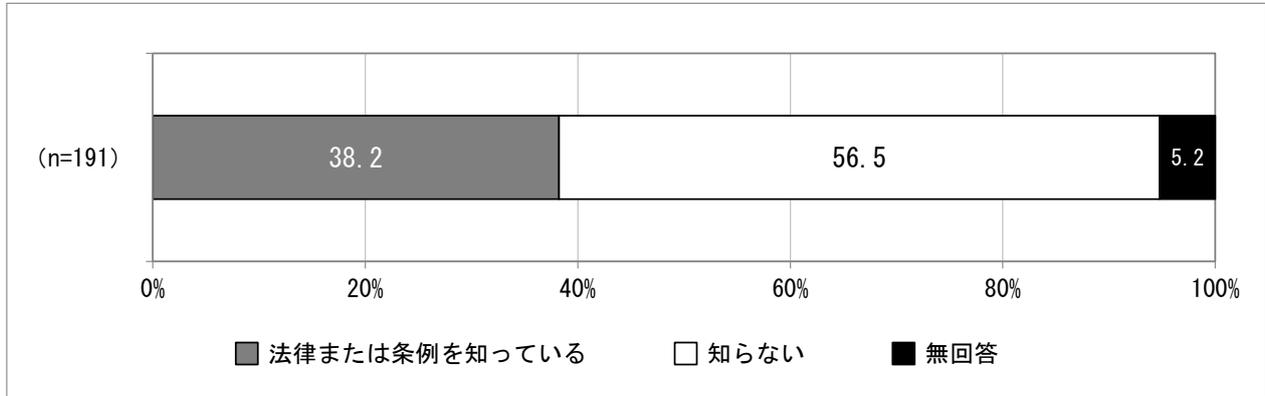
問 39 問 37 で「参加していない」を選んだ方におたずねします。家族会に参加していない理由は何ですか。(MA)



家族会に参加していない理由は、「団体の活動内容をよく知らない」(38.9%)が最も高く、次いで「時間がない」(31.1%)、「その他」(30.0%)となっている。

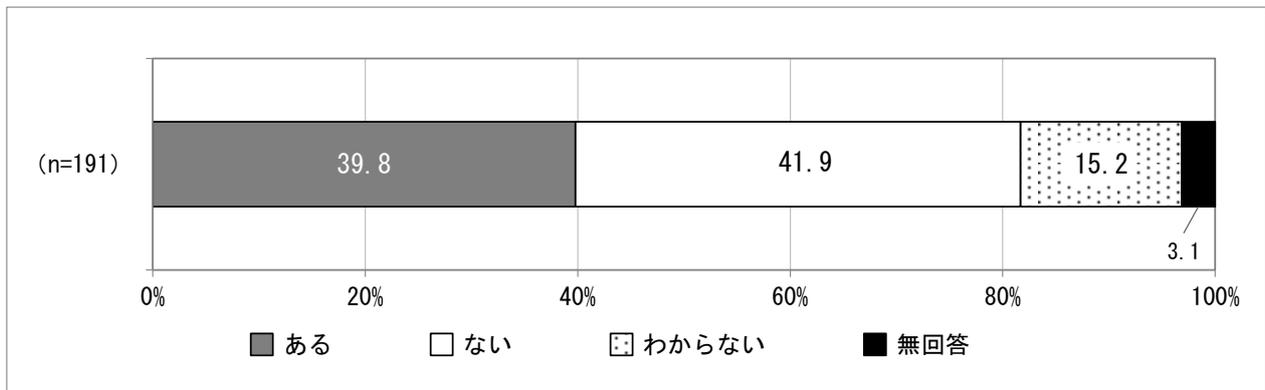
## 10 権利擁護について

問 40 あなた（このアンケートを記入している方）は、2016年4月より施行された「障害者差別解消法」を知っていますか。また、「仙台市障害を理由とする差別をなくし障害のある人もない人も共に暮らしやすいまちをつくる条例」を知っていますか。（SA）



障害者差別解消法や市の条例は、「法律または条例を知っている」（38.2%）、「知らない」（56.5%）となっている。

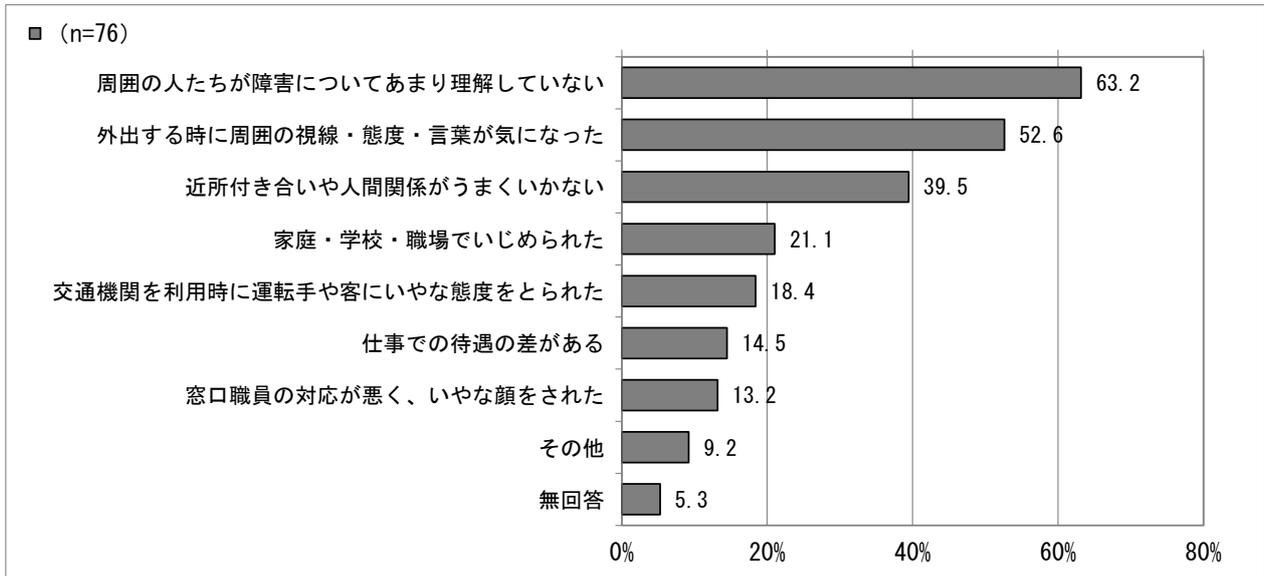
問 41 あなた（このアンケートを記入している方）は、ご本人の障害を理由に差別を受けたり、いやな思いなどをしたことがありますか。（SA）



障害を理由に差別を受けたり、いやな思いなどをしたことがあるかは、「ある」（39.8%）、「ない」（41.9%）、「わからない」（15.2%）となっている。

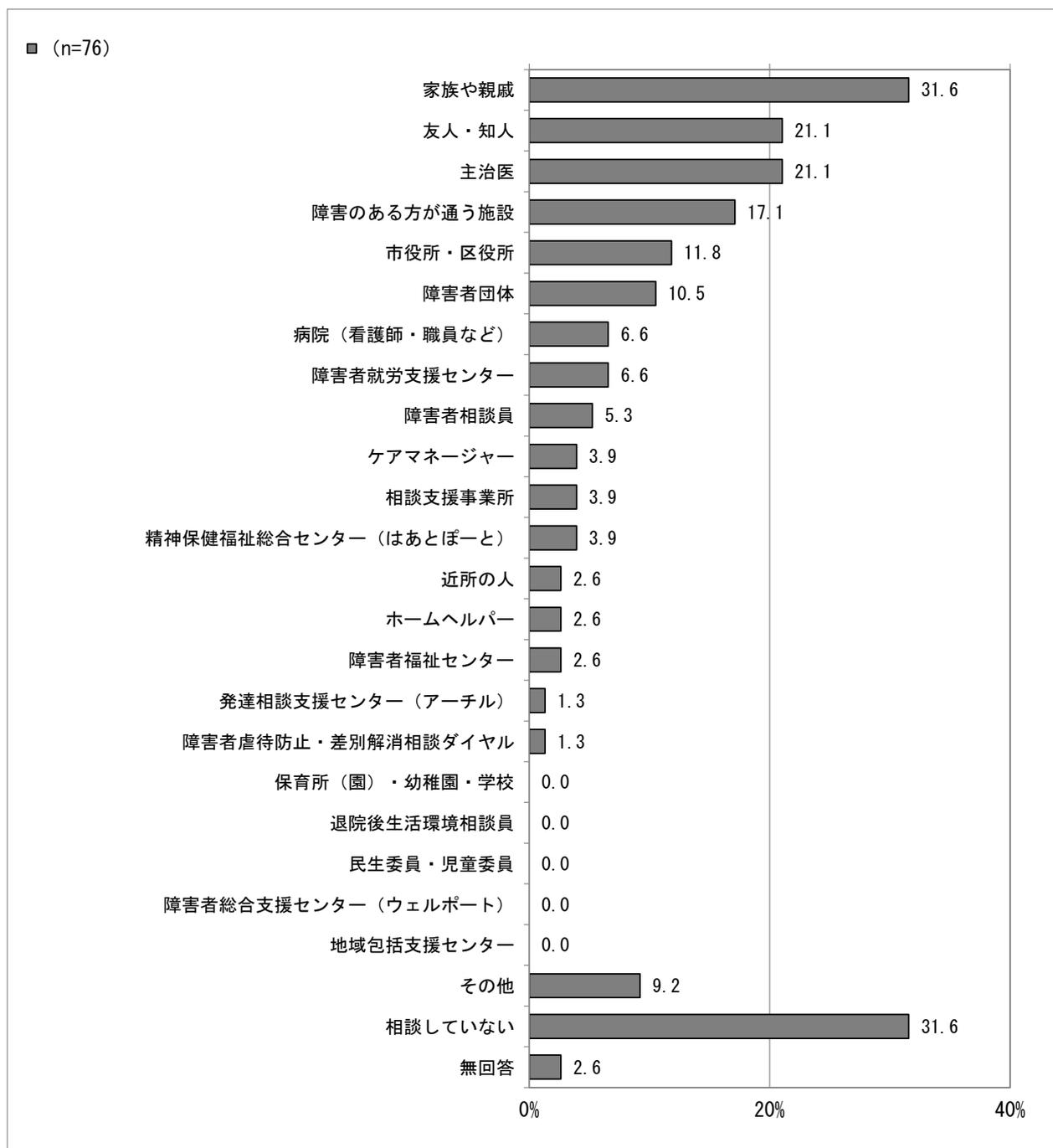
問 42 問 41 で「ある」を選んだ方におたずねします。

(1) どのような内容の差別を受けたり、いやな思いをしましたか。(MA)



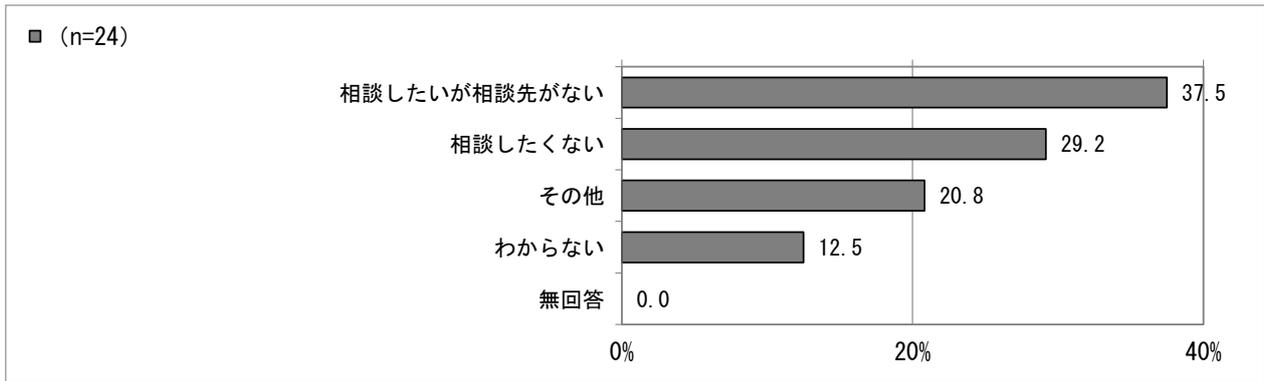
差別やいやな思いの内容は、「周囲の人たちが障害についてあまり理解していない」(63.2%)が最も高く、次いで「外出する時に周囲の視線・態度・言葉が気になった」(52.6%)、「近所付き合いや人間関係がうまくいかない」(39.5%)となっている。

## (2) 差別をされたり、いやな思いをしたときに誰かに相談しましたか。(MA)



差別をされたり、いやな思いをしたときの相談先は、「家族や親戚」と「相談していない」がともに31.6%と最も高く、次いで「友人・知人」と「主治医」がともに21.1%、「障害のある方が通う施設」（17.1%）となっている。

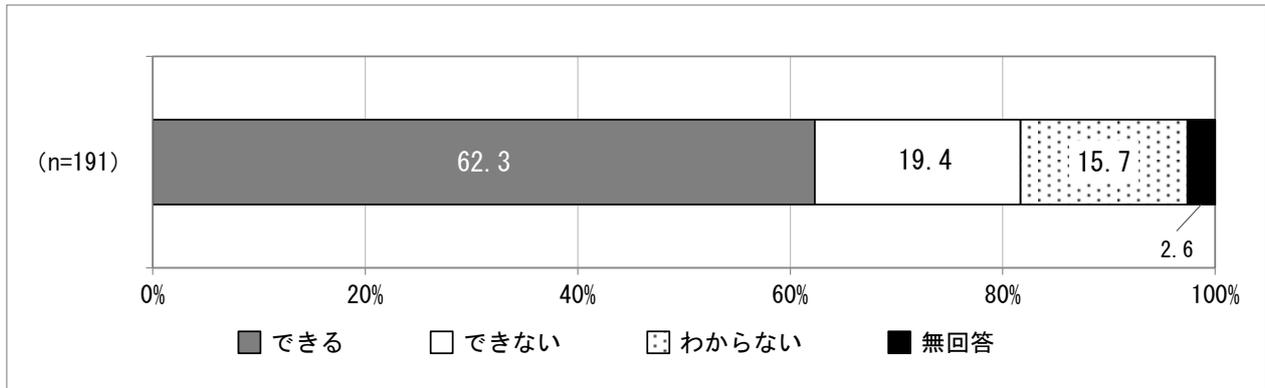
(3)(2)で「相談していない」を選んだ方におたずねします。相談しなかった理由は何ですか。(SA)



相談をしなかった理由は、「相談したいが相談先がない」(37.5%)が最も高く、次いで「相談したくない」(29.2%)、「その他」(20.8%)となっている。

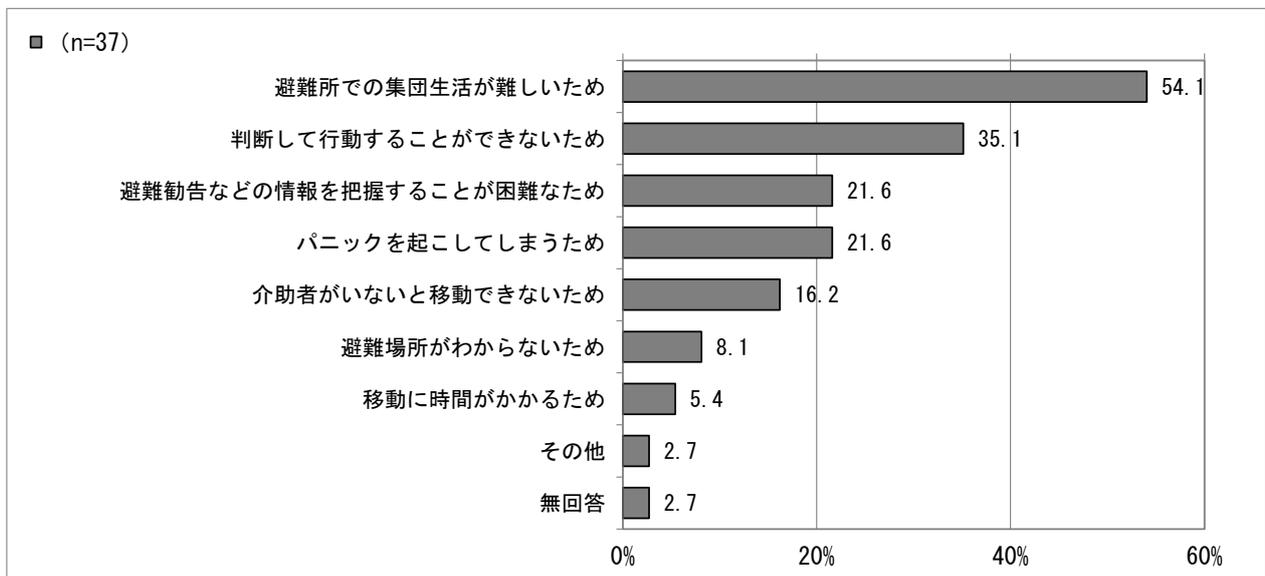
## 11 緊急時の対応について

問 43 ご本人は地震などの災害発生時、ひとりで避難することができますか。2011年3月11日の東日本大震災を経験された方は、ご経験を踏まえてご回答ください。(SA)



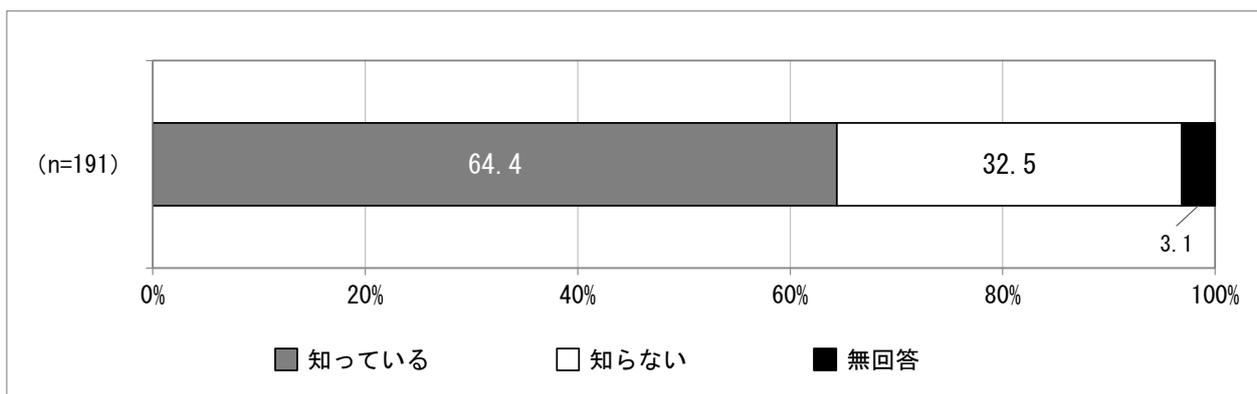
ひとりで避難は、「できる」(62.3%)、「できない」(19.4%)、「わからない」(15.7%)となっている。

問 44 問 43 で「できない」を選んだ方におたずねします。災害のとき一人で避難することができない理由は何ですか。(MA)



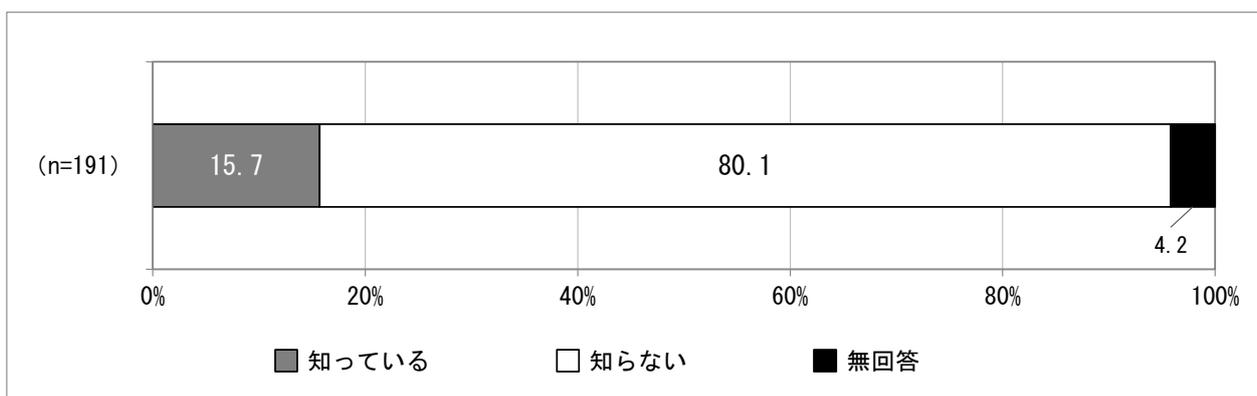
一人で避難できない理由は、「避難所での集団生活が難しいため」(54.1%)が最も高く、次いで「判断して行動することができないため」(35.1%)、「避難勧告などの情報を把握することが困難なため」と「パニックを起こしてしまうため」がともに21.6%となっている。

問 45 ご本人は、お住まいの地区の避難所の場所を知っていますか。(SA)



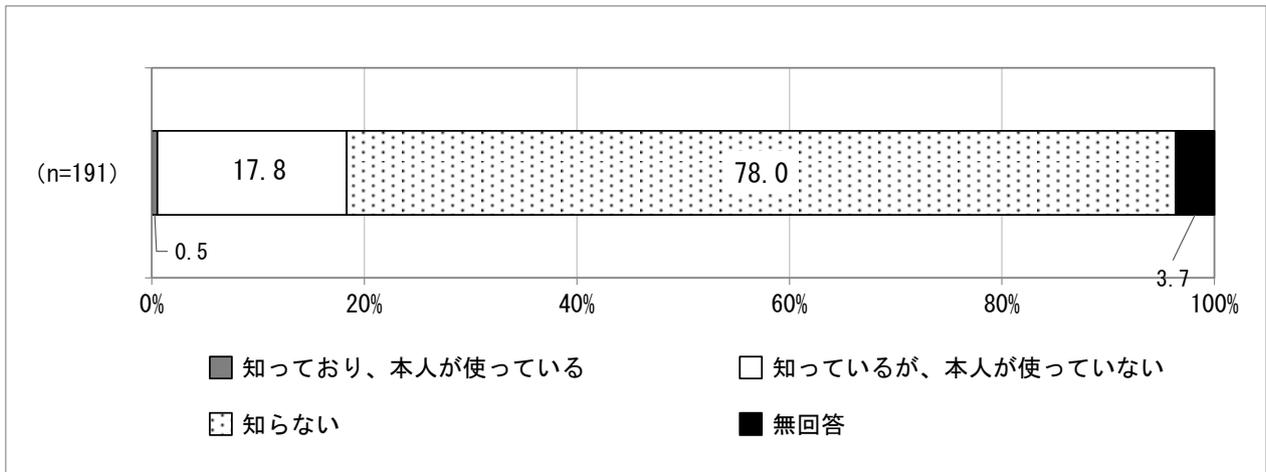
本人が住まいの地区の避難所を知っているかは、「知っている」(64.4%)、「知らない」(32.5%)となっている。

問 46 あなた(このアンケートを記入している方)は、福祉避難所を知っていますか。(SA)



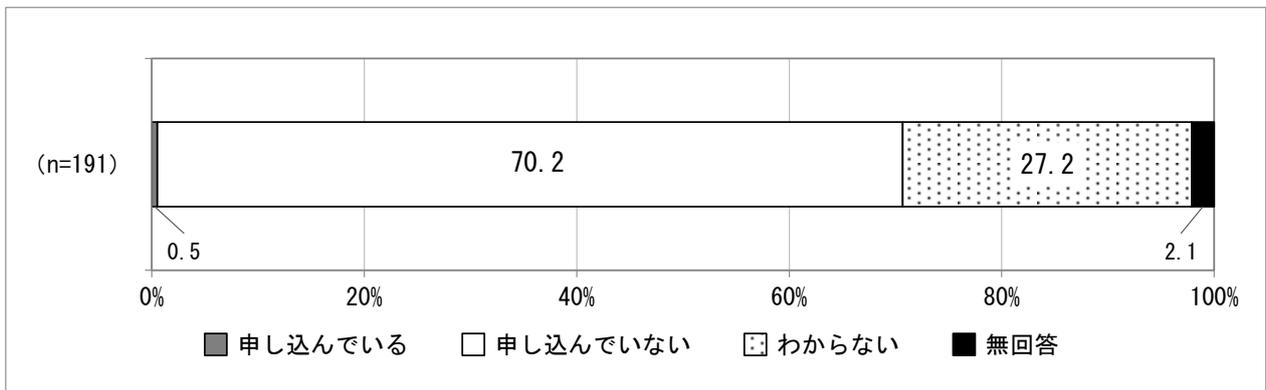
記入者が福祉避難所を知っているかは、「知っている」(15.7%)、「知らない」(80.1%)となっている。

問 47 あなた(このアンケートを記入している方)は、ヘルプカードを知っていますか。(SA)



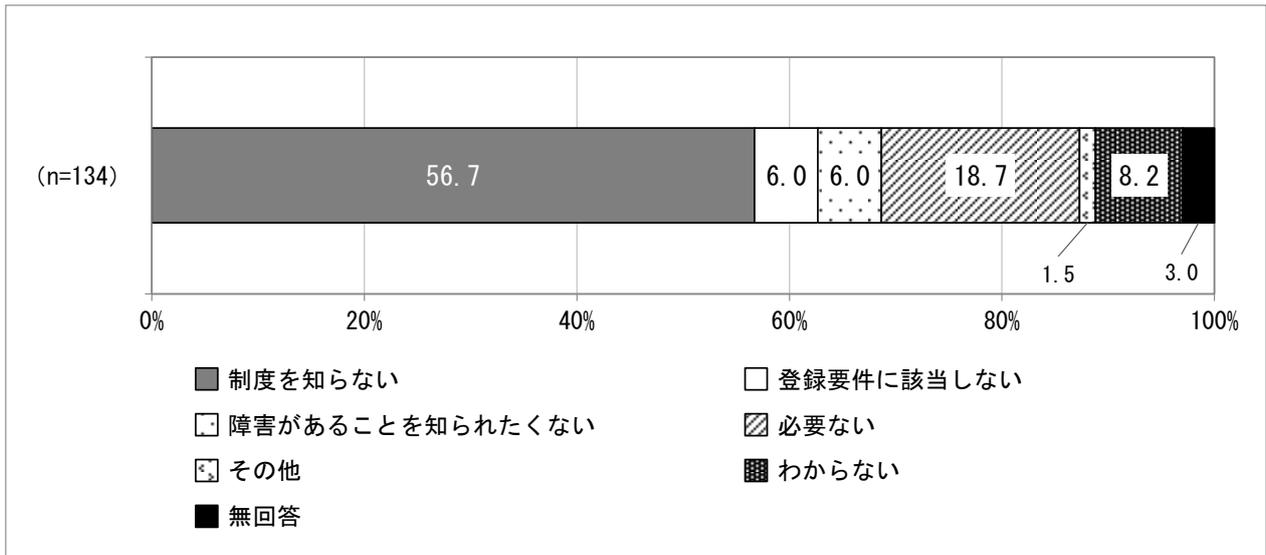
記入者がヘルプカードを知っているかは、「知っている、本人が使っている」(0.5%)、「知っているが、本人が使ってない」(17.8%)、「知らない」(78.0%)となっている。

問 48 ご本人は、仙台市が実施している災害時における要援護者情報登録制度を申し込んでいますか。(SA)



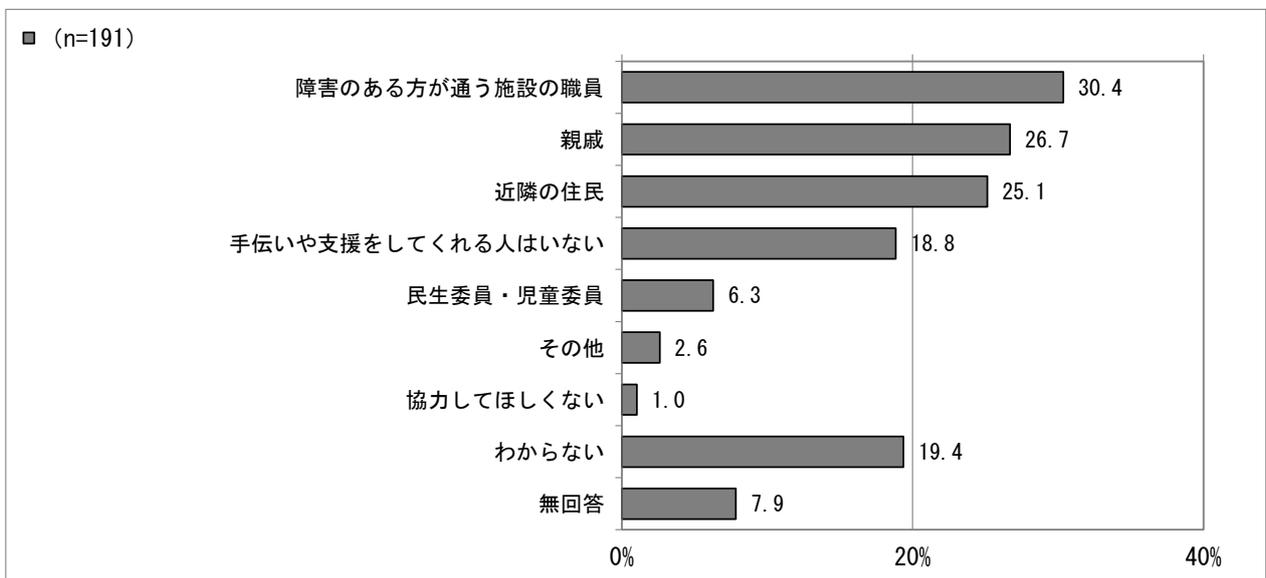
市が実施している要援護者情報登録制度を申し込んでいるかは、「申し込んでいる」(0.5%)、「申し込んでいない」(70.2%)、「わからない」(27.2%)となっている。

問 49 問 48 で「申し込んでいない」を選んだ方におたずねします。ご本人が申し込んでいない理由は何ですか。(SA)



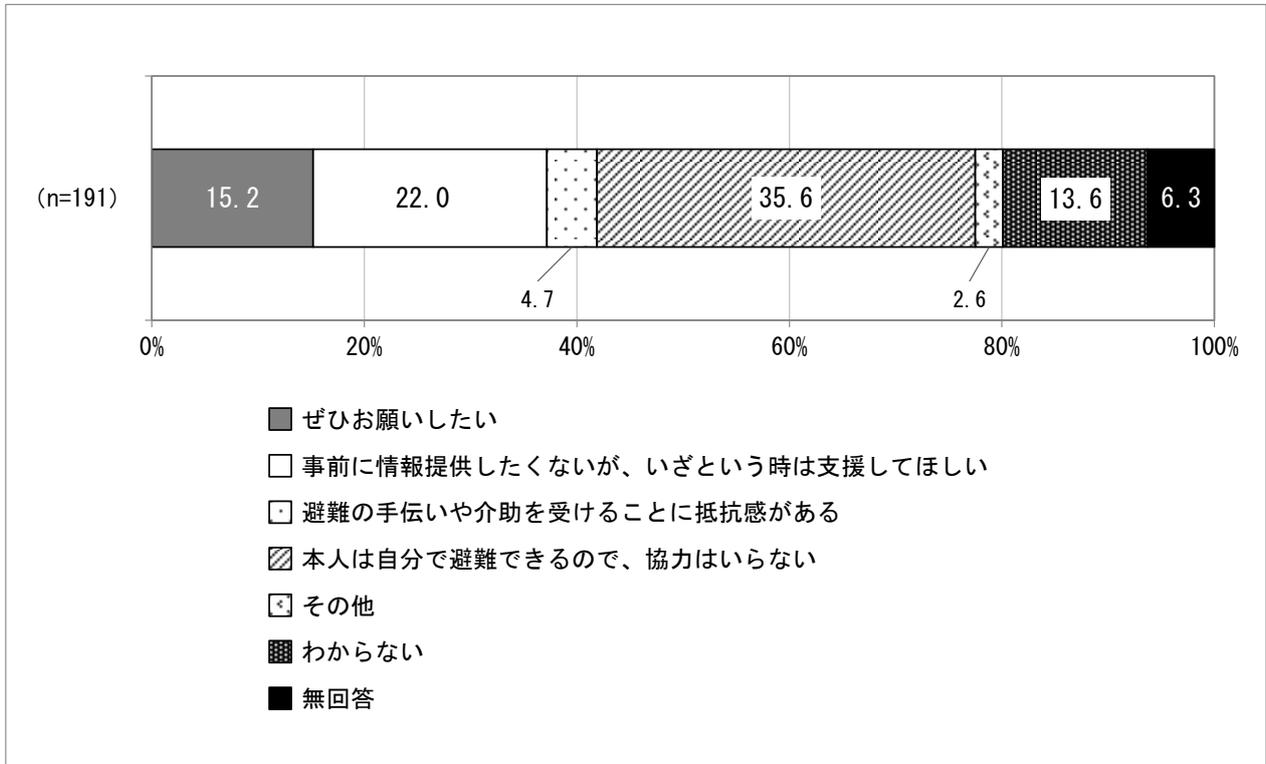
市が実施している要援護者情報登録制度に申し込んでいない理由は、「制度を知らない」(56.7%) が最も高く、次いで「必要ない」(18.7%)、「わからない」(8.2%) となっている。

問 50 地震などの災害時に、家族以外の方で手伝いや支援をしてくれる人について、次のうちあてはまるのはどれですか。(SA)



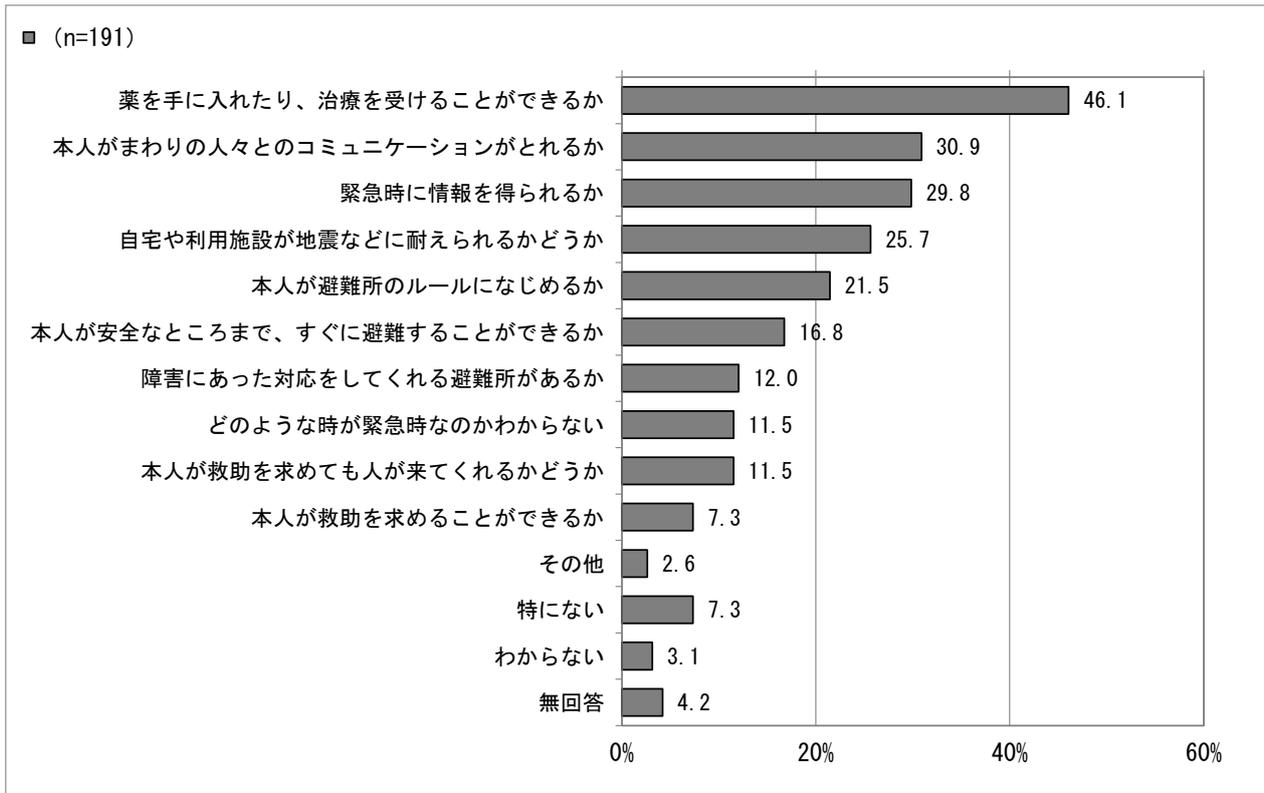
災害時に家族以外の方で手伝いや支援をしてくれる人は、「障害のある方が通う施設の職員」(30.4%) が最も高く、次いで「親戚」(26.7%)、「近隣の住民」(25.1%) となっている。

問 51 地震などの災害が発生したときのために、あらかじめ近所の人やボランティアなどにご本人の避難の手伝いや介助をお願いしておくことについて、あなた（このアンケートを記入している方）はどのように思いますか。（SA）



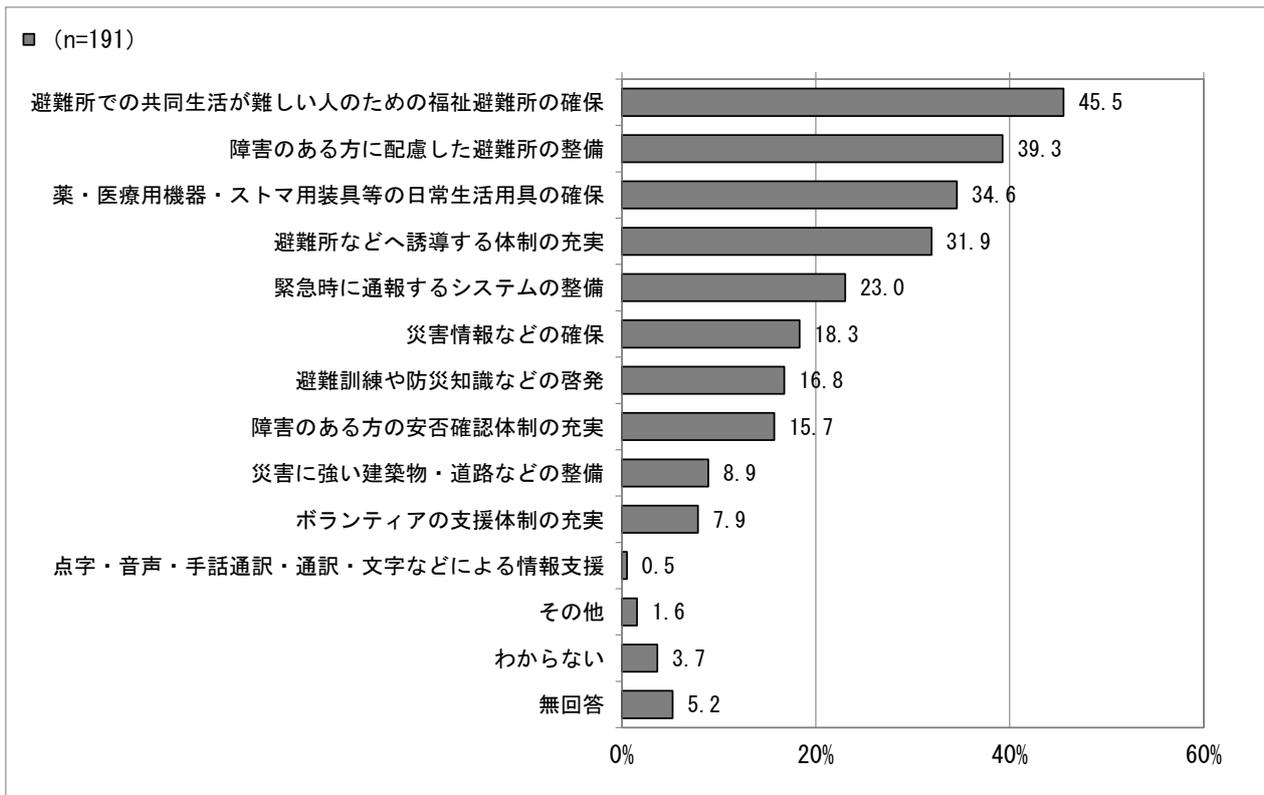
災害が発生したときのために、あらかじめ近所の人やボランティアなどに本人の避難の手伝いや介助をお願いしておくことは、「本人は自分で避難できるので、協力はいらない」(35.6%) が最も高く、次いで「事前に情報提供したくないが、いざという時は支援してほしい」(22.0%)、「ぜひお願いしたい」(15.2%) となっている。

問 52 地震などのいざという時のことで、あなた（このアンケートを記入している方）が普段不安に感じていることは何ですか。（MA）



いざという時のことで、記入者が普段不安に感じていることは、「薬を手に入れたり、治療を受けることができるか」(46.1%)が最も高く、次いで「本人がまわりの人々とのコミュニケーションがとれるか」(30.9%)、「緊急時に情報を得られるか」(29.8%)となっている。

問 53 地震、台風などの災害に対して、あなた（このアンケートを記入している方）が大切だと思う対策はどのようなことだと思いますか。（MA）



災害に対して、記入者が大切だと思う対策は、「避難所での共同生活が難しい人のための福祉避難所の確保」（45.5%）が最も高く、次いで「障害のある方に配慮した避難所の整備」（39.3%）、「薬・医療用機器・ストマ用装具等の日常生活用具の確保」（34.6%）となっている。



## 第10章

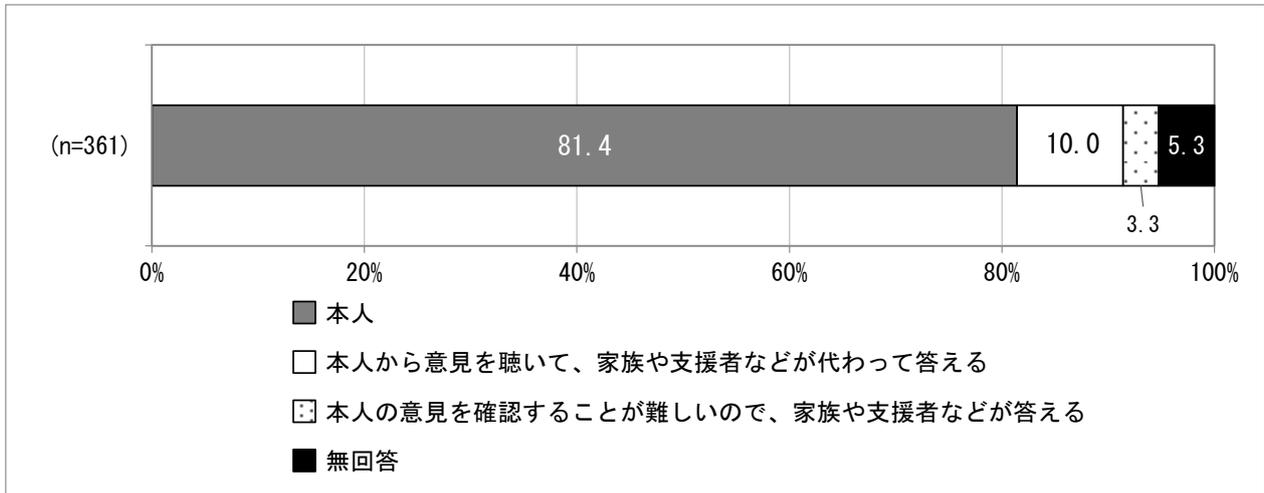
### 難病患者本人



## 第10章 難病患者本人

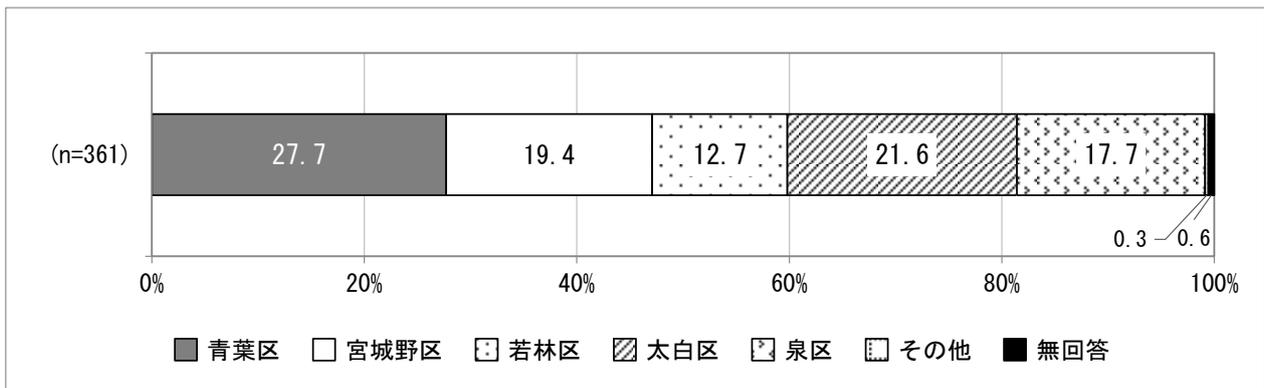
### 1 属性について

問1 このアンケートの記入者はどなたですか。(SA)



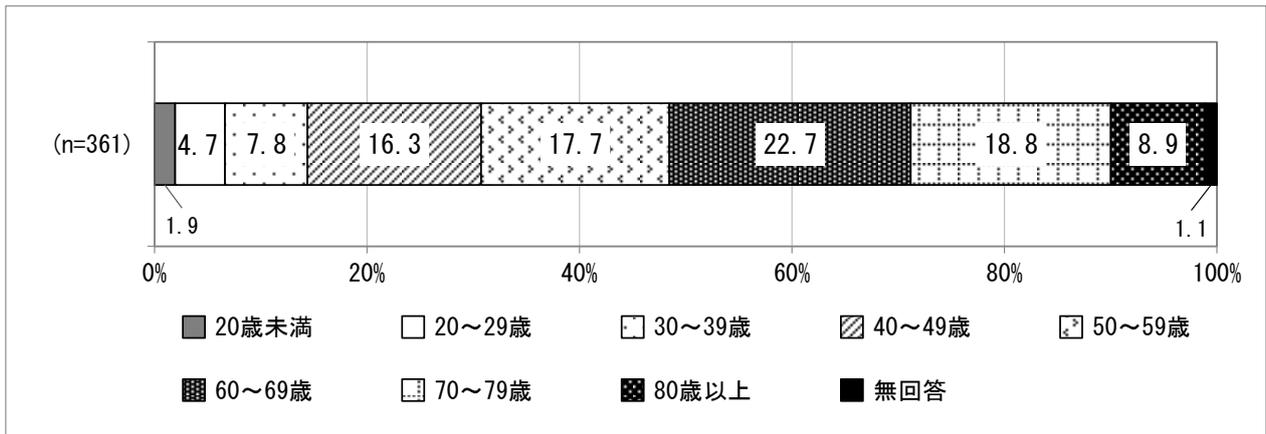
アンケートの記入者は、「本人」(81.4%)、「本人から意見を聴いて、家族や支援者などが代わって答える」(10.0%)、「本人の意見を確認することが難しいので、家族や支援者などが答える」(3.3%)となっている。

問2 あなたのお住まいの区はどこですか。(SA)



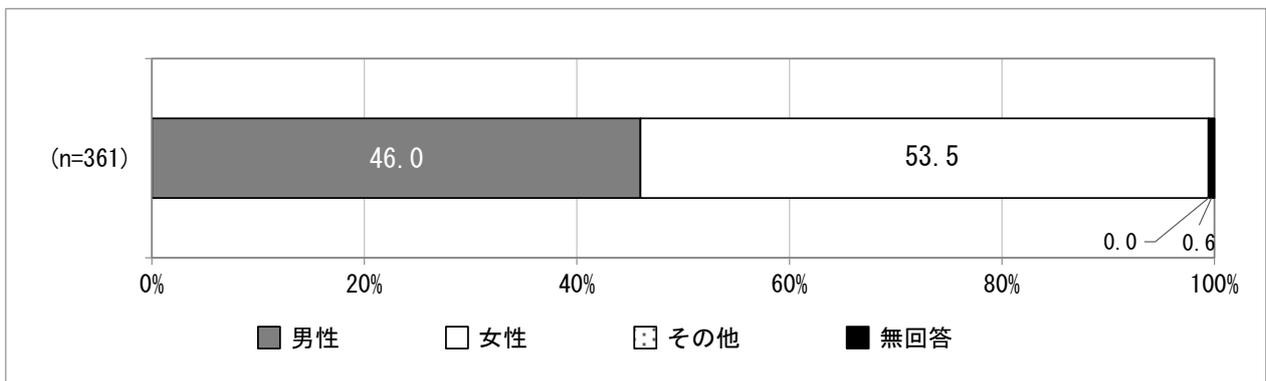
居住区は、「青葉区」(27.7%)が最も高く、次いで「太白区」(21.6%)、「宮城野区」(19.4%)となっている。

問3 あなたの年齢（2016年11月1日時点）は何歳ですか。（数値）



年齢は、「60～69歳」（22.7%）が最も高く、次いで「70～79歳」（18.8%）、「50～59歳」（17.7%）となっている。

問4 あなたの性別を教えてください。（SA）

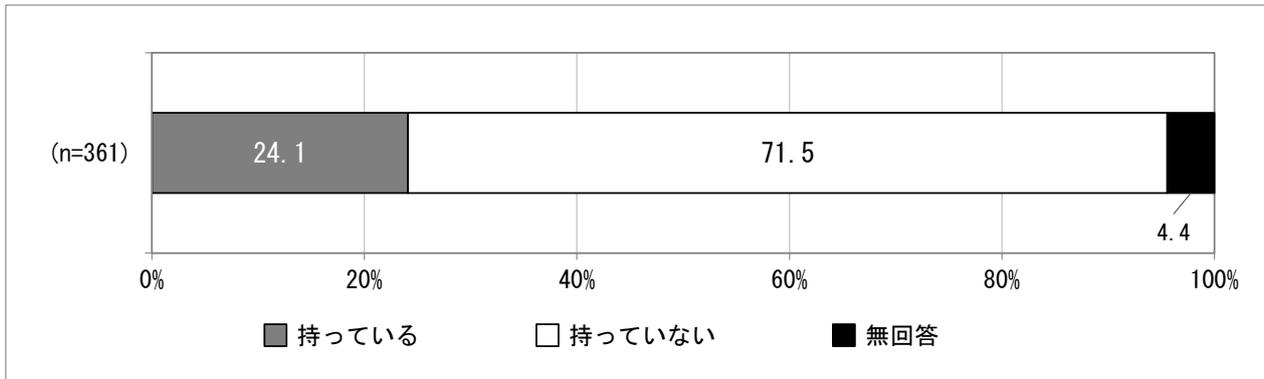


性別は、「男性」（46.0%）、「女性」（53.5%）となっている。

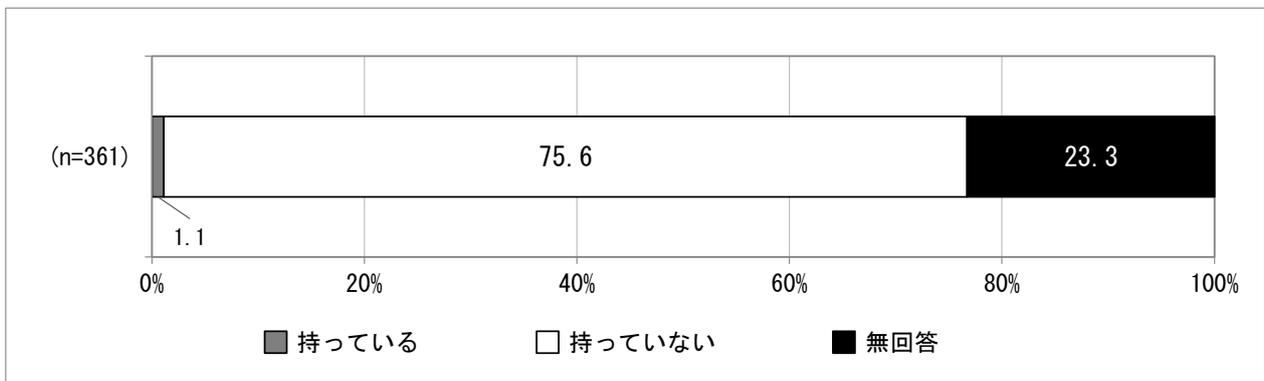
## 問5 障害者手帳についておたずねします。

(ア) 障害者手帳をお持ちかどうか教えてください。(SA)

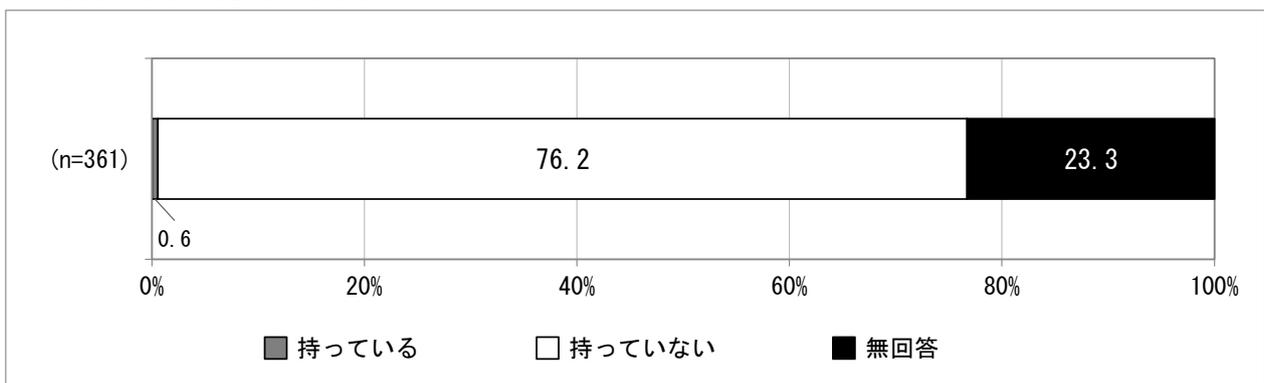
(身体障害者手帳)



(療育手帳)



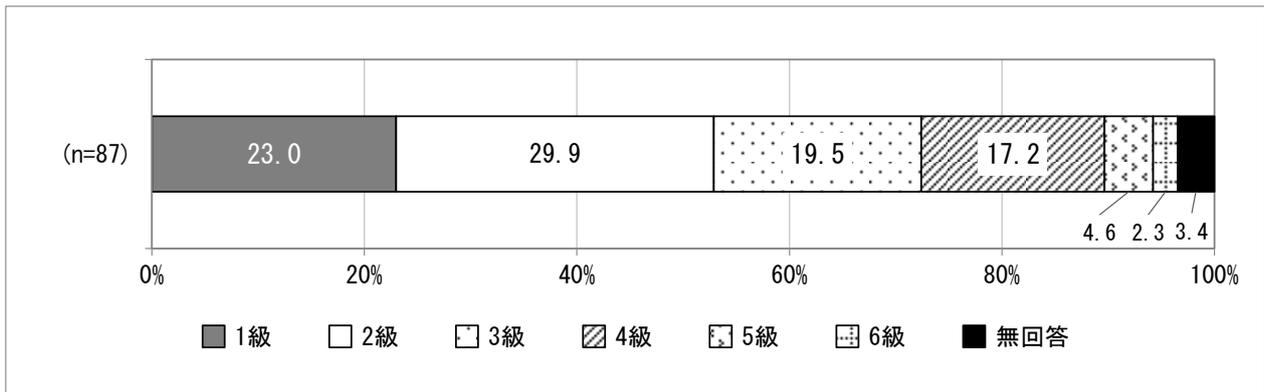
(精神障害者保健福祉手帳)



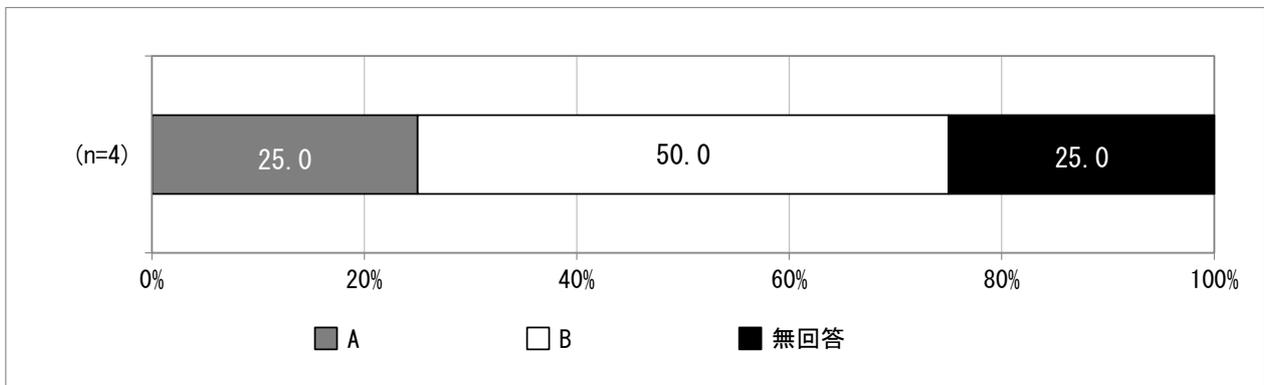
「持っている」割合は、身体障害者手帳が24.1%、療育手帳が1.1%、精神障害者保健福祉手帳が0.6%となっている。

(イ) お持ちの障害者手帳の等級を教えてください。(SA)

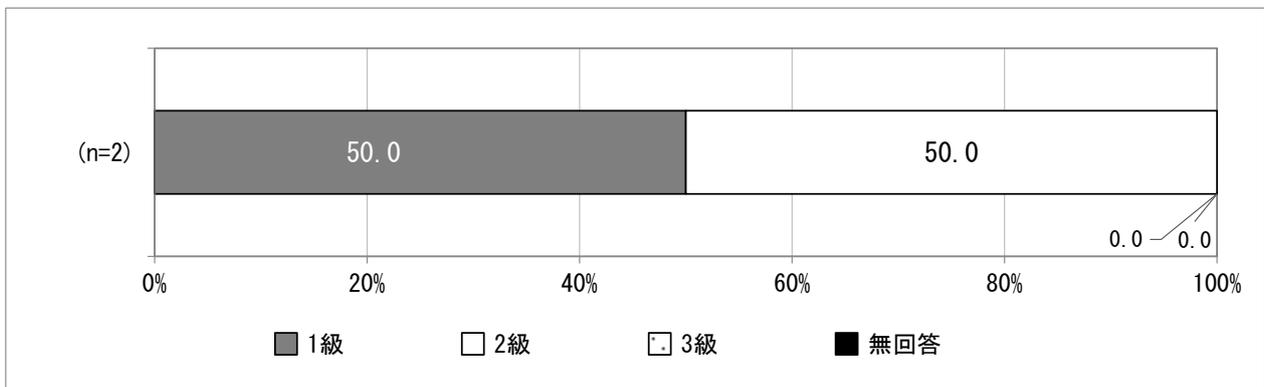
(身体障害者手帳)



(療育手帳)



(精神障害者保健福祉手帳)

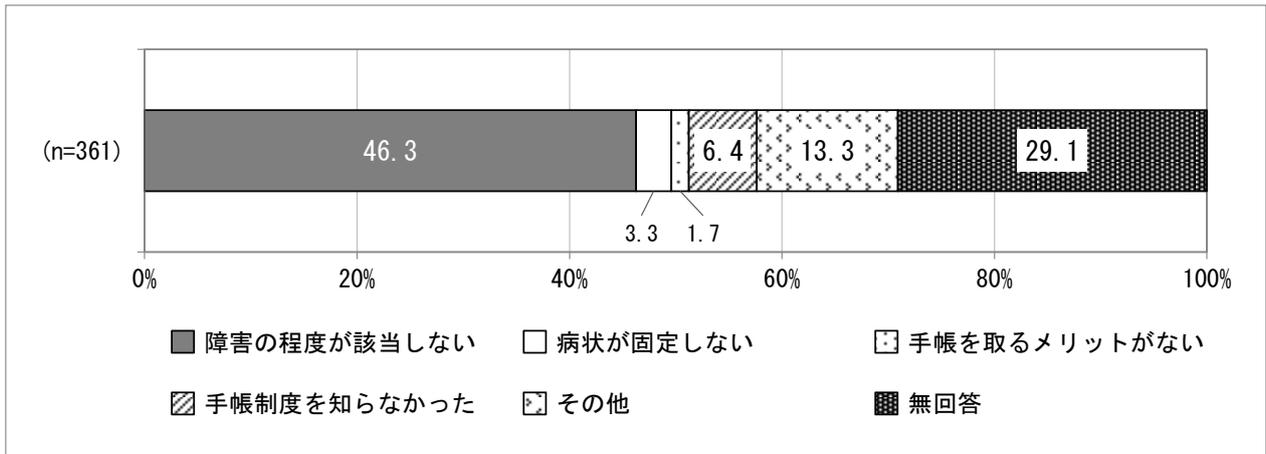


身体障害者手帳の等級は、「2級」(29.9%)が最も高く、次いで「1級」(23.0%)、「3級」(19.5%)となっている。

療育手帳の等級は、「A」(25.0%)、「B」(50.0%)となっている。

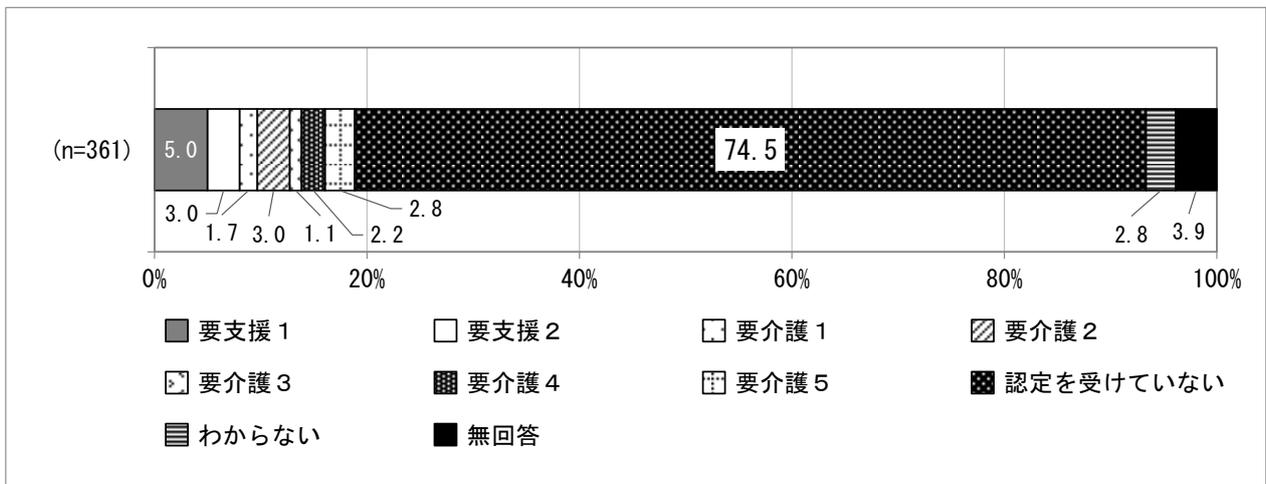
精神障害者保健福祉手帳の等級は、「1級」と「2級」とともに50.0%となっている。

問6 身体障害者手帳を持っていない方におたずねします。身体障害者手帳を持っていない理由は何ですか。(SA)



身体障害者手帳を持っていない理由は、「障害の程度が該当しない」(46.3%)が最も高く、次いで「その他」(13.3%)、「手帳制度を知らなかった」(6.4%)となっている。

問7 あなたは介護保険の認定を受けていますか。(SA)

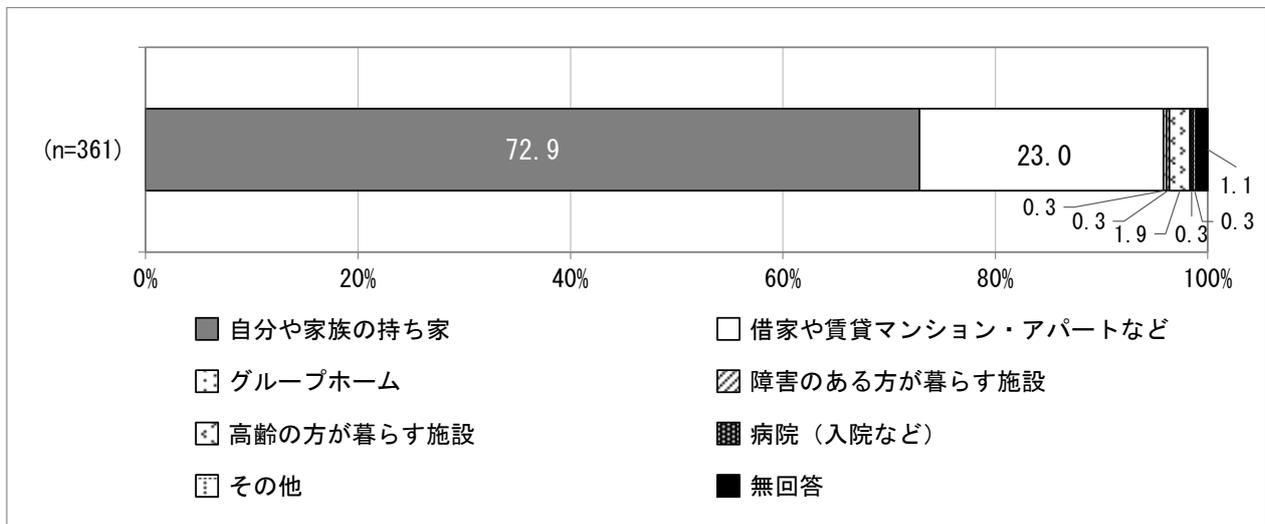


介護保険の認定は、「認定を受けていない」(74.5%)が最も高く、次いで「要支援1」(5.0%)、「要支援2」と「要介護2」がともに3.0%となっている。

## 2 住まいと暮らしについて

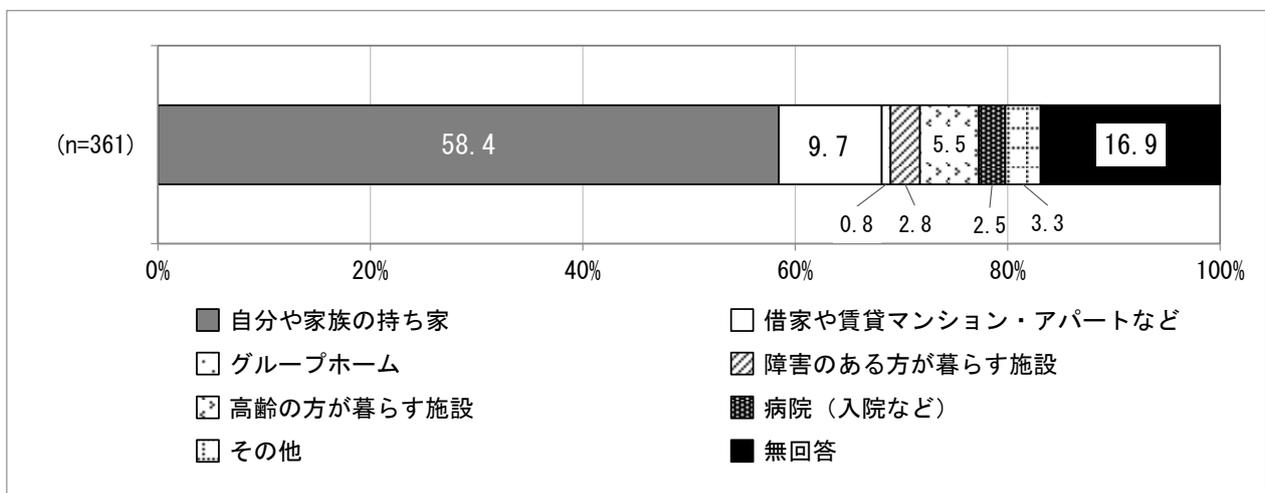
問8 お住まいについておたずねします。

(ア) 現在、あなたはどこにお住まいですか。(SA)



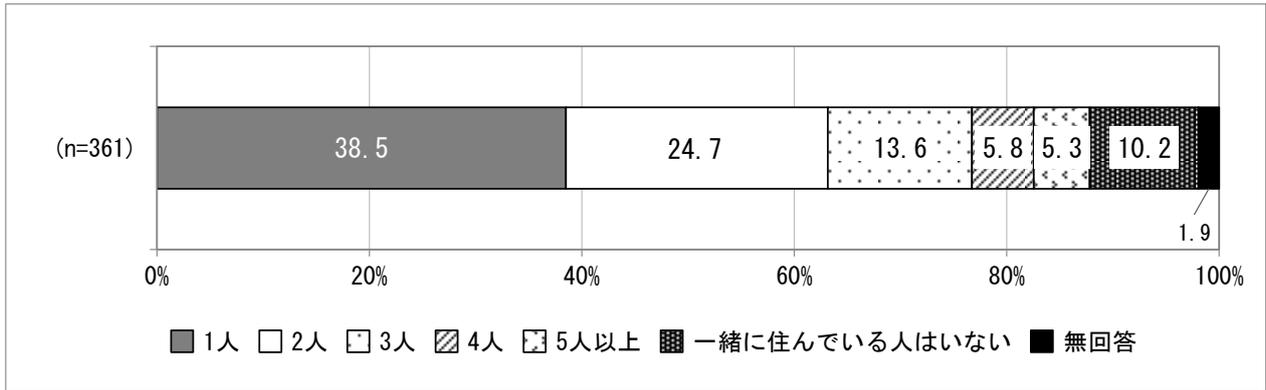
現在の住まいは、「自分や家族の持ち家」(72.9%)が最も高く、次いで「借家や賃貸マンション・アパート」(23.0%)となっている。

(イ) 将来は、どこで暮らしたいと思っていますか。(SA)



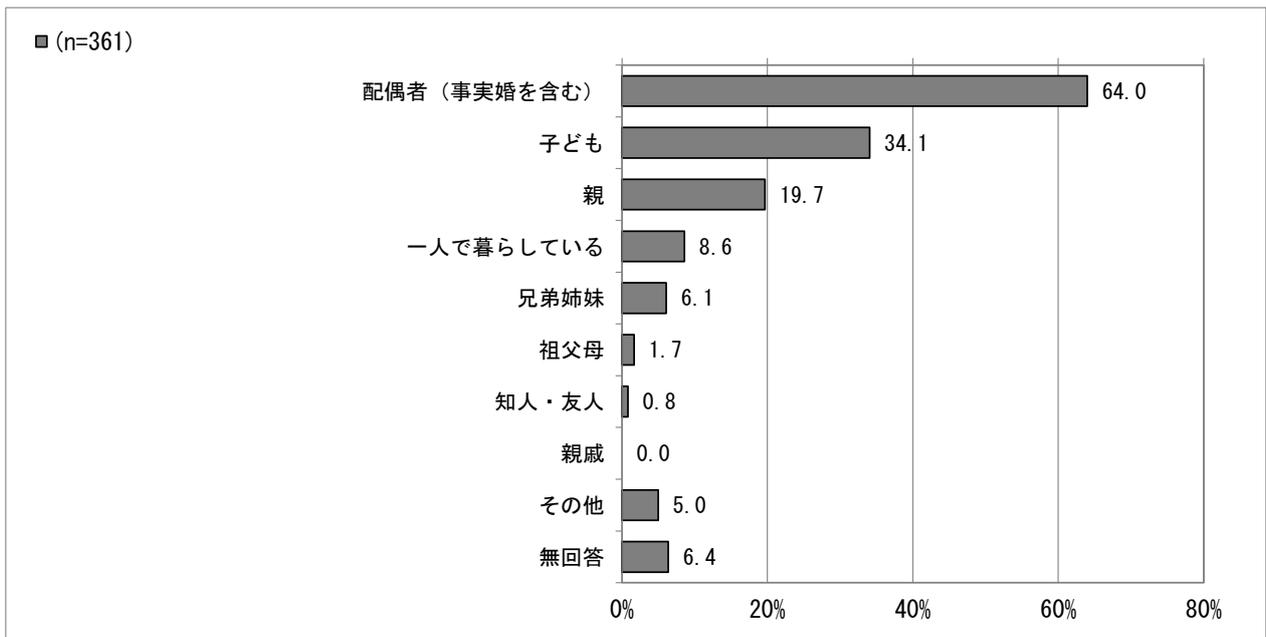
将来の居住希望は、「自分や家族の持ち家」(58.4%)が最も高く、次いで「借家や賃貸マンション・アパート」(9.7%)、「高齢の方が暮らす施設」(5.5%)となっている。

問9 あなたと一緒に住んでいる人は何人いますか。(本人以外の人数)(SA)



一緒に住んでいる人数は「1人」(38.5%)が最も高く、次いで「2人」(24.7%)、「3人」(13.6%)となっている。

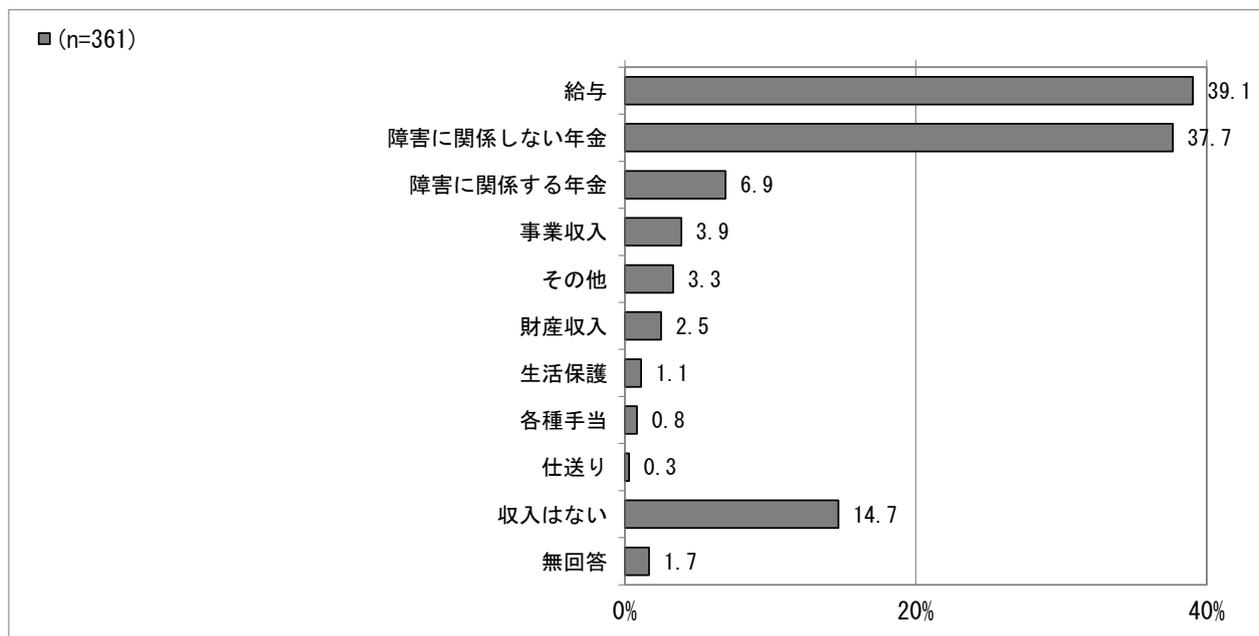
問10 あなたと一緒に住んでいる人は誰ですか。(MA)



同居者は、「配偶者(事実婚を含む)」(64.0%)が最も高く、次いで「子ども」(34.1%)、「親」(19.7%)となっている。

### 3 所得の状況について

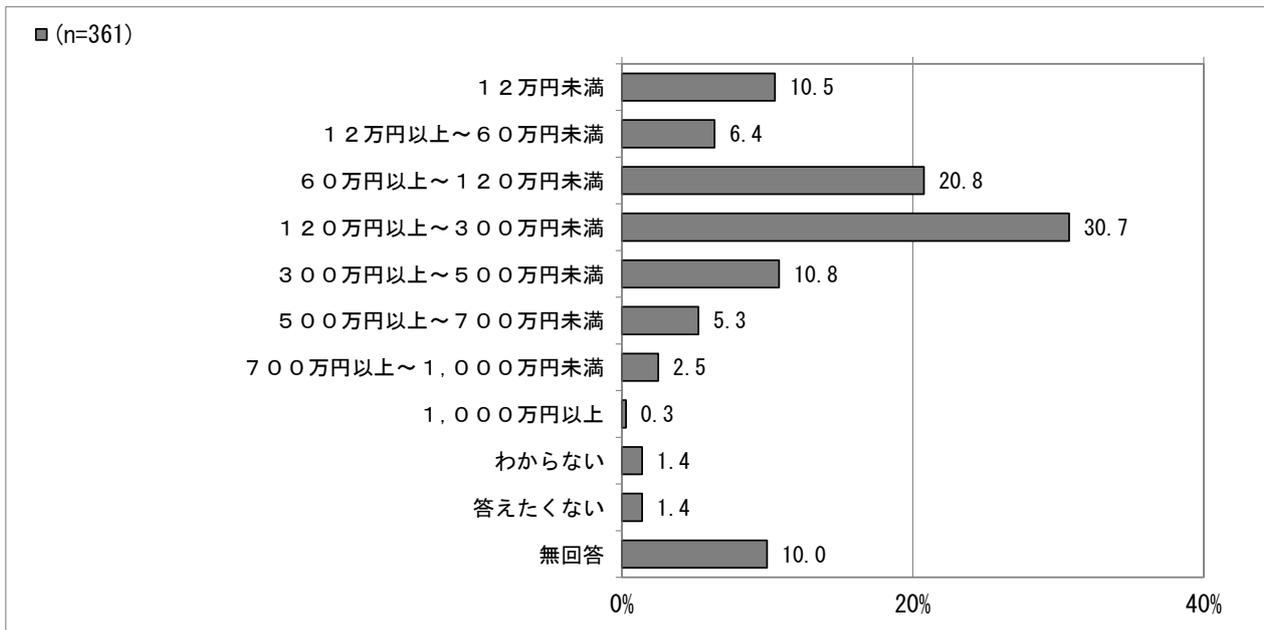
問 11 あなたが得ている収入は次のうちどれですか。(MA)



得ている収入は、「給与」(39.1%)が最も高く、次いで「障害に関係する年金」(37.7%)、「収入はない」(14.7%)となっている。

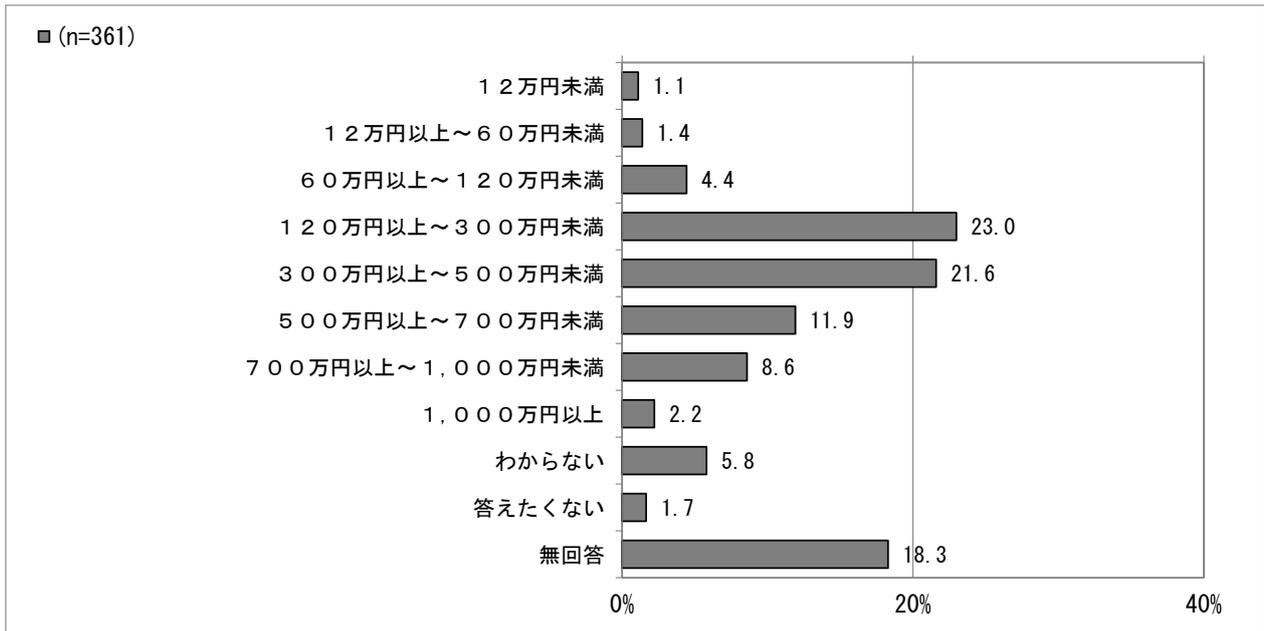
問12 所得についておたずねします。

(ア) あなたの年収(税込)はだいたいどのくらいですか。(SA)



年収は、「120万円以上～300万円未満」(30.7%)が最も高く、次いで「60万円以上～120万円未満」(20.8%)、「300万円以上～500万円未満」(10.8%)となっている。

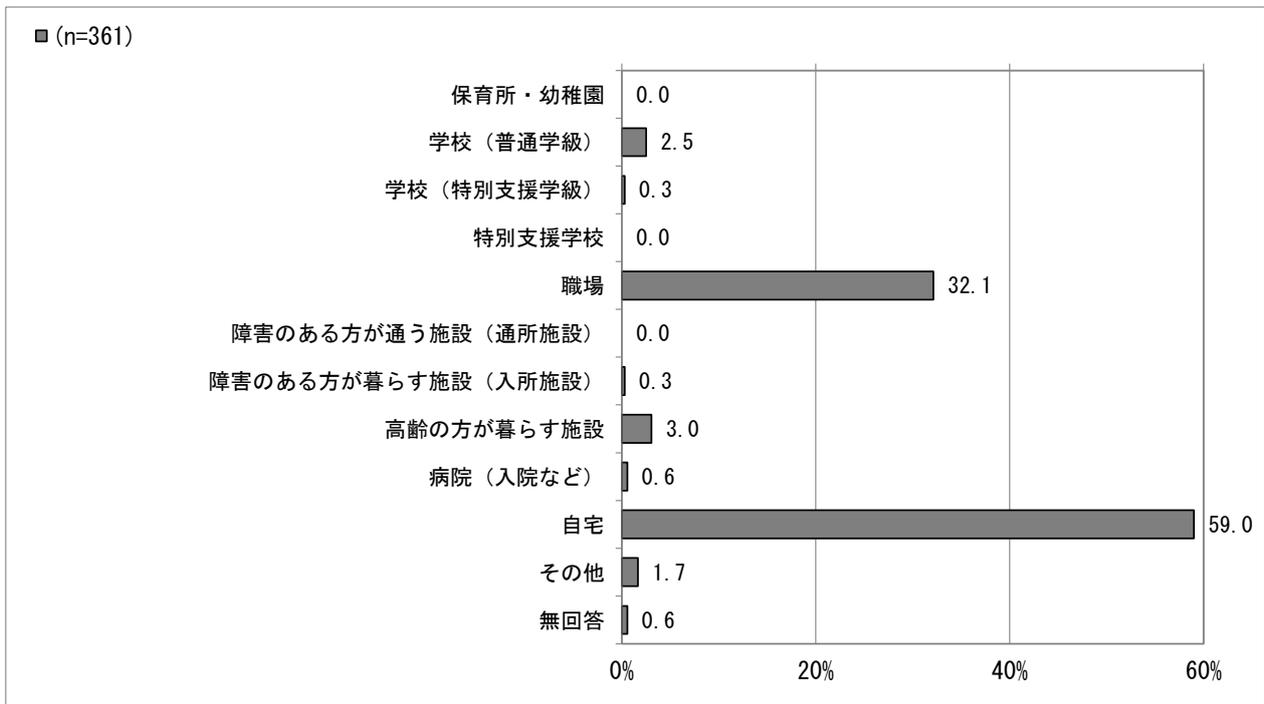
(イ) 一緒に暮らしている家族全体の年収(税込)はだいたいどのくらいですか。(本人の年収含む)(SA)



家族全体の年収は、「120万円以上～300万円未満」(23.0%)が最も高く、次いで「300万円以上～500万円未満」(21.6%)、「500万円以上～700万円未満」(11.9%)となっている。

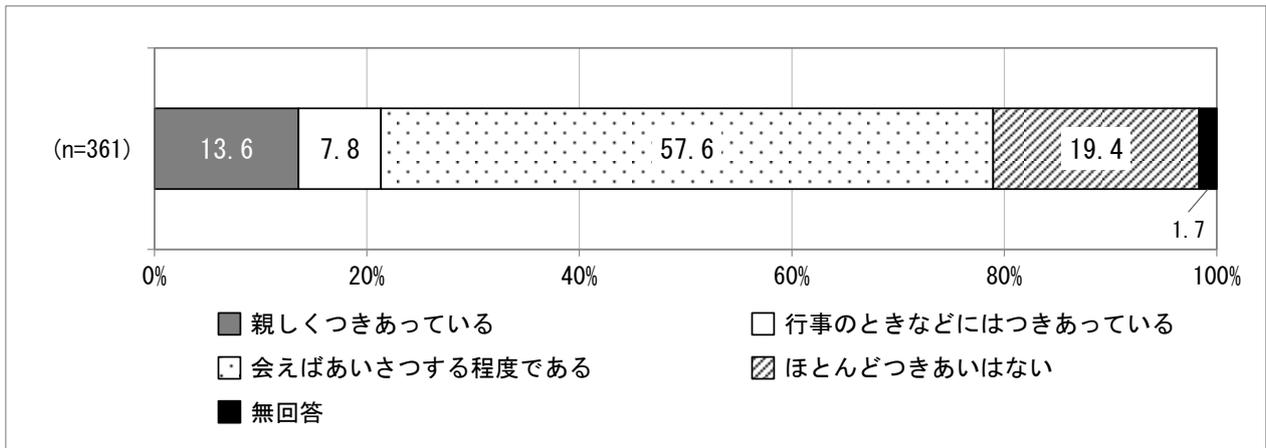
## 4 日常生活について

問 13 平日の日中の過ごし方についておたずねします。あなたが主に過ごしている場所はどこですか。(SA)



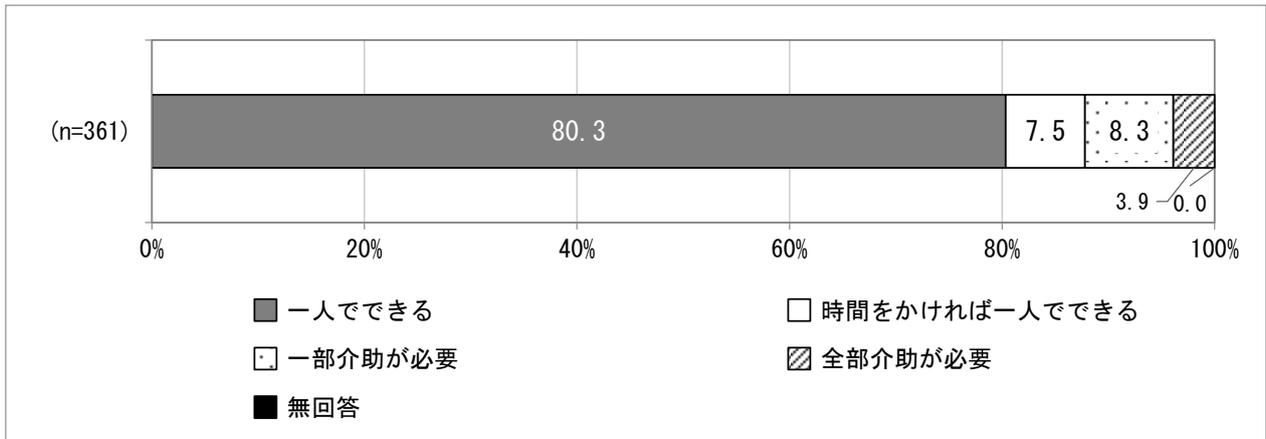
平日日中に主に過ごす場所は、「自宅」(59.0%)が最も高く、次いで「職場」(32.1%)、「高齢の方が暮らす施設」(3.0%)となっている。

問 14 あなたは隣近所の人とどのようにつきあっていますか。(SA)



隣近所の人とのつきあいかたは、「会えばあいさつする程度である」(57.6%)が最も高く、次いで「ほとんどつきあいはない」(19.4%)、「親しくつきあっている」(13.6%)となっている。

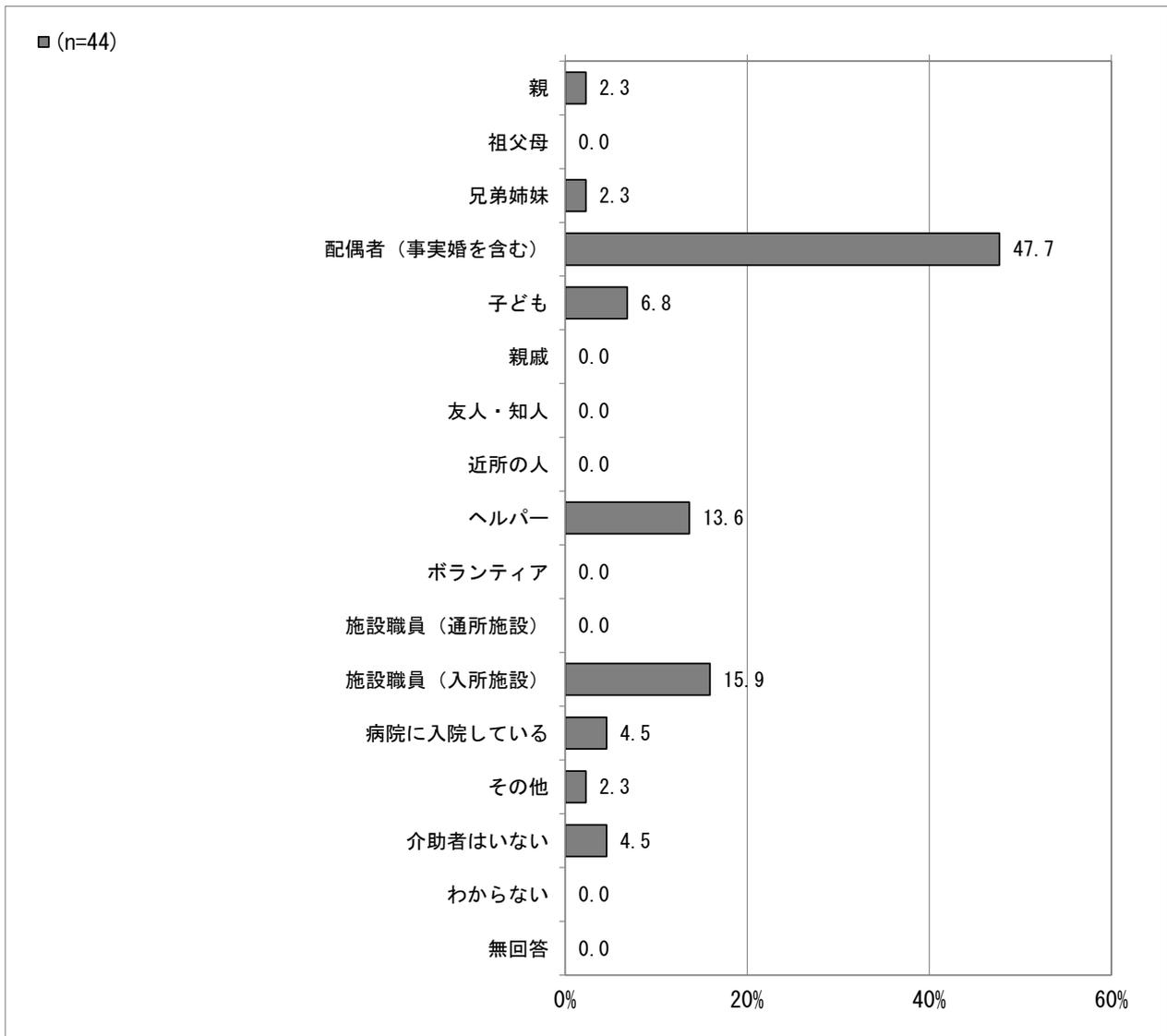
問 15 あなたは、食事や排泄など日常生活における動作を、自分ひとりでできますか。(現在所持している補装具などを使用した状態で回答) (SA)



日常生活における動作は、「一人でできる」(80.3%)が最も高く、次いで「一部介助が必要」(8.3%)、「時間をかければ一人でできる」(7.5%)となっている。

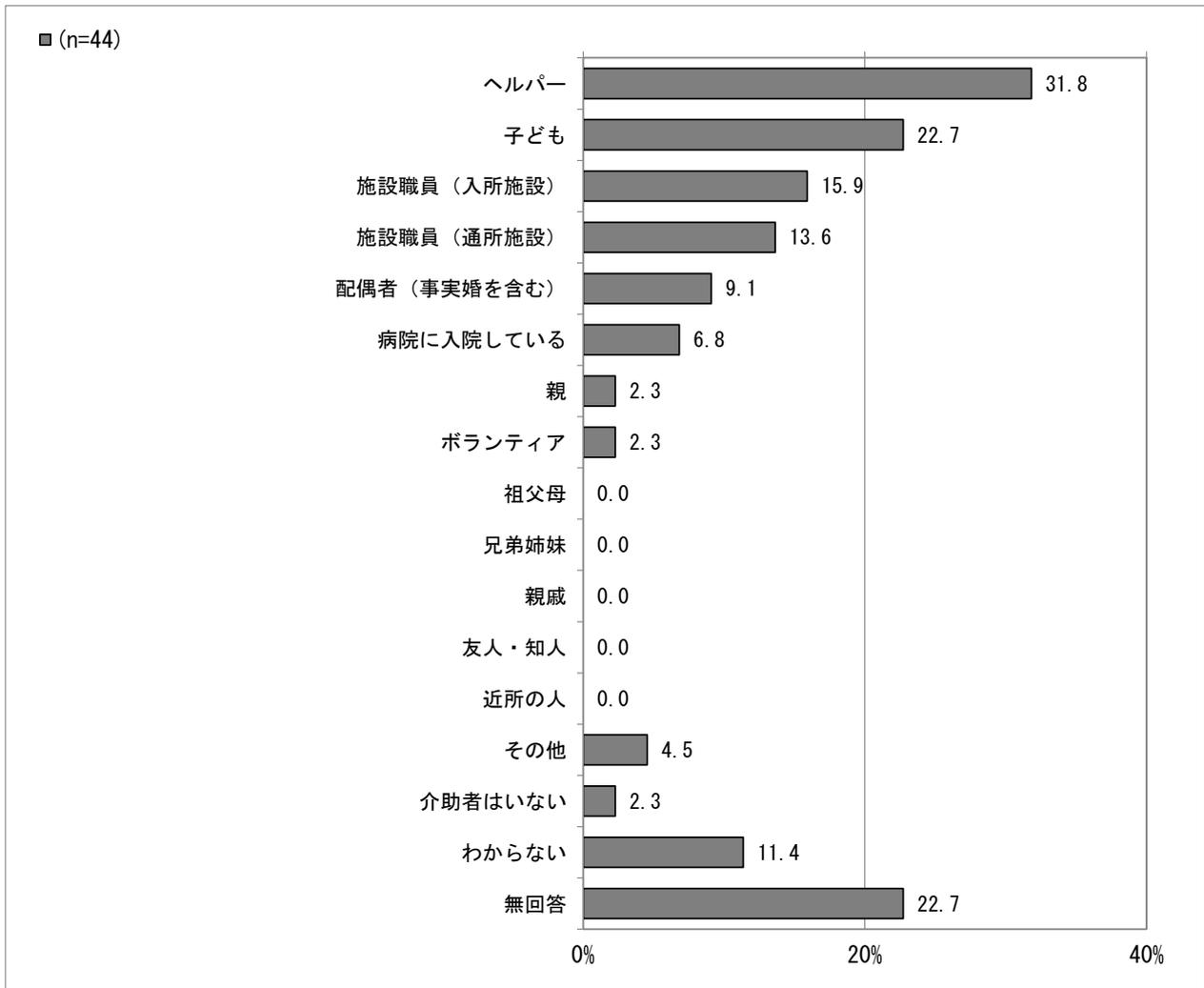
問16 問15で「一部介助が必要」または「全部介助が必要」を選んだ方におたずねします

(ア) あなたの主な介助者は誰ですか。(SA)



主な介助者は、「配偶者 (事実婚を含む)」(47.7%) が最も高く、次いで「施設職員 (入所施設)」(15.9%)、「ヘルパー」(13.6%) となっている。

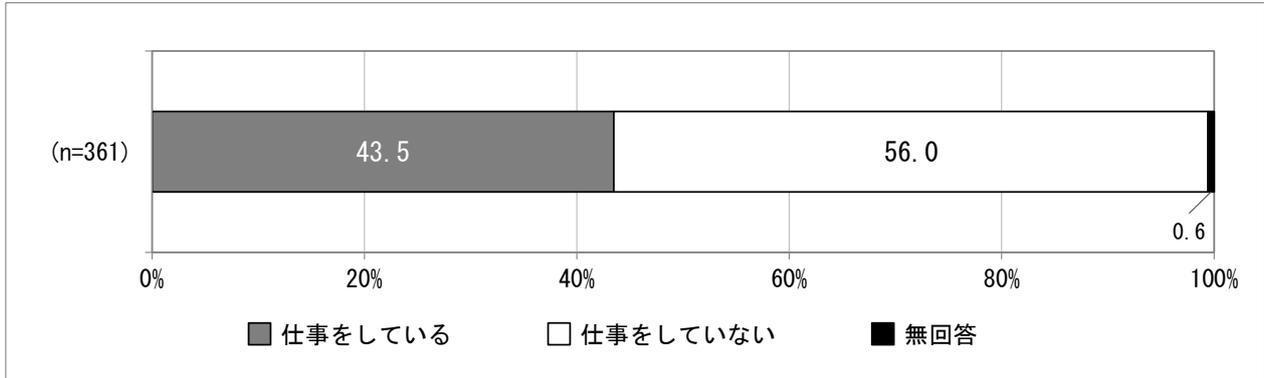
(イ) もし現在の介助者に頼むことができなくなったら、誰に頼みますか。(MA)



現在の介助者に頼むことができなくなったら、誰に頼むかは、「ヘルパー」(31.8%)が最も高く、次いで「子ども」(22.7%)、「施設職員(入所施設)」(15.9%)となっている。

## 5 就労の状況について

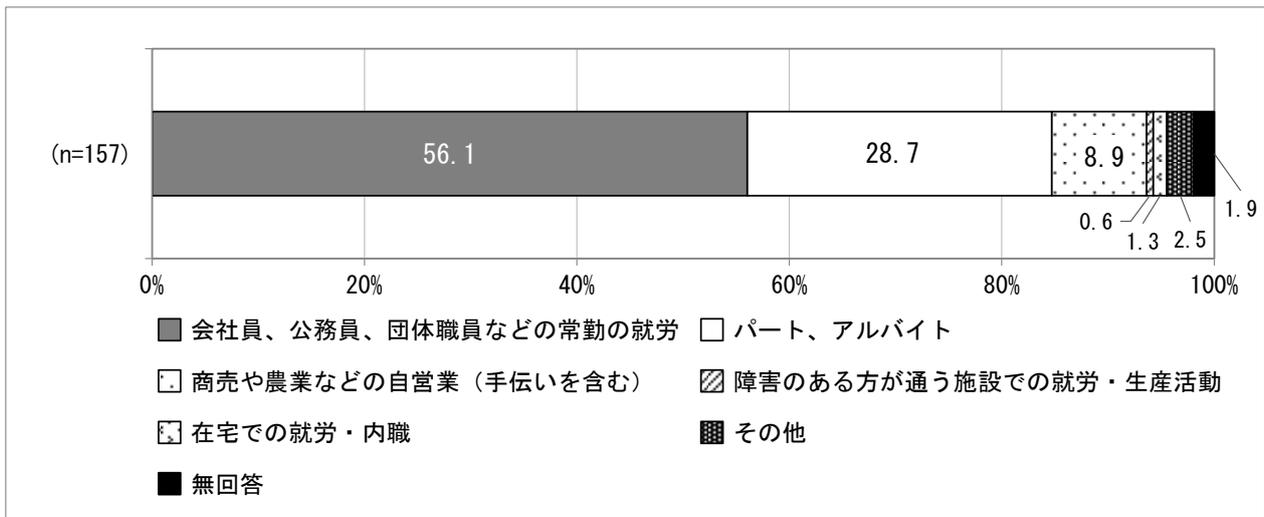
問17 現在、あなたは仕事をしていますか。(SA)



現在仕事は、「仕事をしている」(43.5%)、「仕事をしていない」(56.0%)となっている。

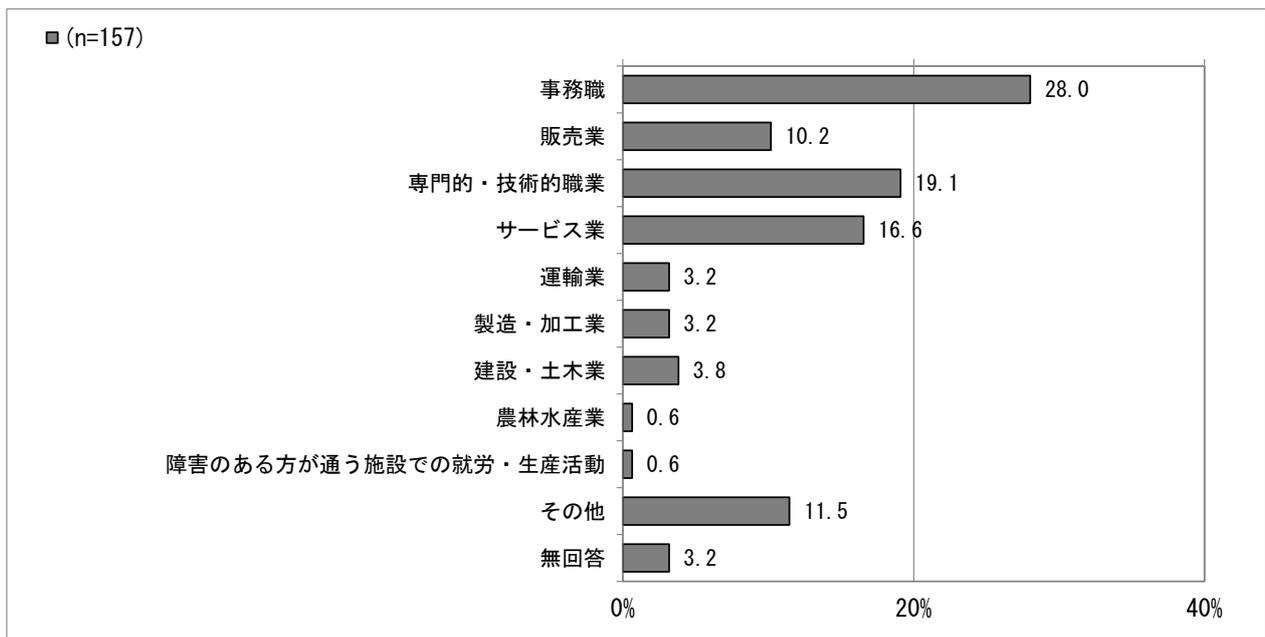
問18 問17で「仕事をしている」を選んだ方におたずねします。

(1) あなたは主にどのような仕事に就いていますか。(SA)



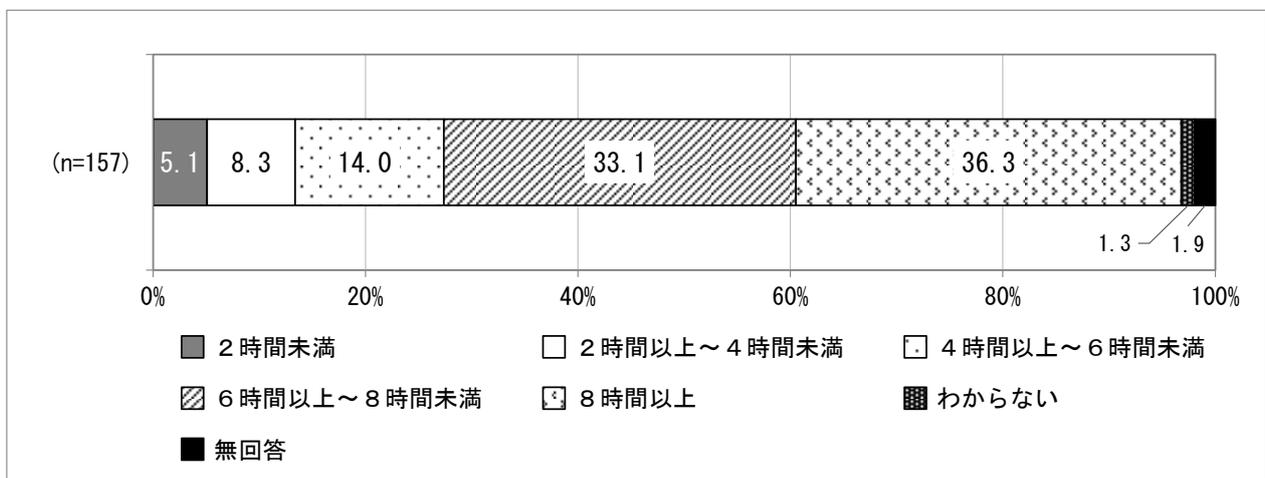
現在の仕事は、「会社員、公務員、団体職員などの常勤の就労」(56.1%)が最も高く、次いで「パート、アルバイト」(28.7%)、「商売や農業などの自営業(手伝いを含む)」(8.9%)となっている。

(2) あなたは主にどのような内容の仕事をしていますか。(SA)



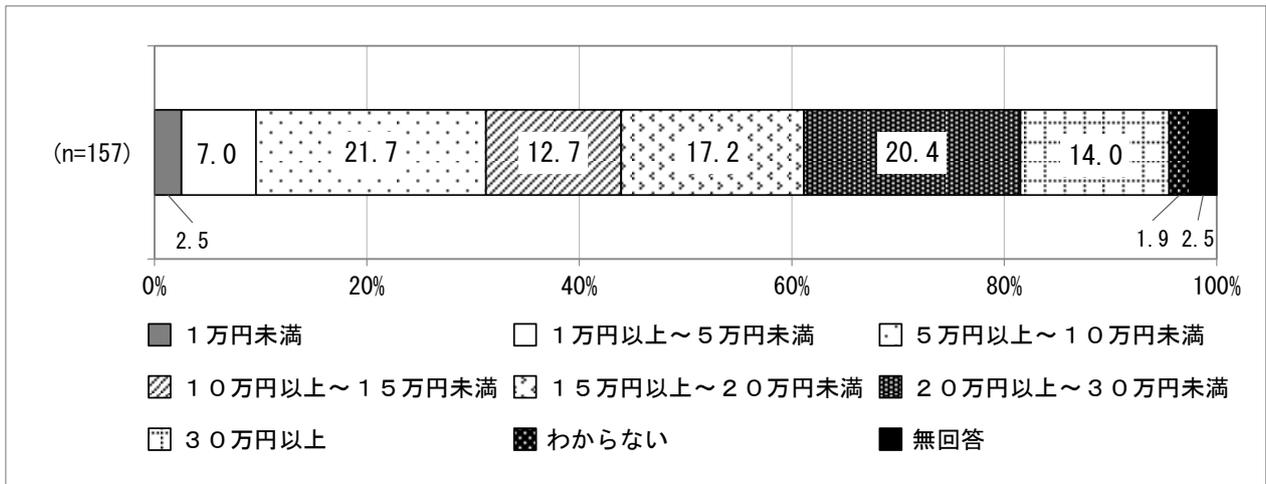
仕事の内容は、「事務職」(28.0%)が最も高く、次いで「専門的・技術的職業」(19.1%)、「サービス業」(16.6%)となっている。

(3) あなたの1日あたりの仕事の時間はどのくらいですか。(SA)



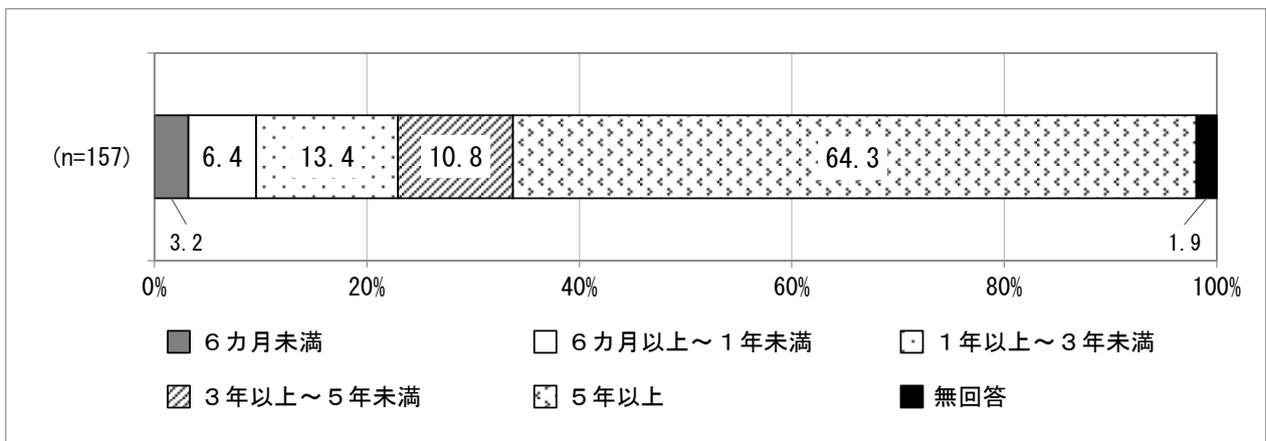
1日あたりの仕事の時間は、「8時間以上」(36.3%)が最も高く、次いで「6時間以上～8時間未満」(33.1%)、「4時間以上～6時間未満」(14.0%)となっている。

(4) あなたの仕事による収入は月額どのくらいですか。(SA)



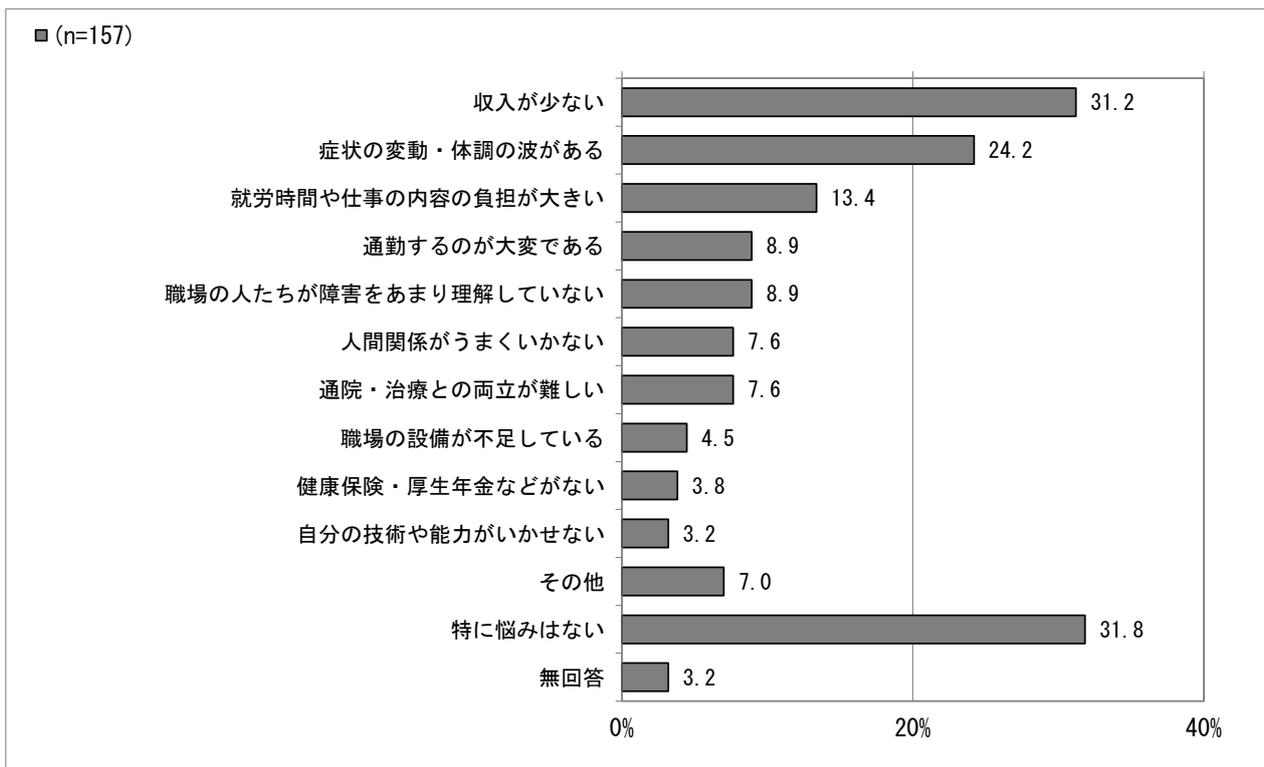
月額収入は、「5万円以上～10万円未満」(21.7%)が最も高く、次いで「20万円以上～30万円未満」(20.4%)、「15万円以上～20万円未満」(17.2%)となっている。

(5) あなたは現在の仕事をどのくらいの期間続けていますか。(SA)



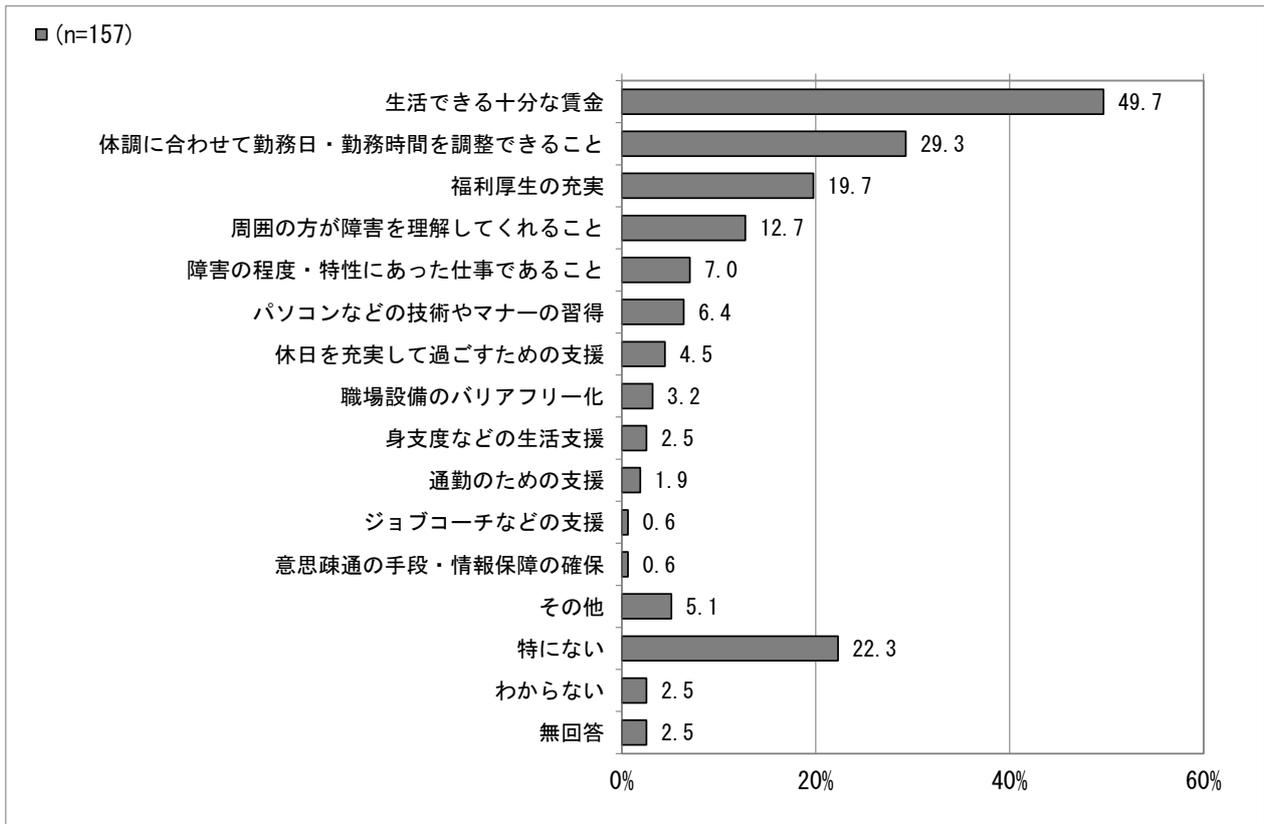
現在の仕事の期間は、「5年以上」(64.3%)が最も高く、次いで「1年以上～3年未満」(13.4%)、「3年以上～5年未満」(10.8%)となっている。

(6) あなたは仕事をしている上で、何か悩みや不満などがありますか。(MA)



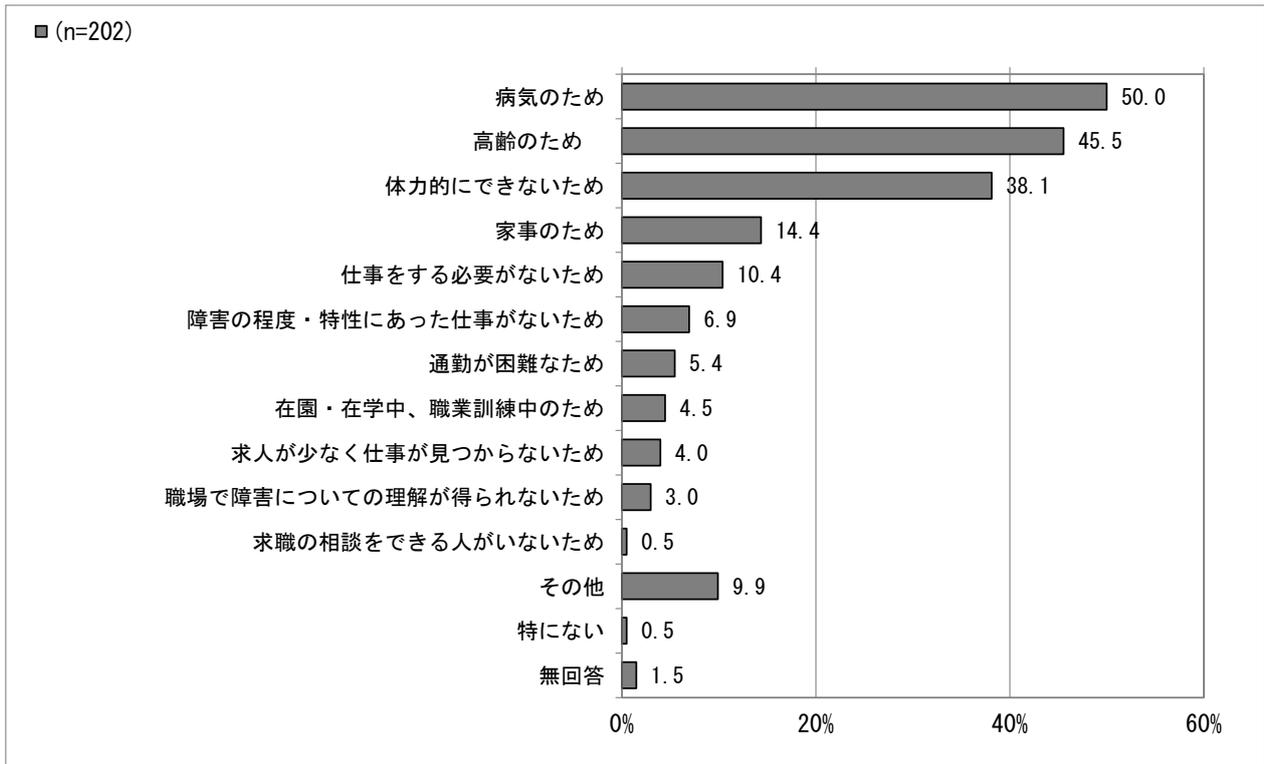
仕事をしている上での悩みや不満は、「特に悩みはない」(31.8%)が最も高く、次いで「収入が少ない」(31.2%)、「症状の変動・体調の波がある」(24.2%)となっている。

## (7) あなたが仕事を続けるためには何が必要ですか。(MA)



仕事を続けるために必要なものは、「生活できる十分な賃金」(49.7%)が最も高く、次いで「体調に合わせて勤務日・勤務時間を調整できること」(29.3%)、「特にない」(22.3%)となっている。

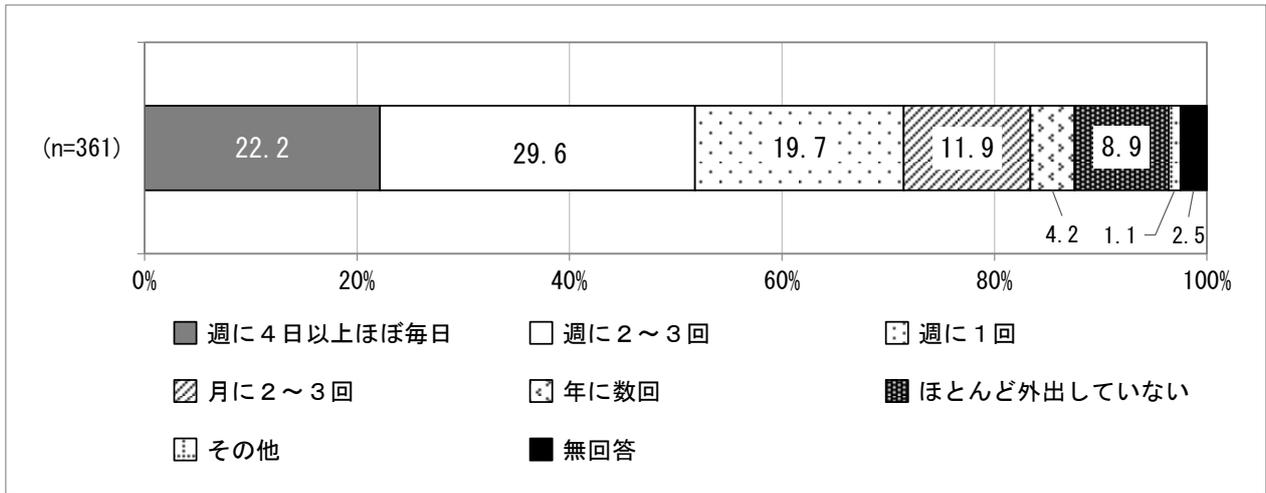
問 19 問 17 で「仕事をしていない」を選んだ方におたずねします。現在、あなたが仕事を  
していない理由は何ですか。(MA)



現在仕事をしていない理由は、「病気のため」(50.0%) が最も高く、次いで「高齢のため」(45.5%)、「体力的にできないため」(38.1%) となっている。

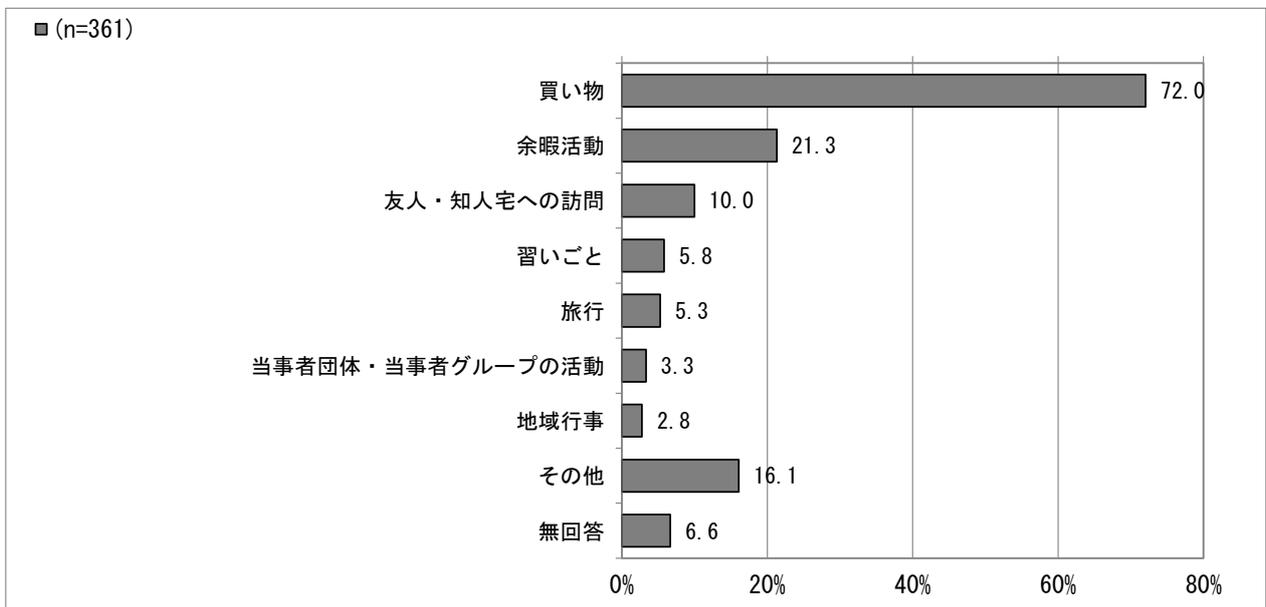
## 6 社会参加について

問20 あなたはどのくらいの頻度で外出していますか。(通勤、通学、通園、通院、通所での外出は除く)(SA)



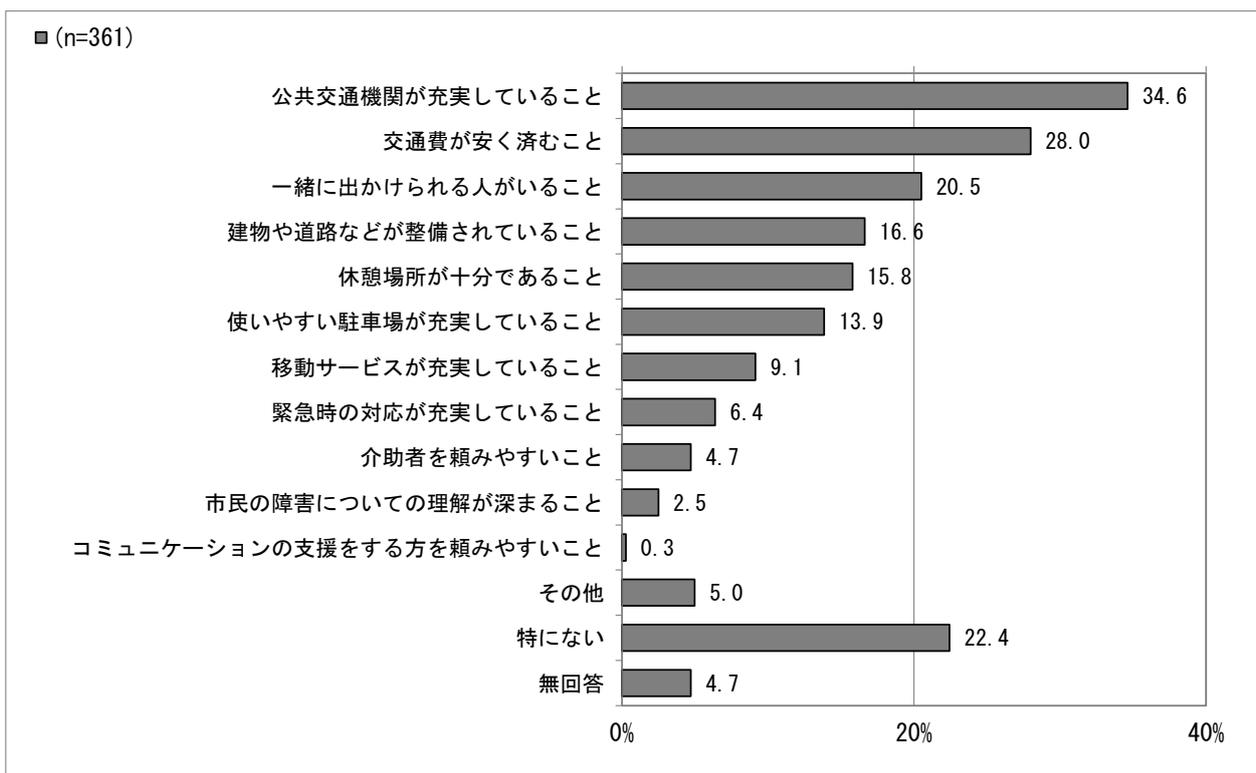
外出頻度は、「週に2~3回」(29.6%)が最も高く、次いで「週に4日以上ほぼ毎日」(22.2%)、「週に1回」(19.7%)となっている。

問21 あなたの主な外出の目的は何ですか。(通勤、通学、通園、通院、通所での外出は除く)(MA)



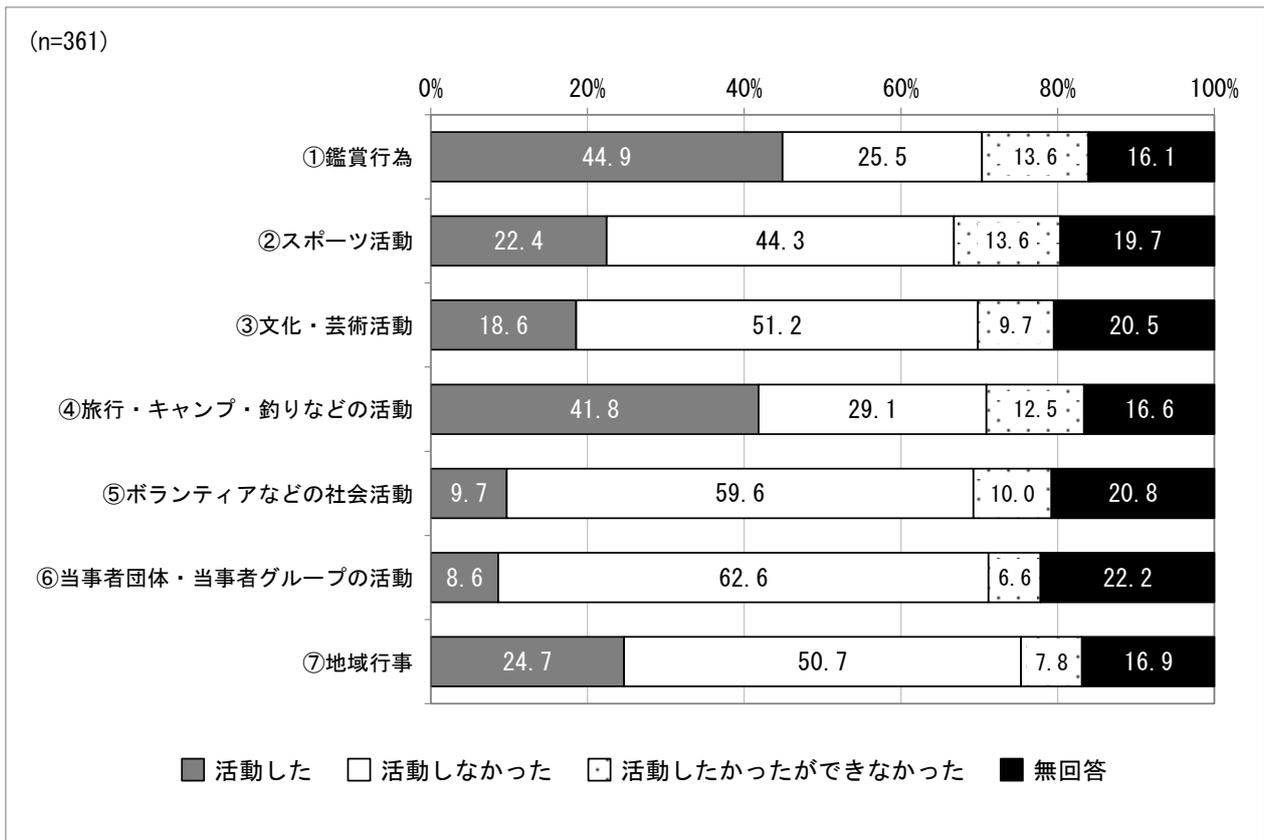
主な外出の目的は、「買い物」(72.0%)が最も高く、次いで「余暇活動」(21.3%)、「その他」(16.1%)となっている。

問 22 あなたがより外出しやすくなるためには何が必要ですか。(MA)



より外出しやすくなるために必要なものは、「公共交通機関が充実していること」(34.6%)が最も高く、次いで「交通費が安く済むこと」(28.0%)、「一緒に出かけられる人がいること」(20.5%)となっている。

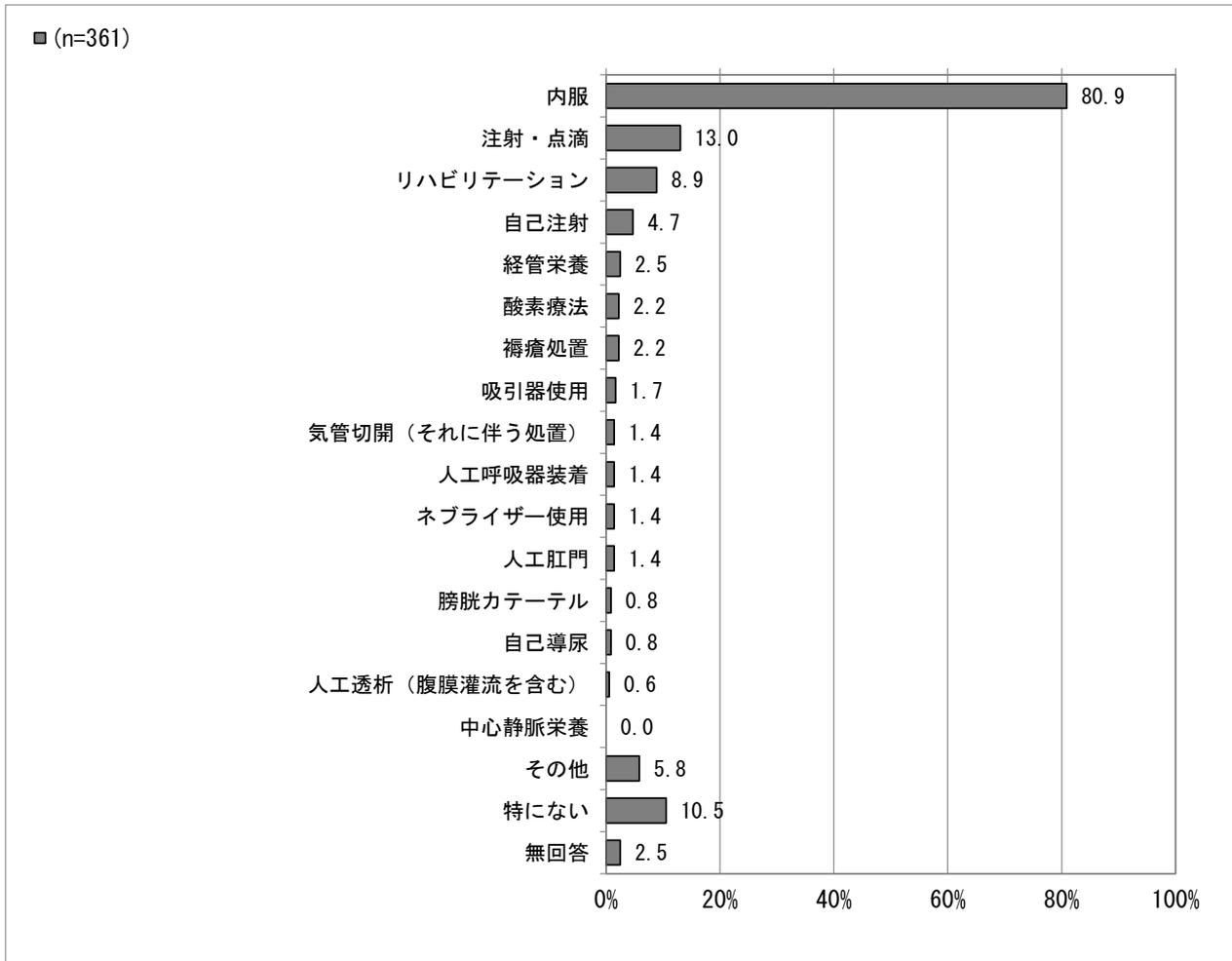
問 23 あなたは過去一年間に、どのような余暇活動、スポーツ、趣味、学習や社会活動などをしましたか。(SA)



過去一年間に行った活動などは、「①鑑賞行為」(44.9%)が最も高く、次いで「④旅行・キャンプ・釣りなどの活動」(41.8%)、「⑦地域行事」(24.7%)となっている。

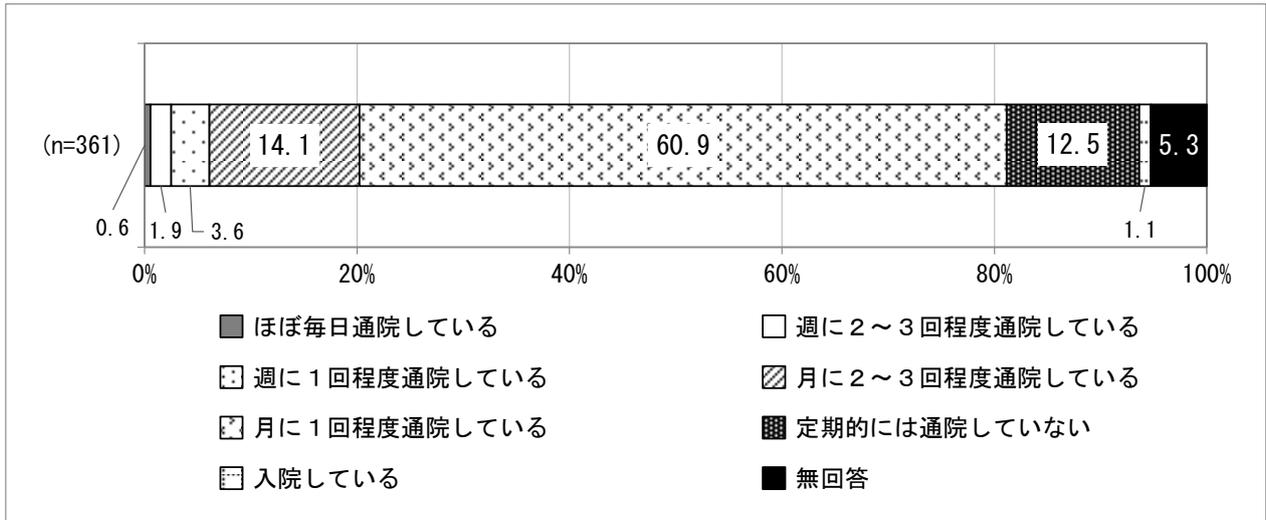
## 7 健康や医療について

問 24 現在の在宅での治療や、医療処置状況についてあてはまるものは次のうちどれですか。(MA)



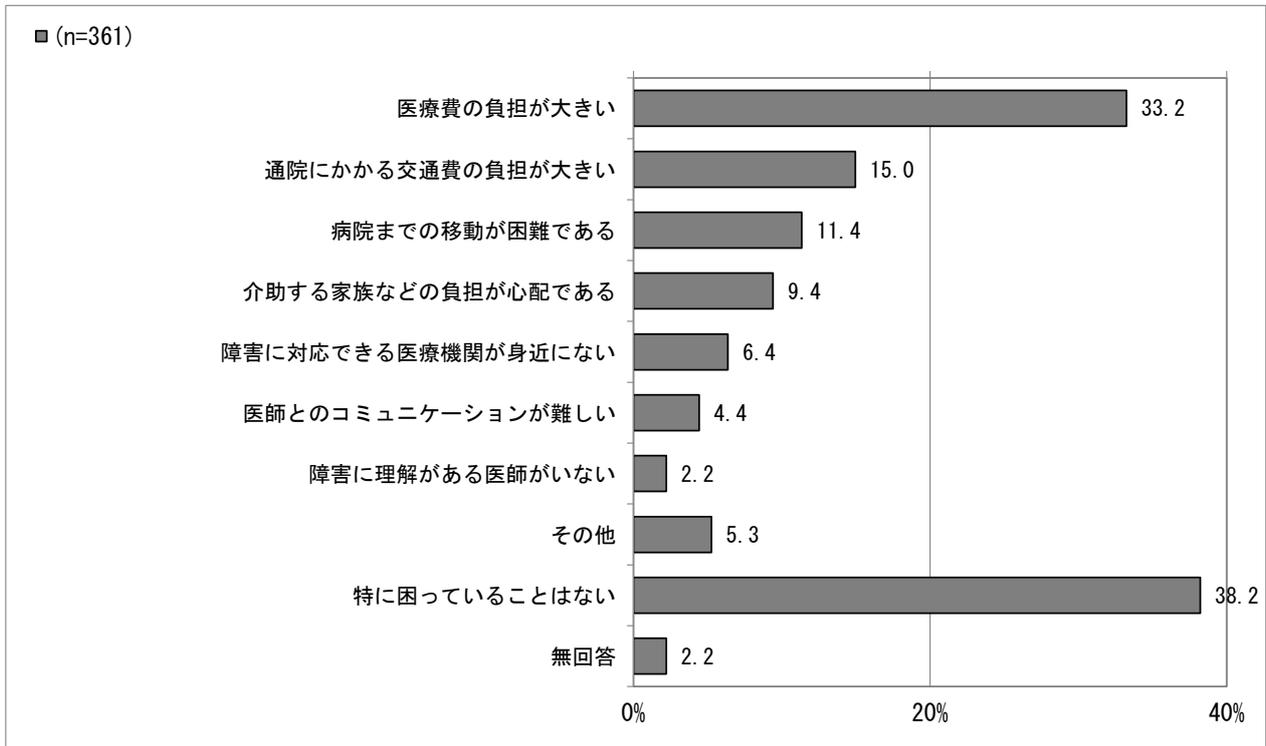
源崎の在宅での治療や医療処置状況は、「内服」(80.9%)が最も高く、次いで「注射・点滴」(13.0%)、「特にない」(10.5%)となっている。

問25 あなたは普段、定期的に通院していますか。(SA)



定期的な通院は、「月に1回程度通院している」(60.9%)が最も高く、次いで「月に2~3回程度通院している」(14.1%)、「定期的には通院していない」(12.5%)となっている。

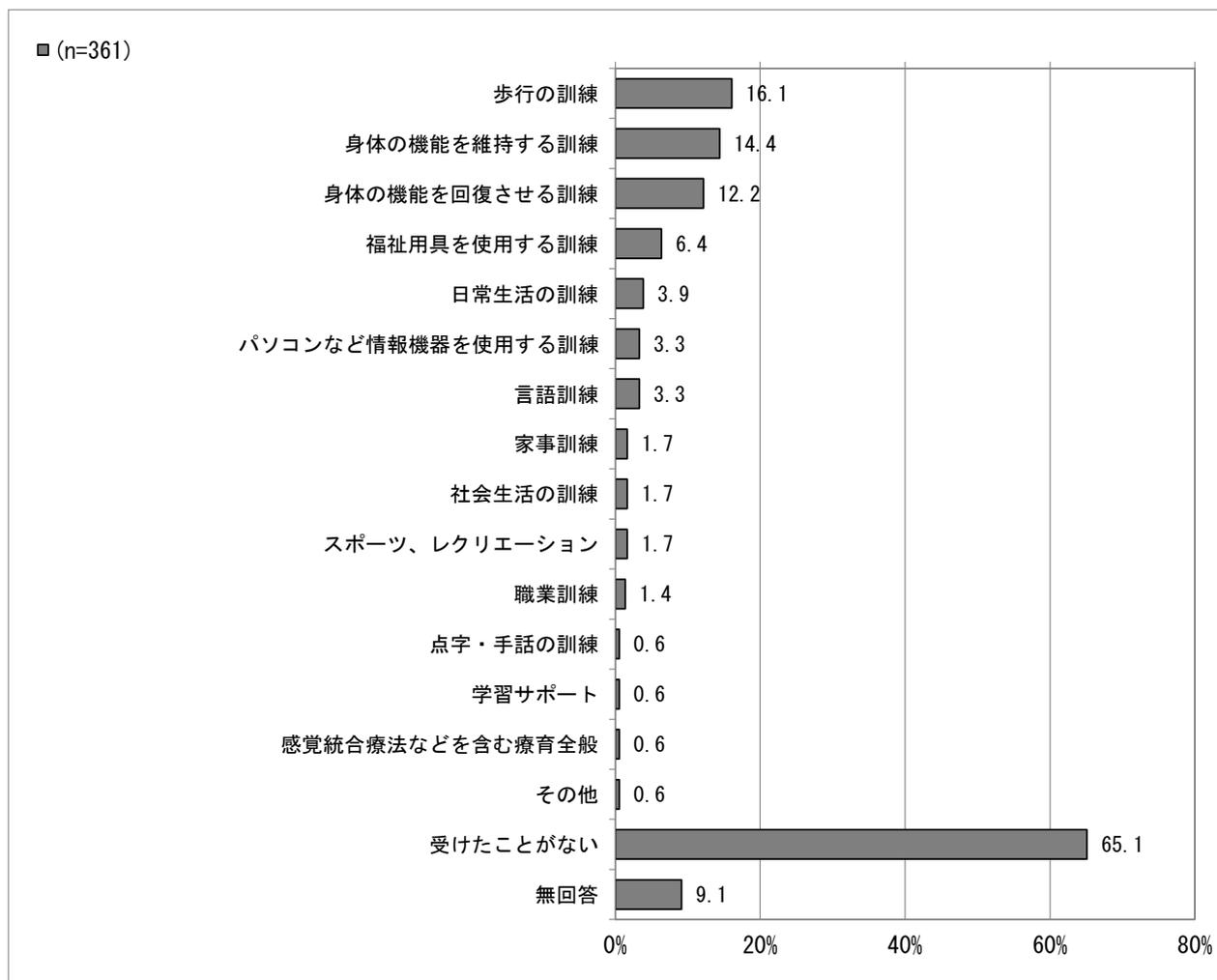
問26 あなたが医療機関を利用する際に困っていることは何ですか。(MA)



医療機関利用時に困っていることは、「特に困っていることはない」(38.2%)が最も高く、次いで「医療費の負担が大きい」(33.2%)、「通院にかかる交通費の負担が大きい」(15.0%)となっている。

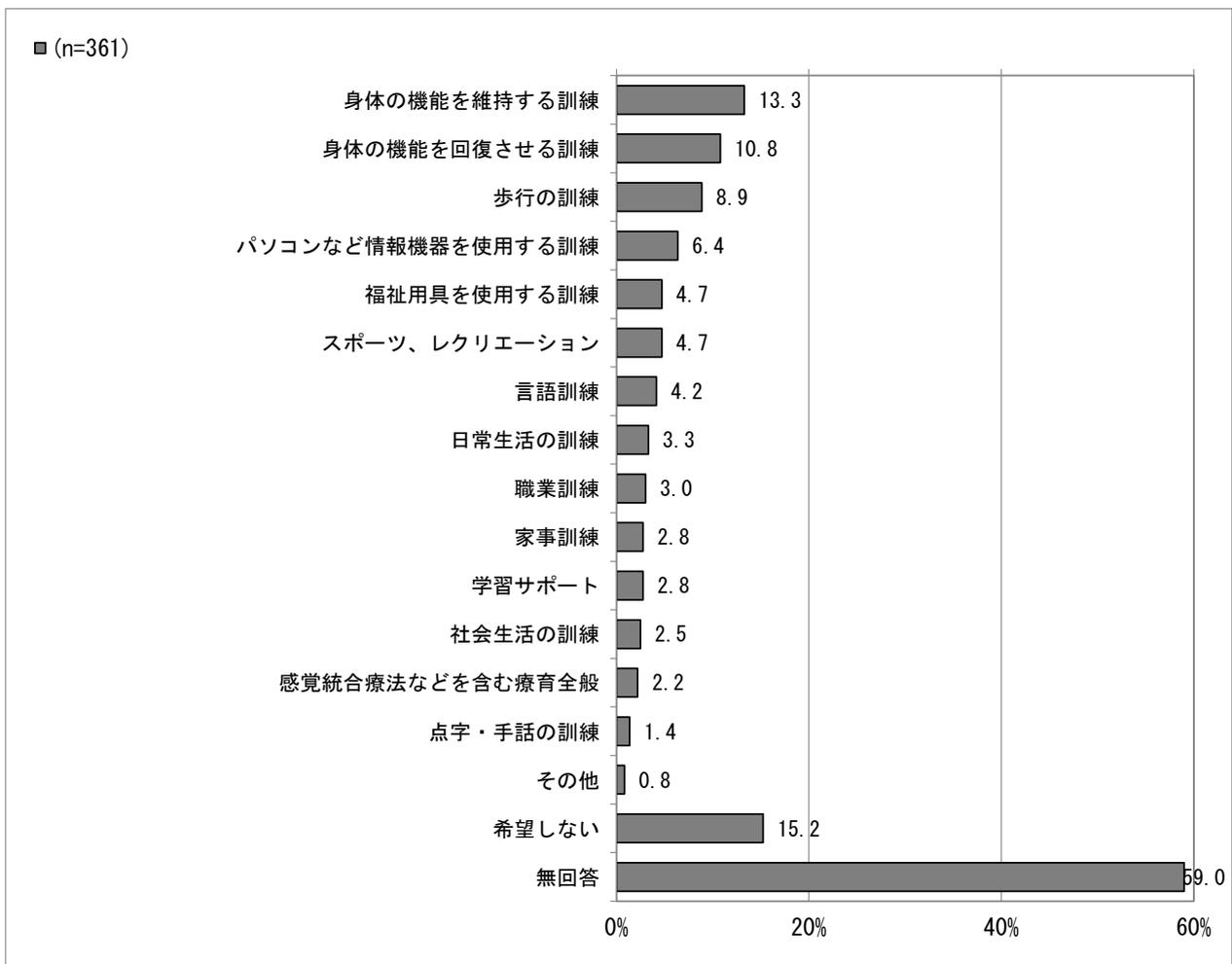
問 27 訓練などについておたずねします。

(ア) あなたは、どのような訓練・リハビリテーション・療育を受けたことがありますか。  
(MA)



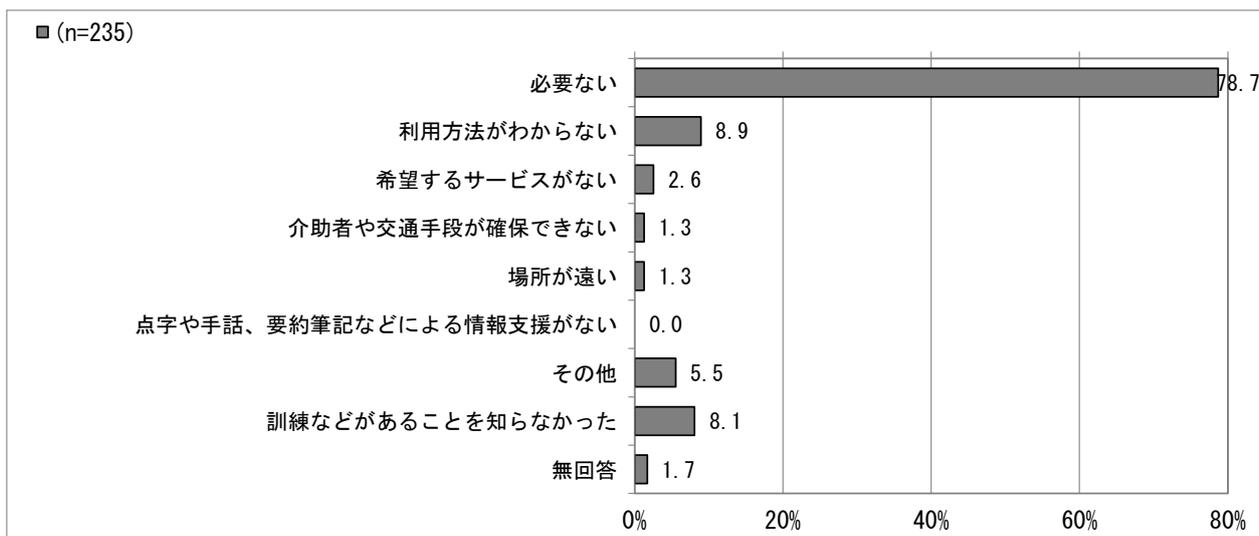
受けたことのある訓練などは、「受けたことがない」(65.1%)が最も高く、次いで「歩行の訓練」(16.1%)、「身体の機能を維持する訓練」(14.4%)となっている。

## (イ) 今後どのような訓練・リハビリテーション・療育を受けたいと思いますか。(MA)



今後受けたい訓練などは、「希望しない」(15.2%)が最も高く、次いで「身体機能を維持する訓練」(13.3%)、「身体機能を回復させる訓練」(10.8%)となっている。

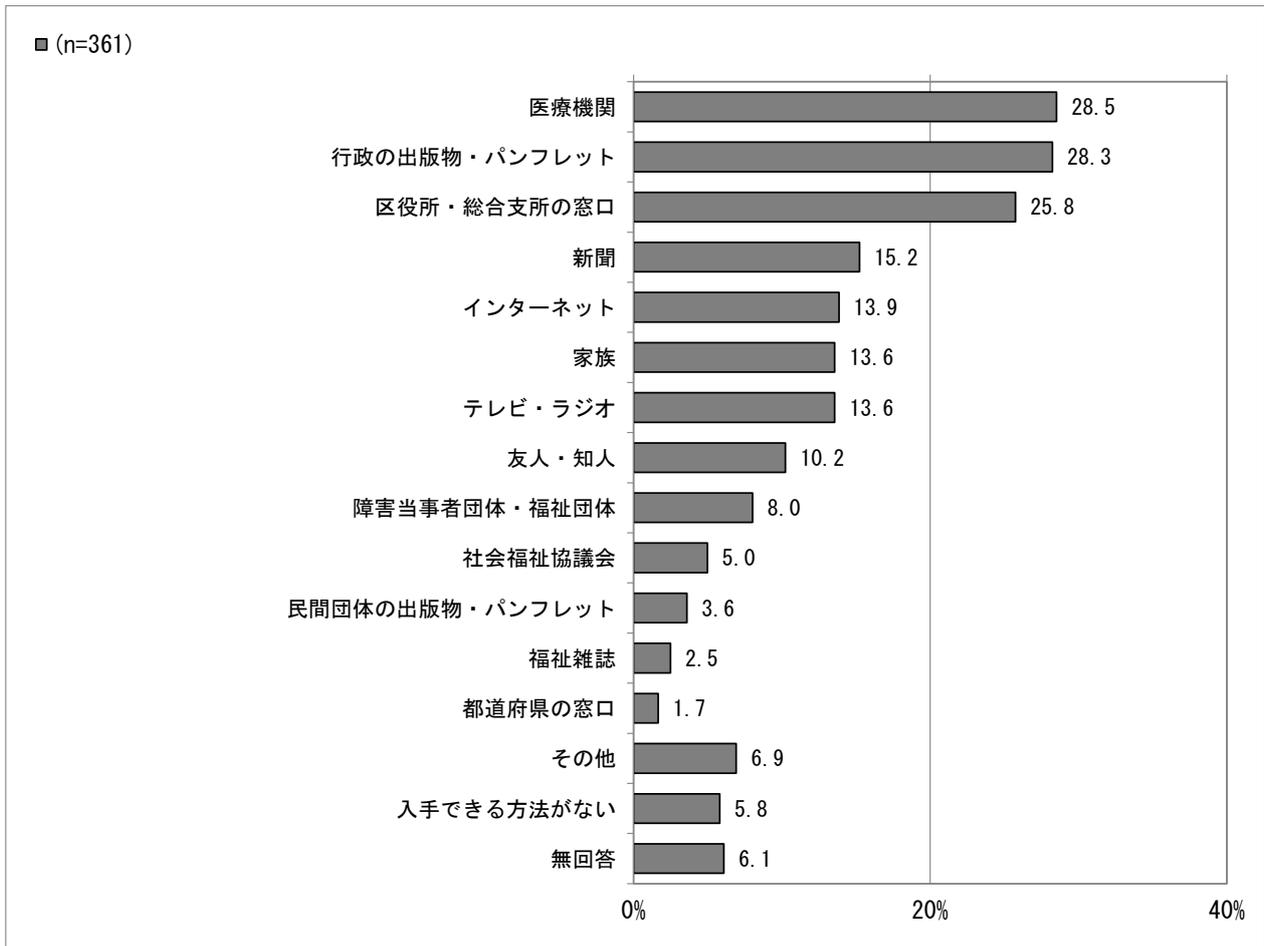
問 28 問 27 で「受けたことがない」を選んだ方におたずねします。受けたことがない理由は何ですか。(MA)



受けたことがない理由は、「必要ない」(78.7%)が最も高く、次いで「利用方法がわからない」(8.9%)、「訓練などがあることを知らなかった」(8.1%)となっている。

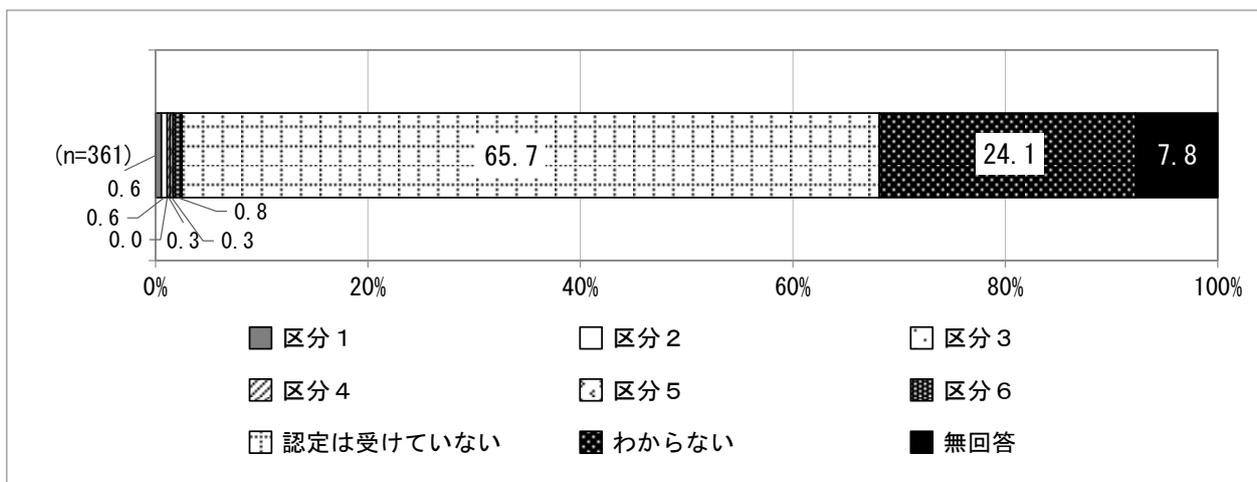
## 8 福祉サービスについて

問29 あなたはどのようなところから福祉サービスの情報を得ていますか。(MA)



情報の入手先は、「医療機関」(28.5%)が最も高く、次いで「行政の出版物・パンフレット」(28.3%)、「区役所・総合支所の窓口」(25.8%)となっている。

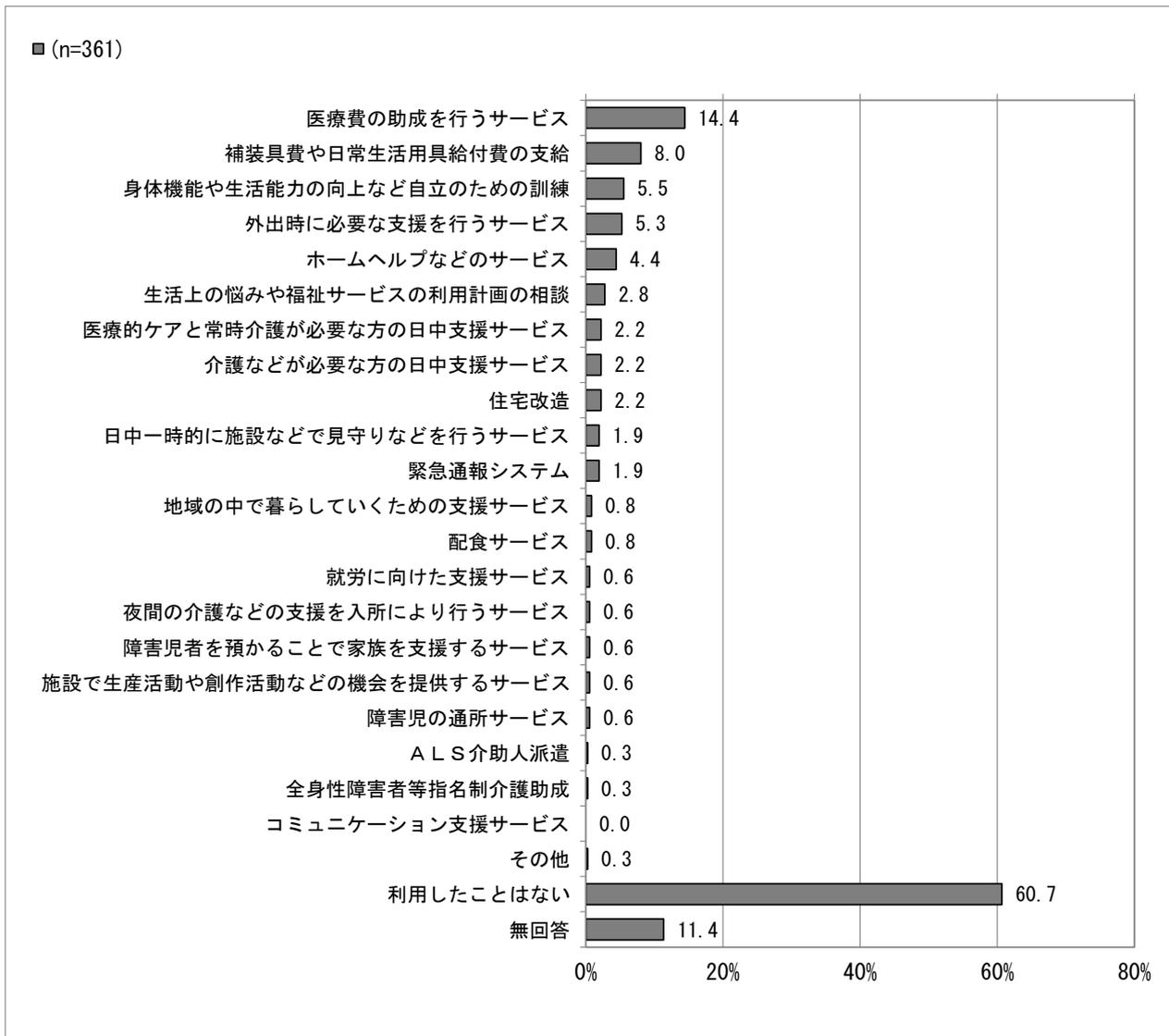
問 30 あなたは「障害のある方の福祉サービス」を利用するための、障害支援区分認定を受けていますか。(SA)



区分認定は、「認定は受けていない」(65.7%)が最も高く、次いで「わからない」(24.1%)となっている。

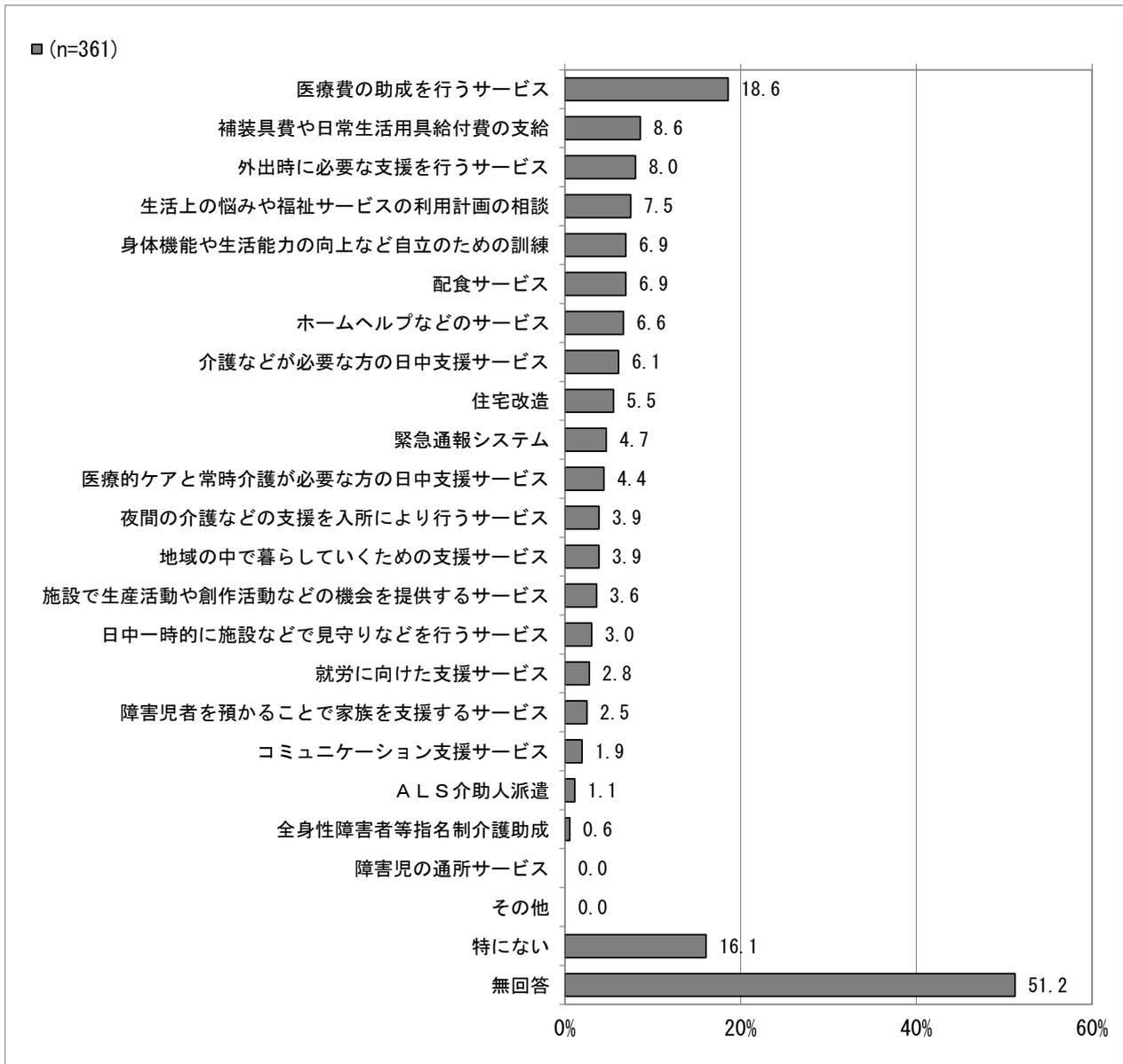
問31 「障害のある方の福祉サービス」についておたずねします。

(ア) あなたはこれまでにどのようなサービスを利用したことがありますか。(MA)



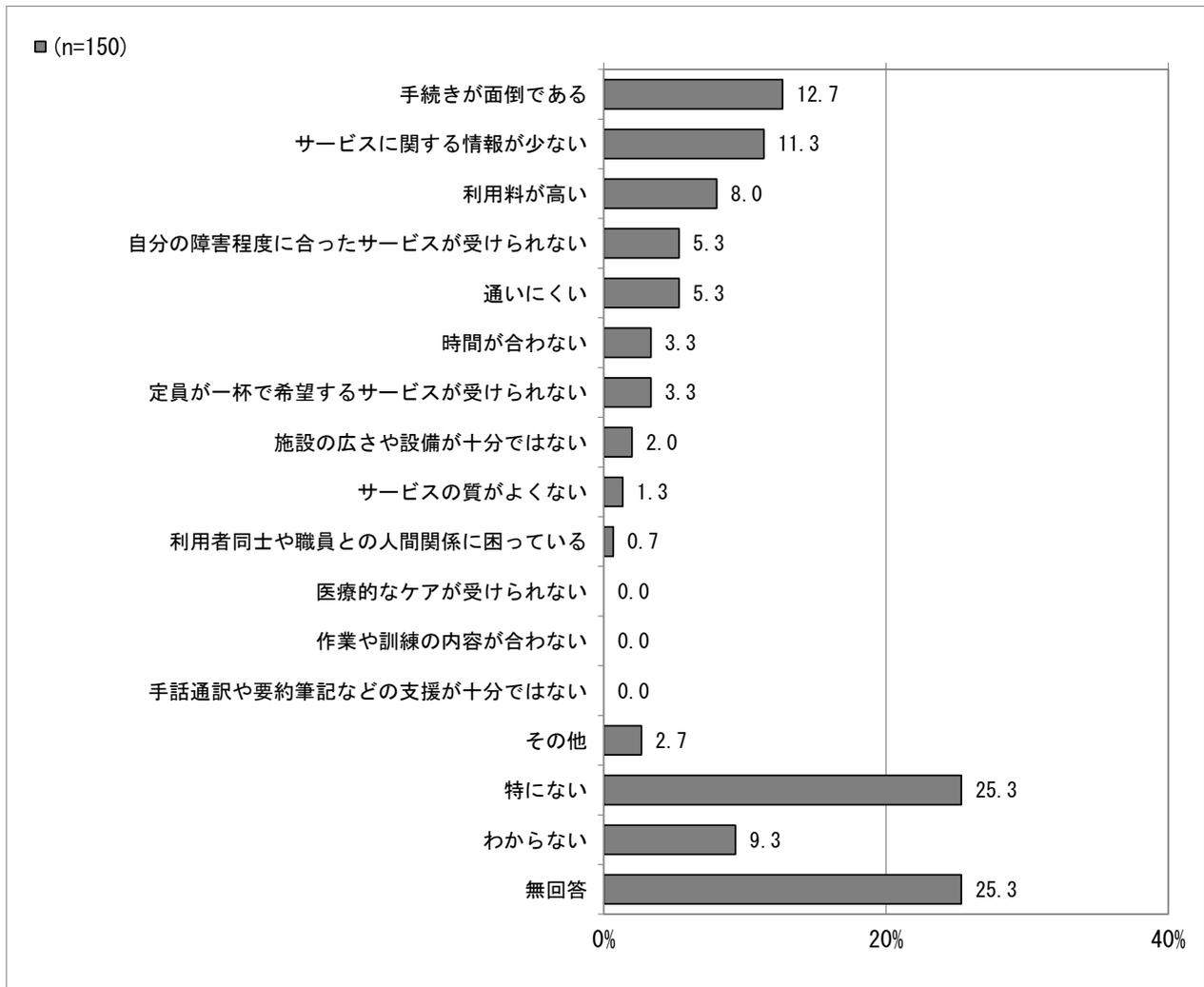
これまで利用したことのあるサービスは、「利用したことはない」(60.7%)が最も高く、次いで「医療費の助成を行うサービス」(14.4%)、「補装具費や日常生活用具給付費の支給」(8.0%)となっている。

(イ) 今後、あなたが利用したいと思うサービスは何ですか。(MA)



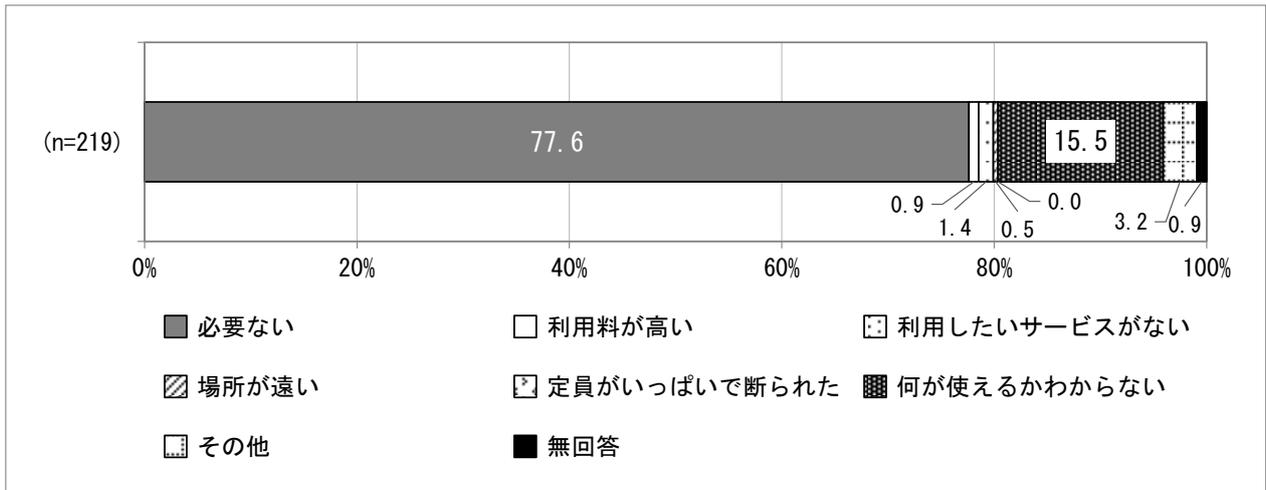
今後利用したいサービスは、「医療費の助成を行うサービス」(18.6%)が最も高く、次いで「特にない」(16.1%)、「補装具費や日常生活用具給付費の支給」(8.6%)となっている。

問32 問31で「特にない」以外のどれかひとつでも選んだ方におたずねします。あなたが「障害のある方の福祉サービス」を利用するにあたって困っていることは何ですか。(MA)



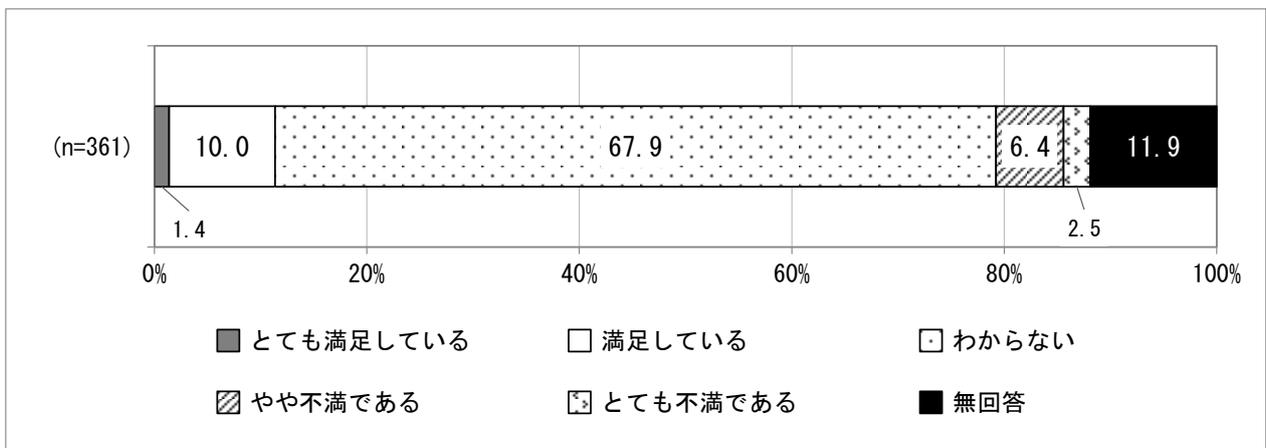
障害のある方の福祉サービスの利用にあたり困っていることは、「特にない」(25.3%)が最も高く、次いで「手続きが面倒である」(12.7%)、「サービスに関する情報が少ない」(11.3%)となっている。

問 33 問 31 で「利用したことがない」を選んだ方におたずねします。利用したことがない理由は何ですか。(SA)



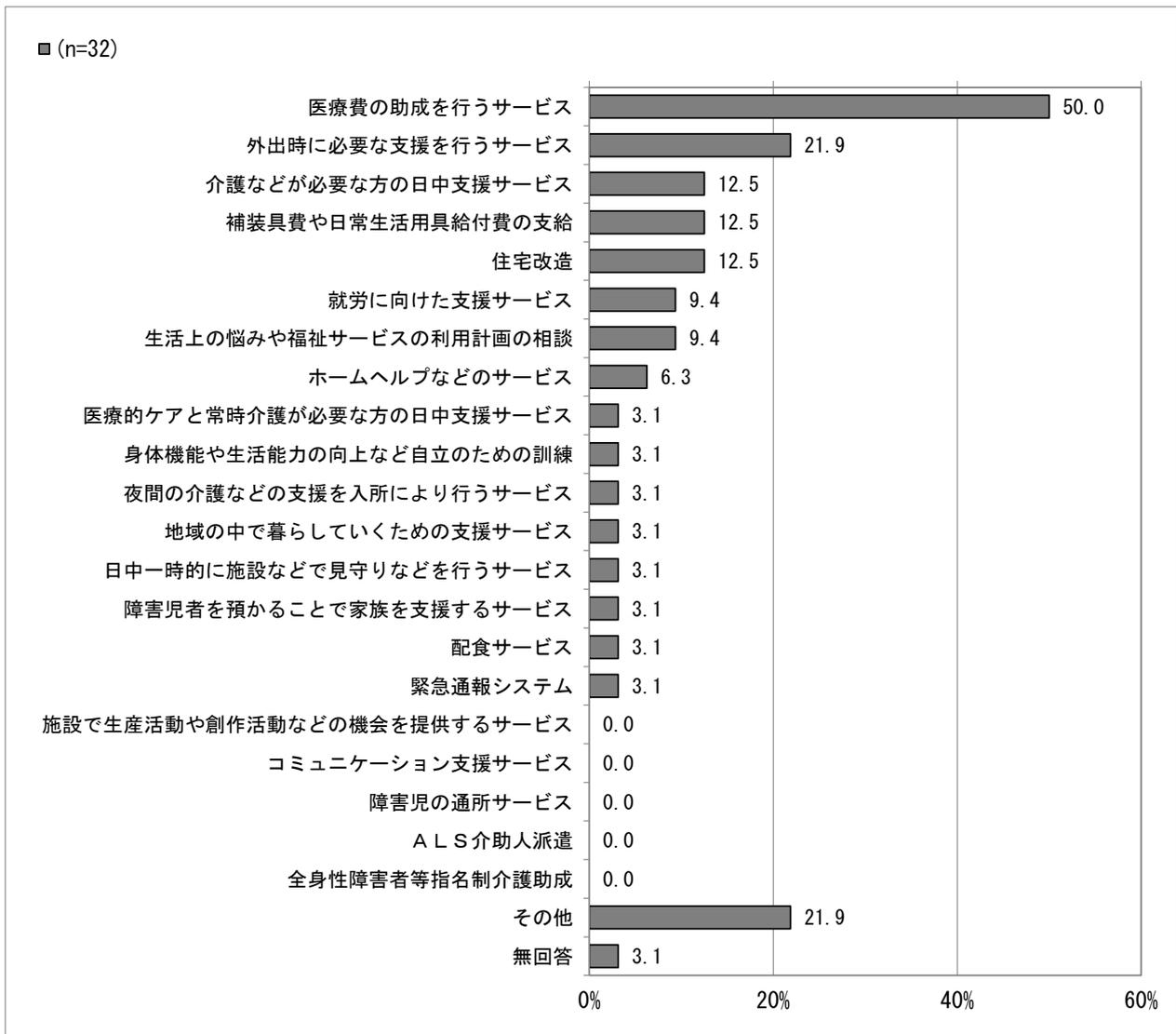
利用したことがない理由は、「必要ない」(77.6%)が最も高く、次いで「何が使えるかわからない」(15.5%)、「その他」(3.2%)となっている。

問 34 現在、あなたは仙台市にある「障害のある方の福祉サービス」に満足していますか。(SA)



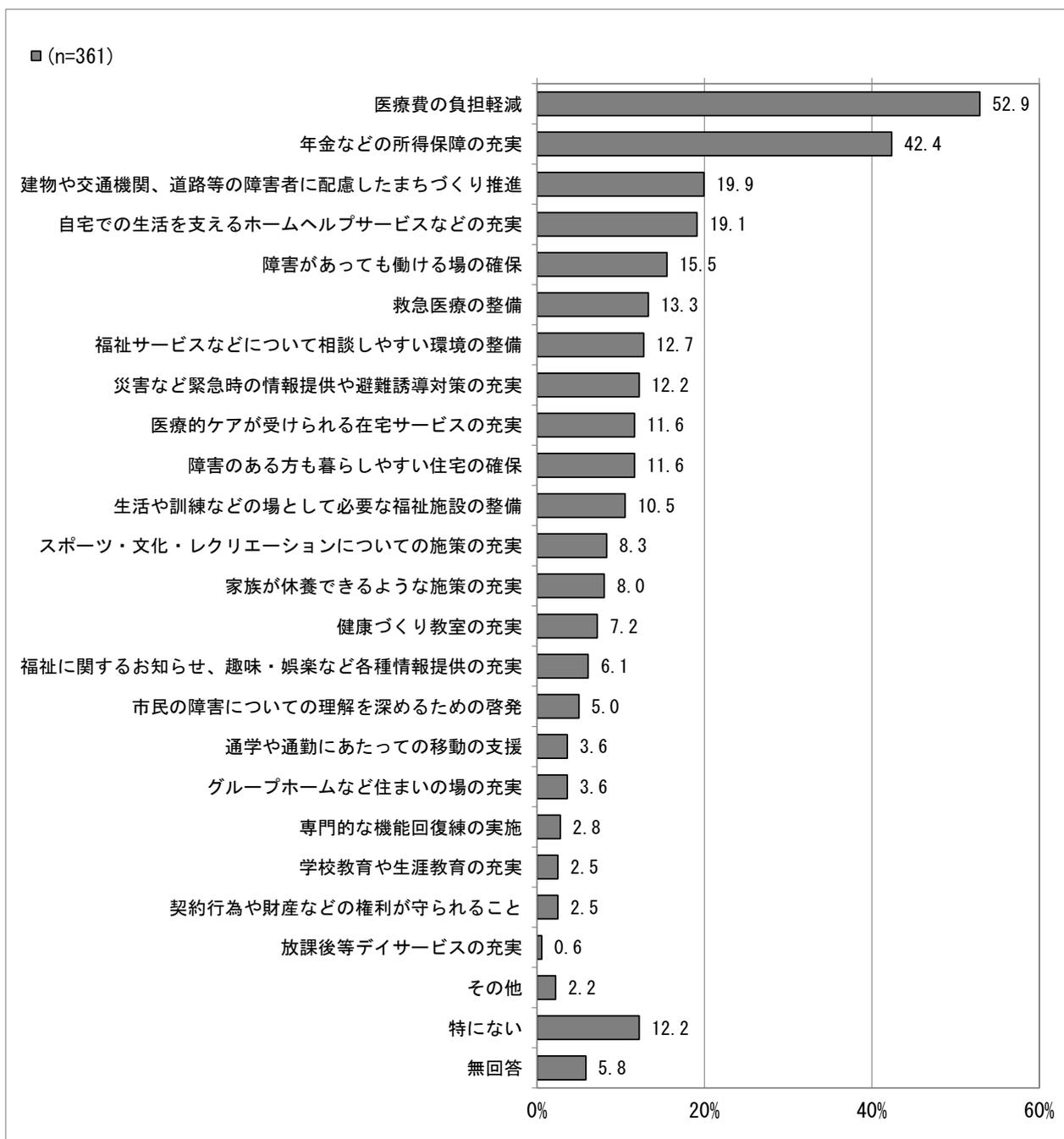
市の「障害のある方の福祉サービス」について、「わからない」(67.9%)が最も高く、次いで「満足している」(10.0%)、「やや不満である」(6.4%)となっている。

問35 問34で「やや不満である」「とても不満である」を選んだ方におたずねします。特にどのような福祉サービスに不満を感じていますか。(MA)



不満のある福祉サービスは、「医療費の助成を行うサービス」(50.0%)が最も高く、次いで「外出時に必要な支援を行うサービス」と「その他」がともに21.9%、「介護などが必要な方の日中支援サービス」・「補装具費や日常生活用具給付費の支給」・「住宅改造」がともに12.5%となっている。

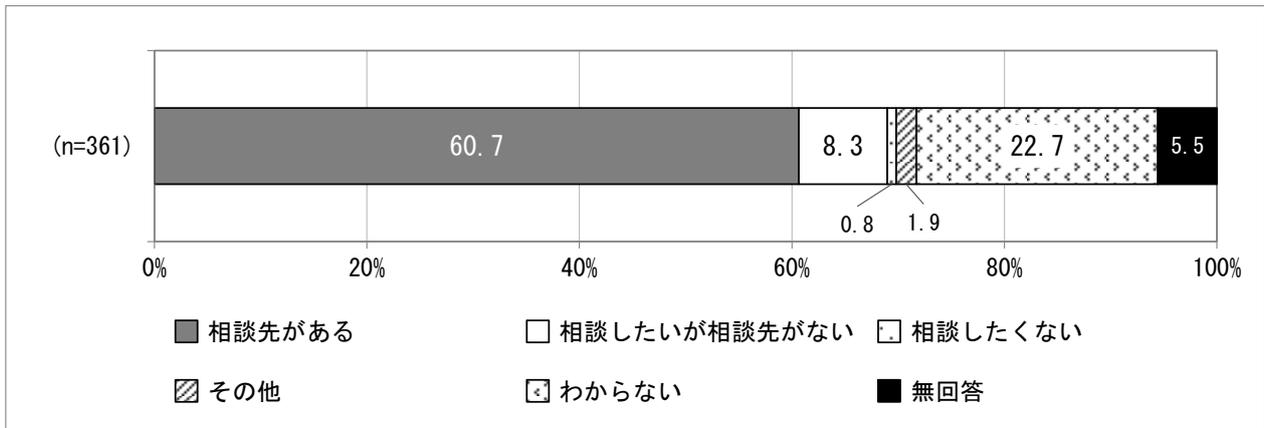
問 36 あなたが今後充実してほしい施策は何ですか。(MA)



今後充実してほしい施策は、「医療費の負担軽減」(52.9%)が最も高く、次いで「年金などの所得保障の充実」(42.4%)、「建物や交通機関、道路等の障害者に配慮したまちづくり推進」(19.9%)となっている。

## 9 相談の状況について

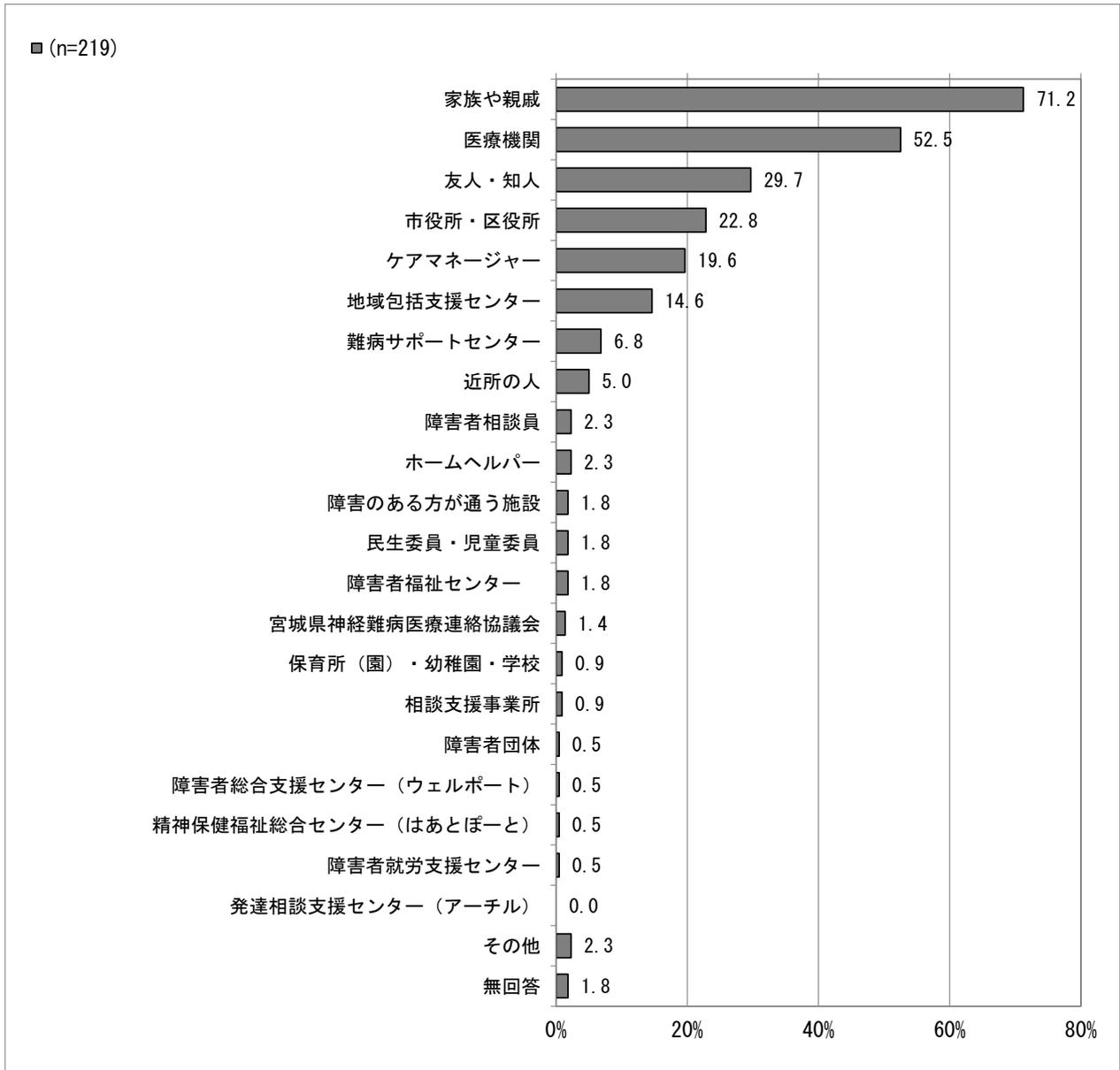
問 37 困ったときの相談について次のうちあてはまるのはどれですか。(SA)



困ったときの相談は、「相談先がある」(60.7%)が最も高く、次いで「わからない」(22.7%)、「相談したいが相談先がない」(8.3%)となっている。

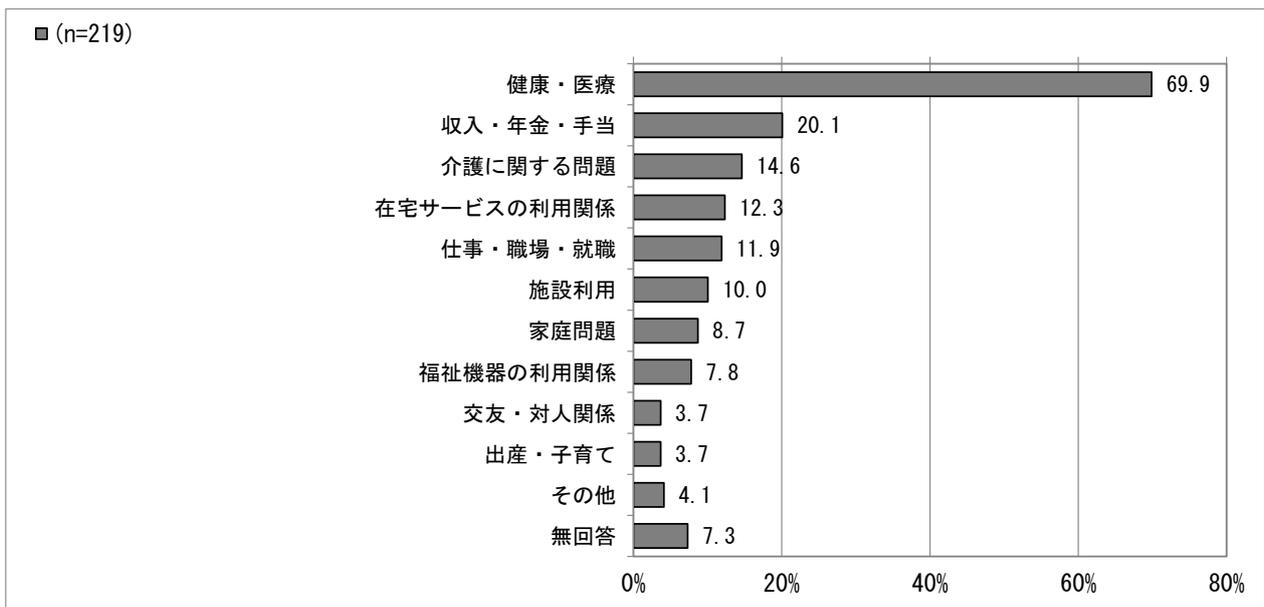
問 38 問 37 で「相談先がある」を選んだ方におたずねします。

(1) 相談相手は誰ですか。(MA)



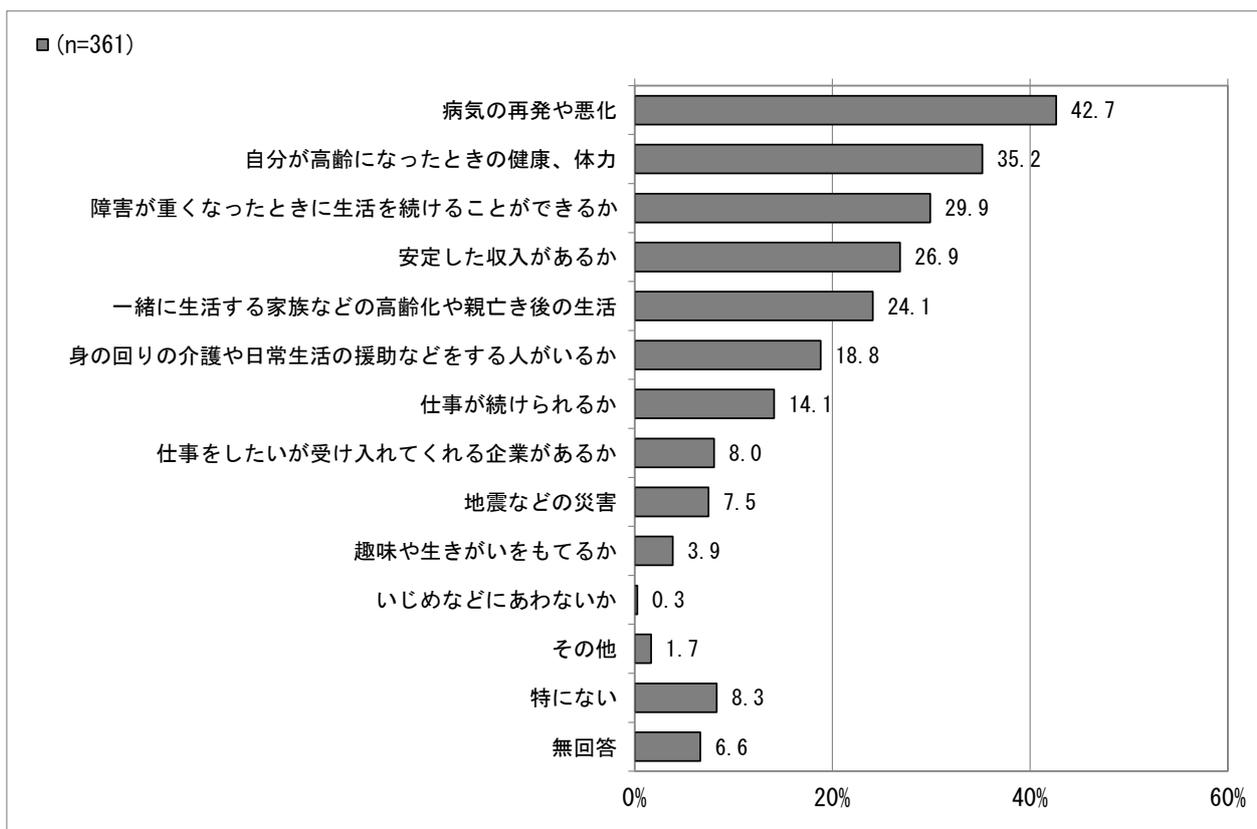
相談相手は、「家族や親戚」(71.2%)が最も高く、次いで「医療機関」(52.5%)、「友人・知人」(29.7%)となっている。

## (2) 相談していること(したいこと)は何ですか。(MA)



相談している(したいこと)は、「健康・医療」(69.9%)が最も高く、次いで「収入・年金・手当」(20.1%)、「介護に関する問題」(14.6%)となっている。

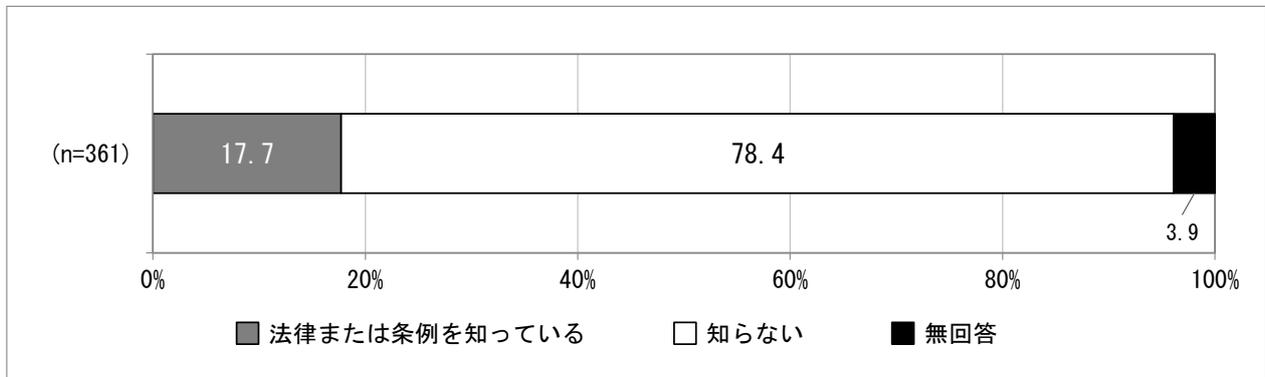
問 39 今後のことで、あなたが不安に感じていることは何ですか。(MA)



今後のことで不安に感じていることは、「病気の再発や悪化」(42.7%)が最も高く、次いで「自分が高齢になったときの健康、体力」(35.2%)、「障害が重くなったときに生活が続けることができるか」(29.9%)となっている。

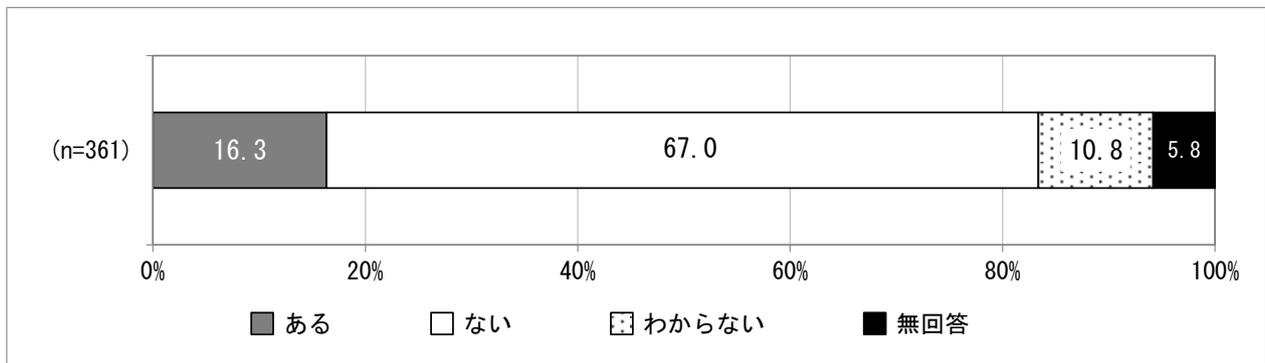
## 10 権利擁護について

問 40 あなたは、2016年4月より施行された「障害者差別解消法」を知っていますか。また、「仙台市障害を理由とする差別をなくし障害のある人もない人も共に暮らしやすいまちをつくる条例」を知っていますか。(SA)



障害者差別解消法および条例を知っているかについて、「法律または条例を知っている」(17.7%)、「知らない」(78.4%)となっている。

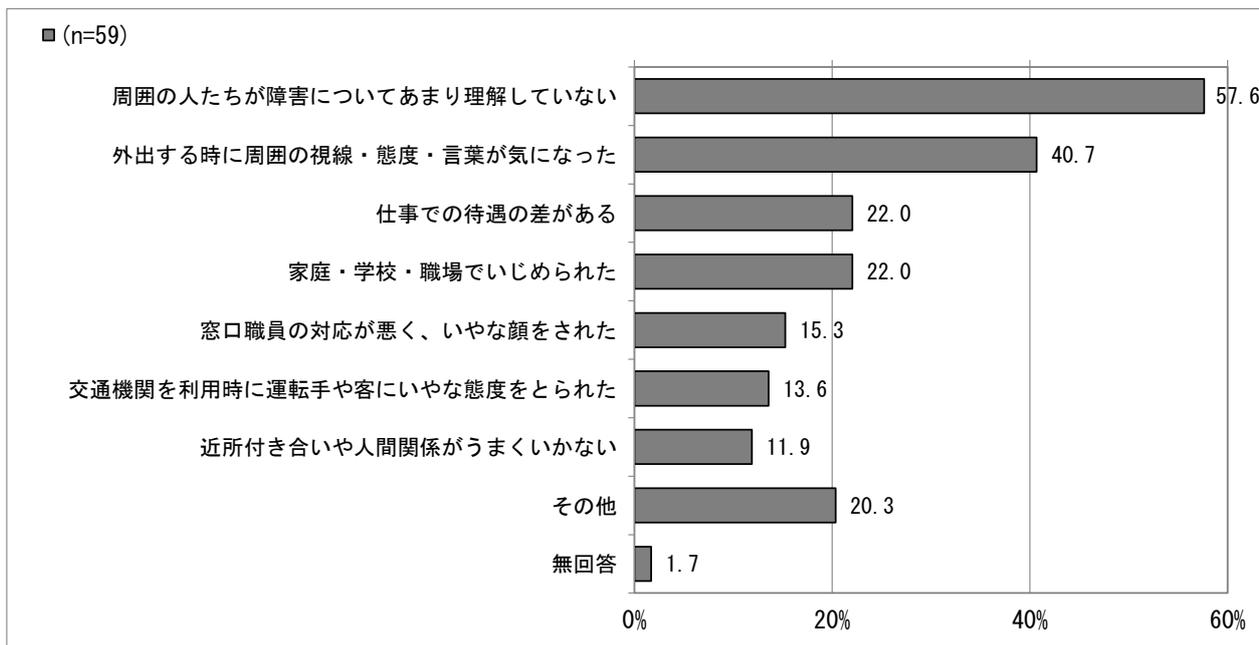
問 41 障害を理由に差別を受けたり、いやな思いなどをしたことがありますか。(SA)



障害を理由に差別やいやな思いをしたことがあるかは、「ある」(16.3%)、「ない」(67.0%)、「わからない」(10.8%)となっている。

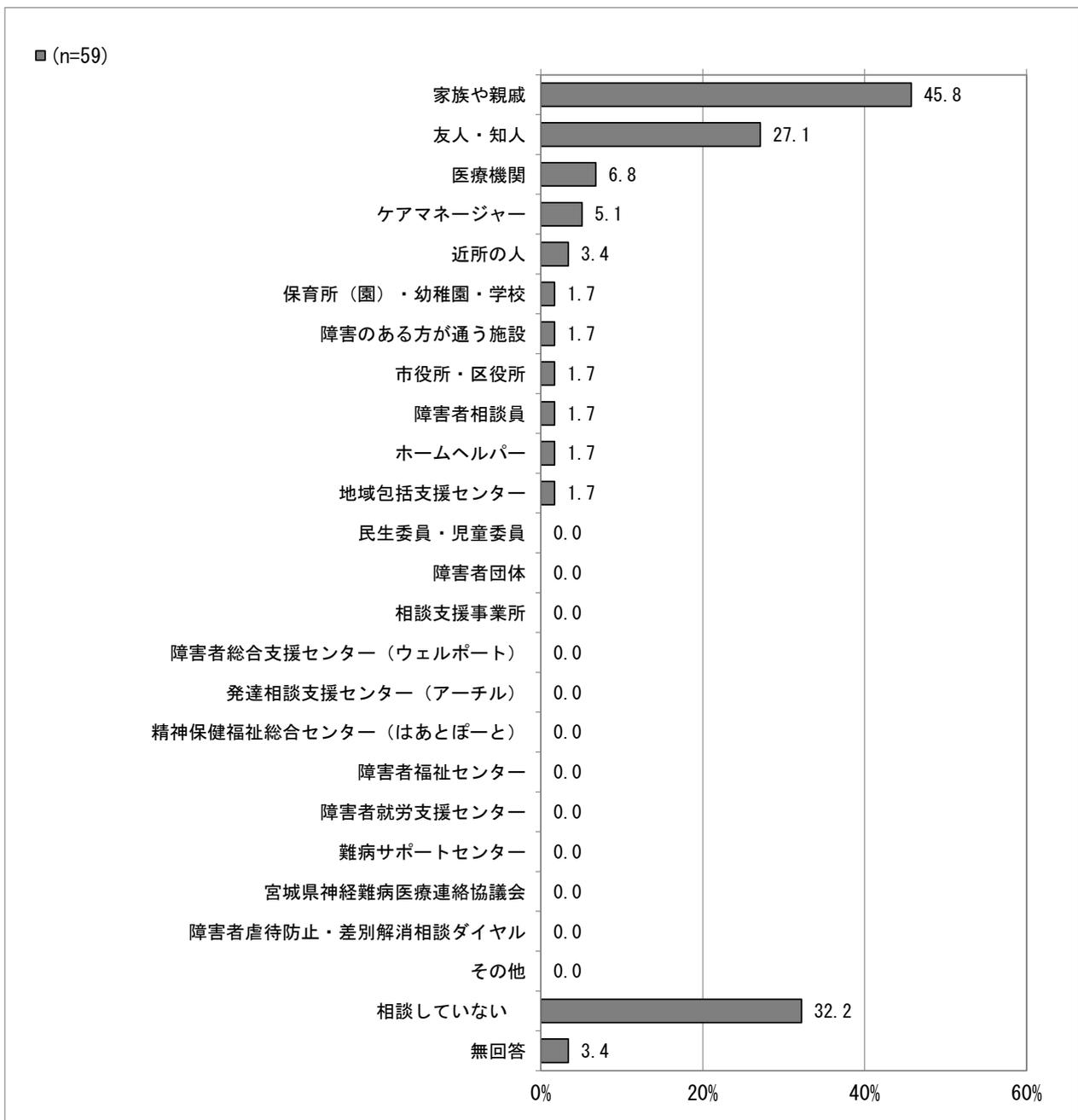
問 42 問 41 で「ある」を選んだ方におたずねします。

(1) あなたはどのような内容の差別を受けたり、いやな思いをしましたか。(MA)



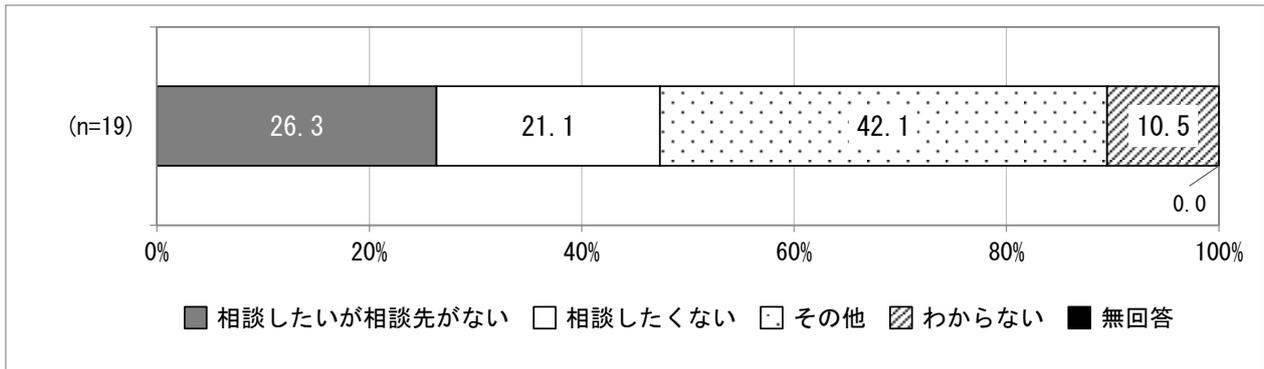
受けた差別やいやな思いの内容は、「周囲の人たちが障害についてあまり理解していない」(57.6%)が最も高く、次いで「外出する時に周囲の視線・態度・言葉が気になった」(40.7%)、「仕事での待遇の差がある」と「家庭・学校・職場でいじめられた」がともに22.0%となっている。

## (2) 差別をされたり、いやな思いをしたときに誰かに相談しましたか。(MA)



差別をされたりしたときの相談は、「家族や親戚」(45.8%)が最も高く、次いで「相談していない」(32.2%)、「友人・知人」(27.1%)となっている。

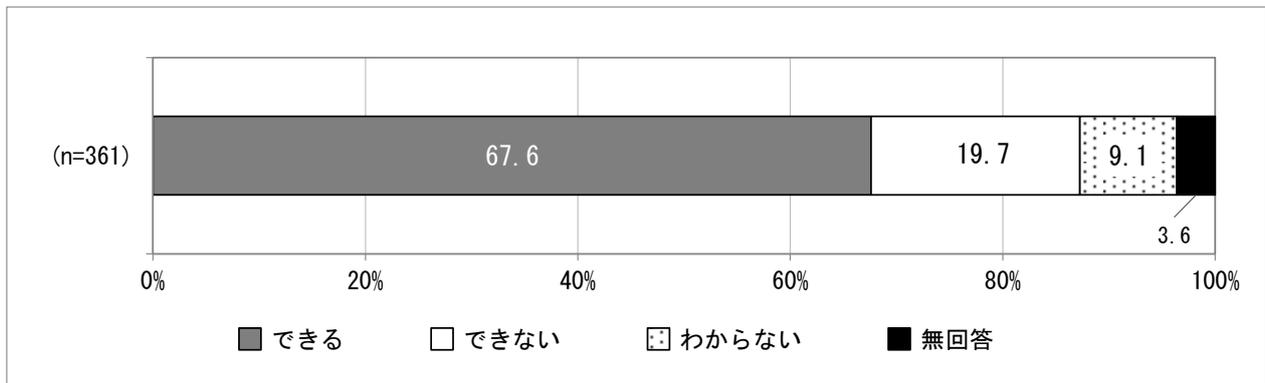
(3) (2)で「相談していない」を選んだ方におたずねします。相談しなかった理由は何ですか。(MA)



相談しなかった理由は、「その他」(42.1%)が最も高く、次いで「相談したいが相談先がない」(26.3%)、「相談したくない」(21.1%)、となっている。

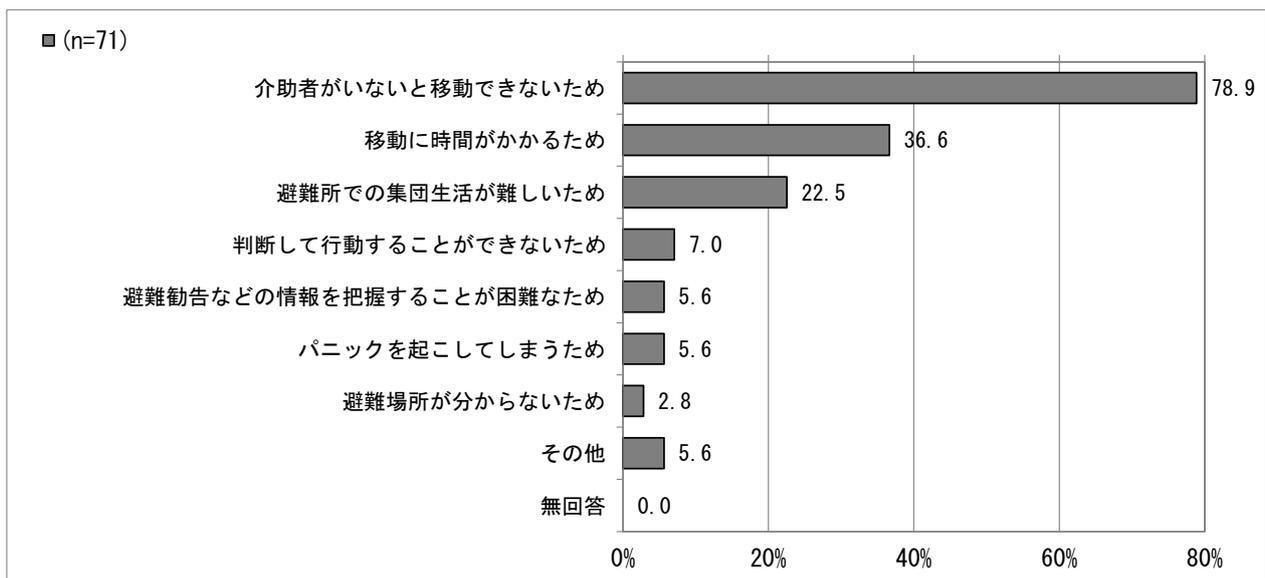
## 11 緊急時の対応について

問 43 あなたは地震などの災害発生時、ひとりで避難することができますか。2011年3月11日の東日本大震災を経験された方は、ご経験を踏まえてご回答ください。(SA)



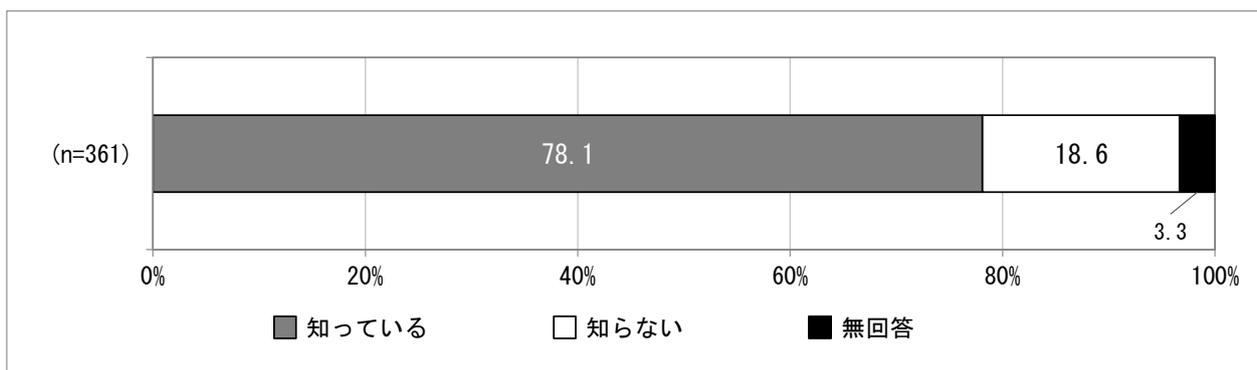
災害発生時にひとりで避難することができるかは、「できる」(67.6%)、「できない」(19.7%)、「わからない」(9.1%)となっている。

問 44 問 43 で「できない」を選んだ方におたずねします。災害のとき一人で避難することができない理由は何ですか。(MA)



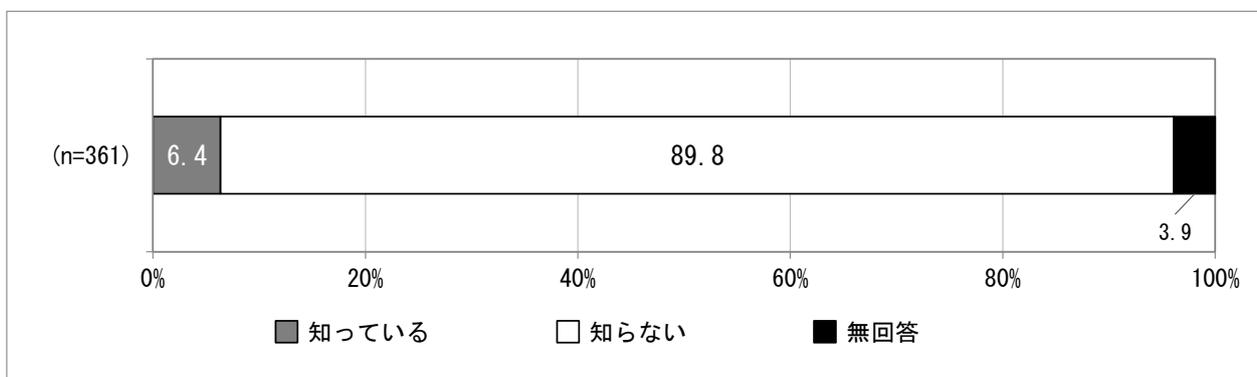
一人で避難できない理由は、「介助者がいないと移動できないため」(78.9%)が最も高く、次いで「移動に時間がかかるため」(36.6%)、「避難所での集団生活が難しいため」(22.5%)となっている。

問 45 あなたは、お住まいの地区の避難所の場所を知っていますか。(SA)



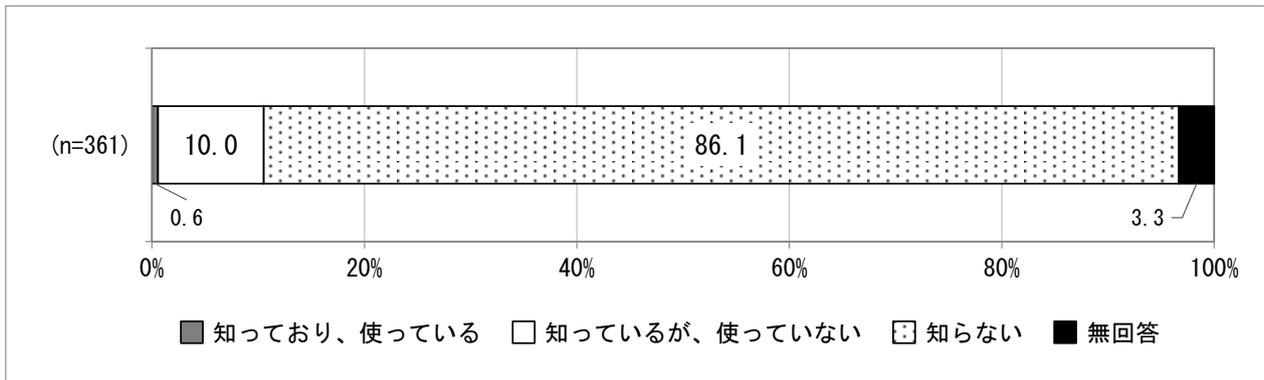
居住区の避難所の場所は、「知っている」(78.1%)、「知らない」(18.6%)となっている。

問 46 あなたは、福祉避難所を知っていますか。(SA)



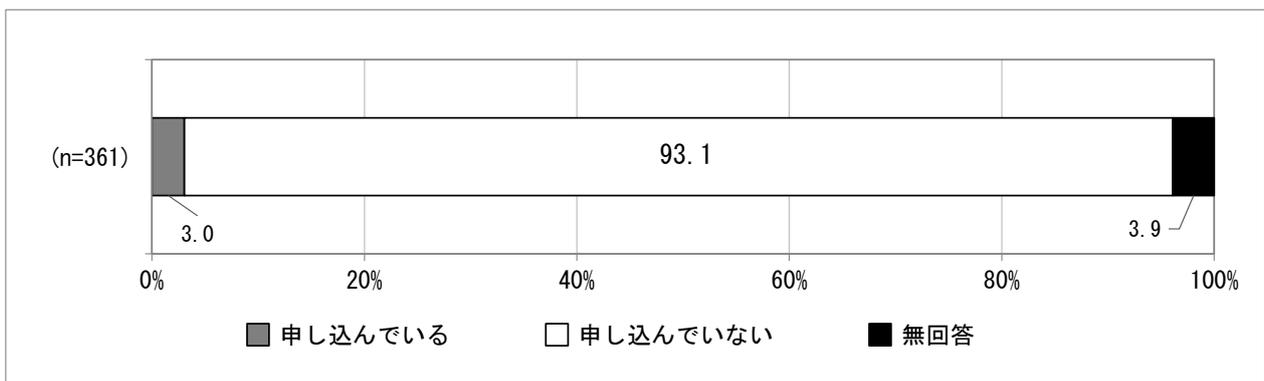
福祉避難所は、「知っている」(6.4%)、「知らない」(89.8%)となっている。

## 問47 あなたは、ヘルプカードを知っていますか。(SA)



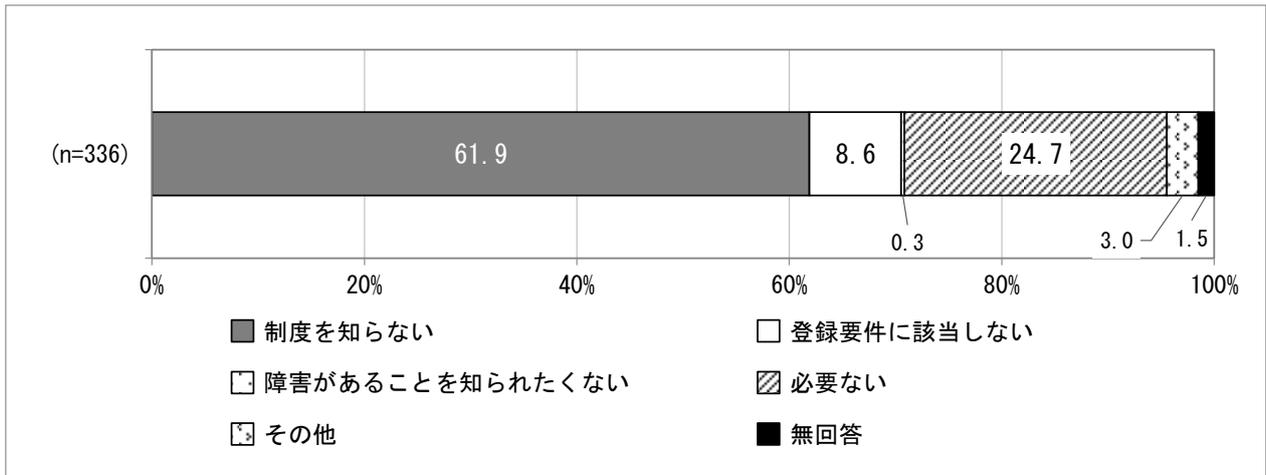
ヘルプカードは、「知っており、使っている」(0.6%)、「知っているが、使っていない」(10.0%)、「知らない」(86.1%)となっている。

## 問48 あなたは、仙台市が実施している災害時における要援護者情報登録制度を申し込んでいますか。(SA)



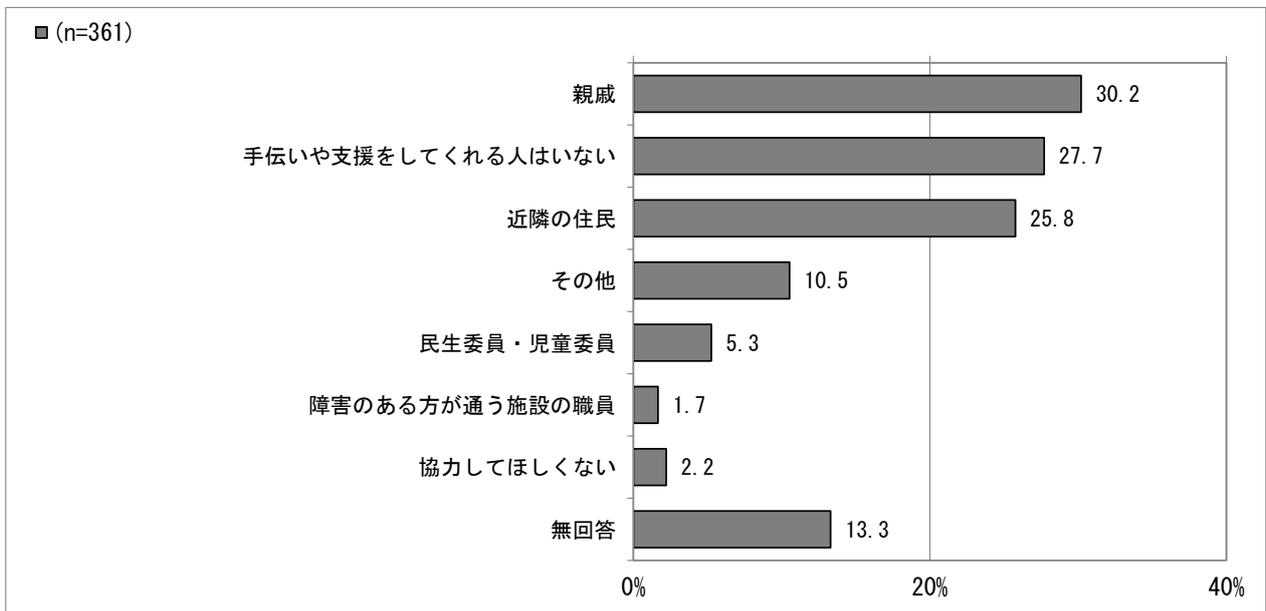
要援護者情報登録制度について、「申し込んでいる」(3.0%)、「申し込んでいない」(93.1%)となっている。

問 49 問 48 で「申し込んでいない」を選んだ方におたずねします。あなたが申し込んでいない理由は何ですか。(SA)



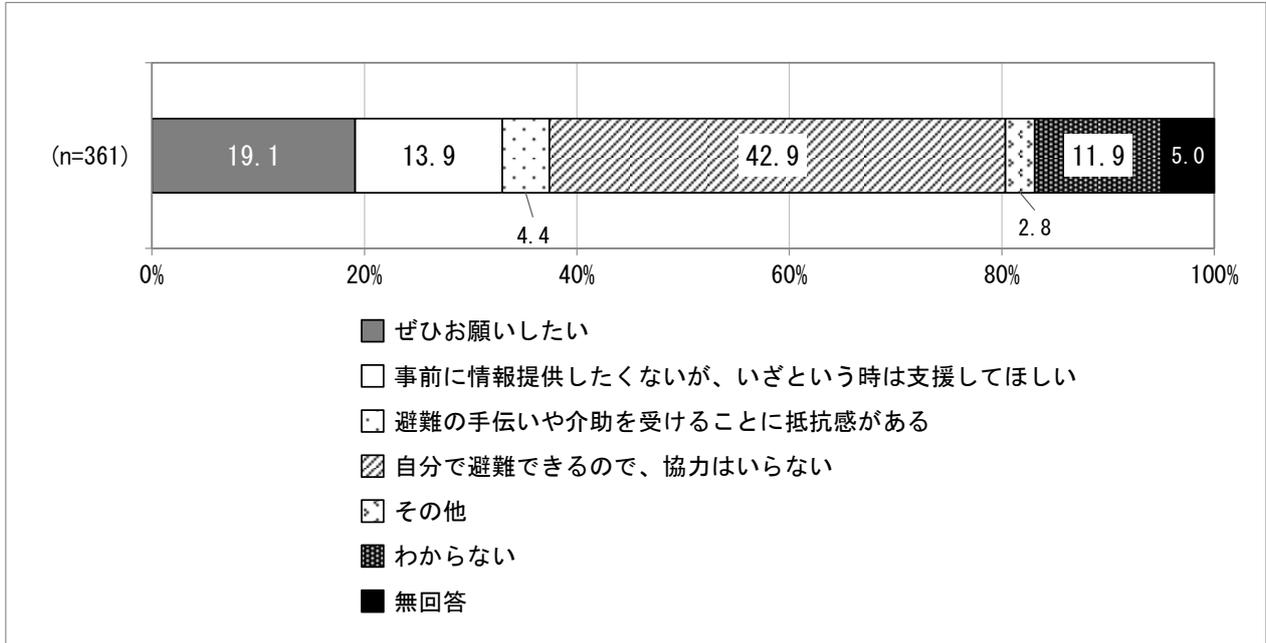
申し込んでいない理由は、「制度を知らない」(61.9%)が最も高く、次いで「必要ない」(24.7%)、「登録要件に該当しない」(8.6%)となっている。

問 50 地震などの災害時に、家族以外の方で手伝いや支援をしてくれる人について、次のうちあてはまるのはどれですか。(MA)



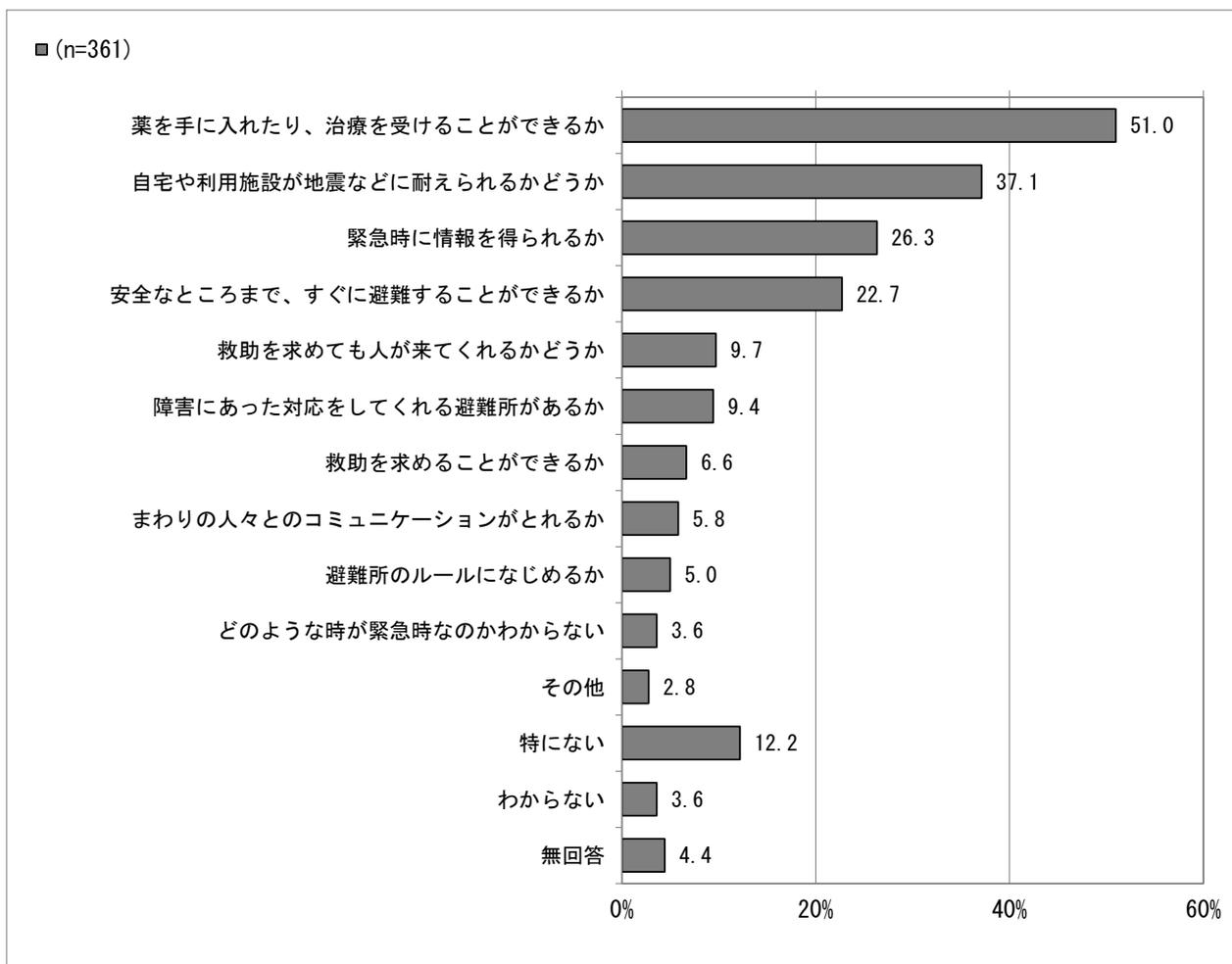
災害時に家族以外で手伝いや支援をしてくれる人は、「親戚」(30.2%)が最も高く、次いで「手伝いや支援をしてくれる人はいない」(27.7%)、「近隣の住民」(25.8%)となっている。

問 51 地震などの災害が発生したときのために、あらかじめ近所の人やボランティアなどにあなたの避難の手伝いや介助をお願いしておくことについて、どのように思いますか。(SA)



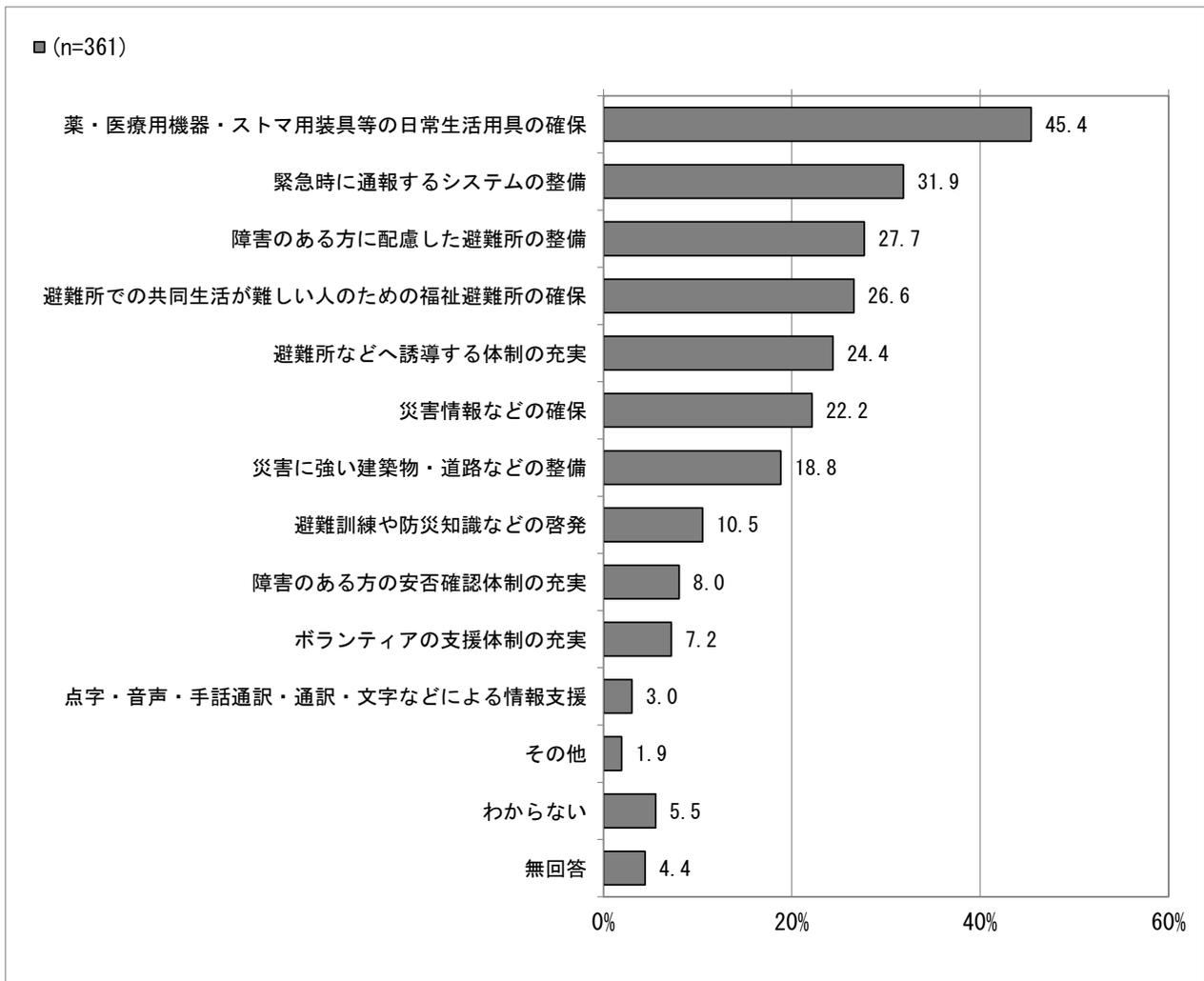
災害発生するときのために、あらかじめ近所の人やボランティアなどに手伝いや介助をお願いしておくことは、「自分で避難できるので、協力はらない」(42.9%)が最も高く、次いで「ぜひお願いしたい」(19.1%)、「事前に情報提供したくないが、いざという時は支援してほしい」(13.9%)となっている。

問 52 地震などのいざという時のことで、あなたが普段不安に感じていることは何ですか。  
(MA)



地震などのいざという時のことで普段不安に感じていることは、「薬を手に入れたり、治療を受けることができるか」(51.0%)が最も高く、次いで「自宅や利用施設が地震などに耐えられるかどうか」(37.1%)、「緊急時に情報を得られるか」(26.3%)となっている。

問 53 地震、台風などの災害に対して大切だと思う対策はどのようなことだと思いますか。  
(MA)



地震や台風などの災害に対して大切だと思う対策は、「薬・医療用機器・ストマ用装具等の日常生活用具の確保」(45.4%)が最も高く、次いで「緊急時に通報するシステムの整備」(31.9%)、「障害のある方に配慮した避難所の整備」(27.7%)となっている。



## 第11章

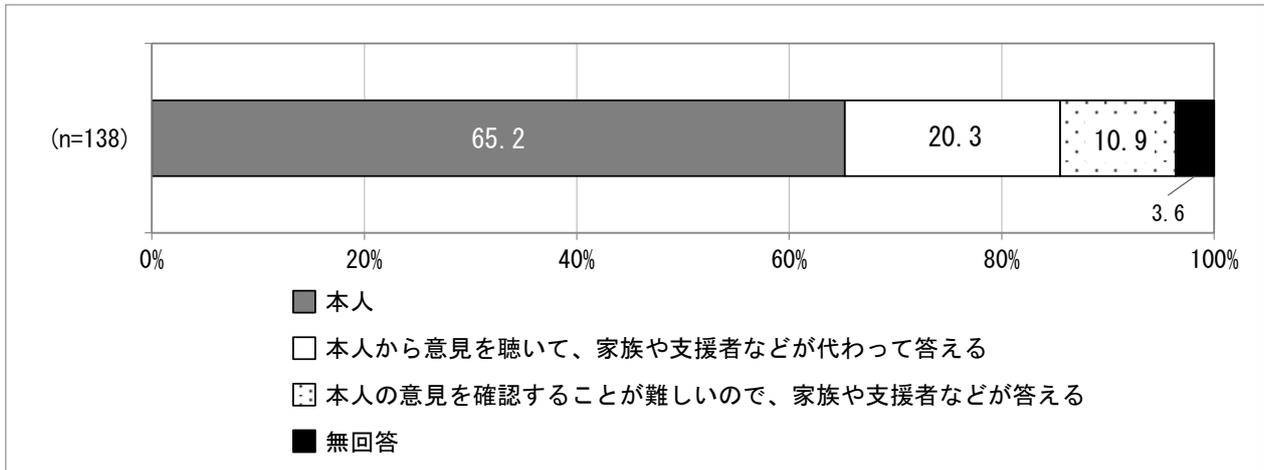
# 発達障害（児）者本人



## 第11章 発達障害（児）者本人

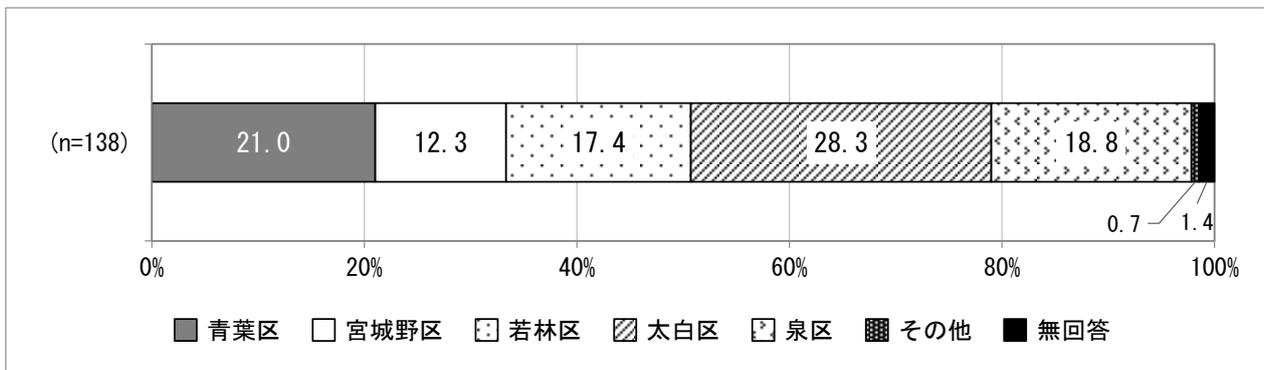
### 1 属性について

問1 このアンケートの記入者はどなたですか。(SA)



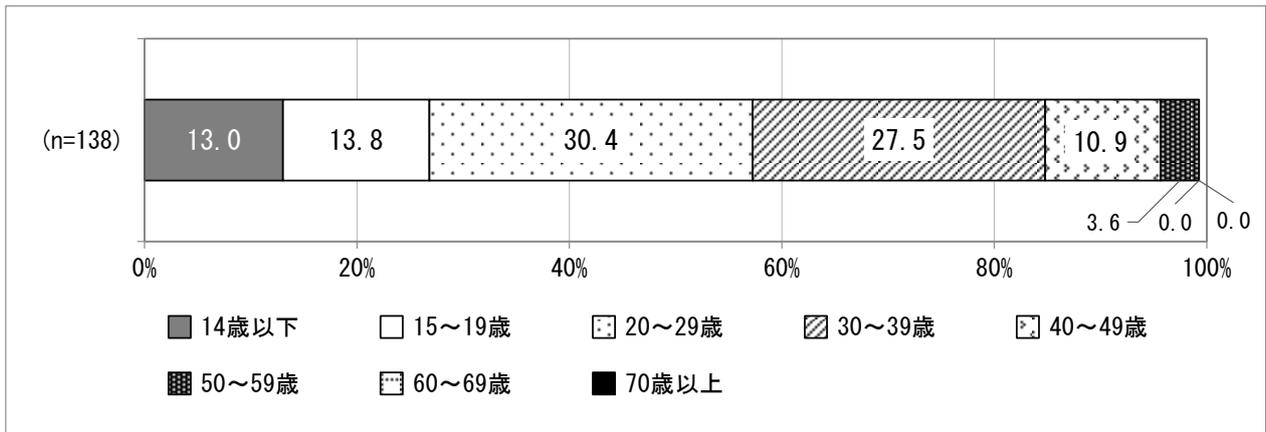
アンケートの記入者は、「本人」(65.2%)、「本人から意見を聴いて、家族や支援者などが代わって答える」(20.3%)、「本人の意見を確認することが難しいので、家族や支援者などが答える」(10.9%)となっている。

問2 あなたのお住まいの区はどこですか。(SA)



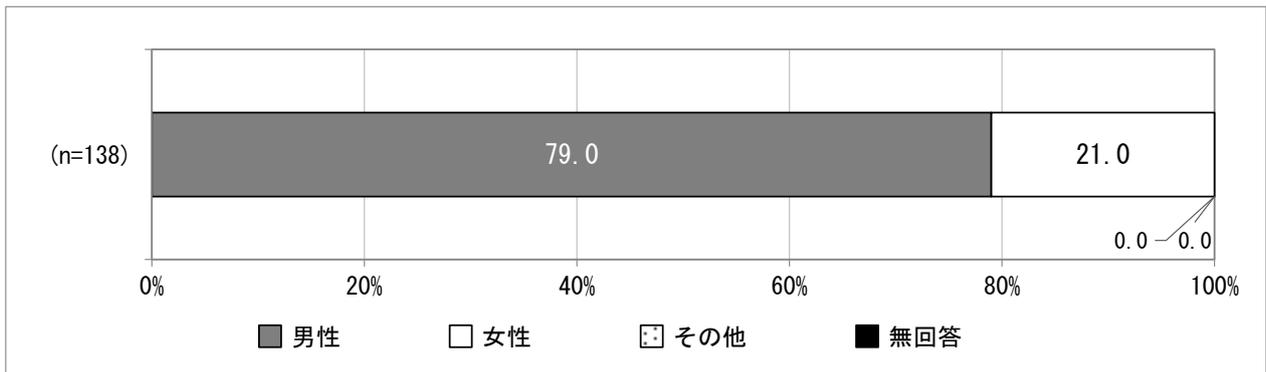
居住区は、「太白区」(28.3%)が最も高く、次いで「青葉区」(21.0%)、「泉区」(18.8%)となっている。

問3 あなたの年齢（2016年11月1日時点）は何歳ですか。（数値）



年齢は、「20~29歳」（30.4%）が最も高く、次いで「30~39歳」（27.5%）、「15~19歳」（13.8%）となっている。

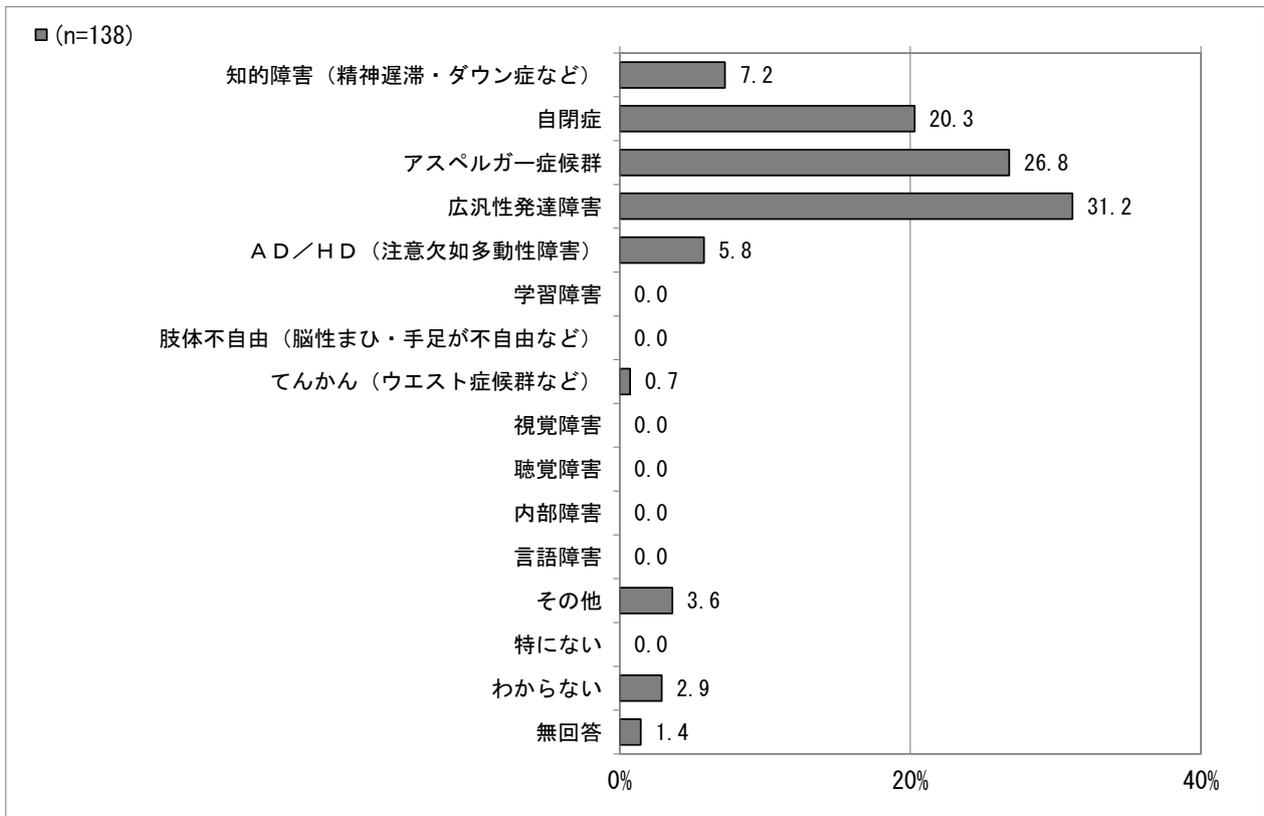
問4 あなたの性別を教えてください。（SA）



性別は、「男性」（79.0%）、「女性」（21.0%）となっている。

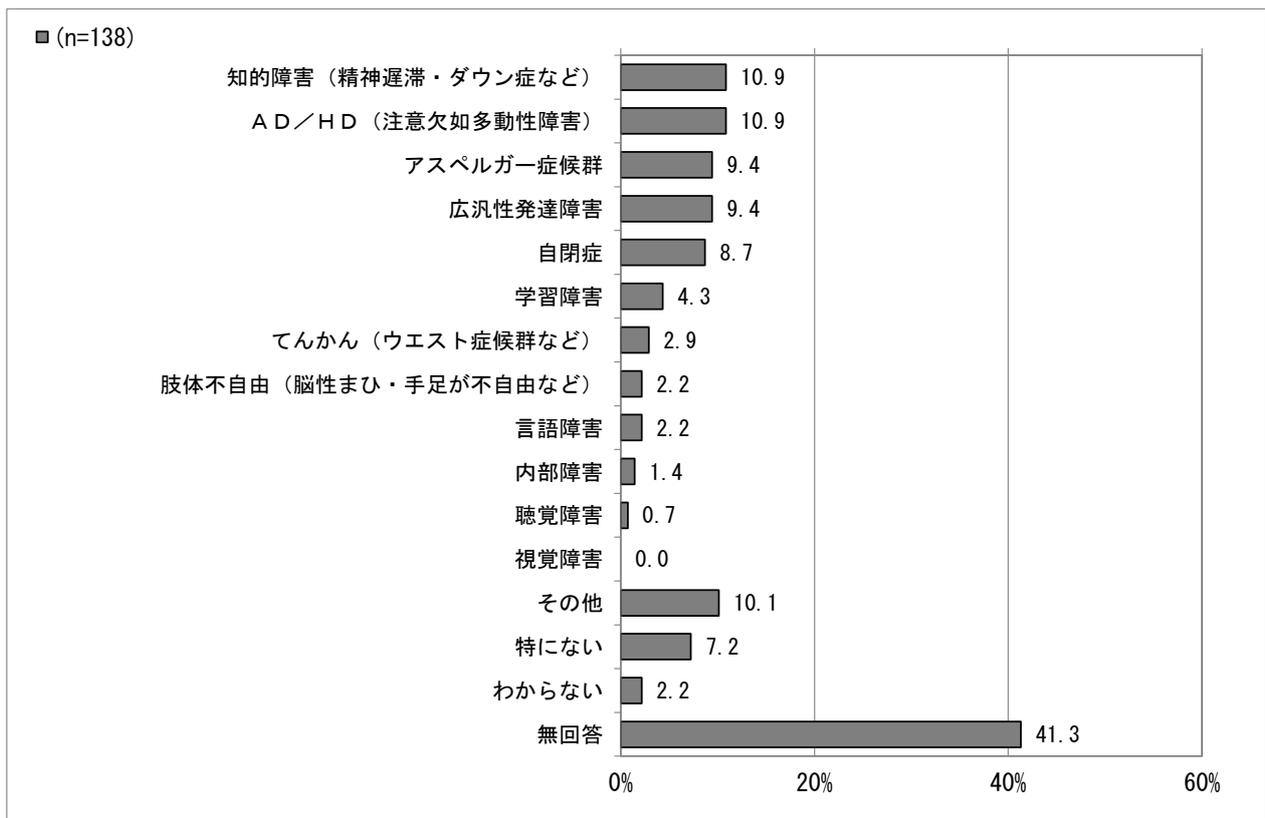
## 問5 障害の種類についておたずねします。

(ア) あなたの主な障害は次のうちどれですか。(SA)



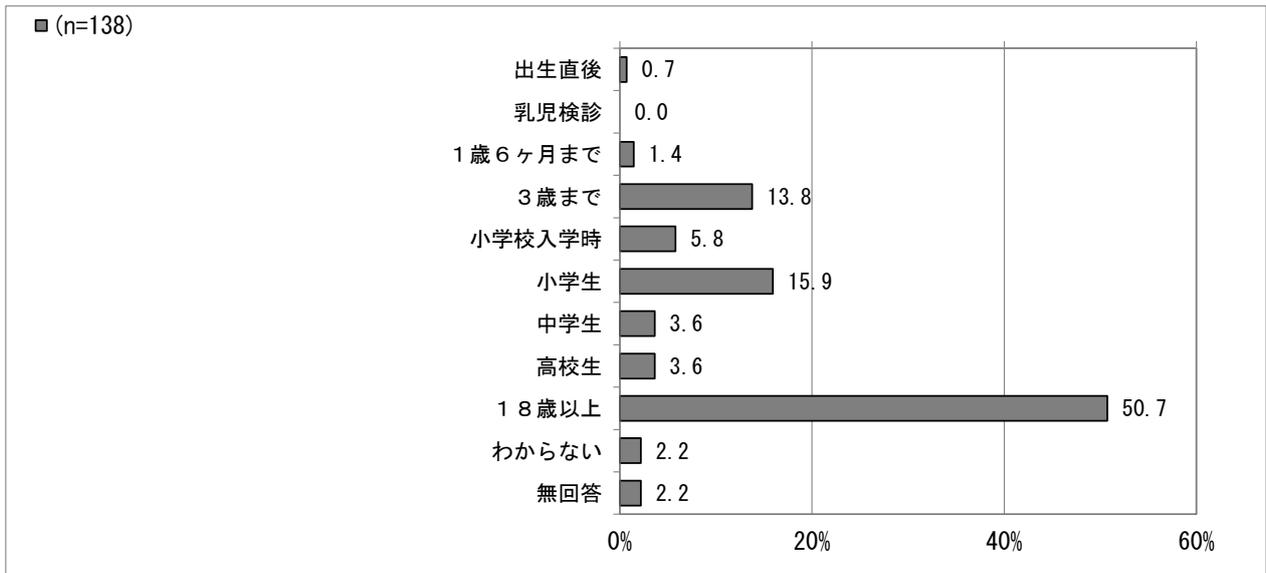
主な障害は、「広汎性発達障害」(31.2%)が最も高く、次いで「アスペルガー症候群」(26.8%)、「自閉症」(20.3%)となっている。

(イ) 主な障害以外に障害があれば教えてください。(MA)



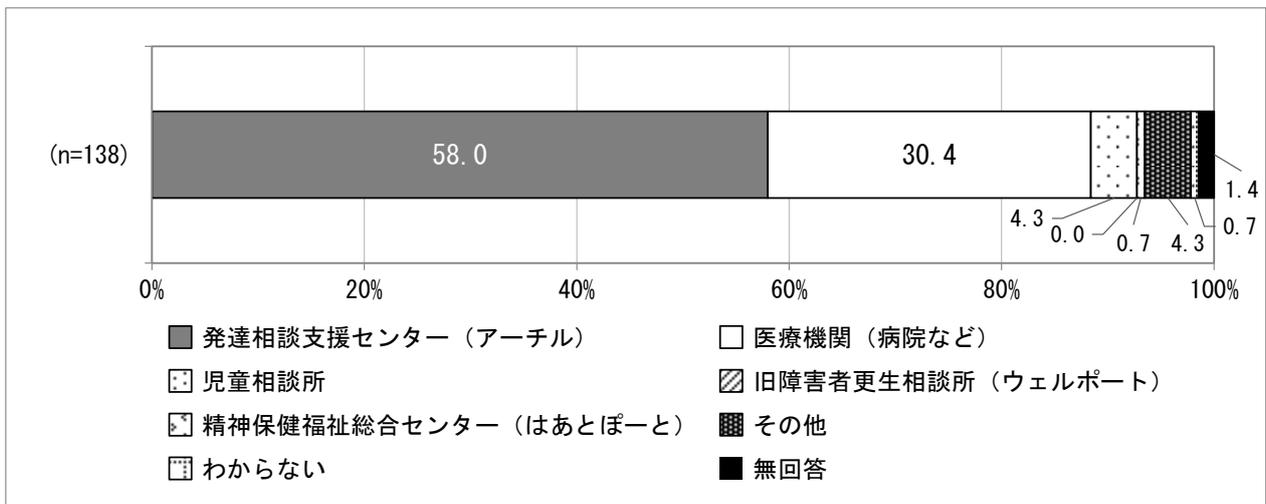
主な障害以外の障害は、「知的障害 (精神遅滞・ダウン症など)」と「AD/HD (注意欠如多動性障害)」がともに 10.9%と最も高く、次いで「その他」(10.1%)、「アスペルガー症候群」と「広汎性発達障害」がともに 9.4%となっている。

問 6 あなたが障害の診断・判定を受けたのはいつごろですか。(SA)



障害の診断・判定を受けたのは、「18歳以上」(50.7%)が最も高く、次いで「小学生」(15.9%)、「3歳まで」(13.8%)となっている。

問 7 あなたが障害の診断・判定を受けたところはどこですか。(SA)

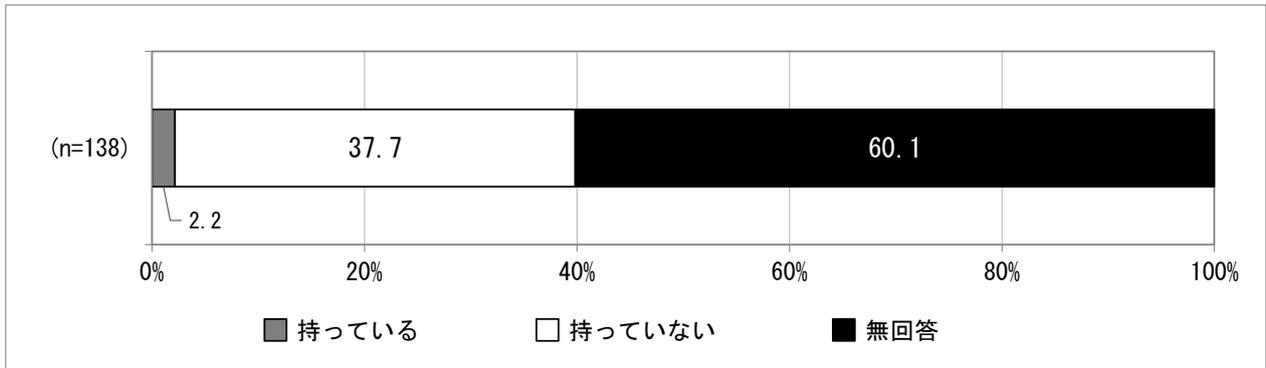


障害の診断・判定を受けたところは、「発達相談支援センター（アーチル）」(58.0%)が最も高く、次いで「医療機関（病院など）」(30.4%)、「児童相談所」と「その他」がともに4.3%となっている。

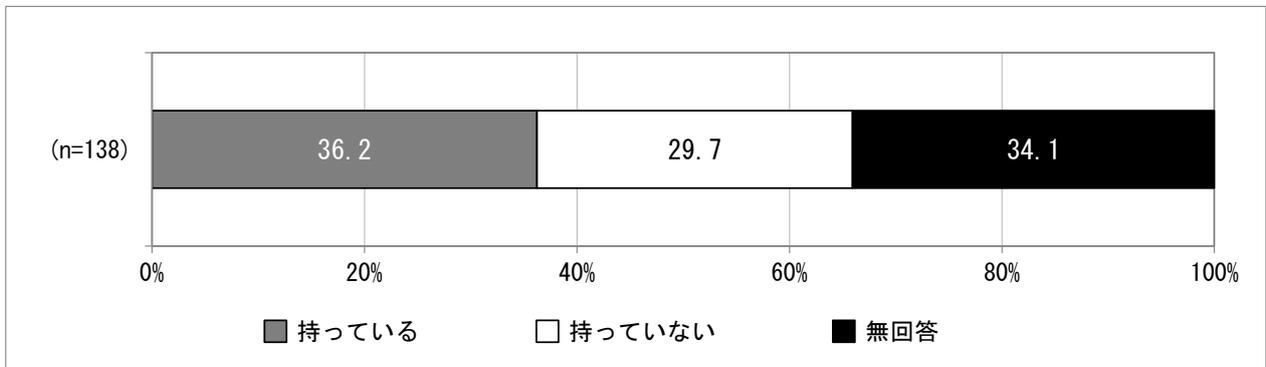
問8 障害者手帳についておたずねします。

(ア) 障害者手帳をお持ちかどうか教えてください。(SA)

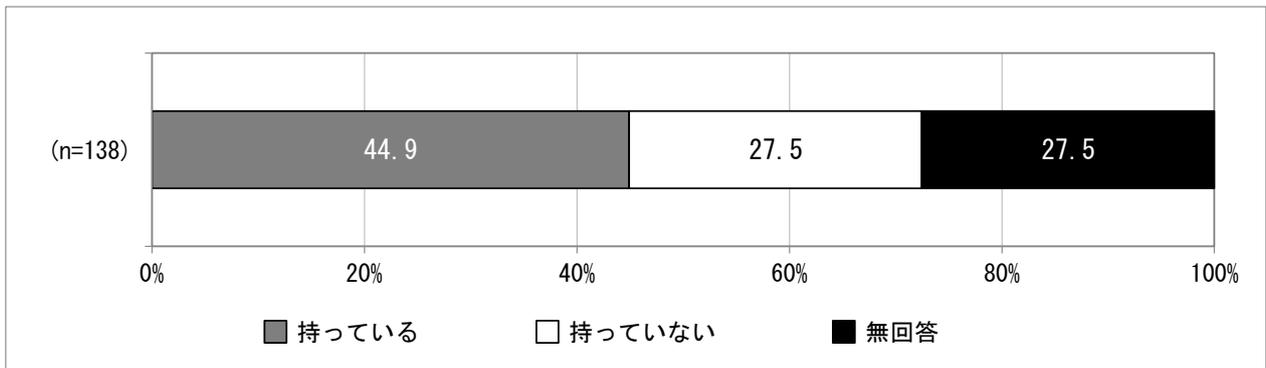
(身体障害者手帳)



(療育手帳)



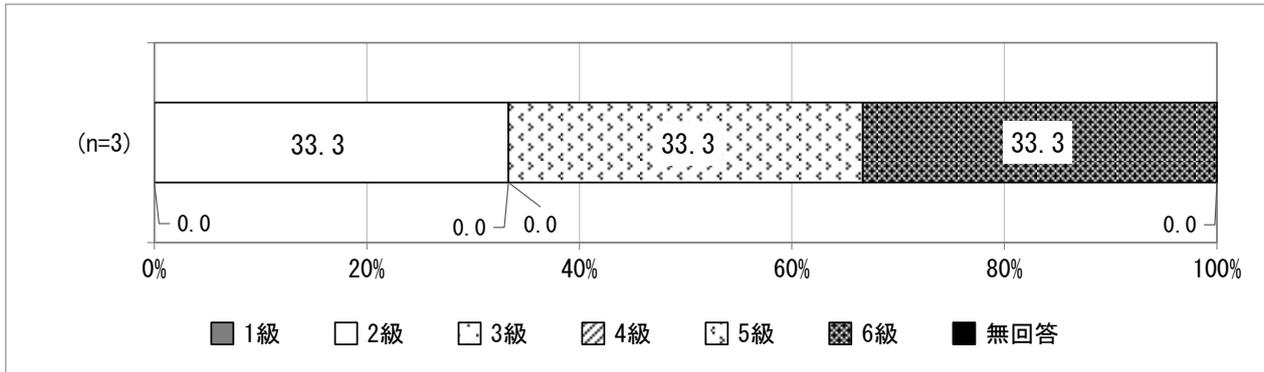
(精神障害者保健福祉手帳)



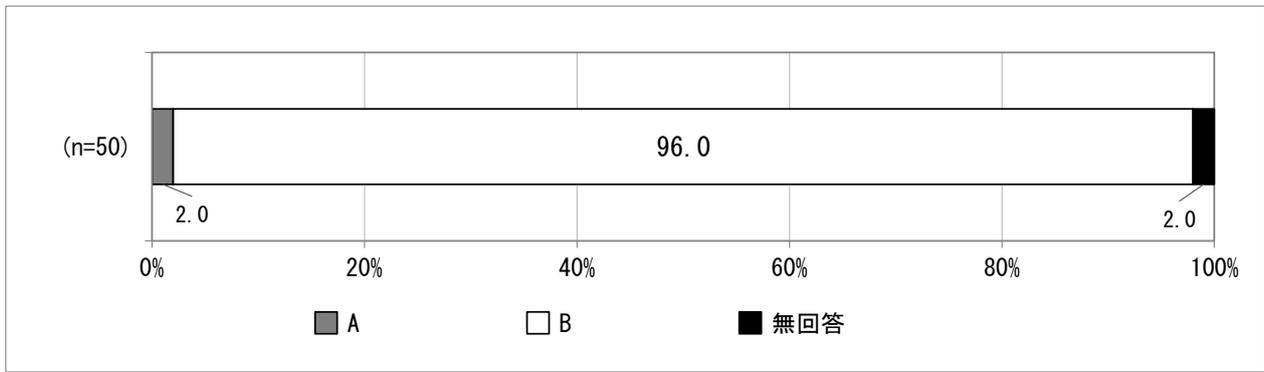
「持っている」割合は、身体障害者手帳が2.2%、療育手帳が36.2%、精神障害者保健福祉手帳が44.9%となっている。

(イ) お持ちの障害者手帳の等級を教えてください。(SA)

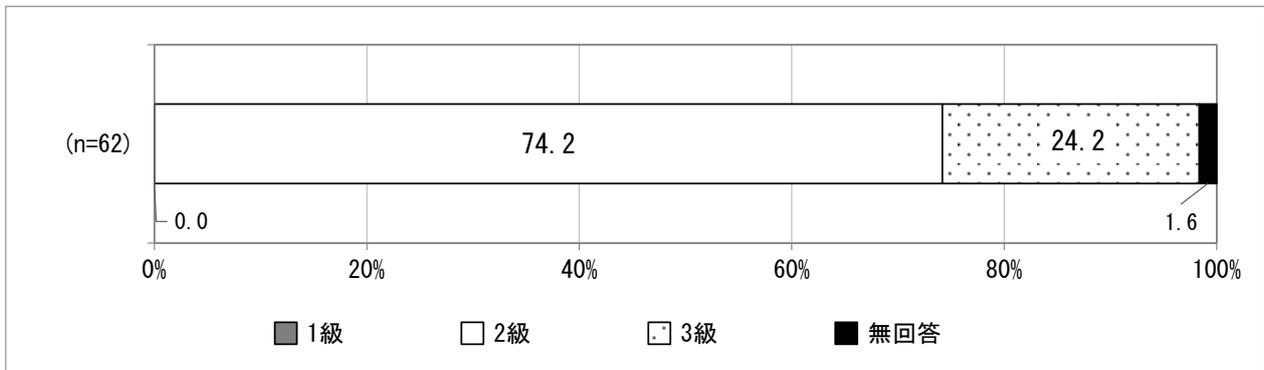
(身体障害者手帳)



(療育手帳)



(精神障害者保健福祉手帳)

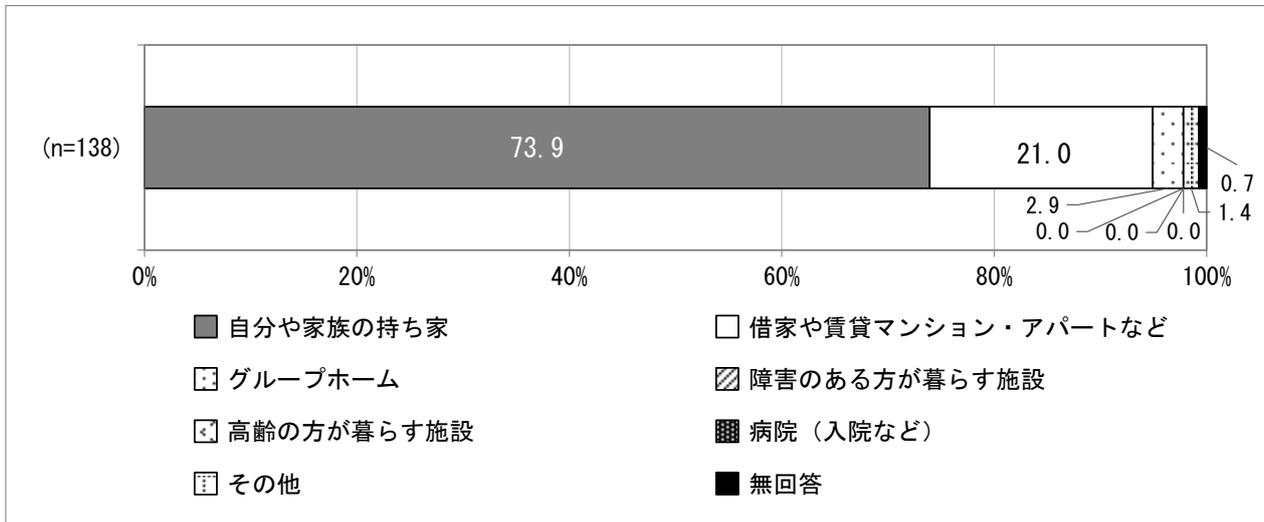


身体障害者手帳の等級は、「2級」・「5級」・「6級」ともに 33.3%となっている。  
 療育手帳の等級は、「A」(2.0%)、「B」(96.0%)となっている。  
 精神障害者保健福祉手帳の等級は、「2級」(74.2%)、「3級」(24.2%)となっている。

## 2 住まいと暮らしについて

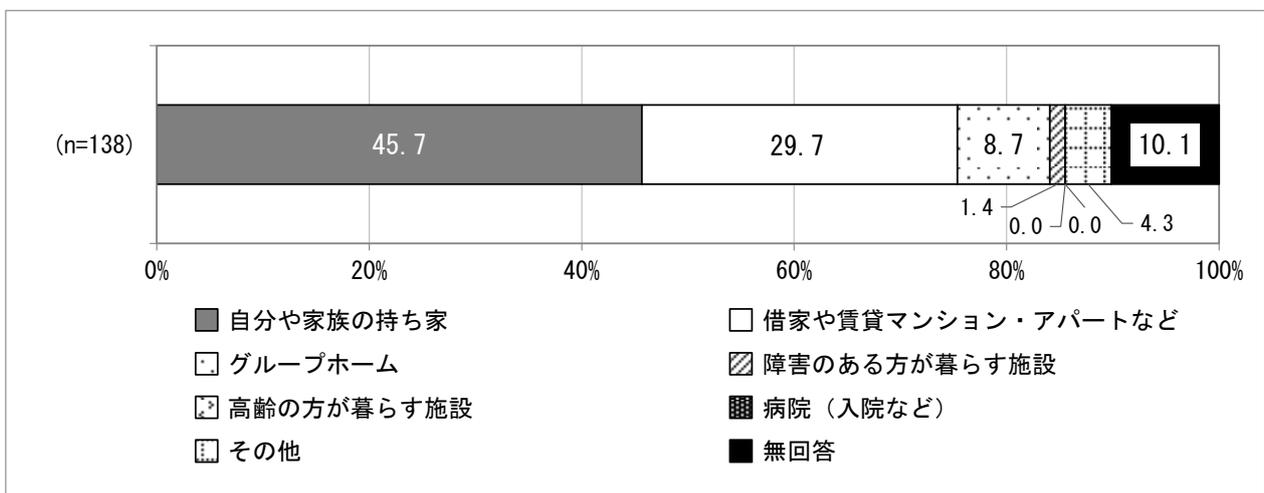
問9 お住まいについておたずねします。

(ア) 現在、あなたはどこにお住まいですか。(SA)



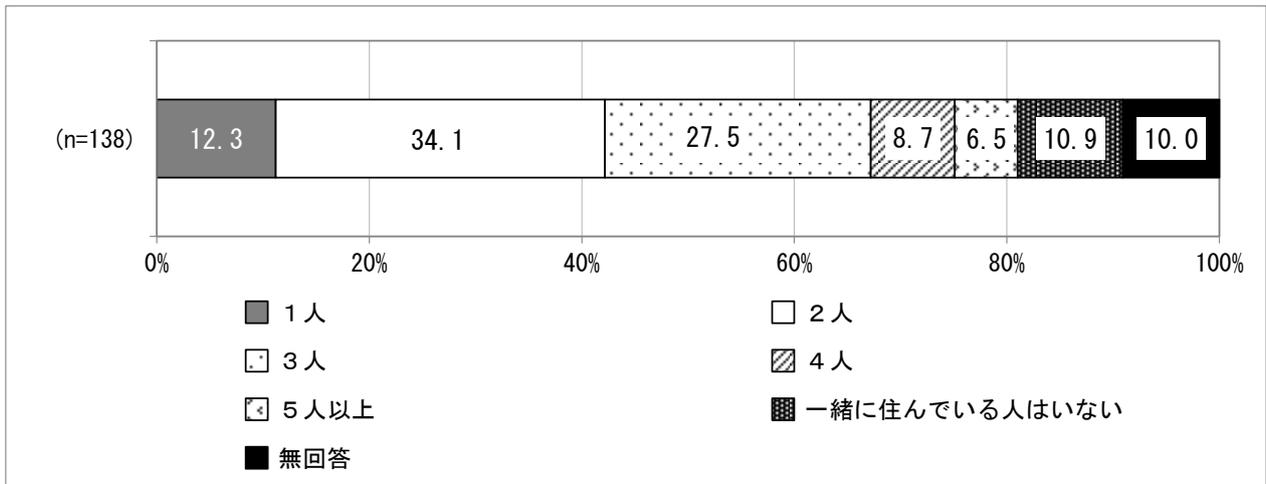
現在の住まいは、「自分や家族の持ち家」(73.9%)が最も高く、次いで「借家や賃貸マンション・アパート」(21.0%)となっている。

(イ) 将来は、どこで暮らしたいと思っていますか。(SA)



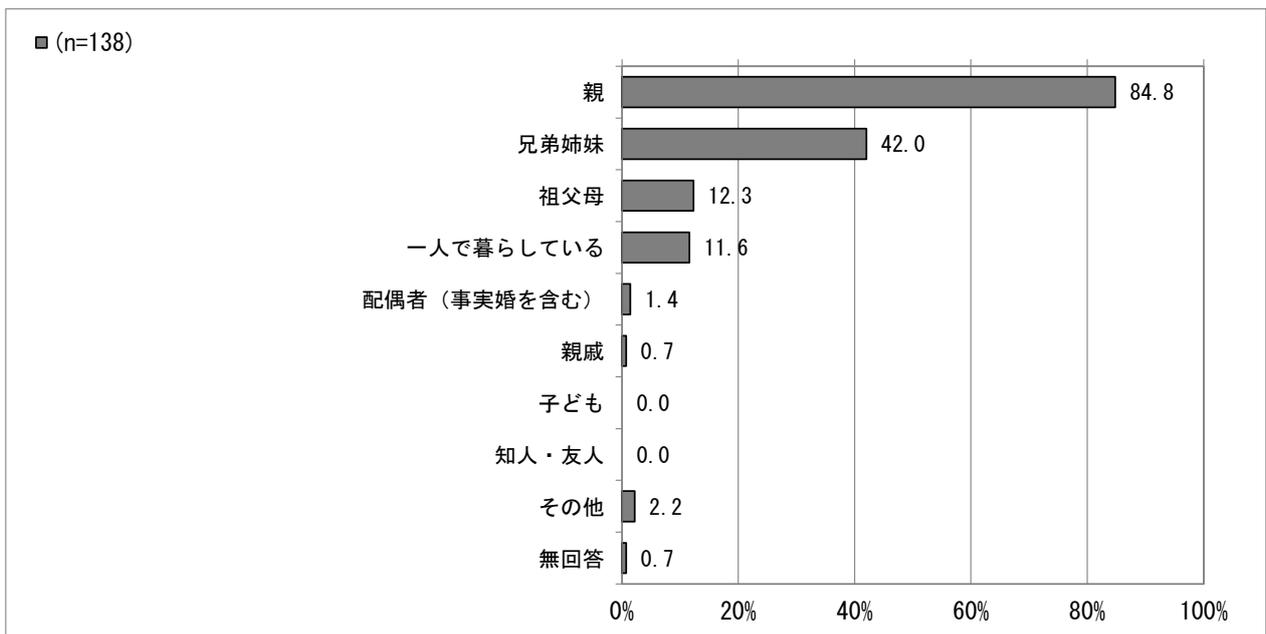
将来の居住希望は、「自分や家族の持ち家」(45.7%)が最も高く、次いで「借家や賃貸マンション・アパート」(29.7%)、「グループホーム」(8.7%)となっている。

問 10 あなたと一緒に住んでいる人は何人いますか。（本人以外の人数）（SA）



一緒に住んでいる人数は「2 人」(34.1%) が最も高く、次いで「3 人」(27.5%)、「1 人」(12.3%) となっている。

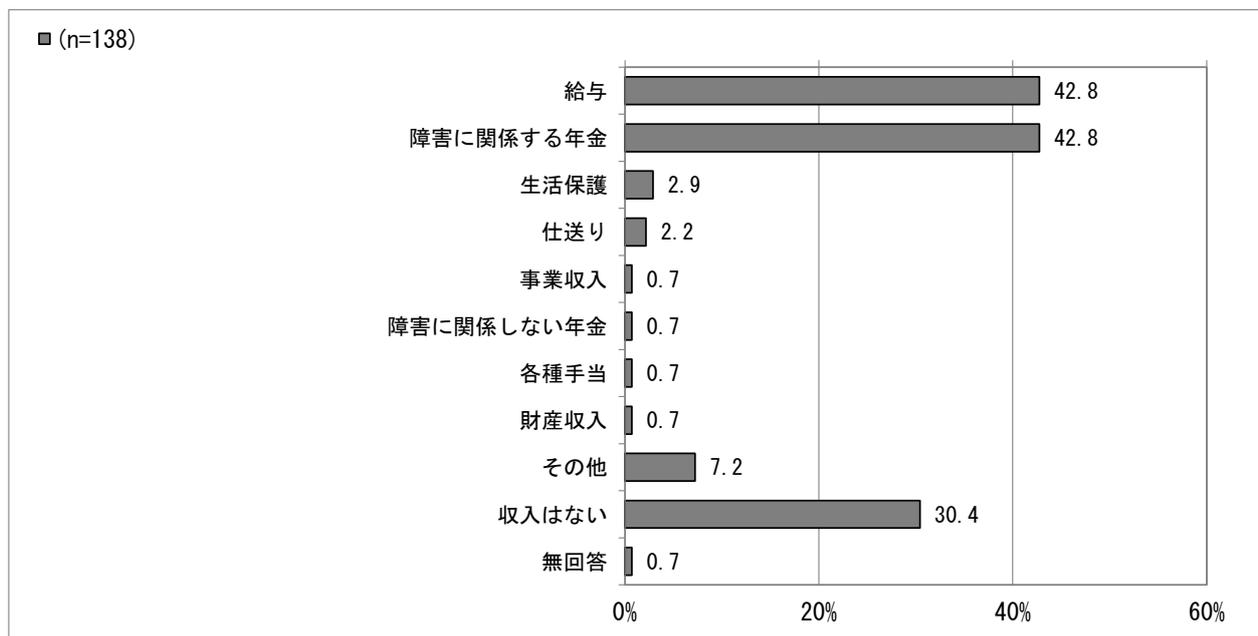
問 11 あなたと一緒に住んでいる人は誰ですか。（MA）



同居者は、「親」(84.8%) が最も高く、次いで「兄弟姉妹」(42.0%)、「祖父母」(12.3%) となっている。

### 3 所得の状況について

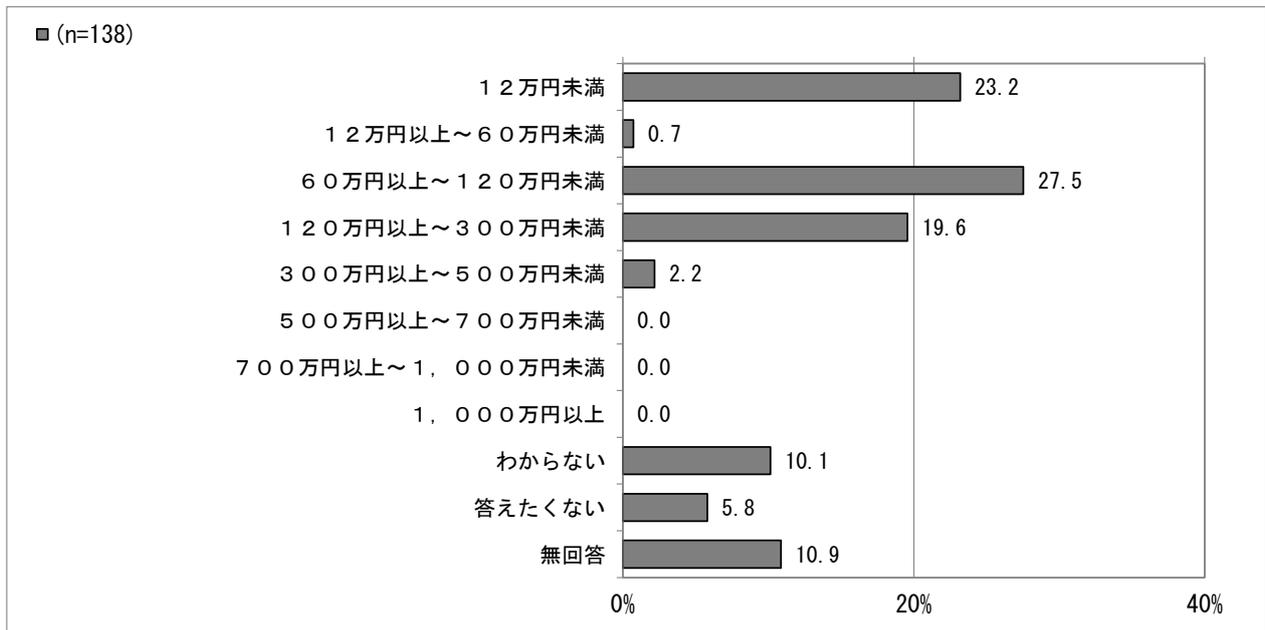
問 12 あなたが得ている収入は次のうちどれですか。(MA)



得ている収入は、「給与」と「障害に関する年金」がともに 42.8%と最も高く、次いで「収入はない」(30.4%)、「その他」(7.2%)となっている。

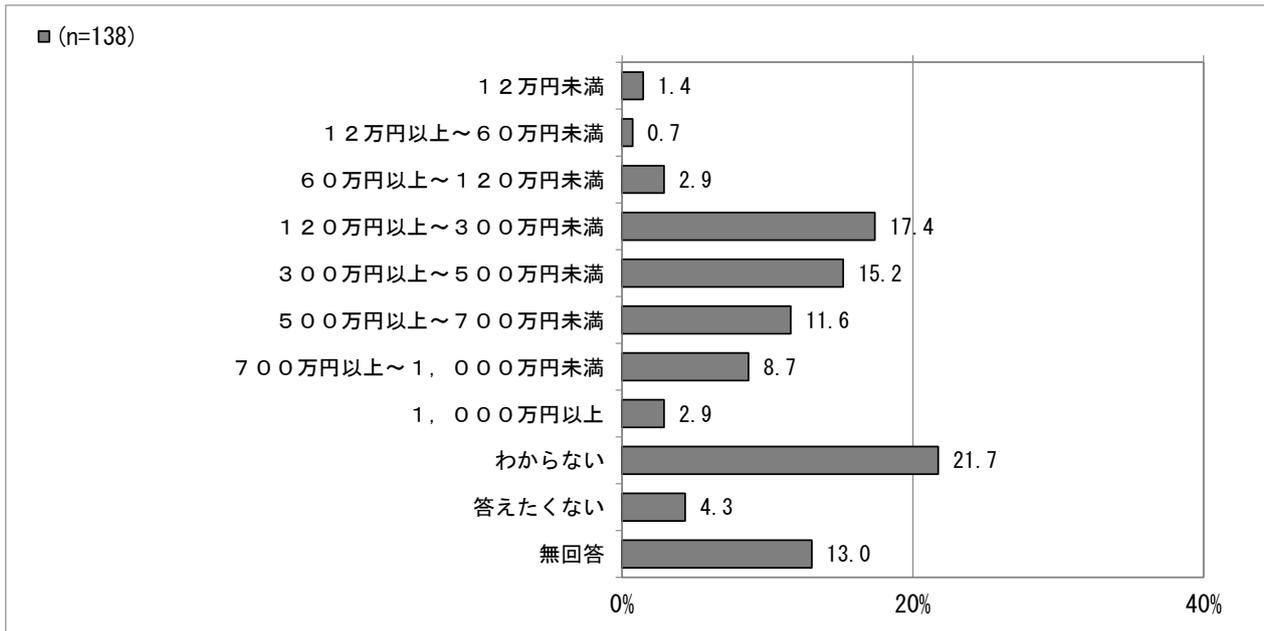
問 13 所得についておたずねします。

(ア) あなたの年収（税込）はだいたいどのくらいですか。(SA)



年収は、「60万円以上～120万円未満」(27.5%)が最も高く、次いで「12万円未満」(23.2%)、「120万円以上～300万円未満」(19.6%)となっている。

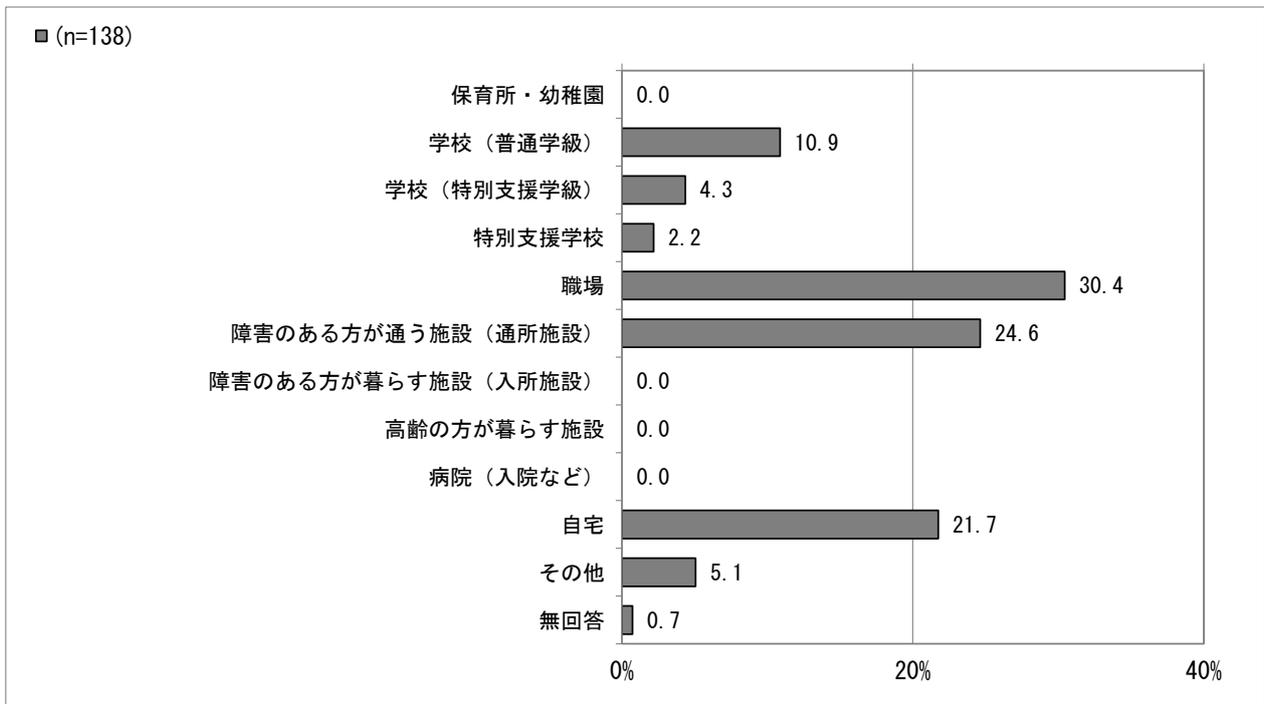
(イ) 一緒に暮らしている家族全体の年収(税込)はだいたいどのくらいですか。(本人の年収含む)(SA)



家族全体の年収は、「わからない」(21.7%)が最も高く、次いで「120万円以上～300万円未満」(17.4%)、「300万円以上～500万円未満」(15.2%)となっている。

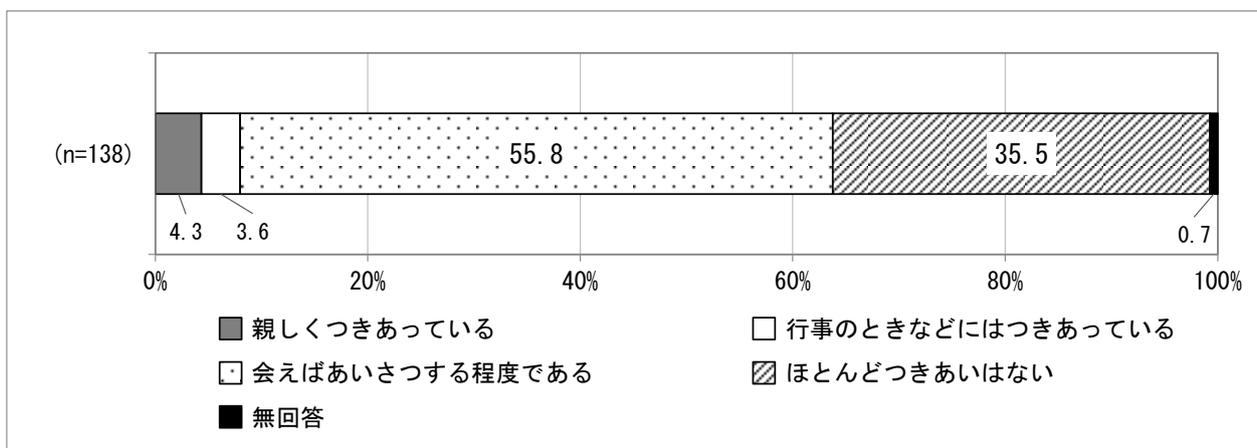
## 4 日常生活について

問 14 平日の日中の過ごし方についておたずねします。あなたが主に過ごしている場所はどこですか。(SA)



平日日中に主に過ごす場所は、「職場」(30.4%)が最も高く、次いで「障害のある方が通う施設（通所施設）」(24.6%)、「自宅」(21.7%)となっている。

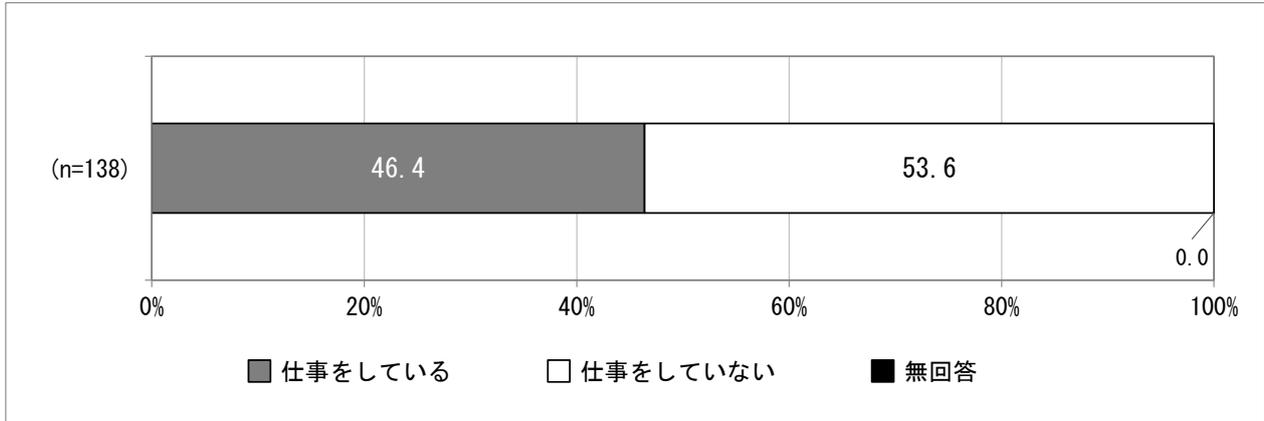
問 15 あなたは隣近所の人とどのようにつきあっていますか。(SA)



隣近所の人とのつきあいかたは、「会えばあいさつする程度である」(55.8%)が最も高く、次いで「ほとんどつきあいはない」(35.5%)、「親しくつきあっている」(4.3%)となっている。

## 5 就労の状況について

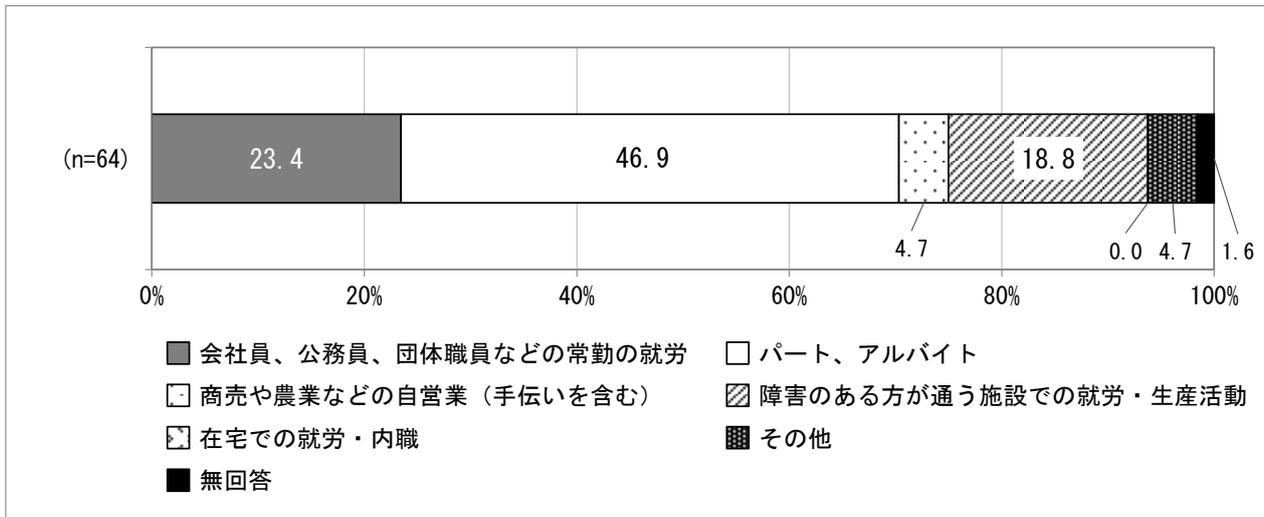
問 16 現在、あなたは仕事をしていますか。(SA)



現在仕事は、「仕事をしている」(46.4%)、「仕事をしていない」(53.6%)となっている。

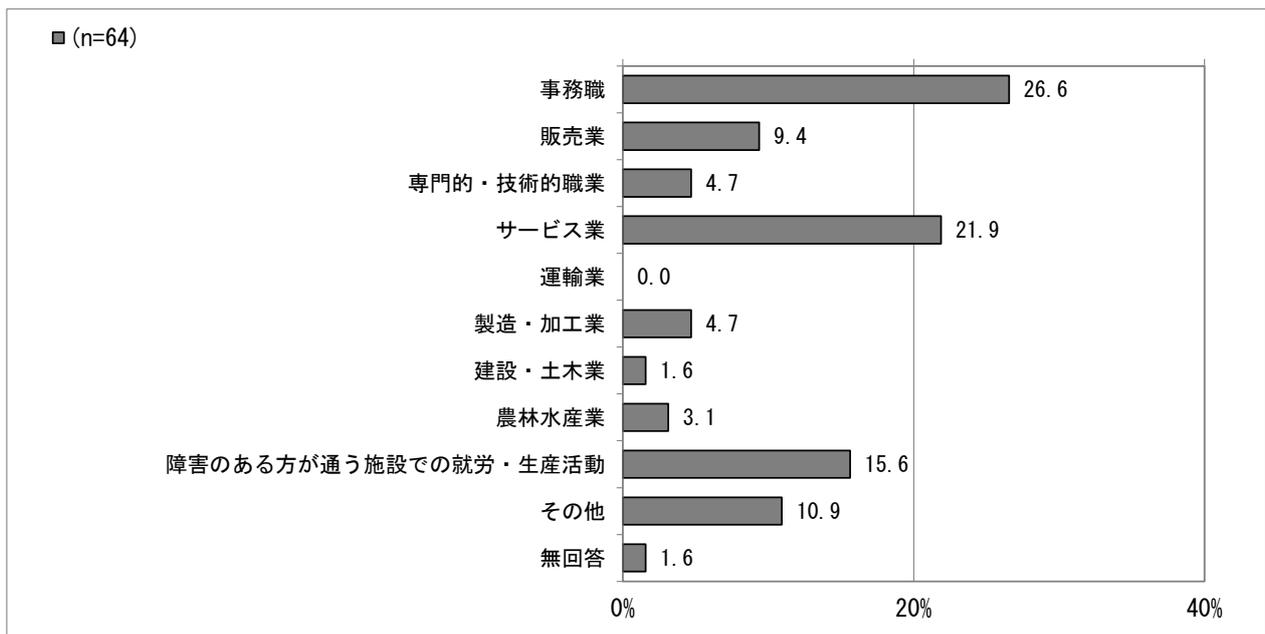
問 17 問 16 で「仕事をしている」を選んだ方におたずねします。

(1) あなたは主にどのような仕事に就いていますか。(SA)



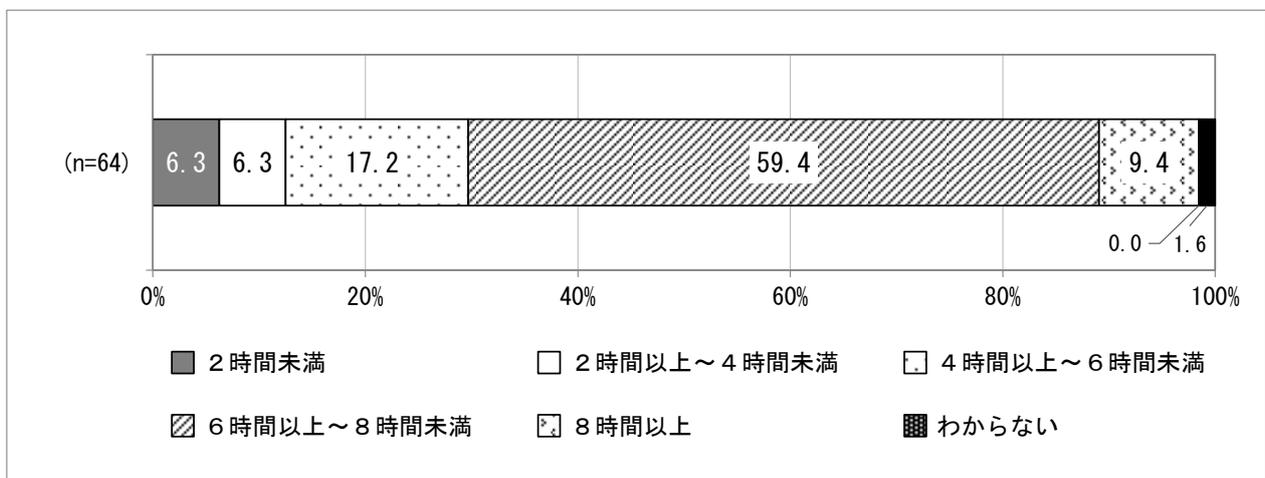
現在の仕事は、「パート、アルバイト」(46.9%)が最も高く、次いで「会社員、公務員、団体職員などの常勤の就労」(23.4%)、「障害のある方が通う施設での就労・生産活動」(18.8%)となっている。

(2) あなたは主にどのような内容の仕事をしていますか。(SA)



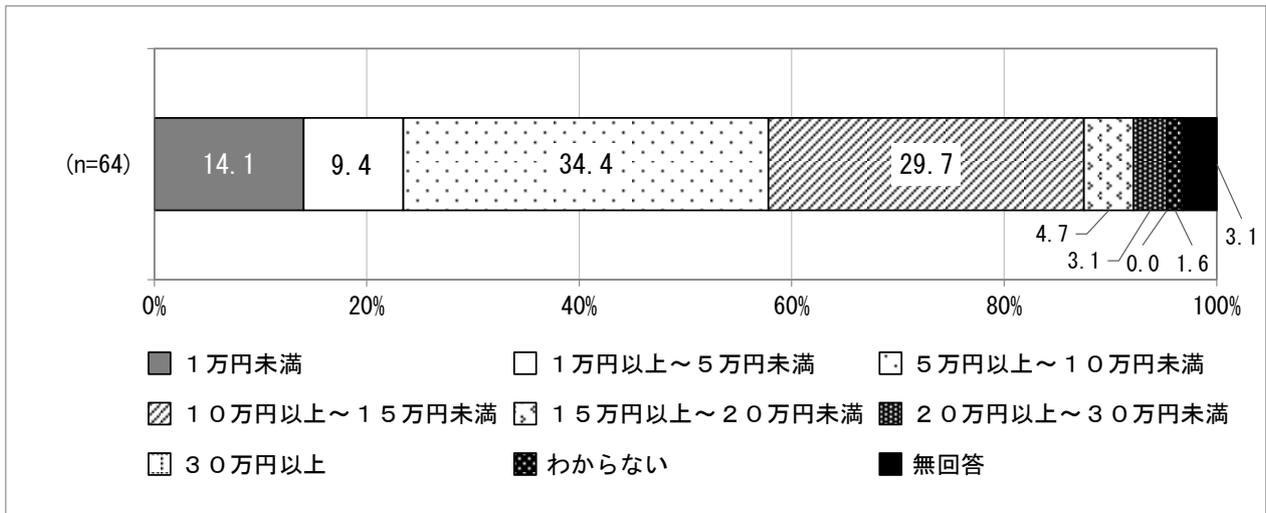
仕事の内容は、「事務職」(26.6%)が最も高く、次いで「サービス業」(21.9%)、「障害のある方が通う施設での就労・生産活動」(15.6%)となっている。

(3) あなたの1日あたりの仕事の時間はどのくらいですか。(SA)



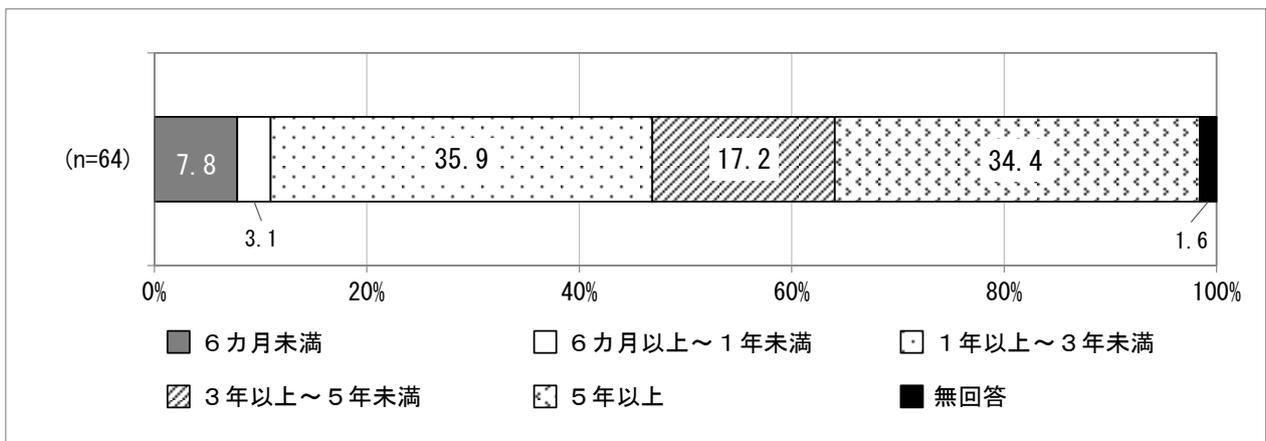
1日あたりの仕事の時間は、「6時間以上～8時間未満」(59.4%)が最も高く、次いで「4時間以上～6時間未満」(17.2%)、「8時間以上」(9.4%)となっている。

(4) あなたの仕事による収入は月額どのくらいですか。(SA)



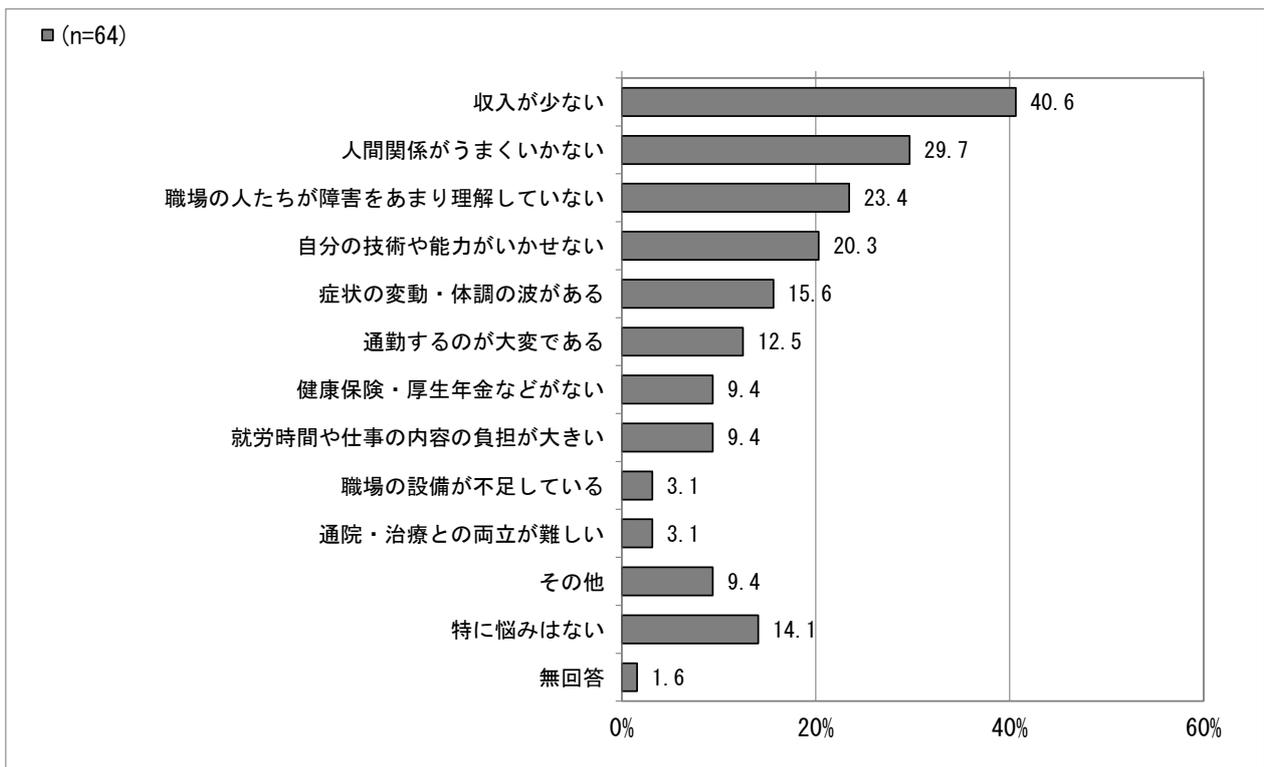
月額収入は、「5万円以上～10万円未満」(34.4%)が最も高く、次いで「10万円以上～15万円未満」(29.7%)、「1万円未満」(14.1%)となっている。

(5) あなたは現在の仕事をどのくらいの期間続けていますか。(SA)



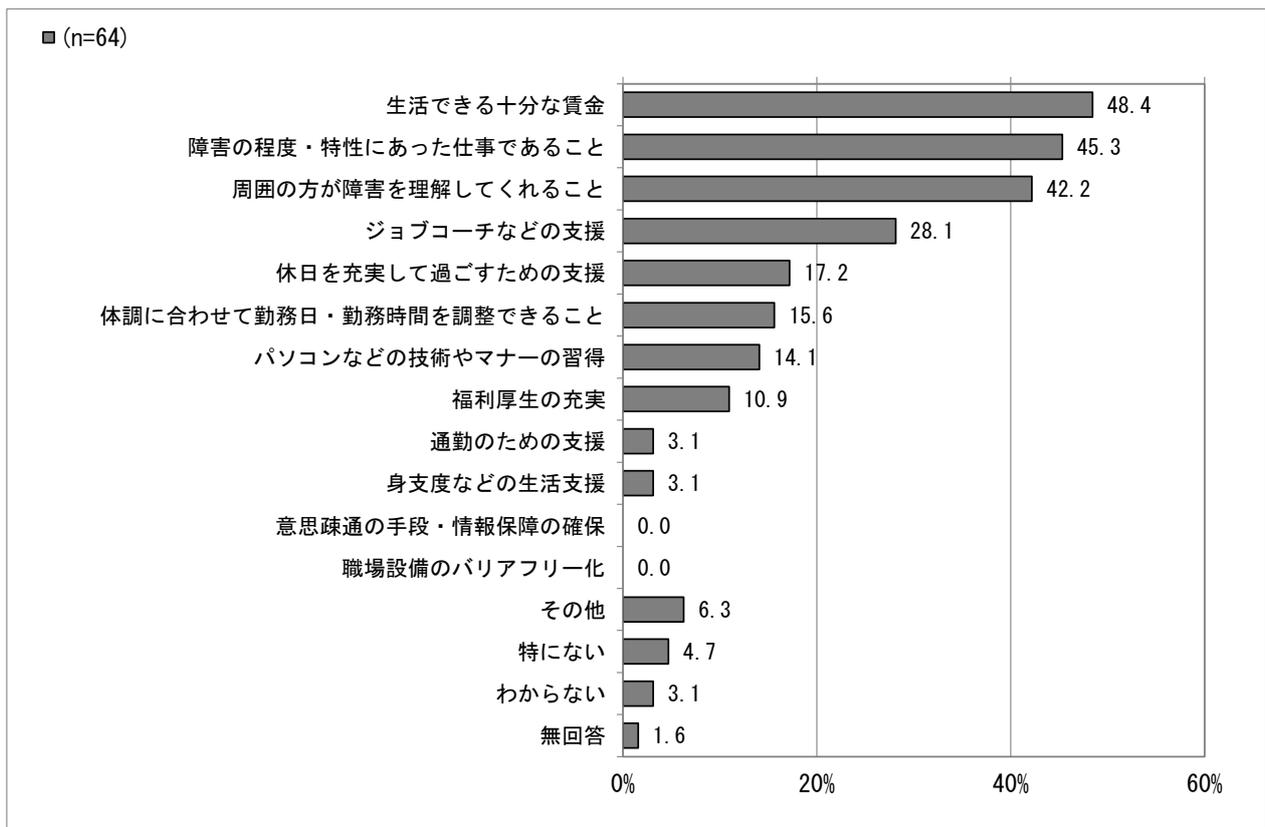
現在の仕事の期間は、「1年以上～3年未満」(35.9%)が最も高く、次いで「5年以上」(34.4%)、「3年以上～5年未満」(17.2%)となっている。

(6) あなたは仕事をしている上で、何か悩みや不満などがありますか。(MA)



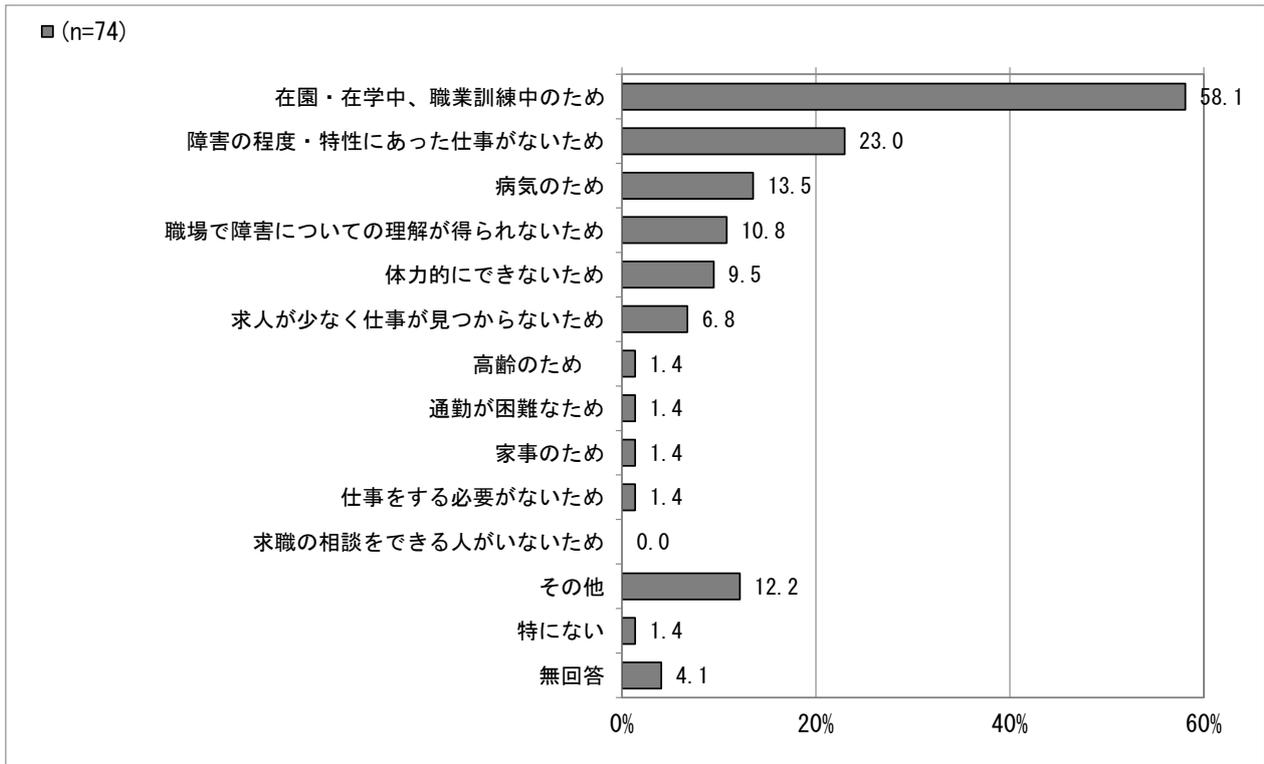
仕事をしている上での悩みや不満は、「収入が少ない」(40.6%)が最も高く、次いで「人間関係がうまくいかない」(29.7%)、「職場の人たちが障害をあまり理解していない」(23.4%)となっている。

## (7) あなたが仕事を続けるためには何が必要ですか。(MA)



仕事を続けるために必要なものは、「生活できる十分な賃金」(48.4%)が最も高く、次いで「障害の程度・特性にあった仕事であること」(45.3%)、「周囲の方が障害を理解してくれること」(42.2%)となっている。

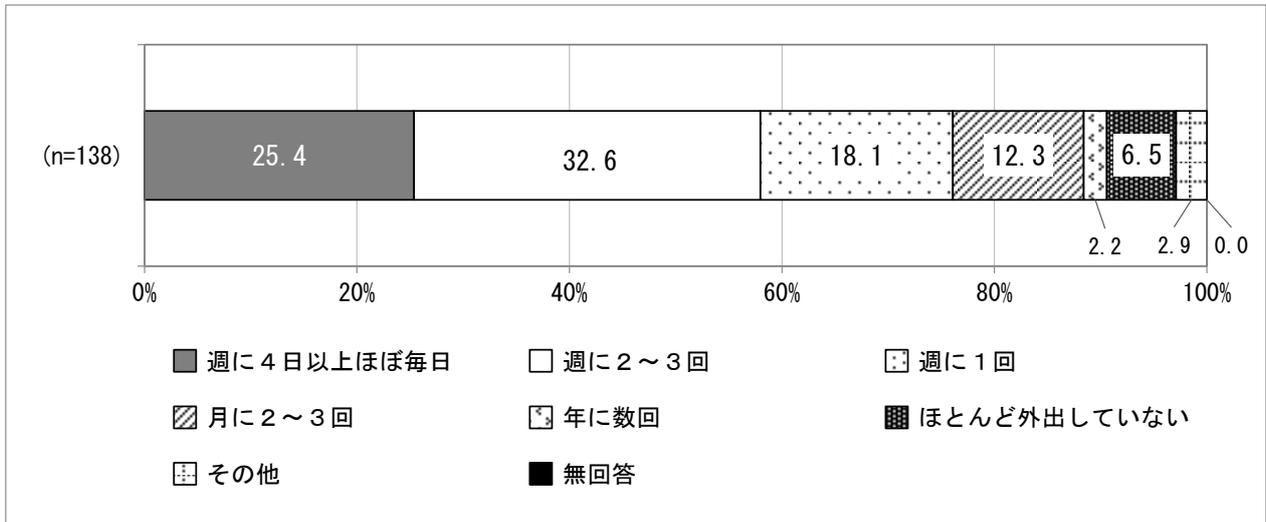
問 18 問 16 で「仕事をしていない」を選んだ方におたずねします。現在、あなたが仕事を  
していない理由は何ですか。(MA)



現在仕事をしていない理由は、「在園・在学中、職業訓練中のため」(58.1%)が最も高く、次いで「障害の程度・特性にあった仕事がないため」(23.0%)、「病気のため」(13.5%)となっている。

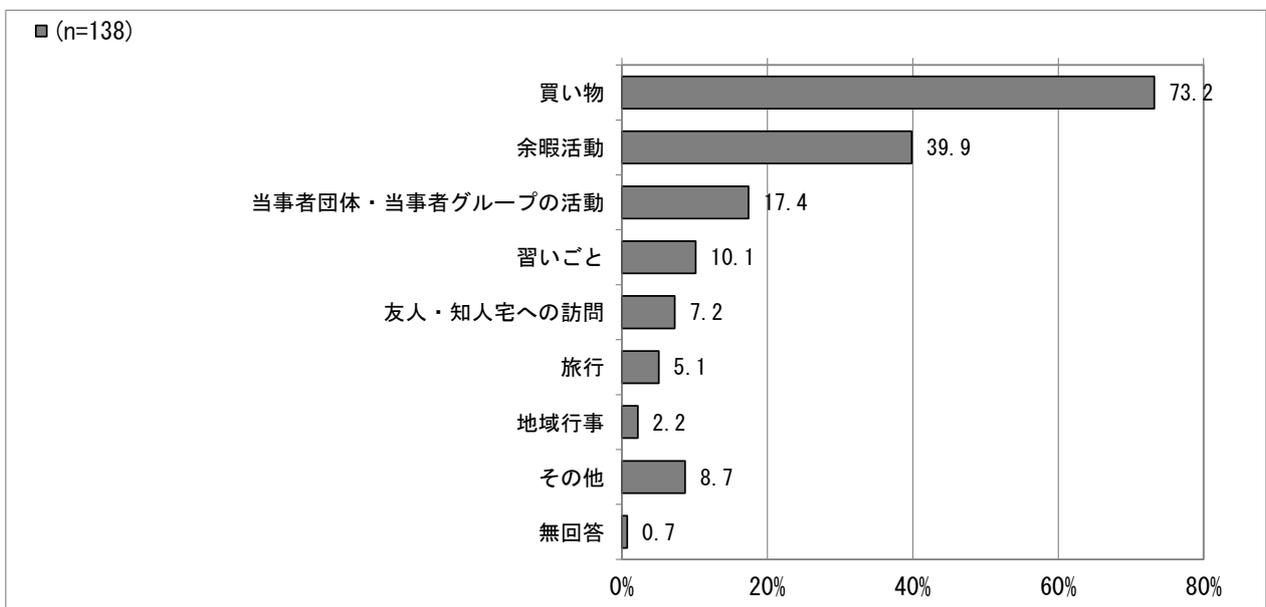
## 6 社会参加について

問 19 あなたはどのくらいの頻度で外出していますか。（通勤、通学、通園、通院、通所での外出は除く）（SA）



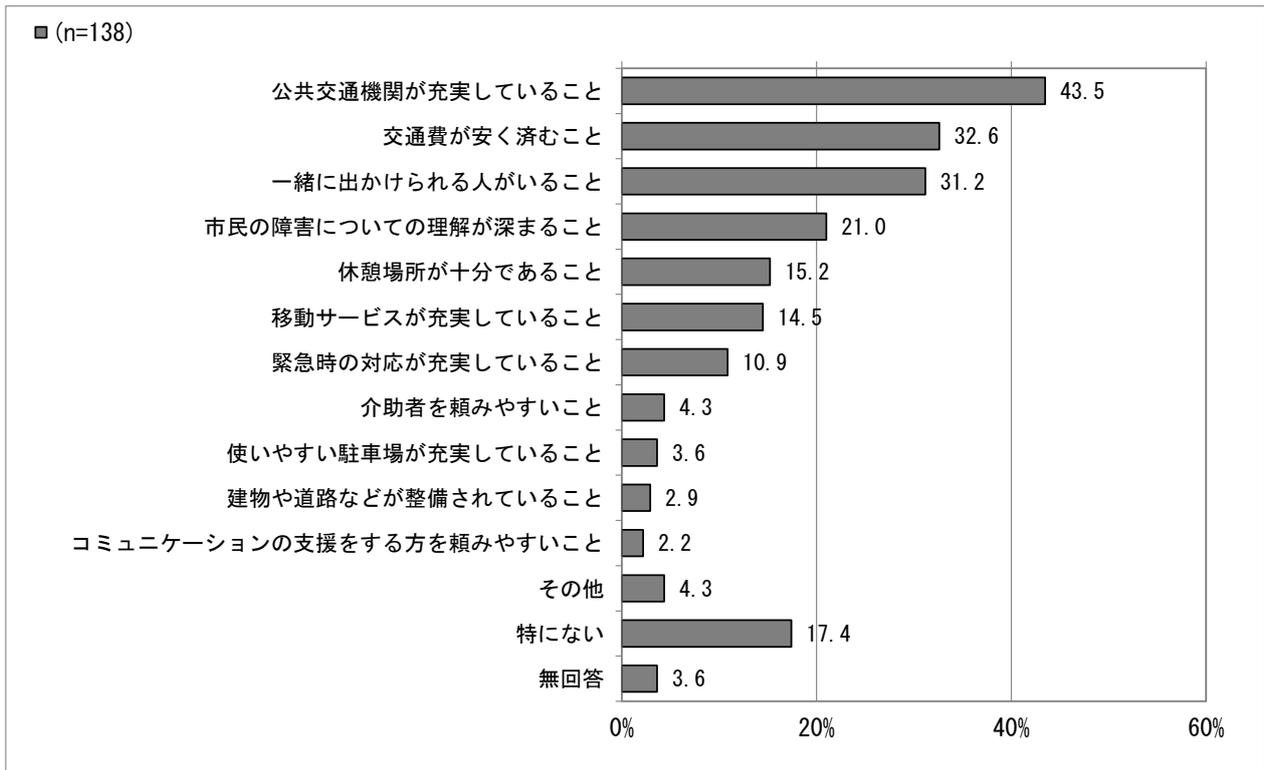
外出頻度は、「週に2~3回」(32.6%)が最も高く、次いで「週に4日以上ほぼ毎日」(25.4%)、「週に1回」(18.1%)となっている。

問 20 あなたの主な外出の目的は何ですか。（通勤、通学、通園、通院、通所での外出は除く）（MA）



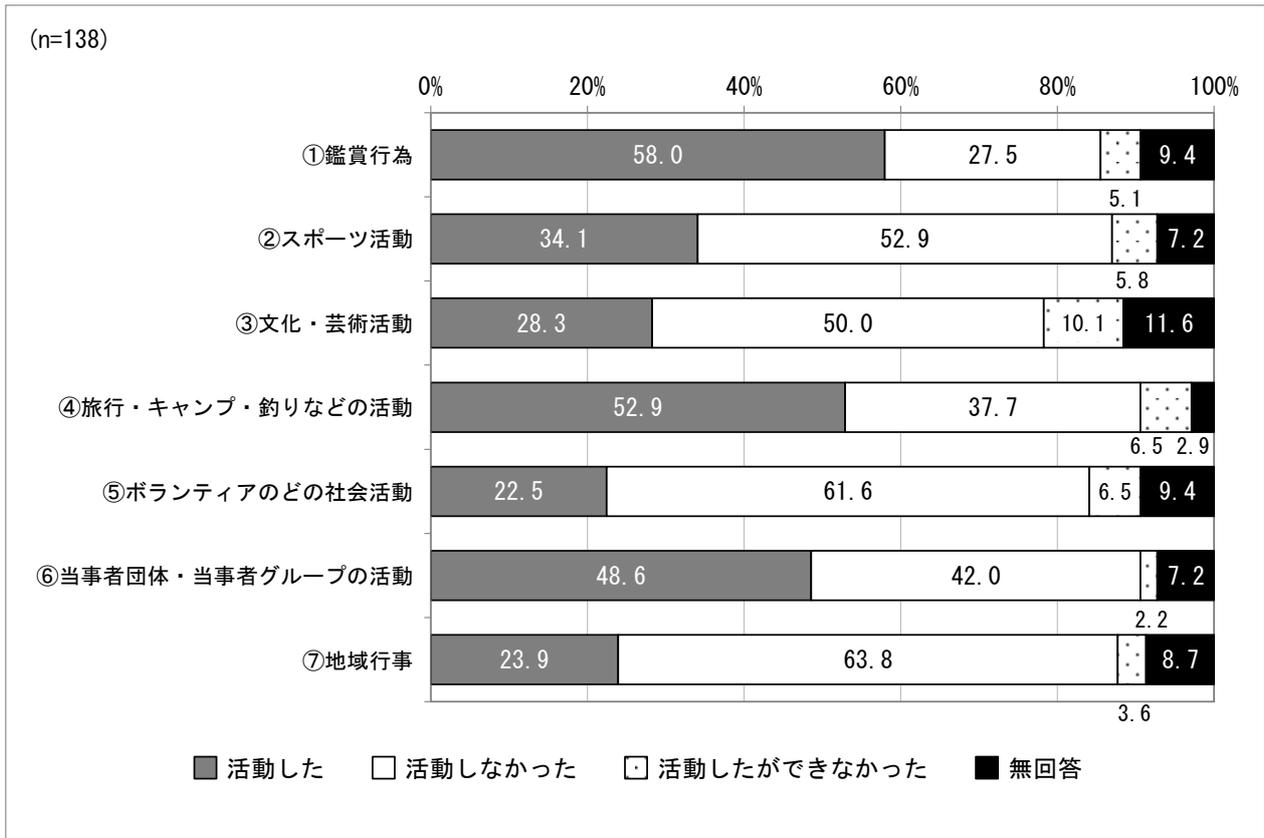
主な外出の目的は、「買い物」(73.2%)が最も高く、次いで「余暇活動」(39.9%)、「当事者団体・当事者グループの活動」(17.4%)となっている。

問 21 あなたがより外出しやすくなるためには何が必要ですか。(MA)



より外出しやすくなるために必要なものは、「公共交通機関が充実していること」(43.5%)が最も高く、次いで「交通費が安く済むこと」(32.6%)、「一緒に出かけられる人がいること」(31.2%)となっている。

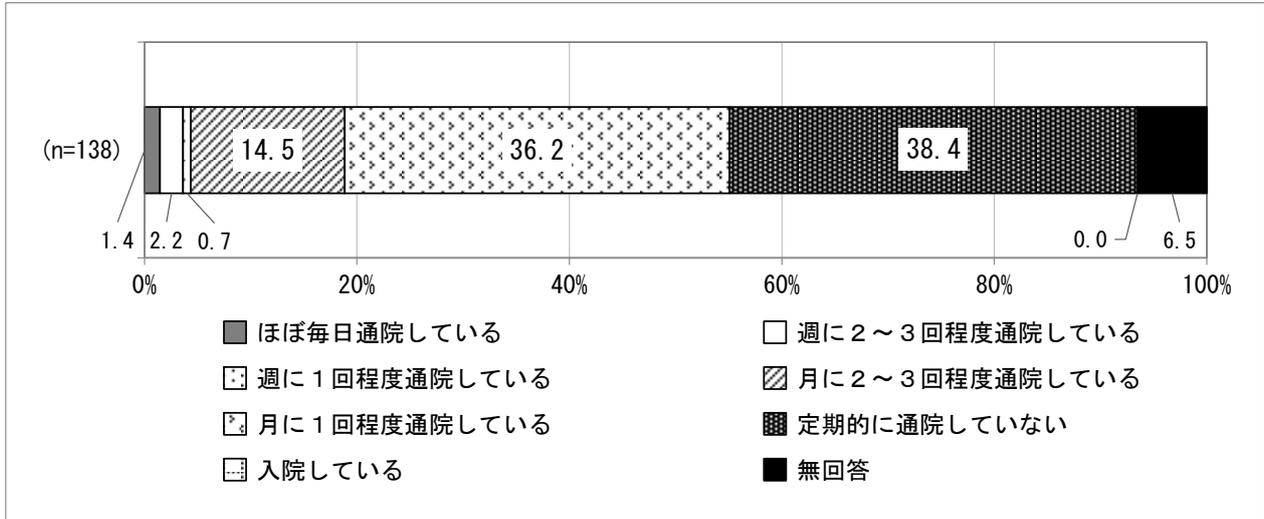
問 22 あなたは過去一年間に、どのような余暇活動、スポーツ、趣味、学習や社会活動などをしましたか。(SA)



過去一年間に行った活動などは、「①鑑賞行為」(58.0%)が最も高く、次いで「④旅行・キャンプ・釣りなどの活動」(52.9%)、「⑥当事者団体・当事者グループの活動」(48.6%)となっている。

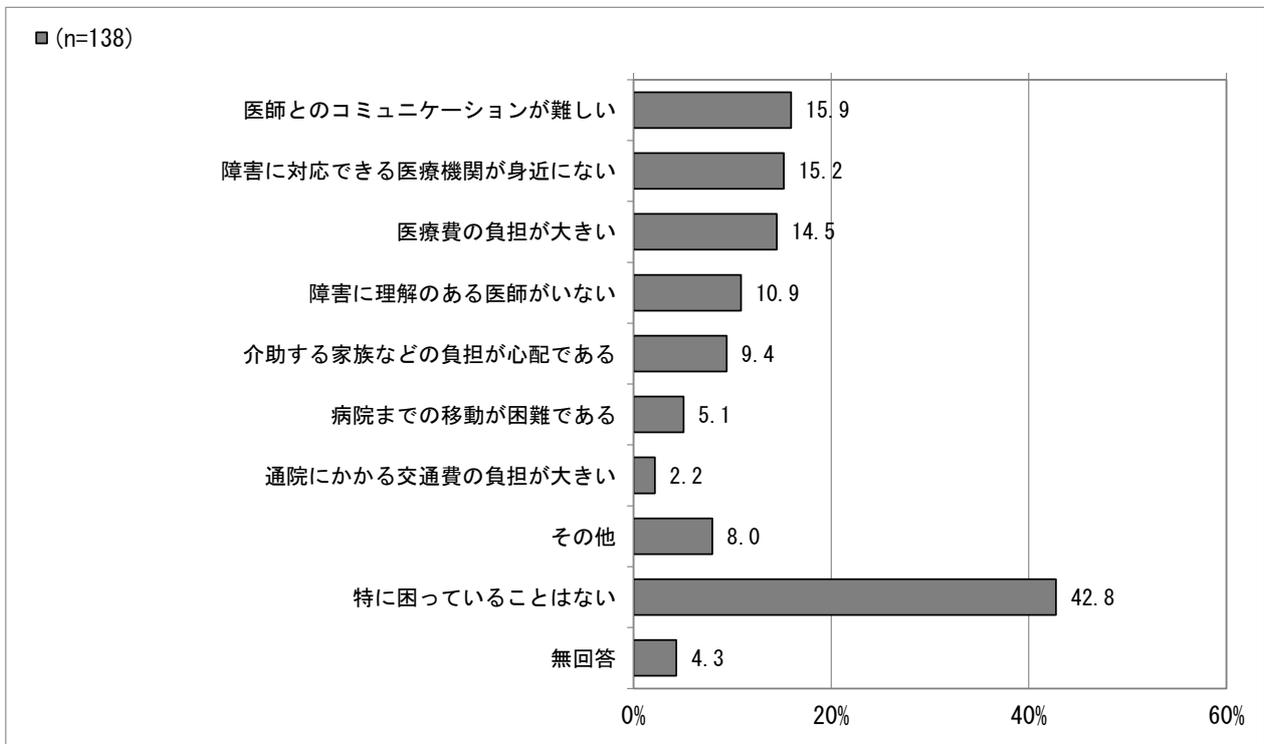
## 7 健康や医療について

問 23 あなたは普段、定期的に通院していますか。(SA)



定期的な通院は、「定期的に通院していない」(38.4%)が最も高く、次いで「月に1回程度通院している」(36.2%)、「月に2~3回程度通院している」(14.5%)となっている。

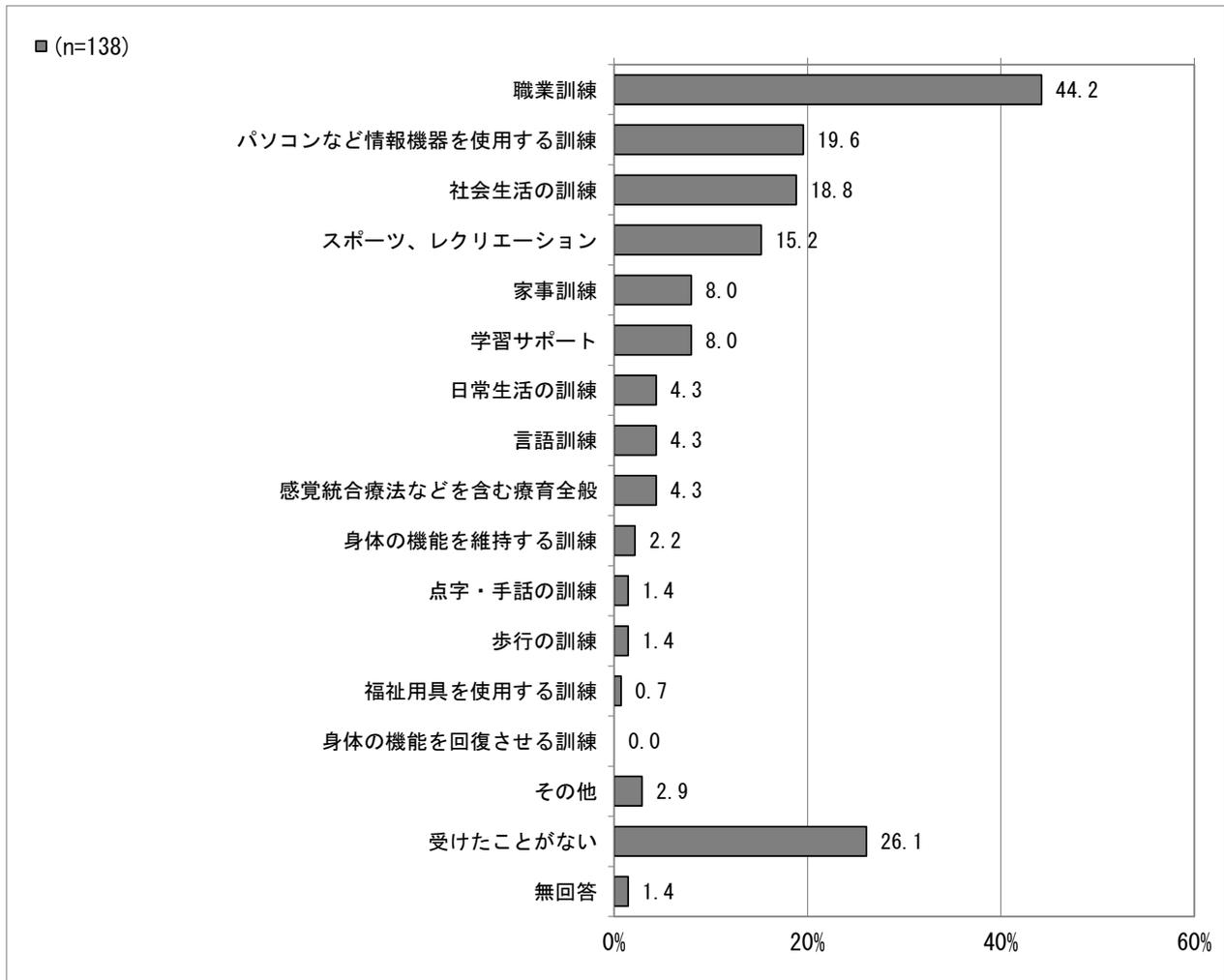
問 24 あなたが医療機関を利用する際に困っていることは何ですか。(MA)



医療機関利用時に困っていることは、「特に困っていることはない」(42.8%)が最も高く、次いで「医師とのコミュニケーションが難しい」(15.9%)、「障害に対応できる医療機関が身近にない」(15.2%)となっている。

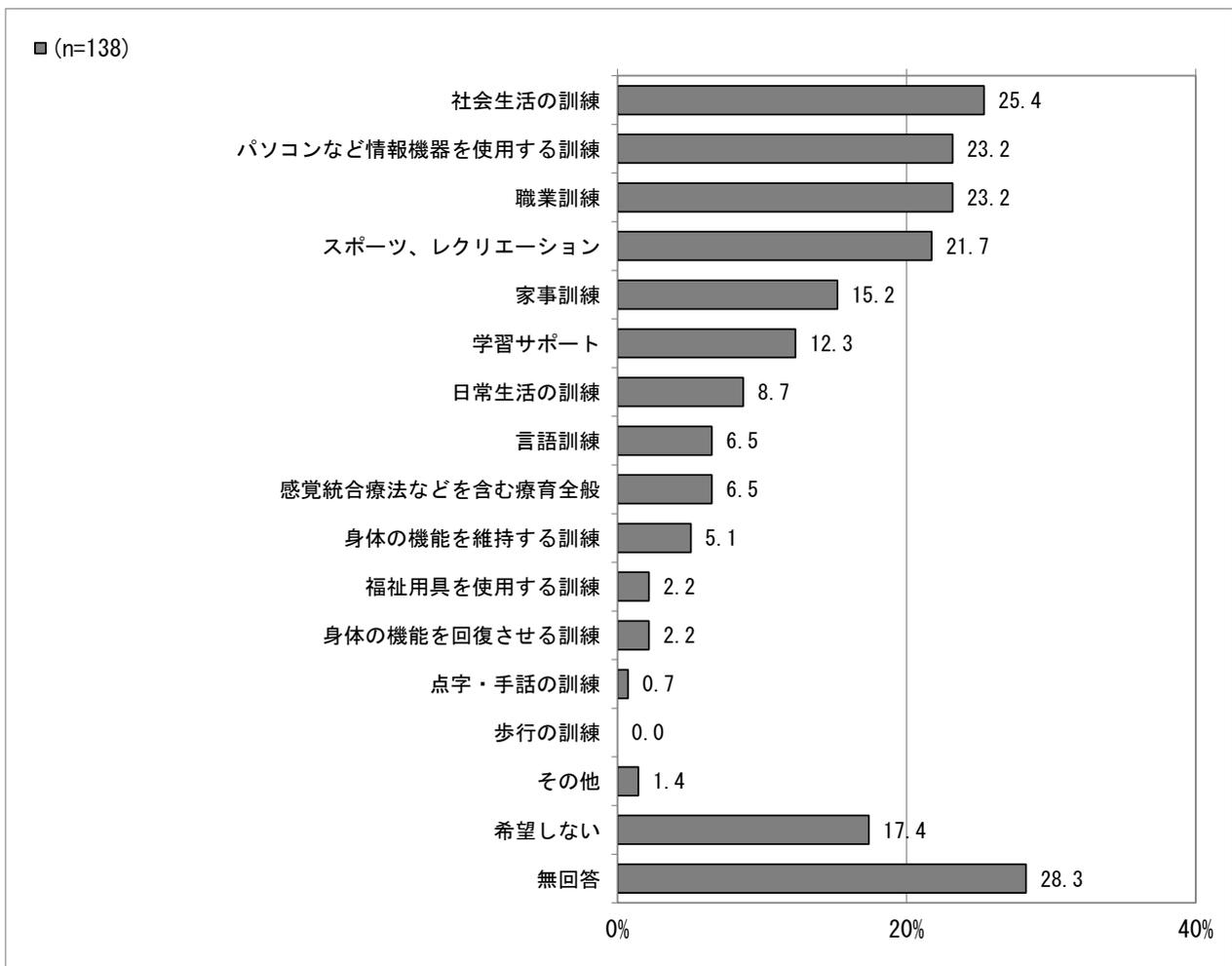
問25 訓練などについておたずねします。

(ア) あなたは、どのような訓練・リハビリテーション・療育を受けたことがありますか。  
(MA)



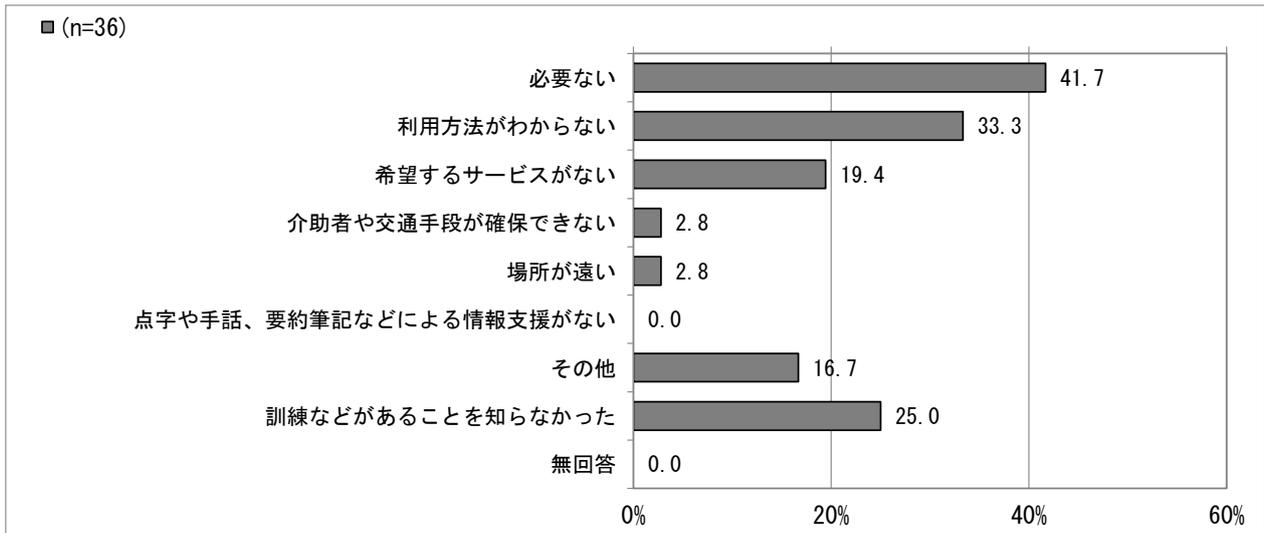
受けたことのある訓練などは、「職業訓練」(44.2%)が最も高く、次いで「受けたことがない」(26.1%)、「パソコンなど情報機器を使用する訓練」(19.6%)となっている。

(イ) 今後どのような訓練・リハビリテーション・療育を受けたいと思いますか。(MA)



今後受けたい訓練などは、「社会生活の訓練」(25.4%)が最も高く、次いで「パソコンなど情報機器を使用する訓練」と「職業訓練」がともに23.2%、「スポーツ、レクリエーション」(21.7%)となっている。

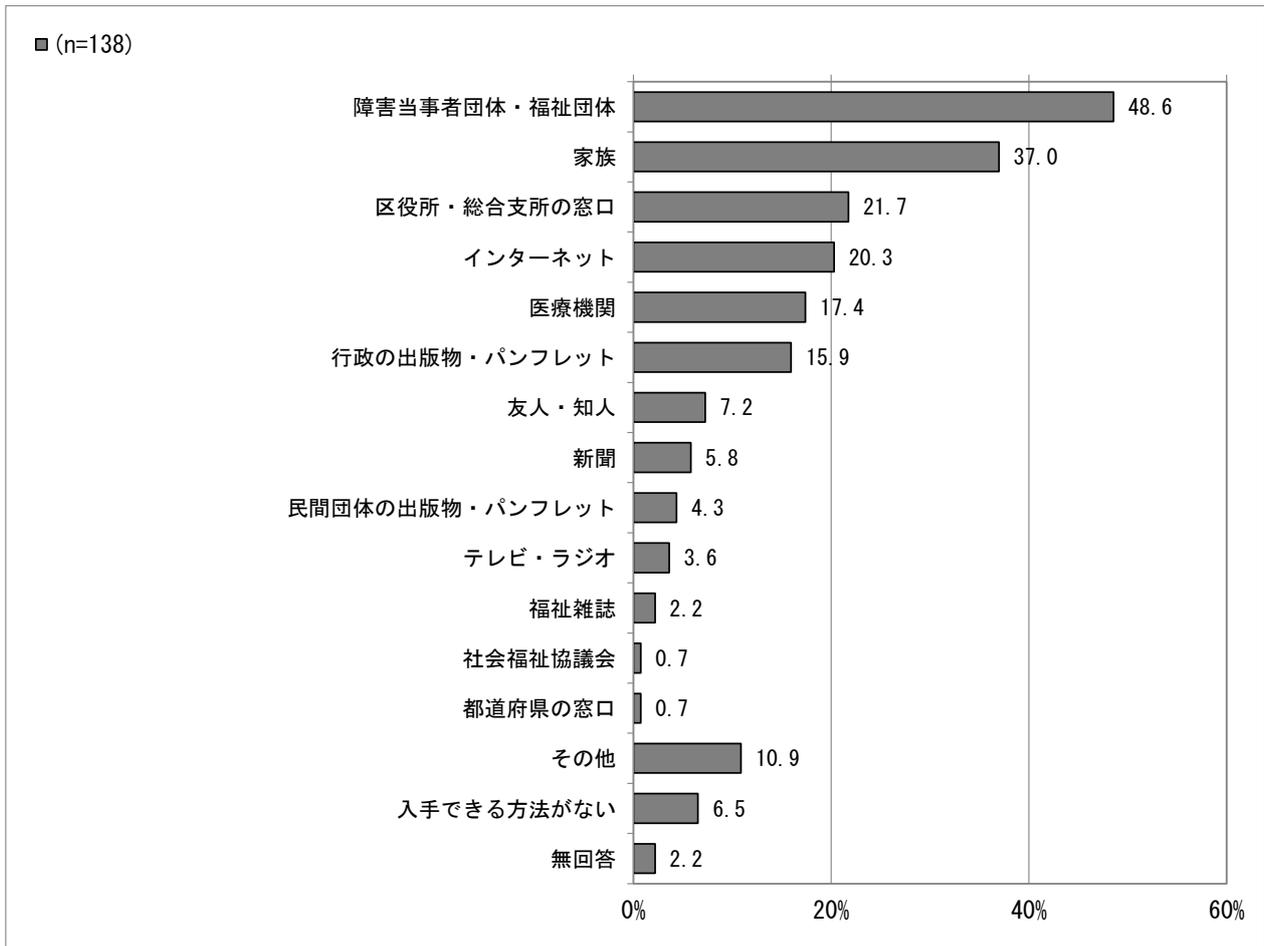
問 26 問 25 で「受けたことがない」を選んだ方におたずねします。受けたことがない理由は何ですか。(MA)



受けたことがない理由は、「必要ない」(41.7%)が最も高く、次いで「利用方法がわからない」(33.3%)、「訓練などがあることを知らなかった」(25.0%)となっている。

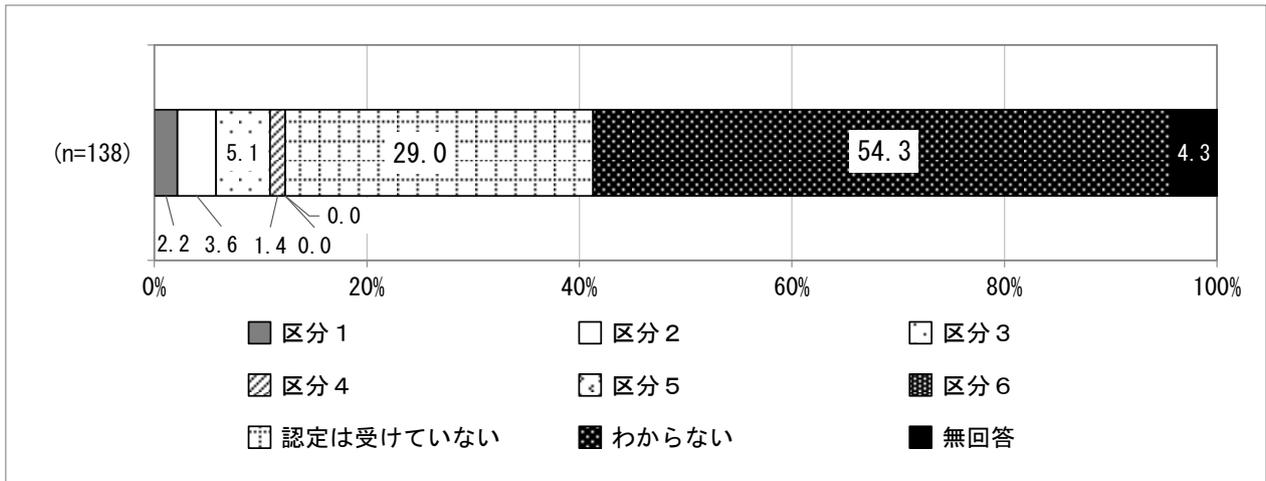
## 8 福祉サービスについて

問 27 あなたはどのようなところから福祉サービスの情報を得ていますか。(MA)



情報の入手先は、「障害当事者団体・福祉団体」(48.6%)が最も高く、次いで「家族」(37.0%)、「区役所・総合支所の窓口」(21.7%)となっている。

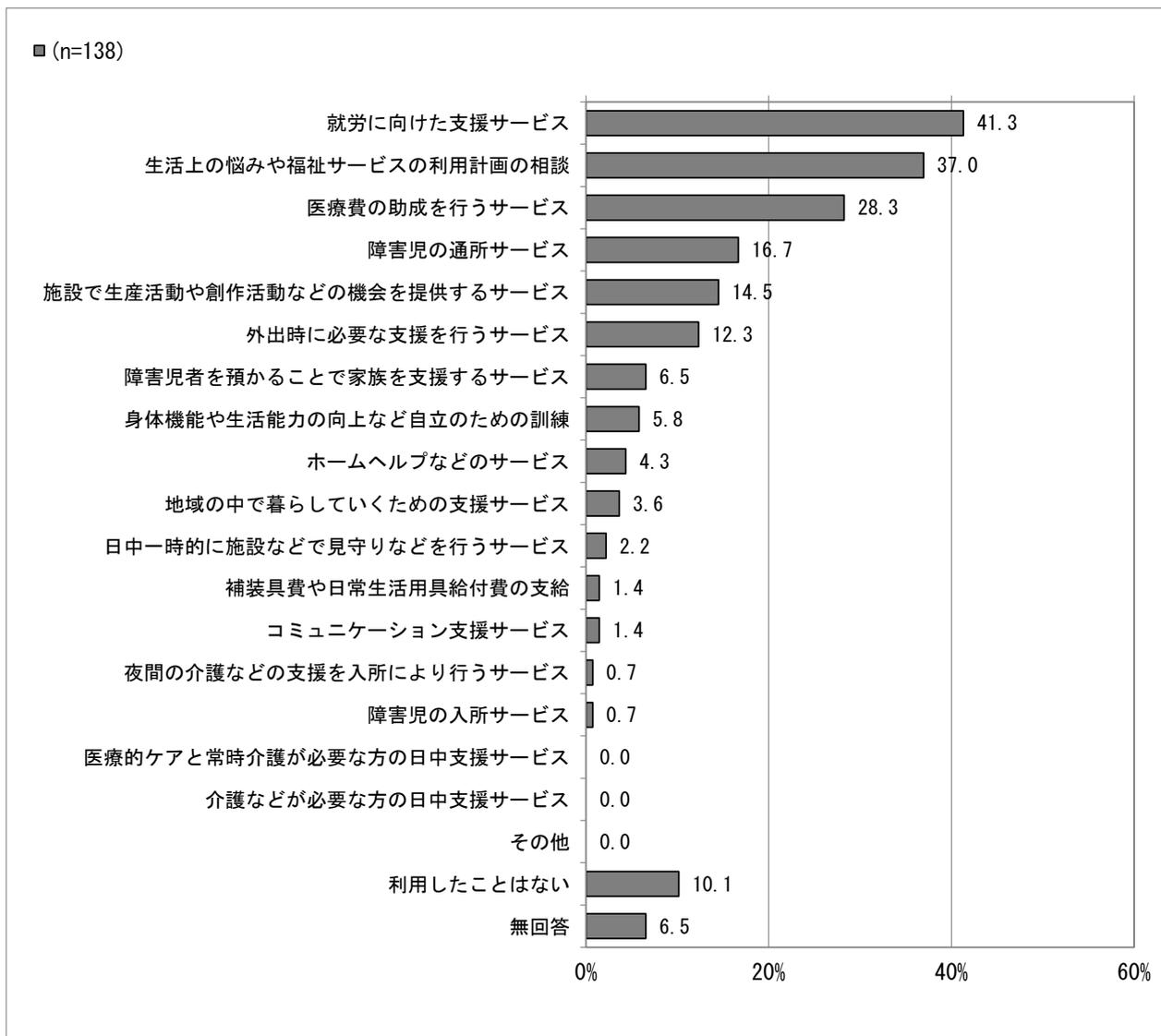
問 28 あなたは「障害のある方の福祉サービス」を利用するための、障害支援区分認定を受けていますか。(SA)



区分認定は、「わからない」(54.3%)が最も高く、次いで「認定は受けていない」(29.0%)、「区分3」(5.1%)となっている。

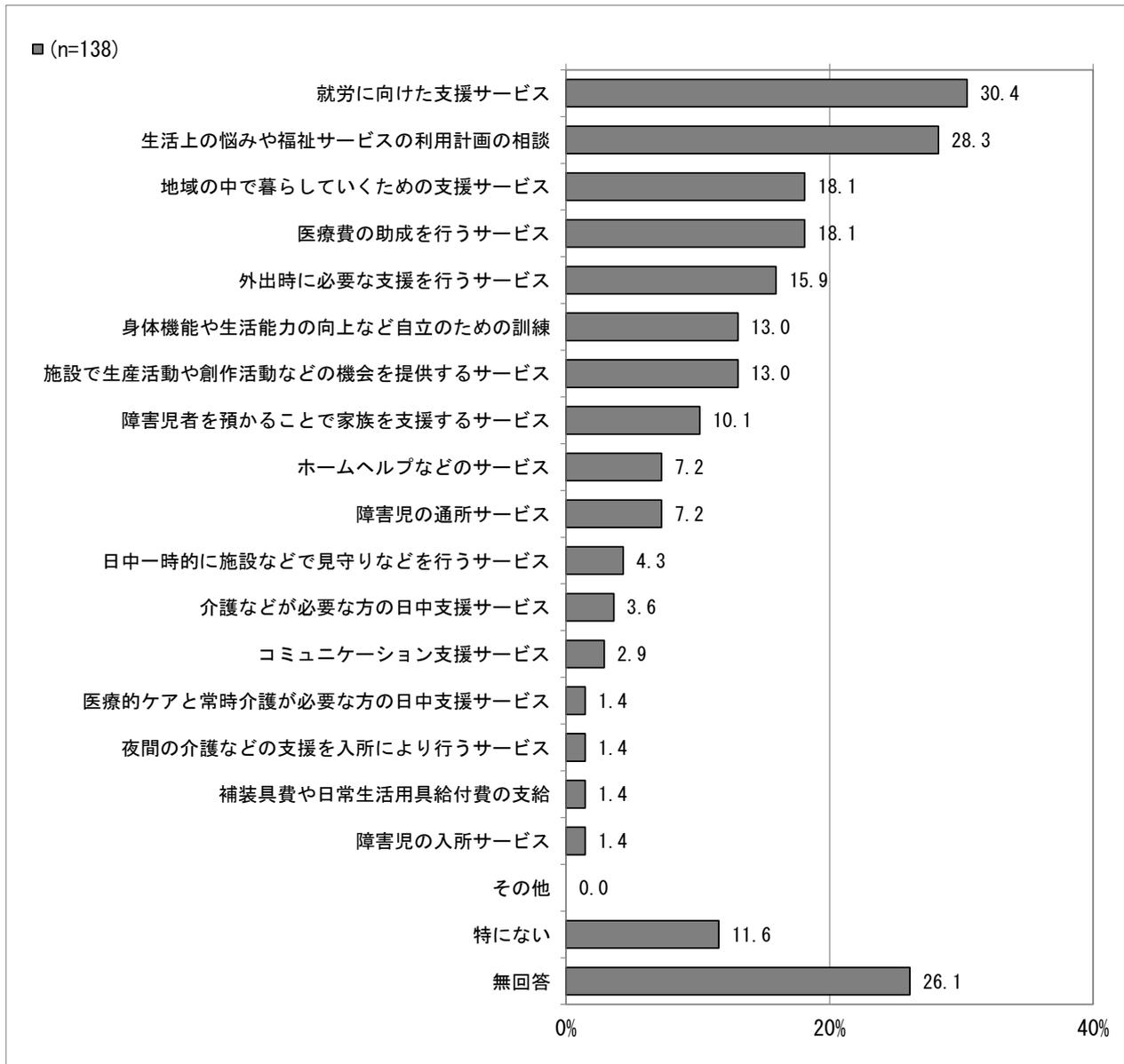
問 29 「障害のある方の福祉サービス」についておたずねします。

(ア) あなたはこれまでにどのようなサービスを利用したことがありますか。(MA)



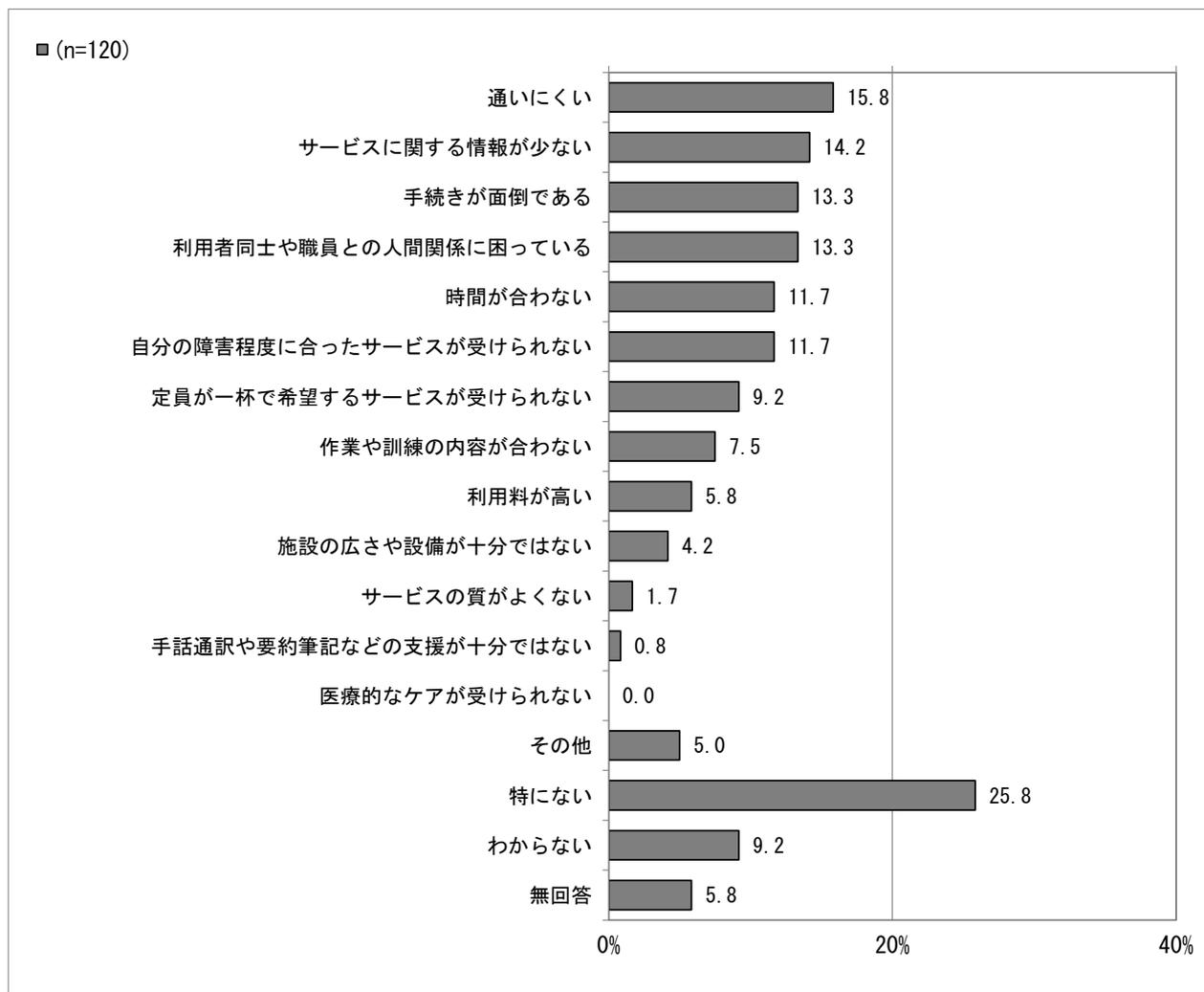
これまで利用したことのあるサービスは、「就労に向けた支援サービス」(41.3%)が最も高く、次いで「生活上の悩みや福祉サービスの利用計画の相談」(37.0%)、「医療費の助成を行うサービス」(28.3%)となっている。

## (イ) 今後、あなたが利用したいと思うサービスは何ですか。(MA)



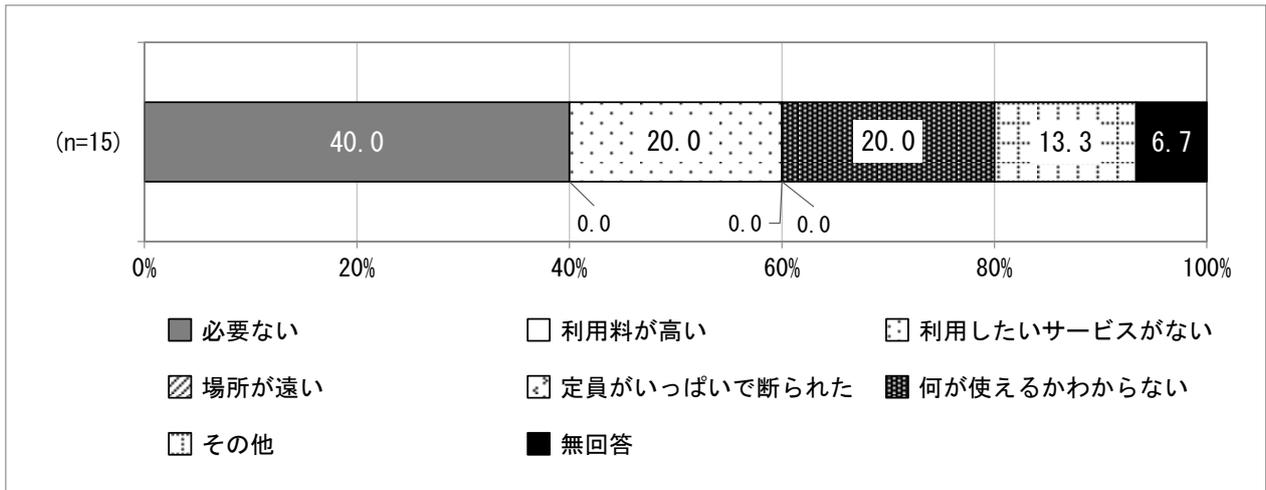
今後利用したいサービスは、「就労に向けた支援サービス」(30.4%)が最も高く、次いで「生活上の悩みや福祉サービスの利用計画の相談」(28.3%)、「地域の中で暮らしていくための支援サービス」と「医療費の助成を行うサービス」がともに18.1%となっている。

問 30 問 29 で「特にない」以外のどれかひとつでも選んだ方におたずねします。あなたが「障害のある方の福祉サービス」を利用するにあたって困っていることは何ですか。(MA)



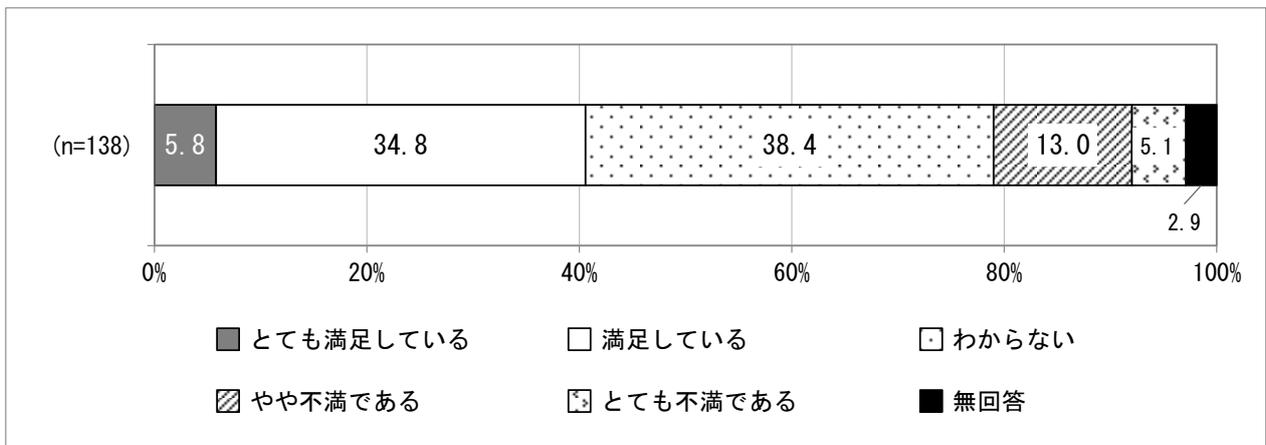
障害のある方の福祉サービスの利用にあたり困っていることは、「特にない」(25.8%)が最も高く、次いで「通にくい」(15.8%)、「サービスに関する情報が少ない」(14.2%)となっている。

問 31 問 29 で「利用したことがない」を選んだ方におたずねします。利用したことがない理由は何ですか。(SA)



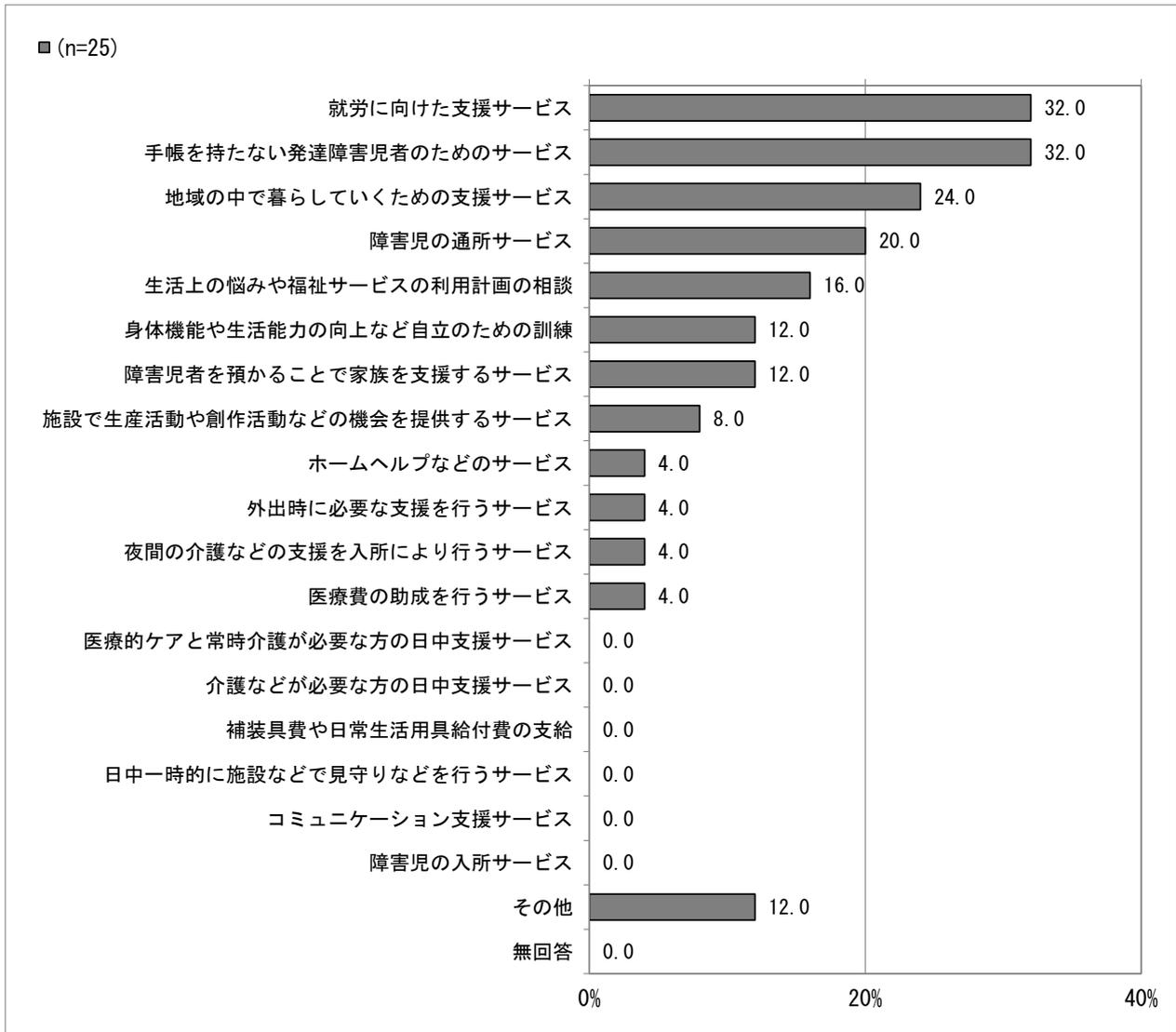
利用したことがない理由は、「必要ない」(40.0%)が最も高く、次いで「利用したいサービスがない」と「何が使えるかわからない」がともに20.0%、「その他」(13.3%)となっている。

問 32 現在、あなたは仙台市にある「障害のある方の福祉サービス」に満足していますか。(SA)



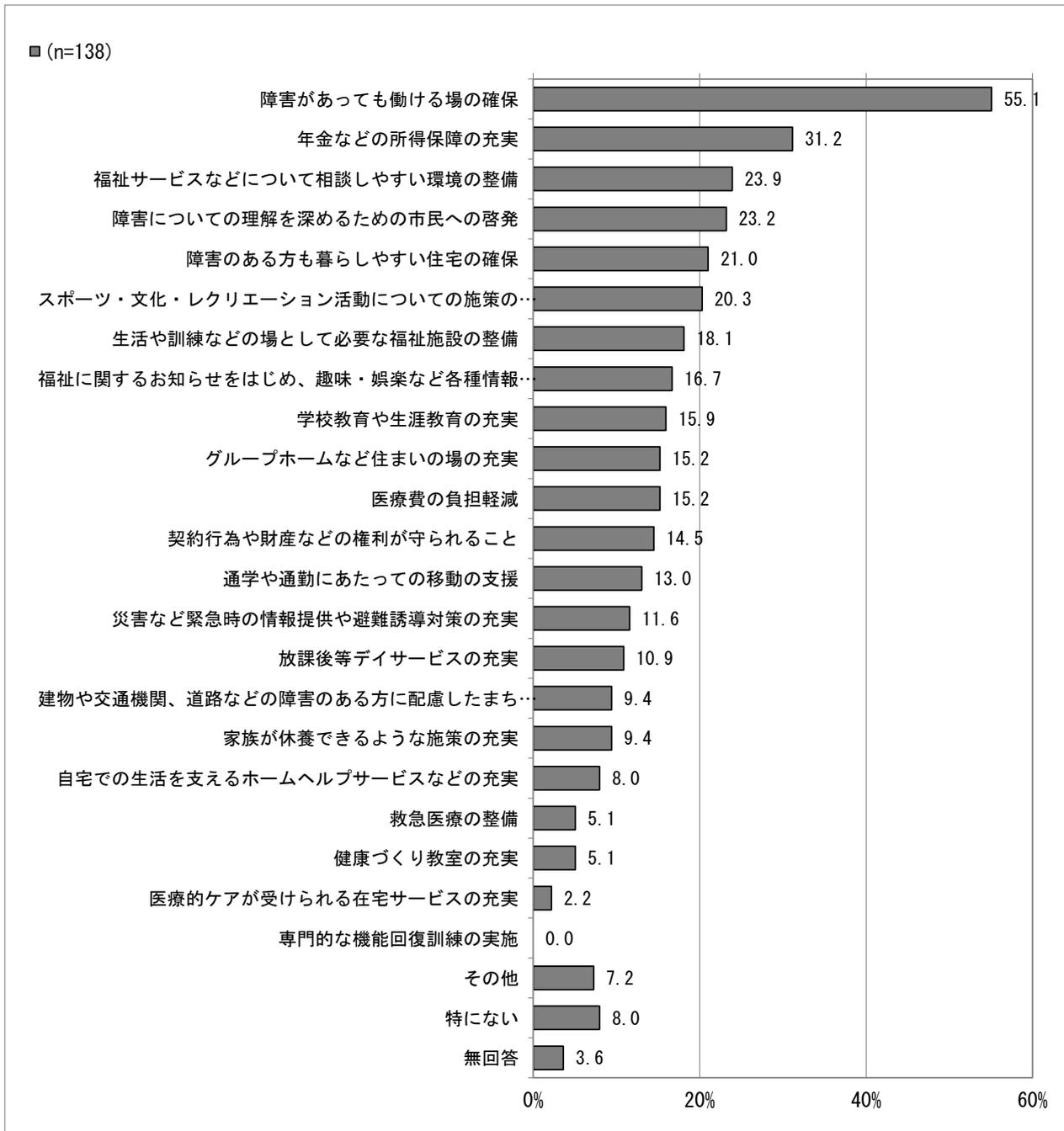
市の「障害のある方の福祉サービス」について、「わからない」(38.4%)が最も高く、次いで「満足している」(34.8%)、「やや不満である」(13.0%)となっている。

問 33 問 32 で「やや不満である」「とても不満である」を選んだ方におたずねします。特にどのような福祉サービスに不満を感じていますか。(MA)



不満のある福祉サービスは、「就労に向けた支援サービス」と「手帳を持たない発達障害児者のためのサービス」がともに 32.0%と最も高く、次いで「地域の中で暮らしていくための支援サービス」(24.0%)、「障害児の通所サービス」(20.0%)となっている。

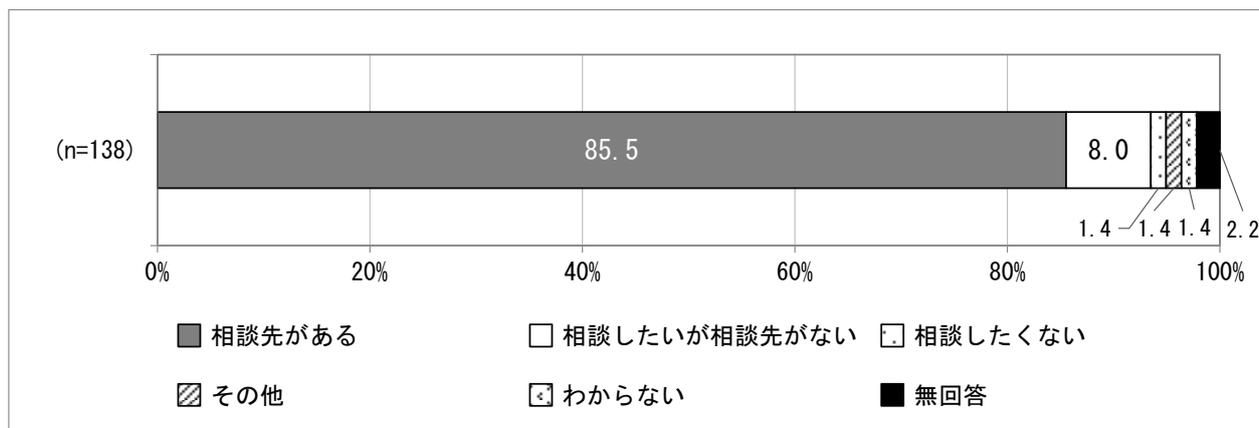
## 問34 あなたが今後充実してほしい施策は何ですか。(MA)



今後充実してほしい施策は、「障害があっても働ける場の確保」(55.1%)が最も高く、次いで「年金などの所得保障の充実」(31.2%)、「福祉サービスなどについて相談しやすい環境の整備」(23.9%)となっている。

## 9 相談の状況について

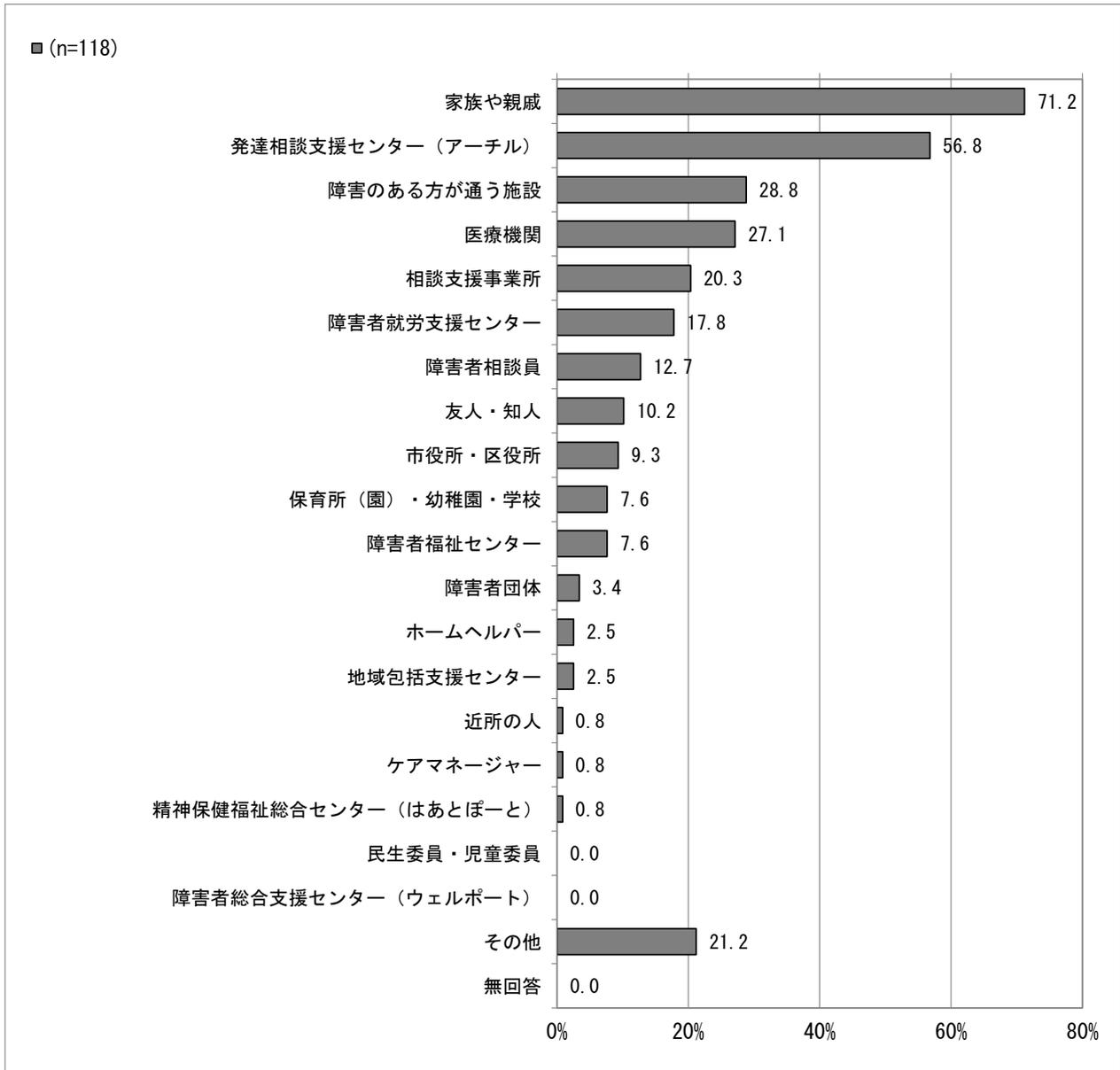
問 35 困ったときの相談について次のうちあてはまるのはどれですか。(SA)



困ったときの相談は、「相談先がある」(85.5%)が最も高く、次いで「相談したいが相談先がない」(8.0%)となっている。

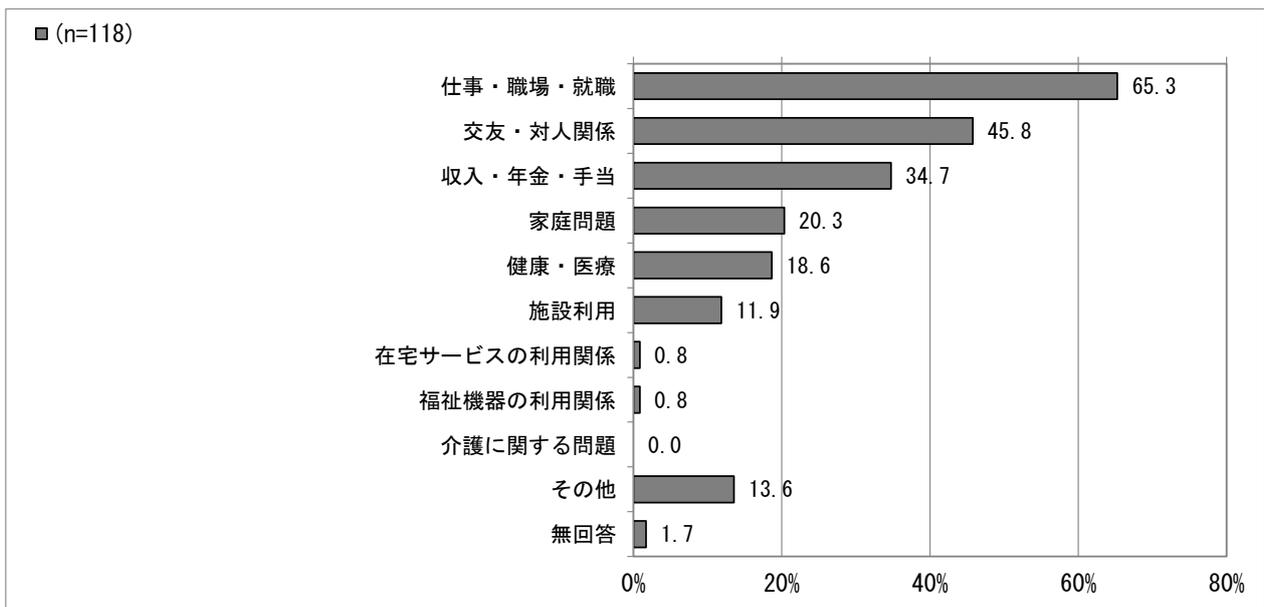
問 36 問 35 で「相談先がある」を選んだ方におたずねします。

(1) 相談相手は誰ですか。(MA)



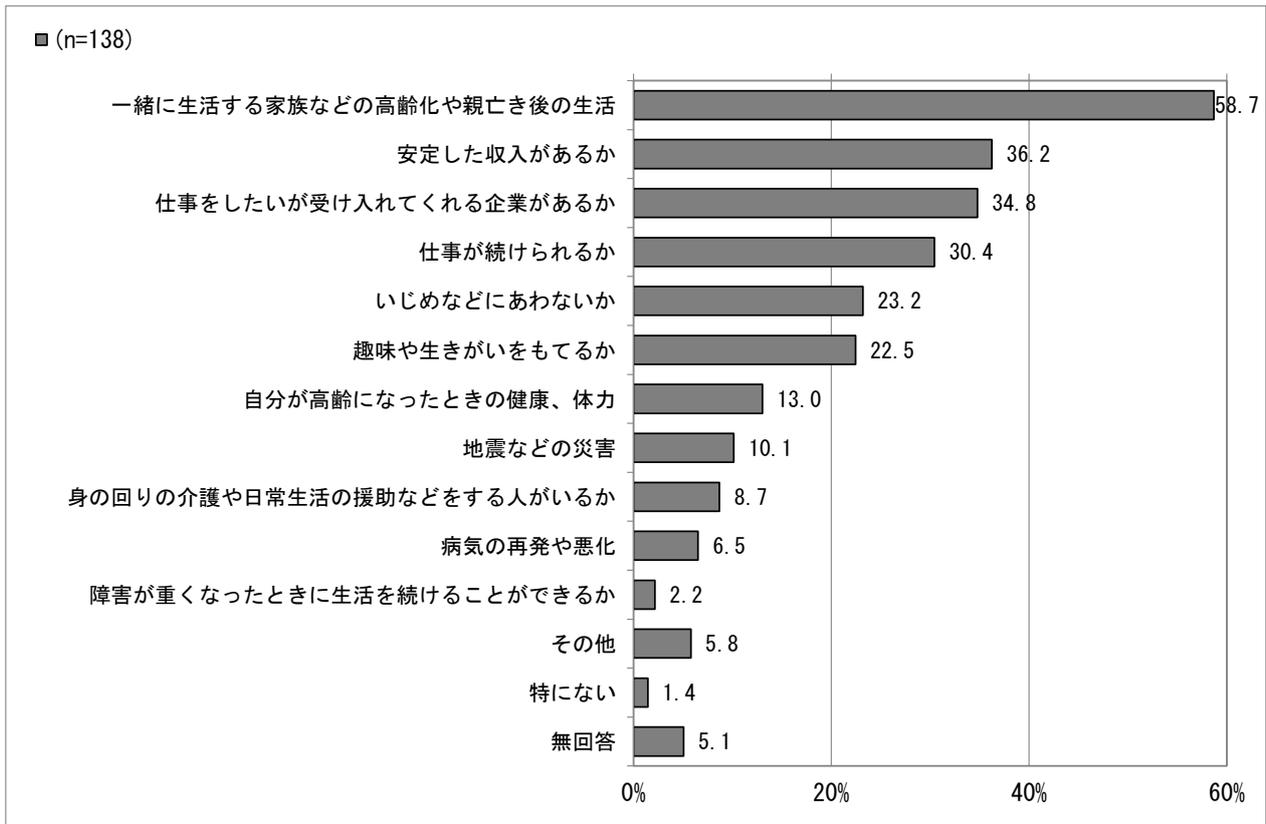
相談相手は、「家族や親戚」（71.2%）が最も高く、次いで「発達相談支援センター（アーテル）」（56.8%）、「障害のある方が通う施設」（28.8%）となっている。

(2) 相談していること(したいこと)は何ですか。(MA)



相談している(したいこと)は、「仕事・職場・就職」(65.3%)が最も高く、次いで「交友・対人関係」(45.8%)、「収入・年金・手当」(34.7%)となっている。

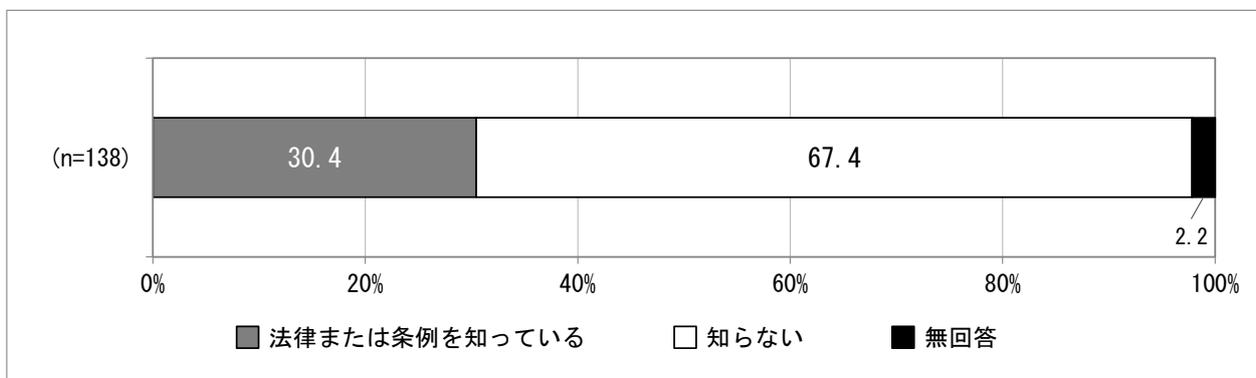
## 問 37 今後のことで、あなたが不安に感じていることは何ですか。(MA)



今後のことで不安に感じていることは、「一緒に生活する家族などの高齢化や親亡き後の生活」(58.7%) が最も高く、次いで「安定した収入があるか」(36.2%)、「仕事をしたいが受け入れてくれる企業があるか」(34.8%) となっている。

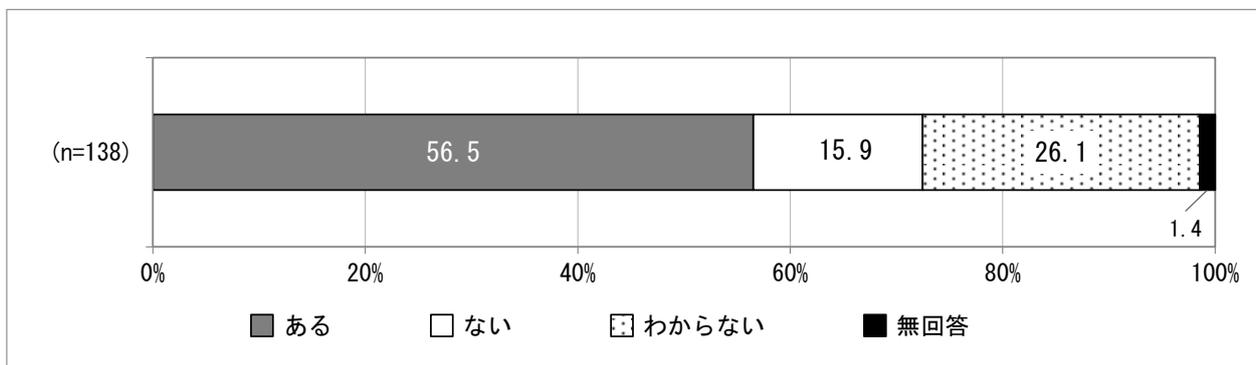
## 10 権利擁護について

問 38 あなたは、2016年4月より施行された「障害者差別解消法」を知っていますか。また、「仙台市障害を理由とする差別をなくし障害のある人もない人も共に暮らしやすいまちをつくる条例」を知っていますか。(SA)



障害者差別解消法および条例を知っているかについて、「法律または条例を知っている」(30.4%)、「知らない」(67.4%)となっている。

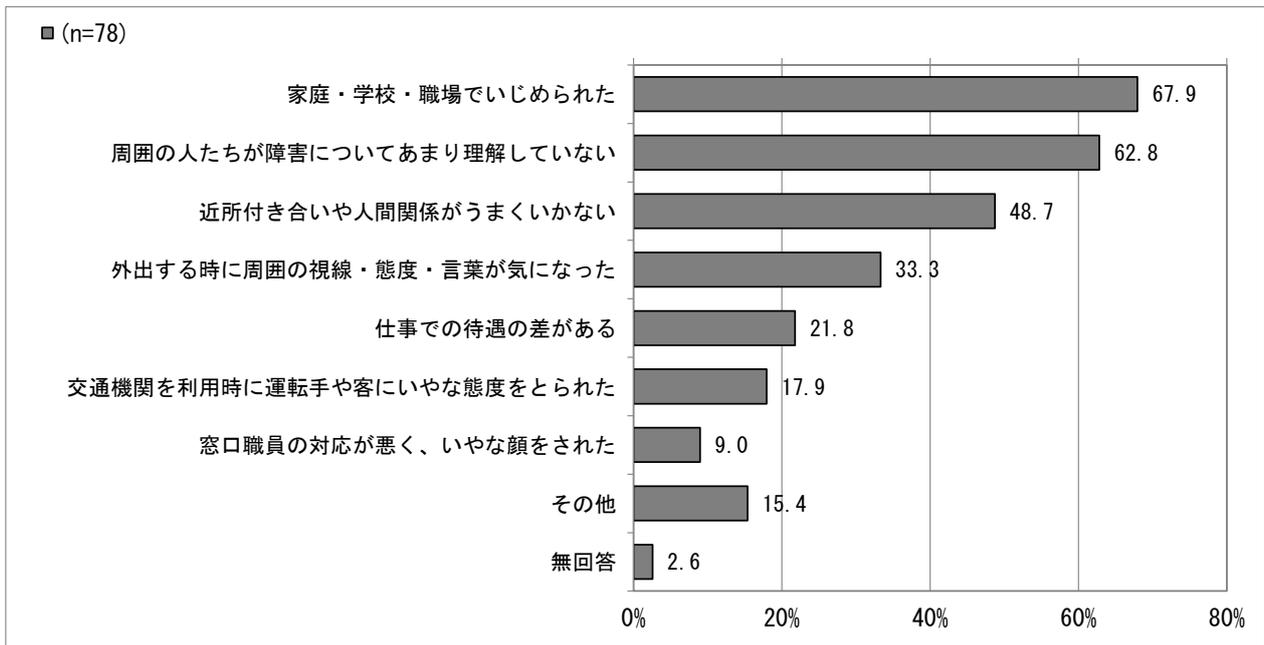
問 39 障害を理由に差別を受けたり、いやな思いなどをしたことがありますか。(SA)



障害を理由に差別やいやな思いをしたことがあるかは、「ある」(56.5%)、「ない」(15.9%)、「わからない」(26.1%)となっている。

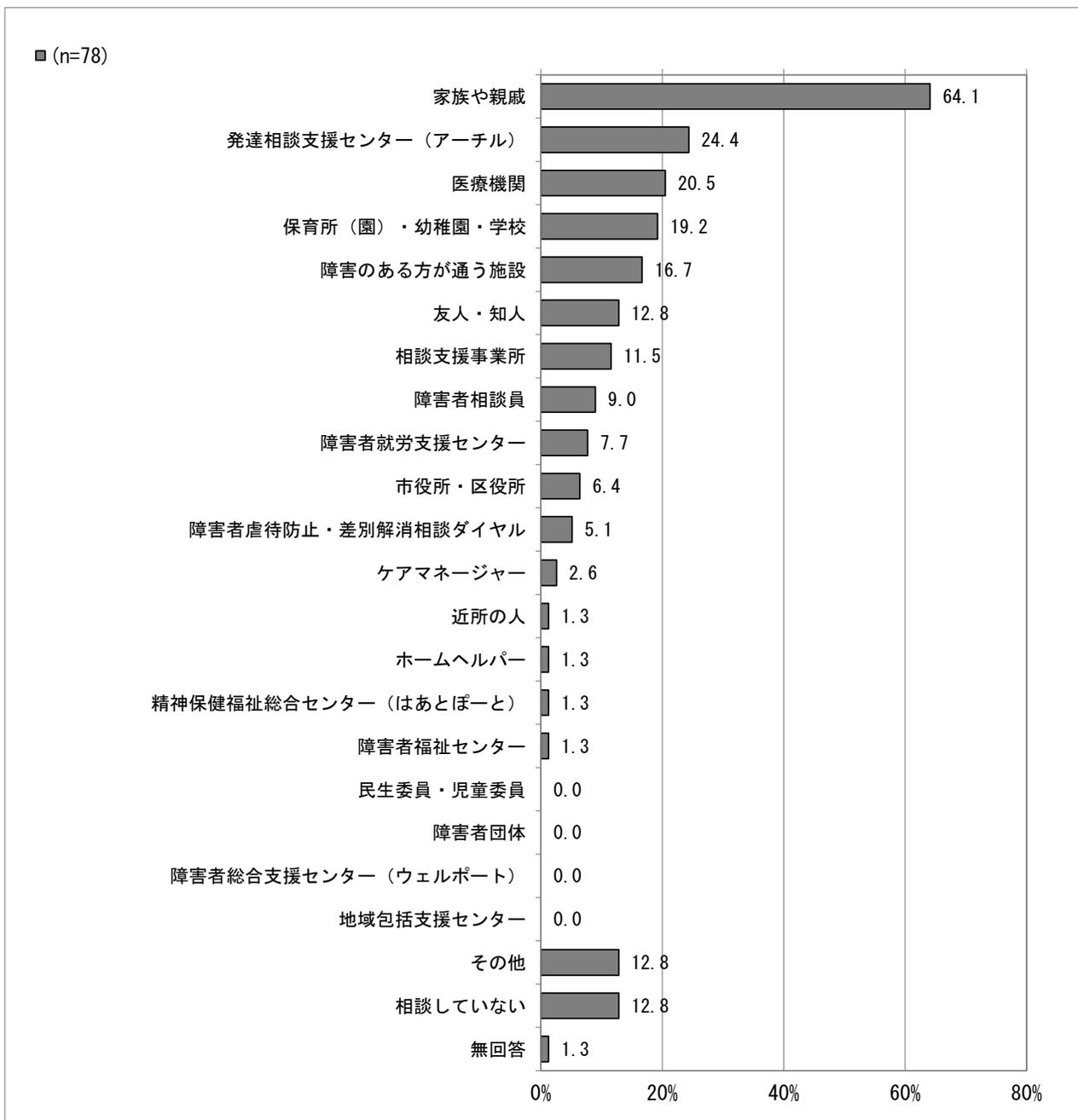
問 40 問 39 で「ある」を選んだ方におたずねします。

(1) あなたはどのような内容の差別を受けたり、いやな思いをしましたか。(MA)



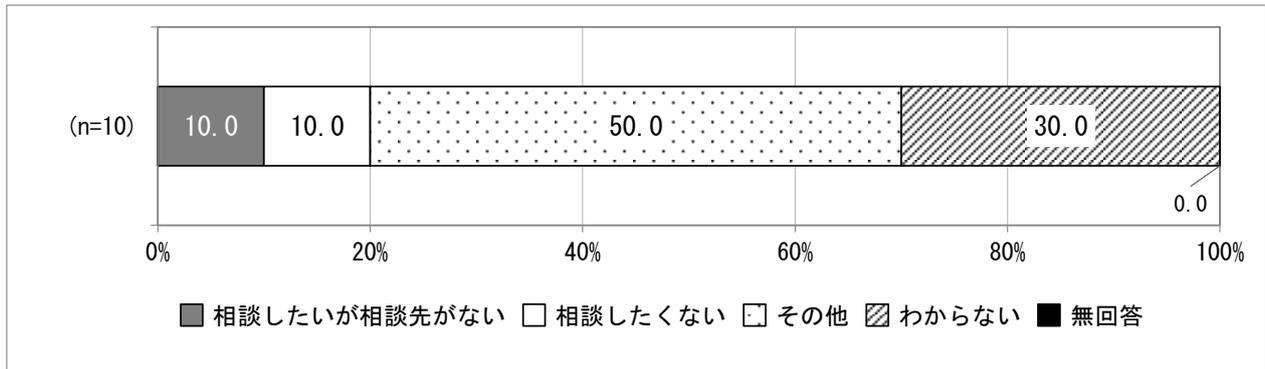
受けた差別やいやな思いの内容は、「家庭・学校・職場でいじめられた」(67.9%)が最も高く、次いで「周囲の人たちが障害についてあまり理解していない」(62.8%)、「近所付き合いや人間関係がうまくいかない」(48.7%)となっている。

(2) 差別をされたり、いやな思いをしたときに誰かに相談しましたか。(MA)



差別をされたりしたときの相談は、「家族や親戚」（64.1%）が最も高く、次いで「発達相談支援センター（アーチル）」（24.4%）、「医療機関」（20.5%）となっている。

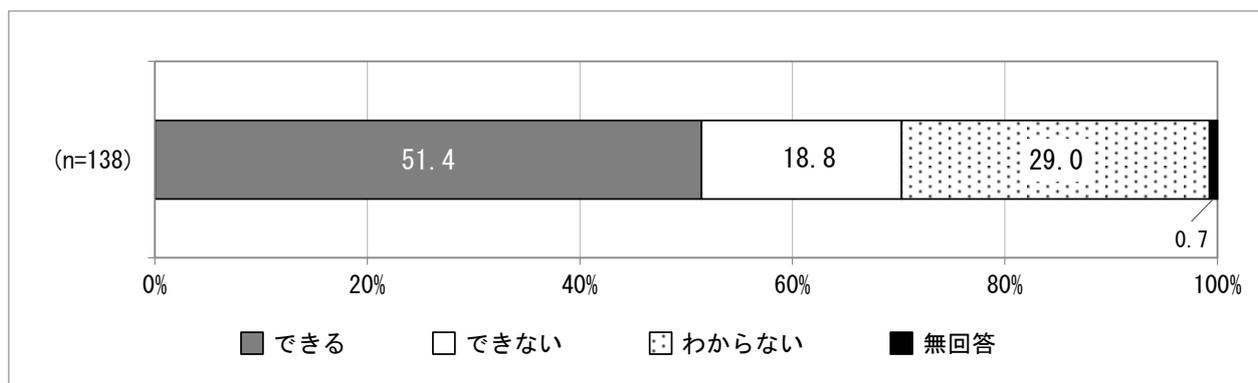
(3) (2) で「相談していない」を選んだ方におたずねします。相談しなかった理由は何ですか。(MA)



相談しなかった理由は、「その他」(50.0%) が最も高く、次いで「わからない」(30.0%)、「相談したいが相談先がない」と「相談したくない」がともに 10.0%となっている。

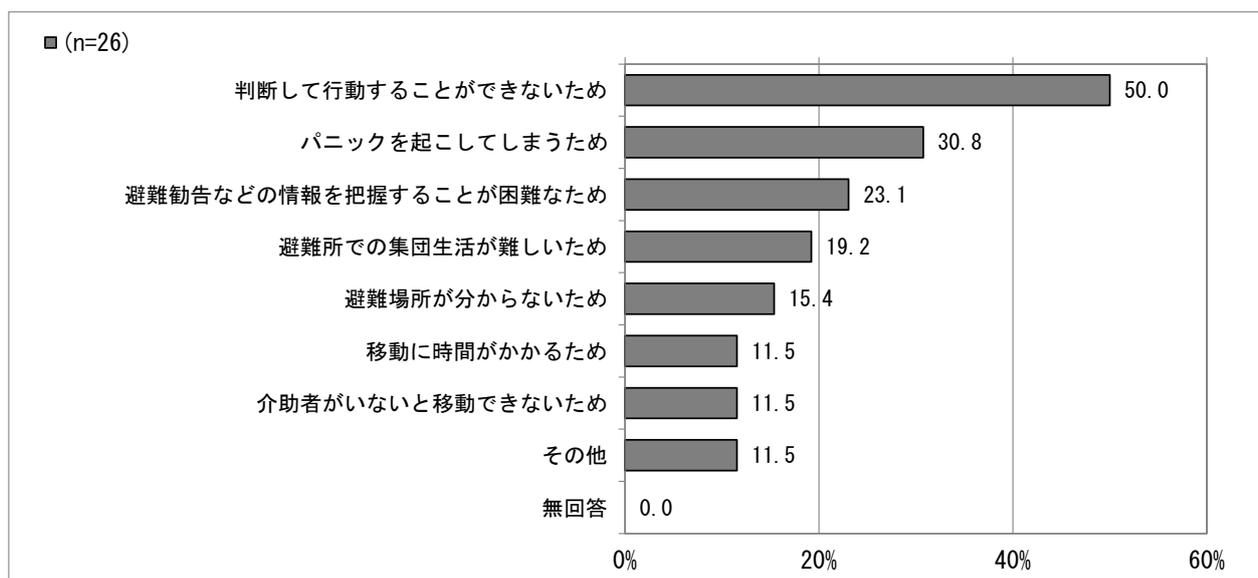
## 11 緊急時の対応について

問 41 あなたは地震などの災害発生時、ひとりで避難することができますか。2011年3月11日の東日本大震災を経験された方は、ご経験を踏まえてご回答ください。(SA)



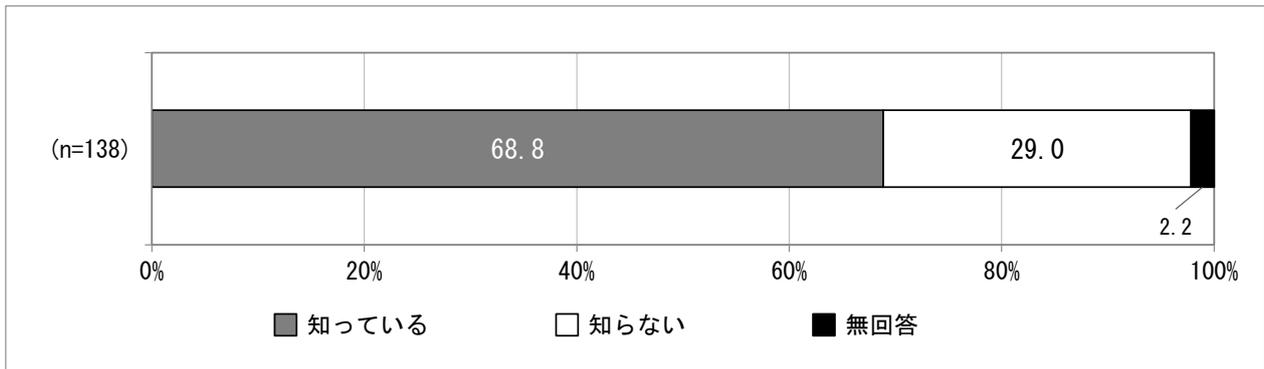
災害発生時にひとりで避難することができるかは、「できる」(51.4%)、「できない」(18.8%)、「わからない」(29.0%)となっている。

問 42 問 41 で「できない」を選んだ方におたずねします。災害のとき一人で避難することができない理由は何ですか。(MA)



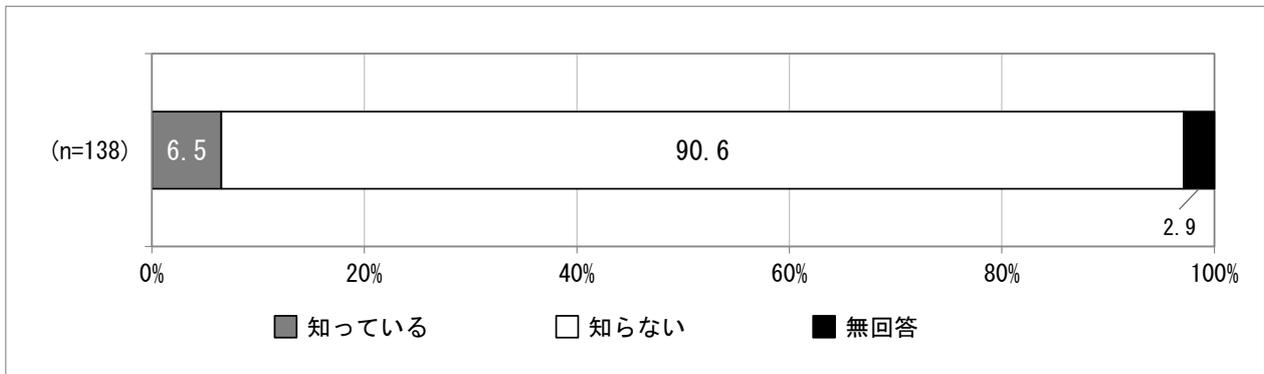
一人で避難できない理由は、「判断して行動することができないため」(50.0%)が最も高く、次いで「パニックを起こしてしまうため」(30.8%)、「避難勧告などの情報を把握することが困難なため」(23.1%)となっている。

問 43 あなたは、お住まいの地区の避難所の場所を知っていますか。(SA)



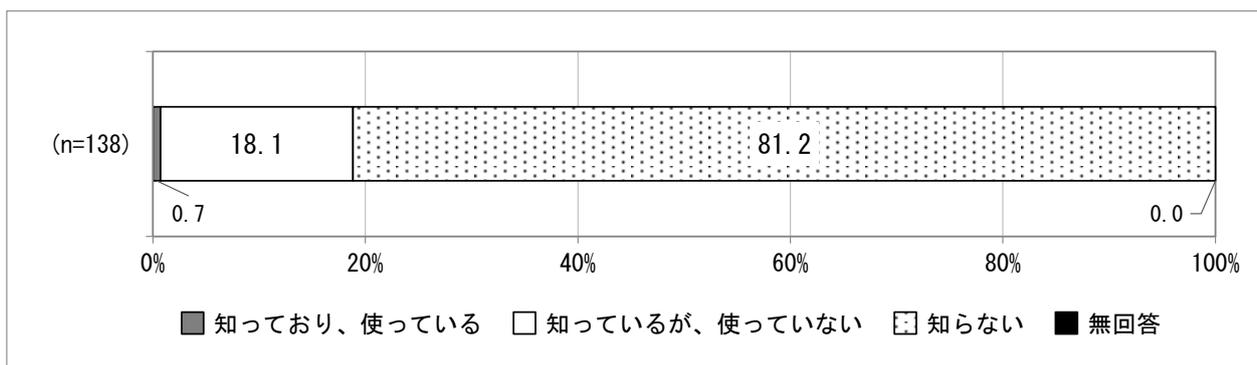
居住区の避難所の場所は、「知っている」(68.8%)、「知らない」(29.0%)となっている。

問 44 あなたは、福祉避難所を知っていますか。(SA)



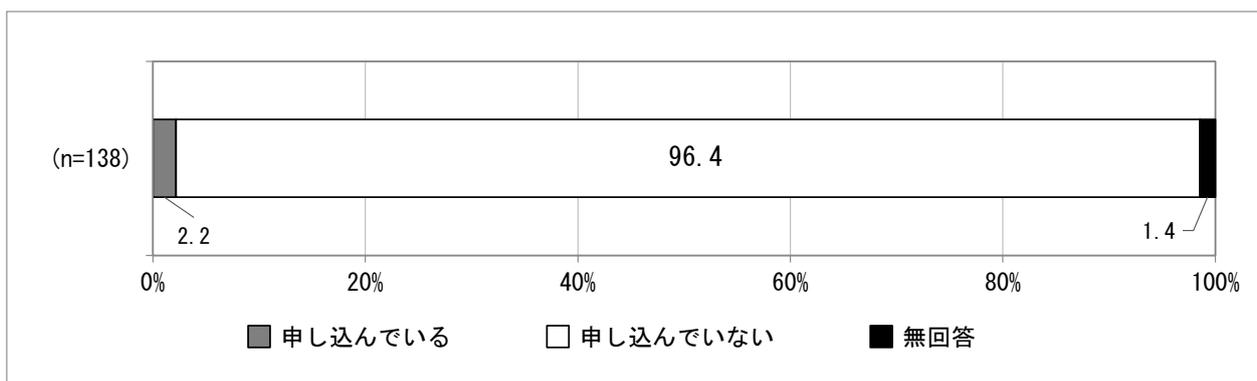
福祉避難所は、「知っている」(6.5%)、「知らない」(90.6%)となっている。

問 45 あなたは、ヘルプカードを知っていますか。(SA)



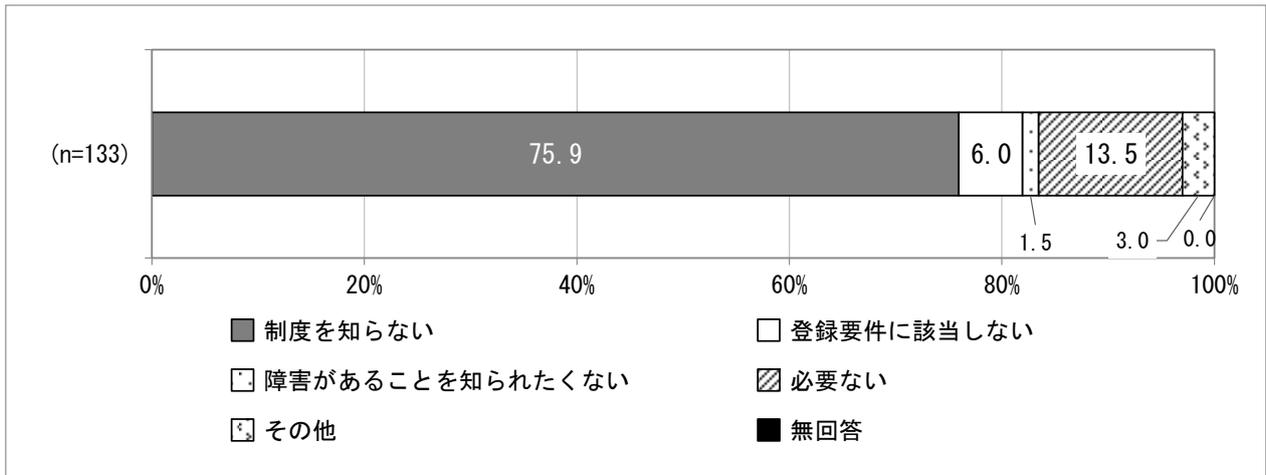
ヘルプカードは、「知っている、使っている」(0.7%)、「知っているが、使っていない」(18.1%)、「知らない」(81.2%)となっている。

問 46 あなたは、仙台市が実施している災害時における要援護者情報登録制度を申し込んでいますか。(SA)



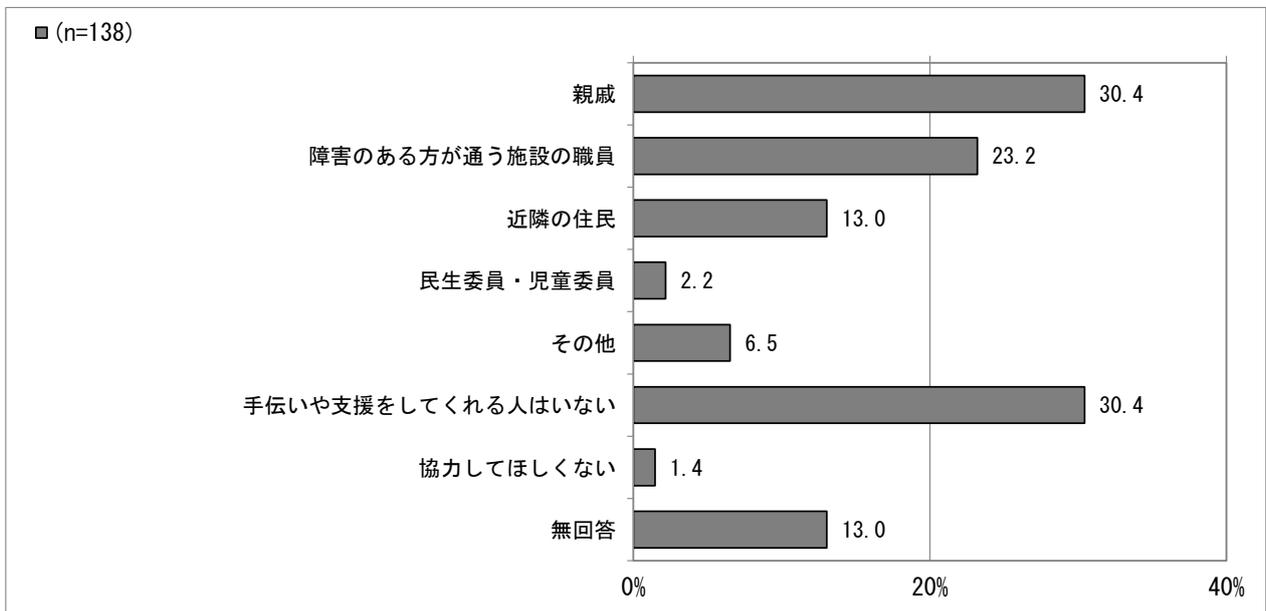
要援護者情報登録制度について、「申し込んでいる」(2.2%)、「申し込んでいない」(96.4%)となっている。

問 47 問 46 で「申し込んでいない」を選んだ方におたずねします。あなたが申し込んでいない理由は何ですか。(SA)



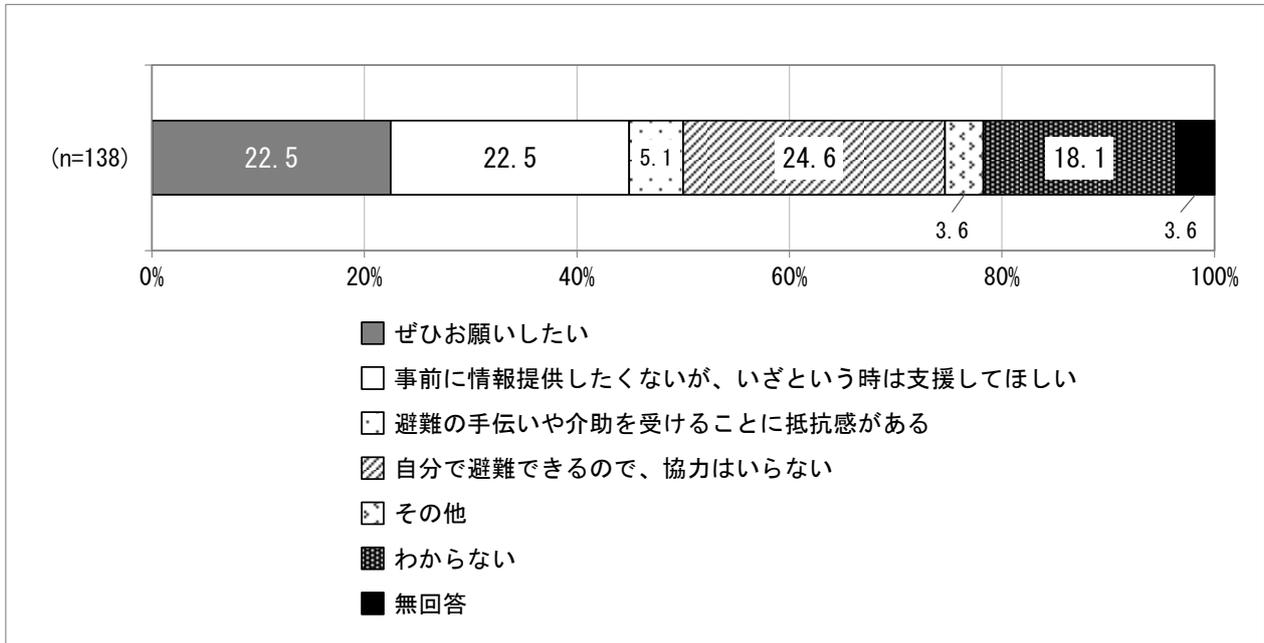
申し込んでいない理由は、「制度を知らない」(75.9%)が最も高く、次いで「必要ない」(13.5%)、「登録要件に該当しない」(6.0%)となっている。

問 48 地震などの災害時に、家族以外の方で手伝いや支援をしてくれる人について、次のうちあてはまるのはどれですか。(MA)



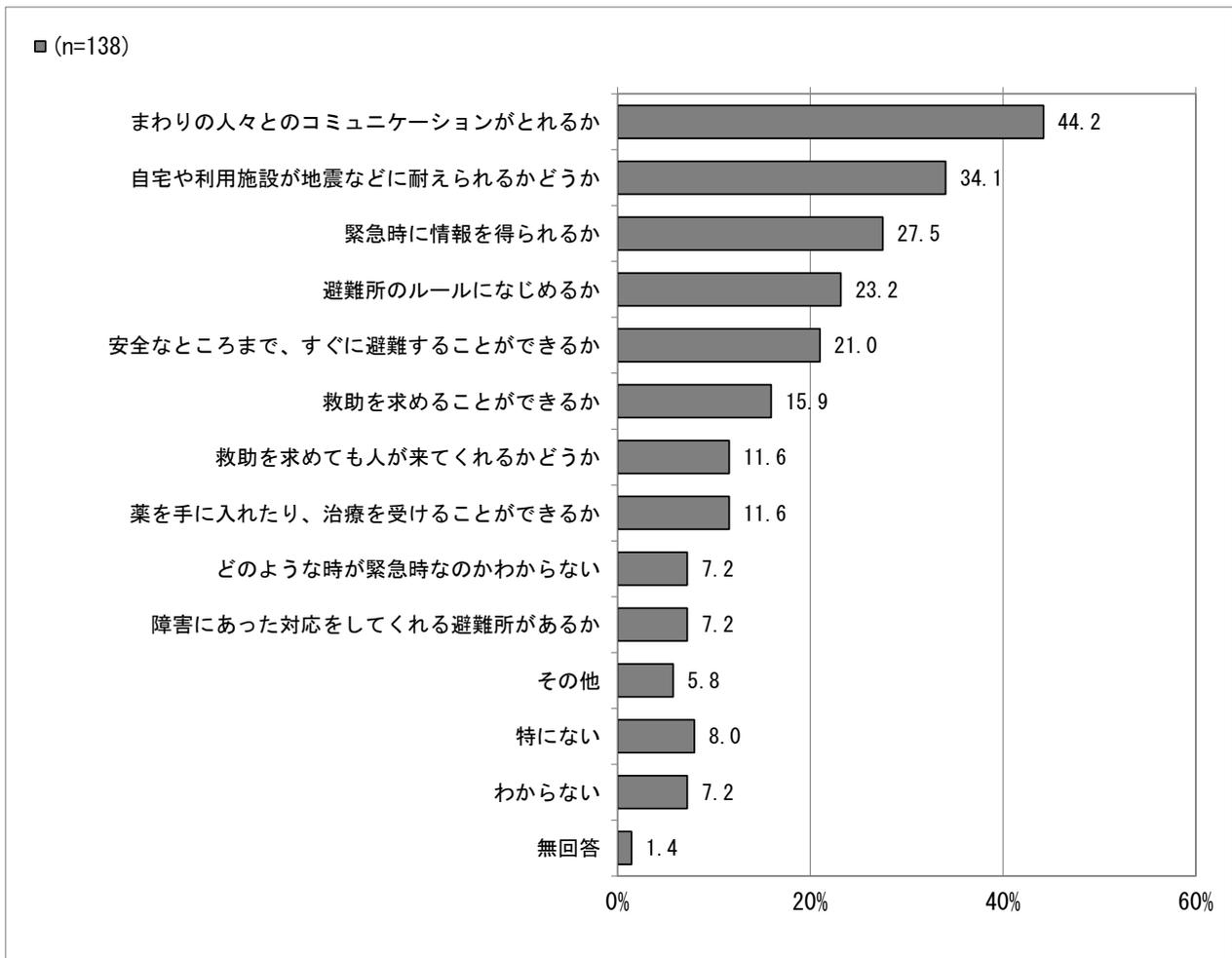
災害時に家族以外で手伝いや支援をしてくれる人は、「親戚」と「手伝いや支援をしてくれる人はいない」がともに 30.4%と最も高く、次いで「障害のある方が通う施設の職員」(23.2%)、「近隣の住民」(13.0%)となっている。

問 49 地震などの災害が発生したときのために、あらかじめ近所の人やボランティアなどにあなたの避難の手伝いや介助をお願いしておくことについて、どのように思いますか。(SA)



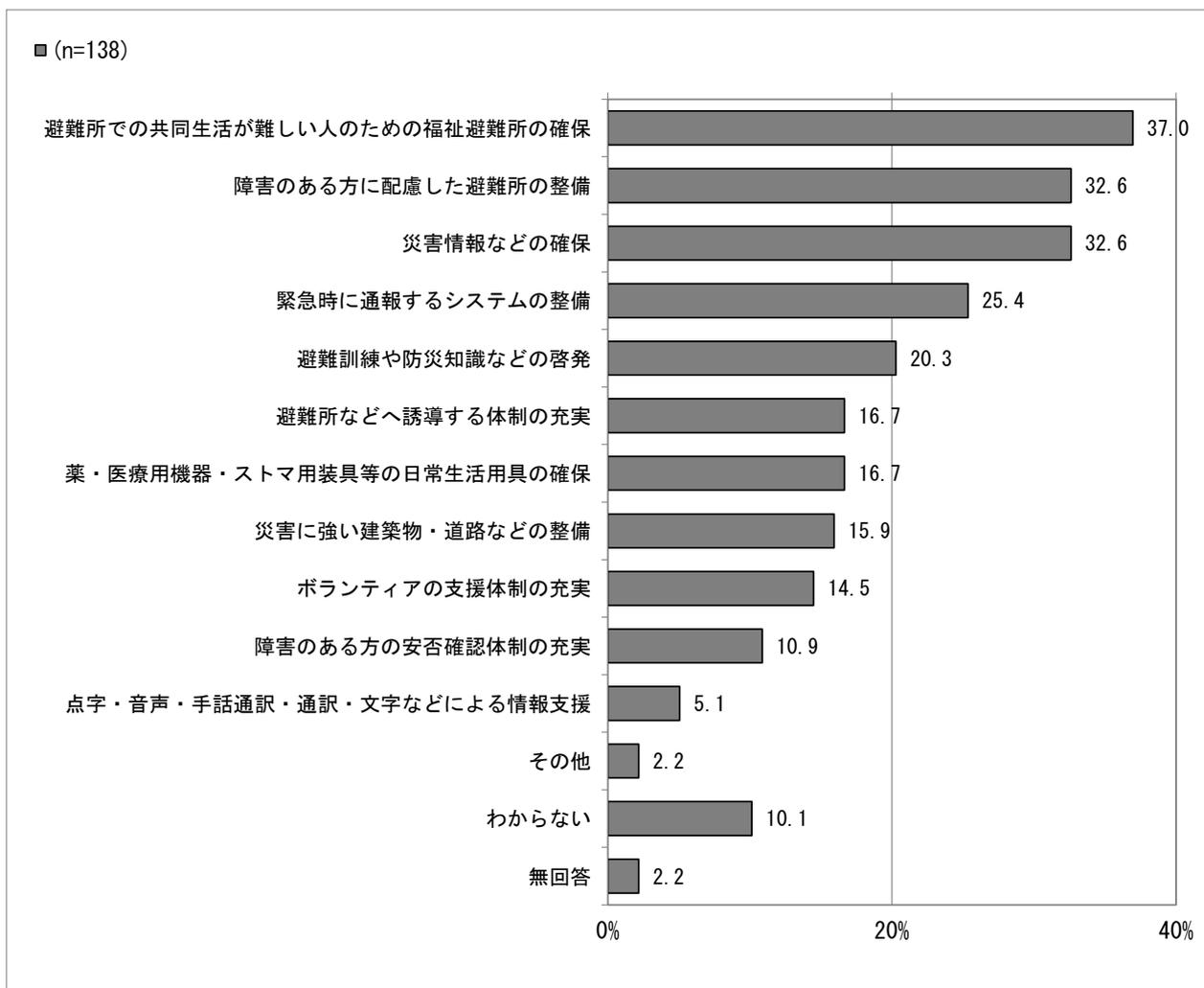
災害発生するときのために、あらかじめ近所の人やボランティアなどに手伝いや介助をお願いしておくことは、「自分で避難できるので、協力はらない」(24.6%)が最も高く、次いで「ぜひお願いしたい」と「事前に情報提供したくないが、いざという時は支援してほしい」がともに22.5%、「わからない」(18.1%)となっている。

問 50 地震などのいざという時のことで、あなたが普段不安に感じていることは何ですか。  
(MA)



地震などのいざという時のことで普段不安に感じていることは、「まわりの人々とのコミュニケーションがとれるか」(44.2%)が最も高く、次いで「自宅や利用施設が地震などに耐えられるかどうか」(34.1%)、「緊急時に情報を得られるか」(27.5%)となっている。

問 51 地震、台風などの災害に対して大切だと思う対策はどのようなことだと思いますか。  
(MA)



地震や台風などの災害に対して大切だと思う対策は、「避難所での共同生活が難しい人のための福祉避難所の確保」(37.0%) が最も高く、次いで「障害のある方に配慮した避難所の整備」と「災害情報などの確保」がともに 32.6%、「緊急時に通報するシステムの整備」(25.4%) となっている。

## 第12章

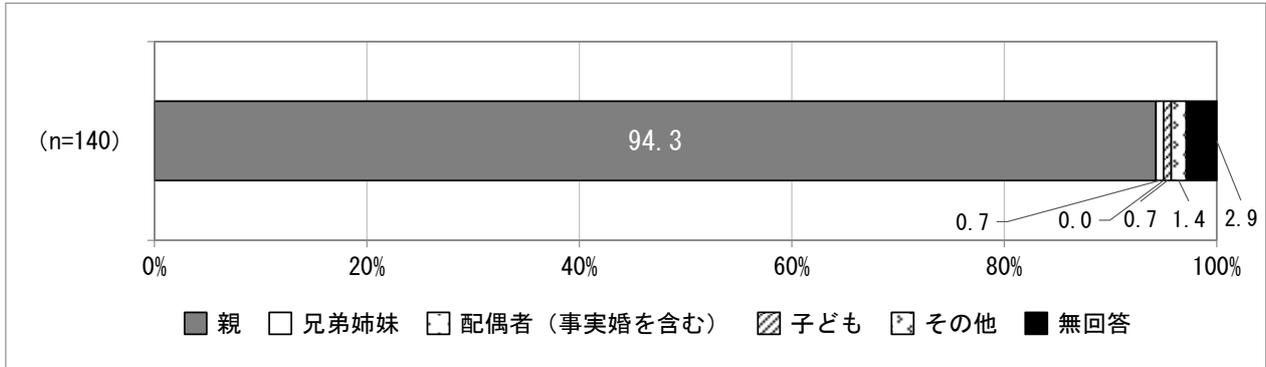
# 発達障害（児）者の家族



## 第12章 発達障害（児）者の家族

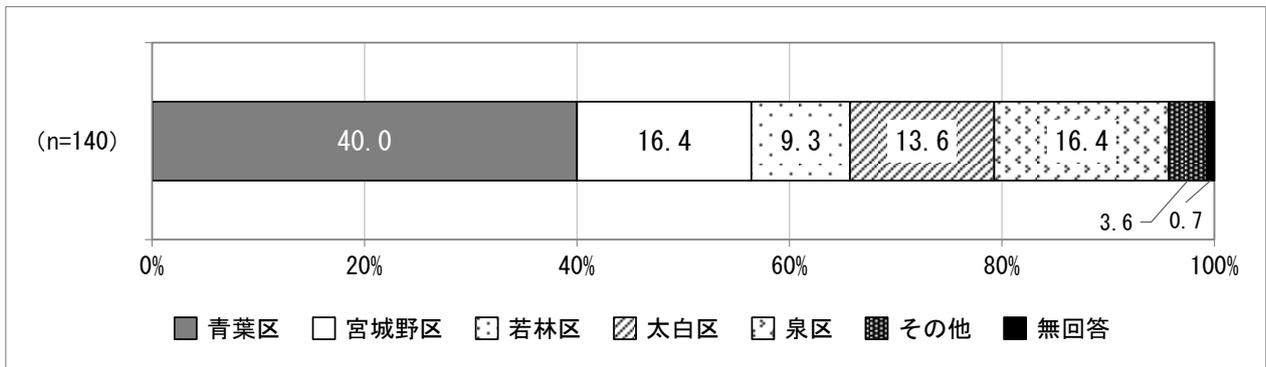
### 1 属性について

問1 このアンケートの記入者はどなたですか。(SA)



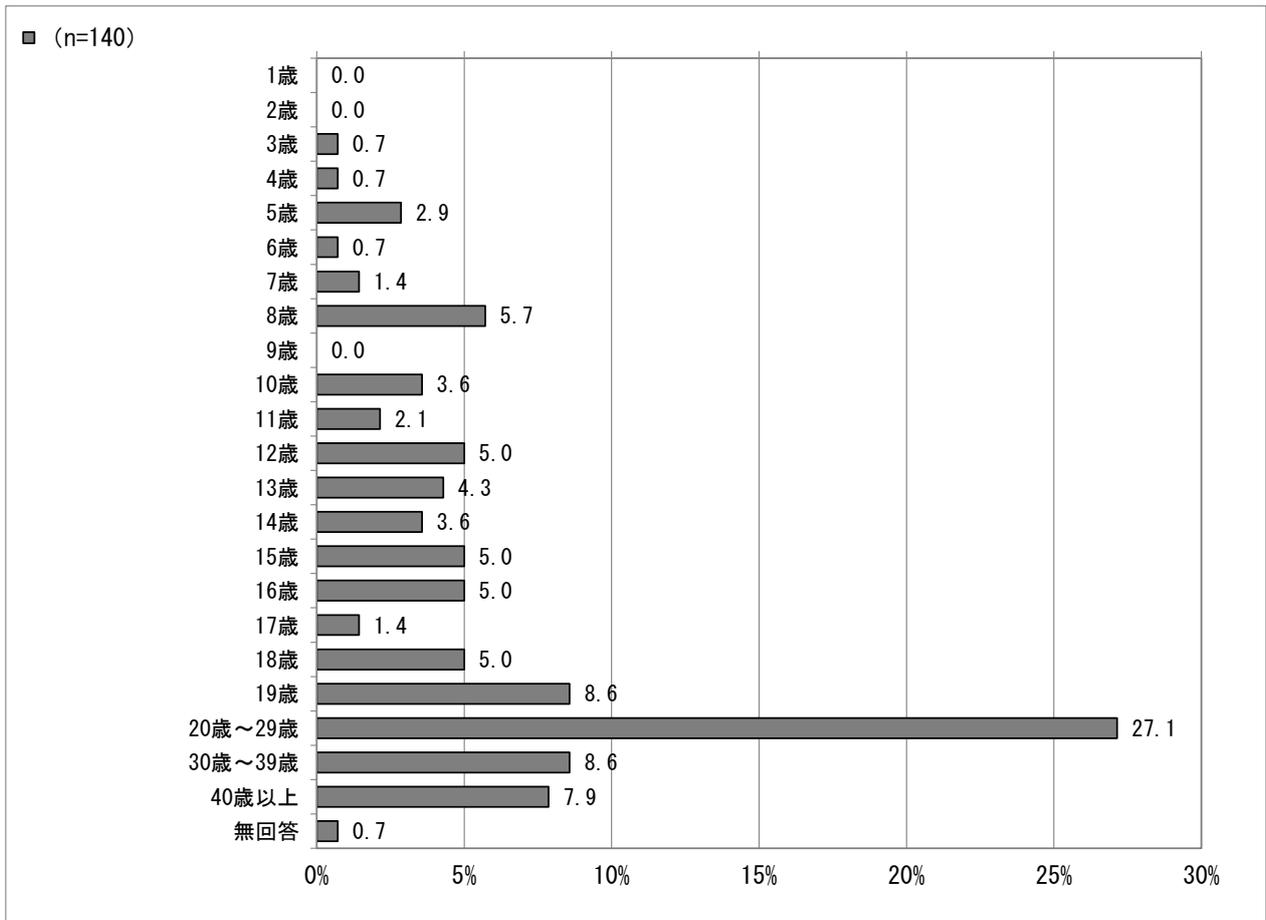
アンケートの記入者は、「親」(94.3%)が最も高く、次いで「その他」(1.4%)、「兄弟姉妹」と「子ども」がともに0.7%となっている。

問2 ご本人のお住まいの区はどこですか。(SA)



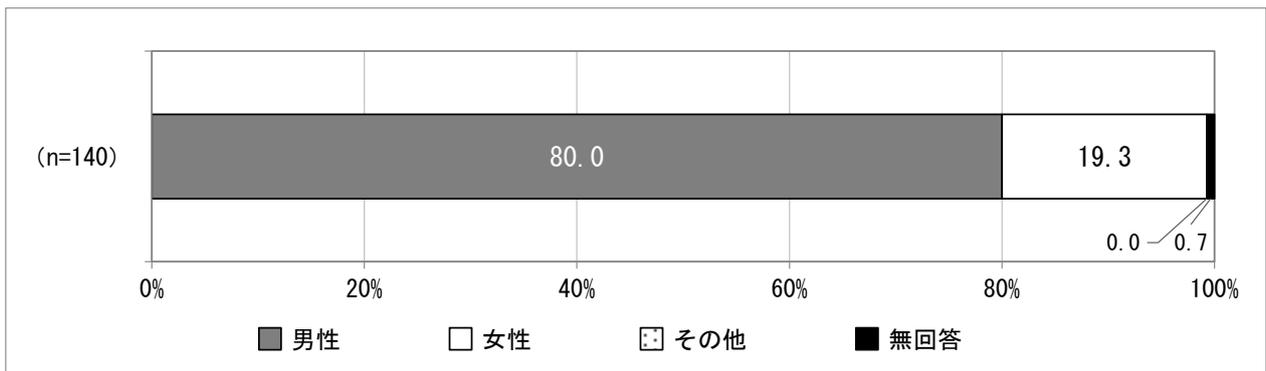
居住区は、「青葉区」(40.0%)が最も高く、次いで「宮城野区」と「泉区」がともに16.4%、「太白区」(13.6%)となっている。

問3 ご本人の年齢（2016年11月1日時点）は何歳ですか。（数値）



年齢は、「20歳～29歳」（27.1%）が最も高く、次いで「19歳」と「30歳～39歳」がともに8.6%、「40歳以上」（7.9%）となっている。

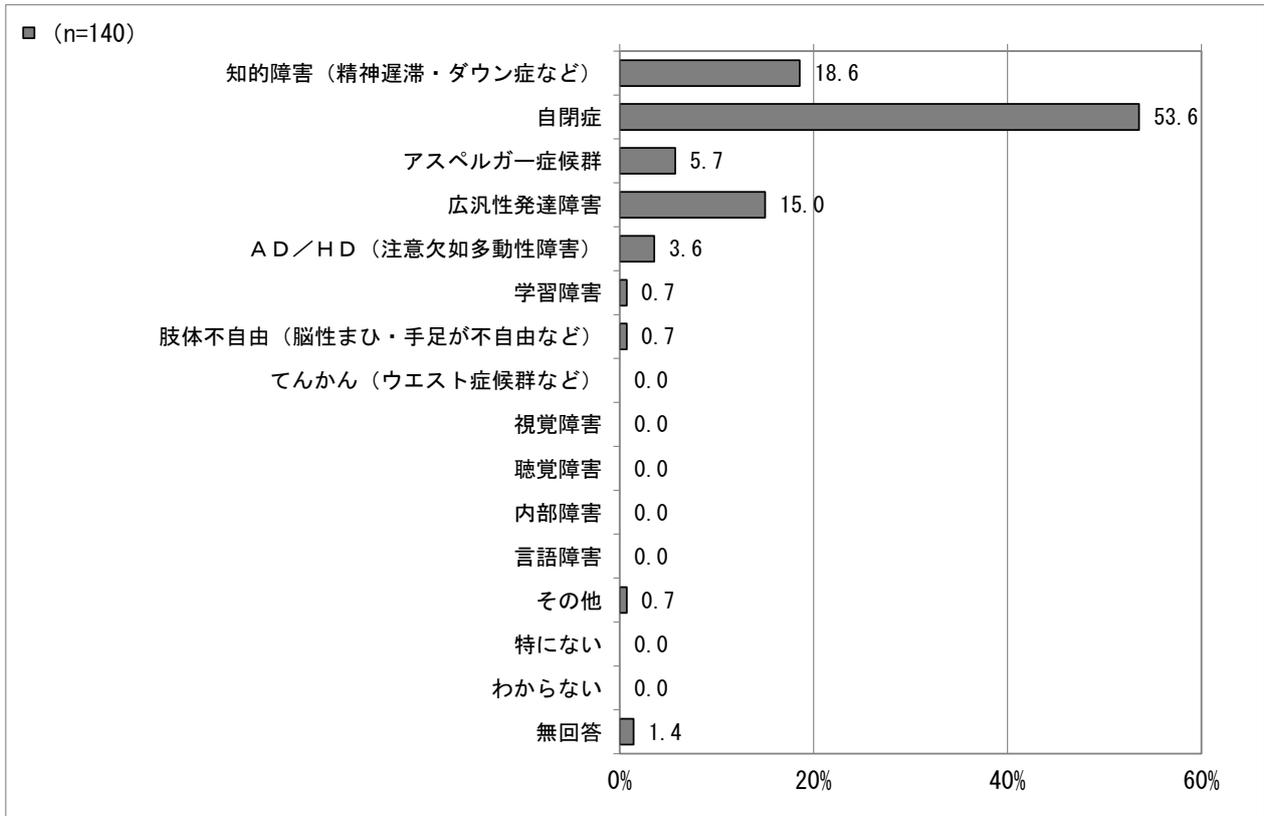
問4 ご本人の性別を教えてください。（SA）



性別は、「男性」（80.0%）、「女性」（19.3%）となっている。

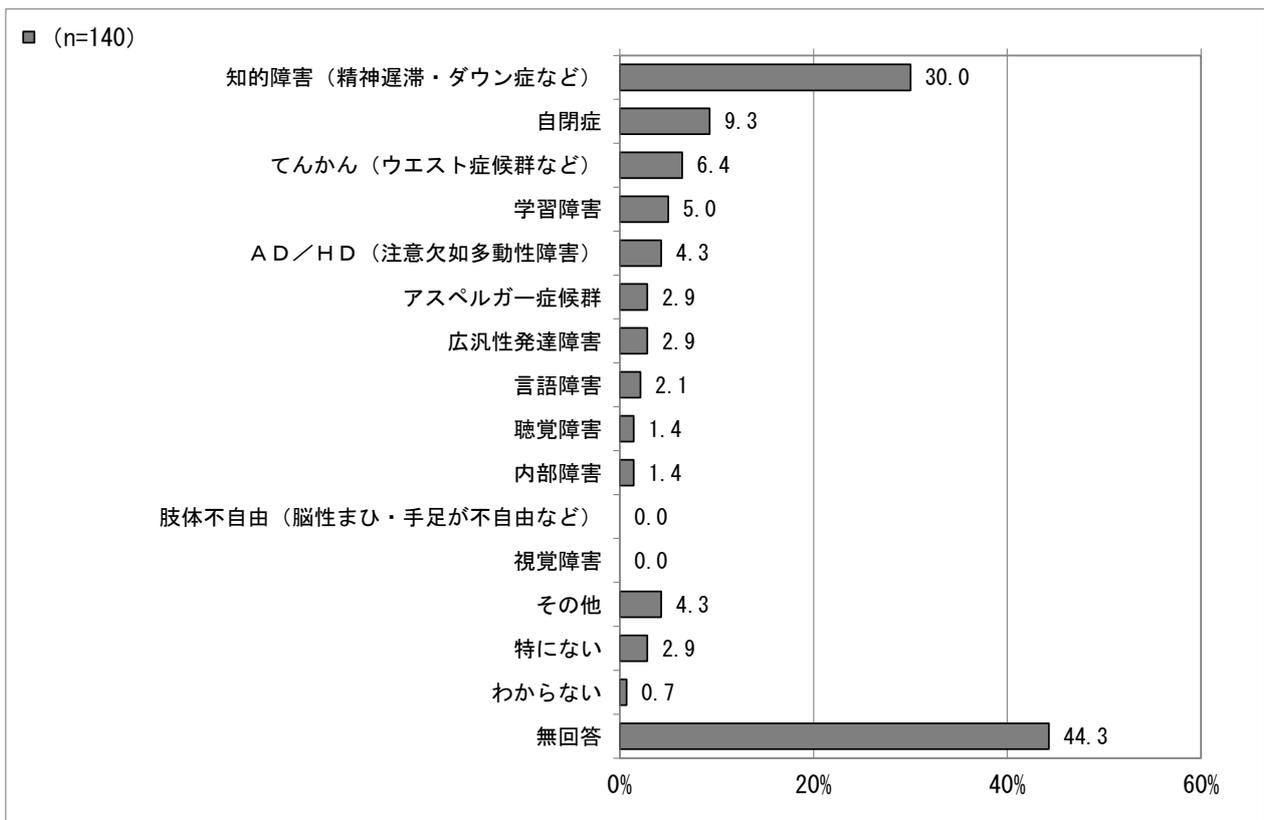
## 問5 障害の種類についておたずねします。

(ア) ご本人の主な障害は次のうちどれですか。(SA)



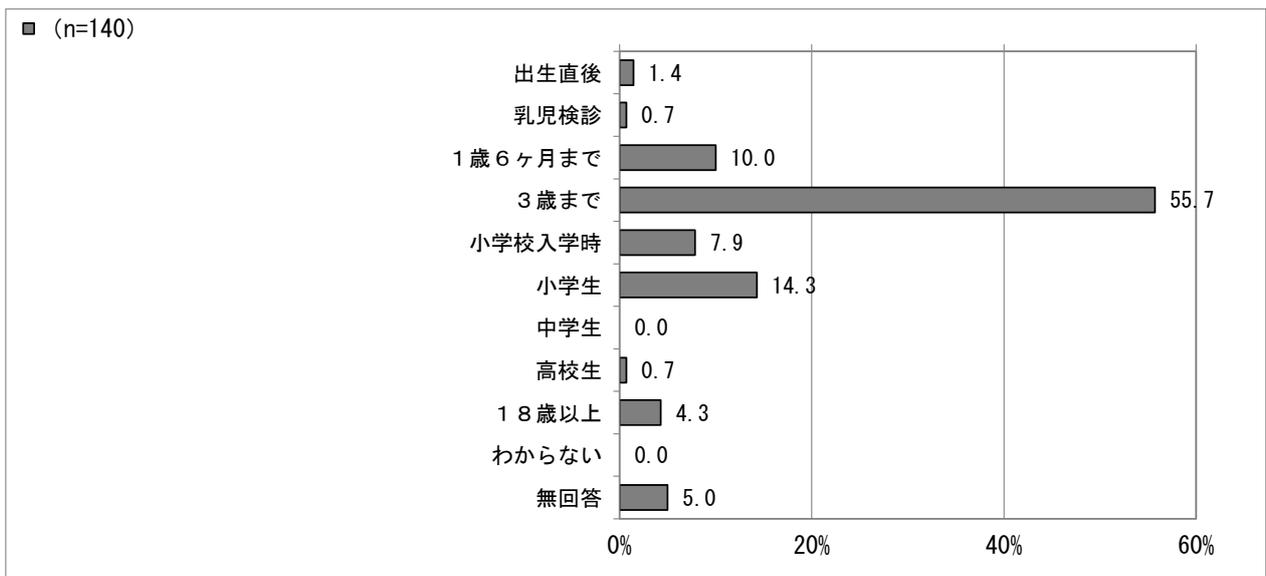
主な障害は、「自閉症」(53.6%)が最も高く、次いで「知的障害 (精神遅滞・ダウン症など)」(18.6%)、「広汎性発達障害」(15.0%)となっている。

(イ) 主な障害以外に障害があれば教えてください。(MA)



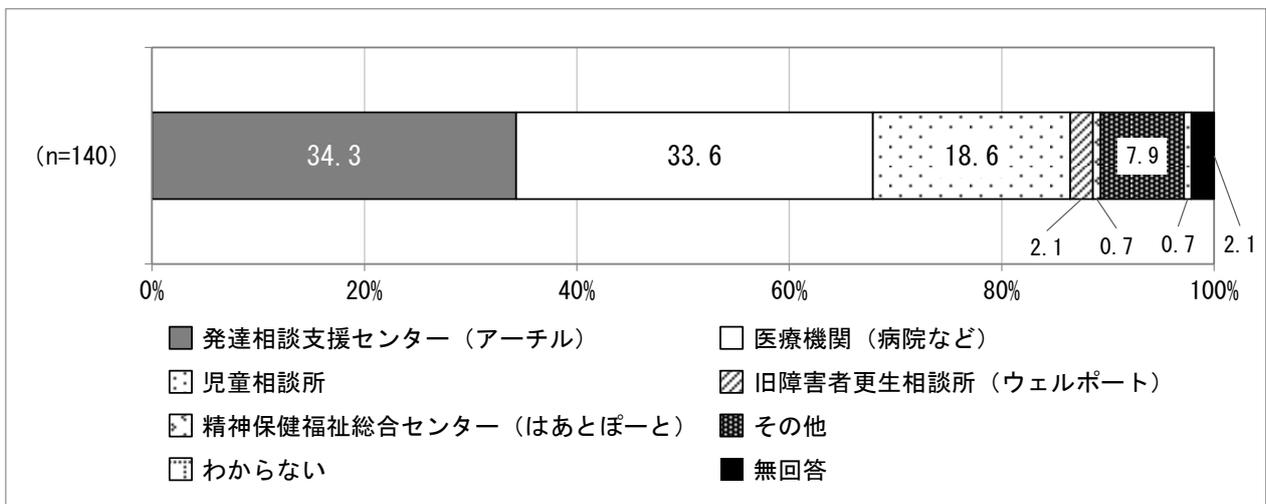
主な障害以外の障害は、「知的障害 (精神遅滞・ダウン症など)」(30.0%) が最も高く、次いで「自閉症」(9.3%)、「てんかん (ウエスト症候群など)」(6.4%) となっている。

問6 ご本人が障害の診断・判定を受けたのはいつごろですか。(SA)



障害の診断・判定を受けたのは、「3歳まで」(55.7%)が最も高く、次いで「小学生」(14.3%)、「1歳6ヶ月まで」(10.0%)となっている。

問7 ご本人が障害の診断・判定を受けたところはどこですか。(SA)

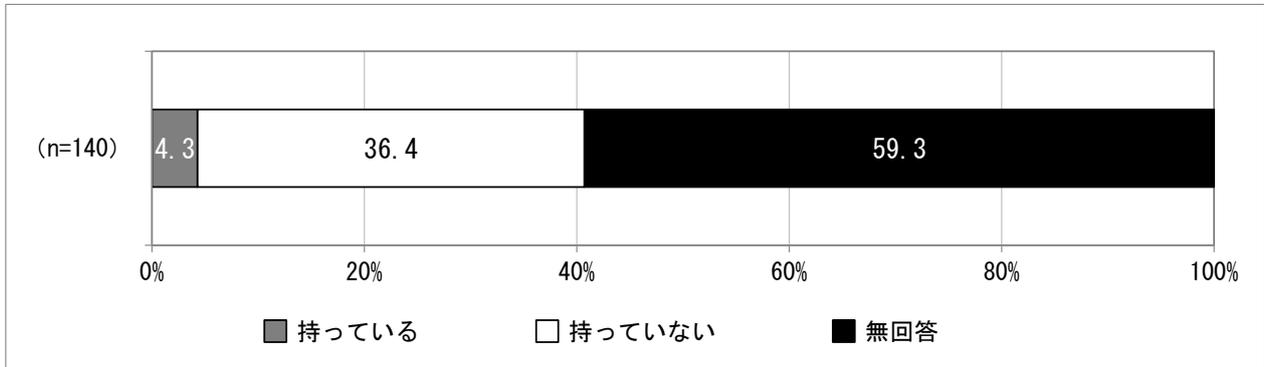


障害の診断・判定を受けたところは、「発達相談支援センター（アーチル）」(34.3%)が最も高く、次いで「医療機関（病院など）」(33.6%)、「児童相談所」(18.6%)となっている。

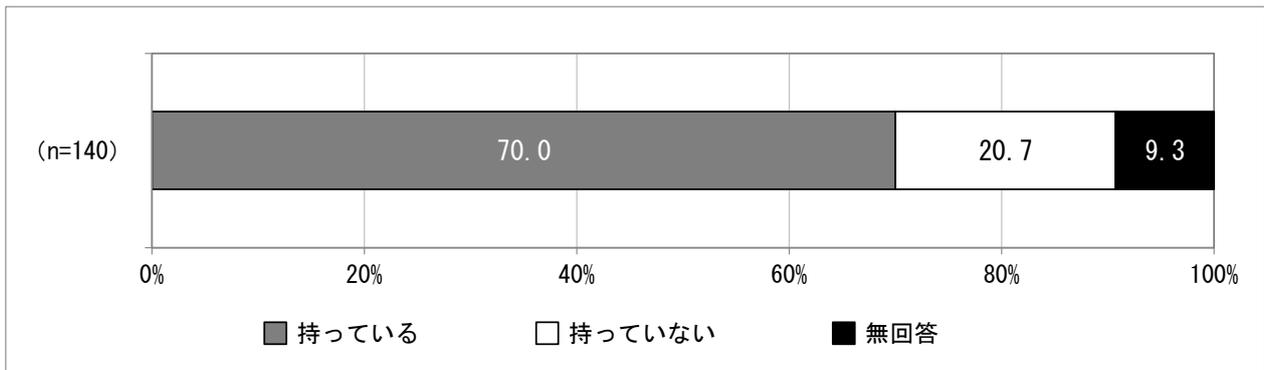
問8 障害者手帳についておたずねします。

(ア) ご本人が、障害者手帳をお持ちかどうか教えてください。(SA)

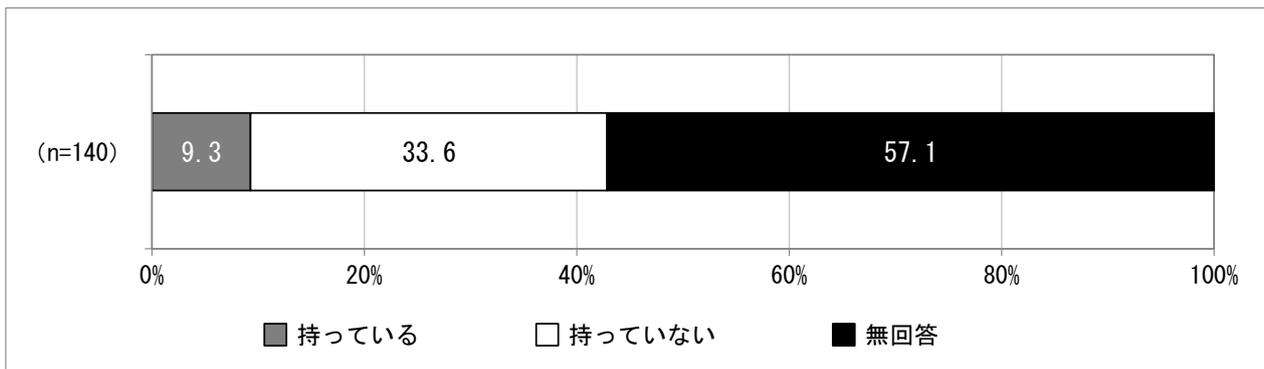
(身体障害者手帳)



(療育手帳)



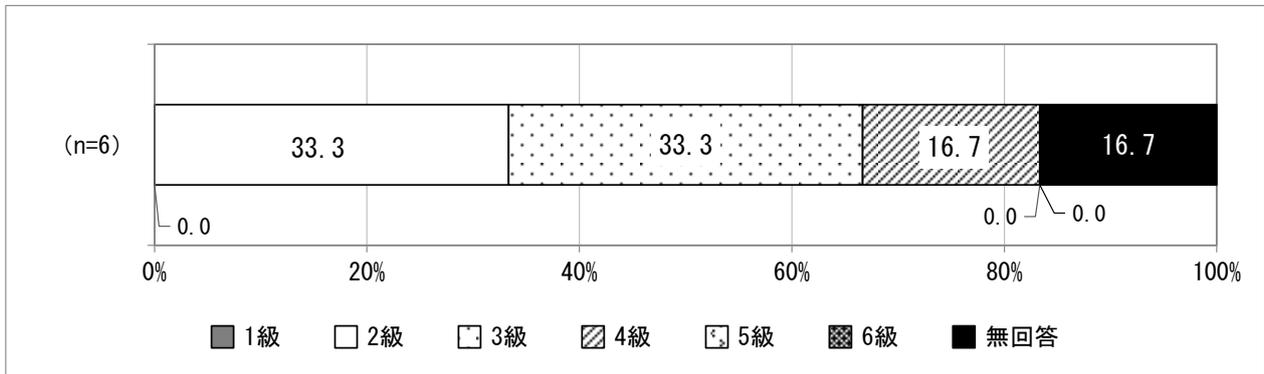
(精神障害者保健福祉手帳)



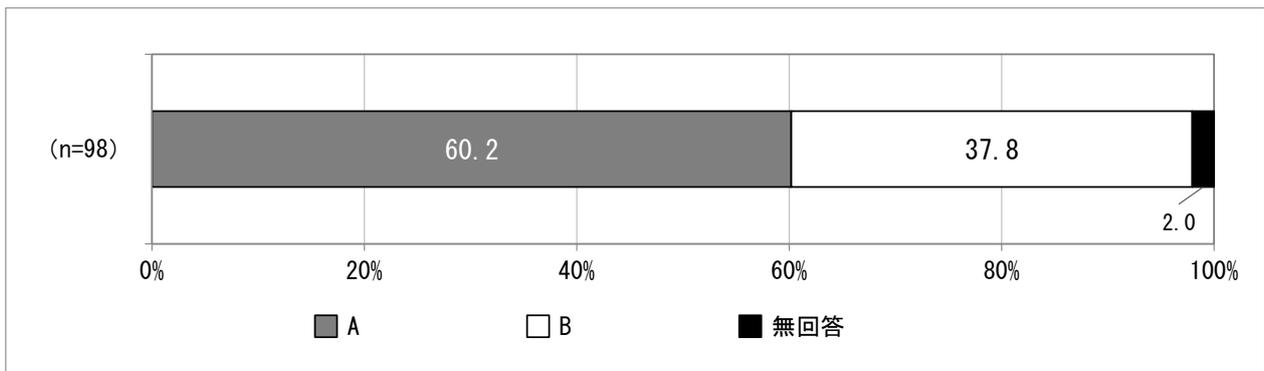
「持っている」割合は、身体障害者手帳が4.3%、療育手帳が70.0%、精神障害者保健福祉手帳が9.3%となっている。

(イ) お持ちの障害者手帳の等級を教えてください。(SA)

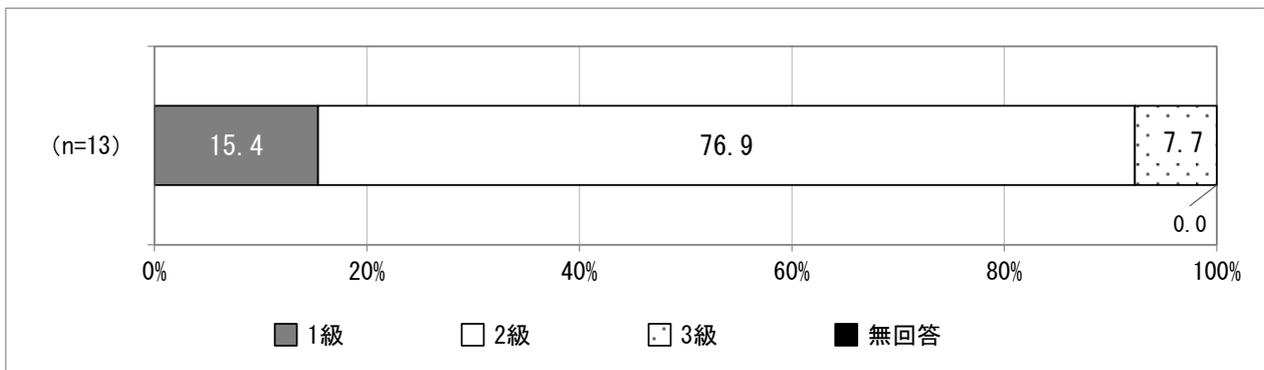
(身体障害者手帳)



(療育手帳)



(精神障害者保健福祉手帳)



身体障害者手帳の等級は、「2級」と「3級」がともに33.3%、「4級」(16.7%)となっている。

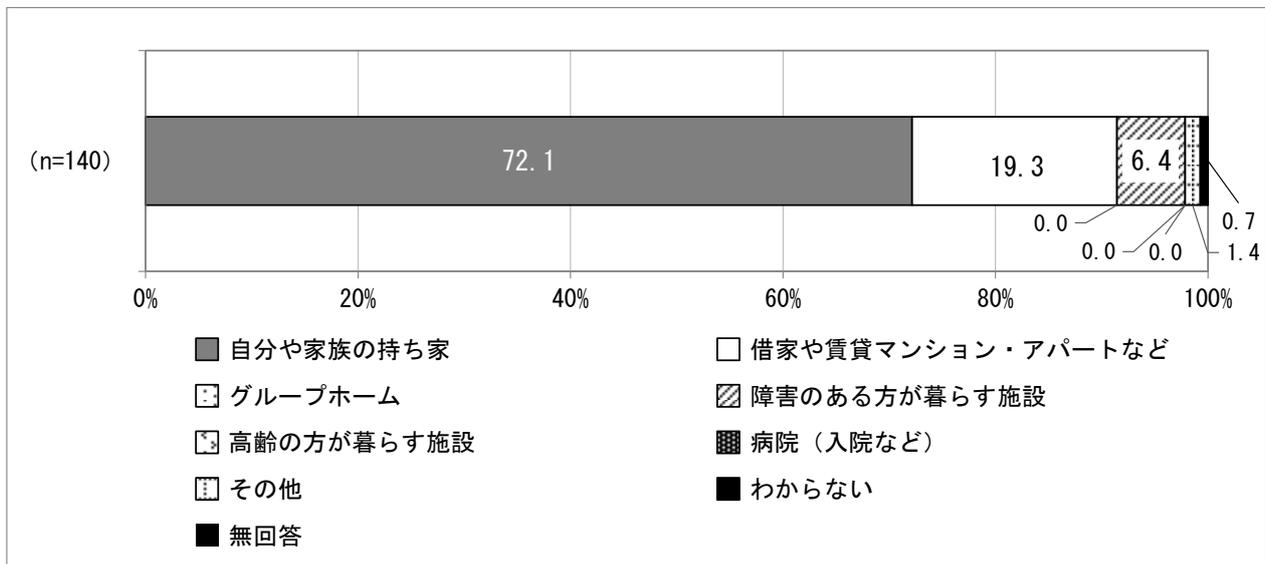
療育手帳の等級は、「A」(60.2%)、「B」(37.8%)となっている。

精神障害者保健福祉手帳の等級は、「2級」(76.9%)が最も高く、次いで「1級」(15.4%)、「3級」(7.7%)となっている。

## 2 住まいと暮らしについて

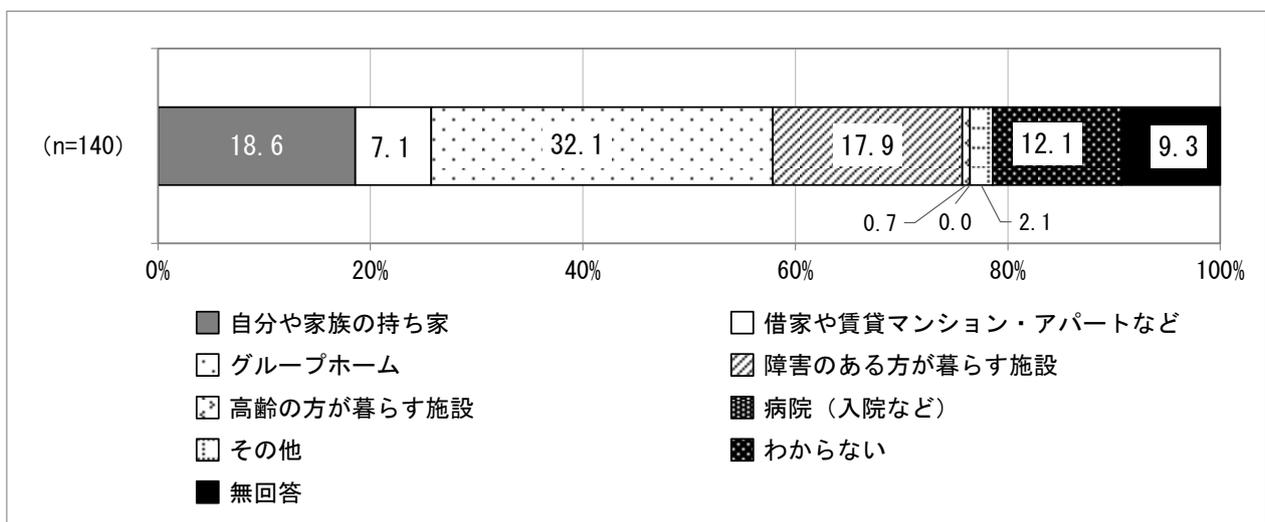
問9 お住まいについておたずねします。

(ア) 現在、ご本人はどこにお住まいですか。(SA)



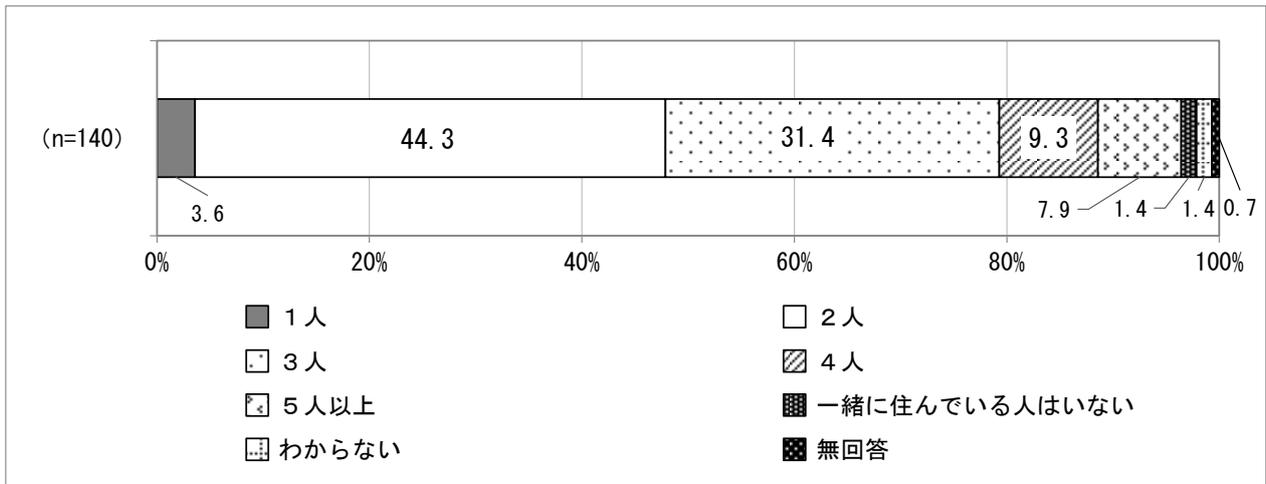
現在の住まいは、「自分や家族の持ち家」(72.1%)が最も高く、次いで「借家や賃貸マンション・アパートなど」(19.3%)、「障害のある方が暮らす施設」(6.4%)となっている。

(イ) 将来は、どこで暮らしてほしいと思っていますか。(SA)



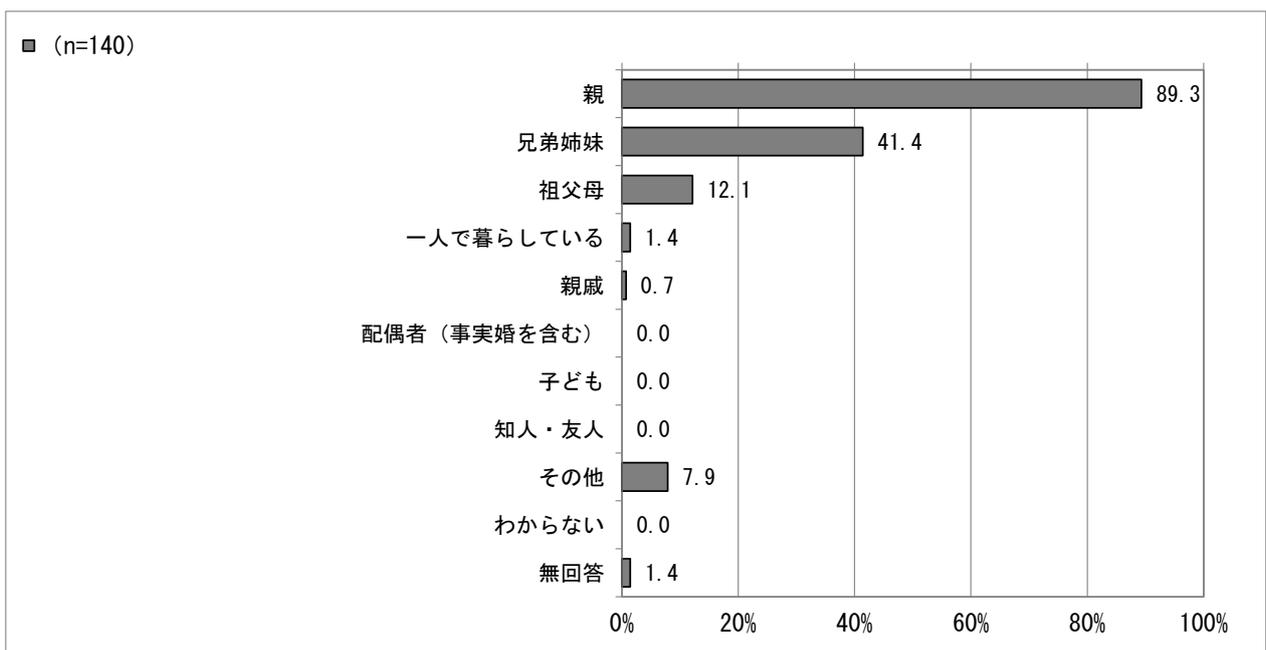
将来の希望する住まいは、「グループホーム」(32.1%)が最も高く、次いで「自分や家族の持ち家」(18.6%)、「障害のある方が暮らす施設」(17.9%)となっている。

問10 ご本人と一緒に住んでいる人は何人いますか。（本人除く）（SA）



同居人数は、「2人」(44.3%)が最も高く、次いで「3人」(31.4%)、「4人」(9.3%)となっている。

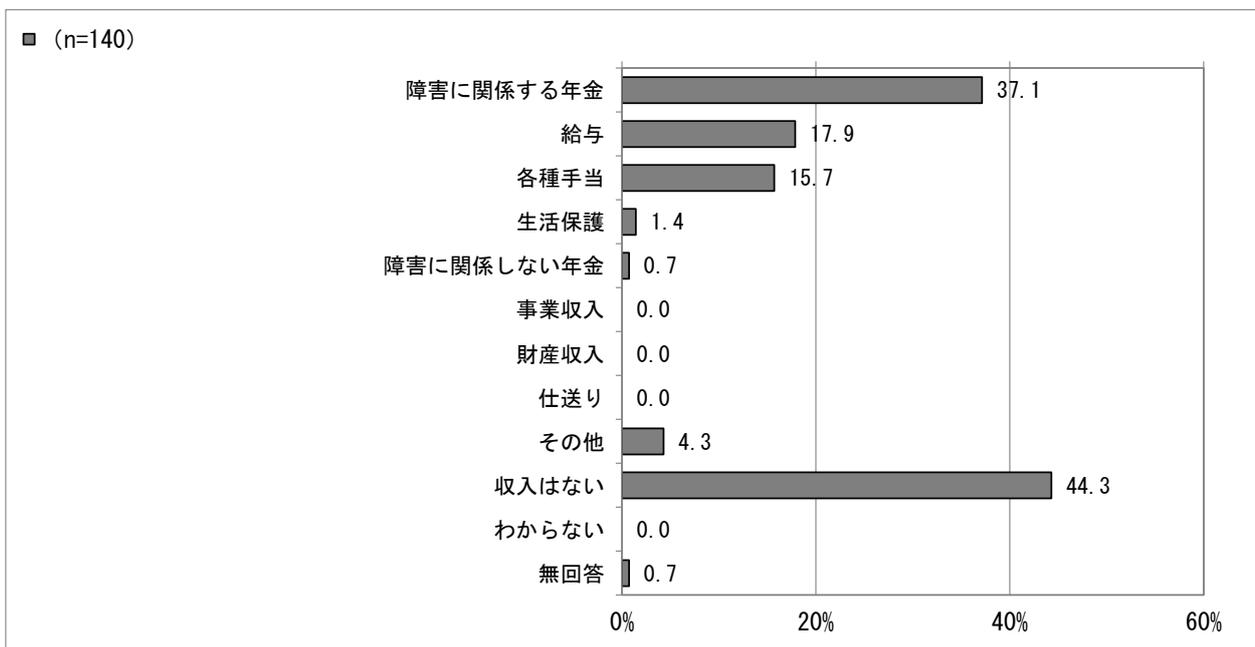
問11 ご本人と一緒に住んでいる人は誰ですか。（MA）



同居者は、「親」(89.3%)が最も高く、次いで「兄弟姉妹」(41.4%)、「祖父母」(12.1%)となっている。

### 3 所得の状況について

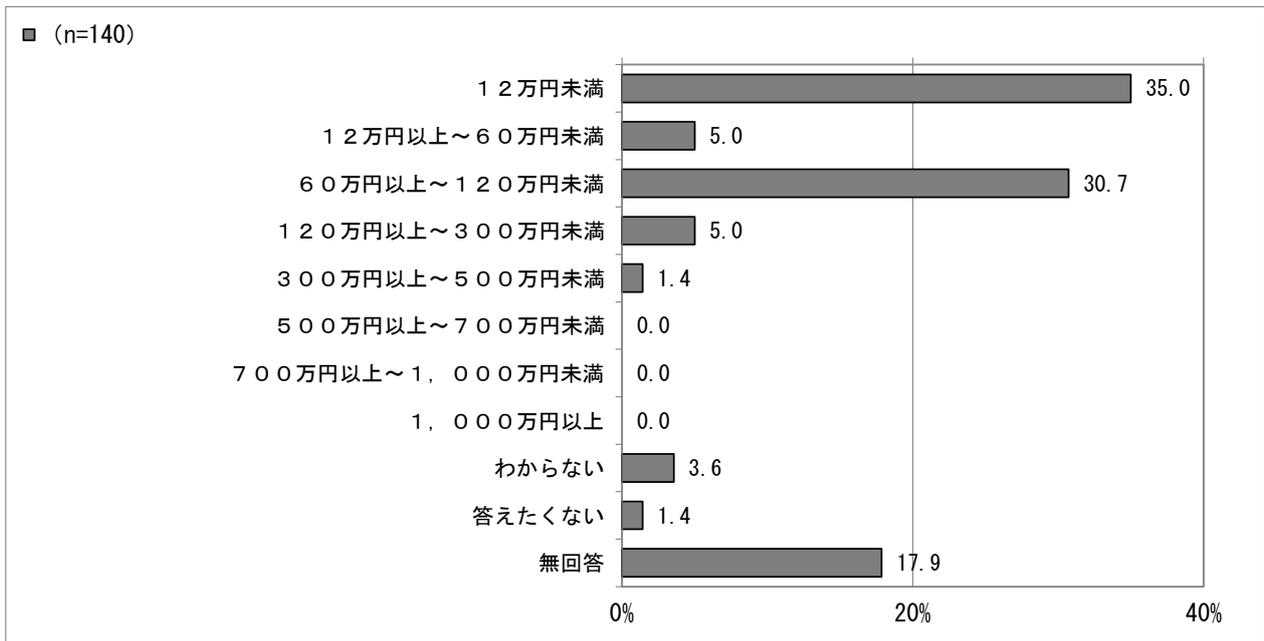
問 12 ご本人が得ている収入は次のうちどれですか。(MA)



本人の収入は、「収入はない」(44.3%)が最も高く、次いで「障害に関する年金」(37.1%)、「給与」(17.9%)となっている。

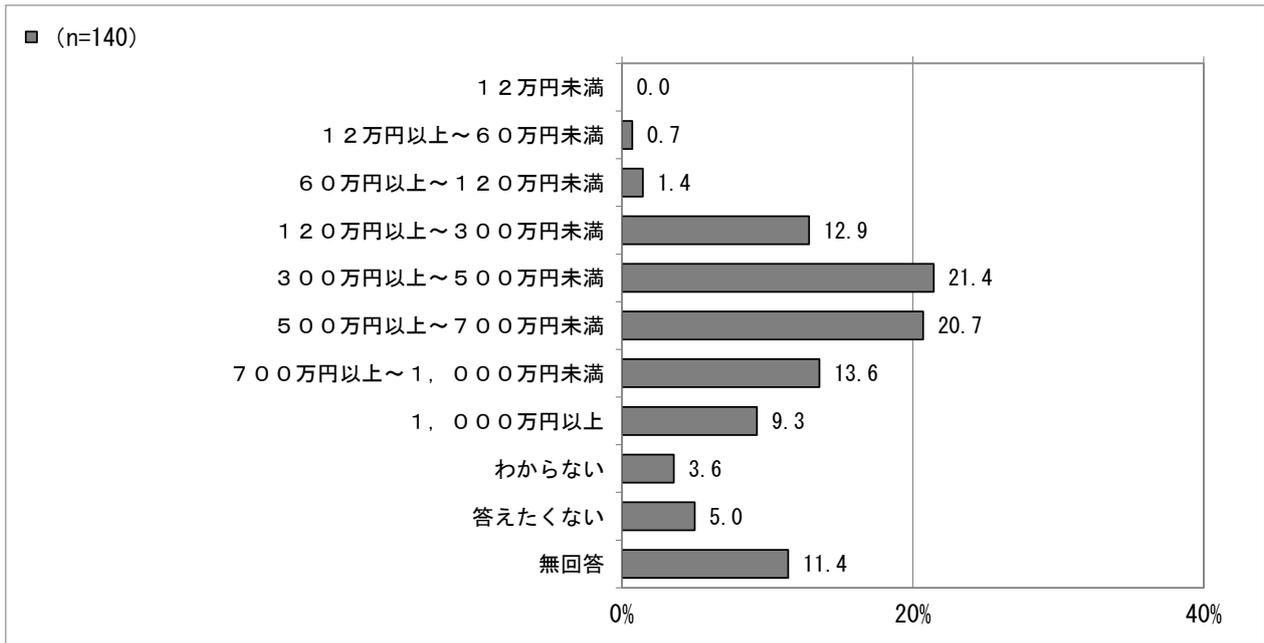
問13 所得についておたずねします。

(ア) ご本人の年収（税込）はだいたいどのくらいですか。(SA)



本人の年収は、「12万円未満」(35.0%)が最も高く、次いで「60万円以上～120万円未満」(30.7%)、「12万円以上～60万円未満」と「120万円以上～300万円未満」がともに5.0%となっている。

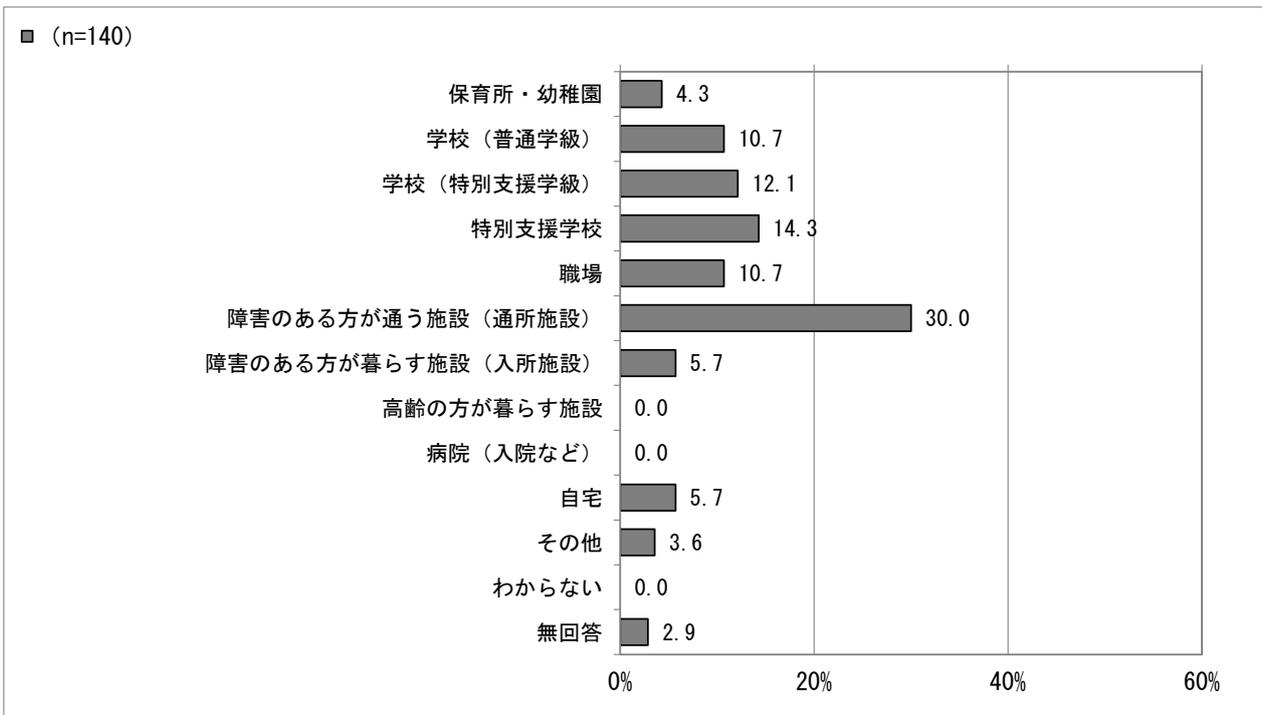
(イ) 一緒に暮らしている家族全体の年収(税込)はだいたいどのくらいですか。(本人の年収含む)(SA)



家族全体の年収は、「300万円以上～500万円未満」(21.4%)が最も高く、次いで「500万円以上～700万円未満」(20.7%)、「700万円以上～1,000万円未満」(13.6%)となっている。

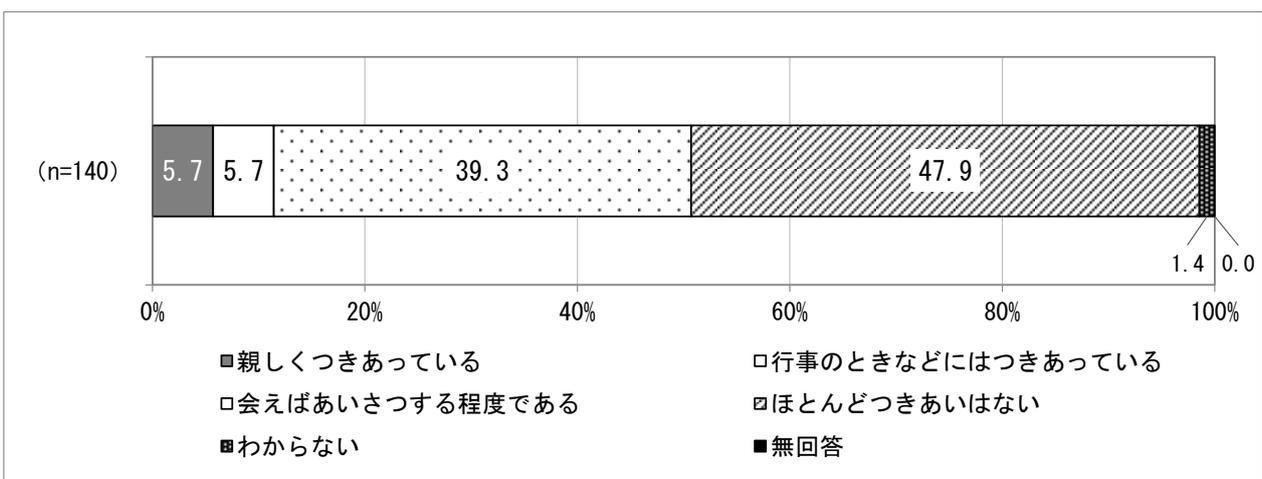
## 4 日常生活について

問 14 平日の日中の過ごし方についておたずねします。ご本人が主に過ごしている場所はどこですか。(SA)



平日日中に主に過ごしている場所は、「障害のある方が通う施設（通所施設）」(30.0%)が最も高く、次いで「特別支援学校」(14.3%)、「学校（特別支援学級）」(12.1%)となっている。

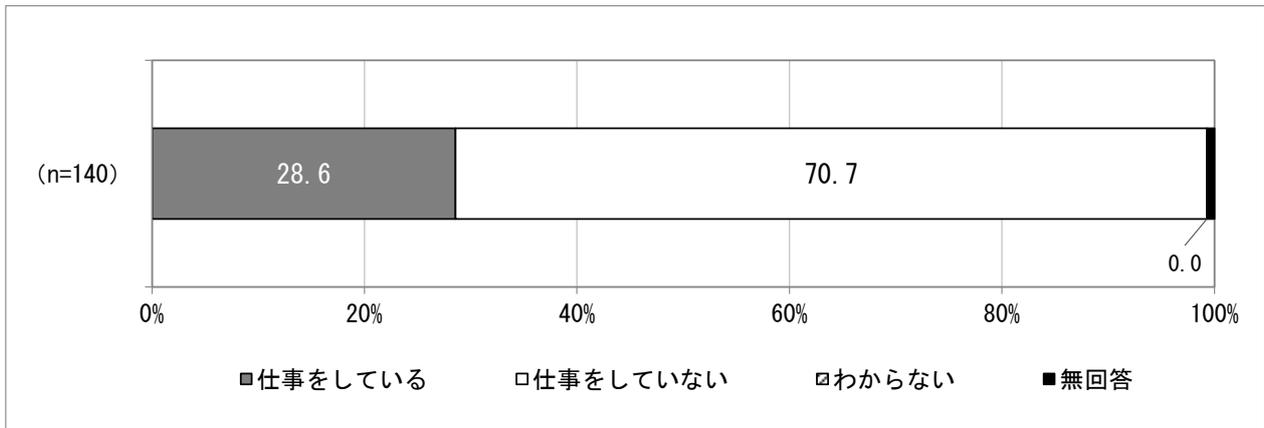
問 15 ご本人は隣近所の人とどのようにつきあっていますか。(SA)



隣近所とのつきあいは、「ほとんどつきあいはない」(47.9%)が最も高く、次いで「会えばあいさつする程度である」(39.3%)、「親しくつきあっている」と「行事のときなどにはつきあっている」がともに5.7%となっている。

## 5 就労の状況について

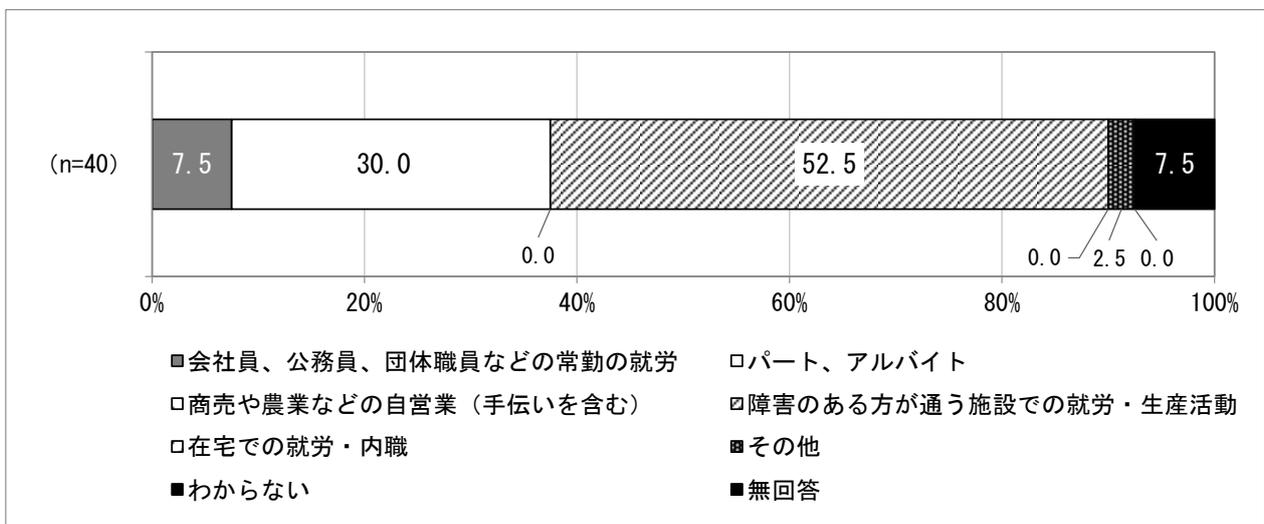
問 16 現在、ご本人は仕事をしていますか。(SA)



現在、本人の仕事は、「仕事をしている」(28.6%)、「仕事をしていない」(70.7%)となっている。

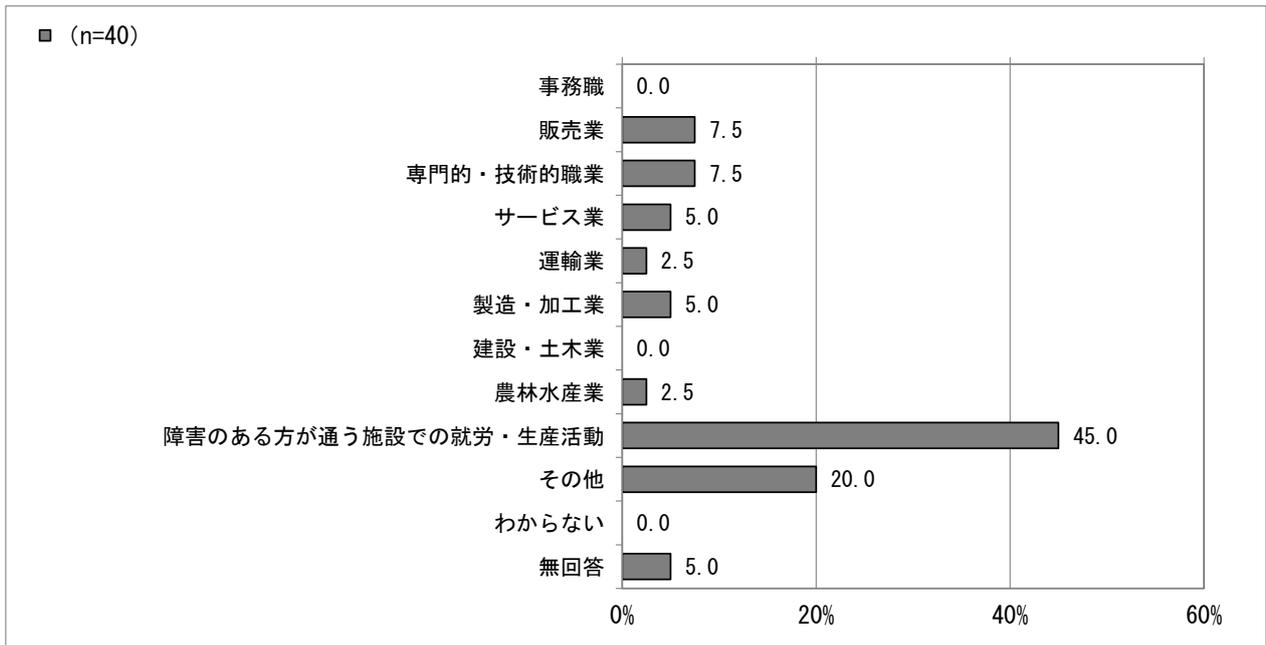
問 17 問 16 で「仕事をしている」を選んだ方におたずねします。

(1) ご本人は主にどのような仕事に就いていますか。(SA)



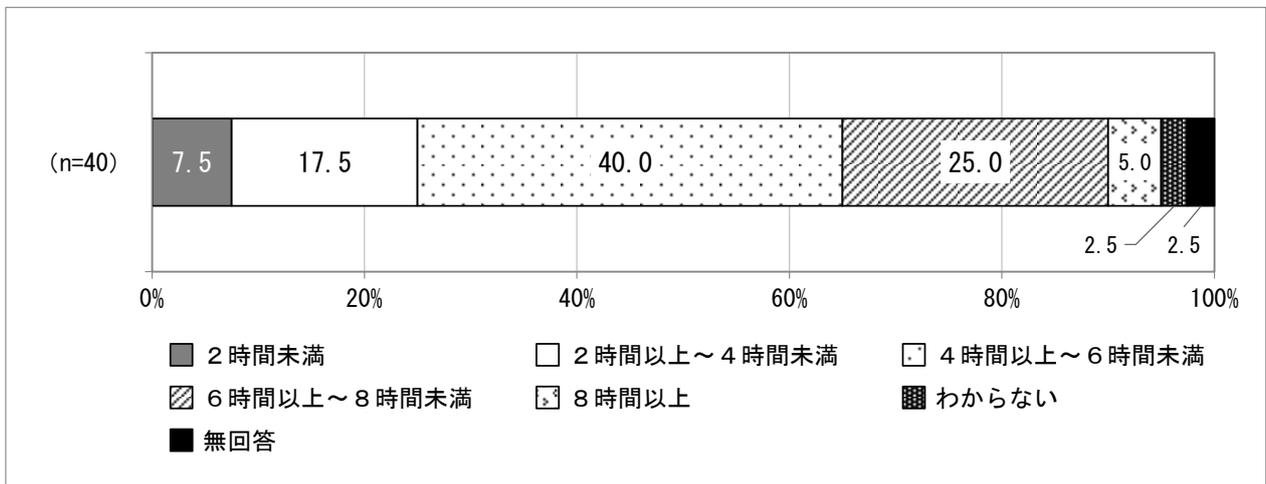
本人の仕事は、「障害のある方が通う施設での就労・生産活動」(52.5%)が最も高く、次いで「パート、アルバイト」(30.0%)、「会社員、公務員、団体職員などの常勤の就労」(7.5%)となっている。

(2) ご本人は主にどのような内容の仕事をしていますか。(SA)



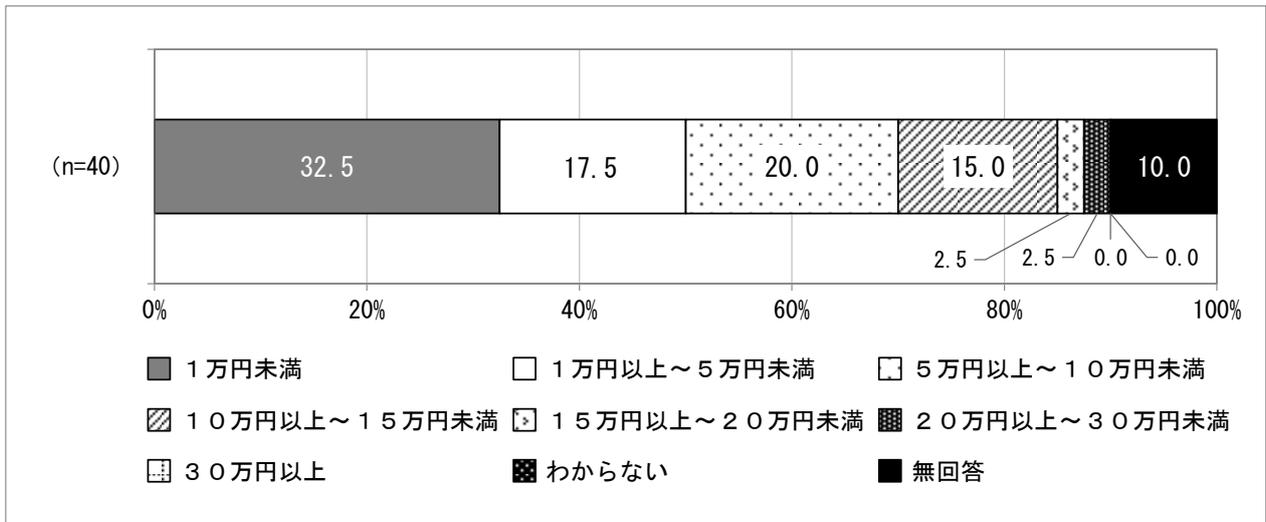
本人の仕事の内容は、「障害のある方が通う施設での就労・生産活動」(45.0%)が最も高く、次いで「その他」(20.0%)、「販売業」と「専門的・技術的職業」がともに7.5%となっている。

(3) ご本人の1日あたりの仕事の時間はどのくらいですか。(SA)



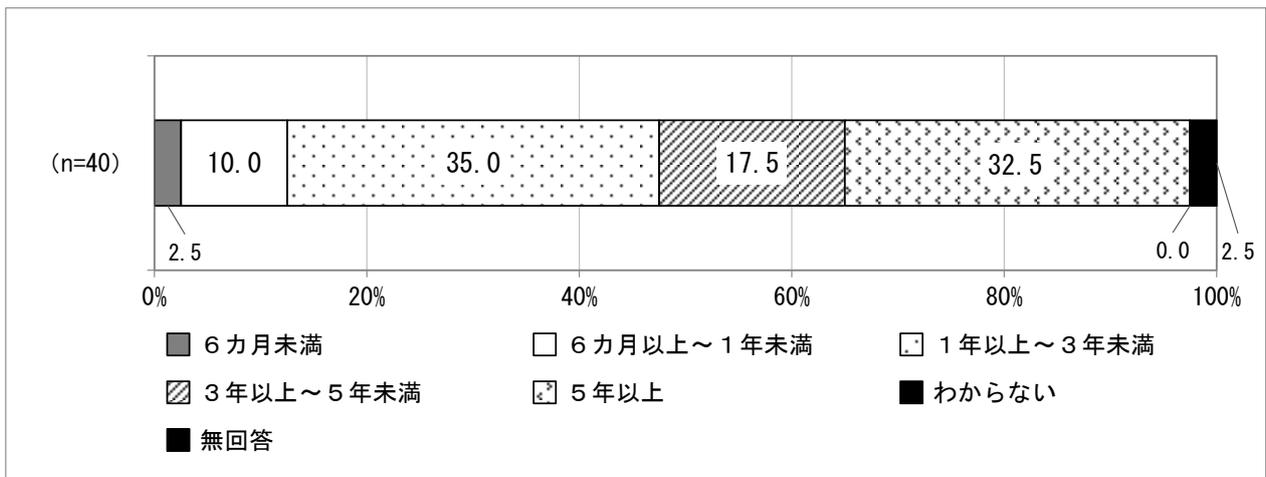
本人の1日あたりの仕事の時間は、「4時間以上～6時間未満」(40.0%)が最も高く、次いで「6時間以上～8時間未満」(25.0%)、「2時間以上～4時間未満」(17.5%)となっている。

(4) ご本人の仕事による収入は月額どのくらいですか。(SA)



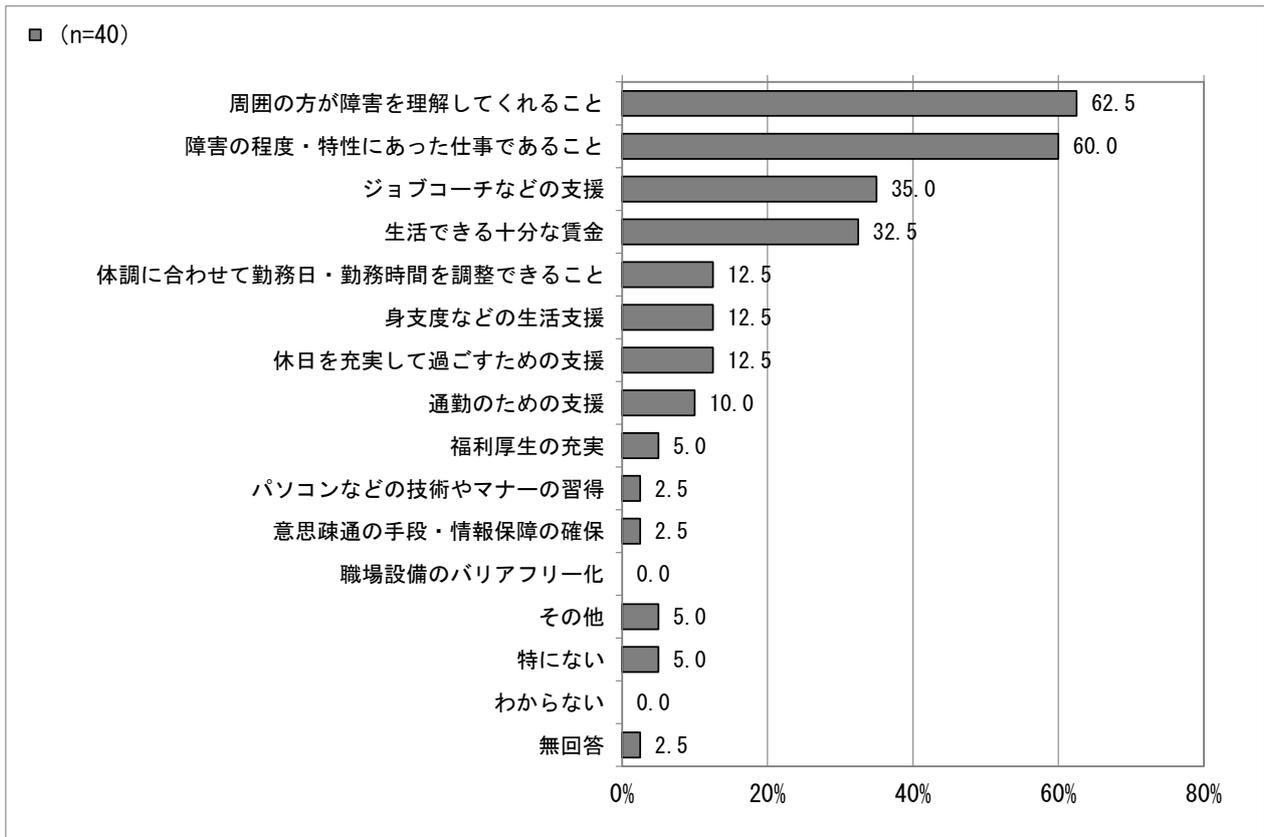
本人の仕事による月収は、「1万円未満」(32.5%)が最も高く、次いで「5万円以上～10万円未満」(20.0%)、「1万円以上～5万円未満」(17.5%)となっている。

(5) ご本人は現在の仕事をどのくらいの期間続けていますか。(SA)



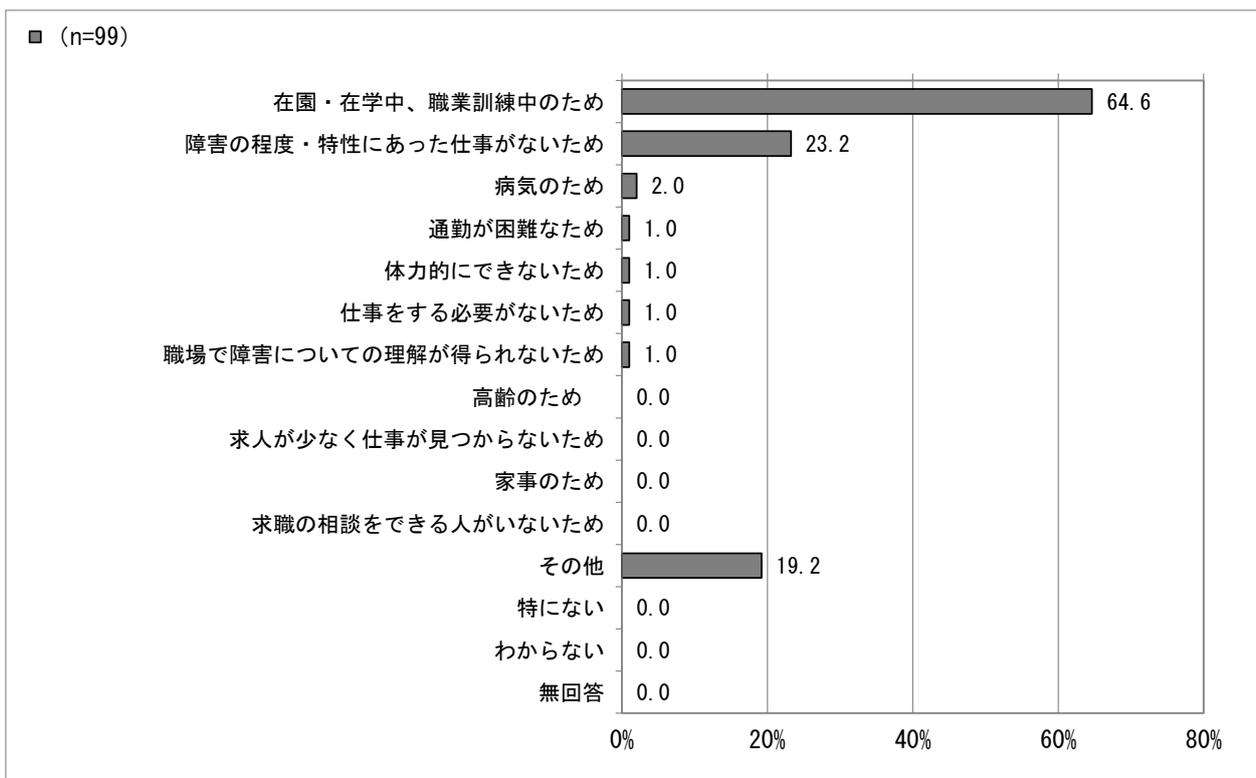
仕事を続けている期間は、「1年以上～3年未満」(35.0%)が最も高く、次いで「5年以上」(32.5%)、「3年以上～5年未満」(17.5%)となっている。

## (6) ご本人が仕事を続けるためには何が必要ですか。(MA)



仕事を続けるために必要なのは、「周囲の方が障害を理解してくれること」(62.5%)が最も高く、次いで「障害の程度・特性にあった仕事であること」(60.0%)、「ジョブコーチなどの支援」(35.0%)となっている。

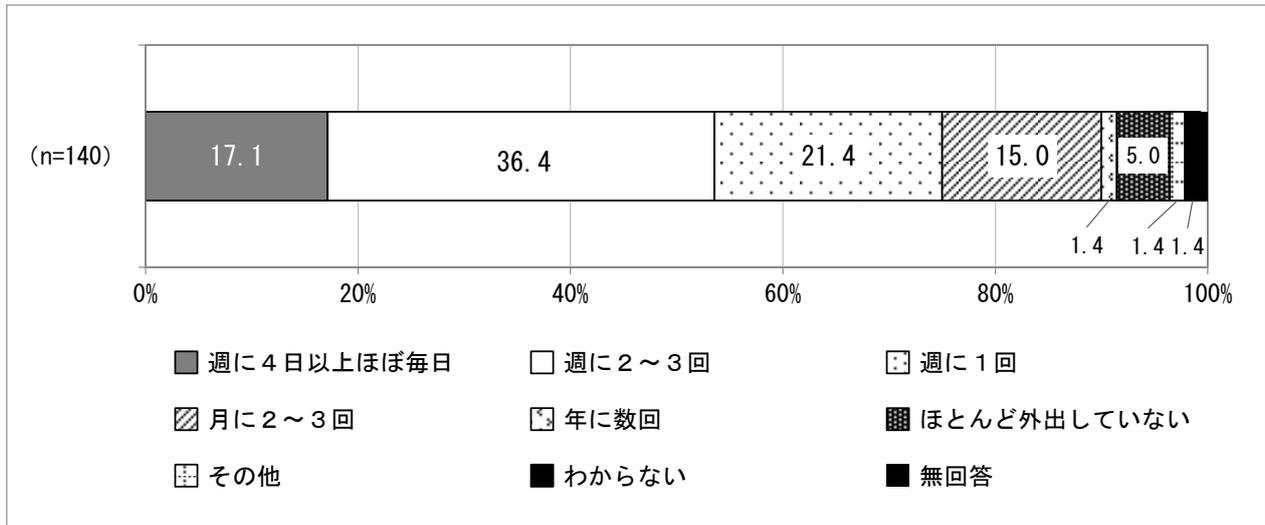
問 18 問 16 で「仕事をしていない」を選んだ方におたずねします。現在、ご本人が仕事を  
していない理由は何ですか (MA)



現在仕事をしていない理由は、「在園・在学中、職業訓練中のため」(64.6%)が最も高く、次いで「障害の程度・特性にあった仕事がないため」(23.2%)、「その他」(19.2%)となっている。

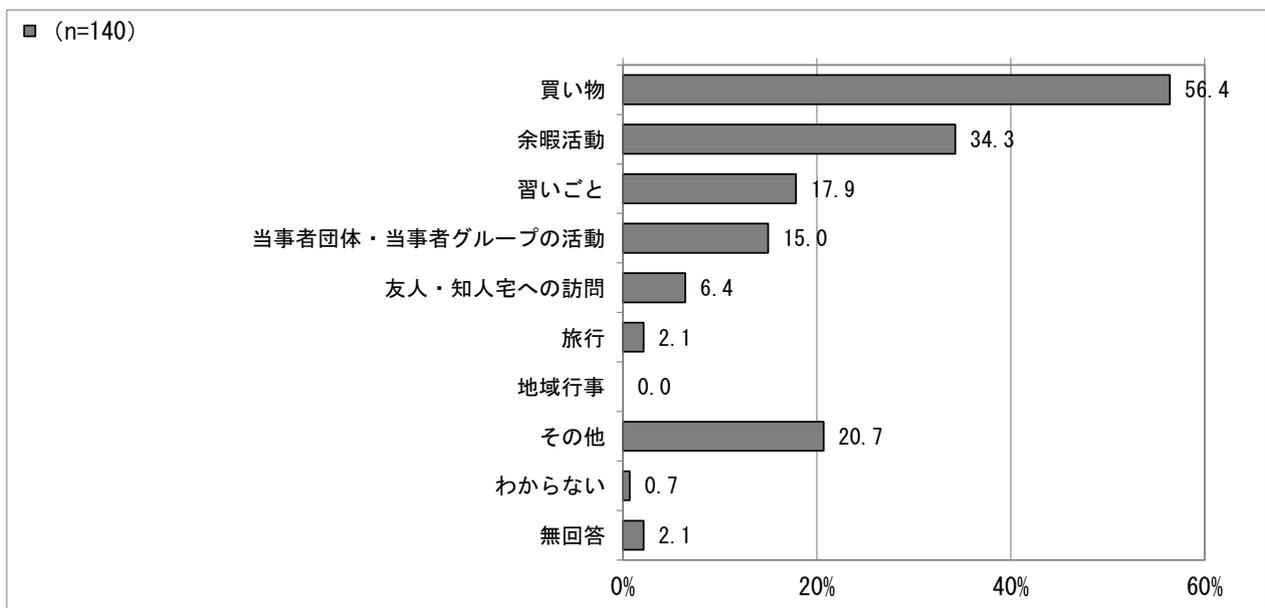
## 6 社会参加について

問19 ご本人はどのくらいの頻度で外出していますか。（通勤、通学、通園、通院、通所での外出は除く）（SA）



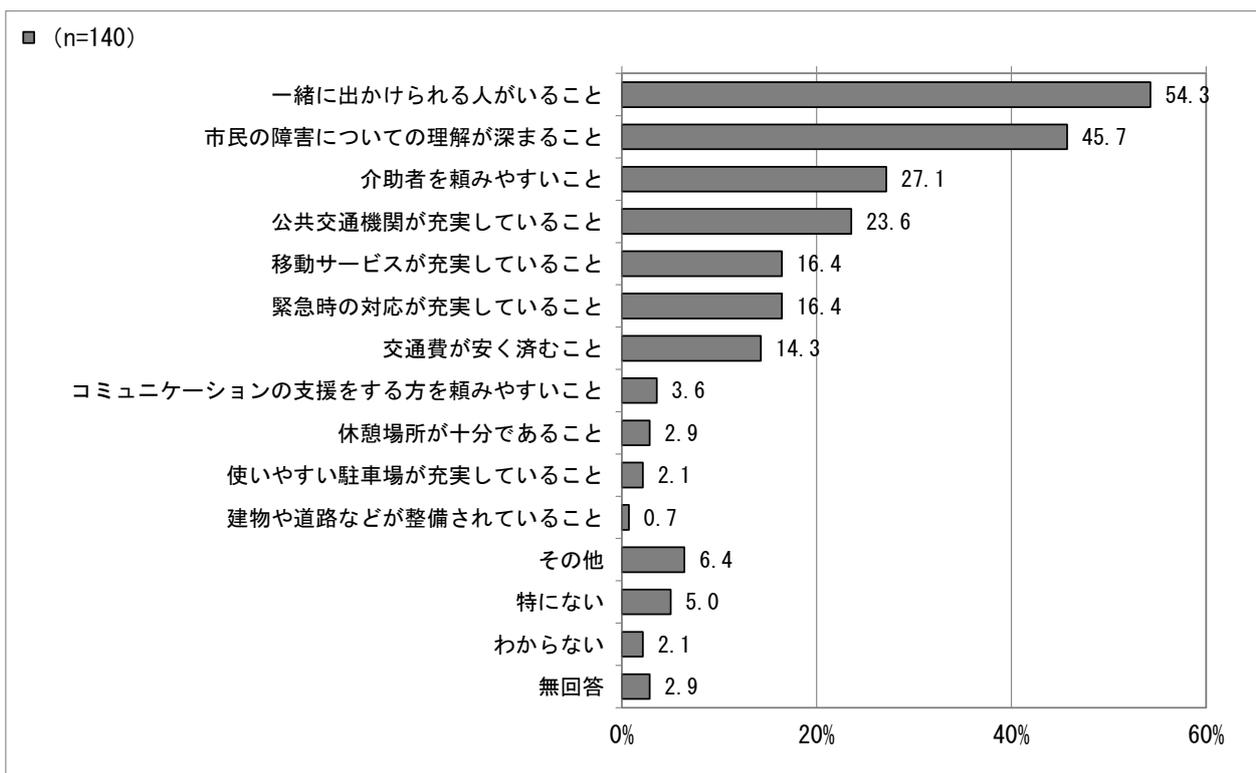
外出の頻度は、「週に2~3回」(36.4%)が最も高く、次いで「週に1回」(21.4%)、「週に4日以上ほぼ毎日」(17.1%)となっている。

問20 ご本人の主な外出の目的は何ですか。（通勤、通学、通園、通院、通所での外出は除く）（MA）



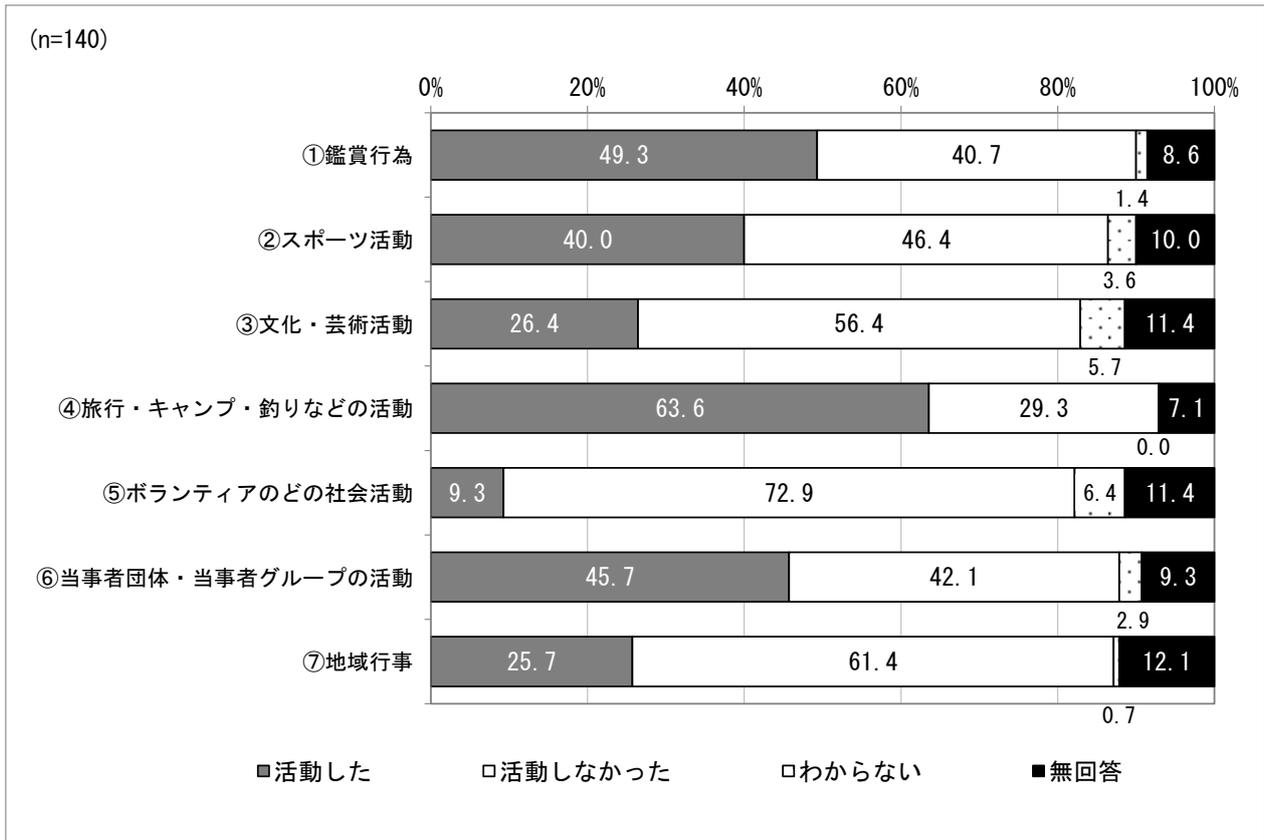
外出の主な目的は、「買い物」(56.4%)が最も高く、次いで「余暇活動」(34.3%)、「その他」(20.7%)となっている。

問 21 ご本人がより外出しやすくなるためには何が必要ですか。(MA)



本人がより外出しやすくなるためには、「一緒に出かけられる人がいること」(54.3%)が最も高く、次いで「市民の障害についての理解が深まること」(45.7%)、「介助者を頼みやすいこと」(27.1%)となっている。

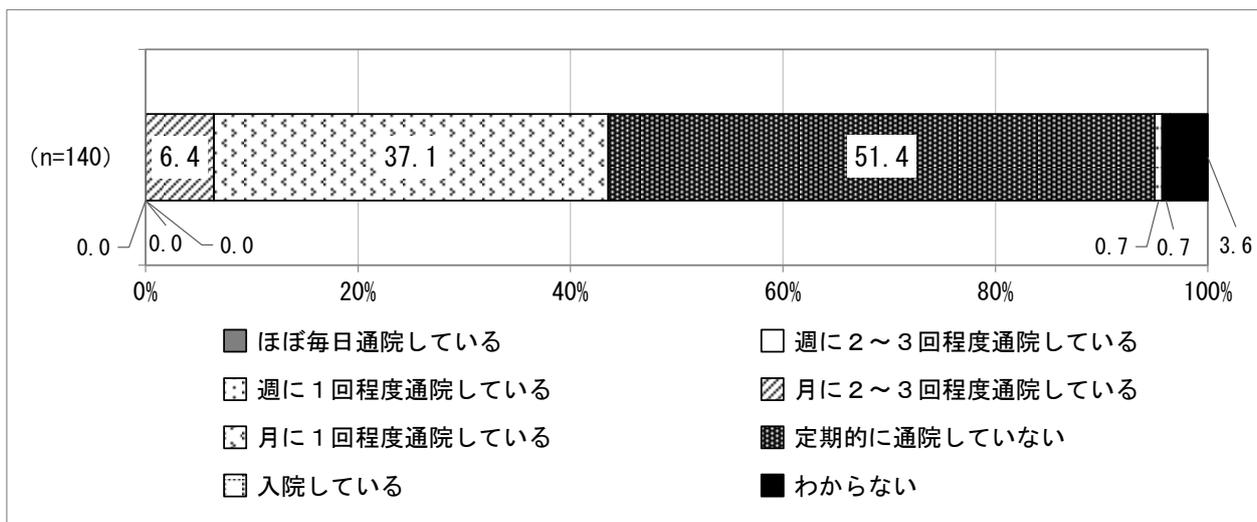
問 22 ご本人は過去一年間に、どのような余暇活動、スポーツ、趣味、学習や社会活動などをしましたか。(SA)



過去一年間に「活動した」割合は、「④旅行・キャンプ・釣りなどの活動」(63.6%)、次いで「①鑑賞行為」(49.3%)、「⑥当事者団体・当事者グループの活動」(45.7%)となっている。

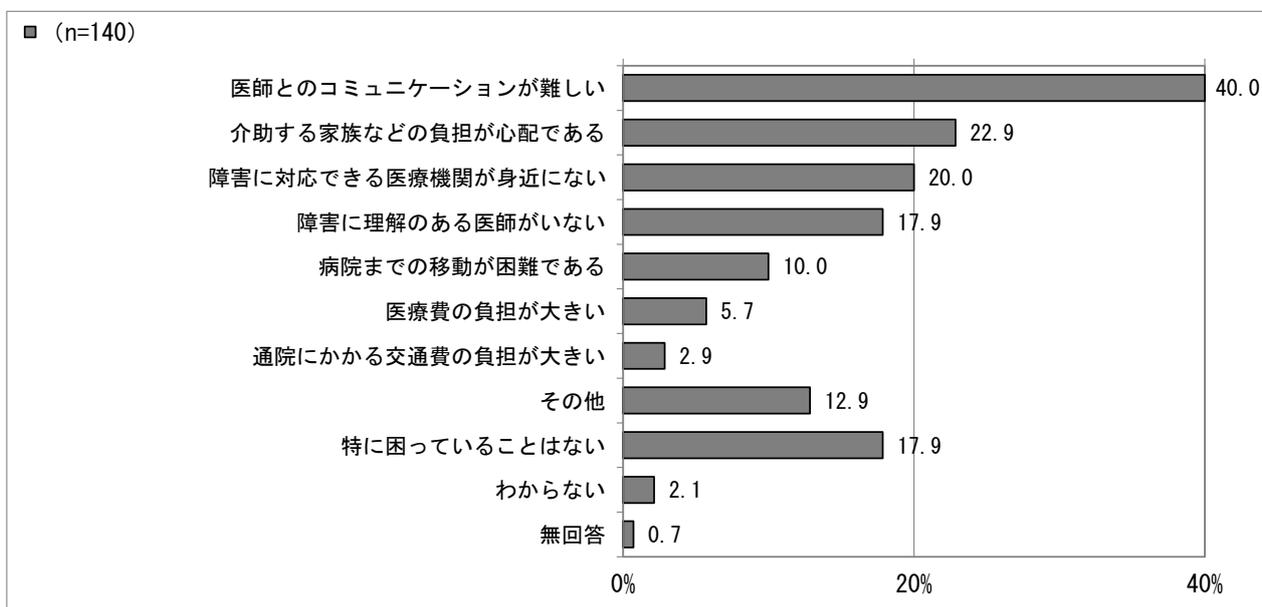
## 7 健康や医療について

問 23 ご本人は普段、定期的に通院していますか。(SA)



定期的な通院は、「定期的に通院していない」(51.4%)が最も高く、次いで「月に1回程度通院している」(37.1%)、「月に2~3回程度通院している」(6.4%)となっている。

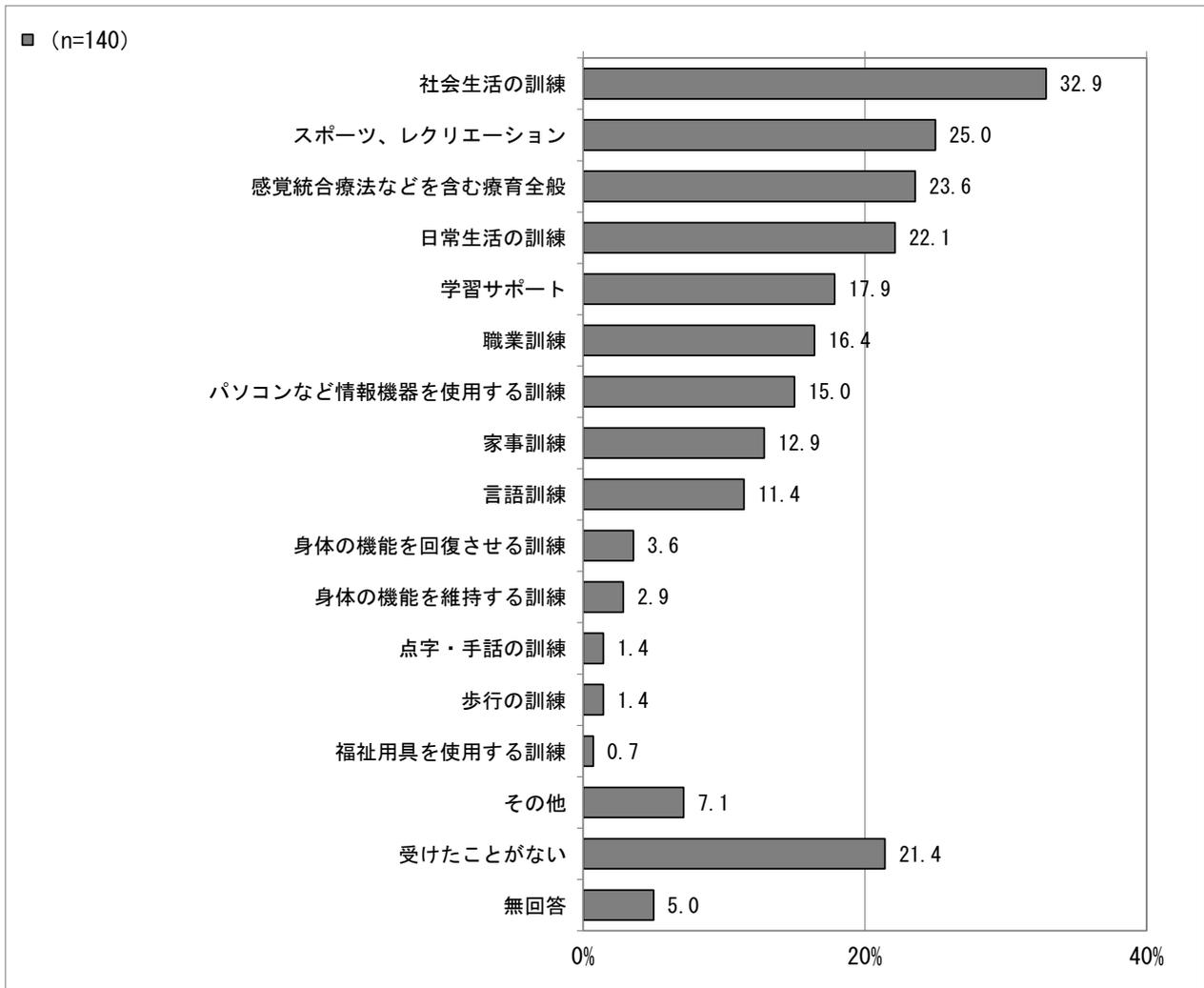
問 24 ご本人が医療機関を利用する際に困っていることは何ですか。(MA)



医療機関を利用する際に困っていることは、「医師とのコミュニケーションが難しい」(40.0%)が最も高く、次いで「介助する家族などの負担が心配である」(22.9%)、「障害に対応できる医療機関が身近にない」(20.0%)となっている。

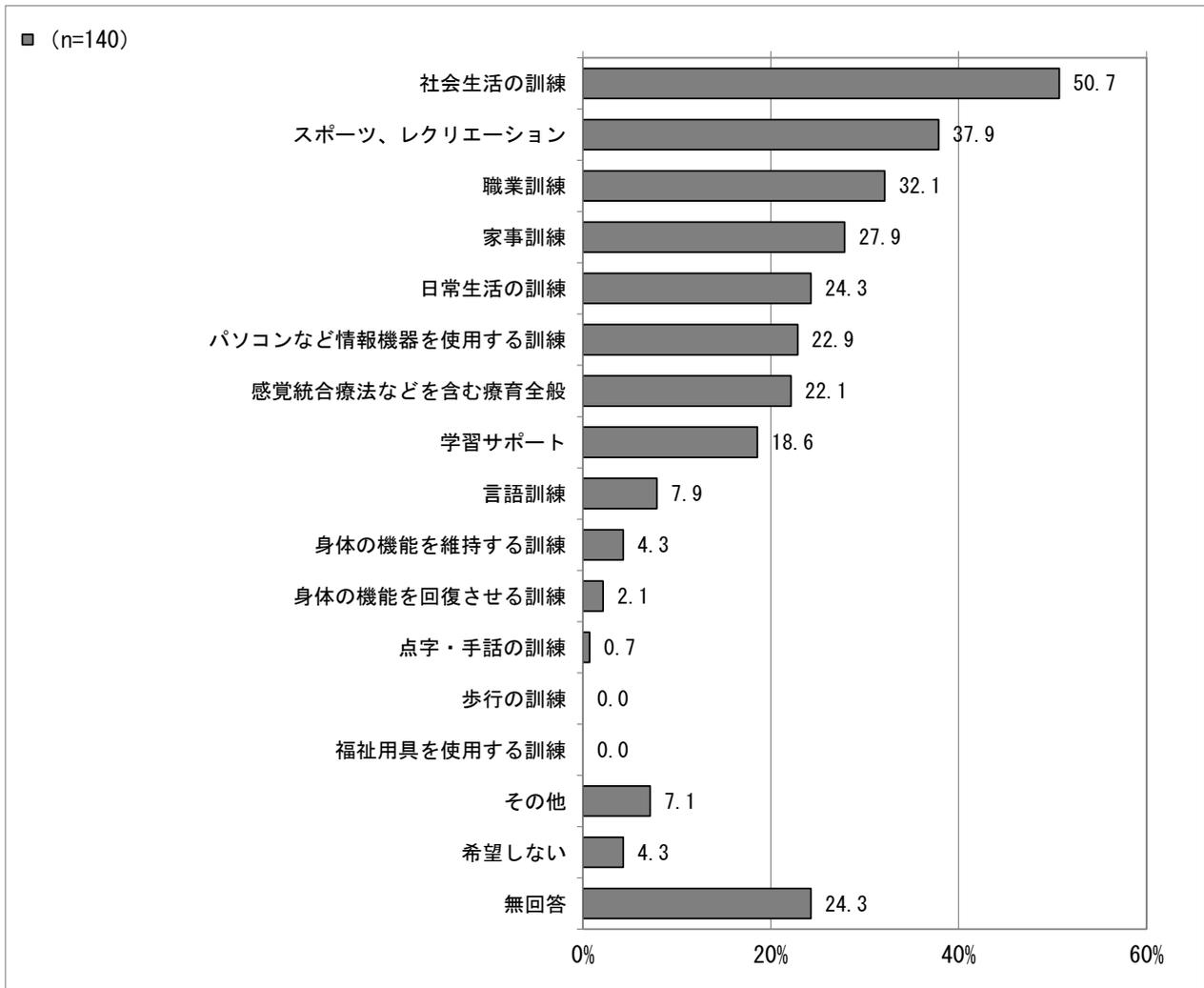
問25 訓練などについておたずねします。

(ア) ご本人は、どのような訓練・リハビリテーション・療育を受けたことがありますか。  
(MA)



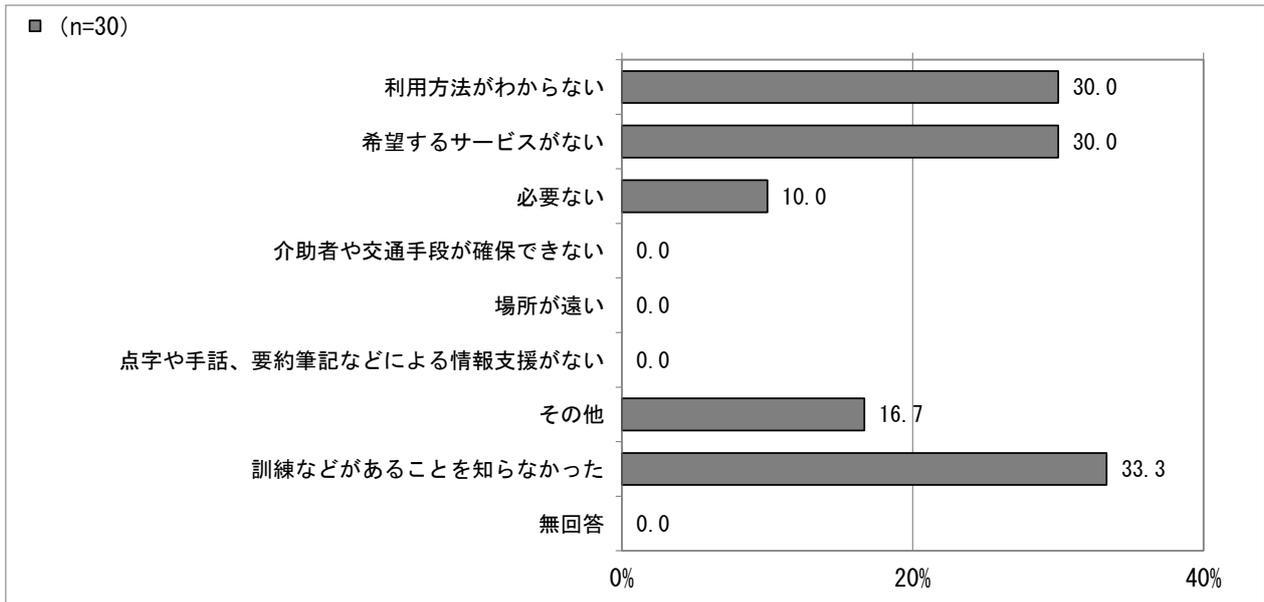
受けたことのある訓練・リハビリテーション・療育は、「社会生活の訓練」(32.9%)が最も高く、次いで「スポーツ、レクリエーション」(25.0%)、「感覚統合療法などを含む療育全般」(23.6%)となっている。

(イ) 今後どのような訓練・リハビリテーション・療育を受けてほしいと思いますか。(MA)



今後受けてほしいと思う訓練・リハビリテーション・療育は、「社会生活の訓練」(50.7%)が最も高く、次いで「スポーツ、レクリエーション」(37.9%)、「職業訓練」(32.1%)となっている。

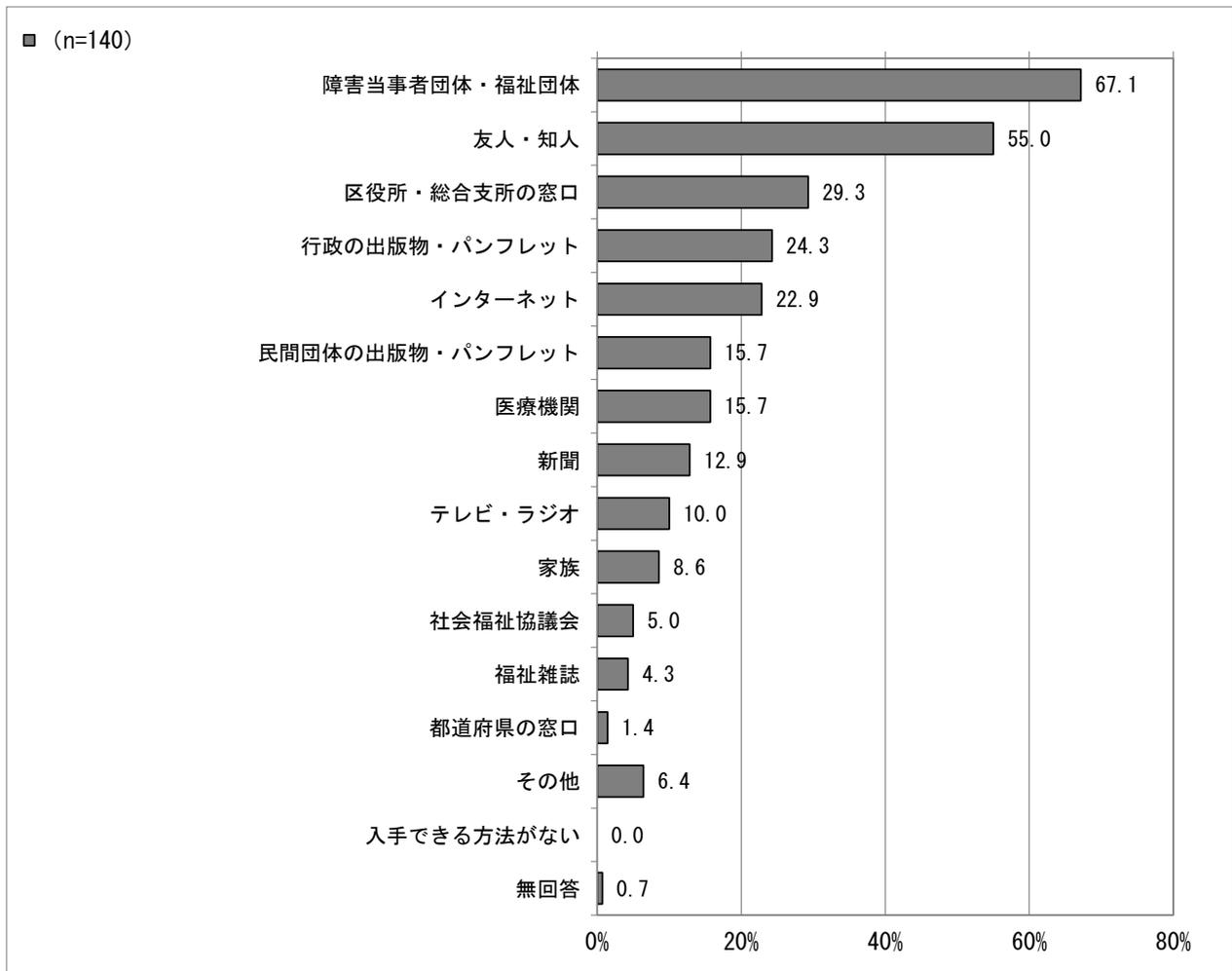
問26 問25で「受けたことがない」を選んだ方におたずねします。受けたことがない理由は何ですか。(MA)



受けたことがない理由は、「訓練などがあることを知らなかった」(33.3%)が最も高く、次いで「利用方法がわからない」と「希望するサービスがない」がともに30.0%、「その他」(16.7%)となっている。

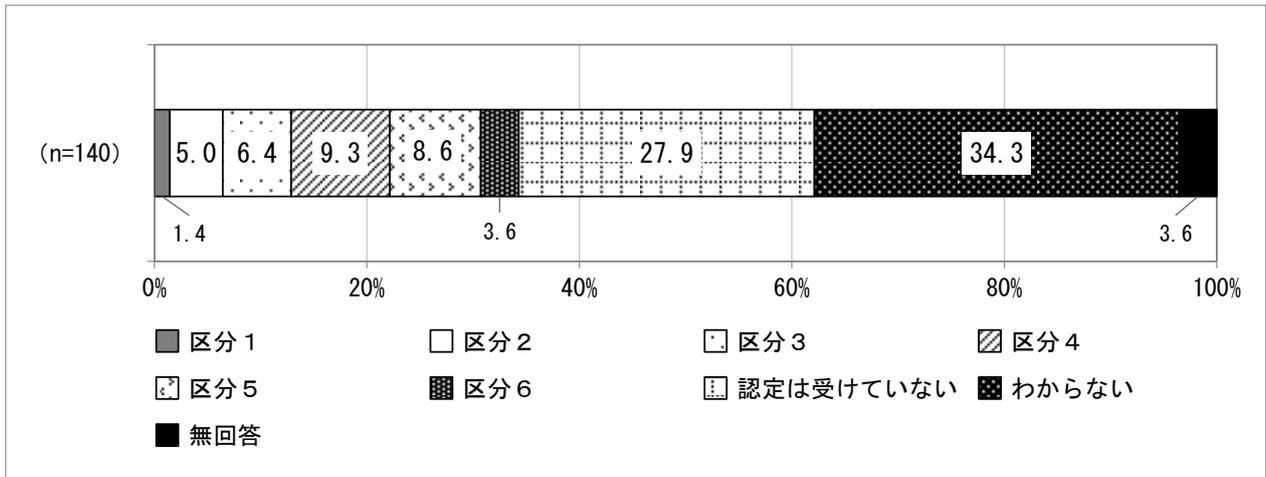
## 8 福祉サービスについて

問 27 あなた（このアンケートを記入している方）はどのようなところから福祉サービスの情報を得ていますか。（MA）



福祉サービス情報の入手先は、「障害当事者団体・福祉団体」（67.1%）が最も高く、次いで「友人・知人」（55.0%）、「区役所・総合支所の窓口」（29.3%）となっている。

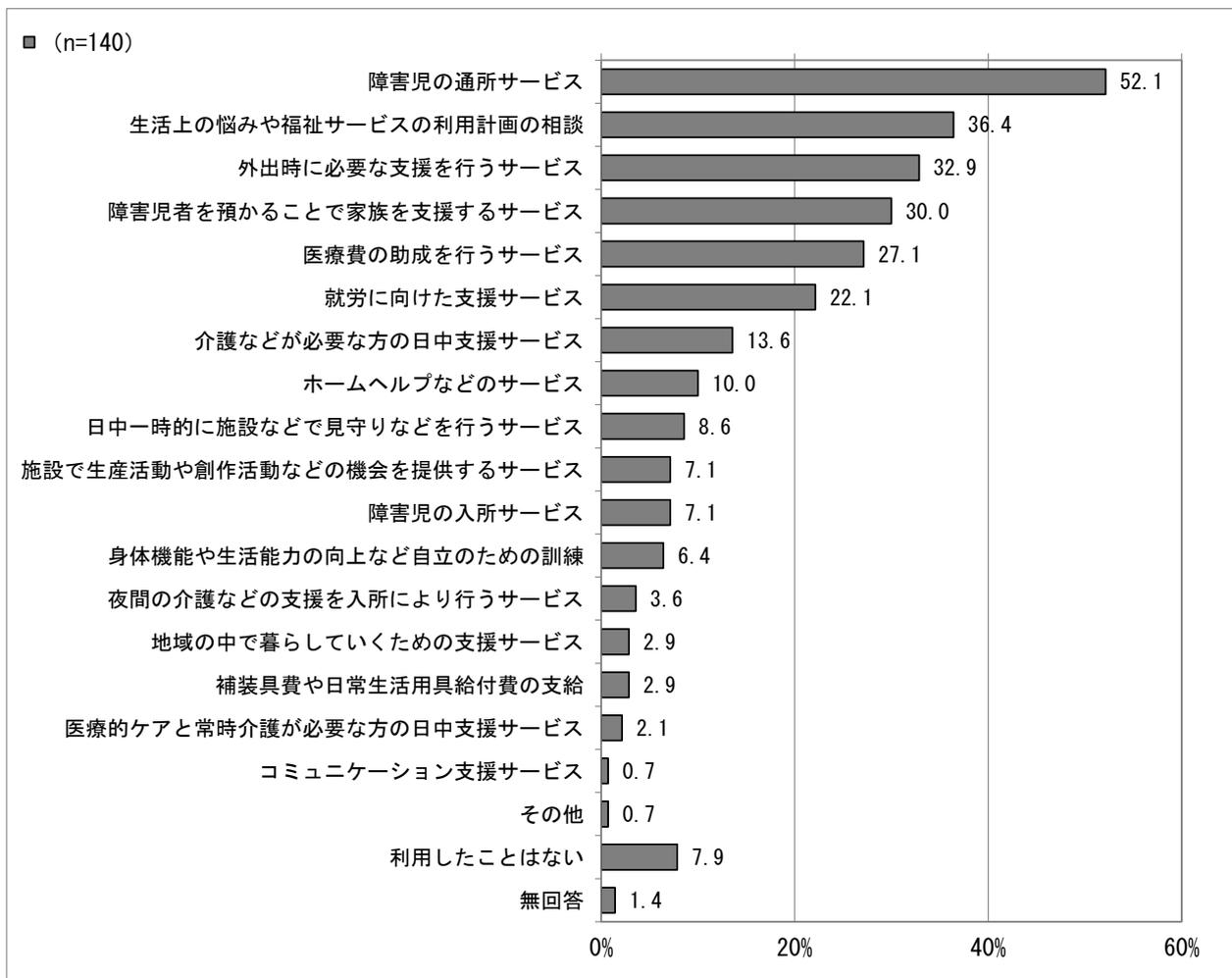
問 28 ご本人は「障害のある方の福祉サービス」を利用するための、障害支援区分認定を受けていますか。(SA)



障害支援区分認定は、「わからない」(34.3%)が最も高く、次いで「認定は受けていない」(27.9%)、「区分4」(9.3%)となっている。

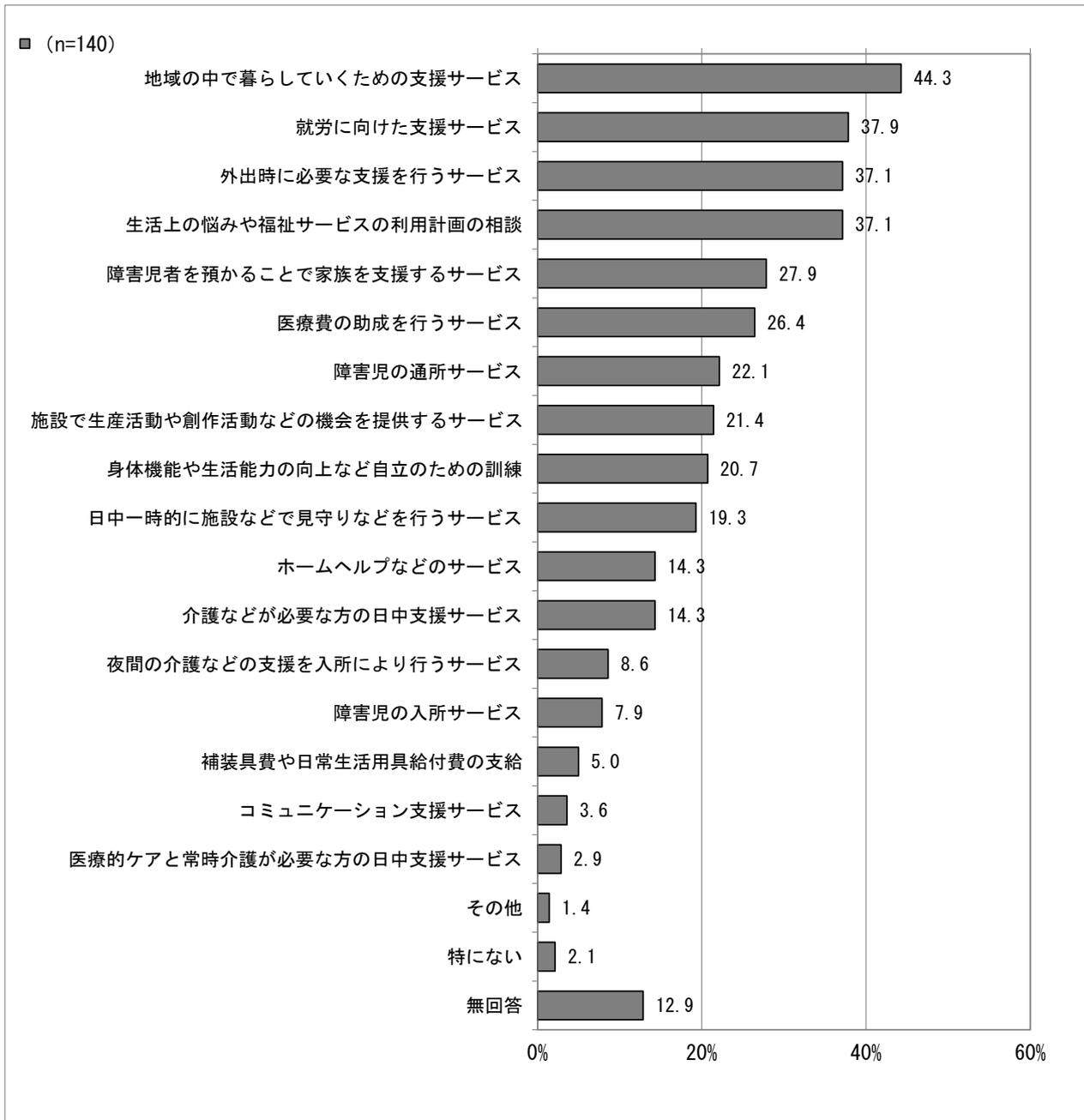
問 29 「障害のある方の福祉サービス」についておたずねします。

(ア) ご本人はこれまでにどのようなサービスを利用したことがありますか。(MA)



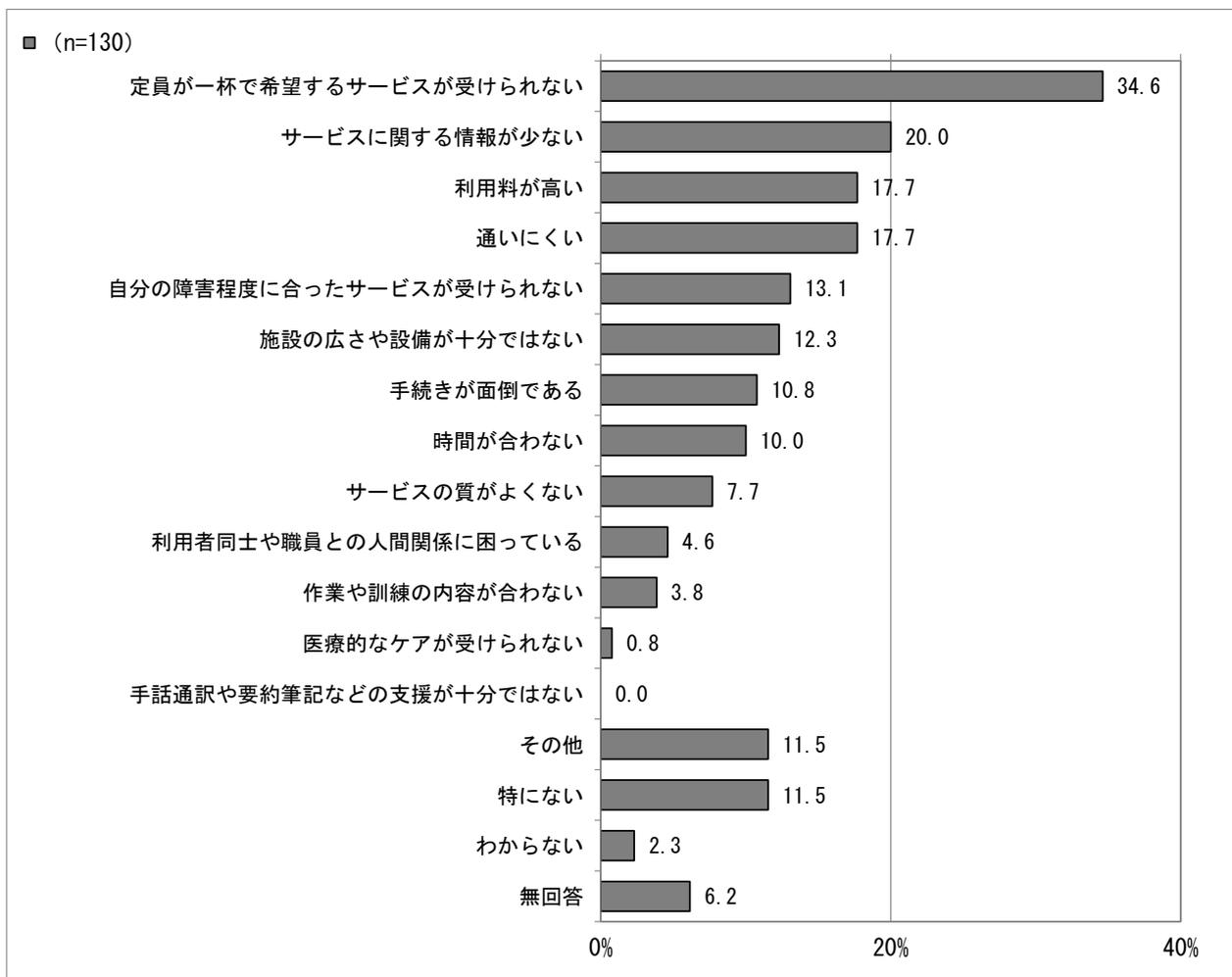
これまでに利用したことがあるサービスは、「障害児の通所サービス」(52.1%)が最も高く、次いで「生活上の悩みや福祉サービスの利用計画の相談」(36.4%)、「外出時に必要な支援を行うサービス」(32.9%)となっている。

## (イ) 今後、ご本人に利用してほしいと思うサービスは何ですか。(MA)



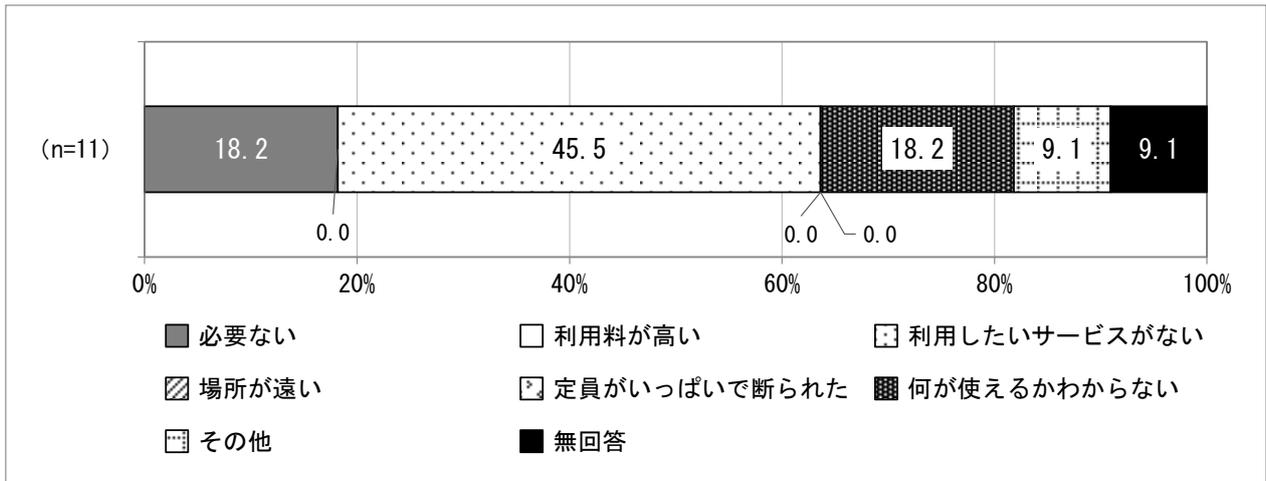
今後利用してほしいと思うサービスは、「地域の中で暮らしていくための支援サービス」(44.3%)が最も高く、次いで「就労に向けた支援サービス」(37.9%)、「外出時に必要な支援を行うサービス」と「生活上の悩みや福祉サービスの利用計画の相談」がともに37.1%となっている。

問 30 問 29 で「利用したことはない」と「特にない」以外のどれかひとつでも選んだ方におたずねします。ご本人が「障害のある方の福祉サービス」を利用するにあたって困っていることは何ですか。(MA)



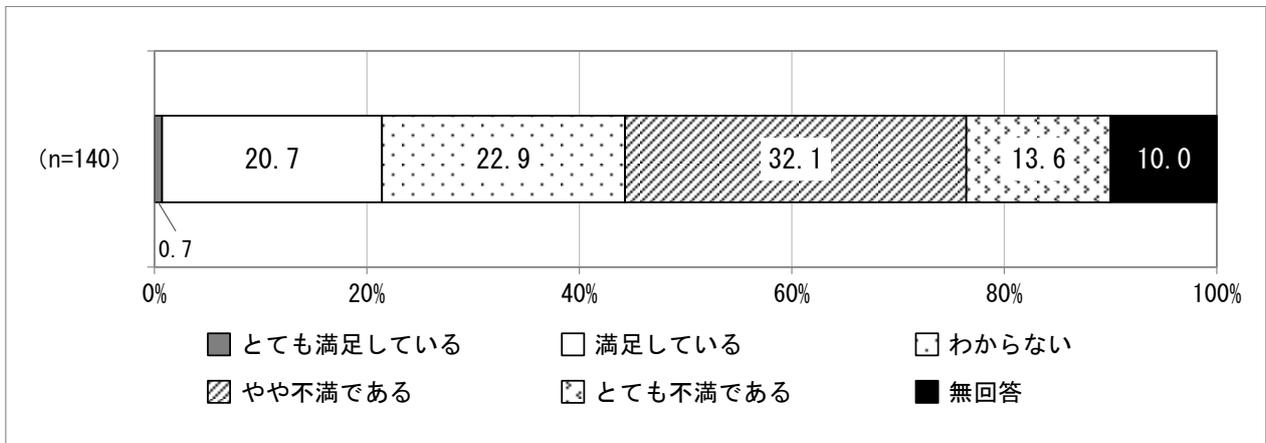
「障害のある方の福祉サービス」を利用するにあたって困っていることは、「定員が一杯で希望するサービスが受けられない」(34.6%) が最も高く、次いで「サービスに関する情報が少ない」(20.0%)、「利用料が高い」と「通にくい」がともに17.7%となっている。

問31 問29で「利用したことはない」を選んだ方におたずねします。利用したことがない理由は何ですか。(SA)



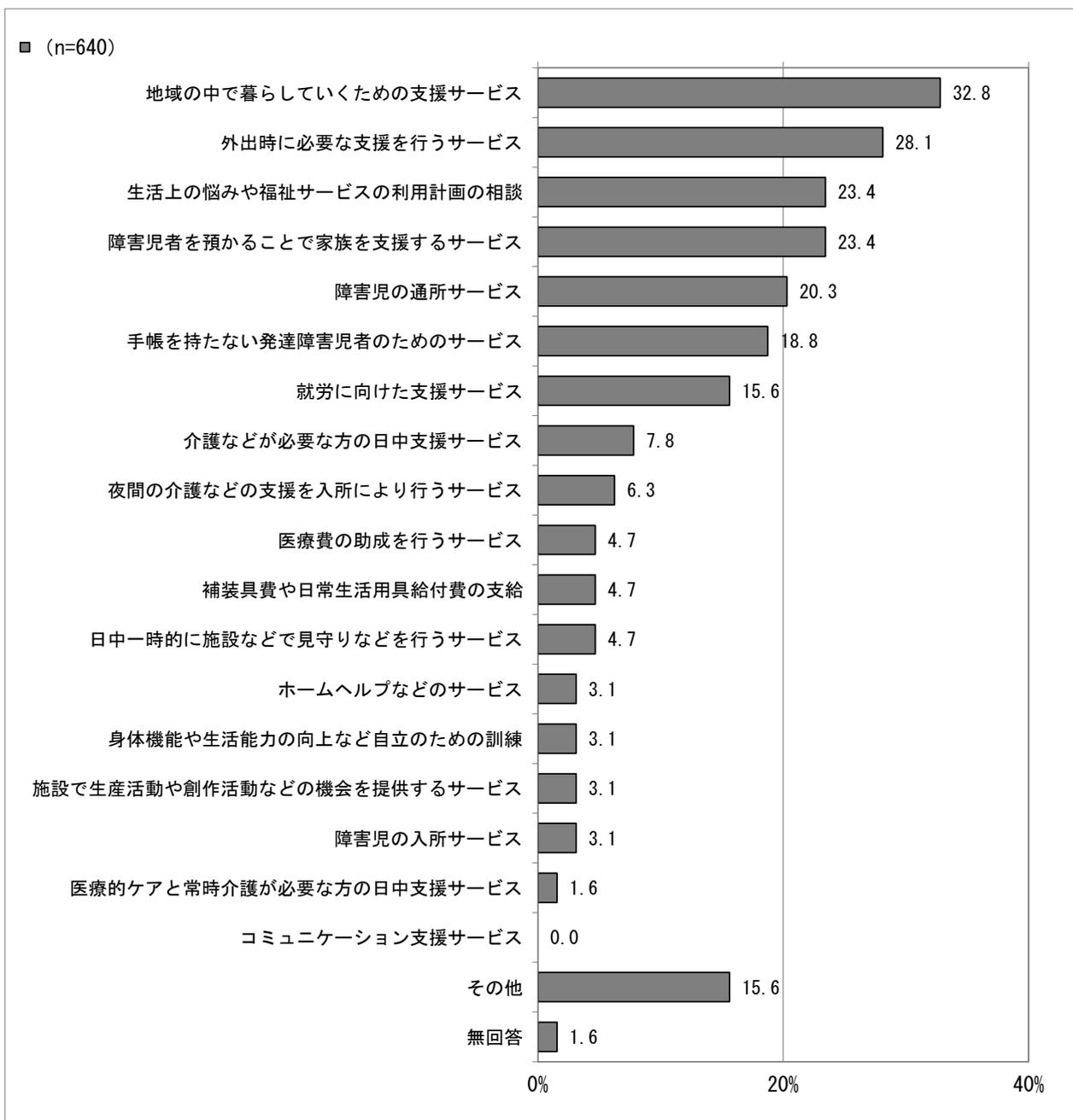
利用したことがない理由は、「利用したいサービスがない」(45.5%)が最も高く、次いで「必要ない」と「何が使えるかわからない」がともに18.2%、「その他」(9.1%)となっている。

問32 現在、あなた(このアンケートを記入している方)は仙台市にある「障害のある方の福祉サービス」に満足していますか。(SA)



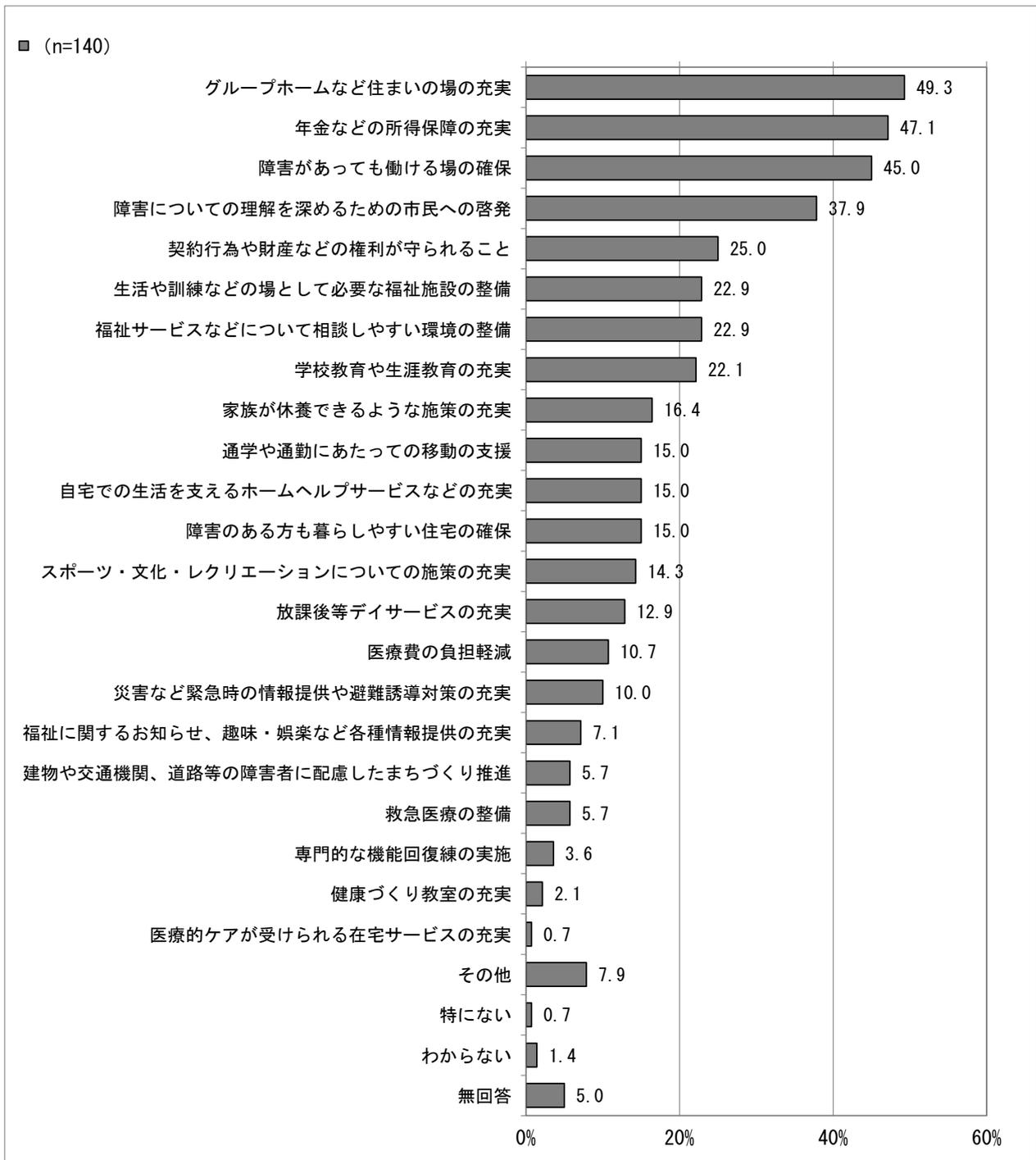
「障害のある方の福祉サービス」への満足は、「やや不満である」(32.1%)が最も高く、次いで「わからない」(22.9%)、「満足している」(20.7%)となっている。

問 33 問 32 で「やや不満である」「とても不満である」を選んだ方におたずねします。特にどのような福祉サービスに不満を感じていますか。(MA)



不満を感じている福祉サービスは、「地域の中で暮らしていくための支援サービス」(32.8%) が最も高く、次いで「外出時に必要な支援を行うサービス」(28.1%)、「生活上の悩みや福祉サービスの利用計画の相談」と「障害児者を預かることで家族を支援するサービス」がともに 23.4%となっている。

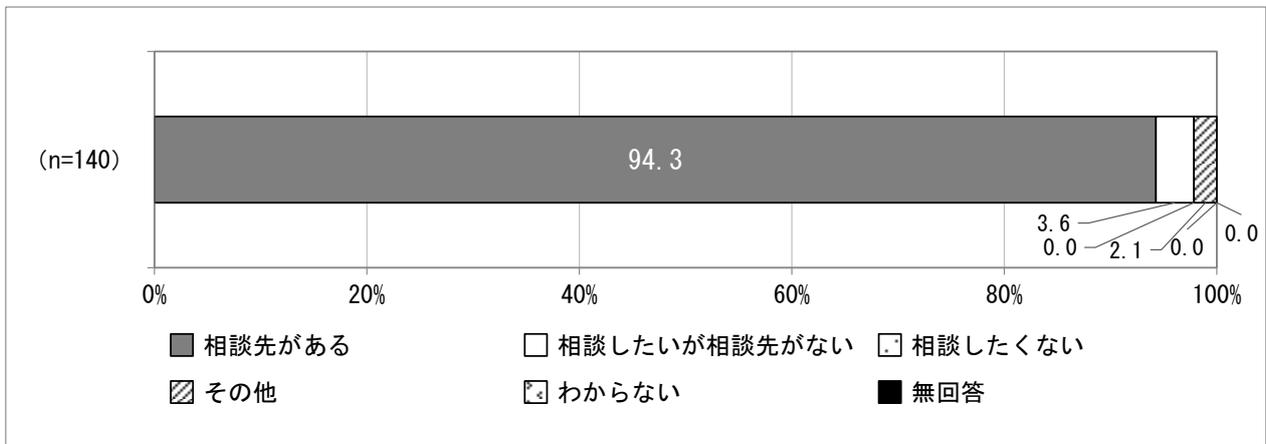
問34 あなた（このアンケートを記入している方）が今後充実してほしい施策は何ですか。  
 (MA)



今後充実してほしい施策は、「グループホームなど住まいの場の充実」(49.3%)が最も高く、次いで「年金などの所得保障の充実」(47.1%)、「障害があっても働ける場の確保」(45.0%)となっている。

## 9 相談の状況について

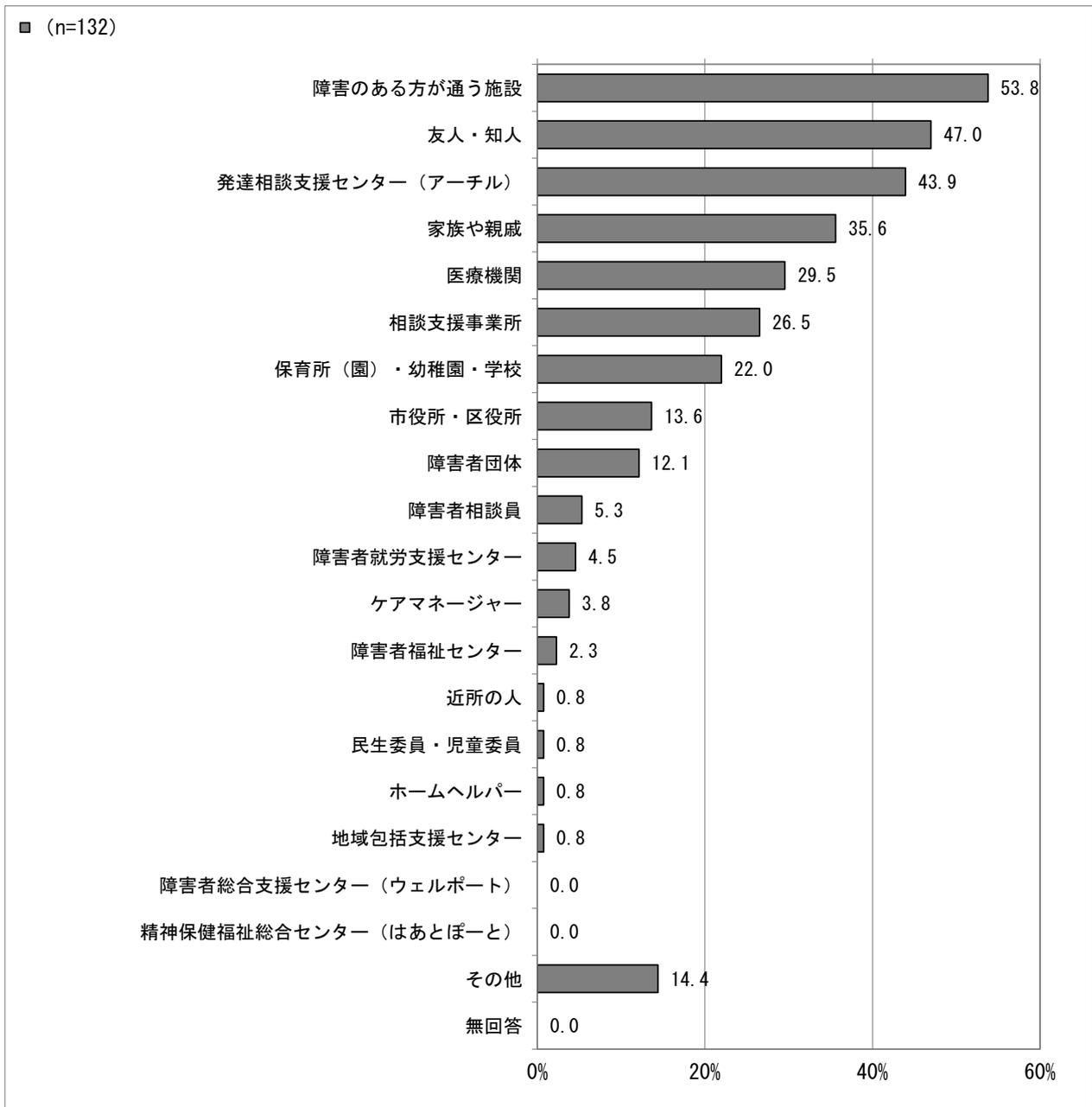
問 35 あなた（このアンケートを記入している方）が困ったときの相談について次のうちあてはまるのはどれですか。（SA）



困ったときの相談について、「相談先がある」（94.3%）が最も高く、次いで「相談したいが相談先がない」（3.6%）、「その他」（2.1%）となっている。

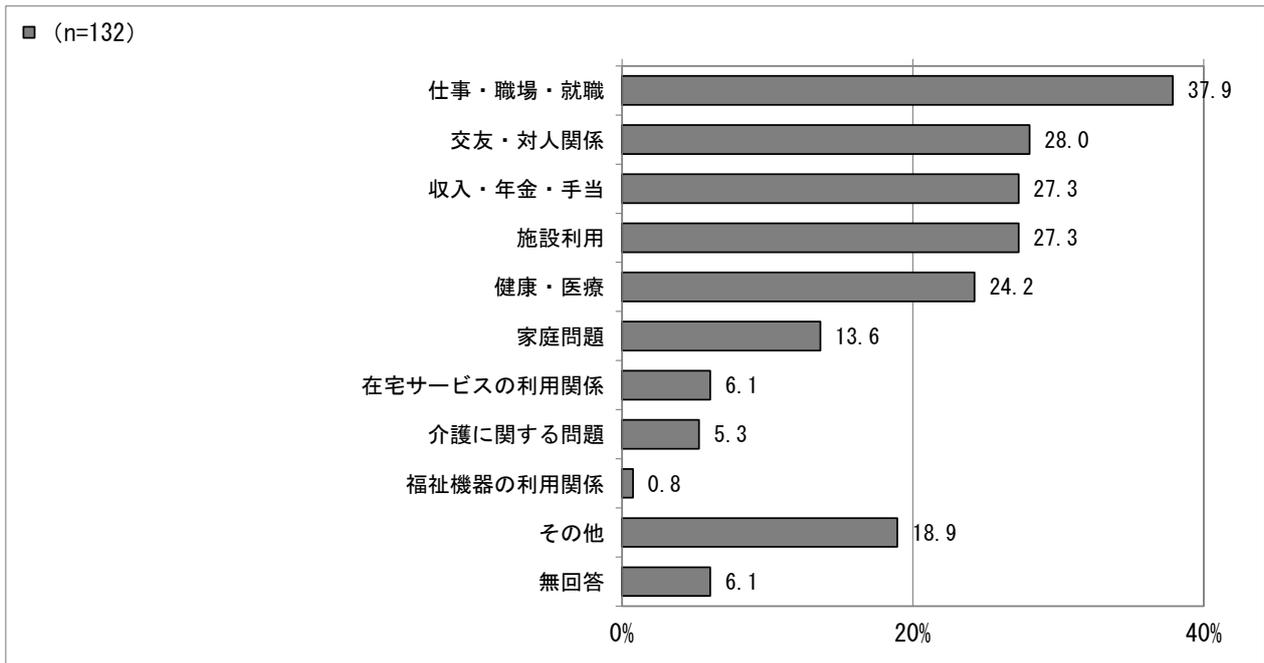
問36 問35で「相談先がある」を選んだ方におたずねします。

(1) 相談相手は誰ですか。(MA)



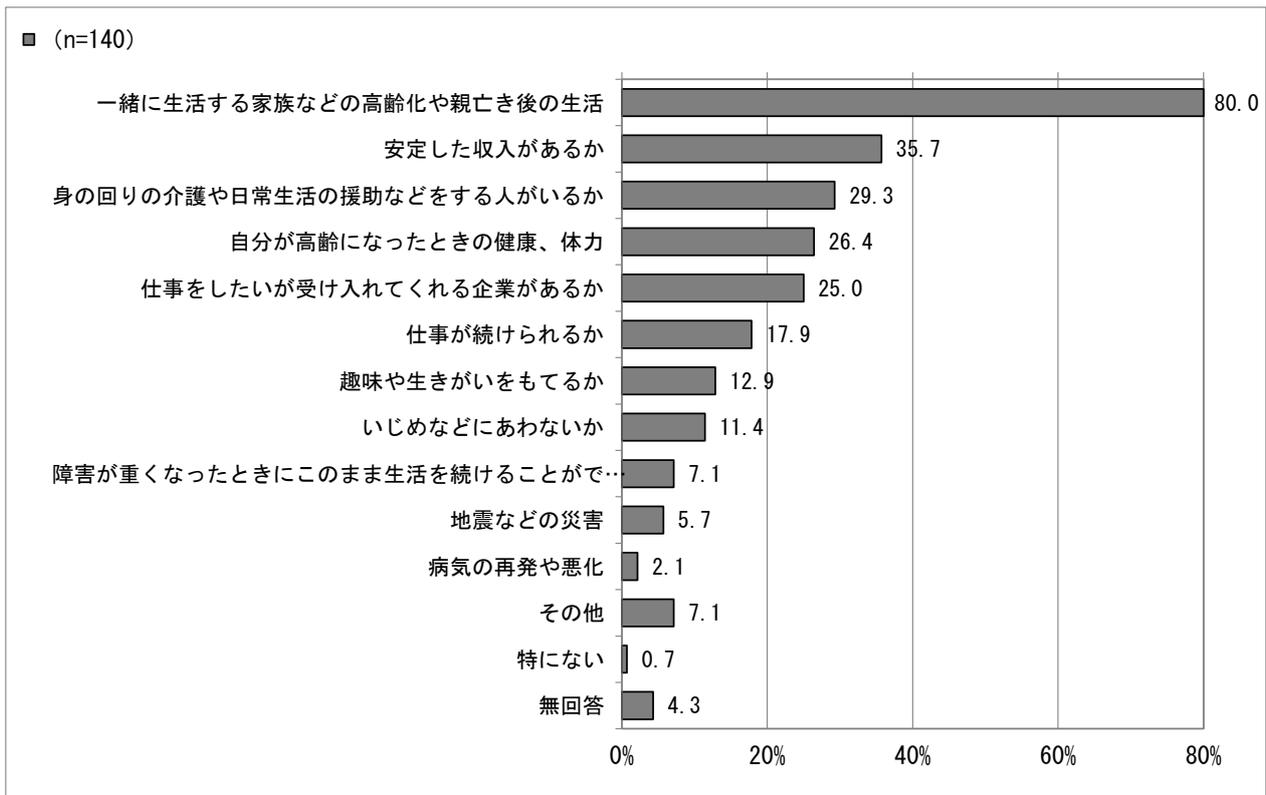
相談相手は、「障害のある方が通う施設」(53.8%)が最も高く、次いで「友人・知人」(47.0%)、「発達相談支援センター（アーチル）」(43.9%)となっている。

(2) ご本人に関することで、相談していること(したいこと)は何ですか。(MA)



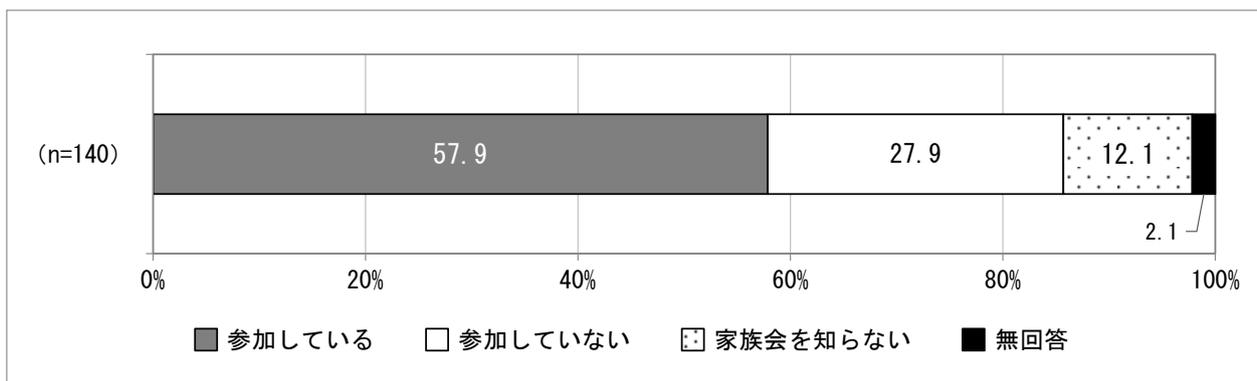
本人に関することで、相談していること(したいこと)は、「仕事・職場・就職」(37.9%)が最も高く、次いで「交友・対人関係」(28.0%)、「収入・年金・手当」と「施設利用」がともに27.3%となっている。

問 37 あなた（このアンケートを記入している方）が、ご本人の将来のことで不安に感じていることは何ですか。（MA）



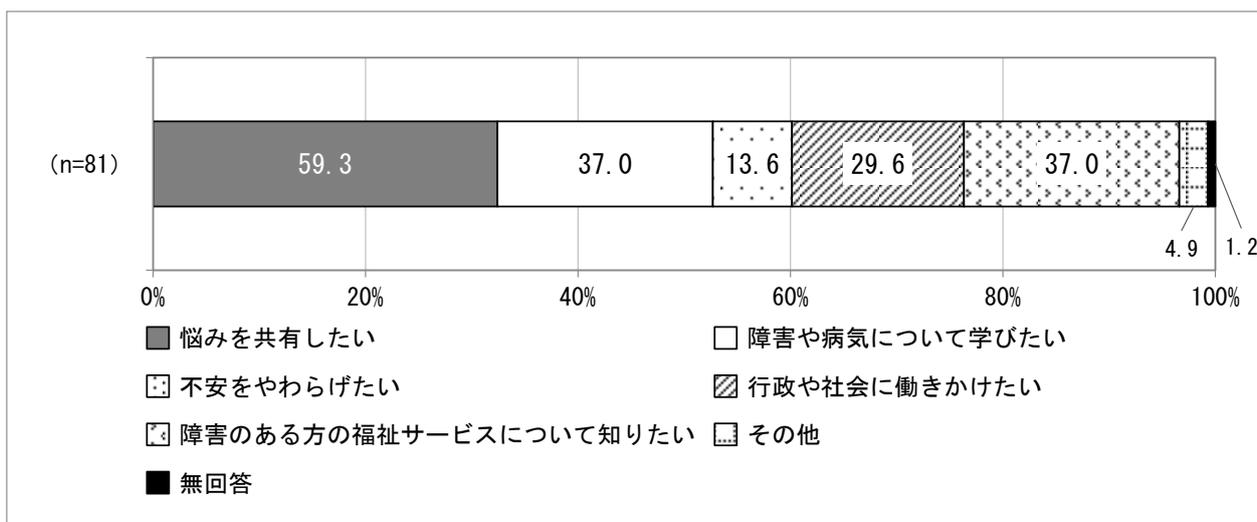
本人の将来のことで不安に感じていることは、「一緒に生活する家族などの高齢化や親亡き後の生活」(80.0%)が最も高く、次いで「安定した収入があるか」(35.7%)、「身の回りの介護や日常生活の援助などをする人がいるか」(29.3%)となっている。

問 38 あなた（このアンケートを記入している方）は、障害のある家族を持つ方の集まり（家族会）に参加していますか。（SA）



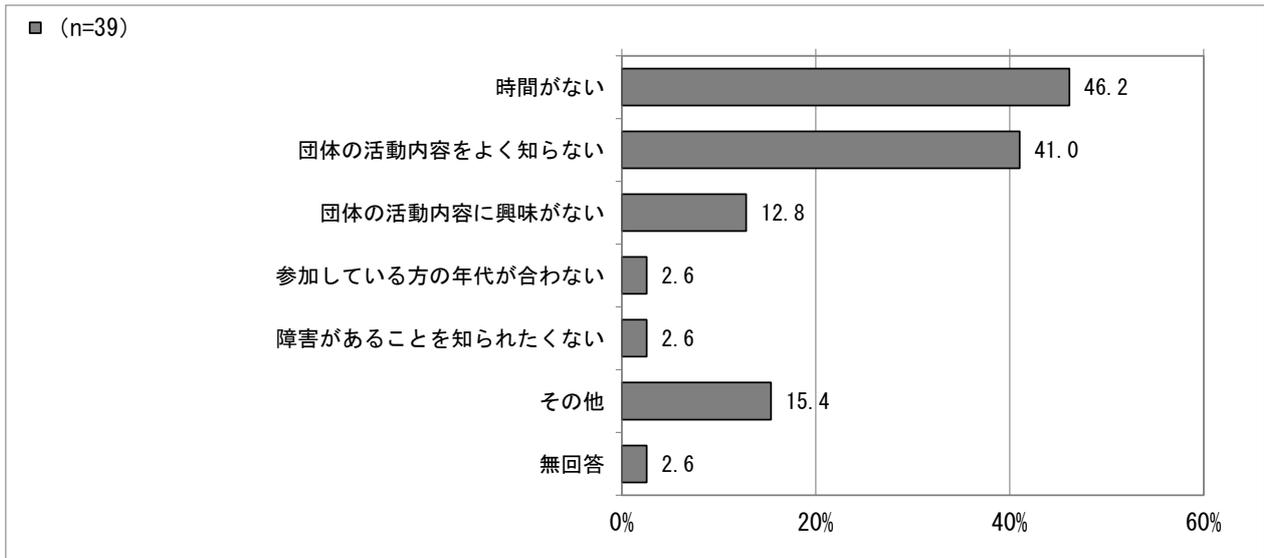
障害のある家族を持つ方の集まり（家族会）への参加は、「参加している」（57.9%）、「参加していない」（27.9%）、「家族会を知らない」（12.1%）となっている。

問 39 問 38 で「参加している」を選んだ方におたずねします。家族会に参加している理由は何ですか。（MA）



家族会に参加している理由は、「悩みを共有したい」（59.3%）が最も高く、次いで「障害や病気について学びたい」と「障害のある方の福祉サービスについて知りたい」がともに37.0%、「行政や社会に働きかけたい」（29.6%）となっている。

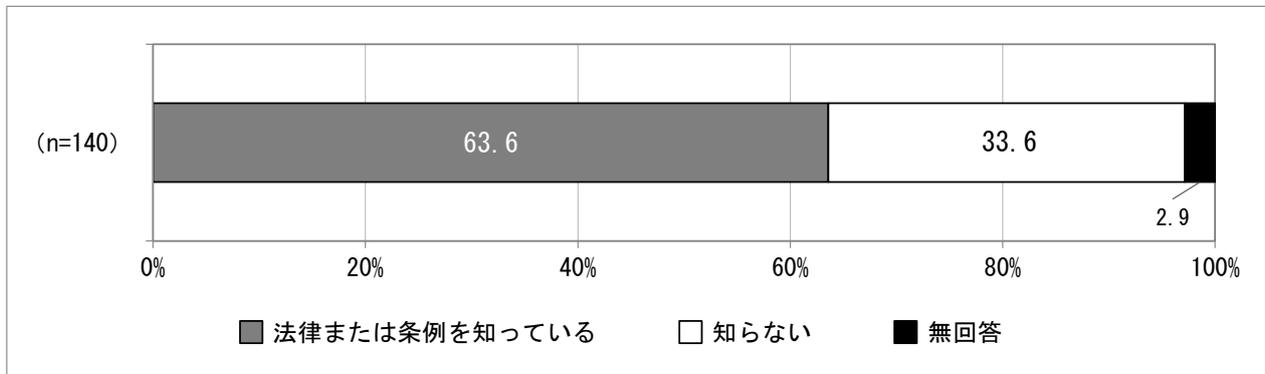
問40 問38で「参加していない」を選んだ方におたずねします。家族会に参加していない理由は何ですか。(MA)



家族会に参加していない理由は、「時間がない」(46.2%)が最も高く、次いで「団体の活動内容をよく知らない」(41.0%)、「その他」(15.4%)となっている。

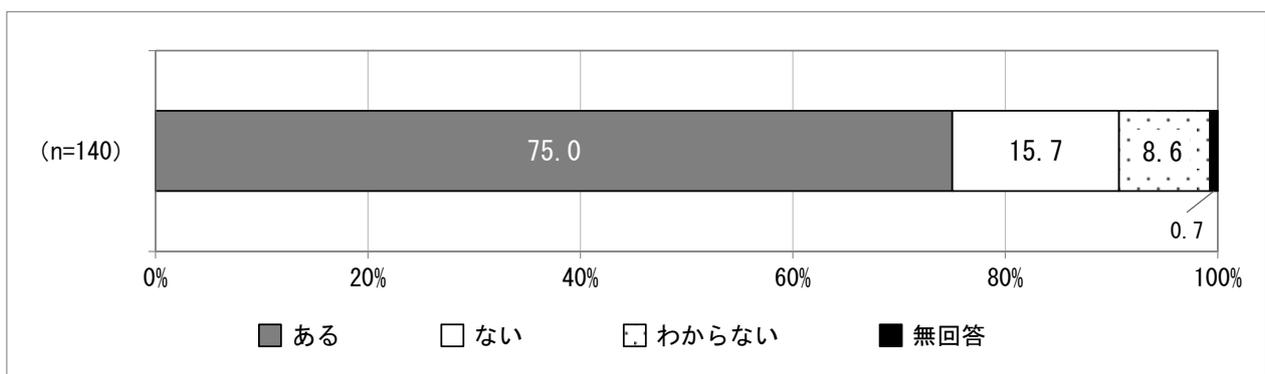
## 10 権利擁護について

問 41 あなた（このアンケートを記入している方）は、2016年4月より施行された「障害者差別解消法」を知っていますか。また、「仙台市障害を理由とする差別をなくし障害のある人もない人も共に暮らしやすいまちをつくる条例」を知っていますか。（SA）



障害者差別解消法や市の条例は、「法律または条例を知っている」（63.6%）、「知らない」（33.6%）となっている。

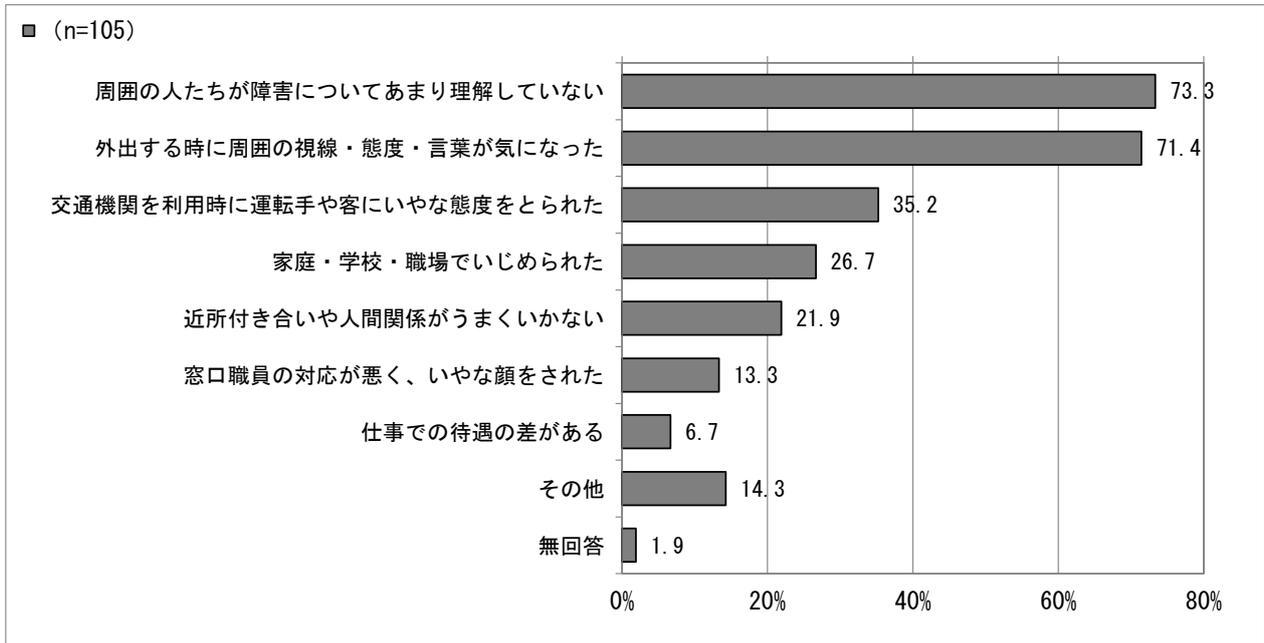
問 42 あなた（このアンケートを記入している方）は、ご本人の障害を理由に差別を受けたり、いやな思いなどをしたことがありますか。（SA）



障害を理由に差別を受けたり、いやな思いなどをしたことがあるかは、「ある」（75.0%）、「ない」（15.7%）、「わからない」（8.6%）となっている。

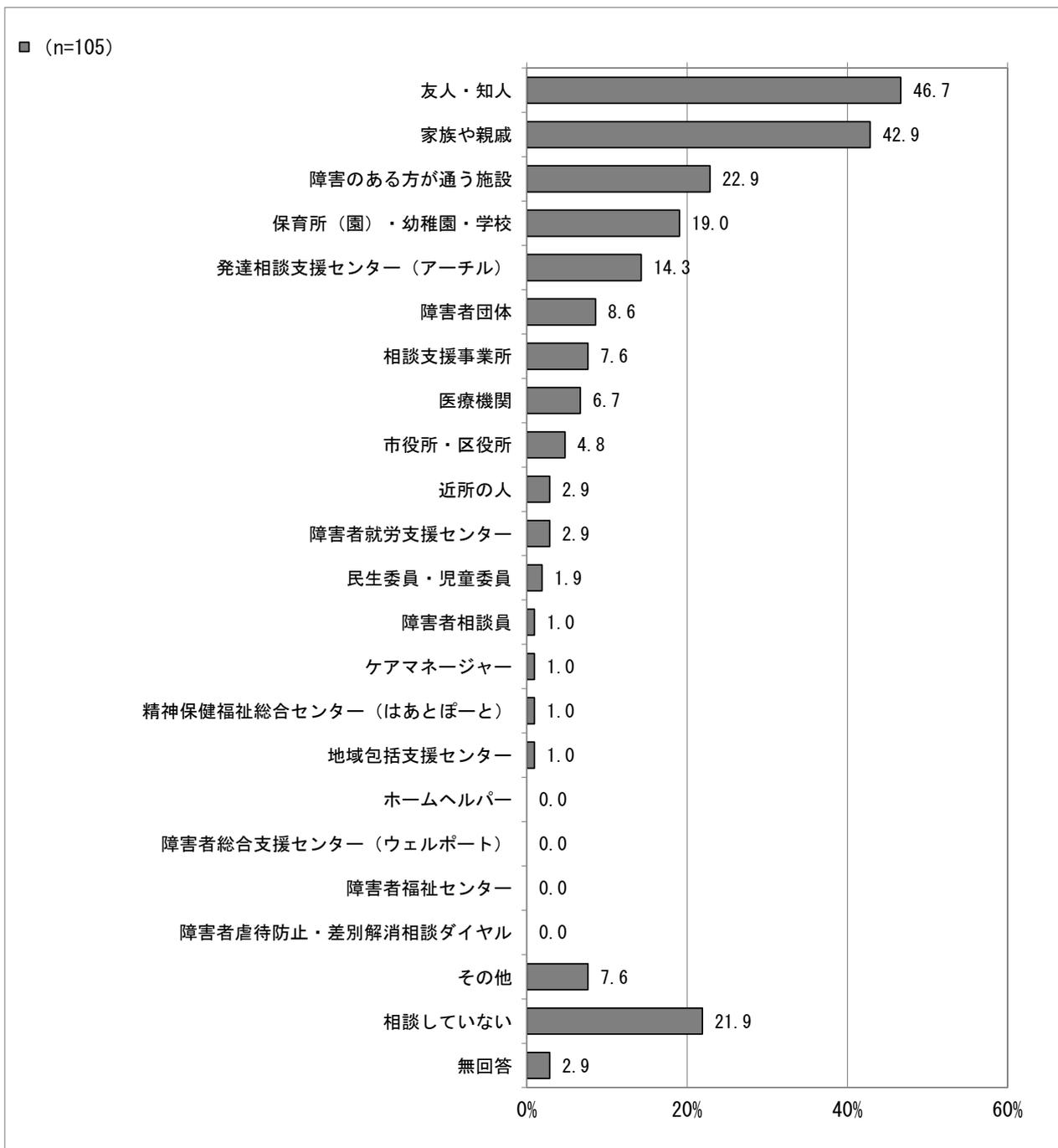
問43 問42で「ある」を選んだ方におたずねします。

(1) どのような内容の差別を受けたり、いやな思いをしましたか。(MA)



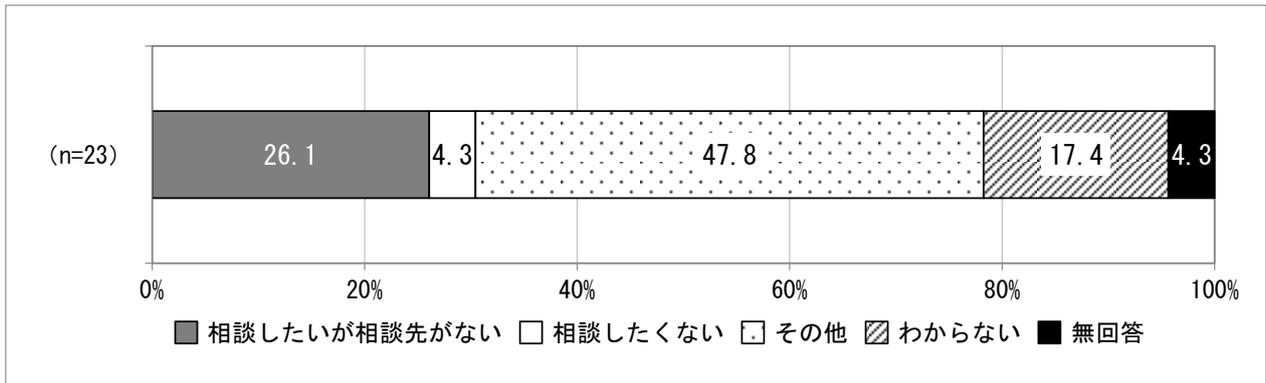
差別やいやな思いの内容は、「周囲の人たちが障害についてあまり理解していない」(73.3%)が最も高く、次いで「外出する時に周囲の視線・態度・言葉が気になった」(71.4%)、「交通機関を利用時に運転手や客にいやな態度をとられた」(35.2%)となっている。

(2) 差別をされたり、いやな思いをしたときに誰かに相談しましたか。(MA)



差別をされたり、いやな思いをしたときの相談先は、「友人・知人」(46.7%)が最も高く、次いで「家族や親戚」(42.9%)、「障害のある方が通う施設」(22.9%)となっている。

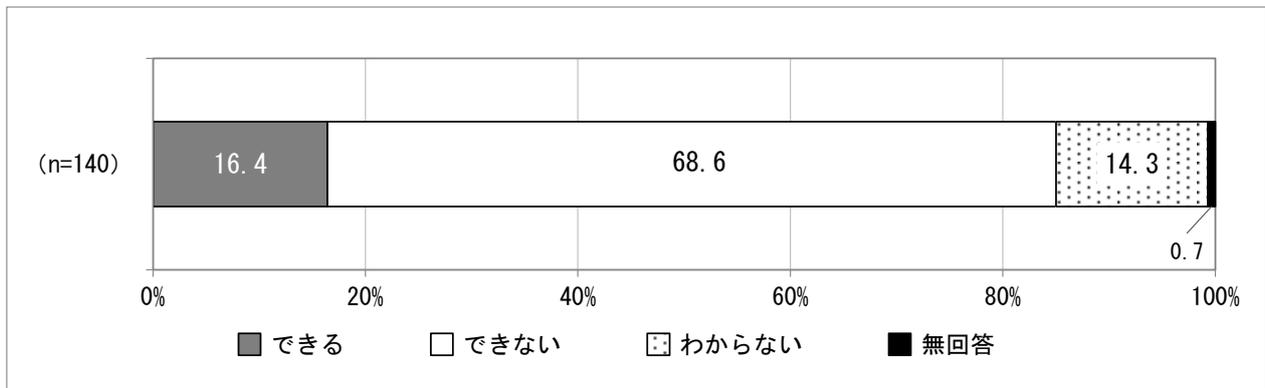
(3) (2)で「相談していない」を選んだ方におたずねします。相談しなかった理由は何ですか。(SA)



相談をしなかった理由は、「その他」(47.8%)が最も高く、次いで「相談したいが相談先がない」(26.1%)、「わからない」(17.4%)となっている。

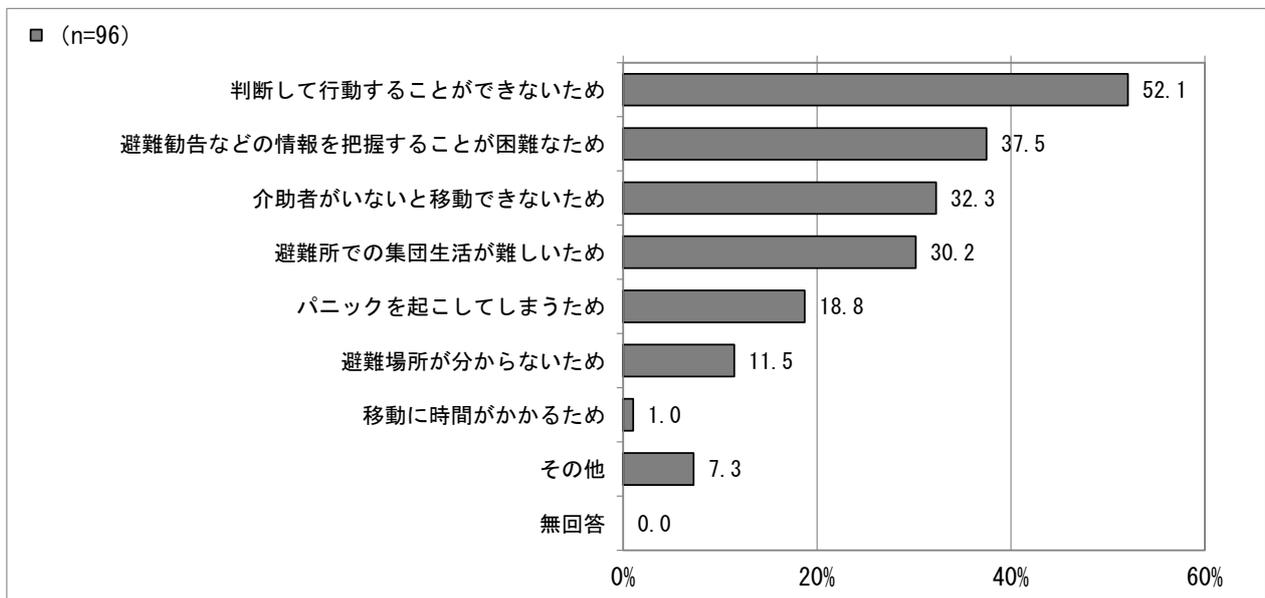
## 11 緊急時の対応について

問 44 ご本人は地震などの災害発生時、ひとりで避難することができますか。2011年3月11日の東日本大震災を経験された方は、ご経験を踏まえてご回答ください。(SA)



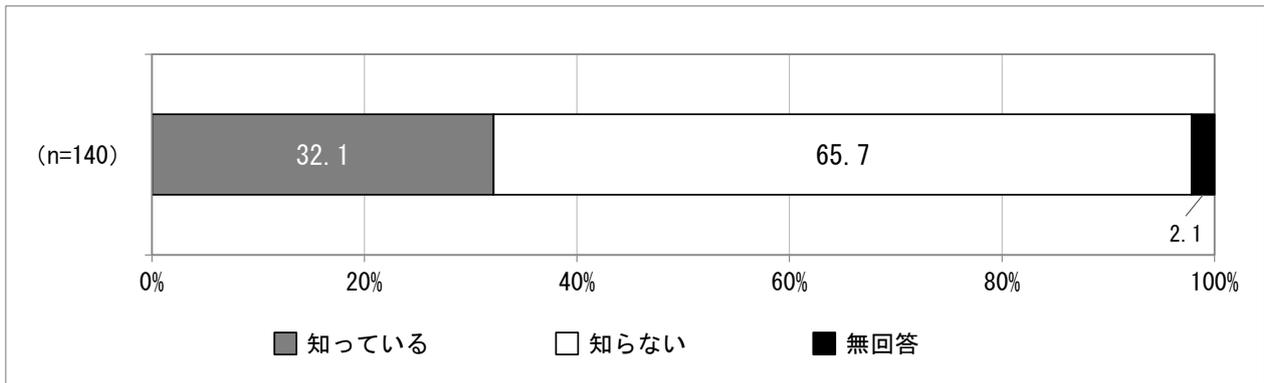
ひとりで避難は、「できる」(16.4%)、「できない」(68.6%)、「わからない」(14.3%)となっている。

問 45 問 44 で「できない」を選んだ方におたずねします。災害のとき一人で避難することができない理由は何ですか。(MA)



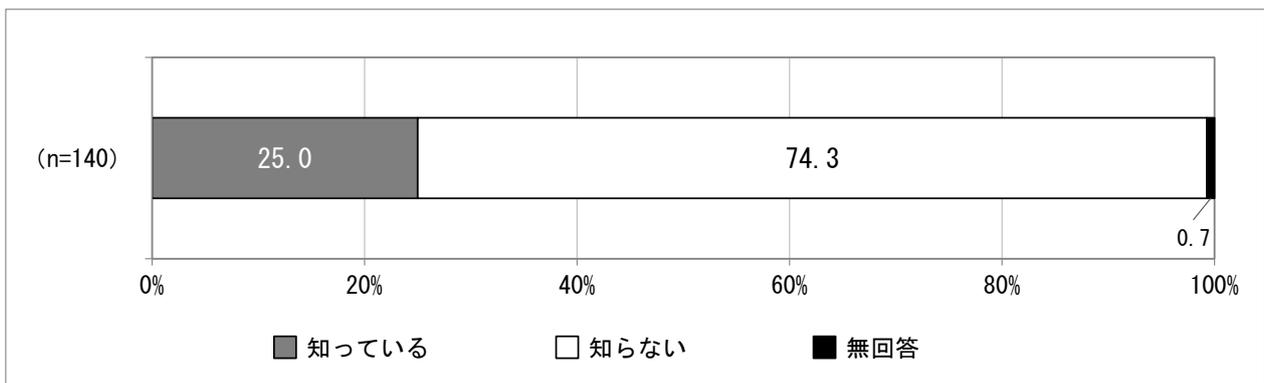
一人で避難できない理由は、「判断して行動することができないため」(52.1%)が最も高く、次いで「避難勧告などの情報を把握することが困難なため」(37.5%)、「介助者がいないと移動できないため」(32.3%)となっている。

問 46 ご本人は、お住まいの地区の避難所の場所を知っていますか。(SA)



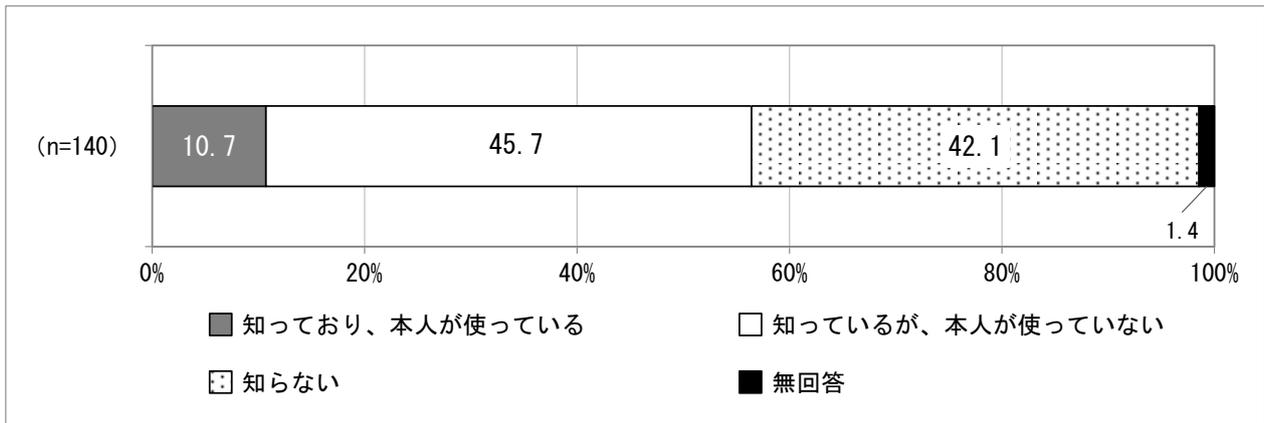
本人が住まいの地区の避難所を知っているかは、「知っている」(32.1%)、「知らない」(65.7%)となっている。

問 47 あなた(このアンケートを記入している方)は、福祉避難所を知っていますか。(SA)



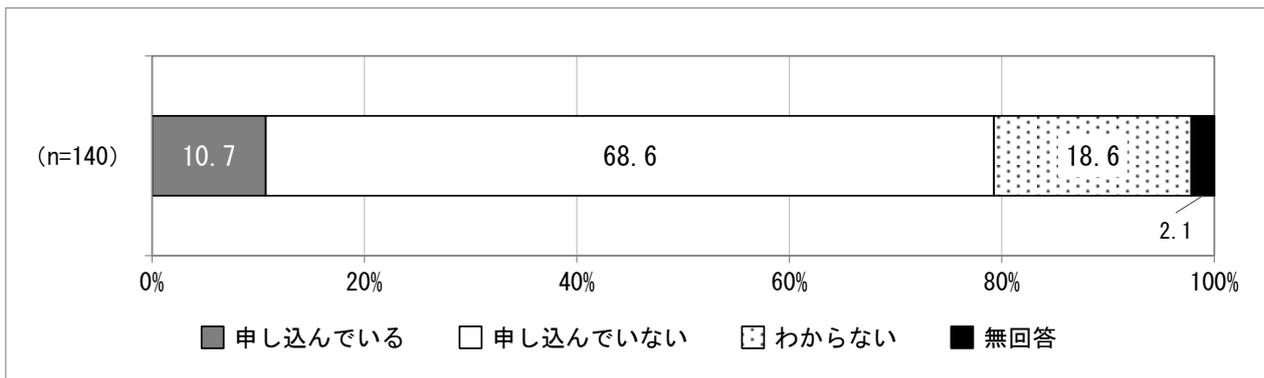
記入者が福祉避難所を知っているかは、「知っている」(25.0%)、「知らない」(74.3%)となっている。

問 48 あなた(このアンケートを記入している方)は、ヘルプカードを知っていますか。(SA)



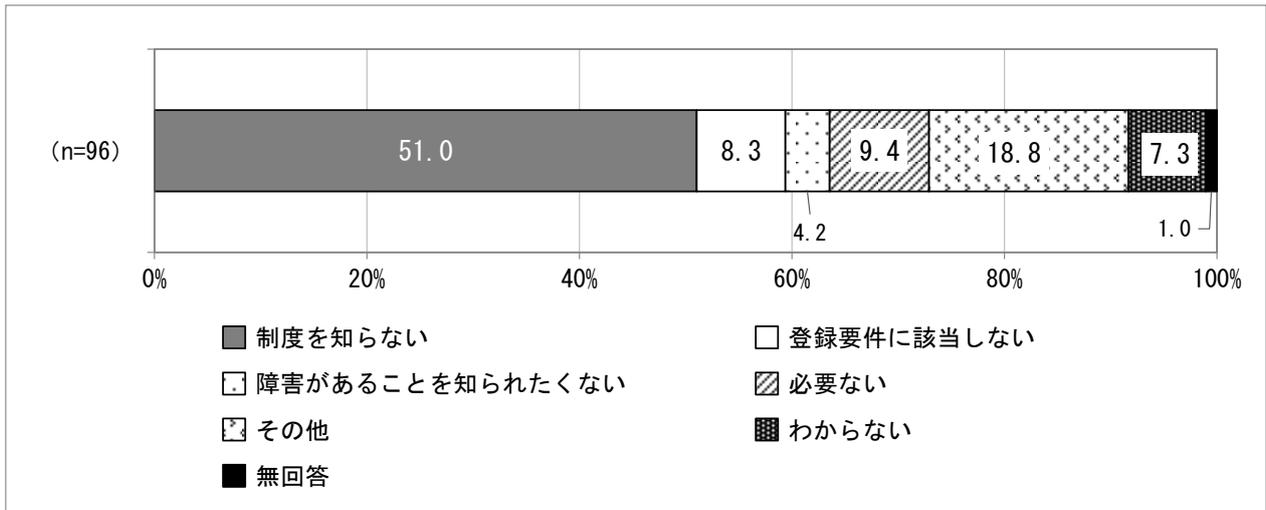
記入者がヘルプカードを知っているかは、「知っている、本人が使っている」(10.7%)、「知っているが、本人が使っていない」(45.7%)、「知らない」(42.1%)となっている。

問 49 ご本人は、仙台市が実施している災害時における要援護者情報登録制度を申し込んでいますか。(SA)



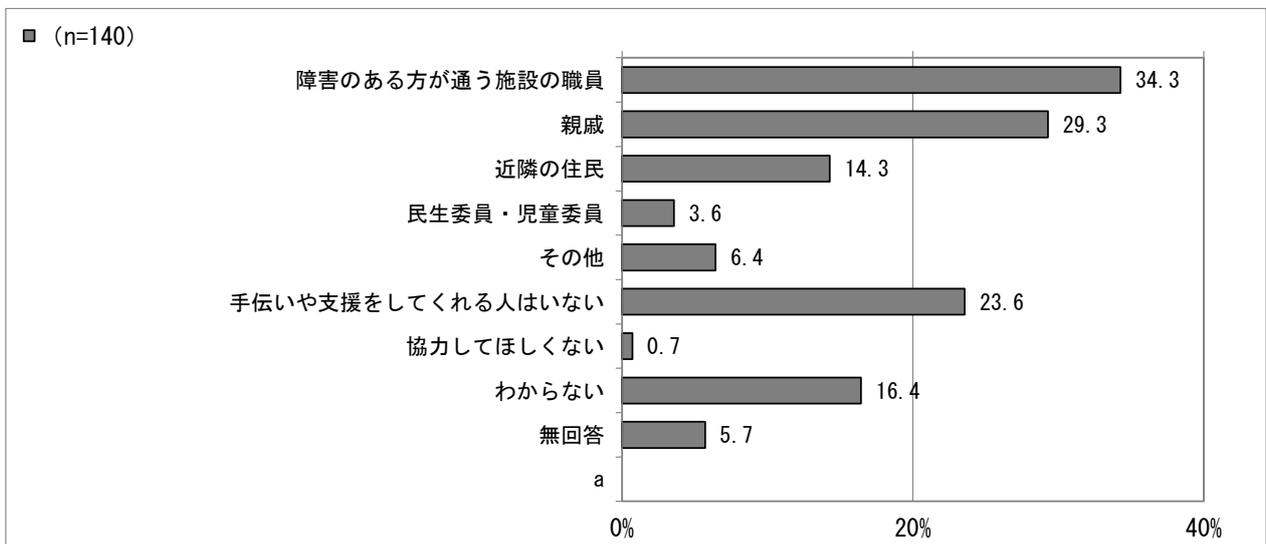
市が実施している要援護者情報登録制度を申し込んでいるかは、「申し込んでいる」(10.7%)、「申し込んでいない」(68.6%)、「わからない」(18.6%)となっている。

問 50 問 49 で「申し込んでいない」を選んだ方におたずねします。ご本人が申し込んでいない理由は何ですか。(SA)



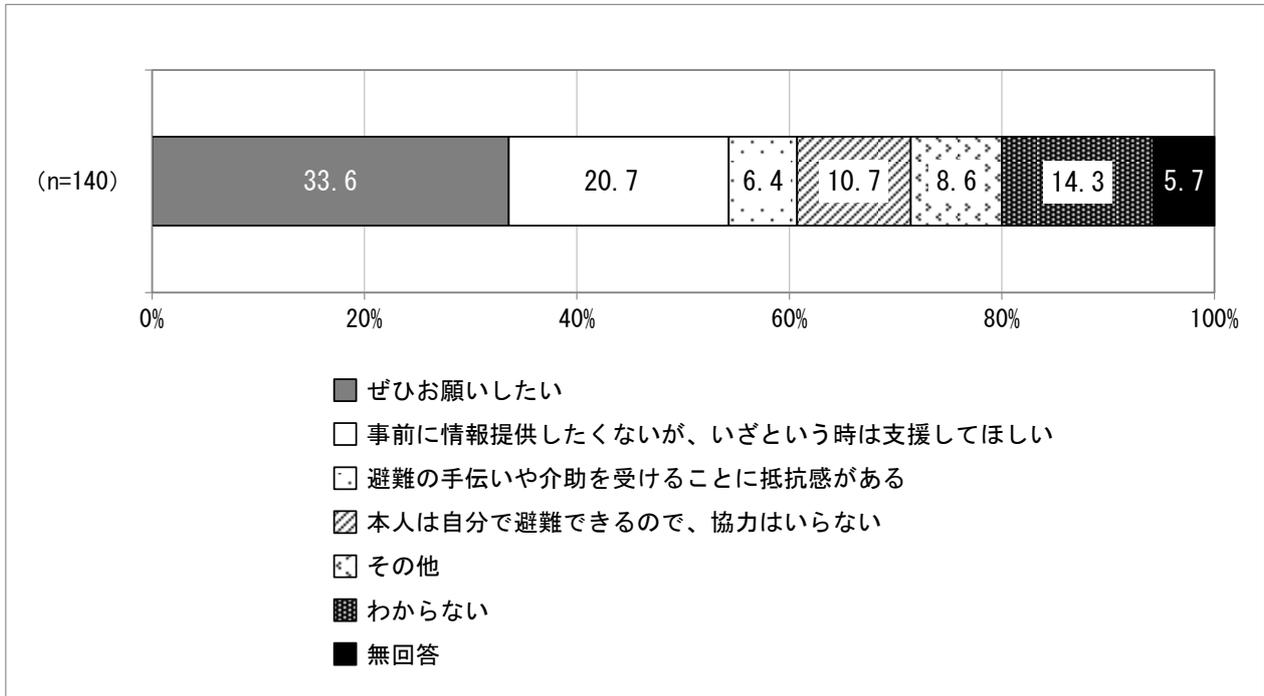
市が実施している要援護者情報登録制度に申し込んでいない理由は、「制度を知らない」(51.0%) が最も高く、次いで「その他」(18.8%)、「必要ない」(9.4%) となっている。

問 51 地震などの災害時に、家族以外の方で手伝いや支援をしてくれる人について、次のうちあてはまるのはどれですか。(SA)



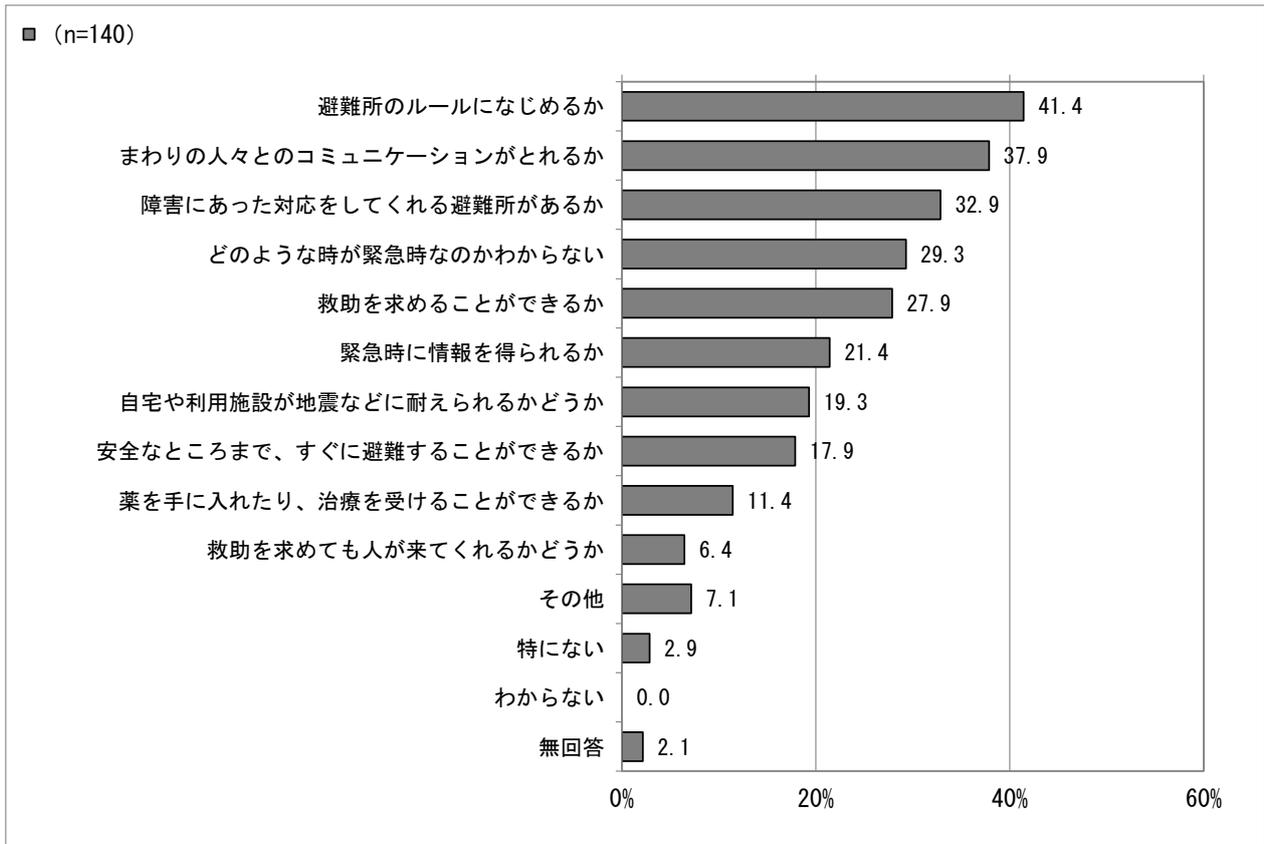
災害時に家族以外の方で手伝いや支援をしてくれる人は、「障害のある方が通う施設の職員」(34.3%) が最も高く、次いで「親戚」(29.3%)、「手伝いや支援をしてくれる人はいない」(23.6%) となっている。

問 52 地震などの災害が発生したときのために、あらかじめ近所の人やボランティアなどにご本人の避難の手伝いや介助をお願いしておくことについて、あなた（このアンケートを記入している方）はどのように思いますか。（SA）



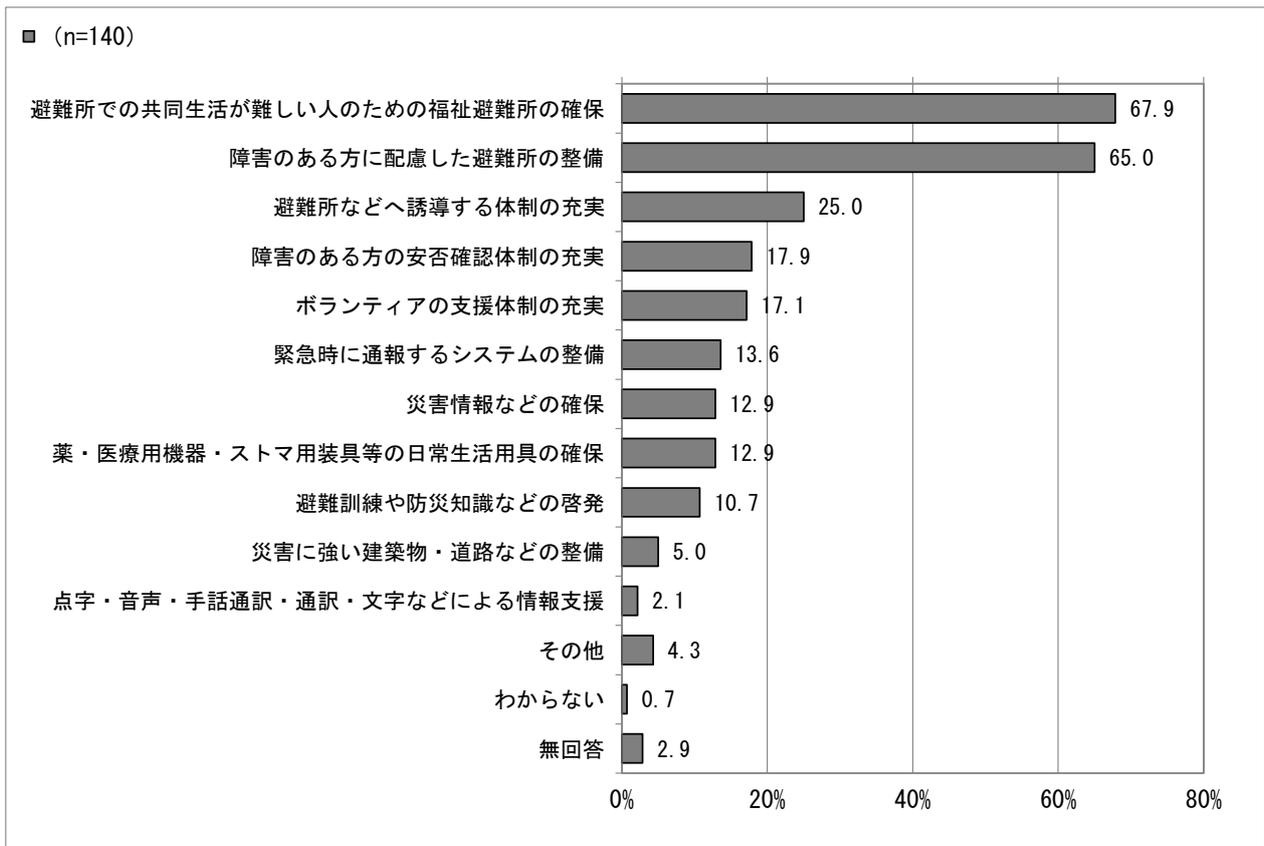
災害が発生したときのために、あらかじめ近所の人やボランティアなどに本人の避難の手伝いや介助をお願いしておくことは、「ぜひお願いしたい」（33.6%）が最も高く、次いで「事前に情報提供したくないが、いざという時は支援してほしい」（20.7%）、「わからない」（14.3%）となっている。

問 53 地震などのいざという時のことで、あなた（このアンケートを記入している方）が普段不安に感じていることは何ですか。（MA）



いざという時のことで、記入者が普段不安に感じていることは、「避難所のルールになじめるか」(41.4%) が最も高く、次いで「まわりの人々とのコミュニケーションがとれるか」(37.9%)、「障害にあった対応をしてくれる避難所があるか」(32.9%) となっている。

問 54 地震、台風などの災害に対して、あなた（このアンケートを記入している方）が大切だと思う対策はどのようなことだと思いますか。（MA）



災害に対して、記入者が大切だと思う対策は、「避難所での共同生活が難しい人のための福祉避難所の確保」(67.9%)が最も高く、次いで「障害のある方に配慮した避難所の整備」(65.0%)、「避難所などへ誘導する体制の充実」(25.0%)となっている。

## 第13章

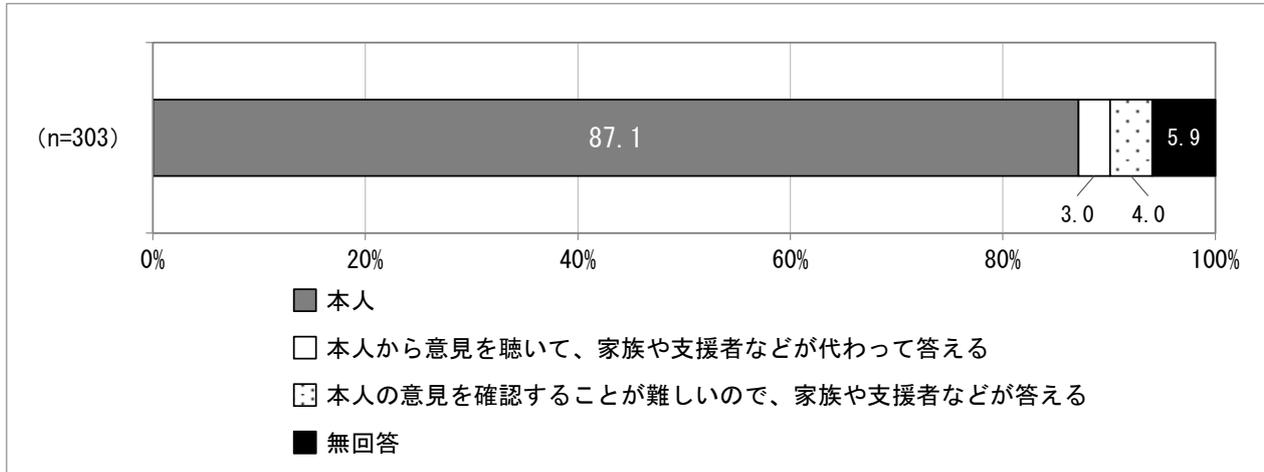
### 一般市民



## 第13章 一般市民

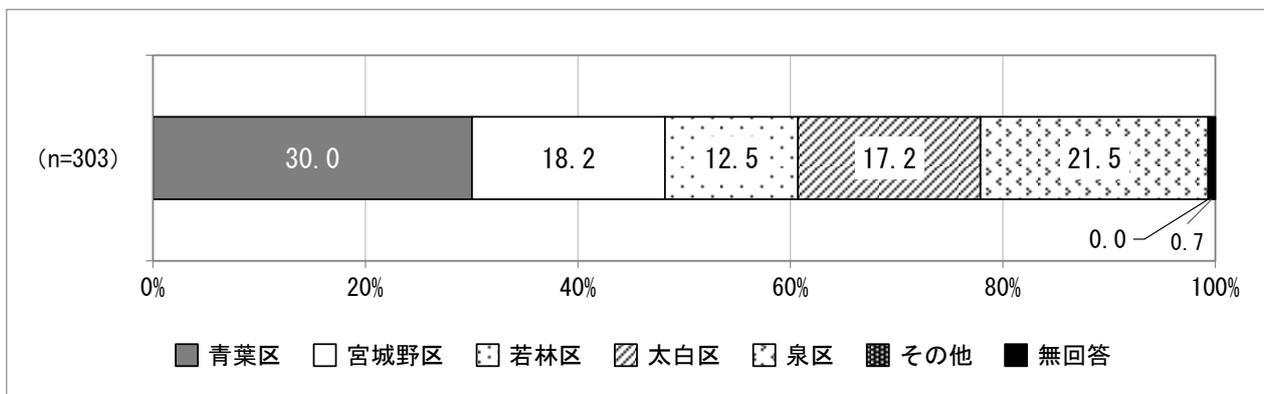
### 1 属性について

問1 このアンケートの記入者はどなたですか。(SA)



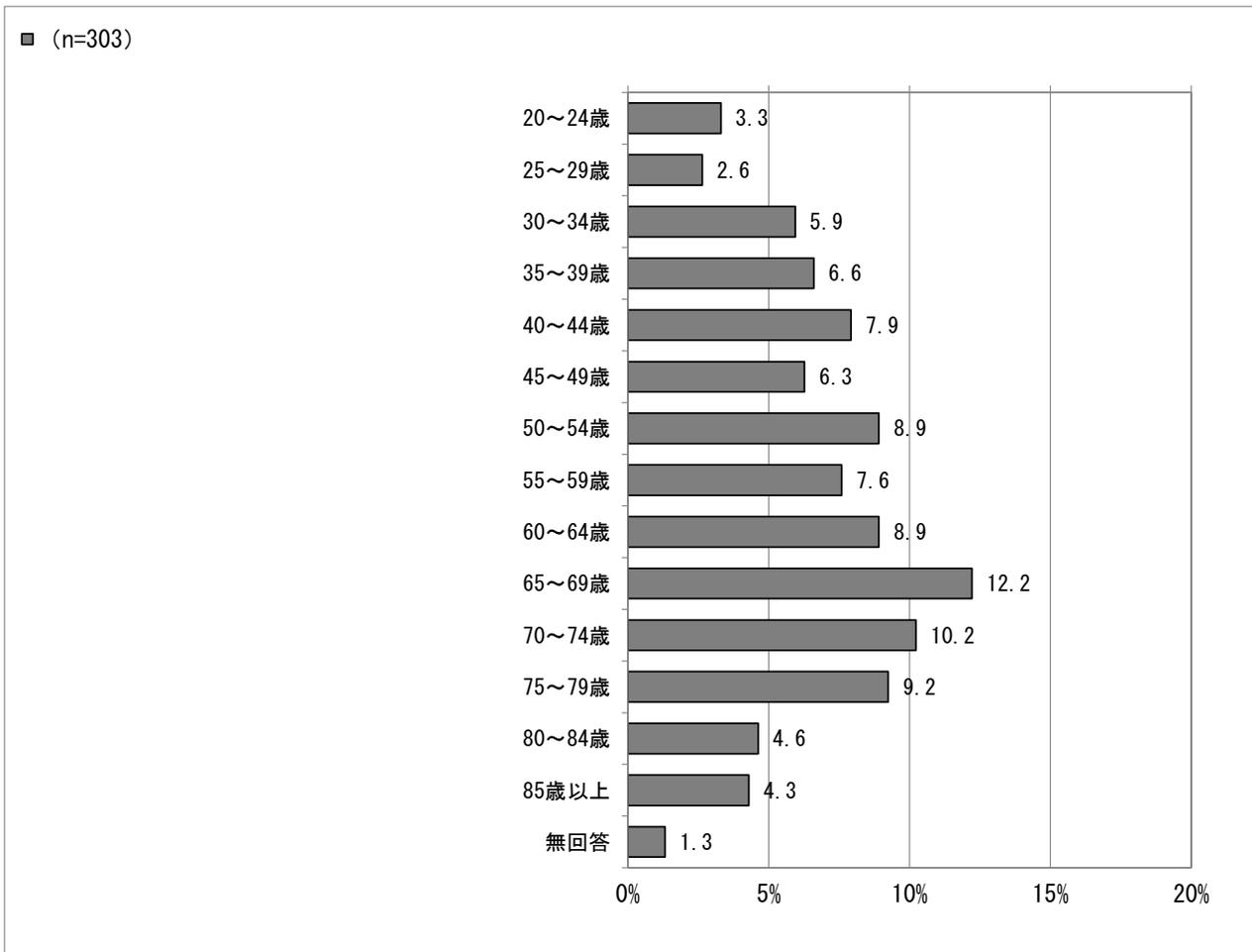
アンケートの記入者は、「本人」(87.1%)、「本人から意見を聴いて、家族や支援者などが代わって答える」(3.0%)、「本人の意見を確認することが難しいので、家族や支援者などが答える」(4.0%)となっている。

問2 あなたのお住まいの区はどこですか。(SA)



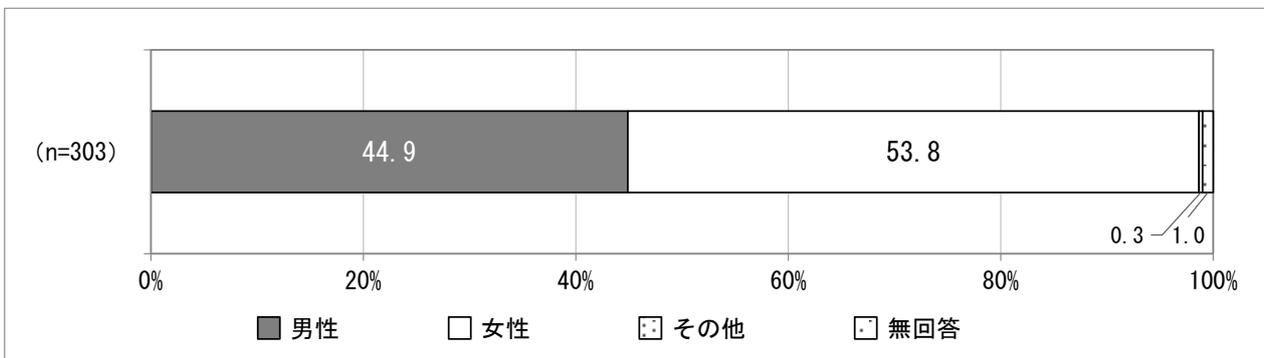
居住区は、「青葉区」(30.0%)が最も高く、次いで「泉区」(21.5%)、「宮城野区」(18.2%)となっている。

問3 あなたの年齢（2016年11月1日時点）は何歳ですか。（数値）



年齢は、「65～69歳」（12.2%）が最も高く、次いで「70～74歳」（10.2%）、「75～79歳」（9.2%）となっている。

問4 あなたの性別を教えてください。（SA）

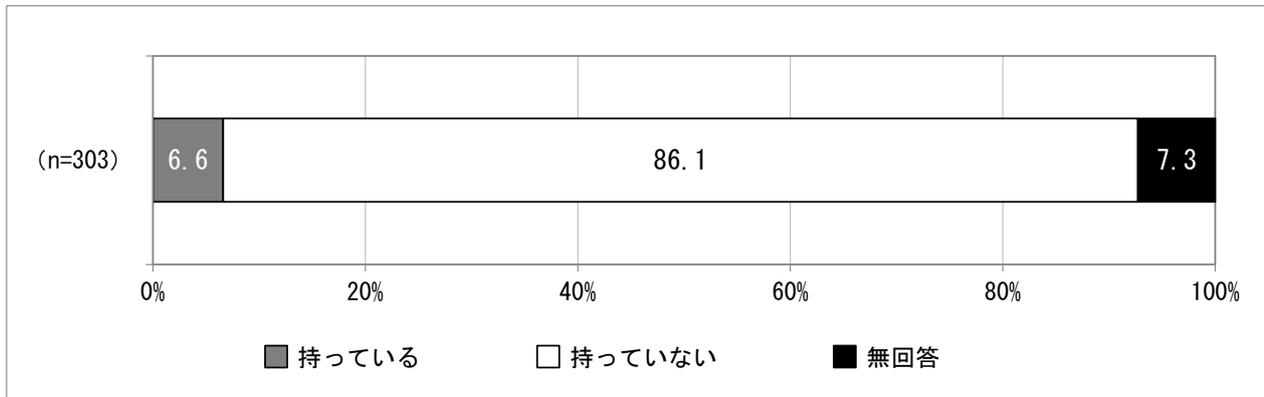


性別は、「男性」（44.9%）、「女性」（53.8%）となっている。

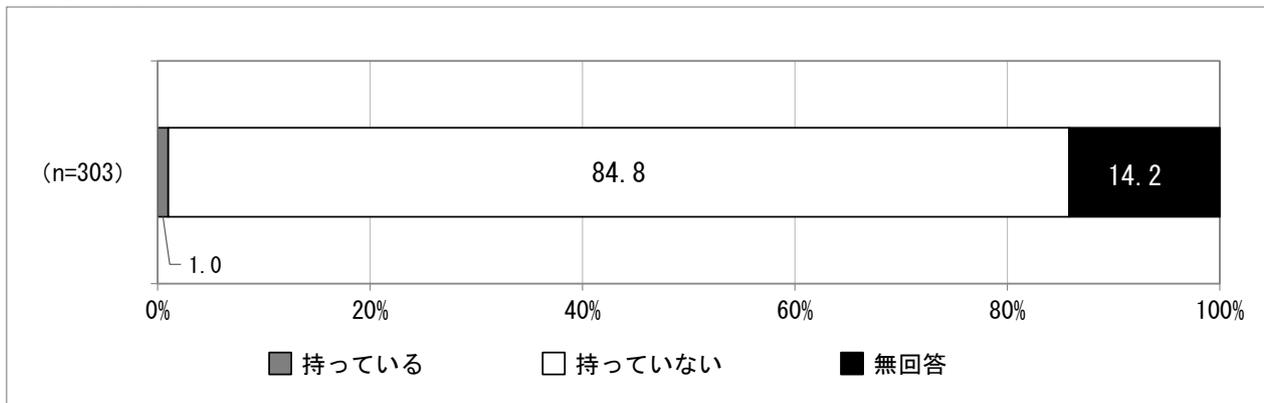
問5 障害者手帳についておたずねします。

(ア) 障害者手帳をお持ちかどうか教えてください。(SA)

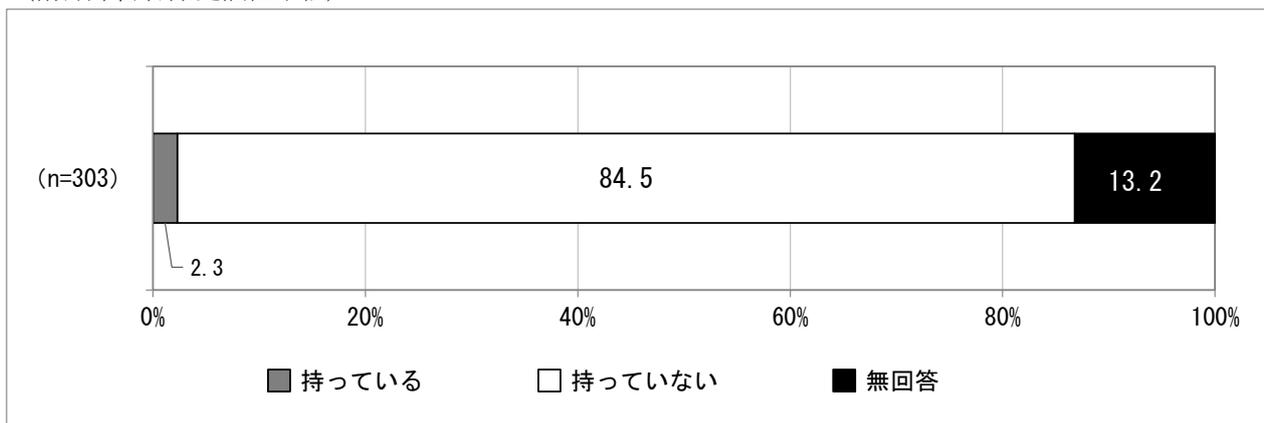
(身体障害者手帳)



(療育手帳)



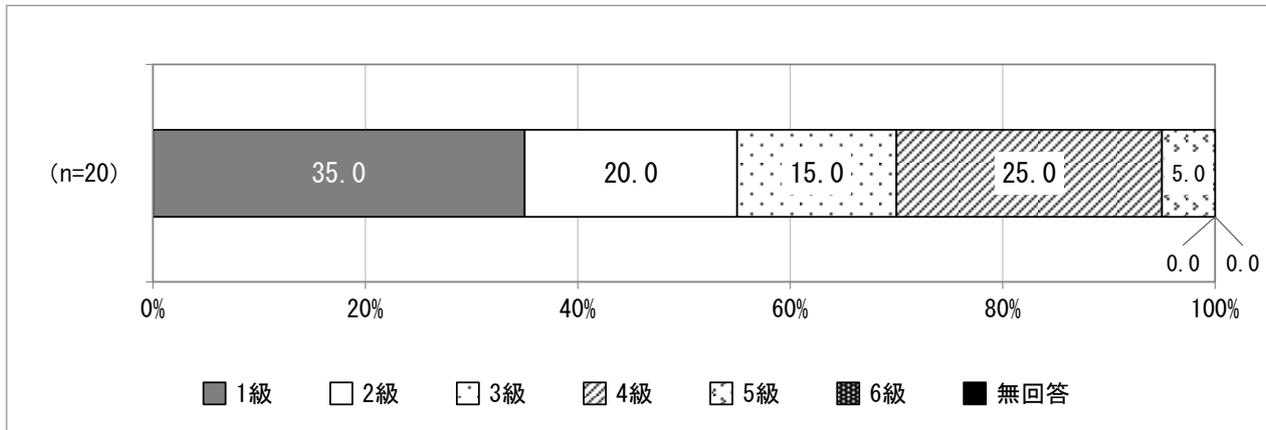
(精神障害者保健福祉手帳)



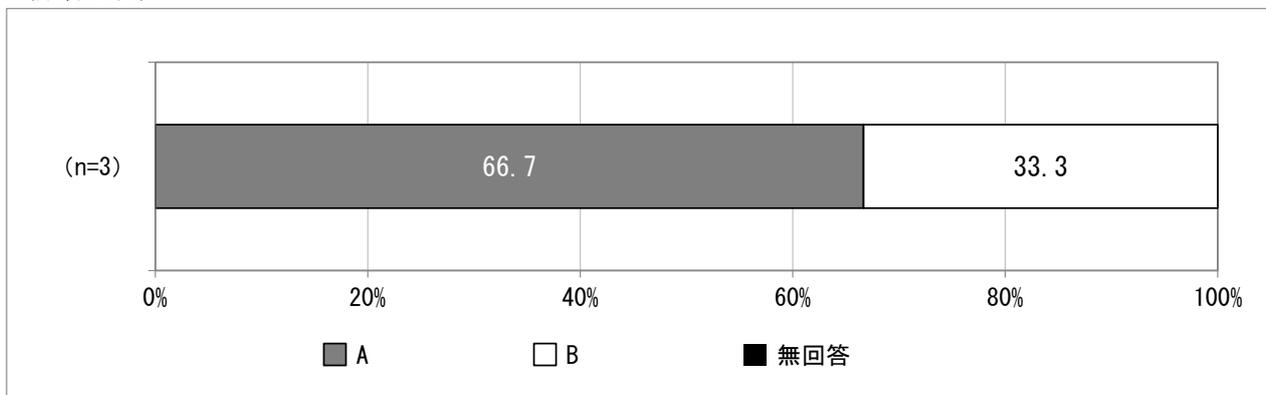
「持っている」割合は、身体障害者手帳が6.6%、療育手帳が1.0%、精神障害者保健福祉手帳が2.3%となっている。

(イ) お持ちの障害者手帳の等級を教えてください。(SA)

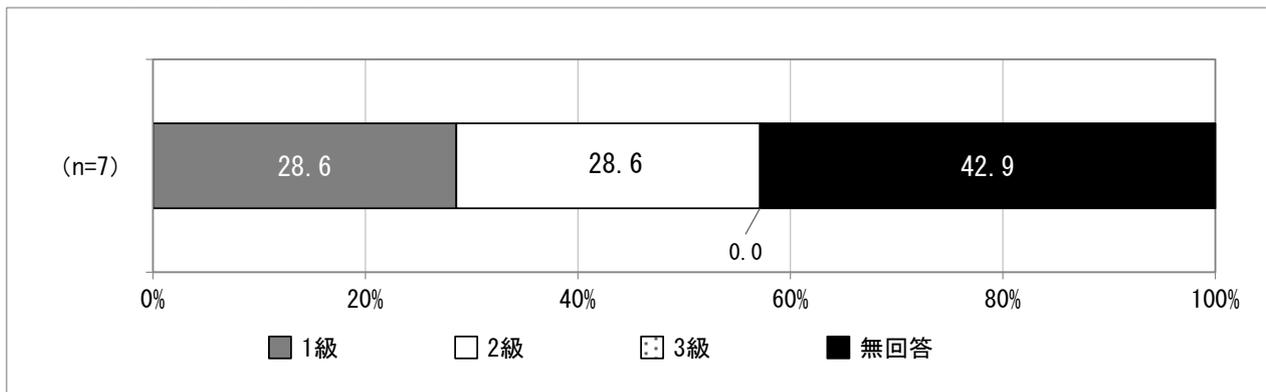
(身体障害者手帳)



(療育手帳)



(精神障害者保健福祉手帳)



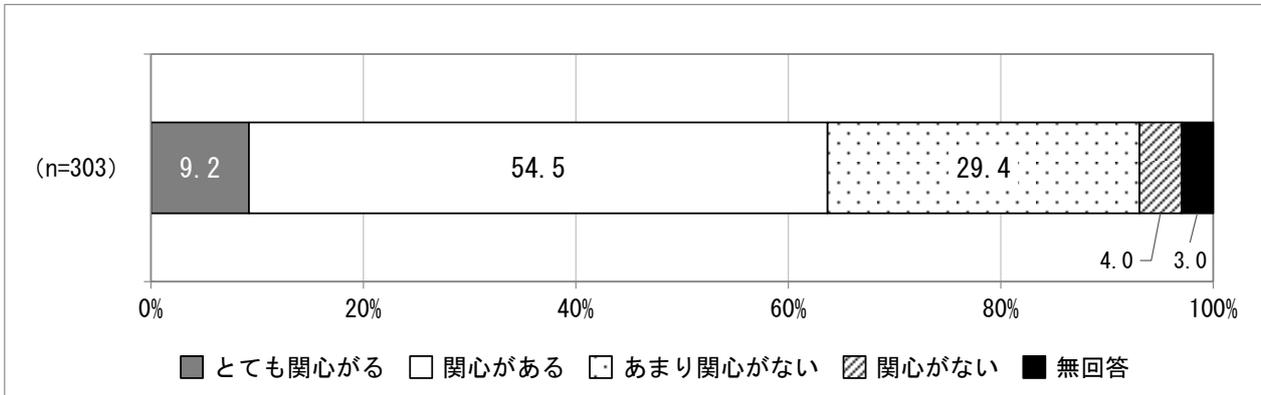
身体障害者手帳の等級は、「1級」(35.0%)が最も高く、次いで「4級」(25.0%)、「2級」(20.0%)となっている。

療育手帳の等級は、「A」(66.7%)、「B」(33.3%)となっている。

精神障害者保健福祉手帳の等級は、「1級」と「2級」がともに28.6%となっている。

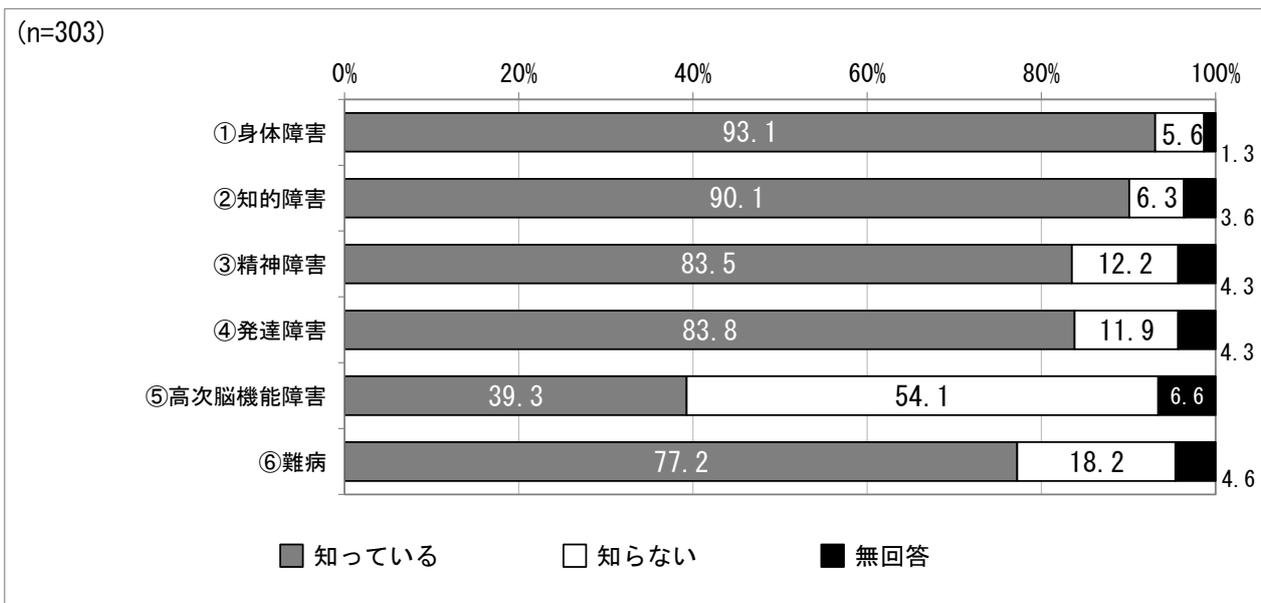
## 2 障害のある方に関することへの理解について

問6 あなたは「障害者福祉」に関心がありますか。(SA)



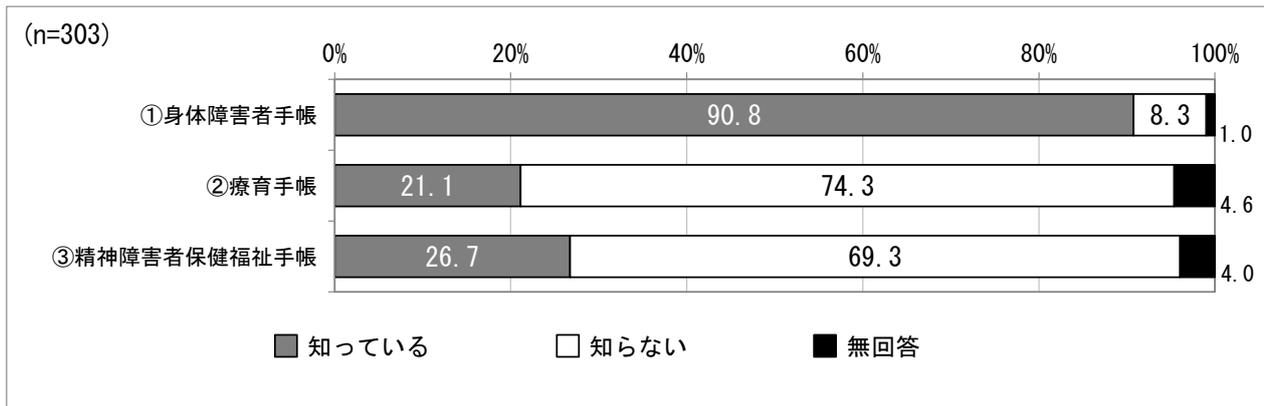
障害者福祉への関心は、「関心がある」(54.5%)が最も高く、次いで「あまり関心がない」(29.4%)、「とても関心がある」(9.2%)となっている。

問7 障害には、以下のような区別があることを知っていますか。(SA)



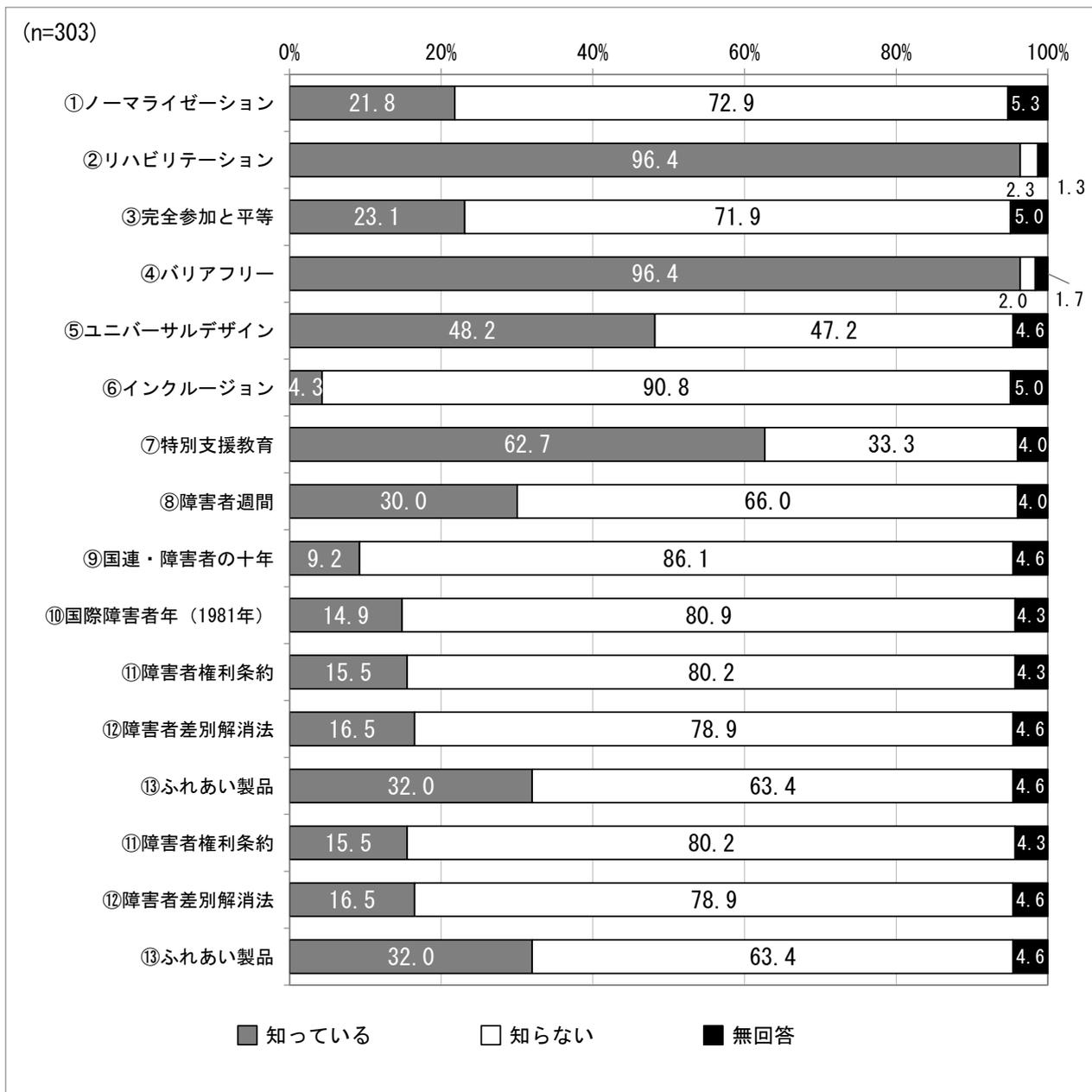
障害の区別を知っているかについて、「知っている」割合は「①身体障害」(93.1%)と「②知的障害」(90.1%)で90%を超え、「④発達障害」(83.8%)と「③精神障害」(83.5%)で80%を超えている。「⑤高次脳機能障害」は39.3%と最も低くなっている。

問8 障害者手帳には、以下の3種類があることを知っていますか。(SA)



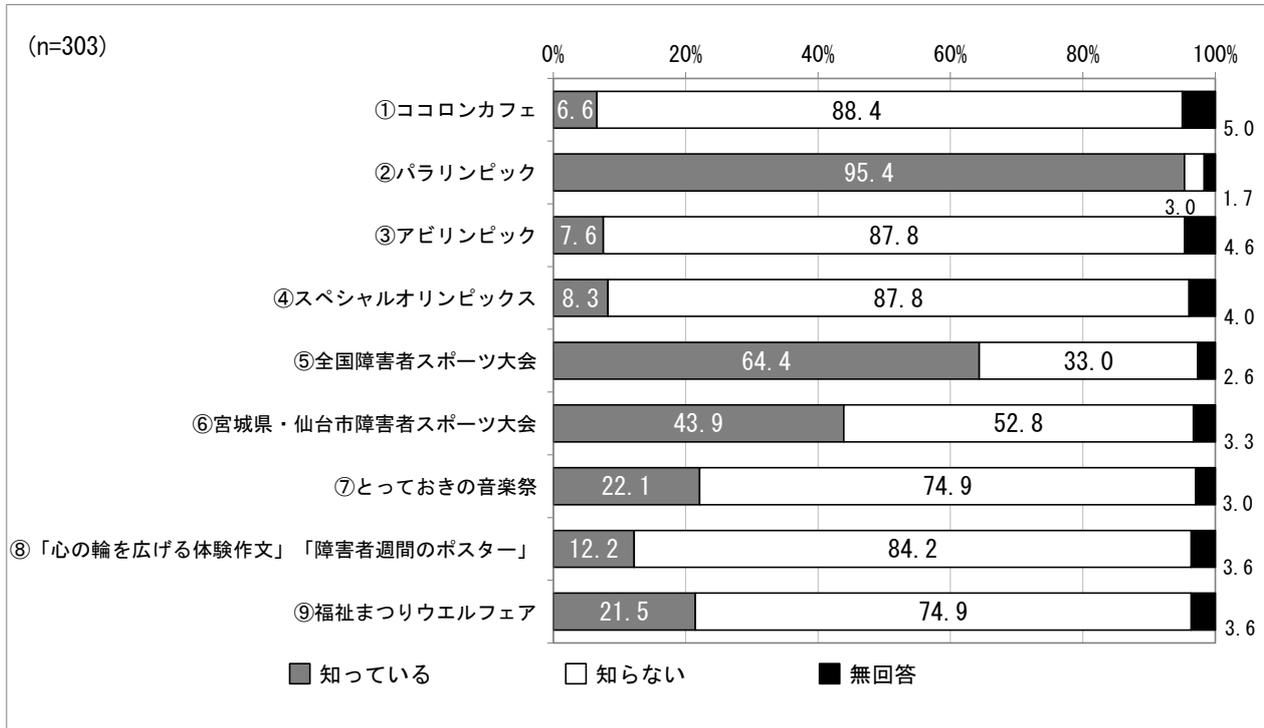
障害者手帳の種類を知っているかについて、「知っている」割合は「①身体障害者手帳」(90.8%)が最も高く、次いで「③精神障害者保健福祉手帳」(26.7%)、「②療育手帳」(21.1%)となっている。

問9 以下にあげる言葉について知っていますか。(SA)



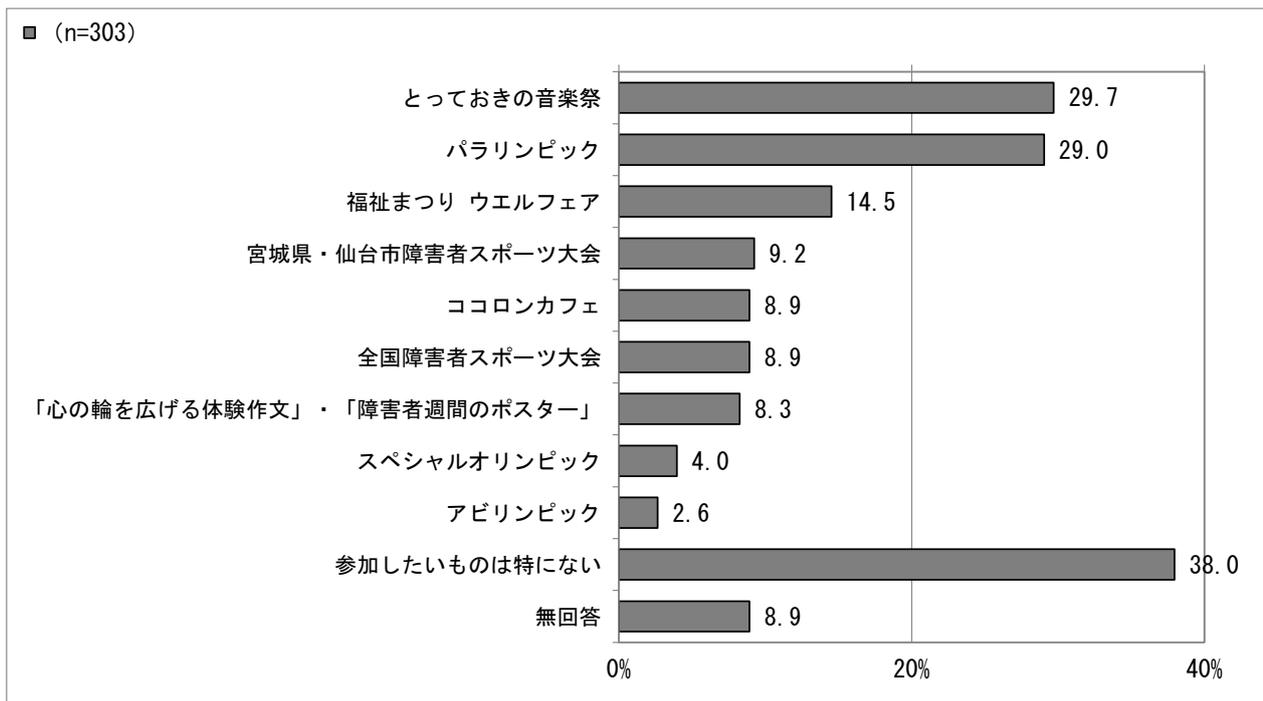
言葉を知っているかについて、「知っている」割合は「②リハビリテーション」と「④バリアフリー」がともに96.4%と最も高く、次いで「⑦特別支援教育」(62.7%)、「⑤ユニバーサルデザイン」(48.2%)となっている。

問 10 以下にあげる、国や仙台市などで実施している障害のある方に関する行事や催し物について知っていますか。(SA)



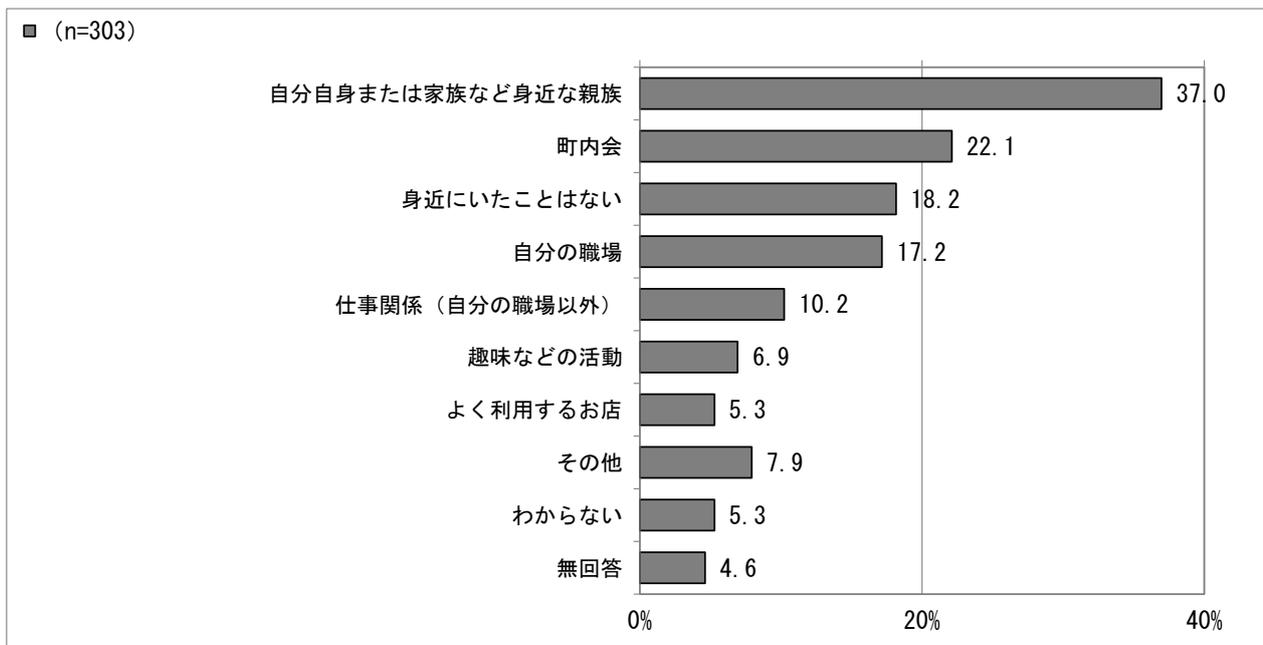
国や仙台市などで実施している障害のある方に関する行事や催し物について、「知っている」割合は「②パラリンピック」(95.4%)が最も高く、次いで「⑤全国障害者スポーツ大会」(64.4%)、「⑥宮城県・仙台市障害者スポーツ大会」(43.9%)となっている。

問11 今後機会があれば、見に行ったり、参加したい行事や催し物があれば、○を付けてください。(MA)



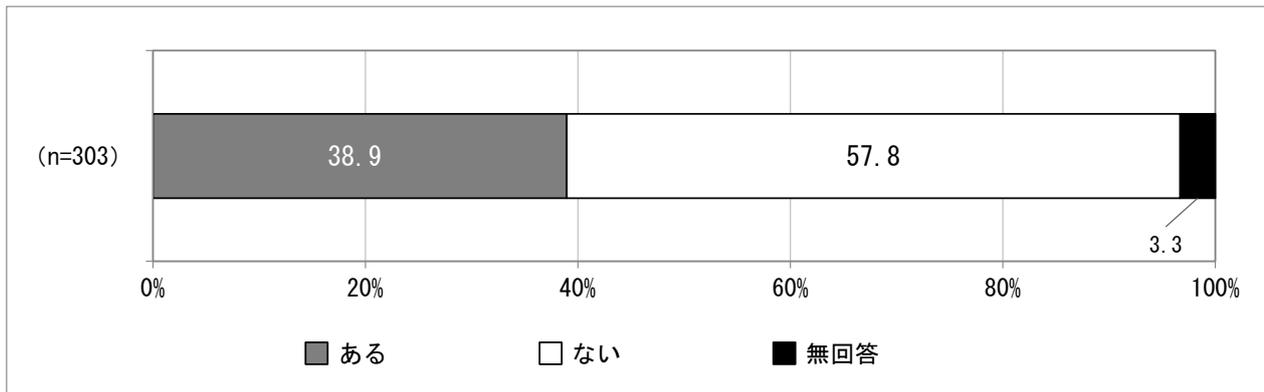
今後機会があれば、見に行ったり参加したい行事や催し物は、「参加したいものは特にない」(38.0%)が最も高く、次いで「とっておきの音楽祭」(29.7%)、「パラリンピック」(29.0%)となっている。

問12 あなたの身近に障害のある方がいますか(いましたか)。また、それはどのような場面ですか(でしたか)。(MA)



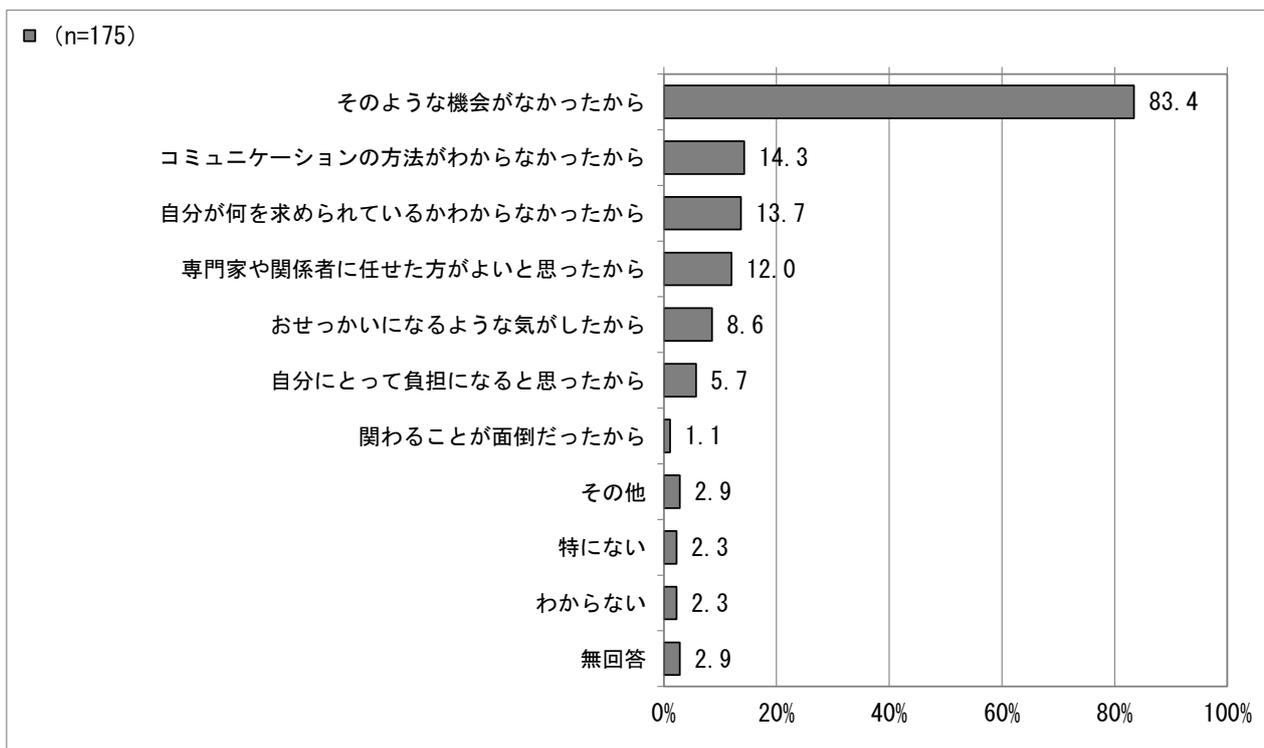
身近に障害のある方がいた場面は、「自分自身または家族など身近な親族」(37.0%)が最も高く、次いで「町内会」(22.1%)、「身近にいたことはない」(18.2%)となっている。

問13 あなたは、障害のある方の相談相手になったり、手助けをした経験がありますか。(SA)



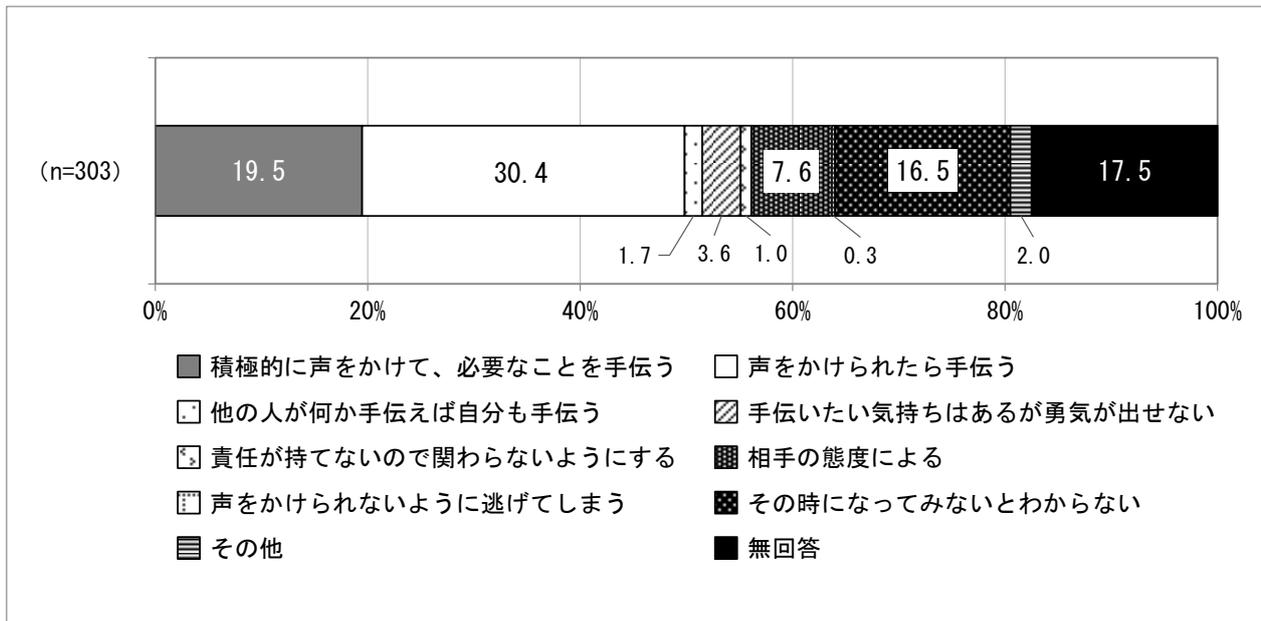
障害のある方の相談相手や手助けをした経験は、「ある」(38.9%)、「ない」(57.8%)となっている。

問14 問13で「ない」を選んだ方におたずねします。障害のある方の相談相手になったり、手助けをした経験がない理由は何ですか。(MA)



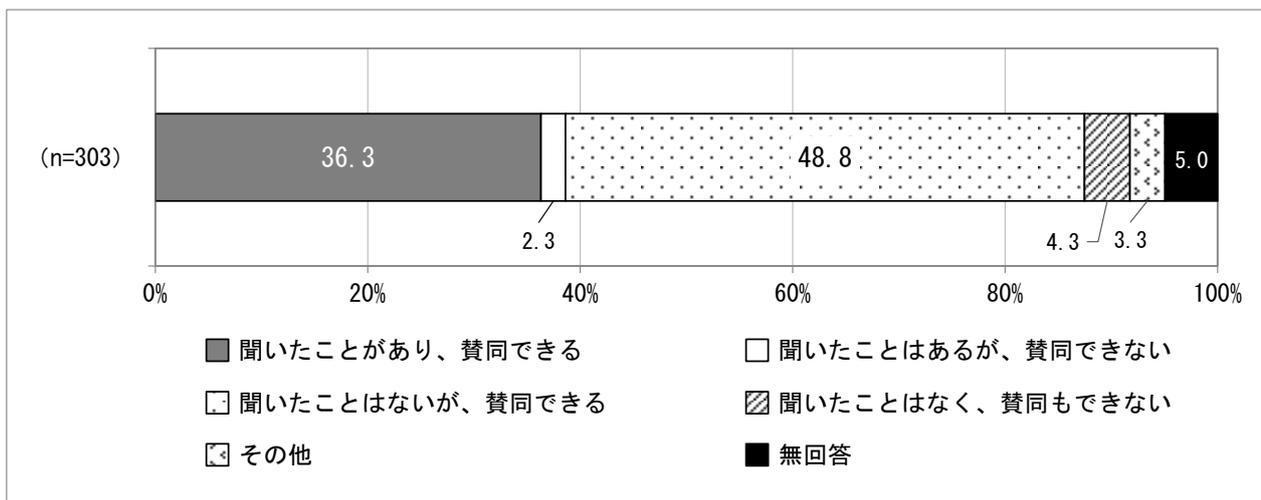
障害のある方の相談相手や手助けをした経験がない理由は、「そのような機会がなかったから」(83.4%)が最も高く、次いで「コミュニケーションの方法がわからなかったから」(14.3%)、「自分が何を求められているかわからなかったから」(13.7%)となっている。

問15 街の中で、困っている障害のある方に出会ったときどうしますか。(SA)



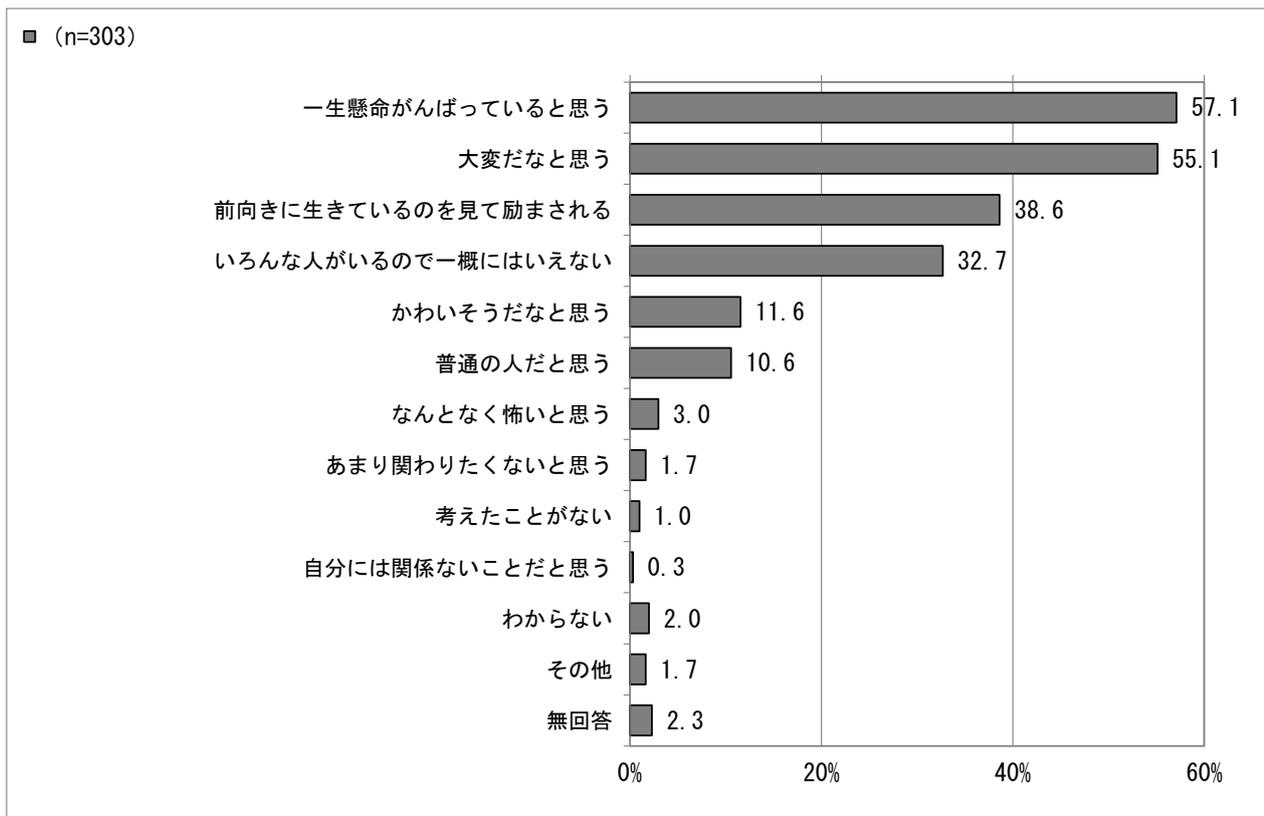
街の中で困っている障害のある方に出会ったときどうするかは、「声をかけられたら手伝う」(30.4%)が最も高く、次いで「積極的に声をかけて、必要なことを手伝う」(19.5%)、「その時になってみないとわからない」(16.5%)となっている。

問16 「共生社会」とは、障害があるかどうかに関わらず、国民誰もが相互に人格と個性を尊重し支えあう社会のことです。あなたは、この「共生社会」という言葉を聞いたことがありますか。また、このような社会のあり方についてどのように考えますか。(SA)



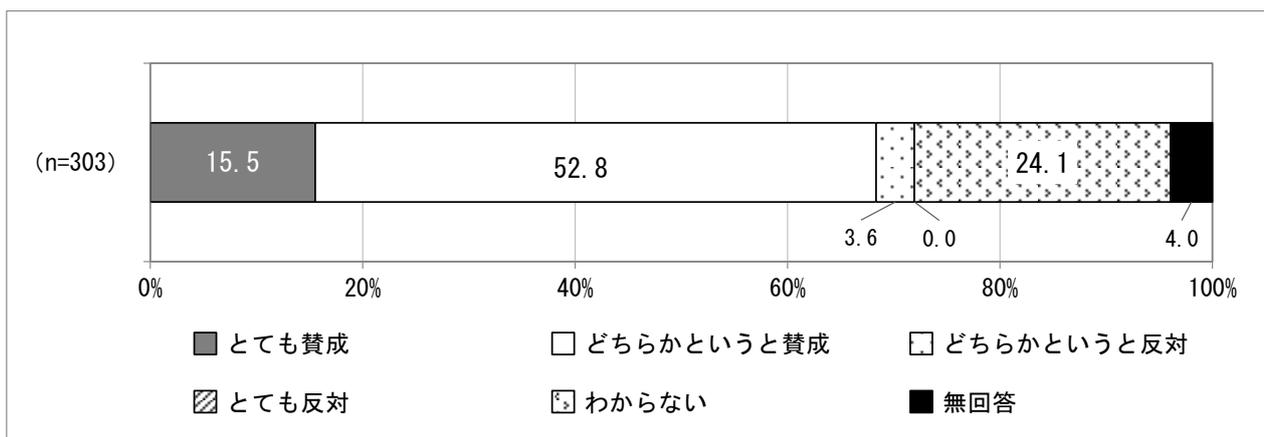
「共生社会」という言葉を聞いたり賛同は、「聞いたことはないが、賛同できる」(48.8%)が最も高く、次いで「聞いたことがあります、賛同できる」(36.3%)、「聞いたことはなく、賛同もできない」(4.3%)となっている。

問 17 あなたの障害のある方に対するイメージは下記のうちどれにあてはまりますか。(MA)



障害のある方に対するイメージは、「一生懸命がんばっていると思う」(57.1%)が最も高く、次いで「大変だなと思う」(55.1%)、「前向きに生きているのを見て励まされる」(38.6%)となっている。

問 18 あなたは障害のある方が施設や病院から退所・退院し、グループホームやアパート・借家などを利用して、地域で生活することについてどう考えますか。(SA)



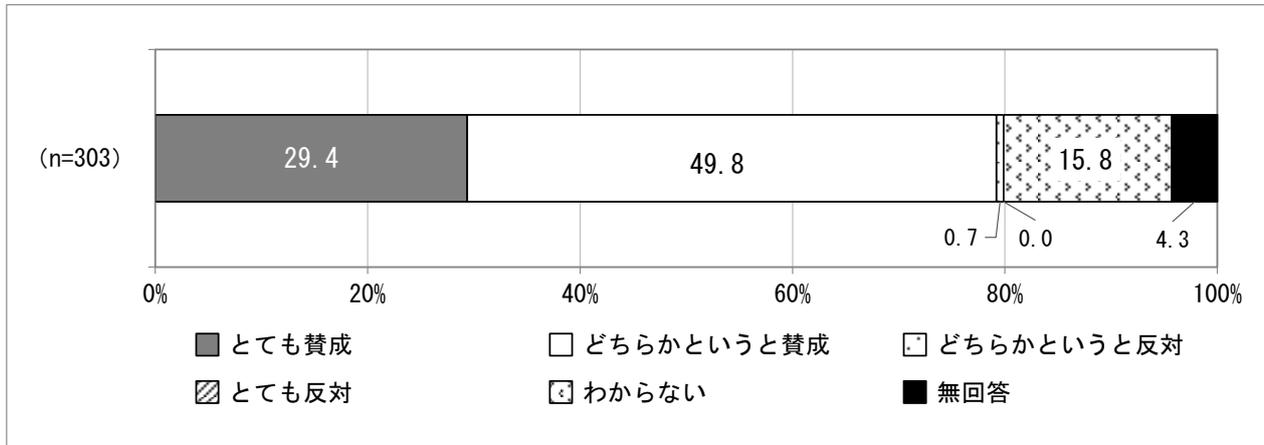
障害のある方が地域で生活することは、「どちらかという賛成」(52.8%)が最も高く、次いで「わからない」(24.1%)、「とても賛成」(15.5%)となっている。

問19 問18で「どちらかという反対」または「とても反対」を選択した方におたずねします。その理由は何ですか。(自由記述)

意見は9件で内容は以下の通りとなっている。

- いろいろな障害の方がいるので一概には言えませんが、精神的な障害がある方で、突然大声をだしたりする方が、近くにいると、子供に、話しかけられても、何を話しているかわからず、困ることがあった。
- 個人として生活するのは、健常者でも大変だから、障害のある方は、とても苦痛だと考えられるから。
- 火の元など基体的な生活における安全面が気になります。
- 障害のある人達の自立と言っているようですが、切り捨てているように感じます。障害のある人は本人もさることながら世話をする身内(多くは親だと思いますが)の負担は大変だと思います。グループホームは、どこで運営しているのかわかりませんが、金銭的な面も含めて家族が安心して、生活できるようであれば、たとえ軽度であっても心配で安まらないと思います。
- 1人暮らしは不安があると思います。
- 何かあった時に「障がいがあるから」を理由に罰が軽くなったり、受けなくて済むのは納得がいかない。
- 退所して、自立して生活できる人が現状でなん%の人がいるのだろうか?福祉行政の後退に疑問を持っている。
- もしものことがあったときに、面倒を見てくれる人が側にいないと心配だから。
- 比較的早い段階で退所されることが多く、周りの家族の負担が大きい。更にいやといえない者がケアさせられることが多く、悪循環となっている気がする。

問 20 あなたの近所の公共施設（学校の空き教室など）を、障害のある方が受けるサービスの場として活用するとしたらどう思いますか。(SA)



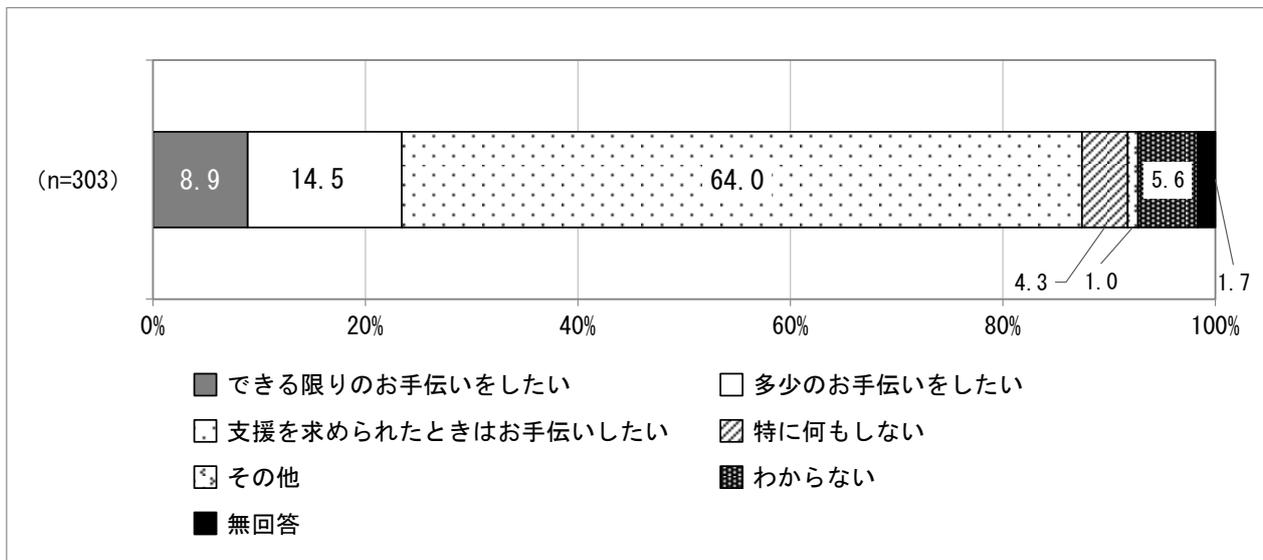
近所の公共施設を障害のある方が受けるサービスの場として活用することは、「どちらかという賛成」(49.8%) が最も高く、次いで「とても賛成」(29.4%)、「わからない」(15.8%) となっている。

問 21 問 20 で「どちらかという反対」または「とても反対」を選択した方におたずねします。その理由は何ですか。(自由記述)

意見は 2 件で内容は以下の通りとなっている。

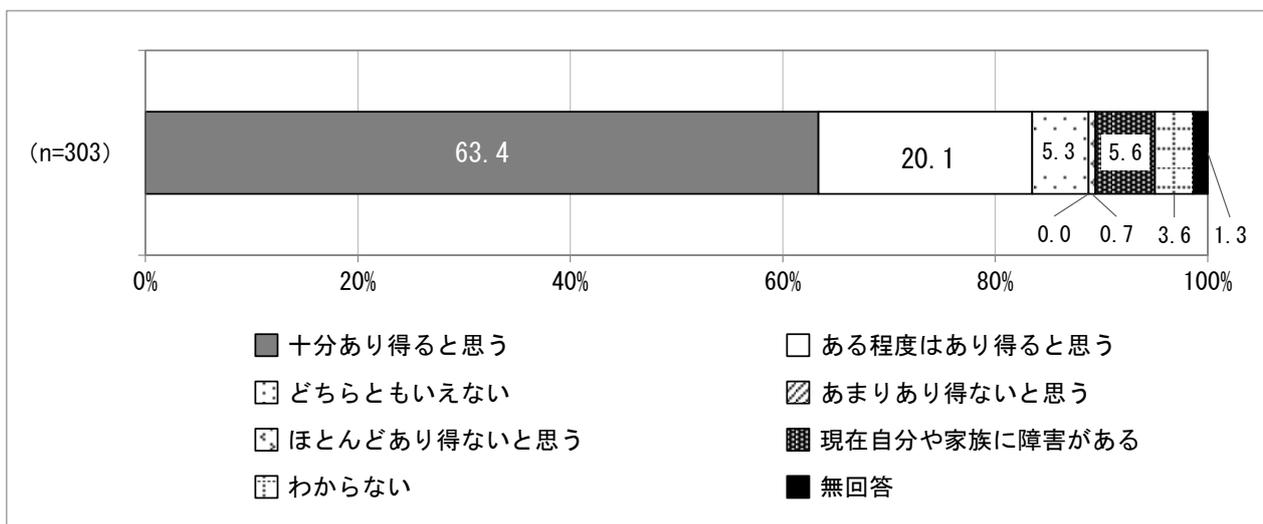
- 障害の種類によってはプライバシーを侵害される気がする。
- サービスを提供する側の資質により地域とのかかわり方に差が出てくると思う。今の状況では(雇用条件・身分保障のレベルが低すぎる等)優秀なスタッフは集まりにくく、地域とのかかわり方で問題が生じる事が予想されるため。

問22 あなたのご近所で、障害などのために困っている世帯があったらどのような対応をしたいと思いますか。(SA)



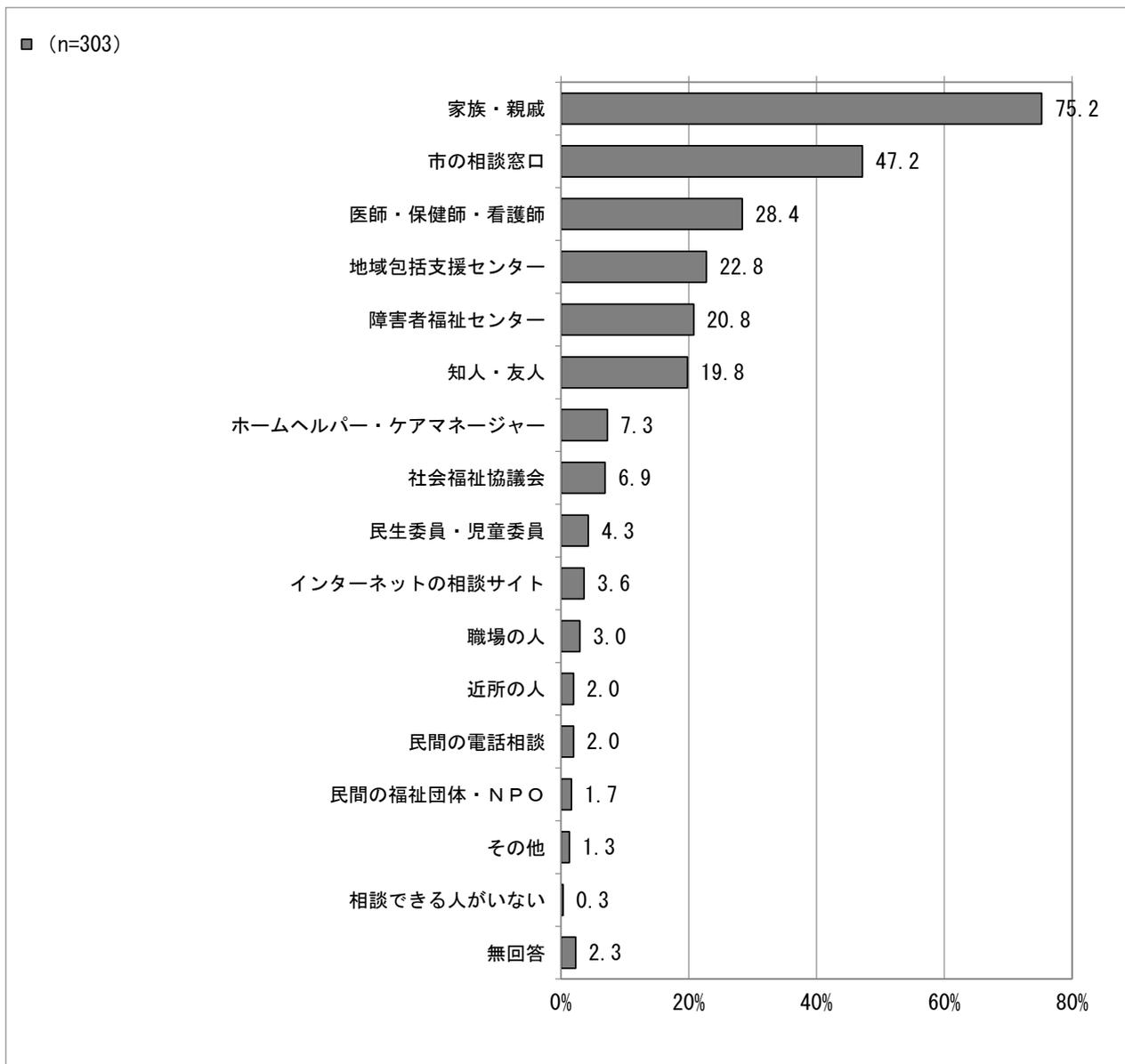
近所で、障害などのために困っている世帯があったらどのような対応をしたいと思いますか、は、「支援を求められたときはお手伝いしたい」(64.0%)が最も高く、次いで「多少のお手伝いをしたい」(14.5%)、「できる限りのお手伝いをしたい」(8.9%)となっている。

問23 障害のある状態になる原因はさまざまあります。将来、自分や家族が障害のある状態になることがあり得ると思いますか。(SA)



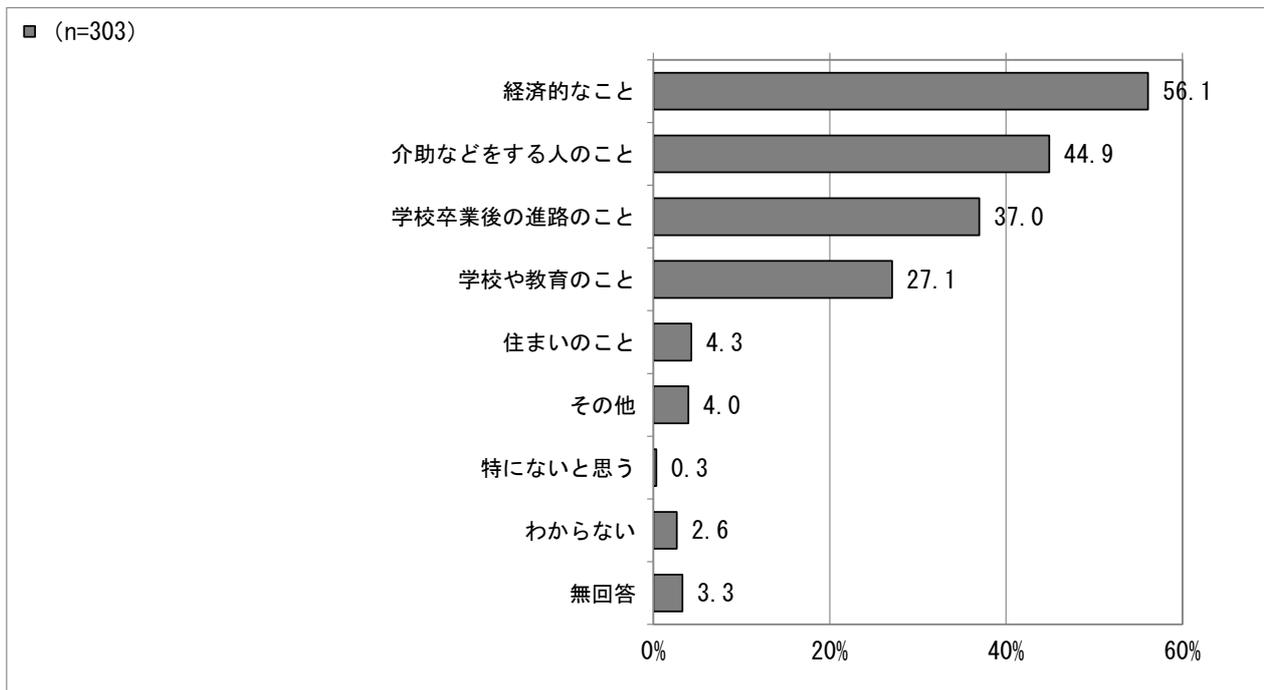
将来、自分や家族が障害のある状態になることがあり得ると思うかは、「十分あり得ると思う」(63.4%)が最も高く、次いで「ある程度はあり得ると思う」(20.1%)、「現在自分や家族に障害がある」(5.6%)となっている。

問24 もしあなたが問23の事例のようになった場合、誰に相談したいですか。(MA)



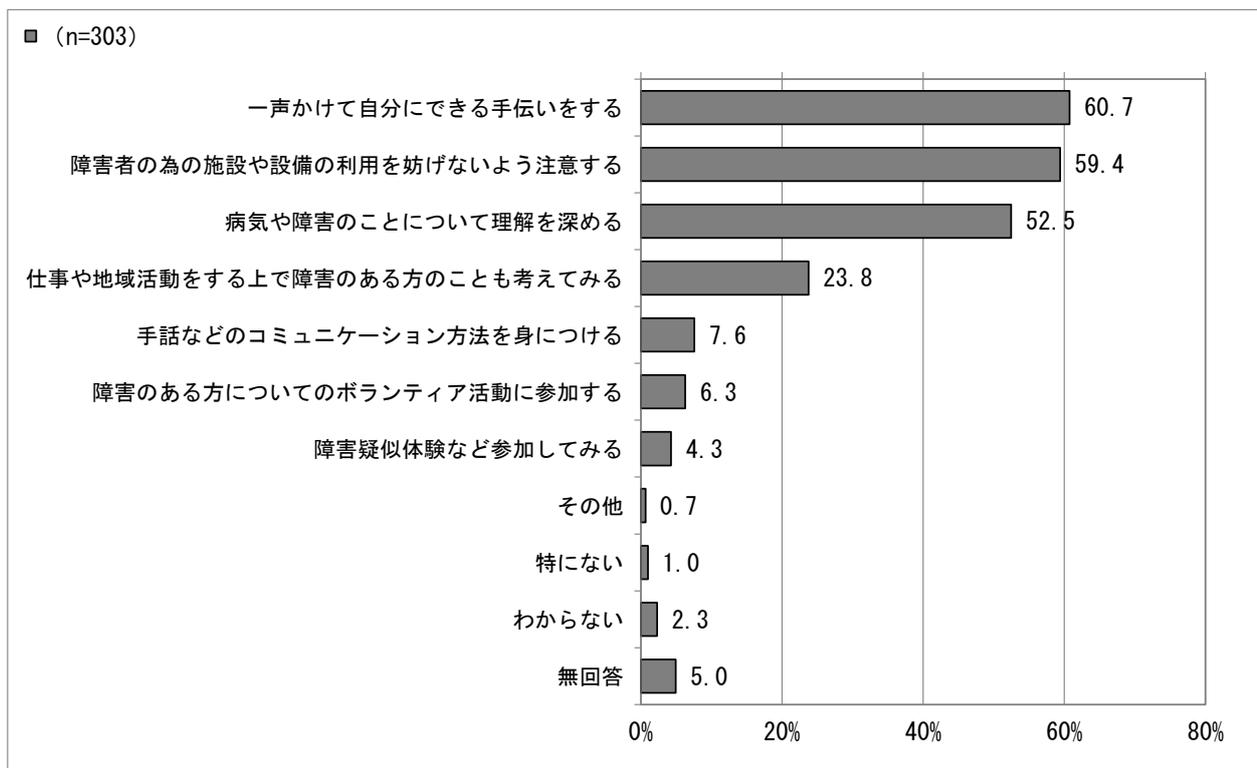
誰に相談したいかは、「家族・親戚」(75.2%)が最も高く、次いで「市の相談窓口」(47.2%)、「医師・保健師・看護師」(28.4%)となっている。

問 25 もしあなたや身内の方が障害児（脳性麻痺により歩けない、発達に遅れが見られるなど）を持つ親になったとき、特に困ることはどのようなことだと思いますか。(MA)



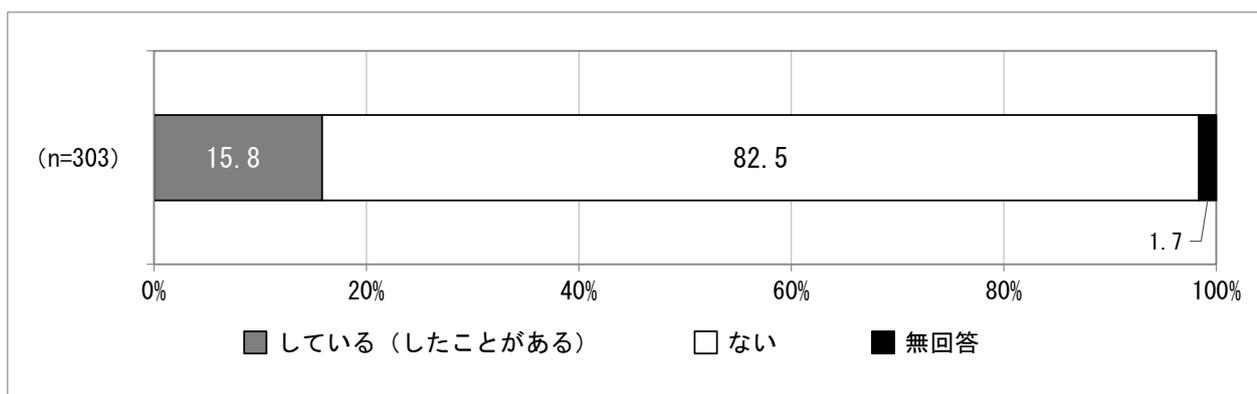
あなたや身内の方が障害児を持つ親になったとき特に困ることは、「経済的なこと」(56.1%)が最も高く、次いで「介助などをする人のこと」(44.9%)、「学校卒業後の進路のこと」(37.0%)となっている。

問 26 障害のある方の社会参加の機会を広げるために、あなた自身にできると思われることは何ですか。  
(MA)



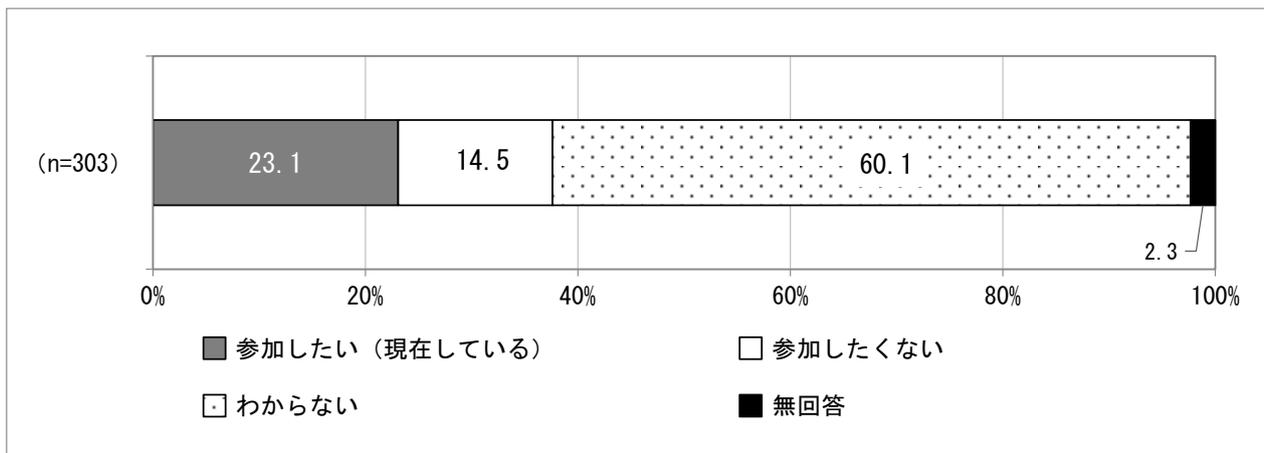
障害のある方の社会参加の機会を広げるために、あなた自身にできると思うことは、「一声かけて自分にできる手伝いをする」(60.7%)が最も高く、次いで「障害者の為の施設や設備の利用を妨げないように注意する」(59.4%)、「病気や障害のことについて理解を深める」(52.5%)となっている。

問 27 あなたは障害のある方に関わるボランティア活動に参加していますか（したことがありますか）。  
(SA)



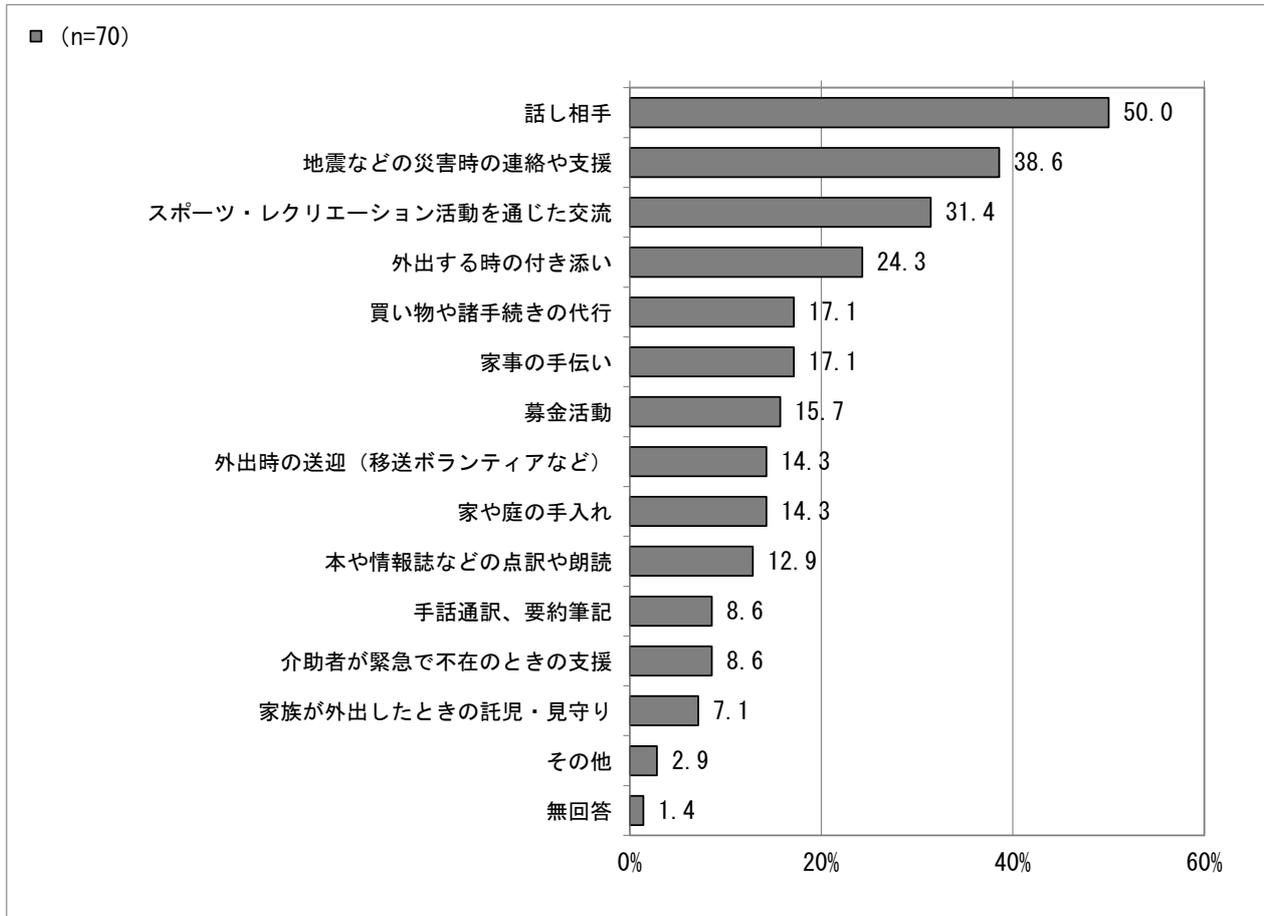
障害のある方に関わるボランティア活動への参加は、「している（したことがある）」(15.8%)、「ない」(82.5%)となっている。

## 問28 今後、障害のある方と関わるボランティア活動へ参加したいと思いませんか。(SA)



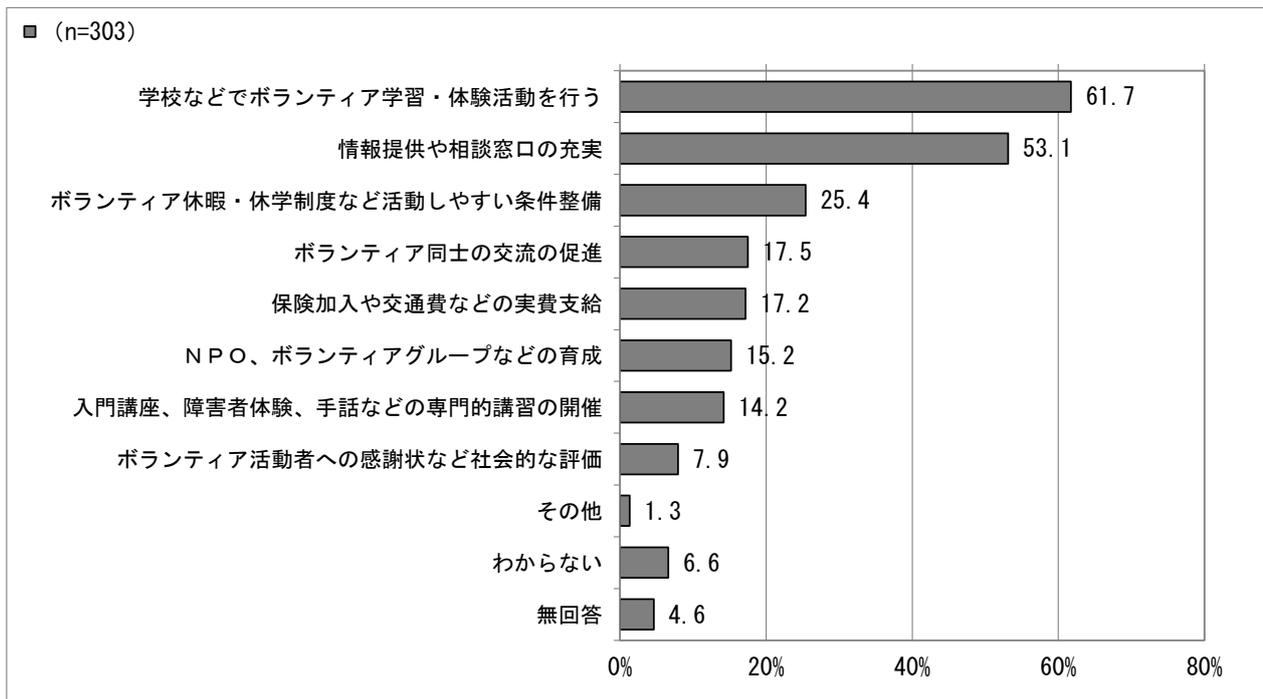
今後障害のある方と関わるボランティア活動への参加は、「参加したい (現在している)」(23.1%)、「参加したくない」(14.5%)、「わからない」(60.1%)となっている。

問 29 問 28 で「参加したい（現在している）」を選んだ方におたずねします。あなたが今後参加したい（現在参加している）障害のある方に関わるボランティア活動は次のどれですか。（MA）



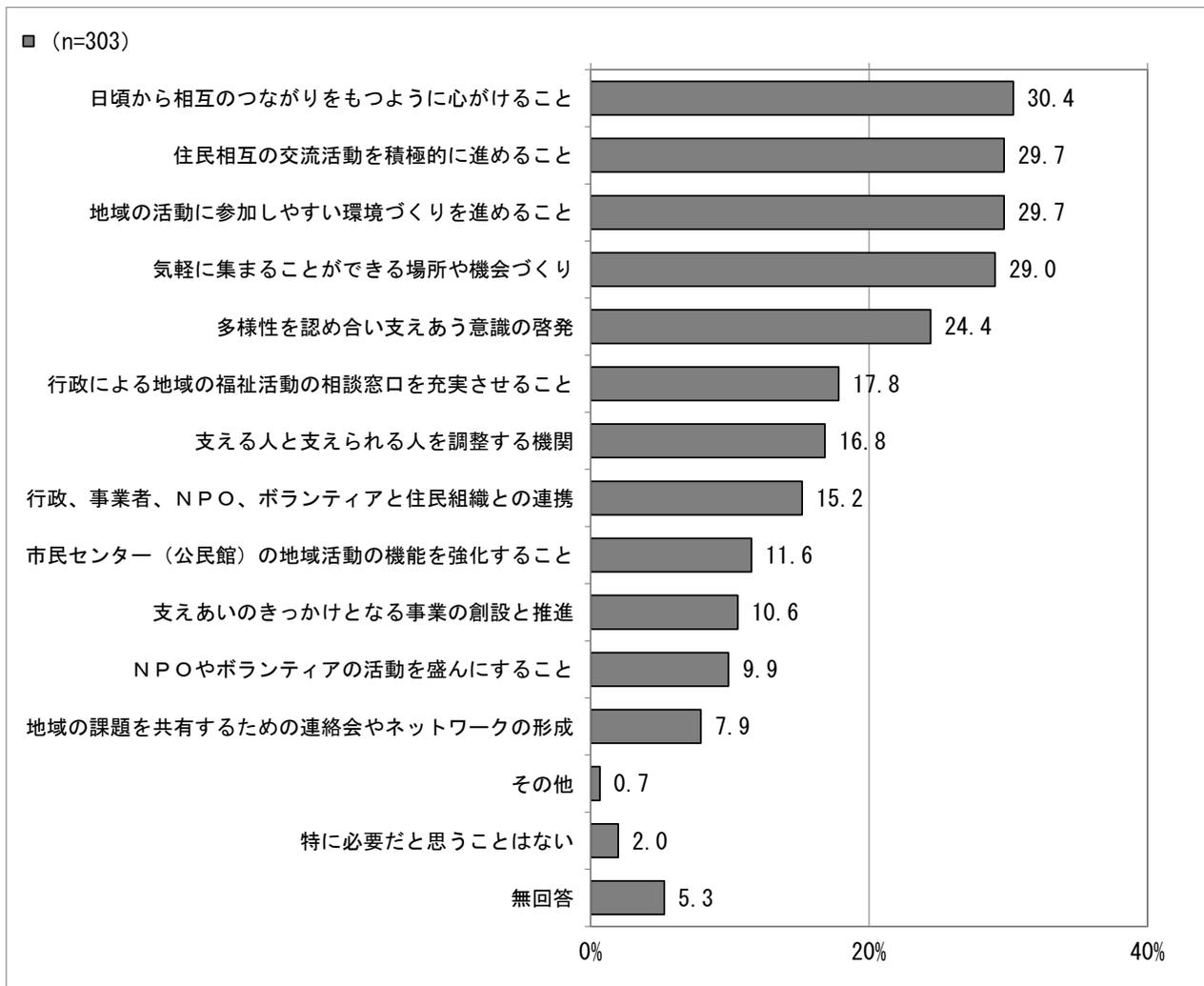
今後参加したい（現在参加している）障害のある方に関わるボランティア活動は、「話し相手」（50.0%）が最も高く、次いで「地震などの災害時の連絡や支援」（38.6%）、「スポーツ・レクリエーション活動を通じた交流」（31.4%）となっている。

問 30 障害のある人に関わるボランティア活動を活発にするために、どのようなことが必要だと考えますか。(MA)



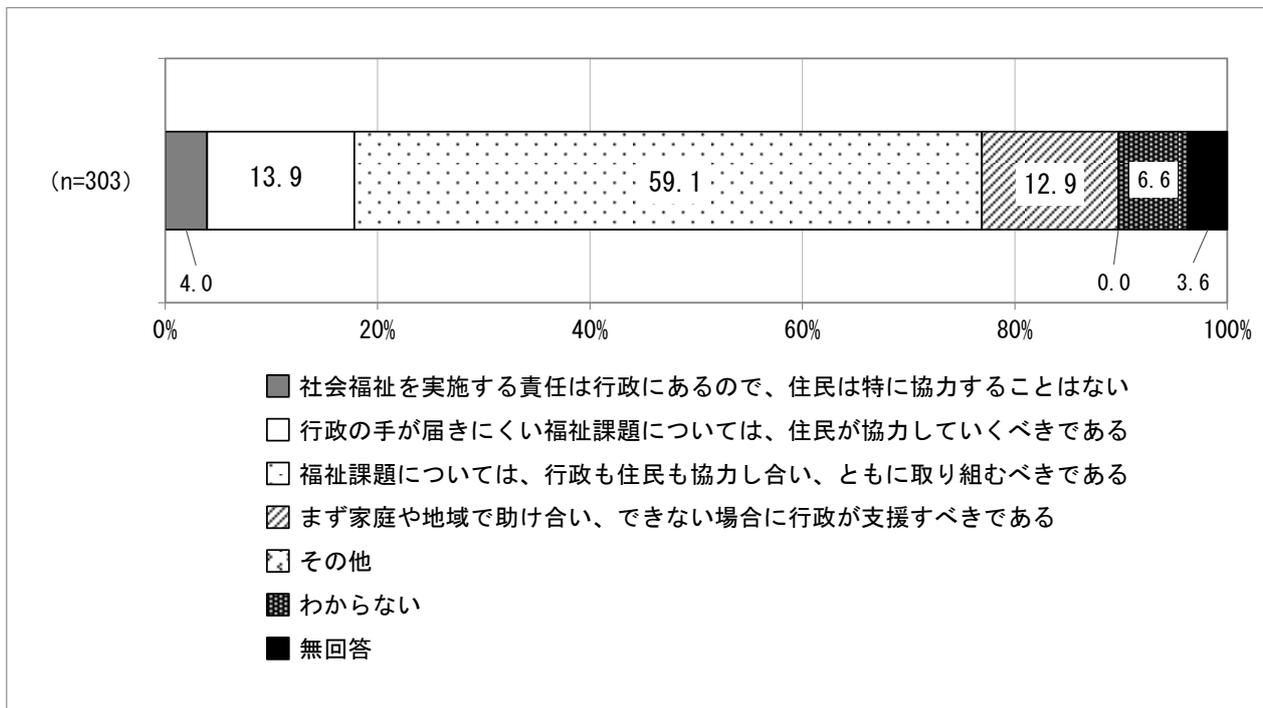
障害のある人に関わるボランティア活動を活発にするために必要なことは、「学校などでボランティア学習・体験活動を行う」(61.7%)が最も高く、次いで「情報提供や相談窓口の充実」(53.1%)、「ボランティア休暇・休学制度など活動しやすい条件整備」(25.4%)となっている。

問 31 地域における住民相互の支えあいの仕組みづくりで、あなたが特に必要だと思うことはどのようなことですか。(MA)



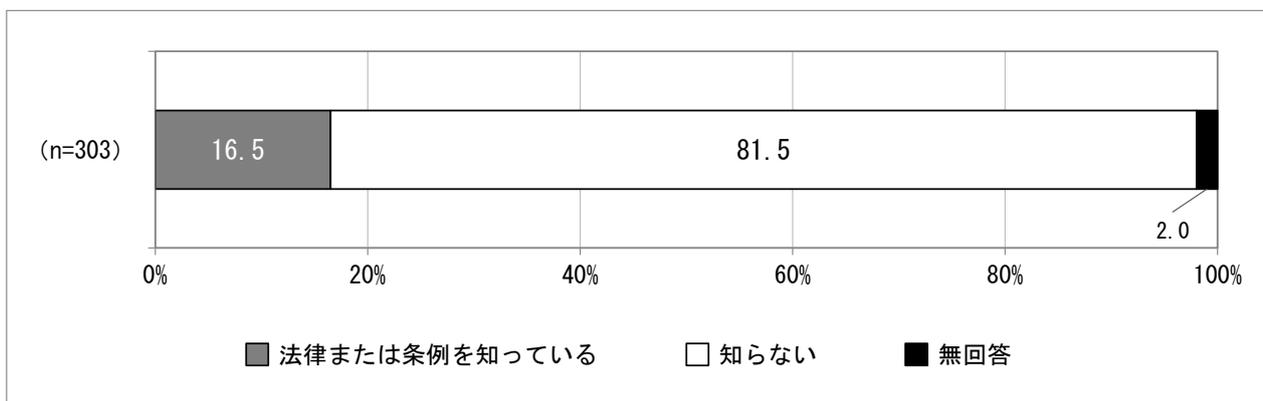
地域における住民相互の支えあいの仕組みづくりで特に必要だと思うことは、「日頃から相互のつながりをもつように心がけること」(30.4%)が最も高く、次いで「住民相互の交流活動を積極的に進めること」と「地域の活動に参加しやすい環境づくりを進めること」がともに29.7%、「気軽に集まることができる場所や機会づくり」(29.0%)となっている。

問 32 福祉サービスを充実させていく上で、行政と地域住民との関係について、あなたの考えに最も近いものを選んでください。(SA)



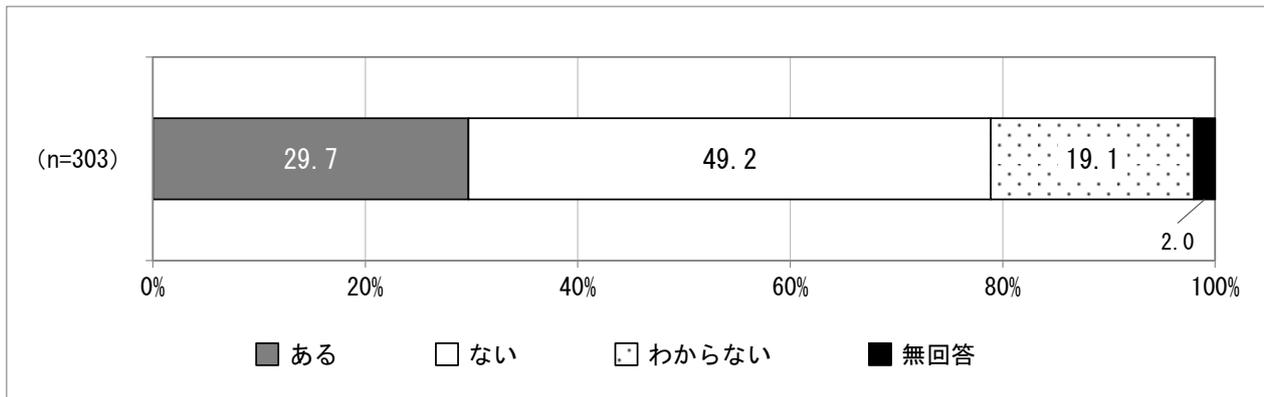
福祉サービスを充実させていく上で、行政と地域住民との関係は、「福祉課題については、行政も住民も協力し合い、ともに取り組むべきである」(59.1%)が最も高く、次いで「行政の手が届きにくい福祉課題については、住民が協力していくべきである」(13.9%)、「まず家庭や地域で助け合い、できない場合に行政が支援すべきである」(12.9%)となっている。

問 33 あなたは、2016年4月より施行された「障害者差別解消法」を知っていますか。また、「仙台市障害を理由とする差別をなくし障害のある人もない人も共に暮らしやすいまちをつくる条例」を知っていますか。(SA)



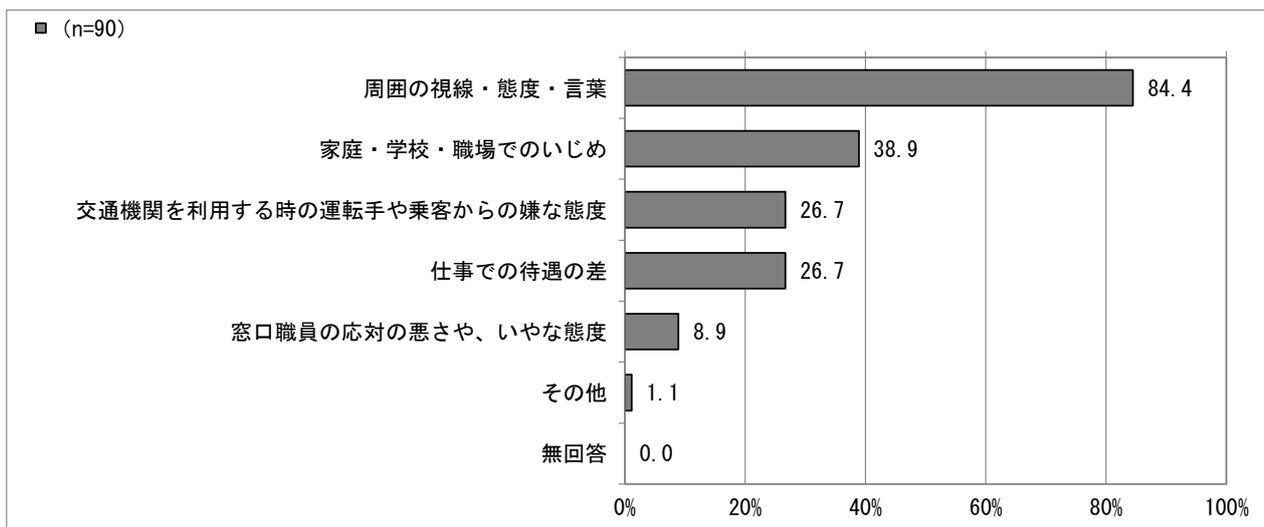
障害者差別解消法や市の条例は、「法律または条例を知っている」(16.5%)、「知らない」(81.5%)となっている。

問34 あなたは障害を理由とした差別を見たことがありますか。(SA)



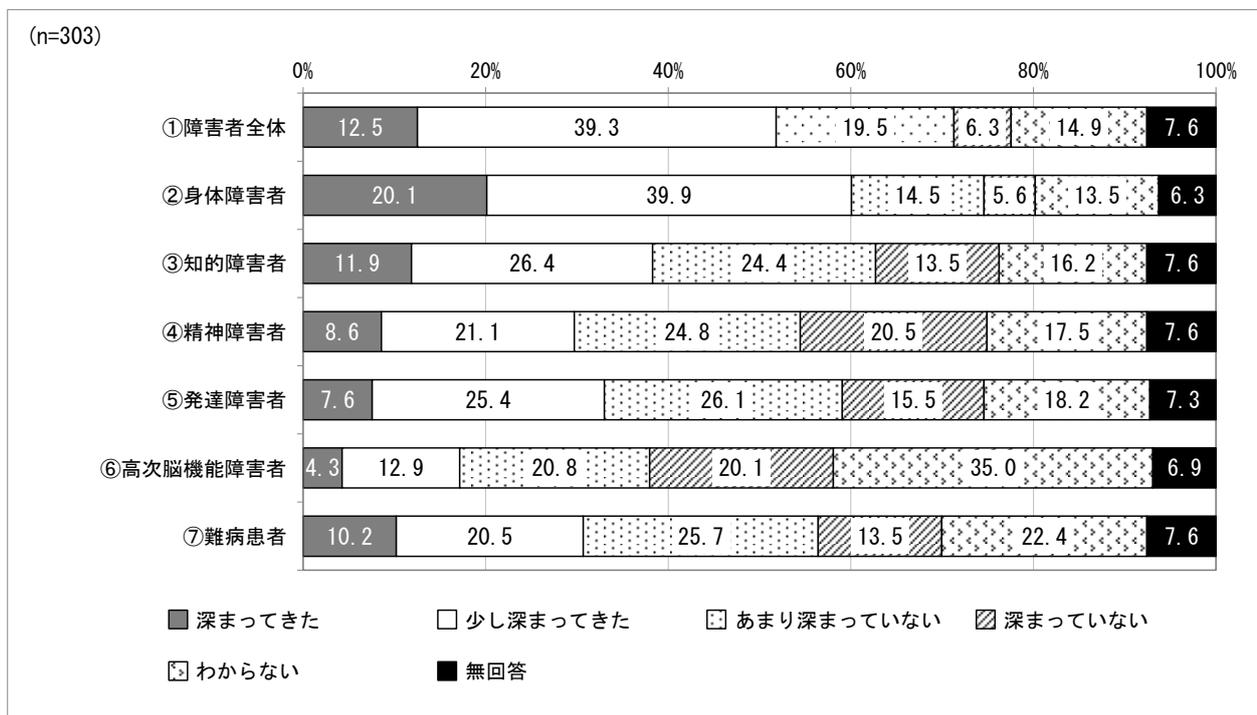
障害を理由とした差別を見たことは、「ある」(29.7%)、「ない」(49.2%)、「わからない」(19.1%)となっている。

問35 問34で「ある」を選んだ方におたずねします。それはどのような内容でしたか。(MA)



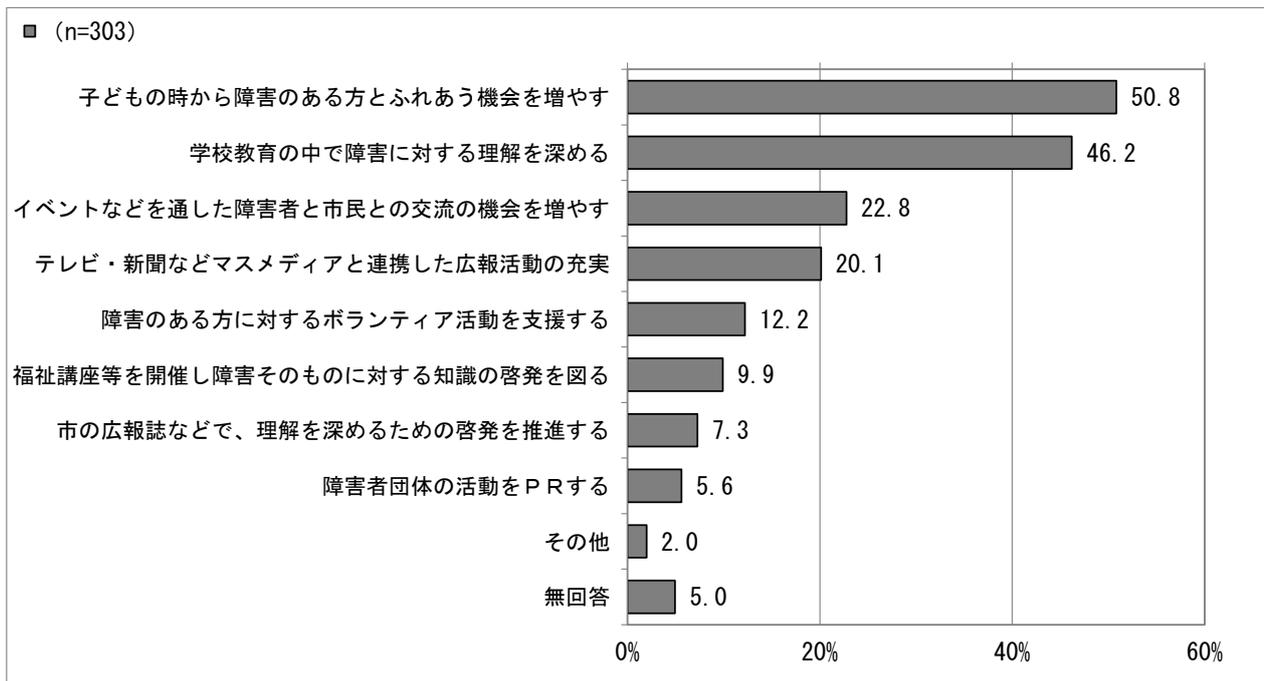
見たことがある障害を理由とした差別の内容は、「周囲の視線・態度・言葉」(84.4%)が最も高く、次いで「家庭・学校・職場でのいじめ」(38.9%)、「交通機関を利用する時の運転手や乗客からの嫌な態度」と「仕事での待遇の差」がともに26.7%となっている。

問 36 障害のある方への理解は深まってきていると思いますか。障害者全体と障害種別についてお答えください。(SA)



障害のある方への理解について、「深まってきた」と「少し深まってきた」を合わせて50%を超えているのは、「②身体障害者」(60.0%)と「①障害者全体」(51.8%)となっている。また、最も低いのは「⑥高次脳機能障害者」(17.2%)となっている。

問 37 あなたは、障害のある方に対する理解を深めるために、どのような取り組みが必要だと思いますか。(MA)



障害のある方に対する理解を深めるために必要だと思う取り組みは、「子どもの時から障害のある方とふれあう機会を増やす」(50.8%)が最も高く、次いで「学校教育の中で障害に対する理解を深める」(46.2%)、「イベントなどを通した障害者と市民との交流の機会を増やす」(22.8%)となっている。



仙台市障害者等保健福祉基礎調査報告書

平成 29 年 3 月

発行

仙台市 健康福祉局 健康福祉部 障害企画課

〒980-8671 仙台市青葉区国分町三丁目 7 番 1 号

電 話 0222-214-8163